

**横浜IR(統合型リゾート)の方向性(素案)
に関するパブリックコメントの
実施結果**

**令和2年8月
横浜市**

目次

| | | |
|-----|---|-----|
| 1 | パブリックコメント実施概要 | 1 |
| 2 | パブリックコメント実施結果 | 1 |
| 3 | いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方 | 3 |
| 3.1 | 横浜IRの方向性 基本コンセプト に関するもの | 3 |
| 3.2 | 横浜IRの方向性1 世界最高水準のIRを実現 に関するもの | 39 |
| 3.3 | 横浜IRの方向性2 都心臨海部との融合 に関するもの | 89 |
| 3.4 | 横浜IRの方向性3 オール横浜で観光・経済に イノベーションを に関するもの | 136 |
| 3.5 | 横浜IRの方向性4 安全・安心対策の横浜モデルの構築 に関するもの | 233 |
| 3.6 | 取組の背景、IR実現の効果、地域の理解促進・合意形成、 スケジュール等 に関するもの | 319 |
| 4 | いただいたご意見 | 494 |
| 4.1 | その他の意見等（素案に関連しない意見等） | 494 |

1 パブリックコメント実施概要

(1) 意見募集期間

令和2年3月6日（金）から4月6日（月）まで

(2) 周知方法

市民情報センター、各区役所区政推進課広報相談係、都市整備局 I R 推進課において、素案概要版リーフレットを配布し、素案冊子を閲覧に供するとともに、市ホームページにデータを公表しました。

(3) 意見提出方法

郵送、F A X、電子メール、窓口持参

2 パブリックコメント実施結果

延 5,040 人・団体から、9,509 件のご意見の提出がありました。

いただいたご意見について、方向性(素案)に関する意見等に分類し、その対応状況を整理しました。

(1) ご意見の提出者数

| 提出方法 | 意見の提出者数 |
|-------|---------|
| 郵 送 | 1,782 |
| F A X | 1,189 |
| 電子メール | 1,724 |
| 窓口持参 | 345 |
| 合 計 | 5,040 |

(2) いただいたご意見の分類

| 意見の項目 | 意見数 |
|--------------------------------------|----------|
| 方向性（素案）に関する意見 | 8,621件 |
| 横浜 I R の方向性 基本コンセプト | (995件) |
| 横浜 I R の方向性 1 世界最高水準の I R を実現 | (877件) |
| 横浜 I R の方向性 2 都心臨海部との融合 | (789件) |
| 横浜 I R の方向性 3 オール横浜で観光・経済にイノベーションを | (1,620件) |
| 横浜 I R の方向性 4 安全・安心対策の横浜モデルの構築 | (1,366件) |
| 取組の背景、I R 実現の効果、地域の理解促進・合意形成、スケジュール等 | (2,974件) |
| その他の意見等（素案に関連しない意見等） | 888件 |
| 合 計 | 9,509件 |

(3) いただいたご意見への対応状況

| 分類 | 対応状況 | 意見数 |
|-----|--|--------|
| 修正 | 素案変更の参考とさせていただくもの | 387件 |
| 参考 | 案に既に記載されているもの、 今後の事業・取組等の参考とさせていただくもの | 8,234件 |
| その他 | その他の意見等（素案に関連しない意見等） | 888件 |
| 合計 | | 9,509件 |

次ページ以降では、皆様からいただいたご意見とその分類等を掲載しています。

- ご意見の内容により分類して掲載しています。
- いただいたご意見については、原則原文のまま掲載していますが、方向性（素案）に関連しないものや個人情報、誹謗中傷にあたる表現、判別のできない文字等については、一部削除や表現を編集している場合や、●で表示している場合があります。
- 複数のご意見に対して一括で本市の考え方を掲載しているものもあります。
- その他の意見等（素案に関連しない意見等）は、本市の考え方を掲載していません。また、提出いただいたご意見が未記載、図表等によるご意見は、空欄で表示しています。

3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

3.1 横浜IRの方向性 基本コンセプト に関するもの

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 1 | 横浜の将来のために、進めるべき。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 2 | 大賛成です。積極的に進めて下さい。ちなみに私は横浜生まれで横浜育ちです。小さい頃は山下公園が遊び場でした。 | 参考 | |
| 3 | 絶対反対です。 | 参考 | |
| 4 | 直ちにIR誘致導入を撤回すべきである。 | 参考 | |
| 5 | IRに賛成です 横浜がもっと良くなると思います。全力で応援します！！ | 参考 | |
| 6 | IRに賛成です。横浜がもっと良くなると思います。頑張ってください！！ | 参考 | |
| 7 | IRに賛成です。横浜のポテンシャルを活かす上で絶好の機会だと思います。応援しています！！ | 参考 | |
| 8 | 私はIR誘致反対です。横浜はもちろん日本国内では必要ないと思っています。 | 参考 | |
| 9 | IR大賛成です。僕が100歳になって「ずっと横浜で暮らして良かった」って言える横浜であって欲しいな。 | 参考 | |
| 10 | IR大賛成です。スローガンになるのかどうか？IRハブ横浜（IR HUB YOKOHAMA）、IRあふれる未来横浜（IR FUTURE FULL YOKOHAMA）、IRみんなであつなごう横浜（IR CONNECTIONS YOKOHAMA） | 参考 | |
| 11 | IR大賛成です。僕はいつまでも友達に「横浜っていいよ」って言える横浜であって欲しいな。 | 参考 | |
| 12 | 横浜IRの方向性の素案はキレイ事を述べているが、最大のネライはカジノ施設をその中につくる事であり、それには絶対反対だ。 | 参考 | |
| 13 | 絶対反対 問答無用 カジノは必要なし | 参考 | |
| 14 | カジノ設立に強く反対します。 | 参考 | |
| 15 | 賭博設備建設に反対します | 参考 | |
| 16 | カジノ反対 横浜がより発展するのは良いことだと思うのですが、カジノはいりません。 | 参考 | |
| 17 | 横浜カジノは反対です。今回素案は撤回を求めます。 | 参考 | |
| 18 | 横浜IRは必要有りません。IR設置に反対します。 | 参考 | |
| 19 | コロナで日本全体の消費が落ちこみ経済が停滞する中で、市長にはぜひIR・カジノで横浜から財政を元気にし、ひいては全世界から観光客を引きつけるような日本の新名所にすることで、世界に日本のプレゼンスをアピールできるような施設にしてください | 参考 | |
| 20 | 公表されている全ての内容に賛同いたします。 | 参考 | |
| 21 | IR（カジノ）賛成です。横浜IRの方向性（素案）は、良くまとまっていると感心しました。コンセプト同感です。是非IR（カジノ）実現を！ | 参考 | |
| 22 | IR反対の声をよく聞きますが、横浜の将来のためには、必要な取組だと思います。依存症など懸念事項対策さえきっちりしていただければ、横浜を訪れる人も増え、横浜が元気になるので歓迎です。頑張ってください。 | 参考 | |
| 23 | 横浜IRに賛成します。今後の横浜市、また、日本国はとてもIRは必要で、有意義な施設です。国際化に対応、横浜市経済税収、観光、周辺の経済効果等を踏まえても、横浜市の将来を考えて、実現して、いただきたい。カジノだけを問いただされていますが、公共の競馬競輪、パチンコは許されて、カジノだけは、ダメという事は無いと思う。依存症対策も、他に比べて、定義がしっかりしていると思う。運営する事業者と横浜市とのスタンス等をもっと前面に出して、市民の理解を得て、成功する様頑張ってください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 24 | 新型コロナウイルスの感染拡大は、世界経済に大きな影響を及ぼしつつあります。我が国においてもその影響は深刻であり、とりわけ横浜ではクルーズ船での集団感染によるイメージダウンも懸念されると思います。この危機を乗り越えるためには、是非とも横浜にIR誘致が必要だと考えます。都心臨海部との一体的な整備で、広範囲な経済効果を期待します。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 25 | 横浜市の持続的発展には不可欠であり、反対派の声に惑わされることなく、断固推進して欲しい。 | 参考 | |
| 26 | I AGREE TO INVITING YOKOHAMA IR!! YOKOHAMA IR WILL RAISE CHARM OF YOKOHAMA AND THE YIELD OF TAXES. | 参考 | |
| 27 | 大変良いと思います | 参考 | |
| 28 | 世界中どこにでもある施設ではなく、外国人が行ってみたい日本は全く違うと思います。もう一度考え直してください。 | 参考 | |
| 29 | 賛成です。民主主義による立法でIR推進法ができ、民主主義により選ばれた市長が正しい手続でIRを誘致しようとしています。市民の多くの意見が反映されていると思います。 | 参考 | |
| 30 | 大いに賛成！楽しそうなので、早く開業してほしい。 | 参考 | |
| 31 | 「やりたいことは、やってみなさい。」と、お母さんは言います。「みんなのためになることは、進んでがんばりなさい。失ばいしても、工夫して、成こうするまでがんばりつづけなさい。」と、お父さんは言います。市長さんも、みんなのためにがんばってください。 | 参考 | |
| 32 | IR楽しみ | 参考 | |
| 33 | 賛成しています。 | 参考 | |
| 34 | 横浜IRは反対です。 | 参考 | |
| 35 | 日本及び国際社会での横浜の魅力とは何でしょうか。観光客の訪ねたい理由は自然・風景・日本の文化・歴史・食などが上位を占めています。ばくちを要とした集客はいずれ廃れると考えます。とても持続可能なプロジェクトとは思えません。 | 参考 | |
| 36 | カジノは絶対反対です。 | 参考 | |
| 37 | カジノに反対します。 | 参考 | |
| 38 | 「カジノ」は大反対です。 | 参考 | |
| 39 | カジノ誘致に絶対反対する。 | 参考 | |
| 40 | 現行のままでは、IR全体構想はともかく、カジノ誘致は反対である。 | 参考 | |
| 41 | カジノを含むIRには反対します。 | 参考 | |
| 42 | 日本に行くなら横浜にはならない。横浜市は地方都市のひとつではないことに気がついていない！多様性を持った地方都市のひとつであり、教育や生活や社会が素晴らしいことが横浜市となるよう力をつけることの方が大事！ | 参考 | |
| 43 | 横浜IRは賛同できません。反対いたします。 | 参考 | |
| 44 | 反対いたします | 参考 | |
| 45 | カジノ誘致反対。 | 参考 | |
| 46 | カジノ誘致反対。 | 参考 | |
| 47 | 横浜がINTERNATIONALになる事を応援します。 | 参考 | |
| 48 | カジノの設置には反対です。 | 参考 | |
| 49 | 反対します。暗の部分が多いです。 | 参考 | |
| 50 | 絶対反対です！！美しい横浜の、安全な横浜を残したい私達の子供まで調達にまで成したいです！お金だけで動かないで！！ | 参考 | |
| 51 | 今やらなければならない問題はなにか？それはIR誘致反対です。横浜一市民として、反対をお知らせいたします。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 52 | 「反対」です。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 53 | 横浜市民の穏やかな暮らしの為に IR誘致、絶対反対 IR誘致、絶対反対 IR誘致、絶対反対 IR誘致、絶対反対 IR誘致、絶対反対 IR誘致、絶対反対 | 参考 | |
| 54 | IRは、反対と表明いたします。 | 参考 | |
| 55 | 私の故郷横浜、その地にIRを誘致表明いたしました横浜市長のお言葉でも賛同はできません。 | 参考 | |
| 56 | 最先端の技術・設備を導入し世界のモデルケースとなるようにしてほしいと思います。 | 参考 | |
| 57 | 計画通り、進めて下さい。 | 参考 | |
| 58 | 活気ある横浜にして欲しい。 | 参考 | |
| 59 | 「市民生活の向上」に不可欠としてIRの誘致に名乗りを上げている横浜市に憎悪感を抱いております。 | 参考 | |
| 60 | 横浜の将来の発展のために不可欠なものでありこの素案に賛成します。 | 参考 | |
| 61 | 山下ふ頭地区のIRは、ホテルやエンターテインメント、ショッピングモール、レストランなどの施設の充実がすべてでなく、Society 5.0や第4次産業革命を具現化する様々なイノベーション投資の実験フィールドとして使用すべきだ。要するに民間のIRオペレータと協働した国（経産省）の新産系権案のスキームを活用すべし。 | 参考 | |
| 62 | 経済成長率の鈍化が著しい日本が新技術で新しい成長を創り出す為には、IRが最も有効な戦略です。 | 参考 | |
| 63 | カジノについても横浜市での4つの依存症対策がしっかりしているし、IR整備法という法律の規制もあるので問題ないと考えている。将来にわたる市民の豊かな暮らしのために横浜IRが活躍し、「横浜のさらなる飛躍」につながることを期待している。 | 参考 | |
| 64 | 横浜にIRのゆうちは反対です、反対いたします。 | 参考 | |
| 65 | カジノ誘致は反対します。 | 参考 | |
| 66 | 反対します。 | 参考 | |
| 67 | カジノ誘致は反対です | 参考 | |
| 68 | 日本人の肌に合わないカジノには大反対！決定は、白紙として10年後位に再度考えてもよい。焦らないことが第一。 | 参考 | |
| 69 | 反対いたしますので、よろしく。 | 参考 | |
| 70 | カジノ賛同、できません。 | 参考 | |
| 71 | IRは反対します。 | 参考 | |
| 72 | 横浜は世界に名高い港町。IRに出て戴ければ又、一ヶ所、売りが出来ませぬ。お客様が横浜に足を運んで戴ければ市民としても嬉しいと思います。何事も前に進めてほしいと思います | 参考 | |
| 73 | 横浜市IR誘致とIRの方向性（素案）に反対です。 | 参考 | |
| 74 | カジノはいらない | 参考 | |
| 75 | カジノ反対です！ | 参考 | |
| 76 | カジノ絶対反対です | 参考 | |
| 77 | 「反対です」 | 参考 | |
| 78 | カジノ大反対です！市民にとって害はあっても利なし。 | 参考 | |
| 79 | 本計画には全面的に賛同。 | 参考 | |
| 80 | カジノ誘致には絶対に反対です。 | 参考 | |
| 81 | カジノ誘致には絶対に反対です。カジノがある街には住みたくありません。 | 参考 | |
| 82 | カジノ誘致には、反対です | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 83 | I R誘致反対 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜I R」では、世界水準のM I C E施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションI R」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、I Rへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 84 | I Rの誘致反対 | 参考 | |
| 85 | 横浜一市民としてI Rに反対 | 参考 | |
| 86 | 「反対です」 | 参考 | |
| 87 | I R反対 | 参考 | |
| 88 | hanntai hanntai yokohamani, I RはHANTAI. | 参考 | |
| 89 | オリンピックが終わると、次の産業がないのだ。そのためには、歴史があるように横濱は最も、外国からくる港である。これはますます大切な場所である。これを利用するしかないのだ。次の世代はカジノが必要になるのである。恐らく、多数の人が賛成するだろ。クルーズ船に乗ってますます、外国人が増えると思う。 | 参考 | |
| 90 | 不健全な戯れ事に、断じて反対します。仮に賛成の市民が過半数であっても駄目です。 | 参考 | |
| 91 | 横浜にI Rは必要だ。方針通り、しっかり進めて下さい。 | 参考 | |
| 92 | 「反対です」 | 参考 | |
| 93 | カジノ反対です。 | 参考 | |
| 94 | I R反対 | 参考 | |
| 95 | 横浜I Rはあくまでインテグレイテッドリゾートであり僅か3%のカジノ施設の事ばかり論じるのはいかなものか。I Rがなくなれば横浜は衰退していくだろう。 | 参考 | |
| 96 | 横浜市民の私はI R反対 | 参考 | |
| 97 | 反対 | 参考 | |
| 98 | 市民としてI R反対 | 参考 | |
| 99 | 反対 | 参考 | |
| 100 | I R必要なし | 参考 | |
| 101 | I Rはいりません | 参考 | |
| 102 | 私はカジノ不要を主張 | 参考 | |
| 103 | 私はカジノ不要を主張し、誘致に反対しております。 | 参考 | |
| 104 | これからの横浜の状況を考えるとチャレンジすべきだと思います。横浜らしい施設を期待します。 | 参考 | |
| 105 | I Rが成功しなければ横浜に未来はない。I R賛成 | 参考 | |
| 106 | I Rを実現すべき | 参考 | |
| 107 | I R賛成。世界中から人が集まるためには、世界で唯一のものをつくる必要があると思います。ぜひとも世界一のI Rをつくってください。 | 参考 | |
| 108 | 横浜市が魅力的なところになっていくことは大かかげいす。ただ、いろいろな面でマイナスとならないようにしんちょうに進めてほしいと思います。 | 参考 | |
| 109 | 懸念されていることについてしっかりと対策をして、ぜひ横浜らしいI Rを目指してほしい。 | 参考 | |
| 110 | 反対 | 参考 | |
| 111 | I Rの承諾は出来ません | 参考 | |
| 112 | 最近の横浜は、元気が無くなっている。コロナに負けないう、横浜にイノベーションを！I R賛成 | 参考 | |
| 113 | 横浜の将来には、イノベーションが必要ではないでしょうか？是非、進めて欲しい。 | 参考 | |
| 114 | 外国人観光客が増えるようなI Rにして欲しい。多様な文化が融合するような、イノベーションを起こして欲しい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 115 | 誘致に賛成です。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 116 | 賛成です。横浜を盛り上げるものにして下さい | 参考 | |
| 117 | IRは横浜に必要なものだと思います。 | 参考 | |
| 118 | 子供の世代のことを考えるとひとつの解決策になりうるとしています。であれば最高のものを作ってください。 | 参考 | |
| 119 | IRのコンセプトについて、横浜がこれまで経てきた歴史が分かった。開港の歴史、世界から様々なものが入ってきて、活気があった頃を取り戻して欲しい。横浜の、日本の第2の開港に期待します。IRに賛成です。 | 参考 | |
| 120 | 20年30年先のことを考えると予め手を打っておかないと手遅れになる。ぜひIRを進めていただきたい。 | 参考 | |
| 121 | 横浜こそIRが必要だと思います。 | 参考 | |
| 122 | 追取の気性と言われる横浜で、日本初のIRを否定する理由はない。 | 参考 | |
| 123 | 誘致をして是非すばらしい施設をつくってください。楽しみにしています。 | 参考 | |
| 124 | 最近新型コロナウイルス感染症の拡大防止の話題ばかりですが、横浜市も今後の少子高齢化による人口減少問題に真剣に取り組むことが大切だと思います。IRという短絡的にカジノ＝ギャンブルという発想になる人が多いと感じます。日本も世界の先進国同様、あらゆる層が楽しめる非日常的な空間施設を持つことは将来のために必要なのではと思います。今こそ真剣に議論すべきです。 | 参考 | |
| 125 | 横浜の活性化のためにはIRを実現する必要があると考えています。 | 参考 | |
| 126 | カジノ反対 | 参考 | |
| 127 | 変化を恐れずに取り組んでいただきたいと思っています。全幅の信頼をもって賛同いたします。カジノについては、是非、体験してみたいと思っています。日本のような先進国に今までなかった事が不自然だったので、と思っています。1つの娯楽としてありだと思います。依存症の問題については、ギャンブルだけに限ったことではないし、すでに国内に回っている（競馬、パチンコetc）ので、カジノに限ったことではないと考えています。観光業で外貨をかせぐことが国益や地域の活性化につながるのであれば、おおいに税金を使ってチャレンジしてください。民間でテコいれできない事を行政力でやっていただきたいです。 | 参考 | |
| 128 | IRできたらぜひ行きたい。多くの外国の人が街に来て大いにぎわうと思う。 | 参考 | |
| 129 | 反対する理由はありません。世の中、リスクのない出来事はありません。 | 参考 | |
| 130 | 横浜のみならず日本全体を考えたときにもIRは必要！ | 参考 | |
| 131 | 何事も新しいことは不安要素もありますが、かといって前進しなければ何も得ることはありません。ぜひ前向きに検討を進めていただければと思います。 | 参考 | |
| 132 | 未来の横浜の姿を描くのにIRは絶対に不可欠です。何が有っても成功させるべきです。頑張ってください！！ | 参考 | |
| 133 | 横浜は、常に賑わいのある都市であって欲しい。高齢化が進んでも、若い人達や外国人が集い、クリエイティブな活動が行われる場所として、IRが必要だと考える。 | 参考 | |
| 134 | IRに賛成します。今の横浜経済は停滞している。観光・経済にイノベーションを起こして、活性化して欲しい。 | 参考 | |
| 135 | IRは必要。絶対に成功させてください。 | 参考 | |
| 136 | IR賛成 | 参考 | |
| 137 | IR賛成する。頑張れ | 参考 | |
| 138 | 大賛成です。横浜が世界の中心であって欲しい。これからの時代は、グローバルの時代になり海外の方との交流が大変重要と思っています。一日でも早く、IR政策が成功する事を望みます。 | 参考 | |
| 139 | 超良だね。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 140 | 町の将来を見ずえた良い取組み。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらししていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 141 | 横浜超スゴイ！成長性！ | 参考 | |
| 142 | 横浜市民がうらやましい！ | 参考 | |
| 143 | スバラシイ行いだと思う | 参考 | |
| 144 | イノベーションを起こしハイブリッドな取組みは時にセンシティブな問題もはらむのでオーソドックスにかまえてスタンダードに進めてほしい | 参考 | |
| 145 | 素晴らしい取組だと思う | 参考 | |
| 146 | 進めた方が良いです。 | 参考 | |
| 147 | すばらしいとおもう | 参考 | |
| 148 | マジヤベーツ！最高っす！ | 参考 | |
| 149 | 反対です | 参考 | |
| 150 | 反対 | 参考 | |
| 151 | 反対 | 参考 | |
| 152 | IRに賛成です。横浜の明るい発展のために。 | 参考 | |
| 153 | 横浜カジノは反対です | 参考 | |
| 154 | 市長の決断に賛同します。どうせやるなら、良いものにして下さい。多くの市民も、賛成します。がんばって下さい。 | 参考 | |
| 155 | 将来を考えるとIRは必要。是非、進めてほしい。方針案に賛成 | 参考 | |
| 156 | IRに横浜らしさをいれてください 横浜の新しいまちづくりに | 参考 | |
| 157 | 新しいものを取り入れてきた横浜！次世代のために今新しい取組「IR」をしっかりと考えるべき 新しいまちづくりで横浜を世界にアピール | 参考 | |
| 158 | 反対いたしますのでよろしくご配慮願います | 参考 | |
| 159 | IR NO | 参考 | |
| 160 | IR事業について賛同します。 | 参考 | |
| 161 | IRについて賛同します。 | 参考 | |
| 162 | IRに賛成します | 参考 | |
| 163 | 市の発展のため、賛成致します。 | 参考 | |
| 164 | 現行の状況から考え、進める方向性として、賛成です。横浜市民が、一丸となって日本の成長を牽引出来る様、もっと強力にアピールして頂きたいと思えます。 | 参考 | |
| 165 | 横浜のさらなる魅力向上の為、IRに賛成です。 | 参考 | |
| 166 | 必要ありません。 | 参考 | |
| 167 | 横浜の発展 将来に向けて早くつくってもらいたい。 | 参考 | |
| 168 | 是非IRやりましょう。 | 参考 | |
| 169 | IR誘致に賛成します。 | 参考 | |
| 170 | IR反対。 | 参考 | |
| 171 | 国民を守るためです。カジノを作るのはやめてください。平和で明るい町横浜をこわさないでください。 | 参考 | |
| 172 | 山下ふ頭を開発し、横浜らしく、でも、これまでにないスケール、クオリティを有するIRにしてほしい。 | 参考 | |
| 173 | IR賛成。ディズニーランドでも地元の人の日みたいなのがあるので、IRでも市民の日をつくって、楽しませてください | 参考 | |
| 174 | 横浜IR総合型リゾート施設に賛成します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 175 | カジノではない97%の施設をいかに魅力的なものにするか、そこが重要です。今までの決まりの枠組みにとらわれ続けていたら、今まで通りのものしかできません。「今までの枠組みをこえて」取り組むという意気込みがほしい。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 176 | 今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会をはじめ、様々な、社会的課題を抱えていく中で、IRの横浜誘致実現は、非常に有効な方で、あると考えています。横浜IRの方向性（素案）は、大いに賛同できる内容であり、ぜひ将来の横浜のためにも着実に推進していただきたい。 | 参考 | |
| 177 | 横浜の発展には、不可欠であり、賛成です。 | 参考 | |
| 178 | 私は、横浜市が提案している「IRの方向性」に賛成し、事業の推進を強く希望します。老年人口の増加、老朽化する社会インフラの更新、税収不足など、横浜市が抱える政策課題に取り組むためにも、財源の多様化は避けて通れません。安全・安心な横浜モデルを構築しつつ、活力ある横浜の実現に向けた重要な取り組みとして、「IR」にしっかりと取り組んで欲しい。 | 参考 | |
| 179 | 成功を祈っております。 | 参考 | |
| 180 | いいと思います。 | 参考 | |
| 181 | 基本コンセプトの実現が、行なわれることを、祈るのみです。 | 参考 | |
| 182 | 横浜カジノは反対です。 | 参考 | |
| 183 | 反対 | 参考 | |
| 184 | 反対と表明 | 参考 | |
| 185 | yokohamaに必要ありません | 参考 | |
| 186 | 「反対です。」 | 参考 | |
| 187 | カジノは反対です！ | 参考 | |
| 188 | みなとみらいの開発も当初は大反対していた人が多かったが今は、観光地として発展しています。来外者数も年々と増え企業の進出、雇用者数も増えている。そのことを考えるとIRは、今後の横浜にとってとても重要な資源でもあり、第二のみなとみらい的な、要素もあると思います。IRには賛成します。すばらしい横浜をつくって下さい。 | 参考 | |
| 189 | IR賛成いたします。 | 参考 | |
| 190 | IRの誘致に賛同するようになりました。私は有権者として、将来の豊かなサービスを守るために、「増税」は最後の手段としてほしいと思っています。IRは民設民営なので、市は土地やインフラ整備だけでよいので、まずは、増税の前にIRを成功させてほしいです。 | 参考 | |
| 191 | これまで日本にはないIRをつくり、横浜の、さらには日本の魅力を高めることを期待しています。これまでにない新しいものを取り入れないと、少子高齢化等、による財政難を乗り越えることはできないと思います。 | 参考 | |
| 192 | IRをぜひ横浜に。 | 参考 | |
| 193 | IR楽しみです。 | 参考 | |
| 194 | 将来の横浜のためにIRを！ | 参考 | |
| 195 | IR賛成 | 参考 | |
| 196 | 横浜ほどIRが似あう街はない。 | 参考 | |
| 197 | ぜひ横浜にIRを！ | 参考 | |
| 198 | IRは横浜に必要 | 参考 | |
| 199 | IRを機に世界のYOKOHAMAに！ | 参考 | |
| 200 | 横浜にスバラシイIRを！ | 参考 | |
| 201 | ぜひ横浜にIRを！ | 参考 | |
| 202 | IR楽しみです。 | 参考 | |
| 203 | IRできたらぜひ行きたいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 204 | 愛あるIRに！楽しみです。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 205 | ぜひ横浜にIRを！ | 参考 | |
| 206 | 横浜にIRは必要です。 | 参考 | |
| 207 | IRができればぜひ行きたい！ | 参考 | |
| 208 | IR賛成。カジノよりパチンコの方が問題あると思う。 | 参考 | |
| 209 | IRをぜひ横浜に | 参考 | |
| 210 | 横浜の街にIRは良く似合う。 | 参考 | |
| 211 | IRを反対する理由はない | 参考 | |
| 212 | IR賛成 | 参考 | |
| 213 | やめる | 参考 | |
| 214 | 少子高齢化が進むなか、税収の確保・雇用の確保の観点からIRの果たす役割は大変大きいと考えます。日本を代表する施設になることを期待しています。 | 参考 | |
| 215 | カジノ誘致反対です | 参考 | |
| 216 | 採算性がとれるなら、IRは賛成です。より良いまちづくりをして下さい。 | 参考 | |
| 217 | 横浜統合リゾート計画について横浜の発展のためには必要と思われる | 参考 | |
| 218 | 将来の横浜のことを考えると、IRは必要な施設だと考えます。絶対に実現してください。 | 参考 | |
| 219 | IR楽しみです。早く横浜に出来ることを楽しみにしています。 | 参考 | |
| 220 | IR賛成。将来的には、山下ふ頭も拡張できる選択肢もあると良いと思います。 | 参考 | |
| 221 | 横浜IR（統合型リゾート）の建設について、基本的に賛成です。 | 参考 | |
| 222 | 早く見たい。この計画を成功させなければ横浜の未来は無い。 | 参考 | |
| 223 | 支持します。 | 参考 | |
| 224 | 反対 | 参考 | |
| 225 | 反対 | 参考 | |
| 226 | 反対 | 参考 | |
| 227 | 絶対に反対。 | 参考 | |
| 228 | 反対 | 参考 | |
| 229 | 反対致します | 参考 | |
| 230 | 横浜市の発展のために、有識者の意見をきき、成功させて欲しいです。 | 参考 | |
| 231 | 横浜が世界に注目されるチャンス！IRが出来る事を楽しみにしています。 | 参考 | |
| 232 | 楽しみにしている。 | 参考 | |
| 233 | 市長、だれの為のIRカジノですか。反対です。 | 参考 | |
| 234 | 「横浜IR推進絶対反対です。」 | 参考 | |
| 235 | カジノは反対です。 | 参考 | |
| 236 | 大賛成です。横浜はいいよと言って東京から横浜に来てもらいました。さらに良くしてもらいたいですね。 | 参考 | |
| 237 | 大賛成です。横浜がいいと思って嫁いで来ました。IRも含めさらに良くしてもらいたいです。 | 参考 | |
| 238 | 横浜の未来のさらなる飛躍の為IRを支持致します。 | 参考 | |
| 239 | 反対です | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 240 | 反対。同意できません | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらししていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 241 | 今誘致が必要なのですか？反対です | 参考 | |
| 242 | 早く進めていただきたいと思います。 | 参考 | |
| 243 | 楽しみにしています。 | 参考 | |
| 244 | 反対です | 参考 | |
| 245 | IR実現によって、地域活性化に繋がるので良いと思います。 | 参考 | |
| 246 | 未来の子供のために賛成です。横浜がもっと豊かになる事を祈っています。 | 参考 | |
| 247 | 反対 | 参考 | |
| 248 | 反対いたします | 参考 | |
| 249 | IR、賛同できません | 参考 | |
| 250 | カジノには反対です 横浜の利益にはなりません。 | 参考 | |
| 251 | 市民、地域民の有益になるよう期待しています。 | 参考 | |
| 252 | 横浜IRの実現を楽しみにしています。 | 参考 | |
| 253 | 横浜市の将来の為に期待しています。 | 参考 | |
| 254 | もう一つ上のステージに横浜が行くためには、IRが必要。 | 参考 | |
| 255 | IR施設の誘致で、シンガポールのように資源がなくても、豊かな横浜を作ってください。 | 参考 | |
| 256 | 将来を見据えた施策として、IR誘致は必要な一手。魅力的で、豊かな横浜を、創りだして。 | 参考 | |
| 257 | 横浜カジノに反対です | 参考 | |
| 258 | 国内経済の厳しさや少子化など、多岐にわたり課題はあるが、みなと横浜の明るい未来のためのチャレンジ・起爆剤として推進してほしい。 | 参考 | |
| 259 | 市民の豊かな暮らしのために、横浜に新しい魅力あるIR施設の誘致を。 | 参考 | |
| 260 | 素晴らしい計画だと思います。がんばってください！ | 参考 | |
| 261 | ぜひ世界各国の人がおとずれるような横浜になってほしいと思います。 | 参考 | |
| 262 | IRの実現に賛成します。 | 参考 | |
| 263 | 素晴らしい計画だと思います。IR実現を期行しています。 | 参考 | |
| 264 | 盛りこみすぎてわかりにくくなっていますが、素晴らしい計画だと思います。ぜひ実現してください。 | 参考 | |
| 265 | ぜひIRを作り上げてほしいと願っています。地元の住民も同じ考えのものが多数、あまり反対の声はききません。本当にいいものを市が作るうとして知っていることを知っています。負けずに頑張ってください。 | 参考 | |
| 266 | 「横浜IRの方向性」の記載は良いと思う。賛成する人が集えるようなイベントがあれば、賛成の声の大きさを世間に示すことができると思います。わたしは賛成です。 | 参考 | |
| 267 | カジノいいじゃないか！賛成！ | 参考 | |
| 268 | 新たなものをつくる時臆してはならぬ。頑張れ | 参考 | |
| 269 | 私は賛成する（私の仲間はみんな賛成、反対がそんなに多いとは思えない） | 参考 | |
| 270 | 私の周りも、「IR」とは何かわかっている人間は理解しています。なぜか「カジノ」にかたくな一部のさわざにまどわされずにぜひ進めてください。 | 参考 | |
| 271 | 横浜にIRは必要です。 | 参考 | |
| 272 | 将来を担う私達より下の世代の声は正しく反映されていません。私は作ってほしい！皆そう言っています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 273 | 負けるな | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 274 | 夢のある計画。ぜひ実現を。 | 参考 | |
| 275 | 「市民の総意は反対」みたいに言っていますが、決してそんなことはありません。なぜそんなことを言いきれるのかわかりません。私の近所・周囲の人はみんな楽しみにしています。 | 参考 | |
| 276 | 大都市横浜においても、今後は人口が減少し、少子化高齢化が一層進んでいくことが現実となっており、持続的な都市の発展を実現していくためにも、IR誘致は有効な取り組みであり、市民が抱いているカジノに対する不安を払拭する安心安全な横浜IRの実現に向けて、是非とも推進してほしい。 | 参考 | |
| 277 | 横浜市（日本）にカジノは必要ない。 | 参考 | |
| 278 | 町も人間も崩壊です！ | 参考 | |
| 279 | ぜひ、世界最高のIRを実現して下さい。基本コンセプトの「魅力や資源と一体的に整備」という件が、具体的に何なのか分かりません。これまでの街の魅力や資源と融合するだけで良いのでは？融合するために、ハード整備やソフトな取組もついてくるものだと思います。 | 参考 | |
| 280 | 横浜を世界から選ばれるディステーションにすることに賛成です。 | 参考 | |
| 281 | 横浜IRはいらない。 | 参考 | |
| 282 | 中止すべき | 参考 | |
| 283 | とにかくカジノは反対です | 参考 | |
| 284 | IR施設はいらない | 参考 | |
| 285 | IR構想に賛同します。 | 参考 | |
| 286 | 横浜IR構想に賛同します。 | 参考 | |
| 287 | IR構想に賛同します。雇用を生み出し、魅力あるIRになる事を望みます。 | 参考 | |
| 288 | 横浜にカジノはいりません。絶対反対です | 参考 | |
| 289 | ぜひ推進してほしい。 | 参考 | |
| 290 | 方向性はすばらしいと思います。 | 参考 | |
| 291 | “イノベーション”IRというコンセプトはわかりにくいと思います。 | 参考 | |
| 292 | 「基本コンセプト」には特に異論なし。 | 参考 | |
| 293 | IR誘致に賛成です。横浜市の現在の財政や課題（インバウンド客や宿泊客の少なさ）を考えると、IRが横浜市を真の観光都市として発展させる役割を担うことが出来ると考えています。特に現在のコロナ問題でインバウンドや経済が落ち込むことは目に見えている中、IRに期待するところは大きいです。 | 参考 | |
| 294 | 横浜市はこれから人口減少を迎え、超高齢化社会により財政的に厳しい状況になりそうですが、観光客の増加、経済の活性化、横浜市の収入増加につながるのであれば、安全で安心して利用できるIR施設の整備を進めてもらいたいです。 | 参考 | |
| 295 | IRによって市民の暮らしが豊かになるのであれば賛成です。 | 参考 | |
| 296 | 横浜を更に魅力のある都市にするためには、これほどのチャンスは今後訪れないだろう。感情的になるのではなく、一人ひとりが真剣に横浜の将来を考えてほしい。IRは是非実現してほしい。 | 参考 | |
| 297 | 横浜IRによって横浜がかなり変わり私達市民の暮らしが豊かになる事を願います | 参考 | |
| 298 | IRの実現とても楽しみにしています。世界の横浜となる様に。 | 参考 | |
| 299 | 私自身はあと何年も大好きな横浜の街々を歩けないかもしれないけど、後の世代の方々にこの横浜を楽しんでいただけたらと思っています。 | 参考 | |
| 300 | ミナト横浜にカジノはいらない！カジノは大反対！ | 参考 | |
| 301 | 横浜にカジノはいらない。カジノは絶対に誘致しないでください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 302 | 日本にカジノを誘致する事に反対します。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらししていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 303 | カジノは絶対反対です。 | 参考 | |
| 304 | IRについてあまり知りませんでしたが、とてもワクワク感のあるものだと思います。いいものを作ってください。 | 参考 | |
| 305 | IRができることに賛成します。 | 参考 | |
| 306 | パブリックコメントの内容、たいへんいいと思います | 参考 | |
| 307 | 市民に負担をかけるな！！『IR反対』 | 参考 | |
| 308 | 横浜市の考えを応援しています がんばってください 中・小企業者は大変キタイしています | 参考 | |
| 309 | 私は賛成である。 | 参考 | |
| 310 | 基本的にIRには賛成です。パブリックコメントなど、こういう機会を多くつくり、人々をまき込んでいくことだと思います。必ず、状況は変わってきます。 | 参考 | |
| 311 | 反対している人ばかりではありません。賛成している人も多くいます。 | 参考 | |
| 312 | IR賛成です。 | 参考 | |
| 313 | 横浜が大好きです。IR、ぜひできてほしいと思っています。 | 参考 | |
| 314 | 私の周りでは、高齢者ほどカジノに反対していて若者はそこまで悪いものとは思っていないだと思います。冊子の内容もたいへん魅力的です。 | 参考 | |
| 315 | 横浜が更に、市民の誇れる、国際的な都市となり、市民が、更に生き生きと生活できる、活力ある都市であり続ける為に、IRは、必要です。 | 参考 | |
| 316 | 何かを新たにつくるとき、反対はつきもの。臆することなく進んでほしい。応援している | 参考 | |
| 317 | IRに賛成しています。今まで以上に観光資源が増えることは大きなメリットです | 参考 | |
| 318 | 賛成の人が多数います。反対ばかりではありません。私もいいと思っています | 参考 | |
| 319 | 横浜市の一市民としてIR事業の成功をお祈り申し上げます | 参考 | |
| 320 | これからの横浜にカジノはいりません。 | 参考 | |
| 321 | カジノ賛成派である | 参考 | |
| 322 | 私はIRは賛成。 | 参考 | |
| 323 | 反対です。撤回すべきです。 | 参考 | |
| 324 | 横浜にカジノは、いりません。 | 参考 | |
| 325 | 横浜IRカジノに反対します | 参考 | |
| 326 | 横浜が今よりもっと住みやすい都市になるのを楽しみにしています。 | 参考 | |
| 327 | 楽しみにしています | 参考 | |
| 328 | 横浜IRカジノに反対します。 | 参考 | |
| 329 | 横浜IRカジノに反対 | 参考 | |
| 330 | 私はカジノに反対です | 参考 | |
| 331 | 横浜へのカジノ誘致に反対します IRカジノは撤回して下さい 今のみなとみらいが好きです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 332 | IR事業の総意 ①横浜市の増収益 ②日本の港町の中心都市としての位置づけ ③「YOKOHAMA」という世界都市（ブランド・シティ）の発信 私は、一横浜市民として、IR事業の推進は必要不可欠と結論づけております。ただ、横浜市が、国益の歯車として推し進める事業ではなく、「YOKOHAMA」単体としての開発ビジョンを「真意」としなければ、不安を抱く市民の背中を力強く押し切めることは、不可能と感じます。是非、世界に発信できる「ブランド・シティ」の構築を心から願っております。 | 参考 | 今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。 「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。 横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！ そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞ 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 333 | 横浜市には遊ぶところが少ない。IRにはとても期待しています。 | 参考 | |
| 334 | しっかりやって下さい | 参考 | |
| 335 | 私も全く同感です反対。 | 参考 | |
| 336 | IRで人が多く訪れることで市全体へ良い影響があると思いました。 | 参考 | |
| 337 | 新しいものを取り入れて、街を良くしていくのはいいことだと思う。 | 参考 | |
| 338 | このままでは日本の経済は衰退し住んでいる我々の未来が暗いものとなる。IRのように今までにない刺激は必要となってくると思う。 | 参考 | |
| 339 | 賛成です。横浜の財政を立て直す事により市民の生活も良くなると思います。 | 参考 | |
| 340 | 賛成です。高らしい化が進む中、今のままではキビしいと思います。新しい発想のIRの実現を期待しています。 | 参考 | |
| 341 | 賛成です。早くつくってください | 参考 | |
| 342 | 賛成。計画が無くなる前に早くつくって下さい。 | 参考 | |
| 343 | ぜひつくって下さい。 | 参考 | |
| 344 | IRカジノは撤回して下さい。 | 参考 | |
| 345 | 横浜のカジノを含むIR計画に反対します。 | 参考 | |
| 346 | どうせ日本に3ヶ所IRが整備されるなら、ぜひ横浜に！！ | 参考 | |
| 347 | 横浜が将来も発展していくためであれば、IRも必要と考えます。 | 参考 | |
| 348 | 心配ばかりせずに、是非実現していただきたいです。 | 参考 | |
| 349 | IRを横浜に誘致してぜひともイノベーションをもたらして下さい。 | 参考 | |
| 350 | 中長期視点でみたととき、日本全体で取り組むべき課題（高齢化社会、自治体の財政改善等）に対し、IR事業がその打開策になることを横浜市が先駆けとして証明できれば、今後カジノ含めたIR事業へのイメージも前向きに変わると考える。一方で、レピュテーションリスクに対する整理、足許の経済動向の見極めは非常に重要。 | 参考 | |
| 351 | 集客と経済活性化と増収の起爆剤となる事業である 是非実現させて欲しい 横浜都心部のさらなる発展に不可欠な事業である。大きなチャレンジとなるが、横浜市には頑張ってもらいたい。 | 参考 | |
| 352 | 横浜IRなら良い点が多く、実現しても問題ないと思います。 | 参考 | |
| 353 | 進取の気概を忘れず世界最高のIRを誘致してほしい。 | 参考 | |
| 354 | 人口減少社会を迎える今、IRは大変有効な事業だと思います。 | 参考 | |
| 355 | 山下ふ頭だけでなく、都心臨海部と融合するというコンセプトはとてもいいと思います。 | 参考 | |
| 356 | 財政改善への一助となるのであれば、IRを是非実現し、市民へ還元していただきたい。ひいては横浜市へ来たがる（住んでみたくなる）人たちがもっと増えていくことにもつながり、従来から住んでいる人たちにとっても自慢の街であるといえるものを作っていただきたいと心から願います。 | 参考 | |
| 357 | 横浜は全国で住みたい市に選ばれたこともあります。これからも住みたい市でありつづけるために、魅力的な市でありつづけるためにIRを誘致してください。 | 参考 | |
| 358 | 動画をみて、イメージが具体化しました。横浜にIRは必要です。 | 参考 | |
| 359 | 横浜が日本の玄関口として、世界各国の観光客がくれば横浜はもっと活気にあふれる。何としてもIRを山下ふ頭に誘致してほしい | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 360 | 期待している。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様丁寧に説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 361 | 楽しみにしている。 | 参考 | |
| 362 | 市民の豊かな暮らしに期待している。 | 参考 | |
| 363 | 開港の地である横浜には、日本初のIRは最適。ビジネス・観光・経済にイノベーションを！！ | 参考 | |
| 364 | 横浜に課題が山積しているのはわかるので、早くIRを実現して横浜を豊かにしてほしい。 | 参考 | |
| 365 | 今のままの山下ふ頭では市民にメリットが何もない。早くIRを実現して楽しめる場所を作ってほしい。 | 参考 | |
| 366 | イノベーション、デスティネーション、ゲートウェイ、未来の街のショーケースなど、カタカナ言葉を散りばめ、耳に聞こえのいいイメージのすり込みにしか思えない。カジノもホテルもMICEもエンタメ施設も、レストラン・ショッピングモールも、既存のものをカジノのいかかわしさを隠すため、寄せ集めただけで、それをイノベーションというのとは違うと思う。 | 参考 | |
| 367 | 昔ながらの港町横浜も大好きですが、今のままでは街としての発展は望めないと思います。楽観的ではなく、現実を直視する事が必要で、この方向性に書いてある課題解決が求められていると思います。是非実現してほしいです。 | 参考 | |
| 368 | 横浜に魅力的な観光スポットがたくさんできれば、働く場所遊ぶ場所、憩う場所を選べるようになる。IRができるのを心待ちにしています。 | 参考 | |
| 369 | 方向性の内容について賛成です。是非横浜が賑やかになり、市民の生活が豊かになるIRを作って下さい | 参考 | |
| 370 | 今の横浜では、若い人にとって魅力的な街ではないと思います。働く場所・遊ぶ場所誰かと美味しい食事を楽しむ場所として、魅力的なIRを実現してほしい。この方向性について賛成です。 | 参考 | |
| 371 | 横浜IRは良いと思います。もっとはっきり横浜市の衰退の恐れを書いて下さい！ | 参考 | |
| 372 | 横浜IRの方向性とても素晴らしいです。実現よろしくお願いします。楽しみにしています。 | 参考 | |
| 373 | IRで楽しい横浜にしてください。 | 参考 | |
| 374 | 早くIRを実現できるよう頑張ってください！ | 参考 | |
| 375 | 横浜の未来を考えたら、強力な改革をしなければダメ。IRはそれに一番近いと思う。 | 参考 | |
| 376 | これからの横浜の発展を願って、横浜IRに賛成します | 参考 | |
| 377 | IR賛成 | 参考 | |
| 378 | 反対。同意できません | 参考 | |
| 379 | IR楽しみです。早くつくってください。 | 参考 | |
| 380 | IRの設置に同意できません。カジノについてはもっての他でダメです。 | 参考 | |
| 381 | 反対 | 参考 | |
| 382 | 国際競争力の低下をIRでカバーすることはできません「反対を主張」 | 参考 | |
| 383 | 市長のIR誘致の賛同はできません 反対いたします | 参考 | |
| 384 | IR楽しみです。カジノのかけ金を低く設定してください | 参考 | |
| 385 | IR賛成です 早くつくってほしいです。 | 参考 | |
| 386 | 必要としません | 参考 | |
| 387 | 反対 | 参考 | |
| 388 | 反対です | 参考 | |
| 389 | 人口減少、高齢社会の早急な対策と、さらなるグローバル都市を目覚し、横浜IRを早く実現してほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 390 | 横浜IRに賛成します。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 391 | 横浜IRに賛成します | 参考 | |
| 392 | 横浜IRに賛成です。 | 参考 | |
| 393 | IRに賛成します。 | 参考 | |
| 394 | 横浜IRに賛成します | 参考 | |
| 395 | 横浜IR構想に賛同します。 | 参考 | |
| 396 | 横浜IRに賛成します | 参考 | |
| 397 | はやくIRつくってほしいです | 参考 | |
| 398 | 素案を読むと世界最高水準のIRを実現するとうたっているが、写真や画からだけでは想像もつかない。デイズニーランドを超えるものでなければ世界からの客を呼び込むのは難しいのではないかと？人口減少、超高齢化に対する財政を考慮するのであればIRはやめて堂々とカジノだけにした方が良いと思う。むしろオペラやバレエの劇場とセットにしたらどうですか。 | 参考 | |
| 399 | 賛成致しません | 参考 | |
| 400 | 賛同出来ません | 参考 | |
| 401 | 今回の市民からの声を政策に生かして、有効活用を！反対 | 参考 | |
| 402 | 「反対」 | 参考 | |
| 403 | 横浜にIRは不要 | 参考 | |
| 404 | 反対 | 参考 | |
| 405 | 反対 | 参考 | |
| 406 | 絶対反対です | 参考 | |
| 407 | （市民抜きでの政治は変わる）反対 | 参考 | |
| 408 | わたしは、反対です | 参考 | |
| 409 | 反対です | 参考 | |
| 410 | 反対 | 参考 | |
| 411 | 賛成しません | 参考 | |
| 412 | 反対です | 参考 | |
| 413 | 反対します | 参考 | |
| 414 | いらぬ。やめてほしい。 | 参考 | |
| 415 | 反対です | 参考 | |
| 416 | 反対 反対 反対 反対 | 参考 | |
| 417 | 誘致はんたい | 参考 | |
| 418 | 反対です | 参考 | |
| 419 | 絶対反対です | 参考 | |
| 420 | 反対です | 参考 | |
| 421 | 反対 | 参考 | |
| 422 | NO CASINO! | 参考 | |
| 423 | 素案では、横浜の街作りの観点でなぜカジノ施設が必要であるか納得できる理由を説明していません。「日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します」とありますが、玄関にカジノが必要な意味がわかりません。 | 参考 | |
| 424 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）は、問題がありますので、横浜市は、このような問題がある根拠を基に誘致を進めるべきではなく、横浜IR（統合型リゾート）誘致を撤回するべきであると考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 425 | 絶対反対です | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 426 | 私はカジノに反対です！ | 参考 | |
| 427 | 横浜のカジノは反対です。 | 参考 | |
| 428 | カジノはいりません。横浜に、カジノはいりません。反対します。 | 参考 | |
| 429 | 横浜にカジノはいりません 全国どこにもいりません カジノよりも困っているママ達に中学校給食をして下さい。 | 参考 | |
| 430 | カジノを含むIRに、絶対反対です。 | 参考 | |
| 431 | 絶対反対です。家族も同様です | 参考 | |
| 432 | 絶対、ノーと、声を大に、して、反対いたします。カジノは、No！！ | 参考 | |
| 433 | 横浜にカジノはいりません！ | 参考 | |
| 434 | 反対。IR赤字の場合の補償。 | 参考 | |
| 435 | 反対です | 参考 | |
| 436 | 横浜IRに反対します。実施するのみでその根拠が不明。 | 参考 | |
| 437 | 絶対反対！ | 参考 | |
| 438 | IRには反対。だいたいにおいてその方向に行くには遅すぎる。マカオ、シンガポールとか韓国も参入している。中で後発組に入る横浜、何の特徴が有るのか他の国と同じ内容じゃ競争に負ける。 | 参考 | |
| 439 | 実施すべし！！横浜の、土地柄とは、インターナショナルで、日本で初めての物を受け入れる場所です。山下公園のヨコは、アイソレートされた場所であり、問題なし。 | 参考 | |
| 440 | 横浜は古来より文化発祥の地 全世界から優れた文化等をいち早く、紹介し全国展開すべき。カジノ施設の代わりに、横浜に来ればこれからの文化、社会を体験出来る様な壮大な施設を作るべき。 | 参考 | |
| 441 | カジノには大反対 | 参考 | |
| 442 | 横浜に「カジノ」はいらない。 | 参考 | |
| 443 | 横浜に「カジノ」はいらない。 | 参考 | |
| 444 | カジノはいらない！横浜にIR不要 | 参考 | |
| 445 | IRカジノ構想案を撤回して下さい。絶対反対です | 参考 | |
| 446 | 何が何でも大反対です。横浜市に負の遺産が増えるのは次世代の人達にとってとても苦しいことです。 | 参考 | |
| 447 | カジノIR絶対反対です。 | 参考 | |
| 448 | 反対 | 参考 | |
| 449 | カジノに反対です。 | 参考 | |
| 450 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）は、問題がありますので、横浜市は、このような問題がある根拠を基に誘致を進めるべきではなく、横浜IR（統合型リゾート）誘致を撤回するべきであると考えます。 | 参考 | |
| 451 | 横浜IR大賛成です。国際都市港ヨコハマに、ピッタリです。人が多く出入りするそれだけでも商店その他多くが、潤います。 | 参考 | |
| 452 | 横浜IR、カジノには反対です。 | 参考 | |
| 453 | 大賛成です。 | 参考 | |
| 454 | 横浜にカジノはいらない。カジノ誘致だけは取りさげて欲しい。 | 参考 | |
| 455 | 横浜にカジノは必要なし | 参考 | |
| 456 | カジノは不要です！ | 参考 | |
| 457 | カジノに絶対に反対です | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 458 | 横浜IRの方向性素案に同意いたしかねます。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 459 | 私はカジノ「賛成」です。 | 参考 | |
| 460 | IRカジノ絶対反対。IRカジノを横浜に作る必要はない。 | 参考 | |
| 461 | IRカジノは反対です。 | 参考 | |
| 462 | 横浜IRに反対します。 | 参考 | |
| 463 | カジノだけは絶対反対です。 | 参考 | |
| 464 | カジノは、絶対反対です。 | 参考 | |
| 465 | カジノのは「否」 | 参考 | |
| 466 | カジノもIRもいらない | 参考 | |
| 467 | カジノは絶対反対です。 | 参考 | |
| 468 | 横浜に賭博は不用！！ | 参考 | |
| 469 | 日本人の原点に戻る活動をしよう。IRは絶対に反対する。 | 参考 | |
| 470 | ぜったいカジノを作ってはいけない。 | 参考 | |
| 471 | ギャンブル依存症対策よりも「カジノを作ってはいけない」と思います。誘致は撤回して下さい。 | 参考 | |
| 472 | 横浜にカジノを含むIRは必要ありません。 | 参考 | |
| 473 | カジノは、絶対反対です。 | 参考 | |
| 474 | カジノは、絶対反対です。考え直して下さい。 | 参考 | |
| 475 | 横浜IRには反対です。社会の為になんの役にもたないからです。 | 参考 | |
| 476 | 「カジノ」は設置反対。 | 参考 | |
| 477 | カジノ反対です | 参考 | |
| 478 | 横浜IR統合型リゾートに絶対反対いたします。 | 参考 | |
| 479 | カジノは絶対反対です。自分の子供の将来のためにそのような施設は作ってほしくないです。 | 参考 | |
| 480 | ギャンブル反対。横浜にIRは必要ないです。 | 参考 | |
| 481 | カジノを含む横浜市の総合リゾート業に反対です。 | 参考 | |
| 482 | 私たちの町にカジノは要りません。海の青、山の緑を金（カネ）まみれにしてはいけない、そう考えます。 | 参考 | |
| 483 | 絶対反対です。 | 参考 | |
| 484 | 市民感情を無視して無理推しに断固反対します。今回は反対します。 | 参考 | |
| 485 | 反対です。 | 参考 | |
| 486 | 横浜にはカジノはいらない。 | 参考 | |
| 487 | 横浜を賭博場にしないで下さい | 参考 | |
| 488 | カジノは、大反対です。 | 参考 | |
| 489 | IRがどんなプランを建てようが、金太郎アメのような施設が増えるにすぎない。 | 参考 | |
| 490 | IRカジノは絶対反対です！！ | 参考 | |
| 491 | 横浜発は日本初、頑張れ | 参考 | |
| 492 | カジノ反対。 | 参考 | |
| 493 | カジノ反対です。 | 参考 | |
| 494 | IRカジノ反対 | 参考 | |
| 495 | カジノに断固反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 496 | 横浜に、「カジノ」はいません。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらししていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 497 | 経済面から、海外に既に多くのカジノがあり、国際的知名度が高くない横浜にわざわざやって来るお客は期待出来ず、競争力は無い。 | 参考 | |
| 498 | カジノを含むIR施設を横浜市につくことに反対致します。 | 参考 | |
| 499 | 横浜には、カジノはNOです。 | 参考 | |
| 500 | 反対！ | 参考 | |
| 501 | 横浜IR絶対、絶対反対です！！ | 参考 | |
| 502 | 横浜IR（統合型リゾート）建設には絶対反対します。 | 参考 | |
| 503 | なぜ反対するか横浜市長は解っていると思います。市民、国民を守る立場の方ですから、市長にはガッカリ！！です。考え直し下さい！！ | 参考 | |
| 504 | 横浜IR建設には絶対反対します。 | 参考 | |
| 505 | IRカジノ建設は反対です。 | 参考 | |
| 506 | カジノ誘致に反対します。 | 参考 | |
| 507 | 横浜カジノは反対です。中学給食をやって下さい。もう1度市民の声を聞いて考えなおして下さい。 | 参考 | |
| 508 | とても許せるものではありません。横浜の今を変えてしまうことに、絶対反対します。 | 参考 | |
| 509 | ギャンブル場は反対です！ | 参考 | |
| 510 | 家族だけが反対の署名したいです。 | 参考 | |
| 511 | カジノ誘致に反対します。 | 参考 | |
| 512 | 市長は何を根拠にIRに走るのか絶対に反対する。 | 参考 | |
| 513 | 必要ありません。 | 参考 | |
| 514 | 中止 | 参考 | |
| 515 | 横浜にカジノは不要です。 | 参考 | |
| 516 | カジノ反対！将来に不安！ | 参考 | |
| 517 | 反対です | 参考 | |
| 518 | 横浜カジノ反対です。 | 参考 | |
| 519 | カジノは、絶対反対します。 | 参考 | |
| 520 | カジノは絶対反対します | 参考 | |
| 521 | IRに反対です。 | 参考 | |
| 522 | “カジノは反対”の切実な声をしっかりと聞いて下さい | 参考 | |
| 523 | カジノは反対です | 参考 | |
| 524 | 「横浜カジノは反対です！」文化水準の高いこの素晴らしい横浜市に、カジノは、入りません。 | 参考 | |
| 525 | 横浜市に住んでいます。カジノはいらない。 | 参考 | |
| 526 | カジノを作るのは絶対やめて下さい。孫子まで平和な横浜市でありたいから。 | 参考 | |
| 527 | 横浜にカジノはいません。私達のくらしはもうがまんが出来ません。 | 参考 | |
| 528 | 日本にカジノを作ってはけません。 | 参考 | |
| 529 | 私は賛成です。世界をみますとその国の首都にはどれほどの多くのカジノ及リゾートが有るの知ってますか。日本の首都、横浜にカジノ・リゾートとてもチャンスです。 | 参考 | |
| 530 | 横浜市民の為のものは、必要ですが、カジノは必要としません。 | 参考 | |
| 531 | カジノありきのIRには反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 532 | 反対！！ | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 533 | カジノ大反対！今の子どもたち、若い人達にカジノのある横浜を残すこと大反対！ | 参考 | |
| 534 | カジノ反対！！ | 参考 | |
| 535 | 横浜カジノ反対です。 | 参考 | |
| 536 | 「カジノ反対」 | 参考 | |
| 537 | カジノはいらない。 | 参考 | |
| 538 | 文化都市横浜にカジノはいらないです。絶対反対です。 | 参考 | |
| 539 | カジノは反対です。 | 参考 | |
| 540 | 絶対反対します | 参考 | |
| 541 | 私は横浜がとばく場になるのは大反対です。 | 参考 | |
| 542 | カジノ絶対反対！！ | 参考 | |
| 543 | ギャンブルいらない。大反対。横浜でギャンブルは、ぜったいいらない。 | 参考 | |
| 544 | 横浜市にカジノはいらないに賛成 | 参考 | |
| 545 | 横浜カジノは反対です。 | 参考 | |
| 546 | 横浜カジノは反対です。 | 参考 | |
| 547 | 横浜カジノは反対です。 | 参考 | |
| 548 | 横浜カジノは反対です！ | 参考 | |
| 549 | 横浜カジノは絶対「反対」です。 | 参考 | |
| 550 | 「横浜にはカジノはいらない」 | 参考 | |
| 551 | 横浜市にカジノはいらない。カジノは反対です | 参考 | |
| 552 | 横浜カジノは反対です。 | 参考 | |
| 553 | IRカジノに反対。 | 参考 | |
| 554 | カジノIRは反対です。 | 参考 | |
| 555 | IRカジノは断念し市民生活を支える市政に！なんとしてもカジノは反対です。 | 参考 | |
| 556 | P. 23参考例として、国と同様にシンガポールを挙げているが、横浜市はこの例に当てはまらない。インナーハーバー内と山下埠頭との関係性で展開しているが、カジノを原動力とするのであれば、規模が小さく、不十分な発想である。横浜へ行けばカジノが出来る、その一点で国に尽くす結果となる。 | 参考 | |
| 557 | 横浜カジノは反対です。 | 参考 | |
| 558 | バクちは絶対ダメです。 | 参考 | |
| 559 | 横浜IRカジノ反対です | 参考 | |
| 560 | IRカジノは反対します。墮落の元カジノは中止して、自然美溢れる横浜を守って下さい。 | 参考 | |
| 561 | カジノは絶対に誘致しないで下さい！！絶対反対！ | 参考 | |
| 562 | お願いしますカジノは絶対誘致しないで下さい！ | 参考 | |
| 563 | IRに、絶対に反対！！ | 参考 | |
| 564 | 高齢化が進む日本において、人口減少や働き手の減少など、経済の衰退が危ぶまれます。横浜に世界最高水準のIRを実現しようという横浜IRの方向性は、IRを起因とする交流人口の増加により、観光収入が増加するとともに横浜神奈川に大きく好影響があると思われまます。更なる将来の飛躍につながる方向性で大賛成です。 | 参考 | |
| 565 | 横浜IR絶対反対 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 566 | 私はカジノの導入には反対します！！ | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 567 | IRに反対します。カジノは全く必要ない。 | 参考 | |
| 568 | 市長は市民の声を聞け。カジノ誘致反対。市長はカジノ中核とするIR方針の撤回を決断することを求める。 | 参考 | |
| 569 | IRの推進に反対します。 | 参考 | |
| 570 | 横浜には横浜にしかない歴史や風土があります。良いところを引き出す政策を考えて下さい。反対意見に耳をかたむけ、考えて下さい。 | 参考 | |
| 571 | すでにアジアには、マカオ、韓国、シンガポール、フィリピン、カンボジアに多数のカジノが存在し、外国人観光客を日本に誘致することに過大に期待することはできない。 | 参考 | |
| 572 | カジノ反対 カジノNo | 参考 | |
| 573 | 「カジノ」は絶対反対 | 参考 | |
| 574 | 横浜カジノに反対します。 | 参考 | |
| 575 | カジノ絶対反対！！ | 参考 | |
| 576 | IRの誘致は、反対です。 | 参考 | |
| 577 | カジノは、百害あって一利なし。 | 参考 | |
| 578 | 外国人観光客は日本の長い歴史に培われた各地の文化と四季風土が土台となった建物、祭り、風習、工芸、食、遊び等のユニーク文化にひかれ、近年のビザ緩和とあいまって訪問増加したのである。さらに訪問観光客の口コミやスマホ発信がさらなる観光客誘因になっている。日本のように豊かな歴史、文化に魅かれてくる観光客がカジノに魅かれて増加すると主張する方々の見識を疑う。すなわちカジノは日本への観光客誘導ファクターにはなりえない。 | 参考 | |
| 579 | 横浜にIRカジノはいりません。市民の声を聞いて下さい | 参考 | |
| 580 | 日本にカジノはいりません。絶対に。 | 参考 | |
| 581 | カジノは反対！！ | 参考 | |
| 582 | 横浜カジノは反対です | 参考 | |
| 583 | 横浜市へのカジノ誘致に反対します。 | 参考 | |
| 584 | カジノ主体のIRはいりません。カジノ反対です もっと、希望の持てるものを作って下さい。計画して下さい。 | 参考 | |
| 585 | もっと視野を広くして、横浜の豊かな資源を生かしていきましょう。 | 参考 | |
| 586 | 横浜にカジノを作ることは反対致します。 | 参考 | |
| 587 | カジノは反対です。 | 参考 | |
| 588 | 横浜にカジノが入るIRを作る事には反対です。 | 参考 | |
| 589 | 反対です。 | 参考 | |
| 590 | カジノはいらない | 参考 | |
| 591 | 横浜IRに反対します。 | 参考 | |
| 592 | 「世界の人々が日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！と思われる世界最高水準のIRを実現します」との提言は大賛成です。「横浜は今ある『横浜らしさ』に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな『横浜らしさ』の創造に向けてチャレンジする必要があります」との提言は基本的に同感です。 | 参考 | |
| 593 | カジノ誘致に反対します。 | 参考 | |
| 594 | カジノを横浜につくるのには反対です。 | 参考 | |
| 595 | IRカジノの為に外国人が日本へ旅行に来るのではありません。日本の自然や街並みを見に来るのです。横浜がカジノで黒く染まって行くのはどうしてもイヤです | 参考 | |
| 596 | カジノ反対です。ぜったいやめてください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 597 | カジノいりません。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 598 | IRカジノ誘致は絶対反対です。 | 参考 | |
| 599 | 私自身は、カジノを含むIRの実施には反対です | 参考 | |
| 600 | すべて計画などを撤回することを求めます。 | 参考 | |
| 601 | 横浜カジノに反対します。 | 参考 | |
| 602 | カジノは反対です。やめて下さい～。 | 参考 | |
| 603 | 横浜にも日本にもカジノは必要ありません。絶対に反対です。 | 参考 | |
| 604 | カジノに大反対する!!!ギャンブルは何も生まない!!! | 参考 | |
| 605 | カジノに反対します。絶対にやめて下さい。横浜に平和を。 | 参考 | |
| 606 | カジノ反対 | 参考 | |
| 607 | 横浜カジノに反対です。 | 参考 | |
| 608 | 横浜市カジノ誘致に絶対 絶対 絶対 絶対 絶対 …反対です!! | 参考 | |
| 609 | 絶対に反対です。 | 参考 | |
| 610 | 横浜にカジノの必要はない | 参考 | |
| 611 | 私は、横浜カジノに反対します。 | 参考 | |
| 612 | 絶対に反対! | 参考 | |
| 613 | 私達にカジノ・IRは必要ありません。 | 参考 | |
| 614 | カジノ・賭博場は造らないで下さい。 | 参考 | |
| 615 | 横浜カジノは反対です。 | 参考 | |
| 616 | IRは全体反対です。自治体のするべき仕事は住民の健康と福祉の増進です。 | 参考 | |
| 617 | 横浜にIR（統合型リゾート）を誘致することに賛成致します。横浜は近代日本で最初に外国に開かれた港のひとつであり、今後世界とともに歩む日本の先導役となる都市であるためにも、IRを誘致すべきだと思います。将来、横浜が日本経済をけん引する都市となる絶好のチャンスだと思います。 | 参考 | |
| 618 | 横浜カジノは反対です。 | 参考 | |
| 619 | 横浜IR（統合型リゾート）構想に反対します。 | 参考 | |
| 620 | カジノはやめて下さい! | 参考 | |
| 621 | 横浜IRにカジノを組こむことに反対する | 参考 | |
| 622 | IRカジノ反対です | 参考 | |
| 623 | 横浜カジノは反対です | 参考 | |
| 624 | IR事業に賛成します。現在、横浜市が直面する福祉、失業対策、経済効果を考えてと税金が多量に必要となります。この機に充実した素案づくり活性化した横浜市を日本中に知らしめましょう。 | 参考 | |
| 625 | 絶対大反対です。 | 参考 | |
| 626 | カジノは止めて下さい。大好きな横浜です | 参考 | |
| 627 | 誰のためのIRか?横浜市民は望んでいません。IR誘致には絶対反対です | 参考 | |
| 628 | 横浜にカジノはいらない!なぜ博打場を横浜に誘致するのですかIR絶対反対です | 参考 | |
| 629 | カジノ反対です。 | 参考 | |
| 630 | 負の遺産を子供達に残さないで下さい。絶対反対です。 | 参考 | |
| 631 | 子供達の未来を考えて、やめてほしい。絶対にやめるべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 632 | 絶対反対。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 633 | 絶対反対です。子供達の未来を汚さないで下さい。 | 参考 | |
| 634 | IRカジノ誘致に反対します。 | 参考 | |
| 635 | 横浜IRにカジノを組むことに反対する | 参考 | |
| 636 | 横浜に金儲けだけを考えている人たちが計画しているカジノ設置には絶対に反対です。 | 参考 | |
| 637 | 私のような浜っ子がどんなに横浜の港に愛着があるか感じ取ってください。カジノ設置には絶対に反対です。 | 参考 | |
| 638 | 横浜市がカジノを含む統合型リゾートを推進することに反対です。 | 参考 | |
| 639 | カジノ誘致を反対します。 | 参考 | |
| 640 | カジノ誘致しないで下さい。カジノはいらないです。IR反対 | 参考 | |
| 641 | IRバブコメ反対意見 | 参考 | |
| 642 | カジノ誘致反対 | 参考 | |
| 643 | IRいらない！！ | 参考 | |
| 644 | 元県会議長が報道で報えていたように、「愛すべきミナト横浜を金と欲の街にしたくない」という指摘は多くの横浜市民の気持ちだと言える。港や金沢区にあるような歴史と文化、自然がある地域が多いので、そうした魅力を訴える工夫をすることで、外国の観光客を増やすことは可能だと考える。 | 参考 | |
| 645 | シンガポールのIRと華やかなラスベガスをミックスしたようなIRを横浜は目指してほしいです | 参考 | |
| 646 | IR大賛成。絶対に横浜への誘致を実現して欲しい。ただでさえ横浜経済の低迷は深刻な中、新型コロナ・ウィルスの悪影響まで加わる状況にあり、IRのような起爆剤は絶対に必要です。IRを突破口として、各種改革や再開発を緊急に断行すべき時だと思います。 | 参考 | |
| 647 | 横浜は、歴史的にも文化的にも日本でIRを始めるに最も相応しい都市だと確信します。バーもカラオケも鉄道もガス灯も皆、横浜から日本に広まって行きました。横浜は、外来の物を真っ先に受容して来た実績があり、その資質と能力に富んでいます。IRも横浜から始めるに相応しい所以です。むしろ、横浜以外に考えられないと思います。カジノを含むIRには大賛成です。 | 参考 | |
| 648 | IR大賛成。絶対に横浜への誘致を実現して欲しい。 | 参考 | |
| 649 | 横浜IR大賛成 | 参考 | |
| 650 | 市長横浜のIR計画に絶対反対します。 | 参考 | |
| 651 | 絶対反対です | 参考 | |
| 652 | この度の市長の横浜市に「統合型リゾート施設（IR、以下IRと表記）誘致の決断に対しまして諸手を挙げて賛同するものであります。私は、市のIR誘致は大変に有望だともいいますが、それは市民の最頂目であって、万一、国の選考から漏れてしまえばその後は自前で事業を整えるしか手立てはない。小さな公共財で一向にかまいません。 | 参考 | |
| 653 | 推進に反対。金をかけ、ごたごたと、説明を要するような事案は、止めておけ。 | 参考 | |
| 654 | 強引なカジノ誘致には大反対です。 | 参考 | |
| 655 | 諸外国に開かれた国際都市「横浜」のPRの為にぜひ実現させて下さい。 | 参考 | |
| 656 | 当初は不安でしたが、昨年シンガポールとマカオに行ってきた、不安は解消しました。是非進めてください。 | 参考 | |
| 657 | 大大大反対！！！！意見です。横浜IR（統合型リゾート）そんなものいらないです！！！！私達の横浜を壊さないで下さい！！！！ | 参考 | |
| 658 | カジノつきのIRについて反対致します。 | 参考 | |
| 659 | IRには反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 660 | 山下埠頭に誘致との方針は撤回すること望みます。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 661 | IR誘致には断固反対いたします。 | 参考 | |
| 662 | 横浜に造るのは全身全霊で反対します。理由は言わずもがなです。 | 参考 | |
| 663 | かじの反対する | 参考 | |
| 664 | 横浜市にカジノは不要 | 参考 | |
| 665 | カジノに反対です。 | 参考 | |
| 666 | 本実施方針案に反対です。特にカジノ誘致には、断固反対です。 | 参考 | |
| 667 | 横浜にカジノは必要ない絶対反対 | 参考 | |
| 668 | IRには反対です。 | 参考 | |
| 669 | 私はカジノ反対します!!!!!!!!!!!!!!!!!! 反対派の方が多いのになぜ話を進めてカジノを作ろうとしているのか理解出来ません! | 参考 | |
| 670 | 横浜市のIRに反対しています。 | 参考 | |
| 671 | 横浜の将来のためにも必要な施策と考えます。 | 参考 | |
| 672 | 「カジノなんかやめてもっといいことしましょうよ」。「横浜カジノ」で浮かぶのはひたすらこの一言だけだ。横浜のより良い未来のために、IR、カジノからは撤退、が、唯一の選択肢だと思う。 | 参考 | |
| 673 | 横浜IRに賛成です。是非とも横浜IRで増やした税金を、子どもたちや未来の市政のために、よりよく運用してほしいです。 | 参考 | |
| 674 | 横浜IRの推進に賛成します。 | 参考 | |
| 675 | 横浜IRに賛成の立場です。 | 参考 | |
| 676 | 横浜IRに賛成です。 | 参考 | |
| 677 | 横浜IR賛成。 | 参考 | |
| 678 | 横浜市のカジノに対して、絶対に絶対に反対です！はまっ子の誇りを忘れないで！ | 参考 | |
| 679 | 特にIRを通したまちづくりには、さまざまな海外目線の企画提案が期待され、結果的にグローバルに受け入れられる日本の新しい文化として昇華されることでしょう。 | 参考 | |
| 680 | 横浜IRの誘致に賛成。 | 参考 | |
| 681 | 横浜港埠頭にとぼく場を誘致することに反対します。 | 参考 | |
| 682 | 横浜IRの誘致をぜひ推進してほしいです。世界最高水準のエンターテインメント施設が身近にできるのはとても魅力的です。また、市民が楽しめるだけでなく、世界中から観光客・利用客を呼び込めて地域経済が活性化して、さらには、海外でカジノを嗜む富裕層が豪遊して横浜市の税収に貢献してくれることが、横浜IRには期待できるからです。ぜひ誘致すべきだと思います。子どもたちの未来のために、税収を確保する手段としてぜひ誘致してください。 | 参考 | |
| 683 | IR カジノ推進に反対／これ以上、一円たりとも、IR、カジノ誘致に予算を費やしてはならない。横浜のより良い未来のために、IR、カジノからは撤退。一択だと思う。 | 参考 | |
| 684 | 私はカジノを含むIRの導入に強く反対します。 | 参考 | |
| 685 | IR／カジノ断固反対！ | 参考 | |
| 686 | カジノ反対 | 参考 | |
| 687 | カジノについては反対です。 | 参考 | |
| 688 | 横浜市にカジノ事業が建設されるのは、絶対、絶対 反対??です。 | 参考 | |
| 689 | IRをはやくつくってください。はやくあそびにいきたいです。IRにはマーライオンをつくってください。 | 参考 | |
| 690 | IRは絶対に反対である | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 691 | IR是非進めて下さい。将来の税収減少に対応する事は必ず必要です。自分もですが、将来の高齢者数は半端な数ではなく、年金生活者で横浜市の税収を賄えられるわけがありません。ギャンブル依存症ですが、安易に遊べるパチンコをほっといて、カジノはギャンブル依存症を生み出すと言う理屈は通りません。比較でよく出てくる、マリーナベイサンズは本当に素晴らしい施設です。毎晩毎晩噴水ショーを無料で見れて、海辺に多くの人を集めて、お金を落とす、日本では横浜港にしかできません。山下埠頭から同じ事をする、山下公園や大栈橋、みなとみらいからその姿を見る、考えるだけでもワクワクします。それだけのことをするにはお金が必要でカジノが必要なだけです。カジノが無かったらあれだけのスペースを使った施設の運営ができるわけもなく、みなとみらいとの差別化が辛い。多くの反対でも負けずに、誘致して下さい。 | 参考 | 今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。 「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。 |
| 692 | IR是非進めて下さい。将来の税収減少に対応する事は必ず必要です。自分もですが、将来の高齢者数は半端な数ではなく、年金生活者で横浜市の税収を賄えられるわけがありません。ギャンブル依存症ですが、安易に遊べるパチンコをほっといて、カジノはギャンブル依存症を生み出すと言う理屈は通りません。比較でよく出てくる、マリーナベイサンズは本当に素晴らしい施設です。毎晩毎晩噴水ショーを無料で見れて、海辺に多くの人を集めて、お金を落とす、日本では横浜港にしかできません。山下埠頭から同じ事をする、山下公園や大栈橋、みなとみらいからその姿を見る、考えるだけでもワクワクします。それだけのことをするにはお金が必要でカジノが必要なだけです。カジノが無かったらあれだけのスペースを使った施設の運営ができるわけもなく、みなとみらいとの差別化が辛い。多くの反対でも負けずに、誘致して下さい。 | 参考 | 横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！ そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞ 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 693 | 横浜のIR計画には、絶対に反対である。 | 参考 | |
| 694 | 賛成。 | 参考 | |
| 695 | IRに反対します横浜IRには反対します。 | 参考 | |
| 696 | 横浜IR（統合型リゾート）に賛成です。横浜市のために頑張ってください。 | 参考 | |
| 697 | 横浜IRに反対しています。 | 参考 | |
| 698 | 横浜IRについて賛成。 | 参考 | |
| 699 | 日本に限らず、国も自治体も、作るべき制度ややるべき政策があるときは、肅々と事務や手続を進めて実現させている。横浜IRについても、同様にして推進していくべきだ。 | 参考 | |
| 700 | 横浜市へIRを誘致することには賛成です。少子高齢化は、企業からの税収比率が低い横浜市にとっては深刻な問題です。今後の行政サービス確保のためにも、IRは必要だと考えます。誘致推進に向けた取り組みを進めていただければと思います。確保された予算を有効に活用して、IR誘致を進めてください。 | 参考 | |
| 701 | 今後人口減が確実なところがあり、このままだと横浜の経済は戻すほみになっていきます。今回のIRリゾートがきっかけで日本に横浜の知名度が上がりまた海外の富裕層の来日が横浜に来る事により経済の向上と雇用促進になりならびに横須賀市や三浦市にも良い影響が出ると思います。 | 参考 | |
| 702 | 今後人口減が確実なところがあり、このままだと横浜の経済は戻すほみになっていきます。今回のIRリゾートがきっかけで日本に横浜の知名度が上がりまた海外の富裕層の来日が横浜に来る事により経済の向上と雇用促進になりならびに横須賀市や三浦市にも良い影響が出ると思います。 | 参考 | |
| 703 | 今後人口減が確実なところがあり、このままだと横浜の経済は戻すほみになっていきます。今回のIRリゾートがきっかけで日本に横浜の知名度が上がりまた海外の富裕層の来日が横浜に来る事により経済の向上と雇用促進になりならびに横須賀市や三浦市にも良い影響が出ると思います。 | 参考 | |
| 704 | 今後人口減が確実なところがあり、このままだと横浜の経済は戻すほみになっていきます。今回のIRリゾートがきっかけで日本に横浜の知名度が上がりまた海外の富裕層の来日が横浜に来る事により経済の向上と雇用促進になりならびに横須賀市や三浦市にも良い影響が出ると思います。 | 参考 | |
| 705 | 横浜IRの推進に賛成。 | 参考 | |
| 706 | 人口が減少トレンドに入る横浜市において、魅力ある都市づくりの起爆剤としてIRを整備する事に賛成です。 | 参考 | |
| 707 | 繰り返しますが、横浜にカジノは不要です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 708 | 横浜を世界の目的地とするためにIRを誘致するという考えに賛成します。諸外国のIR施設を訪れたことはありますが、あのような施設を誘致できれば、横浜は、真の国際都市になると思います。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 709 | 横浜にカジノを含むIRを誘致することに反対します。 | 参考 | |
| 710 | 賛成。横浜にIRを誘致できるよう頑張ってください。これから、日本で3カ所しか選ばれない熾烈な戦いが待っているかもしれませんが、ぜひ、頑張ってください。 | 参考 | |
| 711 | 賛成 | 参考 | |
| 712 | 横浜IRの推進に賛成です。 | 参考 | |
| 713 | 横浜IRに賛成。横浜IRの推進は、未来を見据えて、ぜひ頑張ってください。 | 参考 | |
| 714 | 横浜IRに賛成です。想定されているギャンブル依存症対策も、効果的だと思います。 | 参考 | |
| 715 | （賛成）横浜の発展のために、横浜IRを実現してほしい。横浜にしかない集客装置として、美しいIRを整備し、市内経済を活性化してほしい。 | 参考 | |
| 716 | 賛成。横浜にIRができず、あの土地が活かされず、東京や他の土地にIRが出来てしまったら、横浜には益々人が立ち寄らない。古臭くて、老人ばかりが集まる、魅力無いつまらない、でもプライドばかり高い、廃れた街になると思う。10年後にも税金を納めている私たち世代のために実現してほしい。ぜひ若い人が集まってくる街に生まれ変わらせてほしい。 | 参考 | |
| 717 | 賛成しています。 | 参考 | |
| 718 | 横浜IRの誘致に必要な手続きは粛々と進めてほしい。 | 参考 | |
| 719 | IRのような「市民の負担ではなく観光客のレジャーの対価」で増収を見込める仕組みなんて、めったに無いと思います。しかも、国から選ばれるのは3カ所だけ。横浜市は絶好のチャンスです。もし、IR誘致よりずっともっと良い代案があるなら、ぜひ提案してほしいです。IRも代案も両方採用して積極的に税収を伸ばし、市民や地域経済に還元していけばいいと思います。 | 参考 | |
| 720 | 横浜IR賛成です | 参考 | |
| 721 | 横浜IRはいいと思います。カジノの6千円の入場料も絶妙だなと感じました。横浜IRのカジノは、この価格に加えてマイナンバーカードの提示や回数制限があり、なかなか頻繁に通うのは経済的に難しいと思いました。だからこそ、絶妙でいいなと。横浜IRにはハイレベルなショーなどの観劇ができたり、高級ホテルができたりと、ワクワクするコンテンツがたくさん詰まっています。期待値が高まります！横浜IRは市民が楽しめるだけでなく、たくさんの観光客を呼び込めて、市の増収効果も期待できて、雇用が増えたり地域が活性化することも期待できる、いいものだと思います。 | 参考 | |
| 722 | 横浜IR賛成。横浜の新しい価値を創るいいチャンスだとおもう。 | 参考 | |
| 723 | IR誘致に賛成。 | 参考 | |
| 724 | 横浜IRができると嬉しい。市長やIR推進課の考えに賛同する。 | 参考 | |
| 725 | 横浜IRに賛成します。 | 参考 | |
| 726 | 横浜IRが横浜のアイコンになることを期待します。横浜の新しい魅力の創出となり、世界から選ばれるデスティネーションとして、賑わいや回遊性をおおいに紡ぎ出してほしいです。 | 参考 | |
| 727 | IR誘致、賛成意見についてもしっかり受けとめて取り組んでいただければ幸いです。IRの良い面もしっかりみていくことが、横浜の未来を拓くことにつながると思います。 | 参考 | |
| 728 | 賛成。横浜IRの誘致は、ぜひ進めるべきだ。 | 参考 | |
| 729 | 誘致に賛成しています。パブリックコメントで寄せられた賛成意見や建設的な意見を取りまとめて、横浜市のHPなどで公表してほしいです。 | 参考 | |
| 730 | 賛成します。横浜の新しい価値を創るいいチャンスだと思います。期待しています。 | 参考 | |
| 731 | 横浜IR構想ですが、むしろ賛成です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 732 | 横浜 I R の推進に賛成です。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜 I R」では、世界水準の M I C E 施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーション I R」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、I R へのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 733 | 「横浜 I R 実現への取り組みの背景」について人口減少社会・超高齢社会の進展により今後の経済活力の低下・厳しい財政状況が見込まれることに對し、今抜本的な対策を講じなければならないという市の危機感、姿勢は正しいと思います。 | 参考 | |
| 734 | 今や日本中の方が親しみをもっている東京ディズニーリゾートも、作る際には一部の方々からの猛反発があり、大変な調整があったと聞きます。横浜 I R もそれなりに反発を受けるのかなと思いますが、将来の私たちのため、未来の子どもたちのために必要であることを強調しながら、市で見据えた政策を粛々と実現してほしいと思います。 | 参考 | |
| 735 | 横浜 I R は誘致してほしい。 | 参考 | |
| 736 | 反対意見です。カジノは悲しみを生むんだと思います。 | 参考 | |
| 737 | 今回発表された「横浜 I R（統合型リゾート）の方向性（素案）」（以下、「素案」という）で示された「横浜 I R（統合型リゾート）」推進の方針に対して、反対します。 | 参考 | |
| 738 | I R リゾート開発に反対します | 参考 | |
| 739 | I R リゾート開発に反対します | 参考 | |
| 740 | 「パブリックコメント手続は、市の政策等の賛否を問うものではなく、また、提出された意見等の数の多寡で当該意見等を取り入れるかどうかを決めるものではありません。」と逃げを打たれるとそれでは何のためにやっているの？と聞きたくなる。意見表明も空しいが言わずにはいられない。カジノ誘致に反対。 | 参考 | |
| 741 | 今後の生産年齢人口の減少などを考えたときに、このままでは横浜全体が衰退していくように感じます。様々や歴史や観光スポットがありますが、横浜に滞在をせずに東京に滞在する方が多いように感じると、もっと横浜を魅力的な滞在型リゾートにすることが必要になると感じています。I R は様々なリスクもあると思いますが、何もせずにいるよりも I R に挑戦するべきであると感じております。 | 参考 | |
| 742 | イノベーションをもたらす「横浜 I R」実現へ歴史的な文化都市として発展をしてきた横浜ですが、これからの時代を見据えると、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、日本が迎える社会的な変化に直面してゆくことは間違いがなく、これからの市民生活が豊かな暮らしと魅力ある都市での活動であり続けるために、どのようにして横浜らしさを創造してゆけるかが必要であると考えます。このような中、多彩な魅力を持つ施設こそが将来における横浜を世界に受容して貰える最大のチャンスであると捉えます。M I C E をはじめとした施設群（エンターテインメント施設・ホテル群？・カジノ・集客施設等）は、横浜が世界から幅広い集客のできる都市型リゾートになると考えます。 | 参考 | |
| 743 | 最先端のテクノロジーを駆使した新しい街と都心臨海部の既存の街との融合により日本における新たな開港の地として、世界から選ばれるデスティネーションとなる魅力的な都市となり、国連憲章 S D G s の基、持続可能性を取り入れた魅力的な都市づくりになることを期待しています。「横浜 I R」が豊かな市民生活の糧となり、そして世界最高水準のスケールとクオリティを有する新たな都市資源となると確信いたします。 | 参考 | |
| 744 | 横浜市にとって有益なものと思料するので、基本的な方向性として賛成する。 | 参考 | |
| 745 | I R 誘致に賛成です。宜しくお願い致します。 | 参考 | |
| 746 | 私は横浜市にカジノを誘致することに反対します。 | 参考 | |
| 747 | 横浜市のカジノ導入に反対します??カジノは要らない?? | 参考 | |
| 748 | I R に反対します。 | 参考 | |
| 749 | I R 誘致に賛成です。 | 参考 | |
| 750 | I R 誘致に賛成です。外貨獲得や横浜の経済成長に繋がる有効な一手だと思います。横浜の新しい観光地としての活躍を期待しております。 | 参考 | |
| 751 | 横浜の発展のためにも、賛成します。 | 参考 | |
| 752 | カジノ賛成 | 参考 | |
| 753 | 横浜 I R に賛成します。横浜が日本を代表する、世界に誇る観光都市として進化するには、I R が必要です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 754 | 賛成。増収効果があることや、ホテル・劇場などの施設の整備や運営にカジノ収益を活用できるところが魅力的だ。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 755 | 賛成。IRは、国内に三カ所設置される。それならば、依存症対策などをしっかり対応して、世界最高のIRを横浜に設置してほしい。 | 参考 | |
| 756 | 「横浜IR」は明るい話題の一つです。多くの人たち横浜の魅力を堪能していただき市民が今まで以上に訪れた人達を後押しし応援する。そしてその交流文化が根付くことで100年後の子どもたちへの財産となるものと考えます。この社会情勢の中では優先順位は自然と下がるのはやむを得ないですが先々のことを見据えるとぜひ実現していただきたいプロジェクトと考えます。 | 参考 | |
| 757 | 統合型リゾート（IR）の誘致は賛成です。必要な施策だと思います。新しい事にはチャレンジすべきです。全部東京に持っていかれるぐらいなら、地方自治としてやるべき！！ | 参考 | |
| 758 | IR誘致に賛成 | 参考 | |
| 759 | 横浜市の将来の財政バランスを大変危惧しており、将来にわたり街の活力を維持できるのか不安です。魅力ある都市として国内のみならず海外からも認知していただき、投資や消費を横浜に呼び込む必要があります。カジノ運営者を中心とした国内外の事業者が横浜への投資を検討している。今回のIR実現の機会を逃せば、横浜の発展のチャンスを大いに失います。今回のIR推進について、大いに賛成いたします。「カジノ」抜きでIRを実現できないのかという意見も見受けられますが、それではこれまでの箱もの投資と同様に将来に大きな負債を負わせることになることは明白です。資金を稼ぎ続けるエンジンである「カジノ」なしにIRの持続性は担保できません。将来を担う若い人たちの意見を是非積極的に聞いていただき、将来の横浜の発展を議論していただきたいと思ひます。 | 参考 | |
| 760 | 「P27『横浜IR』を横浜の街と一体的に整備」これは、横浜市を「世界最大のカジノ」と一体で大転換（改悪）させるといことですか？ | 参考 | |
| 761 | カジノ付IRのユニークネスを想像させ、訪ねたくなるトータルコンセプトが必要。 | 参考 | |
| 762 | 明確なコンセプトなしでは、パートナーIRオペレーターを募集・決定するRFPの回答要求事項の重要な“礎石”ないに等しい。これなしでは、横浜IRらしさがなく、集客競争力に劣り、予定した税収は絵に描いた餅となり財源は懸念通り先細る恐れあり、新IR建設の意味がなくなる | 参考 | |
| 763 | カジノ付IRのグランド（トータル）コンセプトを提示しないと、IRオペレーターのプロポーザルは迷走、完成品のIRは海外IRとの競争力にかけらる。 | 参考 | |
| 764 | 大賛成です | 参考 | |
| 765 | IR誘致に賛成です。横浜が活性化することに賛成です。 | 参考 | |
| 766 | 「横浜IRの方向性（素案）」では、IRの魅力や安全・安心対策について分かりやすく、網羅的に書かれていると思います。 | 参考 | |
| 767 | 横浜の発展のためにも賛成します | 参考 | |
| 768 | 反対意見です。 | 参考 | |
| 769 | 私はカジノには反対。 | 参考 | |
| 770 | IRリゾート構想に反対、IRリゾート開発に反対します。 | 参考 | |
| 771 | カジノに反対する。 | 参考 | |
| 772 | カジノなどという事業を地方公共団体が率先して誘致するなどもってのほか。多くの市民から反対されているにも関わらずゴリ押しするのはやめて頂きたい。 | 参考 | |
| 773 | 横浜へのIRの誘致に反対します。 | 参考 | |
| 774 | IR事業に反対します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 775 | 横浜IRの方向性は間違っていないと考える。ただし、横浜市の財政、特に税収構造等への理解は今回のIR誘致の説明で初めて知ったという市民も多いのではないかと考えます。横浜市民が将来的にも安定した生活を送るため、安定した行政サービスを受けられるため慎重かつ大胆な決断が必要。横浜に多くの企業を誘致して来た市長の集大成として、横浜市の税収構造の変革を是非とも果たしてほしい。IRを契機とした、「リニューアル横浜」に期待したい。 | 参考 | 今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。 「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。 横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！ そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞ 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 776 | この「横浜IR」は、横浜市にとって非常に重要で市民にとっては大変ありがたい構想であると考えます。特に横浜市の将来を考えると財政難を乗り越え、子供たちが将来にわたって安心して横浜の地で過ごすためには大変意義のある魅力ある構想と大変楽しみにしております。 | 参考 | |
| 777 | カジノを含むIRの横浜誘致には絶対反対です。 | 参考 | |
| 778 | 「横浜イノベーションIR」のコンセプトに賛同します。賛同理由として、①「横浜イノベーションIR」の実現を通じて、横浜の国際競争力をさらに高め、魅力的な街とするため。②既存市街地（関内・関外地区、みなとみらい21地区等）と融合し、都心臨海部全体で横浜が持つ歴史や文化を発信に寄与する為。③最先端の技術を駆使して横浜が「未来の街のショーケース」となることを考える為。IRの整備は、都心部だけではない市域全体の観光・経済にイノベーションをもたらすものであり、横浜IRの実現に向けて公・民・地域団体が連携し、市全体で推進していくことが重要だと考えます。 | 参考 | |
| 779 | 横浜の国際競争力をさらに高め、魅力的な街とするため、「横浜イノベーションIR」の実現を全面的に支援します。関内・関外地区、みなとみらい21地区などの既存市街地と融合し、都心臨海部全体で横浜が持つ歴史や文化を発信するとともに、最先端の技術を駆使して横浜が「未来の街のショーケース」となる、横浜イノベーションIRのまちづくりコンセプトに賛同します。IRの整備は、都心部だけではない市域全体の観光・経済にイノベーションをもたらすものであり、横浜IRの実現に向けて公・民・地域団体が連携し、市全体で推進していくことが重要だと考えます。 | 参考 | |
| 780 | 横浜IRに反対します。絶対にやめてください。 | 参考 | |
| 781 | 横浜カジノ絶対反対！ | 参考 | |
| 782 | 賛成 | 参考 | |
| 783 | 横浜IRに賛成です。今後の横浜の発展、経済の活性化にはIRが絶対に効果的だと思います。確かにギャンブルで身を滅ぼす方はいますが、カジノだからと言って、カジノ＝治安が悪くなるとは限らないと思います。それにIRはカジノ施設だけではありません。世界的なIRが出来ればセキュリティは強化され、街並みも開発されて、地域の安全にも繋がるのではないのでしょうか？横浜のこれからの発展に、私達市民のより良い生活のためにIRは必要だと思います。今後の横浜のためにIRの実現を叶えてください！！！！ | 参考 | |
| 784 | IR誘致に賛成です。安全で地域が活性化できるIR施設が出来るように思っております。 | 参考 | |
| 785 | IR誘致に賛成です。 | 参考 | |
| 786 | 横浜市も人口減少が始まっている中で更に発展させるためには、新しい取り組みにチャレンジしていくべきだと思います！ | 参考 | |
| 787 | 「横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）」に賛成いたします。日本国内全体での人口減少トレンドがある以上、国外に目を向けたインバウンドの拡大は不可欠と考えられます。開港以来培ってきた強みである、外の文化を受け入れる先端地としての「YOKOHAMA」の魅力を発信するためには、IRが大きなポテンシャルを持っているものと思われることです。単なる箱モノとならないよう、地域全体の魅力を高めること、依存症等のマイナス面を可能な限り抑えること等に十分に配慮していただきつつ、IR設置に向けた動きを加速していただきたいと思います。 | 参考 | |
| 788 | IR誘致に賛成です。IR誘致を行い、横浜市についてより一層世界の方々から知ってもらえる機会を作れたらと思います。 | 参考 | |
| 789 | 今回の取り組みの背景を読んで賛同いたしました。予定されておりますリゾート内容も横浜市民としても是非足を運んでみたい内容です。治安やギャンブル依存症など心配な事案に対する対策も練られていて安心しております。 | 参考 | |
| 790 | カジノには反対します。 | 参考 | |
| 791 | IR・カジノ誘致に反対します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 792 | 横浜市にカジノ業者を誘致する能力も理念もないので、カジノ誘致は止めるべきです。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 793 | 統合型リゾートの設立には、基本的に大賛成です | 参考 | |
| 794 | 横浜IR反対です。 | 参考 | |
| 795 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）について、人口減少期に突入し、個人住民税の減収が想定される中、横浜の経済や街の発展の1つの手法として、基本的には賛成します。 | 参考 | |
| 796 | 賛成 | 参考 | |
| 797 | IR誘致に賛成です。 | 参考 | |
| 798 | IRは横浜を始めとして日本の国際競争力向上にも大きく寄与するものであり、「横浜イノベーションIR」による街づくりを是非実現してください。 | 参考 | |
| 799 | IR誘致に賛成です。地域の活性化。グローバルシティとしての横浜のアピールになると思います。インバウンドの取り込みになると思います。 | 参考 | |
| 800 | IR誘致に賛成です。持続的成長が可能となるシステムとして、横浜市に必要不可欠と考えます。 | 参考 | |
| 801 | IR誘致に賛成です。様々なアミューズメントエリアが楽しみです。横浜街が活性化する事を期待します。 | 参考 | |
| 802 | 横浜へカジノを誘致することは絶対に反対です。 | 参考 | |
| 803 | IRには賛成です。 | 参考 | |
| 804 | カジノを含むIR計画に反対します。 | 参考 | |
| 805 | 日本を「観光先進国」に引き上げるという大きな公益に資するためにも、未来の市民の社会保障費の財源を少しでも確保するためにも、日本型IRは横浜に作るべきだと思います。 | 参考 | |
| 806 | IR推進に賛成です。横浜が横浜ブランドとして世界に発信できる強みを得られる大事な事業だと考えています。ぜひ推進していただきたいです。 | 参考 | |
| 807 | 横浜IRに賛成します。海外のIRに何度か行っていますが、反対する人は、一度行った方がいいと思います。反対されているイメージとはかなり異なったものです。横浜IRが世界の中でも最も素晴らしいIRになり、日本を代表する施設となることを願っています。 | 参考 | |
| 808 | カジノの誘致に反対です。IRはカジノを含むことが前提のようですので、IR自体に反対です。 | 参考 | |
| 809 | IR推進賛成。IR事業は、今後の横浜市の活性化には必要です。高齢化が進むなか、持続的に都市運営を行うには、IRをはじめあらゆる施策を考えるべきであると思います。カジノはIRの一部であり、しかも洗練された娯楽であり、マイナナーにより所得に応じ賭率の上限を管理する等を行えば、資産を失う心配もないと思います。私はカジノよりもその他のエンターテインメントを楽しみにしたいです。是非積極的に事業を進めていただきたいと思います。 | 参考 | |
| 810 | 避けることのできないグローバル化の流れの中、せめて日本に友好的な国からの集客が望める方向性を検討していただくことにより、反対派の不安を取り除いていただきたいと強く望みます。 | 参考 | |
| 811 | 「横浜IRの方向性（素案）」に反対いたします。 | 参考 | |
| 812 | IRについては反対です。 | 参考 | |
| 813 | 横浜市にカジノを作るのは断固反対です。 | 参考 | |
| 814 | 絶対いらない！カジノを伴うIRリゾートは横浜には作らないでいただきたいです。一度変わった街はまた元には戻せません。どうか私たちの子どものために、将来何年も続く横浜のために、IRはやめてください。 | 参考 | |
| 815 | 賛成です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 816 | 私はⅠＲ建設に賛成です。現状維持は衰退です。この先を生きる子供達が、安心して暮らせる地域、街が衰退しない取り組みをするには何が必要なのか…間違いなく現状維持ではないと思います。この状況を打破する為には、ⅠＲ建設が必要だと思います。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜ⅠＲ」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションⅠＲ」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、ⅠＲへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 817 | カジノ誘致、大反対であります。 | 参考 | |
| 818 | 「横浜ⅠＲの方向性（素案）」に反対します。 | 参考 | |
| 819 | カジノには反対です！生まれてからずっと横浜に住んでいます。横浜にカジノは不要です。企画中止を求めます。 | 参考 | |
| 820 | 横浜の歴史を振り返り、未来を見据えたときまさに今この地にはイノベーションが必要であり、横浜ⅠＲに挑戦すべきと思いました。横浜が、開港以降これまで発展してこれたのは異なる国や文化を受け入れる先取の精神があったからです。一方で将来の横浜市は、人口増加に伴い超高齢化が進み、生産人口も減少、経済活動の東京一極集中が更に進行し、このままでは過去のような活力を失ってしまうリスクがあります。今、横浜に求められているのは、第二の開港に挑戦しようとする精神だと思っています。横浜には、世界最高水準のⅠＲを実現し、日本の魅力を世界の人々に発信できるポテンシャルがあり、それがこの地が本来DNAとして持っている先取の精神であると思います。 | 参考 | |
| 821 | NO！カジノ！市民の税金は、市民のために！海外からのお客様には、横浜の素敵な思い出を！カジノ計画は即刻撤回せよ！！ | 参考 | |
| 822 | 素案について賛成します。 | 参考 | |
| 823 | カジノ設置には反対する。 | 参考 | |
| 824 | 横浜ⅠＲには、カジノ以外に新鮮な事業が無いように思えます。ⅠＲ全体での収益予想に疑問が出てきます。収益確保のために、カジノを持つことは反対です。なお、箱物発想にも反対です。 | 参考 | |
| 825 | カジノ誘致に反対します。 | 参考 | |
| 826 | ⅠＲの事業計画には賛成です。理由としては、高齢化社会において様々な産業において景気が低迷していくことがさらに加速すると思われます。日本の観光資源をさらに充実させ、今回のⅠＲはぜひ力強く推進して欲しい。 | 参考 | |
| 827 | 私は、賛成です。横浜市は、収入の割に支出が多くて施設も古く、他県他市に劣ると、私は感じています。カジノを通して海外から、連泊する人数を増やす。いいと思います。では、悪影響を及ぼさないようにどうしたらよいか。隔離に近い遊戯場の場所、年齢制限など厳しく厳選してあくまでも外国の富裕層の獲得。それに伴い、ホテル家族の憩いの場所。外国の方は日本文化、日本食に興味があるので、横浜に連泊で全て満足する場所。構想は膨らみ、横浜が脚光を浴びる事でしょう。ⅠＲ事業は、遊戯場だけではなくて付随する街づくりだと思います。できる事なら、世界水泳が出来る綺麗な水にこだわった水泳競技場が欲しいです。 | 参考 | |
| 828 | ⅠＲについて、横浜市がうまく行くことを希望しています。 | 参考 | |
| 829 | 横浜市の為にも賛成です。 | 参考 | |
| 830 | カジノを含むⅠＲの横浜への誘致に反対します。日本は民主主義の国なので、住民の過半数が賛成するならば、やむをえません。 | 参考 | |
| 831 | カジノ絶対反対。 | 参考 | |
| 832 | 反対である。ほかに既にあるような（シンガポール、マカオ、ラスベガスなど）施設では魅力がない。海外向けに発信するならば、日本らしさ、横浜らしさを訴求すべき。カジノは不要。 | 参考 | |
| 833 | カジノはダメカジノ誘致に反対 | 参考 | |
| 834 | 最終的に国から選ばれるよう進めてください。後々、子供たちにとっての横浜においても欠くことのできないものになるようにしてください。 | 参考 | |
| 835 | 是非賛成でお願い致します。 | 参考 | |
| 836 | 私はⅠＲには賛成です。私はⅠＲ＝カジノではないと思っています。ⅠＲで明るいエンタメが広がるイメージをもっと前に打ち出すことも出来るのでは、とも思います。 | 参考 | |
| 837 | 市長は2017年の市長選で「カジノ誘致は白紙」を公約にしていました。市民の意見を聞かずにⅠＲ推進に転換したのは公約違反です。今回の素案は白紙に戻すよう要望します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 838 | カジノの収益をあてにしたIRに反対です。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 839 | IRが起爆剤となって横浜に活気がどんどん生まれることを期待します。横浜の魅力を世界中の人たちにもっと知ってもらいたいです | 参考 | |
| 840 | 市民の意向を無視した計画推進に断固反対する。 | 参考 | |
| 841 | 日本の経済情勢や横浜の観光資源を発展させるためにぜひこの事業を推進してほしい | 参考 | |
| 842 | カジノ・IR絶対反対です。カジノより中学校給食！日本一の完全自校給食、お金を掛ければいくらでも作れます！ | 参考 | |
| 843 | 横浜IRについて今、凍結するべきです。 | 参考 | |
| 844 | 私は、横浜IRの推進について、一言で言えば、大いに賛成です。都市として活性化し、収益を増やし、還元できる可能性がある事業だとも思うので、逆に反対する理由がわかりません。私は、シンガポールのようなIRを目指してくれるなら、大賛成だし、すごく楽しみです。横浜IR事業推進、応援しています。 | 参考 | |
| 845 | 意見計画のすべてを直ちに廃棄せよ。まったく世情に合っていない。 | 参考 | |
| 846 | 今後の横浜は、生産年齢人口の減少や老年人口の増加により、消費低迷や個人市民税の減収、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。こうした中、我が国最大級の国際会議場やグローバル水準のラグジュアリーな大規模なホテル、一流のエンターテインメントが提供される施設など、国内外からの観光客だけでなく、横浜市民も楽しめる統合型リゾートの実現は、財政面での増収効果をはじめ、雇用創出など経済的効果は絶大であることから、横浜のさらなる飛躍のためにも横浜IRの実現に期待しております。 | 参考 | |
| 847 | IR計画は観光都市横浜としては地域に与える悪影響よりも遥かに観光客の増加に伴う地域経済の活性化など様々な良い効果をもたらすので是非とも実施してもらいたい | 参考 | |
| 848 | 横浜にカジノはいりません。 | 参考 | |
| 849 | 横浜にカジノはいりません。 | 参考 | |
| 850 | カジノはいりません。 | 参考 | |
| 851 | 横浜IRに関しましては当初から興味深く拝見しております。横浜市のためにも賛成致します。 | 参考 | |
| 852 | 横浜にも日本にもカジノは必要ありません！！断固として反対致します！！ | 参考 | |
| 853 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向について横浜にカジノは不要です。 | 参考 | |
| 854 | 今回の横浜市IR事業によって、カジノのマイナス面イメージだけが前面に露呈することなく、該当区画だけでなく横浜市全体としてプラスのイメージを持ってもらえるような取り組みになることを期待します。 | 参考 | |
| 855 | 現在横浜市が進めている「カジノを含む」IR事業の促進に「反対」です。 | 参考 | |
| 856 | 横浜市の人口や税収が減っていく中で、IRは地域経済の将来にとって非常に期待ができる事業だと思います。是非、IR誘致を実現してほしいと思います。横浜市が他の都市に先行して、将来を見据え、戦略的にIR誘致に取り組んでいることはとても素晴らしいと思います。横浜にも世界に誇れる観光地を作ってほしいです。 | 参考 | |
| 857 | 横浜市在住です。カジノ反対です。知らない間にカジノ案がどんどん進んでいて恐いくらいです。 | 参考 | |
| 858 | とにかくIRは反対です！！ | 参考 | |
| 859 | 『横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）』へのコメントを記すにあたり、素案を通読したが、あらためて横浜IRは不要との思いを強くした。 | 参考 | |
| 860 | IR誘致は観光や税制上の意義は大きいと考えられるので、大歓迎である。ぜひ誘致していただきたい。また、IRに人を集めて、各地へ出すという考え方は日本全体の活性化につながると考えられ、非常に共感できるため、ぜひIR誘致とともに実践していただきたい。 | 参考 | |
| 861 | 横浜にカジノはいりません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 862 | 大賛成です、横浜がさらに発展してくれると嬉しいです。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 863 | 横浜にカジノを作るのは反対です。 | 参考 | |
| 864 | IRについて、断固反対いたします。 | 参考 | |
| 865 | 全面的に反対します。 | 参考 | |
| 866 | 横浜市様の検討される『横浜IR（統合型リゾート）の方向性』について、強く賛同致します。 | 参考 | |
| 867 | 横浜市の「横浜イノベーションIR」という方向性に共感します。IR導入を検討するうえで、国際競争力や都市力を重視するために、ホテルやMICEの施設について、「世界最大級の規模」に注目が集まります。しかし、将来に向けて環境先進都市かつ、世界有数のハーバーリゾート都市を目指す横浜市だからこそ、単なる施設の規模や直接的な経済効果だけでなく、IRが誘致されることにより、どれだけ「まちづくりに貢献できるか」、「市民や地域にどれだけ還元できるか」が問われるものと考えます。そのためには、もっと市民に対して身近で寄り添うIRになるべきではないでしょうか。そのうえで、「横浜イノベーションIR」という方針は、進取の精神の気質を受けつぐ横浜市にとって、とてもわかりやすく将来にわたり期待の持てるキャッチフレーズと考えます。今後、さらに大切なことは、「横浜イノベーションIR」をどう具現化していくかだと考えます。実績のある海外のカジノオペレータのノウハウが無ければIRは成立しにくいようですが、それ以上に、横浜を中心とした国内企業が叡智を結集して取り組まなければ、横浜のIRは実現しないものと考えます。 | 参考 | |
| 868 | カジノ反対です。最初はそこまではっきりと反対という意思はありませんでしたが、絶対に反対です。カジノをやるのに納得がいく理由もないです。反対です。 | 参考 | |
| 869 | IR反対します | 参考 | |
| 870 | 私の意見はIR反対です。IR推進費4億円可決は暴挙です。 | 参考 | |
| 871 | 横浜市民として、横浜市は来る者や企業を拒まないオープンな都市であってほしいと思います。江戸時代に「迷惑施設」であった開港地を押しつけられた結果が、いまは大事な横浜の資産となったと考えています。IRを拒むほど保守的で閉鎖的な地域ではあってほしくないと思います。展示場などが外貨獲得につながるならあっても仕方ないのでは。 | 参考 | |
| 872 | IR事業に反対です | 参考 | |
| 873 | 横浜IRは要りません。 | 参考 | |
| 874 | IRの誘致は中止すべきである。 | 参考 | |
| 875 | 反対します。 | 参考 | |
| 876 | カジノを併設するIR建設に反対します。 | 参考 | |
| 877 | 横浜IR、反対です！ | 参考 | |
| 878 | 基本コンセプト統合型リゾート計画自体に対しては、『みなとみらい21地区』との関連でもそれに連続する地域再開発構想として、所要の区画があるとすれば納得できる。 | 参考 | |
| 879 | 横浜の国際競争力をさらに高め、魅力的な街とするため、「横浜イノベーションIR」の実現を全面的に支援します。関内・関外地区、みなとみらい21地区などの既存市街地と融合し、都心臨海部全体で横浜が持つ歴史や文化を発信するとともに、最先端の技術を駆使して横浜が「未来の街のショーケース」となる、横浜イノベーションIRのまちづくりコンセプトに賛同します。IRの整備は、都心部だけではなく市域全体の観光・経済にイノベーションをもたらすものであり、横浜IRの実現に向けて公・民・地域団体が連携し、市全体で推進していくことが重要だと考えます。 | 参考 | |
| 880 | 横浜IRの方向性素案に反対します。 | 参考 | |
| 881 | 今は新型コロナウイルス対策でIRどころではありませんが、世界中この騒動が収まった時こそ、文化芸術を体験できる非日常的な空間やテーマパークが求められると思います。海外のIR施設を訪れた時の他では味わえないワクワクした気持ちを横浜でも体験でき、それが横浜の発展と市民の豊かな生活につながることを期待しています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 882 | 横浜市の現在の課題は、海外から見た場合のプレゼンスの薄さだと思います。その観点から、世界から選ばれるような目的性を持つことは観光戦略として大変重要だと思います。横浜市には、従来から魅力的な地区が都心臨海部に散在していますが、面的に繋がっていない印象があります。面的な融合を進める戦略は大変大事です。マーケットのスケールやコンテンツのレベルを世界最高水準に持っていきけるよう民間事業者の知見とモチベーションを最大限生かせるようにしていただきたく希望します。 | 参考 | 今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。 「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。 横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！ そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞ 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 883 | にぎわいの創出としてのリゾートエリア建設計画に賛成します。首都圏に隣接し、「東京」という陰に隠れる存在であること、流動人口の拡大を目指し、市街中心部のにぎわいを増すことで活気をもたらすという方向性に賛同します。特に展示場機能は日本全国で不足している現状があり、特に大規模展示場の少なさが今回の五輪開催によって露呈しています。市が課題としている大企業の誘致という点でも有効に作用すると考えます。横浜市の港湾部分は様々な需要を巻き込む施設が用意されており、市民の憩いの場となっています。また、所謂「いかがわしさ」を孕む部分が関東地区に多く残っていますが、これは都市構成上でのバランスを取る形となっており、様々な需要を取り込むという点で有効と考えます。それらとの差別化が出来るものを期待します。 | 参考 | |
| 884 | 横浜IR事業に「反対」。 | 参考 | |
| 885 | カジノ反対。 | 参考 | |
| 886 | IR計画に反対です。横浜の観光にカジノは必要ありません。 | 参考 | |
| 887 | 美しい文化都市横浜をこれからも健全に育てていくために、断固として、カジノを含むIR導入に反対致します。 | 参考 | |
| 888 | 横浜にIR誘致希望 横浜はそのネームバリュー、都市の規模のわりに、競争力のある観光、娯楽施設が少ないと感じています。今回のIR誘致は大きなチャンスと期待しています。羽田空港および各種鉄道や自動車道など周辺の交通インフラもすでに整備されており、他の候補地と比べてインシャルコストの面でも優れているのではないのでしょうか。また治安などの面でも、もともと大都市を運営しているノウハウを活かすことができ、安心感があります。また観光エリアが確立されていることから、周辺住民への悪影響も限定されるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 889 | 私は賛成です何かあったら怖いというのわかりますが、カジノが出来た事により、更に世界中から横浜の地へ遊びにきてくれる人が増え…日本の横浜の良さを知っていただき、楽しんで帰ってもらえるのであれば、それは凄いい事なんじゃないか？と思いますマナーさえ守っていただければ迷惑もないと思います。 | 参考 | |
| 890 | カジノはいりません。推進は止めなさい。 | 参考 | |
| 891 | カジノ誘致を含む横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）についてこの計画自体に反対します。 | 参考 | |
| 892 | カジノは必要ないと思います。 | 参考 | |
| 893 | 横浜IRの推進には反対し、計画を一旦停止することが望ましいと考えます。 | 参考 | |
| 894 | カジノいりません | 参考 | |
| 895 | カジノいりません | 参考 | |
| 896 | 横浜市にカジノは不要です。 | 参考 | |
| 897 | 私は、市長のカジノ誘致には反対します。 | 参考 | |
| 898 | 横浜市にIRは全く必要ないので招致反対です。 | 参考 | |
| 899 | 横浜ならではの個性の感じられない IR誘致には絶対反対いたします | 参考 | |
| 900 | 私は、横浜にカジノが出来ることには反対します。誘致しないで下さい。 | 参考 | |
| 901 | 横浜IRに賛同する将来の横浜に必要な措置 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 902 | 横浜ⅠRの基本コンセプトで、「横浜都心臨海部」が引き続き、「横浜市民の憩いの場」とともに、「世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる「横浜イノベーションⅠR」を目指す、としています。ⅠRが、横浜革新、一新、リニューアルをつくりだせる取り組みにしよう、というⅠRに賭ける意気込みをあらわすものだと思います。市歌では、世界各国の船に、各国の人々が出入りする港として発展しつつある横浜をうたっていますが、横浜の港としての国際的位置が低下する中で、港ふ頭の跡地を、新たに、世界の人々が、魅力ある地として選ばれる横浜をつくりだしていこう、という横浜に一新していこう、という呼びかけでもなっています。その施策は総合的なものですが、眼目の一つがまさにⅠRです。これは「未来の街」づくりでもあります。 | 参考 | 今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。 「横浜ⅠR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。 横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！ そう思ってもらえる「横浜イノベーションⅠR」を目指していきます。＜方向性 P.26＞ 今後も、ⅠRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 903 | 統合型リゾートは誘致したほうが良い。将来の横浜の核となる施設になる。 | 参考 | |
| 904 | 横浜市内の小学校の夏休みの宿題の環境絵日記とこのⅠR構想は、真反対のものだと思います。子供の未来にカジノは不要です。 | 参考 | |
| 905 | 反対 | 参考 | |
| 906 | 反対 | 参考 | |
| 907 | 現在も横浜市は美しい町、好きな町ですが、このⅠRの完成によって横浜市はもとより、日本の生産年齢の増加、税の収益もみこまれ、将来の子供や、孫の世代まで豊かな暮らしが期待出来ます。日本有数の観光地として、増々グローバル都市として発展してほしいと思います。 | 参考 | |
| 908 | このままがんばって進んでほしいです。将来が安心できるのであれば賛成です。 | 参考 | |
| 909 | 賛成です。 | 参考 | |
| 910 | 賛成です | 参考 | |
| 911 | ⅠRを実現することにより、世界各国の人々が横浜を訪れてくれるようになることは素晴らしいことだと思います。ただ、手加わり過ぎていない所も横浜の良さだと思うので、開発ばかりするのは違うのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 912 | 今後の生産年齢人口の減少や老年人口増加に伴う消費や税収の減少、経済活力の低下など、将来不安に思う事が多いのが実情です。横浜ⅠRの実現により、これらの不安が少しでも払拭され、他県のみならず他国からも、魅力のある、住みたいまち横浜となる事を願っております。 | 参考 | |
| 913 | とても素敵な施設が多く魅力的な町だと感じています。そういった横浜の魅力が多角的な視野からⅠRを含めPRできていると感じました。 | 参考 | |
| 914 | 基本的な方向性に関しては賛成します。横浜の更なる発展に期待がもてる案だと思います。 | 参考 | |
| 915 | 横浜ⅠR実現へ賛同します。海外の国々からみて横浜という都市が魅力的な場所として認知されればと思います。 | 参考 | |
| 916 | 特にありません。賛成です。このまま進めて下さい。 | 参考 | |
| 917 | 国の情勢、先行不透明の中、横浜のポテンシャルを生かした方向性になっていると感じました。ぜひとも推進していただきたいと思います。 | 参考 | |
| 918 | 人口減少で超高齢社会になり、税収の減少が明らかに見込まれる。将来にわたり豊かな暮らしを維持するために横浜型ⅠR誘致は、必要な取組みだと思います。 | 参考 | |
| 919 | 世界の人々が行ってみたい町、横浜のために、ⅠRに期待しています。 | 参考 | |
| 920 | 新しい横浜ⅠR推進致します。みらいにつなぐ | 参考 | |
| 921 | 横浜市民として、ⅠR事業を刮目して拝見させて頂いています。ⅠR事業に賛同したいです。 | 参考 | |
| 922 | ⅠRの方向性に賛成します | 参考 | |
| 923 | ⅠRに賛成します。カジノたのしみです。 | 参考 | |
| 924 | ⅠR賛成します。 | 参考 | |
| 925 | ⅠR事業の推進に賛成です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 926 | 横浜 I R を推進します。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜 I R」では、世界水準の M I C E 施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらししていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーション I R」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、I R へのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 927 | 横浜 I R の政策に賛同致します。 | 参考 | |
| 928 | 横浜の更なる発展のため I R に賛成します。 | 参考 | |
| 929 | 横浜市 of 将来のためにも、ぜひ実現させて下さい。 | 参考 | |
| 930 | 横浜市 of 将来のためにも実現して欲しいです。 | 参考 | |
| 931 | 横浜はみなとみらい 21 地区にあるように事業者の増加、市民の増加に伴い法人市民税や市民税も増加し、社会資本の整備に役立ってきました。しかしながら今後の住民の減少などから年々税金の減少が見込まれます。高齢化社会になり現在と同規模以上の福祉サービス等を行うため I R の誘致は賛成です。更なる横浜市 of 発展と福祉サービスの充実を考えるとぜひ推進して欲しいと思います。カジノが悪との話がありますが、M I C E 施設やホテル、商業施設の面積がほとんどで横浜の発展には欠かせないものと考えます。日本固有文化も取り入れ、安全で安心な街づくりをして欲しいです。 | 参考 | |
| 932 | 横浜は観光名所がたくさんありますが、日帰り客が多いといわれています。それは東京などから距離が近すぎ、交通網が充実しているため移動しやすい環境のためだと思います。今後インバウンドや日本人旅行客を横浜にとどめておく目玉が必要だと思います。それは魅力的な観光客滞在型のカジノを含む複合施設を作ることです。インフラ整備等、先行投資はかかるものの、未来の横浜を考えたときに必要なものだと思います。 | 参考 | |
| 933 | 横浜市 of 生産年齢人口 of 今後の推移を考えますと、市の税収減と、税支出増が同時に進行していくことが想定されます。横浜市 of 存在を維持・発展させていき、我々の子孫につけを回してはけません。このような環境下、観光都市「横浜」をより鮮明に打ち出す方策として横浜 I R の推進に期待します。 | 参考 | |
| 934 | 横浜市 of 少子高齢化、労働人口 of 減少を考えますと、市の税収減少に不安を感じます。次世代 of 生活の維持、魅力ある観光都市「横浜」を創造していく為にも横浜 I R の推進に期待致します。 | 参考 | |
| 935 | 横浜で生まれ、育ち、成長させて、くれた横浜が更に、パワーアップして、市民が豊かに暮らす都市にして下さる様、I R 計画 of 実現宜しく願います。 | 参考 | |
| 936 | 横浜 of 更なる躍進と魅力ある街づくりの為、I R 実現に期待しています。横浜港は、市のシンボルであり、世界的な影響をもたらす、I R 計画に将来も、安定、安心出来る横浜にして欲しい、宜しくお願いします。 | 参考 | |
| 937 | 横浜 of 将来の為には、必要な政策だと思いますので、スピーディーに進めて頂きたいと思います。 | 参考 | |
| 938 | 横浜 of 発展、活性化に I R の取組は未来が感じられ良いと思います。高齢化社会、人口減少は現実的です。住みやすい都市、暮らしやすい都市のためにも I R の推進に期待します。 | 参考 | |
| 939 | 横浜 of 人口減少、高齢社会とこれからの横浜を考えなければいけないと思います。横浜 of シンボルである港を活用して of 事業で横浜 of 活性化が行えるのであれば期待したいと思います。将来 of 横浜を築いて欲しいと思います。 | 参考 | |
| 940 | 日本有数の観光地として、多くの人で賑わう国際都市であり続けるためにも、I R の推進に大いに期待したいところです。そして、世界 of 人が観光に行くなら日本、日本に行くなら横浜に、と思ってもらえるような国際都市を目指していただきたいです。 | 参考 | |
| 941 | 市民 of 豊かな暮らしのために考えられた基本コンセプトは、とてもよいと思います。今後、人口減少、超高齢社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれ、不安な状態になることを考えると、世界各国 of 人々が横浜へ来ることで経済 of 活性化にもつながりさらなる発展を目指すことができると思います。横浜が活気あふれ、魅力ある都市になることを願っています。 | 参考 | |
| 942 | これからの「横浜らしさ」に期待しています | 参考 | |
| 943 | 横浜市 of 生産年齢人口 of 減少や老年人口 of 増加による税収の減収及び支出増を鑑み、将来の子や孫 of 世代まで豊かな暮らしを維持するために、そして魅力ある横浜を創出するため、横浜 I R の推進に期待しています。そのために、他国 of I R の真似ではない、横浜 I R 独特 of 統合型リゾートを期待する。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 944 | 「横浜イノベーションIR」に賛成です。 | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜IR」では、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションIR」を目指していきます。＜方向性P.26＞</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 945 | 横浜IR（統合型リゾート）は市民にとってマイナス面のみです。反対です。 | 参考 | |
| 946 | カジノは反対！反対！やめて下さい。 | 参考 | |
| 947 | 今回の素案の撤回を求めます | 参考 | |
| 948 | カジノIRは反対です | 参考 | |
| 949 | 横浜カジノは反対です。 | 参考 | |
| 950 | IRを進めてください。 | 参考 | |
| 951 | 横浜イノベーションIRのコンセプトに賛同する。 | 参考 | |
| 952 | 世界の住んでみたい都市ランキングの中で、上位を占める都市の中でカジノが無い都市は、日本だけだと聞きました。IRを進めて、世界と同等の都市づくりを進めてください。 | 参考 | |
| 953 | 横浜IRに賛同するので、進めてください | 参考 | |
| 954 | 世界中から横浜に人が集まって、活気のあるYokohamaになってほしいです。 | 参考 | |
| 955 | IR賛成 | 参考 | |
| 956 | がんばって下さい。 | 参考 | |
| 957 | 興味ありますので行きたいと思います。 | 参考 | |
| 958 | IRはこれまでの概念を吹き飛ばす素晴らしい取組みだと思う。 | 参考 | |
| 959 | IRの整備によって、外国人から選ばれる都市として、横浜が更なる発展につながっていくことを期待します。 | 参考 | |
| 960 | IRの導入は、横浜を世界にアピール、知ってもらえる絶好の機会である。 | 参考 | |
| 961 | 日本に行くなら横浜へ東京から横浜への流れを作るようなIRを作るべき、チャンスは今しかない！！ | 参考 | |
| 962 | IRによって横浜が更に魅力のある都市として世界から注目され、多くのビジネス客、観光客を迎えることで都市全体の活性化、豊から市民の暮らしにつながることを期待しています。 | 参考 | |
| 963 | IRの方向性に賛成します。心配なことがあるのも事実ですが、将来の横浜のために必要な施策であると受け止めています。 | 参考 | |
| 964 | IRができてからシンガポールは全く変わったと思います。同じような素晴らしい変化を横浜にも期待しています。 | 参考 | |
| 965 | 素晴らしい計画になっていると思います。ぜひ実現してください！ | 参考 | |
| 966 | 横浜IRは賛成です。横浜の将来には絶対必要です。 | 参考 | |
| 967 | IRは賛成です。基本コンセプトには今までの横浜の街と一体的に整備とありました。今の横浜は大好きなので、それに沿った街になるよう、よろしく願います。 | 参考 | |
| 968 | 横浜IRは賛成です。ぜひ実現させて下さい！ | 参考 | |
| 969 | 横浜IRには賛成します。 | 参考 | |
| 970 | IRは必要です。ぜひ実現を！！ | 参考 | |
| 971 | IRは賛成します。 | 参考 | |
| 972 | IR=カジノではないことが良くわかった。ぜひIRを進めていただきたい。 | 参考 | |
| 973 | IRを設置して外国の方にも誇れる街にしてほしい。 | 参考 | |
| 974 | IR楽しみです。 | 参考 | |
| 975 | 横浜港の入口にすばらしいIRをつくってほしい。 | 参考 | |
| 976 | 未来の横浜のため、IR推進して下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 977 | I Rのメリットを考え、必要である | 参考 | <p>今後、横浜においても人口減少、超高齢化社会等、様々な社会経済情勢の変化が見込まれます。そうした中でも、市民が生き生きと暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため、横浜は今ある「横浜らしさ」に誇りを持ちながら、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。</p> <p>「横浜I R」では、世界水準のM I C E施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光・経済にイノベーション（革新）をもたらしていきます。</p> <p>横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために、そして、横浜の都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！</p> <p>そう思ってもらえる「横浜イノベーションI R」を目指していきます。＜方向性 P.26＞</p> <p>今後も、I Rへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 978 | 横浜I Rの素案を見て横浜の将来を考えI Rの必要性が理解できた | 参考 | |
| 979 | 横浜I R（素案）を見て横浜の将来を考え、I Rの必要性が理解できた。 | 参考 | |
| 980 | 子供達への将来の遺産として期待しています。 | 参考 | |
| 981 | 横浜にとって必要なものだと思います。早急に実現にむけ努力して下さい。 | 参考 | |
| 982 | I R良いと思います。 | 参考 | |
| 983 | いいと思う。 | 参考 | |
| 984 | I Rは必要だと思います。 | 参考 | |
| 985 | 早い時期に、実現を望んでいます。 | 参考 | |
| 986 | 横浜I Rの方向性（素案）を見て、横浜の将来を考え、I Rの必要性が理解できた | 参考 | |
| 987 | 賛成です。横浜の将来を考え、I Rの必要性を理解できた。 | 参考 | |
| 988 | 横浜I Rの方向性（素案）を見て、横浜の将来を考え、I Rの必要性が理解できた。 | 参考 | |
| 989 | 横浜I Rの方向性（素案）を、見て、横浜の将来を考え、I Rの必要性が理解できた。 | 参考 | |
| 990 | 横浜の将来の為に、必要と考える | 参考 | |
| 991 | I Rの方向性を考えれば、横浜市の将来の為、必要。 | 参考 | |
| 992 | 賛成。I Rを早く進めて下さい。 | 参考 | |
| 993 | 横浜市の方向性、I Rの必要性が理解できた。横浜I Rのメリットを生かし、アピールしてほしい。これからの世代に財政の負担を押しつけてはならない。横浜でI Rを行うことが今後の横浜の推進力となると確信している。 | 参考 | |
| 994 | 横浜市の将来を考えると、I Rの必要性が理解出来る。 | 参考 | |
| 995 | 横浜を21世紀を象徴する新しい都市にしていきたい。横浜市の方向性を支持します。 | 参考 | |

3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

3.2 横浜 I R の方向性 1 世界最高水準の I R を実現 に関するもの

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 1 | 最初は I R (カジノ含む) 横浜にはいない、反対でしたが、自分の無知の部分もあり、I R=カジノ=賭博=悪と言う図式でしたが、いろいろ自分なりに調べ、中途半端なものでなく、世界に横浜をイメージが出来るものを展開してほしいと思い提出しました。課題もまだまだ多いが、中途半端に作るとこれから世界を相手に伸ばすのは難しいと思います。頑張りを期待します。 | 参考 | <p>「横浜 I R」は、世界水準の M I C E 施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー(技術)を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド(混成)に創造し、横浜の観光経済にイノベーション(革新)をもたらしていく世界最高水準の I R を実現します。〈方向性 P.26〉</p> <p>また、周辺地域との一体的な観光振興により、市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる日本のゲートウェイ(玄関口)を目指します。〈方向性 P.28〉</p> |
| 2 | I R=バクチのイメージが誤っていると思う。まさに統合型リゾートであり、健全な魅力ある施設としての可能性を十分備えている。ぜひそのような素晴らしく魅力ある施設になるよう、積極的に進めてほしい。 | 参考 | |
| 3 | I R 賛成です。勿論カジノもよいと思います。横浜の国際都市に必要な条件のひとつでもあると思うし国内、も又、外国から来た観光目的の人も横浜を楽しむための施設として I R、カジノ賛成です。こういう施設がないと観光客は東京へ箱根へと流れて行きます。横浜に泊って頂いて十分に横浜で遊ぶ。実現に向け、成功をお願いします。 | 参考 | |
| 4 | 世界最高水準の I R が、ベイ・エリアで実現すれば、横浜は実体を伴う国際都市になり得ます。以下の条件が揃えばなお、好ましいと思えます。羽田から(海を渡る)直通路の敷設。最先端の頭脳・技術・設備等を有する医療機関。誰でもが自由に入れるのではない何らかの差別手段。内陸側へのアクセス。おとな(大人)の社交場。 | 参考 | |
| 5 | カジノのことを心配するよりも、カジノ施設以外のエンターテインメント施設や M I C E、ショッピングモールなどの充実面をアピールすることで、I R に対するマイナスイメージをプラスに変えていけると思う。実現すれば、今よりもっと魅力的な街になるはず。 | 参考 | |
| 6 | 賛成しております。子どもたちのために豊かな横浜市であってほしいです。よい政策、街づくりには財源が必要です。増税ではなく、人を呼びこみエンターテインメントを提供する施設、I R を誘致する一手は、非常に市民を大切にしたいと考えております。ぜひ、ステキな I R を創って税金を上げてください。 | 参考 | |
| 7 | 横浜を世界一の港、観光の街に発展させましょう | 参考 | |
| 8 | 賛成します。都市の魅力アップ(観光産業をはじめとした地域振興、住民への多様な機能提供)を通じ首都圏における横浜エリアの地盤の向上が図られ、ひいては日本国の魅力の増強ともなると思う。 | 参考 | |
| 9 | 新しいことを取り入れていかないと何事も衰退していきただけなのでこれまでにないものに取り組むことは良いことだと思います。ただ単に新しい施設をつくるというだけではなく、又、新技術や方法等を採用するだけでなく、常に何かしら新鮮なものを取り入れ続け、継続的に人を引きつける施設を構築してほしいと思います。期待しています。 | 参考 | |
| 10 | 人口減少が進む中で、横浜の街を豊かにしていくためには外部よりの資金導入が欠かせない。I R はその最有力な手段と考える。カジノばかり取り上げられるが、ほんの一部でしかなく、M I C E やショッピングモールなど、海外、国内を問わず訪れたいくなる街作りに最適の施設と考える。メリットをもっと強調し、早期の整備を期待したい。 | 参考 | |
| 11 | 人口減少が明確になる中で、新しい街づくりの契機として、「横浜 I R」には大きな期待を寄せている。横浜をさらに輝やかせるため、歴史的建造物の保存・活用など、これまで培ってきた街の資産(文化・芸術・仕組みなど)を生かしながら、自動車の自動運転の実現など次代を先取りした取り組みを内港地区全域で描き出してほしい。 | 参考 | |
| 12 | I R に賛成です。シンガポールよりも良いものを整備して下さい。 | 参考 | |
| 13 | 世界最高水準の I R を目指すとは、又、何を以て世界最高水準といえるのか具体的に説明して下さい。 | 参考 | |
| 14 | I R=カジノというイメージをお持ちの方が多くいますが、カジノは法律で制限された面積しか作れないと聞いています。マイナンバーカードでの把握や入場料を取ることで依存症は問題ないと考えます。横浜に世界的な規模の施設が出来ることを心待ちにしています。 | 参考 | |
| 15 | 諸国に負けない夢のあるリゾート、ぜひ期待しています。 | 参考 | |
| 16 | 世界的にみれば、横浜の知名度はまだ低い。I R の設置を機に大きく羽ばたいてほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 17 | シンガポールのマリーナベイサンズに負けないような、インパクトとスケールを持つIRを実現して欲しい。 | 参考 | 「横浜IR」は、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光経済にイノベーション（革新）をもたらしていく世界最高水準のIRを実現します。＜方向性 P.26＞ また、周辺地域との一体的な観光振興により、市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します。＜方向性 P.28＞ |
| 18 | 将来においても横浜のまちを維持し、市民が安心・安全な暮らしをするためには、他の大都市と比較して相対的に劣る横浜経済の活性化が重要であります。そのためには、横浜経済を支える新たな産業の柱として期待される観光産業の振興が必要であり、その起爆剤として統合型リゾート（IR）の横浜誘致を何よりも望んでおります。是非とも、日本の他の都市にない、そして世界に類をみないシンボリックな横浜らしい統合型リゾート（IR）の実現を図って欲しいと願っております。 | 参考 | |
| 19 | 賛成です。但し、世界最高水準かつ東洋一。魅力なければ、人は来ない！横浜には、目玉が少なすぎる | 参考 | |
| 20 | 私は横浜IRに賛成である。税収の増大や雇用の増加による経済効果が期待できるのは、もちろんのこと、さらに単純に私はカジノを日本で体験してみたい。横浜IR、大賛成である。 | 参考 | |
| 21 | ギャンブルについては、海外にあるカジノや日本にもある公営ギャンブルなど、身の丈にあったギャンブルを楽しんでいる大人は非常に多く、身を滅ぼしているのはごく一部の層である（買い物だって、買い物依存症が一定数発生するのと同じ）。夜景のきれいな港町横浜で、上記のような身の丈にあったギャンブルを楽しむ層（大人）に、相応の場（カジノだけでなく、一流の飲食や宿泊施設、エンタメを含め）を提供することは、ごく自然だと考える（IR誘致には賛成だが、競馬場や競艇場などリアルギャンブルを楽しめるお台場の方がもっと良い立地だと思うけど）。 | 参考 | |
| 22 | カジノばかり注目されていますが、国際会議場、ホテル、諸施設等のPRをして観光客の増加を期待する。 | 参考 | |
| 23 | 中区の中心部もかつての賑わいが失なわれています。多くの人が訪れる街になるようIRを整備してほしい。（賛成です） | 参考 | |
| 24 | 新しい観光施設や商業施設が出来る事を期待します。郊外にあるような単なるショッピングモールではなく、日本中探してもないような華やかな施設であってほしい。IRに賛成します。 | 参考 | |
| 25 | みなとみらいも観光地としては、規模が小さいので、IRによって新しい目玉となる観光施設がたくさん出来る事を期待しています。IR実現に賛成です。 | 参考 | |
| 26 | 賛成です。是非どこにもない素晴らしいIRを作ってください。 | 参考 | |
| 27 | 横浜には有名なホテルもレストランもなく、百貨店なども古臭い。市民として楽しめる施設として大規模なIRを作ってください。賛成です。 | 参考 | |
| 28 | ランドマークタワー、ベイブリッジ、大栈橋に匹敵する、いやそれ以上のIR施設を希望します。 | 参考 | |
| 29 | ラスベガスもマカオも楽しかったです！あんな施策ができるなら賛成です。 | 参考 | |
| 30 | 最高のロケーションに最高の施設ができることを期待しています。 | 参考 | |
| 31 | 世界のビジネス・エンターテインメントははるか進歩しており、このままでは日本は乗り遅れる一方。世界基準のIRをぜひつくってほしい | 参考 | |
| 32 | 東京に負けないよう、横浜独自のものをつくる必要がある。ぜひその強みをつくってください | 参考 | |
| 33 | 表紙のイメージ図ですが、みなとみらいなどがIRに呑み込まれるように見えます。都心臨海部との融合とありますので、それぞれの地区が相互につながるイメージ図にした方が良いと思います。日本初のIRに期待しています。 | 参考 | |
| 34 | IRに賛成です。是非、実現願います。横浜は観光地ですが、これといって特に突出した場所や物があるわけではないので、何かもって他にはない特徴的なものが必要だと思います。もっと魅力的な観光地としての目玉になるようなものとして、IRは日本全国はもとより、世界中の人々にも訪問していただけるリゾートとなり、横浜の経済の発展やブランド力の向上に必ずやつながるものと思いますので、横浜の未来のためにも、切に実現を願います。 | 参考 | |
| 35 | SDGsやギャンブル依存症対策にもしっかりと取り組んで頂き、日本人、横浜市民が誇りに思えるようなIRを創って頂けたらと思います。 | 参考 | |
| 36 | 都心臨海部との一体整備となれば、周辺の観光スポットもIRが誘致されることでそれぞれの価値が向上すると思われ、カジノ設置によるマイナスなイメージなどは現実的には問題はないと考える。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 37 | 日本にIRを整備するのであれば、横浜が最適ではないかと思う。横浜から外国に向けて日本全体の魅力を発信してほしい。 | 参考 | <p>「横浜IR」は、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光経済にイノベーション（革新）をもたらしていく世界最高水準のIRを実現します。〈方向性 P.26〉</p> <p>また、周辺地域との一体的な観光振興により、市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します。〈方向性 P.28〉</p> |
| 38 | 横浜市において横浜市の都市づくりイノベーションとも言えるIRのプロジェクトが議論されておりますが、是非共、横浜令和維新の起爆剤として実現を目指し、IRがその役割を果たすきっかけとなればと思います。IRを中心とした新たな都市（まち）づくりに期待しています。 | 参考 | |
| 39 | 横浜IRの方向性1、2とも素晴らしいすぎるコンセプトで、逆に不安を覚えますが、せっかくだらなければ、世界に誇れる「横浜」を実現して欲しい。 | 参考 | |
| 40 | 東京、大阪の通りみち的となってしまう横浜に魅力的な施設を設けることにより、更に活気あるまちづくりをお願いしたい。 | 参考 | |
| 41 | 横浜にハイクラスのお客様がもっと来れる様な仕組みを期待しています。新しい横浜の顔になる様、頑張ってください。 | 参考 | |
| 42 | IRの話＝カジノになってしまっているが、本来のメインはMICEであり宿泊施設である。東京にも負けない展示場は国際観光都市としては不可欠である。 | 参考 | |
| 43 | どうせカジノをつくるなら他国に負けないものを！東京や大阪にも負けないものを！横浜を誇りに思っています！ | 参考 | |
| 44 | みなとみらいには色がない。多彩になってもいい場所だと思います。カジノがついたIRは賛成です。 | 参考 | |
| 45 | 横浜は東京と隣接しており、会議場、展示場、劇場を作っても、競合するだけです。何ら目新しい物ではあり、すぐれた計画とは思えません。 | 参考 | |
| 46 | カジノ導入大いに賛成です。世界中から人が集まりにぎわえば経済がうるおい発展する事まちがいありません。魅力ある横浜さらに前に進んで、期待しています。 | 参考 | |
| 47 | 世界最高水準のリゾートが出来て楽しみが増えるのはワクワクします | 参考 | |
| 48 | 国際都市横浜にふさわしい世界最高水準のIR実現に期待しています。 | 参考 | |
| 49 | カジノ施設以外のエンターテインメント施設やMICE、ショッピングモールなどの充実面をアピールすることで、IRに対するマイナスイメージをプラスに変えていけると思う。 | 参考 | |
| 50 | カジノ施設以外のエンターテインメント施設やMICE、ショッピングモールなどの充実面をアピールすることで、IRに対するマイナスイメージをプラスに変えていけると思う。実現すれば、今よりもっと魅力的な街になるはず。 | 参考 | |
| 51 | IR施設が実現すれば、今よりもっと魅力的な街になっていくと思う。カジノだけでなく、他のエンターテインメント施設などの充実面をアピールしていくべきでは。 | 参考 | |
| 52 | カジノ抜きIRはありえない。安心なカジノとこれまでにないMICEで世界最高のIRを！ | 参考 | |
| 53 | 世界最高の水準のIRを整備してほしい。 | 参考 | |
| 54 | ニューヨーク、マンハッタン島の一等地のセントラルパークのような、100年先を見通した計画を立ててください。閑古鳥の鳴くオペラハウスなど見たくありません。 | 参考 | |
| 55 | 世界のIRとも差別化できる「横浜IR」をつくることで、より一層、観光地として横浜さらには東京含めた日本のプレゼンスが向上することを期待しています。 | 参考 | |
| 56 | 経済活性化の起爆剤としても、期待したいと考えます。国際都市・ヨコハマにふさわしい世界水準のIR実現を楽しみにしております。 | 参考 | |
| 57 | 様々な既存の施策と融合させ、より効果的なIRとなるように期待しています。 | 参考 | |
| 58 | 何かこれまでにないことをやらないと、横浜の観光客は増えないと思う。IRに賛成します。 | 参考 | |
| 59 | 世界にほこれるものをつくってください。IRのある町横浜に住んでいることを自慢したいです。 | 参考 | |
| 60 | 賛成です。完成したら、行ってみたいと思います。みなとみらいができたように新しい横浜の顔にして下さい | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 61 | オリンピックの次の楽しみは、横浜にIRができること。世界最高水準の施設を早く見てみたい。 | 参考 | <p>「横浜IR」は、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光経済にイノベーション（革新）をもたらしていく世界最高水準のIRを実現します。＜方向性 P.26＞</p> <p>また、周辺地域との一体的な観光振興により、市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します。＜方向性 P.28＞</p> |
| 62 | みなとみらいも魅力的ですが、山下ふ頭に最先端の施設を整備してさらに賑いのある魅力的な都市となるように、IRを誘致してほしい。 | 参考 | |
| 63 | 民設・民営でこんなに魅力にあふれたIRを導入できるなんて、素晴らしい仕組みだと思います。世界最高の統合型リゾートを致致してください。 | 参考 | |
| 64 | 山下ふ頭は羽田からのアクセスも良く、既存のまちとも地つづきで、高いポテンシャルがあります。横浜の賑わいの拠点として魅力あるIRを期待しています。 | 参考 | |
| 65 | 横浜で何か観光するところある？と地方出身の人に聞かれて、すぐに思いつくのは中華街くらい。今回IRの実現を目指すなら、横浜なら「山下ふ頭のIRに行くといいよ」と言えるくらいの観光リゾートを作り、他の自治体からも羨ましがられるほどの魅力を創造してほしいと思います。 | 参考 | |
| 66 | カジノをエンジンとしてMICEを運営すると聞きました。グローバルMICE都市の実現には、IRの誘致は必須。ぜひIRを成功させ、グローバルMICE都市を実現してほしい。 | 参考 | |
| 67 | 世界水準のカジノなら行ってみたい。日本にいながら、トップクラスの施設が見られるのはとても良い。 | 参考 | |
| 68 | IR楽しみです。シウマイと同じくらい名物になるものをつくってください。 | 参考 | |
| 69 | IR応援中。世界中の富裕層から選ばれる根拠を教えてください。 | 参考 | |
| 70 | IR賛成です。和洋折衷が大変だと思いますが、重要なポイントです。 | 参考 | |
| 71 | IR賛成です。外国のIRと競争になると思います。ぜひとも日本・横浜にしかないものをつくりあげてください。 | 参考 | |
| 72 | 世界に1つだけのIRをつくって欲しいターゲットを、世界のセレブに限定し、だれでもが、楽しめる施設では中途半端なものになるので。ここだけしかないものを…。カジノは低所得の、日本人が、入れないように、レートを極めて、上げて欲しい。 | 参考 | |
| 73 | 観光立国、日本の目玉として海と緑豊かな横浜なので安全、安心なエンターテインメント統合型リゾート施設は必要 | 参考 | |
| 74 | 「日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します」とありますが、玄関にカジノが必要な意味がわかりません。そもそも、玄関口としての横浜の港湾機能は、その一部をIRにそぐことで減殺されてしまっていることをどう整合性をもって説明できるのでしょうか。 | 参考 | |
| 75 | 横浜にカジノはいやだけど、横浜にいる外国人が遊びたいなら別にいいかな。カジノに行きたくない人は行かないだけでいいだけだし。観光客を呼び込むために横浜に魅力的なところをつくるのは別にいいんじゃないかな。もし横浜にげき場とかできたらすてきなショーを私たちも楽しめるかもしれないし。 | 参考 | |
| 76 | カジノ如何に関する議論を抜きにすれば、市としてのIR事業への取組みには賛成です。特に民間の航路としての「みなと横浜」を復旧させようという試みには賛成です。 | 参考 | |
| 77 | 基本的に大賛成である。（現状の都市機能低迷への起爆剤）横浜のみなとみらい地区等中心地の発展形態に中核としてIR施設を計画することは、時宜を得たものである。現状では、日帰り観光地としてこれからの発展性は乏しく、平日の横浜の惨状をみるに、新たな計画立案は必須である。既存の都市機能、都市施設では魅力に乏しい。 | 参考 | |
| 78 | （未利用地区の発展計画）ベイフロントの未利用地区と言ってもよい山下ふ頭地区に、計画することは周辺も含めて大いに期待できる。カジノがクローズアップされるが、中核は多様な施設群であり、新たな都市の魅力を生み出し、多くの雇用だけでなく、多くの来客を得て、新しい横浜の魅力を発信できると確信する。 | 参考 | |
| 79 | IR施設については、そんな素敵な場所をチープな場所に変えてしまう危惧はありません。安定した収入、税収の重要さは分かります。横浜市の居住者としてその恩恵も認識していますが、特定の年代、世代しか楽しめず、様々な弊害の予見されるIR以外の方法を前広に議論すべきではないでしょうか。都心や羽田からのアクセスの良さ、またすでにある良いエリアイメージを活かし、スポーツ施設、観戦施設、教育文化施設など老若男女が楽しめる場所になって欲しいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 80 | 横浜ⅠR整備に賛成です。横浜が将来に向かって、楽観的な状況ではないことは、明白です。どこにでもあるショッピングモールを並べた観光地のままで終わるのか、1日遊んでもまだまだ遊び足りない街になるのか、ⅠR整備によって観光地としての価値が大きく変わると思います。 | 参考 | <p>「横浜ⅠR」は、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー(技術)を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド(混成)に創造し、横浜の観光経済にイノベーション(革新)をもたらしていく世界最高水準のⅠRを実現します。〈方向性 P.26〉</p> <p>また、周辺地域との一体的な観光振興により、市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる日本のゲートウェイ(玄関口)を目指します。〈方向性 P.28〉</p> |
| 81 | 労働人口の不足はAⅠ技術を活用してください。住みたい街としての人気と子育てしやすい街、西部の港地区とともに東部の住みよい街、世界に誇れる取り組みカーボンニュートラルな街、災害に強い都市、お年寄りにも海外の方にも優しい街、人が生き生きと暮らしている街作りを目指してください。 | 参考 | |
| 82 | 歴史的にも海外に開かれた横浜をアピールする上で、ⅠR誘致は効果が高い。既に国内で認められているギャンブル(パチンコ、競馬等)に比べ、限られた範囲でのカジノは何ら問題無い。依存症対策、セキュリティ、反社対策等を徹底して積極的にカジノも含めたⅠR施設を誘致すべき。日本にⅠRが出来なければ、インバウンドの強化の面からしても国際競争に負けてしまう。 | 参考 | |
| 83 | 横浜ⅠRの方向性素案には、カジノ付ⅠR計画のみが唯一横浜市革新と豊かさ拡大に繋がるという根拠に納得性が乏しい(出来レース風に感じられてしまう)。まずは、横浜が世界に誇る伝統文化・歴史・自然環境を更に活かす計画を立案・推進すべきである。横浜ⅠR計画は、足元を固めてから長期的展望に立って具体化すれば成功につながる | 参考 | |
| 84 | 「みなとみらい21」には日帰り客が多いし、何よりも修学旅行生は少ない。海外の観光客もネットで事前に情報を集め狙いの地方に直行してしまう傾向にある。要は国際文化観光都市を目指すなら未来へのどっしりしたレガシー(世代から世代に受け継ぐ精神的、物理的遺産)が必要で、それが無いと国内外の修学旅行生や観光客の滞在は難しい。カジノとライブ劇場では役不足だ。そもそも横浜市の特徴は何であろう。結局、明治の文明開化以来の世界の海とつながる日本の玄関口であることだ。過去の歴史は170年ほどしかないのだから横浜が名実ともに未来指向の国際文化観光都市を目指すならなければならない。 | 参考 | |
| 85 | ⅠR賛成。横浜市の魅力をさらに高めるものをぜひ作って下さい。 | 参考 | |
| 86 | 基本的に賛成です。ただし、次の3つの要件が不十分で、補足されることを望みます。現在不足している横浜市の魅力発信設備となり、国際的に評価されるべき独自性をアピールできること。柔軟性をもち、時代を切り開くスケールとクオリティをもったソフト産業(芸能、スポーツ含む)育成の発信基地であること。西欧的な景観にとらわれず、日本的な独自性を前面に押し出すこと。 | 参考 | |
| 87 | 日本政府の視点でも、横浜にⅠRを作るのはメリットがあるし、世界のⅠRの中で生き残る、むしろ、憧れられるⅠRを作れると思う。横浜ⅠR賛成。 | 参考 | |
| 88 | 横浜ⅠRの誘致賛成。ラグビーワールドカップが大変成功したので、横浜ⅠRを活用するイベントとしても、再度ラグビーワールドカップを誘致したり、サッカーワールドカップを誘致したりしていくと、更に盛り上がりが出ていくのではないかと。ラグビーワールドカップでは、海外のお客さんから横浜で遊べるところをよく聞かれたが、あまり案内できる場所がなくて残念だった。横浜ⅠRがあれば、より多く横浜に滞在してもらえていいだろう。 | 参考 | |
| 89 | 横浜ⅠR、いいと思います。横浜のシンボルとしてこれからの横浜市と共に歩んでくれるといいなと思います。 | 参考 | |
| 90 | 素案を拝見し、実現が待ち遠しくなりました。特に41~42ページの説明で神奈川・横浜の魅力を見直しました。ⅠRにより東京とは異なる魅力をブラッシュアップし、東京とともに発展することを期待します。具体的には広い空間として海や空を楽しめるまち、広い居室のホテル、長期滞在できるアパートメントホテルなどです。 | 参考 | |
| 91 | 「世界最高水準のⅠRを実現」について様々な素晴らしい姿が列挙されていますが、海外ⅠR運営企業の宣伝とかなりかぶる、ともかく巨大で総合的?であるということが特徴の典型的な規模追求型の開発であり、様々な具体的詳細はこれから検討されるということが分かりました。 | 参考 | |
| 92 | 賛成。横浜に新しい価値を生むいいチャンスだ。グローバルMICE都市としてふさわしい、最高のⅠRを誘致してほしい。 | 参考 | |
| 93 | 横浜ⅠRに期待しています。世界最高水準のリゾート施設として期待を裏切らないよう、華やかさだけでなく清潔感も最高水準のリゾートになるといいと思います。 | 参考 | |
| 94 | 誘致に賛成です!!!横浜ⅠRで楽しむことがステータスになるような、市民が自慢できるリゾートができてほしい! | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 95 | 横浜市のIRの方向性について、大賛成。世の中ではIRをギャンブルと喧伝しているが、米国のラスベガスを見て欲しい。一大エンターテインメント施設で有り、子供達も遊ぶ事が出来る。 | 参考 | <p>「横浜IR」は、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光経済にイノベーション（革新）をもたらしていく世界最高水準のIRを実現します。〈方向性 P.26〉</p> <p>また、周辺地域との一体的な観光振興により、市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します。〈方向性 P.28〉</p> |
| 96 | 世界中の人々が横浜市来たいと思うようなIRを作りたいと思います。カジノだけではなく、日本を代表するような・これまでにない商業施設やエンターテインメント施設が整備され、地域住民や観光客で賑わうことを期待します。 | 参考 | |
| 97 | IR誘致賛成します。住みやすいまちを造る一つのコンテンツとして、市民に愛される施設作りを行って下さい。 | 参考 | |
| 98 | IRには賛成です。大黒埠頭一帯にも大型IRを作っていただきたい。 | 参考 | |
| 99 | 横浜の湾岸エリア（みなとみらい、新港地区、山下、新山下）は、高機能集積エリア、他エリアからの迎え入れ機能として整備される必要があると考える。みなとみらい、関内、関外、伊勢佐木町、野毛、横浜駅西、東エリアはパワフルでアクティブな機能を集積し、エリアからのお客様にいらして頂くエリアであると考えている。 | 参考 | |
| 100 | IRのターゲットが外国人のようであり、ターゲットを明確にするべき基本コンセプトに「世界最高水準」とあるが、何が最高水準か不明。IRを実現するために、1期から3期のように段階的にグローイングアップする計画がよいのではないかと。 | 参考 | |
| 101 | 「横浜が世界の中で魅力的な都市になるのが楽しみです。より経済面でも活性化することを期待しています。」 | 参考 | |
| 102 | 33～46ページ：IRはすでに世界中にあります。横浜IRには横浜独自のものが重要です。宿泊施設、集客施設、カジノ施設を見ると、どこにでもある施設で独自性がまったくありません。これでは横浜を感じることができないので、横浜に設置する意味がありません。 | 参考 | |
| 103 | IRに期待するところは、横浜から新たなビジネス機会が生まれること、世界に誇れるようなエンターテインメントを発信し、日本の魅力を世界へ発信すること。横浜はそれが出来る場であり、そういった施設を創ってほしいです。 | 参考 | |
| 104 | 国は、日本を「観光先進国」に引き上げるといふ大きな公益に資するIRを求めているようなので、横浜IRがそれに合致していることを強く国にアピールできる方針になるといふと思う。 | 参考 | |
| 105 | 横浜市IRに沿った、特定複合観光施設区域であれば、法制化された特定複合観光施設区域を利用するとしても、その中の良い所取りが、より望ましい。つまり、国の力を借りる事よりも、魅力ある、誰でもが行きたくなる、市民の為の施設であることの方が重要。現在、外国の方々が訪日される理由には、自分達が持たない独特の文化、自然風景が日本にあるからである。いままら、シンガポール、マカオ、カンボジア、フィリピンの真似をする事で、上手くゆくと論理的説明が出来ない。横浜ならではの独自の観光施設区域の実現を目指すべきである。複合にこだわると、何から何まで中途半端な観光施設区域になる恐れがある。それよりは、「これだけは、他の誰にも負けない」をまず確立すべきである。 | 参考 | |
| 106 | 子供たちも小さい頃から世界の最先端エンターテインメントやテクノロジーに触れる機会があればきっと、日本にとっても重要な人材が横浜から育っていくと思います。 | 参考 | |
| 107 | 「世界最高水準のIR整備法」とは無意味な言葉（p. 28）「ギャンブル依存症や治安対策など世界最高水準のIR整備法」とあるが、すでに国内ではIR誘致にまつわる賄賂が発生している。そのような状態において、「世界最高水準の規制」とは、まったく意味を成さないものである。 | 参考 | |
| 108 | 横浜IRにビジネス創出の機能を！横浜の活性化の為に本当に必要なのは「ビジネスの創出」と考えます。IR開発は世界レベルのMICEや宿泊や文化施設、エンタメ（カジノ含む）もあり、快適でエコフレンドリーなスマートシティ開発なので、ニューヨークやシンガポールにも見劣りしないビジネス拠点としてポテンシャルを有していると思います。更にインキュベーション機能として国際的な教育機関が開発エリアにあっても良いと思います。ただ目立つだけのホテルやカジノがあるだけのIR開発はもう古いと思います。横浜は大都市の港町として環境や魅力的な夜景もあるので、それらを取り込んだ開発ができれば世界でもオンリーワンのIR開発ができると思います。 | 参考 | |
| 109 | 横浜の開港の歴史を振り返ると、横浜は日本初のものが多く、当時の横浜の活気を現代に再現してほしいと感じた。頑張してほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 110 | IRを誘致による横浜市、神奈川県が更なる発展・進化を遂げることができると考えます。最先端のテクノロジーを始め、世界中から注目される都市のひとつとして、人、物、金が集まり、活性化することは、間違いないと考えます。 | 参考 | <p>「横浜IR」は、世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光経済にイノベーション（革新）をもたらしていく世界最高水準のIRを実現します。〈方向性 P.26〉</p> <p>また、周辺地域との一体的な観光振興により、市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します。〈方向性 P.28〉</p> |
| 111 | 市民の立ち場からしても、IR施設の完成は非常に楽しみです。是非推進をお願い致します | 参考 | |
| 112 | 横浜IR誘致賛成します。昨年ハンマーヘッド（客船ターミナル）も完成し、海外観光客を迎え入れビジネスやレジャー、幅広い内容で横浜の発展を望んでいます。 | 参考 | |
| 113 | 横浜IR誘致賛成します。これからの横浜をもっとグローバルに、また、日本を代表する都市として、ビジネス、レジャー等、広い世代から愛される空間を望んでいます。 | 参考 | |
| 114 | ランドマーク的な施設の建設や、これまで以上の国際的会議・展示会を開催するなど、国際都市横浜として、“横浜”という地のブランド力をパワーアップするような街づくりを期待しています。 | 参考 | |
| 115 | カジノのみに注目されているようなのでそれ以外の魅力を発信してほしい。魅力ある横浜のためにIRを実現してほしい。 | 参考 | |
| 116 | IR=カジノではなく、世界最高水準のIRを横浜IRとして目指し、豊かで安心な将来に向け取組む方向性は、理解できます。さらなる横浜の飛躍につながり観光・経済の拡がり、充実で世界から選ばれる都市になることを期待します。 | 参考 | |
| 117 | 取組の背景にある現状と課題について、横浜市民であれば理解できると思う。世界最高水準のIRを実現するには、カジノは推進力として必要であり「カジノ利用」を「市民」に求めている訳ではない。海外から、国内から幅広い客層が楽しめる整備・運営を期待。観光・地域経済の振興から財政への貢献という方向性は、非常にわかりやすい。 | 参考 | |
| 118 | 魅力的な施設が多く、とても楽しみです。 | 参考 | |
| 119 | 近年「住みたい街ランキング」で1位となっている横浜ですが、世界の人にも「行きたい街」となる様に、IRを実現して欲しい。 | 参考 | |
| 120 | 既存IRに留まらない世界中で唯一無二の横浜IRの実現 横浜IRでは、例えば、横浜らしさを感じながら、鎌倉（大仏）や静岡（富士山）、京都（金閣寺）など、日本一周旅行の気分になれる、世界中で唯一無二の空間を体感できるIRを実現して欲しい。※横浜IRが、日本のPRの一翼を担い、日本の外国人観光客の増加の起点となり、また、リピーターの増加に繋げることで、日本を盛り上げていく。横浜、そして日本を感じられる衣食住の実現 上記※同様の理由より、購買・食事・宿泊について、世界に通ずるハイブランド等を提供はもちろんながら、横浜らしさを感じられる、日本を感じられるショップ・飲食店・滞在施設を併設する。終わりなき横浜イノベーションIRの実現と市民への還元 一度で終わらない、二度、三度訪れたい横浜IRの実現に際し、常に創造し、革新をもたらすような取り組みを継続する。 | 参考 | |
| 121 | 作るのであればシンガポールのマリナーベイサンズを凌ぐものをつくってほしい | 参考 | |
| 122 | 早くIRを整備してください。今の山下ふ頭の暗いイメージを無くしてください。 | 参考 | |
| 123 | 海外からの来訪者にとって魅力ある施設になると、全国へも波及するので良いと思います。 | 参考 | |
| 124 | 行ってみたいと思わせるような施設が実現することを希望しています。 | 参考 | |
| 125 | ベッドタウンとしてではなく、文化や芸術を発信し、経済も活性化した、新たな横浜の姿がイメージできました。是非実現してほしいです。 | 参考 | |
| 126 | 横浜の街はきれいだが、楽しみやワクワク、ドギドギ感がなかったので、IRの導入は楽しみである | 参考 | |
| 127 | IRは、山下ふ頭だけでなく、周辺、都心臨海部、そして市全体へと波及する事業だと知り、応援したい。 | 参考 | |
| 128 | IR必要です。東京から人を集められる様な魅力的な施設を作ってほしい。 | 参考 | |
| 129 | IRに期待しています。ヨコハマは新しいものを取り入れて発展してきました。これまでのヨコハマにはないデザインやクオリティが必要だと思います。 | 参考 | |
| 130 | 世界最高水準のIRをぜひお願いします。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 131 | 世界に誇れる横浜 I R、ぜひ見たいです。頑張ってください。 | 参考 | <p>「横浜 I R」は、世界水準の M I C E 施設、ホテル、エンターテインメントや最先端のテクノロジー（技術）を駆使した未来の街をこれまで築き上げてきた都心臨海部の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していくことで、相乗効果を最大限に発揮するとともに、新たな魅力・資源をハイブリッド（混成）に創造し、横浜の観光経済にイノベーション（革新）をもたらしていく世界最高水準の I R を実現します。＜方向性 P.26＞</p> <p>また、周辺地域との一体的な観光振興により、市内・県内はもとより日本各地の魅力を発信し、送客することができる日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します。＜方向性 P.28＞</p> <p>I R 整備法では、カジノ施設、国際会議場、展示等施設、魅力増進施設、送客施設、宿泊施設、その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設について、民間事業者により一体的に整備・運営されることが求められています。</p> <p>横浜 I R は、市民の皆さまをはじめ、幅広い客層が昼夜を問わず楽しめる、非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾートを目指します。＜方向性 P.28＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> |
| 132 | 横浜に楽しむ場所がないので I R 賛成です。世界一の I R をぜひ作ってください。 | 参考 | |
| 133 | 誰もが楽しめる、日本を明るくする I R を作ってください。 | 参考 | |
| 134 | 横浜の魅力が詰まった I R にしてほしいと思います。 | 参考 | |
| 135 | 日本にも世界最高の水準の I R を作って欲しい世界の人々が来日するキッカケになる様な素晴らしい施設を、作って欲しい。 | 参考 | |
| 136 | ホテルやショッピングゾーン、エンターテインメント施設など、カジノ以外の部分も含めて、大人が楽しめる、上質なひとときを過ごせるラグジュアリーな施設にしてください。 | 参考 | |
| 137 | I R の実現により、ショッピングモール、ホテル、レストラン、エンターテインメント施設など誰もが楽しめる充実した場所ができてよい事だと思います。ぜひとも実現して頂きたいです。 | 参考 | |
| 138 | I R 賛成。MMにはホールが多くあり、県民ホール・K A A T などもあるので、プロードウェイみたいに世界的な場所をつくってください。 | 参考 | |
| 139 | 横浜（日本）には、健全で安全、安心して楽しめる場所、特に夜通し食事をしたり、楽しく時間を過せる施設群を創る必要があると思います。夜の食事は、8、9時頃から始め夜遅くまで、楽しく過ごす、風習もあります。夜も楽しめる安全安心の海浜公園もいい。 | 参考 | |
| 140 | I R 施設はみりよくのある施設にして、数多くの来訪者を横浜でおもてなししましょう。 | 参考 | |
| 141 | 横浜にいながら、世界最高のサービスのうけれる I R を誘致して下さい。 | 参考 | |
| 142 | お金を払う人たちが、気持ちよく払える。そんな I R 施設を作って、日本、横浜のブランドを、世界にとどろかせてください。 | 参考 | |
| 143 | I R による新しいビジネス、レジャーを取り入れ、活力のある横浜になろう。 | 参考 | |
| 144 | 必要な施策だと思いますが、いろんな要素がもりこまれすぎていてわかりにくいのではないのでしょうか？もっと楽しい上質な施設であることをおしだすべきだと思います | 参考 | |
| 145 | 施設利用料は安く、内容はリッチで、使用時間は長く、出来れば安全安心な 24 時間営業であってほしい。 | 参考 | |
| 146 | 素敵なリゾートをつくってください。カジノあるなしはあまり関係なく、みんな行きたくなると思います。 | 参考 | |
| 147 | 異国情緒あふれる横浜にはカジノがあってもいいと思います。 | 参考 | |
| 148 | カジノが日本にないならば横浜が一番につくるべきだ | 参考 | |
| 149 | 先日、シンガポールのマリーナベイサンズに行ってきた。カジノも経験してきたが、世間で心配されている不安は全くなかった。横浜に是非つくってほしい。 | 参考 | |
| 150 | 私は、ラスベガスに観光に行って、カジノも経験したが、安全性や依存症の危険は全く感じなかった。I R が実現すれば、全ては杞憂だということがわかる。I R 実現に向けて頑張ってください。 | 参考 | |
| 151 | パチンコや競馬など街中はギャンブルで溢れている。I R だけがギャンブルとして悪いと思えない。法整備された I R でカジノを楽しんでみたい。早く I R ができてほしい | 参考 | |
| 152 | 今の元町や中華街みなどみらいなど横浜の中心と呼ばれる所に見るべきモノは少ない。アイコンックな I R を実現して誰でも楽しめるものを作ってほしい | 参考 | |
| 153 | 統合型 I R 施設になぜギャンブル施設が伴わなければならないのか理解できない。I R 施設として宿泊施設、劇場などの設置は理解できるが、賭博で集客し金もうけをして市の財政改善を目指す「カジノ建設」には反対である。 | 参考 | |
| 154 | 反対です。市民県民の楽しめるリゾートならと思うけれど、ギャンブル施設は絶対必要ないと思います。出来てしまえば、終ることは出来ません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 155 | 横浜IRという言い方に「よくわからない」という人が多い。「統合型」って何のこと？と思っています。 | 参考 | <p>IR整備法では、カジノ施設、国際会議場、展示等施設、魅力増進施設、送客施設、宿泊施設、その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設について、民間事業者により一体的に整備・運営されることが求められています。</p> <p>横浜IRは、市民の皆さまをはじめ、幅広い客層が昼夜を問わず楽しめる、非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾートを目指します。＜方向性P.28＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> |
| 156 | この素案は、市民のための心豊かに暮らせる安心・安全を希求するものではないので反対します。まず、IRという表現では、カッコ付きで統合型リゾートと付記しても、ギャンブルに施設まであるとは、多くの市民は解釈できていませんでしたよ。いかにも市民の目をくらます手段と思えてなりません。家族みんなで楽しい時間を過ごせる施設を目指すものでしたら、みなとみらいの施設を含め、森のように緑を増やしたれでも気軽に負担なく憩える場づくりを推進してください。 | 参考 | |
| 157 | 横浜IRを誘致してください。世界最高水準のIRが身近な場所にできると、文化芸術を楽しむ機会を増やせるので生活の質が上がります。 | 参考 | |
| 158 | 横浜IRへの賛成意見です。横浜にIRができるなら、渡航費をカジノだけでなくエンターテインメント体験などにまわせますし、海外の友人たちを招いて一緒に楽しむこともできそうです。 | 参考 | |
| 159 | IR設立に基本的には賛成だ。雇用の創出、操業利益＝税金といった経済的利益以上に、国民の健全な娯楽・社交、ギャンブル作法の向上を期待する。それに相応しい上質な施設・従業者と厳格な運営が必要だ。効率的運営のため公営でなく、民営でなければならない。 | 参考 | |
| 160 | 17頁にて滞在型観光を謳う場合、横浜において見せたいものはカジノやギャンブルなのでしょうか。 | 参考 | |
| 161 | 横浜IRに、賛成しています。横浜IRを起爆剤にして、この他のいろいろな政策もどんどん進めてほしいです。カジノについては、子どもにも大人にも、ちゃんと遊び方を学べる機会を用意してあげるといいと思います。 | 参考 | |
| 162 | 高齢になりつつあるいま、太陽の下で元気いっぱい健全に遊ぶだけでなく、夜間や早朝ぶらぶらして楽しむこともできる「横浜」を、期待します。 | 参考 | |
| 163 | 山下ふ頭が観光客だけでなく、東京都民や横浜市民も日常を離れて楽しめるエリアになることを期待します。 | 参考 | |
| 164 | 横浜IR（統合型リゾート）については、反対です。「横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）」には「世界最高水準」、「世界有数の」、「競争力がある」などの言葉が並んでいますが、それらをどのように実現させるかが具体的にまったく理解できません。建物などのハードの部分は、資金があればそれなりに実現できると思いますが、開業までに、「世界水準」、「世界有数の」、「競争力がある」内容を具体的にどのように造るかの記載が案でほとんど確認できずそれらが実現する可能性があるとは思われません。また世界にはすでに運営されているIRがいくつもありますが、本案には、それらと競う横浜IRが延ばすべき優位点や特に劣った部分の対策等がほとんど確認できず、これで、競合に伍していけるとは考えられません。 | 参考 | |
| 165 | セレブの動向を調査していますか？横浜IRの成功の鍵を握るのは、海外カジノで豪遊するセレブたちを呼び込めるかどうかだと思います。何泊も楽しんでもらう、そして、一度きりでなく何度でも訪れてもらえるよう、セレブたちを魅了する工夫もしてほしいです。 | 参考 | |
| 166 | 港は清々して好きです。年寄りも海を楽しめるように皆様、どうぞ、よろしくお願いします。 | 参考 | |
| 167 | カジノを含むIRについて、賛成いたします。少子高齢化の現状の中、市民サービスを低下させないためにも、財源は必要です。現状、横浜市は日帰りの観光客も多く、宿泊を伴う観光客が増えれば、落ちるお金も多くなってきます。しかし、そのためには夜のコンテンツが横浜には少なすぎます。カジノの含むIRを作ることで、夜間の経済活動が活発になるのであれば、必要性は大いに感じます。 | 参考 | |
| 168 | 世界に現行のカジノ無しIRバシフィコ横浜と明確な区別をして、その存在を特に海外に知らしめることが最重要課題と考える。棲み分け成功しているシンガポールの2カ所のIRが好事例かと考える。基本コンセプトの記述内容は格別心躍るものではなく、「おや、おもしろそう」という旅ごころをそそぐIRが出来上がりそうと考える。"グレイター横浜IR"という呼称をずっと考えている、オール横浜では不十分、オール神奈川レベルで考える必要があるからです。だから"グレイターヨコハマ、略して"GYOK"それは有数の貿易港をかかえる"みなとヨコハマ"として知名度はあるが、特にインバウンド旅行客が東京を拠点に鎌倉、横須賀、箱根、大山には行くが横浜を観光デスティネーションと考えない一つの理由かと思う。市内には観光資源が少ない。まずは宿泊を伴い、客単価の高い海外からのツアー客、MICE客を2000万人獲得、その後の数年で国内、海外客を合わせ4000万人以上を呼べる新IRの仕掛け・魅力が市の財政の支えに程の増収源になることを実現させるため。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 169 | 賛成。横浜の観光スポットというと、中華街くらいしかありません。遠方から知人がきても、鎌倉や箱根に連れて行ってしまいます。横浜にホテル、MICE、カジノなどからなる統合型リゾートができるのはとても魅力的で、楽しみにしています。 | 参考 | <p>IR整備法では、カジノ施設、国際会議場、展示等施設、魅力増進施設、送客施設、宿泊施設、その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設について、民間事業者により一体的に整備・運営されることが求められています。</p> <p>横浜IRは、市民の皆さまをはじめ、幅広い客層が昼夜を問わず楽しめる、非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾートを目指します。〈方向性P.28〉</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> |
| 170 | IRはカジノだけではないですが、アミューズメント施設、商業施設の割合はどのくらいなのか。カジノに押されて最終的にはIRはカジノだけになってしまわないか。 | 参考 | |
| 171 | IRの誘致に大賛成です。地元経済活性化のためにも絶対にプラスになると思います。IRの誘致＝ギャンブルの誘致と思われがちですが、IRは必ずしもギャンブルだけではなく、ショービジネスや飲食など裾野がとても広いです。雇用や新たな税収を生むという意味でも絶対に誘致して頂きたいです。 | 参考 | |
| 172 | 一見さんが大勢来てくれる事を目標とするのか？例えば中国から団体客が一挙に来日し、中国本土の文化をまる出しで、行動されるのを望むのか？あるいは、一人あるいは家族で来日され、ご自分の好みに合わせて、あるいはご自分達で調査した情報を確かめながら、ゆっくりと滞在され、心を癒し、日本通として繰り返し来日して頂ける、観光客を増やす事を目標とするのか？来日客が、お金を落としてくれさえすれば良いのだ！と言う思惑で迎え入れるのだったら、今後、来日客が減って行くのではないだろうか？日本独特の心のこもったおもてなしが、重要なのではないのか？あくせく働く日常を離れて、ゆっくりとした日本文化を満喫しようと、来日される方にとって、経済成長の柱に、観光をと、せこく考える地区長の施設を利用しようと思うのだろうか？私だったら、利用しない。間違っても一度利用したとしても、二度とは行くまい。後発であることを自覚すべし。経験不足でありながら、戦線を広げたら、収集が付かなくなる。民間の力を借りるのだったら、民間の多様性に期待するのが、お勧め。苦しみは日常である民間ならでは、一見、不思議なものに成功の鍵が隠れていないとも限らない。 | 参考 | |
| 173 | 素案36ページの「【参考】訪日外国人旅行者が訪日旅行をしたいと考えたきっかけ」でもギャンブルはなく、観光公害さえ言われている昨今に、あえてカジノを作って集客する必要はない。 | 参考 | |
| 174 | 宿泊滞在するほどの魅力に乏しい横浜市にとって一つ機会だろうと推測します。横浜市が将来衰退せず発展し続けるため事業として推進されることを前提に当事業案推進に賛成します。ただ、素案を見る限り今あるモノを組み合わせたと言うか寄せ集めの企画で魅力がなく、また創造性を全く感じません。横浜を目的地にするのであれば更なる工夫の一部を見せて欲しいと思います。事業には賛成します。 | 参考 | |
| 175 | 「カジノで儲けて税収アップ」が極めて愚策であることIRに関する素案も読ませて頂きました。カジノは、日本人にとっては馴染みが薄いものの、世界各地の都市やリゾート、大型クルーズ船内に数多く存在し、外国人旅行者にとって目新しいものではありません。さらに、営業できる面積なども制限された、二番煎じのカジノにどんな魅力があるのでしょうか。 | 参考 | |
| 176 | 横浜IRの基本コンセプトにおいて、カジノを欠かすことは出来ないはずですが、にもかかわらず、「方向性」(素案)の「基本コンセプト」では、カジノの字もありません。あるいは「世界水準のMICE施設、ホテル、エンターテインメント」の中から「最先端のテクノロジー(技術)を駆使して」読みとれということでしょうか。カジノ隠し以外のものではないのでしょうか。明確にしてください。市民への説明として、不誠実です。カジノを配置せずしてはIRは成り立たず、カジノこそが世界に輝く「非日常都市型リゾート」成功のけん引力ではないですか。そうである以上、カジノの意義を横浜IRの基本コンセプトとして明確に言及すべきです。基本コンセプトに明確に位置付けるべきです。 | 参考 | |
| 177 | カジノ依存症ではないですか？その最大の特徴は市民(人)の声(批判)を聞かないということです。新しい横浜らしさはどこに業者の聞き取りと提案をうけ整理された横浜IRの「基本コンセプト」では、「横浜都心臨海」開発にリンクする〈未来の街〉として〈山下ふ頭〉を描いています。《新しい横浜らしさ》また、《横浜市民の憩いの場》の実現が目指されます。しかし、何が〈新しさ〉のか。何が〈憩い〉か。何が〈非日常の日常〉の魅力なのか。その点が不明です。いや、隠されているのではないですか。賭博です。本邦初の「合法」カジノ中核の統合リゾートがそれではないか。〈未来の街〉のインパクトであり、それが《新しい横浜らしさ》の中心に据えられようとしている。そう理解しました。間違っていますか。教えてください。ちなみに、それには反対です。これまでの《横浜らしさ》のぶち壊し、と思います。そうした〈方向性(素案)〉は撤回してください。 | 参考 | |
| 178 | 「非日常を旨とした区域・(リゾート)リゾート」づくり、それがIRであるのでしょうか。「非日常のリゾート」づくりは、「横浜都心臨海部」にどういう〈新しい横浜らしさ〉をもたらすのでしょうか。日本に三つしかない合法カジノのある街ー横浜を内外に発信する事になるのでしょうか。基本コンセプトにさえ入れられなかったものが新しい横浜PRの前面におどりでのです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 179 | 横浜は東京と違って、大人が楽しむ場所が少ない。IRで大人の社交場を。 | 参考 | <p>IR整備法では、カジノ施設、国際会議場、展示等施設、魅力増進施設、送客施設、宿泊施設、その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設について、民間事業者により一体的に整備・運営されることが求められています。</p> <p>横浜IRは、市民の皆さまをはじめ、幅広い客層が昼夜を問わず楽しめる、非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾートを目指します。〈方向性 P.28〉</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> <p>IR整備法では、民間事業者によりカジノ施設、MICE施設（国際会議場、展示等施設）、魅力増進施設、送客施設、宿泊施設、その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設の一体的な整備・運営と、健全なカジノ事業の収益を活用した国際競争力の高い滞在型観光を実現することが求められています。〈方向性 P.31〉</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> |
| 180 | カジノは反対です。観光客による、環境破壊が心配 | 参考 | |
| 181 | アミューズメント・パークとして、必要性をもっとアピールして、推進して下さい。 | 参考 | |
| 182 | P32～58の様な施設が出来るのか分かりません。会議施設、展示施設、宿泊施設、カジノの他に何を計画しているのか、説明して下さい。 | 参考 | |
| 183 | IRはカジノではないという宣伝はまやかしである。 | 参考 | |
| 184 | カジノを中心とした、開発には反対です！！この計画が市民に豊かな暮らしをもたらすとはまったく思いません。 | 参考 | |
| 185 | ミュージアムや、レストラン、ショッピングセンターとあわせてカジノを入れるなんてごまかさなさいください。 | 参考 | |
| 186 | カジノは富裕層のためのもので、あまり庶民が手を出すものではありません。日本にはないで、海外のカジノへ行く富裕層がいたり、飲食店街で闇カジノを運営する違法者が出てくるわけです。決してカジノ自体が悪ということはありません。 | 参考 | |
| 187 | カジノではない、テーマパークなど子どもから大人まで楽しめる健全な施設の立地を模索してほしい。 | 参考 | |
| 188 | 諸外国から強烈な非難を受け横浜の信用を著しく損なう恐れがあるのでIRカジノには参入すべきではない。カジノ抜きのIRなら賛成。 | 参考 | |
| 189 | 新しいビジネスは、経済社会の中から自然に沸き起こるものだ。横浜市は、民間部門が行わない事業に注力すべきで、カジノ誘致はもっての外である。 | 参考 | |
| 190 | そもそも、「日本のゲートウェイ（玄関口）を目指す」としながら、これまで勤勉を美德としてきたわが国において、カジノを必要とする意味が全く分からない。 | 参考 | |
| 191 | （素案）冒頭では海外顧客の呼び込みと宿泊を前面に押し立てたか海外顧客向けの施設と思わせながら国内他地域のお金を横浜に集めようとしていることも問題です。 | 参考 | |
| 192 | カジノに関しては箱物を作るのではなく、カジノポートを提案したい。外貨獲得であれば外国人の集まる所に作るべき。 | 参考 | |
| 193 | なぜカジノは経営母体が国や県、市など公営ではないのですか？競馬やポートなどのギャンブルはすべて国の管理のもとで行われているのですよね。なぜカジノだけが特別なのですか？日本人には世界と戦えるような魅力的なカジノを作るノウハウがないというなら、経営母体は国で、カジノ企業とコンサルタント契約を結ぶなどではいけないのでしょうか。なぜ公営にしないのか説明がほしいです。「我が国にこれまでにないスケールとクオリティを有する創造的なリゾート施設として、民間事業者が整備し運営します。」丸投げなんですか？横浜市が先頭に立って「こういうものを作っていく」とやらないのですか？ | 参考 | |
| 194 | 素案はIR総合型リゾートとうたっていますがこの核心は、カジノだと思えます。市民の関心もIR=カジノととらえています。素案ではカジノの効果として収益をあげIR全体が運営されています。税金を見込んで市民の福祉にあてるともありませんが、とんでもありません。トバクにたよって福祉増進とは横浜市がすでにカジノ依存症です。カジノは止めるべきです。カジノ外した計画にして下さい。 | 参考 | |
| 195 | 拝見して、やはり感じたのは「カジノ」は要らないということでした。横浜市は、世界に開けた海をコンセプトにしていけばよいのです。素案に書かれた「ハーバーリゾート」構想で行けばいいではないか、ということです。他と比べてマイナーなことばかり列挙した後で、カジノを含むIRによって税収も増えてバラ色になるんだ！というこの素案は、だまらかしではないかと思いました。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 196 | 素案では、カジノによる依存症やその他の弊害・危惧について、さも大丈夫これだけ対策をとっているから、とっています。しかし、市民の多くが懸念を示し、ギャンブル依存症者も現実にいる中で、さらにその弊害・危惧・不安を増長するカジノをあえて入れる必要はないではないですか。カジノなし、という構想をなぜ考えようとしませんか。カジノ無しのハーバーリゾート！素敵じゃないですか。IR推進課でその「素案」を考えてください。日本中から、世界中から「安心して遊べる・泊まれる・会議に参加できる・親子で行ける横浜に行きたい！」と思わせるような構想を出してください。 | 参考 | <p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> |
| 197 | カジノ抜きでのリゾート施設にすることはできないのですか？カジノ抜きIRにして下さい。 | 参考 | |
| 198 | IRは国際カジノ資本に開発を委ね、その運営はカジノ収益に依存するもの。 | 参考 | |
| 199 | MICEは良いと思うが、「カジノ」は反対。 | 参考 | |
| 200 | カジノはあまりにも弊害が多い「安心して住みよい横浜づくり」に逆行するもので、市民として断固反対します。外国人観光客の誘致をうたっていますが外国人は横浜という異国の文化、風景等の魅力を体験する目的であり、わざわざ地域社会を壊すカジノを作る必要は全くないと思う「カジノなしのIR」をもっと考えべきだと思う。今回の配布されている市の説明書はまさに「推進ありき」のものなので、市民としては到底納得できないし強い怒りを感じる。もっと健全な市政で横浜市民を安心して暮らせるようしていただきたい。 | 参考 | |
| 201 | 横浜にカジノ施設はいりません！IRの方向性といわれているけど観光、複合施設になぜカジノがいるのでしょうか？ | 参考 | |
| 202 | 横浜は（安全）でなければならない。今の（カジノ）に対しては反対です！どうしてカジノを抜きにしたプランに舵を切れないのか…横浜にカジノは必要ない！！ | 参考 | |
| 203 | カジノにたよらない、カジノを含まない統合型リゾートであれば賛成です。ただ、カジノがなければ収支上、成立しないのかもしれませんが、カジノを含む場合は反対です。 | 参考 | |
| 204 | IRに、なぜ（カジノ）が、必要か？ | 参考 | |
| 205 | 「横浜IRの方向性」に反対します。「市民の豊かな暮らし」が期待でき、「横浜のさらなる飛躍」が望める、このIRが存在し続けるためには、「カジノ」の設置が必須であることは、事業者も市も明確に語ってきたことです。「カジノがなければIRは成り立たない」、この命題に一切触れていないこの「素案」はまやかでしょう。 | 参考 | |
| 206 | 持続可能でより魅力的な横浜にするには何が必要か。MICEの誘致、ホテル、ショッピング、ホール、演奏会等の施設が素案に記されていますが、それはよいでしょうが、ばくちをこのIRの中心に考えるのは横浜の持つ魅力を失わせてしまうと考えます。 | 参考 | |
| 207 | 横浜IRの方向性は間違っている。なぜ関係施設としてカジノを計画し、それに財源の一部を求めるのが理解できない。 | 参考 | |
| 208 | 市民が反対しても実現したいのなら「カジノ抜き」をお願いします。 | 参考 | |
| 209 | 横浜IRの計画はとても素晴らしいです。これで、横浜も、もっといい町になります。ただカジノはいらないです。カジノがなくても、この計画なら、やっつけられると思います | 参考 | |
| 210 | 私は反対です。カジノはいりません。ギャンブルは不幸を生みます。不幸の上に成り立つ横浜IRではなく、子供も楽しめる事業構想を考えて下さい。ギャンブルはいりません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 211 | 私は、下記の理由から候補地となっている山下ふ頭は「カジノの抜きの開発」をすべきと考えます。『カジノを含むIR』で年間820億～1200億円に及ぶ増収効果が見込まれるとしているが、カジノは経済的に成立するのか。カジノを含むIRの基本的な概念であるが、カジノで莫大な利益を儲けて、その金がホテルや展示場の施設などに注ぎ込まれることによって成り立つのである。豪華なホテルに格安で宿泊できたり、華麗なショーを楽しむ事が出来たりする。要するに『莫大な賭博の利益』が前提となって成立しているのが、IRである。この賭博の利益の内実は、富裕層がギャンブル依存症の方々がカジノで負けた金である。カジノ自体は、『ゼロサム世界』だから何にも価値を生まない。莫大な横浜市の税収を生むというが、そもそもカジノに莫大な賭けをしてくれる人々が存在することが前提だ。中国の富裕層が大挙してわが横浜市に来てくれて、候補地となっている山下公園に隣接する山下ふ頭でカジノに興じてくれるのか。さもないと、韓国が東南アジアが欧米の富裕な方々が、興じてくれるのか。横浜にカジノを期待してインバウンドしていただけるのか、全く疑問だ。または、日本国内の方々が賭けてくれるのか。いずれにしても、カジノに莫大な賭けをしてくれる多くの人々がいないとIRという巨大な施設の運営は成り立たないということだが、そういう方々はいないと思う。 | 参考 | IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。 国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。 本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。 |
| 212 | IRの中にカジノがなければ横浜市の開発事業としては反対いたしません。 | 参考 | |
| 213 | 横浜市のIR（統合リゾート）計画の中にカジノを設けるのには反対です。日本の他のIRに対しても同様です。横浜市長はじめカジノ推進者は、どういう考えで推進しているのでしょうか？カジノを含まないIRを推進して下さい。パチンコ、競馬、競輪などの賭博は、我々の生活には必要ありません。 | 参考 | |
| 214 | カジノの無いIRを推進すべきである。 | 参考 | |
| 215 | カジノが入っているIRは本当にやめて下さい。横浜には歴史ある街でいてほしいです | 参考 | |
| 216 | IRそのものは、良いことだと思っている。しかしそこに、カジノを付けることに大いに反対します。カジノ抜きでも立派に成立すると思います。とにかく、今からでも横浜市民の声を良く聞いてカジノ抜きのIRをめざして欲しいと思う。 | 参考 | |
| 217 | カジノ抜きのIRを考えて欲しい | 参考 | |
| 218 | カジノ付きのIRに反対です。IRはカジノなしでもできます。 | 参考 | |
| 219 | IRにカジノがある意味が分かりません。賭博は人を病におとし入れ、病は不幸を呼びます。マイナンバーカードにより入場を…とのことですが、そもそもマイナンバーカードは普及しておらず、それを使わずに入る方法がなくなるとは言い切れません。 | 参考 | |
| 220 | 基本「コンセプト」は結構です。実現のうち「カジノ」は止めましょう。老人を悲しませないように！！ | 参考 | |
| 221 | カジノIR反対。 | 参考 | |
| 222 | 横浜市民が決めることができるIR、カジノありきのIRは反対いたします。 | 参考 | |
| 223 | 横浜IRになぜカジノ施設が必要であるか理由の説明がない。本素案は、都心臨海部との融合やスマートな交通環境の構築（本素案47頁及び53頁）などに「横浜を日本のゲートウェイ（玄関口）」とし「世界中のデスティネーション（目的地）」となり続けるという方向性を示している。そのなかで、横浜の都心臨海部には、開港以来の歴史や文化、美しい港の風景や水際を身近に感じられる都市空間など、これまでのまちづくりで築かれてきた豊富な魅力や資源があることを述べている。しかしながら、これら玄関口や目的地となり続けるという方向性にカジノは必要ない。横浜の開港以来の歴史や文化、美しい港の風景や水際を身近に感じられる都市空間に、歴史的でなく人工的な建築物であるカジノ施設を設置することはむしろ有害である。 | 参考 | |
| 224 | 「横浜IRの方向性」はカジノ付きだから間違っています。カジノ抜きの実現を目指さなくてはなりません。 | 参考 | |
| 225 | IRはカジノ抜きで賛成。（質問）カジノを無くした場合。観光の振興、地域経済の振興、財政の改善への貢献。以上のそれぞれの数値はどのような見直しになるのか？ | 参考 | |
| 226 | 文化芸術を含んだ商業施設等は市民から受け入れられると思いますが、カジノはバクチです。バクチで市政を潤すというのは本末転倒だと思います。カジノが本丸で他の施設は隠れみのになっているのではないですか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 227 | カジノ抜きで進めて下さい。市民の大部分はそれに（カジノ抜き）賛成してくれるはず。市民の生活をこわす恐れのあるバクチ施設を作る事は市民生活の安定や向上を図る行政が行こなう仕事ではありません。 | 参考 | IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。 国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。 |
| 228 | IRの方向性は一部事業を除き、大賛成である。その一部とは「カジノ」です。カジノは事業ではなく賭博行為であり、民法第90条（公序良俗）に反する。横浜にカジノはいらない。市が寺金を稼ぐことはない。是非、カジノを除き、整備して下さい。将来に禍根を残さないで下さい。 | 参考 | 本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞ |
| 229 | カジノ反対。カジノのないIRを考えてください。それができないならやめましょう！ | 参考 | 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。 |
| 230 | 素敵なキラビヤかなIR、それで観光の中心になるなら結構なこと。でも（年金生活の高齢者には縁が無くとも）若者、家族連れがワクワク出来る魅力的な設備が出来るのでしょうか。ショッピングは今でも充分なように思います。どうしてカジノを入れるのですか。面積の問題ではありません。カジノの収益なければIRが成り立たないというのは変です。 | 参考 | |
| 231 | 横浜IRの方向性としては賛成の立場ですが、「カジノ」はいりません。メリットがないばかりか、デメリットしかありません。IR構想から外して、考え、横浜にしかできない「横浜IR」を創っていただきたい。くり返しですが、「カジノ」はいりません。 | 参考 | |
| 232 | 「横浜IRの方向性」には反対です。カジノに依存しないIR事業計画を考えるべきです。 | 参考 | |
| 233 | 素案などではいかにこの施設からの収入が市の財政を潤すかを強調しています。山下埠頭に47ヘクタールの用地が計画されていますが、市長はカジノがすべてではない。カジノはそのうちの3%だけで複合的なリゾートであること、また市の財政が高齢化などにより将来益々下降していくことを強調しておられました。カジノの敷地はたった3%といいますが、広さの問題ではなく、シンガポールやマカオに並ぶ本格的なカジノを目指しています。残り97%の敷地が夢のリゾートであっても、そこからの収益は問題にならず、カジノからの収入こそが狙いでしょう。他のカジノの例からも明らかです。 | 参考 | |
| 234 | カジノがない「横浜市山下ふ頭開発基本計画ーハーバーリゾート計画」を基に、宿泊ができるホテルを増やし、MICEをつくり、クルーズポートをつくり、企業を誘致し、雇用をふやすという地道な努力の中で、横浜の未来を作ることができると考えます。 | 参考 | |
| 235 | 横浜を、知らせるべくコンセプトは、良いかと思いますが、カジノが、必要なのか疑問です。 | 参考 | |
| 236 | カジノは横浜にいません。カジノなしの開発を。 | 参考 | |
| 237 | カジノ抜きにしましょう。 | 参考 | |
| 238 | カジノ抜きのIR構想ならば賛成できる。市の説明資料には「カジノ抜き」の財政経済効果のデータがない。これでは＜カジノを含むIR＞にYesかNoかの判断しかできない。“カジノあり”“カジノ無し”の資料を作成し公開すべきと考える。 | 参考 | |
| 239 | 世界のIR業界では近年ゲーミング（カジノ）収益に依存する旧来型のビジネスモデルから、カジノ以外の“ノンゲーミング”重視の新しい方針に変わりつつあるという。横浜で取り組むのであればこの道以外にないと考える。 | 参考 | |
| 240 | カジノ誘致に反対します。従って、カジノを必須とするIRについては反対。カジノでは①観光客・MICE参加者増にならない。②市内・県内周遊増にならない。③販わいupにならない。④観光消費額upにならない。⑤経済効果は低い。⑥観光再投資に無縁。⑦さらなる③につながらない。①～⑦については、カジノ以外では効果があるかも知れませんが、カジノにより、「ギャンブル依存症が増える」という議論については、疑わしいと思いますが、市内の大半の市民（ファミリーなど）には不要な機能であることは確かである。カジノなしの方が良い。 | 参考 | |
| 241 | カジノは反対です。賭博場を税金を使って作るなんて許せません。 | 参考 | |
| 242 | 山下ふ頭にカジノを含むIRはなぜ必要なのでしょう。横浜市民のいこいの場所として、どのような施設がふさわしいか今後市民の皆さんの意見を聞き、世界に恥ずかしくない、リゾート施設を計画すべきです。集客を目的とした商業施設が憩いの場所とは思えません。 | 参考 | |
| 243 | 横浜IRの方向性（素案）の前文に書かれている通り開港以来市民と行政の努力により今の横浜があると思われ。しかしなぜ「新しい文化」を迎え入れる中にカジノ（賭博場）が含まれるのでしょうか？市民…金を使う。事業者もかかる。横浜市事業者が一部を上納する構図が目に見えるようです。どうしてカジノが新しい文化なのか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 244 | 横浜はもちろん、日本中どこでもIRは反対です！横浜がカジノ依存の市政となることを子どもや孫たちに引きつげません。「21Cを象徴するような新しい横浜」「未来の街のショーケース」と謳っていますが、カジノの負け金が原資となる、人の不幸の上に成り立つ未来はいかがなものでしょうか…。カジノなしのIRは検討されたのでしょうか。IR以外の道を検討されたのでしょうか。検討内容を明らかにして下さい。 | 参考 | <p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 245 | 横浜IRの中にカジノを設置することに反対します。 | 参考 | |
| 246 | カジノ誘致には反対です。ギャンブル依存症を心配する中でなぜカジノを横浜の港町におくのか全く、わかりません。 | 参考 | |
| 247 | カジノの必要性ないと思います。 | 参考 | |
| 248 | 横浜へのカジノ誘致には反対です。カジノの無いIRを考えて下さい。この説明を読んでも具体的な事がわかりません。 | 参考 | |
| 249 | 「横浜IRの方向性」カジノの説明は「IR関連法令等に則した施設とし」という説明だけではカジノ誘致の説明になっていない。違法のカジノがどういう理由で必要なのか、市民が納得できる説明をしない「横浜IRの方向性」はおかしい。カジノ以外の良いことばかり書いてあって論点ぼかしである。 | 参考 | |
| 250 | 横浜IRの方向性(素案)に反対です。基本が間違っている。(統合型リゾート)の中にカジノが入っている。 | 参考 | |
| 251 | 売り上げの7～8割をカジノに、依存する“IR”はカジノが無ければ成り立たない。 | 参考 | |
| 252 | カジノを含まない計画なら賛成。カジノがあれば反対。横浜市民の多くはカジノを反対していると思いますが、カジノ抜きでは採算がとれないことも予想がつかず。 | 参考 | |
| 253 | 報道によれば「カジノがなくても横浜に人は来る」「(カジノに入れない)21歳未満の人にも目に触れさせるようにし、カジノに行く次の世代を育成している」という。売買春の温床になっているとも語った。事業者が新たなマーケットとして日本に目を向け始めているという。「本来、カジノを入れないとIRが成り立たないというのはおかしい」と横浜市姿勢に疑問を投げ掛けた。 | 参考 | |
| 254 | 市民誰でもが楽しめる施設には大賛成ですがカジノは絶対に反対です。 | 参考 | |
| 255 | IRと称してのバクチ場「カジノ」づくり。 | 参考 | |
| 256 | バクチ場がなければ立派な考え方ではある。 | 参考 | |
| 257 | 基本コンセプトの『将来を見据えた「横浜らしさ」の創造に向けたチャレンジ』は、カジノ抜きでなければならない。方向性1において、カジノだけが設置意図・目的が見えない。 | 参考 | |
| 258 | 方向性4は、カジノがなければ全く議論不要のものである。よって、カジノ抜きでIRを実現出来るのではないか！！ | 参考 | |
| 259 | 何よりカジノ付きの誘致には絶対反対！！ | 参考 | |
| 260 | 政府が企業の定年を(65歳から)70歳まで延長しようと考えているのに、「生産年齢人口(15～65歳)」を持ち出すなど問題外！ハーバーリゾートにカジノではなく、子供が夢をもって遊べる施設を作るべき。そうすれば依存症・治安対策費など全く不要(→しかも素案にその費用すら明示されていない欠陥の素案！！)。 | 参考 | |
| 261 | 横浜カジノは反対です。IRと言いながらカジノ(博打)で儲けようなんて。 | 参考 | |
| 262 | カジノはいりません。カジノのない、横浜の未来を計画し、進めて下さい。 | 参考 | |
| 263 | 「横浜は泊まりではなく日帰りで行くところ」という声をよく聞きます。魅力ある施設を多く作り、泊まりで楽しんでもらえるようなIRになるといいと思います。 | 参考 | |
| 264 | カジノ無しで、平和で安全な施設が良いと思います。水族館とか、ファミリーでも安心して遊べる施設はどうでしょうか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 265 | 「方向性（素案）」の「基本コンセプト」および「1」～「3」は、カジノ関係を除けば理解、賛同できる点が多くあります。他方、「方向性（素案）」の「4」にある「懸念事項」の全部がカジノに関するもののようなので、以上のことから、次の2点を求めたいと思います。“わが街・横浜”の未来に禍根を残さないために関係者の方々の良識と良心を切に望む次第です。①「カジノを含まない横浜IR」を検討いただくこと。②上記①が困難なら、「カジノ付きの横浜IR」を断念すること。 | 参考 | IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。 |
| 266 | カジノありきのIRには反対です。カジノで市の税収をたよることこそおかしい。安心・安全で暮らしやすいヨコハマにしてほしい。 | 参考 | |
| 267 | 横浜に魅力的な施設が増えるのは歓迎しますが、収益をカジノに頼る構造には反対です。カジノなしでのIRは？検討できませんか？ | 参考 | |
| 268 | 私は基本的にはカジノ反対である。カジノなしの、IRが望ましい。 | 参考 | |
| 269 | いまある魅力的な横浜の観光資源を活用し、さらに行ってみたい場所にする、カジノのないIRの開発としてほしい。 | 参考 | |
| 270 | 横浜を世界的な都市としてアピールして、横浜の持つ資源を活用していく内容には賛成であるが、カジノの必要性を論理的に説明するべきではないかと思えます。カジノを除いたIRであれば賛成も増えます。カジノが必須なら詳細な説明が必要です。 | 参考 | |
| 271 | カジノといった賭博（ギャンブル）で破滅に追い込む人を増やす事業はやめて、他の手段で収益を生み出すアイデアを持つ事業者を公募すべきです。 | 参考 | |
| 272 | カジノなしのIRが想定されないことからIRがカジノメインであることは明白です。横浜市は財政をカジノだのみにすることに反対です。 | 参考 | |
| 273 | カジノがないIRは実現できないのか。 | 参考 | |
| 274 | 横浜へのIR誘致に反対する横浜IRの方向性（素案）」に示されているMICE、ホテル群、レストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設、文化施設等々は、「カジノ」をのぞけば、特にIR法（案）など無くても、実現可能である。 | 参考 | |
| 275 | みなと横浜の地理を活かしカジノを含まないハーバーリゾート構想を検討すべきです。横浜のブランド力をさらに広げるためにも市民との共同事業を構想・展望すべきです。それが市民から委任されている議員、行政の役割であり、未来を創る姿だからです。 | 参考 | |
| 276 | IRは問題ないので異存はないが、何故カジノをやるのか理解出来ない。賭博を禁じている国で、海外事業者に任せてカジノをやる事に断固反対。 | 参考 | |
| 277 | カジノ設置には大反対である。IRとしては横浜の国際都市として今後の繁栄の為に良い。 | 参考 | |
| 278 | 国のIR構想とは、そもそも地方活性化を支柱にしていたと記憶します。東北・四国山陰・北陸などで行えば良いと思います。横浜に作るというのなら「カジノ」はいりません。 | 参考 | |
| 279 | カジノ反対。カジノを除くIR策には賛成。 | 参考 | |
| 280 | カジノは絶対反対。統合型リゾートはカジノを導入せずとも魅力ある都市造りを模索検討して欲しい。 | 参考 | |
| 281 | 素案では、横浜の街作りの観点でなぜカジノ施設が必要であるか納得できる理由を説明していません | 参考 | |
| 282 | カジノなしの再開発を強く希望します。 | 参考 | |
| 283 | カジノがないと他の施設運営が安定的にできないとのことですが、カジノなしの統合型リゾートにするべきです。カジノ抜きIRの開発を市として検討すべきです。 | 参考 | |
| 284 | カジノには反対です。カジノで楽しめる人達はどんな人達でしょうか。カジノぬきで統合型リゾートをすすめてほしい | 参考 | |
| 285 | 横浜のIRにカジノ施設は全く必要なく、強く反対する。〔カジノなしでIRを計画するのなら、反対しない。〕 | 参考 | |
| 286 | カジノの建設は反対です。2019年12月の広報よこはま特別号を読みました。なかなか立派な案で、カジノは無くても充分やっていけるのではないかと考えます。カジノのスペースは、子供のサッカー練習場を作れば、親も一緒に来て集客も出来ると考えます。その他の運動場を併設してもよいと考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 287 | 横浜IRは、必要なし。作るなら、カジノを除く、会議場、ホテル、ホールのみで良い。 | 参考 | <p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 288 | どうしてもIRが必要と考えるならば、カジノを必要としないIRプランとすべきである。横浜はみなとみらいがIRみたいなものであり、この手直しで魅力付けをし収益を上げていく手法を探すべきである。IRは未来型の施設であることは確かであるが、横浜には必要ない。 | 参考 | |
| 289 | カジノの無い、夢のあるプロジェクトを！ | 参考 | |
| 290 | 統合型リゾート施設として会議場、展示場、ホテル、ショッピングモール、美術館等は必要だが、カジノは要らない。 | 参考 | |
| 291 | 横浜市のやろうとしているIRはカジノありきですすめてるもの！ぜったい反対です | 参考 | |
| 292 | IRはカジノがなければ、いいのかなと思う。 | 参考 | |
| 293 | カジノなしのIRで品のいい国際都市をめざして欲しいです。 | 参考 | |
| 294 | カジノをやめて統合型リゾート施設を検討したらどうですか。カジノだけは絶対やめて下さい。 | 参考 | |
| 295 | カジノ抜きのIR（統合型リゾート）を作して下さい。 | 参考 | |
| 296 | 横浜市IR構想に反対します。統合型リゾートはIRだけに限定しカジノは除外すべきです。カジノなしでIRが運営できないなら、そもそも構想が出来ない、すべきでないのです。 | 参考 | |
| 297 | IRはあくまでリゾートであり、楽しめる場であればなりません。IR計画の中で、カジノの果たす役割はほんの一部だというのであれば、なぜ横浜市はカジノ抜きでのIRに計画を変更しないのでしょうか？なぜできないのでしょうか？私は、カジノを含むIR、カジノ頼みのIRには反対です。 | 参考 | |
| 298 | カジノを含む横浜IR誘致には大反対です。但しカジノのない横浜IR誘致は賛成です。 | 参考 | |
| 299 | 博打（カジノ）無いIRにして下さい。博打（カジノ）付きIRは絶対反対です。止めるべきです。 | 参考 | |
| 300 | 「横浜IRの方向性（素案）」には、カジノの設置が含まれていますが、カジノの無いリゾート施設をつくって下さるよう望みます。 | 参考 | |
| 301 | 周りの話を聞いても建物は建ててほしい（仕事が確保できるから）が、カジノは要らない。という意見が多い気がします。 | 参考 | |
| 302 | 横浜IR（統合型リゾート）そのものは賛成だが、その中にカジノを作る件には大反対。 | 参考 | |
| 303 | 総合型リゾート（IR）を横浜につくることに反対です。コンベンション・アトラクション・ホテル・ショッピングは、山下公園の近隣に現在もあり、更に新しい施設が出来ることは、横浜にとって、大勢のお客様が来て下さることで喜ぶことです。しかし、カジノが入っているIRには反対です。 | 参考 | |
| 304 | カジノ誘致は絶対反対です。カジノに頼らない健全な財政で横浜市は成り立ちます。そのための努力もせず「カジノ=とばく」を誘致しないで下さい。 | 参考 | |
| 305 | 少なくともIRにカジノを含むことはやめていただきたいと心から願っております。 | 参考 | |
| 306 | IRの経済的基盤がカジノ営業の利益に依存すること自体を容認することはできない。カジノ抜きでの再検討を求める。 | 参考 | |
| 307 | カジノを含む、IR構想には、反対です。カジノを除外して立案して下さい。 | 参考 | |
| 308 | 17ページに、日本型IR基本方針の図にいきなり「カジノ」が表現されていますが、なぜカジノでしょうか？それ以外の選択肢も知りたい。また、カジノの収益で滞在型観光を実現とありますが、89ページの使途説明では滞在型観光に触れていません | 参考 | |
| 309 | IRにカジノを含むことに反対する。IR事業には、カジノ、商業、娯楽、文化などが含まれるが市民として問題にしたいのはカジノが含まれている事。 | 参考 | |
| 310 | どうしてもならカジノを含まないIRをつくりましょう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 311 | Integrated Resortは地域において望まれる施設であると考えます。何故にその中にカジノという部門を加わねばならないか？理解に苦しみます。まず0才から100才位の住民その他の人々の楽しみに応えられるか？ということです。 | 参考 | <p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 312 | 「カジノ」は絶対反対です。カジノなしのIRならと思いましたがカジノ抜きでIRが成立しないのであるならIR誘致絶対反対です。（カジノなしのハーバーリゾート案には賛成） | 参考 | |
| 313 | 私達が浜っ子だと胸をはれるような横浜らしいカジノ抜きのIR事業をお願いします。 | 参考 | |
| 314 | カジノ抜きのIRを視点、発想を変えて再検討すべき。 | 参考 | |
| 315 | 統合型リゾートの中に、カジノを入れることには、反対です。 | 参考 | |
| 316 | カジノを含まないのであれば賛成です。カジノは絶対やるべきではありません | 参考 | |
| 317 | カジノをとりいれる横浜IR素案には、反対する。学術的・文化的分野、レジャーやショッピング等の柱の必要性、社会への貢献は素晴らしいに描かれている。しかし、カジノの柱となると、全くトーンダウンしている。カジノの日本文化、日本社会の発展に対する必要性、貢献がほとんど無くて、儲けることしか描かれていない。 | 参考 | |
| 318 | 国際観光都市化を進め、Inboundの増加も追求する施策自体、COVID19問題をきっかけに謙虚に見直すべきであるが、100歩譲ってそれを置いたとしても、なぜカジノ施設が必要なのかまったく説明されていない。バクチでIR維持を目立たせたくないであろう。 | 参考 | |
| 319 | 横浜IRについての反対ではなく、IR施設全体の3%のカジノ施設に対する反対です。賭博がなければ、横浜に世界から人々が来ないと思われる発想が悲しいです。 | 参考 | |
| 320 | IRの誘致には賛成しますが、デメリットへの対策をしなければ懸念があるカジノを組み込むことには反対です。ぜひカジノ抜きでのIRをご検討ください。 | 参考 | |
| 321 | 「横浜IRの方向性」（素案）は、失敗のはじまりです。横浜市が多額の税金を投入して、ハコモノは完成したとしても、心配です。「ギャンブル好き」の青少年が急増します。 | 参考 | |
| 322 | 横浜の歴史・背景から見て博打場は、いらぬ。今回のコロナの流行の対策で市としてのメッセージが何も聞こえてこない。IRは、ただ単に税収が増収になるなどと簡単なことをゆっているが、博打場を作ったことでのマイナス面のことを考えていないおかしいと思う。 | 参考 | |
| 323 | 「カジノ」問題は直ちに手をひいてください。 | 参考 | |
| 324 | IRをどうしてもやりたいなら、市民全員の知恵を募って日本と横浜の魅力をふんだんに取り入れた“カジノの無いMICE施設”を作るべきです。このIR素案はカジノ前提の都合良い理屈付けだけで、どこにもカジノ付きIR事業が横浜に絶対必要な内容が提示・説明されていません。 | 参考 | |
| 325 | カジノなしのIRを模索していくべきだと思います。 | 参考 | |
| 326 | IRをどうしてもやりたいなら、市民全員の知恵を募って日本と横浜の魅力をふんだんに取り入れた“カジノの無いMICE施設”を作るべきです。このIR素案はカジノ前提の都合良い理屈付けだけで、どこにもカジノ付きIR事業が横浜に絶対必要な内容が提示・説明されていません。 | 参考 | |
| 327 | カジノが無いというのが日本の唯一無二の特徴、希少価値となり他国にない観光優位性が出てくる。MICEは儲からない。何の証拠・根拠があるのか。具体的F/S（事業採算性の検討）に基づく証拠を示してほしい。これまで示されている根拠は全て定性的な調査結果だ。是非、MICE事業が赤字経営という数字的な根拠を示してほしい。国際展示場を民設民営で実施した場合のF/Sがあるので、公開で比較検討する機会を与えてほしい。具体案をそれぞれ並べて比較して欲しい、それこそが、行政で行わなければならない公正性の担保だ。国の調査結果で赤字というなら、その具体的な計算結果と比較したい。民間の検討事項だから数字は出せないというのなら、儲からないなどと軽々しく市が言うものではないし、予断の決めつけはフェアではない。 | 参考 | |
| 328 | 周囲が、ホテル等のリゾート施設を造るといいますが、横浜にはその施設だけで良いと思います。子供達の未来のためにも、建設しないでください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 329 | 横浜の「市民説明会」で「カジノ抜きでIR」について横浜市への回答は、ただのIR整備法に依拠した通り一遍のものにしかすぎません。何故「カジノ抜きでIR」が不可能なのか、何故の港湾関係者等の構想では駄目なのか、が全く説明されていません。IRにカジノを仕組んだIR整備法に飛びついた話です。市長は「カジノ無しにIRの設置・運営は困難と国が検証している」と、より踏み込んだ発言をしています。「国の検証」とは、どの文書の何処の記述を言っているのか、きちんとお示し頂きたい。 | 参考 | IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。 国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。 本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 330 | 何故カジノを使うのか疑問です。カジノがなくても横浜は立派に統合型(?)リゾート=魅力あるリゾート施設が可能と考えます。シンガポールやマカオを追わず横浜独自のより魅力ある横浜IRを目指そうではありませんか。 | 参考 | |
| 331 | MICEは儲からない。何の証拠・根拠があるのか。具体的F/S(事業採算性の検討)に基づく証拠を示してほしい。これまで示されている根拠は全て定性的な調査結果だ。是非、MICE事業が赤字経営という数字的な根拠を示してほしい。国際展示場を民設民営で実施した場合のF/Sがあるので、公開で比較検討する機会を与えてほしい。具体案をそれぞれ並べて比較してほしい、それこそが、行政で行わなければならない公正性の担保だ。国の調査結果で赤字というなら、その具体的な計算結果と比較したい民間の検討事項だから数字は出せないというのなら、儲からないなどと軽々しく市が言うものではないし、予断の決めつけはフェアではない | 参考 | |
| 332 | 素案の方向性について。1、2、3ページにある項目については概ね賛成。むしろ今までも積極的に取組んで戴きたかった項目です。IR(integrated resortの略でしょうか)関連法というのが出来たようですが、ホテル・国際会議場・エンターテインメント施設等は大いに拡充していただきたい。しかも「カジノ」がここで同列に並んでいるのには違和感があります。 | 参考 | |
| 333 | 横浜市への発展には、統合型リゾートの整備が必要であるが、カジノ抜きでIRを推進すべきことと考えている。 | 参考 | |
| 334 | カジノを含まないリゾート等観光施設であるべきと考えます。 | 参考 | |
| 335 | リゾート型の複合施設を建設するならば、カジノ抜きでやってほしいです。 | 参考 | |
| 336 | カジノなし、カジノ船に依存しないビジネスモデルを提供してほしい。 | 参考 | |
| 337 | 素案は、カジノの必要性について説明していません。IR施設の魅力と必要性を説明し誘致を力説しています。しかし、こうしたMICEやIR施設の良さは、カジノによって台無しになってしまいます。 | 参考 | |
| 338 | カジノ抜きに計画修正すれば横浜IRに反対しない | 参考 | |
| 339 | 「IRにはカジノを導入しない」という方向性を表明することで、市民も納得し明るくなり、「やっぱり横浜の市長さんだ」と言われることでしょうか。これが横浜市にとってベストの「方向性」です。 | 参考 | |
| 340 | IRはいいですが、カジノは不要です。 | 参考 | |
| 341 | カジノなしの、国際会議場を適切に運営すれば、歳入アップが見込めるはずですが。 | 参考 | |
| 342 | 横浜へのカジノ誘致には反対です。IRにはカジノは要りません。国政の新法案によって、あたかもIRとカジノは一体のように見えるが、元来IRとカジノは全く別の存在です。カジノのない健全なIRであれば、市民の賛同も得られるでしょうし、市会及び市長の功績が称えられることでしょう。横浜にカジノ前提のIRは要りません。そもそも横浜にはIRに活用できる施設が揃っています。県民ホールを始めパシフィコ横浜、横浜美術館などなど。それらを拡充する方向で整備を行えば世界に誇れる都市型IRとして機能できます。 | 参考 | |
| 343 | 横浜の売りである「日本の開国の起源地」を生かした文化観光資源の開発、スポーツ振興、MICEをはじめとした国際交流の場、明治を感じながら現在も感じられるホテル群等々、資本の誘致にご尽力いただき実現していただきたい。素案を見させていただいて、カジノの対策にあれこれかなりのページを割いていますが、カジノに頼らないでpositiveなものだけで構想を作り上げていただきたいと思えます。パチンコも含めてギャンブルをなくして世界に誇れる健全な文化教育国際都市にしてください。 | 参考 | |
| 344 | 横浜にカジノを作ることは反対です。総合施設でカジノは3%にすぎないと説明されていますが、ならばカジノを造らず、文化的施設を造るべきではないでしょうか？市民が、安心して楽しむ事が出来る施設を造ってください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 345 | リゾートは賛成。カジノ建設は反対 | 参考 | <p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 346 | IR自体はなかなか魅力的なものとわかりました。カジノの必要性は感じません。マカオやシンガポール以上に人が集まるとは思えません。 | 参考 | |
| 347 | IRにカジノは不要。IRの設置には賛成するが、カジノ設置には反対。 | 参考 | |
| 348 | 財政が厳しくなるのは分かります。IRの中のカジノは不必要です。カジノありきの計画で、他に方法はないのでしょうか！カジノ無しのIRは考えられないのでしょうか？ | 参考 | |
| 349 | 横浜のポテンシャルを活かし将来を見据えた横浜市の取組から、IR（統合型リゾートを外さないしは「カジノ」を除いたもの）では是非再考して欲しい。 | 参考 | |
| 350 | 統合型リゾートそのものには賛成ですが、カジノの併設には反対します。 | 参考 | |
| 351 | カジノ場は3%にすぎない、と、いかにも（自分たちが）賭場を小規模に抑制しているように見せかけているが、こういうのが我慢ならない。3%とは政府の規制であって、そうしないと許可が下りないからにすぎない。実際は、その制限があるために、とんでもない広さが必要になるのであり、だから97%を占める展示場・国際会議場など、無駄な面積がなくてはならないものとなる。そういう構造上の制約から無理に巨大にしなければ成り立たないのに、市民向けには市民が憩える空間としてバラ色に見せようとの説明。来場者数・経済波及効果だけ数字付きだがみせかけの大風呂敷で、何の根拠もない。 | 参考 | |
| 352 | 素案では、横浜の街作りの観点でなぜカジノ施設が必要であるか納得できる理由を説明していません。「日本のゲートウェイ（玄関口）を目指します」とありますが、玄関にカジノが必要な意味がわかりません。 | 参考 | |
| 353 | 統合型リゾートができることには賛成しますが、カジノを計画に含めることには、絶対に反対です。 | 参考 | |
| 354 | 横浜市は「横浜IRの方向性」を撤回し、カジノを含まないIRを検討していかなくてははいけません。横浜市はカジノ抜きIRの実現を目指さなくてははいけません。 | 参考 | |
| 355 | IRのメリットは分かりますがカジノが入るのであれば要りません。横浜にカジノは要りません。 | 参考 | |
| 356 | 横浜IR全体の考え方？は間違いではないと思います。但し「カジノ」については明確に反対します。カジノ以外のアイデアでIRの効果的な実現を努力してもらいたい。 | 参考 | |
| 357 | IRの必要性について少子高齢化による税収減を見据えて、何らかの対策が必要なのは分かる。観光、MICEなど16ページの取り組みも、IRを除き理解できる。しかし、カジノを中心とするIRの必要性が、まったく説明されていない。35ページのようなコンテンツが魅力あるものなら、そのコンテンツに相応の対価を払っていただき、収支を合わせれば良い。MICE単体で運営ができなくても、MICEの経済効果を考慮して税収がUPするなら問題ないと思う。現在のパシフィコ横浜と同じ考えでMICEを位置付ければよい。MICEの経済効果だけでは足りない？パシフィコ横浜のリアルレポートを見たが、否定的なことは書いてない。パシフィコ横浜の経済効果はどの程度あったのか？お荷物施設ではないけど、その程度の経済効果では、今後の予算が足りない？既存のMICE施設と、具体的な比較、検討が示されていない。 | 参考 | |
| 358 | 横浜市は「カジノ事業」を含まない都市リゾート事業を考えるべきである。 | 参考 | |
| 359 | 「カジノ」を併設するIRに対しては、反対です。カジノの無い文字通りのインテグレイティドリゾートでしたら、検討に値すると思います。 | 参考 | |
| 360 | 開発事業がどうしても必要であれば、カジノを含まない形が望ましいと考えます。 | 参考 | |
| 361 | 大型の展示場や会議場の設備不足は、カジノ設備抜きで、いくらでも開発余地はある | 参考 | |
| 362 | なぜIRにカジノが必須なのですか？他にも中核となる施設のアイデアがないのでしょうか？もっと横浜らしさ（海、港、異国雰囲気etc.）を追求した統合型リゾートを目指すべきだと思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 363 | 横浜にカジノを誘致することに反対です。IR（統合型リゾート）のコンセプトについて資料を拝見しましたが、カジノを含める必要性をどうしても理解できません。エンターテインメントの要素として、カジノがなぜ必要なのですか。カジノを開業している欧米諸都市は、地元の上流階級の集まる場として歴史があるのですが、何の歴史もない日本で真似をすれば、単なる賭博場にしかならないと思います。横浜は、カジノに頼らなければならないような都市なのでしょうか。それはあまりにも卑屈な認識であると思います。 | 参考 | <p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。＜方向性P.31＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 364 | カジノありきではなく、カジノ抜きの開発を目指すべきで、その方向性を出せないのであれば退陣すべき。 | 参考 | |
| 365 | IRに反対します。理由は次になります。カジノを含んでいるため。 | 参考 | |
| 366 | IR全てに反対ではなく、カジノに反対します。カジノは要りません。 | 参考 | |
| 367 | カジノありきの「横浜IRの方向性」（素案）は、「カジノ依存症」をはじめとして問題山積であり、カジノ抜きの抜本的な見直しを求めます。 | 参考 | |
| 368 | 横浜IRになぜカジノ施設が必要であるかという理由の説明がない。 | 参考 | |
| 369 | 大型施設の集中誘致が必要なら、カジノ抜きで費用は他の支出の中から捻出するか、それが無理なら諦めればよい。 | 参考 | |
| 370 | 「カジノ」を併設するIRに対しては、反対です。カジノの無い文字通りのインテグレイティドリゾートでしたら、検討に値すると思います。 | 参考 | |
| 371 | 市民の健康・暮らしと市政の真の持続的発展を破壊する「カジノ横浜IRの方向性（素案）」の撤回と「カジノ抜きの横浜イノベーションIR」への変更を求めます。 | 参考 | |
| 372 | 「このような状況のなかで、国が成長戦略と地方創生の大きな柱として位置付け「観光先進国」としての日本を実現するために制定された、「特定複合観光施設区域整備法（以下IR整備法）」に定める「日本型IR」を実現することは、これからの横浜の課題を解決していくための重要な手法」としていますが、現状認識から、市民の多数が反対する「カジノを核にした日本型IR」（横浜IRという表現であたかも別物のようにカモフラージュしますが）に直結させ、唯一案として提起していることに強く抗議します。 | 参考 | |
| 373 | カジノ付IRに固執するのであれば、次の2点を明記すべきです。 「カジノ付IRでなければならない横浜市としての考え方」を明記すべきです。 市民の最低要求である「カジノ抜きのIR」が成立しない根拠」を提起するべきです。 この2点があって初めて、市民の判断が可能になります。 | 参考 | |
| 374 | 「2 横浜IR実現への取組の背景」 「（6）日本型IRの基本方針」 日本型IRの図が示しているのは、「カジノからはじまり、カジノへ「収益の還元」する」公共政策としてのIRということですか？ 【質問】「公共政策としてのIR3目標」にカジノ必要性は入っていません。カジノはやめるべきではないですか。 | 参考 | |
| 375 | カジノについて、素案にはカジノは全体の3%と記載されていますが、やはり巨大だと感じています。小さいことを説明する位であればカジノ無しのリゾートにして頂けると子供達も安心して遊びに行けると思います。 | 参考 | |
| 376 | どこを読んでも、カジノの必要性が読み取れない。カジノ無しでのIRでも何も問題はないのではないかと。むしろカジノ無しのほうが、依存症対策等のコストが減り、収益があがるのではないかと。カジノありきの計画のように見える。 | 参考 | |
| 377 | カジノのない事業にすべき。 | 参考 | |
| 378 | カジノについての記述が表面的には少なく、問題化していると言えるのに、矮小化されているような印象を受ける。その有用性を言うにしても、もっと表面に出して、具体的に分析し、論じないと、批判や懸念を素通りしているような印象になる。 | 参考 | |
| 379 | カジノについての記述が表面的には少なく、問題化していると言えるのに、矮小化されているような印象を受ける。その有用性を言うにしても、もっと表面に出して、具体的に分析し、論じないと、批判や懸念を素通りしているような印象になる。 | 参考 | |
| 380 | 百歩譲って、カジノを含まないIRを導入して観光客を呼び込んだらどうなのですか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 381 | 日本のように豊かな歴史、文化に魅かれてくる観光客がカジノに魅かれて増加すると主張する方々の見識を疑う。すなわちカジノは日本への観光客誘導ファクターにはなりえない。 | 参考 | <p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。〈方向性P.31〉</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 382 | 「横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）」を読み、これまで少し誤解していた部分のあることが分かりました。それは「IR＝カジノ」ではないということです。カジノは全体の3%に過ぎず、ほとんどの部分はリゾート的な要素が占めているということです。多くの問題を抱える「たった3%のカジノ」になぜ拘るのか疑問です。横浜IRからカジノを除けば、今まで日本にはないとても素敵な統合型リゾートになり、多くの横浜市民が賛成することは間違いありません。たった「3%のカジノ」に拘らず、「横浜の持っている力」を最大限に生かし、横浜に人を呼び、横浜から日本中に人を送り出すことができる統合型リゾートを横浜市は目指すべきではないでしょうか？ | 参考 | |
| 383 | カジノ抜きMICE（国際会議・展示施設）の建設・運営は不可能意見。前からカジノ抜きの計画はあったという。カジノを作ることによって建設費用も多くなる。海外にない横浜でない駄目というオンリーワンのものを企画できないか！ | 参考 | |
| 384 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）については、そのIR誘致を推進する姿勢に対して反対します。横浜市は、本素案を元にカジノ施設を含むIR誘致を進めるべきではなく、誘致そのものを撤回すべきです。横浜IR（統合型リゾート）になぜカジノ（博打場）が必要なのか、説明がありません。「横浜を日本のゲートウェイ（玄関口）」とし「世界中のデステーション（目的地）」となり続けるという方向性が示され、横浜の都心臨海部には、開港以来の歴史や文化、美しい港の風景や水際を身近に感じられる都市空間など、これまでのまちづくりで築かれてきた豊富な魅力や資源があることが述べられています。この方向性にカジノ（博打場）を新たに存在させる事がどう結びついてくるのでしょうか。 | 参考 | |
| 385 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）」に対する意見横浜IRからカジノを除去してください。世界に類のない観光の振興、大人から子ども、外国人でも日本人でも、幅広い客層が楽しめる非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾートという目的に照らしてカジノを含むことに著しい違和感があります。つまりカジノさえなければ横浜IRの基本的な構想に対しては何ら異論はありません。 | 参考 | |
| 386 | 箱物行政にしか見えないIR構想の中でカジノが問題視されるのに、あくまでカジノにこだわるのがわかりません。カジノを作ることとIR特区はペアなんでしょうか。 | 参考 | |
| 387 | カジノ反対の件 IRは少しはみとめますが、カジノはダメです。 | 参考 | |
| 388 | カジノ抜きのIRにすべき | 参考 | |
| 389 | 私は保守政治体制と政策を信奉するもので、横浜市のIR事業の推進がMICE事業の発展につながることに異議はありません。しかしながらこの計画の一環としてカジノ事業への参入を目指している市政の方向性には賛同いたしかねることを強く述べさせて頂き、再考を促します。 | 参考 | |
| 390 | IR事業をどうしてもというなら、カジノ抜きで計画してください。 | 参考 | |
| 391 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）については、そのIR誘致を推進する姿勢に対して反対します。横浜市は、本素案を元にカジノ施設を含むIR誘致を進めるべきではなく、誘致そのものを撤回すべきです。横浜IR（統合型リゾート）になぜカジノ（博打場）が必要なのか、説明がありません。 | 参考 | |
| 392 | 「観光先進国」のカジノのあるべき姿とは？他では得られない楽しみのある博打でなければ、世界第一位のマカオに勝てない。カジノは客を呼び込める、収入も多いというのだったら、「特定複合観光施設」から、分離させてカジノを開くべきだ。カジノも、日本文化も、何もかも纏めてうまくやってくれと、民間業者に、注文して、本当に上手くゆくのだろうか？上手くゆかなかった時には、どうなるのか？カジノ等の博打を上手に取り仕切る民間業者は存在する、というのだったら、何でもかんでも、賭博解禁とすれば良いのではないかと？賭博の中で、カジノは特別なのか？この点については、何の説明も、素案に無い。横浜IRの方向性（素案）には、「観光先進国」の話が、最初に出てきて、IR法特有で中心のカジノの話は、後の方に出てきて、しかも、一生懸命に防止しますと言う話だ！そんなに、悪影響防止に自治体が注力しなければならぬのなら、カジノレスでIRを進めるべきだ。カジノレスIR（横浜型IR＝YIR）を目指して、詳細検討を進めてください。 | 参考 | |
| 393 | カジノありきのIRに反対です。 | 参考 | |
| 394 | IRを造るなら市民の大多数が反対しているカジノ無しでやるべきだ。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 395 | 「国際会議場・展示施設などのMICE施設、ラグジュアリーなホテル、ショッピングモール、レストラン、美術館、映画館、テーマパークなど」にカジノを加えた複合型観光施設を一体的に整備します。」カジノがどうしても必要なかがわかりません。「国際会議場・展示施設などのMICE施設、ラグジュアリーなホテル、ショッピングモール、レストラン、美術館、映画館、テーマパーク」ではなぜ駄目なのですか？ | 参考 | IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。〈方向性P.31〉 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。 |
| 396 | 横浜市のIRについての意見。まずIRの必要性が本当に必要かカジノがIRの中に含まれているが、IRの必要性と切り離して考える必要あると思いますので、カジノは基本的には不要と考えます。 | 参考 | |
| 397 | カジノを除くリゾート設備、国際会議場の建設は賛成だが、世界にインパクトを与える規模にしてほしい。複合型リゾートにカジノを含める理由がわからない。国際会議で滞在する時は昼間は会議に参加、夜はレセプション等がありカジノを設置する理由にはならない。カジノを設置する理由、カジノを誘致する効果を述べてください。 | 参考 | |
| 398 | 横浜IRになぜカジノ施設が必要であるのかの明確な説明をして頂きたい。 | 参考 | |
| 399 | 横浜市にカジノは要りません。従ってカジノと抱き合わせのIR計画に強く反対します。 | 参考 | |
| 400 | カジノにかかる金銭があるのであれば、これまで以上に歴史的建造物の保存、港の整備に、観光の集中によって起こる問題（休日の混雑、駐車場等）等にその金銭＝税金をお使いください。 | 参考 | |
| 401 | 賭博場は要りません。IR統合型リゾート？賭博はリゾートではない。IRに賭博をくっつける、考え無しのやり方はやめてほしい。 | 参考 | |
| 402 | 世界トップクラスの展示場建設を中心に計画を進めるべき。山下ふ頭に、世界トップクラスの床面積をもつ展示場を建設することは、将来的にメリットが大きい。しかし、横浜IRを中心に議論が進められているため、IRの一部であるカジノに衆目が集まり、カジノ不要論を中心に批判的な意見が噴出している。このままでは計画の実現に水を差すことになりかねない。カジノを切り捨てても、展示場（と宿泊施設、周辺交通）を中心に計画を進めていただきたい。 | 参考 | |
| 403 | （素案）にあるIR各要素のうちカジノは不要である。IRとはそもそもカジノを含むもの、というのは特定複合観光施設区域整備法の法律上の定義に過ぎず、カジノをふくめずにそれ以外の事業をしてはいけない、ということはない。 | 参考 | |
| 404 | カジノなしのIRを推進することが必要と考える。 | 参考 | |
| 405 | IR事業計画に反対です。埠頭の再開発、文化的施設の展開はある程度必要と思いますが、カジノが前提のIR事業計画には反対です。横浜にカジノはいりません。市長は横浜市民のために行政をするべきです。 | 参考 | |
| 406 | 横浜でも、考え抜いたコンテンツを軸に、カジノなしでエンタメ事業を成り立たせられるはずですよ。 | 参考 | |
| 407 | 横浜市民の圧倒的多数（3分の2以上）が反対しているカジノを推し進めるべきではない。 | 参考 | |
| 408 | カジノに変わる、横浜にふさわしい、これから若い人の時代によるこんでもらえる横浜を心から望む一人です。心が豊になるよこはま、みんな集るよこはまであってほしいと思っています。 | 参考 | |
| 409 | 山下埠頭に建設予定の数々の施設、すばらしいものです。しかし、その中のカジノ施設が問題です。カジノ無しではIRは成り立たないと言うのであれば、カジノ無しで何をやるか、そのために知恵を出して下さい。多くの市民が将来にわたって誇り得るカジノ無しの施設を創ってください。期待しています | 参考 | |
| 410 | 今回のIR誘致については、カジノが問題になっていると思います。IR自体に反対はしませんが、そこになぜカジノが必要なのか理解できません。また、カジノありきのIR誘致にも疑問があります。IRを誘致するのであれば、カジノ抜きIRを検討願います。 | 参考 | |
| 411 | カジノを含むIR、必要ないです！十分な議論が尽くされていますか？反対です | 参考 | |
| 412 | 以下の理由で反対します。「横浜IRの方向性」は間違っています。なぜならば、「横浜IR」はカジノ付きのIRだからです。IRには、カジノ付きもあれば、カジノ抜きもある。カジノ抜きのIRは可能です。「国も、カジノが無ければIRはできない」と言っている」という市長の発言は真っ赤な嘘です。国の文書の何処にもそのような記載はありません。横浜市はカジノ抜きのIRの実現を目指さなくてははいけません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 413 | IR事業を行う場合はカジノなしで行う。 | 参考 | <p>IR整備法では、健全なカジノ事業の収益を活用してこれまでにないスケールやクオリティを有する国際会議場や展示場などの観光に寄与する諸施設を整備・運営する仕組みになっています。</p> <p>国際競争力の高い大規模なMICE施設については、世界や日本の事例を見ても、国や自治体が多額の公費等を投入しており、本市でも、パシフィコ横浜などに財政支援をしてきました。</p> <p>本市にとって、MICE施設等の整備・運営において、市の財政負担を最小限にし、民設民営手法であるIRが、最も有効な手法と考えています。〈方向性P.31〉</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 414 | カジノ抜き計画にしてください。 | 参考 | |
| 415 | IR反対です。リゾート計画は賛成ですが、カジノは必要ないと思います。 | 参考 | |
| 416 | 本案では反対です。横浜には以前遊園地があったのですが、現在は無くなっておりますので集客の為にテーマパークだけの創設は良いと思います。提案書はカジノ無しのリゾートでお願いします。 | 参考 | |
| 417 | カジノ付きで無ければ市長が個人的に困るのであれば市民が納得できる理由を教えてください。 | 参考 | |
| 418 | 上位計画はMICEだけでも良いのではないですか。 | 参考 | |
| 419 | 横浜IRでは金銭を賭けるカジノではなく、勝ち負けを記録するだけで、だれでも心配なく楽しめるカジノ風ゲームにすべきです。 | 参考 | |
| 420 | 観光娯楽施設として「カジノ」が不可欠というなら、カジノ風ゲームセンターでもつくったらどうですか。 | 参考 | |
| 421 | 横浜にはカジノ付きIRはいりません。カジノなしの観光開発こそ挑戦すべき課題ではないですか。 | 参考 | |
| 422 | 事業者の中には、カジノ事業を得意とする業者がいて、横浜IRにおいて床面積3%以内にしても目一杯の規模のカジノ・賭博場をつくり、最大限の収益を上げることで、IR事業に貢献する、そういう事業収益モデル、事業計画をたてて「勝負」してくる事業者もいることでしょう。その時、例えばですが、カジノ収益率を80%や90%にするような事業者は、例えば、経済効果、雇用効果、増収効果においても高い数値を見積もり、かつ建設事業費はそこそこだったとした場合、横浜市はどうするか。あまりにカジノ依存の高さに、その事業者は採用しないという見識があっても当然だと思いますが、どうなのでしょう。何か、専門者会議の判断に委ねるのでしょうか。横浜IRはカジノ主体の事業ではないとの見地から、事業者に変更を求めることが必要でしょう。業者の提案、自治体が厳格に評価することです。この横浜市の「目標とレベル」の提起においては、「カジノ頼みのIR」は、横浜IRにふさわしくない。この点の考え方を明確にすべきです。むしろ、限りなく、カジノ無しのIRこそ、横浜のめざすIRであり、横浜方式といっているのではないのでしょうか。追求すべきです。それが国策IRとは一致せず、国の採用とするものにならなかったとしたら、それは横浜の名誉となるでしょう。反対に、「世界最高水準のIR」に対応する「世界最高水準のカジノ」が実現するとしたら、それは考えたくもない悪夢です。 | 参考 | |
| 423 | カジノ抜きでのIRの再検討を、お願いします。 | 参考 | |
| 424 | カジノのない開発計画はできないのですか。観光・会場施設等の収入で十分ではないでしょうか。それでも足りなければそれなりに市民生活の質を下げなければ良いと思います。簡易な考え・方法で金もうけができるとは思いません。 | 参考 | |
| 425 | カジノのない開発計画へ方向転換を切に希望します。未来を担う子供達に恥じない希望の持てる横浜となる事を願っています。 | 参考 | |
| 426 | カジノがIRに不可欠である理由を具体的に知りたいです。 | 参考 | |
| 427 | 横浜IRについて、エンターテインメント施設や、レストランが増えるのは、にぎやかな町の印象をつけられそうで、とても良いと思いますが、カジノ施設は私は反対です。 | 参考 | |
| 428 | IRはいいけど、カジノは絶対にダメです。 | 参考 | |
| 429 | 世界最高水準のIR実現→これだけの施設があれば、「カジノは不要」と考えるのが普通 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 430 | 基本的な、実現の方向には賛同します。MICEについては、国際的にも展示会や見本市が曲がり角に来ていること、パシフィコとの競合が危惧されることから、規模等を検討した方がよいと思います。 | 参考 | <p>MICE施設については、これまでになくようなスケールとクオリティを有し、これまでになくような国際的な会議や世界規模の産業見本市等を展開し、新たなビジネスの起爆剤とします。規模については、国際会議として一般的な形式である大規模な全体会議と分科会等にも対応できるような総収容人数を有するものとします。</p> <p>なお、既存施設であるパシフィコ横浜の強みを生かすとともに、弱みを補完するなど、パシフィコ横浜とのコラボレーションによるアジアを代表するMICE都市・横浜の実現を目指します。＜方向性P.32-33＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> |
| 431 | P32会議場とは人が集って討議する所です。ミナト・ミライ・ホールが2000席です。2000人集めて、会議は成り立ちません。3000席、6000席とは何ですか その様なホールはパシフィコ横浜（最大5000席入で充分でしょう。税金の無駄使いは止めましょう。 | 参考 | |
| 432 | 世界的なMICEイベントを誘致してください。 | 参考 | |
| 433 | IR早く実現を！！MICEですが、パシフィコとの連携のイメージがありますか？具体的なプランを考えて、共存共栄を目指してください | 参考 | |
| 434 | 横浜のさらなる飛躍の為にIRは必要です。東京に負けないMICE施設を整備してください。IRを実現してください。 | 参考 | |
| 435 | IR賛成です。パシフィコには入りきらない大規模な展示会の誘致もお願いいたします。ハノーバーメッセまではいなくても、全世界からビジネスパーソンが集う場をつくってください | 参考 | |
| 436 | シンガポールのIR施設の会議室は日本にある国際会議センターよりもじゅうたんがしかれているなどグレードが高かった。つくるのであれば立派なものが必要 | 参考 | |
| 437 | 大きなMICE展示場をつくるのであればラスベガスやシンガポールで開催されているCESを誘致してほしい | 参考 | |
| 438 | 国際会議の開催が他国に比べ少ないとは思っていなかった。国際競争に勝つためにもIRは必要だと思う。 | 参考 | |
| 439 | ビジネスに関して、世界の企業とのマッチングして、新しい産業を創出できる環境を準備して欲しい | 参考 | |
| 440 | 横浜のMICEにはまだまだ発展の可能性があります。パシフィコとの連携で、世界一のMICEを成功させてほしい | 参考 | |
| 441 | IRの導入に賛成です。日本にはグローバル企業がたくさんあるのにワールド・コンベンションを行うIRが日本にないのが大変な問題なのです。各企業のコンベンション担当は、大きな予算を使って外国でコンベンションを行っています。エアライン、宿泊、エンタテインメントなどそのコンベンション開催地に落とす経費は莫大です。そして自国でコンベンションを開催できればコンベンションのクオリティは大きく上がると考えられます。 | 参考 | |
| 442 | 8頁において展示場はドイツのハノーバー（46.6万㎡）が世界で一番とあり、目指すべきはドイツのハノーバーであるので、横浜の山下ふ頭（47ha=47万㎡）はドイツのハノーバーの分析を行った上で戦略を立ててください。 | 参考 | |
| 443 | MICE施設について。世界レベルの施設と比べればパシフィコの小ささ、レクリエーションの少なさは明らかです。横浜IRで実現するしかありません。 | 参考 | |
| 444 | 統合型リゾート（IR）の誘致は賛成です。日本の電機や自動車の産業がかつてほど影響力が世界で無くなっている中で、観光産業への強化や地域経済の活性化へ向けて必要な施策だと思います。しかし、基本方針の中での、ホテルの規模やMICEの規模については、あまりに大きなものをつくる事は周辺の施設への影響もあると思うので、ある程度の規模でよいのかと思います。国が認めた、国策のカジノ、IRを設置することで、国として、地域として新たなエッセンスとなると考えてます。新しい事にはチャレンジすべきです。懸念される事項は国の国策でもあるので、しっかりとした対応がされると認識しています。是非とも実現を！ | 参考 | |
| 445 | コンベンションセンター、や国際会議場は既に各地にあり、みなとみらいにもありそれ以上に大きな施設の必要性は、ほとんど皆無と言える。従って外資を活用し、良いとこどりをしたいという気持ちはわかるが、あまりにもリスクが高すぎる。自らの発想で計画しなければ、横浜の特性・特徴が生かされない。 | 参考 | |
| 446 | 横浜IRの方向性2では、都心臨海部との融合とされているが、みなとみらい地区ですでにMICEとして機能しており、同様の施設を作っても競合関係となる。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 447 | 素案では、パシフィコ横浜と、それに隣接するホテルまでを当該地域に含めている。あるいは、パシフィコ横浜の持ち主に、カジノ業者へパシフィコ横浜を売却させるのか？パシフィコ横浜は、「民間事業者の能力の活用による特定施設の整備の促進に関する臨時措置法」の全国第1号の施設であって、近年では展示ホールの稼働率が限界に近づいていることから、更なる拡張も計画される程であって、民活法（現在は廃止されている）の成功例と賞される。この伝統と実績と栄誉のある横浜IR文化を捨てて、たかがカジノの為に、先の見えぬ博打IR法に乗り換える目的と理由は一体何なのか？ | 参考 | MICE施設については、これまでにないようなスケールとクオリティを有し、これまでにないような国際的な会議や世界規模の産業見本市等を展開し、新たなビジネスの起爆剤とします。規模については、国際会議として一般的な形式である大規模な全体会議と分科会等にも対応できるような総収容人数を有するものとします。 なお、既存施設であるパシフィコ横浜の強みを生かすとともに、弱みを補完するなど、パシフィコ横浜とのコラボレーションによるアジアを代表するMICE都市・横浜の実現を目指します。＜方向性P.32-33＞ |
| 448 | MICEというが、将来的には展示会、研修会など多くは、バーチャル空間での方式に移行していくことが予想されるので、本計画でどのように考えるかも明示すべき。 | 参考 | 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 449 | IRはカジノがあって初めて成り立つ事業で、カジノ部分の面積（全体の3%）を如何に多く確保するのが重要になる。その為大きな規模の展示場やホテル、会議場等を採算を無視してでも設けることになっているが横浜にそんな施設は不要である。カジノ併設の会議場や展示場、ホテルが出来ると安い使用料・出展料・宿泊代でカジノの為に多くの来場者を集めることになり、横浜の品格ある良質なイメージとは相容れないものが開催されることになり、これまで横浜（主にパシフィコ横浜）が誘致して来た良質な国際会議等は他のカジノのない都市に持って行かれることになり、結果として横浜の魅力低下に繋がるものである。 | 参考 | |
| 450 | 国際会議場と展示場データが記載されているが、「だからどうなんだ」という議論がなされていない。さらなる国際会議場と展示場がなぜ必要か、その収益予想を自らの理論で説明する必要がある。国際会議場と展示場を成功裏に運営できるシナリオも説明する必要がある。事業運営にたけた市民がレビューすべきである。 | 参考 | |
| 451 | P. 8の展示場で、日本に広い展示場がないことは理解したが、P. 34で施設規模は6～12万平米以上とある。それでは世界ランキングの30位にも満たず、中国やタイの会場に匹敵する魅力を提供できるとは言えない。本当に新設予定の展示場は、世界的なニーズに対応できるか？その根拠を示してほしい。 | 参考 | |
| 452 | 国際会議の件数や展示場の数・面積の少なさ（p. 8）横浜市内の国際会議の件数や展示場の数や面積の少なさを訴えているが、国際会議の件数や展示場の面積だけが都市の評価尺度ではないと考える。施設をどのように活かすかを考えることが重要であり、また、国際会議や展示会に頼らなくても都市の評価を高めることは可能であろう。 | 参考 | |
| 453 | P17-18：日本型IRの基本方針公共政策としてのIR整備の具体的な目標「世界で勝ち抜きMICEビジネスの確立」とあります。国のIR整備のための基本方針では「国際的なMICEビジネスを展開すること」とあり「MICE開催件数の増加」が具体的な目標。横浜は目標を世界的な大規模MICEと張り合う事としており、『検討調査（4）報告』では、規模と奇をてらうようなMICE設備が具体案として提示されている。威勢が良いだけで「箱もの」作りになるリスクの検討が全くなされていない。『検討調査（4）報告』での有識者意見はこの（素案）には全く生かされていない。国のカジノの収益を当てにしたMICE設置の方針は方針として、国の方針は一応踏まえつつ将来に禍根を残さぬよう、日本の実情、産業競争力・産業振興を背景とした検討を行い、地に足の着いたMICEビジネスの目標を再設定する必要がある。P18のように「国の方針」だからという事で検討がおろそかになれば、この計画は危険すぎます。 P55 観光イノベーションMICEのレガシー効果を載せている。現状パシフィコで横浜は80%の稼働率を誇り、多数のMICEを開催している。「みなとみらい地区がオープンイノベーションの一大拠点となっている」とあるが、横浜市にこのMICEはいかほどの効果を生んでいるのかが提示されていない。又P6では横浜市の法人市民税、上場企業数が名古屋にも劣ると指摘しています。P6はレガシー効果を東京等を持って行かれてる事を示していると理解できます。これまでも指摘してきたが、大型展示会はその地にシーズが無ければ開催されません。まずはシーズを見つけることが必須。「箱を」作っても中身は埋まらず、借金だけが残る。あまりにも能天気な楽観的な観測としか言いようがありません。果実は手順を守り努力すれば得られますが、努力は必須です。何を努力するかの方角性を示すべきです。 | 参考 | |
| 454 | 「MICE施設」…首都圏では「幕張メッセ」が比較対象と考えられるが、地理的要因は「優位性」を認められるが、誘致上から双方の施設規模からの検討がなされたか不明であり、「施設規模」は恐らく「幕張メッセ」に優位性があると考えられ、開催者は複数の要素を基に決定すると考えるが、この側面からの検討は計画上重要且つ必須であると考えられるが、これがなされたか不確であり妥当性を検討出来ない。更なる開示を求める。 | 参考 | |
| 455 | パシフィコとIRを一体的にPRすれば、とても効果的なプロモーションができるはず。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 456 | 横濱の景観を壊さない；横濱は港が曲線になっていて景観が良いが、まさか壊さないよね？アジアNo.1；日本人が集まってもボリュームは知れてます。アジアNo.1でなければ人は集まりません。目指すは東のラスベガス、西のYOKOHAMAです。中途半端なもの創っても競争には勝てません！創っても横濱の財産である景観を壊しても意味なし。 | 修正 | 横浜IRの実現により、アジアを代表するMICE都市を目指すことを明確に示すこととし、方向性1「世界最高水準のIRを実現」を一部修正しました。＜方向性P.33＞ |
| 457 | アジアにおける日本の地位を再度上げるためにも、インバウンドの呼び込みと地元住民の娯楽場の両面を兼ね備えるIRは重要だと思います。東京一極集中が問題となる中で、横浜に新たな観光目的地が出来ることを期待しています。 | 修正 | |
| 458 | エンターテインメント施設については、劇場だけ切り離してみないと21地区に作ることが理解できません。劇場の採算の面でも、不利です。 | 参考 | 日本型IRでは、我が国の伝統、文化、芸術等を生かした公演その他の活動を行うことにより、我が国の観光の魅力の増進に資する施設を設置する必要があり、劇場や演芸場、競技場、博物館などの施設で、古き良き伝統と最先端技術を融合させて魅力的に発信することが求められています。＜方向性P.36＞ |
| 459 | オペラの大劇場は、収容、建設費など問題が山積。それらの市税は、敬老バス、中学校給食、医療、防災につまり市民のために使ってほしいと思います。 | 参考 | 一方、本市が検討している新たな劇場整備は、オペラ・バレエなど本格的な舞台芸術の創造と発信や、子どもたちの育成を図るためのものであり、横浜IRとは異なる事業です。 |
| 460 | 横浜IR賛成です。IRのほかにも新たな劇場整備も計画しているようなので、両者でお客さんを取り合わないような工夫や、観光地として相互にアクセスの良い関係を築けるといいと思います。 | 参考 | |
| 461 | 『ホールを含む文化施設』建設を本構想に織り込む提案に対し、本構想に含まれる文化施設との相違点、融合させた場合、特に、国内外からの観光客誘致上逆に優位性を生まないか、当該計画の立地場所等を含めた本構想の説明、加え、全体構想の中で差別化する意図の市民に対する丁寧な説明が求められる、と考える。 | 参考 | |
| 462 | 意見といってもIRはすでに決まっているのですね。計画をみていると、そう思います。“豊かな暮らし”をあてにできるのでしょうか？すでに韓国にありますし、一般の人が長く「お客」でいられるでしょうか？高齢化になっていく世の中、一時的に若い人が訪れるショッピングモール等、ホテルは（オリンピックまで）いらないです。 | 参考 | 日本型IRでは、我が国の伝統、文化、芸術、最先端技術、四季折々の自然等の様々な魅力を最高水準の公演・展示等を通じて、かつてないクオリティで発信することにより、我が国の観光の魅力の増進に資する施設を設置する必要があります。劇場や演芸場、競技場、博物館などの施設で、古き良き伝統と最先端技術を融合させて魅力的に発信することが求められています。 |
| 463 | 将来の事を考え市税の不足を補うのではなく子供から老人まで日本人、外国旅行者が楽しめる、施設を考えて欲しい。日本の古い時代の町から江戸、明治、大正、昭和、平成などの町をテーマごとに作り店舗を作り、手造りのものを並べて海外に自慢出来る製品（日本製のみ扱う）を又、食の施設も作り老人には歩くと負担がかからない乗物（電気）で廻れる様にすれば車イスの人も楽しめる様になる将来自慢出来る施設を希望します。カジノは反対です。 | 参考 | 横浜IRでは、これらの施設を通じて、横浜や日本のことを知ってもらい、ファンになっていただき、横浜が日本観光のデスティネーション（目的地）となることを目指しています。＜方向性P.35、36＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 464 | こういう都市型レジャーは目新しいうちは集客できても世界各地に多くてやがてあきられる。日本本来のよい物を生かす地に足のついたやり方をすべき。 | 参考 | |
| 465 | 日本の魅力、文化を世界に広められるような施設を期待しています。 | 参考 | |
| 466 | 海外の方々からみた日本の魅力は、歴史に裏打ちされた伝統美であり、良き風習、生活スタイルだ。そうした「和」のテイストを前面に出したIR（日本独特）をつくってください。 | 参考 | |
| 467 | 本物の日本らしい、横浜らしい施設としてほしい。 | 参考 | |
| 468 | 横浜のように産業が少ない都市には、観光で収入を得る方法も良い。ラグビー・cupもそうだったが、外国人の消費額は日本人よりも明らかに大きい。横浜IRに期待する。 | 参考 | |
| 469 | 賛成です。日本の中で、横浜は経済、観光の中心となるべきと思う。世界より注目される都市を目指すのであれば、IR政策は、必要と思います。ぜひ、実現してほしい。 | 参考 | |
| 470 | 家族や友人と時間を共有し楽しめる場所が出来たらとても嬉しいです。中でも子供が普段の生活で中々体験することのない日本の伝統や文化、芸術に触れる機会を増やしていける事は大変素晴らしいことだと思います。またみなとみらいエリアは中華街や山下公園、大さん橋があり外国人観光客の方も沢山見かけます。その方々にも日本の伝統文化、芸術、などに触れていただける機会があるということも素敵だと思います。 | 参考 | |
| 471 | 一流の芸術、文化を味わえる所にしてほしい。 | 参考 | |
| 472 | 横浜IRのほんの一部である「カジノ」ばかりを取り上げて異議を唱えることには納得がいきません。これからの横浜を考える上で東京のベットタウンだけでは成立しなくなるであろう高齢化社会が目前であることを真摯に受けとめるべきだと思います。東京に隣接するがために宿泊する観光客が少ない等横浜の弱点は明確です。都市の利点を生かしたまちづくりを進め将来を見据えて横浜を盛り上げていく施策に賛成します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 473 | 日本の食文化を海外の人に知ってもらい、リピーターになってもらえるような計画をお願いします。屋台や居酒屋なんかは、絶対喜ばれると思います。 | 参考 | <p>日本型IRでは、我が国の伝統、文化、芸術、最先端技術、四季折々の自然等の様々な魅力を最高水準の公演・展示等を通じて、かつてないクオリティで発信することにより、我が国の観光の魅力の増進に資する施設を設置する必要があります。劇場や演芸場、競技場、博物館などの施設で、古き良き伝統と最先端技術を融合させて魅力的に発信することが求められています。</p> <p>横浜IRでは、これらの施設を通じて、横浜や日本のことを知ってもらい、ファンになっていただき、横浜が日本観光のデスティネーション（目的地）となることを目指しています。＜方向性 P.35、36＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> |
| 474 | 海外からの訪問客にたくさんお金を落してもらえよう、ラグジュアリーなものにしてほしい。 | 参考 | |
| 475 | IR楽しみです。下町の雰囲気がある一角をつくって昔の日本が体験できると良いと思います。 | 参考 | |
| 476 | 文化性の高い方向に活用して頂きたい。 | 参考 | |
| 477 | IRの魅力増進施設を使って、日本の文化を海外に輸出。浮世絵のように、日本の芸術は海外で評判が高い。横浜はその玄関口として、さらに魅力的になる。 | 参考 | |
| 478 | 海外からの観光客をよびこむのであれば、日本美術（浮世絵とか仏像とか）をたんのうできるところが必要だと思う。ぜひ作ってほしい。 | 参考 | |
| 479 | 横浜は東京に比べて芸術に関する施設、芸術や美術館博物館が足りないと思う。そういう施設をぜひ作ってほしい。 | 参考 | |
| 480 | 横浜IR、設置、基本的に大賛成です。横浜に留める策として大規模なレジャ産業などの施策、観光ルートの根本的な大改革が強く望まれ、特に少子超高齢社会の観点からも元気で楽しい横浜で過ごせる策の確立を！ | 参考 | |
| 481 | 特に3号施設といわれる部分にも力を入れて頂けたら、他国にはない特別な施設ができ、日本の若い人も年配の人も日本をさらに好きになれるきっかけとなり、嬉しいです。 | 参考 | |
| 482 | 施設整備にあたっては、日本の文化を世界に発信するとともに、世界一流のエンターテインメントを楽しめるようにしてもらいたい | 参考 | |
| 483 | 日本の伝統文化の歌舞伎や、若者や子供でも楽しめるようなアレンジした歌舞伎など、日本人を含めていろんな人が、楽しめるようなエンターテインメントを期待している。 | 参考 | |
| 484 | 立地的に極東の片隅で、余程のインパクトがある売りを、創出する必要がある。歌舞伎、能、人形浄瑠璃や、踊り、獅子舞などの日本各地の古典芸能、が常演され、いつでも、鑑賞できるようにする必要がある。 | 参考 | |
| 485 | 横浜らしさでインバウンドにアピールするのであれば、錦絵や浮世絵のアートミュージアムをつくったらと思います。浮世絵は、ゴッホなど、印象派の画家たちに影響を与え、欧米の人たちにも関心が高いと思います。ARやVRを駆使して、これまでにないミュージアムをつくって、絵の題材になった場所に観光客を送り出してみるのはいかがでしょうか。 | 参考 | |
| 486 | IR良いと思います。最高の芸術に触れる機会が増えると良いと思います。 | 参考 | |
| 487 | 魅力増進施設：新しい工夫がなく魅力にかける。 | 参考 | |
| 488 | 時代錯誤も甚だしい、横浜の恥だ。カジノなんて絶対反対！カジノの用地と設営財源を世界に向けた日本の窓口に相応しい下記を提案します。世界各地より来訪の観光客は基より、一般の市民も楽しめる、そして豊かな事業にもなる。日本民芸ホール、日本民芸会館、日本全国の文化芸術、民芸、特産品を紹介、展示、購入できる。グルメが味わえる最上階から各フロアを各地域（県、市町村）に割振り、北は北海道から沖縄まで、各地のアイデアで地域の情景を紹介、特産物、民芸品の実演、紹介と販売。最上階から各階巡りで日本列島を縦断し各地の文化を知る事ができる。更に屋上には日本庭園を造園して日本の四季を楽しむ。 | 参考 | |
| 489 | IRを誘致するには、これまで世界的にノウハウを十分に持っている事業者を選ぶ必要があります。ラスベガス、マカオ、シンガポールなどといった成功例のノウハウと、日本のエンターテインメント、伝統、文化と融合させることが成功に導くポイントだと思います。 | 参考 | |
| 490 | 今後、エンターテインメント、アニメなどのサブカルチャーといったソフトの力を発揮すべきです。映画、演劇の舞台、音楽のコンサートなどを展開し、世界に通用する日本のソフト産業を結集できる空間を創出し、豪華クルーズ船が寄港し、羽田空港から世界の観光客が訪れる日を待ち望む次第です。それだけ、日本には中国や東南アジアをはじめ、米国、欧州、イスラム諸国から見て魅力ある素材がたくさんあり、それをうまく活用し、披露する場として近代日本の曙を担った横浜が最適の地のひとつであることを信じています。 | 参考 | |
| 491 | 統合型リゾートの案の中の具体例として、アニメの部分が手薄になっています。もっとアニメを前面に押し出していった方がいいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 492 | I Rが出来ることにより、財源確保を目指し、その財源を市政に生かすとの事で私は横浜にI Rが出来ることは賛成しております。世界最大のアニメイトの設立日本の文化としてアニメ産業があります。日本のアニメは今では世界にも影響する素晴らしい文化です。アニメはもっと日本が誇るべき文化です。 | 参考 | 日本型I Rでは、我が国の伝統、文化、芸術、最先端技術、四季折々の自然等の様々な魅力を最高水準の公演・展示等を通じて、かつてないクオリティで発信することにより、我が国の観光の魅力の増進に資する施設を設置する必要があります。劇場や演芸場、競技場、博物館などの施設で、古き良き伝統と最先端技術を融合させて魅力的に発信することが求められています。 横浜I Rでは、これらの施設を通じて、横浜や日本のことを知ってもらい、ファンになっていただき、横浜が日本観光のデスティネーション(目的地)となることを目指しています。<方向性P.35、36> 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 493 | 35頁の魅力増進施設に載せられた例は「外国人から一方的に思われている日本の魅力」と思われるので、「日本人が思う日本の魅力」の発信を心がけてください。 | 参考 | |
| 494 | 私は賛成します。カジノだけでなく日本独特の文化を味わっていただく！カジノ隣接エリアにパチンコとパチスロがあって良いかと思えます。外国人にとって日本独特の経験(文化)を味わっていただく。 | 参考 | |
| 495 | I Rでは日本の魅力再発見などということが書かれているが、貸し小屋的な劇場では何も発信することが出来ない。I Rの主体がどれだけ責任をもって文化を発信できるのか？運営主体任せであり非常にいい加減なことが書かれている。 | 参考 | |
| 496 | 『魅力増進施設』訪日外国人の方々が日本に寄せる期待として、欧米豪の方々は、文化・歴史や自然に関心を示している一方、ショッピングには関心が薄い。別の側面から見れば、期待していなかったけれど、その場で気をひく商品があればそれを楽しんでもらえるかも知れないという可能性があるとも言えます。テクノロジーや先進的なデザインの観点で、ものづくりやデザインが生まれやすい土台をつくって欲しいと思います。また、訪日外国人の方々向けに既存の伝統・文化・芸術を、今の時代ならではの手法も取り入れながらブラッシュアップし、市民にもその魅力を再発見してもらえるような可能性も加味しながら戦略を練っていただければ嬉しいです。 | 参考 | |
| 497 | 横浜I Rに、博物館や美術館、競技場ができてほしい。都内に行かないと観れないようなもの、なかなか日本に招けなかったものをどんどん呼び込めるようになると、文化や芸術、スポーツに触れる機会が増えてうれしい。 | 参考 | |
| 498 | 横浜I Rに賛成です。方向性のうち、魅力増進施設については、国内で友好都市関係にあるような都市の魅力をとくに発信できるとよいと思います。 | 参考 | |
| 499 | I R内施設種類、バレー・オペラの愛好者数は限られているし、公演団体数も少なく、公演回数は少ないだろう。海外からの来訪者を期待した施設であるならば、'日本文化'を売り物にした施設が良い。例えば、世界に類例のない縄文文化の紹介博物館や、展示場所が狭く所有物展示が出来ていない「国立博物館分館」の如きものは如何であろう。無論、日舞、能・狂言、歌舞伎が同時に鑑賞できるように。 | 参考 | |
| 500 | レストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設、多彩なホテル群、MICE、送客施設の充実は、日本、横浜にとって、良い事だと思う。魅力増進施設は、とても慎重に内容を決めないと、見世物小屋的になり、本来の文化、芸術の魅力が、海外に間違えて発信される可能性がある。 | 参考 | |
| 501 | 横浜I R賛成です。とくに日本食でミシュランの星を取るお店があると、国内外からの人気も高まると思います。 | 参考 | |
| 502 | 国際会議で世界から極東アジアに来る要人たちは、夜に日本庭園や夜景クルーズ、歌舞伎などの日本芸能体験の方がニーズに合っているのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 503 | 「和」体験の打ち出し三溪園のような和体験のできる施設と連携するか、I R内に「和」体験のできる施設を新たに作ることで、外国人の交流人口を増やします。 | 参考 | |
| 504 | 魅力増進施設(P35-36)この施設の方向性が全く見えない。「我が国の魅力的な、伝統、文化、芸術、技術、暮らし等を、観て、聴いて、触れて、食べて、体験して、感じて、もっと、日本のことを知って、ファンになって頂くための施設で、我が国の観光の魅力の増進に資する施設」としています。横浜のI Rのエリアでの方向性が不明です。「展示場付き観光案内所」と言う方向でしょうか？書画・祭り・工芸はミュージアムでも作るのかな？演劇は能楽堂でも作る？和のおもてなしは、茶室でも作る？しかし、これで横浜に行こうとはとても思わない。『検討調査(その4)報告』では『具体的なコンテンツ内容や発信手法は、都道府県等や民間事業者に委ねる。』とある。丸投げの典型で、このI Rの目的・目標に立ちかえり、横浜ならではの特徴となるべき方向性を示す必要がある。現状では実現性を疑わざるを得ない。海外事業者の記事も読んだが、このような施設にはいずれも魅力発信というだけで当然ながら全く触れていない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 505 | IRを推進していくために、VRを取り入れてはいかがでしょうか？！VRがあれば、横浜の空を飛び回ったり、東京湾の海中散歩をしたりと、奇想天外なことができるのです！横浜に世界一のVRシアターを！「IR×VR」で、ドカンと世界を驚かしてやりましょう！ここ横浜から！ | 参考 | <p>日本型IRでは、我が国の伝統、文化、芸術、最先端技術、四季折々の自然等の様々な魅力を最高水準の公演・展示等を通じて、かつてないクオリティで発信することにより、我が国の観光の魅力の増進に資する施設を設置する必要があります。劇場や演芸場、競技場、博物館などの施設で、古き良き伝統と最先端技術を融合させて魅力的に発信することが求められています。</p> <p>横浜IRでは、これらの施設を通じて、横浜や日本のことを知ってもらい、ファンになっていただき、横浜が日本観光のデスティネーション（目的地）となることを目指しています。＜方向性P.35、36＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 506 | 具体性を欠く魅力増進施設P35に示された魅力増進施設については、浮世絵、能などもともと横浜にない、伝統文化施設を設置しようとしても、それに関わる人材は横浜にほとんどいない。文化財なども横浜にあるものは少なく、真葛焼にしても伝統継承者はおらず、展示施設もすでに存在している。横浜市が何を求めようとしているのか、具体的に示すべきである。 | 参考 | |
| 507 | 魅力増進施設について日本の伝統的な芸能、建築、サービスを上辺だけではなく日本人も「いつか行ってみたい」と思わせるレベルで実現させて欲しい。くれぐれもラスベガスやマカオ等の「焼き直し」ではなく、世界でも横浜にしかないIRとしなくてはならないと思う。逆に、国内の伝統芸能団体からは「いつか横浜のIRで演じてみたい」と思わせるような場所に育ててほしい。 | 参考 | |
| 508 | 素案の「世界最高水準のIRを実現」に対し「そんなにうまくいくわけないだろう」という印象しか持ち得ません。例えば「魅力増進施設」ですが、そもそも日本の伝統文化や芸術等が、あの巨大なリゾートを維持・運営してゆくの大きく寄与出来るほど諸外国の人々に関心を持たれているとはとても思えません。ましてや「エンターテインメント」は我が国が決して得意とはいえない分野であり、その分野で「国際的に最高水準」などと書かれていると、もう誇大妄想なのではないかと疑いたくなるほどです。 | 参考 | |
| 509 | 横浜からどんな日本文化芸術が発信されるのか、わくわくします。 | 参考 | |
| 510 | 日本人も日本の魅力に気付いていないかもしれない。魅力増進施設は、日本人も楽しめるものにしてほしい。日本中のおいしい和食を集めるのもいいかも。IRに賛成。 | 参考 | |
| 511 | 横浜IRに非常に期待を寄せている。基本コンセプトにあるように、最先端のテクノロジーなどでワクワクする世界観を演出し、イノベーションをもたらしてほしい。「世界中の人々が日本に行くなら横浜へ」と思われるくらいのスケールでIRが立地することで、横浜が日本の中心になってほしい。様々な施設が立地し、その全てに期待しているが、送客施設に期待している。なぜなら横浜だけでなく神奈川県内の観光名所へ多くの人を送り出し、経済活性化に寄与してほしいからだ。 | 参考 | |
| 512 | 日本の世界の窓口となるように早い完成が望まれる。 | 参考 | |
| 513 | IR早くつくって。富士山の前に丹沢・大山への送客も力を入れてください | 参考 | |
| 514 | IR賛成。ゲートウェイと同じくらい、出口としての集客にも力を入れてください。 | 参考 | |
| 515 | IR賛成。鎌倉周遊プランを毎日提供してください。 | 参考 | |
| 516 | IR賛成です。他の観光地と連携して、ぜひとも横浜に立ち寄るようにしてください。 | 参考 | |
| 517 | 単なる海外の物まねではなく日本らしい横浜らしいリゾートを整備してほしい。富嶽三十六景の描かれた都市と横浜を結ぶ富士山をテーマにした送客施設をつくってほしい | 参考 | |
| 518 | IR早くつくってください。国内3か所のIRで連携して、観光客をまわす仕組みをつくってください | 参考 | |
| 519 | 「日本型IR」導入について考えるべき最大問題が、検討不足である。一極集中の首都東京に近接する横浜市。その関係・影響の分析なくして次代は語れない。国のいう「日本型IR」を導入してはいけない！県内各自治体と観光のゴールデンルート化を目指す協議を主導し、山下埠頭をその発信基地化しノンゲームIRを考え活用するのだ。江戸があつての横浜みなどの発展はあった。その地勢の必然性を、よく考えていただきたい。50年、100年後の世代に恥ずかしくない我が市、横浜を作ろうではないか。 | 参考 | |
| 520 | 日本の観光にとっても羽田空港と横浜港から来日する外国人観光客にとって、鎌倉、東京、富士山など代表的な観光地へのアクセスがいい点も強調できます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 521 | 海の玄関口としての役割については期待できそうです。しかし、現状の規模で対応するのは難しいのではないかと思います。港の整備は必要でしょう。横浜から長距離バスで地方へとなるとバスターミナルの充実が課題となるでしょう。横浜駅のバスターミナルは使い勝手が悪いです。 | 参考 | 横浜が日本のゲートウェイ（玄関口）となり、日本の旅のデスティネーション（目的地）となるため、横浜IRの来訪客に、横浜でゆっくりと滞在していただき、日本各地の観光の魅力を様々な手法、言語で紹介・発信するとともに、日本国内の観光地へ最適な交通手段でスムーズに送客する施設を設置します。＜方向性P.37＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 522 | 横浜の観光地としての価値が、そもそもカジノと繋がりません。横浜を宿泊拠点として考えるなら近隣観光地へ、そして観光地間の直通の交通手段整備が必要ではないでしょうか。何れにしてもカジノ等ギャンブルの導入は理解できないので取り下げてください。 | 参考 | |
| 523 | 鎌倉や箱根などの県内の観光地と連携するプランも作ったりすれば、神奈川県の後押しも強くなり、より賛同者が増えると思う。 | 参考 | |
| 524 | 横浜IRの誘致に賛成です！船が行き来できる利点を生かして、浅草、お台場や日の出桟橋、幕張、木更津、湘南、小田原、熱海なども航路を結んではどうでしょうか。近隣からの観光客もぐんと増えると思います。 | 参考 | |
| 525 | 無理に行きたくなくなる街ヨコハマを目指すのではなく、現状を受け入れ世界の玄関口として帰りたくなくなる街ヨコハマを目指したIR計画を望みます。玄関口であるのならば、行きたくなくなる街は他の歴史ある観光地に任せても良く、逆に横浜の落ち着いた雰囲気や一杯飲んで帰りたくなくなるバーの文化を継承して、観光に疲れた観光客が帰国前に一泊帰りたくなくなる街を目指せば、現在の市民にとっても受け入れやすいのではないかと思います。 | 参考 | |
| 526 | 横浜IRに賛成。国内各地の観光地とも連携して、観光客の送り出しや受け入れ、魅力紹介の協力を高めていけるといいと思います。 | 参考 | |
| 527 | 国内各地の観光地やその自治体と、もっと連携していくといいと思います。相互に観光客を送り受け入れあったり、魅力を紹介し合う仕組みがあると、横浜IRによって国内の各地も潤えて、より、横浜IRへの支持が集まると思います。 | 参考 | |
| 528 | 「横浜は日本のゲートウェイ（玄関口）であり・・・」に記載がありますが、横浜港から入国される方はそうですが、それは、日本に入国される方の何パーセントなのでしょう。 | 参考 | |
| 529 | 市内での外国人宿泊者数を増やしたいのであれば、神奈川県内の他の観光地（箱根、三浦、湘南、足柄等）と連携して、各々の地域特性を活かした滞在型観光の可能性を模索することも一案だろう。そうすることで、横浜市だけでなく神奈川県全域の観光の活性化に繋がる。また、横浜は東京都に近接しているから、魅力的な日帰り観光プランを作り、積極的に誘引を図ることも一案である。 | 参考 | |
| 530 | 「国内ゴールデンルートに対して優位性を確保する」というIR（目標（P17））を実現する方向性が示されていない。目玉は何か！ | 参考 | |
| 531 | 送客施設について、38、41頁に記載されている「送客施設」について、周辺地区の民間交通事業者とIR事業者の情報連携を行う主体や、多様な周遊ルート・ツアーを企画・構築のために全国各地の観光協会、DMO等と連携を行う主体として、行政・IR事業者のみならず、横断的に統制する第三者機関（行政、民間連携）の組織が必要と考えます。 | 参考 | |
| 532 | カジノだけではなく、周辺にホテルや商業施設が多数建設されることで、雇用の拡大は見込まれると思います。外国人観光客の増加も見込まれていますが、日本へ観光する目的として、カジノが挙げられるのかは疑問に感じます。観光の目的として多いのは、日本食を食べることやショッピング、街歩きや自然や景勝地の観光、京都等での文化遺産の鑑賞が挙げられます。横浜の歴史と文化が守られ、それが魅力となり全国や海外の方を誘致出来るようなIRを期待します。 | 参考 | |
| 533 | IR整備法でのIR施設要件の一つに送客施設があるので、横浜の立地は適していると思う。（空港に近い、船舶の滞在ができる、電車、バスの路線が多い。）横浜を中心に日本全体の観光活性化が期待できる。 | 参考 | |
| 534 | 横浜に観光に来たついでに他の名所も訪れられるような工夫をお願いしたいです。 | 参考 | |
| 535 | 方向性1の送客施設について、横浜市民も国内旅行にスムーズに行けるような魅力的な施設をつくって欲しい。IRに賛成する | 修正 | 国内外からの来訪客や市民に対して、横浜や日本各地の観光の魅力を紹介、発信し、日本国内への送客をスムーズに行うこととし、方向性1「世界最高水準のIRを実現」を一部修正しました。＜方向性P.38＞ |
| 536 | 市民もIRの送客施設で国内の観光地まで、ストレス無く手続き、旅行ができるようにしてください | 修正 | |
| 537 | IR賛成です。送客施設のところに、東日本をはじめとした日本各地の観光名所にインバウンドを送り出すとありますが、市内の郊外の観光地や緑豊かな里山や農地などにも送客できるような仕組みを考えてください。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 538 | 横浜！R誘致、賛成です！！横浜と全国を繋ぎ、観光客だけでなく市民も地方と交流できる！Rを起点にした仕組みを作って欲しいです。国策なので、国や市が！R事業者任せにせず良い！R作りを先導してください。 | 修正 | 国内外からの来訪客や市民に対して、横浜や日本各地の観光の魅力を紹介、発信し、日本国内への送客をスムーズに行うこととし、方向性1「世界最高水準の！Rを実現」を一部修正しました。＜方向性P.38＞ |
| 539 | ！Rの実現に賛同します。横浜市活性化に資するような取組を期待しています。また、横浜市のみならず近隣市町村への観光事業に波及するような施策も併せてお願いします。 | 修正 | |
| 540 | オーバーツーリズムにならないよう周辺環境整備も同時に行ってほしい | 修正 | |
| 541 | ！Rは賛成です。ただし、京都のように観光公害にならないような方法を一緒に考えてください。 | 修正 | |
| 542 | ！R誘致により、日本、横浜の経済が潤うので賛成です。課題としては、多くの訪日客のため、周辺が混んでしまう。その対応策を考え、周辺住民が困らないようにしてほしい。 | 修正 | |
| 543 | 横浜で統合型リゾート地作ることによって観光客、人が増えることは経済的には良いことだと思えます。ただ便利になるということはごみも増えることが問題です。ごみのポイ捨て歩きタバコが増えてきたない町にならないよう対策、ルールを作ってキレイな町にすることが横浜の活性化にもつながると思います。 | 修正 | |
| 544 | 観光客で京都のようになってほしくない。 | 修正 | |
| 545 | 新型コロナウイルス感染問題を受けて、過度で過剰な人間の集中は避けたほうがよいことがはっきりした。すでに観光公害（オーバーツーリズム）という問題も発生している。 | 修正 | |
| 546 | カジノ目的の観光客は不要。現在でさえも海外の観光客が多過ぎて日本の観光地に日本人が行くのをためらったり宿泊料金の高騰や、予約がとれない等、すでに問題が出てきている。 | 修正 | |
| 547 | ！Rなど観光客誘致に力を入れていることは理解できますが、その一方で市民の暮らしに影響が出ていることを自覚しているのでしょうか？動物園の混雑で市バスは混雑し定時性が悪化、公園の周囲で違法駐車が目立つことが多いです。鎌倉や京都、スペイン・バルセロナやイタリア・ヴェネチアでどの様な状況になっているかご存知でしょうか？これらの都市と同じようになってしまわないかと不安です。 | 修正 | |
| 548 | 大規模集客施設に対応できる道路、歩行者通路、公共交通を整備し、渋滞やオーバーツーリズムへの対策を万全にしていきたい。 | 修正 | |
| 549 | 57頁でカジノに起因する懸念事項を挙げるが、カジノだけでなく巨大観光業を設置することに対する悪影響の分析も載せてください。 | 修正 | |
| 550 | 17頁にて訪日外国人客がもたらす観光公害が端的に示された「ニセコ」の問題（英語が実質的な公用語となり物価が急騰）に対する横浜市の見解を載せてください。平成31年4月の調査報告書の163頁でも事業者より外国人増加に伴う言語等の問題が挙げられており、横浜市としての対策が講じられているとは見受けられません。 | 修正 | |
| 551 | 人が増える事により、治安の問題、ゴミの問題に対しての施策をお願いします。 | 修正 | |
| 552 | 訪問者2000万人～4000万人との素案で、これを期待しているのかどうかわからないが、西区や中区ではホテルの建設ラッシュである。現在の部屋数では不足するとみているからだろう。観光客も当該地域の部屋数も含めて過大になればオーバーツーリズムになる。この辺りはどう対応するつもりが具体的に説明してもらいたい。問題が起こる前に対応策を講じるなどすべきだ。観光客日本人が69%から79%で内、何パーセントで何人位をがカジノ利用者として見積もりしているのか。カジノができれば貸金業者が立ち並び町の暮らしががらりと変わる。貸金業の開業とか規制はできるのか、その対策は具体的に説明すべき。 | 修正 | |
| 553 | 現在の横浜市内は、すでに人口過剰でこれ以上の人があると周辺地域はオーバーツーリズムになるのでその辺りの今後の開発・整備はどうするのかを明示すべき。（周辺の増収にはつながらないことになる） | 修正 | |
| 554 | 市民の日々の生活に支障をきたすほどの観光客を呼び込むべきではありません。調和のとれた街づくりには、バランスが必要と感じます。 | 修正 | |
| 555 | 治安・依存症・オーバーツーリズムなどの対策を取り、横浜の活性化に繋げてほしい。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 556 | 横浜でもMM21地区に近未来都市エリアを考えてはいかがでしょうか。横浜ではすでに日産とDeNAが車関係で発信しています。5Gを含めさらに未来都市イメージをアピールしてはいかがでしょうか。水陸両用バスの拡充構想：現在桜木町の湾内で運行している水陸両用バスを山下公園を含め拡充してはいかがでしょうか。海から見る桜木町関内地区を含め、マリントワー、港の見える丘公園地区、中華街地区、石川町商店街、三渓園などなど、陸上の観光を含めた観光は楽しいと思います。VRやAR、ビーコンを活用した近代都市型info都市構想：各地の観光地ではボランティアなどで近場の観光スポットの案内をしています、この方々がいないときでも気軽に観光見物ができる近代情報網があると、いつでも・どこでも・誰でも楽しい観光ができるようになります。ボランティア観光案内の方々も人数に限界があるので横浜の様に広いエリアで観光スポットが多いところではできる限りの技術活用が必要です。具体的には、各観光スポットにAR情報読み取りQRコードを設置し、スマホで読み取ると観光案内が聞けたり、ビーコン設置により行きたい場所への情報がわかるなど、活用方法はあります。 | 修正 | 横浜都心臨海部の観光資源の例示表現を追加することとし、方向性1「世界最高水準のIRを実現」を一部修正しました。＜方向性 P.39＞ |
| 557 | IR賛成いたします。P39ナイトタイムエコノミーの強化とありますが、IR区域内だけだと経済波及効果が広がりにません。ぜひとも中華街の閉店時間が延びるなど周辺の努力も促してください。 | 修正 | |
| 558 | 横浜IRの方向性には大賛成。世界中の人々が来てみたいと思う街を目指したい。人が集うから街は賑わう。何も無い街には誰も来ない。現状の横浜はその逆の方向に進んでいることに危機感を覚えています。日本初の新しいチャレンジはやっぱり横浜から始めてほしい。そのチャレンジを支援し称賛する市民であり続けたい。そのために土地用途や地区の特色をより明確にしたり、特区を設けるなど市の努力と、それを尊重し積極的に活用する市民や企業側の自覚と努力も必要と考えます。中華街、野毛地区、みなとみらい地区、山下ふ頭地区など特徴あふれる地区がますます増え、それぞれの地区に適した運用を行っていくことで地区の特徴の保全と集客を目指すべきと考えます。安心安全や利便性だけを優先したチェーン店だらけの街ではなく、世界でも類を見ない多彩な文化があふれる街、世界に大きく門戸を開いた街、そんな横浜を子供たちに残したい。ぜひIRは横浜で実現すべきと考えています。 | 修正 | |
| 559 | 今後大幅な人口減少が見込まれる中、統合型リゾートの整備を前提とした観光関連産業の活性化は、横浜の経済活力の減退を抑制するうえで、大変に期待の持てる方策の一つであると考えます。これからの横浜の命運を握るプロジェクトといっても過言ではないと考えており、ぜひともしっかりと進めていただきたいと思えます。市内の各拠点へのアクセスも意識する必要があるように思います。みなとみらい周辺エリアだけでなく、市内には八景島やズーラシアなど、磨けばインバウンド向け集客も期待できそうな観光資源が存在します。「日本を感じたい」という外国からのお客様には、既存の市街地がそのまま観光資源に見えなくてもいいかもしれません。そのような市内各所に観光客を誘う方策に関する検討も重要ではないかと思えます。なお、市内各所からのアクセス利便性を高めることは、IRで働く人々の通勤の利便性を向上させることにもつながるように思います。 | 修正 | |
| 560 | 横浜IRに賛成です。IR事業者の一人勝ちではなく、元町商店街や中華街など地域も賑わうようになればいいと思います。 | 修正 | |
| 561 | 横浜IRができてほしいです。みなとみらいや赤レンガへのお客さんが減って横浜IRに吸収されるのは淋しいです。みなとみらいなどの既存の観光地なども賑わうようになってほしいです。 | 修正 | |
| 562 | 賛成。横浜IRができると、地域への観光客も増えるだろう。元町商店街や中華街、馬車道、野毛などはとくに人気も出ると思う。これから増える観光客を受け入れられるように、今から工夫を施していくといいのではないかと。 | 修正 | |
| 563 | IR誘致に賛成です。関内、みなとみらい地域の活性化には必要な事と考えます。人がみなとみらいだけに集中するのではなく関内・伊勢佐木町まで人が流れる仕組みや施策を期待致します。 | 修正 | |
| 564 | 元町・中華街・山下町・馬車道・伊勢佐木町・野毛等の既存の商店街、その他店舗、住民との共存共栄について、具体的な施策を持っていただくことを希望致します。 | 修正 | |
| 565 | 横浜IR誘致、大賛成です。IR施設でお客様を囲いこまず中華街や周辺の飲食店に是非お客様を循環させる仕組みを作ってください。IR事業者だけでは心配なので行政としてその点のサポートを是非お願いします。 | 修正 | |
| 566 | IR誘致で、横浜に世界トップクラスのホテルを作ってください。ヨコハマのシンボルとなるようなホテルがいいです。そして、世界中、日本中から横浜を訪れてもらい、横浜を日本一にぎやかな都市にしてください。 | 参考 | 横浜IRは、世界中から訪れる、富裕層、ビジネス客、ファミリー層など、あらゆる来訪客のニーズに対応できる施設、サービスを備えた宿泊施設の整備を目指しています。＜方向性 P.42＞ |
| 567 | IR楽しみです。宿泊施設は、ホテルだけではなく、純和風の旅館もあれば、魅力も高まります。 | 参考 | 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 568 | 1R楽しみです。せっかく5つ星ホテルができて、1泊10万円と言われてしまうと手が届きません。カジノの収益を活用して、5つ星に格安で泊まれるようにしてください | 参考 | 横浜1Rは、世界中から訪れる、富裕層、ビジネス客、ファミリー層など、あらゆる来訪客のニーズに対応できる施設、サービスを備えた宿泊施設の整備を目指しています。＜方向性P.42＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。 |
| 569 | 横浜には、ラグジュアリークラスのホテルが少なすぎるため、富裕層は、横浜に立ち寄っても夜には都内に帰ってしまう。訪問者数よりも質に重視したホテルや施設の誘致が必要である。 | 参考 | |
| 570 | カジノの利益が活用されると、グレードの高いホテルばかりになってしまわないか心配。若い家族連れも安く泊まれ、しかもスタイリッシュなホテルができれば、国内の観光客にも人気が出るのではないかと思う。 | 参考 | |
| 571 | 1R賛成です。大規模な展示会の日は、1R内のホテルに参加者全員泊まらないのでは？周辺にホテルを誘致してください。 | 参考 | |
| 572 | 1R賛成です。親戚一同が横浜に集まることが定期的にあるので、ホテルができるのは歓迎ですが、高級ホテルだと手が届きません。気軽に泊まれるホテルも検討をお願いします。 | 参考 | |
| 573 | 43頁で宿泊施設の要件を挙げるが、1%の富裕層を対象としたものではなく99%の一般層を対象としたものである方が安定的な経営ができると考えられるが、これに対する横浜市の見解を載せてください。 | 参考 | |
| 574 | 43頁の宿泊施設の要件として、5つ星ホテルや最高級ブランドや世界の富裕層の満足をあげるが、景気変動に左右される観光は富裕層のみを的とするのは危険が大きいと考えられるが、横浜市の見解を載せてください。 | 参考 | |
| 575 | 外国人客は来日して欲しいと考えます。もちろんそのための受け入れ施設の充実を要望致します。 | 参考 | |
| 576 | P332宿泊施設の欄に「全ての床面積の合計が10万㎡以上」とありますが、1R整備法施行令では「全ての『客室の』床面積の合計がおおむね10万㎡以上」とあり、これに不足してしまうのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 577 | 観光客をいかに横浜に宿泊させるかが大事です。 | 参考 | |
| 578 | 国際競争力のある広さ、設備、サービスなどの規模、クオリティや5つ星ホテルなど、世界水準のホテルが横浜市にできることを非常に嬉しく思います。そのような、従前横浜市になかったものができることによってより一層の横浜市の価値や魅了が向上することに期待しています。商業施設やホテル、その他魅力的な施設が一体的に整備されることで横浜市の宿泊者数や宿泊日数が増えることに期待しています。宿泊者数の増加、滞在の長期化が実現されることで、観光消費額が増大し、より一層の横浜市の活性化や財政改善が達成されるのではないかと考えております。既存のホテルや今後開発が見込まれるホテルとの関係性を勘案し、1R内へのホテルは必要最小限でお願いしたいと考えております。横浜市にはすでに多くのホテルがあるため、そちらを考慮していただきたいです。 | 参考 | |
| 579 | 宿泊施設（P42-43）『検討調査（4）報告』によると、客室数は2700～5000室が事業者から提示されているとあります。これに対して本（素案）で具体的な指標・方向性が無く、「世界高水準の宿泊施設」「あらゆる来訪者の宿泊ニーズにこたえられる施設」「最高級ブランドを含む宿泊施設」といったお題目（要件）を並べている。「良いものを作ってね」と言っているにすぎず、横浜に1Rを設ける目的・目標を実現するという観点からの、要件のどの部分に、どの程度の比率を割くべきかという方向性の提示が無い。何を指すかという指標をベースに、要件の重みづけが必須だと思います。 | 参考 | |
| 580 | 国からの指定で、ホテルの過剰供給が予想されるが時代にそぐわないのではないか | 参考 | |
| 581 | ホテル等の宿泊施設…東京都心部での収容規模、「みなとみらい地区」での明らかになっている建設計画を含めた収容規模との比較での計画妥当性の検討が必要と考えるが、その検討の上での「計画素案」かが不明確であり妥当性を検討出来ない。更なる開示を求める。 | 参考 | |
| 582 | 横浜1Rに賛成です。娯楽、エンターテインメントの殿堂ができれば通いたいと思います。 | 参考 | 横浜1Rは、国際競争力と高いクオリティを持ち、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、横浜市民でも幅広い人々が楽しみ、国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与するエンターテインメント施設等の整備を目指しています。＜方向性P.44＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。 |
| 583 | 三ツ星レストランやミュージカルやシルクドゥソレイユのような世界最高峰のエンターテインメントが日常的に楽しめるような施設は日本にも必要と思います。 | 参考 | |
| 584 | 五ツ星レストランやブロード・ウェイの有名なショーが楽しめるようになったら良いと思います。楽しみです。中途半端なものではなく、世界に誇れる様な、施設建物にしてもらいたいと思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 585 | 観光都市横浜を目指す原点として開港を通して日本文化の最大イベントを体験・紹介し得るステージを創り上げ、海外の人々を感動させる。商工会議所以外の地域企業も一体となって、投資やアイデア等を集積する組織体をつくり、10年～20年の具体的スケジュールを創り上げる。 | 参考 | 横浜IRは、国際競争力と高いクオリティを持ち、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、横浜市民でも幅広い人々が楽しみ、国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与するエンターテインメント施設等の整備を目指しています。＜方向性P.44＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 586 | 代わりに古くなり建て替えられる、文化体育施設の中核となる文化体育施設（芸術を含む）を建てるのが良いと考えます。そこでは体育館、オリンピックプール、武道館、球技場を中心とする他、能や歌舞伎の舞台や、図書室を設けます。詳細は以下の通り（※体育館：バスケットボールや、バレーボールの国際試合ができる様なスタジアム・コート。体育施設を持たない学校の使用する体育室 ※武道館：剣道、柔道、空手道、薙刀、弓道（近的・遠的）道場。 ※芸術：茶道、華道、書道、落語等を行う多目的室 能・歌舞伎・狂言等を行う舞台 ※球技場：サッカー・野球は除く。ラグビー・アメリカンフットボール、トラックも設け、体育館同様、設備を持たない学校や一般に解放します。） | 参考 | |
| 587 | 横浜の街には大人の娯楽施設が少ない為横浜へは宿泊をせず、多種多様の娯楽施設のある東京へ行ってしまう。これからは横浜のインナーハーバーの中にエンターテインメントやスポーツ及び音楽等の大人が楽しめる選択肢が多様にある街にしなければ横浜の発展は無くなるだろう。 | 参考 | |
| 588 | IR賛成。人工スキー場を作ってください。 | 参考 | |
| 589 | IR賛成いたします。全国各地のレストランが入る一角をつくってください。横浜だけで、日本全国の名店に入れると良いです。 | 参考 | |
| 590 | IRに賛成します。方向性2の都心臨海部との融合について、横浜スタジアムや、新しくできるスポーツ施設「横浜ユナイテッドアリーナ」とのコラボなど、関内をスポーツの街として欲しい。 | 参考 | |
| 591 | 富裕層層向けの高級医療施設を一語に作ったら、世界中から人が来ます。横浜市民も利用できます。よろしく願います。がんばってください。 | 参考 | |
| 592 | IR楽しみにしています！「日本の美」をテーマにした、美容、食物（和菓子）（日本食も）、自然（四季の美しさ）、道具（工芸）、映像（アニメも含む）、絵画などのミュージアムや、レストラン、ショッピングモールがあると、外国の女性の方は、行きたいと思うのでは、…男性もついてきますヨ！！ | 参考 | |
| 593 | 「IR賛成！」将来の発展のためヨコハマにIRを造ってください。USJが出来たら嬉しい！ | 参考 | |
| 594 | IRに賛成です。USJを誘致して下さい。 | 参考 | |
| 595 | IRに賛成。次世代の福祉の財源の為、子供と一緒に楽しめる施設として横浜にUSJの誘致して下さい。 | 参考 | |
| 596 | スミソニアンとか大英博物館のような、施設を見たい。 | 参考 | |
| 597 | スポーツエンターテインメントの殿堂を目指し、その名にふさわしい、最先端の技術を駆使した、施設を作ってください。 | 参考 | |
| 598 | 世界トップクラスのアーティストの招へいを、お願いします。それがかなう、事業者を選んでください。 | 参考 | |
| 599 | 世界最高水準のエンターテインメントを横浜で見ることができるのが楽しみです。IRを成功させてください… | 参考 | |
| 600 | IR賛成。温泉が必要です。絶対掘ってください。 | 参考 | |
| 601 | IR賛成いたします。ショッピングモールは世界に誇れるようなものにしてください。どこにでもあるようなものだ、世界から人は来ないです。 | 参考 | |
| 602 | レストランやショッピングなど何度でも行きたくなるIRにしてほしい。 | 参考 | |
| 603 | 施設（エンタテインメント系）としては劇場、オペラハウス、コンサートホール（大、中、小）、ボールルーム、ダンスホールをお願いしたい。 | 参考 | |
| 604 | スポーツや、イベントが出来る、施設が、出来れば、と思います。ビーチバレー、ビーチハンド、タグラグビー、トライアスロン、ゴーカート、自動車レース、砂浜（親水性ある）も欲しい。メキシコのカンクンのような白い砂があれば更にベターですね。 | 参考 | |
| 605 | カジノ以外のショッピングやアミューズメント施設が充実することは市としても魅力になると思うので、横浜でIRを実現というのは良いことだと考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 606 | 釣り場を作ってください。横浜の市民も楽しめる、公園、スポーツ広場、海岸（砂浜）等希望。横浜でIRを成功させるために世界的なイベント（フォーミュラーEやポートレースなど）を誘致するのも良いと考えます。 | 参考 | 横浜IRは、国際競争力と高いクオリティを持ち、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、横浜市民でも幅広い人々が楽しみ、国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与するエンターテインメント施設等の整備を目指しています。＜方向性P.44＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 607 | これまでにない豪華なホテル、エンターテインメント施設を有するIRで、インバウンドのみならず、市民の生活にも潤いがうまれる。 | 参考 | |
| 608 | ラスベガスのシルクドソレイユのような、街の代名詞になるようなエンターテインメントショーがあると良いと思います。また、そのショーの中で日本らしさを世界に伝えられることを期待します。 | 参考 | |
| 609 | 賛成 家族で遊びに行ける新しいエンタメ施設を作してほしい | 参考 | |
| 610 | IRに賛成です。カジノだけでなくラスベガスの様にエンターテインメントであれば楽しい場所になると思う。そこで働いてみたい！！と若い人は憧れると思う。 | 参考 | |
| 611 | これからの日本の情報発進基地として、最新のトレンドが体験できる場所となしてほしい。 | 参考 | |
| 612 | 総合リゾートについて。反対するわけではありませんが、娯楽＝遊園地やカジノというのは面白味に欠けすぎです。東京ディズニーランドにも大阪ユニバーサルにもハウステンボスにもドイツ村にもないものを作る 子どもと大人が安心してあそべる場 | 参考 | |
| 613 | エンタメが今後どうなるのかこれまでみたいにライブを楽しめるように戻してほしい | 参考 | |
| 614 | IR＝カジノと思われると思いますが、カジノ以外のエンターテインメントやホテルなどに、大変期待しています。 | 参考 | |
| 615 | 国際的に最高水準のエンターテインメントを横浜で体験出来るようになるのは楽しみです。ぜひ実現してほしいです。 | 参考 | |
| 616 | 全国の有名温泉に入れるようにしてください。 | 参考 | |
| 617 | 両国に行かなくても、相撲を見ることができたり、ラスベガスに行かなくても、ボクシングの世界タイトル戦が見ることができるよう、スポーツ系のエンターテインメントに力を入れてください | 参考 | |
| 618 | 私は外国語が話せませんが、外国の人達と通訳者を介すことなくコミュニケーションできるシステムの開発・導入を願います。 | 参考 | |
| 619 | ウェルネス施設を多く採用して、市民の心と体の健康に貢献できるIRにして欲しい。 | 参考 | |
| 620 | eスポーツの世界大会が開催できる規模・施設を整備して欲しい。 | 参考 | |
| 621 | 世界的に有名なアーティストと専属契約して日本（横浜）で世界最高のエンターテインメントが見たい。 | 参考 | |
| 622 | 日本人の健康増進に役に立つ施設やサービスを多く導入してください。世界最高水準のボディケアサービスに期待しています。 | 参考 | |
| 623 | 観光コンテンツが横浜市にはない！テーマパーク並みの集客施設を作ってください！！ | 参考 | |
| 624 | 市内経済活性化のためにも、新しいエンターテインメントが必要だと思う。IR実現して世界初のテーマパークを作してほしい。 | 参考 | |
| 625 | USJとかTDRとか遊びにいきたくなる、働きたくなるリゾートができるとういなと思います。 | 参考 | |
| 626 | 新しい商業施設を誘致してほしい。ハワイのアラモアナのように、何度でも楽しめる大規模なショッピングモールを作り、世界から人を集めてほしい。賛成です。 | 参考 | |
| 627 | IR行きたいです。世界的なスポーツイベントを開催してください。 | 参考 | |
| 628 | IR早期実現を。みなとみらいのホールと連携して、ブロードウェイのようになれば良いと思います。 | 参考 | |
| 629 | IR賛成。eスポーツも盛り上がっているみたいなので、eスポーツの聖地にしてください。 | 参考 | |
| 630 | IR楽しみです。温泉を掘ってください。 | 参考 | |
| 631 | IR賛成。世界的な大スターのコンサートをやってください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 632 | I R楽しみます。人工のスキー場を復活させてください。 | 参考 | 横浜I Rは、国際競争力と高いクオリティを持ち、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、横浜市民でも幅広い人々が楽しみ、国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与するエンターテインメント施設等の整備を目指しています。＜方向性 P.44＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。 |
| 633 | I R楽しみます。高齢者が健康を保てるような施設もつくってください。 | 参考 | |
| 634 | I R賛成。世界中の料理が安価で食べられると良いと思います。 | 参考 | |
| 635 | ビッグシソーみたいなすごいのがほしいです | 参考 | |
| 636 | I R賛成です。Xゲームを開催できれば、世界中に中継されると思います。 | 参考 | |
| 637 | I R賛成しています。テニスの国際的な大会が開催できれば、多くの人があると嬉しいです。 | 参考 | |
| 638 | I R楽しみます。オープンカフェ、ビアガーデンのような外で食事を楽しめる一角をつくってください | 参考 | |
| 639 | I R賛成です。どうせなら、世界最大の屋内プールをつくってください | 参考 | |
| 640 | I R賛成です。夏はプール冬はスケート場をつくってください。 | 参考 | |
| 641 | 私も子供（高校生）もみなとみらいへ行っても、長期滞在するようなものがなく、用事をすませるとすぐ帰ってしまいます。また都内も近く、そちらへ行く事も多いので、「ここに行けばすべてそろそろう」ような楽しく、おしゃれな施設を周りに置いていただきたいです | 参考 | |
| 642 | かっこいいアートがみたいです | 参考 | |
| 643 | ショッピングモールをごうかにしてほしいです | 参考 | |
| 644 | ビルのうえにプールをつくってほしいです | 参考 | |
| 645 | おおきいぶーるをつくってほしいです | 参考 | |
| 646 | 楽しい地域になることを楽しみにしています。 | 参考 | |
| 647 | 市営ゴルフ場、練習場 市民に健康を希望する様な施設を希望する パブリックで9ホールでも良い気軽に出来る場所を、横浜市内のゴルフ場は高く一般市民には利用出来ない。 | 参考 | |
| 648 | 庶民が楽しめる施設が欲しい。70才だけど、軽いスポーツ（バレー、バスケット）がいつでも出来る体育館が欲しい。素人がワイワイ出来る場所ですよ。 | 参考 | |
| 649 | その他の施設は国際レベルでの設置が望ましい。 | 参考 | |
| 650 | 横浜でも温泉に入ってゆっくりと休養できるようにしていただきたい。 | 参考 | |
| 651 | 横浜I Rに、中でもエンターテインメント施設に期待を寄せています。日本でも大人気のシルク・ドゥ・ソレイユのような、世界に誇るショーが横浜の地から生まれたいと思います。 | 参考 | |
| 652 | 日本のエンターテインメントレベルを国際標準に出来る自信がありますか？ | 参考 | |
| 653 | I R賛成です。世界最高水準のI Rができることを楽しみにしています。特にブロードウェイで行われているようなミュージカルを連日講演してもらえれば、多くの人が見に来ると思います。 | 参考 | |
| 654 | 横浜I Rに期待しています。エンターテインメント施設はとくに楽しみです。シルク・ドゥ・ソレイユのような世界的に有名なショーが横浜の地からも生まれたいと思います。 | 参考 | |
| 655 | 東京や海外に行かないと観られないショーやエンターテインメント、カジノができることを楽しみにしております。 | 参考 | |
| 656 | 集客能力の確立について、巨大なエンターテインメントに勝てる事業が不可欠です。冷静に捉えると、横浜への誘致としてカジノだけでは物足りないです。国際会議もホテルも観劇などいいけど、いつも横浜にお金が落ちる大きな魅力のある事業が必要です。 | 参考 | |
| 657 | 横浜I Rの開業が待ち遠しい。ラグビーワールドカップが横浜でも大変盛り上がったのが記憶に新しい。横浜I Rではぜひ、スポーツのワールド大会ともコラボした企画を積極的に行ってほしい。 | 参考 | |
| 658 | 誘致賛成。せっかく誘致するのなら、食についてもいいお店や名物ができるといいと思う。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 659 | 横浜ⅠRに期待しています。観劇が好きですが、東京や海外に行かないとなかなか良いものを観れません。演者も演出家も音楽家も、あらゆる方がここで披露したいと思うような、素晴らしい施設を作ってほしいです。人気のあるシルク・ドゥ・ソレイユのような、世界に誇るショーが横浜の地から生まれたらいいと思います。 | 参考 | 横浜ⅠRは、国際競争力と高いクオリティを持ち、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、横浜市民でも幅広い人々が楽しめ、国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与するエンターテインメント施設等の整備を目指しています。＜方向性 P.44＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 660 | 横浜ⅠRに賛成します。今まで、都内や海外に行かなければ観れなかったショーやコンサートが横浜で楽しめるようになるのは、私も嬉しいですし、子供たちの未来にも喜ばれることだと思います。市長さんは劇場の建設も考えていらっしゃるようなので、その劇場は横浜ⅠRとアクセスをよくするといいと思います。 | 参考 | |
| 661 | 横浜ⅠRの誘致を進めてほしい。DeNAベイスターズや横浜F・マリノスなどとコラボした企画もあるといいと思う。 | 参考 | |
| 662 | 港以外の場所に、もっと魅力ある施設を作って、1日で回りきれないようにすれば良いのでは？港に色々な施設が集中しすぎていると思います。 | 参考 | |
| 663 | 横浜ⅠRができると、横浜市の在住の方、在勤の方のワークライフバランスももっと充実すると思います。 | 参考 | |
| 664 | ⅠR間の差別化のためには、ⅠR内には、「横浜ならではの」あるいは「横浜にしか無い」というような、世間からの注目に値する、いわば「目玉」的な施設の設置が必要不可欠である。そのような観点から、「魅力増進施設」あるいは「観光旅客の来訪及び滞在寄与施設」に、私は、たとえば、eスポーツの大規模な国際試合の観戦にも耐えうるような会場施設を設けるべきと考える。是非とも、横浜のⅠR内に、国内・海外からも多数の集客ができるような規模を有するeスポーツ会場施設を設置して、試合の時のみならず通常時においても、eスポーツのPR・一般的理解を深めるような設備や、利用客がeスポーツを実際に体験できる設備などを備えた施設が強く望まれる。 | 参考 | |
| 665 | エンターテインメント施設に関しては、この際、抜本的にレベルアップするチャンスだと思います。サントリーホールなみの音響効果を持たせた音楽ホール。世界的なエンターテイナーを呼べる劇場、ミュージカル劇場などです。 | 参考 | |
| 666 | カジノばかりが目立ちますが、文化、芸術、スポーツに触れる機会が増えることが一番の楽しみでもあります。本場N. Y. のミュージカルが年に何回か来ていますが、もっと本場のミュージカルが来て欲しいですし、ラスベガスのショーや、水のパフォーマンスなども楽しみです。また、他の国の文化を感じられる舞台、ショーなども来てくれることを願っています。 | 参考 | |
| 667 | 賛成です。世界の学芸員たちを掻き立てるような斬新な展覧会ができる場所をつくるなど、ノンゲーミング部門の魅力がアップすると思います。 | 参考 | |
| 668 | 横浜ⅠRに家族で賛成しています。男の子が将来なりたい職業で人気なスポーツ選手に、ラグビー選手がランクインしたことが話題になりました。横浜ⅠRにもぜひ、ラグビーの競技場や、ラグビーの応援ができる施設など、ラグビー関連のものができるといいと思います。 | 参考 | |
| 669 | 横浜の統合型リゾート計画は、発想が古いと思います。シンガポールの事業を参考にしているようですが、シンガポールをはじめ、他国にある似たような近代的な施設を造っても外国人は関心を示さないとします。京都がなぜ外国人に人気があるか考えてください。今回の古い発想は、使用している恥ずかしい言葉の使い方とそれを変だと思わない感覚に基づいていると思います。 | 参考 | |
| 670 | 実現可能になる次世代のエンターテインメントなどが今から楽しみです。きっと港町横浜のブランド価値が向上していくと期待しています。 | 参考 | |
| 671 | ⅠR実現に賛成です。集客力のあるアトラクションやエンターテインメントディズニーリゾートやUSJのようなアトラクションやシルク・ドゥ・ソレイユ程度の一流のエンターテインメント施設など集客力のあるコンテンツ誘致は必須です。 | 参考 | |
| 672 | 「食」の全てを網羅世界的に有名な和食店は必須です。寿司、天ぷら、牛鍋などの和食のみならず、フレンチ、イタリアン、中華なども一流店が体験できる、という方向性で全てを集めるべきです。 | 参考 | |
| 673 | アイコニックな劇場シドニーのオペラハウスのようなアイコニックなオペラ、バレエが演じられる劇場を併設し、ⅠRの象徴とします。是非素晴らしいⅠRを実現してください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 674 | P28：(1)基本コンセプト方向性1「世界最高水準のIRを実現「ビジネスからレジャー、大人から子ども、外国人でも日本人でも、幅広い客層が楽しめる非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾートを目指す」とありますが、報道によると、各事これはエンターテインメント施設などでしょうか、これは本(素案)では劇場、水族館(P17)多彩なホテル群?(P31)劇場、遊園地、テーマパーク、水族館、動物園?(P44・45)となっており、目指す方向が一番不明確になっています。これも「コピペ&つなぎ合わせ」。 | 参考 | 横浜IRは、国際競争力と高いクオリティを持ち、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、横浜市民でも幅広い人々が楽しめる、国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与するエンターテインメント施設等の整備を目指しています。<方向性P.44> 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 675 | ・来訪及び滞在寄与施設(P44-45)「国際競争力と高いクオリティを持ち、幅広い人々が楽しめる、国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与する施設」とあるが、「国際競争力」とは、世界のどこのどのような施設と競争するつもりなのか不明。シンガポール、マカオのIRアトラクション等が競争相手なのか?それと比較して来訪、滞在の促進に寄与できるとはとも思えない。・世界的には「ノンゲーミング」重視のIRが近年の世界のIRの潮流とお話がある。ラスベガスではIR収入の2/3はノンゲーミングとされる。その意味で日本型IRではノンゲーミングの収益力がカギとなるが、本(素案)ではノンゲーミング施設は言葉の要件だけで方向性を示すことが出来ていない。ターゲットを明確にしたノンゲーミング施設の方向性確立が依存症対策よりも、IRの成否には重要と思う。 | 参考 | |
| 676 | 集客施設についての方針の欠如。P44に示された、マカオの施設は、すべてのカジノ施設が運営しているものではない。複数のカジノが認可されるようになって、初めて集積のメリットがあり、エンターテインメント施設も併設されるようになった。しかしながら今回のカジノ施設は全体の3%に限定されており、集積のメリットはない。エンターテインメント施設の集積を具休の要件として示す必要がある。 | 参考 | |
| 677 | ”国際的に最高水準のエンターテインメント性のある公演、展示等”とはなにか。具体性も実現性も感じられない。どこからそれを持ってくるのか。持ってくるのなら横浜に無くてもいいのではないのか。 | 参考 | |
| 678 | 是非積極的に進めてください!スポーツ施設等も一緒に開発して頂きたいです。将来的にオリンピック種目に近づいている世界的に愛好家の多いスポーツ、パデルのコートや、屋外のプールなどもリゾート複合施設として併設する事で、ギャンブル性の高いイメージを払拭できるエリアプロデュースが叶うのではないかと思っています。 | 参考 | |
| 679 | 今回、「力強い経済成長と文化芸術創造都市」「人が、企業が集い躍動するまちづくり」が協調されていますが、中期4か年計画にある「花と緑にあふれる環境先進都市」「未来を創る強靱な都市づくり」や、「SDGs未来都市・横浜」の概念、構想も併せて進めることはできないでしょうか?具体的には、素案の中に、何か高層ビル(10階建てくらい)の各フロアに植物又は野菜があり、グリーンビルのようなものをIR構想の中に入れることはできないでしょうか?生き物(植物、虫など)主体のビルです。そのビル中には、遊歩道があり散策するとともに、野菜果物等の農作物の収穫が可能です。一方、ドームに近い人工的な植物園としては、シンガポールのガーデンズバイザベイがありますが、もっと自然に近い形が良いと思います。また、スペースの関係から、ガーデンズバイザベイよりも立体的な方が良いのではないのでしょうか?既存の施設の良い部分をあつめ、できるだけ自然に近い形の建物をIR施設内に設けてはいかがでしょうか。 | 参考 | |
| 680 | IR=カジノと勘違いしている市民が多いと思います。当然カジノ施設だけで成り立っている訳ではなく、様々な施設が集まった複合施設である事を、もっと市民へ分かり易くプロモーションする事が必要ではないでしょうか。勿論、大金が動くのはカジノ施設がメインになるとは思いますが、IRとしてのメインをカジノに置かなくとも良いと思います。音楽好きの私個人としては各所で計画されているコンサート施設等が、協同で大規模の音楽フェスティバルなどのイベントを開催する事を期待しています。 | 参考 | |
| 681 | ディズニーリゾートのような遊園地が横浜には少なく感じます。横浜観光の革新となり、経済発展の起爆剤となるような、国内の子供から大人までが安心して遊べる施設の建設も望みます。 | 参考 | |
| 682 | カジノだけが注目されている気がする。レストラン、ショッピングモール、エンターテインメント施設など幅広い客層が楽しめる都市型リゾートの実現に期待したい。世界各国の人々が、観光に、会議に横浜を訪れ、横浜の魅力に感動してもらいたい。 | 参考 | |
| 683 | 東京ディズニーランドにも負けないような、集客力がある施設を作って欲しい。他との差別化を図るためにも大人が楽しめる施設に特化してはどうか。子供だましの施設はいらない。本物のエンターテインメントを見てみたい。 | 参考 | |
| 684 | 横浜の魅力アップに向けてエンターテインメント施設の誘致を進めてもらいたい。 | 参考 | |
| 685 | 個人的には観光の目玉として世界一の水族館を港に設立してほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 686 | 横浜ⅠRには、横浜市民が喜ぶウェルネス施設を設けてほしい。スポーツや、マインドフルネスを通じて健康増進につながる施設を期待する。 | 参考 | 横浜ⅠRは、国際競争力と高いクオリティを持ち、ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、横浜市民でも幅広い人々が楽しめ、国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与するエンターテイメント施設等の整備を目指しています。＜方向性 P.44＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。 |
| 687 | エンタメ施設を充実させてください。 | 参考 | |
| 688 | 町場の飲食店がⅠRの中に出店できる仕組みがほしいです。 | 参考 | |
| 689 | 横浜は東京に比べてエンターテイメント性のある施設や芸術に関する施設が少ないので、ぜひⅠRの実現により、より魅力的な街になってほしいと思います。 | 参考 | |
| 690 | 横浜はスポーツが盛ん。野球、サッカー、バスケットなど。ⅠRでは、アメフトやラグビーが見たい。あとテニスなど。スポーツアリーナをつくって、市民が盛りあがる場所をつくってください。 | 参考 | |
| 691 | ショッピングモールやエンターテイメントを充実させて横浜に行ってみたいと思われる施設として下さい。 | 参考 | |
| 692 | 子どもたちが楽しめるアトラクションやコンテンツを増やしてください。ワクワクするⅠRなら、もっと期待も高まると思います。 | 参考 | |
| 693 | 横浜の将来を考え、活力ある横浜市にするには、外国人も日本人も呼び込める観光づくりが必要である。特に、ⅠRを誘引して、カブよい経済力をつけるべきである。 | 参考 | |
| 694 | 山下公園から見るⅠRは、市民に新たな横浜を代表する景観とエンターテイメントショーを提供してくれるでしょう。 | 参考 | |
| 695 | 海外の実情及び失敗例も研究してメリットのみを並べるので無く客観的な評価が求められる。最高水準ⅠR実現のため最大手の業者・コンサルタント等を調べ中小・アジア・新興の業者の排除を注意深く行う。各国のカジノは、かなり性格が異なるのでどの様な方向性にするのか？日本でラスベガス並のエンターテインメントなど出来るのか？ | 参考 | |
| 696 | カジノ絶対反対です バクチで人を呼ぶのでなく皆さんが、気楽に入れる様な事を考えてほしいと思います | 参考 | |
| 697 | 海外（特にシンガポール）の事例を強く参考にしているようですが、依存症対策なども含め、もっと横浜市（日本）オリジナルの案をしっかりと考えてほしいです。海外の事例は、あくまでも外から来る人向けのみの施設ですが、横浜ⅠRは、地元の人達も楽しむことができる（経済効果についてはわかっています）、夢を語る施設となることを期待しています。また、現段階では、事業を検討する企業があまりにリスクがありそう（政治リスクも含め）なので、そこも配慮されると、思い切った案もでてくるのでは。頑張ってください。 | 参考 | |
| 698 | ハイグレードのホテルやショッピングモールなど新たな商業施設や飲食店などが増えることで活性化され市民サービスも向上しそう。外国からの観光客も増加が期待できるのではないかと！ | 参考 | |
| 699 | ⅠR誘地に賛成です。ホテル、レストラン、レジャー施設、ショッピングモール、MICEが出来ることにより、横浜への観光客が増加しました、市民も楽しむことが出来ます。 | 参考 | |
| 700 | 横浜ⅠRには、市民がワクワクするような楽しい施設を整備してください。ⅠRには賛成です。 | 参考 | |
| 701 | ⅠR早くつくってください。子供が遊べるようなスペースを多く作ってください。ぜひともプールをお願いします。 | 参考 | |
| 702 | 横浜港に大規模なリゾートができるのは、考えただけでワクワクする。できたらぜひ行きたい！ | 参考 | |
| 703 | ⅠRについては、横浜の経済的発展のために必要だと思います。また、リゾート施設なので、身近な場所でエンターテイメントが楽しめるのは、素晴らしいことです。ぜひ、推進していただくことを要望いたします。 | 参考 | |
| 704 | 横浜の経済の発展の為には、ぜひ必要な施設と考えます。市民も楽しくすごせる場所として整備されることを期待しています。 | 参考 | |
| 705 | シンガポールの、リゾート・ワールドセントーサのように、家族連れでも1日遊べるエンターテイメント施設をつくって欲しい。ⅠRは賛成します。 | 参考 | |
| 706 | シンガポールのような素敵な街にしたいです。 | 参考 | |
| 707 | ⅠRに賛成します。子供と一緒に楽しめる施設を作ってください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 708 | 一市民が気軽に行けてすばらしいショーなどを無料で楽しめるような場所になれば絶対人気が出ると思う。 | 参考 | <p>海外のIRでは、大規模な噴水広場や植物園などでの光を駆使したアトラクションやキッズエリアなど、お子様や家族連れも気軽に立ち寄り、楽しめるコンテンツが無料で提供され、シンガポールのIRでは、年間で4,500万人が訪れています。</p> <p>横浜IRにおいても、世界水準のMICE施設やホテル、エンターテインメントのほか、お子様も楽しめるアトラクション施設や、山下公園から続く水と緑豊かなオープンスペースなど、市民の皆さまが憩える都市型リゾートを目指しています。＜方向性P.44、45＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> |
| 709 | 海を生かしたアトラクションに期待します。巨大なふん水ショーとか見てみたいです。 | 参考 | |
| 710 | IR賛成。シンガポールのリパークルーズのようなものを走らせてください。海から見る光のショーはきれいでした。 | 参考 | |
| 711 | IRを横浜市に是非実現させましょう。シンガポールのマリーナベンサンズのような建物が山下ふ頭に来れば、山下公園から見るIRは、日本を代表する景観となるでしょう。昼は噴水ショー、夜はライトアップで、市民と観光客を楽しませるでしょう。観光資源としてのIRは横浜に絶対に必要です。 | 参考 | |
| 712 | 賛成です。子供と遊びに行ける施設を作してほしい。 | 参考 | |
| 713 | 華やかで楽しい何度でも行きたくなる施設を作してほしい。賛成です。 | 参考 | |
| 714 | IR賛成です。市民も時間があればふらっと気軽に安価に楽しめる場所をつくってください。 | 参考 | |
| 715 | カジノを作るなら、もっと子供達が遊べる施設がほしかった（コスモワールドが安っぽく残念。そのかわりに立派な遊園地がほしかった） | 参考 | |
| 716 | 具体的にどんなものが出来るのか、イメージ出来ないが、多くの人を楽しめるエンターテインメントあふれるIRにしてほしい。基本的に賛成です。 | 参考 | |
| 717 | 賛成です。今の横浜には、わざわざ出掛けたくなくなるような施設が少ない。郊外に住んでいると横浜の中心へ行く用事がないので、遊びに行きたくなる新しいスポットが出来ることを望みます。 | 参考 | |
| 718 | 現状のままでは、横浜の経済の見通しは暗いと思う。多くの観光客を集める、美しいIRを作り、観光振興を成し遂げてほしい。賛成です。 | 参考 | |
| 719 | 賛成です。今まで市民が立ち入れなかった場所に新しいものを作るのだから、是非親しみ易いものにしてほしい | 参考 | |
| 720 | IRが出来ることに賛成です。楽しいものをぜひ作って下さい | 参考 | |
| 721 | 横浜駅～山下公園周辺にはほとんど遊びに行くことがありません。魅力がないから。IRが出来て、遊びに行けるような、魅力ある新しい街になってほしい。賛成です。 | 参考 | |
| 722 | 山下公園にはほとんど遊びに行かない。「わざわざ遊びに行きたくなる」求心力あるIRを是非実現してほしい | 参考 | |
| 723 | 横浜駅からみなとみらいを通り、新港ふ頭、赤レンガ大さん橋、山下公園→元町あたりまでの楽しいライン（都心臨海部）の雰囲気合った施設をお願いします。外周をメインに、ランニングやウォーキングができる道。（ベイブリッジを見下ろしつつ見る海からの日の出とかまた来たくなるコース） | 参考 | |
| 724 | 国際会議場や展示場、エンターテインメント施設など、多くの人を楽しめる施設を作ってください。 | 参考 | |
| 725 | 最新鋭のホテルやショッピングモール、レストランなどを誘致して大人から子供まで家族全員が楽しめる施設を作りたいと思います。 | 参考 | |
| 726 | IRは現在カジノばかりがクローズアップされていますが、国際会議場・展示場やエンターテインメント施設、日本の魅力を伝える施設等、幅広い人が楽しめる施設を一体的に整備することが理解できました。多くの観光客が横浜に滞在することで、更に活気ある横浜のまちづくりの一翼となるような施設の整備を期待しています。 | 参考 | |
| 727 | ラスベガスは大人も楽しめるショーから子ども向けのサーカスまでみんなが楽しめる都市だと思えます。もっと具体的な絵をみせれば世論もかわっていくと思えます。 | 参考 | |
| 728 | シンガポールなど最高のリゾートでした。IRを知っている人は、皆賛成すると思えますので、がんばってください。 | 参考 | |
| 729 | 港町横浜でグローバルな交流と大人や子供も楽しめる施設もあればカジノ＝ギャンブル依存の悪いイメージではなく家族で楽しめる場所になればいいと思います。夢が広がります。 | 参考 | |
| 730 | 子どもや孫と遊びに行ける明るく美しい施設が出来てほしい。今は何度でも遊びに行くような施設がないので、IRが出来ることに賛成です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 731 | 楽しいリゾートができたら行ってみたいと思う。カジノにはまるかは自己責任ではないでしょうか？ | 参考 | <p>海外のIRでは、大規模な噴水広場や植物園などでの光を駆使したアトラクションやキッズエリアなど、お子様や家族連れも気軽に立ち寄り、楽しめるコンテンツが無料で提供され、シンガポールのIRでは、年間で4,500万人が訪れています。</p> <p>横浜IRにおいても、世界水準のMICE施設やホテル、エンターテインメントのほか、お子様も楽しめるアトラクション施設や、山下公園から続く水と緑豊かなオープンスペースなど、市民の皆さまが憩える都市型リゾートを目指しています。＜方向性P.44、45＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 732 | 「これまでにないスケールとクオリティを備えたMICE施設」「観客を魅了する一流のショーやエンターテインメント」とは具体的に何でしょうか。 | 参考 | |
| 733 | これまでみたいに楽しく遊べる場所ができたらよい | 参考 | |
| 734 | 市民の憩いの場が、なければなりません。横浜は昔から、親水性のある海は、市民の遊び場でした。世界、どこへ行っても同様です。是非、横浜らしい、内外の人達が安心して楽しめる、親水性のある、又、スポーツイベント等も出来る、海の公園をこのIRの中に、盛り込んで欲しいと思います。 | 参考 | |
| 735 | 外国の富裕層のための施設ばかりではなく、市民や市内在住の大学生がお金を使わなくても遊べるアトラクションやスペースをたくさん設置してほしい。 | 参考 | |
| 736 | IRに賛成です。子供向けに安い料金で利用出来る施設が欲しいです。 | 参考 | |
| 737 | シンガポールのマリナベイサンズは、隣にある国立植物園とデッキでつながっていて子供連れのファミリーやカップルが行き帰していました。カジノがあってもそんな安全・安心なIRをつくってください。 | 参考 | |
| 738 | 砂浜に魚貝カニ等がいて、子供たちが、安心して楽しめる公園をIRの中に作って下さい。砂浜で、ビーチバレーラグビー等スポーツができる公園を作って下さい。インベントロードを作って下さい（青少年マーチングバンド、トライアスロン、フォミラーE自動車レース等）。 | 参考 | |
| 739 | 子供や大人も安心して、楽しめる横浜らしい砂浜のある公園を再生して下さい。世界的な、イベントができるイベントロードを作して下さい（横浜市民マラソン 子供のゴーカート大会、トライアスロン等） | 参考 | |
| 740 | 外国人観光客だけでなく、日本人も、横浜市民も、大人から子どもまでが楽しめるIRを創って頂けたら、横浜がさらに発展していくきっかけになると思います。 | 参考 | |
| 741 | 子どもが安心して利用できる施設など、ファミリー層向けの施設があれば、人も多く来ると思う。どのようなIRになるか、楽しみにしています。 | 参考 | |
| 742 | 横浜には職場があるため毎日通勤していますが、休日に出掛けたくなる街ではないです。IRができれば、遊びに行きたくなる施設ができるかもしれません。期待しています。 | 参考 | |
| 743 | こどもや女性も楽しめるIRにしてほしい | 参考 | |
| 744 | 子供と一緒に遊べる施設をたくさん作ってほしいです。特に、プールや芝生の公園など、身体を動かせる場所ができればうれしいです。 | 参考 | |
| 745 | 家族と遊びにいけるIR（プール、遊園地、ファミリールームのあるホテル）、横浜郊外からも遊びに行きやすい交通網、子供が憧れるような格好いい街、IRによって作られることを望みます。 | 参考 | |
| 746 | 私は横浜が大好きですが、友人達は山下公園や元町などには遊びに行きません。新しい施設ができれば、みんな行くと思います。友人同士で遊びに行ける場所を作ってほしいです。 | 参考 | |
| 747 | シンガポールにあるようなIRが出来れば、市民も喜び、観光客も増えると思います。ぜひ美しいリゾートを造ってください。IRが出来ると楽しみにしています。 | 参考 | |
| 748 | みずあそびをできるふんすいのかんじのがつくってほしいです | 参考 | |
| 749 | IR賛成。思いつきませんが、近くに住む人々がリピーターにならないと盛り上がりません。何度も行きたくなるようなものにしてください。 | 参考 | |
| 750 | IR賛成です。家族で気軽に行けるスポットをつくってください。 | 参考 | |
| 751 | IR賛成です。市民が気軽に行ける公園のようなところがほしいです。MM・山下公園・IRとランニングしてみたい。 | 参考 | |
| 752 | マーライオンみたいなのをつくってほしいです | 参考 | |
| 753 | ふねからひかりのショーをみたいです | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 754 | 予定地山下ふ頭47ヘクタールをまずは緊急医療体制確立のための病床にして、その後、市民に等しく幸せを分ける場にしてください。緑地をつくり、子どもも大人も無料で憩える場には、鳥もきます。そこに市営住宅をつくり、皆が心も体も健康でいられる、未来の横浜を創っていきける人が育つような場にしてください。 | 参考 | <p>海外のIRでは、大規模な噴水広場や植物園などでの光を駆使したアトラクションやキッズエリアなど、お子様や家族連れも気軽に立ち寄り、楽しめるコンテンツが無料で提供され、シンガポールのIRでは、年間で4,500万人が訪れています。</p> <p>横浜IRにおいても、世界水準のMICE施設やホテル、エンターテインメントのほか、お子様も楽しめるアトラクション施設や、山下公園から続く水と緑豊かなオープンスペースなど、市民の皆さまが憩える都市型リゾートを目指しています。＜方向性P.44、45＞</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めています。</p> |
| 755 | IR施設は市民が気軽に利用できるのか知りたい。 | 参考 | |
| 756 | 開港以来、横浜が培ってきた、進取の気風、文化の創造、様々な行動や考えに対する包容力を今後とも担い続けるためには、またとない好機である。依存症対策や税収対策ばかりに気を取られず、折角の機会を生かして、子供からお年寄りまで、誰もが参加し楽しめる施設となるよう具体的な提案が欲しい。 | 参考 | |
| 757 | 市民や国民が何度でも行ってみたいくなる魅力のある場所にすべきだ。 | 参考 | |
| 758 | 子供から大人まで安心してウォーターフロントを楽しめる所になれば良いと思います。 | 参考 | |
| 759 | 幼い子どもから高齢者までが、楽しく過せる場所をつくるべきだと思います。山下公園や人形の家などの充実、マリニタワーも大きくつくり変え、多くの人々が訪れるシーサイドにすべきではないかと思います。さらに、子ども達が楽しく遊べる広場として利用できるのもひとつの案だと思います。 | 参考 | |
| 760 | 市民の憩いの場がなくなること（山下公園等）など。問題点は、なんら解決していないし、解決策は、カジノを導入しないことです。 | 参考 | |
| 761 | ヨコハマという街の特性を考えた場合、カジノを中核とした統合型リゾート施設よりもファミリーリゾート施設のほうが適していると考えます。 | 参考 | |
| 762 | 市民が楽しく健全に集える場にすれば大きな経済効果が永く続くはずで国際都市に恥ないステキな横浜にしてください | 参考 | |
| 763 | 市長は、IRがファミリーで遊べる場所で、総合アミューズメントリゾートを目指していると言うが、IRは単なるそれだけでなく、カジノを真ん中にしたIRである。 | 参考 | |
| 764 | 市民の財産である市有地をIR事業者に払い下げ、貸与することは反対です。市民のために利用すべきです。 | 参考 | |
| 765 | 「親子連れでも楽しめます」という、遊園地と賭博場が一緒の施設など必要ありません。 | 参考 | |
| 766 | 家族で楽しめるIRとのこと。ディズニーランドのような夢のある何度も行ってみたい、空間が作れるか？ | 参考 | |
| 767 | カジノは特定の富裕層やギャンブル好きの一部の人を引き付けるだけです。もっと多くの家族や一般の観光客に楽しんでもらえるリゾート地に横浜をもっていくべきです。 | 参考 | |
| 768 | 横浜にはハイブランドが買える所が少ないので誘致してほしいです。かと言って、ファミリー層も楽しめるようにイベント施設など充実してほしいです。 | 参考 | |
| 769 | ウォーターフロントを既存の業界関係者だけの施設でなく市民に、国民に開かれた「楽しい」街の施設へ推し進めていただきたい。 | 参考 | |
| 770 | 横浜市のIR誘致の取り組みに賛成の立場です。横浜市民みんなが楽しみ、将来に誇りが持てるリゾートをぜひ作り上げてほしいと思います。 | 参考 | |
| 771 | IR賛成。一度シンガポールのマリナベイサンズを見た方がいい、カジノ以外のあの集客力は既存の横浜の施設では不可能。 | 参考 | |
| 772 | カジノ以外はフリーゾーンで観光客や市民が昼夜楽しめる「ワクワクする」IRにしてください。 | 参考 | |
| 773 | 横浜IRに賛成しています。いろいろな世代の方が楽しめる空間になってほしいです。 | 参考 | |
| 774 | 今も将来も、必要なものは子供達が自由に遊べる空間です。自然がいっぱいある空間です。自由に走り回れるのっばらがあること。釣り場（海釣り、淡水釣り）があること。サッカー場、野球場、テニスコートがあること。これらは、基本的に使用者が管理・運営。ニューヨークのセントラルパークのような、自然豊かな公園があること。ここでは、トンボ、蝶、種々の昆虫の観察が可能なこと。虫が息でできれば完璧。誰もが、一日ここで遊べるそんな空間を創っていただきたい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 775 | 賛成。いまの横浜は、何度でも行きたくなる観光地ではない。何度でも通いたくなる施設や食事やホテルがない。IRによって、友達や家族を何度でも案内したくなる、IRができることを望みます。 | 参考 | <p>海外のIRでは、大規模な噴水広場や植物園などでの光を駆使したアトラクションやキッズエリアなど、お子様や家族連れも気軽に立ち寄り、楽しめるコンテンツが無料で提供され、シンガポールのIRでは、年間で4,500万人が訪れています。</p> <p>横浜IRにおいても、世界水準のMICE施設やホテル、エンターテインメントのほか、お子様も楽しめるアトラクション施設や、山下公園から続く水と緑豊かなオープンスペースなど、市民の皆さまが憩える都市型リゾートを目指しています。〈方向性P.44、45〉</p> <p>詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。</p> |
| 776 | 横浜IRが市民に愛着をもたれる場所にするために、例えば成人式や2分の1成人式など、人生の節目のイベントの開催場所にと良いと思う。 | 参考 | |
| 777 | ゴミが目につかない、いつでもどこも美しいクリーンなリゾートになってほしい。 | 参考 | |
| 778 | 賛成。子どもがのびのび遊べて、多くのお客さんがゆったり過ごせるような、余裕のある空間づくりも必要だと思う。 | 参考 | |
| 779 | 横浜IRが末永く市民に愛着をもたれる場所になってほしいです。例えば成人式の開催場所になるといいと思います。 | 参考 | |
| 780 | 横浜IRは夢のある政策だと思います。とくに、子どもたちには、夢を与える場所になってほしいと願います。横浜で楽しんでもらい、IR事業者も横浜市も地域も元気になるように運営してもらいたいです。 | 参考 | |
| 781 | 横浜IR事業については賛成します。国際都市横浜に相応しい会議場・美術館・観光・ショッピング・グルメどれを取っても日本では横浜市しかないのではないのでしょうか | 参考 | |
| 782 | 横浜IRの誘致賛成。ハイクオリティの伝統、文化、芸術、最先端技は、子どもの頭と心を豊かにする。横浜IRという身近な場所で体験させてあげられるのは、非常にうれしい。ぜひ、誘致し、さまざまなエンターテインメントメニューを展開してほしい。 | 参考 | |
| 783 | 横浜IRには、とくに、子どもたちに、夢を与える場所になってほしいと願います。 | 参考 | |
| 784 | IR誘致に賛成です。みなとみらい21のような家族・カップルが安心して遊べる施設もあると雰囲気は良くなると思います。 | 参考 | |
| 785 | アンパンマンミュージアムを卒業したもう少し大きな子どもたちが楽しめるような、家族そろって楽しめるようなディズニーランドのような施設を誘致したらよいのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 786 | 『来訪及び滞在寄与施設』国際競争力と高いクオリティをもち、海外富裕層の方々に楽しんでいただけることは、横浜の財政面を助けていただく意味では大変有難いことですが、みなとみらいエリア全体として見たときに、一般市民にとって敷居が高くて立ち入れない街になってしまわないように、バランス感覚には留意しておいて欲しいです。 | 参考 | |
| 787 | 49ページ：「幅広い客層が楽しめる非日常的で印象的な空間」と「市民に親しまれるウォーターフロントエリアの一部」と、2つの相容れない目標が書かれています。ラスベガスやシンガポールなどの海外のIRを見ると、両立は不可能です | 参考 | |
| 788 | 横浜IRの動画を子供が見ました。理解できる部分が多かったようで、行ってみたい！いつできるの？と楽しみにしています。子連れの家族が気兼ねなく楽しめるよう、サービスが充実すると思います。 | 参考 | |
| 789 | 横浜市民が使えない施設をなぜ作ろうとするのですか？他市と比べても収入が少ないなどと言える額ではありません。それをうまく有効に回していくのが市長の務めではないですか、他市の方が市民の生活に優しいと思えることがたくさんあります。やりくりが下手なだけではないですか。 | 参考 | |
| 790 | IRができることで、世界から選ばれる都市になっていけるということは、そこに暮らす市民や子供達にとってとても素敵なことだと思います。周辺に住む子供達や家族にとってプラスになるようなIRならば、是非つくっていただきたいです。 | 参考 | |
| 791 | 地元の運動教室の活用 幼稚園児・保育園児、小学生の親子が、普通にやってきて遊べる・学べる・体を動かせる屋外全天候型の運動スペースを設けてください。競技場や公園を作る必要はないです。横浜市の中で、横浜の親子のために、子どもたちのために、地域に根差して取り組んでいる人々にお金が具体的に落ちるように、スペースを作って教室を開催してあげてください、もちろん家賃ゼロです | 参考 | |
| 792 | どうか子供から大人まで楽しめる夢のあるIR計画を望みます。 | 参考 | |
| 793 | 山下ふ頭は、真に〈横浜市民の憩いの場〉として整備されるべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 794 | カジノは反対です。まず、市民が喜ぶ施設は、あるのでしょうか？お金ばかりかかる施設では、市民として行く事は出来ません。「横浜市民の憩いの場」+世界の人々とありますが、市民の憩いの場ではないと思います。市民、子供が楽しめる施設とカジノは真逆だと思います。 | 参考 | 海外のIRでは、大規模な噴水広場や植物園などでの光を駆使したアトラクションやキッズエリアなど、お子様や家族連れも気軽に立ち寄り、楽しめるコンテンツが無料で提供され、シンガポールのIRでは、年間で4,500万人が訪れています。 横浜IRにおいても、世界水準のMICE施設やホテル、エンターテインメントのほか、お子様も楽しめるアトラクション施設や、山下公園から続く水と緑豊かなオープンスペースなど、市民の皆さまが憩える都市型リゾートを目指しています。＜方向性P.44、45＞ 詳細は、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求めていきます。 |
| 795 | 娯楽施設なら、カジノよりもアスレチックや身体を動かして健康面を充実させられる施設を増やすことを優先されてはいかがででしょうか？現在、横浜市に新しく作られた商業施設や遊び場は入場するのにもお金がかかるという場所が目立ちます。 | 参考 | |
| 796 | 横浜IR誘致へ賛成致します。幅広い年齢層へ魅力的な内容を盛り込めると良いと思います。 | 参考 | |
| 797 | 小さな子どもからお年寄りまでたくさんの人々が気軽に楽しむことのできるスポーツ施設や公園等が海の近くにあるとステキだなと思います。 | 参考 | |
| 798 | 子供の頃からみなとみらい地区が大好きでした。楽しい施設を希望します。 | 参考 | |
| 799 | マリナーベイサンズは怖い雰囲気は全くありませんでした。同じようになると良いと思います。 | 参考 | |
| 800 | 1日で遊びきれないものができることを期待しています。市民ですが、山下のIRに泊って楽しみたいと思います。 | 参考 | |
| 801 | 人口減少、超高齢社会の中、子供から子育て世代、年寄あらゆる世代が楽しめる街になることを願います。 | 参考 | |
| 802 | どうしてもIR＝カジノ→よくないという悪いイメージでとらえる人が多いですが、ラスベガスのようなイメージであれば、多くの人が楽しみ、集まれる場として横浜がまた更に活気があふれると思います。レジャー施設として、たくさんの人が楽しめる場所にして頂きたいと思います | 参考 | |
| 803 | 女性が楽しめる、施設として、期待しています。 | 参考 | |
| 804 | カジノのみに集客を任せるのではなく、日本全国の有名ご当地グルメや名産を集めたレストラン・ショッピングモールの開設、箱根などの源泉から直送された天然温泉施設などの設置が望まれる。一方で新型コロナウイルスで明確となったインバウンドに頼りすぎることへの弊害も考慮し、内需（地方からの集客方法）として横浜名物や横浜発祥のグルメや物産を集めたショッピングモールの設置なども考えて頂きたい。 | 修正 | 国際競争力と高いクオリティを持ち、幅広い人々が楽しめる国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与するため、横浜の観光資源（横浜の歴史、芸術、食文化、市内農水産物・物産品、技能等）を来訪客が楽しみ、体験や購入ができる商業・飲食施設等を例示していくこととし、方向性1「世界最高水準のIRを実現」を一部修正しました。＜方向性P.44＞ |
| 805 | 第一次産業に特化した体験できる娯楽施設。漁、畑、田んぼ、果樹。その中で、体験できるものを沢山、←これから次代を担う子どもたちに、こういう仕事もある、ということを体験。今やっている横浜を花でいっぱいにする。ガーデンネックレス、ガーデンシティ横浜、この娯楽施設から花の道を通して山手へ、山下へ、そして横浜中に花の木を植えてしまう。 | 修正 | |
| 806 | IR賛成です。地産地消に力を入れて、横浜の名産品を生みだしてください。 | 修正 | |
| 807 | 素案は、カジノ、ホテル、会議場等の「箱もの」の建設・設置運営に終始している（素案・28、31頁等）。ひとつ目につくのは、「日本文化芸術の発信・活動拠点」としての「魅力増進施設」（素案・31～32、35～36頁）であるが、これが横浜固有の文化の発信の場でなければ、何故横浜に設置するのか、必然性に乏しく説得力がない。 | 修正 | |
| 808 | IRが都心部だけのものになるのは寂しい。市民みんなのものであるように郊外部での農業体験や郊外部の銘店との連携など、海外から来た観光客が都心だけでなく郊外部の魅力を味わい横浜を好きになってもらえるような仕組みが必要と考える。そうすることでIRを市民が身近に感じることができるのでは。 | 修正 | |
| 809 | 「我が国伝統の文化」という文言に固執し、横浜のアイデンティティでもある「西洋文化の元祖」の一面に触れていないのは、いかなるものかと存じます。つきましては、「カジノ以外のIR全体に関しての市民への説明」、「西洋音楽発祥の地としてなど、我が国の伝統文化以外も含めた『横浜が誇る文化』の発信の場となること」の2点について、市民に限らず広く発信していただくことを強く願います。一横浜市民として、事業の成功をお祈り申し上げます。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 810 | 【健全な市民生活と産業の育成を】観光産業の振興にはまだまだ手を加える余地はある。案内表示ひとつとっても現状では不十分である。豊かな自然と風景を活かした横浜にしかない「観光資源」を発掘する努力をお願いしたい。「都市農業」の振興、中小企業への支援なども力を入れれば大いに将来が期待できる。「横浜ブランド」を横浜市と企業と市民が共同して開発できるよう知恵を使ってほしい。横浜市にはその力があると思う。必要なのはそういう方向性を市長が発信することです。 | 修正 | 国際競争力と高いクオリティを持ち、幅広い人々が楽しめる国内外からの来訪客及び滞在の促進に寄与するため、横浜の観光資源（横浜の歴史、芸術、食文化、市内農水産物・物産品、技能等）を来訪客が楽しめ、体験や購入ができる商業・飲食施設等を例示していくこととし、方向性1「世界最高水準のIRを実現」を一部修正しました。＜方向性 P.44＞ |
| 811 | 「横浜IRの方向性」にはおおむね賛成ですが、もっと横浜らしさを追求してください。世界の都市間競争が激化する中で、横浜の地位をどのように上げていくか、そのためにIR事業には何を要求するのか？市民にどんな暮らしを提案していくのか？これまで横浜が歩んできた道の中にもヒントはあるかもしれないが、はっきり言えるのは、海外の声、才能、知恵を積極的に行政施策に取り入れることは、これからの横浜市には必要ではないかと思いません。 | 修正 | |
| 812 | 賛成。横浜IRでは、例えば横浜ビールやハマポークなど横浜の特産品を多く使ってもらえるようにするとういと思っています。 | 修正 | |
| 813 | このIRが、どんな横浜らしいことを、どのように強調して、アピール・集客していくかのグランドデザインが見えません。例えば、港町横浜はジャズが似合う街と認識されていて、昔から関内周辺に、音楽が聞けるBarが多数存在する。伊勢佐木町ブルースに代表される肖像画が伊勢佐木町北端に掲げられているが、どんどん寂れる一方である。これを巻き返し、港町横浜にふさわしいジャズスポットを山下ふ頭に建造し、横浜のみならず、日本のジャズ文化の拠点とする。そのために・・・など、素案なら、それぐらいの展望は設けてほしい。 | 修正 | |
| 814 | 横浜の魅力の一つは、「日本が西洋と出会って、あるいは西洋が日本と出会って起こったことを感じる事ができる」にあると思う。日本初のいろいろや、外国人が伝えた品々や技術等をトレースできることをPRする必要がある。中華街や日本庭園の他に洋食（ナポリタン、ハンバーグ、ライスカレー等）やラーメンなどは、庶民が作り出した出会いの結果であり、どこに行けばそれらを体験できるかを示すマップの作製も、広がり循環する効果を生み出すために必要、観光施策の一つに加えて欲しい。 | 修正 | |
| 815 | コンクリート施設だけではなく、横浜が力を入れる農に貢献する施設を作りませんか？単なるコンクリート都市ではない、自然環境を大切に国際都市。そしてSDGsを強みに推し進める横浜らしく、サステナブルな未来都市にふさわしい施設をぜひアイデアに加えていただきたい。農を導入することでカジノ＝ギャンブルのイメージを和らげる効果がある。 | 修正 | |
| 816 | レイアウト見るとカジノ（バクチ場）は、スペースが少なくなっているが、信用できない。 | 参考 | 日本型IRにおけるカジノを行う区域の床面積は、IR施設全体の床面積の3%以内と法令で定められています。＜方向性 P.46＞ |
| 817 | IRの3%と少ない様に思いますが3%の実際の大きさはどの位ですか。 | 参考 | 詳細は、今後の事業者公募を通じて、具体的な提案を求めています。 |
| 818 | 「カジノ」は、IRの3%にすぎない、と一部のように言いますが、実際は、「ハマスタ」と同じ、巨大さというではないですか！！ | 参考 | |
| 819 | カジノ面積についてIR法でカジノはIR施設の床面積の3%以内と決められています。それは高層ホテルの全客室の床面積を含むのでしょうか？素案では、マリナーベイサンズのレイアウトを挙げて、カジノも紹介されていますが、この例ではカジノは何%ぐらいになるのでしょうか？高層ホテルの全客室の床面積も含んで、こんなに大きなカジノでも3%以下というのでは納得できません。一般客・ファミリー客との動線分離も含めて、概要レイアウトを次回のIR素案で提示してください。 | 参考 | |
| 820 | カジノ面積についてIR法でカジノはIR施設の床面積の3%以内と決められています。それは高層ホテルの全客室の床面積を含むのでしょうか？素案では、マリナーベイサンズのレイアウトを挙げて、カジノも紹介されていますが、この例ではカジノは何%ぐらいになるのでしょうか？高層ホテルの全客室の床面積も含んで、こんなに大きなカジノでも3%以下というのでは納得できません。一般客・ファミリー客との動線分離も含めて、概要レイアウトを次回のIR素案で提示してください。 | 参考 | |
| 821 | IR全体の中で、カジノの床面積はIRの「3%以下」とされます（IR法）が、山下ふ頭は4.7haで、建蔽率は80%、容積率は400%です。3%以下といっても4.5haとなります。建築基本法の規制が緩和されれば、更に巨大なカジノのが可能です。「素案」はその点でも横浜市の見解にまったく触れていません。明確にすべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 822 | カジノが支える事業モデルカジノ賭博場はIR全体の床面積の「3%以下」と市長は説明します。IR法で定められたことです。「以下」ですから、1%でもいいことになります。しかし、「世界最高水準」のIRのためには、〈世界最高〉規模のカジノを！と業者は提案するでしょう。横浜市はそれ容認するのですか。規模が大きければ大きいだけよい。(収益が上がる)というものではありませんが、カジノがIRの稼ぎ頭となることが期待されることは確実です。横浜市はどの程度を目標(許容)としているのですか。 | 参考 | 日本型IRにおけるカジノを行う区域の床面積は、IR施設全体の床面積の3%以内と法令で定められています。〈方向性P.46〉 詳細は、今後の事業者公募を通じて、具体的な提案を求めていきます。 |
| 823 | 床面積3%でも巨大カジノ～市の見解を示せ山下ふ頭は47 [㏊] 。再開発計画では、建物の建築基準は、建蔽率80%、容積率は400%。高さ制限は31mに定められています。その3%という容積にしても巨大になります。単体でも世界最高規模のカジノ賭博場が可能です。歯止めしなくていいのですか。横浜市の見解、見識が問われます。こうした判断基準なしに、事業者とどうい話をするというのですか。明らかにすべきです。 | 参考 | |
| 824 | 横浜IRにおいて、カジノの果す役割は小さくありません。「世界最高水準」のIRを支えるには、それなりの規模のカジノが必要だからです。IR整備法では、全体の3%以下とされますが、全体の規模(床面積)如何では、3%といっても、相当なものに成りえます。市としてどの程度の規模が、「世界最高水準」の横浜IRにはふさわしいと考えているのですか。事業者の要望に準ずるのではなく、横浜市自身の自主的な責任ある判断(考え)を示すべきです。それを欠いて「IR整備計画」の作成に入るべきではありません。「IR施設整備計画」に入る前、「まで」に示すべきです。 | 参考 | |
| 825 | カジノの面積は、IR区域の「3%以内」というが、そもそも、「区域整備法」で、どうい建築基準を定めるのか。山下ふ頭については47haとされるが、その地について建築物の高さ制限、容積率をどう定めるのか。その如何では、「床面積3%以下」といっても巨大なカジノが建ち現れうる。 | 参考 | |
| 826 | 「カジノの床面積は、IR全体の3%以下」としてIR整備法は規定しています。しかし、そのことは、IR全体の収益比率でカジノの占めるものが小さい(3%以下)ということでは全くありません床面積でも、IR全体の「3%以下」と「小さいものだ」という印象を強調していますが、そもそもIRが全体としてどのくらいの床面積の建築が可能なのか確認されるべきです。そのことなしに、「3%以下」といっても、〈巨大なカジノ〉ができるのです。さらに、建築基準法の規制が、この「山下ふ頭再開発」の計画と同じであるかどうか。区域整備法の制定の中で、高さ容積率が更に緩和され、超高層の建築が可能にされるのではないかとすれば「3%以下」の床面積は更に膨らみます。この点明確にすべきです。 | 参考 | |
| 827 | 対策を万全に、すばらしい社交場をつくってほしい。 | 参考 | カジノ施設は、20歳未満の者やファミリー層等が利用する主動線から分離された適切な配置計画やデザインとするとともに、落ち着いたエントランス、室内の内装により、エレガントな非日常を感じられる大人の社交場とします。〈方向性P.28、46〉 |
| 828 | 横浜には大きなプール施設がないので、プールが出来るのは楽しみです。将来子供が産まれたら連れて行ってあげたいと思います。そのためにも、カジノ等対策をしっかりとさせていただきたいと思っています。 | 参考 | |
| 829 | 世間でIRを批判している人のどれだけが「IR=カジノ」ではないことを正しく知っているのかと思いました。私はIRができるのはいいと思いますが、賭け事は少し怖いので、もしホテルに宿泊していないような一般客も入れるようなモールや施設ができるのであれば、ファミリー層の宿泊施設の動線とカジノの場所を分けるように、一般客の動線とカジノを分けるのがいいと思います。 | 参考 | |
| 830 | IR楽しみです。街中のパチンコのようにではなく、大人の社交場としてのカジノをつくってください。 | 参考 | |
| 831 | 節度をもって楽しめるカジノは大変楽しみにしている。 | 参考 | |
| 832 | 日本に、横浜に、賭博場ができるのは大反対です。先日、報道で、アメリカでカジノを作った建築家の話がありました。カジノはIRの中で面積がせまいんだとくりにかえし、その悪の影響は少ない、と市、市長さんは力説しています。が、その建築家の方は建築する際、一番大切な事は、その建物の中を通る時に、賭博場を通るように作らなければ自分の仕事は失敗だと。つまり入口、出口、保育園に行く時もそこを通らなければならないこの幼児は小さい時からこの場所にならされ、いつかは自分もここを使えるのだと教育されるのですね | 参考 | |
| 833 | そもそもカジノは、ギャンブルですから、依存性が高く、カジノに入る動線が、劇場やホテルに行く動線になっているのです。まさに、カジノに行く次の世代を(現、21才未満)育成している。 | 参考 | |
| 834 | 施設計画ではカジノは他の施設とは別のエリアに設けるべき、特に子どもや青少年の利用する施設とは別にしてください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 835 | 「大人が金を賭けて遊ぶ姿」が容易に子供の目に入る環境は、悪い教育環境と考えます。大人の姿を見てギャンブルに興味を持ってしまった子供に「青少年の入場規制」対策をしても、手遅れであり、不十分です。 | 参考 | カジノ施設は、20歳未満の者やファミリー層等が利用する主動線から分離された適切な配置計画やデザインとするとともに、落ち着いたエントランス、室内の内装により、エレガントな非日常を感じられる大人の社交場とします。〈方向性 P.28、46〉 |
| 836 | カジノがよい | 参考 | |
| 837 | カジノはファミリー層の主動線から外れた所に作るとの事ですが、I R内の街並に溶け込んだ建物、出入口とし、特別な場所、怪しい場所というイメージを持たせないデザインとする事で、横浜I Rがカジノの存在により悪いイメージを持たせない1つの方策となると思います。 | 参考 | |
| 838 | カジノは条件付で賛成。お金持ちがカジノ、(I R)に来て、結果的に市収入が増える事に大きな問題はない。入場料を高くしてよいと考える。お金持ちがこのカジノに行こうと思う様なレベルの施設が必要。 | 参考 | |
| 839 | I Rについては、人口減少と税収減少への対策として、良い案だと思います。ただ、カジノ併設という暗いイメージが浮かんでしまうのを、何とか払拭したいです。カジノエリアへの入口は子ども達が、遊ぶ所から離れた場所にして、I Rそのものは、親子で楽しむことができる明るく清潔な所にして欲しいと思います。 | 参考 | |
| 840 | 報道で“カジノ”主動線から隔離、記事を見て驚嘆する！カジノ施設は多くの客が行き来する主要通路から見えない場所に設置することを条件とした…とある。実施方針案を策定した人は専門家ではないことが明確だ。何故かと言えば誰もが見えないあえて言うならば視覚の届かない通路からI R内カジノ業者が出入りするとなれば闇での行為が横行し犯罪の巣となる区域をあえて市が設けることになる。これは大きな間違いなので改めて考えた方がよい。他I Rカジノ誘致の否定は他の多数市民と同意見である。 | 参考 | |
| 841 | ショッピングセンターなどに通ってカジノを身近に感じた子どもたちは、大人になって、数居の低いカジノにはかんとんに通ってしまいます。 | 参考 | |
| 842 | 維持費はほぼカジノの利益からの運営という事なので、個人的には横浜I Rは反対。さらに、将来のために、ガラス張りにし、子供たちが、その鮮かさを見られるようにするという全く許しがたい設計です。子供達の将来をどう考えているのか！そう考えると横浜I Rだけではなく、日本のどこにもカジノは要らない。 | 参考 | |
| 843 | 「横浜の中心」に近いのに、「市街地と分離された」という文はまったく意味不明です。「埠頭」だから「市街地と分離され」ているとでも言いたいのでしょうか？すぐ近くに山手の住宅地があります。山下公園は親子連れの子が訪れる憩いの場です。カジノがこれほど都心部の近くに立地している国はありません。一般市民がカジノに入りやすくなる危険性が極めて高くなります。 | 参考 | |
| 844 | I Rの方向性であるが横浜の将来にI Rはいらないと思う。精神科医の団体もカジノによるギャンブル依存症に警鐘を鳴らし、反対の立場をとっている。I Rの設計者によるとI Rでは施設内を移動する際必ずカジノを通るように設計されているとのこと。I Rにおけるカジノのスペースが3%以下といっても構造的にファミリー層の子ども達がカジノに近づくリスクもある。税金を使って作るべきものではないと思う。 | 参考 | |
| 845 | 「横浜の中心」に近いのに、「市街地と分離された」という文はまったく意味不明です。「埠頭」だから「市街地と分離され」ているとでも言いたいのでしょうか？すぐ近くに山手の住宅地があります。カジノがこれほど都心部の近くに立地している国はありません。一般市民がカジノに入りやすくなる危険性が極めて高くなります。 | 参考 | |
| 846 | 横浜のI Rについて、私は賛成でも反対でもありません。結論はやってみないとわからないと思います。Gパン、Tシャツで入場自由なカジノこそ理想だと思います。私が一番恐れるのは、横浜市も多くの金額を投入してカジノを始めたら予定の収入が無く閉鎖するようなことになったら、市民の税金の無駄遣いにならないかということに尽きます。 | 参考 | |
| 847 | カジノは比較的裕福な方をターゲットにした、社交場も兼ねた遊び場です。高額な入場料、マイナンバーカードの提示など、入るのにすら高いハードルがある中で、私たち一般市民は社会勉強のようにカジノを数回経験できたとしても、巻き上げられた、と感じるほど利用して金銭を投下するのは難しいと思います。市民がカジノを利用したことによる事業者の利益は、リゾートの一環として、娯楽として、健全に楽しませていただいた結果の利益であり、金額的にもさほど期待できないと思います。海外カジノで楽しむVIPを多く呼び込む工夫が、横浜I Rの成功の鍵だと思います。 | 参考 | |
| 848 | 横浜I R、賛成！カジノはイメージが良いので行ってみたい。入場料が高いし、身分証の提示というハードルもあるので、庶民はそうおいそれと行けるものではないけれど、だからこそいいと思う。どうせつくるなら、ラスベガスがびっくりするぐらい素敵なI Rにしてほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 849 | カジノは楽しい社交の場です。存在自体が悪いとは全く思いません。カジノでの遊び方を学ぶ機会を、子どもにも大人にもつくといいと思いますよ。横浜IR、賛成です。 | 参考 | カジノ施設は、20歳未満の者やファミリー層等が利用する主動線から分離された適切な配置計画やデザインとするとともに、落ち着いたエントランス、室内の内装により、エレガントな非日常を感じられる大人の社交場とします。＜方向性 P.28、46＞ |
| 850 | カジノを利用される想定の人々として、おそらく多くの方が思い浮かべている現在ギャンブル依存症で苦しんでいるような方々ではなく、私たちに簡単には想像し得ないような富裕層の方々を主に想定しているとハッキリ表現すれば、不安も少しは解消されるように思います。さらに、概要に引用されているイメージ画像からは多くの一般市民が気軽に利用できるような雰囲気とはとても思えません。そのあたりの表現を上手く工夫すれば、依存症に関する不安は軽減できる余地があるのではないかと思います。何にせよテクノロジー等でしっかり管理されたカジノを想定しているともっと明言し、イメージのズレを解消してはどうでしょうか。 | 参考 | |
| 851 | 46ページ：「カジノ施設を主動線から隔離する」と言いますが、カジノ業者がこれを受け入れない場合、IR計画が没になります。その覚悟があるのでしょうか。 | 参考 | |
| 852 | 家族でシンガポールに旅行したときの感覚として、宿泊したホテルから徒歩でマリナー・ベイ・サンズホテル、向かいのガーデンズ・バイ・ザ・ベイに行きました。沢山の観光客、現地の人たちが歩いていました。ショッピングの途中にカジノがあるのですが、この前だけは特別な雰囲気、黒服だらけ、子どもたちと足早に通りました。雰囲気悪いです。 | 参考 | |
| 853 | 地域の家族連れまで満足させる多様なニーズに応えるホテル群。IRにカジノは禁止すること。子どもを持つ家族はカジノへは入れない。カジノを持つホテルが子どもを持つ市民を満足させるとは到底思えない。 | 参考 | |
| 854 | IR運営の基本財源となるカジノ施設に対する市民の反発は予想されていたとはいえこの事業を進める上で、大きな障壁となっているように思えます。横浜IRとしては、欧州型の大人の社交場としての（横浜らしい）施設を目指していただきたいと思えます。横浜IRは今後の自治体運営を大きく左右する大事業であると認識していますので関係者の方々のご努力に期待しています。 | 参考 | |
| 855 | P.46(2)ー2必要な機能・施設。カジノ施設「主動線からの隔離された適切な配置」となっているが、マカオなどの例に見るようにカジノ機器などが導線から見えないように入り口に工夫を凝らすことを明記してもらいたいと考えます。 | 参考 | |
| 856 | カジノ入場の際し、男はネクタイ、女はカクテルドレス。ドレスコードをもうけること。 | 修正 | |
| 857 | ジャケット着用や、ミニスカ禁止など、ドレスコードをきちんと作って下さい。 | 修正 | |
| 858 | カジノをつくるのであれば、パチンコやゲームセンターのようなものではなく、ヨーロッパや、モナコにある格式の高いものをお願いします。一般の人が行きにくければ依存症になりにくいのではないのでしょうか | 修正 | |
| 859 | IRにできるカジノはドレスコードなど、大人の社交場にふさわしい規制を設けて、庶民がフラッと入れないようにすれば、よい | 修正 | |
| 860 | 横浜にカジノを作るという計画に賛同し進捗状況を興味深く見守っております。入場料案が大変高額です。主催者側もカジノを博打ととらえているのではギャンブル依存症対策ならば厳格なドレスコードを提案いたします。カジノは健全な大人の社交場です、遊技場ではありません。社交場にすれば賭場にするかは厳格なルール（マナー）次第です。日本国民を大事な客人として迎え入れるカジノであって欲しい。 | 修正 | |
| 861 | カジノにはドレスコードを設けるなど、風紀には気を付け大人の社交場として節度ある場として欲しい。 | 修正 | |
| 862 | カジノに関しては、悪いイメージが大きいからそうではなく、娯楽として良いものに変えていけばよいと思うし、実際にそういう娯楽施設・文化にすべき。それが（カジノに）反対する善良な市民に対する報いであると考えます。すなわち、ゴルフみたいな娯楽の一つとして、マナーを守る紳士・淑女だけが楽しむことが許されるゲームであり、お金を費やして華やかな時間を過ごす場所である。決して、ひと山あてようとする人々にアピールするのではなく、そういう人々を集わせないようにする。 | 修正 | |
| 863 | IR賛成しています。カジノにドレスコードが必要です。格式高いカジノにしてください。 | 修正 | |
| 864 | IR賛成。カジノではドレスコードをもうけて格式の高いものを目指してください。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 865 | カジノは普段着で何度も通えるパチンコ屋や、東南アジアのカジノで見られるバクチ場のなとところは全く違い、ドレスコードもあり、格調高い社交場的であり非日常を味わえる所とする事を提案します。こうすれば海外の富裕層も呼び込めるし、一般市民に取っては敷居の高い所となり繰返し通う事が抑制され依存症の抑制にもなると思います。 | 修正 | 横浜IRは、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも幅広い客層が安心して楽しめる都市型リゾートを目指しており、カジノ施設は大人の社交場としてふさわしいドレスコードを設けるなど、品位と清潔感のある空間とすることとし、方向性1「世界最高水準のIRを実現」を一部修正しました。＜方向性P.28、46＞ |
| 866 | カジノはドレスコードが必要。一流の服が着れる人しか入れないと思っています | 修正 | |
| 867 | パチンコやる層が簡単に入らないようドレスコードを設けてほしいです | 修正 | |
| 868 | IR賛成です。カジノを心配している人が多いみたいですが、その人たちは海外のカジノを見ていないと思います。ぜひともパチンコなどのギャンブルとは全く違う、大人が節度を持って楽しめるモナコのような海外の品格あるカジノを目指してください。 | 修正 | |
| 869 | 誤解を避けるために、IRの中でのカジノの位置づけを明確に示すべき。カジノの機能は、「高級で上品な非日常的空間を提供する」にある。欧州のリゾートでは、入場にはタキシード着用が原則の所もあるように、観劇やパーティと同様に、普段着ではなく「きちんとした格好で行くべき場所、フォーマルウエアやおしゃれを楽しむ場所」ということを説明すべき。それゆえに、高級レストランや高級ホテルに囲まれた地域に配置する、会員制にする、1週間以上ホテルに滞在するお客さんには、臨時の会員権（有料）を発行するなどの詳細説明も必要。 | 修正 | |
| 870 | 横浜市が考えているIRには場所柄、グレードの高いエンターテインメントなどを取り入れたワールドワイドな観光産業を目指していることを私は評価している。要はここでエンジョイしようと集まる人たちが真の紳士淑女だけにすればよいこと。最低限度ネクタイ着用。それだけステータスをホテルは求め、サービスも提供し我々も受け入れていた。世界最高のエンターテインメントを楽しむにはそれなりの入場者にステータスをもとめたらよい。 | 修正 | |
| 871 | 世界最高水準のIRの横浜のカジノは、現状の公営ギャンブルとは一線を画し、世界の紳士淑女の社交場というコンセプトが良いと思います。そこで、現在ご提示されている施策の実施に加え、入館のドレス・コードは男性がタキシード、女性は正装でドレスアップする。または、これに準ずる服装。それら以外は不可。を運営業者に対するガイドラインとして設定することをご検討いただけますでしょうか。街の雰囲気は良くなるのではないかと思います。 | 修正 | |
| 872 | そもそもカジノについての記載がほとんどないのが、おかしいです。訪問者数及び消費額の大部分を占めるのがカジノと言われているのに、それへの記述がないのは、妙に隠していると思えません。私は、カジノは絶対に反対です。 | 参考 | カジノの詳細については、今後、国のカジノ管理委員会の規則で定められることになっており、これらに基づき適切に事業が進められます。＜方向性P.83＞ |
| 873 | 和服の女性が、つばを振って丁半をかける、昔映画で見たような丁半ばくちも、日本の文化として、映画上映なども含めて、世界に紹介してほしい。そういうコーナーをカジノ内に作って欲しい。 | 参考 | |
| 874 | 世界のどこにも無い、日本的なカジノメニュー（ハンोरチヨウとか…）を入れてみる。時代劇好き層は、一度やってみたい | 参考 | |
| 875 | IR楽しみです。海外の富裕層を対象にしたジャンケットなら、あっても良いと思います。 | 参考 | |
| 876 | IR賛成です。国にジャンケットを認めさせれば良いと思います。せめて外国人だけにするとかは？ | 参考 | |
| 877 | カジノ税の適切な徴収・IR事業者の売り上げの透明性担保について、IR事業者から徴収するカジノ税について、横浜IRへの市民理解向上のため、適切な徴収かつ事業者に対する透明性の高い売上げの管理が必要と考えます。 | 参考 | |

3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

3.3 横浜IRの方向性2 都心臨海部との融合 に関するもの

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 1 | 世界最高水準のIRってどうでしょうか、世界が注目するのでしょうか、大いに疑問に思います。特にカジノが何故必要なのでしょう、カジノこそ魅力ある横浜を壊してしまうのではないかと、断固反対します。市長さんは市民の声をもっと聞いて下さい。安心の街横浜を願っています。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 |
| 2 | 横浜らしいIRの導入に向けて、早々に以下のより具体的な方向性を示して下さい。ピジターの都市・横浜は本当に必要だと思います。この具体的なイメージを「横浜らしさ」として示してほしい。シンガポールやマカオと何が違うのか？が分からないので。 | 参考 | 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 |
| 3 | 横浜のイメージダウン | 参考 | 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。<方向性P.47、69、77、83> |
| 4 | カジノ施設併設の推進派の意見は、カジノ施設設置のデメリットに全く言及しておらず、経済発展効果のデータも不明瞭で実現性に乏しいものと思慮します。以上、横浜IRにはカジノ施設は不要であり、地域の健全発展を阻害する大きな要因となり得ることから、反対します！ | 参考 | |
| 5 | 横浜IRの建設反対です。港の美しい処に賭博場、作られてはたまりません。 | 参考 | |
| 6 | 海外の賭博場(カジノ)を見学に行ってください。外から見た出入り口の風景は、一人の背広を着た男が無口で立っています。ドアはあけたまま、中は暗くて見えない。入り口周辺は、この建物の付近だけは、ほとんど人が通らない。時々客が来て(ほとんど一人で)黙ってすっと入っていく。本来にぎやかな通りの一角だが、この入り口付近だけは異様な雰囲気漂っています。みなとみらいの一角にそんな場所ができるのです。子供を連れてゆっくり歩くなど到底できません。何が“リゾート”ですか。 | 参考 | |
| 7 | “賭博屋の金が頼りの街に落ち” どうか日本人らしく、道徳観を忘れずに冷静にお考えになり、金に惑わされずに、横浜の知性と品格を守ってください。あなた方の判断で、開港以来の歴史ががらりと代わるかもしれません。 | 参考 | |
| 8 | 横浜の良さを破壊するのは本当に反対です | 参考 | |
| 9 | カジノを含む、IRは反対です。山下公園に隣接する土地にギャンブルなど許せません。依存症を増やし、横浜のイメージをそこないます。“カジノの街”横浜にしていいと思ってるのですか。絶対反対です | 参考 | |
| 10 | 「港横浜」としてのイメージを落す様な計画はいやです。お願いします！！ | 参考 | |
| 11 | 横浜のイメージが悪くなる。IRができれば港方面に行きたくなる。 | 参考 | |
| 12 | カジノによって横浜市イメージダウンが心配されます。 | 参考 | |
| 13 | 市民の憩いの山下公園を子、孫に残し、ギャンブルの町にしたいありません | 参考 | |
| 14 | 山下公園やみなとみらい地区に多額の税金を投入して整備をしてきて、やっと『良い横浜市のイメージ』が形成されてきたと思うが、この流れを無にしかねないカジノの実施である。 | 参考 | |
| 15 | 横浜の良いイメージが損なわれる。港湾と観光に力を入れるべき | 参考 | |
| 16 | IRとはカジノホテル劇場レストラン国際会ぎ場スポーツ施設ショッピングモール等の複合施設と聞いています。港の山下公園周辺にはカジノ以外は整っているのではないのでしょうか。静かで落ち着いた環境を上品な町にしたいありませんので反対します。「額に汗して働く美德」を捨て賭博を成長戦略の目玉にすることは日本の美風の伝統を捨てることで好ましいこととは思えません。 | 参考 | |
| 17 | 横浜の歴史等ブランドを損なうカジノ付IRに反対！このままカジノ付IRの「横浜IR」を目指すなら、横浜市は、歴史、伝統、文化景観を破壊し、未来のみならず横浜市民に対しても大きな禍根と負債を残すことになります。 | 参考 | |
| 18 | IR大反対です 横浜の文化、歴史日本の中でも素晴らしく誇れるものがたくさんあります。安直なカジノ人寄せは横浜には合いません 港町をもっともっと大切にし心豊かになる街づくりを望みます。遊びの街では無く文化の街を。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 19 | カジノ誘致大反対。美しい横浜にカジノはいりません！！ | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜インベションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞ |
| 20 | 「横浜らしさ」にカジノは不要です。開港に始まる横浜の伝統、文化、歴史を破壊し、個性のない、治安の悪い都市に貶めてしまいます。 | 参考 | |
| 21 | 「横浜らしさ」にカジノは不要です。開港に始まる横浜の伝統、文化、歴史を破壊し、個性のない、治安の悪い都市に貶めてしまいます。横浜市は国に追随するばかりで、市民利益優先の判断をしていません。カジノの賛否を表明せずに当選した市長は市民の正当な支持を得ていません。市民の反対の声を真摯に受け入れるべきです。 | 参考 | |
| 22 | 日本の、世界のあこがれの街ヨコハマ。そこを金と欲にまみれた街にしたいけません。とばく場はヨコハマに似合いません。キツパリやめてください。 | 参考 | |
| 23 | 横浜の品位に全く逆行する政策です | 参考 | |
| 24 | 横浜の歴史、文化、景観を大切に、夢や未来の物語を体感できる事業をやるために、市民の力を結集して進みたいです。カジノは反対です。 | 参考 | |
| 25 | 日本人そして横浜にカジノは馴染まない。日本人、横浜一市民としての情緒的な、しかしながら尊いそのDNAめいたものから湧き出てくる本能的に日本を護ろうとする確かな想いからだ。次世代に「悪」へのゲートウェイたるものを造って遺してはならない。 | 参考 | |
| 26 | 横浜には、カジノ付きのIRは不具合で不必要である。 | 参考 | |
| 27 | 横浜というイメージを悪化させても、市長は責任とれるのだろうか。 | 参考 | |
| 28 | 明治以降築いたプラント（＝港町横浜）を破壊する。 | 参考 | |
| 29 | カジノ誘致は絶対反対。横浜を品格の無い街にしないで下さい。 | 参考 | |
| 30 | 山下埠頭にカジノを作ってほしくありません。「横浜の歴史と文化にカジノはふさわしくない！！」が市民の願いです。一度つくってしまった元には戻せないと思います。負の遺産を孫子の代には残したくありません。大好きな横浜を残したいのです。 | 参考 | |
| 31 | 私の認識では、横浜＝港町ですが、IR構想が実現すると横浜＝カジノ（賭場）となります。イメージダウンが著しく、カジノを含むIRには反対です。横浜の将来を担う子供達にも悪い影響を与えます。もし、IRが完成するなら市外への転居を考慮しています。 | 参考 | |
| 32 | もし、カジノ作るとするなら、横浜の環境が大きく変化し、これまでの横浜らしさが失われます。 | 参考 | |
| 33 | 横浜市は、『進取の気概』をもって、諸外国の文化を取り入れ、上手に融合させて独特の文化、つまり横浜らしさを創ってきました。私は、横浜の良さを無くしてしまうカジノをつくるくらいなら、税金を少し多めに払ってもかまいません。 | 参考 | |
| 34 | 横浜は、歴史の街で、開放的な自由な街です。親子が、海を見乍ら、散策をゆったり楽しんでます。（お台場等より、心が開放的になります）そんなところに、横浜革新のカジノはいりません！！ | 参考 | |
| 35 | 横浜をこよなく愛するからこそ「横浜にカジノ」は絶対不要！美しい横浜を「カジノ」から守りたい。カジノ反対！ | 参考 | |
| 36 | 愛するミナト横浜の街に金と欲にまみれたカジノはいらない！ | 参考 | |
| 37 | 横浜の街に金と欲にまみれたカジノは似あいません。カジノは絶対反対です。 | 参考 | |
| 38 | 明るく、平和な、横浜の街を変えないで下さい。カジノ（IR）は、絶対に反対です。 | 参考 | |
| 39 | 横浜開港いらい最悪の汚点となる。誘致は横浜にふさわしくない。 | 参考 | |
| 40 | カジノは横浜のブランドイメージを破壊する。 | 参考 | |
| 41 | カジノには文化の香りが乏しく、国際港都市としての品位に欠けます。関東大震災、戦災後の荒廃した横浜を復興した先人たちは、賭博場にするために苦労したのではないと思います。 | 参考 | |
| 42 | 横浜は歴史と文化・伝統のある、私たちが愛する街なのです。横浜へのカジノ誘致はいけません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 43 | カジノは絶対反対です。孫が安心して暮らせるためにも環境（今の）を絶対まもりたいです。 | 参考 | <p>日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。</p> <p>しかしながら、現在の海外におけるＩＲ事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。</p> <p>日本型ＩＲにおいても、ＩＲ整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。</p> <p>横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションＩＲ』を目指していきます。＜方向性 P.47、69、77、83＞</p> |
| 44 | 横浜の安全・安心な、市民の豊らしのためにカジノは必要ない。 | 参考 | |
| 45 | 建設予定地と近いことから、子供への悪影響は拭い去れません。カジノが無ければ賛成ですが逆にカジノが無ければ経済効果が無いのであれば作る必要がないと思います。子供が学校から帰る時間が不安です。 | 参考 | |
| 46 | 横浜の歴史が汚される | 参考 | |
| 47 | 住みやすい街がこわれるのでカジノは反対です。 | 参考 | |
| 48 | 横浜はイメージの良い所としてよく知られていると思います。ＩＲの中にカジノが入ることでそのイメージが下がると思います。 | 参考 | |
| 49 | カジノのイメージは、ラスベガス、マフィア、ゴッドファーザー、一部の大富豪がパニーガールを侍らせ、グラス片手に葉巻を燻らせ、ルーレットやカルタに興じている、等イメージが悪すぎ、横浜に相応しくない。 | 参考 | |
| 50 | 横浜の街の雰囲気は、ガラが悪くなります。生まれ育った横浜を変えないで下さい。 | 参考 | |
| 51 | 横浜のイメージを損うようなことはしないで下さい。カジノ反対！どうぞお願いします。 | 参考 | |
| 52 | 横浜で生まれ育ち、横浜に住み続けている者として、カジノ（賭博所）誘致には、断固反対します。横浜は長い歴史の中でも早々と海外に門戸を開き、果敢に新しい文化を取り入れ、定着させ、横浜ならではの、伝統文化として、発展させて来ました。この、斬新さと、伝統を大切に守る保守的な一面との融合こそが、横浜の魅力であろうと私は思っています。しかし、今回の、ＩＲ構想、カジノ誘致は、その横浜の魅力をぶち壊すもの以外の何ものでもないと考えます。 | 参考 | |
| 53 | 横浜ＩＲ計画方向性、中でもカジノを含む事に反対です。子供や孫の為にゆっくり確実にすばらしい横浜やさしい心のある横浜であればおのずと世界から人々は集まって来るはず！最先端のテクノロジーはいらない | 参考 | |
| 54 | とても長い間横浜で落ち着いた生活が出来ていたのにこんな施設は絶対に反対です。市が財政的にゆとりが欲しいのであれば、もっと他の方法を考えて下さい。横浜のイメージに合いません。反対です。 | 参考 | |
| 55 | 横浜にＩＲ（カジノ）は反対です。横浜の魅力は山下公園を始め、港の見える丘、外人墓地、元町…等、丘陵地帯の緑の静けさです。歓楽的な“カジノ”など風紀を乱すものなど必要ありません。 | 参考 | |
| 56 | 横浜市に、住んでいる者として、この都市のイメージを悪くする“ＩＲ”に（反対です！！） | 参考 | |
| 57 | 横浜らしさをなくしたくないです | 参考 | |
| 58 | カジノは絶対反対です。子や孫のためにつくらないで下さい。横浜にはカジノは似合いません。 | 参考 | |
| 59 | 市長のおっしゃる「観光客は少ない、宿泊数は少ない。だからＩＲカジノが必要」は詭弁であります。ＩＲカジノは横浜が築きあげてきた文化をこわし、ハマの魅力を失わせます。 | 参考 | |
| 60 | 横浜にＩＲカジノはいらない！小さな横浜村が大都市横浜になりました。そこには幾多の試練を乗り越えてきた先人達の努力の歴史があったと思われま。この誇りある横浜の歴史の中にＩＲカジノが刻まれることがないように切に望みます。 | 参考 | |
| 61 | 横浜で生まれ育って住みたい町に常にランキング上位であることに誇りに思っています。未来の横浜が、明るく綺麗なカジノを含まない開発を望みます。 | 参考 | |
| 62 | 異国情緒の横浜、神戸とは別の意味での横浜この横浜のイメージダウンとなるＩＲ誘致には賛成できません。 | 参考 | |
| 63 | 一歩足を踏み入れたら、人生台無しになるものです。他国はきらびやかでお金が沢山まわって、いるイメージはありますが…悪影響を考えたら、西区や中区に住んでいる市民たちはそこに住んでいられないだろうし、私も横浜にずっと住んでますが、引っこすことになるだろうと思います。逆に税収マイナスになっちゃうんじゃないですか？ | 参考 | |
| 64 | せっかくの横浜・港町、安心して散歩できる山下公園近辺のイメージがくずれ、一般の旅行者も近よれなくなります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 65 | カジノは横浜の魅力をダウンさせるだけのように思います。 | 参考 | <p>日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。</p> <p>しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。</p> <p>日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。</p> <p>横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜インベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞</p> |
| 66 | 横浜市には多くの子育て世代が住んでいます。将来の日本のためにグローバルで活躍する人の育成が求められています。健全な教育環境に逆行するIR誘致は横浜市イメージに相応しくないと考えます。 | 参考 | |
| 67 | 横浜にそんなものができるのは恥ずかしい。横浜の歴史、伝統、文化、景観を大切にしてください。横浜をこわさないで。 | 参考 | |
| 68 | 永住する場所として横浜を選びましたがカジノが出来るなら転居を考えるつもりです。私の住みたい街ではなくなります。 | 参考 | |
| 69 | カジノ誘致を撤回してください。「日本のゲートウェイを目指します」とありますが、カジノIRを作ることでこれまで積み上げてきた横浜市のイメージ、財産は、全て消失するように思います。横浜の香りを文化を壊すこととなります。 | 参考 | |
| 70 | 横浜の街造りの歴史にIRを入れることは、出来ません。IR反対 | 参考 | |
| 71 | 近過ぎる。市民生活の場とカジノ（主に夜に活動か？）の場所が近過ぎるよう感じます。一帯のイメージは悪くなりますし、カジノのそばで子育てはしたくないでしょう。 | 参考 | |
| 72 | 横浜にカジノは、必要ないむしろイメージを悪くしています。 | 参考 | |
| 73 | 監視カメラなど、様々なセキュリティ対策を説明されていますが、アメリカを中心としたカジノ事業者やマフィアなど、治安悪化をあえて呼び込むような地域づくりには反対です。 | 参考 | |
| 74 | 一市民として、次世代の若者達に何が残せるかと考えた時、『カジノは無いでしょう』という気持ちから反対です。実際カジノに足を踏み入れた事もないので、良くは解かりません。横浜を、ギャンブラーの出入りする街にもしたくないし、そういう場も作って欲しくないで反対です。 | 参考 | |
| 75 | IRはギャンブルは損をする人がいて成立つ産業です。もうかるのは胴元です。損をして、破産していくような依存症を増やして、横浜市財政の一部になっても市民は少しも嬉しくありません。現在の横浜が全国に知られる港町のイメージでみんなで楽しめる観光都市として、充実するようにIRはやめて、推進して下さい。 | 参考 | |
| 76 | 清潔でオシャレな横浜のイメージは消え「私は横浜市民です」と胸はって言えなくなってきました。 | 参考 | |
| 77 | 住みたい都市No. 1の横浜を壊さないで下さい。 | 参考 | |
| 78 | 横浜市のあり方に何か、最も適さないのがIRカジノ。国際都市として最も相応しくないのがIR（カジノ）である。 | 参考 | |
| 79 | 絶対反対。横浜に悪いイメージを植えつけてほしくない。 | 参考 | |
| 80 | ぼくたちが大人になった時に負の遺産、を残してほしくない！横浜市のイメージが下がるぞ | 参考 | |
| 81 | カジノは絶対反対です。歴史のある横浜にふさわしくありません。 | 参考 | |
| 82 | カジノは絶対反対です。港町横浜のイメージを壊し、とばくの町にしてしまいます。美しい横浜を守り、健康的で明るい都市であり続けましょう。 | 参考 | |
| 83 | 集客の目玉としている「カジノ施設」は歴史ある港町、横浜には不要である。 | 参考 | |
| 84 | 国際観光都市横浜は日本中の世界中のあこがれの港です。その横浜にカジノはあってはなりません。 | 参考 | |
| 85 | 横浜のIRは反対です。文明開化の地、港、中華街、元町その他歴史があります。イメージがこわれます。 | 参考 | |
| 86 | 横浜には既に大型ホテルやコンサートホール、スタジアムなど揃っているのに、IRという呼称で誤魔化しても焦点は間違いなくカジノです。カジノは横浜には似合わないかと断言します。 | 参考 | |
| 87 | 今でも珍しく人口増加地域であり、住みたい都市NO1である。IRによって汚名を被ることはない。美しいヨコハマを守ってほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 88 | YOKOHAMAは山下公園、ホテルニューグランド、king. goon、みなとみらい、歴史と文化が共存しています。そのような町は、なかなかありません。町その物が文化に育てられ市民がいきい、カジノが必要でしょうか。大切なYOKOHAMAの宝がなくなります。反対です。必要ありません。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞ |
| 89 | 住みやすい横浜、きれいな横浜…等、そんな横浜に博打場は似合わない、要らない。 | 参考 | |
| 90 | 平和な横浜の町が汚染されます。私達横浜で生れ育った誇りを持っています。未来ある若者達に夢を持てる横浜になって欲しいです。絶対反対です。 | 参考 | |
| 91 | 今回のIRはヨコハマの評判をより上げるためと思いますが、カジノがあることでむしろ評判が悪くなると思います。カジノは賭博ですから。＜ヨコハマは賭博の街＞これではよいのですか？というレッテルがはられてしまいます。 | 参考 | |
| 92 | 港横浜にとってはイメージダウンでしかありません。誘致はしないで下さい。 | 参考 | |
| 93 | “横浜”が泣きます。 | 参考 | |
| 94 | 横浜のイメージダウンとなる | 参考 | |
| 95 | 金を目当てに、国内外の反社会勢力も暗躍するであろう。市民の安全・安心が脅かされる。このようにカジノは一般市民にとってよいことは一つもない。 | 参考 | |
| 96 | 絶対反対。横浜市品の品格を失う。「非」です。当りまえ。 | 参考 | |
| 97 | 横浜に公営ギャンブルはいりません。似合いません。ゼツタイ要りません。ダンコ反対です。 | 参考 | |
| 98 | カジノ誘致に反対します。世界にも知られたすばらしい観光地、横浜港町は、賭博でけがしてはいけません。 | 参考 | |
| 99 | 近代文化を先駆けて盛り上げた横浜にはカジノは全く相応しく有りません。 | 参考 | |
| 100 | 今回のカジノを、中心とする統合型リゾート（IR）誘致は、「良き横浜」を違う形に変えることと考えます。庶民のささやかな楽しみを奪うものです。横浜IRカジノ構想案に「反対」します。 | 参考 | |
| 101 | 横浜市カジノ構想は反対です。横浜にカジノを作らないで下さい。あらゆる文化の発祥地であり、世界にも誇る美しい横浜を賭博場にしないで下さい。 | 参考 | |
| 102 | 港町ヨコハマのイメージを下落させる。 | 参考 | |
| 103 | 横浜は品格のあるめいろうな街であってほしい。カジノ賛成の人にあったことないです。 | 参考 | |
| 104 | カジノは絶対反対です。横浜のイメージが悪くなる | 参考 | |
| 105 | IRは絶対に反対します。誰もが住みたい場所に横浜があります。そのイメージを無くして欲しくありません。 | 参考 | |
| 106 | たとえ、IRに様々なメリットがあったとしても、僕は横浜らしい町並みを維持していきたい、別にシンガポールみたいな輝かしい町並みじゃなくていいので、IRカジノ構想案に反対です。また、現在の横浜の経済面などでは、そこまで不便な事はなく、これ以上、豊かな生活を送ることよりは、もう少し自然であふれていた方がよいので、全くもってIRに魅力やメリットを感じられず、それよりも、今の横浜の町並みが崩れてしまうのではないかと、デメリットの方が大きいと、僕は考えているのでIRカジノには、相当のメリットがない限り反対です。 | 参考 | |
| 107 | 先人たちの努力もあり、横浜はすでに魅力的な都市です。カジノによってこのイメージを壊すことは、市長であっても許されません。 | 参考 | |
| 108 | 賭博場を開張せず、災害日本、もっと必要なお金の使い方、土地の使い方を考えて欲しい。 | 参考 | |
| 109 | カジノの入口として横浜の町にはしてほしくないです。横浜には文化的なものが港を中心にいろいろとあり地方から移り住んだ私達は、この町を誇りにしています。そういう場所、魅力的な横浜をカジノの町にはしてほしくないです。交通も発達し、関東から訪れる人も多くなり、観光の町として経済効果をあげてほしいです。文明開花の先導となる横浜にしてほしいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 110 | カジノはヨコハマのイメージダウンです。横浜が誇る山下公園や港、まさにその中心地に賭博場は許されるものではありません。ダメ！ | 参考 | <p>日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。</p> <p>しかしながら、現在の海外におけるＩＲ事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。</p> <p>日本型ＩＲにおいても、ＩＲ整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。</p> <p>横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションＩＲ』を目指していきます。＜方向性 P.47、69、77、83＞</p> |
| 111 | 私達の憩いの場である山下公園に「カジノ」とは、絶対に反対です。 | 参考 | |
| 112 | 横浜の街を文化的にも荒廃させます。 | 参考 | |
| 113 | カジノはヨコハマのイメージダウンです。 | 参考 | |
| 114 | 横浜には、誇るべき素晴らしい歴史と文化があります。カジノに頼らず、健全に成長・発展する横浜を次世代に引き継いでいきましょう。 | 参考 | |
| 115 | カジノはヨコハマのイメージダウンです。 | 参考 | |
| 116 | 横浜には、誇るべき素晴らしい歴史と文化があります。カジノに頼らず、健全に成長・発展する横浜を次世代に引き継いでいきましょう。 | 参考 | |
| 117 | カジノはヨコハマのイメージダウンです。 | 参考 | |
| 118 | 横浜には、誇るべき素晴らしい歴史と文化があります。カジノに頼らず、健全に成長・発展する横浜を次世代に引き継いでいきましょう。 | 参考 | |
| 119 | カジノはヨコハマのイメージダウンです。 | 参考 | |
| 120 | 横浜には、誇るべき素晴らしい歴史と文化があります。カジノに頼らず、健全に成長・発展する横浜を次世代に引き継いでいきましょう。 | 参考 | |
| 121 | 横浜のみならず、日本の素晴らしい文化を守っていく上でもカジノは絶対に必要ではありません！NO！カジノ | 参考 | |
| 122 | カジノはヨコハマのイメージダウンです。 | 参考 | |
| 123 | 横浜には、誇るべき素晴らしい歴史と文化があります。カジノに頼らず、健全に成長・発展する横浜を次世代に引き継いでいきましょう。 | 参考 | |
| 124 | カジノは絶対反対 ※横浜のイメージが変わってしまう | 参考 | |
| 125 | 横浜にカジノは似合わない。観光都市ヨコハマを進めている市はカジノ誘致の経済的メリットを謳っている。しかし開港以来、海や山もある立地を生かし370万都市に発展してきた日本のモダンな都市「YOKOHAMA」のイメージ・歴史を壊す愚策です。カジノは産業ではなく、所詮「賭け事」であり生産性はない。観光都市政策とは言えない。又、契約すれば40年覆すことのできない負の遺産になる。明治以降の日本を担い、関東大震災や戦後の焼け野原からの痛手を克服した市民です。明るく親しみやすい横浜のイメージを大切にしたいものです。 | 参考 | |
| 126 | 歴史、文化の窓口であった横浜にＩＲはそぐわない。もともとカジノは何もないところでやるべき。 | 参考 | |
| 127 | ＩＲは伝統ある文化の横浜にふさわしくありません。カジノ誘致の計画は撤回することを要請します。 | 参考 | |
| 128 | 日本の代表的な玄関口と云える横浜市を賭博の町と呼ばれたくないです。 | 参考 | |
| 129 | カジノはヨコハマのイメージダウンです。 | 参考 | |
| 130 | 横浜には、誇るべき素晴らしい歴史と文化があります。カジノに頼らず、健全に成長・発展する横浜を次世代に引き継いでいきましょう。 | 参考 | |
| 131 | 横浜ＩＲ（総合型リゾート）には反対です。横浜をふるさとと思いを愛している者にとってカジノは横浜のイメージに合いません。‘港町・明るい都市’のイメージにそぐわないです。 | 参考 | |
| 132 | 横浜市には、観光資源が少ないと市長はおっしゃいますが、大きな間違いです。海、船、港、中華街等、異国情緒あふれる街だからこそ観光客が絶えないのです。カジノはイメージを大きく損ねます。 | 参考 | |
| 133 | 横浜の美しい港を、“バクチ”が先行するようなイメージに変えないで！ | 参考 | |
| 134 | よこはまのイメージがわるい町に変わってしまう | 参考 | |
| 135 | バクチで横浜がけがれる事には反対！ | 参考 | |
| 136 | 横浜にカジノは設けしないで下さい。多くの人にとって掛けがえのない横浜です。わが愛する横浜を汚さないでほしいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 137 | 開港以来、横浜市民が築いてきた横浜の地を賭博場にしてはならない。カジノは、依存症患者を生み、横浜は汚染された地としてイメージされ、横浜への日本人旅行者・転入者は激減し、不動産価値も下がり、地価の下落を招く。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 |
| 138 | 横浜カジノには反対です。せっかく他県の人に自慢できる素敵な場所がIRができるイメージが悪くなり訪れたいなくなるからです。 | 参考 | 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 |
| 139 | 横浜の街を文化的にも荒廃させます。私の生れ育った街をカジノIRでこわさないで下さい。 | 参考 | 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜インベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞ |
| 140 | 横浜に賭場ができたらどうなるか？殺伐とした横浜を孫に残したくない。 | 参考 | |
| 141 | 横浜市、IRカジノ構想案に、「絶対反対」の立場で、下記意見を表明します。何よりも「横浜」のイメージ、「住んでみたい都市」1番の横浜が、「カジノ」＝「賭博」の名により、「壊れて」しまいます。そのことにより、「ギャンブル・賭博都市」のイメージをつくり出します。 | 参考 | |
| 142 | ヨコハマのイメージダウン | 参考 | |
| 143 | 中華街、伊勢佐木町商店街、元町、山下公園、外人墓地など横浜の良さを壊すような、「カジノ」は絶対、許せません。断固反対です。 | 参考 | |
| 144 | カジノはヨコハマのイメージダウンです。横浜が誇る山下公園や港、まさにその中心地に賭博場は許されるものではありません。ダメ！ | 参考 | |
| 145 | 横浜には、誇るべき素晴らしい歴史と文化があります。カジノに頼らず、健全に成長・発展する横浜を次世代に引き継いでいきましょう。 | 参考 | |
| 146 | IRカジノ構想案に絶対に反対です。美しい横浜をギャンブルの街にしたいありません。 | 参考 | |
| 147 | カジノは、横浜の文化・歴史・環境を崩し、横浜のブランドを失墜させる。「ハイカラで優しいまち」が「金と欲にまみれたまち」に変貌する。横浜開港以来、近代日本の文化を切り開き、先達たちが苦勞して築き上げた、横浜の良き歴史と伝統、環境を一気に根本から崩すものとなりかねない。横浜の中心地、一等地に賭博場（カジノ）はあってはならない。横浜市民が親しみ、誇りしている山下公園のすぐそばに24時間営業のカジノ施設は有害無益だ。港の見える丘から、ギンギンギラしたカジノの風景を望むことは誰一人望んでいない。 | 参考 | |
| 148 | カジノによりこの街の個性品格が失われたら取り返しはつきません。 | 参考 | |
| 149 | 「IRの横浜」のイメージが強くなり「明るい文化都市」のイメージが壊れ、今迄の様な観光客数が望めなくなる、と思われる。 | 参考 | |
| 150 | 歴史ある横浜の将来を汚すようなIRであっては決してならない。誘致した市長が、歴史に汚名を残すことがあっては決してならない。 | 参考 | |
| 151 | 私は美しい横浜がだいすきです。横浜とカジノは、ぜったいにそぐわないと思います。 | 参考 | |
| 152 | 日本全国どこでも「横浜」と言ったら、良いイメージの方がほとんどです。カジノがあると、悪いイメージになり、カジノ目的で来る方が多くなるので、横浜の自然や文化を大切にしてください。カジノはいらない。 | 参考 | |
| 153 | 歴史的にも文化の豊かな街がギャンブルの街というイメージが強い街に変化してしまうのは耐えられません。 | 参考 | |
| 154 | カジノは横浜の中心地の横浜カルチャーを壊すと思う。 | 参考 | |
| 155 | カジノ誘致反対。横浜の文化にそぐわない。目先の金儲けに走るのは横浜の文化を荒廃させる。 | 参考 | |
| 156 | 私達市民は、横浜の主人公です。圧制されてはならない。横浜の素晴らしい街・歴史・私達の誇りはめちやくちやになる。子、孫にそんなみじめな「我が街」を残してはならない。だから！カジノ反対！ | 参考 | |
| 157 | 横浜のイメージが悪くなります。 | 参考 | |
| 158 | 新しい楽しい場所を作るなら、子ども連れで安心して出かけられるところではなければ、観光客も減るのではないかと思います。東京に住む友人も「カジノができれば横浜のイメージが悪くなる。近寄りたくなる。」といいます。「横浜を訪れたい 横浜で活躍したい 横浜で暮らしたい」と思っている人が「カジノができるなら横浜はやめておこう」となると思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 159 | 健康的な横浜をギャンブル等でそこに集る人達は快樂のだけの行為でダークな不健康なイメージになります。市民として絶対許せない。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞ |
| 160 | カジノに強く反対します。日本の誇り横浜をカジノで汚染することを強く反対します。 | 参考 | |
| 161 | みんながあこがれるおしゃれな誰もが住みたい街。金と欲にまみれた街になる必要はナイ！！ | 参考 | |
| 162 | 世界に誇れる観光地であるミナト・ヨコハマをギャンブルで汚さないで下さい。 | 参考 | |
| 163 | 反対します。カジノは賭博・博打・ギャンブルであり、文明発祥の地である横浜市には、全くふさわしくないと考えます。 | 参考 | |
| 164 | カジノ誘致に反対します。横浜のイメージにそぐわないと思います | 参考 | |
| 165 | 港、横浜の歴史を汚す、海外からのばくちを導入するなど、もつてのほかです。横浜にはそぐわない | 参考 | |
| 166 | カジノに反対です。横浜は観光地としてはほとんど知られておらず、歴史的価値が非常に高い建物を含み、素晴らしい資産で溢れているにも関わらず、IRをつくったら、世界中に横浜＝カジノの街とだけ知れ渡ります。みなとみらいが閑散としてしまうことも明らかです。今ある横浜の魅力をメディアを使ってもっと発信する（＝観光キャンペーン）ことにお金をかけるべきです。 | 参考 | |
| 167 | 横浜の歴史、美しい港街を黒くぬりつぶす事はやめていただきたくペンをとりました。 | 参考 | |
| 168 | 横浜IR（統合型リゾート）に反対します。カジノは大なり小なり、少なからず、人間を狂わす…！日本を代表する港町、横浜の清潔さ、スマートさを汚したくない…！ | 参考 | |
| 169 | そのような地域を私たちは望んでいません。反対です。 | 参考 | |
| 170 | 横浜の品格を落とすカジノIRを誘致することは反対です。 | 参考 | |
| 171 | 横浜の品格を落とすカジノIRを誘致することは反対です。 | 参考 | |
| 172 | 横浜の品格を落とすカジノIRを誘致することは反対です。 | 参考 | |
| 173 | 素案から読み取れるのは、横浜IRの中心をなすのはカジノ事業だということです。カジノは言うまでもなく、賭博（場）であり、このような賭博場を、大々的に横浜市の中心地に据え、観光の目玉にしようとするのは、歴史ある横浜の風土を汚し、横浜を愛する市民を冒瀆するものです。ただちに撤回することを求めます。 | 参考 | |
| 174 | 横浜にカジノは要らない！絶対に反対です。爽やかで穏やかな品のよい横浜であって欲しいです。 | 参考 | |
| 175 | 「イメージ」は大切です。 | 参考 | |
| 176 | カジノはギャンブルです。横浜に賭博場を作らないで下さい。港・よこはまの歴史ある文明と豊かな住環境をこわさないでほしい。 | 参考 | |
| 177 | 横浜は日本の開港の街、文化と歴史にかがやいている街、その横浜にカジノは似合いません。横浜に文化とはにてもにつかない賭博場を開くのは止めて下さい。市民は今の市政のまゝでけっこうです。「人の不幸」を増収とすることは絶対に反対です。 | 参考 | |
| 178 | カジノ客はこのエリアのみに囲い込まれるだけで、「中小企業の振興・商店街の活性化」し潤すどころか、永年育んだ“横浜情緒”を壊滅させるために作るようなもの | 参考 | |
| 179 | 横浜IR（統合型リゾート）に反対します。カジノは大なり小なり、少なからず、人間を狂わす…！日本を代表する港町、横浜の清潔さ、スマートさを汚したくない…！守るのがプライドである。 | 参考 | |
| 180 | カジノ等賭博、遊興施設誘致に断じて反対！！生まれ育ち住み続けた横浜を汚さないで。勝手に誘致を進めないで！！ | 参考 | |
| 181 | IRで横浜、日本の空気を汚しては駄目です。絶対に！！百害あって一利無しです。 | 参考 | |
| 182 | 反対の立場からの意見です。横浜のイメージを壊さないで下さい。 | 参考 | |
| 183 | 歴史のある文明と豊かな住環境に恵まれた横浜市にふさわしくない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 184 | 歴史ある横浜の未来を暗くしたり、カジノ犯罪等が起こった時、責任を取る者を明記して下さい。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞ |
| 185 | 経済は終わりです。美しい横浜を、汚さないで下さい | 参考 | |
| 186 | 横浜港…日本の近代化の先がけとなった歴史や文化遺産に富み、異国情緒とロマンに満ちた観光地。この名所をギャンブルで汚せば、観光客も遠のく。「百害あって一利なし」＝横浜IRは中止しかない！！ | 参考 | |
| 187 | 「横浜」と聞くと日本でも世界でも人々が連想するのは「ハイカラでロマンチックな港町」です。カジノで連想されるのはラスベガス、シンガポール、マカオなど。カジノが出来た暁には、横浜と言えばカジノの街に連座すること間違いなしです。先人が営々と築いてきたおしゃれで住みやすい横浜が大きく変貌することは間違いありません。 | 参考 | |
| 188 | なぜ横浜にカジノ？横浜市は他都市と比べて税収が厳しく、少子高齢化に備えた経済効果をカジノで賄うと試算しています。アメリカではカジノ産業は斜陽化しており、今は宝くじが一番のギャンブル？となっていること、日本への進出は日本人の高齢者の預貯金を狙っていること、カジノ内では風俗営業なども行われていることなどを専門家から聞きました。暴力団が絡んだ治安の破壊、周辺地域の治安の悪化、ギャンブル依存症などなど負の遺産が多すぎます。 | 参考 | |
| 189 | 何よりも文明開化、ハイカラの街に合わない。 | 参考 | |
| 190 | 皆こぞってカジノで横浜が汚されることに猛反対しています。私たちの横浜をカジノで汚さないで下さい。品のない横浜にしないで下さい。 | 参考 | |
| 191 | 横浜のイメージも暗くてダークなイメージになる。 | 参考 | |
| 192 | 私はカジノに反対ではありません。日本には公の博打場は多数存在します。競輪競馬が良くてカジノだけが悪いというのは理論的にも客観的に見てもおかしい。是非、実現させて頂きたい。 | 参考 | |
| 193 | 私が暮らす横浜市にカジノは不要で有ることをまず明確に主張しておく。横浜市長や政府はカジノによる主に外国人観光客の集客を目論むが、それは大きな間違いで、日本に来る外国人観光客は今の日本が良くて来るのであって、カジノに来たいわけではない。むしろカジノができることでイメージが悪化し、客層も変わり全体的に観光客の劣化が進むリスクが高いと考える。 | 参考 | |
| 194 | みなとみらいのイメージ低下等の弊害を考慮したら、メリットがあるのか疑問。みなとみらいはIRなど無くても十分魅力的な街です。「IRありき」ではなく、冷静に考え直して白紙撤回していただきたい。 | 参考 | |
| 195 | 地名、及び地域のイメージ低下 | 参考 | |
| 196 | ギャンブルがある街横浜という悪いイメージにもつながります。 | 参考 | |
| 197 | 横浜市長は、長らくIRに関しては「白紙」とし、実施する・しないを明確にしていなかった。その間、市民の間では圧倒的にIR反対の声が高まってきていました。それは新聞等のメディアの調査でも明らかでした。反対の中核たる意見はIRにカジノが加わっているからです。カジノがIR事業のほんの一部のこととはいえ、存在することには変わりはありません。カジノは賭博です。横浜に賭博場など要りません。横浜の品位にかかわることです。「住みたい街・ランキング」などといった評価で、横浜市が1位によく選ばれるのは横浜はハイカラで、品があるからでしょう。賭博場など、その品のよさのぶち壊しに他ありません。 | 参考 | |
| 198 | 山下埠頭に建設しようとしている施設はテーマパークやホテルを建設することについては賛成します。しかし、ギャンブルに関わる施設の建設は、従来の横浜市のイメージを根底から覆すものになることは間違いありません。ギャンブルに関わる施設の建設は未来都市横浜の未来を台無しにします。現在のIR構想については撤回することを要求したいと思います。 | 参考 | |
| 199 | 歴史と文化ある「みなとヨコハマ」から「カジノのあるヨコハマ」に変貌しイメージがダウン、街の荒廃、商店街が疲弊する等をもたらす事業です。第二の理由は世論調査でも市民の6割以上が反対し、予定地で営業している港湾関係者も反対し、市民は誘致を求めています。外国のカジノ企業の要請に基づく事業であり、多くの市民が反対している事業を横浜市は推進すべきではありません | 参考 | |
| 200 | 神奈川県民として横浜IRには大いに関心があります。横浜市のIRにはカジノが含まれる限り反対です。最大の理由はカジノによって、横浜のイメージが大きく損なわれることです。横浜IRの方向性はカジノが含まれるため、横浜市の良いイメージを棄損します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 201 | 少子高齢化する中で、市財政を高める為にギャンブル場も作るのことが、このような考え方を持つとは、横浜という歴史ある街をこのような一部の人間の考えで汚さないで欲しい。 | 参考 | <p>日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。</p> <p>しかしながら、現在の海外におけるＩＲ事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。</p> <p>日本型ＩＲにおいても、ＩＲ整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。</p> <p>横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションＩＲ』を目指していきます。＜方向性 P.47、69、77、83＞</p> |
| 202 | 結論から言うと、横浜にカジノ（賭場）は必要ありません。資料には財源の確保のためにＩＲが必要であると記載されていますが、賭場の開設というのは論理が飛躍しすぎています。景観と治安の悪化は明白であり、横浜＝賭場というレッテルを住民、市の職員、これからの横浜を担う子供たちがわざわざ貼られる必要はありません。 | 参考 | |
| 203 | カジノを含むリゾート開発には反対です。治安の悪化や悪影響が予想されるので、絶対誘致すべきではありません。 | 参考 | |
| 204 | 横浜ＩＲは、大反対です！素敵な横浜の環境が壊れます。子育てにも悪影響です。 | 参考 | |
| 205 | 横浜のイメージにもふさわしくない。 | 参考 | |
| 206 | 横浜市長が示しているカジノ構想案について、断固反対です！横浜のブランド、雰囲気、風紀を乱すような賭博施設はいりません！カジノで収益を上げる以外に立地を生かしたアイデアはないのでしょうか？ショッピングモールなどの敷地内にカジノ？治安が悪くなり、横浜のイメージ悪くなります。カジノ大反対です！ | 参考 | |
| 207 | 「統合型リゾート施設建設計画」に対し下記の観点から反対の意見を表します。ラスベガス、シンガポールの所謂カジノは度々見学しましたが、この様な地域の環境は、その地域の一般の住民と全く関係の無い遊離したものであります。むしろ隔離されなければならない非日常的、享乐的なものであります。この様な施設が、市民の憩いの場である美しい横浜の港街の中心に作られることが、どんなに悪影響が在るか想像するまでも無い事でありませぬ。 | 参考 | |
| 208 | 仮にカジノが経済的に成功したとしても、それは人心の腐敗、荒廃、と引き換えのものであり、繁栄と腐敗の同居した退廃した都市のそれだとイメージします。国際資本は横浜に愛着をもっておらず、自分たちが儲けたいだけです。第二に、思惑が空振りに終わってしまった流行らなかった場合、街は荒廃しないかもしれませんが、山下ふ頭に巨大な廃墟が生まれるだけで何一つ得るものはありません。私は横浜を悪徳の街にたくありませんし、清潔な公園に廃墟が生まれることも望みません。これまで私は、横浜の文化と歴史を感じさせてくれる展示・イベントや、あるいは街を屈託なく活気あるものにしてくれる様々な行事を楽しみ、歓迎してきましたが、件の計画にはそのどちらも期待できないように思います。今の横浜に余計なものを作ってほしくありません。したがって、私は横浜市が市内にカジノを含む複合リゾート施設を誘致する行政計画の実現に反対します。 | 参考 | |
| 209 | 経済より大切なものがあるのではないですか？目先のお金よりも、横浜の歴史を守ってください。 | 参考 | |
| 210 | カジノは大反対です。横浜に博打場（カジノ）は不要（文化都市・横浜に必要ななし）。 | 参考 | |
| 211 | 格調高いイメージの横浜市にこのような不健全な施設は不似合いで、将来の税収を考えると、大企業（本社）の誘致・観光・国際的な催事・首都圏での宿泊基地などオーソドックスな方法によるべきで、カジノに頼るべきではありません。 | 参考 | |
| 212 | 誘致絶対反対文化都市を破壊してはならない。 | 参考 | |
| 213 | これまでの横浜が培ったきた歴史とミナト横浜という清新なイメージには似つかわしくないと思います。横浜（ヨコハマ）というブランドを傷つけて欲しくないと思います。 | 参考 | |
| 214 | ＩＲカジノ構想に反対します。横浜市民としての誇りを、へし折られる思いです。私の故郷、子供たちの故郷が、カジノのある町であって欲しくない。これが一番の思いです。鎌倉のように、古き良き街並みを徹底的に守るべきではないですか？ | 参考 | |
| 215 | ＩＲ（カジノ）には反対です。明治初期以降百数十年掛けて築いて来た横浜のブランド（イメージ）をカジノで破壊されます。港町横浜にはカジノは似合わない。 | 参考 | |
| 216 | 横浜のイメージを悪くするカジノはないほうが良いです。横浜の市民を不幸にしないでください。絶対カジノは反対です。 | 参考 | |
| 217 | 雰囲気が悪くなります。清潔で綺麗な横浜にカジノはふさわしくありません。カジノ無しのＩＲでは経済効果が出ないでしょう。それであればＩＲの建設は止めて下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 218 | 「横浜は賭博の町」と日本中・世界中に知れ渡り、今までの横浜のイメージは大きく損なわれます。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞ |
| 219 | 今回のIR誘致に関する取り組みについては納得できず市民への不誠実な言動であると強い怒りを感じます。開港160年の歴史を踏まえ、先人達の地元愛を基に横浜が発展してきた経緯をどの様に受け止めていらっしゃるのでしょうか？宣教師により創立された、歴史ある女子教育の学び舎も多くある場所近くにIRなど考えられないと私は思います。そして、市長が考える本場に望ましい横浜市の健全な未来とはIRにより経済が潤い市民が幸せを感じ、生活に満足をしている姿なのではないでしょうか？一度造ってしまったら後戻りできないことで、未来の子ども達に負の遺産を残さないためにも、IR誘致反対を訴えていきます。誠実に市民と向き合ってくださいを切望します。 | 参考 | |
| 220 | 博打を横浜の都市計画の目標にするなんて呆れてしまいます。カジノ依存の都市は生活者主体の都市には合いません。横浜がそのような都市に染まってほしくない強く思っています。是非ともカジノは撤回をお願いします。 | 参考 | |
| 221 | 【反対】です！横浜のブランドが下がる。港横浜に相応しくない。 | 参考 | |
| 222 | 国内で多くの人のあこがれになっている横浜のイメージを致命的に損ねる。 | 参考 | |
| 223 | IRなどとカモフラージュしているが、ばくち場が売りであることに変わりなく、横浜市の評判をおとしめ、将来の世代に誇れるようなものとはなりません。従って、カジノを含むIR導入は賛成できません。 | 参考 | |
| 224 | このままカジノ付きIRの「横浜IR」を目指すなら、横浜市は、開港160年のみならず横浜の歴史、伝統、文化、景観を破壊し、翻って未来世代のみならず横浜市民に対しても大きな禍根と負債を残すこととなるでしょう。 | 参考 | |
| 225 | 上品な横浜の海辺を、下品な場所にしないでください。若い人は、カジノに行きたがります。映画などで見るカジノの場面はスタイリッシュで、魅力がありますから。そんな場所が近くにあって欲しく無いです。 | 参考 | |
| 226 | 市長の市政は同意出来ない事が多く、特に次世代への多大なる被害になるIRのカジノ併設、絶対に賛成出来ません。開港以来先人が大事に育ててきた横浜をカジノ開設により壊すのは、何としても阻止せねばなりません。 | 参考 | |
| 227 | 横浜にずっと住んでいれば、IRと言われても賭博＝昔からの横浜の繁華街のイメージが根強く残っており、これらが海沿いにも増えるのかと思うと、話を聞くだけでうんざりする。現状、カジノの設立には反対である。 | 参考 | |
| 228 | カジノ反対！大事な横浜のアイデンティティーを財政難ごときに売り渡すとは何事 | 参考 | |
| 229 | 横浜は美しい港町であり先進的な魅力を発信できる、誇れる街です。それをギャンブルで汚すわけにはいきません。是非とも誘致の撤回をお願いいたします。 | 参考 | |
| 230 | 横浜特有の歴史・文化も魅力です。桜木町、関内周辺は繁華街であり、かつては歓楽街でもありましたが、長年に渡って多くの関係者の努力で、誰もが安心して歴史・文化を享受できる環境になりました。これまで多大な時間と労力をかけ作り上げてきたものを、経済効果のために捨ててしまうのはあまりにも安直な政策と考えます。 | 参考 | |
| 231 | IRカジノ反対です。横浜の文化、歴史においてカジノは不要です。横浜にはカジノは似合いません。 | 参考 | |
| 232 | カジノ反対ギャンブルのかけ金で横浜市の財政を支えるのは下品です。横浜市を下品な街にしないでください。 | 参考 | |
| 233 | 反道徳的であり、横浜の伝統・文化を壊すこととなります。横浜の街が、ダーティな遊びと退廃的な都市になることには反対します | 参考 | |
| 234 | カジノの横浜のクリーンなイメージにそぐわない。 | 参考 | |
| 235 | 横浜に所謂IRを誘致する今回の計画に対して、私は反対です。このようなものを誘致することは、たとえどんなに対策を打とうとも、反社会的勢力に付け入るスキを与えることに他なりません。多くの人々に愛されている横浜の印象が悪くなるだけでなく、不健全な人寄せ、金寄せを助長する結果にしかありません。 | 参考 | |
| 236 | 諸外国のカジノ産業の陰には荒廃した住民環境、無用な関連ビジネスが横行するなど市民生活の不安が増すだけでしょう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 237 | わが愛する「ヨコハマ」に、博打は絶対に似合いません。MICEも結構、一流ホテルも結構、エンタテインメントや様々なアトラクションも又結構ですが、「博打」だけは断じて容認できません。・・・善良な一市民が、声をからして反対します。孫やひ孫たちに、「博打」の遺産だけは絶対に残したくありません。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞ |
| 238 | 雇用も、健全な業務以外のものが増え、子育てしながら仕事をしたい場所ではなくなります。「カジノは全体の一部だけだし、入場制限があるから、問題ない」と考えているなら、甘いです。「横浜市にカジノがある」となれば、市街の人たちからは、横浜市全体のイメージが「カジノがあるまち」になるのです。カジノ以外の場所がどれだけ良くても、小さな一部のことであっても、全体のイメージがカジノになるのです。 | 参考 | |
| 239 | カジノを作ることにより、世界から観光客が来るというのがカジノがなくても、それは可能である。カジノがあるために、世界に対して横浜のイメージが、横浜＝カジノとなる。それによる損失はお金では測りしれない | 参考 | |
| 240 | まず、横浜にIRを誘致するのは反対です。日常生活圏である山下公園の横にカジノを誘致することは、横浜の港町としてのイメージ、ブランドを著しく傷つける。山下公園はいわば、横浜のシンボルである。そこにどんな形でさえ、キャンブル施設を作るとは、魂を売る行為である。 | 参考 | |
| 241 | 歴史ある港町横浜に本当にこの施設（言うなればバクチ場）が必要なのかどうかだと思います。産業の発展、税収、高齢化等どれをとっても『歴史ある港町横浜』を超えるものはないと思います。再度、金儲けのために歴史あるこの『港町横浜』を決してくだらない歓楽の町にするべきか考えてください。歴史ある、『港横浜』は横浜市民の町です。港町横浜にこの施設が必要か再考をお願いします。 | 参考 | |
| 242 | 横浜IR案は撤回し、直ちに正しい方向を考案すること。IRはカジノを収益とし、文化文明の向上発展に百害あって一利なし。一時の収益はあっても、文化都市としての大きな損失とイメージダウンは必然です。IRに危機感を抱く良識ある市民の声に、耳を傾け、目を覚ますべきです。 | 参考 | |
| 243 | IRについて、反対します。理由は新しい施設は必要を感じないからです。横浜には、古さ新しさが混じった独特の雰囲気があります。新しいものが利益を生み出す発想ではなく、あるものを活かすだけにする発想をしませんか。それが、洗練された街横浜の過ごし方だと思います。 | 参考 | |
| 244 | なにより文化芸術創造都市横浜のイメージダウンとなります。 | 参考 | |
| 245 | 横浜市ブランド力低下に直結する施設の建設に位置づけられます。横浜市に居住する住民にとって利用価値のある施設の整備とはかけ離れた提案としか思えません。これらの理由から横浜IR建設（カジノ建設）には反対いたします。 | 参考 | |
| 246 | 大事なものは、横浜が営々と築き上げてきた街のイメージを壊さずに、今ここで暮らしている市民が安全に、安心して楽しんで生活していけるまちづくり。目に見えるものだけではない基盤作り、文化作りです。イメージは一度壊れたら再構築は困難です。 | 参考 | |
| 247 | 無駄な投資により不要な建造物を作り、パチンコ、競輪・競馬・競艇と既にたっぷり国内に存在するギャンブルに加えて、「カジノ」を導入することは、港よこはまとして訪れてきた多くの市民、日本人、海外からの訪問者の今までのイメージを壊してしまいます。横浜市のイメージを大切にしたい、横浜市民のためのまちづくりを希望します。 | 参考 | |
| 248 | 横浜市は総合型リゾートを誘致することについて様々な理由を挙げ連ねていますが誘致する理由になりません。観光都市横浜のイメージに泥を塗るだけです。 | 参考 | |
| 249 | カジノ場は、横浜市に似合いません。 | 参考 | |
| 250 | 私は、カジノを含むIR誘致に反対です。市の収入増をカジノに頼ろうなどという発想そのものに反対します。これまでも再三報道されているとおり、横浜市民の大多数はカジノを含むIR誘致に反対しています。 | 参考 | |
| 251 | 2ページ：横浜の歴史や文化など、開港以来大切にしてきたものが記載されています。横浜は観光都市を目指した歴史がありません。ですから、国の成長戦略である「観光先進国」に参加すべきではありません。大事なことは、本節にも書かれている市民の安全・安心な生活なので、カジノなんて以ての外です。横浜は「進取の気概」を持っているわけではありません。横浜発祥の大部分は横浜に来た外国人が始めたもので、横浜らしさも外国人が残した遺産です。むしろそれを壊しているのが日本人で、市長は日本型IRで横浜を破壊しようとしているのです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 252 | IR誘致に賛成です。横浜、みなとみらい地区など世界的に見て、もっと素晴らしい観光地になれると思っています。そのためにも、国外の観光地と比較をして、例えばラスベガスなどのカジノを所有している街のように、人を誘致できるためのメインとなる場所、カジノを作るということと、誘致するための一つの理由となるようにしていけたらいいのではないかと考えています。カジノというイメージが悪くならないよう、広告や、カジノのあり方などをもっとスタイリッシュに、ポジティブなイメージになるようにしていければいいのではないかと願っています。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞ |
| 253 | 表題の素案において、「カジノ」については設置反対です。横浜という都市において、「カジノ」はその品格においてふさわしくなく、そぐわないと考えます。海外の安易な企画に横浜市として実施するのは知恵のないことと思えます。 | 参考 | |
| 254 | IR誘致に反対します。横浜には歴史的な魅力がたくさんあります。そして、住みたい街として全国の人が憧れる街です。そういう街をどうやって盛り上げていこうと考えるときに、このようなギャンブルに頼る政策は安易すぎます。このこと自体、市民の税金を使った博打です。 | 参考 | |
| 255 | 市が進めているIRのカジノ事業に反対します。子どもの頃から抱いてきた横浜のイメージを壊されます。 | 参考 | |
| 256 | 私の大好きな横浜、山下公園や港の見える丘公園、港やMM。そのすぐ近くにIRと言えば聞こえはいいけど、いわゆる「賭博場」を作ると言うのですから、本当に悲しく、それこそ率先して、市で阻止してもらいたいくらいなのに、何と、市が誘致するというのですから。ラスベガスやマカオにも行ったことがあります。横浜の一番良い港の一部があのような姿になってしまうのは耐えられません。きらびやかなネオンの中に、人間として大切なものは見られませんでした。私達の税金を使って誘致活動することは許せませんし、もしそれで市の財政が潤ったとしても、子供にばくちをさせて暮らしている親のようです。 | 参考 | |
| 257 | 国内から、海外からの観光客を呼び寄せる手立ては、これまでの横浜の歴史を見れば、これまでの横浜の魅力を発信していくことによって可能です。宿泊客が少ないという統計はそもそも誤りであり、むしろ危険なIR・カジノが人々を横浜に吸引する力を奪ってしまうのではないかと危惧されます。 | 参考 | |
| 258 | 文化的問題。中華街、山下公園、港の見える丘公園付近の地域はみなと横浜を代表する地域であり、明治時代の建造物をはじめ歴史的にも重要な地域である。また、明治時代からのミッションスクールも多く、インターナショナルスクール、中華学校もあり、日本の中でもあこがれの国際的な文教地区でもある。この地域に隣接してカジノ施設を設けることは、景観・環境の悪化、治安の悪化を招く可能性があり、横浜のイメージを大きく損ない、文化的にも大きなマイナスである。 | 参考 | |
| 259 | カジノの設置は、人々が横浜を賭博の街とイメージすることにつながります。そして、横浜のイメージを大きくダウンさせます。横浜の街並み・文化は多くの先人が苦勞して作り上げてきたものですが、カジノの設置はこれと相容れません。 | 参考 | |
| 260 | 山下公園付近は大好きな散歩スポットですし、中華街にもよく行きます。治安が悪くなれば、それができなくなります。 | 参考 | |
| 261 | 横浜の品格を自ら貶める政策を推進する愚を犯すべきではない。過去、培ってきたみなと横浜の歴史、文化、景観、食、イベントなどすべての市民、訪問者に開かれたプラスのイメージとは相いれない反知性的な社会環境を作ろうとしていないか。市政の歴史に汚点を残す。 | 参考 | |
| 262 | カジノは、必要ない。横浜は、海外の人たちを受け入れる港として、長く地元市民に愛されている。この、雑多でありながら、前のめりで無く、欲なく、緩く他人を受け入れる市民の基質を大切にしたい。ギラギラした欲に溢れたカジノは、不要です。 | 参考 | |
| 263 | カジノ運営に長けた業者の中に、会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設、その他の観光の振興に寄与すると認められる施設を一体として運営する事を得意とするものがあるのだろうか？カジノを併設する事による複合観光施設への影響を精査し、併設によるメリットの（嘘っぽい）物語さえもが、一切、素案には、述べられていない。カジノの悪影響は・・・して防ぎます。としか書いていない。つまり、カジノの併設は、複合観光施設にとって害でしかない事を認めているのではないか。カジノを併設する事が絶対に不可欠と言うのなら、IR法に拠らなければならないが、観光立県が目的の中核なのであれば、なにも、IR法に依存する事は無い。 | 参考 | |
| 264 | 横浜のさわやかなイメージを崩し、子どもたちに悪影響を与えるカジノはいりません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 265 | 横浜にカジノをつくるのは大反対です。観光をアピールするにはカジノではなく横浜らしい上品で魅力的な施設を作って世界の人々をお招きしたら良いと思います。カジノは横浜の価値を下げてしまいます。 | 参考 | <p>日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。</p> <p>しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。</p> <p>日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。</p> <p>横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞</p> |
| 266 | 横浜はとても魅力のある街です。そんな街にカジノを作るなど考えられないことです。市長は観光客が少ないと言っていますが、実際には増えています。カジノを作ったら観光客は減るような気がします。それは町の環境が変わるからです。山下公園、中華街、元町、みなとみらい、野毛などの町をカジノで汚してほしくないのです。 | 参考 | |
| 267 | 市が進めているIRのカジノ事業に反対します。子どもの頃から抱いてきた横浜のイメージを壊されます。カジノ人種が闊歩する港・街を想像すると、住むのを止めようかとさえ考えます。 | 参考 | |
| 268 | 市が進めているIRのカジノ事業に反対します。子どもの頃から抱いてきた横浜のイメージを壊されます。カジノ人種が闊歩する港・街を想像すると、住むのを止めようかとさえ考えます。 | 参考 | |
| 269 | カジノは古き良き日本文化を破壊する危険性が極めて高くミナト横浜を守り育ててきた伝統にもふさわしくないと考えます。 | 参考 | |
| 270 | カジノ抜きで総合リゾート施設を作るのは、いまの横浜の姿ともそう相反しないのではないかと思います。なので、ぜひカジノ抜きをお願いします。どうしてもカジノをやるならば、公営で、日本人は入場させず、入場できるのは外国人旅行者のみにしてください。 | 参考 | |
| 271 | カジノは横浜のイメージダウンでしかありません。 | 参考 | |
| 272 | 文化創造都市の実現にIRが資すると思えないし、カジノを含むとなるとなおさらです。 | 参考 | |
| 273 | 素敵な街がIRによって台無しになります。そこには横浜に対するプライドがないように思えます。IRは本当に横浜に必要なものでしょうか？私はそうは思いません。横浜にIRは要りません。 | 参考 | |
| 274 | カジノは横浜の「資源」を全て破壊する（p. 20、21）横浜が「世界から人々を惹きつける街の資源」として港町横浜の歴史・文化、都市空間、都市機能、賑わい・市民活動の4点を上げているが、これは的を射た考察である。これこそ、横浜開港前から長い時間をかけて先人たちが築き上げてきた貴重な「資源」であり、横浜の「宝」、横浜の「財産」である。しかし、カジノの持つ本性（魔性）は、それらを全て破壊するものである。 | 参考 | |
| 275 | カジノで有名になると従来の観光客が来にくくなると聞けば通常人は賭博を想像するなどのマイナスが生じる。 | 参考 | |
| 276 | カジノに反対です。素敵な横浜の街を賭け事の場にするに、断固、反対します。 | 参考 | |
| 277 | 横浜のイメージも悪くなります。 | 参考 | |
| 278 | カジノ施設（P46）施設の要件には「エレガントな非日常が感じられる大人の社交場」と言う以外は、規制の話だけ。カジノは何もしなくても国際競争力があるとも考えている様子。横浜IRのカジノの特徴をどこに置くのが不明。カジノは韓国だけで17か所、マカオ41か所、シンガポール2か所、米国ラスベガス4地域、オーストラリア1か所、国内2か所が想定競争相手となる。IRの目的は訪日外国人の滞在型観光モデルの確立、インバウンドの需要喚起だが、そのために国際競争力を重視している（P17、18）はず。この目標実現へ向けた横浜カジノの国際的優位性をどこに設けるのかその方向性が不明確。もっともスロットルゲームとテーブルゲームだけのカジノだと外国人は呼ぶには限界なのか？「横浜カジノ」は首都圏を中心とした国内利用者呼び込み、その入場料、「てら銭」を事業計画の中心にしているのであれば、優位性の議論は不要で、「依存性対策」のみを議論すれば良いが、これは横浜市の課題解決のための目的・目標の実現とは真逆となり、「庶民の博打の上がり」をむしり取る賭場の博徒の親分と変わりがなくなります。仮にこの上がりを福祉政策に寄与させるというのでは、ブラックジョーク以外何物でもありません。この場合はカジノを反対している人々の主張と合致してしまいます。 | 参考 | |
| 279 | カジノを含むIRは、横浜の魅力にはなりません。横浜に汚名を着せる、負の資産になります。 | 参考 | |
| 280 | 横浜の歴史と文化、街を壊すカジノはいりません。 | 参考 | |
| 281 | 絶対反対です伝統ある横浜を博打場にして欲しく無い。人工島でも作ってやって欲しい | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 282 | 賭博か街を丸ごと駄目にします。経済効果があるとは思えません。絶対反対です。 | 参考 | <p>日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。</p> <p>しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。</p> <p>日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。</p> <p>横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞</p> |
| 283 | ギャンブル依存症になってしまう可能性が高いカジノのある街になんて、住みたくない。今までは、「おしゃれな街 横浜」に住んでいることは、自慢できたことだったが、「ギャンブル依存症を生み出す街 横浜」に住んでいるなんて、恥ずかしくて、絶対に言いたくない。 | 参考 | |
| 284 | 私は、横浜市に、IRを絶対に作って欲しくない。横浜にはカジノなんて必要ないと思っている。横浜にIRができて、訪れた人たちがカジノをすることができるようになったら、きっと、街の雰囲気がガラッと変わり、悪くなってしまおうのと思う。ギャンブルで得た利益を、横浜市として横浜市民のために使ってくれようとするのなら、そんなお金はいらない。カジノなんてものができたら、せっかくの横浜の素敵な街の雰囲気が、壊れてしまう。 | 参考 | |
| 285 | 港横浜のイメージが悪化し、マイナスが大きいと思います。 | 参考 | |
| 286 | 横浜IRの方向性素案に以下の理由で反対します。横浜の歴史等のブランドを損なう可能性が高いと思います。このままカジノ付きIRの「横浜IR」を目指すなら、横浜市は、開港160年のみならず横浜の歴史、伝統、文化、景観を破壊し、翻って未来世代のみならず横浜市民に対しても大きな禍根と負債を残すこととなるでしょう。 | 参考 | |
| 287 | カジノ付きIRは、みなと横浜の歴史、伝統、文化、景観を破壊し、未来の横浜市民に対しても大きな禍根を残すことになるでしょう。 | 参考 | |
| 288 | アメリカではカジノ産業は斜陽化しており、暴力団が絡んだ治安の破壊、周辺地域の治安の悪化、ギャンブル依存症などなど負の遺産が多すぎます。 | 参考 | |
| 289 | 横浜はカジノ等無くても素敵な街です。カジノ誘致は必要ありません。「横浜」と聞くと日本でも世界でも人々が連想するのは「ハイカラでロマンチックな港町」です。カジノで連想されるのはラスベガス、シンガポール、マカオなど。カジノが出来た暁には、横浜と言えばカジノの街に連座すること間違いなしです。先人が嘗々と築いてきたおしゃれで住みやすい横浜が大きく変貌することは間違いありません。 | 参考 | |
| 290 | カジノ併設の計画は将来の財政面を心配してのことのようですが、私はカジノが横浜の歴史や文化に傷をつけることの方が心配です。 | 参考 | |
| 291 | カジノは人の欲望を掻き立てて成立する商売です。そこには欲望に目がくらんだ人たちが集まります。市で誘致する立派なカジノだけでなく、無許可の多くのカジノまがいの店ができるでしょう。その周辺にはまたそのおこぼれにあずかろうとする人々も集まります。虚業にたよる財政は、横浜の誇りを失うこととなります。カジノを導入しないでください。 | 参考 | |
| 292 | カジノの会社は合法的にうまく税金をごまかすでしょう。後悔先に立たずです。横浜の誇りを失わないでください。 | 参考 | |
| 293 | 横浜は住みたい町ランキング1位です。そのブランドを失わせないでください。夜の街の魅力増進としては、コンサートやショウをぜひ盛り上げてほしいです。華やかで、かつ安全な街であってほしいと願っています。 | 参考 | |
| 294 | 横浜市の魅力が半減するように思います。大好きな横浜が台無しになるように思います。裏社会、風俗社会、反社会集団が一番喜ぶように思います。横浜市イメージが悪くなるだけではないのでしょうか。横浜市の魅力はそんなところにはないと思います。横浜市民の気持ちを裏切らないでください。 | 参考 | |
| 295 | 横浜の素晴らしい文化が損なわれるし、治安は絶対に悪くなります。アメリカの真似をすることはいいです。日本らしさを大事に古き良き横浜を残してほしいです。 | 参考 | |
| 296 | 横浜IR（統合型リゾート）を作ることは、絶対に反対です。横浜の町、文化を破壊するようなことは絶対にやめて下さい。 | 参考 | |
| 297 | 山下公園の環境が悪くなるのは困ります。横浜がギャンブルの街と思われイメージが悪くなります。 | 参考 | |
| 298 | カジノの街、ギャンブルの街というイメージが先行すれば横浜市イメージダウンになります。カジノ誘致となれば、「ギャンブルの街」横浜となりかねません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 299 | また、COVID19の影響で、世界のカジノリゾートは一時閉鎖しています。このような事態が長引けば、撤退ということもあり得ると思います。税収を上げる前に、無駄なコストの見直しが必要と感ずます。ギャンブル都市というイメージが付き、治安が悪化、さらに、高齢化・若年層が減り、都市としての魅力がなくなれば、企業撤退、地域経済の弱体化、法人税の減収や土地価格ダウン、住民の流出などから減収が予想されます | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.47、69、77、83＞ |
| 300 | 横浜市民（延いては神奈川県、日本国）にとってデメリットしか無い逆にメリットを考えてみたが、思いつかない。カジノが無くても全く問題無い。寧ろ、横浜市の近代的でクリーンなイメージがカジノ（ギャンブル）を推奨する姿の為に大幅に損なわれている事が、非常に残念極まりない。目玉の資源が足を引っ張るとは、本末転倒である。 | 参考 | |
| 301 | 来るべき憩いの場としての〈横浜のらしさ〉の本源はどこにあるのでしょうか。世界最高のIR、世界最大のカジノがそれに代わることは出来ません。 | 参考 | |
| 302 | IRをとても観光立国日本の国家的プロジェクトなどと美化できるものではありません。むしろ、逆に、カジノなしに実績を上げてきた日本観光の社会的評判を台無しにする危険をもつものです。その先陣に横浜市、山下ふ頭地域が立つことは到底認められません。 | 参考 | |
| 303 | 〈横浜らしさ〉はぶち壊しであり、横浜IRにはカジノはいりません。 | 参考 | |
| 304 | カジノや観光施設、なんだがドバイみたいで嫌です。横浜市民にもっと寄り添った開発を希望します。外から外から、と遊びや盛り上げるためばかりに人を入れると、治安が悪くなる恐れがあります。今感じる横浜の都市の空気は若い年代の家族連れに向いている空気です。その空気の方向性で発展して欲しい。その方が、国の未来を担う、子供たちに、その家族に優しい場所になるのではないのでしょうか？大人の遊び場は他の場所を作って欲しいです。 | 参考 | |
| 305 | 横浜市にIRを誘致、建設することに反対します。私の住む地域から横浜は遠いですが、みなとみらい21や山下公園、アリーナ、など、時々行ってみたい場所です。しかし、賭博施設ができれば、私だけでなく友人も子供も孫も行かせたくありません。素敵な横浜を壊さないでください。 | 参考 | |
| 306 | もし山下埠頭に新しい「賭場」を造れば、余所の人々が我らの横浜に抱く「おしゃれな港町」のイメージを形成するのに大きく寄与しているとてもとても重要な一面をそのイメージを台無しにする他者に悪印象を与える「ばくち打ち」の集団が日常的に闊歩することになるのです。 | 参考 | |
| 307 | 掲げられているデメリット対策で懸念事項が本当に払拭されるならば、横浜の発展にとってすてきな構想だと思います。今の正直な思いとしては、外国人観光客は増加するかもしれませんが、日本人にとって横浜が住みたい街であり、住んでいる人が住みやすい街と感じ続けられるのか不安があります。 | 参考 | |
| 308 | カジノができる案については反対ではないが、できたことによって「横浜らしさ」が失われてしまうのであれば設立するべきではないと考えております。 | 参考 | |
| 309 | このような施設は、豊かな歴史ある横浜にはふさわしくありません。絶対に反対です。 | 参考 | |
| 310 | 横浜にカジノ（賭博場）を作らないでほしいです。お願い致します。いつまでも情緒のある美しい横浜であってほしい。 | 参考 | |
| 311 | 1859年の開港以来、多くの先達と現在の市民が脈々と築いてきた今日の貴重な文化都市横浜を「ひとりのよそ者の野望」のために譲り渡していいものか、自問してほしい。今回、判断を間違えた場合、子孫に取り返しのつかない大きな“禍根”を残す。 | 参考 | |
| 312 | あの横浜を象徴する山下公園の近くにIRをもってこようという考えがわかりません。 | 参考 | カジノという過去の映画の影響などにより、きらびやかで、ネオンなどで、けばけばしいものと受け止められ、現在の横浜のイメージにそぐわないのではと思われる方も多いと思われます。 |
| 313 | 横浜の景観をこわさないで下さい。 | 参考 | 日本型IRが参考としているシンガポールのIRにもカジノはあります。これらは、IR施設に調和するよう設置されています。横浜IRにおいても、横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。＜方向性P.49＞ |
| 314 | わざわざ横浜にカジノの為に世界の大金持が関心を寄せるとは思われぬ。一落ち着いた街の良さを | 参考 | |
| 315 | 横浜の海の玄関口に賭博であるカジノができれば、横浜の歴史や文化、港のある風景が台無しです。 | 参考 | |
| 316 | IRを推進しないで下さい。横浜にカジノを造らないで下さい。未来ある子供達に、夢のある美しい港を残したい。住みたい町連続1位の横浜に、カジノは似合いません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 317 | みなとみらいの港の風景そして里山ガーデンのような自然が広がる横浜が大好きです。その横浜にカジノを中心とするIRはふさわしくないと考えています。 | 参考 | <p>カジノという過去の映画の影響などにより、さらびやかで、ネオンなどで、けばけばしいものと受け止められ、現在の横浜のイメージにそぐわないのではと思われる方も多いと思われます。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールのIRにもカジノはあります。これらは、IR施設に調和するよう設置されています。横浜IRにおいても、横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。〈方向性 P.49〉</p> |
| 318 | 美しい港町をカジノで汚して欲しくはありません。 | 参考 | |
| 319 | カジノは楽しみだが、カジノっぽい建物は横浜には似合わないと思うのでそこだけ注意してほしい。 | 参考 | |
| 320 | 浜っ子以外の人から見た「山下埠頭」は、「人里離れた」とは言えず、加えて横浜港は、洗練された文化遺産や素晴らしい景観に恵まれた土地として人気が高い。これらの目と鼻の先にカジノが出来る未来を想像したくない強い思いをする。 | 参考 | |
| 321 | 反対です。横浜市歌の一節に“朝日かがよう海一”とあります。朝日かがよう海に、人工光で照される不夜城のような建物は似合いません。経済、経済と進める先にはリスクという大きな闇が口をあけて待ちかまえています。多くの市民たちの反対を無視してことを進めたら未来は暗くよい結果は得られません。大好きなヨコハマ、誇りあるヨコハマをカジノでメチャメチャにしないで下さい。 | 参考 | |
| 322 | 人目を憚るような悪い物は造るな！と言いたい！ | 参考 | |
| 323 | カジノは反対です。環境をこわすのでよくないと思います。 | 参考 | |
| 324 | IR（総合型リゾート）＝横浜市民の憩いの場になるとは考えにくい。市外から観光を兼ねて来るツアー客（外国人含む）にとっての新しい観光目的になり得るとは思いますが、臨港地帯が大きく変わるのには望みません。山下町、山下公園 横浜港、海岸通りに至る『ヨコハマ』の雰囲気著しく損なわれることにならないか危惧します。 | 参考 | |
| 325 | 異国情緒あふれる「みなとエリア」では、サクラやチューリップなどの花々が色とりどりに咲き誇ります。美しい港の風景や洗練されたウォーターフロントの街並みを背景に、表情豊かな花々を楽しめるのは、みなと横浜ならではの魅力です。カジノは合いません。このメッセージのようなステキな横浜にカジノなどはいません。カジノを推進する同じ市長のメッセージとは思えません。市民の声をしっかり聞いてカジノはつくらないで下さい。 | 参考 | |
| 326 | 私達の愛する横浜、美しい横浜にカジノは不要！！ | 参考 | |
| 327 | カジノは要らない。山下公園は横浜の誇り、そのままにしておいて。 | 参考 | |
| 328 | 横浜は函館や神戸、長崎とならんで異国情緒あるロマンチックな街です。そんなロマンチックな街を、カジノなどで魅力のない街に変えられるのはもったいなくてです。 | 参考 | |
| 329 | ヨコハマというノスタルジック、個性豊かな、市を、歴史を大切に活して頂く県や市、であって欲しい。愛するヨコハマ子供達の故郷でもあります。ほこりをもって今日迄住んだ市が横浜IR統合型リゾート経済のみの、計画に私には見えてなりません。横浜というかつてからの良き、ノスタルジックを活し、県の誇りにして頂きたいのです。 | 参考 | |
| 330 | 横浜の港は、今のまゝにしておいて下さい。今の景観が大好きです。健全で美しい横浜は、カジノなし！ | 参考 | |
| 331 | 横浜の歴史的景観がそこなわれる宝といえるものですので、子供達に残していきたい。 | 参考 | |
| 332 | 自分の故郷である横浜は年月をかけて落ちついた伝統のある街になってきた。その街をラスベガスやマカオのカジノ街の様な派手な薄ぺらい街にしたいくない。 | 参考 | |
| 333 | 横浜IRには絶対反対します 横浜には観光名所が沢山あり美しい町です。 | 参考 | |
| 334 | 大好きな横浜の一番素晴らしい地域を賭博場にしないで下さい。 | 参考 | |
| 335 | カジノは絶対反対します。今のままの横浜で良いのです。ネオンで夜もはしゃいでる街は不要です。子供達のためにも健康的な横浜を願います。 | 参考 | |
| 336 | カジノは絶対反対します。今のままの横浜で良いのです。ネオンで夜もはしゃいでる街は不要です。子供達のためにも健康的な横浜を願います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 337 | 市のカジノ推進には絶対反対です。昔から山下町付近は市民の憩いの場であり地方の方が訪れたい観光地でもありました。「窓を開ければ港が見えるメリケン波止場の灯が見える」と唄われた情緒ある横浜にラスベガスやシンガポールのけばけばした風景は似合いません。 | 参考 | <p>カジノという過去の映画の影響などにより、きらびやかで、ネオンなどで、けばけばしいものと受け止められ、現在の横浜のイメージにそぐわないのではと思われる方も多いと思われます。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールのIRにもカジノはあります。これらは、IR施設に調和するよう設置されています。横浜IRにおいても、横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。〈方向性 P.49〉</p> |
| 338 | 横浜市は、今でも日本有数の歴史と文化あふれる観光都市である。今さら、IRを誘致して、横浜の景観を壊さないでほしい。 | 参考 | |
| 339 | あの歴史ある山下ふ頭その周りの街並みがくずされてしまうようなIRカジノ含むリゾートは断固反対です。みんなが住みやすい街にして下さいおねがいします | 参考 | |
| 340 | 横浜に巨大カジノを作らないでほしい。きれいな港が宝の横浜港に巨大なIR施設を作らないでほしい。 | 参考 | |
| 341 | 横浜は風光明媚なのに、ここに外国資本のカジノを設置して何の意味があるのか？ | 参考 | |
| 342 | 赤い靴の横浜、港の横浜、船の出入航これ以上高い建造物は要らない。美しい横浜港を大切に、カジノは× | 参考 | |
| 343 | キラキラ光るネオンと騒音は静かで落ついた平和な街横浜には全く似合いません。 | 参考 | |
| 344 | 横浜港町、繁華街の中心が、イメージダウンです。 | 参考 | |
| 345 | 横浜市内にIR建設には絶対反対です。異質な景観を見れば横浜港湾地区にIRは全く合いません。国内にはギャンブル場はもう要らないです。(ゲーム場、パチンコ、競輪、競馬、競艇なども十分です) | 参考 | |
| 346 | 第1に品がないです。海、公園、船、きれいな空気、歴史のある、安心のできるわが街横浜はいい街です。これを守らずして…。 | 参考 | |
| 347 | カジノ誘致は文化の香りが漂う景観を汚すことは必定と言わざるを得ない。 | 参考 | |
| 348 | 横浜市にカジノは必要ないと思っています。野毛山から見る公園と海が見える景観を守っていただきたいと思います。米国ラスベガスも集客力が減少してきている時代に今さらカジノやホテルを考える政策しか考えられない政治家、行政は引退すべきです。これからの10年後、50年後を考えて政策を立案して下さい。 | 参考 | |
| 349 | 横浜にカジノ(賭博場)を作らないでほしいです。お願い致します。いつまでも情緒のある美しい横浜であってほしい。 | 参考 | |
| 350 | 旧来からある横浜の優雅さを保って欲しい。 | 参考 | |
| 351 | 美しい横浜のあの地にカジノはいらない！ただそれだけです | 参考 | |
| 352 | カジノは絶対、反対です。今のままの美しい横浜を残したいです。 | 参考 | |
| 353 | IRの予算が決ったようですが、何としても、横浜に出来ることを阻止したい。外国企業にまかせて、ネオンきらきらの建物が港近くに建てられることになるでしょう。 | 参考 | |
| 354 | この美しい港のある横浜を、カジノを作り、ぐちゃぐちゃな都市にするつもりですか！！ | 参考 | |
| 355 | IR案には反対です。落ち着いて港町の情緒ある横浜を、ネオンキラキラの(少々?)下品な街にしてまでお金が欲しいのでしょうか。 | 参考 | |
| 356 | 世界に類を見ない日本の素晴らしい景色を求め訪れる外国人に示す事により永い街の役割があるのではないかと思う。 | 参考 | |
| 357 | 美しい観光地横浜には似合いません！ | 参考 | |
| 358 | 横浜IRの導入に当たって下記の理由で反対する 横浜港湾地区の景観が壊され、風紀が乱ればとり返しがつかない。 | 参考 | |
| 359 | 山下公園の平和で美しい景色は、導入されることで、一変するでしょう。 | 参考 | |
| 360 | 観光客はその国その町の魅力をもとめます。どの国にもあるようなギンギンキラキラのIRはいりません。 | 参考 | |
| 361 | 新しい横浜の都市デザイン推進というのなら、横浜の玄関口美しい港にカジノ・IRは似合わない。もっと横浜らしいデザインがあるはず、横浜市民・観光客が集まる憩いの場、国際港として日本の文化を発信させる施設等々。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 362 | 結論として、まず誘致に反対です。横浜の売りは、まず何と言っても港町とその景観、海がある事だと思います。ただでさえ昨今の高層ビルの建築ラッシュでスカイラインが崩れて景観が汚れはじめているのに、新たにIRが建築されたら、視界における海、青の部分が減り、ホテルや住居からの+αの価値が下がるので、地価が下がると思います。また、カジノというギャンブル施設が出来る事で、新たに家族づれが横浜に住む事が減少すると思われます。子供の住まなくなった街は健全ではないと感じます。依存性、対策も進めていると市長は仰いますが対策を進めなければいけない事自体に問題があり、街が荒れる事を懸念しています。 | 参考 | カジノという過去の映画の影響などにより、きらびやかで、ネオンなどで、けばけばしいものと受け止められ、現在の横浜のイメージにそぐわないのではと思われる方も多いと思われます。 日本型IRが参考としているシンガポールのIRにもカジノはあります。これらは、IR施設に調和するよう設置されています。横浜IRにおいても、横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。＜方向性 P.49＞ |
| 363 | 横浜市へのIR誘致により、以下のような問題点が生じると考えます。在住者、訪問者双方から見た横浜市の魅力の減少。横浜市の魅力は、都会でありながら静かで落ち着いている点です。中華街を抜けたその先、山下公園と同じ視界に、建物が乱立し、人でごった返すIRがあると想像するだけでがっかりします。横浜の魅力は、動と静です。 | 参考 | |
| 364 | 横浜は東京と繋がる大都会ですが、海と緑に恵まれた独特の魅力を持っています。東京近郊からもたくさんの方が訪れます。IR誘致は横浜の良さを損なう愚策であると考えます。 | 参考 | |
| 365 | 横浜らしい景観を維持して欲しい。デートスポットでもある横浜を、海外のギラギラしたものにした時点で需要は激減すると思います。また、市民は「横浜らしさ」を愛していますので、これを蔑ろにしない計画をお願いします | 参考 | |
| 366 | 横浜IRの誘致に反対します。横浜のシンボリックなみなどみらいの近くにIRを作るなんて、とんでもないです。即刻中止して下さい。横浜の美観を損ねます。今、横浜は住みたい街のトップクラスです。IRは、その傾向に水を差します。横浜はIRなんかなかなくても発展します。IRは、百害あって一利なしです。 | 参考 | |
| 367 | カジノ構想、反対です。小さな時から見てきた美しい観光地がカジノが来ることになれば失われてしまうと思うからです | 参考 | |
| 368 | 今回の方針の中で、IR(カジノ)だけが、歴史ある横浜がずっと目指してきたまちづくりから外れていると感じます。カジノは横浜のまちにはあいません。景観的にも眠らないまちを海側につくるということにも反対です。 | 参考 | |
| 369 | 横浜の歴史や景観を大事にしてきた横浜市民の誇りです。横浜市民の思いを踏みにじることはしないで下さい。汚点となるカジノを残さないで下さい。 | 参考 | |
| 370 | 15頁の「美しい港」に対して巨大人工物の建造こそが美観を損ねると考えますが横浜市の見解を載せてください。 | 参考 | |
| 371 | このような迷惑施設を横浜に作ることは、長年先輩たちが築いてきた横浜のブランド(おしゃれでハイカラ)を大きく傷つけることになりかねない。考えなおしてください。 | 参考 | |
| 372 | 大金をつぎ込み、条例整備までしてIRを誘致することにより、本当は誰が一番得をするのか、市民の多くが疑問に思っています。IRに人々がどっと押し寄せるようなことも要らないし、そのためのホテルも、けばけばしい装飾やにぎにぎしい音響に彩られた施設なども横浜には必要ない、と思っているのです。あの素敵な山下公園のつながりに、そんな施設を置いてほしくない、横浜には似合わない、と感じているのです。私共はただの一度も、横浜市が、横浜市長が、IRを誘致することを承認した覚えがありません。この点をはっきりと認識いただき、IR誘致を撤回していただきますようお願いいたします。私は、所謂IRを横浜に誘致することには反対です。 | 参考 | |
| 373 | 横浜は、おしゃれな港町として発展してきた。歴史的建造物もある。決してカジノの街ではない。横浜にIRは永遠にいらない。 | 参考 | |
| 374 | これ迄市民が大切護って来た横浜市の歴史的価値の棄損を行政自らが企てるとは？正にblack joke 将来の世代に誇れる横浜を残したいこのまま進めるなら暴動が起きる | 参考 | |
| 375 | 山手からの賭博場を見下すことになり景観を損なう。行政はインバウンドばかり重視して、国民の健康や生命を反故にする気か！山手から、賭博場を見下すことになり景観を損なう | 参考 | |
| 376 | カジノというマカオをイメージしますが、不夜城になってしまわないのか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 377 | 26ページ：「臨海部をこれからも横浜市民の憩いの場にしたい」と書かれています。横浜市は、観光地と市民の憩いの場を両立しながら、横浜駅から山手までの臨海部を開発してきました。だから、パチンコ店がないのです。山下ふ頭にギャンブル施設であるカジノをオープンするなんて、愚の骨頂です。 26ページ：「横浜らしさ」とは何でしょう。外人墓地、洋館、広々した駐留ハウス、山下公園、大栈橋、造船所でした。ハウスは密集住宅地に、造船所は「みたとのり」というIRに変わりました。2つのIRは不要です。ましてや、カジノは横浜らしさを汚すだけです。 | 参考 | カジノという過去の映画の影響などにより、さらびやかで、ネオンなどで、けばけばしいものと受け止められ、現在の横浜のイメージにそぐわないのではと思われる方も多いと思われます。 日本型IRが参考としているシンガポールのIRにもカジノはあります。これらは、IR施設に調和するように設置されています。横浜IRにおいても、横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。＜方向性 P.49＞ |
| 378 | 49ページ：山下ふ頭は、「横浜の景観を楽しむ新たな視点場、多様な水域を活用したアクティビティなど多彩な体験の場の創出が可能」と書かれています。一方、山下ふ頭は山手の丘からの眺望対象です。山手地区都市景観形成ガイドラインを遵守すると、市長が考えるIRは造れません。まさか、施行したばかりのガイドラインを変更するのではないでしょうね。 | 参考 | |
| 379 | 横浜は文明開化の街です。日本で歴史を誇る街です。新しい建造物は横浜以外でも造れますが、景観を含め一度失うと取り戻せないものが横浜には多々あります。今ある横浜らしさを続けることが、横浜の今後の成長にも繋がると思います。目先の利益だけでカジノなんかに飛びつかないでください。今の横浜を大切にしてください。 | 参考 | |
| 380 | 折角美しく整備されたみなとみらい地区の景観を、市が自ら壊すような真似をするのは理解出来ません。 | 参考 | |
| 381 | 私は賛成です。但し、マカオの様なケバケバしい建物にならないか心配しています。私はギャンブルは嫌いなのでカジノには行かないと思いますが、家族連れで楽しめるリゾートセンターサの様な施設が出来ると横浜は楽しくなると思います。 | 参考 | |
| 382 | 横浜は歴史的建造物を使いながら保存し街並み景観を良好に保つという文化がある。このように美しい街健全な街安全に暮らせる街を作っている横浜に、IRは不用である。 | 参考 | |
| 383 | 山下埠頭に作るということが一番の反対理由です。直ぐ隣の山下公園は、横浜らしいロマンチックな象徴の場の一つであり、古くからのデートスポット、市民の憩いの場でもあります。IR施設の外観等はまだ分かりませんが、そんな古き良き横浜の象徴の隣に派手なイメージの施設はナンセンスだと思います。ダサイ！です。横浜市民はダサイの大嫌いです。ノスタルジーに感傷的になり、新しいものを受け入れたくないではありません。ただ、山下公園やその周辺には他にない横浜らしい独自の魅力があります。その景観や情緒感などの魅力を壊してまでその場所に作る必要があるのでしょうか。 | 参考 | |
| 384 | カジノを含む横浜IRは、先人たちが築き上げた横浜の「資源」を破壊するものであり、長期的に考えれば横浜市を凋落させるものである。 | 参考 | |
| 385 | IR反対。住民にメリットなし。新しい建物なら横浜じゃなくてもよい。せっかく歴史ある街なのに。街としての魅力が激減する。いらないです。無駄なことに税金を使わないでください。 | 参考 | |
| 386 | 景観・都市デザインの方針の不明確さP49には景観形成についても記述があるが、山下埠頭に大規模開発が行われた場合、港のみえる公園や山下公園など、これまで横浜のイメージ形成を果たしてきたパブリックスペースからの眺望が大きな影響を受ける。これは、長きに渡って横浜市が取り組んできた都市デザインの成果であり、市民にとっての財産でもある。また、こうしたパブリックイメージは横浜観光の資源でもある。すでに示された民間事業者による提案がそうであるように、施設群が大規模化すれば、港の見えない港の見える丘公園や、ベイブリッジの見えない山下公園になってしまう可能性が大きい。これらを失うことのないように、民間事業者に提案を求める際に、どのような景観形成上の要件があるべきか具体的に示す必要がある。 | 参考 | |
| 387 | 趣旨素案について、納税する市民として全く賛同できません。素案全体に、横浜らしい魅力を感じません。よって、横浜にカジノを含むIRを、山下公園先に設置することに反対です。山下公園は幼児児童を含む家族連れを含め市民、ならびに横浜市来訪者にとって誰でも自由にアクセスできよく知られ親しみのある公園です。そこ見える場所に、周囲とは見るからに見た目も内容も異なる施設があることは情操教育的にもよろしくありません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 388 | 横浜市は「都市デザイン」を軸に市の中心部を整えてきました。都市デザインには、その根底に「歴史」という時間軸も備わります。ＩＲ設置先として検討されている山下ふ頭には、関東大震災の復興として整地された山下公園、戦前前後に波乱の歴史をたどってきた生き証人のような氷川丸などが隣接しています。それらに横浜ならではのストーリーがあり、それゆえに訪れる人は景観にも感銘を受けます。そこへ、ある意味拝金主義であり、つましく暮らす市民には全く無縁のカジノ施設を備えたエリアが出現することのちがくは非常に違和感があり、それこそ横浜市ブランドを傷つけるものです。また、山下公園という、ＴＶや映画など映像の背景として愛され貴重がられた眺めをやすやすと失うことは、それこそ横浜市ブランドを傷つけるものです。市民の賛同が乏しい政策でありながら、今の横浜らしい景観を大きく損なうような「ＩＲ施策」実現は、強く反対し、実現されないよう、市民として努めます。 | 参考 | カジノという過去の映画の影響などにより、さらびやかで、ネオンなどで、けばけばしいものと受け止められ、現在の横浜のイメージにそぐわないのではと思われる方も多いと思われます。 日本型ＩＲが参考としているシンガポールのＩＲにもカジノはあります。これらは、ＩＲ施設に調和するよう設置されています。横浜ＩＲにおいても、横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。＜方向性 P.49＞ |
| 389 | 横浜の魅力は、近代以降、この国の異文化受け入れ・交流などの先進地域として、文化面を中心に発展してきたところです。“最先端のテクノロジーを駆使した未来の街”といった、ことだけが踊っているような未来図は、けっして横浜にふさわしい姿とは思えません。 | 参考 | |
| 390 | 横浜カジノ反対。港の見える丘公園からの景色が変わってしまうのは悲しい寂しい。周りに住宅街があるというのに、公園ならずともカジノを囲んで生活するなんて有り得ない。 | 参考 | |
| 391 | 「方向性」についても、根本的な問題がある。「山下ふ頭では、21世紀を象徴するような、新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します」というが、そのど真ん中にカジノ、つまり賭博場をつくるというのは、パラドックスと言わざるを得ない。というのも、平成26年3月につくられた「美しい港の景観形成構想」が指摘したものは、およそ反対のものになるからである。「今後臨海部の景観形成を進めるにあたっては、さらに港と市街地の結びつきを強くする取組や、これまでの港の歴史を継承しながら、観光だけでなく生活者の視点にも配慮し、地域資源の活用、文化の醸成による地域への愛着の形成など、「訪れたい港町」「住みたい港町」を形成することが重要です」。 | 参考 | |
| 392 | ＩＲができるのは楽しみですですがキンキンギラギラのカジノができるのは横浜のイメージに合わないと思います。何か対策があるといいです。 | 参考 | |
| 393 | 横浜のイメージ通りの美しい街を作ってほしい。一部だけでなく全市をきれいに住みやすく！ | 参考 | 横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。＜方向性 P.49＞ |
| 394 | 今後、人口減少による税収減等の諸課題に対する取り組みは、現役世代の責務であると考えます。是非共、将来の子供達の為、未来ある横浜市のために財源の確保をお願いしたい。その手段の一つとしてＩＲ政策は現実的であり、実行性の高い政策であります。よって、臨海部のコミュニティーや景観等に配慮した統合型リゾートの推進を希望します。 | 参考 | |
| 395 | 新しいものを創るなら、海外にあるものより斬新なデザインのものを作ってください。 | 参考 | |
| 396 | 基本的には賛成です。これまでの横浜の街なみに調和した建物ができるといいと思いますが、つまらないものはつくらないでください。 | 参考 | |
| 397 | 現存の横浜山下公園周辺では映画やＴＶの撮影も盛んに行われています。世界のカジノを見ると個人情報を守るためにビデオ、カメラなどの撮影を、厳しく制限しています。つまりカジノ産業を導入することは撮影地の収入はなくなるのではないのでしょうか？個人の撮影が気軽にできなくなるのも悲しいです。横浜の風景、夜景を大切にしていきたいです。 | 参考 | |
| 398 | ラグジュアリーなホテル、レストランも楽しみです、気軽に楽しめて、景観も素晴らしい、場所を作ってください。 | 参考 | |
| 399 | ＩＲ賛成。マリナーベイサンズのように一目見れば横浜を思い出せるような特徴的なものを望みます。 | 参考 | |
| 400 | 横浜港に新たにフォトジェニックなものができれば、賑わいに繋がると思っています。国内からの観光客だけでなく海外からも多くの | 参考 | |
| 401 | ＩＲ施設の建造で、より魅力的な臨海部の景観が創出される。新しい横浜がたのしみです。ＩＲお願いします。 | 参考 | |
| 402 | カジノの記載は良い。横浜港は世界に誇れる「美港」になりうる。ＩＲでそれに近づけてほしい。←こういう記載があってもいいのではないかな？ | 参考 | |
| 403 | ラスベガスやシンガポールに何度か行ったことがあります、あの様な場所ができるなら決して治安は悪くならないと思います。建物だけ、横浜に似合うデザインにさせていただきたいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 404 | 横浜市の都市ポテンシャルは、東京に次いで、高いレベルだと認識しているので、シンボリックな施設は絶対必要であると思う。 | 参考 | 横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。〈方向性 P.49〉 |
| 405 | このIRだけではなく、港全体で魅力的なものを作っていけば世界から選ばれる街になっていくと思いました。 | 参考 | |
| 406 | 港横浜の景観にマッチングするような施設計画にしてほしい。 | 参考 | |
| 407 | 世界最高の景観をつくってほしい。世界三大美港にも負けないくらいの景観となることを期待しています。 | 参考 | |
| 408 | シンガポールのマリーナ・ベイ・サンズのような、景観的にも素晴らしいIRを整備して下さい。 | 参考 | |
| 409 | 美しい港の景観が楽しめるIRが出来る事を心待ちにしています。 | 参考 | |
| 410 | みなとみらいはつまらない建築物が、増えてしまい、ただのビル群になってしまった。IRでは港や空など横浜らしさと圧倒的な建築物によって新しい横浜の風景を作してほしい。 | 参考 | |
| 411 | IR楽しみです。関内の三塔との調和を忘れないでください | 参考 | |
| 412 | IR応援しています。日本三大夜景の一つに入るくらいきれいな景色にしてください。 | 参考 | |
| 413 | IRの誘致に賛成です。ぜひ、世界を驚かせるような斬新な景観のIRをつくり、横浜の新たなプライドかつアイコンになると、いいと思います。 | 参考 | |
| 414 | 風光明媚な横浜や港をみてもリラックスできる景観を永遠に大切にしてほしいです。 | 参考 | |
| 415 | カジノは港ヨコハマの風景に全くふさわしくありません！ | 参考 | |
| 416 | 「21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観形成」なんて美辞麗句がならんでいるが、「21世紀」とは何をさしているか、21世紀とはなにか全く説明がないでは意味がないではないか。 | 参考 | |
| 417 | IRは大賛成です。横浜のIRはシンガポールのマリーナベイサンズのような施設。テレビで見えるような屋上プールは憧れであります。あの屋上プールから見えるランドマークなんて素晴らしいと思います。 | 参考 | |
| 418 | 新しい横浜の価値を創造するものとして、IRは必要だと考える。今の景色との調和を保つことも大事だと思うが、市民がプライドを持てるような世界でも類を見ないユニークな景色を生み出すものであって欲しい。 | 参考 | |
| 419 | 横浜にIR。新しい横浜の価値を創るいいチャンスだと思う。景観維持より、世界的に見てハイセンスな景観を生み出してほしい。 | 参考 | |
| 420 | 横浜IRに賛成です。地域経済の新興、財政の改善への貢献がとても魅力的です。新しい横浜の価値を創造する景観形成をしてほしいです。 | 参考 | |
| 421 | 世界最高水準のスケールとクオリティを有する、インパクトのある景観をもった横浜IRができることを期待しています。 | 参考 | |
| 422 | 横浜の夜景を、国際レベルに出来ますか？ | 参考 | |
| 423 | IR賛成です。21世紀を象徴するような新しいデザインとありますが、税関や県庁、山手地区などの歴史ある町並みとの調和も忘れないでほしいです。 | 参考 | |
| 424 | 36頁の訪日旅行のきっかけが「日本の自然や風景に対する関心」が一位である以上、どこに作っても同じで風景を破壊する日本らしさが無い人口建造物であるIRを作ることはデメリットと考えるが、横浜市の見解を載せてください。 | 参考 | |
| 425 | 賛成。横浜の新しい価値を創るいいチャンスです。横浜IRはハイセンスな景観で、世界的に映える施設になってほしいですね。 | 参考 | |
| 426 | 横浜IRの誘致は、いいことだと思います。景観は、ハイセンスな斬新なものになるといいと思います。すてきな横浜IRで働いてみたいです。 | 参考 | |
| 427 | どこよりも美しくハイセンスで斬新な景観ができるといいと思う。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 428 | 横浜IR、賛成！！とくに、これからIR事業者さんに提案される景観イメージや施設のイメージにとっても興味があります。最後に選ぶ前に、提案されたイメージ図は市民にも広く公開してほしいと思います。人気投票などしてみても、盛り上がって良さそう！！どうせ作るなら景観面でも世界に誇るIRになってほしいです！！ | 参考 | 横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。＜方向性 P.49＞ |
| 429 | 横浜IRの誘致は横浜市民に必要。賛成だ。世界中が絶賛するような、斬新な景観のものを期待しています | 参考 | |
| 430 | 賛成。横浜IRの景観は、未来的な、斬新で芸術性の高いものになると思う。リゾート施設やカジノで遊ぶだけでなく、芸術的な建築物として観に行きたくなるようなものができてほしい。 | 参考 | |
| 431 | 誘致に賛成です。中区民、横浜市民が誇らしく思えるような、カッコいい景観を生み出してほしい。 | 参考 | |
| 432 | 横浜にIRを誘致する以上は、日本国内に設置される複数のIR、ひいては既に展開されている世界各国のIRとの差別化を図るべく、カジノ部分を含めて全体として、くれぐれも（日本にありがちな）中途半端なものを作らないうようにしていただきたい。すなわち、横浜の景観には一定の配慮はしつつも、たとえばマカオやドバイなどにあるような、建物自体が人の目を引き付ける豪華あるいは奇抜（独特）な外観を有するものであることが望まれる。 | 参考 | |
| 433 | 美しい横浜港を中心とした景観構想を、IRを通じて都心臨海部から新しい横浜を発信していくイメージは論証も成立しているし、説得力もあり図説も分かりやすく、間違っていないと思う。しかしこのイメージ構想は、今までの都市・横浜が築いてきた横浜のイメージの上書きであり、高齢化する市民とともに行政が打ち出している《住みやすい都市・横浜》のイメージは、スローガンであって具体性が見えない。 | 参考 | |
| 434 | IR誘致に賛成。中区民や横浜市民がプライドをもてるような、カッコいい景観が作られてほしい。 | 参考 | |
| 435 | 賛成です！横浜ベイブリッジとみなとみらいは景観的にも美しいですが、シドニーやニューヨークといった港と比べると、羽田や海から横浜に入る時にはインパクトに欠けます。都市デザイン・景観形成の「山下ふ頭では、21世紀を象徴するような、新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。」には、とても期待しています！ | 参考 | |
| 436 | P49「2. インナーハーバーに加わる新たな都市づくりの1ページとして」のIRをぜひ実現していただきたいです。景観や機能などを補完・創出し、都心臨海部全体を盛り上げる存在になってほしいです。 | 参考 | |
| 437 | IR誘致に賛成です。IRリゾート統合型リゾートの誘致は経済的な理由から誘致は仕方ないと思いますが、横浜で生まれた私としては山下町エリアの外観が変わってしまうことは寂しい気持ちにはなります。ギャンブル依存症などの問題など難題はあると思いますが、横浜らしい街づくりを期待しています。 | 参考 | |
| 438 | 賛成です。4月1日に公開された動画も観て、ますます楽しみになりました。市民が誇らしく思えるようなカッコよさや華やかさにあふれる景観になるといいと思います。 | 参考 | |
| 439 | 「美しい港の景観形成構想」は「これまで築き上げてきた地区の歴史や文化を尊重し、次の時代に継承していく」、「他地区からの景観要素への眺望を遮らないこと、また近景だけでなく遠景にも配慮し地区としてまとまりのある景観を形成することが重要」、「観光だけでなく生活者の視点にも配慮」と掲げ、「訪れたい港町」だけでなく「住みたい港町」にすることを掲げている。港の歴史と質の異なる、観光客目当てで生活者への視点がない米国型カジノIRは、構想に反する。 | 参考 | |
| 440 | 施設デザインは、横浜らしさを追求し世界的なレベルがほしい。 | 参考 | |
| 441 | 「美しい港の景観形成構想」は「これまで築き上げてきた地区の歴史や文化を尊重し、次の時代に継承していく」、「他地区からの景観要素への眺望を遮らないこと、また近景だけでなく遠景にも配慮し地区としてまとまりのある景観を形成することが重要」、「観光だけでなく生活者の視点にも配慮」と掲げ、「訪れたい港町」だけでなく「住みたい港町」にすることを掲げている。港の歴史と質の異なる、観光客目当てで生活者への視点がない米国型カジノIRは、構想に反する。 | 参考 | |
| 442 | IRで予定しているホテルのイメージ図では、とても派手な見た目です。横浜市では、派手な見た目のホテルは作れないように条例で決まっているはずです。IRを導入するために規制緩和して横浜の風俗を乱さないようにしてください | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 443 | 「横浜ⅠRの方向性(素案)」で、「未来の街」とされる山下ふ頭区は、どんな「街」のイメージになるのか。これは「横浜ⅠR」を評価する上で小さくない問題です。「広報よこはま」また「方向性(素案)」では、「民設・民営一体的な整備・運営」と掲げられるR山下ふ頭らしきイラストは、せいぜい街のレジャーランドの風です。「世界最高水準のⅠR」「未来の街」というには、あまりの矮小化。市民への説明資料として真面目さがありません。撤回すべきです。 | 参考 | 横浜のそれぞれの時代を代表する景観に敬意を払いつつ、山下ふ頭を核としてインナーハーバー全体が都市としての魅力をさらに高める、21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観づくりに挑戦します。〈方向性 P.49〉 |
| 444 | どうせやるのなら、今までの横浜の地味なものではなく、思いっきりド派手な建物やオブジェを作ってみてはと思う。 | 参考 | |
| 445 | 横浜の歴史的な建造物、景色、魅力を十分に生かした方向性だと思います。特にカジノ、他の増設施設に関しては、内外装が横浜色(レンガ、木材、瓦、石、等々)をふんだんに使用し各国の人々が、一目惚れする横浜イノベーションⅠRを目指して頂きたい。 | 参考 | |
| 446 | 何度でも訪れたいような、また、景観の良い区域となることを期待しています。 | 参考 | |
| 447 | 山下公園から続く素敵な景観を生かしたⅠRになることを希望します。 | 参考 | |
| 448 | 横浜は日本でも有数の「デザインされた」街です。ⅠRができることでこれまでの積み重ねがムダになってしまうのではないかと心配です。デザイン的に、もっと誘導する記載があってもよいかと思えます。すばらしい建物ができて、より横浜の風景を自慢できるようになることを楽しみにしています。 | 参考 | |
| 449 | 歴史ある、お洒落なイメージの横浜も、ひとところより活気がなくなり、現在はごく一部の「みなとみらい地区」以外は人気スポットに乏しい感があります。総合型リゾート開発と同時に、以前人気があった名所、旧蹟等にも賜わいが取り戻せる様、東京、京都、その他、他とは趣を異にする“よこはまらしさ”を感じる事の出来る街づくりを期待しています。また交通機関の利便性を充実させつつ、緑豊かで、土や自然が感じられる健康的なイメージを保ちつつ、経済発展が永続的に望めればと思います。 | 修正 | 地域全体の景観と調和しつつ、山下ふ頭とこれまでの街並みの個性が対比しながらひきたてあうことで同時に、都心臨海部の魅力を形成していくこととし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.49〉 |
| 450 | ⅠR賛成。横浜駅-MM-新港-関内-山下ふ頭とストーリーのある外観が必要かと。ぜひとも周辺と調和したものをつくってください | 修正 | |
| 451 | 歴史のある街「横浜」、既存の良き横浜らしさを失わない、新旧融合した都市づくりをすることが必要不可欠です。 | 修正 | |
| 452 | みなとみらいは、全体的に統一感のあるデザイン・まちづくりとして有名な場所です。ⅠRができることに対して反対はしていませんが、どうか今までがんばって形成してきたものを壊す結果にならぬよう願っているところです。がんばってください。 | 修正 | |
| 453 | 内港地域の秩序ある整備、開発を進めてほしい。 | 修正 | |
| 454 | ⅠRに賛成。横浜は、歴史的建造物の保全活用や、魅力的な景観づくりに取り組んできました。山下ふ頭はみなとみらい2地区にも近く、関内や山手地区といった既成市街地にも隣接しています。これらのまちの特徴を生かし、景観に配慮した魅力あふれるⅠRとなることを期待しています。 | 修正 | |
| 455 | ⅠR開発は近未来的な建築外観をイメージしますが、既にみなとみらいエリアで同様の開発がされています。ですので山下ふ頭開発は、周囲景観とマッチする「ギラギラし過ぎない町」として開発することを要望します。 | 修正 | |
| 456 | 3(3)-2の景観形成のコンセプトに賛成です。ただしわかりやすい文章にしてほしいです。 | 修正 | いただいたご意見を参考に、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.49〉 |
| 457 | 賛成です！横浜に最先端の建築がくるのかと考えるとワクワクします。ただ、コンセプトについて、意見があります。4つのコンセプトのうち、コンセプト3について、山下ふ頭に誘致するⅠRは、これまでのまちづくりの延長線上に成り立つものであることから、「既存の都市構造の枠組みにとらわれない」は不要かと思えます。 | 修正 | |
| 458 | 賛成です！横浜にⅠRがくると街が元気になると思います。みなとみらいや赤レンガなど、魅力的な街がありますが、ⅠRによってさらに街の幅が広がり、これまでの横浜ではできなかった、様々な体験ができるようになります。とても楽しみにしています。そこでですが、コンセプト4については、「体験を享受する」よりも、「体験を創造する」や「体験を構築する」という表現の方が適切ではないでしょうか。 | 修正 | 世界に“横浜を魅せる”これからの都市デザインを進めていくこととし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.49〉 |
| 459 | 風車、太陽光等自然エネルギーの活用、海水面の浄化、周辺海域にサンゴ礁育成によるCO2削減など環境対策にも貢献する施設として、将来の都市の魅力を生分に発信する施設を目指して頂きたい | 修正 | 「未来の街のショーケース」として、明日の横浜の姿を発信することとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.50〉 |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 460 | I Rが持続可能な地球にやさしい街づくりの模範、先駆けになるものであることを期待します。 | 修正 | 「未来の街のショーケース」として、明日の横浜の姿を発信することとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.50＞ |
| 461 | ガーデンシティ横浜にふさわしい緑豊かなI Rを実現してほしいと思います。事業者の言いなりにならず、市がきちんとコントロールすれば皆さんが、心配する様な事はないと思います。 | 参考 | 横浜I Rでは、SDGs未来都市・横浜として、IoTやICT、ビッグデータの活用やAIの駆使など、最先端技術の多方面にわたる連携・活用を目指します。それにより水と緑があふれるまち・災害に強くしなやかなまち・人とテクノロジーが共存するホスピタリティあふれるまちを実現します。日本でも世界でも類を見ない最先端技術を駆使したスマートシティを実現し、「未来の街のショーケース」として、明日の横浜の姿を発信します。＜方向性 P.50＞ |
| 462 | 環境に配慮した自然、緑あふれる開発をしてほしい | 参考 | |
| 463 | I R整備に大賛成です！一部の人が心配する依存症の対策は行ないながら、早期に実現してほしい。「負けた（勝たない）人たちのお金を市の財政に充てるのはおかしい」というなら「宝くじ」はどうなのか？宝くじも有効な財源になっている。法律に基づき、地方自治の二元代表による民主的手続きで決めて進めてください。みなとみらいの経験を活かし、世界に誇れるスマートシティ（新エネルギーを活用した冷暖房、送電、輸送システムetc）を実現していただきたい。議会で議事妨害するような者は、法令に基づき取り締まってほしい。（民主主義を語る資格はないです） | 参考 | |
| 464 | 脱炭素化（ゼロカーボンヨコハマ）のシンボリックな取りくみ。→世界一環境に優しいI Rの実現。 | 参考 | |
| 465 | I R整備にあたっては、横浜市が推進するゼロカーボンヨコハマのシンボリックな取りくみをI Rオペレータと協働してすすめるべき。 | 参考 | |
| 466 | I R施設内「緑花」の充実を図ること。（ガーデンシティ横浜のPRの為）実施方針に盛り込まれること。 | 参考 | |
| 467 | I Rは浪費経済の頂点にあるものです。少子化社会、地球温暖化防止の観点から見ても百害あって、一利なしです。非生産的なことに投資しないで下さい。 | 参考 | |
| 468 | 港横浜山下公園から港の見える丘公園、フランス山と緑に囲まれたこの地はもっともって緑を増して全国から又外国からのお客様の憩いの場所として港をながめながら散策出来たら素晴らしいと思うところに統合型リゾートを作るとはますます自然が失われてしまいます。これ以上地球を痛めないで自然を残して欲しいと思います。お金儲けばかり考えて我々庶民には何の良い事もないと思います。 | 参考 | |
| 469 | 技術の最先端が実現できる施設を目指してほしいです。 | 参考 | |
| 470 | ビーチリゾートなど本牧地区を海辺の砂浜の場所にしてほしい。水生水族館も良い。 | 参考 | |
| 471 | 素案では、「豊かで安心安全な暮らしを維持」の目標を掲げ、SDGsの考えにももっているということをうたっていますが、SDGsの『・目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する・目標8 すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長、雇用およびディーセント・ワークを推進する・目標11 都市を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする・目標12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する・目標16 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する』といった目標から、カジノの設置は大きく外れていると考えます。 | 参考 | |
| 472 | 海を望む場所は、樹木や芝生がある、自然を生かした絵になる美しい所にしたい。 | 参考 | |
| 473 | I R賛成。人工的すぎないよう、緑を多く入れてください。 | 参考 | |
| 474 | カジノは不夜城のため、クリーンエネルギーを推進する立場からも電気の無駄遣いになる。（SDGsと矛盾） | 参考 | |
| 475 | 最先端のスマートシティを望みます。 | 参考 | |
| 476 | 横浜I R事業に反対する私は、横浜がSDGsを目指すというならなぜ「カジノ」施設が必要なのか理解出来ない。どこが持続可能な社会なのか？と思う。 | 参考 | |
| 477 | 新しい施設を設けるなら、トコトン最先端の技術を導入し、日本のみならず、世界中で最先端技術の実証実験場所となるくらいのことをやってほしいです。 | 参考 | |
| 478 | 環境悪化をひどくするI Rではなく、自然を沢山とり入れていく形がよいと思います。カジノは、それに反します。止めましょう！ | 参考 | |
| 479 | 最先端の技術、AR、VR、IoT、AI、自動運転バス、などを、市民が気軽にふれられるI Rをつくってほしい | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 480 | 春には桜、秋には楓など日本の四季を感じられる植物を計画的に植えてください。 | 参考 | 横浜IRでは、SDGs未来都市・横浜として、IoTやICT、ビッグデータの活用やAIの駆使など、最先端技術の多方面にわたる連携・活用を目指します。それにより水と緑があふれるまち・災害に強くしなやかなまち・人とテクノロジーが共存するホスピタリティあふれるまちを実現します。日本でも世界でも類を見ない最先端技術を駆使したスマートシティを実現し、「未来の街のショーケース」として、明日の横浜の姿を発信します。＜方向性 P.50＞ |
| 481 | 地球温暖化、気候変動への対応、ヒートアイランド対策は？本IRプランの山下埠頭は気温が高い。ヒートアイランド地域です。どの様なヒートアイランド対策をするのかももう少し知りたい ホテルはともエネルギーを使うインフラだと考える | 参考 | |
| 482 | 最新技術（5Gを利用した設備）先端技術を使用するために企業との協同企画が必要 | 参考 | |
| 483 | 新型コロナの問題で中小企業、商店街など深刻な痛手をうけています。自然環境の大変化や気候危機が叫ばれる中、人間の力が及ぶ営みについてもっと未来社会を展望したプランを考えるべきときに益々きていると思います。こんなときに横浜にカジノ・IRを持ちこむことに、反対です。建物を作り、うまくいかなくても40年は持つなど、温暖化の流れを増大させるものです。 | 参考 | |
| 484 | 気候変動とグローバリズムに対する視点に欠け、情報・通信技術の発達に対応してもいない。 | 参考 | |
| 485 | IRにはカジノが含まれます。このことを謳ってください。カジノ誘致大反対です。横浜市は国連が提唱しているSDGsに賛同しない自治体ですか？カジノが持続可能な産業だとお考えですか？私は否と思います。 | 参考 | |
| 486 | 熱中症対策のために地域冷暖房Systemも必要になります。 | 参考 | |
| 487 | 国も市も（世界でも）SDGsを取り組んでいます。こういう不確定、不健全なものは決して“持続可能な社会”とは言えないと思います。 | 参考 | |
| 488 | 今後の世代に托すのならば、やはり技術に頼るべきである。この地に最先端技術の研究施設はどうか。戦争や自然災害を起させないための究極的な研究、海洋技術、電波のさらなる研究、防衛の研究、その他にも新しいテーマも沢山あるう。 | 参考 | |
| 489 | 大きいことは良いことでは決してありません。地域環境を含め、気候・風土にも影響します。あるがままの地形・海岸線を営利の為にこれ以上削らないで下さい。変えないで下さい。この地球誕生から長い長い年月を経て、ある今の地球の環境を未来の世代にわたせるように、これ以上、破壊しないで下さい。絶滅危惧種をこれ以上ふやさないで下さい。 | 参考 | |
| 490 | 「スマートシティ・環境・防災」（素案・50頁以下）に至っては、IRとの論理的結び付きが極めて脆弱で、これはIRとは切り離された旧来の市の政策を再録したものという印象しかない | 参考 | |
| 491 | 原点に立ち戻りSDGsの視点からも横浜・神奈川・日本が安全安心で来なくなる住みたくなくなる町をめざすため空間・時間、人材資源を最大限に活かす方向性を改めてじっくり丁寧な話し合いのもとに今の市民だけでなく未来の市民・世界に向けても誇れ支持信頼される町づくりであってほしい。 | 参考 | |
| 492 | 市長と素案立案者は「SDGs未来都市」などと並べてますが、SDGsの本旨・理念を全く理解していないのでは？どこに持続可能な発展や環境を守る施策が？ | 参考 | |
| 493 | 大規模な開発目標だけがよいとは思えません。持続可能な発展目標は小さくともいいのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 494 | 素案は、取ってつけたように、カジノを含むIR施設の誘致が「SDGs未来都市・横浜」のコンセプトと合致しているかのように見せようとしています。両者は何の関係もなく、カジノは365日、大量の電力を消費するのでむしろ敵対的な性格を有しています。 | 参考 | |
| 495 | 素案に記されているように上位計画である「SDGs未来都市・横浜」ビジョンでは、「環境や経済・社会的課題の同時解決を図る「大都市モデル」を創出する取組を進めます。」としている。また、「横浜市地球温暖化対策実行計画」でも脱炭素化の実現を目指す姿をゴールとしているが、この上位の取組に関して「カジノを含む横浜IR事業」が合致しているのかの道筋が素案では明確に示されているとはいえない。素案16ページ目からは、環境の課題解決は置き去りになり、「将来にわたり豊かで安全・安心な暮らし」が唐突に中心的論点として提示されている点は、脱炭素社会を目指す世界の潮流に沿ったものとはいえない。 | 参考 | |
| 496 | 14頁でSDGsにおける環境に配慮について、夜間電力の削減、温室効果ガスを大量に発生させる飛行機による移動の削減、ヒトやモノの移動の削減、に対する横浜市の戦略を載せてください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 497 | 50頁の持続可能な循環型都市地域を考えるに、各家庭が一生懸命、爪に火を点して節電しても、IRで24時間不夜城で大量に電気を使われては地域全体では意味がないと考えられ、横浜市民として節電の意欲減退及びSDGsに対する横浜市の姿勢の偏りを感じるが、横浜市の見解を載せてください。 | 参考 | 横浜IRでは、SDGs未来都市・横浜として、IoTやICT、ビッグデータの活用やAIの駆使など、最先端技術の多方面にわたる連携・活用を目指します。それにより水と緑があふれるまち・災害に強くしなやかなまち・人とテクノロジーが共存するホスピタリティあふれるまちを実現します。日本でも世界でも類を見ない最先端技術を駆使したスマートシティを実現し、「未来の街のショーケース」として、明日の横浜の姿を発信します。＜方向性P.50＞ |
| 498 | 14頁でSDGsに謳われる7、11、12、13に係る環境に配慮した場合、夜間電力の削減や、温室効果ガスを大量発生させる航空機による移動の削減、ヒトやモノの移動の削減に対する横浜市の戦略を載せてください。 | 参考 | |
| 499 | 39頁のナイトタイムエコノミーは、SDGsの環境保全や働き方改革に反すると考えられそうした志向は改めるべきと考えるが横浜市の見解を載せてください。 | 参考 | |
| 500 | 花と緑の名所となるような整備を行ってください。未来の横浜を先導するようなまちづくりにご尽力ください。 | 参考 | |
| 501 | IRへの取組、賛成です。最新技術によるまちづくりを行ってください。 | 参考 | |
| 502 | 横浜の国際競争力向上に寄与する「横浜イノベーションIR」の実現に賛成です。関内・関外地区、みなとみらい21地区などの既存市街地と融合し、都心臨海部全体の活性化により横浜市全体の経済をけん引することで、市域全体の持続可能な暮らしを支えていくものと認識しています。 | 参考 | |
| 503 | 『スマートシティ・環境・防災など』SDGs未来都市として、IoT、ICT、AIやビッグデータの活用など様々な最先端のテクノロジーを駆使し、それらを都市に実装し続けることで、スマートシティ・環境先進都市としての可能性を体現することこそ、横浜が目指す重要な要素と思います。ですので、様々なテクノロジーを駆使する企業や市民からのアイデア創出とIRのまちづくりをどのように連携させて行けるのか。より具体的な施策を検討していただければ心強いです。定例会・委員会などでは、カジノの是非の部分に多くの時間が費やされてしまっていますが、市民としてはこの辺りのビジョンを具体的にどのように実装してゆくかの議論をより活発に行って欲しいと感じております。そういった意味で、IRの議論とテクノロジー・防災・SDGs（環境面だけでなくダイバーシティなどなるべく分野横断的に）・エネルギー&環境政策などをもっと積極的に紐づけて、より建設的な議論やアイデアの創出に時間を使っていたら大変な難く思います。 | 参考 | |
| 504 | SDGs未来都市としてのゴールに対する阻害要因を、カジノがたくさん持っています。そもそも、横浜IRがSDGsにどのように貢献するかがこのページに何も書かれていません。 | 参考 | |
| 505 | 50ページ：「エリア全体でのエネルギーの最適化」が理解できません。風力発電の写真が掲載されていますが、まさか、山下ふ頭に風車を建てるのではないでしょうね。 | 参考 | |
| 506 | 「未来の街のショーケース」というコンセプトに期待しています。未来の都市空間を体感できるつくりになっていただきたいです。 | 参考 | |
| 507 | まちづくりのコンセプト 1. 「横浜IR」を都心臨海部と一体的に整備し、融合：賛成 2. 21世紀を象徴するような新しい横浜の都市デザイン・景観形成：賛成 3. 最先端 技術を駆使したスマートシティ、環境、防災、ユニバーサルデザインなどの「未来の街のショーケース」：次世代に続く、未来は大切 | 参考 | |
| 508 | 横浜市に世界最高水準のIRが実現した場合、経済波及効果は横浜市・神奈川県のみならず首都圏全体にも及ぶと思われ、非常に意義深い取り組みだと思います。またスマートシティの先駆として、日本全体の良きモデルケースになり得る点も重要だと思います。 | 参考 | |
| 509 | カジノを含むIRは横浜市が積極的に進めているSDGsに背反しているのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 510 | 「地球温暖化対策実行計画」で、できるだけ早期の温室効果ガス実質排出ゼロ（脱炭素化）の実現を謳うが、24時間電飾が輝き、電子ゲーム機EGMが多数稼動するカジノIRは電力消費多く、かえってマイナスである。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 511 | 財政は難しい部分が多いと思いますが、海外の方に観光に来てもらおう、横浜を好きになってもらおうと思っている市民は本当に一握りの人でしょう。そんな大きな施設よりも緑が豊かな公園や、子供たちがなにも気にせずボール遊びや大きな声を出しながらかけっこ出来る場所が必要なのではないでしょうか商業施設や結婚式場ばかり建設されて、私たちは辟易しています。せっかく山下の景観が素晴らしいというなら、それを子供たちに見せて育てましょう身の回りでは子育てに苦しんだり息苦しさを感じたり奔走しないでいい場面で奔走しているママたちを見ていると、さっぱり子供を産み育てようという気には到底なれません。 | 参考 | 横浜IRでは、SDGs未来都市・横浜として、IoTやICT、ビッグデータの活用やAIの駆使など、最先端技術の多方面にわたる連携・活用を目指します。それにより水と緑があふれるまち・災害に強くしなやかなまち・人とテクノロジーが共存するホスピタリティあふれるまちを実現します。日本でも世界でも類を見ない最先端技術を駆使したスマートシティを実現し、「未来の街のショーケース」として、明日の横浜の姿を発信します。＜方向性 P.50＞ |
| 512 | 方針2「臨海都心部との融合」、方針3「オール横浜での観光・経済の推進」に当たっては、「ガーデンシティ横浜」としての、花と緑の取り組みが非常に重要と考える。IRによって、インバウンドを含めて観光・経済を活性化するのであれば、その「しつらえ」「場」としての緑と花の果たす役割は大きいと考えられる。「グレイインフラ」中心ではなく、「グリーンインフラ」と「グレイインフラ」の美しい融合によって、IRも含めた「ガーデンシティ横浜」が実現することを強く希望する。 | 参考 | |
| 513 | IR以前に、安心・安全な都市を目指して、自給自足のコロニー型の都市を検討してみてもどうでしょうか。一各区内に自給自足の拠点を設け、食品・水・衛生品（マスク、トイレトペーパー含む）の製造、備蓄、物流などを細かいメッシュで賄う考え方です。いざという時に、物資が行き渡らなくなることを防げます。病院や避難所の配置も見直します。各地域に細かくこれらの事業を配置することになるので、地域経済にも貢献します。ヨコハマらしい画期的なスマートシティを実現しましょう。 | 参考 | |
| 514 | 賑やかなエンターテイメントだけでなく持続可能で自然環境も体感できるようなスペースも欲しい、森（森林公園）をつくる | 参考 | |
| 515 | 観光客が見てたいと思い、また、まちの人が誇りに思える魅力的な景観づくりと共に、後発だからこそできる様々な最先端のスマートシティの取り組みによる魅力づくりにも力を入れてください。 | 参考 | |
| 516 | 「地球温暖化対策実行計画」で、できるだけ早期の温室効果ガス実質排出ゼロ（脱炭素化）の実現を謳うが、24時間電飾が輝き、電子ゲーム機EGMが多数稼働するカジノIRは電力消費多く、かえってマイナスである。 | 参考 | |
| 517 | 「SDGs未来都市」では、環境面の取組で24時間動かせるMICEのためのエネルギーを脱炭素でできますか。 | 参考 | |
| 518 | 新型コロナの問題で中小企業、商店街など深刻な痛手をうけています。自然環境の大変化や気候危機が叫ばれる中、人間の力が及ぶ営みについてもっと未来社会を展望したプランを考えるべきときに益々きていると思います。こんなときに横浜にカジノ・IRを持ちこむことに、反対です。建物を作り、うまくいなくても40年は持つなど、温暖化の流れを増大させるものです。 | 参考 | |
| 519 | 観光面でも最先端のスマートシティを実現したIRとしてほしい。 | 参考 | |
| 520 | スマートシティなど、世界から注目される施設にしてみてもどうでしょうか。IRぜひ作って下さい。 | 参考 | |
| 521 | 山下公園から今回開発予定の山下埠頭跡も海岸線一周を市民に開放する事が重要ポイントになる。即ち本リゾート施設は、海岸線は市民に開放し、カジノ施設は中央部に設置されるべきと思う。 | 修正 | 横浜港の水際を形成する既存の街並みや山下公園と連続した、いつでも誰でも楽しめる、開放的な、緑豊かなオープンスペースと水際のプロムナードを形成することとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.50＞ |
| 522 | 今度IRを目指す山下ふ頭は都心臨海部。水は人々の心を「なごませる」最大要素でプラス大岡川、中村川との回遊性もあり、横浜を世界有数の大観光地になし得る。（住むには水辺が一番） | 修正 | |
| 523 | 豊かな海づくりに関連して。人々が砂浜、水とふれあう場作りを！砂浜公園の設置を！！ | 修正 | |
| 524 | 子供たちの育成のためにも、海や浜が身近に感じられて、マリンスポーツにも参加できるようなスポットができると良いと思います。海辺にプロムナードがあって、そこに老人や、若者、子供たちが、自然と集まっていくようなスポットが出来ればと思います。 | 修正 | |
| 525 | 山下公園から、あたかも公園がつながっているような緑の連続性を担保して欲しい。みなとみらいまで、水際を歩けるようにして欲しい | 修正 | |
| 526 | 大人も子供も楽しめる明るく健全な施設や、海が堪能できる場所があるといいと思います。夏に、外部に多くの木陰があると、散歩や子供を遊ばせる事ができるので、木陰をふんだんに取り入れたプランが、あるといいと思います。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 527 | IR早くつくって！！NYのセントラルパークのような一角をつくってください | 修正 | 横浜港の水際を形成する既存の街並みや山下公園と連続した、いつでも誰でも楽しめる、開放的な、緑豊かなオープンスペースと水際のプロムナードを形成することとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.50＞ |
| 528 | 山下埠頭を一周出来る散歩道を作り、ベンチを置いてゆつくりと海を眺められる場所を作る。 | 修正 | |
| 529 | IRはカジノではない、と市は言います。国際会議場、ホテル、レジャー施設、ショッピング施設、そんなものは、他にいっぱいあります。又、レジャー、ショッピング施設がそんなに魅力的なものにも思えません。私は、どンドン縁の公園、植物園などを作って、いこいの場、のんびりできる場がほしいです。 | 修正 | |
| 530 | みなとみらい側の水際はもちろん山下公園から連続性のある湾岸リゾートを形成して頂きたいです。新山下側の水際は産業港の景観を借景とした「古き良き横浜」アメリカンウォーターフロント風だと素敵だと思います。ランドマークになる建物のビジュアルはまずインパクト。ガーデンズバイザベイやオペラハウスにも負けない21世紀の横浜の「顔」を是非お願いします。 | 修正 | |
| 531 | 50頁で「既存の街並みとそれに融合する新たな緑の連続性を形成」とあるが、人工物を作ってどこが新たな緑なのか、説明の仕方を変えてください。 | 修正 | |
| 532 | 横浜市は海の近くまで丘陵地が迫っていることもあって、緑に恵まれています。一方で中心部にも山下公園をはじめとした多くの公園があります。大さん橋も広いデッキと芝生があることから、公園的な要素を持っています。ですからこの際、山下埠頭も公園にしてしまえば良いかと思います。 | 修正 | |
| 533 | 横浜が世界から選ばれるデスティネーションとなるための施策としてのIR誘致に賛成します。その計画にあたっては、横浜都心臨海部の水辺空間や、山下公園などの緑の空間など、既存の魅力的な風景と親和性の高い空間が形成されることを望みます。 | 修正 | |
| 534 | IR誘致が少子高齢化の中で今後も横浜市が発展していくために重要であることは理解しました。開発予定地の山下ふ頭は、山下公園・港の見える丘公園・横浜外国人墓地・横浜公園など緑豊かな環境に囲まれています。ですので、周りと同じように緑豊かな開発計画で統一して欲しいです。 | 修正 | |
| 535 | 山下公園が好きなので、山下公園と一体感のあるIRなら、行ってみたいです。 | 修正 | |
| 536 | 山下公園をランニングしていますが、IRができれば、IRの中を走ってみたいです。素敵なランニングコースもつくってほしいです。 | 修正 | |
| 537 | 山下ふ頭の出入り口は山下公園と接しています。これを期に、山下公園も今以上にいいものにできないでしょうか。「世界の広場」は日々の管理もいき届いているとはいえず、もったいないと感じています。IRを楽しみにしていますが、周辺もあわせてよりよいものにしていける事業になるともとてもいいと思います。 | 修正 | |
| 538 | IRは賛成だが、隣接する山下公園も変えていかなければ一体性をうしなってしまうと思う。 | 修正 | |
| 539 | みなとみらいの経験を活かし、世界に誇れるスマートシティ（新エネルギーを活用した冷暖房、送電、輸送システムetc）を実現していただきたい。 | 修正 | 省エネ、再生可能エネルギー等、最先端技術の導入と効率化により、エリア全体でのエネルギーの最適化を図ることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.50＞ |
| 540 | 電気供給の仕組みはどのようなか、自家発電になれば電気を分けることもできる・再生可能エネルギーですべて賅う | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 541 | <p>「横浜を世界から選ばれるデスティネーションへ」と副題に記載されております通り、I R施設の開業後は、山下ふ頭にて国内外から多くの来街者・宿泊者が訪れること、昨年、毎年のように大規模災害が発生している状況下においては、来街者・宿泊者などが安全・安心な時間を過ごせることが重要です。そのため、非常時（災害時）においても各施設の機能維持が可能となるまちづくりは、本I Rが目指す方向性の一つとして重要であるとともに、山下ふ頭全体が持続的な成長・発展を遂げていくためには、環境面においても有効な対策を取っていくことが非常に重要であると考えます。</p> <p>以下コンセプトならびに政策について賛同いたします。</p> <p>横浜I Rが目指す方向性の中で、</p> <p>① まちづくりのコンセプトとして、「最先端技術を駆使したスマートシティ、環境、防災、ユニバーサルデザインなど『未来の街のショーケース』（P. 29）」の記載。</p> <p>② 具体的な方策として「20年・30年先を見据えた最先端エネルギー技術の導入と絶え間ない効率化によるエリア全体でエネルギーの最適化（P. 50）」を図るという旨の記載。</p> <p>③ 「地震や津波などの災害に対して高い防災機能を持ち、自立したエネルギー供給を確保するなど、（中略）災害に強くしなやかで自立的なまちづくりを実現します。（P. 51）」 「災害時には周辺地域を含む防災の拠点（P. 52）」とするという旨の記載。</p> <p>P. 52 （3）-3 スマートシティ・環境・防災などの『災害時バックアップをもつ電源供給システム』の下線部について、下記の通り修正することを提案いたします。</p> <p>（現在）</p> <p>平常時から使用可能なシステムをつくり、災害時バックアップをもつ電源共有システム等により、地区全体として、災害時の自立した都市機能確保を図ります。</p> <p>（修正後）</p> <p>平常時だけでなく非常時においても稼働可能である高効率自立分散型電源（ガスコージェネレーション）を中心としたエネルギーシステムを構築することで、地区全体として、災害時の自立した都市機能確保を図ります。</p> <p>2 （修正する理由）</p> <p>BCP向上に資する具体的な対策として、停電対応機能が付帯されている高効率自立分散型電源（ガスコージェネレーション）を導入することをご提案いたします。本設備を導入することで、通常時だけでなく非常時においても、必要な系統に電気と熱を供給することが可能となります。尚、当該設備への都市ガス供給については『中圧ガス導管』を介して行いますが、中圧ガス導管はこれまで国内で発生した地震・風水害等の災害発生時においても損傷がなく都市ガスを供給し続けた実績がございます。</p> <p>これらの点より「高効率自立分散型電源（ガスコージェネレーション）」の文言を追記いただけますようお願い申し上げます。</p> | 修正 | <p>省エネ、再生可能エネルギー等、最先端技術の導入と効率化により、エリア全体でのエネルギーの最適化を図ることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.50＞</p> |
| 542 | <p>環境未来都市からSDGs未来都市へと発展を遂げた横浜として、I Rが横浜の経済向上だけでなく、世界で最も環境問題課題解決につながる施設整備に注力頂くことを希望致します。</p> | 修正 | <p>横浜I Rが、世界でも類を見ない最先端技術を駆使したスマートシティを実現し、「未来の街のショーケース」として、明日の横浜の姿を発信していくこととし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.50＞</p> |
| 543 | <p>I R賛成 環境への負荷が大きくなると思いますが、逆に電力を生みだすくらいやらないといけません。</p> | 修正 | |
| 544 | <p>I R早くつくってください SDGs未来都市らしい、施設をつくってほしいです。ZEBなど。</p> | 修正 | |
| 545 | <p>CO2抑制のため太陽光および燃料電池を主電源とすべきです。</p> | 修正 | |
| 546 | <p>I R賛成です。カジノは24時間営業と聞きました。電力の消費も大きいと思いますが、ぜひとも環境に配慮したものをつくってください。</p> | 修正 | |
| 547 | <p>想定外に生じた今回のコロナ・ウイルスそして去年、横浜を大きな被害を生じた「水害」これら、どれをとっても、今一度、歴史の教訓をけんきよに猛省し、インフラ整備の根本的な見直しが大切であると思います。「仏つくて魂を入れず」のたとえにある様に、水害、病害等に強い「横浜」をめざしたいものです。</p> | 参考 | |
| 548 | <p>施設の首都直下型地震の対策 海外からの入国管理対策 等、リスク対策の強化を願う。</p> | 参考 | |
| 549 | <p>I Rのプラン拝見しました。盛り沢山で夢のような計画ですが、近いうちに起きると予想される地震や津波の対策の方が大切だと思います。</p> | 参考 | |
| 550 | <p>MM地区を軸に横浜駅～元町、山下地区までエリア全体の活性化効果が見込めるので賛成です。但し、埋立地であり、高潮対策だけでなく液状化対策も万全を期して欲しい。</p> | 参考 | <p>横浜市全体では、これまで「横浜市防災計画」を策定し、これに基づき防災・減災に取り組んできました。特に地震の対策をとりまとめた震災対策編は、地震による被害の発生を未然に防止又は最小限に止めるための「予防」策や、発災後の「復旧・復興」の体制等を定めた災害対応の要となる計画となっています。</p> <p>山下ふ頭のI Rによる街づくりにおいては、地震や津波・高潮等の対応など地域の特性も踏まえながら、災害に強くしなやかな街づくりを目指します。災害時における浸水に対しても安全で円滑な歩行者の退避を実現するとともに、区域内だけでなく、周辺地域からの被災者等の一時滞在・避難の受け入れや物資輸送等あらゆる面で高い防災機能をもつエリアを目指します。また、災害時にも安定かつ自立したエネルギー供給を行うため、供給システムは、地震や高潮などの災害時にも安定して稼働する構造や配置とします。＜方向性 P.51、52＞</p> |
| 551 | <p>ふ頭ということで、災害時の津波対策など、安全面での検討は、十分に行ってほしい。</p> | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 552 | IR賛成。東日本大震災後は想定外ではすまされないので、災害対策にしっかりと取り組んでください | 参考 | 横浜市全体では、これまで「横浜市防災計画」を策定し、これに基づき防災・減災に取り組んできました。特に地震の対策をとりまとめた震災対策編は、地震による被害の発生を未然に防止又は最小限に止めるための「予防」策や、発災後の「復旧・復興」の体制等を定めた災害対応の要となる計画となっています。 山下ふ頭 <small>の</small> IRによる街づくりにおいては、地震や津波・高潮等の対応など地域の特性も踏まえながら、災害に強くしなやかな街づくりを目指します。災害時における浸水に対しても安全で円滑な歩行者の退避を実現するとともに、区域内だけでなく、周辺地域からの被災者等の一時滞在・避難の受け入れや物資輸送等あらゆる面で高い防災機能をもつエリアを目指します。また、災害時にも安定かつ自立したエネルギー供給を行うため、供給システムは、地震や高潮などの災害時にも安定して稼働する構造や配置とします。＜方向性 P.51、52＞ |
| 553 | 「防災」のイメージがまったくわかりません。 | 参考 | |
| 554 | 施設整備の視点で、「防災」とありますが、海の近くなので、地震が来た時の津波対策はしっかり対応して欲しいです。 | 参考 | |
| 555 | 津波、液状化などの防災対策は確実にねがいたい。 | 参考 | |
| 556 | 施設整備の視点で「防災」とあるが、埋立地であり、大地震の際の液状化対策を考慮した方がよいと思います。 | 参考 | |
| 557 | 都心臨海部との融合に関連して言えば、山下ふ頭は全域が「神奈川県が指定した慶長型地震の津波による浸水予測区域（浸水深0.80～1.2m）」にほぼ入ってしまい、決して安全ではないのに、これも否定している。 | 参考 | |
| 558 | IR楽しみです。災害時の避難所としての役割を担ってください | 参考 | |
| 559 | 会議や展示場に来た人の休憩場所にもなる。また、津波対策としてIRの建物に避難するための動線も確保する。 | 参考 | |
| 560 | 今回のコロナウイルス、9年前の福島原発事故、想定外のことが起きるのです。 | 参考 | |
| 561 | 統合型リゾートは、横浜には、ありません。これから、おこり得る、大地震、津波の被害のことを考えると、あのようなフロント（うめたて地、海のそば）は、やめた方がよいと思います。 | 参考 | |
| 562 | 説明会で市長が明言されておられたように「必要な費用等はすべてIR事業者が負担する」ことが前提条件になります。日本はMacauやSingaporeと異なり地震を考慮しなければなりません。地震に対する備えは建物以外に防災設備等のHardwareとStaffの防災への教育訓練等のSoftwareに関わりますので十分な耐震性と地震対策を事業者に検討させ計画書を提出させてください。 | 参考 | |
| 563 | 南海トラフ地震が切迫している時に、臨海部にこれ以上巨大施設を建設すべきでないと考えます。東日本大震災の津波の惨状に学ぶべきです。 | 参考 | |
| 564 | 今のコロナ感染のようにいつ住民の安全をおびやかす問題が出てくるかわかりません。災害にも活用できる広場なども確保すべきではないでしょうか | 参考 | |
| 565 | 今回の素案には、ギャンブル依存症や治安対策の事は書かれていますが、疫病対策については皆無です。「首都直下地震」についての対策も、十分ではありません。 予定地の山下ふ頭は背後に高台が迫る地形で、大規模な津波が到達すれば逃げ場が無く、2階レベルの避難ルートでは不十分です。 | 参考 | |
| 566 | 51頁で災害時の来街者のための安全・安心の確保とあるが、水際に何万人も人を集めておいて、津波が起きた時にどれだけの人がどこに逃げられるのか、具体的方策について数値を伴った根拠とともに述べてください。 | 参考 | |
| 567 | 51頁で歩行者空間は2階レベルとあるが、現在において南海トラフにて想定される津波のレベル及び浸水域の図を大きく載せた上での検討結果を載せてください。 | 参考 | |
| 568 | 52頁で災害時に周辺地域を含む防災の拠点とあるが、既に何万人もの観光客を集めておいてそれ以外の地域を包摂できるという、その具体的方策を根拠とともに述べてください。 | 参考 | |
| 569 | 51頁で地震や津波などの災害発生対策を謳うが、平成31年4月の調査報告書の129頁から133頁に載っている建物の図は耐震性や人の避難を想定できないものと見受けられ、あくまでも耐震性や人の避難を想定した頑強かつ機能的な建物を想定してください。 | 参考 | |
| 570 | 51頁で津波・高潮に対応したまちづくりを謳うが、そもそも海岸線沿いに人を集めないことこそが津波・高波対策と考えるが、南海トラフ地震が起きた時、集められた大量の観光客や1万人の労働者はどこへ逃げればよいと言うのか。 | 参考 | |
| 571 | 地震津波対策がない。地震予知学会より首都圏大地震の発生を予測する危険度が年々高まっています。そういう状況の中で一番に津波の被害が予想される臨海部建設予定とは一瞬で消滅です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 572 | 今後の横浜市の政策の中心は、地震や水害などの「自然災害のリスクに強い街づくり」だと思います。地元の産業が持つ技術を生かし、該当企業の応援をし、防災の為に市民の税金や財産を使って下さい。新型コロナウイルスの対策と共に、中長期的に防災の施策を推進し、市民の健康・安全・安心を守って下さい。 | 参考 | 横浜市全体では、これまで「横浜市防災計画」を策定し、これに基づき防災・減災に取り組んできました。特に地震の対策をとりまとめた震災対策編は、地震による被害の発生を未然に防止又は最小限に止めるための「予防」策や、発災後の「復旧・復興」の体制等を定めた災害対応の要となる計画となっています。 山下ふ頭のIRによる街づくりにおいては、地震や津波・高潮等の対応など地域の特性も踏まえながら、災害に強くしなやかな街づくりを目指します。災害時における浸水に対しても安全で円滑な歩行者の退避を実現するとともに、区域内だけでなく、周辺地域からの被災者等の一時滞在・避難の受け入れや物資輸送等あらゆる面で高い防災機能をもつエリアを目指します。また、災害時にも安定かつ自立したエネルギー供給を行うため、供給システムは、地震や高潮などの災害時にも安定して稼働する構造や配置とします。＜方向性 P.51、52＞ |
| 573 | 横浜IR、賛同します。防災面でも優れた施設になるといいと思います。 | 参考 | |
| 574 | 57～83ページ安全安心対策の横浜モデル27ページも使った説明・対策はそれだけ「危険」を意味していると思います。原発と同じで危ないものを無理に採用すれば、いずれは事故が起きる。仕組みや決まりでは100%防げません。 | 参考 | |
| 575 | 51ページ：「歩行者空間の基本は2階レベルで形成」と書かれていますが、どの程度の津波と安全率を想定しているのでしょうか。津波・高潮対策に具体性がありません。 | 参考 | |
| 576 | 今後の震災確率は高いものになっているが、震災の想定はどう入れているかも明示すべき。特に、関東地方の震災に対する想定は重要。 | 参考 | |
| 577 | 今後30年で首都直下型地震の起きる確率は80%です。富士山噴火のシミュレーション結果も最近発表されましたが、かなりの被害がでることがわかっています。そのような場所に沢山の人の集まる施設を新しく作って大丈夫ですか。 | 参考 | |
| 578 | P51 災害に強くしなやかで、自立的なまちづくり地震・津波の災害に備えるが、ここで提示されたハザードマップは、平成25年(2013年)3月版。最新版は神奈川県2018年11月29日版。2013年版のハザードでは山下ふ頭の津波の浸水深は0.8m～2m。2018年版では津波の浸水深は、山下ふ頭北西部分で2m～3mになる。従って2018年版をベースにすると、退避ルート「歩行空間の基本2階レベル」では低すぎる。きちんと最新版での検討が必須！安心安全の確保に対する姿勢が甘すぎる。「コピペ&つなぎ合わせ」の大きな弊害。 | 参考 | |
| 579 | 災害では富士山の噴火、東京湾での地すべり津波も言われている。構想の中に災害に対する視点が全く見られないのは大問題だと思う。 | 参考 | |
| 580 | 自然災害のことも考えた設計がよい。台風や津波対策はどうなるのか、防災拠点として機能する可能性もある。 | 参考 | |
| 581 | スマートシティ・環境・防災など・提示された図に、山下埠頭は全域が「神奈川県が想定した慶長型地震の津波による浸水予測区域(浸水深0.80～1.20m)」にほぼ入ってしまい、決して安全でないのに、これも否認している | 参考 | |
| 582 | IRの取組みはとても良いことだと個人的に思っています。一つ気がかりなのが、IRは海外でも複数あるかと思いますが日本は諸国と比べても災害がとて多い国です。何よりもまず、安全な施設にしてもらいたいと思います。 | 参考 | |
| 583 | 総合型リゾート施設として経済活性化の起爆剤になるようなものとなると同時に、自然災害が起きた時、など、活用できる施設として利用できると良いと思います。 | 参考 | |
| 584 | コロナのような病気も増える | 修正 | 災害に強くしなやかで、自立的なまちづくりについて、感染症や不測の事態などの緊急事態に備えることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.51＞ |
| 585 | IR自体を中止していただきたい。膨大な費用をかけて建設しても、今回のようなウイルス騒ぎが起これば施設はすべて閉鎖。ウイルス脅威は今回のコロナだけで終わらない。数年ごとに起こるのではないかと…IRを作っても収益なんか上げられるわけがない。横浜市長はもっと市民の健康に重点を置いてほしい。今回はもちろんだが、将来のパンデミックに備え、マスク・消毒液の備蓄をすべし…市民に配布していただきたい。IR建設費を充てるべきだ。 | 修正 | |
| 586 | コロナウイルス等の感染症対策も、明確になされず横浜市民の生命も脅かされます。 | 修正 | |
| 587 | 大勢の外国の方を迎える予定でしたら、今回のコロナウイルスの様な時に対処出来る設備を是非宜しくお願い致します | 修正 | |
| 588 | 今回の新型コロナウイルスの教訓を下に、人が集まるIR施設内での防疫体制、リスクマネジメントに対する基準を実施方針に盛りこむこと。 | 修正 | |
| 589 | IR大賛成 コロナのような災害時には、隔離施設になるなら良いと思います。 | 修正 | |
| 590 | 基本的に賛成です。コロナ対策もしっかりお願いします。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 591 | カジノではなく災害に強い都市づくりとして、新型コロナウイルス等の感染症にも対応できる医療施設を設置することだと思います。 | 修正 | 災害に強くしなやかで、自立的なまちづくりについて、感染症や不測の事態などの緊急事態に備えることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.51＞ |
| 592 | 現在流行しているコロナウイルスのように、今後、世界規模の感染症がおきた場合に多くの外国人観光客が来る事によって爆発的に感染が広がる、おそれがあると思うのですが、そういった感染症に対する、仕組み等があるのを知りたいです。 | 修正 | |
| 593 | 今回のようなコロナウイルスが起きたとき、クルーズ船、IR内等の対応はどうか、想定されていますか？ | 修正 | |
| 594 | 新しい施策で、最先端の技術で感染対策も完全に実施できる運営で、世界にアピールをし、海外から多くの人々が来日し、安全に過ごせる施設としてほしい。 | 修正 | |
| 595 | 横浜IRが出来、海外から沢山の人が来日するのは良いことですが、違法入国や違法品の輸入だけでなく、今回のコロナの様にウイルス感染の水際対策を常時行うなどをこれまで以上に強化して欲しいです。 | 修正 | |
| 596 | インバウンドで海外から多くの方々来日し、横浜IRに来られるのは良いことですが、違法入国や違法品の輸入だけでなく、今回の新型コロナのようなウイルス感染の水際対策を常に行うなど、これまで以上に強化してほしいと思います。 | 修正 | |
| 597 | コロナ他感染症を持ち込まれる。 | 修正 | |
| 598 | 感染症対策の確実な推進 | 修正 | |
| 599 | IR賛成。観光業は今回のコロナのようなものに影響を受けるので、できるだけ、回避できるような工夫が必要。 | 修正 | |
| 600 | IR応援しています。コロナのような感染症対策に力を入れてください | 修正 | |
| 601 | IR賛成です。災害が起こる前提で計画をたててください。特に感染症対策もお忘れなく。 | 修正 | |
| 602 | IR賛成です。感染症対策をしっかりとやってくれることを希望します。 | 修正 | |
| 603 | 海外渡航者により予期しない薬物やウイルスの流入も予想されるが、それらの対策は練られているのか。 | 修正 | |
| 604 | 数千名が搭乗する豪華客船の寄港地としては改善しなければならないことや弱点があります。 | 修正 | |
| 605 | コロナは大丈夫なのか | 修正 | |
| 606 | コロナの感染による人の移動では大きなリスクも伴うと感じました。 | 修正 | |
| 607 | 密閉された場所に人が密集するIRでは感染症が広がり易いのでIR施設内で十分な医療Systemを事業者者に用意させてください。密閉された環境をさけると同時にPM2.5を避けるため換気・空気清浄Systemも必要です。 | 修正 | |
| 608 | IR政策の一環として位置づけられるカジノは、密室の中で行なわれるため、コロナウイルスを筆頭とする疫病蔓延の温床となる最も危険な場所だ。 | 修正 | |
| 609 | 感染症がはやったら、最悪の場所になる | 修正 | |
| 610 | インバウンドの需要を期待して建設するのであれば、今回の新型コロナウイルスの様な感染症の被害をさらに拡大する状況を引き起こすことになる。ギャンブル依存症を増加させる上に感染症の恐怖も加わり絶対反対！！赤字になったら税金を投入するなどもつてのほか。 | 修正 | |
| 611 | 大規模な「箱もの」をつくったのちに地球温暖化の影響もあって今後定期的に流行が予測される各種の感染症流行に見舞われたときにはIR施設自体がクラスターを引き起こすか、そうでなくとも一時閉鎖に追い込まれ（または宿泊施設を病院転用？）、何のためのIR誘致かと悔やまれることになる。後悔先に立たず、いかにして市民を感染症から守るのが問われる現時点である。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 612 | P. 78のIR整備法における治安、その他懸念事項対策で、観光客のグローバル化に伴い、感染症のリスクが高まることから、国、県、事業者等と調整するとともに、対応策を検討していきますと書かれております。今後、対策検討とありますが、感染症対策は急務であり、ダイヤモンドプリンセスの事例等を評価・分析して、IRで同様な事例が発生した際の具体的な対策案の追加が必要であり、またこれに対する対策費用も考慮した経済効果等の試算も必要と考えます。このような内容は、海外から来られるお客様や横浜市民への安心につながると考えます。・IR内で感染症が発生した際の検疫体制の強化（香港のように一日で数千人のウィルス検査が実施可能等）・IR内で感染症が発生した際のエリア隔離措置（市内への感染を防止等）・IR内で感染症が発生した際の感染症病棟の確保（現在でも足りていない状況です） | 修正 | 災害に強くなやかで、自立的なまちづくりについて、感染症や不測の事態などの緊急事態に備えることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.51〉 |
| 613 | P. 78の3 横浜IRの方向性、5) -3 治安対策などの懸念事項、IR整備法における治安、その他懸念事項対策で、”観光客のグローバル化に伴い、感染症のリスクが高まることから、国、県、事業者等と調整するとともに、対応策を検討していきます”についてです。対応策を今後検討ではなく、現在発生している新型コロナウイルスの感染事例を評価、分析してリスク評価を行い、またこれに対する対策案および対策費用の試算も必要と考えます。特にウイルス発生時のウイルス検査体制の強化（香港のように一日で客船を検査できるような体制）ウイルス発生時のIRの隔離処置や市内への感染予防対策感染症が治療できる病院ベット数の確保よろしく願います | 修正 | |
| 614 | 折しもクルーズ船感染問題がおきました。IR依存が高まればこのような感染の危険も負うことになります。 | 修正 | |
| 615 | 現在新型コロナウイルスが拡大しつつある中、万が一このIRでクラスターが発生したらどの様に対応できるのか疑問です。防疫の対策や、発生時の隔離対策などそれにかかる費用も膨大なものになるのではないかと。国民の健康に危険をさらしてでも推進する必要があるとは思えません。また、新型コロナウイルスは完全に排除できるウイルスであるという保証がありません。海外からの旅行者が沢山やってくることは危険が伴います。海外からの旅行者の受け入れは防疫体制、検査体制など対応できるキャパシティである必要があります。新型コロナウイルスなどが発生した場合は膨大な赤字が発生させ却ってお荷物になります。 | 修正 | |
| 616 | IRホテルを建設することで伝染病の感染が拡大し、市民に多くの犠牲者が出ると予想される。今のような行政システムではIR推進は無理であると考えている。横浜市は市民に犠牲を拡大する策をなぜ推進するのかはっきりしてほしい。 | 修正 | |
| 617 | ギャンブル依存症は当然ですが新型コロナのような感染症に備えた医療システムをどうするのかについても具体的に触れられていません。クルーズ船は浮かぶIRですクルーズ船ダイヤモンド・プリンセスで起きたことはIRでも起こりえると考えする必要があります。今の横浜市の医療体制は感染症に対して非常に弱いことが分かりましたのでIR施設内で医療システムのハードとソフトを用意させてください。 | 修正 | |
| 618 | カジノ船のような感染が横浜のインバウンドカジノホテルで発生する確率は高い。防護服、病院、隔離などの専門家が必要だ。さらに対応計画も提示する必要がある今回の様にカジノホテルが主導権を取るのか、横浜市が責任を持って対応するのか、具体的にどの様な体制でどの様に検討して、どうするのか？ | 修正 | |
| 619 | この度のコロナウイルス問題のことを考えますと、横浜IRを誘致して、不特定多数の来場、それも日本はもとより、海外からとなると、同じ様な事が起きた時に横浜市の医療など対応はとて大変なことが目に見えます。横浜IR誘致は反対です。 | 修正 | |
| 620 | 昨今の感染症騒動から考えても、不必要なグローバル化は、防疫の観点から考えても危険。クルーズ船が何十と接岸するイメージ。それは望まない。 | 修正 | |
| 621 | 今回の新型コロナウイルスは収束しても同様の案件は繰り返される。気候温暖化でいままでにない感染症の蔓延も予想される。横浜市の「横浜IRの方向性」には今回のような事態は含まれておらず、提案自体がすべてやり直しが必要である。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 622 | IRの方向性につきまして、「反対」の意見を示したいと思います。新型コロナウイルス（COVID-19）関連につきまして、今IRを押し進めても、無理があると思います。市や州の収入を多く稼ぎ出すカジノですが、一度営業が止まってしまうと大打撃を与えてしまう。たまたま今は横浜市はそんなことが無いからまだ持っているのであって、税収ですら入ってこなくなってしまうたら、その時はちゃんと保証できるのか？もし、従業員や宿泊者が感染してしまったら？そのような対策はどれほど盛り入れられているのか？という不安感の方が強いです。先の見通しが見えない中することは、まずは、市民の安全を優先する方が先でしょう。税収は大事なのですが、市民の安全がなければ成り立たないと思います。 | 修正 | 災害に強くしなやかで、自立的なまちづくりについて、感染症や不測の事態などの緊急事態に備えることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.51＞ |
| 623 | クルーズ船の防疫問題が世界中から批判的に取り上げられました。数千名が搭乗する豪華客船の寄港地としては改善しなければならないことや弱点があります。 | 修正 | |
| 624 | IRへの集客経路の1つとして、横浜港への客船からの下船がありますが、安全性についてのリスク評価を十分に行ってから、進めてほしいと思います。一般市民の生活を脅かすような出来事が増加しては、恐ろしいと感じています。まず第一に、市民が安心して暮らせるような「リスク評価」をして、十分な議論を行ったうえで、「リスク対策」を検討していただき、IRの方向性を固めてほしいと思います。世界から集客を増加させれば、今後もウイルスの感染リスクは高まると思います。感染予防の観点からも、感染者が出た場合の隔離施設も（市中の病院ではなく）整備してほしいと思います。 | 修正 | |
| 625 | 感染拡大に大きく貢献したカジノビジネスを横浜観光の中心に据えるのは狂気としか考えられない。すぐにIR推進の活動からカジノを外すべき。 | 修正 | |
| 626 | 新型コロナウイルスは、長期的にはインフルエンザのように流行り続けると言われています。今後は大型イベントは開催されなくなる可能性があり、またカジノのように密閉された空間で大人数が遊ぶ事も無くなる可能性があります。IR計画は、コロナにより、そもそも成り立たなくなったと思います。 | 修正 | |
| 627 | 横浜IRは賛成です。横浜IRの誘致に必要な事務は進めてほしいですが、コロナウイルス対応も強化してほしいと思います。横浜IRが、今回のような非常事態のときに、市民のために役立ってくれる存在にもなってくれるとよいと思います。 | 修正 | |
| 628 | 人が集まるとコロナをはじめとする疫病拡散の危険性が高まるので、中国で実施されていたような携帯端末での入場管理など取り入れて、他エリアよりも万全にして頂けると助かります。また、除菌システムなどの導入や、医療施設拡充も必要と思います。 | 修正 | |
| 629 | COVID-19のパンデミックを踏まえて、IRのリスクおよび対策を練りこんだ形で作り直すべき。 | 修正 | |
| 630 | 昨今の新型コロナウイルス問題でも明らかなように、海外からの訪問客の増加による感染症対策が脆弱すぎます。素案には一切、海外からの感染症対策についての記述がありません。海外から人を呼んでお金を落としてもらえば栄えますよというだけでは、あまりにも短絡過ぎて、市民のための政策とは言えません。カジノは中止とし、IRは感染症を含めたリスク管理を再検討すべきです。 | 修正 | |
| 631 | 世界規模の感染症が発生しています。このリスクが素案には盛り込まれていません。当然ながらこの新規のリスクを考慮して素案の修正が必要と考えるが、計画がそのままである点。コロナウイルスのリスクを見込んだ計画になっているのかを教えてください。見込んでいなかったのなら、盛り込んだ計画に修正し提示し直してください。 | 修正 | |
| 632 | 安全安心対策に、昨今の新型コロナウイルス流行のような疫病対策の視点も必要だと考えられます。 | 修正 | |
| 633 | 新型コロナ以後、新たな未知のウイルスや巨大災害も考えられる。そのなかで、「カジノという遊興施設の密閉空間、密着、密集、長時間の滞在、多国籍、ファミリー（らしいが）」というコンセプトが新たな巨大なリスクとなる。ウイルスや大災害が発生した場合、多国籍の人々をどのようにコントロールするのか？ | 修正 | |
| 634 | 新型コロナの影響で各方面で大きな影響が出ています。横浜IR事業でも同様の事が起きると考えます。 | 修正 | |
| 635 | 現在最大の課題となっている感染症に関しては、カジノは3つの密が揃う場であり、集団感染の温床となることが考えられる。感染症は、今回に止まらず今後も発生しうる。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 636 | IR賛成です。感染症対策をしっかりとってくれることを希望します。カジノ（賭博）を中心としたインバウンドツーリズムの増加は、感染症爆発的拡大のリスクを抱え、横浜市民（約400万人）に多大な危険性を強いることとなります。 | 修正 | 災害に強くなやかで、自立的なまちづくりについて、感染症や不測の事態などの緊急事態に備えることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.51〉 |
| 637 | これまでに議論されることの少なかったIRと新型コロナウイルスの感染拡大の問題も指摘したいと思います。現在世界各国、日本各地から本市を訪れる観光客数は激減しており、この状態が長期間続くことが予測されています。素案には「7隻の大型客船が一度に着岸できる、世界有数のクルーズ拠点を目指す」とありますが、大型の観光クルーズ船の帰港は長きにわたって行われないことでしょう。こうした事態は観光客からの収入に依存する地域経済のあり方に大きな警鐘を鳴らすものとなりました。IRを運営するのは民間資本（おそらくは海外の）であり、施設の採算性に問題が生じれば、当市の都合などお構いなしで一方的に撤退するのは明らかです。またIR施設自体が、感染の拡大に大きな役割をはたしてしまうことも多くの専門家の指摘するところです。新型コロナウイルスの感染拡大は、全世界的な規模で市民生活や経済活動にこれまでに経験したことのない影響を与えています。今後は市民の生活と健康を如何にして守るかが市政の最優先課題となるでしょう。 | 修正 | |
| 638 | 私としては、賛成と同時に多くの懸念があると思いました。現在は新型コロナウイルスによる影響で、世界的な観光産業およびエンターテインメント産業が壊滅的な方向へ進み、インバウンド需要を含めてほぼ壊滅的な状況です。しかし、いずれ終息して、復活するのではないかと考えております。その中で、賛成している部分は「MICE」や「日本文化の発信」、そして「今だけは異なりますが慢性的に不足しているホテルや滞在型施設」や「クルーズ発着場所」の整備です。ただ、これらはすべてにおいて新型コロナウイルスでマイナスに陥っております。当然ながら「防疫対策」は不可欠です。これを防災としてとらえ、火災や津波も勿論各種自然災害等のリスク対策として捉えて推進していただきたいと願います。 | 修正 | |
| 639 | 政府は、5年ほど前から新型インフルエンザ等対策行動計画（逐次改定）があり、今回の新型コロナのような感染症を想定しているの、今回の計画も当然そのような事態を想定していると考えられるが、今回の素案には書かれていない。効果算定にそれだけが想定されていて波及効果が産出されているのかを明示すべき。仮に想定していないとすれば、計画としては全く杜撰という指摘がでてくるし、計画として意味がない。 | 修正 | |
| 640 | 今回の新型コロナ禍で、クルーズ船や大人数が集まる施設の危険性が鮮明になりました。クルーズ船や外国人が多く訪れ、感染持ち込みやクラスター型感染拡大のリスク等を抱える大型施設を増やすことに反対です。 | 修正 | |
| 641 | 災害やこれから起こりうるあらゆる未知のリスクへの対応を盤石にすることが必要。 | 修正 | |
| 642 | IRの建設については絶対反対です。インバウンド需要については、今回の新型コロナウイルス感染を踏まえれば、当面の間まったく期待できませんし、世界的に終息する見通し全くないうなかで、カジノ等は最も感染を拡大させる施設であり、市民の生命を危険にさらすこととなります | 修正 | |
| 643 | 新型コロナウイルスはすぐに終息するとは思えず、このような中で横浜IRを推進することに反対です。IRが出来たとしても感染症の心配は消えず従来考えていたようなインバウンドは考えられず、投資対効果は得られなくなり作った施設は横浜市の重荷となり、かつての夕張と同じようになってしまいう懸念があります。カジノをはじめとして業者に食い物にされるのであらうと思えます。もし推進したとしても感染症対策など膨大なコストがかかります。IRを拠点として感染症のクラスターが発生したらどう責任を取れるのでしょうか。 | 修正 | |
| 644 | いま、横浜にまだカジノが作られていないことに感謝したい気持ちでいっぱいですが、もし、新型コロナウイルスの危機がカジノができたあとに起こっていたらと、背筋が凍る思いがしています。密閉、密接、密集、と、感染拡大危険3要素を完備するカジノからコロナウイルスが横浜中に蔓延する事態は容易に想像できます。カジノが出来る前だったことが不幸中の幸いです。まだ間に合います。カジノ誘致から手を引いて下さい。カジノ誘致事業は撤回しコロナから横浜市民の生命を守る市政に全力を傾けてください。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 645 | 今現在猛威を振るっている「新型コロナウイルス感染症」に対して、国内で世界で、未だに感染者や死者が未曾有の数字で増え続けています。こうした事態に対して、これら施設は無防備であると同時に、国際的に展開するとすれば、このような感染症や伝染病は瞬間に拡散し、まったく対応できません。言うならば、これら施設や事業が、これらの猛威を拡大する「感染源」ともなるのです。まさに、「集団感染」の元締めにもなるのです。これは、たいへんなことですし、そうした危険性をはらむものに、どうして貴重な税金を投入しようとするのか、私はまったく信じられません。今現在、新型コロナウイルスに対し大きな不安を抱えている多くの市民の不安がさらに大きく増長するであろうことは、火を見るより明らかです。 | 修正 | 災害に強くなやかと、自立的なまちづくりについて、感染症や不測の事態などの緊急事態に備えることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.51〉 |
| 646 | コロナ感染対策で一番注意されているのは、密接、密室、密集である。I Rカジノはこの三点が一番の問題である。なぜなら閉鎖空間がカジノの特徴だから。感染症の巣窟になる恐れはないのか。コロナが収まったとしてもグローバル化の社会である。いつまた同じような状態が起こるかもしれない。 | 修正 | |
| 647 | 今問題はコロナ対策である。いつやむともわからない感染症患者の拡大。グローバル化の時代に世界中からの感染者が往来する。往來の制限等あれば観光客が減り、観光業者は不安定な営業になる。外国からの観光客に収入を求めた政策がいつ回復するのか疑問である。そういう政策自体が間違いであったといわれているのを市長がどう評価しているのか聞きたいところである。素案はこのような経験は予測されていないときにつくられたものであることを抑えなければならない。 | 修正 | |
| 648 | 現在のCOVID-19の発生により、拡大に対する対策は全世界が見ているが、日本は危険であると判断されている。予想よりはるかに日本に客足が戻るには遅いと考えられる。客足が戻ったところで、危機に対する措置がまったく足りていない。クルーズ船の乗客の一時待機所が用意できなかったり、医療施設のキャパシティも潤沢に用意できていない現在、さらにリスクを抱えることになるがどうか。 | 修正 | |
| 649 | いま新型コロナウイルスが大問題になっており、これから先いつ収束するか不明です。収束しないかもしれません。密閉した会場で、様々な人々が密集し大声を出す娯楽施設自体が、これからは危険になるかもしれません。 | 修正 | |
| 650 | インバウンド観光を強調するにも検疫や感染対策をせねばならず、また世界各国は長期に亘り観光するゆとりはありません。カジノは世界中で閉鎖の憂き目を見ている。カジノは24時間閉鎖空間に留め置く賭博場です。ギャンブル依存症だけでなく感染症も拡大してしまうのです。 | 修正 | |
| 651 | 意見素案には、新型コロナウイルスのような感染症が流行する恐れがあるときなどに、I Rの施設を利用して、患者や感染を疑われる人を受け入れると明記してください。私はカジノを含むI Rに反対ですが、受け入れる施設が必要だと考えています。 | 修正 | |
| 652 | 新型コロナウイルスでの一連の対応を踏まえ、全ての来場者を数週間隔離することを想定した収支も施設、医療スタッフや器具を加味して試算すべきだと想います。 | 修正 | |
| 653 | 横浜市へのI R誘致にはんたいします。2020年感染症の観点からも横浜港入港の海外クルーズ船により日本国民が感染危険にさらされたといえる。山下ふ頭からの感染症発信源になりかねない。横浜市の税金の使い方からみてもこれ以上市民に負担を強いてほしくない。 | 修正 | |
| 654 | 世界各国から来訪者があるため、感染症対策にも力を入れたI Rとしてほしい。 | 修正 | |
| 655 | (I Rは賛成) コロナとか今まで想定できなかった事態にも何か一役買えるような新しい機能があるとよりよいと思う。 | 修正 | |
| 656 | 方向性には賛成です。世間でコロナがこれだけの問題になっている今、そういったものに対する対策にもふれるべきと考えますがどうでしょうか？ | 修正 | |
| 657 | コロナウイルスなど有事の際に真っ先に感染拡大するのはこのような場所だと思うので、市民としてはものすごく怖い。経済の活性化も大事だとは思いますが、上記の懸念事項への取り組みを今以上に考えてほしいです。 | 修正 | |
| 658 | I R賛成です。津波の心配があるので、頑丈な建物を作って近所の住民を受け入れるとか、滞在せざるを得ないときの備蓄品などの準備をお願いします。それができれば賛成です。 | 修正 | 災害時には、区域内だけでなく、周辺地域からの被災者等の一時滞在・避難の受け入れや物資輸送等あらゆる面で高い防災機能をもつエリアを目指すこととし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.52〉 |
| 659 | 市民が安心して長くこの地に暮らせるような医療施設・教育施設・避難場所なども検討していただきたいと思えます。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 660 | 52ページ：横浜IRは民間施設なので、災害時の防災拠点にできる根拠が分かりません。通常は、山下ふ頭から山手の丘に逃げると思いますが。 | 修正 | 災害時には、区域内だけでなく、周辺地域からの被災者等の一時滞在・避難の受け入れや物資輸送等あらゆる面で高い防災機能をもつエリアを目指すこととし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.52＞ |
| 661 | 関東大震災のような大地震も間もないと聞いています。その時、このようなものが何の役に立つのでしょうか。行政の目指すべき最たるものは、市民から出された税金を、すべての市民が安心して心豊かに暮らせる地域を作ることだと思います。 | 修正 | |
| 662 | P32～58. 将来必ず起る大震災に対する対応が全く述べられていません。避難手段、非常用飲食物の備蓄、非常用電源等についての言及が全くありません。 | 修正 | 災害時バックアップをもつ電力供給システムや分散型電源等の導入により、平常時だけでなく災害時にも自立した電力供給を確保し、また、地震や高潮などの災害時にも安定して稼働する構造や配置とすることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.52＞ |
| 663 | 一昨年(2015)の21号および昨年(2014)の15、19号と同程度以上の台風が9月の大潮の満潮時に横浜港を通過した場合を想定して建物強度、護岸等の対策が取られているかについて事業者側で適合した対策を取られるかCheck願います。 | 修正 | |
| 664 | 発電設備等の電気設備が浸水に対して弱いことは福島原子力発電事故等の事例で明らかになっています。浸水の可能性がある場所に設置することは絶対に避けてください。燃料供給と十分な燃料貯蔵もIR施設内で用意されるべきですから追記させてください。 | 修正 | |
| 665 | 計画されている地域は海岸沿いで、津波・高潮に対して非常に脆弱です。海水をかぶればほぼ全滅になる施設を作ることは、まさに「砂上の楼閣」を作ることです。 | 修正 | |
| 666 | 「必要な費用等はすべてIR事業者が負担する」ことが前提条件になります。海外の事業者は度々建設コストを少なく見せるため日本が地震国であることを考慮しないで建設費を見積もります。地震に対する備えは建物以外に防災設備等のハードとスタッフの防災への教育訓練等のソフトに関わりますが市の説明資料や当日の説明会では一切触れられていませんでしたので前提条件として十分な耐震性と地震対策を文書で事業者に理解させ見積もらせてください。昨年(2014)の台風15、19号同程度以上の台風が9月の大潮の満潮時に横浜港を通過した場合を想定して建物強度、護岸等の対策が取られているかについても具体的に触れられていないようなので事業者側できちんと対策するよう指導願います。発電設備等の電気設備が浸水に対して弱いことは事例で明らかになっています。浸水の可能性がある場所に設置することは絶対に避けてください。発電用の燃料供給設備についてもIR事業者が準備されるべきと考えられます。飲料水、冷却水等の水供給設備と排水処理設備についてもIR事業者で全て用意されるものと考えられますので見積もりさせてください。なおこれらの設備等については我が国の法令を遵守しているものであることは当然ですが横浜市が独自に定めた基準・規則・条例等を遵守されるものと考えられますので見落としが無いようご指導をお願いします。 | 修正 | |
| 667 | 災害に強くしなやかで自律的なまちづくりについて電源設備を十分な高さに設置するなど、最新の知見に基づいた安全性を盛り込んだ施設の仕様にして、災害発生時のライフラインの維持に努めてほしい。以上です。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 668 | <p>P. 50 「エリア全体でのエネルギー最適化」の項目に掲載されている写真を差し替えることを提案いたします。 (差し替える理由) 「エネルギー最適化」を表現するためには、風力発電の写真よりも「最適化」のイメージをお伝えする図の方が良いと考え、エネルギーを面的に利用するイメージ図を挿入することを提案いたします。</p> <p>P. 52 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災などの項目に『エネルギーの面的利用』を新規に追加することを提案いたします。 (中タイトル) エネルギーの面的利用 (記載内容) 用途が異なる各建物の需要を纏めることで、各建物特有のエネルギー需要を平準化することができ、エリア全体のエネルギー利用効率を向上させることが可能となります。 (追加する理由) 「横浜市山下ふ頭開発基本計画」にも環境に配慮したまちづくりとして、「面的なエネルギーシステムの導入」と明記されています。また、I R施設は様々な建物用途にて構成されるため、エネルギー負荷も建物毎によって大きく異なり、建物毎に熱源設備を設置する方式では、建物内に設置される設備の稼働率が低くなってしまい非効率です。各建物に対し1つのエネルギープラントから電気と熱を供給する方式を取ることで、平準化された大きなエネルギー負荷に対して効率的にエネルギーを供給することができるようになり、エリア全体のエネルギー利用効率向上に寄与することが可能となります。</p> <p>P. 52 (3) - 3 スマートシティ・環境・防災などの項目に『IOT技術を活用した次世代のエネルギーシステムの構築』を新規に追加することを提案いたします。 (中タイトル) IOT技術を活用した次世代のエネルギーシステムの構築 (記載内容) コージェネレーションをはじめとした各エネルギー設備に太陽光や風力等の再生可能エネルギーを組み合わせ、最適に運用できるシステムを構築します (追加する理由) 上にも記載いたしました、I R施設は様々な建物用途にて構成され、エネルギー負荷も建物毎によって大きく異なることから、エリア内の環境性および経済性を向上させるためには、上記「エネルギーの面的利用」に加え、「各種熱源設備の適切な運用」が重要になって参ります。それに加えて、『低炭素なまちづくり』を実現するためには、エネルギーシステムに再生可能エネルギー(以下再エネ)を取り込むことが必要不可欠となりますが、再エネを有効活用するためには、各種熱源設備と組み合わせた上で、どのような形で運用していくのか、という点が非常に重要になってまいります。これらの課題を解決するため、上記の文章を追加することを提案させていただきます。</p> | 修正 | 災害時バックアップをもつ電力供給システムや分散型電源等の導入により、平常時だけでなく災害時にも自立した電力供給を確保し、また、地震や高潮などの災害時にも安定して稼働する構造や配置とすることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。<方向性 P.52> |
| 669 | 今回横浜I Rの方向性が、カジノの是非にわい小化した議論になってしまっている事を残念に思っています。I RにはSDGsを意識した方向性を望みます。 | 修正 | 障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、働きやすい環境を整備することで心のバリアフリーを実践することとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。<方向性 P.52> |
| 670 | I R賛成です。せっかく新しいものを作るのだから、バリアフリーを徹底させて、だれもが気軽に訪問できる場所にしてほしい。 | 修正 | |
| 671 | カジノだけがI Rではないと思います。年齢、国籍を問わず、横浜型都市リゾートを楽しむことができ、さらなる横浜の飛躍が市民の豊から暮らしにつながると思います | 修正 | |
| 672 | 日本語がわからない海外の人向けにも多言語対応の公共交通機関の案内整備は必要だと思います。 | 修正 | あらゆる来街者が安全・安心に過ごすことができるよう、建物や移動環境のユニバーサルデザイン化を推進することとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。<方向性 P.52> |
| 673 | 高齢者・子供(乳幼児)連れ・障害者・インバウンドの方々安全に横浜I R会場へ行ける公共交通機関の整備。バリアフリーはもちろんのこと、弱者が安全で安心して会場まで行ける仕組みが必要だと思います。 | 修正 | |
| 674 | 身体障害者は企画段階で関わるべき!この事業はノーマライゼーション及びユニバーサルデザインの完璧な具現化の実施である事。身体障害者の中で大きく分けることが一つあります。それは音声というコミュニケーション手法です。聴覚障害者が満足できるエリアであることは非常に重要です。横浜市の明るい未来のためにこの事業は不可欠です。横浜市の明るい未来のためにこの事業は不可欠です。応援しています。 | 修正 | |
| 675 | I Rにおける集客を市内各所に誘導する際に重要なことの一つに、移動の容易さを実現することがあると思います。バスの系統番号から漢字やひらがなを除いたり、バス停の表示や路線図をすべて英語併記に切り替えたり、料金の支払いを完全キャッシュレス化したり、通りの名前がわかるような看板を増やしたり、時間貸し駐車場の案内板を多言語化したり、細かな部分を見ると、やるべきことは多々ある気がします。このようなことにもどこかで言及いただければありがたいと思います。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 676 | 高度なバリアフリー化などを施すことにより利用者が快適また安全に過ごせる施設となりますよう熱望いたします。 | 修正 | あらゆる来街者が安全・安心に過ごすことができるよう、建物や移動環境のユニバーサルデザイン化を推進することとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.52〉 |
| 677 | I R誘致に賛成です。推進することで、ユニバーサルデザインの拡充、障がい者高齢者含む、誰もがすみやすい街に整備頂くきっかけとなることを希望します。 | 修正 | |
| 678 | I Rに賛成の立場からより良い計画になるよう意見を提出します。【多文化共生について】P 4 3の「宿泊施設の要件」に記載されている「言語、宗教、文化、志向、ライフスタイルなど、多様なニーズをもつ観光客の視点に立った施設整備及び細やかな心遣いによるサービス提供」については、ホテルに限らずI R区域全体での対応が必要だと思います。特に、イスラム教徒のためのハラール対応については、国際会議等が多く開催されれば一層ニーズが高まると思うので、I R区域内の飲食店の大部分で対応できるような計画になるとより良いと思います。 | 修正 | |
| 679 | 大規模火災、爆発事故、食中毒発生時の緊急時対応システム構築と訓練、日本語、外国語対応が必要。 | 修正 | 多言語対応のデジタルサイネージやスマートフォンアプリなど、多様な媒体を通じて、平常時だけでなく非常時にも情報提供や情報発信を行うこととし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.52〉 |
| 680 | 多くの事業者は何千人もの雇用が生まれれば、その中には当然障害者雇用が生まれます。障害がある人もない人も、共に街の賑わいを作り出す担い手である事業であることを期待しています。 | 修正 | ホスピタリティ向上のため、区域全体で心のバリアフリーを実践するとともに、障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず、働きやすい環境を整備することとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。〈方向性 P.52〉 |
| 681 | 日本のおもてなしの心が伝わるようなI Rになってほしいです。観光立国としての日本を代表する市として、I R業者だけでなく市内の多くの企業にも、「おもてなし」の強化をすすめてほしい。 | 修正 | |
| 682 | I R誘致で、施設を作るだけでなく、日本のおもてなしの心で、世界一の観光都市へ。 | 修正 | |
| 683 | 横浜の持続的な発展の為に是非I R誘致が達成される事を願います。さて、素案の概要版を拝見し様々な取組、そして、それらに対する対応策を公表されています。その中で障害者対応についてハード面で設備のバリアフリー化の言及はございましたが、従業員対応などソフト面についてはどのように考えているのでしょうか？ | 修正 | |
| 684 | ハードのバリアフリーだけでなく、心のバリアフリーにも力を入れて、ホスピタリティあふれるI Rとしてほしい。 | 修正 | |
| 685 | 市民や観光客だけでなく、障害のある方も働きやすいI Rにしてほしい。 | 修正 | |
| 686 | ・羽田からの交通アクセスの改善をもっと前面に打ち出すべき→J Rの羽田空港乗り入れを延伸し、羽田空港が横浜桜木町、関内方面へのアクセス改善を真剣に推し進めることで京浜地区全体の浮上につなげる ・国内外からI Rへのアクセスの改善 | 参考 | 横浜I Rの立地場所である山下ふ頭には、国内外から多くの来街者が訪れることになるため、円滑な交通が求められます。このため、陸・海・空の多様な移動手段を確保するとともに、楽しく、安全・安心で、環境にも配慮した交通環境の構築を目指します。〈方向性 P.53〉 |
| 687 | 横浜I Rについて、賛成の立場で具申させて頂きます。横浜市I R誘致は10年20年先の横浜の商業と財政維持には欠かせません。しかし、それは真の成功をしなければ意味がありません。予定の場所人の動線呼び込みにくい。交通や道の確保は？ | 参考 | |
| 688 | 交通渋滞が起こらないようにしてもらえらならよい。 | 参考 | |
| 689 | 新山下と地下鉄や在来線とのアクセスが弱いので、市内への経済波及効果が少ない。 | 参考 | |
| 690 | 素案の「まちづくりのコンセプト」の中に都心臨海部と一体的に整備する…とあるので、横浜I Rに期待します。現在、新山下周辺とみなとみらい地区は、J Rの駅から離れており、バスを利用しないとアクセスできません。例えば、MM線を本牧方面へ延伸して交通の便を良くするとか、東横線以外でもアクセスしやすくしてほしい。磯子区、港南区、金沢区方面からの集客も必要だと思う。 | 参考 | |
| 691 | 交通ネットワークの整備（I R施設内が横浜市南部エリアへ至る交通機関の確保）横浜環状鉄道の実現。I R→元町・中華街駅→新本牧→根岸 | 参考 | |
| 692 | 山下ふ頭にI R整備するにあたり南部市域エリアへの交通手段を確保すべき。具体的には、元町中華街からの根岸への延伸（横浜環状鉄道）を計画整備する。（国への強力な働きかけを） | 参考 | |
| 693 | I Rに行く交通手段、インフラもアトラクションの一つとなるような計画をお願いします。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 694 | 素案の中では、シンガポールの例を取り上げていますが、シンガポールでは、国も関わって道路、鉄道の交通網から整備し、多くの外国人が集まれるようになっていきます。主要駅や港からのバス、船、ヘリコプターで富裕層が集まるでしょうか。 | 参考 | 横浜ⅠRの立地場所である山下ふ頭には、国内外から多くの来街者が訪れることになるため、円滑な交通が求められます。 このため、陸・海・空の多様な移動手段を確保するとともに、楽しく、安全・安心で、環境にも配慮した交通環境の構築を目指します。〈方向性 P.53〉 |
| 695 | ⅠR賛成。羽田空港からのアクセスが重要です。着陸から30分以内に到着できる交通を考えてください。 | 参考 | |
| 696 | 交通アクセスの充実も必要不可欠であり羽田や成田からの直通路線（鉄道・バスともに）の整備も併せて進めてもらいたい。 | 参考 | |
| 697 | 周辺の交通渋滞が予想されることから一道路の拡張や公共交通機関（MM線の山下ふ頭への延伸）等も併せて準備していく必要があると考えます。 | 参考 | |
| 698 | ⅠR賛成です。次世代交通システムは区域内だけでなく、主要駅との移動にも使ってください。 | 参考 | |
| 699 | ⅠR賛成です。LRTが横浜駅から通ればもっとPRになると思います。 | 参考 | |
| 700 | ⅠR賛成します。羽田からのアクセスの改善を求めます。ペイブリッジを通して20分ほどのバス便があれば、客が増えると思う。 | 参考 | |
| 701 | 方向性1～4すべてにおいて重要な意味を持つと思う交通についての意見を述べさせていただきます。新交通システムの開発・導入の実現 横浜ⅠR開業時に間に合う新交通システム導入と日本の将来の新交通システム開発（実証実験等）準備について示していただきたいと思ひます。観光・経済イノベーションにとってとても重要な要素になると思ひます。都心臨海部の回遊性を高める施策としてバスの無料化 都心臨海部の周遊の一助となる路線バス（連節バス等）は無料化し、横浜ⅠR会場を中心に面となる臨海部は誰でも気軽に乗車できるようにする。これにより、回遊性を高め、閉鎖的ではなく開放的な横浜がイメージ出来る（インバウンド対策）と思ひます。 | 参考 | |
| 702 | 賛成です。市営地下鉄沿線からも遊びに行きやすいよう、山下ふ頭までのアクセスの改善を良くしてほしい。 | 参考 | |
| 703 | 横浜ⅠR多大いに賛成です。ただし、それは、市民の安全・安心があつての事。交通渋滞、駐車違反の取り締まりの徹底等を行い、市民の暮らしを、事故を防いでほしい。横浜ⅠRを1つの都市と考え、基本、海上からの入場を主として頂きたい。市県民税が下がれば市民も喜ぶ。医療の充実も外せません。施設内の清掃（ディズニーシー的な）方向性1、ユーチューバーを参考に市民が目にする都市を要望致します。“横浜ⅠR 海から世界へ”期待しています。 | 参考 | |
| 704 | JR関内駅～山下～石川町駅までLRTをつくって欲しい。車の渋滞のないⅠRにして欲しい。 | 参考 | |
| 705 | 横浜のウォーターフロントを活かし交通アクセスは様々な船を活用したらどうか、羽田からは高速ジェット船、大岡川を通る市内回遊船、鎌倉、小田原の定期船など海をテーマにしたリゾートを | 参考 | |
| 706 | 山下埠頭への交通機関はどうするのか？ | 参考 | |
| 707 | 早期完成を願います。首都東京と高速船で集客時間を短縮する。 | 参考 | |
| 708 | 山下埠頭、本牧埠頭にクルーズ船が接岸できるように、するべきではなからうか。（宿泊客を増そうといふことに、反するがイメージ造りのため） | 参考 | |
| 709 | 高速道路の山下ICの乗り、降り、し易く改良する必要がある（今は乗り降りしにくい） | 参考 | |
| 710 | 山下ふ頭の付け根の所がボトルネックになっています。民設民営でⅠR区域内は民間事業者が整備すると聞いていますが、山下町や新山下の地区と山下ふ頭を結ぶ所は、税金を使ってもしっかりと横浜市が整備すべきではと思ひます。 | 参考 | |
| 711 | ⅠR賛成。羽田空港からのアクセスが重要だと思います。15分間隔のシャトルバスなど利便性を高めてください | 参考 | |
| 712 | ⅠR賛成。ⅠRが完成するころには、自動運転が実現していると思うので、域内交通だけでなく、シャトルバスなどにも、活用してください | 参考 | |
| 713 | ⅠR楽しみ。富裕層は羽田からどういふアクセスで山下に来るのでしょうか？すばらしい案を期待します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 714 | I R賛成です。関内駅からのアクセスも考えてください。MM線だけだと不便です。 | 参考 | 横浜I Rの立地場所である山下ふ頭には、国内外から多くの来街者が訪れることになるため、円滑な交通が求められます。 このため、陸・海・空の多様な移動手段を確保するとともに、楽しく、安全・安心で、環境にも配慮した交通環境の構築を目指します。〈方向性 P.53〉 |
| 715 | I R賛成です。I R事業者や横浜駅周辺・MMの大企業にお金を出してもらい丸の内のような無料バスを走らせてください | 参考 | |
| 716 | I R賛成です。都心臨海部をバスが網の目のように走るようになれば良いと思います。 | 参考 | |
| 717 | I R賛成です。羽田空港からのアクセスに空路は実現可能ですか？ | 参考 | |
| 718 | I R賛成ですが、ロープウェイを山下ふ頭まで伸ばしてください。 | 参考 | |
| 719 | I R楽しみです。羽田空港とのアクセスが重要です。パラダイスシティのようなシャトルバスを走らせてください | 参考 | |
| 720 | I R賛成です。横浜駅からMM・山下公園 関内駅などを通るL R Tを走らせてください | 参考 | |
| 721 | I Rについては賛成です。(横浜の活性化に)みなとみらい、中華街、山下ふ頭の行き来が容易にでき、若い世代も楽しめるような施設としてもらいたいです。 | 参考 | |
| 722 | 横浜は日本一の市ともいわれていますが、交通などのライフラインがまだ途上な部分もたくさんあり、未完成のままの道路もたくさんありますので、カジノの前にそちらの方に目を向けていただきたいと思います。 | 参考 | |
| 723 | シンガポールの、MBSの集客力は、I Rの下に地下鉄駅が通るなどして、交通アクセスが良く調っていますが、横浜の候補地は、山下ふ頭は狭いうえに半島形で海にせり出し、鉄道駅からも遠く距離があります。 | 参考 | |
| 724 | 「2. 横浜I R実現への取組の背景」の部分にこのように書かれています。「『横浜I R』の予定地である『山下ふ頭』は、ベイブリッジより内側のインナーハーバーに位置し、横浜の中心である都市臨海部を形成しています。最寄りの横浜高速鉄道『元町・中華街駅』まで徒歩約5分で、首都高速道路にも近く、羽田空港など各方面から高いアクセス性を有しています」説明会に参加しましたが、その会場からの質問でも、山下埠頭への交通の便の悪さは指摘されていました。横浜市のHPでの回答でも交通の便の悪さの解決はこれからの検討課題だと答えています。1年に2000万～4000万人の来場者を想定しているのに、この書き方はまったく無責任としか言いようがありません。 | 参考 | |
| 725 | 浦安のアクセスの多様性に比べ、横浜山下ふ頭は幹線道路も鉄道も空港にも距離がある。 | 参考 | |
| 726 | I R施設に伴って、地下鉄の延伸、羽田空港エリアや横須賀エリアへの新たな鉄道網の整備、あるいは、本牧地区へのアクセスを良くする新交通等、多様な発展形がI R施設の設置により、現実的になるものと期待している。是非周辺とのアクセス性を高めてもらいたい。 | 参考 | |
| 727 | 水交通の活用をベイエリアをつなぐために楽しい、役に立つウォーター交通の整備をI Rと関連付けてもらいたい。 | 参考 | |
| 728 | I R候補地(山下埠頭)は地形的に盲腸に似ており、アクセス網が整備されないと中区周辺は慢性的な渋滞や混雑が想像できる。ランニングチェンジでは横浜駅改修状況と同じではないか。 | 参考 | |
| 729 | 「2. 横浜I R実現への取組の背景」の部分にこのように書かれています。「『横浜I R』の予定地である『山下ふ頭』は、ベイブリッジより内側のインナーハーバーに位置し、横浜の中心である都市臨海部を形成しています。最寄りの横浜高速鉄道『元町・中華街駅』まで徒歩約5分で、首都高速道路にも近く、羽田空港など各方面から高いアクセス性を有しています」説明会に参加しましたが、その会場からの質問でも、山下埠頭への交通の便の悪さは指摘されていました。横浜市のHPでの回答でも交通の便の悪さの？解決はこれからの検討課題だと答えています。1年に2000万～4000万人の来場者を想定しているのに、この書き方はまったく無責任としか言いようがありません。 | 参考 | |
| 730 | 今回、この素案を見て横浜市のためにI Rというものがどのような働きをするのか、そして将来どんな効果が見込まれるのか分かりやすいと感じました。私が少し気になる点は、交通の便です。山下ふ頭はアクセスが良い印象があまりなく、それだけの人がいきなり押しかけるとバスなどが混乱してしまうのではないかと思います。その点の計画が何かあれば、ご意見をお聞かせたいです。横浜の将来のためにI Rの計画が進むことを望んでいます。 | 参考 | |
| 731 | いろいろな区からの公共交通機関のアクセスも良くなるとよりいいですね | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 732 | ⅠR周辺区域のアクセスについて、連節バス程度では不足するのではないのでしょうか。シンガポールを例にとると、マリーナベイもセントーサもアクセスの中心は鉄道であるように見受けられます。P87から類推すると、計画されているⅠRは、利用者だけでも一日当たり5～10万人ということになります。みなとみらい線の元町中華街駅の乗降客数が6.5万人、みなとみらい駅の乗降客数が9万人弱であることを考えると、1日当たりの集客が5～10万人というのは相当な数だと思いますので、周辺にオーバーツーリズムの弊害を感じさせないためにも、アクセスについてはもう少し容量の大きなものをご検討いただいた方が良いでしょうと思います。同じくⅠR周辺区域のアクセスについて、P54に「新規道路整備」とありますので杞憂かもしれませんが、既存の道路以外に何らか別の道路を整備いただければと思います。人工島への道路アクセスが1ルートしかないというのは、自然災害などの際に孤立するリスクが高くなると思います。 | 参考 | 横浜ⅠRの立地場所である山下ふ頭には、国内外から多くの来街者が訪れることになるため、円滑な交通が求められます。 このため、陸・海・空の多様な移動手段を確保するとともに、楽しく、安全・安心で、環境にも配慮した交通環境の構築を目指します。<方向性 P.53 > |
| 733 | 誘致に賛成です。市内からのアクセスが良くなるよう、各区のターミナル駅からバスの直行便ができてほしいです。近隣自治体、例えば逗子市や葉山町からもバスの直行便があるといいですね。 | 参考 | |
| 734 | 鉄道交通機関から遠い。関内・元町中華街駅から歩くには遠い。桜木町から何か別の交通インフラが必要でしょう。今でもサラリーマンが大勢の方が出勤時間に歩いています。車は飲酒運転が増えることが予想されますので新しい交通インフラが必要でしょう。税金がかかります。 | 参考 | |
| 735 | 山下ふ頭へのアクセスが良くなるような公共交通機関の整備も必要だと思います。市営バスで各区からの直行便もできると、便利だと思います。 | 参考 | |
| 736 | 年間2000万～4000万人と見込む来場者に対応する交通インフラ整備も不十分と考えます。これらの具体化と整備コストの明確化が必要です。 | 参考 | |
| 737 | 誘致に賛成です。先般開業したハンマーヘッドは、駅からの導線があまりよくないと感じています。横浜ⅠRは、どの手段を使ってもアクセスがよいと感じられるようにしてほしいです。 | 参考 | |
| 738 | 誘致してほしい！横浜ⅠRへのアクセスの良さは、市民の関心度を左右すると思う。どこの区からも行きやすくなるような工夫があると、より多くの市民が自身の生活の一部として横浜ⅠRの利用を考えやすくなり、愛着も湧いていくのではないかと。 | 参考 | |
| 739 | 国内外からのアクセス利便性の確保が成否を分けると思います。海路を除く、空路、陸路は思い切った改善が不可欠だと思います。成功を祈ります。 | 参考 | |
| 740 | 横浜ⅠRに賛成。山下ふ頭へのアクセスが良くなるような公共交通機関や道路等の整備も必要だと思います。ベイサイドブルーだけでなく、市営バスで各区からの直行便があると便利です。最寄駅からリゾート施設のエントランスまでが歩きやすい道、楽しめる道になるとなお良いと思います。 | 参考 | |
| 741 | 誘致に賛成です。主要な駅と横浜ⅠRを結ぶバスの直行便ができると、行きやすくなって足を運ぶ機会も増えると思う。近隣自治体、例えば逗子市や葉山町からもバスの直行便もあるといいと思う。 | 参考 | |
| 742 | ⅠRが山下埠頭とあるが、都心臨海部との融合と（資料31頁）言っているので同ページの黄色部分に環状の交通機関を作ってはどうか。このことにより、ⅠR地域、みなとみらい地域、大黒ふ頭地域、本牧ふ頭地域がスムーズにつながり、移動が楽で面白くなる。ベイブリッジ下はトンネルがいい。例えばLRTなどが面白い。本牧ふ頭としたのは、大型船がベイブリッジを通れないので、ここに大型船が留まれるように開発してはどうか。 | 参考 | |
| 743 | 現状のままでは、ゲートウェイ機能はほとんど期待できないのではないのでしょうか。船以外の交通機関が世界に開いていないと思います。少なくとも羽田空港とは直通的な交通機関が欲しいです。できれば、海の中が見える、海底トンネル・遊覧潜水艇があれば乗ってみたいと思います。既存の鉄道などを伸長する場合も、ノンストップのシャトル便を原則として欲しいです。ハード的にも、ソフト面でも煩わしさを感じさせず、スピーディーに到着できるようにすれば、世界中のお金持ちが立ち寄りやすくなるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 744 | 戸塚区から子どもたちを連れて遊びに行くことや、宿泊の荷物を運ぶことを考えると、直行便のバス路線や定額タクシーなど、周りの方の目を気にせずに横浜ⅠRにアクセスできる交通手段ができると助かります。 | 参考 | |
| 745 | 横浜にⅠRがあることによっておこる二次的なメリットがあるのであれば明確化しておきたいです。（もちろんデメリットも）ⅠR稼働後の交通量に関してはどのような試算となっているのでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 746 | ⅠR区域周辺アクセスに歩行者交通の記載があり、これは現元町中華街駅からⅠR区域の山下ふ頭まで、歩行者用のペデストリアンデッキのようなものを作るのでしょうか。それは、一般のⅠRへの入場手段としては、最寄駅から徒歩を推奨するのでしょうか。 | 参考 | 横浜ⅠRの立地場所である山下ふ頭には、国内外から多くの来街者が訪れることになるため、円滑な交通が求められます。 このため、陸・海・空の多様な移動手段を確保するとともに、楽しく、安全・安心で、環境にも配慮した交通環境の構築を目指します。＜方向性 P.53＞ |
| 747 | 根岸からの交通の便も増やしていただけたら根岸からJRを使用したりする流れも出てくるかと思われます赤十字病院前までクルーズ船を通す等やっていただきたいです。 | 参考 | |
| 748 | ⅠRを起爆剤に横浜臨海部をウォーカーカブルシティに！現在の横浜市臨海部は歴史的建築が点在し、魅力的な街並みも少なく歩いて楽しい街とは言えないです。ⅠR開発では次世代型の歩道空間や公園を整備されると思うので、それを起爆剤に臨海部広域の歩行者ネットワークを整備し横浜全体を魅力的な都市へ改変するべきと思います。具体的には歩道の拡幅、治安を守るカメラを備えた街灯、街路樹を増やす、景観デザインの統一など。交通量が少ない車道は市民スペースとして公園への転用も必要と思います。魅力的になった歩行者空間は地域の祭りやイベントを開催する文化発信拠点となり、世界に「横浜」を発信すると思います。 | 参考 | |
| 749 | P. 54 (3) -4 スマートな交通環境の構築、他横浜都心臨海部への送客及び回遊強化について交通手段によるネットワークの形成や観光地等との連携を書かれてますが、実際にどのくらい回遊させられたかを計測する方法等の提案も併せて事業者からしてもらえばいいのではないでしょうか？ | 参考 | |
| 750 | ⅠRから関内への交通について ⅠRの予定される山下地区と鎌倉・羽田空港などに向かうバスターミナルが整備され現市庁舎（中区港町1）の間に位置する関内地区は、歴史的にオフィスビルが多く、平日の昼夜間人口と休日には大きな開きがある。またオフィスビルが多いことから、他の地域と比較しても住民が少ない。以上のことから関内地区において、今後都市中心部における一般乗用車の利用制限および駐車場の削減を目標に、ⅠR地区と現市庁舎とを結ぶマイクロトランスポートの推進を提言したい。横浜市では既に山下ふ頭にバス停を設置しベイサイドブルーによる運用を想定されていると懸念している。連結バスによる輸送では例えば上記にあげた市庁舎のバスターミナルに乗り入れた場合ノンストップで箱根や羽田を経由し関西方面に人が流れ、現状のクルーズ船に見られる、横浜市の観光客が滞在しないという問題の解決にならず、ⅠRにおいて説明されている地域経済へのチャンパンタワー効果が発揮されない。しかしマイクロトランスポートの推進を行うことで、横浜市が行ってきた歴史的建造物を生かしたまちづくりへの観光客へ誘導が大いに期待できる。 | 参考 | |
| 751 | 山下ふ頭と山下公園の接点に運河を開削し、大岡川と掘割川（中村川）をショートカットで結びたい。 | 参考 | |
| 752 | 送客機能…「羽田空港」から近い位置にはあるが、首都圏から全国各地・箱根・鎌倉等との関係から、宿泊機能からは一時的短期間での宿泊とならないか、また、羽田から全国各地への空路もあり、当該機能の重要性検証には更なる検討、即ち、本施設への誘導を考えた場合、特に、羽田空港からのアクセス手段の施設を含めた検討が必須と考える。 | 参考 | |
| 753 | 横浜は元々の交通量が多すぎる。そこでさらに交通量を爆増させるような施設は妥当ではない。 | 参考 | |
| 754 | 計画の一部に反対すると共に、具体的な提案の検討を願います。p53の「スマート交通体系」などのページにおいて想定されている交通が自動車中心となっています。インバウンドを意識してのものと考えますが、現在の関内・関外地区や想定している港湾地区（特に山手地区）は自動車での来場に耐えられる環境がなく、周辺への波及効果を期待できる環境にありません。大規模な都市改造には時間がかかることから、公共交通網の整備を並行して進める必要があると考えます。山下地区への公共交通機関の容量は想定に対し非常に小さく、計画している展示場設置に際して耐えられる容量にはありません。このレベルの交通整備計画では期待している経済効果よりも市民生活に及ぼすリスクの方が大きいと想定されることから、現計画に反対します。現状、盲腸線となっている横浜高速鉄道の延伸や地下鉄3号線整備など、中長期的な都市整備計画の検討・提案を期待します。 | 参考 | |
| 755 | 横浜の顔として様々な施設がそろっていても利用しやすいと思う。移動手段として公共の乗物を、もっと充実させればより良い。1日バスを、バス、地下鉄だけでなく、JRや船なども利用できるなど広げていくのもいい。 | 参考 | |
| 756 | ホテルやカジノを一般市民が利用する事はまず無い。交通の利便性も悪いので区画整理も必要だと思う。出来れば一般市民が気軽に行ける施設があれば長期的に繁栄すると思うが…みなとみらいとを繋ぐ乗り物もあった方が良く思う。 | 参考 | |
| 757 | 山下地区への交通インフラ整備も必要に感じます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 758 | 横浜全体でI Rに来たお客さんが回れるように、水上交通などの整備をしてほしい。 | 参考 | 横浜I Rの立地場所である山下ふ頭には、国内外から多くの来街者が訪れることになるため、円滑な交通が求められます。 このため、陸・海・空の多様な移動手段を確保するとともに、楽しく、安全・安心で、環境にも配慮した交通環境の構築を目指します。＜方向性 P.53＞ |
| 759 | 横浜全体でI Rに来たお客さんが回れるように、水上交通などの整備をお願いしたい。 | 参考 | |
| 760 | クレーナーハーバーだけでなく川の駅を作り、吉田町に人が回遊する様にしてください。 | 参考 | |
| 761 | I Rのお客さんをクルージングしながら大岡川を昇って整備しやすい吉田町で乗降したらどうでしょうか？ | 参考 | |
| 762 | I Rができることをとても楽しみにしています。中でも、他にない魅力として新しい交通手段（ロープウェーなど、それだけでアトラクションになりえるもの）ができるとより話題になると 생각합니다。 | 参考 | |
| 763 | 横浜の発展のためI R誘致推進に賛成いたします。そのうえで、素案について交通対策、特に鉄軌道対策が弱いように感じました。リニア新幹線神奈川駅（相模原市）からのアクセス向上（品川からでよいという意見もあります）が橋本からの対策も考慮していただきたいと思ひます。また、勿論、MM線の地区乗り入れも検討されているとのことですが、そのほかJR東神奈川駅（リニア、新横浜）、京急東神奈川駅（羽田直結）からMM地区経由でモノレールなどの中量輸送対策が重要と思ひます。東神奈川周辺地区は瑞穂ふ頭の返還を含め第二のみなとみらい地区となることも考えられ横浜都心部の一体化に寄与するものと思ひます。 | 修正 | |
| 764 | 誘致に賛成です。市内各地や近隣都市、ほかのI Rなどと横浜I Rを結ぶバスの直行便があると、もっと訪れやすくなっていいと思ひます。 | 修正 | |
| 765 | 日本のゲートウェイ掛け声の弱点 羽田、成田、品川からの便が悪い。 | 修正 | |
| 766 | P10-11：（3）横浜の持つポテンシャル羽田空港へのアクセスは良いと思ひます。その他は利用可能と言うだけで、利便性があるとは言えない。新幹線は新横浜、リニアは相模原市橋本に駅ができますが、相模原市より品川の方が横浜に行きやすい。車で新横浜や相模原から横浜に出るというのは駐車場の実態等から考えにくい。意外と横浜へのアクセスが悪いというのが、新横浜、相模原に近い北部にいと肌感覚として感じる。ポテンシャルを活かすアクセス方法に関するインフラの整備が必要だが、ここで問題の提起が無い。従って後段P53「スマートな交通環境の構築」が、問題点の解決策となるかが不明確。整合が取れていない「コビベ&つなぎ合わせ」の弊害。 | 修正 | |
| 767 | P12 リニア中央新幹線に関して神奈川県駅（現・橋本駅周辺に建設中）から横浜までは横浜線で1時間以上かかる。リニア建設による横浜への旅客の増加は限定的と言わざるを得ない。 | 修正 | |
| 768 | I R地区だけでなく、周辺の観光地への回遊（山下公園、中華街、元街、関内）を、是非ともさらにお考えいただきたいと思ひます。周遊バス等交通インフラも充実していただきたいです。 | 修正 | 来街者を周辺地域に様々な交通手段により回遊させることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性 P.54＞ |
| 769 | I R内での自己完結型I Rでなく、周辺の街に、I Rに来た方が回遊できるよう交通手段、徒歩手段を整備してもらいたい。以前桜木町と山下ふ頭をつないでいた汽車道を復活、海の見える次世代型（水素活用、電気活用、太陽光活用e t c）交通を、海辺に走らせたかどうか。車道整備のみで対応すれば、コストも安くできると思ひます。 | 修正 | |
| 770 | I R賛成。無料バスを走らせてください。横浜駅・MM・関内・山下ふ頭を周回すると人も乗ると思ひます。丸の内のようにMMの企業からもお金を出してもらなどはどうですか。 | 修正 | |
| 771 | 横浜市将来を考えるとI Rには賛成です。その上で下記の点についてご配慮をお願いします。交通・アクセス関係は、関内、関外、みなとみらい、横浜駅、山下町、元町、中華街の各地区との交通利便性を図って来街者の回遊性を高めて欲しい。 | 修正 | |
| 772 | 横浜市I R計画に追加的に期待すること ・周辺地区へのアクセス性を高める計画立案に配慮を ・本牧エリアへの地下鉄の延伸 ・羽田への地下鉄、鉄道の延伸 ・横須賀エリアへの新たな鉄道網の整備 等新しい街づくりの基盤整備との連帯性に配慮した計画を立案して、明日の横浜の姿を是非見せてもらいたい。 | 修正 | |
| 773 | 周辺エリアとのアクセス向上を目指したスマートインフラも整備願ひます。 | 修正 | |
| 774 | カジノなしで建設していただく事を前提として、CO2排出削減に貢献できるよう、横浜や桜木町からの公共交通機関のアクセスを整えていただき、基本的には「公共交通機関」で行けるようにして下さい。野毛、中華街などにも移動しやすい導線・アクセスを整備し、地元の小売り・飲食店にも利用者が行きやすくなるよう、ご配慮をお願いします。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 775 | IR周辺の交通整備についても住民に迷惑なく、スムーズに市内の様々な場所に行けるようにできると良いのではないかと思います。 | 修正 | 来街者を周辺地域に様々な交通手段により回遊させることとし、方向性2「都心臨海部との融合」を一部修正しました。＜方向性P.54＞ |
| 776 | IR賛成です。山下ふ頭は元町・中華街からも歩けそうですが、できれば、関内駅や石川町駅のJR駅からの移動も考えてほしいです。もしくは、横浜駅からシャトルバスやシーバスを出してください。 | 修正 | |
| 777 | 交通インフラが進むことはその土地の発展に必要なことでありますが、更にもその恩恵の範囲を広げて欲しいと思います。横浜の臨海部には三溪園、南部市場、アウトレット、LINKA1、八景島、横浜市ではないですが、三浦、三崎などの海沿いの素敵なお店が沢山あります。湾岸道路の下などに交通インフラ（電車）を整えて頂き、銀座、羽田、横浜、葉山などに移動がし易くして欲しいと思います。 | 修正 | |
| 778 | 点を繋ぐ元町、伊勢佐木町などの位置をみてもただ点として存在しているだけで、有機的結合が出来ていないために観光客が来ていない。繋ぐべきだ、移動し易くするべきだ。 | 修正 | |
| 779 | 山下埠頭だけでなく、内陸（関内～お三ノ宮）まで回遊できるような仕掛けがほしい | 修正 | |
| 780 | IR拠点から市内に回遊できるような複数のスモール交通（LRT、BRT、ペロタクシー等）の仕組みを取り入れたい | 修正 | |
| 781 | IRには賛成だが、吉田町などの地域まで交通導線を作ってほしい。 | 修正 | |
| 782 | IRから吉田町へのシーバスや人力車、トウクトウク等、名物になりそうな交通手段があれば良いと思います。 | 修正 | |
| 783 | 吉田町には魅力のあるお店があるので、他県からの人にも気兼ねなく行ける様な交通手段かつ、その地域を生かしたシーバス等を活用しての活性化に力を注いで頂ければと思います。 | 修正 | |
| 784 | IR反対です。中区のみなどみらい・山手・山下地区では「地区整備計画」の「建築物の用途の制限」に以下明記されていますがなぜIRを市民の声を無視して進めるのでしょうか？次に掲げる建築物は、建築してはならない。「マージャン屋、ぱちんこ屋、射的場、勝馬投票券販売所又は場外車券売場」 | 参考 | |
| 785 | IR区域内の施設建築の費用負担は、事業者が行うと横浜市はいいますが、そのことは、事業者が、ホテルひとつとっても、どんな規模やデザインで建てるかについて事業者が勝手に任せ、市はなんら規制することはない、ということとは全く別のことです。建築基準法だけでなく、都市計画法の規制もつけます。世界最高水準のIRを支えるカジノはどれほどの規模になるのか。少なくとも現行の建築基準法によれば高さ制限31mであり、容積率400%です。その基準ないで、世界最高水準のIRの施設をおさめなくてはならないのです。それとも、事業者の要望に合う様に、建築基準法をかえるのですか。横浜市がIR区域の施設建築に係る制度の問題です。「方向性（素案）」にはなにも言及されぬまま、「実施方針」では建築基準がかかわる施設のあり様についての「方針」が盛り込まれています。その「原則」が不明のまま、「実施方針」が整えられ、最後に、「都市計画法」や「建築基準法」を変えていくような進め方はやめてください。国策の名で、横浜市民の合意なく福祉向上に反する建築基準法の規制の緩和には反対です。 | 参考 | |
| 786 | 山下ふ頭にIR建築を建てるに際し、これまでの建築基準法を踏襲するのですか。横浜市民の合意なく福祉向上に反する建築基準法の規制の緩和には反対です。 | 参考 | |
| 787 | 山下ふ頭のある土地は敷地全体の面積で約47haあります。山下ふ頭再開発計画では、用途地域商業地域、容積率400%、建ぺい率80%、第7種高度地区（最高限31mとなっています。みなとみらい地区は100mを超える高層建築が立ち並びます。IR区域整備計画ではどうなるのでしょうか。これまでの建築基準法の規制を踏襲するのでしょうか。規制緩和をするのでしょうか。はっきりしていることは、高さ制限31m容積率400%では、ホテルにしても、会議室、展示場にしてもみなとみらい区域のような超高層規模では建てられないということです。IR整備法では、ホテルにしても、会議室、展示場にしても、一定の広さの確保を義務づけています。国の基準です。その広さには幅があります。国の基準の枠内で最低限の規模にするか、逆に、最大限を追求するのか。この点で、横浜市の判断が問われます。いろいろ勘案した計画の結果一定の超高層建築にしなければ、必要な規模の施設が作れないと判断するのでしょうか。そうだとすると、建築基準法の規制を緩和しなくてはならないという事態になります。それは勝手にできるものではありません。必要な手続きがあります。山下ふ頭再開発の都市計画にとって代わる計画が必要です。この点の課題は、「IRの方向性（素案）」では全く示されていません。それは、横浜IRをどの様なものをどのくらいの規模で構想するのか、どういう効果こそ「目標」とするのか。それが明らかにされていないことと対応します。これは、事業者が決まらなかつたら決まらないという話ではない話ではありません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 788 | <p>「IR区域」は、植民地ではないし、治外法権の区域ではありません。当然のことながら、その「区域」を、一定の事業目的のために一定の「施設整備」を行うにあたって、基本的な前提として、建築基準法にもとづく建築規制・制限が適用されます。その点で、区域の建築のあり方についての法的意思が貫きます。それを無視して、土地の所有者、また、運用者は、勝手な施設をつくることは出来ません。都市計画法上の基本でもあります。横浜市はIR区域の大半の地権者でもあります。その地権者としての権利があります。また自治体としての権限もあります。区域内の施設の建設、使用について、自治体が法を通じて関与する仕組みがあるというべきです。それとも、具体的に山下ふ頭用地は、「国策」にしたがって建築基準法適用外地域となり、「区域の施設整備」は、IR業者の自由に委ねられるともいえるのでしょうか。そんなことはあってはならぬことです。</p> | 参考 | IR施設の設置など、事業の実施にあたっては、建築基準法、港湾法、都市計画法等の関係法令等に基づき適切に進められます。 |
| 789 | <p>横浜市が2017年に定めた「山下ふ頭再開発」計画において、山下ふ頭用地の具体的な建築制限が明示されています。「IR区域整備」において、その基準を適用する立場に横浜市は立つのですか。それとも、あらたに、IR整備法に基づく、建築基準法の設定を行い直すのですか。このことについて（方向性（素案））は何も触れていません。建蔽率、容積率、高さ制限、用途制限などのあり方は、その区域における建築に極めて大きい影響を持ちます。建築費を誰がどう負担するか、市は出費するのかどうかという問題以前に、市は「IR区域の施設整備」（建築）に関与するのです。不当不法な、地域開発の理念原則に反するものであれば、建築自体が認められません。観光開発についても、それは地域開発の一環でなくてはなりません。住民にとって良い環境、生活の質の向上に寄与するものであるかどうか。それにのっとる建築かどうか。厳格な評価が必要です。それは横浜市の都市計画の課題であり、都市計画審議会でしかるべく審議されるものです。横浜市は当該区域の地権者でもあり、発言権はとりわけ重視されるものです。市・自治体自身の識見見解が不可欠です。また、そのレベルが問われます。「すべてIR事業者がおこない」「市は金を一切ださない」といって、丸投げできる問題では、断じてありません。</p> | 参考 | |

3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

3.4 横浜IRの方向性3 オール横浜で観光・経済にイノベーションを に関するもの

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 1 | 私の意見は、横浜市にカジノは反対です。もっとIR以外にアイデアがあると思うからです。今回の目的である「将来の税収確保」という考えには安易性があり、もっと多くの意見を聴けばIRに変わる税収を得るアイデアが出てくると思います。癒着など綻びが出てきた今、大きな力に従わなくて済む、市民の為の街作りを行い、人の弱みに付け込んで税収を得るカジノを止めて、新しい税収の得方を市民に問うべきと考えます。外国の風潮ではなく、日本独自の良さを求めて下さい。 | 参考 | <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。〈方向性P.16〉</p> |
| 2 | カジノの誘致に反対します。市財政悪化の対応策は全市民で考えます。カジノ以外の施策実現は賛成します。 | 参考 | |
| 3 | 発展、拡大を追い求めるのではなく、今できないところを手当して持続可能快適性を追求すべきです。IRがつくれて、どうしてまともな中学校給食はやれないのか理解できません。 | 参考 | |
| 4 | IRは絶対反対。カジノは反対。カジノを造れば、すべてが台無しです。IRなどつくらず、財政のことを考えて下さい。 | 参考 | |
| 5 | 横浜IRに取り組む理由は理解できる。しかし、他の施策は考えられないのか？横浜市の抱える課題を解決する施策として他に考えられないのは何故なのか？いくつかの施策を検討した上で横浜IRがベストな取り組みと考えているのであれば、その点を明示することが必要と考えます。 | 参考 | |
| 6 | 競輪、競馬、パチンコ、競艇、オート等がありますがこれらがどれだけ財政に貢献しているか疑問です。せいぜいトントンか赤字ではないでしょうか。ギャンブルを否定するものではありませんが、ギャンブルを要とした経済政策は賛成できません。 | 参考 | |
| 7 | 「市民の将来にわたる豊かな暮らし」をIRによる経済効果で実現しようというそのごんたんに反対。右肩上がり経済が、市民を豊かにするとは思えない。市は、IRに頼らないまっとうな経済をめざすべき。 | 参考 | |
| 8 | ただ経済効果だけをねらうのが行政ではないはず。カジノ抜きで横浜市の発展を策定すべきと考えます。 | 参考 | |
| 9 | 市の発展は、何も、賭博にたよることではなく、他にいくらでも考えられることだと推察します。再考願う。 | 参考 | |
| 10 | 収入をカジノに頼ろうとするとは、何て浅はかな考えだと思います。横浜には、すでに魅力がたくさんあるのだから、まずそれらを最大限に活かすべきです。 | 参考 | |
| 11 | 賭博のテラ銭をあてにしたIRを成長戦略の目玉にするとは為政者として策が無さすぎる。 | 参考 | |
| 12 | 商業施設ばかりが、横浜の発展の道でしょうか？もっと幅広い市民の意見を取り入れて市の発展方向を目指してほしいと願います。 | 参考 | |
| 13 | 横浜市の税収の増加を目的の一つとしているのなら、ふるさと納税の返礼品を魅力的な内容にするなど、もっと見直すことがあると思う。横浜にもいいものが沢山あるのに、地元民でも魅力を感じない内容ばかり。他のことでも同じようにいえるが、どうして減収になったのか、どこを見直すべきか、現状を考え直してくれないと。新しい方向ばかり見るのではなく、足元をもう一度見詰めなおすのも、政治家の仕事です。 | 参考 | |
| 14 | 経済活性なら他の方法を探してください。 | 参考 | |
| 15 | 法人税の収入が他より少額となっているのは、市の施策が悪いためである。 | 参考 | |
| 16 | 市民が減少していくため、市財政の収益確保の為としているが、IR事業により同業者施設の経営が悪化し収益増収にならない。法人税納付の金額が他より少ないとしているが、横浜市に本社がある企業に横浜市が行なう事業を任せれば収入増になる。 | 参考 | |
| 17 | 人口減少、少子高齢化、財政の悪化を防ぐ手段として、IRは必要。依存症などへの対策も必要だが、推進に向けて、頑張るべき。 | 参考 | |
| 18 | 横浜市が、少なくとも今の社会保障水準を保つなら、IRのような起爆剤は必要です。IRは賛成します | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 19 | 社会保障が持続できるよう、カジノ入りでもIRを実現させるべきだと思います。 | 参考 | <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性 P.16＞</p> |
| 20 | IR賛成です。しっかりと対策を説明し、観光増加が図られなければ、ジリ貧だと思う。 | 参考 | |
| 21 | この豊かな横浜を、その未来をいちかばちかのようなバクチ（カジノ）にかけるのではなく、平和で安心に住み続けることのできる場所にしたいと思います。 | 参考 | |
| 22 | 豊かな暮らしになるなら、賛成です。 | 参考 | |
| 23 | 少子化や経済の低迷は横浜IRでは解決できない。右肩上がりの経済の夢を見るのではなく、地方分権を重視した市民の目線での経済を構築すべきである。特に若者を定住させるためにはIRではなく東京に近い利点を使って新規事業を起こしやすい環境を作るべきである。 | 参考 | |
| 24 | 大好きな横浜にカジノは絶対反対です。財政上の知恵は他に方法があると思います。 | 参考 | |
| 25 | 横浜市長がカジノにこだわる理由がよくわかりません。横浜市民のためになるようなもっと健全な政策を考えるべきだと思います。 | 参考 | |
| 26 | 横浜市の経済的実状が、どんなに厳しいものであっても、横浜の経済を支える手段は、他にもあるはずで、何より、カジノが「もうかる」という発想に疑問を持たざるを得ません。 | 参考 | |
| 27 | ぜひ横浜をカジノに頼らない街にしてください | 参考 | |
| 28 | あぶく銭の市政はいつこわれるかわかりません。カジノはやめましょう。 | 参考 | |
| 29 | 少子高齢化が進み、これからは税収が見込めない時代に入り行政サービスの低下を私は望んでおりません。是非にもIR誘致をしていただきまして、市民の安全安心を末代までよろしくお願い致します。 | 参考 | |
| 30 | 一人として置き去りにしないSDGs理念を掲げながら、全く逆行するIRカジノへ安易に財政を委ねるのはそれこそギャンブルであり、市民目線の政策を実直で民主的に遂行するよう改心願いたい。 | 参考 | |
| 31 | 依存症対策！依存症発生を予測の上実行するのですか？（IRを）予算が足りないのは税制の問題です。よく考えて下さい。 | 参考 | |
| 32 | 将来、横浜の生産年齢人口が今の2/3になることには驚いた。様々な取組の一つとしてIRを進めることは必要な政策と思う | 参考 | |
| 33 | 羽田から30分足らず、東アジア有数の港湾都市の文化的・経済的な発展をカジノ開設という目先の利益優先、バクチの売り上げ財源に頼らざるを得ない市政しか構想できないというなら即刻市長を辞めるべきだ。 | 参考 | |
| 34 | 人口減少、税収減 この先が見えているなら、何か対策を打つべき。IRは良いと思う | 参考 | |
| 35 | 今の地域経済成長、人口年齢層（高齢化による、横浜の負担）推移等のIRを造らなかつた時と造つた時の差を知りたい。 | 参考 | |
| 36 | 賛成しています。増収効果に期待しています。たくさんの業者から、よい提案がもらえるよう、がんばってください！！ | 参考 | |
| 37 | カジノ大反対です 収入不足は税収にて対応すべきです。 | 参考 | |
| 38 | 市長が待機児童0を実現した事は、とても高く評価出来ます。そんな能力のある方が、本当にIR、をおすすめする気なのか、不思議でなりません。それほど財政に余裕がないのなら、敬労パスはもう必要ないと思います。必要な方にだけ発行すれば良いと思います。お金をかけて何か作るのではなく、今、ある物を見直してみてもどうでしょう。横浜には海があります。夜景がきれいです。魅力的な建物も色々あります。歴史博物館に行った時に年表を見て、横浜の歴史は日本の歴史だという事に気付き、深く感動しました。何か、世の人々の知恵を集めて出来る事があるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 39 | 財政策として、カジノ以外の施策は沢山あるはず。このことを何故考えないのか？ | 参考 | |
| 40 | IR施設の必要性として、これから高齢化で税金収入が減少するため財政改善がうたわれているが、この問題は横浜市に限らず国内どの市町村でも同じと認識している。 | 参考 | |
| 41 | 収益増を期待して、とのことだが、もっと良い事業があるはずだ。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 42 | 横浜市の公共サービスが保たれて、生活の水準が落ちないように、IRにも頑張ってもらえれば良いです。そして、みんなが何度でも来たい、と思える施設を作って下さい。 | 参考 | <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性P.16＞</p> |
| 43 | 経済発展、IRの必要性も分らなくはない。しかし、時代に逆行とも言えるカジノは要らない。代わるものとして何がいいか、市民の意見を広く聞いてほしい。 | 参考 | |
| 44 | 横浜市は、港湾を中心とした超近代的部分とふるさとの部分的の両方を具有する大都市であり、IRに頼らなくても、経済振興、市税増収の途はいくらでもある。 | 参考 | |
| 45 | IRカジノには反対です。他の方法で税収を増やす事を考えるべきです。 | 参考 | |
| 46 | 市の財政を豊かにするためには絶対に他の方法を考えるべきです。 | 参考 | |
| 47 | 市政財政を見直しなさい | 参考 | |
| 48 | 政治のやり方で経済は保たれます。 | 参考 | |
| 49 | 税金の増収は大企業からと所得税（時給1,500にupして）を利用すれば良いと思います | 参考 | |
| 50 | 税金の無駄使いを改めたらいいと思います。カジノは絶対反対です。 | 参考 | |
| 51 | 財政が足りないことは、よく分かります。そこで、微々たることでも、市民が他にふるさと納税をしないことや、ごみの分別をしっかりと、費用をおさえるなど、できることをコツコツ、積み重ねることも大切だと思います。東京の友人が、「横浜市、どうなっているの?!?!」と子ども孫が横浜にいるので、IRだけはやめて欲しいと伝えてきました。 | 参考 | |
| 52 | 市の税収入を賭け事に依存するのは、おかしい。 | 参考 | |
| 53 | 収益よりも出金の方を押さえるべき。 | 参考 | |
| 54 | 横浜にギャンブル場は不要。横浜らしい文化施設を整備して欲しい。市として税収が欲しいのならば、もっと施策を講じて欲しい! | 参考 | |
| 55 | 市は財政困難を理由にIR誘致を進めています。市民の不幸によって成り立つIRを誘致しなければならないほどの財政状況ではないです。 | 参考 | |
| 56 | 高齢化は日本全体で横浜市だけではありません。対策は行政も市民も共に協力・努力していく必要があります。「カジノ」には反対です。 | 参考 | |
| 57 | 不足する予算を得るために安易な施設の建設をするべきではない!リゾート設備はもっと健全で市民全員が安心して利用できるものにすべきである。先ず市民全員の意見を確認する事。 | 参考 | |
| 58 | 知恵を出しあって「心から喜べる税収」を考えませんか。 | 参考 | |
| 59 | 全く異なる発想又は現況を生かした市の財政をプラス方向へ再生させる構想を考えるべきです。 | 参考 | |
| 60 | 市財政を豊かにする方法、手段は、他にいくらでもある。 | 参考 | |
| 61 | IRはいりません。もっと必要な事、やる事があるのでは。横浜を他の国にまねて、変えないで下さい。 | 参考 | |
| 62 | いくら財政に寄与すると云っても、害の方が大きい。インバウンドもそうだが農業、漁業、林業、製造業等、実体のある物、伝統的工芸、理・美容、販売サービス業等の実体のある物の経済の活性化を望む。収益増を図るなら実のある方法で…。 | 参考 | |
| 63 | カジノ反対!横浜はカジノが無くて素晴らしい街です。財源が苦しいなら他の事を考えて下さい!私も考えます。カジノで財源を得ようとするのは稚拙すぎます! | 参考 | |
| 64 | 横浜市の財政を豊かにし、住み易い地域にする他の方法を考えて下さい。市議会でもっと議論して下さい。 | 参考 | |
| 65 | 私はIRカジノには反対します!歴史ある横浜にカジノはいりません。1度作ってしまったら後戻りはできないと思います。カジノより知恵をだして他の方法で!!ステキな街に住みやすいヨコハマに。 | 参考 | |
| 66 | 市長の言う「横浜の観光消費額や宿泊客が少ない」「生産年齢人口の減少」などに対応するにはもっと別の方法があると考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 67 | 将来お金がかかる事はよく理解できます。そうかといって税金や消費税を高くする事も困難でしょう。何とか産業の構造を見なおし効率化を測って収益の上がる方法を考え、知恵を絞って“楽しさと夢のある横浜の文化”を創っていくようにしたいものです。 | 参考 | 本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 |
| 68 | 市の経済活性化のためにIRカジノを取り入れるのは、おかしいと思います。 | 参考 | このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 |
| 69 | 税収は国と市で別の方法を考えるのが必要だと思います。カジノはいけません。反対します | 参考 | あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 |
| 70 | IRにカジノが入ることは、反対です。横浜市にIR（カジノ）構想を新たにとり入れないで、今ある商店、（桜木町、ランドマーク）をもっと、活用して、横浜らしい町作り、財政問題を考えるべきです。 | 参考 | 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性P.16＞ |
| 71 | 横浜にIR、カジノ反対です。横浜市の現状について「少子高齢化で財政の減少」とのことで、IR、カジノの理由になっているようですが、IR・カジノ計画で表にでてくるまでは、それが大変だという話はきいていません。 | 参考 | |
| 72 | 横浜市の財政は、IRカジノがなければ近い将来成り立たなくなるとのことですが本当でしょうか？それは、現市長率いる市政の手腕の問題なのではないですか。 | 参考 | |
| 73 | IR誘致は、反対です。人口減少による税収減は、横浜だけの問題ではありません。港があり、緑も残り文化都市の横浜です。 | 参考 | |
| 74 | 大企業に役割を発揮していただき、地場産業や地元商店、中小企業、小規模事業者への支援を強めることこそ、市の経済や雇用を強化することになるはずで。横浜市のIR計画には反対です。 | 参考 | |
| 75 | IR以外での「将来の横浜市の課題解決」のために検討した案件を具体的に説明してほしい。又、IRに決定した理由を具体的に（「総合的に検討した結果等」の抽象的な説明ではなく）に説明してほしい。 | 参考 | |
| 76 | カジノ自体大反対、パチンコも問題と考えておりIRに結びつける姑息な考え方は、現政権と同じ。市財政が苦しいからと云うなら市財政そのものを見直すべき。 | 参考 | |
| 77 | あなたはこれを作ることで、横浜が財政的に豊かになると言う。嘘ですよ。 | 参考 | |
| 78 | カジノを横浜に作ることは、反対です。人とお金を集める方法は、幾らでもあると思うし、横浜の印象、景観を悪くします。 | 参考 | |
| 79 | 財政のために、カジノを作るそうですが、横浜市は、昔から、税金が高いと云われて来ました。私達は、どの様に使われ、その用途不明です。にも、かかわらず、更に、財政のために、カジノで、横浜を潤わすとは、私達は、望んでません。 | 参考 | |
| 80 | 少子化による急速な人口減少と超高齢化という危機にある日本、横浜、その解決策としてIRというのはおかしな事です。安全・安心の市民生活を守り、新たな成長を創る「IR」という都市戦略を持たなければ生き残れない時代と言っている方がいますが。 | 参考 | |
| 81 | IR計画そのものに強く反対します。財政状況が厳しいことから、IRの実現が目指されていますが、税収を増やしていく方法は1つではないのにもかかわらず、財政が厳しいからIR実現を目指すというのは話が飛躍していて、論理性を欠きます。なぜIRでないといけないのでしょうか。IR以外の税収を増やす方法について、しっかり検討するべきです。 | 参考 | |
| 82 | もっと地道に、横浜らしい経済のあり方を追究していくのが、今後の在り様だと確信します。 | 参考 | |
| 83 | 神戸市はIRではなくバイオや生命科学を集積して発展してきている。 | 参考 | |
| 84 | 私は横浜のIR（カジノ含む）の可否の協議の仕方に問題があると捉えています。そもそもなぜ横浜市にIRを誘致しようと市政が決めたのか、経緯が不透明です。『広報よこはま』2019年12月発刊特別号には、横浜市の将来の課題として社会保障費の増加と市税収入の減少への対応を挙げています。もしIRが財政収支の改善を目的とした手段であるならば、他にどのような手段が案として挙げられて、どういった判断基準と議論の過程をもってIRを市政が選んだのか、市民が納得するよう説明すべきだと思います。 | 参考 | |
| 85 | 横浜市にカジノはいらない。住民の声を聞け。カジノ収益は水ものだ。そんなものに財政を頼るのはおかしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 86 | 税収の不足を補うには、他に方法はいくらでもあるはずですが。まずは支出の精査がもっと必要でしょう。結構無駄遣いがあるのでは。さらには個人、企業問わず所得に応じて税の徴収を考える必要もあるでしょう。大企業を優遇するなど以ての外です。博打のあぶく銭など当てにしていると財政がとんでもないことになるのでは。横浜市が倒産します。 | 参考 | 本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。〈方向性P.16〉 |
| 87 | 横浜は、大変な危機に直面している。IRについて「白紙」を掲げていた市長が、突然「誘致」を表明したからである。広報よこはまの特別号（2019年12月発行）で市長は、「少子・高齢化や人口減少など、厳しい環境の中にあっても、市民の皆様の豊で安心な暮らしをしっかりと維持していくための方策の一つがIRであると考えています。」と述べている。本当にそうだろうか。 | 参考 | |
| 88 | 私は横浜のIR（カジノ含む）の可否の協議の仕方に問題があると捉えています。そもそもなぜ横浜市にIRを誘致しようと市政が決めたのか、経緯が不透明です。『広報よこはま』2019年12月発行特別号には、横浜市の将来の課題として社会保障費の増加と市税収入の減少への対応を挙げています。もしIRが財政収支の改善を目的とした手段であるならば、他にどのような手段が案として挙げられて、どういった判断基準と議論の過程をもってIRを市政を選んだのか、市民が納得するよう説明すべきだと思います。 | 参考 | |
| 89 | 横浜市の税収はもっと違ったやり方で増やす事を考えましょう！ | 参考 | |
| 90 | 横浜市はIR事業計画の目的で将来の財政が厳しいことをあげています。多くの識者が賭博で健全な財政維持はできないと！私も同感です。市長は横浜カジノ誘致を撤回し、市民が憩い、文化の薫る地域とすることを、強く、強く要求します | 参考 | |
| 91 | 横浜はいろいろ伸ばしていける産業があるはずですが。それを見つけていくのが、今後の方向として大事になってくるはずですが。未来をにう子どもたちにほこれる横浜をつくりあげていきたいものです。 | 参考 | |
| 92 | 横浜IRは、カジノが必要とのことですが、カジノは博奕です。横浜市がいくら財政的に今後厳しくなるとはいえ、賭博で収入を得るといふことは、子供たちに示しが付きません。横浜IRという博奕ではなく、誰もが、納得のできる、そして子供にも誇れる政策を作るための知恵を集めて少子高齢社会を乗り切るべきです。少子高齢社会は、横浜だけの問題ではありません。他都市では、カジノに頼らないことを選択しています。 | 参考 | |
| 93 | 人口が減少すれば税収が少なくなるのは当然。少なくなった財源を市民のためにどう使うか考えるのが議員の皆様、少ない年りの予算を組めば良いのではないのでしょうか。国際港横浜を、「バクチ」で潤う港町にははいけません。「後悔先に立たず」です。『カジノ絶対反対』 | 参考 | |
| 94 | 市全体の収入をまともな働き方を通して、UPすべき！ | 参考 | |
| 95 | 横浜の現状分析で2019年と2065年の人口構成を比較しているが、人口減少は日本全体の問題であり横浜市だけが抱えている訳ではない。横浜市の人口減少を食い止める方策は種々ある筈であり、人口が減るからカジノで税収を稼ぐといった一足飛びの判断は絶対に認められない。他都市に比べ法人企業数、法人税収が少ないことと、観光客の宿泊数が少ないこともカジノ誘致の理由に挙げているが、これまで行政が努力を怠って来た結果を真摯に反省し、企業誘致のための施策、今ある観光資源を100%生かした宿泊観光客の増加策を市長以下全部局で総力を挙げて取り組むことが先決である。 | 参考 | |
| 96 | カジノによる税収でもプラスになるという事自体カジノです。 | 参考 | |
| 97 | カジノ誘致は反対です。横浜市の財政を不健全な「ギャンブル依存症」にははいけません。 | 参考 | |
| 98 | 横浜市は“安定的財政を築くため”と説明しますがナンセンスです！！全国でも政令指定都市の中で川崎につぐ第2位の財政力を持っている横浜市です。 | 参考 | |
| 99 | もし、財政不足であれば、（人間をダメにするカジノ以外の施設）何か他の手段を様々…試めてみたら…？ | 参考 | |
| 100 | カジノは絶対反対。戦略的な企業誘致努力がまずやるべき税収確保策の第一でしょう。 | 参考 | |
| 101 | 横浜市長曰く、財政の補填にわからなくもない。カジノを財源の一つとして活用すること自体は悪い案ではないと思う。「IR」とか「統合型リゾート」という言葉はやめてカジノに頼りすぎない財政運営を構築することも必要と思う。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 102 | カジノは絶対反対。戦略的な企業誘致努力がまずやるべき税収確保策の第一でしょう。 | 参考 | <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。〈方向性P.16〉</p> |
| 103 | もし、財政不足であれば、何か他の手段を様々…試めてみたら…？ | 参考 | |
| 104 | 現在の市政運営も充分良好と理解しています。☆税収＝横浜市民（日本）国民が負けた結果です。 | 参考 | |
| 105 | 税収確保のためにIRを誘致するとしているが、カジノぬきのIRは成り立たないもの。税がたりなければ、使い方こそ検討すべきだ。カジノは絶対反対。 | 参考 | |
| 106 | こんなあてのない事になぜ、賭けるのでしょうか。 | 参考 | |
| 107 | 横浜IRの目玉は、カジノでしょう。賛成しかねます。市長にはIRとは別の方法で横浜市発展を考えていただきたい。 | 参考 | |
| 108 | 絶対反対。手続の中止を要求する。誘致理由が、少子高齢化による税収入減というが、根拠があいまい抽象的、市の財政は賭博に頼らねばならない現状にはない。 | 参考 | |
| 109 | 市長も職員も自らの業務を徹底的に見直して下さい。 | 参考 | |
| 110 | 市政がギャンブルに頼ってはいけません。ぜひともカジノは廃止で再検討下さい。 | 参考 | |
| 111 | 横浜市の財政は、やがてくる人口の減少とともに、逼迫していくと強く認識する市長は、その解決の手だてはただ一つ、IR（統合型リゾート）だけとした。果たして解決の選択肢はIRだけだったろうか。 | 参考 | |
| 112 | 横浜市の財政を解決する手段になるとは思えません。 | 参考 | |
| 113 | 素案は、将来横浜は人口が減少し、市民税収入も減少が予想されるのでその解決策として、カジノ・IRの導入が必要だと強調しています。しかし、横浜市は、毎年2回行っている投資家説明会で横浜市の財政状況は都道府県、政令都市全体の中でも非常に安定した状況であることを強調しているのです。さらにカジノを誘致するのは全国の1718市町村のうち、3か所の自治体だけです。この3か所だけが人口減少に伴う税収の減少を克服できて、残りの1715市町村はこれから成り立たなくなるとも言うのでしょうか。 | 参考 | |
| 114 | 市の財政が厳しいとのことですが、カジノからの収入が歳入の多くを占めるような算段をなさっていることにも危機感を感じます。歳入の比率が多いということは、カジノ頼みの街になるとということです。カジノが倒れば一緒に衰退するような、リスクの高い街にしないでください。 | 参考 | |
| 115 | カジノがなければ成り立たないような施設も不要です。カジノ誘致で財政の健全化ありません。 | 参考 | |
| 116 | 市長が根拠とする税収不足のデータは都合にいい数字を並べているだけではないかとの不信感が募ります。 | 参考 | |
| 117 | もっと健全な経済活動や市民の喜ぶ施設を設置するなど観光に力を入れ、横浜の経済を発展させて横浜市の財政を豊にすべきであると考えており、カジノ設置には反対です。 | 参考 | |
| 118 | 市長には、たとえ厳しくともカジノ以外のより健全な方法での市運営を期待したい。 | 参考 | |
| 119 | 横浜市の財政が将来より厳しくなるとしても、財源を横浜IRに求めることには反対です。IRの収益の殆どは海外事業者が運営するカジノにあることは明らかです。市民の意見を広く求め、IR以外の解決策を模索しましょう。 | 参考 | |
| 120 | 横浜市はシンガポールをモデルにしているが日本には日本の文化、歴史、国民性等があり決して馴染まず対象にする考えは賛成できない。このまま実現すれば決して良い方向にはいかないと一市民として危惧しています。税収を補うための方法として安易な政策（カジノ）に走ることは止めもっと健全な政策を生み出すことを考えるべきである。健全な政策は官民が一体となり取り組む、例えば市民からの公募もその一つと思う。高感度の良い横浜を更に高めるためにもカジノ無しの政策実現を希望します。 | 参考 | |
| 121 | まずは節減が第一である事で強く反論し、IR施設建設の弊害を避けるべく、この計画の中止願うものであります。 | 参考 | |
| 122 | 一部に利益を落とすことより町全体に落とすことのできる魅力ある町づくりをし、観光客、優良海外企業の誘致に取り組みが必要 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 123 | 物事を元から考えてみることにすると、基本プランはI R計画は税収の不足を理由としている。税収の不足は法人税を取らずに誘致に税金を使うという政治的原因によるものである。 | 参考 | <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、I Rはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性 P.16＞</p> |
| 124 | 「少子化による財源不足」の件だが、少子化自体は突然降って湧いたものではなく、以前からずっと指摘されていたことであって、それをカジノ誘致にこじつけて強調するのはかなり無理がある。少子化を理由とするならば全ての自治体にカジノが必要なわけで、国内3つの施設で足りるわけがない。横浜を愛する一市民として、もっと堅実で賢明なる市政を強く望む横浜にカジノはいらない | 参考 | |
| 125 | 人が集まれば、税収が上がる安易な考えで、実施されては困る。今迄も、何とか市政の運営が出来ていたのだから、此れからも遂行出来ると考えられる。間違った街を作ってしまったら、気付いて元に戻すことも容易ではない。仮設住宅を作るのではない。他の都市と比較して税収が少ない事を誘致の理由に挙げているが、横浜市よりも税収の多い所は総てI Rが在るのか？ | 参考 | |
| 126 | 横浜I Rに賛成。財政逼迫の今、税収を合法的にアップできる手段は、市民にとっても魅力的です。 | 参考 | |
| 127 | 税収をまかなう手段として横浜I Rをつくること、賛成です。 | 参考 | |
| 128 | 納税者にとって市の税収アップは大切なことです。横浜I Rは魅力ある税収アップ手段だと思います。横浜I Rの推進のために必要な手続きはまだたくさんあると思いますが、淡々と、着実に、進めていってください。 | 参考 | |
| 129 | 社会の中で頑張って正当な代価としての金銭を得ることは悪いことなのでしょうか。市長ならごくまっとうなこのようなことに基点をおいた地域戦略を考えることです。 | 参考 | |
| 130 | 財源問題については、抜本的な費用削減や必要最小限の住民税のアップ等市民・議会等の活発な意見をお願いしたい。良く理解できる説明を望む。 | 参考 | |
| 131 | 社会の中で頑張って正当な代価としての金銭を得ることは悪いことなのでしょうか。市長ならごくまっとうなこのようなことに基点をおいた地域戦略を考えることです。 | 参考 | |
| 132 | 社会の中で頑張って正当な代価としての金銭を得ることは悪いことなのでしょうか。市長ならごくまっとうなこのようなことに基点をおいた地域戦略を考えることです。 | 参考 | |
| 133 | 横浜は、歴史・文化に溢れた街だと思います。この歴史・文化を今後も発展させるのに、「カジノは不要」だと思っています。国内の人口減や過疎化が進んでいますが、これを跳ね返す工夫をして集客に成功している施設の事例が国内にたくさんあるではないですか？そういう工夫を紐解いて、海外の方がどんなところに魅かれるのかを考え、横浜I Rを検討することが必要なのではないでしょうか？ | 参考 | |
| 134 | カジノは絶対反対です。なぜカジノを誘致するのか理解できません。カジノ以外に収入を得る方法もあればはずです。 | 参考 | |
| 135 | 横浜らしい方向性で心豊かに暮らせる方法はないのでしょうか？市長の様々な経験値を生かせば、今までにない新たな取り組み（I Rではないもの）も可能だと思います！ | 参考 | |
| 136 | 今後、国全体で少子化・高齢化・税収の縮小など進むのは間違い無いとして、その対策がI Rとは情けない。財政縮小は止むを得ない中でうまく回し、いかに縮小均衡を図り、国内の真つ当な産業を振興するか、と言った発想をしていただきたい。 | 参考 | |
| 137 | 私たち市民の多くは額に汗して働く労働者です。そうした市民の労働によって成立する財政収入基盤をもつべきだと考えます。 | 参考 | |
| 138 | 税収が不足するとの理由から地方自治体がカジノを推進するのは、いかにそれが少子高齢対策であっても役人の矜持が江戸時代より劣ったからかと誤解されかねない。 | 参考 | |
| 139 | 「I Rでしか将来横浜が潤う可能性はない」という感覚は大間違いであったことは明白です。外国人の訪日に頼りきる経済が、なんと脆弱なアイディアだったことか。 | 参考 | |
| 140 | カジノなしで収益があがるぶんで財政を考えていただきたいです。市長にも、カジノはやらないと再考いただきたいです。横浜には歴史も文化もあります。カジノがなくとも様々な工夫ができるはずですよ。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 141 | 横浜IRに期待しています。横浜市は市民税等の収入が落ち込みだけでなく、ふるさと納税による税収の流出もあります。少しでも税収確保ができるように、横浜IRを誘致してください。 | 参考 | <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性P.16＞</p> |
| 142 | IRについての小生の端的なコメントは、外国資本（しかも、ラスベガスのカジノ産業の）あてにして、市の財政の向上を図るとするのは「なさけない」です。 | 参考 | |
| 143 | そもそも財政難になるかどうかも分からぬのに。 | 参考 | |
| 144 | 市税増収策を基本とした今回の素案であるが、率直に言って今回も「従来路線の箱もの行政」と言わざるを得ない。素案冒頭に示される高い理想の「持続可能な横浜市民社会の創成」は、今回の横浜IR事業を実現することで横浜市民の成熟した生活推進になりえるのだろうか。地方創生が叫ばれるなか東京に隣接する横浜市が今以上に観光客の集客施策に多大な市税を投入することも疑問を拭えない。横浜市の強みは大都市に住む375万人のマンパワーである。このマンパワーを活かした増税策を市行政として考えていただきたい。 | 参考 | |
| 145 | 横浜IRに賛成です。ぜひ誘致して税収確保に役立ててほしいです。完成後も、IR事業者にはぜひ、どんどん内容を更新してもらうようにして、「一度行ったから満足」ではなく「何度も行ってみたいくなる場所」にして、税収を未長く確保できるようにしてほしいです。 | 参考 | |
| 146 | 誰がカジノにいけますか。ほとんどの市民が望まないカジノはやめましょう。カジノで税収はいくらになりますか。市では、増収は1200億円位だと言っています。この程度のお金で何ができますか？市長は、増税分を何に使うかはっきり述べていません。横浜市の将来のためにお金をどう使うか、きちんと述べてください。私の望みは、次のことに税金を使って欲しいということです。大学までの学費を負担すること（市民に対して）70歳以上の市民の医療費と交通費の負担1200億円程度の増収では、上の2つことは実現できないことは明らかですよね。と言うことは、抜本的な市政の改革をやらないと、上の2つは実現できないよね。だから、政治家の皆さんに知恵を絞ってもらって、これらを実現するための方法を模索してもらいたいです。 | 参考 | |
| 147 | IR・カジノでなく、人財に投資すべき。これ以上、一円たりとも、IR、カジノ誘致に予算を費やしてはならない。横浜では、税収のうち、法人市民税より個人市民税の方が高い割合を占めている。就業していない市民、就業を諦めざるを得ない市民の支援、一人一人の市民がより高い収入を将来に渡って得られるような、横浜の実情に即した新しい施策を考え実行していく方がはるかに効果が高い。横浜だからできる、横浜にしかできない、他都市には真似のできない経済成長のあり方を指すのなら、IRやカジノのように、誰も喜ばないような施策に費やすリソースは、ない。横浜のより良い未来のために、IR、カジノからは撤退。 | 参考 | |
| 148 | 横浜IRはしっかり推進すべき。将来の財源確保のために、着実に横浜IRの誘致を推進してほしい。 | 参考 | |
| 149 | 横浜IRは誘致してほしい。今のままでは、素晴らしい代案がない限り、増税がなければきっと未来の横浜市の財源は快方に向かわない。活用できる土地があって、その場所でIRを開業したい業者が複数いるなら、財源確保のためにぜひ誘致していくべきだ。 | 参考 | |
| 150 | 横浜IRは誘致してほしい。財源確保のために必要だ。 | 参考 | |
| 151 | カジノ建設に反対します。横浜には、他にはない良い観光資源がたくさんあります。それらを、創意工夫で（多くの市民からのアイデアも募って）より魅力的なものにしていくことができるはずで。今は、特に工夫もないように思われます。横浜にカジノは要りません。 | 参考 | |
| 152 | これ以上、一円たりとも、IR、カジノ誘致に予算を費やしてはならない。他のどの都市でもやっているような手法施策でなく、横浜固有の強みを活かした経済政策で、新芽を吹いている分野はいくらでもある。横浜だからできる、横浜にしかできない、他都市には真似のできない経済成長のあり方を指すのなら、IRやカジノのように、誰も喜ばないような施策に費やすリソースは、ない。横浜のより良い未来のために、IR、カジノからは撤退。 | 参考 | |
| 153 | 横浜IRに期待している。市民税等の収入が落ち込み、社会保障費の増加、ふるさと納税による税収の流出など、横浜市が財政難なことはよくわかる。少しでも税収確保ができるように、あらゆる政策を貪欲に進めることが重要だ。横浜IRを誘致して、少しでも税収を確保してほしいし、雇用の増や地域経済の活性化も実現して、横浜IRを歯車にして横浜を元気にしてほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 154 | 横浜IRの誘致に賛成です。横浜市の財政難は、パブリックコメントの資料からもよく理解できましたし、横浜市のホームページにある他の情報も見て、納得しました。納税者として頭に浮かんだ未来は、増税か、社会保障費等の削減か、横浜市が稼げる仕組みの提案ができるか、です。増税も社会保障の縮減も、是非が問われるにせよ、実行は簡単です。でも、そんな未来を子どもたちに残してしまったら、未来の横浜は住むのに選ばれない都市になってしまうと思います。 | 参考 | 本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 |
| 155 | 横浜IRの推進に賛成です。税収が減る暗い未来は困りますし、だからといって増税にも賛成できかねる気持ちがあります。 | 参考 | あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 |
| 156 | 市庁舎移転も横浜IRも、横浜に必要なことだと思います。これからも、横浜市の財政を良くすること、将来の横浜市を良くするために、政策をどんどん推し進めてほしいです。 | 参考 | 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性P.16＞ |
| 157 | 横浜市長は財政の健全化のためIR事業の一環として賭博場を開設したいとの意向だと伺いましたが、賭博場の開設が唯一の解決法なのでしょうか。IR事業そのものは良いと思います。横浜ならではのみなと横浜を核に市民が自由に参画できる明るい街造りをみんなの英知を集めた形での企画をお願いしたいと思います。 | 参考 | |
| 158 | 財政健全化はプロの分析の力を借りて、もっと知恵を絞っていただきたい。 | 参考 | |
| 159 | 横浜市の超高齢化社会を鑑み、その財源確保にカジノを考えたと思います。しかし、安易に流されない矜持を持つことが肝要。財源確保の問題があるのは、十分理解できる。その場合は、原点に戻り、行財政改革を徹底的にやるべきです。まず、行政財産の見直し、不要不急の財産は処分（e×m市が買戻した土地開発公社用地8,000億円、行政財産から普通財産に変更、行政施設の効率化による処分、旧庁舎跡地の有効利用など）、赤字の第三セクターの見直し、行政のスリム化等やることはいくらでもあるはず。カジノありきのやり方ではなく、市の現状を市民に皆さんに公開し、問題点を整理分析し、どのような形で今後の横浜を？考えていくかを検討すべきです。もうかるからカジノをやるとするのは自治体の長として道徳観がない、実に短絡的だと言わざるをえません。カジノは絶対に反対です。カジノは反道徳的であり、横浜の文化にはそぐわない。 | 参考 | |
| 160 | もっと健全な産業を発展させ、起こすべきである。製造業等の新規建設を難しくしている（工場立地法等）がこのような健全な産業を振興をすべきである。更にIT産業等の先進的な事業、産業の振興、誘致をすべきである。横浜市はもっと頭を使い、努力し、能力を改善すべきである。 | 参考 | |
| 161 | もし作ったら、横浜市から市民が逃げ出し、市の財政は苦しくなると考えられる。 | 参考 | |
| 162 | カジノに頼らず、健全に成長・発展する横浜をめざしてほしいと思います。 | 参考 | |
| 163 | カジノについての意見はさまざまありますが、私自身には関係ないような気がして、あまりピンときません。市の収入が持続的に増えるはありがたいことです。 | 参考 | |
| 164 | 横浜IR計画に反対します中期4か年計画を吟味する、に記されていますが、SDGsとパリ協定脱炭素にはマッチしません。世界中から石油資源を使った航空機や船で観光客を集客する自体、地球温暖化などの環境問題に悪影響を及ぼします。「環境を軸に経済や文化芸術による新たな賑わいを創出し続ける都市を目指す」とありますが、環境が軸にはなっていないでしょう。都市活力を維持していくための課題解決に「日本型IR」以外の手法をどれほど考えてきましたか？他の選択肢を知りたいです。日本型IRによらない施策20ページ世界から人々を惹きつける街の資源、これで十分じゃないでしょうかIRの他にどのような施設・施策を比較検討して、それらが排除された経緯がわかる資料をぜひ見たいです。 | 参考 | |
| 165 | 横浜IR（統合型リゾート）には反対です。将来の横浜市民のために財政上この方法しかないと市長はおっしゃいますが、それは違うと思います。 | 参考 | |
| 166 | 賛成。横浜の人口は減り始めています。居住人口を増やしても、他の市町村の人口が減るばかり。それならば、IRを導入し観光で収入を増やした方がいいと思います。ぜひ、横浜にIRを！ | 参考 | |
| 167 | 市長・市役所は「横浜市は少子・高齢化で財政的に困難になり唯一の打開策（税収増）はカジノだ」と宣伝しているが、市長・市役所の任務は、市民のために安全・生活・教育・医療・介護・文化などを維持・向上させることである。そのための税収確保の経済政策を、カジノ以外に真剣に検討し、市民に公表し市民の意見を確認しながら進めるべき。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 168 | 是非、素晴らしいカジノIRが諸手続きをクリアして実現、既存の競合IRに伍して、内外からの訪問客を呼び込んで税収不足を補い、財政健全化に役立つことを望んでおります。 | 参考 | <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性P.16＞</p> |
| 169 | 将来の財源を確保するには、横浜IRは誘致できたほうがいいと思います。試算どおりの増収効果等が得られるよう、これからの手続やIRの運営をがんばってください。 | 参考 | |
| 170 | IR計画に反対します。税収の落ち込みの問題ならば、住民が多い横浜ではふるさと納税で減っていることに対して対策をとるべきです。それをカジノで補う発想はいびつだと思います。 | 参考 | |
| 171 | IRの準備のために多大な予算措置を講じましたが、その予算を、もっと教育など子供達の将来のために使ってください。環境保護のために使ってください。子供達が大きくなったときに、アジアには住めなくなっているかもしれないという環境問題に目を向けてください。 | 参考 | |
| 172 | カジノ誘致の方向を廃案としてください。カジノ誘致について説明されている「横浜IR実現への取組の背景」の分析から「実施」「効果」について、根本的な方向間違いがあります。「生産年齢人口の減少に伴う、市税収入の減少」に対して「高齢化社会等による医療・介護などの扶助費等の増加」「公共施設の老朽化に伴う保全・改修費の増加」などで税収確保が切実であることを背景として、横浜IRの建設が有効としています。ここには、今から将来に渡る継続的課題を目先の事業で切り抜けようとする根本的な誤りがあります。少子高齢化、公共施設の整備は、夙に予測され、必ず直面する課題であり、これに対応するには、横浜市の街づくりを根本から問い直すべきものです。求められているのは、SDCs（持続可能な開発目標）にも連動した街づくり、そのためには、保育所の整備充実など女性が活躍しやすい制度づくりをすること、子供の教育に充実した施策を行い、格差なく将来の担い手を育むこと、図書館の充実、公園の整備など市民の居り場に配慮することによって、豊かなコミュニティを形成することです。そして、この方向に則して地域経済の発展を図るべきです。射幸心を煽る賭博事業のカジノ誘致で地域経済の発展を誘導するのは本末転倒です。財源措置については、長期的に地方税制を検討し、財政支出を見直すオーソドックスな手法を取るべきです。賭博事業及びそれによって呼び込んだ収益に課税する安易な税収を当てにするべきではありません。オーソドックスな手法では財源が不足する場合は、優先順位を考慮しつつ辛抱すること、そして、お金だけではない、市民参加による街づくりをするべきです。 | 参考 | |
| 173 | 市は法人税収入が少ないと言っていますが、東京に隣接しているのですから当然のことです。横浜市民は東京のようになりたいとは思っていません。子育て支援策を充実して若い世代を呼び込み、高齢社会と言っても元気な高齢者は多いのですからその能力を活用するなど、身の丈に合ったまちづくり政策が大切です。大規模開発やイベントに経済効果を期待する政策はやめるべきです。 | 参考 | |
| 174 | 財政再建にはもっと建設的、生産的な仕事で再建するべきです。 | 参考 | |
| 175 | 市が財政難なのは承知しています。しかし、これまでの対策がそもそも不十分です。今できることをせずに、IRが必要だと言われても納得ができません。 | 参考 | |
| 176 | IR誘致の理由は将来の財政確保と言いますが、他の施策もあるのですよね。そのように説明されていますよね。であるならば、市が調査をしないのでわかりませんが、少なくとも新聞各紙が独自に行った調査では、市民の多数が反対と結果が出ているIR誘致はせめて他施策を実行してからでも良いのではないのでしょうか。そして、市民のニーズ調査を行うべきではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 177 | 少子高齢化を見越して将来の財政を考えるとありますが、それこそ町づくりの専門家の意見を聞いて、賭博に頼らなくても良い方向を探っていくことこそ、市がすべきことだと思います。 | 参考 | |
| 178 | 財政がきびしければ、もっとまともな方法で試行錯誤して行きたいです。 | 参考 | |
| 179 | もっと地に足をつけた、横浜市の産業の育成が大事です。 | 参考 | |
| 180 | 市の財政への寄与は別な方策で実現すべきだ・・・まちづくりは金の額だけではなく、発展の方向性を市民と造り上げた上で方法論を探り、市民に提示し決定するもので、その過程を含め市民が納得して進めるべきだ。 | 参考 | |
| 181 | 地方自治体が、財政上・地域開発目的でも安易に取り入れるべきものではありません。安易にカジノを導入することは、カジノや大規模施設に頼る脆弱な都市を生むこととなります。 | 参考 | |
| 182 | 横浜市の市税は全国でトップクラスとかですがほんとでしょうか | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 183 | 市長の説明は不十分で市民の理解を十分に得られていません。IR誘致の他に最優先ですべきことがあると思います。 | 参考 | 本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性P.16＞ |
| 184 | IR取り組みの背景である、市の抱える現在そして近い将来の課題については同感・理解できます。市の財政課題を解決するものとして、「IR実現」のみ立案・提案されているが、課題解決のための他の解決策として検討された案の種類と、その弱点と考えた点を挙げてほしい。市が持続的成長をすることにより市民が安心・安全な安定的生計をするために、経済の活性化、雇用の増加、市税のさらなる増収、市民サービスの充実、魅力的な都市づくり、観光客の増加、消費の増大を述べておられます。それぞれにつき、もっと詰めた具体的実行施策を提示してくれるよう望みます。素案では「カジノ」を日本人が利用するには制限が多く、一日の使用金額も制限されているようであるので、カジノ利用者は、海外からの訪問者を対象に考えていると上取れるようになっている。日本の近くにある海外のカジノ、そして国内に設置される他のカジノに比べ、横浜の者が魅力あるものになるか？素案では不明。 | 参考 | |
| 185 | 横浜市はそんなに貧乏なのですか？将来の税収の確保を考えるなら、子育て支援、若者の就労支援、地元商店街の活性化、等住民の生活に密着した政策を充実させることで、住みよい横浜をアピールし、若い世代の転入を促す事が大事だと思います。横浜は市長の都合だけで存在しているではありません。300万人を超える多くの市民のためにあるのです。お間違いのないように。 | 参考 | |
| 186 | カジノ以前に、その他のありとあらゆる手を尽くすべきでしょう。 | 参考 | |
| 187 | 少子高齢化は、日本全体が抱えている問題で、横浜市だけの問題ではありません。 | 参考 | |
| 188 | 法人市民税、上場企業数の比較対象（p.6）横浜市の抱える「現状と課題」において、法人市民税、上場企業数を東京23区と比較して「14分の1」とか「17分の1」に留まっていると論じ、税収が少ないことの危機感を醸し出している。しかし、横浜市と東京23区とは、日本国内における都市の性格や立地条件が異なるものであり、法人市民税や上場企業数の数値のみをもって比較することはナンセンスである。 | 参考 | |
| 189 | 横浜IR誘致やカジノ設置の必然性が不明「はじめに」や「横浜IR実現への取組の背景」などにおいて、横浜市の現状と課題が述べられている。「人口減少・高齢化に伴う市税収入の減少」については、紛れもない事実であり、今後、確実に、かつ一層深刻度を増していく問題である。しかしながら、この方向性（素案）では、その解決策として、即、「カジノを併設した横浜IR」が導かれている。「横浜IRが、将来の横浜市にとって必要不可欠なもの」として方向性をまとめた資料ならば、そのような方向性に至った必然性を含めて論じる必要がある。現在の横浜市の抱える課題への解決策としては、横浜IRの他にも種々考えられるであろうし、市長や横浜市の関係部局の職員は、考えられる限りの解決策を洗い出し、それらを比較検討し、その結果を市民に示さなければならない立場にある。方向性（素案）では、まず冒頭にそれを示し、横浜IR誘致やカジノ設置の必然性を横浜市民に理解させるべきであるが、この報告書にはそれが欠落している。 | 参考 | |
| 190 | 市の増収を図るのは、子育て支援や教育、福祉、医療を充実し、市民の生活を向上させる施策を通じて人口流出を防ぎ、税収を増やすことが真つ当な道だと考えます。また、サステイナブルビジネスを推進する産業政策を打ち出し、国内外のサステイナブルビジネス企業の集積拠点となれば、税収と観光収入も増加します。 | 参考 | |
| 191 | カジノのない事業を考えてください。 | 参考 | |
| 192 | 横浜市の財源を心配しての政策ですが、絶対に良くなるのでしょうか？一部には確かに財源が増えるかも知れませんが、環境は悪くなり借金苦の人も絶対に増加します。韓国の例も有ります。何故カジノなのでしょう？財源を増やす方法をもっと考えましょうよ。カジノに頼らずもっと魅力ある横浜にしたいし、して欲しいです。 | 参考 | |
| 193 | IR以外のやり方があるはずです。 | 参考 | |
| 194 | IR計画には反対です！とても大きな構想だとも思いますが、この世の中で何が一番大切かを考えたらカジノを含むリゾート計画は不要だと思います。今でも十分に、観光都市の役割も果たしていると思いますし財政も優秀だと思います。今ある良さを活かした計画は立てられないのでしょうか？もっと市民に寄り添ってください。大きく税金を使って事業をすれば大きな利益が得られる時代ではもうないのです。市民が少しずつ気づいて動き始めていることに目を向けてください。カジノは要らないです。是非、白紙に戻してください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 195 | 横浜市での地域の光熱費推定6,000億円(2016年)がほぼ地域外に流出、省エネ対策やエネルギーの消費環境を見直し、自然エネルギーの有効活用、新たに電気会社設立などにより3,000億円まで緊縮できる。対策減額した分で地域財政を改善できるのではないかと。 | 参考 | <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。<方向性P.16></p> |
| 196 | 横浜市において将来の税収の為にIRを民間資本で作らせる理由は分かりました。また開港以来、新しい文化の入口であった横浜の歴史的イメージと、都心からのアクセスに優位点があり、横浜はIR事業に適しているという考え方も分かりました。つまり、横浜市には将来的財源が必要なので横浜の特性を活かした新たな「産業」をとということ。だからこそ疑問点と理解できない点があります。キラーコンテンツに「カジノ」以外のコンテンツを調査検討したプロセスがあったのか否か。その点が見えないので単にIR法便乗と受け取れ、事業に独自性を感じません。 | 参考 | |
| 197 | 税収が減少するのは、横浜市に魅力が無いからではないでしょうか、魅力ある街づくりをし、人口増加、企業誘致など行い税収UPをしていただきたい。 | 参考 | |
| 198 | 横浜IRの方向性素案に以下の理由で反対します。カジノに依存して運営されるIRについての横浜市としての方向性が示されていません。国が決めているから、事業者がこう提案しているからということ根拠にしているのでは市の方針にはなりません。 | 参考 | |
| 199 | カジノ依存症になった横浜市。今なら病は治すことができる。IRカジノから撤退すること、それが市がかかったギャンブル依存症治療のすべてだ。素案の無意味さを感じ、これを提案する市の姿勢に大いに怒りを持ち、意見を書いた。 | 参考 | |
| 200 | 市の収入を増やすのだという単純な計算や計画は経済の観点からもリスクが大きく、今後、市の財政問題は市民への十分な説明や議論をまず行う。 | 参考 | |
| 201 | 「地方自治体の増収効果※【参考】820億～1,200億円/年」としています。しかしIR事業者の試算が元のように、市自ら試算できない、すなわち武士の商法は危険です。仮にこの収入が無い場合の市民サービスはどの程度後退するか、例を明示して問い直すべきです。 | 参考 | |
| 202 | IR反対の理由は、他の市民からたくさん出ていると思いますが横浜市の財政がIRなしには成立たないとは到底思えません。もちろんIR推進に大反対です。 | 参考 | |
| 203 | IRの誘致には不安が伴い反対です。経済効果は他の方法で考えて欲しいと思います。 | 参考 | |
| 204 | 市は将来の豊かな都市を目指すには本当に財政難なのか、全ての施策を売った結果なのかが見えない。 | 参考 | |
| 205 | 横浜の財政で、住民税の比率が高く、法人税の比率が低いという。法人税率の適切性もあるが、横浜の場合、圧倒的に中小企業が多い。これらは横浜市の特徴だ。また、農地が多いのも横浜の特徴という。だとすれば、その特徴を生かすことを、第一に考えるべきではないか。上場企業、大企業優遇誘致ではなく、横浜の特徴を生かす施策が必要ではないか。 | 参考 | |
| 206 | 横浜の将来、そして持続的発展の為に、IRは必ず誘致すべきです。将来における市の歳入問題、一つ取っても、その歳入構造からも、第2の強大な“財政再生団体”になりかねない。国策として取り組むIRにどうして乗らない手があるのか。オール横浜で誘致を目指すべきです。 | 参考 | |
| 207 | 市民として、市民サービスの現状は確保してほしい。その為の財源が今後必要であればIRを実現させてほしい。 | 参考 | |
| 208 | 横浜市は他の都市と比較して収入における市民税の割合が高いので、高齢化社会が進む中、将来に向けた税収ダウンが、心配です。豊かな暮らしを続けていくためにもIRは一つの方策だと考えています。 | 参考 | |
| 209 | 高齢化社会になり現在と同規模以上の福祉サービス等を行うためIRの誘致は賛成です。更なる横浜市の発展と福祉サービスの充実を考えるとぜひ推進して欲しいと思います。カジノが悪との話がありますが、MICE施設やホテル、商業施設の面積がほとんどで横浜の発展には欠かせないものと考えます。 | 参考 | |
| 210 | 将来の子や孫にかゝる負担が少しでも軽減できるのであれば賛成です | 参考 | |
| 211 | カジノ反対！横浜はカジノが無くて素晴らしい街です。財源が苦しいなら他の事を考えて下さい！私も考えます。カジノで財源を得ようとするのは稚拙すぎます！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 212 | 私はIRカジノには反対します！歴史ある横浜にカジノはいりません 1度作ってしまったら後戻りはできないと思います カジノより知恵をだして他の方法で！！ステキな街に住みやすいヨコハマに | 参考 | 本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性 P.16＞ |
| 213 | 横浜市の現状は「少子高齢化で財政が減少」としています、少子高齢化は国の対策が不十分なことから全国的な問題です。そうした解決をIRカジノに求めるのは反対です。 | 参考 | |
| 214 | 少子高齢化や超高齢社会などの今後の社会情勢の変化による税収減は深刻だと考えます。子ども達の未来を守る社会、誰も置き去りにしない社会を作り、私たちが誇れる街・横浜を世界に発信していくために、IRは有効な方法だと思います。 | 参考 | |
| 215 | IR大賛成です。いかに横浜以外の国内外の人にお金をおとしてもらうか多くの人に横浜に住みたいと思ってもらえるにはひとつの選択肢だと思います。今、コロナでIRどころではないが、いつまでも続くわけではなく、経済も冷え込みっぱなしでは困る。過度の制限は人心、物、金、情報等の流れが遅くなり、損失ばかりがふくらむし、みんなが歩かなくなると動くのが、おっくうにさえなって悪循環、不健康になってくる。 | 参考 | IRには「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。 例えば、IR区域内の大規模なMICE施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。 先進事例である、シンガポールでは、感染症(SARS)等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞ |
| 216 | 新型コロナウイルスの影響で、観光客が減少し、横浜の街に活気がなくなってしまうように感じる。IRを作ることで新たな雇用が生まれ、今まで以上に「訪れてみたい横浜」というイメージに繋がると思う。 | 参考 | |
| 217 | インバウンドに依存した経済のリスクは今回のコロナ感染で明確です。市の見通しは甘すぎます。 | 参考 | |
| 218 | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う来日観光客数の減少など経済委縮が現実化している中、明るい起爆剤となる様、大いに期待しています | 参考 | |
| 219 | 賛成です。コロナ収束後の起爆剤になってほしいです。 | 参考 | |
| 220 | 全世界でコロナウィルスが拡がり景気の落ちこみが始まっている。この景気の下落は大きい。何年も影響がつづくと思われる。その中で一早く日本が、そして神奈川県、横浜市が立ち直る為にはIRの活用も大きな力となると考えられるので、早期の完成を目指すべきである。 | 参考 | |
| 221 | お先真暗で赤字が何十年も市民にかかるなんて…。市民によりそった政治を行うようお願いします。 | 参考 | |
| 222 | 観光に頼る経済政策でなく、地産地消で地域に必要なものを地域で製造できるよう構造転換を！これまでの常識が通用しないことが露呈したのだから、横浜IRは白紙撤回すべき！！ | 参考 | |
| 223 | コロナウィルスによって、苦しくなった経済をIRで活性化してください。 | 参考 | |
| 224 | コロナウィルスで落ち込んだインバウンドを復活させるためにはカジノIRが必要です | 参考 | |
| 225 | 新型コロナウイルスの影響で、観光客が減少し、横浜の街に活気がなくなってしまうように感じる。IRを作ることで新たな雇用が生まれ、今まで以上に「訪れてみたい横浜」というイメージに繋がると思う。 | 参考 | |
| 226 | IR誘致により、革新が起きると世界情勢から紐とくことが可能ですが、IR誘致反対 | 参考 | |
| 227 | カジノより子育て対策に力をいれて下さい。少子高齢化は横浜だけの問題ではない。箱物行政の時代は終わった。特効薬はない地道にやるしかない。もっと市民の声に耳をかたむけて下さい。 | 参考 | |
| 228 | カジノとは、賭事です。これにより市政が潤うことは、ぜったいにありません。 | 参考 | |
| 229 | カジノに反対します。観光に力を入れるのも良いですが今回のコロナでも判るようにマスク1つとっても中国に頼り医療関係者も困る状況です。横浜に合った産業を興し経済力を高める政策を出すべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 230 | 横浜市が誘致しようとしている“カジノを含むIR”に反対です。絶対やめて欲しいです。業者を選定していない今なら、やめることができるはずです。市長は経済効果を第一の目的にしています。今、お金がもうかればいいのですか？将来に悪影響を残すものは作ってはいけません。小さい孫を持つ者として、強く言いたいです。カジノに頼らない市政を工夫して下さい。そこに市長の力を注いで下さい。セールスを仕事にしていた市長ならできないことはないと思います。IRが楽しいアミューズメントだと宣伝しないで下さい。 | 参考 | IRには「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでになかった経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。 例えば、IR区域内の大規模なMICE施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性P.24〉 |
| 231 | 中国人がシンガポールやマカオに押しかけていた時代はもう終わりました。 | 参考 | |
| 232 | 新型コロナ騒動の中「現状を認識せよ！」「パンデミックからデフォルトへ」経済優先から健康と医療、人類優先システムへの見直しが求められている。IRカジノ構想している時でなく、新世代に向けた基本的考え方を提案します。1) . 感染症対策センター 2) . 麻薬対策センター 3) . 生命科学組織バンク創設 4) . 市大2病院は多目的後方支援施設（バイオ病室、老人ホーム） 5) . 病院災害船構想 西洋医学発祥の地、国際港横浜を背景とし、市の財政逼迫する中、オール神奈川での産産連携する運営システムを構築し、「横浜から世界」へ発信する機会です。「市民の為の政策ありき」であるべきです。 | 参考 | |
| 233 | 韓国の江原ランド、他衰退が著しい海外カジノの実態に目を向けるべき。 | 参考 | |
| 234 | インバウンド頼みは発展途上国の対策です。もっと足元を大切にすることをしてほしいと思います。 | 参考 | |
| 235 | 3月5日の市の目論見ではIR効果についてインバウンドを含むIRへの訪問者数2,000万～4,000万人/年（うち国内観光客割合：66～79%）4,500億～7,400億円/年IR区域内での消費額として一方2月のインバウンドの顧客の落ち込みは知っている通りでなく、景気の急速な減衰の中で消費額も激減することは間違いない。試算を修正しないで3月5日に発表する意味を教えてください。間違った情報で市民を混乱させたいのか？試算を修正した後の経済性を再度示してほしい。 | 参考 | |
| 236 | 確実に成功する事業とは思えません。負の遺産を横浜に作らないで欲しい。 | 参考 | |
| 237 | 市長は、既にカジノで儲けたいという「依存症」になってしまって、そこから抜け出せない病状が観られます。IRカジノはやめるべきです。横浜IR（カジノ）誘致に反対します。 | 参考 | |
| 238 | カジノを含む横浜IR誘致に反対します。経済効果が喧伝されていますが、そもそもカジノは博打であり、博打に依存するような経済は経済の名に値しません。そのような不健全な経済体制を是とする市長の方針は、横浜市政にとって百害あって一利なしと断じます。 | 参考 | |
| 239 | 安易にカジノの収入に頼らず、観光都市としての道があるはずです。横浜市として後の子供たちに自慢ができる施設を考えて行くわけではありませんか。 | 参考 | |
| 240 | 税金を観光に余りに頼るのは今回のコロナを見ても危険です。ましてカジノはまさに博打。やってみなければ本当にいくら税金が入るのか分かりません。 | 参考 | |
| 241 | 横浜IRについて、誘致に反対です。いくら、横浜が今後少子高齢化し、市の財政が苦しくなるからと言って、なにもカジノという賭博に頼って市政運営することは最悪の選択。 | 参考 | |
| 242 | 横浜がそんなお粗末なプランを考えてるなら、観光客も減る。 | 参考 | |
| 243 | カジノがなくても働きやすい環境が整えば税金が上がる。 | 参考 | |
| 244 | カジノ反対の気持ちに変わりありません。インバウンド頼みの財政はとても不安定です。観光客の好みや流行は移り変わりやすいです。 | 参考 | |
| 245 | 利益の不安定な施設を税収源として期待する自治体財政は、きわめて不健全と言わざるを得ません。従来通り、市県民税や法人市民税と言った比較的安定した税収を確保することが健全財政への王道と言えます。逆に、【IRの税収に頼った場合外的要素による増減が激しくパンデミック等の事態が再度起きた場合市の財政が破綻するおそれもある】のです。 | 参考 | |
| 246 | コロナ不況から立ち直るためにも、これまでよりもIR開発は横浜にとって、日本にとって不可欠なものとなったと思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 247 | 横浜IRの誘致に賛成。肅々と誘致に向けた手続きを進め、開業し、1日でも早く雇用効果や地域の活性化を叶えるのがいいと思う。新型コロナウイルスの対応はまだ始まったばかりだが、これを乗り越えた後は、失った時間を取り戻すかのように皆で景気をよくしていく必要がある。雇用も、働きに出るための支援も、皆が被った損害への補償も、横浜には必要になる。横浜IRの誘致は、これらに効果が期待できる。将来必要とされるに違いない。 | 参考 | IRには「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまででない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。 例えば、IR区域内の大規模なMICE施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。 先進事例である、シンガポールでは、感染症(SARS)等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性P.24〉 |
| 248 | IRへ反対意見です。業者が赤字になって横浜市と日本国に税など15%ずつの支払が、かならず支払うとは限らないのでは？そんな不安定な事に横浜の運命を預ける事はできません。つまり、世界ではカジノが飽和状態と聞きます。各国のカジノの売上の落ち込みが激しいとも聞きます。日本でのIRカジノの売り上げも落ち込むのではないのでしょうか？ | 参考 | |
| 249 | 集団感染の条件を満たしているのみならず、節約志向となる不景気にあつては、真っ先に支出削減のターゲットともなりましょう。また、ネットゲーム等の登場によるレジャーの多様化を背景に、賭け事は将来的には衰退産業となるとも予測されています。 | 参考 | |
| 250 | 経済的効果はコロナウイルスの世界的蔓延という事態も考慮し、改めて測り直す必要もあると思う。計画段階での試算は参考としては根拠が弱くなっているとおもう。 | 参考 | |
| 251 | 経済的効果はコロナウイルスの世界的蔓延という事態も考慮し、改めて測り直す必要もあると思う。計画段階での試算は参考としては根拠が弱くなっているとおもう。 | 参考 | |
| 252 | 今回新型コロナウイルス感染拡大でマカオや海外のカジノは大打撃を受けている。一極集中の経済はリスクが高いことも横浜市は学ぶべき。まだ生まれていない市民のためにも負の遺産を残すべきではない。 | 参考 | |
| 253 | 今回新型コロナウイルス感染拡大でマカオや海外のカジノは大打撃を受けている。一極集中の経済はリスクが高いことも横浜市は学ぶべき。まだ生まれていない市民のためにも負の遺産を残すべきではない。 | 参考 | |
| 254 | 賛成ですこれからの景気を考えると。新たな観光地作りとして活性化に繋がるかと。 | 参考 | |
| 255 | 「カジノにきたい訪日外国人観光客が少なく、賭けたい金額も少ない中で、カジノでIRを運営することは困難である。」素案36頁にて「DBJ・JTBFアジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(2018年度版)」が取り上げられている。日本版IRには行きたくない訪日外国人旅行者が根強くおり、IRができててもカジノが望まれてはならず、賭けたい金額も少額であり、「カジノでIRを運営することは困難であること」は明白である。横浜市の説明を求めたい。 | 参考 | |
| 256 | 巨大なIR施設に、それに見合う数の訪日外国人・国内観光客が来る根拠が全く見えません。 | 参考 | |
| 257 | アメリカの各州ではギャンブルはそれほど税金をもたらす事業ではなくなり、むしろ依存症者などにかかる経費・損害が大きくなっているようです。シンガポールも観光都市としての人気はカジノができたことで下がっているようです。 | 参考 | |
| 258 | COVID-19事態でも明らかな通り、不安定収入を財政の基本に据えることは誤りです。 | 参考 | |
| 259 | 事業者情報として掲載されている訪問者数、経済波及効果、雇用創出効果について、その根拠が示されていない。委託した監査法人が整理・確認したとあるが、今回のコロナウイルス騒ぎでも、外国人が常に来る保証はないとか考える。実際に、市はこうした数字が実現できると考えているのか、お答えいただきたい。 | 参考 | |
| 260 | IRの収入がIRに還元されてしまうのでは意味がない。本来の目的の社会保障・子育て等へIRの予算を使ったほうが行動も成果も早いし、それが今望まれていることではないのか。基本コンセプトが既に古い。このような資料を作る行政にIRという大きな事業を成功させられるとは到底考えられない。稼働時にはさらに時代から取り残されたものになり、評判が悪くなればただ予算をつぎ込んだつまらない施設がさらに増えてしまう。 | 参考 | |
| 261 | インバウンドに頼っているこのような事態になったときに取り返しのつかないことになる。既に横浜に多数存在する豊富な観光資源を活かしきり、税収の増加に繋げることを希望する。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 262 | カジノの誘致を是非すべきだと思います。日本の人口減により益々海外における日本の地位は低くなると思われるので、経済を今後も持続的に活性化していくためにも、カジノの誘致は必要だと思います。昨今のインバウンドによる経済効果は非常に大きく、日本の今後の経済を左右するとも言える位影響があると思われます。コロナウイルスによる外国人観光客の激減が、自営業や中小企業はもちろん、大企業にも与える経済打撃が大きいことがその証明だと思います。そのため、カジノ誘致、そしてその周辺の施設等、観光による経済効果と雇用の創出は非常に有意なものと考えています。海外の主要都市に引けを取らない観光地として推進していくのに適しているのではないのでしょうか。 | 参考 | <p>IRには「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまででない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。</p> <p>例えば、IR区域内の大規模なMICE施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞</p> |
| 263 | 横浜IR計画自体の再検討を求める。本来公共事業において市民に真っ先に示すべき横浜市独自の損益分析も敢えて示さず、社会的コストは一切示さずに、外国カジノ事業者の誇大な経済波及効果だけを言いなりで臆面もなく小さく示すだけで推進するのは、詐欺である。不要であり、長期に亘り、弊害が多く、利益に乏しく、欺瞞に満ちたカジノIRは速やかに撤回し、医療福祉と就業経営と生活生存の保障にこそ充てるべきである。 | 参考 | |
| 264 | 新型コロナウイルス世界拡大で来日規制をせねばならぬ時に、「世界の富裕層」「訪日外国人」前提がそのまま。もともと66～79%国内客であると後述し、コロナウイルス拡大で更にそうなるのに外国客が多いように誘導。 | 参考 | |
| 265 | 景気低迷局面を迎えた今こそ、不況を盛り返す為、起爆剤となりうる統合型リゾートの誘致には賛成します。統合型リゾートを中心に、横浜の、ひいては日本の新たな産業を築いていってほしいと思います。 | 参考 | |
| 266 | 世界最高水準のIRを実現としていますが素案はラスベガス・シンガポール・マカオなどを想定して説明しています。ラスベガスは地域全体がホテルカジノで横浜市の計画とは違います。市の計画はシンガポールが使われています、これはカジノ隠しであり、楽しい雰囲気強調し家族が楽しめる宣伝に使われています、しかし、シンガポールは大きな産業が無く観光業の役割が大きくなっていますがここ数年は観光客も減少しています。IRカジノ頼みではうまくいきません。 | 参考 | |
| 267 | すぐに整備してコロナで落ちている景気を上げてほしい！！ | 参考 | |
| 268 | コロナでおちこんでいる日本をIRで元気にして下さい。経済再生はIRにかかっています。 | 参考 | |
| 269 | カジノは将来の負の遺産になることと考えます。安易に造るべきではないのでは。 | 参考 | <p>国が参考にしてしているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが開業し、外国人来訪者、外国人観光消費額、国際会議開催件数は増加傾向にあります。＜方向性 P.24＞</p> <p>IRの成功事例と言われており、開業から10年足らずの2019年4月にホテル等の新設など、施設拡張計画を発表しています。</p> |
| 270 | 私は今の横浜が好きです。IRの中心のカジノ。世界でカジノ産業で成功している地域の方が少なく、市長の市民との会合でもギャンブル依存症対策についての解決策を具体的に表していません。 | 参考 | |
| 271 | 世界で衰退しつつあるカジノー賭博場を今度は日本で大もうけをしようとして政府、市を動かしているのでしょうか。 | 参考 | |
| 272 | 米国でカジノ産業が衰退してきたため、日本にマーケットとして目をつけている。そこにつけ込まれたのです。 | 参考 | |
| 273 | これからの世の中、カジノは斜陽となることは確実です。断念した方がいいでしょう。 | 参考 | |
| 274 | カジノは斜陽産業 カジノは「イノベーション」では決してなく、むしろ持続可能性が最も低い旧型の斜陽産業である。 | 参考 | |
| 275 | 今さらカジノを作っても時代遅れで成功するとは思えません。 | 参考 | |
| 276 | 山下ふ頭頭の再開発にカジノは絶対反対です。シンガポール、マカオの素案を想定して説明している事そのものが間違っています。 | 参考 | |
| 277 | カジノ自体がもう先が見えていること。スマホ世代の若者があの1種のソサエティに属することを好むかどうか。 | 参考 | |
| 278 | ホンコン、マカオ、シンガポール、ラスベガス、ハワイ等のカジノはいつもガラガラです。（2015～2019の間それぞれ行って来た）こんなものはいらない。 | 参考 | |
| 279 | 横浜IR構想に断固反対します。カジノはもう終わっている | 参考 | |
| 280 | IR（カジノ）は世界的に過当・衰退業界、ビジネスモデルにならない。横浜にインバウンドを呼ぶのはカジノではない | 参考 | |
| 281 | カジノ反対です。素朴な疑問ですが、今のIT時代にカジノは時代遅れも甚だしいのではないのでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 282 | キャッシュレスの時代にゲーム感覚で賭け事をする矛盾、ネット時代にアナログ的なギャンブルなどやっても、落ち目になるのは必至。 | 参考 | <p>国が参考にしてしているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが開業し、外国人来訪者、外国人観光消費額、国際会議開催件数は増加傾向にあります。＜方向性P.24＞</p> <p>IRの成功事例と言われており、開業から10年足らずの2019年4月にホテル等の新設など、施設拡張計画を発表しています。</p> |
| 283 | 万が一にも横浜の山下埠頭にIRが誘致されることになれば、その事業者は99%決まっている。すでに世界的には、カジノ産業は衰退産業と見做されている。横浜に限らず、大阪（府と市）、長崎、和歌山、その他多くの地で誘致合戦がおこなわれているが、すでに巨額の国富が損なわれている。 | 参考 | |
| 284 | ラスベガスは今、「最後の日」「この世の終り」とニュースでの報道を見た。この現実には、「賭博」「金を目当てに、人間の行動を、呼び込む」ことがいかに無意味（無駄）なことであるのか！横浜には、心が豊かになる歴史を残してほしい。知恵を絞り、外見目先の華やかな世界ではない、たのしい喜びを感じる、温かな横浜に。 | 参考 | |
| 285 | IRの先進国アメリカでは既に、カジノは衰退産業になってきているとの指摘もある中、なぜこのふるさと横浜にカジノが必要ですか。必要ありません。 | 参考 | |
| 286 | 世界的にはもうカジノは飽和状態と聞きます。業者の売上も落ち込んでいるとか。 | 参考 | |
| 287 | カジノをやっても市が繁栄するとは、限らず、むしろ、儲かるのは、初めだけで、廃れてしまう例が沢山あります。かつては、眠らない町といわれたラスベガスも、ショーやアミューズメントパーク等に頼っているのが現状で、ショーが終われば、人に減り、カジノは、早く終わってしまうのが現状。 | 参考 | |
| 288 | 世界的に見ればIRカジノは衰退産業だと言われている。市側は成功例だけを前面に出しているが、総合的に見れば経営が安定するとは言いがたい。 | 参考 | |
| 289 | 市民の了解もなしに、勝手に方向性（素案）を作らないでください。私は横浜IRの方向性（素案）にも横浜IRにも反対です。横浜IRを直ちに中止してください。『……、新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな「横浜らしさ」の創造に向けてチャレンジする必要があります。』と意気軒高に述べているのに、“カジノ”という時代遅れの賭博場を持ち込む所に何の創造性があるのでしょうか。 | 参考 | |
| 290 | どうあがいても、カジノはカジノ、ギャンブルはギャンブル、実態は博打であり賭け事、博打に他ならない。カジノ付きのIRという事業コンセプトは20年以上経った古びたコンセプトであり、目新しさは全くない。IR/カジノは、もう飽きられた陳腐化した事業コンセプトである | 参考 | |
| 291 | どうあがいても、カジノはカジノ、ギャンブルはギャンブル、実態は博打であり賭け事、博打に他ならない。カジノ付きのIRという事業コンセプトは20年以上経った古びたコンセプトであり、目新しさは全くない。IR/カジノは、もう飽きられた陳腐化した事業コンセプトである | 参考 | |
| 292 | 少子高齢化社会であるからこそ、持続可能な都市のあり方の規範を示して欲しい。持続可能な都市のあり方とは、国際的には、もはや斜陽産業であるカジノを含むIRを誘致することではない。 | 参考 | |
| 293 | 「IR（カジノを含む）反対米国のラスベガス、韓国、マカオについては斜陽産業になりつつあるという報道があるが、確かにシンガポールは実績を上げているようだが、更に韓国やマカオ島について調査する必要があると思う。20～30年を見据えて本当に横浜市は更なる発展が期待できるのだろうか？ | 参考 | |
| 294 | 結局、無駄な施設を作り数年後は閑古鳥になることは明白、残るのは、ギャンブル依存症で苦しむ人たちです。 | 参考 | |
| 295 | 世界は今、カジノの時代では無くなって来ています。 | 参考 | |
| 296 | この業種は、明らかに衰退産業であり、見かけは華やかだが、小売り、スーパー、コンビニと同じだと考えればわかりやすい。価格競争が激しいから利益を出すのが難しい。 | 参考 | |
| 297 | 世界を見ても順調にしているところは少なく、多くで撤退しています。 | 参考 | |
| 298 | カジノは儲かる産業ではないそうです。 | 参考 | |
| 299 | 横浜市住民の一人としてこの居住環境に大きな打撃を与えかねない“カジノ誘致計画”に強い反対の意見を表明します。ひと昔前ほどの盛況では無く斜陽産業となって来ています。 | 参考 | |
| 300 | 海外のカジノ産業は、衰退しています。カジノからは幸せは生まれません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 301 | 反対意見を提出します。カジノは斜陽産業。業者がいつどうなるか判らない、不安定である。15%の支払がなされないことになるのでは？ | 参考 | <p>国が参考にしてているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが開業し、外国人来訪者、外国人観光消費額、国際会議開催件数は増加傾向にあります。＜方向性P.24＞</p> <p>IRの成功事例と言われており、開業から10年足らずの2019年4月にホテル等の新設など、施設拡張計画を発表しています。</p> <p>横浜は、開港以来の異国情緒あふれる港町であり、様々な観光資源があり、日本人には人気の高い観光地と考えています。その一方で、外国人観光客の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる要因としては、海外における観光地としての認知度が低いことや、ナイトタイムや和のコンテンツなど、外国人に訴求できる観光資源が弱いことが理由として挙げられます。また、関東圏では、東京に外国人観光客が集中している中、観光地として差別化できていないことも宿泊先として選ばれない理由の一つと考えています。IRには、市内はもとより県内や日本各地の魅力をアピールし、IRに訪れるお客様を市内・県内や日本の観光地などに送客する施設が整備されます。</p> |
| 302 | この品性の一欠片もないカジノ=要するに賭博、そしてもう終わったコンテンツのカジノは止めてください。 | 参考 | |
| 303 | IRは絶対反対です。世界を見たときに、カジノ人口は増えていません。他国と取り合いになるだけです。 | 参考 | |
| 304 | 世界的に飽和状態、斜陽産業である外国のカジノ資本が日本人を狙っているのです。 | 参考 | |
| 305 | すでに世界のカジノは傾き、安定した経済政策として持続性に疑問が持たれています。さらにこれから未曾有の経済危機が来ます。だれもカジノに来られません。 | 参考 | |
| 306 | 既にカジノ業界は斜陽なのではないですか。私はカジノは絶対に認めることはできません。 | 参考 | |
| 307 | P23 IRの事例と効果（シンガポール）カジノは斜陽産業である。 | 参考 | |
| 308 | カジノはアメリカをはじめとする世界で斜陽産業となりつつあります。その斜陽産業をこの横浜市に導入する必要はまったくありません。 | 参考 | |
| 309 | 「カジノは斜陽産業。経済活性化になりません。」横浜市の経済活性化を考えるなら、カジノ抜きで考えてください。導入にあたって、安全性確保や治安維持コストをかける意味を全く感じません。 | 参考 | |
| 310 | 近年我が国では公営ギャンブルやパチンコ、麻雀等も嗜む人が減り続けていると聞きます。中央競馬以外の公営ギャンブルは既にその存続が真剣に心配されるほどにもなっているそうです。そのような状況下において新たなギャンブルにどれほどの可能性があるものなのでしょうか・・・激しく疑問に感じます。 | 参考 | |
| 311 | カジノは要らない！！観光の資源はその街の自然・歴史にあります。人間様でつくり出すカジノは持続しません | 参考 | |
| 312 | 横浜市IRカジノ構想に反対します。横浜にはIRがなくても十分人を呼び込める名所がたくさんあります。IRの開発に要する費用をこれらの整備に用いることで今より横浜自体が魅力的な街になって行くでしょう。外国からの観光客は「新入」のカジノに来るために日本へ来るのでしょうか？日本の、横浜のすばらしい所をよりすばらしくして行くことでより多くの外国人観光客を呼び込むことが可能になりますし、我々も、将来世代も今以上に横浜という街を誇りに思う事ができる様になるでしょう。 | 参考 | |
| 313 | 横浜IR構想に反対します。IRがなくても充分横浜は観光地として魅力があり、人気があります。 | 参考 | |
| 314 | 横浜にはホテル、会議場、展示場、横浜スタジアム、日産スタジアム、横浜アリーナ、動物園、公園、庭園など数々の施設や桜木町、関内周辺、中華街など「ここが横浜だ」と思わせる町並みがたくさんあると思います。新しく資金を投入してカジノを含むIRを作るのではなく、今ある施設、行楽地を最大限生かした「魅力ある横浜」の発信と収支が上がる方策はないのでしょうか。横浜市の財政が苦しいなら調査費用も無駄、新たに建物を作らず既存の施設をもっと有効的に活用して収入を得る方策を考え「横浜に住みたい、遊びに行きたい」となるような事を考えれば、「カジノ」は不要です。 | 参考 | |
| 315 | 横浜は、IRが無くても魅力が沢山ある街と想って居ります。IR反対に大賛成です。 | 参考 | |
| 316 | 横浜の滞在時間を増やす為にIRは不可欠であると感じます。横浜を基点としたDMOやナイトエコノミーを充実させる事でしか、経済効果は、生まれません。IR=カジノでは全くなくIR=魅力的なまちづくりのひとつと市民に伝えて頂きたいです。市長はじめ横浜市の皆様の頑張りを期待します。 | 参考 | |
| 317 | 地元の企業・各自治体との連携を密にする事で、IR誘致の効果を最大限に生かせると思います。横浜市の経済発展には欠かせない事業かと思わずで引き続き慎重な協議をして頂きたいです。 | 参考 | |
| 318 | ナイトタイムエコノミーの充実を図ってください。 | 参考 | |
| 319 | 個人的には横浜市は今のままでも十分魅力的だと思っています。せっかくたくさん素材があるので、それらをブラッシュアップしてアピールしていけば良いのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 320 | 東京に負けないで横浜が胸をはれるものをつくってください | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 321 | IRに最適なロケーションを横浜市は有していると思います。今IRをやらなければ山下ふ頭はどうするのか？ぜひこのチャンスをつかんでほしいと思います。 | 参考 | 横浜は、開港以来の異国情緒あふれる港町であり、様々な観光資源があり、日本人には人気の高い観光地と考えています。その一方で、外国人観光客の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる要因としては、海外における観光地としての認知度が低いことや、ナイトタイムや和のコンテンツなど、外国人に訴求できる観光資源が弱いことが理由として挙げられます。また、関東圏では、東京に外国人観光客が集中している中、観光地として差別化できていないことも宿泊先として選ばれない理由の一つと考えています。IRには、市内はもとより県内や日本各地の魅力をアピールし、IRに訪れるお客様を市内・県内や日本の観光地などに送客する施設が整備されます。 |
| 322 | 外国に行ったような気持ちにさせてくれる異国情緒ある街にしてください。 | 参考 | |
| 323 | 都市型リゾートが完成することによって横浜という町が世界中に名が広まることはとても良いことだと思うのでこの活動を指示する。 | 参考 | |
| 324 | 横浜の将来を考えるとキラコンテンツとなるIRは必要であると考えます。 | 参考 | |
| 325 | 横浜が世界に誇る、都市になる様、頑張ってください。名前が有名でも、これといった施設が足りない。 | 参考 | |
| 326 | IR賛成します。送客施設のところで、横浜郊外部へと書いてありますが、魅力的な観光地が少ないと思います。これを機に郊外部の魅力アップに取り組んでください | 参考 | |
| 327 | イベント道路設置（スタンド設置）市民マラソン（スタート、ゴール）、世界トライアスロン（スタート、ゴール）、フォミラーE（電気自動車レース）、オートレース大会、子どもカーカードフェスタ、アイススケートスピード大会、クラシックカーパレード、無人操縦カーデモンストラクション、AIロボットコンテストフェスタ、全国各地有名祭りフェスタ、みなと祭り、開港祭、その他各種イベント誘致！！、マーチングバンドコンテスト ダンス、ダンス、ダンスパレード | 参考 | |
| 328 | 賛成です。レストランやホテルなど、東京や海外リゾート地にあるようなハイクオリティなものを誘致してほしい。何度も行きたくなる施設が出来れば、観光客が増え、横浜の税収も増加すると思います。 | 参考 | |
| 329 | IRが出来ることでかつての横浜のような賑わいを取り戻してほしい。賛成です | 参考 | |
| 330 | となりの川崎などは音楽にちから入れておりこの横浜は、観光地などが多くあり、まちづくりをもっとよくして欲しいと思うのです | 参考 | |
| 331 | 横浜には、魅力ある施設がたくさんあります。競技場、アリーナ、動物園、みなとみらい地域、中華街、海、外国人館…現在あるものを大事に、そして、より魅力的なものにしてゆくべきで、新しいものは必要ない。 | 参考 | |
| 332 | オープンするパシフィコ横浜ノース、びあアリーナMM、KT zepp Yokohama、Billboard Live Yokohama。この4つで十分です。これ以前にパシフィコ横浜があり音楽ホールがあり、MMには沢山の商業施設やホテルもあります。IRの様なカジノを含む施設は必要なく税収を目的とするパクチに頼らなくてはならない横浜市の知恵は下品で恥かしいです。子孫に誇れる市政を望みます | 参考 | |
| 333 | これまでの横浜にこれからの横浜（IR）をたせば、世界トップクラスの都市になる、IR誘致しよう。 | 参考 | |
| 334 | 横浜市は外国人からの知名度は決して高いとはいえず、観光で訪れる場所も限定していると思います。IRの実現によって多くの外国人に滞在してもらい、世界中に横浜の魅力を理解してもらえることを期待しています。 | 参考 | |
| 335 | まちづくりのコンセプトの3つですが、横浜は、日本では、大きな都市です。今まで通りでも、横浜の存在をくの人々が知っているのです、今すぐ実現しなくて、良いと思います。 | 参考 | |
| 336 | 今でもかなりの施設があり、それらを充分活用すれば、活性化は望めます。 | 参考 | |
| 337 | 賛成です。新しい横浜をつくり、多くの方が訪れるようにする事で、活気がでてくると思います。 | 参考 | |
| 338 | 観光客の約8割以上が日帰りとは知りませんでした。オールインワンの観光施設としてIRを誘致してほしい。 | 参考 | |
| 339 | 横浜には、ナイトタイムエコノミーやキラコンテンツが少ない。IRでこれらの課題を解消してください。 | 参考 | |
| 340 | 賛成です。今のままでは横浜はジリ貧なのでIRを起爆剤に立て直してほしい | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 341 | 横浜は観光地としては魅力的ではない。日本で横浜でしか見られないものが無いので、IRを実現して世界の人が集まる街になってほしい。 | 参考 | 横浜は、開港以来の異国情緒あふれる港町であり、様々な観光資源があり、日本人には人気の高い観光地と考えています。その一方で、外国人観光客の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる要因としては、海外における観光地としての認知度が低いことや、ナイトタイムや和のコンテンツなど、外国人に訴求できる観光資源が弱いことが理由として挙げられます。また、関東圏では、東京に外国人観光客が集中している中、観光地として差別化できていないことも宿泊先として選ばれない理由の一つと考えています。IRには、市内はもとより県内や日本各地の魅力をアピールし、IRに訪れるお客様を市内・県内や日本の観光地などに送客する施設が整備されます。 |
| 342 | 未来の横浜を本気で憂いている。このままでは、衰退してしまう…ディズニーやUSJではないが、何か大きなコンテンツがないと、ウリがない。 | 参考 | |
| 343 | 今後の横浜市を支えるために、大きな力が必要となる。世界に負けない「横浜市」になってほしいと心から願って、横浜IRを応援します。 | 参考 | |
| 344 | IR早くつくって。箱根と連携して、県内を周遊する仕組みを考えてください。 | 参考 | |
| 345 | IR賛成です。シンガポールに比べて市内観光地がひん弱です。市内回遊できるような観光地が必要です | 参考 | |
| 346 | IR賛成しています。市内観光地の中で、世界に誇れるものが見つけません。てこ入れすべきです。 | 参考 | |
| 347 | 横浜は観光客数では年々伸びている。健全な財政政策を考えるべき。 | 参考 | |
| 348 | カジノを誘致しなくてもインバウンドは充分とりこめるし、経済成長は達成しうる。 | 参考 | |
| 349 | 横浜には、IRがなくても、魅力的な所が、多くあります。今のままでも、充分観光客等も訪れると思います。 | 参考 | |
| 350 | 横浜IRは必要ありません。横浜は港を中心に情緒豊かな街並がありゆったり海の風を受けて散歩コースもあります。観光都市としても充分その要素を満たしています。市の発展よりも今ある要素をより豊かなものに！！そして市民一人一人の生活が豊かになる様税金は使っていただきたいです。 | 参考 | |
| 351 | 国際都市横浜のゴールデンコースを歩き、IRの候補地を見て感じて下さい。カジノは必要ないと思いませんか。 | 参考 | |
| 352 | 横浜にカジノはいりません。横浜には、すばらしい観光地がたくさんあります。カジノなんてなくても外国人も日本人も観光客は来ます。 | 参考 | |
| 353 | 横浜にカジノをつくらないで下さい。カジノをつくらなくても美しい公園、自然、歴史、中華街、元街、みなとみらいなど充分な観光資源があります。むしろ、カジノをつくれれば、上記の観光資源にとってマイナスになると思います カジノ反対！！ | 参考 | |
| 354 | 横浜は、トバク場に頼らずとも、他にいくらかでも健全で文化的な面での観光、集客の方法の考えられる有数な都市です。アメリカ流の金第一の発想に問題はあります。今からでも遅くありません。カジノは断念しましょう。 | 参考 | |
| 355 | 観光客を引きつける点では、その周辺を含め横浜には、誇れる観光スポットは、たくさんあります。むしろそちらの充実のためにお金をかけて地域の活性化を図っていくことを望みます。 | 参考 | |
| 356 | 横浜市として考える事は他に沢山あると思いますが、バクチ場等建てる必要ないです。観光地も沢山あります。 | 参考 | |
| 357 | 横浜には他の観光地にはない、歴史、文化遺産、元街、中華街、みなとみらいなど優れたものがたくさんあります。その活性化をさらにはかって下さい。山下公園、港の見える丘公園、三渓園などの公園庭園も数多くあります。 | 参考 | |
| 358 | IRのようなカジノを目玉に新たな街作り構想とは悲しい。IRにカジノは不要です。横浜は永遠に東京の隣である。そんな中、去年はみなとみらい地区に8000万人以上が訪れている。そのような状況で宿泊する人が少ないとか、収益が無いようなことを言っ、この構想を実現させようと画策している。なぜ多くの人が横浜に来るのか、それは東京にないものがあるからだろう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 359 | 新型コロナから我々が受けた教訓は、第一に、「観光立国」といっても、IR構想のような「観光定番コース（既制服）」に乗る大規模な「箱もの」を用意することではなく、「コンテンツ」に重きをおいた「お好みコース（オートクチュール）」に転換すべきであることである。真に「魅力ある」観光地になるための『コンテンツ』が問われるのである。素案が想定するIRは、海外を含めた他都市と競合するカジノ、ホテル、会議場設置等の『箱もの』設置にある。素案は、IRによって市を滞在型観光地にしたがっているが、実際に横浜IRが東京日帰り圏から脱し得る他都市からの借り物ではない魅力あるコンテンツをどう描くかが問われる。「異国情緒」は日本人向けの標語の域を出ず（素案・20頁）こうした程度で、この問い掛けに答え得るものといえるだろうか？ | 参考 | 横浜は、開港以来の異国情緒あふれる港町であり、様々な観光資源があり、日本人には人気の高い観光地と考えています。その一方で、外国人観光客の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる要因としては、海外における観光地としての認知度が低いことや、ナイトタイムや和のコンテンツなど、外国人に訴求できる観光資源が弱いことが理由として挙げられます。また、関東圏では、東京に外国人観光客が集中している中、観光地として差別化できていないことも宿泊先として選ばれない理由の一つと考えています。IRには、市内はもとより県内や日本各地の魅力をアピールし、IRに訪れるお客様を市内・県内や日本の観光地などに送客する施設が整備されます。 |
| 360 | IRでなくて横浜市の歴史や文化の価値を見直せば十分観光資源がありこれの活用をすればいい。 | 参考 | |
| 361 | 横浜市は、今でも観光客は右肩上がりです。5年間で170%です。このペースで十分ではないでしょうか？市長の、観光客は少ない、宿泊数は少ない、だからIRカジノが必要は詭弁です。日本の伝統文化・食の魅力、横浜の魅力を今後も続けていけばいいのです。IRカジノは逆に魅力を失わせるのです。IRカジノのために、外国人が日本へ来るのは、多くはあり得ない。 | 参考 | |
| 362 | 市長は横浜は観光客が少ない、宿泊数も少ない。だからIRカジノが必要と言っていますが、横浜市は今でも観光客は伸びています。市長なのに知らない訳がありません。市民をだましてはいけません。 | 参考 | |
| 363 | 「日本型IRでは観光先進国としての日本を明確に世界に位置づける」としていますが、すでに日本はその文化遺産、自然遺産で十分世界に認められ、親日家や多数の観光客を毎年迎え入れています。 | 参考 | |
| 364 | カジノには絶対反対です。横浜は元々港を中心とする観光の目玉がたくさんあり、カジノに頼る必要はありません。むしろ、ギャンブルで市財政をまかなおうなんて横浜市のイメージを壊し、観光客も来なくなるでしょう。 | 参考 | |
| 365 | 『横浜都心臨海部がこれからも、市民の憩いの場』であるとともに、『世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！』と思ってもらうには、カジノ施設は全く逆効果です。賭博場があったら市民は憩うことはできません。賭博場を目指して横浜に行ってみようなどと思う外国人は圧倒的に少ないでしょう。 | 参考 | |
| 366 | 説明の中に、「横浜への観光客が少ない」とありましたが、間違いでしょう！“ハマの魅力”を今後も続けてください。 | 参考 | |
| 367 | 素案を見ると、インバウンド重視だということはわかりますが、いま決して観光客が少ない横浜の現状分析はなされたかが見えてきません。また、過剰な観光客は地元民との軋轢を生むこともわかっています。その対策はどうするのでしょうか？只々海外旅行者を増やせば良いわけではないと思います。 | 参考 | |
| 368 | 横浜市の観光面での弱点は富裕層向けのアミューズメントが無いことです。観光客の90%近くが日帰りで国際会議が開催され宿泊しても夜は東京に遊びに行く。富裕層向けのアミューズメント施設建設は、将来の横浜市の発展・財政健全化に資すると思いますので賛成です。横浜市民のなかでも、若者は賛成、高齢者は反対が多いと新聞発表がありました。是非未来を担う若者のためにも推進していただきたいと思います。 | 参考 | |
| 369 | 素案は、宿泊観光客が東京や大阪と比べ少ないと言っていますが、その理由を説明していません。現に今横浜は空前のホテル建設ラッシュです。逆にカジノを導入すれば、横浜は修学旅行の対象として敬遠されることになるでしょう。そうすると長い目で見て、観光客数の増加という意図とは反対の結果を招くことになるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 370 | 横浜には多くの魅力的な観光資源があり多くのイベントや国際的行事が行われています。カジノに頼る必要はまったくないと思います。 | 参考 | |
| 371 | 横浜はポテンシャルが高いが国内他都市に比べてインバウンド宿泊が少ない点をIR誘致の理由にしている点は矛盾している。国内で優位にありながら新たな税収を求めるなら国内にないIRの誘致は理解できる。現状では国内他都市に負けている点の分析と対応が急務である | 参考 | |
| 372 | IR推進について賛成の立場ですが、2点気になる点があります。1つは宿泊までの導線について。カジノ、ショッピングなどエンターテインメントの要素は豊富ですが実際に横浜を宿泊地に選ぶか不明です。横浜に滞在を延ばすためにある程度導線やルートを作り、計画的に滞在させる必要があると思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 373 | 観光にカジノは不要である。現在の横浜の魅力で十分！既存の観光資源の維持管理に税金使うべし。 | 参考 | 横浜は、開港以来の異国情緒あふれる港町であり、様々な観光資源があり、日本人には人気の高い観光地と考えています。その一方で、外国人観光客の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる要因としては、海外における観光地としての認知度が低いことや、ナイトタイムや和のコンテンツなど、外国人に訴求できる観光資源が弱いことが理由として挙げられます。また、関東圏では、東京に外国人観光客が集中している中、観光地として差別化できていないことも宿泊先として選ばれない理由の一つと考えています。I Rには、市内はもとより県内や日本各地の魅力をアピールし、I Rに訪れるお客様を市内・県内や日本の観光地などに送客する施設が整備されます。 |
| 374 | カジノに反対します。賭博の掛け金で横浜市の健全な発展はできない。横浜には観光資源が多く、健全な地道な投資をすべきです。 | 参考 | |
| 375 | 【I Rカジノは百害あって一利なし、ただちに誘致撤回をするべき】観光客を呼び込むためにI Rというが、最近までの観光客の増大はカジノなしで実現できている。カジノは観光資源に対する阻害要因とさえなる。 | 参考 | |
| 376 | 現状課題に対する認識は認めるが、現在のいい加減な政権の「成長戦略・地方創生」に安易に乗るのは反対である。横浜のまちづくりの歴史を今後とも継続するためには、「横浜I R」以外をもっと研究すべきだと思う。日本には世界に誇る歴史の街「京都」とか、先端の都市「首都東京」もある。それらのこれまでのまちづくりを研究し、ヨコハマらしさを発揮してほしい。世界から選ばれるディスティネーションは「横浜I R」以外をもっと考えるべき。 | 参考 | |
| 377 | カジノに関する個人的意見。私は、横浜に住んで40年以上になりますが、横浜は、歴史・文化に溢れた街だと思います。この歴史・文化を今後とも発展させるのに、「カジノは不要」だと思っています。国内の人口減や過疎化が進んでいますが、これを跳ね返す工夫をして集客に成功している施設の事例が国内にたくさんあるではないですか？そういう工夫を紐解いて、海外の方がどんなところに魅かれるのかを考え、横浜I Rを検討することが必要なのではないでしょうか？ | 参考 | |
| 378 | 国際会議場施設、展示施設等、我が国の伝統、文化、芸術等を生かした公演等による観光の魅力増進施設、送客機能施設、宿泊施設等の観光振興に寄与する施設とカジノ施設から構成される一群の施設のうちカジノ施設を除けば、前記の各施設は何らかの形で、すでに存在しており、要するに、新たにカジノを横浜に誕生させようとする愚策を絶対に阻止しなければならない。 | 参考 | |
| 379 | 横浜市には、住民や国内観光客からすれば十分な魅力があり、そんな訳のわからない施設は不要です。 | 参考 | |
| 380 | 古くからある港町、ランドマークタワー、中華街など、横浜ならではのシンボルがあるのに、カジノをなぜ入れる必要があるのか、わかりません。どうか、やめてください。カジノは絶対反対しています | 参考 | |
| 381 | 資料にある「横浜の持つポテンシャル」です。既にポテンシャルがあるなら、新たなポテンシャルを誘致する必要はありません。そう考えると、資料48ページの東神奈川から山下埠頭までをひとつのエリアとして繁栄するように見せる構想は、欺瞞であると言わざるを得ません。もし大規模な統合型リゾートが出来たら、観光客はそこに囲い込まれ、周辺の観光地に行こうとは考えないでしょう。観光客は商店等の市内各事業者に利益をもたらす統合型リゾートとして囲い込まれた観光客は其中で行動を完結させるので市内各事業者には恩恵は無いということになります。 | 参考 | |
| 382 | 江戸末期の開港以来、海外との交易の主要な窓口であった横浜に、その歴史と立地・利便性を生かして訪日旅行のゲートウェイとなるI Rを設置することは大変意義深いものがあると思います。素案のp32以降に示されている魅力増進施設、送客施設、宿泊施設は、日本の様々な魅力のエッセンスを集結し、これから訪問する目的地の予習をせよという観点で、下表の訪日の動機にもマッチした非常に納得感のある施設だと思います。また、MICE施設はビジネスユースやイベント拠点として、横浜市を世界的にアピールするために是非設置して頂きたい施設と感じます。しかし、カジノだけはどうしてもこの構想の中で浮いた存在になっています。下表の訪日の動機から見ても、訪日客は日本ならではの体験を求めています。 | 参考 | |
| 383 | カジノだよりのI Rだと思うのですが、これだけ見所にあふれているのにあえてカジノを取り入れる意味が分かりません。横浜は現在のイメージ、既存の観光スポットを活かして行く方向で模索してほしいです。 | 参考 | |
| 384 | 横浜にはカジノよりもっと魅力的なところがあります。その横浜の美的な魅力を発見し、よりたくさんの方に来て頂くのが本筋ではないでしょうか。カジノのようなたくさんの方の不幸を台にした悪質なものを横浜に誘致するのを許しません。 | 参考 | |
| 385 | 私はカジノに反対します。カジノが全体に占める割合は少ないなどエクスキューズするような説明をされていますが、大小問わずカジノを横浜につくことは良いことではないと考えます。なかなか観光でお金が落ちない都市であろうと、ならばカジノでという発想は安易ではないでしょうか。他の地方都市に比べても、これほど魅力的な観光資源をもつ横浜は誇れるものです。むしろ活かさないことが問題ではないでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 386 | 賛成です！横浜の街は今のままでもとても魅力的だとは思いますが、観光としては一度来れば、十分な気がしています。IRを誘致し、何度でも訪れたくなる横浜を目指すことは、観光だけでなく、経済的にもとてもプラスになると思います。ぜひ誘致してください。 | 参考 | 横浜は、開港以来の異国情緒あふれる港町であり、様々な観光資源があり、日本人には人気の高い観光地と考えています。その一方で、外国人観光客の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる要因としては、海外における観光地としての認知度が低いことや、ナイトタイムや和のコンテンツなど、外国人に訴求できる観光資源が弱いことが理由として挙げられます。また、関東圏では、東京に外国人観光客が集中している中、観光地として差別化できていないことも宿泊先として選ばれない理由の一つと考えています。IRには、市内はもとより県内や日本各地の魅力をアピールし、IRに訪れるお客様を市内・県内や日本の観光地などに送客する施設が整備されます。 |
| 387 | 賭博場はいらない。観光産業を考えているなら、外国人は日本にカジノなんか求めてない。 | 参考 | |
| 388 | 横浜IR実現の背景で、横浜市内の外国人宿泊客が少ないとありますが、横浜市は羽田空港・成田空港からのアクセスが良く各地にも行きやすい東京都にほぼ隣接しています。その点、わざわざ横浜に滞在するメリットはなく、当然のことです。むしろ、日帰り観光客向けのツアーを充実させる等の対応が横浜という地の利を生かさせます。 | 参考 | |
| 389 | 固有の観光資源を生かす工夫を飛ばしており、カジノありきの施策と感ずる。観光資源の固有性を廃した業態で不必要な国際競争に踏み込むことになる施策である。そもそも横浜の外国観光客の宿泊数の伸びは高い。市の提示する情報は「推進前提」で、恣意的と感ずる。 | 参考 | |
| 390 | 横浜にIRは要りません。アジア地域だけでも、設備の整った大規模なカジノ施設がある国は沢山あるため、横浜にカジノを新たに整備しても、わざわざ海外からそれをしに来る人はほとんどいないでしょう。 | 参考 | |
| 391 | 海外からの観光客が求めるものは、日本にしかない、横浜にしかない歴史や文化、自然、そして、そこに住む人々が息づくまちである。横浜にカジノ付きIR施設があることが観光振興につながると思えない。むしろ開港以来、横浜の港を中心に横浜に住む人々が、歴史や文化によってつくり上げてきたまちの品格・魅力を損なうことになり、市民としてIR・カジノを誘致することは断じて許せない。 | 参考 | |
| 392 | 横浜市は、今でも観光客は右肩あがり伸びているのです。5年間で170%です。このペースで十分ではないでしょうか！日本の伝統文化・食の魅力、ハマの魅力は今後も続けていけばいいのです。IRカジノは逆に魅力を見失わせるのです。横浜を第二の賭博のラスベガスにはなりません！ | 参考 | |
| 393 | ゲートウェイというスローガンを使うのであれば、横浜の来訪魅力をもっと作らなければならない。横浜の眠っている資産は、沢山あると考える。横浜に人を呼べる施設は、開発・再生プランにも出てくるように沢山ある。大阪、神戸には決して負けないものがあり、日帰り旅行で終わるものでなく、宿泊して堪能する価値あるものの数が揃っている。 | 参考 | |
| 394 | 横浜のIR推進に賛成します。明治以来、外国に門戸を開いて来た横浜は世界からの来客を対象としたIRに最適の土地だと考えます。横浜市の将来にわたる運営を見据えた事業展開をお願いします。 | 参考 | |
| 395 | 横浜市の用意したカジノ構想の説明を読みました。横浜市はもともと観光客が宿泊しにくい条件のもとにあります。そして、国外からの観光客は、日本に求めるものは、より日本らしい文化や歴史的遺産、自然、風景だと思えます。横浜市にカジノができたからといって、そのために外国人が増え、宿泊するようになることは、到底、考えられません。横浜市らしいイメージ、港の景観、今ある横浜市のよいイメージを一気に損なうもの、それがカジノです。 | 参考 | |
| 396 | 私は、今回の横浜市のIRカジノ構想に反対です。開港161年を迎える横浜は、カジノなど誘致しなくても、港を中心にした十分な観光資源を持っています。 | 参考 | |
| 397 | 横浜市は全国の伸び率より低い(外国人宿泊者数)。外国人宿泊者数において横浜市は全国の伸び率より低いと記載されている。伸び率を上げたいのであれば、伸び率が低い要因を解析して対応策を講じる必要がある。その議論が展開されていない。 | 参考 | |
| 398 | 県外の友人の意見でもIRが横浜へきた場合、イメージダウンになる、旅行する魅力が低くなるとありました。IRに頼らなくても十分な観光資源が横浜にはあるはずだ。 | 参考 | |
| 399 | 外国人旅行者のひとたちはカジノを目的に来日しますか？魅力的なカジノはすでに世界にたくさんあります。その中であえて日本のカジノに行きたいと思わせるには日本独自の魅力がないと駄目だと思いますが、外国企業ではそれも難しいのではないですか？いまどんどん増えている外国人旅行者たちは日本の歴史や風土や生活、文化、芸術などを求めてやってきているひとが大半とのこと。そういう意味で横浜は大きな財産を持っている街だと思います。そちらに注力したほうがより建設的ではないでしょうか。 | 参考 | |
| 400 | IRの誘致は絶対反対です。なぜなら今のままの横浜でも充分魅力があり、観光客を呼び込むことができるからです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 401 | 横浜は観光客も多く観光業での収入も多いことと思います。しかし横浜には、カジノを作らなくても魅力がたくさんあります。 | 参考 | 横浜は、開港以来の異国情緒あふれる港町であり、様々な観光資源があり、日本人には人気の高い観光地と考えています。その一方で、外国人観光客の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる要因としては、海外における観光地としての認知度が低いことや、ナイトタイムや和のコンテンツなど、外国人に訴求できる観光資源が弱いことが理由として挙げられます。また、関東圏では、東京に外国人観光客が集中している中、観光地として差別化できていないことも宿泊先として選ばれない理由の一つと考えています。I Rには、市内はもとより県内や日本各地の魅力のアピールし、I Rに訪れるお客様を市内・県内や日本の観光地などに送客する施設が整備されます。 |
| 402 | 大大大賛成です！市長が観光が弱いと言ったと怒ってる人達も多々見受けられますが、私はその通りだと感じます。綺麗な街だとは思いますが観光でのイマイチ感は拭えない。 | 参考 | |
| 403 | I R反対、不要です。カジノが無くても横浜には魅力が十分あるので不要です。 | 参考 | |
| 404 | 外国人宿泊客数の伸び悩み（p. 7）横浜市内に宿泊する外国人宿泊者数の伸びが全国平均や東京都より低いと論じているが、これも横浜市の立地条件を加味して考えるべきことであり、単に伸び率や日帰り客数の比率だけでは比較できるものではない。 | 参考 | |
| 405 | 横浜の景観と地域経済を破壊するカジノを、自治体の方向性に取り入れないでください。 | 参考 | |
| 406 | P 6「上場企業数は東京23区に比べて17分の1、法人市民税は14分の1にとどまっており、大きな課題です。」に対して。東京は国政の中心（事実上の首都）であり、比較することは不適當。P 7「横浜市内の観光客も、8割以上が日帰り観光客」P 17「インバウンドのゴールデンルートに集中」横浜の歴史はせいぜい100年程度であり、魅力にとぼしい。カジノが目的の観光客がそもそも横浜を観光することは考えづらい。外国人観光客を横浜に誘致するのが目的なら、カジノを併設しない形のリゾートを建設してはどうか。 | 参考 | |
| 407 | 横浜はカジノ等無くても素敵な街です。カジノ誘致は必要ありません。 | 参考 | |
| 408 | 観光が市の財源のひとつではあるでしょうが、そこにカジノは要りません。 | 参考 | |
| 409 | 統合型リゾートの誘致に賛成です。諸外国と比較して、日本には施設単体が訪問目的になるような目玉施設がないと感じています。特に横浜の都心部は、ロケーションが良いにもかかわらず、観光客が楽しめる施設が少なく、特に夜の賑わいが十分でないと感じます。ぜひ、世界の人に横浜を知ってもらい、また魅力を感じてもらえるような、横浜のロケーションを十分に生かした世界に誇れる施設の誘致に向けて取り組んでください。 | 参考 | |
| 410 | 外国人が日本に求めている観光は日本らしさであり、カジノをしにくる人たちはいません。 | 参考 | |
| 411 | 私は横浜I Rの推進に反対します。特にカジノができてしまうことに強い不安を感じます。カジノが無くても、みなとみらい周辺は十分魅力的な観光地ではないでしょうか。子ども達とよくでかける場所にカジノは相応しくありません | 参考 | |
| 412 | 報道で訴えていたように、「愛すべきミナト横浜を金と欲の街にしたいくない」という指摘は多くの横浜市民の気持ちだと言える。港や金沢区にあるような歴史と文化、自然がある地域が多いので、そうした魅力を訴える工夫をすることで、外国の観光客を増やすことは可能だと考える。 | 参考 | |
| 413 | 横浜にカジノは必要ありません。今の観光業だけで、十分に人は集まっています。子どもたちの未来を、賭博の街にしたいくはありません。 | 参考 | |
| 414 | 可決されたとNewsで見ましたが、方向性にも計画自体にも反対です。カジノ以外にも計画があるようですが、そんなリゾートを作らなくても、横浜には沢山の魅力があります。それをおざなりにしています。今回のリゾート計画は市民向けでない事も気になっています。横浜市は現状でもそんなに魅力を感じないのでしょうか？新しい事だけが良い訳ではないので、まず、計画する事を止めて、横浜市の為になる計画を立てていただきたいです。 | 参考 | |
| 415 | 反対。観光資源は充分にある観光立国を謳う日本国において、横浜市（及び神奈川県）はその資源が潤沢である。手元にある豊富なカードを最大限に活用するべきである。 | 参考 | |
| 416 | 私は、横浜にはカジノは必要ないと思っております。カジノではなく、横浜の歴史や文化や国際色豊かな地域の特色で、沢山の観光客の方が楽しく過ごせるようにして頂きたいと思っております。横浜はとても素敵な場所です。訪れる度に色々な体験ができていつも行くのが楽しみです。カジノはいりません。 | 参考 | |
| 417 | 横浜には、日本には、カジノに頼らなくても外国にアピールできる文化資産がたくさんあると思います。カジノではなく、日本の魅力、横浜の魅力をアピールする事業を展開して恒久的な観光事業の繁栄を目指す方が長期的にメリットがあると考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 418 | 横浜IRの方向性(素案)には、あからさまに、夜の横浜の魅力の言及はありません。市長の話はたまたま勝手な想いを述べた、という限りなのですか。言葉尻をとらえることが本意ではありませんが、「市長の説明」で、とくに印象に残った点なので、指摘しておきます。個人の想いで、横浜の未来を左右する重大な事業を進めるべきではないと思います。 | 参考 | <p>横浜は、開港以来の異国情緒あふれる港町であり、様々な観光資源があり、日本人には人気の高い観光地と考えています。その一方で、外国人観光客の延べ宿泊者数が伸び悩んでいる要因としては、海外における観光地としての認知度が低いことや、ナイトタイムや和のコンテンツなど、外国人に訴求できる観光資源が弱いことが理由として挙げられます。また、関東圏では、東京に外国人観光客が集中している中、観光地として差別化できていないことも宿泊先として選ばれない理由の一つと考えています。IRには、市内はもとより県内や日本各地の魅力をアピールし、IRに訪れるお客様を市内・県内や日本の観光地などに送客する施設が整備されます。</p> <p>IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。</p> <p>また、IR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益(GGR:かけ額と配当額の差額)の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 419 | カジノは、横浜に必要ありません。各国の人々が横浜に興味を持つのに、何故カジノが必要なのでしょう？横浜の魅力は、いっぱいあります。 | 参考 | |
| 420 | これから大幅な人口の増加は見込めないで、税収の減少をカバーする方策を考える必要があると思います。横浜には元々様々な観光資源があるので、更にIRを誘致する事ができれば外国人観光客の増加や企業誘致が見込めると思います。 | 参考 | |
| 421 | 横浜で生まれ育った私でも横浜という地の観光地としての魅力を説明することは難しいです。観光客のほとんどが宿泊することなく日帰りを選択しているということは、観光スポットの少なさや魅力が十分に伝わっていない可能性があります。 | 参考 | |
| 422 | 日本の観光業が取り込みきれていない「海外の富裕層」をターゲットにするならばIRは必要だと思います。あと、海外の旅行者から「日本はお店が早く閉まってしまう」「夜のイベントが少ない」という声が聞こえ、観光消費のチャンスロスがあるのではと思います。カジノについては海外を真似するのではなく、花札、丁半など和風カジノというオリジナリティが出せるとウケが良いと思います。 | 参考 | |
| 423 | 反対する人たちは、東京と比べた横浜の現状をわかっていない人たちだと思う。横浜、経済の活性化のためにぜひ実現してください。 | 参考 | |
| 424 | 博打に賭けた人の金額の全ては胴元に入り、市の収入は賭けたお金のごく僅か。 | 参考 | |
| 425 | 巨大なカジノ事業者に利益を強奪されるだけではないのか。 | 参考 | |
| 426 | ギャンブル誘致は許せない。行政が、率先して、ギャンブル場をつくるなどともないことだ。ギャンブルは人間をだめにする。地道に生きようとする人間をだめにする。もうけは外国にもって行かれる、とんでないことだ。 | 参考 | |
| 427 | 業者が利するだけなのは。市でやるべきではない。 | 参考 | |
| 428 | すでに衆議院議員やその他数名の国会議員に中国の企業から金が渡っていることからわかるように、カジノの収益の多くは外国に吸い取られることになると思われます。 | 参考 | |
| 429 | 利権にむらがる一部の人間とアメリカ企業がもうけるだけです。 | 参考 | |
| 430 | 海外のカジノ業者だけがうるおう！という結果だけは望まない。 | 参考 | |
| 431 | 税収は伸びない。そもそも外資に頼るIRでは、利益の大半は外国に流れざるを得ない。インバウンドによる場合とは全く異なるお金の流れである。しかも国民のお金が外資に吸収されていく面でも、問題となる | 参考 | |
| 432 | 市に入るお金はカジノの売上の15%、日本人からお金を巻上げて外資が大もうけする話としか思えません！ | 参考 | |
| 433 | 民間の会社に可能な限り頼らず国、横浜に利益が向くよう務めてほしい。 | 参考 | |
| 434 | 市民の大切なお金を外国の業者に大半は取られるだけです。カジノがなければ成り立たないリゾート等、最初からやるべきではありません。市民の税金の無駄遣いです。カジノの狙いは、主に横浜市民(日本人)のお金です。外国のカジノ業者は、40年間、私達のお金を吸い取れるだけ吸って、古びた「ハコモノ」を捨てて、国にひきあげるのです。 | 参考 | |
| 435 | IRの誘致に、賛成します。カジノの収益を、IRの他の建物やサービス、運営に、生かせるのがいいと思います。ディズニーランドのように、日本中で人気の存在になってほしいです。 | 参考 | |
| 436 | IRに賛成します。外資系のカジノ事業者が一定の関与をすることは避けられないと思いますが、あくまで主体は日系の企業であり、日本や地元のためになるIRになることを願っています。 | 参考 | |
| 437 | 1000億円程度が市に入るというがその数倍の金額がカジノ事業者に入ることであり、横浜市民、国民の負けたお金が外資に移ることになる。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 438 | 海外や大きな資本が入り、ほとんどの利益はそこに流れます。市民のお金を大企業に流す型になります。これでは市民は豊になりません。 | 参考 | <p>IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。</p> <p>また、IR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 439 | カジノ業者（アメリカの業者でしょうか？）に、6～7割の儲けが入り、残りが市の税収？でも、その儲けは主に日本人が負けたお金です。他国のカジノはその国以外の国のお客様が多数訪れ、落としていくお金でうおうのようですが、日本は自国民が殆ど。（ただでさえパチンコ・競馬・競輪・競艇にのめり込む国民にカジノなど要りません。）日本人の財産をカジノ資本に売り渡すことなど、絶対許されません。市長はあたかもカジノでバラ色の未来が約束されているかのように話しますが、シンガポールなどは当初は良かったものの、ここ最近でははかばかしくないと聞いています。 | 参考 | |
| 440 | IRは海外の業者なので、市民が失った金は二度と戻って来ません | 参考 | |
| 441 | 私たちの納める税金が、外国企業に流出するのは悔しいです。 | 参考 | |
| 442 | ハコモノを作る人の利益だけなので「カジノ」には反対します。 | 参考 | |
| 443 | 財政改善とうたっているが、カジノ経営は外資系資本のもと、収益は海外へ流出し、メリットはわずか。失われる面が過大となる構想と考える。 | 参考 | |
| 444 | 海外の事業者利益の大半を持ち去られ、市民の利益には反映されないでしょう。市民の為に市政を望みます。 | 参考 | |
| 445 | 市民から巻き上げた莫大なお金は海外事業者に吸い上げられるとのこと、一つも良いことはありません。 | 参考 | |
| 446 | 市民から巻き上げた莫大なお金は海外事業者に吸い上げられるとのこと、一つも良いことはありません。 | 参考 | |
| 447 | カジノを市財政の収入源するなんて、どう考えても納得はしない。 | 参考 | |
| 448 | 市はカジノで収益をあげたいと言うが、来場の多い日本人から、金を巻き上げることになるであろう。その利益はカジノを運営する海外大手企業が手にする部分が多い | 参考 | |
| 449 | 『IRカジノ絶対反対』カジノで国民の財産が毎年「何千億円」が失われる、掛け金は外国に行くそうです。カジノから得る税金で市政運営使用と目論んでいるのでしょうか。 | 参考 | |
| 450 | 「市民の暮らしが豊かに」なるのですか？地域から毎年莫大な日本人の資産が海外事業に吸い上げられることに。 | 参考 | |
| 451 | カジノを含むIR計画はすぐにやめてもらいたい。私達の年金や給料をしばらく取り、本国へ送ろうとしています。 | 参考 | |
| 452 | 世界（特に米国の）のカジノ（リゾート）を中心とする巨大資本の食い物にされるのみ。 | 参考 | |
| 453 | 横浜市はIRにより、年1000億円以上の増収を見込んでいますが、マイナス面を殆ど考えていない。マイナス面の方が大です。日本人の資産が年5000億円も失う、これが数十年も、永遠に続く。気が遠くなるほどの金額です。ギャンブルで国を売ることになるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 454 | 横浜市にカジノを誘致するのは絶対反対します。日本にとって全くメリットがなく、米国のカジノ業者に外貨を稼がせる目的のものです。 | 参考 | |
| 455 | 「IRカジノ」は「人の懐からお金を吸い上げ胴元がもうける事業です。」税金は、横浜市民の教育・福祉に優先的に使う市政をしてください。カジノ誘置は絶対止めてください。 | 参考 | |
| 456 | カジノ業者はアメリカ等、外国業者が予定されているらしく、日本の財産が外国に流れるのは許せない。 | 参考 | |
| 457 | 膨大なお金、資産が海外に流れます。これによる税収なども減収になります。目先の利益につられて、国の資産が失われます。大きな損失ではないのでしょうか、これをどうしていますか。 | 参考 | |
| 458 | カジノは「人の懐からお金を吸い上げ胴元がもうける事業」です。主なターゲットを日本人としている事から日本人の財産や預金など外国のカジノ資本に売り渡すもので反対です。 | 参考 | |
| 459 | 運営会社が米国や中国等の外国資本なら市の財政には有利にならない。 | 参考 | |
| 460 | 「市民の暮らしに寄与」には負け金であり、国民の健全な資金が吸い上げられ、運営する企業は外資が中心で、国内の税収に結びつかない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 461 | 海外の事業者には、どの位、流出するのですか。（カジノが心配です） | 参考 | <p>ⅠRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。</p> <p>また、ⅠR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したⅠR施設の建設費の償還や、MICE施設等のⅠR施設の運営に充てること ・ⅠR事業者は、長期的にⅠRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、ⅠRの事業内容の向上やⅠR整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 462 | カジノ業者は横浜の事業者でなく海外事業者が想定されているが、事業者利益も市に帰属しない。よって横浜ⅠRには反対する。 | 参考 | |
| 463 | 市は財政困難を理由にⅠR誘致を進めています。市民の不幸によって成り立つⅠRを誘致しなければならないほどの財政状況ではないです。膨大なお金、資産が海外に流れます。これによる税金なども減収になります。目先の利益につられて、国の資産が失われます。大きな損失ではないでしょうか、これをどう試算していますか。 | 参考 | |
| 464 | 海外事業者の利のための事業です。横浜市プラスにはなにも一つ利益はない。私は反対です。 | 参考 | |
| 465 | アメリカ資本が入りこみ、その会社の儲けに、加担し、利益を生む、というこの構造は、おかしい。 | 参考 | |
| 466 | ⅠRによって「市民の暮らしが豊かに」なるとは思えません。横浜市にとっては税金が増えることになるでしょうが、徴収できる税金はⅠRの運営会社に多額の利益が上がるからに違いないので、外国資本である運営会社に税金の何倍もの利益を与える計画であると言っているに等しいのです。さらに、運営会社の利益は売り上げの一部でしかありません。運営会社の利益の何倍もの売り上げ、即ち遊興者の支払いが必要です。 | 参考 | |
| 467 | 自治体の一方的な観点で調子の良い計画に賛成すれば、乗り込んで来る外国資本に食い物にされ、地元は疲へいし、ひとつも潤うことはありません。カジノには絶対反対です | 参考 | |
| 468 | 外国企業がもうかるだけのカジノ。 | 参考 | |
| 469 | たしかに利用者数はものすごく多くなると思いますが、ギャンブルを利用する目的だけで横浜市がうるおような事はないと云うことです。胴元だけがばく大な利益を、得ることははっきりしています。 | 参考 | |
| 470 | アメリカのカジノの会社がその多くの利権を持つと聞いています。カジノ誘地のために莫大なお金を使い、庶民を泣かしまきあげた多くのお金をアメリカのカジノ会社にまきあげられるなんて最悪です。 | 参考 | |
| 471 | バクチですったお金は、海外のカジノ業者へ流れ、市民に還元されません。そもそも何も産出しません。 | 参考 | |
| 472 | カジノを含む横浜ⅠRには反対です。ⅠRの利益の7割がカジノから生まれ、その30%が国と市に税として入るとの説明でした。残りの70%はカジノ業者が国外に持ち出すので、本来、日本の国内、ましてや横浜市内に回るはずのお金が減ってしまう事です。これではマイナスの経済効果となり、ⅠRカジノ構想案がまちがっています。 | 参考 | |
| 473 | 1度カジノを造ってしまったら40年の契約も長過ぎるし、海外の事業者を儲けさせるだけで、地元の横浜にはリスクを伴う割にメリットは少ない。 | 参考 | |
| 474 | 事業主体が外国企業で歯止めが出来ない。カジノ（賭博）反対します。 | 参考 | |
| 475 | 「カジノ」は、外国からの観光客と言いますが、8割は、「日本人」の客を想定し、莫大な金額がかけ事に使われ、莫大な「てら銭」が「胴元」業者のアメリカ資本など、海外業者に日本から、持ち出されるだけではないですか!!! | 参考 | |
| 476 | お金持ちの外国人が遊びに来るようなイメージを振りまいているようですが、とんでもない。市長の記者発表の資料では国内観光客の割合が66%～79%と予測しています。カジノのターゲットは日本人の財産ではないですか | 参考 | |
| 477 | 市の財政の将来を考えて、との事だが、カジノは、市の財政をたすけるどころか、マイナスになると思う。だって、カジノは、それをやっている人達が儲けるためにすることだから。公けの立場と全然違うと思う。 | 参考 | |
| 478 | 横浜市の取り組みは「豊かで安全・安心な暮らしを維持」です。その為にⅠRカジノを位置づけることは全く真逆です。カジノは人の懐からお金を吸い上げ胴元がもうける事業です。 | 参考 | |
| 479 | 外国人客は多少増えるかもしれませんが、素案で想定されている日本人客の割合は66～79%。今までパチンコなどしたことなかった多くの日本人が興味本位でカジノを体験し、中には依存症に陥り、莫大に日本人の資産が海外事業者に吸い上げられ、そのおこぼれを横浜市が頂く算段とは、非常に短絡的で熟慮が足りず、健康や、財産を含めた人間の幸せを軽視しているとしか考えられません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 480 | そもそもカジノは財政改善に貢献することではなく、海外のカジノ事業に利益を吸収されるのが現実だと思います。 | 参考 | <p>IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。</p> <p>また、IR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 481 | 外国のカジノ業者をもうけさせ、そのおこぼれで、市の財政をうるおすとは、まったく、なさないかぎりです。 | 参考 | |
| 482 | 涙の塊の7割を外国の企業に渡すのは日本の富の流出で反対です。 | 参考 | |
| 483 | 江戸時代の賭場で、いわゆるやくざの親分が胴本になり、お金を巻きあげる仕組です。日本政府はなぜIR法案を成立させたのか、横浜市はなぜ手を挙げるのか、絶対反対です。 | 参考 | |
| 484 | 結局外国のカジノ資本が狙うのは、日本人の懐であり、日本の国益になるものではない。 | 参考 | |
| 485 | 市にとり経済的に大きな利益というが、運営上いずれは一部の特殊勢力や外国資本に乗っ取られ、市や国の利益とならない。 | 参考 | |
| 486 | カジノは公営競技ギャンブルとは異なる。公営競技は日本の公的機関が運営しその利益はすべて国内に循環される。財政事情が厳しい地方自治体では頼りになる財源にもなっている。一方、カジノの運営は海外業者であり、寺銭を横浜市に支払っても日本人から巻き上げた主要な利益は海外に搾取される | 参考 | |
| 487 | 市民のための税金です。IRの施設の建設、維持などが、外国の資本になる事が目に見えている。 | 参考 | |
| 488 | IRカジノに反対します。カジノは外国の業者が日本人の財産を吸い上げる事業です。カジノの収益で少子高齢化の危機？を救うと言うのはおかしいです。 | 参考 | |
| 489 | 日本人のカネが海外に流出するだけで、横浜市の財政にもプラスはないだろう。 | 参考 | |
| 490 | お金が集まる仕組み、その運営組織は、たまったお金を使ってさらに巨大化するでしょう。そのサンプルが、米国やシンガポールにあります。教育上、もっとも許されないことだと言わさせてもらいます。 | 参考 | |
| 491 | 市としては税収を上げるための施策が、海外の事業者への高利益を経るものであること。 | 参考 | |
| 492 | 客の大部分はカモとなり、大金を巻き上げられ、賭博業者が大儲けという筋だ。今回のカジノは大規模な外国企業が狙っている。客の大部分は日本人という。客が失った金は、外国企業に流れるのだ。こんな事業を横浜市が推進するとは！信じられない。カジノ業者の上前を撥ねて、市の予算にしようなど言語道断。この美しい横浜を汚さないで！！ | 参考 | |
| 493 | IRにカジノ設置は反対です。『カジノ』とカタカナ語で言えば何となく聞こえがいいですが、所詮賭博、博打であり、全く非生産的なものです。勝った、負けたと言っているうちに胴元にとことんむしり取られるだけです。 | 参考 | |
| 494 | 外国人とは多くが中国人の富裕層であり、だから近くのマカオとかシンガポールへ行くのであり、わざわざ日本までそのことで来る可能性は少ないと思います。結局はIRカジノは日本人の懐を狙っているものであり、それは許せない。 | 参考 | |
| 495 | 横浜IRに反対です。統合型リゾートと言っていますが、そこにはカジノが入ります。横浜市の説明では「カジノ施設はIR施設全体の床面積の3%以内」と言っていますが、問題は床面積ではありません。統合型リゾートといいますが収益のほとんどはカジノだといえます。誘致するのは外国の会社で収益は本国に持っていかれるのではないですか。誘致するなら地元横浜の企業にして利益が地元横浜に還元されるようにしてほしいです。 | 参考 | |
| 496 | 利益の大半は国外へ吸い上げられてしまいます。全く売国的な計画です。 | 参考 | |
| 497 | 人心をとばくでまどわし、更にその利益は他国の大企業にすいとられる。とんでもないことです。 | 参考 | |
| 498 | 外国のカジノ事業が参入し、儲けは外国に持っていかれるのではないですか。 | 参考 | |
| 499 | カジノは「人の懐からお金を吸い上げ胴元がもうける事業」です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 500 | IRについて、なぜ市長は、市民の多くが反対、危惧しているIR（カジノ）を、どんな理由があろうと強引に押しすすめるのか？市民が主人公であるはずの市政が市長や一部の議員、役人の誤った考えで、海外の会社（カジノ）に地元や日本のお金を流出させてしまい、多くのギャンブル依存者を生み子ども若者までを不安な横浜にしてしまう…みんながやめて欲しいことは、中止して下さい。本当に反対です！カジノは！ | 参考 | <p>IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることを見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。</p> <p>また、IR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力を充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 501 | 経済効果は、逆なのではないかと思えます。従って反対です。カジノで収益があがるといっても利益は海外に流れますね。 | 参考 | |
| 502 | アメリカの会社へもうけさせる為のIRはやめましょう。横浜に住みつけたいので、カジノは作らないで下さい。 | 参考 | |
| 503 | 人が一生懸命働いて稼いだお金を吸い取られるだけ取られるのがカジノです。市民の貴重な財産がカジノ業者に富が行くだけです。その一部を市が吸い上げる。将来に汚点と残るとんでもない愚策です。 | 参考 | |
| 504 | カジノは客は負けるシステム。その客とするターゲットは大半を日本人と考えているようですね。外国の業者が日本のお金をまきあげていくことを見るわけにはいきません。IRカジノの誘致に反対します。 | 参考 | |
| 505 | 賛成です。日本人は賭博、博打に対して昔から節度をもって楽しむことが出来る人種です。カジノに対しても同様の楽しみ方が出来その対象が増えてよいのではと考えます。わざわざ、節度ある日本人が外国のカジノに行ってお金を落とすなら日本で使っていた方がどれだけ経済効果も上がるでしょうか。また、外国の人たちが日本を観光立国と評価して来ていただけるのであればその観光資源の一つとしてカジノも見て楽しんでいただければ、そして他の観光地と同様にお金を使っていたければ資源の無い日本の経済効果があがる一助になると考えます | 参考 | |
| 506 | IR事業者は、海外法人です。世界における日本の地勢上の位置は、極東です。多数の外国人の来浜を期待できないと思います。結局、日本人が、大半の客であり、日本の財産が、海外に流出することになります。 | 参考 | |
| 507 | 外資系の企業が納税してくれるのですか？ | 参考 | |
| 508 | 結局海外企業がカジノを仕切り、懐が豊かになるのは海外企業のみで、日本人は搾取されるだけに思えます。カジノ誘致には反対します。 | 参考 | |
| 509 | 「IR」は言い換えればカジノの事で、マカオを見れば火を見るより明らか。また、「IR」はカジノによって儲かる大企業優遇であり、横浜市民ファーストではない、因って「IR」実施に大反対である。 | 参考 | |
| 510 | カジノの海外の業者など儲けさせたくなんかありません。 | 参考 | |
| 511 | カジノで横浜市の財政が潤うのか？カジノで横浜市が潤うとはとても思えません。カジノ予定地の山下ふ頭地域まで鉄道などのアクセス建設のために大型ゼネコンだけは潤うかもしれませんが、市民の税金は食物にされて、はげたかのような米国カジノ業者にもっていかれるだけになるでしょう。 | 参考 | |
| 512 | 結局、海外資本の企業に吸いとられていくだけだと思います。 | 参考 | |
| 513 | 百害あって一利なしが明白なカジノを作るなど論外である。どうしてもやる、IRに賛成する人が多数という事実が明白になるなら、少なくともカジノには日本人の入場を禁止すべきです。日本人の資産を何の見返りもなく外国にくれてやる愚をどうしてやろうとするのか理解できません。 | 参考 | |
| 514 | 利用者に破産者が出てその分は日本の金融機関からトリップグレがないようにするはずですが。こうして日本の資産が外国企業に流れて行きます。それは飛躍し過ぎだといかもしれませんが、全体的な図式はそうならざるを得ない必然性を秘めていると危惧します。横浜がそんなことに加担してはいけません。 | 参考 | |
| 515 | カジノの設置には大反対です。カジノの収益は、税収入を除けばほとんどが外国資本家の収入となること。そうであれば、カジノ客のほとんどが日本人と考えられる中、日本人の個人資産が外国資本家（事業者）に吸い上げられることとなります。 | 参考 | |
| 516 | 海外カジノの運営会社を誘致して運営をゆだねる形が最有力と思われ、市長が言うような横浜市の収入を増やす形で地元へ大きな利益が還元されるとは、到底予想できないと考えるべし。 | 参考 | |
| 517 | カジノの運営は海外事業者、カジノの収益は海外へ流出する。これで良いのか。カジノって、ギャンブルですよ！カジノは導入しないで下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 518 | 横浜IRに反対します。市民にとって利益になることが見出せません。外国人観光客が多数来浜しても、カジノ目当てでは経済的にも環境的にも問題です。カジノへお金も落ちて、海外の事業者に吸い上げられます。横浜を賭博場にはしないで下さい。明日の世代に素晴らしい横浜を残しましょう。 | 参考 | IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなる ことが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度と言われているとされています。 また、IR整備法では、 ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力が充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 519 | ギャンブルは公営、公益ということで一部限定的に認められている。今回のIR法は民営賭博を認めるものである。巨額の富を外国企業が日本の国外に持ち出すということである。その一部が横浜市に入るだけで、関東近県と横浜市民の財産が奪われるというのがIRカジノの本質である。結局、横浜市民の家計は減少し、そして横浜市の財政は弱体化し、カジノ依存症患者が残る悲惨な将来が待っている。 | 参考 | |
| 520 | カジノは全体のほんの一部というが、残りの大多数は人寄せのための施設であって収益は期待できないはず。言い換えれば、ごく一部であるはずのカジノの収益だけで全体を維持運営する必要がある。そのカジノの運営は日本にノウハウはないので、米国企業か、中国マカオ系企業に委託せざるを得ず、売上/利益の大半は流出することになる。増収効果1000億円と言うが、前述の通り海外企業に課す税金以外の収入はごくわずかだろう。 | 参考 | |
| 521 | カジノもギャンブルも胴元が儲かるだけでしかない。 | 参考 | |
| 522 | IR誘致反対！「カジノ」とは「賭博場」です。胴元の外国企業に横浜市民、日本国民の金が吸い上げられる仕組み。横浜市に入るのはごく少額のその寺銭。 | 参考 | |
| 523 | また、カジノ事業者は外資が想定されており、掛け金の大半は日本人が支出するカジノ粗収益の70%を外資のカジノ事業者の収益とする構造は国益に合致しない。 | 参考 | |
| 524 | IRへ反対意見です。中国人など世界の富裕層だけが来る施設だとしたらいいのですが、国内の日本人が影響を受けるから反対です。あれだけ繁栄したシンガポールのカジノは近隣でもある中国人富裕層の好影響で繁栄しましたが、今は大きく減少、マカオも減少と聞きます。 | 参考 | |
| 525 | 業者は、日本人を狙うでしょう。日本人からカジノ犠牲＝被害を出してはいけません！ | 参考 | |
| 526 | 利益の多くは海外の強欲な業者を更に富ませ、富の循環にはならない。 | 参考 | |
| 527 | 反対いたします。横浜市への利益は心算するほど甘い物では無いと思います。進出する会社が儲かるだけです。そうでなければ進出しません。 | 参考 | |
| 528 | 外資系の会社が参入しているため、長い目でみた場合、日本に何も恩恵は微々たる物です。 | 参考 | |
| 529 | カジノを導入しても、利益の75%は同元である外資系企業に取られてしまい、自治体に入ってくるのは15%です。カジノ導入なんかより地元産業を育てることに資源を注いでください。 | 参考 | |
| 530 | 世界最高水準のIRを実現するために、「文化施設・多彩なホテル・レストラン」など、市民が楽しめる非日常的な空間をつくる計画を拝見しました。しかし、「カジノ」誘致には反対します。財政改善への貢献として、年間820億～1200億円の増収効果があるということですが、これだけの金額が税収として入るには、カジノで負けるお金が6000億～8000億円と言われています。これはカジノを楽しむ人の懐から巻き上げたお金がカジノ業者に6～7割入り、残りの金額が税収として入ることになります。主なターゲットを日本人としているなら、日本人の財産や預金などを外国の資本に売り渡すものであり、カジノには反対です。 | 参考 | |
| 531 | まず目的はインバウンドお客を増やし観光収入を増やすことと理解します。果たして外資系企業の日本の進出を増やしグローバル化を進めるだけで日本の利益になるものなのでしょうか？こうした数値的検証を明確にされているもののでしょうか？ | 参考 | |
| 532 | 開発費用を賄うには、カジノ業者の資金が必要だと言う理論でしょうが、結局カジノ業者は、賭博による利益が見込めるから莫大な投資をすると思います。世界的な大富豪たちからの利益だけで、長期的に事業が継続できるならばそれも結構かも知れませんが、結局損を被るのは日本人であり横浜市民ではないのでしょうか？ | 参考 | |
| 533 | 本来日本国民のものになるはずの資産が、外国資本に流れ出すだけです。 | 参考 | |
| 534 | カジノの運営企業はノウハウの観点から考えて外資だと思しますので、日本国民の富（一部は横浜市民の富）を国外に流出させることとなります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 535 | 横浜 I R カジノの売り上げは年間 3, 800 ～ 5, 700 億円と試算され、I R の売り上げの 80% を占めることになる予想されます。したがって、横浜 I R の売り上げの約 60% ほどが「ギャンブル依存症」重～中程度の人から巻き上げのお金です。その利益も、7 割は外資に持ち出されます。 | 参考 | I R に訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。 また、I R 整備法では、 ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の 30% を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資した I R 施設の建設費の償還や、M I C E 施設等の I R 施設の運営に充てること ・I R 事業者は、長期的に I R の魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、I R の事業内容の向上や I R 整備計画に関する施策への協力が充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 536 | 反対する主な理由は、カジノの誘致により横浜市民・日本国民の富がカジノ事業者に巻き上げられ、市民・国民は貧しくなり、ギャンブル依存症が増え、しかもその富は海外に流出することになるからです。カジノ事業者はカジノ賭博により客からお金を巻き上げ、それを新たな金儲けに使うでしょう。一方、客の一部はカジノで勝つこともあるでしょうが、宝くじと同じで、多くの客は負けてお金を失うでしょう。誘致計画案ではカジノの収益により市の財政が潤うといいますが、それはカジノ事業者が巻き上げのお金の一部に過ぎず、大部分はカジノ事業者の懐に入り新たな金儲けに使われ、貧富の格差を拡大させるでしょう。しかもカジノ事業者は海外資本ですから富を海外に流出させることとなります。市民や国民を貧しくし、会社や店を倒産させ、家庭を崩壊させ、富を海外に流出させて社会が良くなるはずがありません。 | 参考 | |
| 537 | 市長は、カジノの経済的メリットを強調しますが、横浜市に入る税収は 15% だけ。70% のお金はカジノ資本の国に持って行かれます。これは国富流出です。本来、国内の消費にまわされるはずのお金の多くが国内で使われずに海外に流出するのです。多少税収が増えても、地域経済・日本の経済にはマイナスです。国民の多くのお金が海外に流れることを、どうお考えですか？ちなみに、アメリカの地域カジノでは、地域振興のために地域に 70% のお金が落ちるようにしています。ならば「いい」とは言いませんが、いかに日本のカジノがカジノ資本に有利で地域に不利な仕組みかがわかるというものです。 | 参考 | |
| 538 | I R におけるカジノは特定事業者の利益になるだけであって、公的な責任を負わないもののように思える。利益に対して特別の課税をする、免許の更新料を高額にするなどがまったく書かれておらず、事業者に良いようにされるのではないかと不安が残る。 | 参考 | |
| 539 | 外国資本により事業を運営される場合その収益は海外に移転され国内には還元されないでしょう。 | 参考 | |
| 540 | カジノは公営競技ギャンブルとは異なる。公営競技は日本の公的機関が運営しその利益はすべて国内に循環される。財政事情が厳しい地方自治体では頼りになる財源にもなっている。一方、カジノの運営は海外業者であり、寺銭を横浜市に支払っても日本人から巻き上げた主要な利益は海外に搾取される。 | 参考 | |
| 541 | 資料やビデオで「事業者からの情報」と何回か出てくるが、「いい」方に解釈した業者のみでないか。反対側からの意見も載せるべき、検討するべき。 | 参考 | |
| 542 | 外国の運営会社が儲かるだけのカジノは絶対に反対 | 参考 | |
| 543 | I R ではアメリカのカジノ資本、中国のカジノ資本を肥やすだけで日本人を不幸にする I R には断固反対です。 | 参考 | |
| 544 | I R 事業者だけが利益を得るという仕組みにならない様をお願いします。 | 参考 | |
| 545 | 外国のカジノ業者のために莫大な税金を投じて施設を作り、収入の多くを業者にもっていかれる。その収入というのは、日本人が賭博で失うお金です。 | 参考 | |
| 546 | 「外国人観光客が増える」とありますが、素案リーフレットにも明確に「最大 8 割が日本人利用者」と書いています。外国人観光客増加のためという理由が破綻しています。 | 参考 | |
| 547 | 「横浜にカジノ誘致」ということ自体に反対しています。地方自治の基本に立ち返った、自立的な思考ではないでしょうか。「観光・文化都市：横浜」を忘れたか？財政が厳しければ、観光発展に知恵を絞り、例えば、地元商店街への観光客の誘導、ゲストハウスの振興等々と言った様な、当たり前前の行動をしていますか？カジノという巨大賭博場で巻き上げた市民の金の大半は海外資本に持って行かれる。 | 参考 | |
| 548 | 「健全なカジノ事業の収益を活用して」と横浜市の方向性素案に何度も書かれていますが、そもそもカジノは健全だといえるのでしょうか。カジノは公営ギャンブルやパチンコや宝くじとは違い、一瞬にして巨大な金額を負ける（カジノ業者が儲かる）ことができる賭博です。市は外国からの観光客がカジノでお金を使うと考えているようですが、わざわざ日本のカジノに交通費をかけてまで来るのでしょうか？カジノ業者の狙いは日本人の貯蓄をカジノで使わせ、外国のカジノ業者の儲けにすることでしょう。今一度、カジノを含む統合型リゾートの推進を停止してください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 549 | 何の利権が知りませんが、市民の税金を元手にカジノ会社を儲けさせるだけで良い事はないでしょう。 | 参考 | <p>IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。</p> <p>また、IR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 550 | IRには絶対に反対です。（カジノがないとしても）民設・民営としており税金を使わずに、税金があるように見えますが、その“民”はほぼ外国企業と予想され、収益は国内企業にほとんど入らないと思われます。 | 参考 | |
| 551 | カジノのノウハウは市にはないので、外国企業に頼ることになる。税金を使って彼らに儲けさせることは納得できない。 | 参考 | |
| 552 | 儲かるのはカジノ業者だけです。 | 参考 | |
| 553 | さらに言えばカジノ商売のノウハウは日本にはないので運営は海外の会社となり、利潤は海外の会社に吸い取られ、横浜市が実際に手にできるお金はギャンブル依存症の多発などのマイナス面と比較しても微々たるものである。横浜の税金で多くの人を不幸にして、海外のカジノ企業に儲けさせることはない。 | 参考 | |
| 554 | 民営でも国内企業ならまだわからなくもないですが、なぜ外国企業が運営するのですか？利益の殆どは外国に流れていくということですよ。税金が増えるとのことですが、国内客が占める割合が66%？～79%とのこと。単純に計算して外国企業のものになる利益の7？～8割が日本人のお金ということで、日本人の支払うお金に対して増える税金ははるかに小さいです。同じお金を使わせるなら、日本国内でまわるようにしないといけないのでは？ | 参考 | |
| 555 | 毎年国際カジノ資本が市民の懐から数千億の金を海外へ持ち出したら、市内の消費は落ちこみ景気が下落するのは自明の理です。韓国の江原ランドが良い例です。社会不安も増大して、時の経過とともに街が疲弊していきます。横浜市は稚拙なパンフレットを用いて絵に描いた餅で市民を騙す事は止め、行政機関として公正な立場でIR事業の負の側面も伝える必要があります。 | 参考 | |
| 556 | IRは不要です。反対。海外の業者の懐をこれ以上肥やす必要はありません。国内の業者であってもカジノは不要です。血税です。大変な思いをして税金を収めています。市民に恩恵はなくその人たちの懐を儲けさせるだけ、不要です。絶対に反対です。 | 参考 | |
| 557 | IR実現の効果P87 金銭的效果①観光の振興 国内観光客66%～79%（外国訪問者 21%～34%）国内観光客が中心となっています。これで滞在型になりうるのか疑問。事業者は首都圏の日本人がターゲットにしているのではないかと？日本型IRの「インバウンドを呼び込む」という目的・目標と合致していないとしか言えません。入場者数はユニバーサルジャパンよりも多いとしているが、横浜IR（素案）においてはカジノ以外の日本人向け目玉が提示されておらず、他の施設は基本的に海外訪問客には珍しいが日本人向けの集客力となるには具体策が無さすぎです。カジノ抜きには数字の実現性が極めて乏しいと言わざるを得ません。結局IR＝（日本人向け）カジノになってしまう恐れが強いのと思います。 | 参考 | |
| 558 | カジノ（博打）は新たな生業・価値を生み出さない。カジノ（博打）の金が胴元に集まり、生活の為に消費購買力が失われるだけ。 | 参考 | |
| 559 | カジノは不要と考えます。海外のカジノ業者にお金を吸い取られることは、地域振興とは言いがたいと考えます。カジノ抜きの港のリゾート開発を行ってほしいです。 | 参考 | |
| 560 | 横浜、神奈川の資産が、毎年カジノ事業者（国外）に吸い上げられることも問題です。 | 参考 | |
| 561 | IR事業の展開には次の様な観点から反対です。IR事業としているが、その主体はカジノになる。カジノ（＝ギャンブル）から得られる収益を、市の財政収入に期待する考えには到底賛成出来ません。IR事業（カジノ）は、米国や中国の実施事業者が収益の多くの部分を得る仕組みになっている | 参考 | |
| 562 | 全体を通して当然といえば当然だが、いようにしか書かれていないが、実際にはもっとデメリットが膨らむリスクを孕んでいる事業だと考えている。例えば、仮に富裕層が主の利用者だとしても、カジノ行為粗収益（GGR）の70%は外に出ていくということは、日本全体としてみたときには、マイナスになりかねない。また、その分別に落とされるはずだったお金落ちなくなる。本来トレードオフの関係になるはずなのに、そのマイナス分には言及はされていない。そういったデメリットを踏まえた上で、やるべき事業なのか、現状見えてこない。例えば、この辺りの記事で言及されていることに対して、市として見解が出されているのでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 563 | 「カジノはI Rの3%」と言いますが、素案冊子31頁によれば最大では横浜スタジアムほどにもなる巨大なものです。しかもI Rの売り上げの約7割がカジノ収益となる可能性があります(市のI R検討調査報告書(その4)での横浜がモデルとするシンガポールI Rによる)。つまり、「誘致」を掲げる市長の最大の狙いはカジノ収益なのです。外国人客が増えるとか増やすとか言っていますが、I Rの日本人割合は8割近いと想定されています。横浜のカジノから毎年莫大な日本人の資産が海外事業者に吸い上げられるのです。 | 参考 | I Rに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。 また、I R整備法では、 ・カジノの粗収益(GGR:かけ額と配当額の差額)の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したI R施設の建設費の償還や、MICE施設等のI R施設の運営に充てること ・I R事業者は、長期的にI Rの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、I Rの事業内容の向上やI R整備計画に関する施策への協力を充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 564 | 当該施設運営には海外の専門企業、計画案提示企業の関与が必須であろうことから、当該施設収益の30パーセントの収益、当該企業の納付する諸税金等の収益を生む、との説明であるが、それ以上の『国富の海外流出』が実態としておきるであろうし、この点は重要な検討課題と考える立場からはその考慮無かりせば、検証不十分と断言せざるをえない。 | 参考 | |
| 565 | カジノ(博打)は賭ける人から胴元に金が移動するだけ。 | 参考 | |
| 566 | カジノの金が胴元に集まり、生活の為に消費購買力が失われる。 | 参考 | |
| 567 | 横浜市I Rの場合、その巻き上げられた金は、海外にいくのですよね。 | 参考 | |
| 568 | 横浜市民がカジノで2000億円負けても、横浜市経済全体にとってプラスか?カジノ付きI Rを推進する以上、横浜市民が2000億円負けた場合でも、横浜市経済全体にとってはプラスになるという説明を行う必要があると思いますが、その場合の経済効果を説明いただきたい。 | 参考 | |
| 569 | 私はカジノに反対です。カジノの利益の大部分は、日本国民の負け。カジノの利益は、アメリカ企業。 | 参考 | |
| 570 | I Rの儲けについて市の説明会でも、I Rの儲けの15%が市の財政(800~1200億)に当てられることを強調して説明しておられました。裏を返せば、儲けの70%が毎年、海外事業者の儲けとなって、3700億から5600億円、日本から海外へと流出していきます。これは現在の横浜のGDP、13.5兆円の3~4%となります。I Rが営業する30~40年間、毎年、横浜GDPの3~4%のキャッシュが失われる、つまり、3~4%のデフレ状態が30年、40年続くことが、横浜の経済にとってプラスになると思えません。税金が入ってきても、街が死んでいく、シャッター街が増える。 | 参考 | |
| 571 | どうしてもカジノを入れないと困るならば、海外資本を一切入れない事と設備・機器製造・運用は国内企業のみで行う事を厳命願います。海外資本を排除。ラスベガスやマカオの業者が日本のお金を狙っています。 | 参考 | |
| 572 | 実際には胴元の外国カジノ事業者を儲けさせるだけで、40年に亘り横浜市に金が入るところか赤字補填と誘導と社会的コストにかえって金が奪われるカジノI Rを造り、横浜市を外国カジノ事業者の城下町にして国民・市民を依存症者にするいびつな経済構造にし、一体誰が責任を取るのか?市民への公共サービスに関わる公僕としての責任感は一切どこに行ったのか? | 参考 | |
| 573 | 子供たちの未来に向けて、安定した雇用と税収の確保のために、I Rは有効な施策だと考えます。横浜I Rの誘致に積極的に取組んで下さい。 | 参考 | |
| 574 | 財政の寄与は市長が一番強調していますが、主なターゲットを日本人としていることから、日本人の財産や預金など外国のカジノ資本に売り渡すもので反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 575 | 大きな海を前にして、ホテル、公園、が広がっているのはベターだけれどお金をかけて、半永久的に利用出来るなら賛成、だけど、ずっと続けて良質な管理体制がとれるか？気がかりです。 | 参考 | <p>ⅠR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、ⅠR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型ⅠRが参考としているシンガポールのⅠRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。</p> <p>ⅠRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。</p> <p>また、ⅠR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したⅠR施設の建設費の償還や、MICE施設等のⅠR施設の運営に充てること ・ⅠR事業者は、長期的にⅠRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、ⅠRの事業内容の向上やⅠR整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 576 | 博奕は、胴元が儲けるだけです。素人は、騙されます。 | 参考 | |
| 577 | カジノは絶対反対！市長は財政の寄与を強調していますが、カジノで負けた人の懐から巻き上げたお金がカジノ業者に6～7割入り、残りの金額が税収として入ることになります。主なターゲットを日本人としていることから、日本人の財産や預金など外国のカジノ資本に売り渡すもので絶対反対です。 | 参考 | |
| 578 | 近年、カジノ業界は経営が苦しく、日本は数少ないフロンティア、とのこと。カジノのターゲットは外国人でなく、日本人である。 | 参考 | |
| 579 | 横浜にカジノはいらない。もっと生産的なものづくりをする政策が必要。私たちの中でも、パチンコ1回行くと1万円位負けるのでやめたと言う。ばくちはいらない。生産的でない。 | 参考 | |
| 580 | ⅠRそのものが日本に上陸することに、反対です。ラスベガスではすでにⅠR（カジノ）産業が行き詰り次のターゲットを日本に向けているのです。法案設立が間違っているので白紙に戻すべき。 | 参考 | |
| 581 | 素案で示す7項目の「拡がり循環する効果」をカジノなしで実現すれば市民感情を二分することなく、全員が賛成するはず。 | 参考 | |
| 582 | 日本第二の都市がバクチの寺銭でしかやっていけないとは情けない！夢がないネ。 | 参考 | |
| 583 | カジノに頼ろうとするのは、横浜市長をはじめ、計画者の発想の貧困を示しています。もっと街の活性化や文化、学芸、技術の向上に役立つ施策に智慧を絞ってくださるよう、お願いいたします。 | 参考 | |
| 584 | カジノ施設がⅠR施設全体の3パーセントの面積であることを記載しているが、そのカジノ施設からの収益がⅠR施設全体の何パーセントになると予想しているのかの記載がない。本素案は、カジノ施設がⅠR施設全体の3パーセントの規模であるとしている（本素案46頁）。その一方で、本素案は、「健全なカジノ事業の収益を活用」することを前提としている（本素案31頁）。つまり、本素案は、カジノ事業の収益の活用を前提としており、ⅠR施設全体に対するカジノ事業からの収益の割合は高いものと思料される。このように、カジノ事業の収益の割合が高いとすると、カジノ事業からの収益を追及する余地、カジノにのめり込む客の増大化を招き、ひいてはギャンブル依存症患者の増大化を招くことにもなりかねない。しかしながら、本素案はカジノ事業の収益の活用を前提としているにもかかわらず、カジノ事業での収益のⅠR施設全体の収益に占める割合の試算すら示されておらず、ギャンブル依存症患者の増加に対する懸念に十分に応えていない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 585 | P 8 9. カジノ納付金を粗利益の30%とは正に驚きです。 | 参考 | <p>IR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型IRが参考としているシンガポールのIRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。</p> <p>IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。</p> <p>また、IR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています |
| 586 | 基本的には賛成ですが、市民視点から、今後の福祉への財源をカジノ、IRに頼ることは承服しづらいです。もっと子どもの教育、若い（働く）世代の人口増に知恵を絞ることも注力して頂きたい。 | 参考 | |
| 587 | 近くにできれば、それを利用するのは、横浜市民、市民を犠牲にしてまでの、IRは、不要と考えます | 参考 | |
| 588 | 高齢化に伴う財政安定化のため、IR誘致することはいいとして、すぐに飽きられるような施設にはダメ。再投資して、つねに新しい、ディズニーランドのように魅力的な施設にしていけないと。 | 参考 | |
| 589 | 市民がカジノに使うお金は、家族の食事や衣服、子どもたちの教育費、家族の楽しいイベントなどに使うはずのもの。それによって町のお店も潤います。その大事なお金がカジノに吸い取られる。 | 参考 | |
| 590 | 財務の寄与は市長が一番強調していますが800億から1,200億円が税収として入るのにはカジノで負けるお金が6000億から8000億とされています。このことは人の懐から巻き上げたお金がカジノ業者に6-7割入り残りの金額が税収として入ることになります。主なターゲットを日本人としているの財産や預金など外国のカジノ資本に売り渡すものです。私は絶対反対します | 参考 | |
| 591 | カジノは反対 多くの人々をギャンブル漬けにし毎年7000億円もの巨額を負けさせ続けることによる税収を目論むこと自体まちがっていると思います。市民は、ギャンブル依存症の人やその家族の涙による収益は望みません。カジノ抜きハーバーリゾートをぜひ、計画して下さい | 参考 | |
| 592 | IR（カジノ付）に反対です。カジノの収入はすべて、客（多くは日本人）の負けたお金。その一部が市の収入として入って来る。そんなお金で横浜市を政治をやってほしくない。カジノ＝とばく抜きのIRなら賛成です。 | 参考 | |
| 593 | 横浜市は市民税や入場料収入などの増収効果が1000億前後を見込み、市民の税負担が減る、などと大甘の想定をしている。これは負け金が5000億から8000億なければ成り立たない。カジノ客の7、8割は国内客とみられ、国民、市民の大負けを前提の試算である。 | 参考 | |
| 594 | 方向性3、拡がり循環する効果の各項目に対してカジノ客が貢献するものはない。 | 参考 | |
| 595 | カジノは地域の力にはならない。 | 参考 | |
| 596 | 横浜市がモデルとして参考にしているシンガポールのIRについて、IR事業者の売り上げが、営業開始から数年は80%以上がカジノによる売り上げであったこと（投資したカジノ企業が投資資金を早急に回収するためと考えられる。）や10年経った今でも70%を超えていることを市民に隠したまま、カジノを含む統合化リゾート（カジノIR）を横浜に誘致を進めることに反対します。過去4回あった、横浜市のIRの調査資料のなかで海外のIR事業者の部門別の売り上げが記載されているのは、第1回の報告書だけであったと記憶しています。それもカジノ以外の売り上げが3割未満であることだけが記載されていました。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 597 | IR事業の各業種収益の割合予測を知りたいです。 | 参考 | IR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型IRが参考としているシンガポールのIRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。 |
| 598 | IR事業がうまくいった時に地域を拡充することはありえますか？拡充するとしたらどの辺になりますか？ | 参考 | IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。 |
| 599 | カジノ施設がIR施設全体の3パーセントの面積とありますが、素案ではそのカジノ施設収益がIR施設全体の収益の何パーセントと予想しているのか示していません。事業を考える際に、面積だけで事業規模を考えられる訳では無いことは当然です。カジノからの収益がどの程度で、その他はどの程度の収益を見積もっているのでしょうか。危惧されることとして、三パーセントの面積のカジノがIR全体の主たる収益源となり、その収益でIR内のホテルや飲食などがダンピング的に値引きされる場合には、横浜を訪れる観光客は、横浜市内のホテルや飲食店を利用せず、IRに集中してしまい、他の横浜市内の事業者を圧迫する危険性があります。横浜市内の事業者の公正かつ自由な競争を確保するためにも、極端な値引き競争にならないようにすることが必要であることを考えてもカジノ収入がIR全体でどのくらいのパーセンテージになるのか、それで公正な競争が維持できるのかを検証する必要があります。 | 参考 | また、IR整備法では、 ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力を充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 600 | IR法案そのものが箱物造りの国政で（オリンピックも同じ）建てて50年でこわすより、現状100年200年使用できる（高潮・津波にも耐える）強固なものにすると、建設・予算は高いものになる | 参考 | |
| 601 | カジノ施設がIR施設全体の3パーセントの面積とありますが、素案ではそのカジノ施設収益がIR施設全体の収益の何パーセントと予想しているのか示していません。事業を考える際に、面積だけで事業規模を考えられる訳では無いことは当然です。カジノからの収益がどの程度で、その他はどの程度の収益を見積もっているのでしょうか。危惧されることとして、三パーセントの面積のカジノがIR全体の主たる収益源となり、その収益でIR内のホテルや飲食などがダンピング的に値引きされる場合には、横浜を訪れる観光客は、横浜市内のホテルや飲食店を利用せず、IRに集中してしまい、他の横浜市内の事業者を圧迫する危険性があります。横浜市内の事業者の公正かつ自由な競争を確保するためにも、極端な値引き競争にならないようにすることが必要であることを考えてもカジノ収入がIR全体でどのくらいのパーセンテージになるのか、それで公正な競争が維持できるのかを検証する必要があります。 | 参考 | |
| 602 | 「横浜市IRカジノ構想案」に徹底して反対します。モデルとしているシンガポールではIR売上げの約7割がカジノ収益ではありませんか。要するにカジノ以外のIR施設はどうでもよく、カジノというだけバクチ場を作ろうとしているにすぎません。速やかに「横浜市IRカジノ構想案」を撤回しなさい。 | 参考 | |
| 603 | ・カジノは観光や経済成長にはほとんど無縁である。8割が日本人・市民の豊かな暮らしにならない。カジノでの負け金が毎年いくら必要なのか数字で示せ。 | 参考 | |
| 604 | 海外の参入業者が利を得るだけとなると危惧しています。 | 参考 | |
| 605 | カジノはIRの3小にしかすぎない。ウソIRといわれても、ほとんどの人は中味をしらない。文化しせつ？かんこう客をあつめて市のざいせいをゆたかにする？ウソ、一部のひと、外国のとばくのしきん関係者だけが利益をえる。 | 参考 | |
| 606 | 日本を訪れる観光客の内、カジノを当ての人は極少でそのような人が落とすお金も少なく当てにすべきではない。近年の統計によれば、パチンコ、競輪、競馬を楽しむ人口が減少傾向にあることから、日本人の所得でカジノを楽しむに出来る人がどれほどいると考えているのか。一部利権者の懐を潤すだけである。 | 参考 | |
| 607 | お金持ちの外国人が遊びに来るようなイメージを振りまいているようですが、とんでもない。市長の記者発表の資料では国内観光客の割合が66%～79%と予測しています。カジノのターゲットは日本人の財産ではないですか | 参考 | |
| 608 | IRの売上げと収益は、そのうちカジノの割合は外国人が多くなるといわれていますが日本人の割合は。 | 参考 | |
| 609 | お金持ちの外国人が遊びに来るようなイメージを振りまいているようですが、とんでもない。市長の記者発表の資料では国内観光客の割合が66%～79%と予測しています。カジノのターゲットは日本人の財産ではないですか | 参考 | |
| 610 | お金持ちの外国人が遊びに来るようなイメージを振りまいているようですが、とんでもない。市長の記者発表の資料では国内観光客の割合が66%～79%と予測しています。カジノのターゲットは日本人の財産ではないですか | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 611 | お金持ちの外国人が遊びに来るようなイメージを振りまいているようですが、とんでもない。市長の記者発表の資料では国内観光客の割合が66%～79%と予測しています。カジノのターゲットは日本人の財産ではないですか | 参考 | <p>ⅠR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、ⅠR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型ⅠRが参考としているシンガポールのⅠRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。</p> <p>ⅠRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。</p> <p>また、ⅠR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したⅠR施設の建設費の償還や、MICE施設等のⅠR施設の運営に充てること ・ⅠR事業者は、長期的にⅠRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、ⅠRの事業内容の向上やⅠR整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 612 | お金持ちの外国人が遊びに来るようなイメージを振りまいているようですが、とんでもない。市長の記者発表の資料では国内観光客の割合が66%～79%と予測しています。カジノのターゲットは日本人の財産ではないですか | 参考 | |
| 613 | お金持ちの外国人が遊びに来るようなイメージを振りまいているようですが、とんでもない。市長の記者発表の資料では国内観光客の割合が66%～79%と予測しています。カジノのターゲットは日本人の財産ではないですか | 参考 | |
| 614 | ⅠR構想自体はともかく、問題はⅠR売上げの約7割がカジノ収益となる試算を考えると、絶対反対です。地域から毎年莫大な資産が海外事業者に吸い上げられたりすることや、バクチの負け金の一部とはいえ、市の財政を支えるなど、考えたくもない。 | 参考 | |
| 615 | お金持ちの外国人が遊びに来るようなイメージを振りまいているようですが、とんでもない。市長の記者発表の資料では国内観光客の割合が66%～79%と予測しています。カジノのターゲットは日本人の財産ではないですか | 参考 | |
| 616 | 税金が800億～1200億と目論んでいるが、その陰には6000億～12000億を巻き上げられた人たちがいる。そこには何の生産性もなく、不健全な世界があるだけで、「豊かで安全・安心な暮らしを維持」という市の取り組みからはほど遠いものがある。市民との対話も「コロナ」の為に中止になったまゝ、再開の目途も立っていない。今の状態のまゝでカジノへ向けて動き出すことは許されない。 | 参考 | |
| 617 | カジノなんてとんでもない話です。バクチ場ですよ！！バクチというのはもうかるのは胴元だけで横浜市はちっとも潤いませんよ。 | 参考 | |
| 618 | 海外カジノ業者の利益の為にカジノは断じて反対 | 参考 | |
| 619 | 客観的に見れば、米国企業が潤うだけではないですか？ | 参考 | |
| 620 | 汚職がからむ事業は収益が莫大でありほとんど事業者のものとなる。 | 参考 | |
| 621 | 横浜ⅠRには反対です。ⅠR計画では、収入の多くは、カジノにたよります。 | 参考 | |
| 622 | そもそも、カジノで財政を立て直すこと自体絵空事だと思います。カジノの売上＝負け金の約7割はカジノ業者に入り、その残りが税金になるそうですが、その為には莫大な負け金が必要ですね。 | 参考 | |
| 623 | ⅠR誘致自治体の基本構想のデータを見るとⅠRへの投資額やカジノ利用者数、カジノ売り上げが非公表となっている。市民に全て情報開示すべきである。 | 参考 | |
| 624 | 「ⅠRへの国内観光客割合66～79%」とあります。「66～79%」という数字は日本人が多数カジノに入らなければ「横浜ⅠR」は成り立たないことを正直に語っています。 | 参考 | |
| 625 | 「3. 横浜ⅠRの方向性」の部分です。「カジノを行う区域の面積はⅠR施設全体の床面積の3%以内」と、カジノの影響が少ないかのように書いていますが、説明会でも「カジノの収益がなければⅠRは成り立たない。カジノなしのⅠRは無理だ」と横浜市の担当者ははっきり答えられました。床面積の問題を持ち出すのはもうやめてください。 | 参考 | |
| 626 | いかなる大義名分を冠しても「バクチ」です。「一攫千金」「泡銭」を狙う、あるいは、それを利用して巨額の富を手にした、まさに拝金主義に群がる仕組みを行政が進めるのですか？その「からくり」に手を染めたら、抜けられないでしょう。 | 参考 | |
| 627 | カジノは賭博である。ⅠRの方向性を見たがいとこ取りばかりで、カジノ付を説明していない。わずか3%というが、とんでもない事。そのカジノでⅠR全部をまかしていく事を説明していない。カジノを外せ！！ | 参考 | |
| 628 | 市は、カジノにより市の財政が潤うと言っているが本当にそうでしょうか？業者の儲けのお裾分けを貰う事は、市の健全な財政運営に資するとは思えない。カジノ建設にかかる税金を使い、健全で文化的な美しい町にしたい。 | 参考 | |
| 629 | ⅠRは国内客向けのものというのが本音なのだろうか？そもそも横浜再生にⅠR誘因の観光が切り札というのは余りに寂しい話ではある。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 630 | IRの中核的事業と思われる「カジノ」誘致には、私は根本の所から“反対”しています。皆様はカジノというばくちの“上がり銭”で、市財政の費用の根幹を賄うことが私たちの故郷である横浜を本当に愛することにつながると思いますか？ | 参考 | <p>IR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型IRが参考としているシンガポールのIRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。</p> <p>IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。</p> <p>また、IR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 631 | MICE施設・エンターテインメント施設・魅力増進施設などを作りたいという横浜市の考えは分かりますが、なぜそこにカジノが必要なのでしょう？展示場や会議場を作るのであれば、カジノ抜きで作ってください。 | 参考 | |
| 632 | チラシに一面の半分位をさいて“IR”誘致について長々と書いてありました。ただIR施設が老朽化した時に施設を補修するにはたい変なお金がいる。 | 参考 | |
| 633 | 91頁の「循環効果」は素人レベルの取らぬ狸の皮算用です。即刻カジノ抜きの横浜市の発展計画、税増収計画を考えるべきでしょう！ | 参考 | |
| 634 | 横浜の品格を落とすカジノIRを誘致することは反対です。日本人の負け分は本来他の消費等に使われ経済が回ってゆくのに必要なこの金額が、毎年20～40年にわたり家計を圧迫する効果をもたらす。個人市民税が今後減少してゆくと説明されたが、それに輪をかけることになる。この矛盾のある、市民・国民を食い物にするカジノIRを誘致するのは反対です | 参考 | |
| 635 | 横浜にIRはいりません。統合型リゾートと言っていますがIRの収益の何%がカジノからの収益かを素案では書いていません。都合の悪いことは書かないのですか。 | 参考 | |
| 636 | IRの収入は、カジノ頼み。カジノなしのIRを検討もしていない。 | 参考 | |
| 637 | IRは開港以来、日本で新しい歴史を作り続けている横浜市に相応しいと思う。新しい価値を常に創造できるように、一度完成したら終わりではなく、拡張性や可変性を可能性として残した施設として欲しい。 | 参考 | |
| 638 | IR実施による税収増は横浜市の予算規模と比較して大きくない。 | 参考 | |
| 639 | 1/28 横浜4区説明会において、カジノ売上げの70%がIRのランニングコストだと市長から説明あり。なのに、カジノ売上げ・利用者数等が開示されないのはなぜなのか。 | 参考 | |
| 640 | お願いですから横浜にカジノ施設を建設するのはやめてください。カジノは胴元だけが儲かる取引であり、喧伝されてるような経済的波及効果はありません。 | 参考 | |
| 641 | カジノ運営を持続可能なものとするためには、公営競馬等に代表される公益事業化が必要です。（海外等のカジノ事業者に丸投げ？げと言うのは反対）。そこで得た利益を最大限に社会還元するというビジョンの作成を期待します。 | 参考 | |
| 642 | 横浜IRの方向性は『カジノを含まない』ことを前提で行うべきと考えます。カジノの客が郊外部を含む市全域に波及する効果をあてにすべきではありません。 | 参考 | |
| 643 | これ以上、一円たりとも、IR、カジノ誘致に予算を費やすべきではない。市長が繰り返し返しているような税収増は決してもたらされないことが既に明らかなためである。IR、カジノとも、集客を全世界規模での魅力づくりが集客に欠かせない、立地自治体にとっても、経営企業にとっても、儲けにくいことが宿命である産業だ。 | 参考 | |
| 644 | 横浜IR、誘致できるよう頑張ってください。日本でIR（統合型リゾート）という手段で税収を上げられる地域は、今のところ多くて3つですよ。ね。なら、市民のため、横浜市の未来を担う子どもたちのために、ためらわず勝ち取りに行ってください。 | 参考 | |
| 645 | 賛成します。ぜひ世界に誇る横浜IRをつくって欲しいです。一度作って終わりではなく、開業しながらどんどん改良して魅力を高めてほしいです。 | 参考 | |
| 646 | 「IRへの国内観光客割合66～79%」とあります。「66～79%」という数字は日本人が多数カジノに入らなければ「横浜IR」は成り立たないことを正直に語っています。横浜市民のみならず、周辺自治体に住む人々をギャンブル依存症の不幸におとし入れる「横浜IR（カジノ）」誘致には絶対反対です。 | 参考 | |
| 647 | 他の誘致自治体はIRへの投資額、カジノ利用者数、カジノの売上等の試算がなされていますが横浜市はデータが発表されていません。そんなことで安心して誘致に賛成できるでしょうか、市民の6割以上の方がカジノに反対しています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 648 | 私は、横浜IRに賛成します。外観も、リゾートの内容も、一度作ったら完成、ではなく、常にリニューアルしながら、「何度でも行きたくなるリゾート」となるように発展し続けていってほしいです。 | 参考 | <p>IR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型IRが参考としているシンガポールのIRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。</p> <p>IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることを見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。</p> <p>また、IR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力が充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 649 | 面積についてはカジノ施設がIR施設全体の3パーセントとされているが、カジノ施設収益がIR施設全体の収益の何パーセントと想定しているのか示されていない。 | 参考 | |
| 650 | カジノ施設がIR施設全体の3パーセントの面積とありますが、素案ではそのカジノ施設収益がIR施設全体の収益の何パーセントと予想しているのか示していません。カジノからの収益がどの程度で、その他はどの程度の収益を見積もっているのでしょうか。危惧されることとして、3パーセントの面積のカジノがIR全体の主たる収益源となり、その収益でIR内のホテルや飲食などがダンピング的に値引きされる場合には、横浜を訪れる観光客は、横浜市内のホテルや飲食店を利用せず、IRに集中してしまい、他の横浜市内の事業者を圧迫する危険性があります。横浜市内の事業者の公正かつ自由な競争を確保するためにも、極端な値引き競争にならないようにすることが必要であることを考えてもカジノ収入がIR全体でどのくらいのパーセンテージになるのか、それで公正な競争が維持できるのかを検証する必要があります。 | 参考 | |
| 651 | カジノに強く反対します。「依存症対策」などかなりのページ数を割いておられます。でも少し考えてみたら随分おかしなことです。IRを構成する「カジノ」以外の「MICE」「魅力増進施設」「送客施設」「多彩なホテル群」「エンターテインメント施設 レストラン ショッピングモール」に関しては、各々その素晴らしさを大いに謳っていますが、「カジノ」に関しては「落ち着いたエントランス、室内の内装により、エレガントな非日常を感じられる大人の社交場」（46頁）との記載があるのみです。 | 参考 | |
| 652 | IRという間のカジノを数か所日本に設置することがインバウンド拡大に直接つながるものではなく、むしろ、カジノにより日本人資産の外資吸収、民営ギャンブル導入による社会変化など、日本社会への悪影響が大いに想定されるため、そもそも日本へのカジノ設置は反対であるし、ましてや地元横浜にカジノを設置してはならない。 | 参考 | |
| 653 | 「なんでカジノが必要なのか？」というところが見えてきません。施設についていろいろすばらしいことが書かれておりますが、「カジノがなくても十分にすばらしいのでは？」と思ってしまう。カジノなどという反対者の多いものを、わざわざいれなくても、「カジノなしのIR」で十分ではないでしょうか。「カジノがIRに必須」というところが見えてきません。どうしてもカジノが必要だとおっしゃるのなら、なぜそうなのか、素案から読み取れるべきですが、それができません。どうしてもIRにはカジノが必要だというなら、「IRイコールカジノ」なのでしょう。か？「カジノ抜きIR」の方向性をご検討いただきたいと思います。 | 参考 | |
| 654 | 世界に誇る横浜IRを目指しているとのこと、横浜IRへの期待値が上がります。開業させて満足するのではなく、開業後もどんどん改良させて、食欲に魅力を高めていってほしいです。 | 参考 | |
| 655 | 31頁にて、カジノの面積だけでなく、IRにおけるカジノの収益比率も載せてください。 | 参考 | |
| 656 | カジノ事業の事業収益計画については全く数値が示されていない。収益が今後数十年に亘って安定的に計上され、確実に地方税として確保されるかは全く根拠がない。事業主体が海外企業である以上、収益の大半は海外に持ち出される可能性が高い。これは不合理 | 参考 | |
| 657 | 賛成。横浜IRは、一度完成したら終わりではなく、常に更新や改良をすることを前提としたものであってほしい。市民だけでなく世界中の方を魅了する施設になればいいと思う。ぜひがんばってほしい。 | 参考 | |
| 658 | カジノ施設がIR施設全体の3%の面積であることを記載しているだけで、カジノ施設からの収益がIR施設全体の収益の何パーセントになると予想しているのかの記載がない。 | 参考 | |
| 659 | 地方自治体の増収効果として、820億円～1,200億円/年としてありますが、算出根拠が明示されておらず、理解ができません。カジノ事業については、カジノの売上高、カジノ事業の経費、事業者の利益、国の利益、自治体の利益、ゲーム利用者の規模（外国人、横浜市民、横浜市民以外の日本人）を知りたいです。カジノ事業がない場合、横浜IRの採算はどうなるのでしょうか。カジノ事業が有る場合、ない場合の比較検討結果の明示をお願いします。カジノ事業抜きで横浜IRが採算上も成り立つなら反対しませんが、カジノ事業前提のIRは例え横浜独自の対策を取り入れたとしても反対です。*カジノはギャンブルです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 660 | 誘致に賛成します。横浜とともに末長く栄えてほしいので、とくにインフラ整備や建築設計においては、更新や建替えを前提にした持続可能なリゾート開発が行われるといいと思います。 | 参考 | <p>ⅠR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、ⅠR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型ⅠRが参考としているシンガポールのⅠRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。</p> <p>ⅠRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。</p> <p>また、ⅠR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したⅠR施設の建設費の償還や、MICE施設等のⅠR施設の運営に充てること ・ⅠR事業者は、長期的にⅠRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、ⅠRの事業内容の向上やⅠR整備計画に関する施策への協力を充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 661 | 市長は市の財政と市民生活に寄与するとして大型施設の集中招致を掲げ、その費用を賄うためにカジノが必要と言っている。賭博場は胴元の取り分が一番多く儲かる商売だ。日本政府が誘致を表明したとたんに世界各国の業者がすぐ応じているのが何よりの証拠だろう。 | 参考 | |
| 662 | 社会に「負」をもたらすギャンブルを頼りに市の財政をまかなうのは納得できません。ⅠRは、カジノだけでなく、国際会議場・ホテル・各種の娯楽施設があると説明されていますが、しかし、「カジノ無し」のⅠRは出来ないとのことでした。結局は、カジノの「付随」施設ではないのですか。 | 参考 | |
| 663 | CASINOの収益の原資は？参加者の懐から出るCASINO自体は金を生み出さない金を巻き上げられた一般参加者（資産家でない者）はどうするのか？参加者の不幸は参加者の家族の不幸を招く殊更にその様な新たな不幸の種作り出さずとも、現在でも解決すべき市民の不幸は数多い。「CASINOだけでは無い、ⅠRだ」と強弁するが、CASINO無しで成り立つPLANなら、何故CASINO無しのPLANにしないのか？「CASINO無しでは財政の先行きに見通しが立たない」、と言うなら発想の枯渇であるから、直ちに政権を明け渡すべき。最後に横浜（日本）にCASINOは似合わない。博打を打ちたい者はこれまで通り、ラスベガスやシンガポールに行けば良い。 | 参考 | |
| 664 | 財政を理由に賭博場開設を容認する市長の思考は不健全極まりなく許しがたい。賭博場がなくても、財政維持はできます。リゾート開発は賛成ですが賭博場開設は絶対反対。 | 参考 | |
| 665 | 横浜市民として下記『カジノに反対し撤回を求める』意見を提出しますので、市長・市役所として真摯に受け止め反映願います。統合型リゾート・インベションⅠRとかの美辞麗句で誤魔化しているが、問題となっている本質は『カジノ』である。カジノは、胴元（カジノ業者）が客（横浜市民を含む）から金を巻き上げる賭博であり、客や周囲（横浜港周辺）を荒廃させる。「依存症対策を取る」など言い訳をしているが、そもそもカジノは悪影響を及ぼすものであり不要である。横浜の大きな魅力は横浜港を中心とする観光であり、むしろカジノによって一般観光客が離れ消費・税収が減少する。 | 参考 | |
| 666 | p24「ⅠRの事例と効果（シンガポール）」の来訪者、消費額には、ⅠR全体の数字しかなく、それらにカジノがどれだけ寄与しているのかの分析がない。よってカジノの経済効果が明確となっておらず、カジノの必要性の説明になっていない。 | 参考 | |
| 667 | カジノ以外の施設の記述が大半ですが、カジノなしのⅠRでは収益は見込めないのですよね。収益面ではカジノに依存せざるを得ないことは明白です。即刻中止すべきです。 | 参考 | |
| 668 | 反対意見ですⅠRカジノの為に、外国人が日本へ来るのは、多くはあり得ない。マネーロンダリングが主な目的であり、だから近くのマカオとかシンガポールへ行くのであり、わざわざ日本までその事であることは可能性は少ない。結局は、日本人の懐を狙っているものであり、それは許せない。 | 参考 | |
| 669 | 売上げ計画で、海外からの来場者と国内の来場者の比率が不明な点。市民の中には利用者は主に海外からの旅行者と勘違いしている方がいます。売上げに占める日本国民の割合見込み値を教えてください。 | 参考 | |
| 670 | ・ⅠRのお金の流れが歪んでおり、健全に経営されるとは言えません。敷地内の3%しかない「カジノ」の利益が、他の施設の赤字を補う構造は、健全な経営のあり方とは言えません。・カジノが無い「ⅠR」との比較検討がなされていません。…カジノが無い魅力的な「ⅠR」は作れるはずなんです。その検討をすることなく、現行案のみが横浜の未来を救うかのような素案の作り方は不誠実と考えます。カジノの無い未来の財政プランづくりに本気で取り組み、それと比較させて下さい。 | 参考 | |
| 671 | カジノ業者の目的がお金だからです。 | 参考 | |
| 672 | 将来税収の減少が見込まれる中増収を図る意見。カジノの来場者は、主に地元民・日本国民ギャンブルで負けた人のお金を当てにした、増収効果を期待するのはおかしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 673 | カジノ（博打場）が柱ではないのか広報よこはま特別号では、1面のIRの説明で「民間事業者が、展示施設・国際会議場、ホテル、レストラン・ショッピングモール、エンターテインメント施設など、子どもから大人まで誰もが訪れ、楽しむことのできる施設と、これを収益面で支えるカジノ施設を一体的につくり、運営するものです。」としています。あくまでも、カジノ（博打場）が柱なのです。であるのにカジノ施設がIR施設全体の3%の面積であるとして、あたかも小さなもので影響が少ない施設であるかのように見せかけて具体的収益に触れないのは不当です。 | 参考 | IR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型IRが参考としているシンガポールのIRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。 IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることを見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。 また、IR整備法では、 ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力を充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 674 | 『横浜IRの方向性(素案)』原案においては、『カジノ(CASINO)構想を包含する事』が当然視されている様です。これは、国が近年施工した「IR(Integrated Resort)推進」に絡む法律規定において、「カジノ(CASINO)構想」の包含が、必要条件の一つの様にして、位置付けられている…故に、基いているからなのでしょう。然しながら、色々なマスコミの最近の「横浜IR」関連報道に依れば、かなり多くの横浜市民(あるいは日本国民…)が、「カジノ(CASINO)構想包含」に注目して、これを嫌がっています。非倫理的な、行儀の悪い構想…と見えています。従って、「カジノ(CASINO)構想」を除去すれば、横浜IRのそれ以外の大部分を容認・支持する市民もかなり多いのかも知れません。多くの横浜市民が「カジノ(CASINO)の如き非倫理的な、行儀の悪い構想を嫌がっている以上、その意向・希望を反映して「カジノ(CASINO)施設を包含しない(排除した)横浜イノベーションIR(Integrated Resort)構想」の「so-called 第二案」のfeasibility studyにも、並列的に行政energyの一部を注ぐべきではないでしょうか！ | 参考 | |
| 675 | 3%といっても巨大・・・IRの売り上げの7割が・・・毎年5000億円の負け金が必要に・・・8割が日本人・・・などなどこれが事実なら「横浜IRカジノ構想案」に一市民として絶対反対です！！ | 参考 | |
| 676 | 横浜にIR・カジノをつくらないで下さい。IRは、MICE、レストラン・ショッピングモール、エンターテインメント施設、魅力増進施設多彩なホテル群、カジノ、送客施設などと説明されています。しかし、その中で多くの収益は、どこの国の実例を見てもカジノの収益が中心となっています。さまざまな施設を建設し、客を呼び寄せても、それらがすべて広さでは3%しかないカジノに誘導され、その収益となるのは明らかです。 | 参考 | |
| 677 | カジノ反対理由一カジノの単収支計画が曖昧。この件に関しては今後、市民に対して丁寧な説明がされることを期待する。カジノは競争市場であり、参入に際しては競合他社との市場優位性、劣後性などのマーケティングはされていると思量するが、想定しているカジノの客はどのような客で一人当たりの消費額、1日平均の入れ込み数、それに対しての変動費、など根拠を明らかにして説明願いたい。間違っても公募した事業者の数字をそのまま使ってほしくない。 | 参考 | |
| 678 | カジノレス「観光先進国」の方が、得る効果が大きい。つまり、IR法(特定複合観光施設区域整備法)に擦り寄る事は、カジノが開けると言う点以外に何のメリットも無い。民間業者の参入を求めた法令は、既に各種存在している。横浜に即した、(カジノレス)IRを目指した方が、得る効果が大きく、かつ、成功の確率が高いだろう。繰り返すが、IR法(特定複合観光施設区域整備法)に擦り寄っても、カジノが開けると言う点以外に何のメリットも無い。いや、メリットではなく、デメリットでしかないだろう。YIR(横浜型カジノレスIR)を目指すべきだ。 | 参考 | |
| 679 | 素案をよく読み解くとカジノのターゲットは半分は外国人かとも読み取れそうだが、これをまた読み解くと残り半分は日本人だとわかる。やはりインパウンドというより日本人の金を目当てにしたものだ。 | 参考 | |
| 680 | カジノ抜きの横浜型の新しいIRでやればいいのか。IRにこだわるならばカジノ抜きの事業にした方が結局は長い目で見てコストがかからないと思う。 | 参考 | |
| 681 | 今後の横浜市の人口減少などを考えると、何らかの形で収入を得る必要があると考えます。IRはカジノばかりが取り上げられますが、あくまでリゾートの一環であり、現在示されているような一定の規制をかけた上で行うのであれば問題ないと思います。 | 参考 | |
| 682 | 横浜都心臨海部はウォーターフロントの開発に成功した事例として国内外に十分認知されている。横浜のまちづくりの歴史と、歴史に裏打ちされた文化は世界に誇れるものである。「世界最高水準のIR」を目指す方向には異論はないが、カジノの設置には反対する。IRとカジノは何の関係もない。カジノ抜きのIR横浜がクリーンなイメージを増幅し、更なる飛躍を生み出す。市民の将来に渡る豊かな暮らしはカジノ抜きの健全な財政から生まれる。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 683 | カジノの説明の仕方についてカジノの面積は全体の3%以下であることから、資料の中で小さく取られています、お金(経済)の面から見れば違うので、別の記述が必要だと思います。よくカジノ無しでは全体の計画が成り立たない市長は説明されています。それはカジノの儲けを他施設へ還元(コンブ)してカジノへの集客力を高めるからです。非カジノ施設はこのカジノからの還元が無いと採算が取れないからです。ラスベガスではカジノ収益の3割前後をコンブに充てています。今仮にカジノ収益の4割をカジノ業者がコンブに充てるとします。今仮に市内に家を所有する定年退職した男性が、新しくできるカジノのスロットマシンにはまってしまい、有り金全部はたいて使い、その後貯金も下ろしてつぎ込んでA1技術に誘導され依存的になり、持ち家を担保にして最後はその金も使って全部で8千万円をカジノにつぎ込んで破産したとします。経費を除いてカジノ業者はこの男性から5000万円の収益を上げたとします。コンブとして4割の2000万円を使い、残った3000万円の純利益のうち7割の2100万円を取り、残りの3割を国と市が税収として得る形が考えられます。カジノ業者は破綻した男性から8000万円搾り取り、市は450万円の税収を上げることになります。経済的にはカジノが無いと計画全体が成り立たない理由を図を使って説明すべきだと思います。 | 参考 | <p>IR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型IRが参考としているシンガポールのIRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。</p> <p>IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。</p> <p>また、IR整備法では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カジノの粗収益(GGR:かけ額と配当額の差額)の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力を充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 684 | 効果87ページの「観光の振興 インバウンドを含むIRへの訪問者数2,000万~4,000万人/年(うち国内観光客割合:66~79%)IR区域内での消費額4,500億~7,400億円/年」とありますが、懸念となっているカジノでの消費額が不明確です。4,500億~7,400億円の中でのカジノの消費額を明確にすべきだと考えます。その上でカジノの割合が高いのであれば堂々と必要であるといえはいいし、低いのであればカジノ抜きでIRをして市民に提示すればよいと考えます。市民はカジノを問題視しているのであり、IRそのものを問題にしていらないと思います。 | 参考 | |
| 685 | カジノ内にATMなどは設置しないとありますが、カジノ外、IR施設内には他の目的が必要だと思います。カジノ目的の利用に制限や規制をかけることは出来るのでしょうか。IRは法律でカジノも含まないといけないようですが、その他の施設では運営出来ないのでしょうか。 | 参考 | |
| 686 | 「日本型IR」とは何か?(p.17、18)そもそも、「健全なカジノ」と「不健全なカジノ」が存在するというのか?「健全なカジノ」など存在するはずが無い。「日本型IR」はMICE施設から宿泊施設までの4つを設置することを求めているというものの、所詮、中核となるのはカジノである。現に、市長も区説明会の中で「カジノ抜きのIRは考えられない」と言っている。IRの運営に名乗りを上げる事業者も、当然、カジノからの収益を唯一・最大の目的に考えており、MICE施設などはそれを覆い隠すための施設でしかない。 | 参考 | |
| 687 | 横浜の持つポテンシャルの活用方法(p.9~12)横浜市を持つスポーツ施設、港湾施設、空路・鉄路に対するアクセスのポテンシャルの高さを論じているが、横浜は、それらにおいてまさしく高いポテンシャルを有すると考える。だからこそ、カジノに頼るのではなく、横浜市独自の魅力を政・産・学・民が連携して創出し、育てていくべきである。そのような努力こそが持続性を持った活性化に繋がる。安直にスポーツや文化施設、カジノを設置しても、横浜を訪れる者の数は、一時は増えるかもしれないが、長い目でみれば真の活性化にはならないと考える。 | 参考 | |
| 688 | IRそのものについては賛成も反対もできません。説明資料にはカジノを含めた場合、除いた場合の具体的な収益増(見込み)が読み取れないため、市民として「IR」に関する意見を出すには材料が不十分です。カジノの建設・運用については強く反対しています。説明資料にもあるとおり、IRには老若男女様々に楽しめる魅力的な内容が計画されていることが分かりました。カジノを含めなくともよいと思います。 | 参考 | |
| 689 | 財政の改善への貢献について、年あたりの増収効果が示されているが、一般には費用対効果(今回の場合、建設投資額に対する増収)を示す必要があると考えられるかどうか。もし建設投資額が既存の税収からの捻出である場合、今回の経済波及効果の大半は、実は税金を関連業者へ支払っていることとみなすことが妥当であり、その回収が第一義かと思われる増収効果の内、どの割合がこうした投資回収にまわり、どの程度が市にとっての税収の純増となるかを示すことが求められるのではないかと | 参考 | |
| 690 | 先進各国やアジア諸国にもすでにある独自性が低い「カジノ」、それも面積3%の小規模施設がMICEの持続的なエンジンになるとは考えにくいです。 | 参考 | |
| 691 | 資料の17ページでは、横浜市財政ではなく、国の財政に資するためのカジノ事業とも判断できます。カジノで横浜市が(税)収入を得て横浜市民サービスに還元するのは反対ではないけれど、国への財政貢献のためのカジノであれば、国と横浜市で税収をどう配分するのかご教示ください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 692 | 今までの市民説明会での市側の回答を聞いたり、見た結果やパブコメで示された「横浜IRの方向性(素案)」にも、IRの原動力とされるカジノ事業の詳細が全く示されていないことから、市長の進める横浜市のカジノ付きIRは、「絵にかいた餅」で、1兆円規模の投資を行う事業者と長期契約を結ぶには、余りにも根拠がないものと判断しました | 参考 | IR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型IRが参考としているシンガポールのIRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。 IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。 |
| 693 | 市の主張は、「横浜イノベーションIR」が横浜と周辺域の経済的・文化的成長・発展の原点になると主張している。しかもこれを「民設・民営」で実現しようとしている。行政目的を全面的に民間に依存して実現しようとしているところに無理がある。市の主張の実態は「賭博が成長の原点になる」と主張していることと同じであり、幾ら幻想を振りまいても、そのようなことは決して起こらない。IRカジノの先例を見れば、無理な期待であることは明らかである。 | 参考 | IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度とも言われています。 |
| 694 | 『カジノ施設』…設置が絶対要件であれば、『統合リゾート計画』の収益予測の妥当性検討上からも、計画内各ゾーン毎の『収益予測』の開示が必要であり、根本的に当該施設の重要性からその開示が無ければ、『統合リゾート』の横浜誘致計画自体の妥当性の検討が出来ない。諸外国の例では『ゾーン内の各施設』もそれなりの収益を生むが『基本的な収益の柱』は『カジノ施設』と仄聞するからである。 | 参考 | また、IR整備法では、 ・カジノの粗収益(GGR:かけ額と配当額の差額)の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力を充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 695 | カジノの成功は誰かの賭け事で成り立ちます。だれが横浜のカジノにお金を落としてくれますか?裕福な中国人なら言葉の通じる設備の整った、町ごと遊べるマカオに行くでしょう。日本人が主たる客ですか?まさか非正規や貧困で苦しんでいる日本人が相手ではありませんよね。裕福な日本人の何割がカジノで遊ぶことを楽しみにしていますか?リピーターとなってくれる人は誰ですか?定期的にカジノで遊び、散財してくれる人は誰なんですか?全く勝算のない大型カジノリゾートを作って嬉しいのは誰でしょう?そこに気の遠くなるほどの税金を注ぎ込み、儲かるのは誰でしょう?少なくとも横浜市や横浜市民ではないですね。説明責任を果たさず、税金を無駄遣いするだけのIR建設は絶対に反対です。 | 参考 | |
| 696 | カジノの成功は誰かの賭け事で成り立ちます。だれが横浜のカジノにお金を落としてくれますか?裕福な中国人なら言葉の通じる設備の整った、町ごと遊べるマカオに行くでしょう。日本人が主たる客ですか?まさか非正規や貧困で苦しんでいる日本人が相手ではありませんよね。裕福な日本人の何割がカジノで遊ぶことを楽しみにしていますか?リピーターとなってくれる人は誰ですか?定期的にカジノで遊び、散財してくれる人は誰なんですか?全く勝算のない大型カジノリゾートを作って嬉しいのは誰でしょう?そこに気の遠くなるほどの税金を注ぎ込み、儲かるのは誰でしょう?少なくとも横浜市や横浜市民ではないですね。説明責任を果たさず、税金を無駄遣いするだけのIR建設は絶対に反対です。説明責任を果たさず、税金を無駄遣いするだけのIR建設は絶対に反対です。 | 参考 | |
| 697 | 横浜市民がカジノで2000億円?負けた場合の横浜市経済への影響について カジノの負け分の中で、横浜市民の負け分をどれだけ想定しているのか?横浜市の税収を800億円から1200億円増加させることができると伺っております。そしてそのためには、カジノで5000億円は負ける人が必要と聞いています。その場合に、横浜市民がカジノでどのくらい負けると想定しているのでしょうか?横浜市民、神奈川県民、日本人、中国人、その他のアジア系外国人、其の他の外国人について、どう想定しているのでしょうか?負ける人の人数と平均負け額の見通しを教えてください。その負け分が横浜市の経済にどう影響を与えると考えているのか?例えば横浜市民が2000億円負けたとすれば、その分横浜市民の消費が減少すると思います。その影響も大きいと思います。 | 参考 | |
| 698 | 周辺へのトリクルダウンなどは画餅と思います | 参考 | |
| 699 | 税収がへるからカジノを作るといいながら、無駄な資料を配布するのはそれこそ市民税の無駄使いというべきです。地方自治体が民間企業のカジノ業者を儲けさせるなどというのは、市民の生活や権利を守っていくという使命を市長が自ら放棄するものです。観光振興に役立つといっていますが、日本にくる観光客は日本独自の文化・自然などに関心があつてくるので、外国にもあるカジノを目当てにはこないでしょう。嘘八百を並べた怪しげな広報などの発行は税金の無駄遣いしかありません。コロナ騒ぎのなかでカジノ推進などに力をいれず本当に市民の要求に沿った市政を運営して下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 700 | 現在の横浜市の課題、横浜IRを作る目的、施設概要、ギャンブル依存症対策など、スライドに写真や図が多いこともあり、とても分かりやすかったです。今回の素案にもカジノを含むことによる具体的な収益とその具体的な使用方法（円グラフ等）があまり目立たないように感じました。今回の素案からは統合型リゾートを作ることのメリットはとても伝わってきました。しかし、多くの反対者たちは「カジノ」に反対しています。そこで、カジノを含む場合と含まない場合での収益の違い、カジノを含むメリットなどを明確にして頂くよう要望申し上げます。ホテルや会議場、展示場だけではなぜ足りないのかを説明いただけたら幸いです。 | 参考 | IR区域内での消費額は、事業運営が安定したベースで年間4,500億円から7,400億円としています。この消費額の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、これから公募を行う現段階では、各事業者のノウハウや戦略となっているため、お示しできませんが、日本型IRが参考としているシンガポールのIRにおいては、70%程度がカジノの売上となっています。 IRに訪れる観光客数の割合は日本人が多くなることが見込まれる一方、有識者からは、カジノにおける日本人からの売上は、半分程度となると言われています。 また、IR整備法では、 ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力を充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |
| 701 | IRへの国内観光客の訪問者数の割合が多いが、カジノ利用者数（内日本人の数）の目論見を記載してください。IR内の消費額の海外観光客、国内観光客の内訳を記載ください。カジノ売上金額、入場料は、観光消費額に含まれるのでしょうか。 | 参考 | |
| 702 | IRの中でカジノはたんなる施設の一つではなく、設置がマストの「国策」です。IR全体でカジノは稼ぎ頭です。横浜では「世界最高水準のIR実現」といいますが、そのためには「世界最高水準」のカジノが必要です。横浜では、収益比90%、あるいは、100%でも目ざすのですか。そんな「最高水準」など、横浜の自慢にもなりません。横浜の未来に必要なだけでなく障害物です。やめてください。 | 参考 | |
| 703 | カジノの運営において、年間の利用者をもどの程度として見積もるのか、そのうち、日本人と外国人の比率はどの様に想定するのかという問題です。業者によって推定値がいろいろ異なるとされますが、目標値というものを設定してしかるべきです。目標値以前に、日本人だけ、あるいは、外国人だけという限定運営とするのかどうか。IR整備法では、そうした限定はしていないとすると、外国人を主体にするのか、そうではなく日本人主体か。どういうバランスをとるのか。やってみないと分からないというのではなく、運営方針の問題です。この判断は、すべて、業者自身の決定（目論見）に委ねられるものでしょうか。このことは、カジノの収益比率をIR全体のどのくらいすることを目標とするかということとも重なります。そして、また、そのことは、カジノの設置規模をもどの程度にするのか、外国人向けの仕様設備やデザインや日本人向けのそれをどのように配置するのかということも深く関連のあることではないでしょうか。また、日本人を主体にする方針ならば、日本人が参加しやすい設備運営の工夫が求められるでしょう。 | 参考 | |
| 704 | IRを具体的にどの様な規模で構想するのか、横浜市の〈目標と水準〉を明示し、市民の意見を求める段階を厳格に準備すべきです。カジノに依存しないIRをこそ目指すべきです。 | 参考 | |
| 705 | カジノ施設がIR施設全体の3パーセントの面積であることを記載しているが、そのカジノ施設からの収益がIR施設全体の収益の何パーセントになると予想しているのかの記載がない。 | 参考 | |
| 706 | 横浜市は、カジノはIR会場内の「面積の3%」で、大したことは言っている。しかし、海外の実態は、カジノの上がり成り立っている。従って、カジノ抜きIRは無いといえる。IRとは名目であって、「真の目的はカジノそのもの」である。この真実を市民、国民に伝えることが行政の責任です。この点を説明して下さい。 | 参考 | |
| 707 | カジノの設置には反対です。素案にはカジノの面積・売上高の予算規模が示めされていません。カジノの売上高はIRの総収入の相当額を占めていると伺っております。カジノの面積はIR全体の4%位と伺っていますが、面積に対して売上高が大き過ぎます。IRというのではなくカジノ施設という印象が強いです。世界にはアジア、アメリカにカジノ施設が沢山あるのにどれだけの外国人がカジノをするために日本に訪れるのか疑問です。カジノには一考を望みます。 | 参考 | IRによる年間820億円から1,200億円の本市増収効果は、カジノの売上だけではありません。この中には、床面積の3%以内のカジノを含めた、MICE、ホテル、エンターテインメント施設など大規模な建物にかかる固定資産税等や、リゾート施設全体の収益に伴う法人市民税なども含まれています。 この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。〈方向性P.89〉 なお、シンガポールのIRでは、7割程度がカジノの売上となっています。 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 708 | IRの利益について、個別税制が可能か？（税率を高く、する？） | 参考 | |
| 709 | 市の利益は賃賃料（土地）だけ。カジノを含む（IR）統合型リゾートに反対 | 参考 | |
| 710 | 横浜IRではカジノからの年間収入を820億～1,200億円（納付金＋租税、入場料等）と想定しているがカジノゲームで横浜IRが期待する収入額を継続的に得ることは到底考えられない。さらにカジノ事業の設置、運営の一切は外資のカジノ事業者委任され彼等の仕法に従って営まれるがビジネスとしては彼等の利益が最優先されることは自明で我が国の公共自治体の事業としてこの様なケースは他に例がなく国の新設機関の管理委員会の監査機能も期待し難い（当初から24時間営業を容認しているのが好例）とところである。 | 参考 | |
| 711 | IRの経済効果は、主に敷地3%のカジノ利益。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 712 | 事業者選定を行う前に、「IRの増収効果」についての前提条件と算出根拠を公開・説明することが必須と考えます。「区域整備計画策定までに明確化」では、要否の判断ができません。MICE・ホテル等の利益は一般則で推測できても、カジノでどれだけの利益を出せるかは業者固有のノウハウに依存します。「カジノ面積は3%」「依存症対策は行う」の一般論だけでは、具体的な判断ができません。根拠が示されずに、市民の理解が深まる筈もありません。 | 参考 | IRによる年間820億円から1,200億円の本市増収効果は、カジノの売上だけではありません。 この中には、床面積の3%以内のカジノを含めた、MICE、ホテル、エンターテインメント施設など大規模な建物にかかる固定資産税等や、リゾート施設全体の収益に伴う法人市民税なども含まれています。 この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。＜方向性P.89＞ なお、シンガポールのIRでは、7割程度がカジノの売上となっています。 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 713 | IRの利益は8割を延べ床面積3%と小さく見せている（実際は大きくなる）カジノにかかっている。 | 参考 | |
| 714 | 「増収効果は1,000億円以上」としていますがこの収益はどの施設、事業が生み出すのでしょうか。シンガポールのIRではIR売上げの約7割がカジノ収益だといえます。増収効果1,000億円以上を売上げるためには毎年5,000億円ほどのカジノ客の「負け金」が必要になります。 | 参考 | |
| 715 | 世界一の規制をしても、結局、カジノの収益で運営、しかも、その利益を市の財政にと言うことであれば、莫大な賭博からのまきあげがないと、出来ないと言うことではないか。今の市のIRは、カジノの事をあまり書いていないが、それこそ市民だましだし、とんでもない。カジノのある、IRは絶対反対だ！ | 参考 | |
| 716 | IRの本質は、ばくち場の開場です。売上げからの税収は見当ちがい怒りを感じるよ。 | 参考 | |
| 717 | 市の財政が苦しいからカジノの収益に頼る等を考えるのは市民をあざむき、だますものです。まともに市の事、市民の事を考えて下さい。 | 参考 | |
| 718 | 依存症対策が万全で、依存症患者が出なければ、カジノはもうからないはずであり、そうなれば市の税収増もない。カジノを含むIRによる800億から1200億の税収と、万全の依存症対策と言うのは、そもそも矛盾しており、両立しない話である。横浜にカジノはいらない。作ってはならない。 | 参考 | |
| 719 | 市が出しているカジノのもうけ予測は最大数値だろう。損はどの位か、試算が出ていると思うが、それも公表してほしい。補填はどうなるか。たとえば、当初もうけがあったとしても長続きしない。そこに来る人数予測は厳しい筈。 | 参考 | |
| 720 | 土台となる人々の生活基盤を切り崩しておいて、カジノから税収があっても、それは、どんな意味があるのでしょうか。カジノに反対します。 | 参考 | |
| 721 | 横浜インベーションIRをアドバルーンにしている基本コンセプト。なにゆえ、カジノを入れるのか！カジノはバクチで、経済効果は期待できない。コンセプトにカジノはないのは、なぜか。カジノを隠している。正々堂々とカジノを打ち出せない、後めたさありあり。 | 参考 | |
| 722 | 市民の大半が反対しているカジノについて本当に儲かるのか、具体的な数字での説明は87Pのみ。しかも出典や根拠すら示されていません。カジノ事業者の数字ではなく、中立・公平性が担保された詳細金額明記の案を改めて発表していただき、それが納得出来るものであれば賛成します。 | 参考 | |
| 723 | 増収効果1000億円以上と説明されていますが、日本中からカジノに来て財産を失っていく国民の事を考えて下さい。 | 参考 | |
| 724 | わずか3%の面積で収入を賄えるほどの負けを前提とした収入で横浜市の財政を賄おうとしているのは納得できません。 | 参考 | |
| 725 | 市の素案によれば地方自治体の増収効果 ※820億～1,200億円/年とあります。これはカジノでおおよそ毎年5000億円負ける人が出るといいます。本来なら暮らして消費に回るお金が賭博に使われてしまいます。 | 参考 | |
| 726 | 市は、800～1200億円/年の財政貢献があるといっていますが、その金はギャンブル依存症者からまきあげたもので、家計の破綻、多重債務、自己破産、犯罪まで引きおこし、財政貢献以上の生活保護などの社会保障費、治安維持のための費用の増加などの財政負担をもたらします。 | 参考 | |
| 727 | カジノ以外で、大きな金額を市にもたらすものはあるか？無いのではないか？各施設は民間委託なので市は算定していないということかも知れないが、法人税収入が予想できるか？あれば数字を上げ納得させてほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 728 | 横浜IR計画自体の再検討を求める。本来公共事業において市民に真っ先に示すべき横浜市独自の損益分析も敢えて示さず、社会的コストは一切示さずに、外国カジノ事業者の誇大な経済波及効果だけを言いなりで臆面もなく小さく示すだけで推進するのは、詐欺である。不要であり、長期に亘り、弊害が多く、利益に乏しく、欺瞞に満ちたカジノIRは速やかに撤回し、医療福祉と就業経営と生活生存の保障にこそ充てるべきである。 | 参考 | IRによる年間820億円から1,200億円の本市増収効果は、カジノの売上だけではありません。 この中には、床面積の3%以内のカジノを含めた、MICE、ホテル、エンターテインメント施設など大規模な建物にかかる固定資産税等や、リゾート施設全体の収益に伴う法人市民税なども含まれています。 この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。＜方向性 P.89＞ なお、シンガポールのIRでは、7割程度がカジノの売上となっています。 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 729 | 市財政への貢献について、pdf 87ページでは820億～1,200億円/年としているが、根拠が不明。業者の試算そのままのことが、利害関係者が作った数字では意味がない。 | 参考 | |
| 730 | 財務改善への貢献として820億から1200億円/年とありますが、根拠が示されていません。横浜市への還元が収益の15%だとするとカジノで損失する人の金額はいくらなのか提示してください。収益は、個人が失う財産から生まれます。横浜市は、法人税よりも個人の市民税で潤っている自治体です。その市民の財産を奪う形で収益を上げたとしてもそのついでに何倍もの税金を使うことになります。 | 参考 | |
| 731 | 横浜IRの方向性(素案)では、横浜市の「財政の改善への貢献」と題して、「地方自治体の増収効果」を「820億～1,200億円/年」としています。「納付金収入」というのはなんでしょうか。IR法では、カジノの収益に対し、一定の税金(カジノ粗利の30%)を予定しています。その横浜市への上がりのごとでしょうか。それとは別に、横浜市は、事業者にも、一定の市への「納付金」(上納金)を求めているのでしょうか。そうだとすれば、それがどの程度かは、横浜市と事業者との契約も問題になるでしょう。「納付金」は税金ですが、パーセントについては国レベルの規定は規定として、個別の契約で変動しうるものなのか。「給付金」も、収益との関係で変動的なものなのか。どうなのでしょう。明確にしてください。 | 参考 | |
| 732 | そもそもバクチを市の主要な財源とすること、バクチに市の未来を託すことは、横浜市のあり方を一変させることであり、市民にとって死活的に重要な事柄だ。 | 参考 | |
| 733 | 増収効果の試算になる為には、カジノでどれだけの負け金を回収する必要がありますか。 | 参考 | |
| 734 | 大きな方向性に異議はありません。費用(諸リスク)対効果に多少の不確実性はあるものの、人口減少、高齢者増加という環境を考慮すれば、地域経済活性化の為、考え得る手段を尽すべきであり、その一つとして評価します。 | 参考 | IRには「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、横浜市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。 例えば、IR区域内の、大規模なMICE施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。 先進事例である、シンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞ IRの経済波及効果は、建設時7,500億円から1兆2,000億円、運営時に年間6,300億円から1兆円としています。 この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。＜方向性 P.89＞ 事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 735 | 横浜市の経済効果が良くなる為にながらばして下さい。 | 参考 | |
| 736 | IR、私は大賛成です。みなとみらい地区の素晴らしさを世界中に、見ていただけると共にこの横浜が活性化出来る事に大きな期待を持っています。ギャンブル依存症など気にする事もないと思います。カジノは、それなりにお金のある方がやるのであって、そういう人々に横浜を盛りあげていただけるとありがたいです。 | 参考 | |
| 737 | 「むかし思えばとま屋の煙ちらりほらりと立てりしところ」の横浜村が先人達の優れた先見性により今日の横浜を迎えたものと思います。我が市横浜の益々の発展と世界との係りとを考えると「横浜IR」を積極的に推し進めて将来に悔いのないようにして欲しいと思います | 参考 | |
| 738 | 横浜の活性化のためにも必要な事業だと思います。 | 参考 | |
| 739 | 横浜の将来を考えた時、様々な面でのメリットは確かに存在し必要な取り組みであると考えます。リスクはありますがそれに見合うだけの成果が見込まれるので積極的に進めて頂きたいと思えます。 | 参考 | |
| 740 | 横浜市の企業に勤めている者です。横浜市の将来のためにはIRは絶対必要だと思います。いろいろな課題がありますが1つずつ解決してゆき、是非実現させて下さい。大いに期待しています。 | 参考 | |
| 741 | 横浜IRの方向性素案を見る限り、カジノの負の資産には全くふれず、あたかもカジノ以外での取組みで横浜が潤うような記載になっています。情報はカジノを含め正しく伝達されるべしで経済波及効果、雇用創出効果、自治体の増収効果のうち、カジノから得られる数字を明確に伝えて下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 742 | IR施設外の周辺地域に与える経済的影響についての試算が示されていない。本素案のIR施設が収益の大部分をカジノ収益に依存するのであれば、カジノに客を誘引する必要があり、これでは横浜IRから日本全国に送客するとしている本素案の送客施設としての機能と矛盾する(本素案37頁)。つまり、日本全国に送客してしまうとカジノで客がお金を使う機会が減少し、カジノ事業の収益が下がってしまうのであり、IR施設としては日本全国に送客せず、カジノに客を誘引するほうが利益になるのである。また、カジノに客を誘引すれば、カジノを含むIR施設内に客を留めおくことになり、IR施設外の周辺地域の消費は減少することになる。そうなれば、横浜市全体の経済的な効果がIR施設誘致により増加するか否かは、IR施設誘致によりIR施設外の周辺地域へどのような経済的効果を及ぼすかが非常に重要となる。しかしながら、本素案ではこのような地域経済に重大な影響を及ぼす経済的効果でさえ試算・公表できていない。このように、横浜市のいうIR誘致に伴う経済的効果は前述のように事業者から提供された資料をそのまま整理・確認したものであるだけで根拠に乏しいのみならず、IR施設外の周辺地域への影響も不明であり、説明が不十分である。 | 参考 | IRには「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでになかった経済的社会的効果が見込まれ、横浜市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。 例えば、IR区域内の、大規模なMICE施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。 先進事例である、シンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ IRの経済波及効果は、建設時7,500億円から1兆2,000億円、運営時に年間6,300億円から1兆円としています。 この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。＜方向性P.89＞ 事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 743 | 内容については動員計画が気になる。TDL・TDSの年間3000万人という実績と比較しても楽観的すぎると考える。 | 参考 | |
| 744 | 横浜経済のためには必要な施設だと思います。 | 参考 | |
| 745 | IRの成功こそが、これからの横浜経済を再び活性化させるための大きなチャンスであると考えます。一時的に人が集まるオリンピックではなく、恒常的に海外から多くの人たちを集める「しかけ」がIRである。IRとカジノは全く違うものであることを認識すべきである。 | 参考 | |
| 746 | 将来の横浜の発展を考えると必要だと思います。 | 参考 | |
| 747 | IRで夢みたいな収益あがるとは当てにしない方がいい。もっと地道な必要なもの(病院、介護施設、学校など)で少々の利益を考えたらよい。 | 参考 | |
| 748 | 経済が回るのでスゴイとおもう。 | 参考 | |
| 749 | IRに賛成します。横浜経済の発展には必要だと思います | 参考 | |
| 750 | 地域経済発展を願いIR事業に賛同します。 | 参考 | |
| 751 | 横浜経済の活性化を期待します。 | 参考 | |
| 752 | 活性化になって、良いと思います。 | 参考 | |
| 753 | 地域活性化のため是非実現していただきたく考えております | 参考 | |
| 754 | カジノにだけ話題が集中し、全体の良いイメージがそなわれているが、横浜の発展のためにはこのまま推進してほしい。 | 参考 | |
| 755 | こんな大規模な開発は、公共ではできない。民設民営での推進賛成です。横浜経済発展のため、IR推進してください。 | 参考 | |
| 756 | こんな大規模な開発は、公共ではできない。民設民営での推進賛成です。横浜経済発展のため、IR推進してください。 | 参考 | |
| 757 | 横浜がさらなる発展をするためには、IRは必須だと思います。 | 参考 | |
| 758 | 横浜にカジノをつくるのは大反対です。カジノをつくることでしか横浜の将来の発展がないと考えることが間違いだと思います | 参考 | |
| 759 | 横浜市は人口370万人の全国第2位の自治体規模を誇り、開港以来の歴史と文化、港と都市が近接したロケーションを持ちながら、東京のベッドタウンに甘んじ、観光・乗客も振わない状況にある。今後の人口減少社会にあって都市の活力を向上・維持していくには、起爆剤が必要である。IRは日本のみならず世界から誘客できる無限の可能性を秘めており、横浜の魅力を実現化できるものとしてほしい。これにより市内の観光と経済の活性化につながることを願う。 | 参考 | |
| 760 | 横浜市民はIR=カジノと思っている。カジノと言うものが悪と思っている。カジノだけではなく、横浜の経済、観光の為に、又、横浜の将来にIRが必要です。これから、どんどんIRを押し進めてほしい。 | 参考 | |
| 761 | IR賛成いたします。関内はベンチャー企業が多いので、IR内にベンチャー企業のショーケースをつくってください | 参考 | |
| 762 | 賛成いたします。その理由は、横浜の地域経済の活性化にとっても役立つかと考えるので。 | 参考 | |
| 763 | 横浜の活性化に必要です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 764 | これまでと同じことをしていたら、日本経済はジリ貧だ。いまこそ、これまでと違った施策 I Rを進めていくべき。 | 参考 | <p>I Rには「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでになかった経済的社会的効果が見込まれ、横浜市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。</p> <p>例えば、I R区域内の、大規模なM I C E施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、2つのI Rのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜I Rにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞</p> <p>I Rの経済波及効果は、建設時7,500億円から1兆2,000億円、運営時に年間6,300億円から1兆円としています。</p> <p>この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、I R全体の売上などの異なった情報が提供された中で、委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。＜方向性 P.89＞</p> <p>事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> |
| 765 | 少子・高齢化、コロナ、様々な不安がある。変化することをおそれず、I R施設を誘致し、経済活性化、市民に豊かな生活を。 | 参考 | |
| 766 | 21世紀版の経済成長のためには、これまでになかった手法I Rが必要です。 | 参考 | |
| 767 | 横浜市の活性化のため、I Rをぜひ実現してください。 | 参考 | |
| 768 | I Rを実現することによって横浜市に観光客が集まり、地域が活性化すると思うので賛成です。 | 参考 | |
| 769 | 「I Rに賛成します」横浜の経済発展と雇用創出 | 参考 | |
| 770 | 市の説明では、市の増収効果が強調されすぎている。重要なのは、地域経済を振興すること。公募で選出される事業者が市内中小企業とタイアップする仕組みや市内のベンチャー企業を育成する仕組みを組み込むこと | 参考 | |
| 771 | 横浜経済のために必要です。ぜひ実現してください。 | 参考 | |
| 772 | 日本の活力を維持するためには絶対に必要です。ぜひ実現してください。 | 参考 | |
| 773 | 人口が減っていく中で活力を維持していくために必要だと思う。ぜひ実現させていただきたい。 | 参考 | |
| 774 | 横浜の経済を考えるならば、観光・地域の産業への、(個々の小さな事業者も含めた)きめ細かい支援等、市民の納得のいく方法を再考すべきで、安易に、大規模な、箱物を作れば経済が活性化するとは思えません。I Rによって海外の富有層をとり込むのは、不可能でほとんどの犠牲者は、日本人だと思われ、海外の事業者の犠牲になるのは、横浜市自身だと思いません。横浜の魅力を失ってからは遅いし、賭博によって多くの人々の尊厳を失わせてからは手遅れだと思えます。 | 参考 | |
| 775 | 経済対策重要 | 参考 | |
| 776 | カジノは今後の日本、横浜に経済的に恩恵をもたらすとは考えられません。この素案は撤回すべきでしょう。 | 参考 | |
| 777 | コロナの影響で横浜のみならず横浜経済も不安である。I Rによって、経済の起爆剤となり、明るい未来を実現して欲しい。 | 参考 | |
| 778 | 賛成 コロナで世界経済が打げきを受けてるので、I Rのような、大規模な経済対策、効果があるものが必要 | 参考 | |
| 779 | 経済的にも横浜にI Rは必要 将来にわたり成長・発展を。 | 参考 | |
| 780 | 経済に貢献するI Rは、横浜に必要。 | 参考 | |
| 781 | 孫世代のためにもこれからの横浜が豊かになるのであれば、是非I Rを実現してほしい。 | 参考 | |
| 782 | いざI Rが出来たら、きっと横浜は大きくなります。I Rは実現してほしいです。 | 参考 | |
| 783 | 横浜の先が必ず良くなると信じ、皆で街の活力を創り出しましょう 横浜I R実現！！ | 参考 | |
| 784 | 街が活性化することに何が困るのかわからない。横浜I Rは絶対に必要です。 | 参考 | |
| 785 | 今よりも良い横浜にできるなら、I Rを実現してみせて下さい | 参考 | |
| 786 | カジノなしの場合の集客や経済効果、現在の想定したカジノの規模の1/2の場合の集客や経済効果 こういう物を見ないと適正なのかが判定がしにくいです。 | 参考 | |
| 787 | カジノを誘致すれば外国人客がお金を落とし、経済成長が果たせる、という安易な発想は非常に危険である。 | 参考 | |
| 788 | 賭博という生産性のない経済活動によって、税の増収を見込むとはまともな政策とは言えず、市長の政策センスを疑います。 | 参考 | |
| 789 | 何か、品物を買えばお店の人、流通に関わる人、生産する人にお金が行きまわります。そして、次の生産につながります。でもカジノでは何にも生み出しません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 790 | 長期契約をして、はたしてどれだけの利益を産むのか？ | 参考 | <p>ⅠRには「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでになかった経済的社会的効果が見込まれ、横浜市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。</p> <p>例えば、ⅠR区域内の、大規模なMICE施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、2つのⅠRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜ⅠRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞</p> <p>ⅠRの経済波及効果は、建設時7,500億円から1兆2,000億円、運営時に年間6,300億円から1兆円としています。</p> <p>この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、ⅠR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。＜方向性 P.89＞</p> <p>事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> |
| 791 | 横浜の経済が発展して、皆様に喜ばれる観光地になるなら賛成です。 | 参考 | |
| 792 | 私は賛成です。市に潤いをもたらす財源 | 参考 | |
| 793 | カジノは反対です。カジノの敷地面積がⅠR全体の数%であっても、ⅠR全体の収入に占めるカジノの売上げは大半を占めています。（公会堂での市の説明資料では世界のⅠRのカジノの売上げは全体の6～8割くらいでした）。まさに、ギャンブルに依存して財政を考えていると言えます。時間をかけてもよいので、健全な財政プランを考えることが、行政の責任ではないでしょうか。もっとオープンに市民から財政構築のプランを意見聴取してもよいのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 794 | 横浜市にⅠRは必要ない。賭博を含むⅠRには絶対反対である。市民の大半がカジノを含むⅠRに反対している。市長は市民の意見の代表者であるべきであり、一部の企業家の利益代表として当選したわけではないことを胸に刻むべきである。既に周辺に同様の施設が多数あり、競合することにより互いに悪影響を及ぼす。 | 参考 | |
| 795 | カジノはカジノ業者に利益をもたらすかもしれないが、その他の周辺（横浜市をふくむ）への経済波及効果は望めない。 | 参考 | |
| 796 | 素案では、ⅠRへの投資額、想定されるⅠRカジノの利用者数、売上額も示されていません。これらが示されていない中で、経済波及効果、地方自治体の増収効果を提示するのは無理があります。素案には、数値的なデータを入れて、ⅠRについて考えるのに必要な情報を市民に広く共有すべきです。 | 参考 | |
| 797 | カジノ絶対反対。将来の横浜の収入源のためなど詭弁です。なんで建設的な発想が出来ないのでしょうか。市民全体で収入源の方法を考えるべきです。 | 参考 | |
| 798 | そもそも、経済的効果は、ⅠRへ参入を計画している事業者から提供された数字をそのまま記載しているだけであり、計算根拠を示していません。参入を希望している事業者側の一方的な見積もりを検証せず鵜呑みにして誘致を決めるのは、その数字が正しいかどうか分からないままに賭に出ることに他ならず、誘致自体が単なるギャンブルになりかねないと思います。検討の前提としての、横浜市としての独自の検証は最低限必要です。 | 参考 | |
| 799 | 横浜ⅠR誘致は賛成です。賑わいを作ることが大事であり、雇用創出と産業育成は都市機能の最重要課題です。 | 参考 | |
| 800 | 横浜ⅠRは山下ふ頭にぜひ作ってほしいです。増収効果に期待します。 | 参考 | |
| 801 | 誘致に賛成です。横浜ⅠRが、働く場としても、リゾートの場としても、文化芸術の発展の場としても発展し続けるようになると思います。 | 参考 | |
| 802 | 山下ふ頭に横浜ⅠRを作るのに賛成です。増収効果が見込めるだけでなく、雇用も増えて横浜の経済が活性化し、地域の賑わい創出にもつながる、土地のいい有効活用だと思います。 | 参考 | |
| 803 | ⅠR施設外の周辺地域に与える経済的影響についての試算が示されていない。経済的効果は、ⅠRへ参入を計画している事業者から提供された数字をそのまま記載しているだけであり、計算根拠が示されていない | 参考 | |
| 804 | 横浜市が期待する経済効果に不安があります。反対します。 | 参考 | |
| 805 | 横浜市が期待する経済効果に不安があります。反対します。 | 参考 | |
| 806 | 横浜の地域活性化や経済発展の為にⅠR推進し世界の横浜になるように進めて頂ければと思います。 | 参考 | |
| 807 | ⅠR誘致の前に、横浜ⅠRはヨーロッパの分析をまず行うべきである。展示場はドイツのハノーバー（46、6万㎡）が世界最大であるとのことだが（素案8頁）、何故、横浜市の下山ふ頭（約47ha＝約47万㎡）（素案21頁）は、ドイツのハノーバーの分析を行った上での戦略を立てないのか。何故、シンガポール（素案23、24頁）の分析しか行わないままに、巨額予算を要する政策を実行しようとするのか。「山下ふ頭という広大で資産価値のある一等地」を活用する方向として目指すべき競争相手は、何故ドイツのハノーバーではないのか。世界から選ばれるためには、アジアやアメリカやオーストラリアの分析（「平成31年3月の調査報告書（その4）」73頁～）だけではなく、ヨーロッパの分析も政策決定の前に行われるべきだと考えるが、どうだろうか。 | 参考 | |
| 808 | 賛成。横浜ⅠRは、横浜が新しい価値をつくるチャンスでもある。増収や雇用の他にも多くの効果が生まれると思うので期待している。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 809 | 横浜 I R に賛成。雇用やインバウンド効果、増収効果が見込めるので、誘致すべきだと思う。 | 参考 | <p>I R には「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、横浜市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。</p> <p>例えば、I R 区域内の、大規模な M I C E 施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、2つの I R のオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜 I R においても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性 P.24〉</p> <p>I R の経済波及効果は、建設時7,500億円から1兆2,000億円、運営時に年間6,300億円から1兆円としています。</p> <p>この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、I R 全体の売上などの異なった情報が提供された中で、委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。〈方向性 P.89〉</p> <p>事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> |
| 810 | 横浜 I R の推進に賛成しています。インバウンド効果、経済の活性化、増収効果に期待しています。 | 参考 | |
| 811 | 経済的な潤いを横浜にもたらせてくれるという噂を聞いていますが、現在よりもどのくらい潤いをもたらせてくれるのか？ | 参考 | |
| 812 | 現在、そして未来の横浜の状況を鑑みると I R 誘致は横浜の更なる経済発展の起爆剤になると考えており賛成の立場です。 | 参考 | |
| 813 | I R 誘致に賛成です。横浜の経済的発展にも寄与し市民にも還元できるような効果・結果を期待しています。 | 参考 | |
| 814 | カジノ運営企業から得る収益（賭博のあたり）を横浜市行政の費用として予算に組み込むことは地方行政の自殺行為です。 | 参考 | |
| 815 | I R 賛成です。経済が活性化するのを期待しています | 参考 | |
| 816 | 賛成致します。横浜の経済・地域の活性につながれば良いと考えます。 | 参考 | |
| 817 | カジノによって横浜市の財政が潤うということのようですが、カジノはもとも負けた人からお金を吸い上げる仕組みです。海外資本によるカジノ運営は本当に横浜市の、そして市民の本当の豊かさにつながるのでしょうか。市長は任期が終われば、「あとは知りません」かもしれませんがわたしたちは、横浜に住み続けます。どうぞ賢明な判断をお願いします。 | 参考 | |
| 818 | 他のカジノ導入国は軒並み運営に失敗しています。 | 参考 | |
| 819 | 賛成。経済的、文化的に横浜市ならびに日本へ発展と財政的に貢献する。 | 参考 | |
| 820 | シンガポールから学ぶべきものとは、カジノ I R 先進国、シンガポールに倣って、日本も観光立国との掛声のようであるが、はたして、シンガポールはカジノで客を呼び込む、観光立国なのであるか？確かに、シンガポールにはカジノがある。更に、シンガポールは人口のほぼ2倍の1000万人以上の国際観光客を迎えている。だから、シンガポールはカジノで客を呼び込む観光立国であると言って良いのだろうか？観光客の誘致にシンガポール政府は大変に熱心で、日本語でさえも、観光案内に簡単にアクセスできる。では、その中に、「シンガポールにはカジノがあります」との宣伝があるのでしょうか？私が探した限り、見当たりません。確かに、カジノがあるのですが、それは、観光客誘致とは別物の様です。「統合型リゾート」のお題目を唱えるだけで、シンガポールの真似をした事になり、ごりやくが得られるのでしょうか？「シンガポールには、カジノがある」は、嘘では無いのですが、印象操作（修辞：Rhetoric）です。「シンガポールには、カジノがある」だから、カジノを導入すれば、日本の観光産業も上手く行く、は、風が吹けば桶屋が儲かると言うのと同じ、修辞：Rhetoric（印象操作）です。 | 参考 | |
| 821 | インバウンドでなくカジノのターゲットは日本人。またカジノのランニングコスト（14参照）外国人は日本に来てても日本の自然や文化（伝統文化、漫画などの最近の文化）を楽しむたくて来日する。これは素案38ページにある。カジノがインバウンドの要だとしているのは I R のターゲットの外国人の意向を全く捉えていない。 | 参考 | |
| 822 | 世界最高水準の I R を実現するとありますが、具体的に何をどのくらいの大きさとコストと期間で実現するのでしょうか。 | 参考 | |
| 823 | 横浜への I R 誘致に賛成です。国策であるインバウンドを加速させる起爆剤となる I R は横浜経済にも多大な恩恵をもたらすと思います。 | 参考 | |
| 824 | カジノで長期滞在するという根拠もわかりませんし、カジノに浸る方は県内を周遊等しないでしょ。県内を周遊する方は、カジノが無くても横浜へ遊びに来ます。 | 参考 | |
| 825 | I R（カジノ含む）設置による他産業への間接的不利益なお、中長期的にみれば「カジノを含む I R」による経済効果が「それによる負の効果」を上回るとは考えがたい。 | 参考 | |
| 826 | 市への『統合型リゾート』施設誘致計画資料からは『シンガポール』との比較を強調するが、また、確かに良い印象を与えるが、妥当性の検証上はシンガポールとは地政学上本市とはその性格を全く異にし比較対象としては妥当性に欠き、市民に対し誤解を与え不適切である。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 827 | 横浜という独自の文化を育んできた唯一無二のこの誇らしい都市を今一度真剣に見直せば、このような安直な事業計画は恥ずかしいものと感じるはず。税收確保は他の観点から見直して欲しい。ハコモノ行政から思考を脱却できなければ、これからの環境変化に適応していけないのは明らか。優秀な人材を集結させるのは、イベントやカジノではなく、ましてやハコモノでもなく、魅惑的な産業（企業）があるかどうかです。未来を切り開いていくような産業を、どうこの地で拓かせるかを考えるべき。 | 参考 | IRには「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、横浜市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えています。 例えば、IR区域内の、大規模なMICE施設や魅力増進施設等により、来街者の増加やビジネスの機会が創出されて、新たな需要と消費を生み出し、経済効果を広範囲に及ぼすものと考えています。 先進事例である、シンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞ IRの経済波及効果は、建設時7,500億円から1兆2,000億円、運営時に年間6,300億円から1兆円としています。 この効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、委託先の監査法人が整理・確認し、本市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。＜方向性 P.89＞ 事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。なお、内訳については、各事業者のノウハウとなっているため、お示しできません。 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 828 | 再開発・建設による費用の増大市在住者の高齢化を自覚しているのならば、カジノのように限られた者しか利用しない物へ資金を注ぎ込むより、市民への幅広い継続的な支援を手厚く行うべきである。カジノ費用は水道料金を下げる方へ使って欲しいものである。 | 参考 | |
| 829 | 施設を増やす＝市税を増やすだけで市民に還元及びメリットがどの位であるのか数値で表せない限り、市民からの同意を得るのは難しいと思います。 | 参考 | |
| 830 | 横浜市民の1人として観光、地域、財政の増収。豊かな横浜を築き振興をお願い致します。推進賛成です。 | 参考 | |
| 831 | IRの誘致に賛成します。IRによる税收アップやインバウンドによる経済効果に大いに期待します。 | 参考 | |
| 832 | 賛成です。経済の活性化につながると思います。世界中から人が来て横浜が豊かになるのはとても良いと思います。 | 参考 | |
| 833 | 横浜IRの推進に賛成です。観光、雇用など経済が発展する為です。 | 参考 | |
| 834 | カジノをすることによって国のお金が増え、外国人観光客も来ると思う | 参考 | |
| 835 | 海外の過去事例を参考に、国内・海外の観光客誘致を積極的に行い、雇用創出、経済発展、税收拡大の観点からもぜひ推進して、魅力ある横浜にしてほしいです。 | 参考 | |
| 836 | 経済効果や観光客の増加など、横浜のさらなる発展を期待し横浜IRの実現に賛成します。 | 参考 | |
| 837 | カジノで豊かになる？ | 参考 | |
| 838 | そもそもIR型カジノで市民にどのような利益があるのかはつきりあるなら明示しなさい。無いなら、今すぐ取り止めなさい。 | 参考 | |
| 839 | カジノに対する不安を消す対策を取り、MICEのためにパシフィコ横浜を安定させる取組を進めて下さい。 | 参考 | パシフィコ横浜の稼働率は、2019年度において国立大ホールで82%、展示ホールで79%と高く、さらなる市場のニーズにお応えするための機能強化としてパシフィコ横浜ノースを2020年4月に開業しました。 国もMICE機能を強化することにより観光先進国を目指しており、パシフィコ横浜とIRに新設されるMICE施設は、運営面で連携を図るなど集積の効果を生かせるよう検討していきます。＜方向性 P.33、34＞ |
| 840 | パシフィコが賑わっているのでMICE実績は高いと思っていましたが、シンガポールなどと比べると少ないことをはじめて知りました。IRで最先端のMICEを整備して、パシフィコとともに横浜を盛り上げてほしいです | 参考 | |
| 841 | MICE：すでにパシフィコがあり必要ないと思う。二番煎じ | 参考 | |
| 842 | その他の複合施設、国際会議場、国際●市場、ホテル等々、すでにあるし、必要なし。 | 参考 | |
| 843 | 会議場展示場、もうすでに横浜にありますし、あまり活用されていない感もあります。 | 参考 | |
| 844 | 本案について反対です。区説明会における市長のプレゼンテーションから、中核施設である国際会議場の経営を補填するためのカジノ施設と理解しています。すでに、みなとみらいに国際会議場があり、既存施設の経営状態も黒字が常態とはいえない以上、赤字施設を二つ設置することは必要ないと考えます。。 | 参考 | |
| 845 | Pacifico横浜との差別化を図り、観光資源の十分ではない横浜でカジノ付IRのユニークネスを想像させるトータルコンセプトが必要。 | 参考 | |
| 846 | パシフィコ横浜も国立国際会議場もある立派なIRであり、国際的水準の施設にすべく展示棟を増設、この4月にオープンすることも知った。カジノ付IRとの連携、棲み分けの考え方が不明である、この点は今後の特に海外からのMICE客を誘致しようとするときに十分な説明が必要であろう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 847 | 世界最高水準のIRで触れられていることは横浜でなくても、シンガポール、マカオ、ラスヴェガスのコピーです、そうでないUniquenessを内外の観光訪問客、MICE客に訴求して呼び込みたいですね。年間四千万人程のインバウンド旅行客が来ないとカジノはペイしないと考えてるのが、観光統計が語るどころです。観光はランドオペレーター、ガイドがいるからOKだが、MICEのIを除いたMCEを海外から呼び込むにはPCO、各種通訳、専門家が外国語、特に英語対応できる必要十分な人数の人材が必要です。"混ぜご飯" "ごった煮"のごとき内容のIRは特に海外、特に欧米からの客に再訪しようと思わせませぬか。MCE開催コストと品質はコストVS成果意識の高い海外団体、国際機関、企業を魅了する、MCE客誘致策が必要。 | 参考 | パシフィコ横浜の稼働率は、2019年度において国立大ホールで82%、展示ホールで79%と高く、さらなる市場のニーズにお応えするための機能強化としてパシフィコ横浜ノースを2020年4月に開業しました。 国もMICE機能を強化することにより観光先進国を目指しており、パシフィコ横浜とIRに新設されるMICE施設は、運営面で連携を図るなど集積の効果を生かせるよう検討していきます。<方向性P.33、34> |
| 848 | オール横浜で観光・経済にイノベーションを！世界中から観光客・会議参加者を誘客、観光振興・経済活性化の起爆剤としてオール横浜での観光MICE推進体制、その拡大循環効果が7項目列記されています。パシフィコ横浜はもう30年の歴史があり、コンベンションビューローも古くからありますが、宿泊を伴い、消費額も大きく経済効果のあるインバウンド観光客、海外からの特に民間企業のMICEビジネスはまだまだとの統計数字ですね。新しいIRがオープンしたから、今までとは画期的に増え、税収源になり財政向上につながるという希望は持ちたいですね。2つのIRが共存、更に刺激、増収に繋がる"co-location" MICEを考えましょう。MICEインフラがハード、ソフト両面で数、質共不十分なのでは考えています。 | 参考 | |
| 849 | 横浜IRと既存のMICE施設がうまく共存できるようになるといいと思います。 | 参考 | |
| 850 | 横浜市のIRは既にみなとみらい21地区（国会議事場、展示場、音楽ホール、美術館、ホテル、レストラン・ショッピングモール等）にあり、山下ふ頭に新たに新築すると競合してしまう。 | 参考 | |
| 851 | 横浜市にはすでにMM地区に国際会議場などがあり、世界経済の委縮がいつ戻るかわからない状況において、東京湾臨海部の国際会議場などの施設は飽和状態に近いと思われます。長期見通しとしても、世界の動きが元に戻るまでには現在のプランは無謀としか思えません。「横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）」では、行政が発行するものは信じがたい個所や意見すべきと感じることが多々あります。しかし、それ以前に、IRとカジノは明確に反対いたします。 | 参考 | |
| 852 | 国際会議場やエンタメ施設は既にMM地区にある。隣接する山下地区に作れば、そちらの足を引っ張ることになる。 | 参考 | |
| 853 | 一体といってみなとみらいにあるパシフィコ横浜はどうするのでしょうか。山下ふ頭基本計画にエリア分けや施設の概要はありましたが、素案の中にも事例としてはあった。具体性がまだ、ないので、判断できない。 | 参考 | |
| 854 | オール横浜での観光MICE推進の実現に向けて、横浜市・パシフィコ横浜などの既存組織、民間事業者の協力体制が構築されることを望みます。 | 参考 | |
| 855 | P39のナイトライフへの提案です。国際会議場を新設した場合、パシフィコ横浜などの既存施設の需要と競合しないか？新山下ふ頭整備後の同系の既存施設の運用予定も検討すべき。 | 参考 | |
| 856 | みなとみらい地区には大展示場や大ホール、ホテル、ショッピングモール、レストラン、美術館、アトラクションが揃ったIRが存在しており、カジノ無しで立派に経営を成り立たせています。山下ふ頭は交通アクセスが悪く、大きなIR型カジノを造っても成り立たつと思えませんが、みなとみらい地区も共倒れする可能性があります。 | 参考 | |
| 857 | P31-46(2)-2必要な機能・施設①MICE(P33-34) 「パシフィコの強みを活かし、弱みを補完する」パシフィコは国際会議場には良いが展示施設が小規模なので、「『横浜IR』においては、政令の規模要件のうち①②を要件とします。」とあり大型の展示場を中心にする事となります。大型の展示場はP13のところでも述べたように、東京、千葉幕張の大型展示場は苦戦しており、加えて横浜に大規模展示場を作った場合「競争力をどうつけるか」と言う視点での議論がなされていません。機能は「大誘客効果を最大化するため、大小様々な規模に対応できる仕様、スポーツやコンサート等が多様な用途に臨機応変に対応できる機能」と定義して、何でもできる形を指向していますが、他国、地域に対する優位性確保の具体的な施策は『検討調査(4)報告』でも不明。繰り返しますが「箱もの」行政と言わざるを得ません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 858 | 国際会議場（MICE）『横浜市にある日本最大級の複合コンベンション施設である「パシフィコ横浜」は、最大の収容人数が5,000人を超える国立大ホールを備えており、稼働率が80%を超える状況です。しかし、他都市との国際会議件数（UIA基準）の比較では、東京やアジア各国に大きく水を明けられている状況です。』とありますが東京で巨大展示場を持つMICEの稼働率は1、東京ビックサイトの稼働率は70%、幕張メッセはそれ以下2、巨大会議場の東京国際フォーラムは60%これらは東京・横浜と区別するから離れているようだが、まさに近隣であり、パシフィコだけを見て件数に対して供給が不足しているとは、とても言いがたい。国際会議は、産業界に身を置いていた者からすると、その分野で最も勢いのある地域で開かれるのが当然であって、箱モノを作ったからといって国際会議に関する競争力が増加し、件数が増加するというのは、あまりに短絡的。日本国内で会議するメリットが低下しているとみるべきで、その対応策が必要。『検討調査（4）報告書』の有識者の意見もMICEに対しては、肯定的、楽観的意見はなく、「箱モノだけを」作っても駄目だというのは共通した意見とおもいます。 | 参考 | パシフィコ横浜の稼働率は、2019年度において国立大ホールで82%、展示ホールで79%と高く、さらなる市場のニーズにお応えするための機能強化としてパシフィコ横浜ノースを2020年4月に開業しました。 国もMICE機能を強化することにより観光先進国を目指しており、パシフィコ横浜とIRに新設されるMICE施設は、運営面で連携を図るなど集積の効果を生かせるよう検討していきます。＜方向性P.33、34＞ |
| 859 | IR整備法施行令の国際会議場、展示等施設を要件として求めているが、すでにみなのみらいに同じような施設があり、競合することは目に見えている。世界的にも首都などの大都市をのぞき、大規模な国際会議場と展示施設を複数もっている都市は稀であり、将来、パシフィコ横浜の経営に大きな影響を与える可能性が極めて高い。今回市が示した方向性の中に、既存施設との競合を避け、差別化を求める点が明示されていないのは大きな問題である。 | 参考 | |
| 860 | 雇用創出もカジノ業者のこれまでの従業員で賄うことになり、日本の雇用改善にはなりません、カジノは反対です。 | 参考 | |
| 861 | 本当に必要なんでしょうか！今ある施設で横浜は充分と思います。ここに出来れば、せっかく作った桜木町、みなとみらい等の施設がつぶれていくように思います。 | 参考 | 横浜IRを目的として来訪するインバウンドを含む観光客やMICE参加者が、宿泊や飲食、ショッピング等を行うことにより、IR区域内のみならず、関内・関外地区やみなとみらい21地区、横浜駅など、周辺地域の宿泊施設や観光施設、商店街、商業・飲食施設の観光消費額を増加させます。 |
| 862 | 横浜IRは横浜市の財政を下支える上でも必要なことと思います。（ギャンブル依存症対策をしっかりと立てた上で）経済活動は人が生きていく上で極めて大切なことです。国民の生命を守る上で、経済活動を軽視することはあってはなりません。 | 参考 | また、MICE開催に伴って、参加者による消費以外にも、企画・運営費や施設利用・設営費をはじめとして、同行者プログラムやアフターコンベンション等の実施により、周辺産業への発注機会を増加させます。＜方向性P.55＞ |
| 863 | カジノから一歩も出ない。街に還元はありえない。売上げのほとんどはカジノ。 | 参考 | 先進事例であるシンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ |
| 864 | 世界からのインバウンドにより、人、物、金等の流通の活性化で、野毛地域にもそれなりの恩恵が見込まれる事は間違いない事実であると思われます。 | 参考 | |
| 865 | 2019年横浜の人口がピークアウトした。この状態が続くと労働力・企業関係を含めこれから横浜の経済が弱くなる。横浜経済の起爆剤としても、大人の娯楽場所が増えれば、雇用や宿泊も増えるので経済的にも上向きになるのではないかと。 | 参考 | |
| 866 | IR誘致は賛成だが、誘致による影響は、臨海部がうける。IRにのみ人が集まり、周辺が空洞化しないか心配、その対策をしっかりと立ててほしい。そうすれば、地域経済活性化もより見込める。 | 参考 | |
| 867 | IRになって、たくさんさんの商業スペース、イベント、新しいホテル、たくさん出来横浜の周辺の活性化にもつながりどんどん楽しく新しいものが出来て、便利で新しい観光地になってゆくと思っています。とてもたのしみです。 | 参考 | |
| 868 | 戦略的な企業誘致にともない、市内、県下中小企業振興、商店街活性化に貢献する方向性に賛成しています。 | 参考 | |
| 869 | 「横浜駅周辺」が東口にかたよらない様にしてほしい。 | 参考 | |
| 870 | 横浜の景気拡大に期待してます。IR産業と周辺ビジネスの拡大を是非推進お願いします。 | 参考 | |
| 871 | IR施設の誘致で、横浜の観光力底上げ。豊かな横浜モデルを世界にしめそう。 | 参考 | |
| 872 | 日本経済に必要なことは明白なので、もっとビジネスの側面を強調したらいいと思います。 | 参考 | |
| 873 | 統合型リゾートがもたらす財政・観光に対する経済効果は非常に大きなインパクトになると感じております。これからの横浜が抱える諸課題を解決する手段になるものと思いますので、より良い形で実現させていただきたいと考えます。 | 参考 | |
| 874 | 経済活力を維持するために方向性には賛成です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 875 | とかく、IRと言え「カジノ」と成りがちであるが、地域住民にとっては、外国人観光客の増加による経済効果、雇用の創出、交通や通信インフラが整備されることで地域活性化等、逆にメリットの方が多いと考える。 | 参考 | 横浜IRを目的として来訪するインバウンドを含む観光客やMICE参加者が、宿泊や飲食、ショッピング等を行うことにより、IR区域内のみならず、関内・関外地区やみなとみらい21地区、横浜駅など、周辺地域の宿泊施設や観光施設、商店街、商業・飲食施設の観光消費額を増加させます。 また、MICE開催に伴って、参加者による消費以外にも、企画・運営費や施設利用・設営費をはじめとして、同行者プログラムやアフターコンベンション等の実施により、周辺産業への発注機会を増加させます。＜方向性P.55＞ 先進事例であるシンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ |
| 876 | なにもこの横浜に大賭博場を作り、荒れた町になり人口も少子化にいつそう歯止めをかけずに1つ賭博場で多少もうかっても人口流出で税金収入はガタンと減るのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 877 | カジノを含むIRは反対である。カジノに入れるために客の囲い込みをすることから、周辺の観光地に今まで以上に客の足が向かず、さびれてしまう。 | 参考 | |
| 878 | 方向性2では、数値(人数・金額)について、事業者・監査法人算出となっているが、市はどう評価しているのか？ | 参考 | |
| 879 | IRは周辺地域の経済を疲弊させ、市民生活を破壊する。 | 参考 | |
| 880 | 市民説明会で配布された資料、広報よこはま特別号、横浜IRの方向性(素案)も「効果(数値)については、事業者から提供された情報です。」とある。事業者から得た虚妄の数字で構想していると言わざるを得ない。都市計画・ガイドライン・街づくりの実績・検証の数字が全く提示されておらず、カジノ誘致の根拠が見えない。 | 参考 | |
| 881 | 東京にはない、横浜らしさを持ったIRにし、観光振興、経済活性化につながることを期待しています。 | 参考 | |
| 882 | IRだけでなく、周辺も合わせて良くして、更に良い横浜をつくって下さい | 参考 | |
| 883 | 壮大なみなとみらい計画では最終的には企業の参加が少なく、結局タワーマンションばかりが林立しました。タワーマンション群はゲイテッドコミュニティと化し、人間らしい町並みが消えて行きます。郊外には空き家が増え、横浜市の外も地方と同じく、過疎化が進んでいます。同じことを繰り返すことになるのではないのでしょうか？ | 参考 | |
| 884 | 横浜都心臨海部にカジノは必要ないです。地域に良い効果があるとは思えません。地域の商店、飲食店が追いこまれるだけではなく、ギャンブル依存の増加、犯罪発生率の上昇が考えられます。 | 参考 | |
| 885 | 関内地区の空洞化への対策、以上の条件を達成できずにIR推進を図ると市政全体に負の波及効果を生むことになると思う。現状の計画はこうした条件につき不十分、再考を望む。 | 参考 | |
| 886 | 横浜に昔の活気を取り戻してほしい。チェーン店ばかりになって商店街もつまらなくなった。大規模な観光施設を作って、周りにも遊びに来てほしい。 | 参考 | |
| 887 | IR賛成。実効性あるDMOをつくってください | 参考 | |
| 888 | 商店街でお店やってます。観光地ですが観光客と地元の住民がお互いに、過ごしやすい健全な地域作りを、みんなでしたいです。STOPカジノ!!!お願いします | 参考 | |
| 889 | 関内地区、伊勢佐木町をさびれさせないで下さい。あくまでも全面的な撤回を求めます。 | 参考 | |
| 890 | 経済効果など、あるはずがない。絶対反対!!! | 参考 | |
| 891 | 商業施設を作れば、つぶれて行く所が多くなります。 | 参考 | |
| 892 | 横浜市のIR誘致実施方針の骨子、その投資額やカジノ利用者数、カジノ売り上げは公表されていない、然し運営時経済波及効果が6千3百億~1兆円と見込まれていることから巨大な箱物施設の群落と推測される。大店舗法ではないがこの施設に伴う周辺の代々続いてきた老舗の人気商店街がありますがどのような手当がなされるのですか | 参考 | |
| 893 | 観光や地域経済の振興に効果があるのは、一時的、ブームで終わり、周辺の商業が衰退するのは外国でも多くあります。 | 参考 | |
| 894 | 今あるみなとみらいのフォーラム、コスモワールド、金沢シーサイドなど周辺の施設がIRにとりこまれたらどうなるのか、今の伊勢佐木町や野毛のようにすたれるのではないのか。 | 参考 | |
| 895 | この事業から横浜市は約1千億円の収益を見込んでいるというが、オリエンタルランドでさえも純利益が1千億円レベルに到達したのはここ数年のことで、創業からは何十年も経っている。横浜市の予測数字は、超楽観的であり信じられない。それともカジノというのは、ディズニーとは比較にならないレベルの水揚げがあるものなのか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 896 | 山下公園は、子どもから、高齢者まで現状のまゝでも楽しめます。カジノを作れば、山下公園近りん、中力街はさびれてしまいます。にぎわうのはIRの中だけ。 | 参考 | 横浜IRを目的として来訪するインバウンドを含む観光客やMICE参加者が、宿泊や飲食、ショッピング等を行うことにより、IR区域内のみならず、関内・関外地区やみなとみらい21地区、横浜駅など、周辺地域の宿泊施設や観光施設、商店街、商業・飲食施設の観光消費額を増加させます。 また、MICE開催に伴って、参加者による消費以外にも、企画・運営費や施設利用・設営費をはじめとして、同行者プログラムやアフターコンベンション等の実施により、周辺産業への発注機会を増加させます。＜方向性 P.55＞ 先進事例であるシンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞ |
| 897 | カジノの誘致に反対します。観光客をIRに強力的に吸収しようとする意向について、IRに地理的に近い横浜中央街の関係業種の経営を圧迫します。それはつまり横浜市の地域経済を疲弊させるという。とんでもないこととなります。 | 参考 | |
| 898 | 僕はIRが無い方がいいと思います。IRは「みなとみらい」の近くで、ほとんどの好きな「みなとみらい」がIRのせいで賑わいが少なくなるのが嫌だからです。（あとカジノが嫌です。） | 参考 | |
| 899 | カジノなしの統合リゾート（IR）とし、周辺の既存のショッピングエリア、中華街が、よりにぎわうための導線ができるようにする。間違ってもカジノありのIR内に、国内外の観光客を取り込んで、もともとあった需要を吸い上げるような施設とすべきではない。 | 参考 | |
| 900 | 既存地域、特に競合するみなとみらい地区の衰退そしてその結果、魅力を失った横浜に住む人口も減り、訪問者も減る。また、みなとみらい地区にある企業の移転が生じることも考えられ、横浜市がIR誘致の目的とかけられる少子高齢化で健康福祉費を捻出するための税収確保どころか、今ある税収の確保も難しくなると考えます。横浜市は、部分部分のみを見た狭視野な開発ではなく、横浜全体の魅力を上げる、他地域も含めて魅力が上昇するような広く大きな視野での開発を考えてください。 | 参考 | |
| 901 | IRは横浜に来て欲しいが、IRだけが潤うような形になり、周りの地域が地盤沈下するようになるのであれば困る。周りの地域と連携し、地域の中でのIRという形にして欲しい。 | 参考 | |
| 902 | カジノは、観光客に色々なところを見て歩いてもらって潤う普通の観光業とは違い、観光客をカジノに足止めしてお金を使わせることで成り立つ事業です。カジノを誘致する予定の山下ふ頭の周りには山下公園、元町商店街、中華街などがあります。周辺の治安、風紀が悪くなり、客足が遠のき、本来使われるはずの地域の商店の売上げが落ち、地域企業への投資が衰え、横浜全体の経済、財政状況が悪化することは目に見えています。 | 参考 | |
| 903 | 治安問題に関しては、現状の経済の低迷でスラム化等するよりもはるかに前向きな計画立案であるので、それほど心配には及ばないと思われる。多様な楽しを提供するIRを横浜は目指すべきである。IR施設をIR施設だけに孤立させないで、周辺に開かれたものへと計画することが必須と思われる。 | 参考 | |
| 904 | 将来に於ける財政悪化を誘致理由に掲げているが説得性に乏しく 誘致実現で『良識ある企業撤退や市内移住者減、流出者増』で税収が悪化する。 | 参考 | |
| 905 | カジノを含むIRは自己完結型で、IRの中で客に金を使わせるため、周辺地域に消費は向かいにくい。カジノへ集客するためにホテルやレストランなどを安価で提供するので、周辺地域は価格競争で太刀打ちできず、地域の消費はさらにIRへ吸い上げられてしまう。 | 参考 | |
| 906 | IR事業者の一人勝ちではなく、地域経済も市税も潤い、子どもも大人も市民が広く楽しめる、オール横浜で豊かになるリゾートになってほしい！誘致に賛成しています。がんばって！ | 参考 | |
| 907 | 横浜IR賛成！財源の確保の手段として、市民税率増による税収アップか、社会保障などの支出の縮減か、横浜IRによる税収アップかと考えたら、ダントツに横浜IRがいいです。横浜IRを誘致したら終わりではなく、IR誘致後の雇用拡大や地域経済の活性化を着実に推進してほしいです。 | 参考 | |
| 908 | 素案ではIR施設外の周辺地域に与える経済的影響について試算を示していません。カジノは膨大な収益を上げることを前提に誘致計画をたてていますが、その収益でIRのその他の施設がダンピング的に安く提供される結果、観光客はIRに囲い込まれ市内の他のホテルや飲食店を利用しなくなり、IRの外の横浜市内の周辺にとってむしろマイナスの経済的影響が考えられるのではないのでしょうか。その場合のシミュレーションもなされず、検討もなされていません。 | 参考 | |
| 909 | 横浜IRに賛成します。日本には宝くじ、競馬、totoなど、たくさんのギャンブルがあり、これらはみな、横浜IRのカジノより断然敷居が低いです。併設するリゾート施設や、既存の横浜の観光地での豪遊も期待でき、地域経済の活性化、市の増収効果などが見込めます。横浜IRはいいと思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 910 | 結局は大企業の利権優先で、その一部で市税収が潤っても、来場者はI Rの中でお金を使うだけで、地域は潤わないし、風紀も乱れます。横浜を守る観光収入を目指してください。 | 参考 | 横浜I Rを目的として来訪するインバウンドを含む観光客やM I C E参加者が、宿泊や飲食、ショッピング等を行うことにより、I R区域内のみならず、関内・関外地区やみなとみらい21地区、横浜駅など、周辺地域の宿泊施設や観光施設、商店街、商業・飲食施設の観光消費額を増加させます。また、M I C E開催に伴って、参加者による消費以外にも、企画・運営費や施設利用・設営費をはじめとして、同行者プログラムやアフターコンベンション等の実施により、周辺産業への発注機会を増加させます。＜方向性 P.55＞ 先進事例であるシンガポールでは、2つのI Rのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜I Rにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞ |
| 911 | I R賛成です。多くの観光客が訪れるのを期待しています。間違っても元町、中華街の訪問客を奪わないでください。 | 参考 | |
| 912 | 横浜I Rの誘致を成功させてほしい。I R事業者と地元企業がW I N－W I Nの関係で潤うような誘致になるといいと思う。 | 参考 | |
| 913 | 資料48ページの東神奈川から山下埠頭までをひとつのエリアとして繁栄するように見せる構想は、欺瞞であると言わざるを得ません。もし大規模な統合型リゾートが出来たら、観光客はそこに囲い込まれ、周辺の観光地に行くとは考えないでしょう。また、横浜は宿泊客が少なくキャパが足りないからです。現在市内各所に豪華ホテルが建設中であり、そのうえI R施設のホテルが出来たら供給過剰ではないでしょうか？それこそ民業圧迫です。この二つの話を総合すると、市内各所に建設中のホテルを拠点にした観光客は商店等の市内各事業者に利益をもたらす統合型リゾートとして囲い込まれた観光客はその中で行動を完結させるので市内各事業者に恩恵は無いということになります。【都心臨海部に限った観光地化は、取り残される他地域の反発を招くことは間違いありません】 | 参考 | |
| 914 | 横浜I Rの方向性1では「ビジネスからレジャーまで、大人から子どもまで、外国人でも日本人でも、幅広い客層が楽しめる非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾート」とありますが、カジノの儲けで他の施設を安くしてI Rに集客するがI Rの外は客を奪われ周辺の街は衰退してしまいます。 | 参考 | |
| 915 | 巨大なI Rが誕生した後の、既存の施設、飲食店等への影響。事業を縮小せざるを得ない業者などへの施策も具体化する必要があると考えます。 | 参考 | |
| 916 | I R誘致に賛成です。I R予定地だけでなく、広い視点で横浜市の益となるような施策を展開して下さい。 | 参考 | |
| 917 | I Rについて、多くのコンベンションや会議にて首都圏から近く地方にも展開しやすく多くの魅力を備える横浜で行う事が地域企業に益が出るのと多くの情報が集まる事で地域の発展が期待出来るので是非推進して頂きたいです。 | 参考 | |
| 918 | I R誘致に賛成です。多数の人が横浜に来て頂く事により街も活気が出ていいと思います。 | 参考 | |
| 919 | I R誘致に賛成です。I Rだけで完結せず、周辺に交流人口の流れが起きることを期待したいと思います。 | 参考 | |
| 920 | I R反対意見です。カジノの経済は施設の中だけでしか金は動かない。外には金は動かない。 | 参考 | |
| 921 | カジノはホテル、レストラン、他のレジャー施設などI R内の施設の利用を、カジノの利益の一部を使って割安にし、客を極力I Rから外に出さないようにする。地域経済への波及はきわめて少ない。I Rをあてにした地域経済の発展などあり得ない。横浜の未来を考えればカジノは建設すべきではない。 | 参考 | |
| 922 | I Rの目的が、カジノ誘致による経済振興と財政改善だけのようにみえる。他の施設は取ってつけただけではないか。カジノのために高級ホテル、エンタテインメント施設、レストラン、会議場・展示場・劇場が周囲にあるのではないか。カジノがなければ、周囲の施設には客は来ない。みなとみらい地区や他都市でまにあうから。ラスベガスのように、カジノは客を囲い込み、カジノの周辺のホテル・レストラン・エンタテイメント施設等で割引で遊興させる仕組みである。山下埠頭以外の地元横浜市には客はほとんど回ってこないのに、経済波及効果が毎年1兆円もあることになっているのは過大すぎる。 | 参考 | |
| 923 | I Rはカジノを中心として、ホテル、会議場などの一連の施設で構成される。I Rは、カジノの収益で周辺の施設を低価格で提供し、I Rの中で客に金を使わせることを狙うため、I Rの周辺地域で競合するホテルやレストランはI Rの中の施設との価格競争で太刀打ちできず、すたれる可能性が強い。横浜でI Rが予定されている地域は、中華街、山下公園、港の見える丘公園など横浜を代表する観光地に隣接しており、I Rの影響を受けることにより、この地域の経済が衰退し、さびれることが予想される。また、近隣のホテルやレストランとは競合となり、横浜I Rが既存の観光資源にとって大きなマイナスとなり、結果として、全体の税収が減少する可能性がある。 | 参考 | |
| 924 | あたかも多くの来場者が周辺の商店街で消費することに繋がる等、地元にも恩恵があるような甘い幻想を与えるのは避けるべきである。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 925 | 地域の経済活性化に恩恵があるとも思えません。 | 参考 | 横浜IRを目的として来訪するインバウンドを含む観光客やMICE参加者が、宿泊や飲食、ショッピング等を行うことにより、IR区域内のみならず、関内・関外地区やみなとみらい21地区、横浜駅など、周辺地域の宿泊施設や観光施設、商店街、商業・飲食施設の観光消費額を増加させます。 また、MICE開催に伴って、参加者による消費以外にも、企画・運営費や施設利用・設営費をはじめとして、同行者プログラムやアフターコンベンション等の実施により、周辺産業への発注機会を増加させます。＜方向性 P.55＞ 先進事例であるシンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞ |
| 926 | 賑わうのはIRの中だけで、IRの外は客を奪われ、周辺の町は衰退が予想されること。 | 参考 | |
| 927 | カジノについては多くの市民等から批判が寄せられており、その批判はおおむね妥当と思われる。それに加えて、昨今の情勢にかんがみれば、市が思い描くような経済効果があるとは考えがたく、また市の構想がそのまま実現できるとも考えがたいので、少なくとも現状において、カジノ設置により予想される弊害や市民等の反対にもかかわらず実施すべきものではない。 | 参考 | |
| 928 | P2「観光先進国」 P37「送客効果」 P86「IR」は、飲食店や映画館などのエンターテインメント施設を併設し、人を中に入れて外に出さない仕組みになっている。 | 参考 | |
| 929 | 「横浜イノベーションIR」のコンセプトは幻想で、むしろ将来に禍根を残す。市のIRカジノの経済効果の推定では、IR施設の経済成果とそれに伴う2次効果を取り上げているが、カジノ損による地域・日本からの資金喪失と、IR施設との競合による地域経済の後退を含めていない。この点では経済効果は一面的で、不正確である。 | 参考 | |
| 930 | IR施設との競合による周辺経済の停滞、IRの様々な事業は、それで多くの人をIR施設に呼び込み、コンパ等の優遇措置でカジノに訪問者を誘導する仕掛けとなっている。実際に多くの人々をカジノに誘導でき、そこで多額のお金を落とさせ、最大の収益を上げることが出来る。カジノこそが事業収益の源泉である。IR全体におけるカジノ収益の高比率を見れば、そのことは厳然とした事実である。従って、従来繁栄していた周辺の商業施設は、IR内の商業施設と競合する場合には、その競争に勝つ見込みはない。IR施設外の競合施設は衰退することになり、地域経済の活性化とは全く逆のことが起こる。 | 参考 | |
| 931 | 横浜IRの方向性素案に以下の理由で反対します。確かに初期の工事期間中の景気浮揚対策には思いますが、竣工後、IR区域内に消費が吸収されてしまうのではないのでしょうか？区域外では、カジノで負けた分だけ消費が減るのではないかと思います | 参考 | |
| 932 | 求められるのは、事業者の数字ではありません。IR事業について、世論調査では圧倒的に「カジノはいらない」の声が多い中で、また、市長の説明では何を市民に理解させようというのか、そのことがわからない、そもそも、なぜカジノかは理解できないという声にどうこたえるのかです。それは、IR法における国策的基準に単に乗っかって申請書類をととのえる、あとは、事業者に丸投げというのではなく、横浜市のIRでは、どんな施設をどんな程度でつくるのか、それはどの様な効果をもたらすのか、その効果を約束できない事業者には撤退してもらうなど、具体的な目標と水準を明示することで、横浜IRの具体的な増を提起することなのです。言い換えれば、横浜の山下ふ頭再開発と横浜全体の都市計画、まちづくりの必要と見通しにたってIRしかないということ客観的にどのように提起しているかということです。もっとも具体的には、IR区域整備計画の全体像です。130P余に及ぶ膨大な「IRの方向性（素案）」をかきながら、その肝心な部分が欠けるのです。 | 参考 | |
| 933 | 近隣の他の地区との共存共栄についても大きく不安を感じます。例えばみなとみらいとの共存は本当に可能なのでしょうか？本当にIRはみなとみらいなどの近隣地区と共存できるのでしょうか？世界有数の巨大都市で商業的にも文化的にもその存在そのものが日本最大のコンテンツといっても決して過言ではないあの東京の隣に位置する我らが横浜が、ディズニーランドなどの圧倒的に人気が見込めるものではなく「カジノ」を中核としたリゾートであの大東京を差し置いて選択してもらえるものなのでしょうか？あまりにも大言壮語なのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 934 | IR施設外の周辺地域に与える経済的影響についての試算が示されていない。 | 参考 | |
| 935 | IRはホテルやショッピングモール、劇場とカジノが複合する施設で、カジノ単体の施設ではない。IRにより観光、地域経済の振興は大いに期待される。家族がホテルに泊まり、ショッピングを楽しみ、遊園地や娯楽施設で遊びゲームを楽しむ。IRはヨコハマを元気な街にする。 | 参考 | |
| 936 | 吉田町などの離れた地域にも何か恩恵があるような施策をお願い致します。町内で行われているイベント等で連携して横浜市全体が活性化することを願っています。IR、賛成！！ | 参考 | |
| 937 | 大きな商業施設にだけ利益が出るのではなく既存の町の店や人々にも還元していただける仕組みを作っていただきたいです。 | 参考 | |
| 938 | MICEや来たお客さんをこちらの地区までながす仕組みが欲しい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 939 | カジノの業者と、お店が直接つながるようにしたい。とくに吉田町に！ | 参考 | 横浜IRを目的として来訪するインバウンドを含む観光客やMICE参加者が、宿泊や飲食、ショッピング等を行うことにより、IR区域内のみならず、関内・関外地区やみさとみらい21地区、横浜駅など、周辺地域の宿泊施設や観光施設、商店街、商業・飲食施設の観光消費額を増加させます。 |
| 940 | 治安対策やカジノ等の依存症対策など、問題点はあるが、外国人観光客が増え、ホテル等を利用し、長期滞在する人が増えて、横浜市が活性化して行くことが期待できるので、良いと思います。 | 参考 | また、MICE開催に伴って、参加者による消費以外にも、企画・運営費や施設利用・設営費をはじめとして、同行者プログラムやアフターコンベンション等の実施により、周辺産業への発注機会を増加させます。＜方向性 P.55＞ 先進事例であるシンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞ |
| 941 | 財政の改善、地域経済の活性化の観点から鑑みると、IR誘致は横浜には必要だと考えます。 | 参考 | IR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、IR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、IR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、IRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、IRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。＜方向性 P.55、58、88＞ |
| 942 | 統合型リゾートによって港湾部周辺の発展は期待できるが、その他の地域の発展、活性化に果してつながるのか。という点があいまいです。明確にして欲しい。 | 参考 | |
| 943 | IRは反対ではありません。市の今まで以上に大きな経済効果が期待できるかとは思いますが。 | 参考 | |
| 944 | IRに来た客が周辺地域や市内、県内に流れる相乗効果が果して生れるのか疑問です。お客は、IRの施設内ですべての目的を達するのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 945 | 横浜の経済発展に繋がる良い政策だと考えています。 | 参考 | |
| 946 | IRに巨額投資して経済効果はあるの？市民の為のお金の使い道他にも沢山あると思うけど | 参考 | |
| 947 | IRは横浜の発展のため不可欠なものと考えます。企業は多くのビジネスチャンスを得ることが出来、市税の増収により市民生活も豊かになります。 | 参考 | |
| 948 | カジノを含むIRは、カジノで儲けた莫大な収益で、ホテルの豪華なショーや豪華なホテルに格安で宿泊させて、飲み食いも含めてこのIR地区内に囲い込むことを特徴としている。するとIR地区以外の『既存の商店などの施設』には金が落ちなくなるのだ。この経済的なマイナス要因がどうなるのか。 | 参考 | |
| 949 | 地元企業への影響について対応検討 ホテルは既存利用を優先。入国審査はA1、IoTで迅速化を計るも厳密化を一番に。 | 参考 | |
| 950 | IR地区だけにとどまらない市内全域まで波及効果が得られるような、事業化を願います。 | 参考 | |
| 951 | IRを実現してほしい。特に地域との連携が必要不可欠です。山下ふ頭内だけでなく市域全域の活性化を期待します。 | 参考 | |
| 952 | 多くの企業のビジネスチャンスを拡げる。 | 参考 | |
| 953 | 市民生活をおびやかすIRが、山下ふ頭にできた時の弊害がよく判る。24時間眠らない街のガラガラしたものに浸った後の高揚した精神状態の人間の行動は…元町で買い物だの山下公園で憩うなど何の魅力もないと映る。人の回遊で元町や周辺が活性化するなどない。地盤沈下衰退！！する | 参考 | |
| 954 | IR賛成します。せつかくなので、市内の他の観光地を立派なものにして、市内各地でお金を落とす仕組みを考えてください | 参考 | |
| 955 | 基本的には賛成です。全国に送客だけでなく横浜を観光できるような機能としてほしい。 | 参考 | |
| 956 | 市内中小企業の活性化、受注機会の拡大につながる方策を具体化してもらいたい。 | 参考 | |
| 957 | IRは、日本の未来を照らす光だと思う。この国は、このままでは、資源も、経済もない国になってしまう。そうなるからでは遅い。横浜の魅力を高め、税収以外の収入をあげていかないといけない。IRを横浜の基幹産業の1つとして育てるべき。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 958 | 国際都市「横浜」が名実共に世界の観光都市になることは、ひいては日本の観光文化水準を引き上げることにつながると確信します。IR施設の中にグリーン（緑）とスポーツを目玉とするゾーンは多くの人の好感を呼ぶと考えます。癒しの緑・花は横浜のガーデンネックレスの一つになるでしょう。また昨年この地で盛り上ったラグビーが出来る競技場は今スポーツ界で日本が世界と互せる競技だけに必要性が高いと思われるその建設とそこをホームとするチームの誘致も望まれます。 | 参考 | IR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、IR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、IR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、IRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、IRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。〈方向性 P.55、58、88〉 |
| 959 | IR楽しみです。ペイスターズの試合を観に来た人々が泊まるような流れをつくってください | 参考 | |
| 960 | 大きな港をもっている横浜が、海外との交流を更に広げてそれによってたくさんの人が集中して経済的にも情報的にも、文化的にも活発してゆくとおもいます。 | 参考 | |
| 961 | おおむね賛成です。IRの業者さんだけがもうかって、市内のお店や企業がもうからなくなるのはよくないとおもうので、そうならない工夫があるといいとおもいました。 | 参考 | |
| 962 | 今後、IRほど収益が見込める事業はない。このチャンスを逃がす手はない。 | 参考 | |
| 963 | IR賛成です。海外から来る観光客にいかにも市内でお金を落とさせるかが重要。ぜひとも市内観光ツアーを、毎日実施してください。 | 参考 | |
| 964 | IR賛成です。調達については、確実に市内企業を中心に行う仕組みをつくってください。もしくは、合併企業などを横浜市内につくってもらってください。 | 参考 | |
| 965 | 増収、雇用創出だけでなく、インバウンド効果、新しい横浜の価値・ブライドの創造、文化、芸術の発展…と、たくさんの効果が生じることを祈ります。誘致、がんばってください。子どもたちの未来が豊かになるように！ | 参考 | |
| 966 | ラグビーワールドカップでは、インバウンド効果が非常に高かったことが観光庁より公表されました。1人1回平均38万円です。これほど大きな効果があるなら、IRで外国人客を多く呼びこむことで、カジノ収益だけでなく地元経済へのインバウンド効果も期待できます。ぜひ、地元が活気づくようなIRにしてほしいです。 | 参考 | |
| 967 | 賛成です。市内中小企業で働いています。IRによって発注が増えることを期待しています。 | 参考 | |
| 968 | 歴史情緒ある横浜と最先端のIRによるコラボ。きっと、想像以上の横浜がうみだされる。 | 参考 | |
| 969 | 将来の横浜は、このままでは、経済活動が縮少してしまう。そうなると、市民の豊かな生活を保つことができない。IRは、経済の起爆剤になれる、推進していくべきだ。 | 参考 | |
| 970 | 横浜の経済は今IRを求めています。地元に戻る仕組みをぜひつくってもらいたい。 | 参考 | |
| 971 | 市内経済活性化のため、市内の企業が受注等で関わる機会が増えるのであれば、IRを整備する価値はあると思います。 | 参考 | |
| 972 | 大学でIRについて勉強しましたが、私はIRに賛成です。IRを実現できれば、外国人観光客が横浜に足を運ぼうと思うだろうし、経済の活性化も見込まれる。 | 参考 | |
| 973 | IR区域内での消費が、市内中小企業の発注増につながれば、横浜全体が活性化すると思います。 | 参考 | |
| 974 | IRによって横浜市内の経済が発展するよう特に中小企業に仕事がまわるような仕組みが必要。 | 参考 | |
| 975 | 横浜にIRがくることで、地元企業にも効果があるとのこと。IRに期待しています | 参考 | |
| 976 | IRの計画に賛成します。横浜に多くの観光客を呼びこみ、その観光客が山下ふ頭だけでなく、市内の施設にも訪れることにより横浜の経済を活性化することができるよう、IRを推進してほしいと考えています。5年、10年、20年と中長期的な視野で施策を進めて下さい。 | 参考 | |
| 977 | 税金を増やすには、「観光」に依存するのではなく「産業を育てる」ことが、有意義なことが今度のコロナウィルス騒ぎで良くわかったはずですが、横浜にある、優れた品物を海外へ発信して収益をあげる。そういう手助けができれば、市税も増えるはずですが。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 978 | 賛成です。IR実現の背景にある横浜の「現状と課題」の解決としての税収の確保や経済効果を、しっかり果たせるよう願います。 | 参考 | IR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、IR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、IR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、IRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、IRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。〈方向性 P.55、58、88〉 |
| 979 | シンガポールのIRのような、観光・経済に寄与するIRを期待しています | 参考 | |
| 980 | 横浜の経済には、IRによるインバウンドが必要。 | 参考 | |
| 981 | 横浜市は法人市民税が少ない。企業誘致も進んでいるが、IRによる効果は絶大。IRを横浜に必ず誘致してください | 参考 | |
| 982 | せっかくできた大型施設も平日は閑古鳥が鳴いています。小規模店は撤退、今あるのは全国どこにでもある大型店ばかりです。もしIRができれば、「共食い」をさせるようなもので、横浜市の活性化どころか、小さい所は、寂れていくでしょう。よって建設には反対です！ | 参考 | |
| 983 | IRを誘致しても、デフレ下においては、末端の市民の可処分所得が増えるわけではないので、経済効果は極めて限定的である。全く、賛成に値せず、反対という言葉しか出てこない。 | 参考 | |
| 984 | 経済活性化の為に必要だと思います。 | 参考 | |
| 985 | IR実現してほしい。横浜経済の立て直しを望みます。 | 参考 | |
| 986 | IR楽しみです。市内にあと数か所「コト消費」ができる場所が必要です。 | 参考 | |
| 987 | IR賛成。市内企業に発注させる仕組みをつくってください。 | 参考 | |
| 988 | IR賛成です。上瀬谷のテーマパークとは連携するのでしょうか | 参考 | |
| 989 | IR早期実現を！！これを機にゾーラシアを民間委託し、毎日ナイトサファリをやるなど魅力アップを図ってください | 参考 | |
| 990 | 外国人の方々が横浜を訪れ、カジノやホテル、レストラン等を利用することにより、市内の経済、財政が改善することを期待しています。 | 参考 | |
| 991 | 横浜に統合型リゾートを作ることで、国内外から観光客を呼び寄せ、横浜の経済の活性化はじめ、雇用創出にもつながると考えます。ぜひIRの推進に向けて尽力していただきたい。 | 参考 | |
| 992 | 経済効果が、神奈川県全域及び周辺の県におよぶように、十分な計画、条件付をお願いします。 | 参考 | |
| 993 | IR賛成。臨海部だけでなく、郊外部でもお金を落とす仕組みが必要です。 | 参考 | |
| 994 | 横浜港近郊のIR地区外には、多くの日雇い等の方々が住む地域が今もあるが、そういう地域への対策はあるのでしょうか。街がキレイになることは非常に嬉しいです。 | 参考 | |
| 995 | 素案ではIR施設外の周辺地域に与える経済的影響について試算を示していません。カジノは膨大な収益を上げることを前提に誘致計画をたてていますが、その収益でIRのその他の施設がダンピング的に安く提供される結果、観光客はIRに囲い込まれ市内の他のホテルや飲食店を利用しなくなり、IRの外の横浜市内の周辺にとってむしろマイナスの経済的影響が考えられるのではないのでしょうか。その場合のシミュレーションもなされず、検討もなされていません。 | 参考 | |
| 996 | 素案ではIR施設外の周辺地域に与える経済的影響について試算を示していません。カジノは膨大な収益を上げることを前提に誘致計画をたてていますが、その収益でIRのその他の施設がダンピング的に安く提供される結果、観光客はIRに囲い込まれ市内の他のホテルや飲食店を利用しなくなり、IRの外の横浜市内の周辺にとってむしろマイナスの経済的影響が考えられるのではないのでしょうか。その場合のシミュレーションもなされず、検討もなされていません。 | 参考 | |
| 997 | IRは野毛町、黄金町辺りが荒廃の予感がします。 | 参考 | |
| 998 | 横浜の将来の発展の為に誘致をお願い致します。IRの中のカジノは全体の3%にすぎず、これによって、治安の悪化等は考えられない。その事よりも全体の計画を見ると、横浜に大勢の方々が訪れそれにより横浜市に税収が入り横浜市が豊かになるし、市全体の活性化につながっていくと思います。 | 参考 | |
| 999 | 大企業に役割を発揮していただき、地場産業や地元商店、中小企業、小規模事業者への支援を強めることこそ、市の経済や雇用を強化することになるはずです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1000 | ベイスターズやマリノスなど地元のスポーツクラブチームを発展させる、市民と共に支える。 | 参考 | <p>IR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、IR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、IR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、IRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、IRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。〈方向性 P.55、58、88〉</p> |
| 1001 | 市長は、地方自治体の増収は1,200億円などと言っているが、カジノ側は市や町にどれだけの金が入るなどと伝えて、市長などを抱き込む。また、すごくきれいな写真を使って町が活性化すると宣伝する。だが、実際はカジノから一歩も外に出ないようにデザインする。町に還元なんてありえない、あったらカジノの負けと言っている。 | 参考 | |
| 1002 | SDGsは「持続可能な」開発目標です。地元民からお金を吸い上げ、地元産業を衰退させるためのカジノが持続可能といえるでしょうか？（実際に市の試算でも、全体の収入のうち7割ほどは日本人からだとされています。） | 参考 | |
| 1003 | 市長と素案立案者は「SDGs未来都市」などと並べてますが、SDGsの本旨・理念を全く理解していないのでは？どこに持続可能な発展や環境を守る施策が？カジノ客はこのエリアのみに囲い込まれるだけで、「中小企業の振興・商店街の活性化」し潤すどころか、永年育んだ”横浜情緒”を壊滅させるために作るようなもの。「IR=災害に強い都市づくり」の根拠がないどころか、犯罪都市に作り上げたいのですか？「民間事業者の投資と創意工夫」と謳いますが、現在の横浜市の産業や中小企業、商店街を犠牲にしてでも実行しようとしているとしか考えられません。 | 参考 | |
| 1004 | 予想される増収額が実現できれば、法人市民税の構成が変わりカジノ事業者が2/3以上を占めることになる。突出した納税事業者の存在が行政の運営に影響を与えない保証はあるか、また既存の横浜経済界の地盤低下につながらないという保証はあるか、お聞きしたい。 | 参考 | |
| 1005 | 市長は誘致の理由として、経済波及効果や雇用創出効果、増収効果などの試算を示して、その効果をバラ色に描いています。しかし、その経済波及効果も、諸外国のカジノ事業においては、お客を抱え込んでしまい周辺地域の経済が衰退することが指摘されています。周辺業者の営業が低迷し、カジノ業者のみに儲けさせる結果になると思います。 | 参考 | |
| 1006 | IRの効果が横浜市全域に波及すると言っていますが、具体的ではありません。以上のような理由から誘致には反対です。 | 参考 | |
| 1007 | 今あるホテルの稼働率はどの程度なのでしょう？今あるホテルの客を奪うことになりかねないのでしょうか？地元へ還元されない気がしてなりません。 | 参考 | |
| 1008 | 人口は減少していき、観光や経済の面でも革新的な変化が見込める機会がなかなかない中で、横浜市でのIRの建設には賛成です。横浜独自のコンテンツを増やすことによって、継続的に横浜を訪れてくれる人の増加が見込めると思います。その人たちの活動を横浜の経済や税収に落とすことができれば街が活性化し、都市整備もより進められるようになると思います。懸念としては、IRの恩恵を受けられるのが周辺の一部地域だけになってしまわないかということです。市内他の地域の活気を奪うことなく、むしろ、IRで外からの訪問客を集めると同時に、その人々が市内の様々なエリアを回りやすいようにして、経済効果を幅広く広げられるようにできたら良いのではないかと思います。 | 参考 | |
| 1009 | 市の目論見ではIRはカジノで稼ぐということのようだ。IRを推進することは横浜市の価値を上げることはない。もし推進するとすればどのような顧客モデルを作るのは市民に説明し直してほしい。 | 参考 | |
| 1010 | 横浜IR賛成です。横浜市が財源確保を必要としていて、横浜IRが「市民からお金を集める」のではなく、リゾートやカジノで遊ぶ余裕のある「世界中の豊かな人たちから遊びの対価としてお金を集める」という仕組みだからです。財政難なのは分かります。でも、市民税率を上げたり、みどり税のような独自の税金を作ったりするのは、できるだけしないでほしいと思います。横浜IRによって雇用が増えたり、観光客が増えることで地域経済が潤えば、さらに税収も増えていくと思います。 | 参考 | |
| 1011 | 市の目論見ではIRはカジノで稼ぐということのようだ。横浜市もIR推進で市の価値を下げるのがあっても上がることはない。今すぐIR推進を辞めなさいもし推進するとすればどのようなモデルを作るのは市民に説明し直してほしい。 | 参考 | |
| 1012 | カジノをするために横浜に来た人間はカジノ以外には行くとは思えないので観光としては期待できません。 | 参考 | |
| 1013 | 事業者が、カジノ収益を軸にして、ホテルや飲食を割安とすれば、横浜市のIR外の健全な産業に対して不当なダンピングとなりかねない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1014 | 賛成です。記載のとおり、横浜の観光業界の起爆剤として、IRは必要です。横浜には海外目線でオンリーワンになる観光資源はひとつもないので、今後はMICEに注力すべき。みなとみらいにあるエネルギー企業や市内外資系企業を中心とした、ビジネスイベントを支援し、市内経済を活性化させる取組をしてほしい。 | 参考 | IR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、IR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、IR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、IRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、IRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。〈方向性 P.55、58、88〉 |
| 1015 | IR賛成です。素案には最先端技術を駆使したスマートシティ、ショーケースなどと書いてありますが、市内の中小企業が新しい技術を習得できるような受注の仕組みを考えてほしい。 | 参考 | |
| 1016 | 横浜IRの誘致に成功してほしい。IR事業者と横浜の地元企業などがWIN-WINの関係で潤うようになってほしい。更には、周辺の自治体や神奈川県とも連携して誘致を推進すると思う。逗子、葉山の富裕層を呼び込む工夫、箱根、小田原の観光地と連携する工夫など、周辺自治体と神奈川県とワンチームになり、横浜市が誘致を推進する構図があると、もっと横浜IRの魅力が高まると思う。 | 参考 | |
| 1017 | 13頁にて力強い経済成長を謳うが、経済成長に必要な横浜市民が必要とするモノやサービスの供給に対しての横浜市の戦略を載せてください。 | 参考 | |
| 1018 | 7頁で観光に軸足を置いた産業戦略を述べているが、「食べる・住む・働く・教育を受ける・医療を受ける・介護を受ける」という「人の一時的需要」を横浜地域で供給する戦略を述べてください。 | 参考 | |
| 1019 | 横浜市に財源がなければ、横浜市は社会的背景を改善するような社会保障の政策を練り広げられない。より多くの財源を長く確保するためにも、IR事業者の一人勝ちではなく、地域経済も活性化できるように、より工夫してほしいと思う | 参考 | |
| 1020 | 誘致をより成功させるために、周辺の自治体や神奈川県とも連携すると思う。箱根、小田原の観光地と連携したり、逗子や葉山に住む富裕層やそこに別荘を持つ方々を呼び込めると、面で横浜IRを支える形が作れると思う。周辺自治体や神奈川県とワンチームで、よりよい横浜IR誘致を勝ち取ってほしい。 | 参考 | |
| 1021 | 反対です。財政のためにインバウンドを利用することはIR事業が上手くいっても横浜の財源・発展に寄与しないと思います。もっと横浜市民が原動力となるものを基幹とする活動を選んで投資していくべきだと考えます。 | 参考 | |
| 1022 | カジノを含む統合型リゾートに関する最大の懸念は、周辺地域の活性化を阻害し、横浜全体の発展に全く寄与しないのではないかとこの点です。カジノ内では飲食が無料で提供されることから、集客が見込まれても、地域経済には貢献せず、かえって打撃を受け、ひいてはそれが、統合型リゾート業者から得られるとされる増収や雇用のプラス分を打ち消すマイナスになる可能性が高いと思われます。カジノを含む統合型リゾートは、横浜の利益にならないどころか、市民の財産、安全な街を奪う暴挙です。尊敬する市長がなぜこのような政策を推進しようとしているのか、理解しかねます。 | 参考 | |
| 1023 | 横浜IRの誘致をぜひ推進してください。世界最高水準のリゾート施設が市内という身近な場所にできるのはとても魅力的です。カジノ収益は、カジノ市場の8割以上を支える世界のVIPをどれだけ呼び込めるかにかかっています。VIPをターゲットにした策を、横浜の地域や企業も打ち出していけるとなるといいと思います。子どもたちの未来のために、増収を確保する手段としてぜひ誘致に邁進してください。 | 参考 | |
| 1024 | 横浜IR賛成。誘致して市の財政を少しでもよくしてほしい。IR事業者だけでなく地域にも、世界の富裕層が横浜IRで豪遊するお金を流れるようになってほしい。横浜の経済を元気にして横浜市が財源を確保する案は非常に魅力的です。 | 参考 | |
| 1025 | 横浜IRの誘致に賛同。横浜市だけでなく、近隣自治体とも協力しあって、神奈川県という単位で応援体制ができると思う。三崎マゴロ、葉山牛、鎌倉野菜、箱根・湯河原の温泉など、近隣自治体のもつさまざまな魅力とコラボできれば、自治体同士の協力体制が強まり、より充実したIR政策を実現できると思います。 | 参考 | |
| 1026 | 賛成です。市役所の用途転換と合わせて山下ふ頭にIRがくれば、関内だけでなく、横浜全体が活性化すると思います。ぜひIRを誘致を成功させてください。 | 参考 | |
| 1027 | 横浜IR、賛成です。横浜IRの中や元町商店街などでコラボして、ハイカラファッションの貸衣装をするといいと思います。横浜のハイカラさんになって楽しめるとなれば、より華やかに賑わうと思いますよ。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1028 | 横浜IRの誘致を成功させてほしいです。横浜市の増収効果がとても大事です！IR事業者と地元企業、さらには、横浜市に協力する自治体とで、WIN-WIN-WINの関係で潤うような誘致になるといいと思います。 | 参考 | IR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、IR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、IR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、IRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、IRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。〈方向性 P.55、58、88〉 |
| 1029 | 横浜IRとタッグを組む企業を、横浜市内に誘致できるといいと思います。その企業で働く方にも、職住接近で市内に積極的に住んでもらえればなおよいと思います。 | 参考 | |
| 1030 | 既存のMICE施設も、横浜IRができることで、より活用されるようになると思います。 | 参考 | |
| 1031 | IRが地区内で完結せず、広く横浜市内の経済活性化につながるような計画づくりを進めてほしい。 | 参考 | |
| 1032 | 世界の主要都市はIRが充実している。IRは経済活性化の起爆剤としては十分効果があるものと考えます。 | 参考 | |
| 1033 | IR誘致に賛成です。地域社会にどうやって還元できるのか又どうやって地域社会の人々が関わっていけるのか具体的に施策を持って頂きたいです。 | 参考 | |
| 1034 | 地元の利益についてコンベンションでラスベガスに行ったことがあるが、地元では全く買い物をしなかった。ホテル内で食事、買い物、アトラクションで時間をつぶし、地元では全く消費していない。統合型リゾートということは施設内ですべて包括し、外に出なくても良いシステムになっている。交通も、団体は大型バスで乗り付け、個人は自動車やタクシーで乗り付けるため、地元の商店街を通ることはない。 | 参考 | |
| 1035 | IR誘致には賛成ですのでは非現実化して頂きたいです。ただMM21地区や西区・中区だけではなく郊外の区も同じように整備し発展できるような具体的な施策を考えて実行して頂けるようお願い致します。 | 参考 | |
| 1036 | 横浜IRの実現を目指すという市の方針に、基本的に賛成ですが、意見があります。最後発のIRとして世界中の関係者が注目する中で、やるからには、それなりの内容を備えたものであるべきです。まず、横浜IRのコンセプトを表す言葉が見当たりませんが、未定でしょうか？横浜市の意思を主体性をもって堂々と発表していただきたいです。次に、説明書で「市税増収」を前面に出すのは本音とは言え、芸が無さすぎて不愉快です。IRは、来場者に感動と喜びをもたらす非日常的な空間を提供し、心身ともにリフレッシュしていただいて、日常活動のエネルギーをチャージする場であると考えます。そのためには、狭い山下埠頭だけでなく、周辺地域との連携と協調が不可欠だと思います。税金については、IR導入に合わせて、横浜は日帰り都市から、宿泊滞在型リゾート都市への転換を意識的に図ることにより、消費増加と税収増加が見込まれます。 | 参考 | |
| 1037 | IR事業者と地元企業、さらには、横浜市に協力する自治体とで、WIN-WIN-WINの関係で潤うような誘致になるといいと思います。 | 参考 | |
| 1038 | 横浜IRができると、地域への観光客も増える。増えた観光客が満足できるような、地域の受け入れ態勢も重要だと思う。 | 参考 | |
| 1039 | 横浜IR賛成瑞穂埠頭のあたりに新たな劇場整備も計画しているようなので、お客さんを取り合わずともに栄えていくといいと思う。IR業者も横浜市も地域潤うWIN-WIN-WINの関係になってほしい | 参考 | |
| 1040 | IRの経済効果で周辺の街が活性化するとの見方もありますが、IRには宿泊施設、娯楽施設、飲食店などが揃っており、客は其中で全ての欲求を満たすことが可能です。逆に周辺のホテル、お店や飲食店等は、IRに客を取られて衰退してしまうのではないのでしょうか。横浜が将来、そのようなことにならないという保証はありません。 | 参考 | |
| 1041 | MICE施設を設け大ホテルも併設しますね、現在MM地区で沢山建設中のホテルと競合しないのでしょうか。ただでさえこの終息が見えないコロナ禍で、開業するホテルは最初から倒産の危機に直面するのではないですか。IR導入後にも、今回と同様な事態はかなりの確率で起こるでしょう、営業不振に陥ったIRは救済するのでしょうか。 | 参考 | |
| 1042 | 横浜IRに賛成です。なにかと東京より観光施設としてインパクトが弱い横浜ですが、IRがあれば東京を目的とした外国人に強くアピールが可能になり、横浜を目的とする外国人が増える私も思います。また、ショッピングモールだけでなく、娯楽施設を多く含んだ大型IRにすることで経済が回りやすい仕組みが整っていると感じます。ただ、その効果がみなとみらい近辺で終わるイメージが強いので、横浜駅をはじめ、横浜市全体にも広くその効果が強く波及するような仕組みを、今後検討していかれる中で具体的に押し出していただけると嬉しいです。ぜひ宜しくお願いします！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1043 | そもそも、横浜港は歴史的に、諸外国からの物資、文化を迎え入れてきたエリア＝当時の最先端の物資、文化を迎え入れてきた場所であり、最近ではなかなか「これ」というものを打ち出し切れていない感がある。そういう意味で、今回の「横浜イノベーションIR」の実現は、他の街では成しえない事業の一つと考えており、全面的に賛同したい。そのためには単なる民間企業が進める事業の集合体ではなく、公民そして地域が連携し、横浜市全体で推進することが重要だと考える。 | 参考 | IR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、IR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、IR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、IRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、IRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。＜方向性 P.55、58、88＞ |
| 1044 | 郊外、山下埠頭から少し離れた飲食店やアミューズメント施設等を運営している方から「IRが完成したらそこで完結してしまうので、客足が減るのではないか」と懸念する声を聞きました。「都心臨海部の活性化＝自社のポジティブな要素」と捉えにくいのではないかと感じた次第です。例えば臨界都心部だけではなく範囲を広げ、細かい地域に分けた観光客の来客人数の想定や具体的な人の流れを可視化できれば、より横浜全体にコミットでき、イメージが付き易いのではないかと存じます。 | 参考 | |
| 1045 | 現在提案されているIRはカジノ資本をはじめとした一部の企業が儲けるだけで、地場産業や地域の経済が活性化するとは考えられません。 | 参考 | |
| 1046 | シンガポールのIR整備が経済的効果を上げていることから、横浜市にIRが整備されることにより外国人来訪者、外国人消費額や国際会議件数が増加し、横浜市の経済活性化に貢献することが期待できるため、是非推進していただきたい。IR開発がそこだけの整備に留まることなく、横浜の街全体のまちづくりや賑わい創出につながるものであることを期待します。 | 参考 | |
| 1047 | 横浜IRのカジノに、海外のカジノの収支を支えるVIP層をどれだけ呼び込めるかが成功の分岐点だと考えます。誘致によって、今想定しているような横浜の経済や税収の好転を実現してほしいです。VIPを呼び込む工夫を多く取り入れ、PDCAを回しながら運営して行ってほしいです。 | 参考 | |
| 1048 | IRは自己完結の遊興施設で、周辺地域が潤うことはない。 | 参考 | |
| 1049 | IR全体の3%の面積のカジノが、儲けの90%以上を占めるということが示されていません。どこのカジノを含むIRの実態です。そして、カジノの利益でIRの他の施設の料金を安くしています。その結果、客はIRの外に出ていきません。これでは、横浜の地域振興には結び付きません。 | 参考 | |
| 1050 | カジノでは、世界の人々を呼ぶことはできません。仮に一時的に人が来てもそれは、一時的なものです。世界の有名都市を回っても多くの都市は、歴史的建造物・街並み・文化を確実に残しており、人々の多くはこれらに着かれてその町を訪れます。最新の施設や建築街並みは、当初は人を呼べても長続きしません。以上により「横浜IRの方向性（素案）」に反対します。 | 参考 | |
| 1051 | 「IRの効果が郊外部を含む市全域に波及」と宣伝していますが、根拠がありません。IRはあらゆるショッピングモール、ホテルなどが敷地内にあるので、ほとんどの人がIRの内部で食事やショッピングも済ませると思います。 | 参考 | |
| 1052 | 基本的にIRは賛成です。会場敷地面積のcasinoに占める面積は全体の3パーセントと聞きます。横浜にエンターテインメントを誘致して経済効果を期待します。 | 参考 | |
| 1053 | 横浜の発展のためなら、応援しなくてはいけないと思うのですが、みなとみらい地区ではなく、瀬谷区や緑区などの地味な場所に分散させ欲しい。横浜駅周辺の混雑緩和にも配慮を望みます。 | 参考 | |
| 1054 | IR内の施設はカジノを除けば目新しいものはなく、横浜市内にあるものばかりであり、横浜市内の他の施設から人を奪い、一点集中させるだけのものであり、地域経済を疲弊させます。IR事業に参画できない中小企業には一般消費の落ち込みによりマイナスの効果しかありません。 | 参考 | |
| 1055 | 経済効果について、56頁に記載されている「市内中小企業からの食材・物品・サービス等の調達」について、IR事業者に対し、市内中小企業への発注率目標値を一定数提示させる（コミットさせる）必要があると考えます。例としてシンガポールにおけるIRでは現地企業の調達率が8割以上を占めているなど、高い経済効果を生んでおり、横浜においても経済効果・新産業創出及び、地元企業やベンチャー企業など現地・国内企業同士の共創の機会創出のため、本方向性に強く賛同いたします。特に、テクノロジー分野については、新産業創出の観点から、日本のテクノロジーの採用、育成についてのご見解と、また、サプライチェーンの構築や雇用創出に向けた人材マッチングにつきましても、ご見解等いただけますと幸いです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1056 | カジノ経営会社はみなとみらい線、首都高速にと「IR」を直結させることを条件としており、「IR」建設後は周辺の観光地に向かう観光客は激減することは容易に予想される。 | 参考 | IR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、IR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、IR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、IRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、IRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。〈方向性 P.55、58、88〉 |
| 1057 | 反対です。横浜に不要だと思います。既に商業施設や娯楽施設は数多くありますし、横浜の港に不釣り合いだと思います。 | 参考 | |
| 1058 | カジノは新たな生業・価値を生み出さない | 参考 | |
| 1059 | 確かに初期のインフラ工事で目先の景気対策にはなりますが、残された将来世代は夕張市民のように苦しむことになります。 | 参考 | |
| 1060 | IRをゲイトウェイにして横浜全体を活性化すると言っていますが、カジノを設けることにより、山下埠頭のIRから横浜の他の場所に観光に行くことはありえません。 | 参考 | |
| 1061 | IR（総合リゾート）について、私は賛成です。総合型リゾートと一言でまとめた表現も具体性がないので、国際会議の誘致による集客による横浜市の観光によるメリットなどを、もっと全面的に市長などもコメントすべきだと思います | 参考 | |
| 1062 | 私はIRに賛成です。シンガポールの現状を鑑みると、IRにより国際会議の開会が増えていると聞いております。その会議の参加者が、娯楽やリラクゼーションをIRに求め、それによりまた、経済に潤いも生まれているからです。加えて税収も得られ、その点も大きな利点だと思います。 | 参考 | |
| 1063 | 横浜市の税収は市民税の比率が高い都市です。また、事業所の90%以上が、中小零細事業者であることも、横浜の特徴です。さらに、政令都市では農業比率が一番高い。これらは、横浜市の特徴であり、否定されるべき指標ではありません。横浜IRの描く「未来の街づくり」はあまりにも「横浜都心臨海部」偏重です。横浜の市政は、市民生活第一の開発、中小零細の事業者重視の開発、また、非臨海部の開発、近郊農業振興重視こそ必要です。その視点か横浜IRは見直し、撤回されるべきです。 | 参考 | |
| 1064 | 横浜市の街の始まりが、小さな漁港にあり、国際的な港町として、臨海部を中心に、歴史をつくってきたことは確かでしょう。今、膨張をかさね370万人をこえる巨大人口都市になっています。臨海部は「横浜都心」といえるが如くの「開発」が行われていますが、国際港としての横浜港の世界的位置と働きの低下は否めません。また、大横浜の中で「開発」は臨海部に偏重し、内陸部は取り残され臨海部と内陸部とのギャップの拡大は否定がたいものです。是正を求めます。 | 参考 | |
| 1065 | 横浜IR計画評価の基本となるIRの効果（目標）について、参画意思を持つ事業者は、事業者としてあれこれの数値を出しているようです。横浜市が委託している「監査法人」が「確認」もしているようです。いったいどういう根拠からの数字であるのか。また、監査法人頼みと云こともなしです。自らが地権者である山下ふ頭を活用し、新しい「公共事業」とするIR事業、その事業規模や施設内容を構想するにあたって、事業運営がもたらすであろう観光への効果、地域経済の振興への効果、市の財政改善への効果について、何も考えを持ってないということはありません。 | 参考 | |
| 1066 | 横浜IRの考案にて賛成いたします。カジノ法案成立が決まり複合型施設の最初として地元でもある横浜地域活性化の想いも含めて賛成します | 参考 | |
| 1067 | 新しい施設ができることで、雇用が増えたり、先にある、店や施設が新たに活性化することも期待できると思う。交通の便なども良くなることも期待できる。 | 参考 | |
| 1068 | 経済活性化や雇用創出につながるので、良いと思う。 | 参考 | |
| 1069 | 土地としてのポテンシャルは高くアクセスも良いと感じています。横浜スタジアム、日産スタジアムといった施設を利用したスポーツイベントの実施が可能になれば観光客数も増加するのではないかと考えます。 | 参考 | |
| 1070 | カジノだけがピックアップされ、「治安が悪くなる」「ギャンブル依存症が増える」等の意見がありますが経済が活性化し、市の税収が増えることは良いことでもあります。横浜が活気ある街になることは間違いないと考えます。私は賛成であります。 | 参考 | |
| 1071 | 活気ある地域社会の実現の為の手段として、ぜひ横浜IRを具体化させて頂きたいです | 参考 | |
| 1072 | 実現すれば観光資源としてだけでなく、施設の建設や運営による地元企業への経済効果が生まれると思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1073 | 雇用創出、インバウンド、中小企業の活性化、企業誘致。これらに期待をしております。 | 参考 | <p>IR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、IR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、IR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、IRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、IRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。〈方向性 P.55、58、88〉</p> |
| 1074 | 今後日本全体での人口減少は目に見えており、増々インバウンド需要に頼っていかねばならない状況にあると考えます。IR事業により外貨の獲得と雇用の促進を図ることが現実的な経済対策であると思います。 | 参考 | |
| 1075 | IR推進をお願いします。神奈川県外国人観光客招致の大きな力になると思います。オリンピック後の経済対策としても有効だと思います。 | 参考 | |
| 1076 | 横浜市活性化の為に推進していただきたく思います。 | 参考 | |
| 1077 | IRによって横浜を中心に経済が栄えれば良いと思います | 参考 | |
| 1078 | IR計画は、賛成ですが、建設業から始まり、栄えて来ると思います | 参考 | |
| 1079 | 経済が回るようになると思う。 | 参考 | |
| 1080 | 経済・文化・サービス全ての分野にて今よりもっと魅力ある町「横浜」になると思うので、賛成です。 | 参考 | |
| 1081 | 横浜は開港の地として、海外交易の中心になり、国際的港湾都市、日本有数の観光地であるのは誰もが知るところである。横浜型IRと融合することで、相乗効果で、賑わい、ビジネスチャンス、雇用機会増、施設、サービスへの再投資等、経済効果の広がりが、横浜のさらなる魅力を高め、活性化につながると思う。 | 参考 | |
| 1082 | 長期的に考えると、観光客増や安定した雇用創出など、経済・財政への影響は良い方向に働くと思います。 | 参考 | |
| 1083 | 大幅な経済効果もたらしてくれるとは思いますが。 | 参考 | |
| 1084 | 観光客を呼び寄せることにより経済を活性化することで横浜市と事業所のWIN・WINの関係が作れると思います。 | 参考 | |
| 1085 | カジノ施設だけに頼らず集客力のある魅力的なエンターテインメント施設を作り地区を中心に横浜市全体が活性化し盛り上がりて欲しい。 | 参考 | |
| 1086 | 市内事業者への還元 東京とは異なり、ハード・ソフト面ともにオール市内調達は困難だが、一定割合の市内調達を行い市内事業者との共存を図る。 | 参考 | |
| 1087 | 横浜市の国際的な発展と中小企業含む商業の発展につながる方向性で進めていただきたい | 参考 | |
| 1088 | 人口減少による超高齢社会が進展し、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれる中で、この横浜IRはとても効果的、且つ現実的で良い計画だと思います。 | 参考 | |
| 1089 | 将来性のあるIR事業が横浜に出来る事は観光の活性化と経済成長が大いに期待出来る。都市ブランド向上に寄与する事業だと思います。 | 参考 | |
| 1090 | IRの事業による経済効果や雇用の改善により、横浜市がより活性化することに期待しております。 | 参考 | |
| 1091 | 将来を見据えた横浜市の取り組みは「豊かで安全・安心な暮らしを維持」とし企業誘致、中小企業振興、商店街活性化の事業などと同列にIRカジノを位置づけることにしています。これらの事業とIRカジノは性格の違うものです。カジノは「人の懐からお金を吸い上げ胴元がもうける事業です」中小企業振興や商店街振興など、物作りや生活に必要な品物を作り販売することは違います。こうしたことからIRカジノは反対です。 | 参考 | |
| 1092 | 国際会議などが増え、市内経済の活性化につながることを期待します。 | 参考 | |
| 1093 | 横浜だけでなく周辺自治体にも経済波及効果が生じるようなIRが実現することを期待しています。 | 参考 | |
| 1094 | 方向性3＝オール横浜で観光、経済にイノベーションを→市内の他地区に、既に「多くの施設」あり、競合する。来客を囲い込むだけで、他地区との「相乗効果」はない。 | 参考 | |
| 1095 | 横浜に、カジノやエンターテインメントの施設が出来た場合、大好きな吉田町始め、横浜の様々な町に、どれくらいの恩恵をもたらせていただけるのか？我々が住んでいる横浜が、より国際化される事は、素晴らしいと思うので、少しでし還元してもらえようようにしていただきたい！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1096 | 横浜は、魅力のある場所がたくさんある街なので、とても期待しています。みなとみらいの方はよく遊びには行きますが、外国の人達が日本に来た時に、それ以外の場所も思い出に残るように考えて頂ければと思っています。 | 参考 | <p>ⅠR区域には大規模MICE施設や集客施設などが整備されるため、それらを活用した国際的なイベントが実施される場合には、ⅠR内のホテルの定員を超える宿泊者が想定され、都心臨海部をはじめ市内のホテルへの宿泊や飲食が見込まれます。また、アフターコンベンションや同伴者がショッピングや食事、市内観光やスポーツ観戦、文化芸術施設を訪れることが期待されます。加えて、ⅠR区域内で使う食材や物品などの調達、サービスの提供などの需要については、市内全域で対応することで、市内経済の活性化が期待できます。また、ⅠRの推進と合わせて、周辺地域の魅力向上に努めるとともに、ⅠRと周辺地域が連携することで、相乗効果を生み出していきます。〈方向性 P.55、58、88〉</p> |
| 1097 | 日本の事を考えると、今後外国から人が集まる事はとても良い事だと思います。野毛や関内など、とても楽しい街なので、この法案でにぎやかな街になれば良いと思います。 | 参考 | |
| 1098 | 臨海部だけでなく、市内全域に波及するようなくみを示してほしい。 | 参考 | |
| 1099 | 横浜市の更なる発展のため、ⅠRの整備を支持します。ビジネス機会の創出、企業の交流の増による新たな産業の創出、市内経済の活性化につながることを期待しています。 | 参考 | |
| 1100 | 山下ふ頭にⅠRを誘致し、ここでの最先端のとりくみが新産業の創出につながるようになると、横浜全体にいい刺激を与えることになると思います。 | 参考 | |
| 1101 | ⅠRの整備によって、ビジネスや観光で横浜を訪れる人が増加し、消費や受注機会、雇用機会の増により市内経済の活性化、増収による市民生活の安定化に寄与することを期待します。 | 参考 | |
| 1102 | ⅠRをうまく活用することによって横浜市全体の発展、市民の生活の質向上、市内経済の活性化につながることを期待しています。 | 参考 | |
| 1103 | 横浜の企業は中小が多い。ⅠRがくるのであれば、中小企業に恩恵があるべき。ⅠRからの発注をしっかりと市内事業者が受注できるよう具体的な仕組み作って欲しい。 | 参考 | |
| 1104 | これまでの横浜が全て完璧なわけではない。「イノベーションⅠR」とあるように、ⅠRをきっかけに今までの街ももっと魅力的に変えてほしい。 | 参考 | |
| 1105 | 地元横浜の経済活性化のためにも、是非とも横浜ⅠRを強力に推し進めていただきたい。 | 参考 | |
| 1106 | 横浜市の活性化のためにいいと思います。 | 参考 | |
| 1107 | 横浜ⅠRの方向性について、非常に魅力的な事業であり、横浜の経済の活性化、ひいては日本の発展につながるものだと思います。大きく経済が動くことで、様々な問題が起こることが考えられますので、熟慮を重ね、十分な検討を行い、余裕をもった事業計画の実施をお願いしたいと思います。 | 参考 | |
| 1108 | 人口減少、高齢化社会になって行く。横浜市の経済に大きな効果生み出すことに期待できる。横浜の発展の為には必要である | 参考 | |
| 1109 | 人口減少高齢化社会を目前に、若い世代への財政負担を考え、ⅠRは、大きな経済効果を生み出すと期待する。 | 参考 | |
| 1110 | 負の要素はあるが、それ以上の経済には必要と考える。 | 参考 | |
| 1111 | 地域経済の振興と市の財政改善の為のカジノは必要と思う | 参考 | |
| 1112 | インバウンド効果を引き出すためには、地元住民、地元商店街の理解が重要であり、事業者には地元との共存共栄をどのように図るのか、有効な提案を希望致します。 | 修正 | <p>横浜ⅠRを目的として、インバウンドを含む観光客やMICE参加者が来訪し、宿泊や飲食等により、ⅠR区域内のみならず関内・関外地区やみなとみらい21地区、横浜駅など周辺地域の商店街や商業・飲食施設の観光消費額を増加させることとし、方向性3「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」を一部修正しました。〈方向性 P.55〉</p> |
| 1113 | 近い元町、中華街、馬車道などの商店街や、横須賀、鎌倉、小田原箱根といった県内の観光地への具体的な送客イメージが分からない。相方がWin-Winとなる為に、各事業者から具体的な取組を求めるべき。 | 修正 | |
| 1114 | 地域経済の振興を謳うなら、既存の商店街なり住宅地域の振興こそが必要である。 | 修正 | |
| 1115 | ⅠR賛成。市内のにぎわっている商店街が、そっくりそのままⅠRの中にできるようなスペースがあると、市内の商店街も盛りあがると思います。 | 修正 | |
| 1116 | ⅠR賛成。周辺には中華街や元町があります。共存・共栄を考えてください。 | 修正 | |
| 1117 | 交通といったハード面だけでなく、ソフト面においても来街者が流れるしくみを充実してほしい。 | 修正 | |
| 1118 | 「商店街の活性化」について、活性化の対象は、元町商店街や、横浜橋商店街などの臨海エリアに絞られているのではないだろうか。「オール横浜」と言うには範囲が狭すぎると思う。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1119 | 周辺地域にも人々が回遊し活性化することを強調したらよいと思います。ぜひ人でにぎわう横浜になってほしいと思います。 | 修正 | 横浜IRを目的として、インバウンドを含む観光客やMICE参加者が来訪し、宿泊や飲食等により、IR区域内のみならず関内・関外地区やみなとみらい21地区、横浜駅など周辺地域の商店街や商業・飲食施設の観光消費額を増加させることとし、方向性3「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」を一部修正しました。〈方向性 P.55〉 |
| 1120 | 横浜市の経済活性化のために必要だと考えている。しかし経済波及効果が地元地域に確かに行きわたるという明確な情報公開が十分ではない印象があるため、そのフォローをお願いしたい。同時に地元地域の商店街がとり残されないような配慮をいただきたい。 | 修正 | |
| 1121 | IR早くつくってほしい。市場との連携が必要では。築地のように観光客が入れると良いです。 | 修正 | |
| 1122 | 施設を一極集中にするのではなく、元町、伊勢佐木町、野毛等々の商店街の魅力付けをし、多極的な市街地作りにすべきである。旧市庁跡を中心とした付近の再開発も予定されている。それらとの整合性を考えるのが先である。 | 修正 | |
| 1123 | 商店街活性化は、IRカジノと連携できにくい要素も多く含まれている | 修正 | |
| 1124 | 埠頭周辺にある古くからの商店街に対する配慮がなされていない素案に強く反対する。それら地域では古くから文化を、例えば本牧文化を創り上げている。これら文化を壊す素案に、反対する。 | 修正 | |
| 1125 | IRのショッピングモール等により、今まで伝統的な横浜の良さを担ってきた既存の小売店・商店街の存続が難しくなるでしょう。郊外のショッピングモールで町の中心の商店街がシャッター商店街となり、高齢者が買物難民になるという構図です。 | 修正 | |
| 1126 | 横浜だけでなく関東一円から来場するでしょう。本来ならそれぞれの顧客の地元で消費され、利益になったであろうお金がカジノに使われてしまい、顧客の地元や横浜の周辺商店街などはかえって売り上げが落ち込むことになるのではないのでしょうか。 | 修正 | |
| 1127 | 統合型リゾートは囲い込みのビジネスモデルと言われ、IR型カジノの恩恵が自動的に地域に及ぶことはないと言われている。波及させるならば、来客を地域に惹きつける独自の魅力と努力が必要になるということ。それができなければ、IR型カジノは、周辺の既存の宿泊業や商店街、レストランなどの地域経済を担う中小企業を淘汰し、コミュニティの担い手である住民の流出を通じて地域社会を破壊していく危険性が高い。そのようなIRカジノ導入は断念すべきです。 | 修正 | |
| 1128 | IRを誘致することによって元町商店街や中華街や横浜みなとみらいおよびホテルなど衰退することはまちがない。特に元町は間違いなく衰退する。地元の横浜がどうなるかの視点が全く欠けている素案だと思う。 | 修正 | |
| 1129 | IR法によるホテル、国際会議場、展示場、レストラン等の施設の運営費は、カジノの収益で賄うと聞きます。つまり、閉鎖型の経済で、既存の商店街頭の経営を圧迫するだけです。 | 修正 | |
| 1130 | 素案ではIR施設外の周辺地域に与える経済的影響について試算が示されていない。観光客がIRに囲い込まれ市内の他のホテルや飲食店を利用しなくなり、IR外の横浜市内の周辺にとってむしろマイナスの経済的影響があり得ることについて、何も検討されていない。 | 修正 | |
| 1131 | 横浜IRに期待。横浜IRに来た観光客が、元町や中華街にも訪れて、地域が活気づくとうれい。ベ이스ターズや馬車道、日本大通りと横浜IRのコラボもあるといいと思う。 | 修正 | |
| 1132 | 横浜IRが回遊性の拠点になるといいと思います。パブリックコメントの概要版にある、都心臨海部との融合の図にある円のように、横浜IRを拠点にした大きな回遊性を生み出せれば、さらに地域も活性化して良いと思います。素敵な横浜IRを作ってください。 | 修正 | |
| 1133 | ホテルや劇場、レストランと言った非カジノ施設はそれぞれの事業部門で利益を出さず、カジノの賭け額のポイント還元で利用できるサービスを展開し、基本的に利用客はIRに囲い込まれることとなります。その結果、地元の飲食店や宿泊施設は不公平な競争を強いられることが予想されます。IRがカジノ収益に頼るビジネスモデルである限り、地域活性化にはつながりません。 | 修正 | |
| 1134 | あたかもIRにより、横浜市民全体の生活状況が維持され好転するかのよう表現がされていますが、IRの誘致により市内に来訪者が増えても、シャッター街と化した市内の多くの商店街に活気が戻るようなことは決して望めないでしょう。 | 修正 | |
| 1135 | IR誘致に賛成です。元町・中華街・山下町・馬車道・伊勢佐木町・野毛等の既存の商店街との共存共栄について、具体的な施策を持っていただくことを希望致します。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1136 | I R誘致に賛成です。ギャンブル依存症対策をしつつ既存の商店街との共存共栄について、具体的な施策を持っていただくことを希望致します。 | 修正 | 横浜I Rを目的として、インバウンドを含む観光客やM I C E参加者が来訪し、宿泊や飲食等により、I R区域内のみならず関内・関外地区やみなとみらい21地区、横浜駅など周辺地域の商店街や商業・飲食施設の観光消費額を増加させることとし、方向性3「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」を一部修正しました。〈方向性 P.55〉 |
| 1137 | I R誘致に賛成です。元町・中華街・山下町・馬車道・伊勢佐木町・野毛等の既存の商店街との共存共栄について、具体的な施策を持っていただくことを希望致します。 | 修正 | |
| 1138 | I R誘致に賛成です。元町・中華街・山下町・馬車道・伊勢佐木町・野毛等の既存の商店街との共存共栄について、具体的な施策を持っていただくことを希望致します。 | 修正 | |
| 1139 | I R誘致に賛成です。地元企業・商店との相互共栄について、具体的な施策を考えて頂ければと思います。 | 修正 | |
| 1140 | カジノは、売上を囲い込むため、地元経済にはマイナスです。仕入れは地元企業を使うとか、後からフォローしていますが、一部取引ができた企業にメリットがあるだけで、地元の商店街の売り上げが増えるはずがありません。本当に、地元の商店街の売り上げはカジノができるかと伸びますか？伸びるとすれば、なぜでしょうか？I R施設に取引のない会社・商店にもメリットは本当にありますか？ | 修正 | |
| 1141 | 周辺の商店街にはカジノに入った人はいかない。そうすると、周辺は冷え込む、あるいは今まで以上に反映するとは思えない。 | 修正 | |
| 1142 | カジノはI R全体の3%に過ぎないことを市民が正しく認識し、その上で本当に横浜に必要なものかを判断すべきだと思います。I Rの運営業者は外資中心となりますが、地元の中小企業や地域の商店街等にもきちんと恩恵がいく仕組みが作れるならば、取り組み自体には賛成です。 | 修正 | |
| 1143 | 39ページ：「都市臨海部への回遊性強化」により、元町商店街、中華街、伊勢佐木町などが潤うと見込んでいますが、I Rは顧客を囲い込む閉鎖型の施設です。 | 修正 | |
| 1144 | I R誘致に賛成です。元町・中華街・山下町・馬車道・伊勢佐木町・野毛等の既存の商店街との共存共栄について、具体的な施策を持っていただくことを希望致します。 | 修正 | |
| 1145 | I R誘致に賛成です。I Rに携わる企業や商業施設のみが益する体制ではなく、元から横浜の都心臨海部にある会社や商店を活用すると共に、I Rの経済効果が西区や中区のみに集中しないような施策を希望致します。 | 修正 | |
| 1146 | I R誘致に賛成です。横浜市の活性に繋がると思うからです。交通や治安の面、既存の店舗に対する配慮など考えて頂きたいと思います。 | 修正 | |
| 1147 | I R誘致について基本的には賛成です。一方で既存の商店街との共存共栄についてやまちの治安悪化への不安について、具体的な施策を持っていただければと思います。 | 修正 | |
| 1148 | 働きがいも経済成長も（すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する）→カジノ事業者にとっては、周辺の店舗との連携・連動は不要である。そのため、客足や労働力の囲い込みが生じ、周辺の店舗の持続可能な経済成長が阻害されるおそれがある | 修正 | |
| 1149 | 横浜市内の中小事業者（特に飲食店系と子ども運動系）が潤うようにしてください。地元にお金が「具体的に」落ちるようにしてください。結局、成功するかどうかは「横浜市民がそこで具体的にお金が稼げるようにする」です。 | 修正 | |
| 1150 | 地元のレストランや街中の個人店の活用 ぎりぎりまで頑張っているお店が、店を出して、自ら売ってお金を稼げるようにしてください。全国規模のチェーン店は不要です。横浜のお店を活用ください。その人たちがコアになって、口コミで人々を呼びますそうしたお店には、地域に根差して、商店街や町意識、社会参画意識の高い、SNSをフルに活用している人がたくさんいます。草の根でつながっています横浜市民が経営している地元のお店のスペースを設けてくださいなお、家賃ゼロです。 | 修正 | |
| 1151 | I R拠点に各まち（商店街など）の案内ブースを設置し、「関内コンシェルジュ」を常駐させたい。 | 修正 | |
| 1152 | 横浜I Rの方向性素案に以下の理由で反対します。政治家も経済界も目先の利益だけを考えていると思います。長期的には区画外の周辺商店街等の利益にはならない可能性が高いです。 | 修正 | |
| 1153 | I R地区から、関内方面、吉田町方面に飲み流れてきてくれるように、バスなどの交通機関の運用をしていただきたいです。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1154 | 整備には賛成ですが、吉田町や野毛などにごお客様が来てくれるのか具体的な案を示してほしい。 | 修正 | 横浜IRを目的として、インバウンドを含む観光客やMICE参加者が来訪し、宿泊や飲食等により、IR区域内のみならず関内・関外地区やみなとみらい21地区、横浜駅など周辺地域の商店街や商業・飲食施設の観光消費額を増加させることとし、方向性3「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」を一部修正しました。〈方向性 P.55〉 |
| 1155 | IRによってインバウンドが増えることは賛成です。日本人にもカジノのみならず集客できる仕組みと周りの商店街（吉田町）にも人が流れる環境を備えてほしいです。 | 修正 | |
| 1156 | もっと吉田町が元気になるにはIRと人の流れが出来ると思います。 | 修正 | |
| 1157 | 新山下だけで終わるのではなく、吉田町や周辺地域など横浜には昔ながらの観光名所があるので役所側がそれらをPRするのが良いと思います。 | 修正 | |
| 1158 | 会議後の、ユニークベニューなどで積極的に街とつながり、地元商店街に恩恵もあり、又、世界の人も横浜とふれ合う。そんな相互に良い政策をお願いします。 | 修正 | |
| 1159 | IRに賛成です。市内の商店街にも外国人の旅行客が周遊するような仕組みを、IR事業者にしっかりと検討させるべき。 | 修正 | |
| 1160 | 横浜が賑わって、小さな商店街にまで人が行くような、回遊をとまなうIRにして下さい。IR大賛成です。期待しています。 | 修正 | |
| 1161 | 横浜はIRを機に世界に向けて東京にない国際都市を歩むべきです。特徴のある企業の集積や観光面は勿論大事ですが、清潔な街なみや親切な人々、あるいは多くの人が英語や中国語を話せるソフト面も大事ではないでしょうか？ | 修正 | |
| 1162 | IR楽しみです。日本人が多く外国人と交流できる機会が増える仕組みを考えてください | 修正 | |
| 1163 | 方向性について、賛成です。子どもに対する、投資や投機、娯楽、ギャンブルなどのお金の使い方についての教育も手厚くするとよいと思います。IRを誘致してよかったと市民が思える、誇りに思えるリゾート施設になってほしいです。 | 修正 | |
| 1164 | 是非、世界最高水準のIRを実現するために、自治体と住民が一体となった取組みを期待したい。 | 修正 | MICEがもたらす効果は、大きな経済波及効果だけではなく、ビジネス機会やイノベーションの創出、研究促進等の経済波及効果以外の効果（レガシー効果）も生み出し、開催地域を中心に開催後も中長期的に好影響を与えるとされています。そのレガシー効果として、市民が街を盛り上げていくホストとして活躍できる活動機会の提供等を推進し、また、未来を創る横浜の子どもたちが、国際社会で活躍できる視点を養える交流・体験等の機会創出を推進することとし、方向性3「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」を一部修正しました。〈方向性 P.56〉 |
| 1165 | 工場見学に特化した見て学べる娯楽施設。ミニ工場を何棟か建て、半年～4ヶ月毎に内容をかえる。パイオ、食品、薬品、工芸 車いすや義肢装具など。それぞれの本社のある町を紹介し、そこへのアクセス、移住、などの案内（それぞれの自治体とタイアップ）ふるさと納税の返礼品はこの工場の品物を提供。開催している、時、物が出来てくる過程を見ることはものすごく楽しい。工場見学を全市に広げるきっかけにもなります。いつも同じものではないこと。日本のもの作りを外国の方にも楽しんでいただける。日本の子どもたちも大人たちも楽しめます。 | 修正 | |
| 1166 | 子供達が学習（様々な体験）できる施設や場所を提供してください。 | 修正 | |
| 1167 | 横浜の街を未来の人々に誇れる場所にしたい。若い人々が楽しめる事業を推進してほしい 自転車・バイク・Eゲーム・バギーetc | 修正 | |
| 1168 | IR賛成。子供が職業体験できる仕組みがあると良いです。 | 修正 | |
| 1169 | IR楽しみです。子供の職業体験ができると良いです。 | 修正 | |
| 1170 | IR賛成。子どもが社会科見学に行けるような施設を望みます。 | 修正 | |
| 1171 | IR賛成。IR事業者に市大に寄付講座をつくらせて市内貢献をはかってください。 | 修正 | |
| 1172 | IR楽しみです。外国人と交流できる場所ができると良いです。 | 修正 | |
| 1173 | IR遠足で行けるところがあるといいとおもいます。 | 修正 | |
| 1174 | 市民の異文化交流能力の育成が必要です。子どもたちがグローバル人材として成長していけるような横浜型教育プログラムみたいなものを作って欲しいと考えます。MICEも箱ものづくりだけでなく、それを生かせる人材が大切だと思います。 | 修正 | |
| 1175 | 横浜IRに賛成します。教育的な役割ももつ施設があると、市民からの親しみも助長され、より地域に根差したリゾート空間になると思います。 | 修正 | |
| 1176 | 誘致により国際都市として未来ある生徒・学生の学力や英語力向上に寄与することをアピールしてほしい。 | 修正 | |
| 1177 | 教育的な役割ももつ施設を | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1178 | 賛成します。教育的な役割ももつ施設があるといいと思います。 | 修正 | MICEがもたらす効果は、大きな経済波及効果だけではなく、ビジネス機会やイノベーションの創出、研究促進等の経済波及効果以外の効果（レガシー効果）も生み出し、開催地域を中心に開催後も中長期的に好影響を与えるとされています。そのレガシー効果として、市民が街を盛り上げていくホストとして活躍できる活動機会の提供等を推進し、また、未来を創る横浜の子どもたちが、国際社会で活躍できる視点を養える交流・体験等の機会創出を推進することとし、方向性3「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」を一部修正しました。＜方向性 P.56＞ |
| 1179 | 賛成します。子どもの教育にも役立つような施設もあるといいと思います。 | 修正 | |
| 1180 | 多文化共生は少子化などで、これから益々日本全体で重要になる問題だと思います。横浜で共生のモデルができると良いと思います。それには、沢山の国とその国の人たちに小さい頃から触れていくことも大切なことかと思ひます。 | 修正 | |
| 1181 | 子供たちにお仕事体験施設などがあると家族で過ごせる施設となりますのでご検討いただけますと幸いです。 | 修正 | |
| 1182 | 横浜IRに賛成します。教育的な役割も担う施設も横浜IRにできるといいと思います。市民からの親しみもより湧いて、地域に根差したリゾートになると思ひます。 | 修正 | |
| 1183 | 横浜IRには、子どもたちに夢を与えられる場所、そして子どもたちが夢を叶えられる場所になってほしいです。 | 修正 | |
| 1184 | 賛成。財政逼迫の今、増税せずに、税収を合法的にアップできる手段は、市民にとっても魅力的だと思います。横浜IRに教育的な役割も持つ施設ができると良いと思ひます | 修正 | |
| 1185 | 老若男女「リゾート」ではなく、何らかの学びや教養を得られるような仕組みや取り組み、見せ方がないと、地元住民との離隔が進むと思われる。 | 修正 | |
| 1186 | 横浜はグローバルなイメージがあります。子供達の外国語教育に力を入れ国際都市で育った環境を強みにしグローバルな人材を育てて欲しいです。IRに訪れる外国人との交流を積極的にできるようになってほしい。 | 修正 | |
| 1187 | 賛成します。高齢化に併う市税収入減のリスクをもっと具体的な身近な例をたくさん示してほしい。“おもてなしの都市横浜”の充実、特にソフト面の充実。E x . 小中学校の英会話授業数を他の自治体より多く。成人用のオンライン無料英会話等…市の歴史、文化の紹介を英語でできる横浜市民を目指す。 | 修正 | |
| 1188 | 海外の人がたくさん来るので横浜市の中学生在が海外の人たちと触れあって学べる場があればいいです。 | 修正 | |
| 1189 | 人口の下降現象が全国で進む中で横浜の経済力が落ちることのないように地域社会の企業や労働力を活用しながら推進していく必要があります。外貨の獲得にインバウンドをしっかりと力をいれ、国内外は日本だからこそといえる魅力の発信ができるIRとなることを希望致します。 | 参考 | 横浜市民にとって雇用の選択肢が増えるとともに、国内外から働き手が集まり、人口増にも貢献するような、魅力あるIRを実現したいと考えています。 また、IRについては、国際観光都市にふさわしい、専門人材の育成が不可欠と考えており、事業者に対して、開業前からの人材育成を求めていきます。 これにより、IRだけでなく地域の人材輩出にも貢献するよう事業を進めていきます。＜方向性 P.57＞ |
| 1190 | 横浜市民を優先した雇用を確保して欲しい。（IR施設内での雇用） | 参考 | |
| 1191 | 雇用機会も期限が限られている。 | 参考 | |
| 1192 | 将来の人口減少に、外国人労働者が働ける場所をつくってほしい。IRは横浜に必要です。 | 参考 | |
| 1193 | IR期待しています！観光産業（世界水準の）の人材が育つ、教育施設を（大学みたいなもの）併設しては、どうでしょうか？ | 参考 | |
| 1194 | IR賛成です。非正規雇用が多いと聞いたことがあるので、正社員を雇ってください | 参考 | |
| 1195 | 将来の雇用のために | 参考 | |
| 1196 | 将来、僕たちが働く場所となればうれしいと思ひます。 | 参考 | |
| 1197 | 大規模な施設ができれば、雇用も税収も増えることは、よい思ひます。 | 参考 | |
| 1198 | 世界の、また全国の若者が観光やエンターテイメントのスペシャリストを目指すとき横浜イノベーションIRで働いてみようと思ってもらえると良いですね | 参考 | |
| 1199 | 友達がシンガポールのリゾートカジノで働いています。テーブルゲームのディーラーになるためには、瞬時に勝った人の配当額を計算しなければならないので、時間をかけたプロフェッショナルになる研修があるそうです。また、異常にヒートアップしているお客に声をかけて、相談したりする訓練もあるそうです。横浜にできるカジノにも、そのような仕組みがあれば市民の不安も少なくなるのではないかと思ひます。 | 参考 | |
| 1200 | IRを作ることで、新たな雇用を生むことにもつながっていくと思ひます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1201 | 新たな雇用が生まれるのは良いことだと思います。 | 参考 | <p>横浜市民にとって雇用の選択肢が増えるとともに、国内外から働き手が集まり、人口増にも貢献するような、魅力あるIRを実現したいと考えています。</p> <p>また、IRについては、国際観光都市にふさわしい、専門人材の育成が不可欠と考えており、事業者に対して、開業前からの人材育成を求めています。</p> <p>これにより、IRだけでなく地域の人材輩出にも貢献するよう事業を進めていきます。＜方向性P.57＞</p> |
| 1202 | IRによる雇用創出効果は10万人規模もあるとは知りませんでした。横浜にIRがくることで活性化します。ぜひIRを誘致してください | 参考 | |
| 1203 | IRは高い雇用創出力がある。横浜の経済が発展する様、IRを誘致してほしい。 | 参考 | |
| 1204 | 横浜には働きたいと思える場所が少ない。IRで魅力的なホテルや商業施設を作って、働く場所を確保してほしい | 参考 | |
| 1205 | サービス業の賃金は安く、時間も不規則です。IRができて、横浜の景気が良くなれば、雇用者も条件が良くなると思います。今の雇用状況を改善するためにもIRを実現して下さい。 | 参考 | |
| 1206 | IRが子どもから大人まで楽しめる施設だとわかりました。ぜひ実現してほしい。働きたくなるような場所にしてほしい。 | 参考 | |
| 1207 | IR賛成。ITOP横浜に入るように事業者を指導してください。いずれは実証実験をIR内でできるようにしてください。 | 参考 | |
| 1208 | 雇用はどのように確保するのか教えていただきたい。 | 参考 | |
| 1209 | カジノについては韓国のように現地民がプレイ出来ない様にすれば良いですし、施設運営により市民の雇用を生む場にもなるし、外貨獲得につながる装置としてぜひ進めて頂きたい。 | 参考 | |
| 1210 | 外国の例をみても若い人たちは街を出ていきます。街はすさんで、「温かい街」とはなりません。 | 参考 | |
| 1211 | 異国情緒の横浜を維持発展させるために、カジノの売上げでIRの運営を賄う方針を以下のことから見直します。横浜市民の多くが正規で働き、最低賃金1,500円とし、地元の中小企業が市民を雇用できる経済対策に、市民の税金を使う方向を目指します。 | 参考 | |
| 1212 | 経済や雇用の強化につながることも説明されていますが、賭博行為に依拠して経済効果や雇用を生み出すなどということに疑念を抱かざるを得ません。横浜市のIR計画には反対です。 | 参考 | |
| 1213 | IRは雇用拡大にも有益だと考える。 | 参考 | |
| 1214 | 安定した雇用の創出をアピール。特に語学が堪能な日本人にとっていかに有利なのかなど。 | 参考 | |
| 1215 | 56頁で質の高いサービス提供を目的とした人材育成というが、どのような業種のどのような職種どのような人材のどのような職業能力の育成を行おうとするのか、その具体的内容を載せてください。 | 参考 | |
| 1216 | 56頁で雇用創出・人材育成を謳うが、日本で一番外国人観光客が来るようになったニセコにおいて実質的な公用語が英語となっている現状を踏まえた上での、具体的な人材育成方法を述べてください。IR域内だけの問題ではないと思います。 | 参考 | |
| 1217 | 7頁で横浜の観光について述べているが、横浜市域でのヒトの供給に対する横浜市の戦略について述べてください。 | 参考 | |
| 1218 | 現状において介護・医療・福祉・教育の人材が不足しているところに、IRの方で大量に人材を奪うことは政策として欠陥があると考えますが、横浜市としての対策を述べてください。 | 参考 | |
| 1219 | 横浜IRに賛成。IR事業者には、横浜市民を優先して雇ってもらえたり、横浜市のスポーツチームのスポンサーになってもらえれば、なおよいと思う。 | 参考 | |
| 1220 | 不況へと傾きつつある昨今ですので、雇用の拡大に繋がることも期待しています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1221 | IR誘致を考える前に、長期的な労働力需要を見越した上での産業戦略を練るべきである。共働きや一人世帯の増加、超高齢化により、今後、福祉・看護・介護・保育の人材需要が高まる中、厚生労働省は福祉・看護・介護・保育の人材不足を挙げ、老年人口の増加と生産年齢人口の減少により更にその傾向が強まることが想定される。こうした状況を踏まえて言うことは「いかに少ない労働力を通勤時間で疲弊させることなく今後高まる福祉・看護・介護・保育というサービスの現場に近いところで供給することができるか」という視点が重要ということではないだろうか。また、横浜市民の賃金の底上げを図ることこそが、横浜市民及び横浜市の財政に益するところが多いと言えないだろうか。IRという「人の二次的需要」である観光に労働力を取られては、こうした福祉・看護・介護・保育の労働力需要に対応できず、住民に必要なサービスが滞ってしまう。IR誘致の前に、横浜市は長期的な労働力需要を見越した上で産業戦略を策定してほしい。最後に、「富裕層が遊ぶ傍らで低賃金でこきつかわれること」が「質の高い魅力的な職場」（素案95頁）なのか。「観光客をもてなす人材」（素案56頁）とは「富裕層をもてなす貧民になれ」ということなのか。横浜市に聞きたい。 | 参考 | 横浜市民にとって雇用の選択肢が増えるとともに、国内外から働き手が集まり、人口増にも貢献するような、魅力あるIRを実現したいと考えています。 また、IRについては、国際観光都市にふさわしい、専門人材の育成が不可欠と考えており、事業者に対して、開業前からの人材育成を求めていきます。 これにより、IRだけでなく地域の人材輩出にも貢献するよう事業を進めていきます。＜方向性P.57＞ |
| 1222 | 少しでも雇用が進むことを願います。 | 参考 | |
| 1223 | 海外観光客、海外企業のMICEビジネスを獲得するには情報（提供）システム、人材両面での環境整備、教育投資が絶対必要。 | 参考 | |
| 1224 | 雇用創出でIR内での時給1000円ほどのものばかりでは困りますね。もくろむような税収は増えません。特にIRでMICEに関わる人材育成が重要。沖縄県はその点に気づきIR、観光を下支えする業界人教育を実施、効果をあげていますよ。 | 参考 | |
| 1225 | 約10万人もの雇用の創出を期待していますが、IRの雇用創出により、重要な介護・医療分野の労働力が不足します。 | 参考 | |
| 1226 | 多くの雇用を生み出し、人口減少社会にあっても働く人々が集まり、周辺人口も増加し、横浜がこれまでに以上に活気ある街となることを期待します。 | 参考 | |
| 1227 | IR誘致に賛成します。横浜市の活性化と雇用創出に期待します。 | 参考 | |
| 1228 | 地域経済の活性化ではなく、一時的には建設時の大規模投資による需要が増えるものの、常時作り出される雇用は殆ど非正規であり、さらに横浜を貧しくするものです。 | 参考 | |
| 1229 | 誘致に伴い雇用も増えるので、ぜひ埠頭に作っていただきたい！ | 参考 | |
| 1230 | 人々がお金を稼げる場を提供することこそが、SDGsの本質でもありますよ。抽象的で曖昧な言葉はつきません（今、コロナでもそうでしょう。余計意味不明）。 | 参考 | |
| 1231 | IR施設内のすべての従業員は正規雇用のみ。理由、横浜市民の老若男女仕事があればそこから税収できる。 | 参考 | |
| 1232 | 外国から日本にきたい理由に、膨大なリソースを割いてIRを作る意味がほとんどない。人的リソースは一朝一夕で得られるものではない。それを用意できるか。どのように訓練するのか。 | 参考 | |
| 1233 | IR計画自体に強く反対します。イメージなどではなく、冷静に考えて雇用を増やすとは到底思えない。むしろ、犯罪を増やすとしか思えない。撤回を強く求めます。 | 参考 | |
| 1234 | 経済面の取組では、横浜IRの雇用人口を日本人・外国人の割合をどの様に考えて、外国人も市民としてどの様に受け入れるか考えておられる気配は見えていません。 | 参考 | |
| 1235 | 横浜市の雇用創出に期待ができ、インバウンドにも非常に期待できるものと考えています。 | 参考 | |
| 1236 | IR施設建設に賛成します。理由は、横浜市の経済発展により、若い世代～高齢者までが働く場、生活の場として横浜市を選択する人々が増え地域の活性化につながると思うからです。横浜市の発展は神奈川県全体の発展を先導するものと期待しています。 | 修正 | 障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず、多様な人材が活躍する場の拡大に向けた新たな雇用の創出、働きやすい雇用環境の確保、大学等教育機関等との連携を図ることとし、方向性3「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」を一部修正しました。＜方向性P.57＞ |
| 1237 | IR施設内に保育所をつくることを要望します。 | 修正 | |
| 1238 | 若い人のみならずたくさんの世代に経済的にも雇用的にもふえて市全体がうるおってくると思います | 修正 | |
| 1239 | 生産年齢人口の減少、その対策として、外国人労働者が必要。IR誘致で海外から日本、横浜に来てもらい、良い働き手になってもらおう。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 | |
|------|--|------|---|--|
| 1240 | 生産年齢人口が減るなら、老人でも働ける場や、外国人労働者が働ける場を提供してください。 | 修正 | 障害の有無、年齢、性別、人種等に関わらず、多様な人材が活躍する場の拡大に向けた新たな雇用の創出、働きやすい雇用環境の確保、大学等教育機関等との連携を図ることとし、方向性3「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」を一部修正しました。〈方向性 P.57〉 | |
| 1241 | このまま何もしないでいいはずがない。I Rを実現して、若者の雇用を確保して下さい。 | 修正 | | |
| 1242 | I R賛成ですが、海外からの働き手の人々が、住む場所や、生活習慣、語学など面倒見てあげる事業者を選んでください。 | 修正 | | |
| 1243 | カジノは高齢者が働ける場所とはどうい思われませんか。 | 修正 | | |
| 1244 | I R事業は、これまでにない新しいスキームであります。たとえばI Rでの雇用創出は1万人以上のスケールが見込まれますが、これを機に「人にやさしい働き方、あらゆる差別を排除した雇用、勤務体系」の実現を試みてほしいです。また、I Rができることによって間接雇用が活発になることを期待、地域社会全体が雇用プラスの作用がもたらされることを併せて期待したいところです。 | 修正 | | |
| 1245 | 横浜I Rの誘致に賛成です！カジノには、一時的な託児所が併設されているといいなあと思います。 | 修正 | | |
| 1246 | 雇用が増加することは予想できますが、日本人、外国人、女性、障害者の割合がバランスよくなることを願っています。 | 修正 | | |
| 1247 | 『オール横浜で観光・経済にイノベーションを』細かいところですが、雇用の創出の部分の表現です。「多様な人材」という表現で曖昧にしてしまわず、「障害者や多様性のある人材もイキイキと活躍する雇用環境の創出」と、ハッキリ言葉を入れた方がSDGs未来都市に相応しい表現になるかと思います。 | 修正 | | |
| 1248 | P56 雇用確保について、国内では労働力不足が長年の課題とされており、地元企業がおそらく不安しているであろう、横浜I Rへの多数の人材流入を回避するためにも、海外から多くの人材を適法に確保できるよう、横浜市から政府に対して政策要望を実施するスタンスを示すことも必要と考えます。 | 修正 | | |
| 1249 | 若者の雇用の場が増える魅力だといいますが、シンガポールでも窓のない24時間不夜城での勤務は深夜等不規則で、アルコールの無料配布等々健全な労働現場とは言えず本人ばかりでなく家族の生活も壊れていくとの報告もあります。派遣・非正規労働者が増大する中労働基準法等労働法制の適用対象にならない労働者も増加しています。単純に雇用の場が増えると喜んでばかりいられません。これらに対する規制の検討がされていないことにもカジノ中心の素案の撤回を求めます。 | 修正 | | |
| 1250 | I Rができることで、身近な雇用が増えることに期待しています。参入するのは海外の事業者とはいえ、日本人も働きやすい環境にしてもらいたいです。 | 修正 | | |
| 1251 | I R賛成。市場と連携したイベントやツアーなどを検討できませんか。 | 修正 | | I R開業後の大規模需要に対して、市内の中小企業や横浜市中央卸売市場等から、質の高い食材や物品・サービス等を計画的に調達します。また、地産地消や地域特産品を成長・拡大させる観点からも、I R区域内の商業・飲食施設等において、市内調達を推進することとし、方向性3「オール横浜で観光・経済にイノベーションを」を一部修正しました。〈方向性 P.58〉 |
| 1252 | I R早くつくって！！市内企業が参画できる仕組みが必要です。 | 修正 | | |
| 1253 | まちづくりには、それこそ専門家の意見をよく聞いて、一般市民と中小企業者を大事に、地産地消の方向性と明確にして展望を打ち出して欲しい。 | 修正 | | |
| 1254 | 92頁でI Rでの卵の消費量が、横浜市中央卸売市場の年間取扱量の約3割になるとあるが、3割もI Rに持っていかれては横浜市民への卵の供給が滞り高騰すると考えられますが、それに対する横浜市の対策を載せてください。 | 修正 | | |
| 1255 | 14頁のSDGsにおける7、11、12、13に係る環境の配慮について、モノやサービスの地産地消に対する横浜市の戦略を載せてください。 | 修正 | | |
| 1256 | 反対です。「数値効果は事業者から提供」とありますが、なぜ横浜市で検証しないのでしょうか？やはり業者と「ゆ着」しているのではないかと思う点とさらに、そのための前提条件が不明です。 | 参考 | | |
| 1257 | カジノは、本当に当局が言う通りの収入が見込めるのか甚だギモン！！ | 参考 | | |
| 1258 | 市の説明は、業者任せの数字、出典不明の数字等が多く説得力に欠ける（市民に対する説明として不適格）。 | 参考 | | |
| 1259 | I Rの効果は極めて重要である。業者の数字は監査法人が確認したとの旨ですが、横浜市の目標と水準は未だに示されません。区域整備計画案までに明確化するとされているが、明確な目標を市民に明示し、且つ、意見を問うべき。それなしに、I R事業者の公募・選定を進めるのは如何なものか？ | 参考 | | |
| | | | I R実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、I R全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。〈方向性 P.89〉 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、I Rの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1260 | 市民の豊かな暮らしの為だということですが、考え方が事業者から提供された情報で、市自らの計算でないのは、あまりにも無責任です。 | 参考 | <p>IR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。＜方向性 P.89＞</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> <p>また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。</p> |
| 1261 | 効果に関する各数値も、全く現実的でない方法で算出されているとのことです。もう一度、誰もが納得する方法で算出してみれば、いかに採算がとれないか明確になることでしょうか。 | 参考 | |
| 1262 | 業者まかせの目標数値は信頼できない。 | 参考 | |
| 1263 | 810億円から1200億円の増収増となつていながら、何の根拠も示していません。市がインフラ整備にかかる負担も明らかにしていません。架空のオトギ話ではなく、具体的な数字をキチッと示すべきです。 | 参考 | |
| 1264 | 経済的効果は、IRへ参入を計画している事業者から提供された数字をそのまま記載しているだけであり、計算根拠が示されていない。本素案は、IR実現による効果について、インバウンドを含むIRへの訪問者を年2000万人～4000万人（うち国内観光客割合66～79%）、IR区域内での消費額年4500億円～7400億円、経済的波及効果は建設時7500億円～1兆2000億円、運営時年6300億円～1兆円、地方自治体の増収効果を年820億円～1200億円としている（本素案87頁）。しかしながら、これらの数字は横浜市に誘致を検討している事業者から提供された資料を監査法人が整理・確認しただけのものであり、全く根拠が示されていない。IR施設を誘致することによる経済的な効果が本当に見込まれるのであれば、根拠資料を示すべきである。 | 参考 | |
| 1265 | P87. 市税の増収効果について、IR各施設別の数字を示して下さい。P87. カジノの年間来客見込数、売上高、（カケ金）見込粗利益を示して下さい。 | 参考 | |
| 1266 | 具体的な数字の裏付けがなく、絵に画いた餅に終る（失敗する）。 | 参考 | |
| 1267 | 私は、横浜市のIR計画、カジノに絶対反対です。横浜市民の為にならないからです。市が掲げている経済効果も有効とは思えません。 | 参考 | |
| 1268 | 財政への効果は、事業者の推測の寄せ集めで、信頼性が薄い。リスクが大き過ぎます。 | 参考 | |
| 1269 | 事業計画の数字のうらづけ（利益ありという）がない。 | 参考 | |
| 1270 | 港湾関係者のお話では横浜市が裏付けのある数字をキチンと出さないので困ると。 | 参考 | |
| 1271 | 素案に示されている「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善への貢献」の数値はカジノ導入への誘導のためのものであり将来にわたる可能性をミスリードしていると考えます。 | 参考 | |
| 1272 | 提示しているデータが信用できません。都合のいいデータはやめて下さい。 | 参考 | |
| 1273 | 収益の試算根拠や全体の損出リスクは示さず、結論ありきで進める。市民の6～7割が反対するのは、悪意ともとれる市の不誠実を見抜く市民の良識と賢明さの表れ。 | 参考 | |
| 1274 | 反対です。架空の数字で、プラス面のみを取り上げ、正しい情報も示されていません。説明会にも参加しましたが、質問に答える事もなく単なるアリバイ作りに見えました。 | 参考 | |
| 1275 | IRに関する意見です。IR素案にある経済効果は事業者からの提供された数値を使用しており、市として責任を持っていない | 参考 | |
| 1276 | 素案に示されているIRによる収入予定や、経済的発展効果は信憑性がなく、全く理解できない。 | 参考 | |
| 1277 | ごまかしの数字を並べないで！！ | 参考 | |
| 1278 | 費用対効果の厳密な査定（ハコモノ行政はいけな） | 参考 | |
| 1279 | 訪問者数や経済効果、財政改善などの数字は、捕らぬ狸のなんとかに思える。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1280 | 事業者から提供された、経済効果などの数値について、市民説明会の資料や横浜IRの方向性（素案）の資料では、事業者が提供した数値を委託先の監査法人が整理・確認したものですという表現になっていますが、1月に配布された「広報よこはま」では委託先の監査法人が整理したものですという表現になっています。これらの数値は、事業者が提供した数値を単に並べ替えただけではないのですか。委託先の監査法人が、独自に経済効果を調査していないのだからと思います。独自の経済効果を調査すべきだと思います。 | 参考 | IR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。＜方向性 P.89＞ 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1281 | 事業税や市民税の説明根拠が不十分です。 | 参考 | |
| 1282 | 増収効果はしっかりとした根拠がありません。 | 参考 | |
| 1283 | 参入を希望している事業者側の一方的な見積もりを検証せず鵜呑みにして誘致を決めるのは、その数字が正しいかがわからないままに賭に出ることに他ならず、誘致自体が単なるギャンブルになりかねないと思います。検討の前提としての、横浜市としての独自の検証は最低限必要です。 | 参考 | |
| 1284 | そもそも、経済的効果は、IRへ参入を計画している事業者から提供された数字をそのまま記載しているだけであり、計算根拠を示していません。 | 参考 | |
| 1285 | 経済効果もあやういと聞きます。 | 参考 | |
| 1286 | 増収（資産）効果と依存症及び治案対策負債を比較した場合、増収効果を期待するのは賛成出来ない。従いIRの計画は中止すべきである。 | 参考 | |
| 1287 | 市が算出した事業収支も根拠が無い。他国の収支は根拠にならない。 | 参考 | |
| 1288 | そもそも、経済的効果は、IRへ参入を計画している事業者から提供された数字をそのまま記載しているだけであり、計算根拠を示していません。参入を希望している事業者側の一方的な見積もりを検証せず鵜呑みにして誘致を決めるのは、その数字が正しいかがわからないままに賭に出ることに他ならず、誘致自体が単なるギャンブルになりかねないと思います。検討の前提としての、横浜市としての独自の検証は最低限必要です。 | 参考 | |
| 1289 | “カジノ”絶対反対 今朝の朝日新聞の記事を見て、横浜市は①IRへの投資額②カジノの利用者数③その売上げ全て非公表にしているが、他の市府県との比較において、全く不誠実である。 | 参考 | |
| 1290 | 確実に市の収入源になると言えるか。結果的に市税を無駄につき込むことになるのではないか。 | 参考 | |
| 1291 | 詳細まで示した情報開示をすぐさま行うべし。例えば、自治体の増収が年820～1,200億円としながら、なぜカジノ売上高や利用者数が非公表なのか？根拠なき数字では到底納得できない。さらに市民への莫大な税負担が伴うカジノ投資額も非公表。 | 参考 | |
| 1292 | カジノについてはほんの少し記されていますが、カジノなしに4000万人の訪問者、7400億/年という数字がでできますか？事業者からの提供でしかも委託先の監査法人が整理確認したものを。市民の豊かな暮らしの為だとは！ | 参考 | |
| 1293 | 横浜カジノ反対。税収不足を補う為といかにもメリットに聞こえるがデメリットの部分はどう対策を取っていくのか今の時点では不安に思う | 参考 | |
| 1294 | IRは必ずIRが儲かる様にしくまれているのでは？はたして市にはどの位の利益があるのでしょうか？ | 参考 | |
| 1295 | 商業施設、会議場、スポーツ施設などを、さらに、充実させたいとの意向である。多大な税金投入と民間の投資への期待もある。半世紀近くの産業構造の変化の分析や、これからの社会への在り方のビジョンもないままに、一部の国の投資家のために『カジノ施設』を併設するのは言語同断である。 | 参考 | |
| 1296 | 1200億円の収入が得られると市長は発言しているがその根拠は？ | 参考 | |
| 1297 | 効果数字（メリットだけでなくデメリット数字も）の根拠が示されていない。 | 参考 | |
| 1298 | カジノで財源を確保しようというのは、まともな市や市長の考えることではないでしょう。安定的な財源を確保できる保障をどう説明できますか。数字で示して下さい。 | 参考 | |
| 1299 | 「4. IR実現による効果」の部分です。数字は事業者から提供されたものであること、この数字自体が過大だと多くの人から指摘されている。横浜市として責任ある数字を出すべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1300 | 素案は主な点だけを挙げて、以下のように欠陥だらけである。騙しの筆頭は言うまでもなく“820億円～1,200億円の税収効果”である。2019/8/22における市長の誘致発表以降、いまだにもってこの数字の根拠、内訳が示されていない。後になって、事業者から挙げられた数字を委託先の監査法人がまとめたものという言い方をしているが、本来であれば、市自身がそれを検証し客観的に妥当だと見る数字を根拠とともに市民に提供するのが普通である。 | 参考 | IR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なる情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。＜方向性 P.89＞ 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1301 | 重要なのは、IR導入に伴う負の影響がまったく定量評価されていない（数字が挙げられていない）ことである。すなわち以下のような点である：ギャンブル依存症対策に必要なコスト、失業者増に伴う税収減や生活保護費の増大、地域経済の衰退（Cannibalization＝共喰い）、少なくとも周辺地域経済への影響、事業者撤退時における市の損失補償、Money launderingや暴力団排除などに要するコスト、送客を主な目的とする交通Infrastructure整備に要するコスト。さらには、こうしたさまざまな有害な影響をどのように調査、分析し、市民に公表するかも明らかにされていない。いかなる事業やプロジェクトにおいても、その採算性を導くためには利益面の数字だけに焦点をあてるのではなく、あらゆる要素を含めた一時コスト、運用コストなどははじき出さなければならないのは言うまでもないことである。その当たり前のことが行われていないのに、意図的に利益面のみを強調しているのが市の姿勢である。”実施方針の策定の中で精査してゆく“などは言い逃れ、詭弁に過ぎない。 | 参考 | |
| 1302 | IRの経済効果を標榜する（素案・55頁）が、「箱もの」建設・設置及び運営による直接の投資・雇用効果（素案・55～56頁）の存在は否定出来ないが、波及効果は「皮算用」的過大期待ではなからうか。そうではない根拠を示すべきである。 | 参考 | |
| 1303 | 素案は、IRによる諸効果を図示し、かつ試算する（素案・86～87頁）。しかし算定した主体、試算の与件、試算の根拠、試算結果の客観性等が不明である。しかも楽観ケース、最悪ケースといった場合分けによる分析を示さず、わずか一つのシナリオしか示していないのも説得力に欠ける。 | 参考 | |
| 1304 | IRにより横浜市は820～1200億円の税収が見込めるとしているが確実か？未達の場合どんな最低保証があるのか。業者は参画するために相手側が喜ぶような数字や内容を提示するのが当たり前、第三者の専門家にチェックしてもらい確認したのか。訪問客数が年間4,000万人と経済効果が1兆円とかケタ違いでないか？このような数字をベースにIRの収益性を見込むのは非常識であり危険である。 | 参考 | |
| 1305 | カジノに頼るIRに反対します。素案では、800～1200億円も市に税収が入るといいますが、その監査法人はIR推進する側で、信用できません。 | 参考 | |
| 1306 | 経済効果？捕らぬ狸の皮算用にすぎない | 参考 | |
| 1307 | 市ではIR実現の効果として、運営時に経済効果最大年間1兆円を掲げており、また自治体の税収増を年間最大1,200億円としている。しかし、市、すなわち市民として、何ら根拠のない数字を元に一方的恣意的な情報を示されても、到底納得も了解も出来るものではない。計画実行前に、市としての試算、根拠を示して頂きたい。特に世界的にカジノ産業斜陽の中でこの討笑の根拠を。 | 参考 | |
| 1308 | 税収の増加の見通しは、カジノ業者の数値で、市独自の検討の結果に基づいていない。 | 参考 | |
| 1309 | 以下反対の理由を述べます。この素案は少子高齢化に備え、IRで安定的な税収が得られると予測しているが、専門家を含めた検討をしているか大変疑問である。 | 参考 | |
| 1310 | 厳格に入場規制やギャンブル規制を行えば、カジノ業者の儲けは予測を大きく下回り、撤退し、荒廃した町になると言われている。真剣に見通しを検討しているか大変疑問である。 | 参考 | |
| 1311 | 市長は説明会で都合のいい数字を並べ（市民税や観光客の集計の仕方や比較がおかしい）、業者側の概算のみを収益の根拠にしている。そんな甘い見方をしているのか！ | 参考 | |
| 1312 | 素案にはこの構想による収益・効果が書かれていましたが、本当に実現性があるのか大いに疑問です。 | 参考 | |
| 1313 | 財政上のデメリットである「社会的コスト」の策定がないままでのIR推進はダメ！速やかに策定して公表して下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1314 | 横浜が、博打でお金を稼ぐ自治体にまで、成り下がるとは思いませんでした。がっかりしています。複数業者の見積もりを根拠にしていることも、エビデンスが薄いと思います。ぜひ市民の声を聞いて、この計画を撤回してください。 | 参考 | <p>ⅠR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、ⅠR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。〈方向性 P.89〉</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> <p>また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、ⅠRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。</p> |
| 1315 | 増収効果を年8200～1200億円と試算していますが、シンガポールなど他の事例を元にしており、将来確実に得られる見込みが無いものを、必ず儲かるように見せかけているだけです。 | 参考 | |
| 1316 | ”ⅠR実現による効果“で記載されているデータは、事業者からのPR資料に似たものであり、負の効果が記載されないため逆に隠していると言う不安が増してしまう（これは全体に言える）。特に、メリットよりもデメリットが遥かに目立つカジノには、具体的な比較検討データを提示すべきである（さもないと、市民の不信感がより一層深まり、反対運動が更に加速する）。 | 参考 | |
| 1317 | 「4. ⅠR実現による効果」の部分です。数字は事業者から提供されたものであることです。横浜市として責任ある数字を出すべきです。 | 参考 | |
| 1318 | 数値でもって費用対効果を市民に示して欲しい。これに対し、将来の展望はどの様に予想されるのか等？いま、カジノを誘致する事によってもっと、多方面への影響、損失は無いのですか？ | 参考 | |
| 1319 | 経済的効果についても、ⅠRへ参入を計画している事業者から提供された数字をそのまま記載しているだけであり、計算根拠が分からない。 | 参考 | |
| 1320 | 概要や効果で謳っている数字や事象の信憑性が薄く、はっきり言って計画に対して都合の良い表現しかしていないことが最大の問題です | 参考 | |
| 1321 | 街頭では、反対運動が多いようですが、私は賛成です。地域の活性化にもなりますし、財政面でもプラスになります。説明が不十分であることや予算や業者選定の決定プロセスが不透明であることに問題があると考えます。 | 参考 | |
| 1322 | 法的に認められたカジノ先進国ではオンラインカジノ（例：インターネットポーカー）が普及し始めた。要は事業者（海外カジノ事業者？）提供情報と断りながらも横浜市が820億円～1200億円（カジノからのみではないが）の増収を見込んでいる予測は、IT&5G技術革新を考えると相当不確定要素が大きくリスクである。市長はじめ賛同している横浜の産業界も確実な予測は不可能であり、この増収額について市民に責任が持たないであろう。賢いかつ堅実な横浜市はこのような市政ギャンブルをやってはならない。 | 参考 | |
| 1323 | 収支試算についてⅠR実現による定性的効果の記述は多く記述されているが、肝心の収支に関する数字データが示されていない。初期投資、途中での投資、ランニングコスト、想定収益などについて、事業体別（国、市、事業者等）、年次別収支試算とその試算根拠を市として示して、その妥当性を含め議論すべきである。 | 参考 | |
| 1324 | ⅠRを入れたところで何も財政は変わらない。企業優遇の税制が変わらないなら今後も変わらない予測が着きます。むしろ、依存症対策やイメージ悪化の改善などで余計に出費となる可能性があります。企業優遇の税制を止めるべきです。 | 参考 | |
| 1325 | 「横浜ⅠRの素案」手にいたしました。横浜市民の高齢化にともない市の先行きを心配し、手っ取り早くⅠRによって収益をあげ、市民の生活を安定させようということは分かりましたが、あそこに集められている資料で示されている成功例ばかり提示されても、却って、果たしてこの裏にあるものは、という疑心暗鬼も生まれます。 | 参考 | |
| 1326 | 意見・収益予想は出ているが、初期コストと黒字転換の予想年が無いので収益事業となるのかの判断は現状ではできない。予算（市民の税金）金額とその捻出方法、黒字転換の収益モデル（とその根拠）がすべて明らかになって初めて事業として遂行の可否が市民にも判断できるはずである。 | 参考 | |
| 1327 | 87頁で「経済波及効果や雇用創出効果を事業者から提供された情報を基に委託先の監査法人が整理・確認し区域整備計画策定までに明確化する」とあるが、横浜市として確実な効果を計算できないものに対して横浜市民に認めるというのですか。 | 参考 | |
| 1328 | カジノ付ⅠR建設には同意できません。業者のデータで作り上げた市の素案には懐疑心を覚えます。 | 参考 | |
| 1329 | ⅠRを作ったところで横浜市にとって収入増加になるとは限らず、むしろ赤字になる可能性すらあります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1330 | 横浜IRの推進に反対します。カジノも反対です。理由は以下です。素案では、横浜市の投資額と期待される収入が明確になっていない。そのような計画に投資できない。IRの経済効果を過大評価し過ぎである。事業者から提供された情報をベースにした経済効果や雇用創出効果は信用できない。第三者が諸外国の例と最近の海外カジノの動向を基に評価した数字を用いるべき。IRへの訪問者数も過大に見積り過ぎである。 | 参考 | IR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。＜方向性 P.89＞ 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1331 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）は、①ギャンブル等依存症対策費用がどのくらいかかるか、②カジノ収益がIRの総収益の何割を占めるのか、③IR誘致で経済的効果が上がるとする根拠資料を公表していない、④なぜカジノ施設が必要なのか（カジノ施設のないMICEの誘致ではなぜダメなのか）など、IR誘致を判断するうえで重要な情報が何一つ示されていない。この①～④の情報すら示すことができないようなIR誘致なのであるから、即時にIR誘致を撤回するべきである。 | 参考 | |
| 1332 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性素案（以下「本素案」という）には、カジノ施設の設置及び運営に伴う影響や効果等についての十分な調査、評価及び、カジノ施設を含むIR誘致を推進するための十分な根拠が示されておらず、また、民意を問うことの記載もない。したがって、横浜市は、本素案を元にカジノ施設を含むIR誘致を進めるべきではなく、誘致そのものを撤回すべきである。 | 参考 | |
| 1333 | カジノ業者に提示された数字のみを、精査せずに見込みの税収として提示するのはおかしい。 | 参考 | |
| 1334 | 経済効果ですが、費用対効果がどれだけなのかの説明があると賛成者が増えるかと思えます。横浜は観光地と言われていますが、日本人の中では観光地と思えてますが、欧米系の外国人からすると、あまり日本と感じる特徴がなく、中華系の人からすると中華街に行ってもという声を聞きます。シンガポールはマリナベイサンズの建物が、ラスベガスでは世界の建物という特徴があり、日本もこれに匹敵する。それだけで人が呼べる話題性のあるものがあると良いと思います。 | 参考 | |
| 1335 | 「各対策毎の経費とその費用対効果」をなぜ、示せないのですか。これでは、「素案」になりません。対策方針は「絵に描いたもち」で無責任です。 | 参考 | |
| 1336 | 私の懸念はこのカジノ収益が市財政の大きな収入源となる説明の方が非常に甘い。”取らぬ狸の皮算用”に思え、心配になった次第である。 | 参考 | |
| 1337 | 「4. IR実現による効果」には収入の見込み額のみ記載されているが、費用については一切記載がない。初期費用、運用費用ともに誠実な見積もり額を提示し、費用対効果が見えるような資料を作成し、それを元に議論しなくてはならないはずだが、この資料では納税者への説明義務という観点で、極めて不誠実と言わざるを得ない。 | 参考 | |
| 1338 | 横浜市が期待するIRリゾートによる経済効果に不安があります。以上、反対します。 | 参考 | |
| 1339 | 誘致計画が各種のシミュレーションを踏まえたものではなく、すべてが順調にいったときの事業収益をもとにして、横浜市の市財政への寄与を計算しており、事業の見方として極めて不十分のものであること。今度のコロナウイルスや景気動向によっては重大なリスクが発生しかねないものであること。IR事業者が負担する事業費のみが概算で出されているだけで、横浜市が市予算から関連予算としてどのようなものをどれくらい支出する見通しなのかも示されていない。最大時の横浜市への収入予想額のみ示されて、関係予算でどのくらい支出するかも示さなくては収支のバランスシートが分からないこと。 | 参考 | |
| 1340 | これは今立ち止まるべき企画だと思います。印象としては、美しい海に面し、世界につながる横浜らしい、大きな企画だと思いました。もしこの「絵」がすべてうまくいくと、それは明るい話かもしれないという「期待」は浮かびました。しかし、全く現実感を持ってませんでした。まず、収支です。見積りの根拠が見えず、内訳がおおまか過ぎて、納得できるレベルではありませんでした。収支の「リスク」についての、検討と説明が不足していると思います。もし、予測に足らない場合、どうなるのでしょうか。市政への影響はどんな形であらわれるのでしょうか。この資料情報だけでは、自分のお金を預けることはできません。 | 参考 | |
| 1341 | 素案に非公表の項目多いというのは問題。民主主義の原則に反する。行政が何かを行なおうとするなら、情報を公開して議論していくのが民主主義である。基本構想の、とくにカジノ部分について非公表が多いのは、なぜか。素案によると、カジノ利用者数、カジノ売り上げ、いずれも非公表。IR全体への投資額も非公表。 | 参考 | |
| 1342 | カジノ経験のある、例えばアメリカの業者の、言葉の面、お金の面などで言いなりになったりしないのか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1343 | 日本国民の来場者数計画が不明な為、ギャンブル依存症対策の有効性が評価できない点。ギャンブル依存対策対象人数見込みと対策計画及び対策費見込みを教えてください。 | 参考 | <p>ⅠR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、ⅠR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。〈方向性 P.89〉</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> <p>また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、ⅠRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。</p> |
| 1344 | P87地域経済の振興の項目において、【参考】としてMM21地区建設投資額が記載されているが、建設投資額＝経済波及効果となるという考えなのでしょうか。 | 参考 | |
| 1345 | 地域経済の振興や財政の改善への貢献の計算根拠は、「事業者から提供された情報」とのことだが、横浜でカジノをやりたい事業者が地元の自治体に提供する数字は信じられるものなのか。私が事業者だったら、横浜市においしい数字しか提供しないだろう。本気でその事業を実施するかどうか考える場合には、自前で調査してやるものだ。とにかく調査が足りない。 | 参考 | |
| 1346 | 増収効果は事業者が出したものと聞いている。こんな数値は信じることはできない。 | 参考 | |
| 1347 | 進出してくる事業者が出した数字を鵜呑みにして「効果」と説明しているのは問題ではないか。ⅠRによる効果として、訪問者数2,000万～4,000万(人/年)、ⅠR区域内での消費額4,500億～7,400億(円/年)、地域経済の振興として経済波及効果建設時7,500億～1兆2,000億円、運営時6,300億～1兆(円/年)、雇用創出効果運営時77,000～127,000(人/年)、横浜市への増収効果820億～1,200億(円/年)としています。これらの数字は進出を検討している事業者が提案した資料を監査法人が整理・確認しただけのものでしかない。根拠を示すことなく、業者選定されることを目的に出した提案資料が、正しい予測であるとは思われません。 | 参考 | |
| 1348 | 経済効果などの算定根拠が不明確です。横浜市はここ5年間、毎年100万円もの予算をカジノ・ⅠR調査研究に費やしてきました。また昨年9月約4億円もの補正予算を組んでいます。事業者の数字を鵜呑みにせず、横浜市として調査・研究をしっかり行い、具体的な数字を明示してから市民の意見を募集すべきです。 | 参考 | |
| 1349 | また、経済効果などの算定根拠が不明確です。横浜市はここ5年間、毎年1000万円もの予算をカジノ・ⅠR調査研究に費やしてきました。また昨年9月約4億円もの補正予算を組んでいます。事業者の数字を鵜呑みにせず、横浜市として調査・研究をしっかり行い、具体的な数字を明示してから市民の意見を募集すべきです。 | 参考 | |
| 1350 | カジノ・ⅠR事業の経済効果の試算の根拠をきちんと示してからパブコメを募集すべき。 | 参考 | |
| 1351 | 横浜ⅠR計画は不確実な要素が多く含まれており、パンフレットで描かれた夢のような構想は信頼できず、反対です。 | 参考 | |
| 1352 | ⅠR・カジノの実現による効果として、観光の振興、地域経済の振興、財政改善への貢献が挙げられていますが、どれも妄想としか言えないものです。 | 参考 | |
| 1353 | 素案では、「ⅠR(素案)の波及効果は市郊外にも及ぶ」旨記載されていますが、これらはすべて、絵にかいた餅です。以上により「横浜ⅠRの方向性(素案)」に反対します。 | 参考 | |
| 1354 | 今回の横浜市のⅠRの説明は、経済効果、事業収支構造について、ホテル、見本市等の施設全体の事業計画・収支見込みが精査されているとは思えません。 | 参考 | |
| 1355 | 横浜市にⅠRなど必要ないと思います。すでに観光地として知名度もあり、国内各地から人が多く訪れる場所です。ⅠRに税金を使う前に、水道管の耐震化、学校給食の無償化を実行するなど市民の生活を支える方向に行く方が大切だと考えます。 | 参考 | |
| 1356 | 素案には、横浜市の収支が出ていない。ⅠRの建設、維持、運用にも金がかかる筈である。最低でも5年間の費用負担、収支を次の素案バージョンには盛り込むべきであろう。どのようなリスクがあるかも触れられていない。 | 参考 | |
| 1357 | 進出してくる事業者が出した数字を鵜呑みにして「効果」と説明しているのは問題ではないか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1358 | インバウンドをターゲットとして考えていた業界が大きくダメージを受けたのですから、今後も同様な事象が発生するリスクを考えるとこの業種への資本の投入が忌避される可能性が高いのではないのでしょうか。そのような状況においては、IR事業者の計画にも大きく変更が必要になると考えられます。費用対効果はもう一度最初から考え直すべきではないでしょうか。IRの効果について、来場者数や税収についての根拠はほぼ記載されておらず、精査することができません。経済波及効果も事業者の述べた数字を書くだけでなく、市としての試算もあると思いますが、それは同値なのではないでしょうか。特に訪問者数についてはなぜその数字になるかの明確な根拠が必須です。また必要となるコスト（警備費の増額や教育費用、依存症対策費）などが一切記載されていません。このように提示されている情報からは費用対効果を検討することが全くできません。 | 参考 | IR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。＜方向性 P.89＞ 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1359 | 市は開業したと仮定した場合IRからいくらの歳入横浜市の増収820～1200億円と回答があるが、その根拠の数値の説明が欠けている。そしてIR関連でいくらの歳入を見込んでいるのかそれぞれ詳細な項目とその見込みの根拠を説明すべきである。 | 参考 | |
| 1360 | 素案は、横浜市の現状、課題に対してIRが「課題を解決していくための重要な手法の一つ」としています。しかし、カジノで得る市の収益とカジノから生ずる問題を比較すると、これを「重要な手法」とすることは誤りと考えます。 | 参考 | |
| 1361 | 素案は余りにもバラ色過ぎる。IRが横浜のこれからの負の課題全てを解決してくれるかの内容になっているが、実際はそんなに甘くないと思う。外国人が日本に来る動機は何なのか、IRに本当に期待しているのか、カジノの負の部分のデータ等（一人がいくら使って、いくら負けることを想定しているのか等）を明らかにして行かないと市民の理解は到底得られないと思う。今回のコロナウィルスの発生はじっくり考える時間を与えてくれたと理解すべきであると思うがそうではないらしい。何が横浜の将来に本当に必要なのか、賢明な判断を期待する。 | 参考 | |
| 1362 | 収益予想はコロナ禍の影響も含めた今後の観光客の動向を見極めて見直すべき。 | 参考 | |
| 1363 | 横浜IRの方向性。市民が知りたいのは、ちゃらちゃらしたこんな第3章の資料ではなく、色々な側面から検討した事業計画である。民間企業なら事業計画や投資計画は相当な数値的根拠を積み上げて議論する。そのような数値積み上げと激論もなく記載されたこの章はなんの価値もない。 | 参考 | |
| 1364 | IR実現による効果。捕らぬ狸の皮算用といった評価です。 | 参考 | |
| 1365 | IR収支検討のデータ。横浜のIR構想は、海外カジノ業者の玉虫色資料をベースとしており、その内容は業者の企業秘密であるから開示できないと市役所が説明していると報道されている。業者の玉虫色資料を誰がどのように評価し、どのようなリスクを勘案したかを明確にしないと市民（納税者）は納得できない。カジノやIRの実務経験や実績のない市役所職員だけで検討した計画は市民が慎重に評価する義務がある。営利事業に疎い市役所職員が推進する事業は破綻するリスクが大きい。負の資産となるかもしれない危うい事業を、市民が厳密に公開吟味しない限り市民は容認できないし責任を持たない。 | 参考 | |
| 1366 | 可能な限り自分たちで調べ、学び、わからないことは専門家に尋ねてください。効果などについて、事業者から提供された情報・数値を使っているということですが、それらを鵜呑みにしないで、自分たちで可能な限り調べるべきです。業者はいいことしか言わないし、都合の悪い事実は出しません。 | 参考 | |
| 1367 | 常日頃から、横浜市の政策は市民よりも観光客優先であると感じています。また市民の賛成が実際にあるのでしょうか？きちんと確かめるべきだと思います。経済的効果があるだろう、活性化するだろう、という予測で出した不確かな未来よりも確かな数字を見ていただきたい。 | 参考 | |
| 1368 | 入るかはいらぬがわからない利益（市税）をあてにするなどもってのほかです。 | 参考 | |
| 1369 | IR実現による効果（素案P87）は、事業者から提供された情報を基に監査法人が整理確認したとありますが、その根拠を示して明らかにしていただきたい。 | 参考 | |
| 1370 | 計画自体が、IR事業者のものを示しただけで、市が十分に検討したものととは思えない。数値を関西圏と比較するのは、歴史、文化が違うので無意味。もっと横浜の良いところ、悪いところを冷静に考えて欲しい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1371 | 財務改善への貢献 p 8 7 地方自治体の増収効果 8 2 0 億円～1 2 0 0 億円との算定だが、この数字は『検討調査（４）報告書』P 1 5 2 によれば「開業後安定運営した平年時」の見込みとなっています。I Rは大型M I C E、宿泊施設などを、カジノの収益を活用して整備するとしているが、この意味が不明確ですが、事業者が大型I R全体をカジノ含めた売上で償却するならば、当面粗利益は赤字又は極めて小さなものとなり、3 0 %（横浜市は1 5 %）は額としては相当少ないというリスクはないのか不明。「開業後安定運営した平年時」とは何時のことで、それまでの見込みがない、見込み違いの場合の横浜市民へのしわ寄せは、かつての「横浜開国博」のレベルではない。リスク管理の提示が不可欠です。 | 参考 | I R実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、I R全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。＜方向性 P.89＞ 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、I Rの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1372 | P 8 9（３）納付金・入場金の使途カジノ納付金、入場料の使途はI R整備推進施策が中心となるとあります。税収減、収支不足改善にはどの程度をどの時期から見込むかが、そもそも不明。要するに制度設計が不十分です。カジノに関しては手続きが複雑ですので、当初はギャンブル依存者以外はカジノに入場しないという意見も見受けられます。パチンコと競合するかもしれませんが、スロットマシンではパチンコと変わらない為、入場料がありますから、あまり伸びないのではとの予測もあります。入場料収入の見込みは慎重であるべきです。本（素案）のほぼ1 / 4 が依存症対策です。依存症以外の資金的リスクは全く触れられていません。結論としてこの（素案）は、依存症は懸念しているものの、これだけの費用をつぎ込む計画としては、あまりにも楽観的かつ杜撰な案と言わざるを得ません。 | 参考 | |
| 1373 | P 8 7 「インバウンドを含むI Rへの訪問者数2, 0 0 0 万～4, 0 0 0 万人/年（うち国内観光客割合：6 6～7 9 %）」観光の振興インバウンドを含むI Rへの訪問者数2, 0 0 0 万～4, 0 0 0 万人/年I R区域内での消費額4, 5 0 0 億～7, 4 0 0 億円/年地域経済の振興建設時：7, 5 0 0 億～1 兆2, 0 0 0 億円運営時：6, 3 0 0 億～1 兆円/年雇用創出効果（間接効果含む）運営時：7 7, 0 0 0～1 2 7, 0 0 0 人/年そもそもデータそれぞれにばらつきがあり、データとしての意味をなさない。また、国内の観光客が7 割程度ということ自体、日本人向けのカジノとしか言えない。 | 参考 | |
| 1374 | 推進派はI R（カジノ）により市税収入が増えると喧伝するが、賭博の儲けの大部分は胴元（カジノ運営者）の懐に入り市税収入はその一部ではない。逆に、治安対策費、ギャンブル依存症対策・治療費、周辺整備費など、カジノがなければ発生しない諸経費が横浜市の、ひいては横浜市民・日本国民の新たな負担となる（健康保険料を含め）。カジノでの収益が増えても、それを上回る横浜市の負担の増大もあり得る。 | 参考 | |
| 1375 | 経済波及効果をどのように計測することを想定しているか、明示をお願いします。 | 参考 | |
| 1376 | 消費額について、算定根拠はどのような内容か（交通費、宿泊費、飲食費、土産品・買い物代、入場料・施設利用料、その他）。また、経済効果等の推計に用いられる産業連関表の範囲にもよるが、例えば宿泊費、飲食費、土産品・買い物代については、I Rができることにより、周辺地域の既存の同費目の消費およびこれに伴う経済効果を寧ろ減少させる可能性もあるこの場合、特定地域あるいは横浜市全体としてみた場合に、全体としての経済効果の増減がどうなるか、さらに特定業種の事業者間（例えば既存の周辺の飲食店からI R内の新規の飲食店へ）で売上高の変動が起きる可能性が高いが、この点は推計に盛り込まれているのか。 | 参考 | |
| 1377 | 経済波及効果について、建設時・運営時共に、どの業者に発注するかによって、一般には、移輸入が逆行列係数に影響して、地域内（横浜市表を用いている場合市内）に生じる経済効果に減少が生じる可能性が高いと考えられる。今回の推計では、この点の処理はどのようになされているのか | 参考 | |
| 1378 | 雇用創出効果について、いかなる雇用係数を用いているか。どの産業部門で平均年収がどの程度の雇用者がそれぞれ何人創出されるかは、明示できるのではないかと考えられるがどうか。 | 参考 | |
| 1379 | 発生が見込まれる巨額のカジノ収入は経済不活性化とギャンブル依存症増加をもたらす。 | 参考 | |
| 1380 | カジノは横浜市を財政的に潤しません。今回検討されているI R施設などは、当初は民間の資金を導入するにしても、将来的には市の重荷になる危険性が高いと思われます。ギャンブル依存症や治安の悪化など、莫大な費用をかけて自治体を中心に対応していかなければなりません。運用見通しの試算では、手前味噌の都合の良い部分だけが取り上げられており、きちんと評価されているとは思えません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1381 | 構想素案は『事業者提出の計画案』を基とされ、『監査法人』の謂わば検証を経たかの如き説明があるが、『収益予測』に関しても疑問があり、市政に熟知する市当局の計画内容の検証無かりせば構想案自体の実現性に疑問を生じ、著しく妥当性を欠く。 | 参考 | <p>ⅠR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、ⅠR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。〈方向性 P.89〉</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> <p>また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、ⅠRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。</p> |
| 1382 | この横浜ⅠRの方向性素案は画に描いた餅で具体的な定量的な裏付けがないと思います。事業性を裏付ける根拠資料がないです。「観光の振興」等効果数値についても、最新の情勢を反映し見直すべきと考えます。 | 参考 | |
| 1383 | カジノの設置について、カジノの設置に対しての総収入・総経費の見積もりが非常に曖昧で、希望的観測によるものが大きくメリットを感じられない計画となっています。全体敷地面積の3%に満たず、大きな規制を設けるものに対し、事業者側からの提案がほとんどで市側の見積もりが弱い点にも、市の主体性の無さを感じます。また、事業者側が提案しているものをベースに資料を作成していますが、来場見込みを立てる上で日本最大のテーマパークを例に出し、それを上回る可能性を考えるのは、いくら事業者側の提案だとしても希望的観測が過ぎると考えます。もし出すのであれば展示場と大規模商業施設・娯楽施設を併設しているエリア（幕張エリア・お台場エリア）であるべきで、比較の意味を成していないと考えます。超高齢化社会への市の対応として、市財政への貢献を念頭に置いた公共投資となる以上「厳しかった場合」の想定をベースに検討し、リスクに対しての費用対効果をどの程度見積もることができるのか、明確にした上で市民に提示すべきと考えます。加えて「来場者の導線を分ける」という前提から考えると、カジノ来場者の市域への経済効果の波及の見込みも非常に低いものと想定されます。建設前の経済効果も由来の明記が無いため信頼度の低いものとなっていますが、現状の計画では建設後の経済効果に関しても、間接的な経済効果がごく一部に留まるものに映ります。例えば、ギャンブル（公営競技）施設として鶴見区にあった花月園競輪場の存廃検討時並みの厳格な経営判断が必要と考えますし、市がイニシアチブを取ってそれを進め、市民に提示する必要があります。以上から、現状の計画ではカジノを設置するメリットがデメリットを上回ると判断できないため、反対します。市から、採算および経済効果に関する精査と、より踏み込んだ提案を期待します。 | 参考 | |
| 1384 | 素案に示されているカジノ誘致による収入予定や経済的発展効果は、その根拠において具体性と信頼性に欠けるものであり、説得力に欠け全く理解できない。 | 参考 | |
| 1385 | ⅠR実現による効果 横浜へ広がるⅠRの効果・民設民営で「民間事業者の自由な発想」と言い、公的な責任は棚上げし、カジノ事業者丸投げである。「作り上げてきた都市としての魅力や資源」とⅠRが「相乗効果」というが、歴史を利用され搾取される危険も。カジノで「文化芸術創造」とは情けない。「観光の振興」を謳うが、ラスベガス等と同様に、カジノⅠRはカジノに誘客するために抱え込み、送客しない。「地域経済の振興」を謳うが、アトランティックシティのようなカニバリゼーションや地域荒廃の危険がある。「財政再建への貢献」を謳うが、納付金収入は僅か15%、誘導や補填のため市がむしろ赤字になる危険を否認。横浜市はカジノ事業者との守秘義務を守るためと言い社会的コストは概算も示さず、利益だけは過剰に示す。ギャンブル依存症・困窮者増加・治安悪化・地域荒廃等の社会的コストは一般に利益の2～7倍とされている。他のカジノⅠR候補都市に比較し、市民に開示する情報が少なすぎる。社会的効果はカジノ事業者からの提供情報と小さく書いて垂れ流し、横浜市自体の損益分析は示さぬ無責任。ⅠR訪問者は年2000万～4000万人（うち国内客66～79%）とし、インバウンドを強調しながら内実は国内客。東京ディズニー3255万人、ユニバーサルスタジオ1494万人なのに、カジノ主体のⅠRの集客概算は多すぎる。ⅠR区域内での消費額は年4500億～7400億円とするが、試算の根拠が全く示されていない。経済波及効果（間接効果含む）は建設時が7500億～1兆2000億円とし、運営時が年6300億～1兆円とし、雇用創出効果（間接効果含む）は年7万7000～12万7000人とし、間接効果は第何次までか示さぬ過大推計。MM21地区建設投資額が1983～2016年の33年で2兆625億円と臆面なく書くが、これに比べても過大推計。横浜市の増収効果が年820億～1200億円の根拠を示さず、法人市民税620億円の倍も1社で納める過大推計。 | 参考 | |
| 1386 | カジノ売上金額（内日本人向の売上）の目論見を記載ください。納付金、入場料、税金の内訳を表示ください。ⅠR地域への道路整備等の横浜市等の行政が負担する費用負担金額の目論見を項目別に記載ください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1387 | 「IRの効果」はきわめて重要です。「素案」に先立つ、「広報よこはま特別号」では、「IRの効果」として「観光の振興」「地域経済の振興」「財政の改善への貢献」の三分野で、「効果」を数値で示していました。その「効果」によって「豊かで安全・安心な市民生活」の「財源」として「活用」するとしていました。「素案」でもその「数値」は踏襲され、「市民の将来にわたる豊かな暮らし」をうたっています。「市民生活」の「豊かさ」と密接な「IRの効果」がどれほどのものか。そこで示される「数値」は「事業者から提供」され「監査法人」が「整理」した「情報」とされていましたが、「素案」では、「監査法人が整理・確認」したものと変わりました。つまり「確認」がはまりました。「確認」して、何がどうかわったのですか。より明確に、「事業者の、虚飾のない数字」ということを「確認」したということですか。「区域整備計画策定までに明確化します」とした、横浜市の「目標と水準」の数字は未だに示されません。明確な「目標」を市民に明示し、意見を聞く事なしに、「IR事業者の公募・選定」を進めることはやめてください。 | 参考 | IR実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。＜方向性 P.89＞ 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1388 | IRがいかなる効果を生むか、横浜市がどのような「目標と水準」を想定するのか、何も提起されていません。業者の数字が並ぶだけです。負の効果については、それさえありません。今、パブリックコメントが求められている「IRの方向性(素案)」でもそうです。「区域整備計画までに明らかにする」としていますが、未だ、明らかにされていません。IRの全体像に係る数字です。それが不明なままの横浜市のIR誘致推進は余りにも根拠があいまいです。立ち止まって考え直すべきです。 | 参考 | |
| 1389 | IR事業の〈方向性〉を考える際に、極めて重大な意味をもつのは、横浜IR事業全体が、いったいどのような社会的経済的効果(数値)をうむのか、それをどう想定するのかという問題です。〈方向性(素案)〉で取り上げられていますが、その数字は散らばっており幅のある数字になっています。その意味では固まっていません。 | 参考 | |
| 1390 | 肝心の「IRの効果」について、正の効果も負の効果についても、具体的な数値ではなにも示されません。「今後、区域整備計画を策定するまでに、数値を明らかにします」という。急いでください。さもなくば、横浜IR推進の作業は止めてください。当然のことです。 | 参考 | |
| 1391 | 単体でカジノを開設するわけでないことも事実です。いくらIRの収益比率の中でカジノが占める収益の比率が高いとしても、IRは自治体が誘致する観光産業としての理念や倫理に縛られるものです。”もうけ”第一に還元されえないものです。また、カジノ第一にはなり得ないものではないでしょうか。自治体の誘致する観光産業としての倫理は、規模にしても収益比率にしても節度ある範囲(レベル)におさめるという運営管理が求められることではないでしょうか。具体的には、運営の大前提として、横浜市の目標値の基準設定を行うべきではないかということです。そこに自治体の誘致する観光産業としての倫理があらわされるべきです。適切な事業者の選定において、横浜市の提示する目標数値を順守する事業なのかどうか、企業倫理が厳しく判断されるべきです。市の見解をうかがいます。横浜市は、「事業者が決まった段階で、それ(カジノで潤うお金がIR全体の利益の中でどれほどの比率を占めるのか)がどのくらいであるか、事業計画をみなさんにお示しする」といっています。しかし、その前に、横浜市のIR事業に担わせる「目標と水準」をどの程度にするのか、ということを示すべきです。いろいろな事業者に提示する前に、市民に明示されるべきだと思います。それなしに、横浜市としても責任のもてる「区域整備計画」自体が成り立たないものではないかということです。 | 参考 | |
| 1392 | 現在、「IRの横浜誘致」は、如何なる段階にあるのか。いったい何が決まって、何が決まっていないのかを明らかにすべきです。端的にいうと、まだ、なにも決まっていない、決められないのです。決定権は国に在るのです。「IRの方向性(素案)」は、肝心なための「IRの効果」が明らかでないのです。どれほどの規模のどの様な施設が配置するのか、それはどういう効果をあげるのか、その、横浜市の〈目標と水準〉が未定なのです。その限りで、IR論議は、空論(絵にもかけない)です。市の見解を質します。 | 参考 | |
| 1393 | 事業規模や収益の見込みとかけ離れては、環境整備の計画は立てられないのではないのでしょうか。それ以上に、事業見積りもりの客観的根拠が重要です。希望的観測、宣伝用の数字ではなく、厳密な評価が数値の裏付けをもって明らかにされることです。それがどのような収益になるのか。どういう根拠によっているのか。監査法人が「確認」したとのことですが、なにをどのように確認したのか明らかではありません。横浜市の数字ではありません。その数字のないまま、業者が決められることは反対です。 | 参考 | |
| 1394 | 「観光の振興」「地域経済の振興」「財政の改善への貢献」として挙げられている数字はどれも事業者によるもので、客観的な検討を行ったものとは言えず、極めてご都合主義的で説得力はない。そのためIRの「効果」として挙げられている内容も、単に願望を羅列しただけの一方的な主張に過ぎない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1395 | 経済的効果は、I Rへ参入を計画している事業者から提供された数字をそのまま記載しているだけであり、計算根拠が示されていない。 | 参考 | I R実現による効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、I R全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出しており、事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じています。〈方向性 P.89〉 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、I Rの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費についても、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1396 | 国内で3ヶ所のI Rができるもとの、横浜のI Rに予想される訪問客人数が来るでしょうか。どの様なデーターにもとづき算出されたものでしょうか。 | 参考 | 事業者から提供された情報では、インバウンドを含むI Rの訪問者数は年間2,000万人から4,000万人となっています。この数値は、国際会議場や展示場、カジノなどの有料施設や無料施設を含むI R区域全体の来訪者数を示したものです。事業者ごとに施設構成や規模が異なっていたため数字の幅が生じています。〈方向性 P.89〉 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 なお、先進事例である、シンガポールでは、2つのI Rのオープンに伴って、外国人来訪者が10年足らずで約1.8倍となっており、横浜I Rにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性 P.24〉 |
| 1397 | 横浜カジノの目標は、観光、経済という投資額や利用者数売り上げ等は非公表で詳細が示されていないカジノが出来たからといって世界中の観光客が、横浜めざして来るわけがない | 参考 | |
| 1398 | カジノ付きI Rに反対。経済効果は期待できない | 参考 | |
| 1399 | I Rはインバウンド効果も高いと聞いています。横浜にI Rを誘致することに賛成です | 参考 | |
| 1400 | 先行している諸外国でのカジノ事業（韓国など）の衰退をもう一度研究してください。儲けが出ているカジノ事業だけを建設構想の根拠とするのは浅はかです。 | 参考 | |
| 1401 | I Rの中味はカジノだけではないことは理解している。しかしカジノの占める経済的、文化的影響度は圧倒的であり、横浜での事業展開には大反対せざるをえない。すでにカジノを持つ世界の他都市の例をなぜ直視しようとしないのか。 | 参考 | |
| 1402 | 年間推定利用者数の推定根拠を示されたい。～4,000万人/年、10万人/日、内訳は？ | 参考 | |
| 1403 | 横浜市が誘致するI Rは1兆円を超えて世界最大級です。その中核となるカジノはI Rの3%に過ぎないといっても横浜スタジアムと同規模です。そこに毎年毎年来ることは疑問。 | 参考 | |
| 1404 | 市は財政困難を理由にI R誘致をすすめています。カジノから市の増収効果が毎年1000億円以上と試算していますがその根拠が不明です。このために東京ディズニーランド以上の客数にしないと成り立たないという試算もあります。お客は東京、横浜とその近辺の日本人を考えているようですが、個人にそんなお金を持っていますか？ | 参考 | |
| 1405 | 横浜I Rはただちに撤退するべきです。横浜I Rそのものが大掛かりな博打です。素案でいう集客数2000万人から4000万人など夢物語ではないでしょうか。これは一日当たり5万人から10万人の集客構想で、それを一年間続けることになり、妄想としか言えません。売上額も同じで4500億円から7400億円の規模は、毎日12億円から20億円の売り上げになり、住民（一部観光客）から吸い上げることを意味します。過大で不可能なデーターで市民を欺いてはなりません。市の素案は良い面ばかりが強調され、リスクがキチット説明されていない。 | 参考 | |
| 1406 | I Rへの想定訪問客数の根拠は何か。I Rへ行くか、いくら位金を使うかのアンケートを取ってはどうか。（全国。又は横浜市職員でも良いと思う） | 参考 | |
| 1407 | もし横浜にI Rが整備されたとして、いったい海外のどれだけの人々がそれを目当てに横浜を訪れようとするであろうか。 | 参考 | |
| 1408 | 外国人がカジノをすると見込まれていますが、韓国、マカオ、アメリカ、シンガポール、ヨーロッパにあるのにわざわざ日本に来てカジノをするでしょうか。やはり日本人がカジノをするの見込んでいないのでしょうか。 | 参考 | |
| 1409 | 年間2000万～4000万人を、横浜のI Rに来場させるという見込み数には根拠があるのか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1410 | <p>IRを中心にした一大観光地を目指すということと理解しました。IRに反対理由：入場者数の見通しが甘過ぎる 海外観光客増は僅か。旅費と時間を使って日本に来る人の大半は日本にしかないものを期待している。京都・奈良に代表される古都や素材を生かした和食。IRに来るようなのはごく一部。国内利用者も見込めない。入場料の6000円払って来るのは相当の富裕層のみ。大半の人は6000円払う位なら競馬、競輪、パチンコ等で遊ぶのは目に見えている。上記から考えて東京ディズニーリゾート並みの入場者数(資料「IR実現による効果」p. 87に記載)があるとは到底思えない。お金を使うところが間違っている。</p> | 参考 | <p>事業者から提供された情報では、インバウンドを含むIRの訪問者数は年間2,000万人から4,000万人となっています。この数値は、国際会議場や展示場、カジノなどの有料施設や無料施設を含むIR区域全体の来訪者数を示したのですが、事業者ごとに施設構成や規模が異なっていたため数字の幅が生じています。〈方向性 P.89〉</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> <p>なお、先進事例である、シンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人来訪者が10年足らずで約1.8倍となっており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性 P.24〉</p> |
| 1411 | <p>他の候補地、大阪・和歌山・長崎と比較しても非公表が多過ぎる。(IRへの投資額、カジノ利用者数、カジノ売り上げ、が非公表) IRの年間来場者数を2千万人～4千万人とするが、幅が大きく如何にもアバウト、国内インバウンド総数さえ3千万人を超えただけだ。IRが横浜市にもたらす財政改善効果の詳細が「実施方針」に盛り込まれないとのことだが財政不安を市民に問うなら、おかしな話だ。以上の様に実に分かりにくい構想案、IR誘致調査費(費目?)が無駄、市議会は超党派で一刻も早く「カジノ併設」を排除して欲しい。</p> | 参考 | |
| 1412 | <p>素案に対する疑問点「IRへの訪問者数 年間2000万～4000万人」と見込んでいるが、東京ディズニーリゾートの入場者数3255万人(2018年)と同程度になるとはとても考えられません。また、この訪問者数見込みは何年後なのかの記載が無いのは不十分と思われます。更に、シンガポールIRでの卵、食用肉の消費量例が示されていましたが、シンガポールIRは、開業して6年後(2016年)でも、外国からの訪問者増加は、600万人強に留まっています。以上を鑑みると、横浜IRの開業6年後でも、訪問者は多くても1000万人前後ではないかと推定できます。横浜IRを推進する立場であれば多くしたいのは理解しますが、訪問者数は、効果算出に重要な数値であり、市民が納得できる数値であるべきだと思います。</p> | 参考 | |
| 1413 | <p>観光振興で20～40百万人/年、外国人来訪者数4.2～13.6百万人/年とMINとMAXで大きな開きのあるデータを示すような甘い試算データで検討を進めることはリスクが大きい。TDRで30百万人/年、USJで15百万人/年の実績の中、横浜IR来訪者がMINでもUSJより多い20百万人/年を維持・拡大していけるという甘い認識は極めて問題。</p> <p>地域経済の振興で示している建設時の75～120百億円のうち、市財政等税金から投入される試算が示されていない。また、IR全体の初期投資、途中の投資を全体でどう回収するかの計画も重要だが、市として投資するものをどう回収するかの試算・計画を示して市民の是非を問うことが必要である。</p> <p>カジノに関して、横浜に進出したい事業者が提供するデータに頼った計画はリスクが大きい。市としての検証能力があるとは思えない。また、40年間撤退できない条項(途中撤退の莫大な違約金条項)、外国人と日本人来場者数試算、一人当たり賭け金試算なども示されていない。</p> <p>財務改善として820～1200億円/年と総額データは示されているが、その内訳(納付金、日本人入場料、各種税納付額等)とその根拠が示されていない中で、計画の妥当性は判断できない。</p> | 参考 | |
| 1414 | <p>87頁でIRへの年間訪問者数を2000万～4000万人(うち国内観光客割合が66～79%)と見積もるのであれば、日本人を対象とした市場調査が前置されるべきであり、本当にIRに来たいと思う国内観光客がどの位いるのかの把握を行ってください。「証拠に基づく政策立案(EBPM)」及び「PDCAサイクルに基づく不断の見直し」には必須です。</p> | 参考 | |
| 1415 | <p>87頁でIRへの年間訪問者数を2000～4000万人と東京ディズニーランドの3255万人やユニバーサルスタジオジャパンの1494万人よりも多く見積もるが、その根拠は何か、具体的に提示してください。</p> | 参考 | |
| 1416 | <p>55頁でMICEの経済波及効果以外の効果を謳うが、市民や子どもが来たいと思うのか、横浜市民や子どもを対象とした市場調査を行った上で言及してください。巨額の予算を要する政策について、市場調査を行わずにままに政策を実施するのは、政策形成の手順として欠陥があります。</p> | 参考 | |
| 1417 | <p>こんなに海外から観光に来るのは異常です。日本人が日本の観光地に行く気が失せるほどの。</p> | 参考 | |
| 1418 | <p>IR区域内へ年間2,000万～4,000万人の訪問者、消費額4,500億～7,400億円というのは、他のテーマパークと比較しても、山下埠頭のスペースと提示された施設の内容からして現実性が乏しい。このコロナウイルス恐慌で豪華さを売りにしてもインバウンドの客は望めない国内の客も限定される。豪華なおペラ座など、施設を豪華にしても集客できる見込みはない。</p> | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1419 | カジノのビジネスモデルは、カジノが儲かるように作ること。よって、地域の経済が打撃を受ける。 | 参考 | <p>事業者から提供された情報では、インバウンドを含むIRの訪問者数は年間2,000万人から4,000万人となっています。この数値は、国際会議場や展示場、カジノなどの有料施設や無料施設を含むIR区域全体の来訪者数を示したものです。事業者ごとに施設構成や規模が異なっていたため数字の幅が生じています。〈方向性 P.89〉</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> <p>なお、先進事例である、シンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人来訪者が10年足らずで約1.8倍となっており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性 P.24〉</p> |
| 1420 | IR計画に反対する。IRへの訪問者数2,000万～4,000万人を予想しているが、その比較データがTDLやUSJとなっている。しかし、本IRでは国際会議場や展示場等の施設を造ることになっており、東京や千葉の同様の施設との競合や優位性の有無を勘案して入場者数や収入見込みを作成すべきである。この入場見込みは不正確で恐らくこのような人数は見込めないと考えられる。観光客就中外国人の観光客増を期待しているが、現下の新型コロナウイルス感染症の蔓延による観光客の激減にみられる通り、観光に極端に依存する計画は危うく脆い。未達に終わる可能性が高い。収入見込みがアバウトでその根拠が不明確。過去の例にもあるようにバラ色の計画を見せていざとなると計画未達でその尻拭いが市民の負担になるのは見え見えと思われる。 | 参考 | |
| 1421 | IR誘致に賛成致します。横浜の観光客増に良い影響となるように期待致します。 | 参考 | |
| 1422 | 横浜市増収は820億～1200億円/年(内訳も不明)。どこからそんな推定額を計算したのか、根拠が不明。それを公開すべきだ。IR全体への来場者数は公表しているが、2千万～4千万人/年。ディズニーランド&シーの来場者が3千万人/年だから、ずいぶん強気な計画といえる。これも根拠不明。 | 参考 | |
| 1423 | カジノだけはこの横浜にはいらない。日本のどこにもいらない。それは、経済的に見込みがないということを理解してください。1200億円の収入を得るには、ディズニーランドよりも多くの人が入らねと得ることができないからです。 | 参考 | |
| 1424 | 観光振興の経済効果が大きく地元経済の発展に貢献する意見。カジノで賭け金を使うので、地元消費は望めない。カジノができれば子供連れの家族等は横浜を除外するという意見がある。 | 参考 | |
| 1425 | ・IRの参考事例に関してシンガポールの事例が説明されているが、日本とシンガポールでは、政策や対策の実施内容に関して大きな違いがあり、それを日本で同様な対応ができるとは思えない。また収益的には2施設とも減少傾向にあり、第三のIRを検討中と聞いている。これは、国内のカジノ利用を制限している影響が考えられる。シンガポールでさえ、IRは既に斜陽産業になってきているのであろう。横浜はこれから建設してどれだけ効果が期待できるのでしょうか。・財務改善への貢献で、820億～1,200億円/年とあって納付金、入場料・・・の収入とありますが、簡略して検討してみましよう。納付金収入が一番大きいと思いますのでそれに寄せて最大の1,200億円の財務改善の為には15%が1,200億円ですから、全体のカジノの収益は8,000億円/年になります。IR全体の入場者を4,000万人/年でカジノは全体の3%の広さなので、利用者も全体の3%で計算すると120万人/年に一人当たり67万円負けてもらう必要があります。これは可能なのでしょうか。また、これを継続し続けることは可能でしょうか。単に収益を出すのではなく、投資金額、運用コスト、収益もエリアや施設毎に算出して、どう横浜市に財務に貢献できるのかを再確認すべきです。 | 参考 | |
| 1426 | インバウンドを含むIRへの訪問者数2000～4000万人と謳っていますが、カジノのターゲットは日本人であることは、手を挙げている「ラスベガスサンズ」等からも明らかと考えます。 | 参考 | |
| 1427 | 訪問者数について、TDR、USJの入場者数を参考にしているように読める。横浜IRにはカジノが含まれる可能性が高く、既存のIRにたいして、属性(経済効果の推計との関係ではとくに発地、観光消費額の推計の基礎となる所得水準)を検証する必要があると考えられるが、その具体的な内容はどのようなものなのか | 参考 | |
| 1428 | IR誘致に対して反対を表明致します。IRを誘致し、開発を敢行したところで、果たして本当に集客がみこめるのでしょうか? | 参考 | |
| 1429 | 横浜IRの方向性素案に以下の理由で反対します。方向性(素案)で示す「アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」(2018年)でも、カジノを目的に日本に来る外国人観光客はあまりいないように思います。中国人富裕層も、今後期待できません。 | 参考 | |
| 1430 | 観光客等の見通しを精査すべきだと思います。 | 参考 | |
| 1431 | 財政面の一挙好転をねらうような今回の計画には危うさを覚えるばかりです。観光客が運まかせで一攫千金と奈落の底への転落をこの横浜で繰り広げることが、とても不健全に感じ、市民として許容できません。カジノが観光客へのおもてなしとして最良とは考えられません。ギャンブルを目的とするタイプの観光客を歓迎できません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1432 | 外国人や富裕層がカジノを利用しにきてくれるというのは非常に甘い見通し、考えであります。 | 参考 | 事業者から提供された情報では、インバウンドを含むⅠRの訪問者数は年間2,000万人から4,000万人となっています。この数値は、国際会議場や展示場、カジノなどの有料施設や無料施設を含むⅠR区域全体の来訪者数を示したのですが、事業者ごとに施設構成や規模が異なっていたため数字の幅が生じています。〈方向性 P.89〉 |
| 1433 | 観光振興の訪問客など他のテーマパークと比べると過大な数字です。ⅠR区域内の消費額が市内で使われるならば、さらに大きな金額になります。 | 参考 | 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 なお、先進事例である、シンガポールでは、2つのⅠRのオープンに伴って、外国人来訪者が10年足らずで約1.8倍となっており、横浜ⅠRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性 P.24〉 |
| 1434 | インバウンド、訪問者に頼る、経済効果、採算取れるか不安。 | 参考 | ⅠRによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力していただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収支見込みなどを基に、それぞれの増収見込み等を市で算出しています。〈方向性 P.89〉 |
| 1435 | カジノは人の懐からお金を吸い上げ、胴元がもうける事業です。私たちの生活は良くなりません。 | 参考 | ⅠR整備法では、納付金の相当額を、 ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・ⅠR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 |
| 1436 | 横浜ⅠRカジノは、反対です。暮らしは、豊かになる、はたしてそうだろうか…もっと話し合いをして、からでも（画に書いたもち）のような気がする。 | 参考 | 必要な経費に充てるものと規定されています。 本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、ⅠR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。 |
| 1437 | 反対されている方々もありますが、ⅠRによる恩恵は横浜市も説明の通り多くあると感じています。しかし、増収説明が無いので、「市民の豊かな暮らし」について具体的にイメージできない側面もあります。 | 参考 | 加えて、将来見込まれている増収減収や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。〈方向性 P.91〉 |
| 1438 | 豊かで安全・安心な暮らしを維持するための財源確保のためにも横浜ⅠRの早期実現を希望します。 | 参考 | |
| 1439 | 賛成しております。ギャンブル依存症は、ギャンブルできる機会が増えても、ギャンブルに「救い」を求めなければならない人が、そのような状況がなければ増えません。ⅠRで財源が確保できたら、ぜひ市民によりその政策に活かし、カジノも含めて、横浜ⅠRで健全に楽しめる方を増やしてください。 | 参考 | |
| 1440 | がんばってください。財源が足りない中、増収を上げるように政をすすめるのは市長の使命だと思います。 | 参考 | |
| 1441 | 横浜ⅠRには、財源が確保できる面を期待しています。年輩の方を敬う一方で、財源が足りない将来を作ったことが許せません。増収は困ります。リゾートで過ごすお金のある方から財源を得るのは、いい方法だと思います。 | 参考 | |
| 1442 | 統合型リゾートによる増収は、横浜市にとって必要かつ良い展開だと思います。ギャンブルでもアルコールでも、依存症は依存する対象が増減しようとは関係なく、依存する背景によって増減するものと存じます。仕事がない、居場所がない、収入がない、育児ノイローゼになった、夢や希望がない、趣味がない、淋しい、そういった背景を減らせるよう、横浜ⅠRで得た増収でよい政策を実現してほしいと思います。 | 参考 | |
| 1443 | ⅠRの推進は賛成です。日本の中でⅠRを推進するのに最もふさわしい土地柄であると考えます。カジノによる悪い影響が注目されていますが、プラス面にもっと目を向ける必要があると考えます。ⅠR導入による横浜市財政へのプラス影響をもっと具体的にアピールすべき。 | 参考 | |
| 1444 | ⅠR誘致に賛成。毎年のⅠRにおけるGGRや横浜市の納付金に対しては透明性を担保すべき。 | 参考 | |
| 1445 | 横浜市の施策へのGGRの一部を必ず条件づけで入れるように。 | 参考 | |
| 1446 | 横浜の子ども達の未来のために、沢山の税金を納めてくれる施設を作ってください。 | 参考 | |
| 1447 | 横浜の明るい発展のためと次世代の安定した増収をお願いしたい | 参考 | |
| 1448 | ⅠRに賛成します。次世代の福祉の財源のために一役担ってください | 参考 | |
| 1449 | ⅠR誘致に大賛成です。次世代の横浜の財源確保のためにも、是非、山下地区にⅠR施設をつくっていただきたい。 | 参考 | |
| 1450 | ⅠRに賛成します！次世代の安定した増収確保 横浜の一層の国際化の為。 | 参考 | |
| 1451 | 市の増収の使い道をなるべく早く示していただければ、理解がもっと進められると、思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1452 | 一握りの多国籍企業による際限のない利益の追求は私たち一般市民を置き去りにしています。多くのトップセールスを物にしてこられた市長にとってこの計画を成功させることは当然すぎるものでしょう。でも市長には一部の企業などでなく、多くの私たち市民に優しい市政をめざしていただきたいと思ひます。 | 参考 | <p>IRによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力していただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収見込みなどを基に、それぞれの収見込み等を市で算出しています。〈方向性 P.89〉</p> <p>IR整備法では、納付金の相当額を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・IR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 <p>に必要な経費に充てるものと規定されています。</p> <p>本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、IR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。</p> <p>加えて、将来見込まれている収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。〈方向性 P.91〉</p> |
| 1453 | 横浜市がIRに取り組む目的として、今後の高齢化社会による医療費や介護費の増大への対応があると思うが、IRによる収入をしっかりと、その対策に充てられるスキームを確保すること。それが示せば、賛成者も増えると思う。もちろん賛成しています。 | 参考 | |
| 1454 | IRに賛成です。理由は、横浜市に年間で820億から1200億円の増収が予想されるということです。是非このお金を、社会福祉、特に子育て支援に充てていただき、横浜を子育てしやすい街にしたいと思ひます。 | 参考 | |
| 1455 | 増収となるお金の使途を明確にしてほしい。個人的には教育など未来の横浜を支える人への投資をお願いしたい。 | 参考 | |
| 1456 | 横浜も人口減少・高齢化の波には、さからえないと思ひます。今の子供達のためにもしっかりと財源が確保できる政策が必要であり、IRがその政策に適していると思ひます。 | 参考 | |
| 1457 | 子どもの未来に役立つ収入源になるよう、IRでの増収分の使いみちに配慮があるといいと思う。 | 参考 | |
| 1458 | カジノから上がる収益については、巨大化する自然災害や世界的に急拡大する感染症など突発的な出来事に対し、その対策費として使えるよう、プールしてほしい | 参考 | |
| 1459 | IR待ちどおしいです。増収効果が期待できます。ぜひ子育て・教育など次世代のために使ってください | 参考 | |
| 1460 | IRを横浜に作らず近隣に持っていかれるのなら収収でいろいろな施設や、福祉を充実させるためにも横浜で実現させて欲しい。 | 参考 | |
| 1461 | 横浜市民のための社会保障と教育に財政を生して下さい。 | 参考 | |
| 1462 | もっと市民が本当に望むこと、市民の願ひにお金を使って欲しいと思ひます。(中学校給食など) | 参考 | |
| 1463 | 収収を増やして財政破綻にならないようにして欲しいです。 | 参考 | |
| 1464 | IR施設で得た収入で、福祉増強、高齢化対策として必要だ。 | 参考 | |
| 1465 | 未来に向けて、IRで収収、収入をあげ、横浜市民の生活を支えてください。 | 参考 | |
| 1466 | 民設民営で、税金を使わずにIR施設ができるのは良いこと。さらに、その施設から横浜に収入がある。誘致を推進していくべき。 | 参考 | |
| 1467 | 市の財源になるようにしてほしい。応援します。 | 参考 | |
| 1468 | 横浜市の財源としてプラスになるようにしていただきたい。 | 参考 | |
| 1469 | 財源としてプラスになるように | 参考 | |
| 1470 | 他の大都市と比較して横浜市は今際財政状況が特にきびしくなってくることを、ふまえると、横浜市こそIRを実現すべきだと考えます。 | 参考 | |
| 1471 | 収収や日本文化の発展含め、IRがもたらす効果は大きいと感じているので、是非推進して欲しいと思ひております。 | 参考 | |
| 1472 | IRを実現できなかった場合に、将来を担うことになる私のような若者達が、財政難に苦しんだり、日本が世界に通用しなくなってしまう可能性が高いことを反対意見を持つ人たちによく考えてもらいたい。 | 参考 | |
| 1473 | 若い世代に今後多くの負担を負わせる訳にはいかない。是非IRを実現してほしい。 | 参考 | |
| 1474 | 将来の横浜市のかびしい状況を考えると、IRのような大型のリゾートは必要であると考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1475 | 市長以下横浜市は1回も収支見通しを示そうとしていません。概要版でも、示された数値は「事業者から提供された情勢です」と逃げています。その一方で、カジノ収入の使途では、IR施設への交通環境整備などをうたっているだけで、市民への還元については示されていません。市民に直接還元する考えがないことが明白であるなら、そのことを明示しない素案とは方向性を示したものとみなすことはできません。即刻作業を停止し、市民のコロナウイルス感染の恐怖がいった後に、作り直すべきです。 | 参考 | <p>IRによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力いただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収支見込みなどを基に、それぞれの税収見込み等を市で算出しています。〈方向性 P.89〉</p> <p>IR整備法では、納付金の相当額を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・IR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 <p>に必要な経費に充てるものと規定されています。</p> <p>本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、IR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。</p> <p>加えて、将来見込まれている税収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。〈方向性 P.91〉</p> |
| 1476 | 説明にあるようにこの先の横浜の財政は困難を極めるであろうことは私がいた時からわかっていたこと。解決のためIRが重要と市が言うなら、市長がそう決意したなら心から応援しています | 参考 | |
| 1477 | IRの実現によって市民の豊かな暮らしが保障されるは信じられません。魅力的なパケーション山下公園を壊してはいけません。 | 参考 | |
| 1478 | 市税の増収による福祉の充実が見込まれることから推進を賛成する。 | 参考 | |
| 1479 | 財源を将来の子どもたちのために活用してください | 参考 | |
| 1480 | 増収で得たお金を子育てや高齢化対策に使うのならIRに賛成します | 参考 | |
| 1481 | 財政状況の改善につながるなら、ぜひ進めるべきです。 | 参考 | |
| 1482 | 観光、地域経済の振興、市税増収につながることも期待しています。 | 参考 | |
| 1483 | 市は、カジノ計画を返上し、予定する全額を、DV虐待救済にこそ、転じるべきです。 | 参考 | |
| 1484 | 賛同しています。増収効果が、子どものための政策に優先して還元されるとよいと思います。 | 参考 | |
| 1485 | 横浜にIRがくることで福祉や子育て、医療、教育など、市民の暮らしが豊かになることを期待しています | 参考 | |
| 1486 | 横浜の人口の推移を考えると、このままでは、財政が厳しくなり、税金が上がる恐れも怖い。観光名所の一つにつながるの、悪くない話であります。作るからには、横浜市民に特典があるとうれしいです | 参考 | |
| 1487 | IRに賛成します。横浜の未来の発展のために、そして豊かな財源が必ずや市民の豊かな生活につながると確信しております。子供や孫世代の財産ともなります。 | 参考 | |
| 1488 | 今後も社会保障を維持してほしい。そのためにIRが必要ななら、賛成 | 参考 | |
| 1489 | 年間820～1200億もの増収があることは、大変有益な事業。ぜひ横浜にIRを。 | 参考 | |
| 1490 | 今、日本に求められているのは、「日本らしさ」。日本の風景、物、食、伝統文化、技術など…しかし、後継者不足も含めて早急に支援の手をさしのべないと間もなく消えて無くなってしまおうでしょう。それらを守る方に投資すべきでは。長い目で見れば横浜市の発展につながるはずです。 | 参考 | |
| 1491 | 賭博の儲けとは利用客の損に他ならないのにそれを当てにすることへの倫理的な不信と同時に依存症の予防教育をしてまで、賭博場を開く、儲けの大半を民営企業の名で外国資本がさらっていく。 | 参考 | |
| 1492 | 横浜IRに賛成します。カジノだけに焦点が当たりがちですが、治安や依存症への対策が明記され横浜がさらに発展するための有効な施策だとはっきり認識できます。すべての市民の豊かな生活を維持するために、実現を願います。 | 参考 | |
| 1493 | 財政への貢献はみのがせない点であり重要なことだと思います。 | 参考 | |
| 1494 | 税収入の拡大で福祉の充実を願って賛成します。 | 参考 | |
| 1495 | 郊外部の課題に対する施策の内容が不足。人口が減少している瀬谷区や泉区、戸塚区の西部等は、水害、交通、にぎわい等課題がある。IRができるとこれ等の課題にどう関連づけられるのか？臨海部に必要なインフラは公園や緑地で、郊外部は、文化施設や病院だと考える。 | 参考 | |
| 1496 | 横浜市は高齢化により税収が減りつつあると聞いている。税収減の足しとして、うまく活用していければいいと思う。 | 参考 | |
| 1497 | 経済面で市民へはどの様に還元されるのか知りたい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1498 | 横浜にカジノはいりません。カジノに税金を使うのはやめて、中学校給食や、教育、子育て、医療など、横浜市民が安心して生活するためのことに税金を使って下さい。 | 参考 | <p>ⅠRによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力いただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収支見込みなどを基に、それぞれの収収見込み等を市で算出しています。〈方向性 P.89〉</p> <p>ⅠR整備法では、納付金の相当額を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・ⅠR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 <p>に必要な経費に充てるものと規定されています。</p> <p>本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、ⅠR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。</p> <p>加えて、将来見込まれている収収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。〈方向性 P.91〉</p> |
| 1499 | カジノ大賛成。財政が豊かになれば市政は、なんでも出来ます。 | 参考 | |
| 1500 | (市のやるべきこと) 横浜は他の大都市に比べて、地方政治のやるべき事がまだ沢山あります。私の知る限りでも文化施設が身近な地域に少なすぎます。子供達の設備も無いものが沢山あります。調べて下さい。歩道のない道、ガードレール、手すりの無い危い道路がほとんど(主要道路を除く)です | 参考 | |
| 1501 | 賛成の理由。横浜市の将来の財政を考えないといけない。企業も個人も財政が一番大切で大事なことです。「カジノ」への悪印象はあるが、そこは諸工夫で対処し愛する横浜の将来の安定対策は絶対必要です。 | 参考 | |
| 1502 | シンガポールを教科書にして未来の横浜を期待して横浜ⅠRへGO。 | 参考 | |
| 1503 | カジノは天下の愚作(愚策)です。ばくちで得た資金で横浜市の市民の暮らしが豊かになるわけがない。 | 参考 | |
| 1504 | 統合型ⅠRの早期実現に賛成です。統合型ⅠR施設建設という好機を生かして、その経済効果を糧に収収を増やし、東京都並みの市民サービスを実現してほしい。 | 参考 | |
| 1505 | 今でも、国保・介護の保険料の未納が増加している中で自治体の横浜市が行うべきは、市民の暮らしを守り、福祉を充実させることこそ重点に行うべきです。市長は市民の暮らしの実態をしっかり見つけ、市政に反映させるべきです。 | 参考 | |
| 1506 | 今でも、国保・介護の保険料の未納が増加している中で自治体の横浜市が行うべきは、市民の暮らしを守り、福祉を充実させることこそ重点に行うべきです。市長は市民の暮らしの実態をしっかり見つけ、市政に反映させるべきです。 | 参考 | |
| 1507 | カジノで市が得た収入が業者にすいとられたあとの3割か4割であるならばその収入を市は何に使おうとするのだろうか。そんなことで得た収入がなければ市の行政は成り立たないのだろうか。 | 参考 | |
| 1508 | 収収をふやそうとするのではなく、少ない収入に対し少ない予算で対応するしかない。するとすぐ政権と同じように福祉切捨てと市民を脅すが、要は優先順位の問題である。 | 参考 | |
| 1509 | 私は横浜ⅠRに賛成です。横浜市の税金は、ふるさと納税のおかげで、収入が減っています。これを償う為にⅠRを活用すべきです。 | 参考 | |
| 1510 | 市長が説明しているとおり、市に収入があること。 | 参考 | |
| 1511 | 未来ある子供達の為にカジノは絶対に誘致しないで下さい。 | 参考 | |
| 1512 | 大反対です。そもそも横浜は品格のある町です。開業した場合はメリットが大で財政の負担を補てんできると誇長しているが全部ウソです。 | 参考 | |
| 1513 | 横浜市の為に絶対にやらなくては、いけない市長さん、横浜市の幸の為に。市を豊かにして下さい。 | 参考 | |
| 1514 | 増えた収収を依存症対策にまわさざるを得ず、実質的に市民の税金をむだ使いする事になってしまいます。もっと文化的な施設を! | 参考 | |
| 1515 | 経済的利益を市民にもたらすものではなく、経済的效果算定に当っては市民の賭金喪失分を含めれば損失になるのが通例で市民に利益は及ばない。 | 参考 | |
| 1516 | 横浜市の収入が下がったとしても、その時は、それなりの生活をすればよいのです。現在もまだ、税金をたくさん収めています。何十年も、ほとんど何をしてももらった事などありません。ゴミ収集位です。 | 参考 | |
| 1517 | カジノ反対。地域経済回復(中小企業 商店街支援)税と社会保障の一体改革を(小中学校に子供食堂を。誰でも受けれる医療を。託事所を。) | 参考 | |
| 1518 | カジノ反対。地域経済回復と税と社会保障の一体改革を。 | 参考 | |
| 1519 | 地方自治体が力を入れなければならないことは、住民の福祉や生活を守る施策です。住民に不幸をもたらす施設を作ることに血道をあげることは許されません。市民の声をよく聞き市民の力を信じて、市民を守るために、市長としての役割を發揮していただくようお願いいたします。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1520 | カジノの上がり福祉、子育て、医療、教育の財源にも当てるとある。恐ろしいことだ。パクチ等と無縁にしてほしい分野にまで手を突込まないでほしい | 参考 | <p>ⅠRによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力いただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収支見込みなどを基に、それぞれの収支見込み等を市で算出しています。〈方向性 P.89〉</p> <p>ⅠR整備法では、納付金の相当額を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・ⅠR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 <p>に必要な経費に充てるものと規定されています。</p> <p>本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、ⅠR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。</p> <p>加えて、将来見込まれている収支減収や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。〈方向性 P.91〉</p> |
| 1521 | 市民の税金を賭博場設立に使うとは何事でしょうか？そもそもⅠR型カジノで市民にどのような利益があるのかはっきりあるなら明示しなさい。無いなら、今すぐ取り止めなさい。市長をはじめカジノ推進派はもっと市民に寄りそうことをしようと思わないのですか？ | 参考 | |
| 1522 | 4億のⅠR予算、今こそコロナ対策に、中学校給食に使えるようにしてほしい！ | 参考 | |
| 1523 | 市民の多くが反対しているのに強行は許せません。収収が800億以上ふえるというのは本当ですか？ | 参考 | |
| 1524 | 社会保障を充実させ、市民が生活し易い環境を作るために税金の使い方を考え、実行するのが正しい市政のあり方だと思います。市民の税金で市民を不幸に陥れるカジノ誘致は問題であり絶対反対です。 | 参考 | |
| 1525 | 少子高齢化社会での財源として、ⅠRの収益を導入することに賛成です。特に、高齢者世帯に税の軽減がはかれるようお願いしたい。 | 参考 | |
| 1526 | 横浜にカジノは絶対反対です。市長はカジノは「白紙」と言いましたが市民の声を無視して公約に反します。そして横浜の税金の使い方も間違っています。箱物ばかりに税金を使い、子育て、医療、中学校給食等々には是非税金を使ってほしい。横浜に住んで良かったと思う市政をしてほしい。家庭崩壊になりかねないカジノ横浜に必要なはいいです。 | 参考 | |
| 1527 | カジノは横浜につくらない！市長、横浜市民の為の市政をしてください。カジノでの利益はないです。私たちの真面目に納めている税金を清く美しくつかってください。子どもたちを育てる給食実施、医療の充実、人権尊重の横浜にしましょう。 | 参考 | |
| 1528 | 市民の福祉を増進するために施設などの検討が大切です。今回市政は、その基本をはずした計画になっています。 | 参考 | |
| 1529 | 今横浜市に必要なのはカジノ推進予算をやめ、学校調理方式の中学校給食の実現や新型コロナの影響から市民の暮らしを守る予算に但み替ることで | 参考 | |
| 1530 | 「子育て、医療、教育、福祉など」の施策に使われる可能性は非常に低いと予想しているが、こばかりを強調する市側の説明には欺瞞があります。カジノⅠR誘致はやめるべきです。 | 参考 | |
| 1531 | 「横浜ⅠRの方向性(素案)」では820億円～1200億円の増収効果を謳っていますが、カジノ事業者から提供された情報に過ぎません。何十年もそのような持続的成長が続くことなどありえません。 | 参考 | |
| 1532 | ⅠRについてですが、私としては治安の悪化が懸念されるため、ネガティブにとらえており、誘致して欲しくありません。どうしても誘致する場合には、市民に大して明らかなメリットを提示してもらいたいという感じです。例えば住民税が半額になる等。メリットが提示される事も無く、治安悪化の懸念が払拭されない状況でのⅠR施設に関しては賛同致しかねます。 | 参考 | |
| 1533 | どうしても誘致する場合には、市民に大して明らかなメリットを提示してもらいたいという感じです。例えば住民税が半額になる等。 | 参考 | |
| 1534 | 年800億円から1200億円の収益が横浜市に入る保証がどこにあるのでしょうか。 | 参考 | |
| 1535 | 基本的に賛成です。確かにカジノが風紀等への悪影響懸念は拭えないが、税収に対するプラス効果はある筈。市は、今後の収支推移予想を第三者に委ね、ⅠRが税収にもたらす寄与度を公開、経済的效果への評価を含めて市民の理解を得るべきと思料します。 | 参考 | |
| 1536 | 箱ものの政策ではなく、子どもを安心して育てられ、高齢となってもすみやすいまちへなるための、政策を期待します。保育園の整備や、子育て世代への医療費補助の拡充、中学校の給食実施(ハマ弁はムダ)。 | 参考 | |
| 1537 | 経済効果、市民への還元が明らかでない。素人考えかもしれないが、「儲かって喜ぶのは業者だけではないか」との疑いが拭い去れない。 | 参考 | |
| 1538 | 今の財政状況では手が届かなくても、横浜ⅠRの誘致で雇用の拡大と市の税収増長が実現できれば、かえって、このような対策にももっと力を入れられて、未来の横浜のためになるのではないのでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1539 | 横浜にIRを誘致することに賛成です。国が進めようとしているIR誘致の政策で税収の補填を試みるのは、国が用意した救済策を利活用する良い策だと思います。どうせなら、ふるさと納税の返礼品に、カジノの招待券やリゾート施設の宿泊券などを盛り込んでほしいです。 | 参考 | IRによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力いただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収支見込みなどを基に、それぞれの税収見込み等を市で算出しています。＜方向性P.89＞ |
| 1540 | 市の財政も潤うので、子育て、医療、教育の政策をぐんと進められて、好循環が生まれると思います。 | 参考 | IR整備法では、納付金の相当額を、 ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・IR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 に必要な経費に充てるものと規定されています。 |
| 1541 | 横浜IRに賛成。これまでの横浜市による説明や質疑応答、アンケートへの回答、パブリックコメントの資料を見る限り、横浜市がIRを誘致すると、IR事業者が成功すればその分税収が伸びたり、地域経済の活性化や雇用拡大による恩恵を横浜市、ひいては市民が得られると分かる。横浜市は区域整備計画を作ることまでしか担わないから、IR事業者が仮に経営に失敗しても、横浜市は損失を被らないようだ。せめて子どもたちのためには、増税ではない財源確保手段をひとつでも多くつくってあげたい。横浜IRはまさにいい一手だと思う。 | 参考 | 本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、IR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。 加えて、将来見込まれている税収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。＜方向性P.91＞ |
| 1542 | 横浜市の財政が厳しいのであれば利便性向上のための新規の公共投資を止めて下さい（既存施設の修理や改修は必要です）。例えば今月開通する高速道路の横浜北線などは作る必要が無かった。横浜市民は横浜北線が無くても困っていません。今以上の利便性の向上は必要ない。それよりもっと多くの横浜市民が助かる福祉に資金を使って欲しい。とにかく市長のレガシー創りとしか思えない横浜IRは止めて下さい。 | 参考 | |
| 1543 | パブリックコメント資料をPCで見せていただきました。概ね理解できる内容です。もっとも重要なことは、横浜市民の「国益」（市民益）があるかどうか。税収の増加や雇用促進は当たり前。結果としてぶっちゃけた話、市民税がどれだけ少なくなるかを明らかにしてほしいところです。 | 参考 | |
| 1544 | ママ友で話し合ってみました。ママ友を代表して賛成意見を投稿します。横浜市からもらえている子育てに関する支援は、とても大切ですし、どちらかと言えば、東京都のようにもっと充実してほしいと思っています。だからこそ、横浜市の財源確保は大切だと思いますし、その一手として横浜IRを誘致することは賛成です。横浜IRができれば、成人式も横浜IRで開催してほしいですね。 | 参考 | |
| 1545 | 防災、医療、福祉や育児など、市民にわかりやすい活用方法を具体的に明示していただきたい。金額や内容を示すと市民理解も進むことが期待される。 | 参考 | |
| 1546 | 具体的には、以下の懸念があります。89ページで、カジノIRで増えた税収は、「福祉、子育て、医療、教育」にも使うと書いてあるが、その言葉は信用できません。賭博を良しとする思考の前提には、行き過ぎた自己責任論があるからです。依存症対策をとるのだから、それでも依存症になったら自己責任。破産しても自殺しても自己責任と思っているから、カジノを推進できるのでは？増えた税収は、次の投資に回され、非生産的な福祉や子育て、医療、教育には、お金は回ってこないと思います。市の倫理観は、行政全般にかかわる問題です。単純に「新しい法律ができて違法行為ではなくなったから、それで良いのだ。」で済む話ではない。 | 参考 | |
| 1547 | バラ色の夢溢れる横浜の未来図が確固たるものとして描かれるのであれば、市民からの市民税を徴収無しにして、IRの収益のみによってまかなって行くという提案を市民になさったらどうでしょう。 | 参考 | |
| 1548 | カジノのIR誘致ではなく、横浜市民のための社会保障と教育に財政を生かしてください。 | 参考 | |
| 1549 | 横浜IRに賛成。横浜IRで増やした税収を、子どもたちや未来の横浜市政に還元して運用してほしい。 | 参考 | |
| 1550 | 横浜IR賛成。誘致して市の財政を少しでもよくしてほしい。財政難の切実な事態だからこそ、世界の富裕層が豪遊するお金が横浜に入るようにして財源を確保できる横浜IRは非常に魅力的です。 | 参考 | |
| 1551 | 横浜IRに賛成。税収確保が魅力に感じる。 | 参考 | |
| 1552 | 横浜IR賛成！増税は嫌です。横浜IRで税収を伸ばしてほしいです。所管課のみならず、これからの横浜を担う子どもたちのためにもがんばってください！ | 参考 | |
| 1553 | 新市庁舎移転も横浜IRも賛成しています。横浜IRをはじめとして、未来のための増収効果やよい政策をどんどん考えて実行してほしいです。 | 参考 | |
| 1554 | 横浜IRに賛成です。ぜひ誘致して税収確保に役立ててほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1555 | 横浜ⅠR賛成。増税しないで横浜市が増収効果を得られることに大きな魅力を感じる。未来を担う子どもたちの負担が少しでも軽くなるよう、ぜひとも誘致してほしい。 | 参考 | <p>ⅠRによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力いただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収見込みなどを基に、それぞれの収見込み等を市で算出しています。〈方向性 P.89〉</p> <p>ⅠR整備法では、納付金の相当額を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・ⅠR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 <p>に必要な経費に充てるものと規定されています。</p> <p>本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、ⅠR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。</p> <p>加えて、将来見込まれている収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。〈方向性 P.91〉</p> |
| 1556 | 増収効果に期待が高まります。ⅠRを作って増収を得られるのは日本で3都市だけ。ⅠRに代わる案も私にはありません。他の立候補都市に負けずに誘致を実現させてほしいなあと思います。横浜市は、空港が近くて、穏やかな海があり、客船も呼べて、利活用できる埠頭があります。みなとみらいなど先進的なイメージのある地域も近く、外国人観光客も多いです。他都市が羨むほど、ⅠR誘致とその先の成功に好条件が揃っていると思います！ | 参考 | |
| 1557 | 横浜ⅠRが成功し、未来の子供たちに喜ばれる施策になってほしいです。横浜によりよいⅠRを誘致するには、ⅠR事業者さん同士で切磋琢磨して、より優れた提案をしてもらうことが必要だと思います。 | 参考 | |
| 1558 | 横浜ⅠRに賛成。横浜ⅠRで増やした税収を、子どもたちや未来の市政のために運用してほしい。 | 参考 | |
| 1559 | 横浜ⅠRに賛成です。市の財政難はどうにかしなければ未来の横浜市が困ってしまうなど、有権者として思います。でも正直、市民税率を上げられてしまうとか、みどり税のような特殊な税を課されるのは抵抗があります。ⅠRによって財源を確保できるなんて、誘致できる場所や都市の規模などを兼ね備えている横浜市にとっては本当に貴重なチャンスだと思います。ぜひ、横浜ⅠRで長期的な財源を確保できる仕組みをつくって、よい政策をたくさん実現して市民に還元して行ってほしいです。 | 参考 | |
| 1560 | 横浜ⅠRは推進されるべき。市の財政、市民の未来のためにもぜひ誘致してほしいです。 | 参考 | |
| 1561 | 将来の増収効果・雇用創出などのメリットのために、ぜひこのまま誘致を頑張してほしい。 | 参考 | |
| 1562 | 横浜ⅠRの方向性について「賛同」します。横浜市が今後も安定した住民サービスを提供するためには、臨海部で税収を上げて、郊外部に回すしかありません。だって、住宅しかない郊外部がどれほど多いことか。 | 参考 | |
| 1563 | 収益による生活困窮者への還元 | 参考 | |
| 1564 | 横浜ⅠRの誘致に賛成する。横浜ⅠRへの観光客が増えれば、地元の商店、飲食店などへの来客も増えるだろう。ラグビーワールドカップの開催の際にだいが進んだと思うが、地元の中小企業などにはぜひ、電子決済システムの導入を促し、時には補助するような仕組みもあるといいと思う。 | 参考 | |
| 1565 | 横浜ⅠRが、子どもの未来を明るくしてくれることを願っています。 | 参考 | |
| 1566 | 横浜市民の税金は、子育てや暮らし、医療、福祉、教育、防災対策など、市民生活に役立つものに有効に使用されることを願います。 | 参考 | |
| 1567 | 横浜ⅠR賛成。増収効果は重大事項だと思う。コロナによる打撃を受け、治療法、予防策、経済的支援、人的支援、精神的支援、子どものケアなど、行政による多面的な対策が必要とされている。どれも、地方自治体に財源がなければ実行が難しい。市債などでいつか賸えても、将来の横浜市民が返済を迫られる。増収効果が期待できる横浜ⅠRは、たとえインシャルコストが多少かかっても、長いスパンで見た利益のために、誘致して運営を成功させていくべきだ。 | 参考 | |
| 1568 | 将来の横浜市の財源を確保するためには、横浜ⅠRはぜひ誘致できたほうが良いと考えます。 | 参考 | |
| 1569 | 新型コロナウイルスについて、職場や学校、ママ友の間では「横浜市がマスクを配ってくれたらいいのに」「横浜市が子どもを安全な環境に預ける費用を負担してくれたらいいのに」「休職や休業による損失補償をして生活不安を取り除いてくれたら…」と、行政による手厚い給付を期待する声をよく聞きます。今後予想される社会保障費の増のほかに、今回のような緊急時にも市民のニーズに応えるには、横浜市に現場よりずっと財源が必要ではないでしょうか。増税せずに増収効果がえられそうなら、横浜ⅠRは誘致するべき、いえ、将来の横浜市民のために必ず誘致してほしいです。 | 参考 | |
| 1570 | 横浜ⅠRは何より増収効果が魅力的だ。子どもたちには、いまよりも豊かな未来をプレゼントしたい。横浜ⅠRが、その役に立ってくれることを期待している。 | 参考 | |
| 1571 | ⅠR反対です。ⅠR誘致の資金を直接市民のために使って下さい。福祉、教育にを使って下さい。カジノができて、宿泊者は増えないと思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1572 | I R誘致に賛成です。I R誘致による横浜の活性化に期待しています。また、I Rによる増収を横浜市民が実感できる還元方法が具体的に定められることを希望します。 | 参考 | <p>I Rによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力いただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収支見込みなどを基に、それぞれの収支見込み等を市で算出しています。〈方向性 P.89〉</p> <p>I R整備法では、納付金の相当額を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・I R区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 <p>に必要な経費に充てるものと規定されています。</p> <p>本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、I R整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。</p> <p>加えて、将来見込まれている収支減収や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。〈方向性 P.91〉</p> |
| 1573 | 誘致には賛成。長期的なニーズとしては増収効果が望まれ、短期的には手厚いコロナ対策が必要とされている。市民の豊かな暮らしのためにという点にフォーカスするならば、例えばマスク配付、ワクチン開発、経済的支援措置など大胆なコロナ対策を打ち出し、その費用は横浜I Rで返済するというような、市民のために動く市長としての決意の固さを感じられる対応があると良いと思う。 | 参考 | |
| 1574 | 横浜I Rで得られる恩恵や、横浜I R規模の増収効果がないと需給が難しくなるサービスについて、もっと多くの市民が、実感が湧くようになると思う。コロナ対策や待機児童対策など、市民が肌で感じる不安について寄り添った政策を実行し、その費用は横浜I Rで返すという仕組みがあってもいいのではないかと。 | 参考 | |
| 1575 | 横浜I Rの誘致賛成。これを機に、投資や投機、ギャンブル、娯楽についての教育にも注力するとよいのではないかと。 | 参考 | |
| 1576 | 私は市民ですが、カジノはやりません。そのお金でやるべきことが山ほどあります。比喻でもなんでもなく、課題先進国と名乗る横浜で、カジノよりも、お金を使うべき社会課題がたくさんあります。 | 参考 | |
| 1577 | 横浜I Rに賛成。横浜I Rで増やした税収は、子どもたちのために、未来の市政に役立つように運用してほしいです。 | 参考 | |
| 1578 | 実体的な裏付けのない「効果」。市長を初めとする横浜市側は、12回の市民説明会や市会での質疑などを通じて、1回も収支見通しを示そうとしていない。これまで示された数字的なデータは皆、事業者から示されたものを「委託先の監査法人が整理・確認した」という程度のものである。なおかつ、その詳細については事業者から開示しないように求められているとして、全く客観性のない数字をら列しているだけである。素案89ページでは「納付金・入場料の使途」が書かれているが、これはI R整備法などで書かれている内容に過ぎない。横浜市の計画がいかんにかかわらず、事業者の数値をそのまま出しているだけであることが明白である。さらに看過できないのは同89ページにある「カジノ入場収入の使途」である。ここでは増収増分は主に①カジノI R施設への交通環境の整備②懸念事項の排除を実施するための施策等～に充てることとなっている。つまり横浜市民への還元は想定していない。こうした事実をあいまいな表現で出そうという「素案」は欺瞞と言うしかない。 | 参考 | |
| 1579 | カジノは、民設民営です。決して横浜市に住民に利益をもたらすものではありません。横浜市も市議会で、カジノの収益があっても市民の税負担軽減には影響がない、カジノ事業の事前投資などもありいつの時点で黒字になるかわからない、と公言しています。しかし、横浜市は私たち市民、住民の気持ちの上に成立している自治体です。住民の意向を一顧だにしない横浜I R事業には反対し続けます。 | 参考 | |
| 1580 | 増えた税収を、子育て世帯の支援の拡充に使ってほしいと思います。 | 参考 | |
| 1581 | 横浜I Rの誘致は進めてほしいです。これで得られた財源が、子どものために優先的に使われるといいと思います | 参考 | |
| 1582 | 横浜I Rに賛成。横浜I Rで増やした税収が、子どもたちのために優先して運用されるようになるいいと思います。 | 参考 | |
| 1583 | 横浜I Rに賛成。ぜひ、想定しているように、誘致して収支確保と市民生活への還元役に役立ててください。 | 参考 | |
| 1584 | 横浜I Rの方向性基本的に大賛成です。I R早期完成し、横浜市の発展及び税収の確保を！I Rは、カジノだけではない！ | 参考 | |
| 1585 | カジノ誘致に絶対反対！カジノは何の生産もなく、何にひとつ良い事は無いと思われまます。学校給食等、なすべき事は山ほどあるはずで。もっと市民に寄り添った市政を！ | 参考 | |
| 1586 | 私の意見は横浜I Rカジノ構想に賛成です。多くの観光客を誘致して日本、神奈川、横浜の税収を増やすべきです。横浜は立地的にもカジノを誘致するのにベストな場所です。 | 参考 | |
| 1587 | 横浜市公共建築物マネジメント白書での公共施設保全費の推移から見て、税収不足をカジノ収益といった横浜ブランドを毀損する虚ろな収益に頼るのではなく、「稼ぐ公共」のステータスとして、カジノなしの横浜I Rをぶち上げた方が、横浜ブランドを世界にアピール出来るのではないかと。この方がシグネチャーストーリーとして適切ではないでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1588 | そもそも横浜市は市民サービスをする姿勢が感じられません。その例が図書館などが圧倒的に不足していると感じています。どちらかといえばそういうものを拡充して欲しいと願います。子どもたちのために将来必要なものです。 | 参考 | <p>ⅠRによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力いただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収支見込みなどを基に、それぞれの税収見込み等を市で算出しています。〈方向性 P.89〉</p> <p>ⅠR整備法では、納付金の相当額を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・ⅠR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 <p>に必要な経費に充てるものと規定されています。</p> <p>本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、ⅠR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。</p> <p>加えて、将来見込まれている税収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。〈方向性 P.91〉</p> |
| 1589 | 自分は今年金受給者ですが横浜市は企業税収が余りにも少なすぎます。ⅠR誘致により、医療、福祉、年金などの横浜市の市政運営に尽力いただきたい。 | 参考 | |
| 1590 | ⅠR推進はいいとしても、大部分の市民には直接関わりはないと思います。ⅠRによって市民に何を還元できるのか、もっと具体的なことを知りたいです。 | 参考 | |
| 1591 | もっと一般の市民が暮らしやすくなるための福祉と産業・仕組みづくりをお願いします。 | 参考 | |
| 1592 | カジノはいらない、感染症に集中して、横浜にカジノはいらない！ギャンブル依存と貧困を防ぎ、介護・福祉・医療こそ充実を！ | 参考 | |
| 1593 | 横浜ⅠRに賛成です。横浜ⅠRで得られた税収は、優先的に子どもたちの未来の市政のために運用してほしいです。 | 参考 | |
| 1594 | 子供や孫の世代にツケを残さないためにも、前向きに取り組むべき。 | 参考 | |
| 1595 | カジノ納付金・入場料の使途として、山下ふ頭周辺のまちづくりを促す施策等にも充ちいただきたいをお願いします。 | 参考 | |
| 1596 | ふるさと納税の煽りを受けて、横浜市の税収が減っているのも現実。手取り早く収入を増やすためには、カジノ止む無しと言ったところでしょうか。 | 参考 | |
| 1597 | ⅠR誘致について私は賛成です。今後少子高齢化に伴い、GDPも減少傾向にあり、高齢者介護にかかる費用捻出等、税収をあげざるを得ない将来を考えると、外国人の観光客に日本でお金を使ってもらう事は、一つの税収アップに繋がると期待しています。道路事情や駅の安全面、病院の不足には懸念しておりますので、そちらも含めて考えていただけると助かります。 | 参考 | |
| 1598 | 市独自に費用便益など経済的影響の試算をせずにカジノ事業者の言い分をそのまま載せるとはどのようなことでしょうか。「少子高齢化のため」と散々言っておきながら、素案の89ページではⅠRからの収入はⅠRに還元すると堂々と書かれていて、正直ではありませんが、市民をあまりにも馬鹿にした態度ではありませんか。 | 参考 | |
| 1599 | 『横浜ⅠR（統合型リゾート）の方向性（素案）について』の内容に賛成します。370万人以上の人口を抱えている横浜市が、今後も適切な行政サービスの提供を続けていくためには、ⅠRによる増収効果が不可欠であると考えため。 | 参考 | |
| 1600 | ⅠR（カジノ）よりも、コロナ対策、教育、福祉、医療など生活と命を守ることに予算を使ってください。 | 参考 | |
| 1601 | P87 増収効果については、市民にとっての大きなメリットかと思えますので、用途等について、視覚的にも、より具体的に示していただけるとよいと考えます。 | 参考 | |
| 1602 | 横浜ⅠRの市への増収効果820億円～1200億円の積算根拠の詳細を明らかにして欲しい。横浜市の法人市民税収は年約600億円であり、820億円という規模は大きい。一般的な感覚として、この増収額が毎年コンスタントに得られるということ、現在公開されている情報だけで納得するという方が無理があると思う。 | 参考 | |
| 1603 | カジノについては明らかに富裕層をターゲットにしているとしか思えません、それによってどの位横浜市が潤う予定でいるのか疑問です。 | 参考 | |
| 1604 | ⅠRの誘致に賛成します。税収が増えて、生活しやすくなることを期待します。 | 参考 | |
| 1605 | 地域活性化の為にⅠRも有効と考えられるが、治安維持方法の明示や横浜市の収益に対して、市民への利点が具体的になければ、容認することは中々難しいのではないかと考えます。 | 参考 | |
| 1606 | 福祉、子育て、医療、教育へのさらなる発展となれば良い。 | 参考 | |
| 1607 | 少子高齢化が急速に進んでいる今、市民としては今後（特に福祉や医療）が不安です。横浜市に統合型リゾート施設が出来ることにより、税収が増え市民の暮らしが充実するのを期待しています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1608 | 方向性3について。横浜市の将来の税収入を確保するためにもIRは必要と考えます。 | 参考 | <p>IRによる本市の増収効果は、年間820億円から1,200億円となっています。この数値は、ご協力していただいた事業者の皆様から精査のうえ提供いただいた施設規模や収支見込みなどを基に、それぞれの税収見込み等を市で算出しています。〈方向性P.89〉</p> <p>IR整備法では、納付金の相当額を、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・IR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 <p>に必要な経費に充てるものと規定されています。</p> <p>本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、IR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。</p> <p>加えて、将来見込まれている税収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等、豊かで安全・安心な市民生活をより確かなものにするための財源に重きを置いて活用します。〈方向性 P.91〉</p> |
| 1609 | 横浜IRの推進により得た税収は「医療」「福祉」「教育」の充実に当てていただきたいと切に願います。それにより、今のこどもたちが将来にわたって、地元横浜に住み続けたいと思えるような、そんな都市づくりを進めていただきたいと思えます。 | 参考 | |
| 1610 | 財政面での利点、観光事業からのサービス収入等、市の収益確保には、現状良い選択と考える。 | 参考 | |
| 1611 | 横浜市及横浜市民第一で市民の暮らしが豊かになるよう進めてもらいたい | 参考 | |
| 1612 | 横浜市の今後の税収が非常に不安である。 | 参考 | |
| 1613 | そもそもIR型カジノで市民にどのような利益があるのかははっきりあるなら明示しなさい。無いなら、今すぐ取り止めなさい | 参考 | |
| 1614 | できた際には、しっかり横浜に必要な福祉や経済へお金が使われるようにしてください。 | 参考 | |
| 1615 | IRの収入で、横浜をささえるしかない。早く設置してください | 参考 | |
| 1616 | IRによる増収効果に期待します。推進あるのみ。 | 参考 | |
| 1617 | IR推進が必要。市の収入増を目指せ。 | 参考 | |
| 1618 | 横浜の福祉や教育のためには、IRの早期設置が必要です。 | 参考 | |
| 1619 | 人口が減少しつつ高齢化社会になっていくのでこれからの方々に財政の負担をさせたくないです。その為にも期待したいです。 | 参考 | |
| 1620 | IR=カジノというイメージが強いと思われがちなので、カジノはほんの一部であり、IRを作る事によって横浜市の税収が増えるなら賛成です。市が市民にとってマイナスになる事をするはずがないと信じてます。 | 参考 | |

3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

3.5 横浜IRの方向性4 安全・安心対策の横浜モデルの構築 に関するもの

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 1 | 3%部分のカジノ運営、時間帯、人数、該当利用者の制限、セーフティネットはしっかりと対応してもらいたいです。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。<方向性P.69、77> |
| 2 | 経済発展のためにも、IR事業は必要かと思う。誰もが安心して楽しめる一大リゾート施設として整備してほしい。そのためにも、安全安心な環境を最優先し世界の中でも「素晴らしい横浜」となれるように期待します。 | 参考 | |
| 3 | 今後の市の人口動向を鑑みましてもIR導入は大変有意義な事と思います。先ず、経済が安定しないと、私達の暮らしは、成り立ちません。しかし今、色々な依存症で苦しんでいる、本人・家族がたくさんいる事も事実です。これ等の人達をケア出来る様なになれば良いと思います。私、個人としては、歳も取って来ましたし、国内で横浜で世界的なエンターテインメントを楽しめれば、とても嬉しいです。頑張ってください。応援しています。 | 参考 | |
| 4 | 依存症対策は？ | 参考 | |
| 5 | 依存症のことも心配。カジノは反対です！ | 参考 | |
| 6 | IR整備に大賛成です！一部の人が心配する依存症の対策は行いながら、早期に実現してほしい。 | 参考 | |
| 7 | 将来のヨコハマを考えた時、IRが必要だと思います。依存症は対策をすれば、対応可能です。 | 参考 | |
| 8 | 大賛成です。依存症対策をしっかりとやり、外貨をたくさん獲得すべきです。 | 参考 | |
| 9 | IR賛成です。IR前から依存症対策をしっかりとやって数が少なくなれば、カジノに対する不安もなくなると思います | 参考 | |
| 10 | ギャンブル依存症が多いほど業者が儲かる、と専門家が言っています。誘致は反対です。 | 参考 | |
| 11 | 依存症の対策も十分とは言えずこのまま強引に進めることは危険だと思います。 | 参考 | |
| 12 | 胴元がもうかる、依存症が増える横浜港にたくはありません。「横浜市民の憩いの場」から「賭博横浜イノベーションIR」は市民は納得しないでしょう。 | 参考 | |
| 13 | シンガポールでは、IR誘致によりギャンブル依存症も減ったように、安全・安心と経済効果の両立したIRをお願いします。 | 参考 | |
| 14 | しっかりと安全・安心対策をすれば、依存症が増えたりすることはないと思う。先進事例を参考にして、実現させてほしい。 | 参考 | |
| 15 | 日本のカジノに対する監視は世界一と聞いています。他のギャンブルよりも健全。安心して楽しめるIRを実現してください。 | 参考 | |
| 16 | IRはカジノといっても、限られた人だけしか入れず、対策もとられていれば、支障はないと考えられる。横浜IRに賛成します。 | 参考 | |
| 17 | IR賛成。依存症になりそうな人をその人の地元自治体に連絡する仕組みはできませんか？マイナンバーカードで確認できると思います。 | 参考 | |
| 18 | IR賛成。依存症を増やさないように事業者しっかりと対応してもらってください。 | 参考 | |
| 19 | IRを誘致することで誤解をするような方もいるかと思いますが、カジノ依存に家族をまきこまれるかと思うと恐ろしいです。 | 参考 | |
| 20 | 横浜にカジノはいりません。家族が依存症になるのは困るし、カジノ客で暮しが豊かになるとはとても思えません。 | 参考 | |
| 21 | 依存症も案じられます。 | 参考 | |
| 22 | 横浜IRは、絶対反対です。ギャンブル依存症の人間を増やすだけです。 | 参考 | |
| 23 | カジノ収益を上げさせるためには、ギャンブル依存症を増やし続けなければなりません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 24 | マカオでカジノを併設したホテルに宿泊したことがある。確かにカジノで負けて帰れなくなり、友人や家族の迎えを待つ中国人もいたが、多くは健全な遊びに来ているように感じられた。ギャンブルにのめり込む人はどこにでもあるものであり、その悪影響ばかりを心配するあまりに大局を見失う議論は避けるべきだろう。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 25 | (依存症になった) IR反対です。 | 参考 | |
| 26 | 横浜にカジノを誘致することは、反対です。カジノ(ギャンブル)依存症が増える危険性がある。 | 参考 | |
| 27 | 心配のカジノのギャンブル性はみんなが心配しています。市民の不安に伝えていません。カジノ中止の世論が圧倒的です! | 参考 | |
| 28 | 依存症対策を言うのであれば、カジノ(賭博)を作らない事が一番良い方策だと思います。カジノ誘致は絶対に反対です! | 参考 | |
| 29 | 何年にもわたって借金返済をしなければならないこと、家庭を失って人生が大きく狂ってしまう人、再びギャンブルにはまってしまう人、…失うものが多いのがギャンブルです。カジノ依存症による被害は、このようなパチンコ・スロットによる被害の比ではない。 | 参考 | |
| 30 | ギャンブル依存症が増えるので絶対反対 | 参考 | |
| 31 | カジノあるところにはカジノ依存症の人々が必ず増えます。 | 参考 | |
| 32 | 人を不幸にするカジノに反対です。 | 参考 | |
| 33 | カジノはぜったい反対です。大切なもの、すべて失ってしまいます。残るのは不幸しかありません。 | 参考 | |
| 34 | 横浜市は、計画の段階で、依存症をなくす為に色々決まりを作る方向の事言ってますが、それは、まだカジノが動き出してる訳でないで理想論だけで決めてるように思う、のでカジノは反対です | 参考 | |
| 35 | ギャンブル依存症になりやすい危険な賭博です。 | 参考 | |
| 36 | カジノは反対です。カジノで困る人を増やさないで下さい。絶対反対です。 | 参考 | |
| 37 | 素案『2』等ではIR利用客に海外からの客を見込みながら、素案『3』で実に多くの頁をいわゆるギャンブル依存症対策に割く(素案・58~77頁)というのは論理矛盾である。 | 参考 | |
| 38 | カジノによるギャンブル依存症の拡大が、深刻な社会問題を引き起こすことを危ぐします。計画の撤回を求めます。 | 参考 | |
| 39 | IRは絶対反対。ギャンブル依存性が多発し、国民の生活を奪う。何が何でも反対です。横浜市が全国で注目される都市でありたい。 | 参考 | |
| 40 | ギャンブル依存症対策があいまいです。韓国の例でも多額の費用がかかります。 | 参考 | |
| 41 | ギャンブル依存症を生み出すものが新しい文化を生み出すことなどありません。非文化的施設です。 | 参考 | |
| 42 | 対策を打てば、健全性は保てるわけです。対策はしっかりとやるべきです。 | 参考 | |
| 43 | 大量に依存症者を増やして対策をとというのはおかしいと思います。巨大な施設の3%がカジノというが、他の施設を含めて、7割の利益をカジノがうみ出す計算とか。 | 参考 | |
| 44 | 依存症の出現を予測し健康保険を使用する考えのようですがIR保険を作つてそれでカバーして下さい。これも絶対反対です。この状態は、ソーリと同じく丁寧に説明どころか、体面維持でした。 | 参考 | |
| 45 | カジノの会場に居る時間は、せいぜい3時間位にして下さい。それを契約して下さい。 | 参考 | |
| 46 | 横浜IRについては賛成です。但しカジノについては日本人(自国民)の入場は禁止にする事。この措置はヨーロッパでも実施されている国があります。 | 参考 | |
| 47 | 日本の週3日、月で10回という規制の甘さでは、多くの人々がギャンブル依存症や家計資産の収奪による、生活破壊に追い込まれる危険性があります。家庭崩壊、貧困化により地域の経済力は低下し、依存症の人の生活保護受給による社会的負担も増加するのです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 48 | 依存症の人が蔓延したら横浜がダメになる。 | 参考 | 日本型 I R に設置されるカジノには、I R 整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 日本型 I R が参考としているシンガポールでは、I R の設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性 P.69、77〉 |
| 49 | I R についての意見。横浜市に I R 導入は反対です。依存症の可能性が大きい。人々の大半はそんなに意思が強くありません。 | 参考 | |
| 50 | 入場不可これを希望します。I R は訪日 V I P に必要です。 | 参考 | |
| 51 | 博打を公認することで、非合法の賭博のハードルが下がり、ギャンブル依存症患者が増える。 | 参考 | |
| 52 | 賭博施設のカジノの建設に反対します。ギャンブル依存症を増やす施設に反対です。 | 参考 | |
| 53 | 「シンガポールでは（中略）I R 開業前からギャンブル依存症対策を実施した結果、病的ギャンブルや問題性ギャンブルの有病率は減少傾向にあります」と断定しています。これは事実でしょうか？ | 参考 | |
| 54 | I R 誘致に賛成です。カジノがあると依存症が増える、という意見は暴論だと思います。依存症対策の本質は、何かに依存しなきゃいけない状況をつくっている、社会の要因を減らしていくことだと思います。働ける、満足した収入が得られる、家族をもてる、心身ともに健康を保てる、人生の基盤を整えられる、相談できる、困ったら頼れる先がある、趣味を楽しめる、文化的に豊かになれる、など、当たり前前かが当たり前になる社会を作ってほしいです。だからこそ、そのために必要な財源を、市民税率を上げるのではない方法で確保するのはありがたいです。横浜 I R でぜひ税率をアップして、雇用も増やして、明るい未来をつくる政策を増やしてほしいです。 | 参考 | |
| 55 | カジノなんか手を出さずは依存症。 | 参考 | |
| 56 | 横浜 I R、賛成！カジノについての対策もいいと思う。利用において回数制限やマイナンバーカード提示義務、入場料、カジノ内での追加融資がもらえないことなどを考慮すると、お金も時間も計画性もふんだんに持ち合わせていない限り、カジノができて依存症になるまで利用することのほうが、よっぽど難しそうだ。 | 参考 | |
| 57 | 賭博依存者が増え家庭が壊される。 | 参考 | |
| 58 | 72 頁に横浜市の「こころの健康相談センター」が載っているが、相談時間が月曜日～金曜日の8時45分～17時と、カジノが開く時間に対応しきれず、一般的に夜間に相談需要が高まるものであるため、改善を行ってほしい。夜に相談できないと、人は自殺します。 | 参考 | |
| 59 | 横浜 I R で想定されているカジノは、今あるさまざまなギャンブルよりよっぽどギャンブル依存症対策が施されており、健全でいいものだ。 | 参考 | |
| 60 | 依存症患者を増やしたら、治療したら済むのですか？治療はどのように進めるのですか。患者を作らないほうが経済的ではないですか。 | 参考 | |
| 61 | 是非横浜市に I R を誘致して欲しいと思っています。大企業が少ない横浜市の税収を補うことが出来る。シンガポールの様にギャンブル会場にはパスポート提示を求めれば、ギャンブル依存症に陥るような人の入場を排除できると思います。横浜の未来のために是非誘致を実現して下さい。I R 誘致大・大・大賛成です！！ | 参考 | |
| 62 | 海外での実例から客はカジノに地理的に近い人が多く、横浜市民そして日本国民がターゲットになると言われます。その客の中から少なくない方がギャンブル依存症に陥り、借金漬けになり、会社や店の倒産、家庭崩壊などが発生するでしょう。 | 参考 | |
| 63 | カジノの収益を元にした I R カジノ構想案に断固反対します。間違いなくギャンブル依存症で家庭や本人が崩壊する事は自明の理です。市の財政ひっ迫はうかがえますが、このやり方だけは是非避けてください。 | 参考 | |
| 64 | 安全・安心対策の横浜モデルの構築ギャンブル等依存症対策基本法に則した4つの対策が列記されており、十分かと考える。 | 参考 | |
| 65 | 賛成。日本はギャンブルであふれています。カジノを禁止するのではなく、依存症を増やさない仕組み、取組をしっかりと行いつつ、世界最高の I R を誘致すべきです。 | 参考 | |
| 66 | カジノをつくることによるギャンブル依存症の増加も都市にとってプラスとは考えにくいです。 | 参考 | |
| 67 | 目先の金儲けのために、カジノ場を設けることは、ギャンブル依存性の市民を作ることになり、今までの良き横浜市を破壊することになります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 68 | ・特にカジノでの、お客さんとのトラブル時の対応をどうするのか。 ・日本人がカジノ入場時にはマイナンバーカードの提示とあるが、そのカードは普及していない。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 69 | 世界最高水準の対策でカジノ依存症への市民の不安は払拭できる意見。アメリカ、韓国、シンガポールでは依存症が減らない。 | 参考 | |
| 70 | 多くの方が指摘しているギャンブル依存症の問題、これはちょっとした医療体制で何とかなるようなものではなく、原因を作らないことが一番の処方箋であると思います。 | 参考 | |
| 71 | 依存症による借金、それが更にたまたま貧困や家庭生活破綻、そして環境悪化など何一つ市民生活によいことがないカジノ推進どころではありません。 | 参考 | |
| 72 | IRにおけるカジノに反対します。カジノはいらないと思います。ギャンブル依存症の人が増えて医療費がかさみますよ。 | 参考 | |
| 73 | 入場するのに規制を設ければはまりこむ人も対応出来ます。横浜市、神奈川県 の将来のためにカジノ構想を推進してください。 | 参考 | |
| 74 | ギャンブル依存症を生むカジノはしてはいけません。横浜にカジノはふさわしくありません。 | 参考 | |
| 75 | ギャンブル依存症の人が増えることも懸念されます。IRリゾートを、このまま進めることに、反対いたします。 | 参考 | |
| 76 | カジノには反対です。依存症になってしまう人が多くなる可能性が高いと思うので反対です。 | 参考 | |
| 77 | 依存症の方を生み出してしまいます。 | 参考 | |
| 78 | 市民にとってカジノへの対策さえしていただければ、とても価値のあることだと思います。 | 参考 | |
| 79 | 多くの方が懸念している依存症の件は、私も心配しています。ただ、シンガポールでも対策が功を奏しているのであれば、それらを踏まえた対策をきちんと打ち出していきたいと考えます。市の将来を考えた時、収入面もあります。都市の魅力づくりとしても、市のためになるIRを進めていきたいと思ひます。 | 参考 | |
| 80 | 面積は安全の保証にならない(p.31)「カジノは総面積の3%以内」にするというが、残り97%は全てカジノのためにある。これまで、国会を含め様々な場面で「3%以内なので安全安心」と説明しているが、面積は安全確保の担保にならない。 | 参考 | |
| 81 | カジノはいりません。近いから怖いです。これから横浜を背負っていく子どもたちがカジノにハマるのを見たくありません。どうかカジノはやめてください。 | 参考 | |
| 82 | 依存症の問題も深刻です。 | 参考 | |
| 83 | 横浜IRには賛成です。インバウンド消費の活性化や、都市間競争において生き残っていくという意味で、IRの実現は最善策だと思います。実現させるにあたっては、依存症等への対策や制限をしっかりと練った上で、市民も不安なく訪れることができるような環境を整えることが重要だと考えます。 | 参考 | |
| 84 | 横浜市民への精神的な影響も心配です。ギャンブル依存症への対応を考える前に、そもそも依存症が心配されるものをつくらないでほしいです。 | 参考 | |
| 85 | 「カジノ誘致により発症すると予測されるギャンブル依存症を考慮して特効薬を作るから経済を優先」という考え方は、みすみすギャンブル依存症に陥る人を看過するわけであり、本末転倒かつ非人道的であり到底容認できない。 | 参考 | |
| 86 | カジノ建設はギャンブル依存症を増やすだけなので止めてもらいたいと思っています。 | 参考 | |
| 87 | 日本の景気に対して大幅な向上が見込めるのであれば良いと思います。カジノに関してはもう少し入場制限を厳しくすべきだと思う。 | 参考 | |
| 88 | 「カジノ」によるギャンブル依存症の人の増加が率直に怖いと思っています。 | 参考 | |
| 89 | 方向性4について、カジノの運営に伴うギャンブル依存症への対応については、入場規制を徹底する等で進めていただきたいと考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 90 | カジノを原動力とするのはいいが入場料6千円は高すぎる、もっと安くするべき！！ | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 91 | ギャンブル依存症の対策を強化して、借金苦でくらしむ人がいないようにして下さい。 | 参考 | |
| 92 | カジノの負の懸念はありますが、依存症対策をしっかりしてもらい、エンターテインメント施設など横浜らしさの魅力を存分に発揮したIRになることを期待します。 | 参考 | |
| 93 | カジノの負の懸念はあるが、依存症対策にしっかり取組、エンターテインメント施設など横浜らしさの魅力を存分に発揮したIRになることを期待している。 | 参考 | |
| 94 | カジノの負の懸念はあるが、依存症対策にしっかり取り組み、エンターテインメント施設等、横浜らしさの魅力を存分に発揮したIRになることを期待しています。 | 参考 | |
| 95 | カジノの負の懸念はあるが、依存症対策にしっかり取り組み、エンターテインメント施設など横浜らしさの魅力を存分に発揮したIRになることを期待している。 | 参考 | |
| 96 | 日本のギャンブル依存症は500万人を越えています。さらに増やし、横浜の街を荒廃させます。カジノ誘致に反対します。 | 参考 | |
| 97 | ギャンブル依存症に繋がるカジノは誘致すべきではありません。カジノIRは、さらにギャンブル依存症を増やし、横浜の街を文化的にも荒廃させます。ギャンブル依存症の店増やし、横浜の街にも荒廃させます。ギャンブル依存症の治療はかなり難しく、完治することがほとんどできないと言われていています。 | 参考 | |
| 98 | ギャンブル依存症に繋がるカジノの誘致は絶対にすべきではありません！！その対策も充分ではありません。私の周囲にも、パチンコ等で家族が崩壊した人を何人も見えています。治療もかなり困難です。こうした人をこれ以上増やす施策は、絶対にやめて下さい！！ | 参考 | |
| 99 | 特にカジノは、ギャンブルにはまる人…昔からトバクは人を狂わせ、生活を破綻させるもの家族を泣かせてまで作る必要性に疑問を感じます。断固反対します。 | 参考 | |
| 100 | ギャンブル依存症がでるのは目に見えているのに、それを健康保険適用で治療するなんて、まるで「マッチポンプ」です。とてもおかしいです。 | 参考 | |
| 101 | カジノはバクチです。ギャンブルです。ギャンブル依存症による心身の荒廃は薬物依存症以上に悲惨なものとなります。人を不幸に陥れて、それによって金儲けをする、準犯罪です。血の通った人間のすることではありません。カジノは横浜の風紀を乱し、未来世代を不幸に陥れます。未来世代の導き手・手本となるべきわれわれ大人がしてよいことではありません。以上の理由により、カジノ誘致計画を＜素案＞から削除するよう求めます。 | 参考 | |
| 102 | ギャンブル依存症や借金潰れの人を増やし、人々の生活を壊すという悪業を国や横浜市が率先して行おうとするのは、言語道断。依存症対策を検討していること自体が、この本質、危険性を証明しています | 参考 | |
| 103 | 日本の場合には、高齢者などの老後の資本を奪い、ギャンブル依存症を増やし、借金まみれにするなど、家庭を崩壊させることが懸念されています。 | 参考 | |
| 104 | カジノによるギャンブル依存症拡大 | 参考 | |
| 105 | 反対です。借金を増やしたり依存症の人を増やすだけです。 | 参考 | |
| 106 | カジノ依存で苦しい思いをした方々を知り、日本人には、向かない娯楽ではないかと、感じています。 | 参考 | |
| 107 | カジノ設置反対。日本にカジノができると貧しい人も行けるようになり中毒になって生活費までつぎ込んでしまう人が必ず出てきます。 | 参考 | |
| 108 | 幾多の実例（国内外を問わず）が示す様に、賭博行為はそれがたとえofficialに認められたものであろうとも、結果的に家庭崩壊精神崩壊につながることは明白であり、それが時を待たずとして地域社会崩壊へと進んで行きます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 109 | 横浜市にカジノは絶対にダメです。市の為に再開発するのは良いがそれが「カジノ」では横浜は「ダメ」になる。「トバク」のこわさは想像以上に市民がこわさを認識していないと「市長」をはじめ推進者は考えているのか？「トバク」を金銭で買うのは市長の仕事ではない。もっとまじめにやってみてほしい。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 110 | 依存症増すのは目に見える。一時的経済動きを誤るな！ | 参考 | |
| 111 | 統合型リゾートそのものが良く判りませんが、カジノ（かけごと）建設には強く反対です。ギャンブルは、人が心地良く、生きるには必要なしと考える | 参考 | |
| 112 | カジノは絶対反対です。人間がこわされます。 | 参考 | |
| 113 | カジノは必要ありません。依存症の人に保険がきくようにするなんて、とんでもない事です。真面目に働いて健康保険を納めている人の保険を当てるなんて！！カジノによる依存症はごめんです。横浜は良い所です。横浜にリゾート建設の一部にカジノを造る事は絶対に反対です。 | 参考 | |
| 114 | 横浜にカジノなんて絶対反対です。子供達、孫達の依存症を1番心配しております。次の世代に不幸を残してあの世には行けません。 | 参考 | |
| 115 | 声を大にして反対いたします。それぞれの（飲酒、たばこ、ギャンブル）の依存症で苦勞されているご家族の声を聴いてあげてください。観光都市横浜にカジノはふさわしく有りません。カジノより依存症の対策に力を入れてください | 参考 | |
| 116 | 私は絶対反対です。もし息子や孫が賭博に興味をもって、のめりこんだら…と、世の母たちは考えていると思う。カジノは絶対イヤです！ | 参考 | |
| 117 | 私は反対です。依存症の対策はカジノをやらない事です。市民の声を聞いて決めてください。 | 参考 | |
| 118 | カジノ施設、依存症、ギャンブル依存症など反対です。 | 参考 | |
| 119 | 横浜市民の憩いの場としての、横浜都心臨海部に精神障害者のギャンブル依存症者が押し寄せるにぎわいとはどんなものかよく考えましょう。横浜市民の精神保健の向上のためには、カジノは決して、つくってはならない。 | 参考 | |
| 120 | 依存症対策等の大変な対策や費用は必要ないのです。私は「カジノの誘致」には絶対反対です。 | 参考 | |
| 121 | 私達の週辺にはギャンブルの依存症によって生活困窮者は数え切れない程知っています。断じて反対です。 | 参考 | |
| 122 | 日本の場合には高齢者などの老後の資金を奪いギャンブル依存症を増し借金まみれにするなど家庭を崩壊させることが懸念されています | 参考 | |
| 123 | カジノは、絶対反対です。ギャンブル依存症を増やすだけで市民のためになりません。カジノ誘致は中止して下さい。 | 参考 | |
| 124 | カジノの件は私としては賛成できません。ギャンブル依存症になると思います | 参考 | |
| 125 | 日本精神科医学会が警告し、反対しているように、必ずカジノ依存症の人々を生み出す。 | 参考 | |
| 126 | お客さんの悲劇が眼に見えています。 | 参考 | |
| 127 | 治安が悪くならないことは海外の例からすると明らかで、ギャンブル依存症も対策をすることで防げます。 | 参考 | |
| 128 | ギャンブル依存症を増やし住民の福祉増進を図ることはつながりません。カジノ誘致反対です。 | 参考 | |
| 129 | 反対。すでに、ギャンブル依存で、本人当事者以外の家族まで苦しんでいる状況にそれ以上の依存症増やすことが正しいことと思えない。 | 参考 | |
| 130 | ギャンブル依存症に繋がるカジノは誘致すべきではありません。カジノIRはギャンブル依存症を増やし横浜の街を文化的にも荒廃させます。 | 参考 | |
| 131 | “カジノ”に高い文化性があると言えるでしょうか。賭博という犯罪性を考えたとき、そして、その賭博への依存症の増加、治安等、文化性の向上よりは荒廃が懸念されます。 | 参考 | |
| 132 | 家庭を破壊するギャンブル依存症。パチンコとは比較にならない。パチンコと同じはうそ。家族に暴力をふるって、カジノへ行く悲劇がいたる所に。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 133 | 日本には現状以上の公認される賭博施設は絶対に作ってはいけません。競馬・競輪・パチンコ・モーターボート、オートレース等世界にも類を見ないほど開催されていて、世界に報道されていない、多くの賭博依存症に苦しむ市民を出すのは絶対に反対です。一般に良く理解されていないIR事業の内容を明確に知らせる事が重要だと思います。友人、知人や若い人に質問しても正しく答えられる人がいないのに驚かされます。競馬・競輪・パチンコで財をなし、家を建てた人など聞いた事はありません。逆に、のめり込んで、財産をなくし、最終的に孤独死や家族が離散など悲惨な目に遭った友人、知人を知っています。戦後・見事に復興した横浜市にIRなど絶対に反対です。勿論今日の日本には設けては、いけません。大阪、北海道などからも声を上げているニュースがありますが、国民すべてが反対の声を上げて欲しいと思います。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 |
| 134 | カジノは競馬や競輪とは全く違うことを認識すべき。「世界最高水準の規制」はカジノ依存症の発生には役立たないと思う。 | 参考 | 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 135 | カジノ誘致に反対です。カジノは、射幸心を煽って市民・庶民にお金を使わせ、カジノ業者が儲ける仕組み。市長は依存症や債務者を増やし、不幸な市民を増やすのか。市長はカジノ誘致を撤回すべきです。 | 参考 | |
| 136 | 横浜市IR誘致には反対！カジノはバクチです。客に負けさせることで成り立つビジネスで、ギャンブル依存症の人を増やすことがわかっているのに、誘致するのはおかしい！ | 参考 | |
| 137 | カジノが出来る前から依存症対策をどうしようか考えているのは依存症が出るのが分っている証拠。カジノをやらなければ済むこと。金と労力のムダ。恐らく多くの不幸な人間、家庭を作ることになるだろう | 参考 | |
| 138 | カジノ誘致に反対します。カジノは何も生産的なものを産み出さず、客に負けさせることで成り立つビジネスです。日本の場合には、高齢者などの老後の資金を奪い、ギャンブル依存症を増やし、借金まみれにするなど、家庭を崩壊させることがげねんされています。そもそも、カジノは、賭博であり、犯罪です | 参考 | |
| 139 | ギャンブル天国日本に、これ以上ギャンブルの素を増やすことになるので、カジノは反対。 | 参考 | |
| 140 | 哀しい想いをする人をふやしたくありません。依存症対策をいくらやってもギャンブルのできる環境がある限り、ギャンブル依存症の人はふえると思います。ギャンブルに依存しない健全な財政を望みます。 | 参考 | |
| 141 | パチンコ・競馬・競輪なども縮少すべきでこれ以上射幸性を煽ることをやる必要ない。賭博は係わる者が損をしなければ成り立たないのだから。賭け事に落ちこんだ親を子はどう見るだろう。IRには親子でも入れるようにするとか、これで健全な社会を担っていく大人になって欲しいなどとカジノ開催に係る者が言えるか。 | 参考 | |
| 142 | 数回実践してみればカジノがどんなものかわかると思う。カジノは不幸な人間を沢山つくり、沢山の家庭崩壊をつくりあげる事がわかると思う。 | 参考 | |
| 143 | 人間の弱さを考えると、私には公の機関として公にそうした場所を作るといふ事に疑問を持っています。 | 参考 | |
| 144 | 依存症を作るカジノ誘致は怒りを持って反対します。 | 参考 | |
| 145 | カジノ絶対に反対。横浜をアメリカの獵場にするな。ギャンブル依存症で家も売り妻子と別れた後もギャンブル依存症で苦しんで亡くなられた知人が私にはいます。 | 参考 | |
| 146 | これ以上のギャンブルは必要ない。もともと日本には、パチンコ、競馬など様々なギャンブルがあり、依存症も世界的に見て突出している。 | 参考 | |
| 147 | そもそもIRは、経済が少々良くなっても反面保護世帯の増加、ひきこもり、心疾患、依存症、等の医療費拡大が問題です。育児放棄、虐待が増々多発するのはと心が痛みます。 | 参考 | |
| 148 | 私は賛成致します。世間では、カジノだけを考えたの反対が多く聞かれますが、IRはそれだけではない事。ホテル、劇場、遊園地など多くの施設があり、複合型観光施設である。これによって沢山の家族が色々な方向で楽しめる場所だと思います。海外でもカジノは有り、IRの中に取り込むことで経済効果も得られる。ギャンブル依存症と言うのは、カジノだけではなく、現在にある、パチンコ、パチスロなども同じ事で、一緒に依存症対策を考えていけば良いと思います。 | 参考 | |
| 149 | 絶対反対です。不幸になる人が出ること、街の環境が変わってしまうであろうことを考えると、心が痛みます。横浜市だけでなく、近隣の街にも大きな影響を与えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 150 | 横浜市民としてIR（カジノ）誘致に反対します。財政悪化を改善のためにカジノとは逆効果です。将来の納税者である子供や若者達がギャンブル依存症になって働かなくなれば、増々財政は悪化します。すでにパチンコ等のギャンブル依存症で働かず、悲惨な家庭が有ります。多額の税金を使ってIR（カジノ）を誘致しても、その利益は海外の事業者が得て、私達横浜市民には余り利益にもならないどころか、ギャンブル依存症の者が増えるだけです。依存症対策など必要のない子供から老人の楽しめる市民の「憩いの場」を造ってほしいです。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 151 | 身も心も蝕む、ギャンブルに、未来はありません。子供たちに手渡す、横浜に、カジノは、必要ありません。絶対反対です！ | 参考 | |
| 152 | IRはとても健康的な施設だから大丈夫といいますが、依存症対策について多くの時間を説明にさいておられました。そんなにも依存症が問題になるのでしょうか。市民が心配するからといわれるかもしれませんが、どう取り繕おうとこの施設は本格的なカジノなので、依存症患者を生み出すことは明白です。シンガポールのカジノで外国人のみを顧客の対象としているのと違って、日本人を主な顧客として見込んでいます。パチンコの長い歴史を持つ日本は既に世界でも突出したギャンブル大国と言われています。 | 参考 | |
| 153 | ギャンブル依存症に繋がるカジノはいらない。借金まみれにするなど家庭を崩壊させます。 | 参考 | |
| 154 | 市民がカジノにはまり込む。依存症は簡単には治りません。家庭崩壊となります。以上反対です。 | 参考 | |
| 155 | IRはカジノを含むものでありやめるべき。ギャンブル依存症の問題は簡単に解決できない。 | 参考 | |
| 156 | ギャンブル依存症を正面から取組んで具体的に解決させて行く事を望む | 参考 | |
| 157 | 公営ギャンブルにおいても依存症に苦しんでいる人がいることも確かなのでしっかりとした依存症対策をお願いします。IRの実現に向けて頑張って下さい | 参考 | |
| 158 | カジノもしっかりとした依存症対策が必要です。金融機関とも連携し多重債務者を生まないようにしてほしい。 | 参考 | |
| 159 | パチンコなど既存ギャンブルが何にも規制されていないので、IRは是非厳しい規制の元で管理されたカジノを運営してほしい。 | 参考 | |
| 160 | 横浜人の未来を大切に考えれば、ただカジノ依存脳を増すだけの恐ろしい政策は止めましょう！ | 参考 | |
| 161 | カジノはいらない。反対です。経済繁栄は幻想でギャンブル依存症を増やすのみ。 | 参考 | |
| 162 | 回を重ねるごとに家族は苦しみ、子どもは不幸になります。喧嘩、離婚、自殺や犯罪も増えるでしょう。横浜をそっとしておいて下さい。壊さないで。 | 参考 | |
| 163 | 私の父は依存症でした。子供の頃に、どれほどの傷を負ったかは、依存症の親を持った家族にしかわからないと思います。家も失い、子供のお金も取られ…父が弱い、誘惑に負けたと言えればそれまでですが、そのような場所を作る事は、不幸な家族を生むだけです。どうかカジノは作らないで下さい。辛い思いをする人を増やさないで下さい。カジノは作らないで！！ | 参考 | |
| 164 | 日本の場合には、高齢者などの老後の資金を奪い、ギャンブル依存症を増やし借金まみれにするなど、家庭を崩壊させることが懸念されています。 | 参考 | |
| 165 | 依存症が必ず発生します。発生源（カジノ）を絶つことが最良の対策です。 | 参考 | |
| 166 | まずはじめにカジノ反対です。と言うのは、今現在、仕事ができない人達が多くおり又、ギャンブルなどで生活に困っている人達が増えるのではないかと考えるからです。 | 参考 | |
| 167 | IR、カジノには反対です。特にカジノは、依存症対策に取り組むくらいなら、良くないものだと、認めていることと同じではないですか。治安対策ももちろん同じです。 | 参考 | |
| 168 | 「横浜IR計画」に反対します。ギャンブル依存症の人を増やさない。子供たちに、ギャンブルを身近なものと感じさせない。将来の依存症の大人にならないために。依存症対策の為のお金を使わなければならないなら、そのお金を市の財源にする | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 169 | ギャンブル依存症対策を確実に実施していただきたい | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、73、77〉</p> |
| 170 | 日本にカジノは必要ないと思う。なぜなら海外からカジノに損をしに来るとは到底思えない。結局日本人がギャンブル依存症＝他人の不幸。 | 参考 | |
| 171 | カジノ誘致には絶対反対します。カジノ（賭博）はギャンブル依存症を増やします。もし家族が依存症になったら周囲も共に苦しむことになります。市民の幸せを願う市政であるならばカジノはつくるべきではありません。 | 参考 | |
| 172 | 私は次の理由でIRを横浜市として推進することに反対します。入場者の日数制限の内容は、全く意味がない。この数字の根拠が示されていない。利用者への貸付内容は、昔のバクチの有害性と全く同じである。 | 参考 | |
| 173 | すでにパチンコや競馬等、数多くのギャンブルが存在する中で、カジノができたからといってギャンブル依存症が多くなるとはあまり考えられません。 | 参考 | |
| 174 | ギャンブル依存症の人は数億～数十億の借金が出ます。その借金を海外まで取り立てするには、その道のプロしかできません。横浜をそのような町にするのが横浜市民を豊かにするのでしょうか？ | 参考 | |
| 175 | 横浜にはいろいろ楽しい思い出がいっぱいあります。ここにIRなんていう施設ができることはほんとうに残念です。人は働くことが一番大切なことと、勉強してきました。でもカケ事で人生を無駄にってしまった人も身近に見てきました。なかなかたち直れなくて、今も本人もまわりも苦労しています。これからの若者に、ほんとうに人生を楽しむのは、ゲーム（かけごと）ではない事を市教育委員会は、しっかり教育の中に入れて下さい。 | 参考 | |
| 176 | 横浜市は業者の算定を大幅に下回る場合、例えば現在のように新型コロナウイルスで外国人がこられない時は自国の人へ呼びかけ、依存症になり、中毒となり家庭崩壊という道を歩むことも充分考えられます。元々自国民の場も便利な所です。 | 参考 | |
| 177 | カジノ解禁でギャンブル依存症が増えます。ギャンブル依存症は本人だけでなく家族を苦しめます。 | 参考 | |
| 178 | 横浜市民の入場券を10000円にして、すべて横浜市の収入にする。横浜市民の中で、このIRでの依存症になった人やその家族の保障を100%市がおこなう。 | 参考 | |
| 179 | カジノは大、大反対です。パチンコの依存症の家族の苦労を見て来ました。カジノはそれ以上悲惨な事になると思います。「病院を造り治します!!」の問題ではないと思います。もっと魅力的な施設を誰でも楽しめる物を計画して下さい。カジノは反対です | 参考 | |
| 180 | 賭博依存症の問題もあり、リスクは増えるばかりだ。 | 参考 | |
| 181 | 公営ギャンブルにも意見はあるが、横浜IRの肝であるカジノの危うさは、その比ではない。依存症は自己責任ではなく疾病であり、その対策としてカジノを設置しないことが一番よい。神奈川も依存症対策に取り組むとしているが、カジノ依存になる人はどこから来るのかわからず（北海道から沖縄まで）、その効果は疑わしい。 | 参考 | |
| 182 | 常習者が多くなり環境が悪くなる。 | 参考 | |
| 183 | 私は、横浜IRにカジノは反対です。依存者が多数になるのは目に見えます。 | 参考 | |
| 184 | そもそも、統合型リゾートの全体像が一市民としての私には予想、想像すらわかりません。判っているのは、外国映画のシーンに登場するカジノの情景のみです。多分、その場面に賭ける金額と欲望は、パチンコなどとの比ではないでしょう。（パチンコも私は好みませんが）。競馬等は、馬主、厩舎、も加わり、一レース毎に参加者が相対して賭ける、切れの良い相互感が、娯楽を含んでいると申せましょう。カジノは金銭だけに射幸心をあおる構造、敗者が当然現出します。金銭的に直線的なので、のめり込む要素が多いからです。若しも多少の射幸心を娯楽に採用するならば、カジノ方式で、世界1週券、東南アジアツアー券、日本全国温泉めぐり、などなど、たのしい企画の下にやってみたらどうですか。斯うした事ならば、敗者が熱くなり、挽回をねらうこともないでしょう。 | 参考 | |
| 185 | カジノでギャンブル依存症がますます増えて、市民の生活が不幸になるのではないのでしょうか？カジノ事業者は、良いことしか言いません。横浜市以外この日本にはカジノは必要ありません。 | 参考 | |
| 186 | 市や国が規制しているカジノの方がパチンコより安全ではないか | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 187 | カジノで悲しい顔の人々が横浜を歩いているのは見たくありません。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 188 | 特にカジノですが、横浜の市税等増すことにとても不安を感じます。なぜなら、結局、利用する人は、横浜市民が、とても多いからです。賭けは、中毒になり、止められなくなるからです。自分自身も、家族・友人には、そうなってほしくありません。利点は、あるでしょうが、それらのすべてよりも大きな損失があります。カジノを入れた計画なら、横浜IRは、大反対です。ぜひ、市民の意見を取り入れて下さい。 | 参考 | |
| 189 | IRの導入に反対します。利用者は日本人が7割との説明でした。高齢者は行かない故若年層を博打の依存症にしてしまう。(パチンコとは根本的に異なる) | 参考 | |
| 190 | 知り合いにギャンブル依存症の人がいます。不幸な人を生んではいけません。カジノはだめです。 | 参考 | |
| 191 | カジノはいけません。若者にとっても害になるだけです。 | 参考 | |
| 192 | ギャンブル依存症を生むカジノには反対です。 | 参考 | |
| 193 | 依存症も対策があるから大丈夫は、多少は、依存する人がいてもしかたないとの考えだと思います。 | 参考 | |
| 194 | 横浜IR(統合型リゾート)計画の示す方向性(素案)の本質、本音はカジノ誘致と長期にわたるカジノ事業者による実運営にある。カジノは横浜市民にとって不要であり、長期にわたり、大きな害が多すぎ、利益に乏しくカジノを含む「横浜IR」は撤回すべきである。 | 参考 | |
| 195 | カジノは持続可能性が最も低いビジネスと言われ、少なくない依存症患者や家族を不幸にする。 | 参考 | |
| 196 | カジノには反対です。市長は市民の多数の意見をきいて下さい。ギャンブル依存症対策はギャンブルをやめる以外にはありません。 | 参考 | |
| 197 | 横浜へのカジノは絶対反対です。私の兄はギャンブル依存で、家族に迷惑をかけました。ので、横浜カジノは絶対反対です！ | 参考 | |
| 198 | 横浜へのカジノ誘致は絶対反対です。ギャンブル依存症の人がたくさんでると思います。横浜の良さを、もっとまともな事で発展できるように考えて欲しいと思います。 | 参考 | |
| 199 | ギャンブル依存症に対する方策が紙面をつくして説明されていますが、カジノを作らなければ、そんなことも必要ないです | 参考 | |
| 200 | カジノ利益に過度に依存しないと持続できないのなら、市民の大切な資産が継続的にギャンブルに注ぎ込まれることを黙認する事業となります。業者から市への納付金は「粗利の15%」と公開されていますが、その納付金を得るために市民は何倍もの金額を失うことになるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 201 | 最大のギャンブル依存症対策は、カジノを造らないことである。 | 参考 | |
| 202 | 日本はすでにギャンブル大国で、依存症の人をこれ以上増やすことは認められません。予防策などは効果がないと多数の精神科の医師たちが発言しています。 | 参考 | |
| 203 | IR・カジノで、ギャンブル依存を増やさないで下さい。どんな対策も、麻薬と同じで、無意味です。 | 参考 | |
| 204 | 負の部分であるギャンブル依存症対策などもしっかりやってもらい、市民が納得できるプロジェクトとして是非成功して欲しいものです。大変だと思いますが、期待しております。 | 参考 | |
| 205 | カジノはリスクが大きく不必要(収入のためなら外国人専用) | 参考 | |
| 206 | 統合型リゾート事業自体を反対するものではない。しかしながら「カジノ」の事業は強く反対する。依存対策の中で週に3回、28日間で10回はもう十分に依存症です。依存者が増加すれば必ず隠れた場所ができ、そこへ通う人が出る。ギャンブルは魔力、勝てない。 | 参考 | |
| 207 | 今回特に気に掛けているのが『カジノ』です。これは別の観点から、ギャンブル依存症の傾向が有る人達が気軽に遊ぶことが可能になる事を示唆しています。現在でも、パチンコ、麻雀などでめり込み家庭崩壊に至る人達もいます。IRの中で特に反対の意志を申しあげたいのは、「カジノ」はヨコハマには要りませんという事！ | 参考 | |
| 208 | ギャンブル依存症や、生活困窮者を生まないような施設の開発をお願いしたいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 209 | カジノを設けることに反対します。ギャンブル依存症の増加（有効な対策がない） | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞</p> |
| 210 | IR事業の大きな収益源であるカジノは、賭博（ギャンブル）であり、一度賭けてしまうと勝利金を追い求めて、自分の持ち金全てをつぎ込むまでやめられない依存症患者を生み出す大変危険な行為です。 | 参考 | |
| 211 | IRカジノには絶対反対です！！ギャンブル依存症の心配。現在にも様々なギャンブルへの依存症を抱えている人がいます。たとえ治療が保険適用になっても問題は解決しないし、そんな事に保険を使って欲しくない。 | 参考 | |
| 212 | ギャンブル依存症は本人も家族も周りの人も苦しみ、果ては野宿になります。「人」が壊れないように、成長していけるような「公助」が基本・土台です。 | 参考 | |
| 213 | IR誘致に反対の市民が恐れているのは横浜という歴史と文化の街の風紀が乱れ、ギャンブル依存症の人たちが横浜に集中して、街づくりに大きな汚点を残すことを心配しているからだ。いちおう政府はギャンブル依存症対策としてシンガポールのカジノ規制を参考に、日本人及び日本在住の外国人から6000円の入場料を取り、入場時にはマイナンバーカードの提示を求め入場回数を制限することになっている。その入場回数制限は週（7日間）に3回、月（28日間）に10回とされている。だれでも週3回と言われると最大でも週に3日しかカジノに入場できないと考えるだろう。たとえば5月1日、夕食を済ませて午後7時にカジノに入ったとしよう。カジノは基本的に不夜城だから休みなしで運営しているが、仮に6時間遊んで2日の午前1時にいったんカジノを出るとする。それからホテルに泊まるか自宅が近ければ自宅に帰って就寝する。そして午前10時ころ目を覚まし、シャワーでも浴びて朝食をとり、正午にカジノに戻る。そのとき2回目の入場になるかという、実はまだ1回目入場の続きなのだ。5月2日の午後7時を過ぎると2回入場したことになって入場料6000円をもう一度払わなければならないが、午後7時前にカジノを出てしまえば24時間以内だから入場料を払う必要はない。つまり、1回入場料を払えば2日間カジノで遊べる計算になる。ということは週（7日間）に3回入場料を払えば6日間カジノで遊べることを意味する。月（28日間）の場合なら20日間カジノで遊べる。これがIR法の本当の実態なのだ。こんな規制でギャンブル依存症対策と言えるのか。 | 参考 | |
| 214 | 横浜IRはギャンブル依存症を増やすだけ。 | 参考 | |
| 215 | 日本人等への7日間で3回迄、28日間で10回迄の入場制限、広告・勧誘の制限やカジノ内ATM設置禁止など施設内制限、本人・家族の申告による入場制限。日本人等への24時間毎に6,000円の入場料 どれも抜け道だらけです。夕刻からオープンするカジノは深夜を超え早朝まで稼働する（韓国のカンウオランドの例）では、10回の入場規制では、月に20日会場にいられることになり、ほぼカジノが可能になります。6000円の入場料は、24時間いつづけられることに対して何の自制を促す金額ではありません。カジノでの1回あたりの散財する額に比べては小さいものです。 | 参考 | |
| 216 | 海外事業者に利益を与え、国内で依存症の人の増える様な事は絶対にして欲しくない。ギャンブル依存症が公的医療保険適応になると言う事自体、依存症が増える事が予測されている事と思う。 | 参考 | |
| 217 | 「カジノ」と聞いた時、「まさか!？」と思い、それは今現在まで続いています。依存症対策もあるようですが、なかなか治らないとのこと。市が“不幸への道”を切り開いていくのですか？ | 参考 | |
| 218 | 横浜にカジノを作る事は反対です。理由競馬、競輪、競艇、パチンコ、スロットこれ以上かけ事が必要ですか？個々の家庭でも上記のかけ事で大変苦労している方が多いです。 | 参考 | |
| 219 | 大反対。ギャンブル依存症の人が多く中、これより多くなる事は明らかです。 | 参考 | |
| 220 | 博打（賭博）は身を亡ぼす。人は健全に生きなければ、何の為の教育か？ | 参考 | |
| 221 | 依存症問題の解消はむずかしい。 | 参考 | |
| 222 | 絶対反対です。家庭が崩壊しますそれは、国家の一大事です。平和を守りましょう | 参考 | |
| 223 | 横浜IR（統合型リゾート）カジノに反対です。どうしてこのような事が決まったのかわかりません。パチンコで使ってしまう。パチンコがあるから悪いとずっと思っていました。カジノはその大型、自分で自分を制御出来ない人がすごく多いと思います。これ以上その様な場所を公で用意する等考えられません。絶対反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 224 | カジノは不健全、絶対反対です。ヨコハマの市民の一部の人々が依存症になることは確実です。IRがなくて健全なヨコハマです。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞</p> |
| 225 | ギャンブル依存症は不治の病とも言われます。横浜市長はギャンブル依存症を治すことは出来ません。それにはカジノを横浜につくらないこと。それが解決方法です。カジノ誘致絶対反対！ | 参考 | |
| 226 | ギャンブル依存症にかかった男性を知っています。市長は、IRで横浜を活性化させるおつもりでしょうが、副作用もいっぱい出てきます。人の人生をめちゃくちゃにする可能性も大です。私は絶対、反対です。こういう人がいっぱい出てきたら、市長は、どう責任をとるのか？ | 参考 | |
| 227 | カジノは、病人を作るだけです。 | 参考 | |
| 228 | 身近の者に仕事で海外に出張し、カジノで少しだけと思いながらカードを使い結局借金だけが残り返済に苦しんでいます。欲で止められなくなるのがカジノではないでしょうか。 | 参考 | |
| 229 | カジノは大反対です。市には税収は入るでしょうが、市民には決してプラスにはならない、家庭崩壊になる可能性大です。 | 参考 | |
| 230 | カジノ（ばくち）によって身を立てようとするならば、カジノ（ばくち）によって身を滅ぼす。横浜市であってもそうなる。カジノを含むIRはすべきでない。 | 参考 | |
| 231 | 日本の場合には、高齢者などの老後の資金を奪い、ギャンブル依存症を増やし、借金まみれにするなど、家庭を崩壊させることが懸念されています。カジノ誘致に反対します。 | 参考 | |
| 232 | 横浜市のIRカジノ構想案に反対です。日本でギャンブルにより依存者が増える行政には反対します。 | 参考 | |
| 233 | 一番心配しているのは「依存症」の問題です。我が子が万が一にも依存症になったらと思うだけでも恐ろしいことです。家庭の崩壊です。 | 参考 | |
| 234 | 暮らしが豊かになるのは、はたして何人の横浜市民なのか、全くおかしい。かけ事で歳を建てた者は、どこにもいない。数人が豊かになり、数拾万、数百万、数千万等の市民が毎日の食事も出来ず、苦しみもがいてしまう。賭け事の為家庭が崩壊し、苦しみもがく市民が数かぎりなく多くなり豊かになるとこのさわざではない。 | 参考 | |
| 235 | 一番の危険性のあるカジノについて、何の説明がないのは、何故なのか全く判らない。全体の3%の施設であるとは言っているが、問題は広さでない。絶対にカジノは不要である。 | 参考 | |
| 236 | カジノ進出後の横浜の治安を考えると、どうなるのかも予想出来ず、ただ不安でたまりません。この国は社会環境の関係で世界有数の依存大国とも言われています。IRが出来た場合、それに依存し、財産を全て失い多重債務に墮落の方が増殖し、貧困大国になるおそれや、ギャンブルやりたさにその財源を得るための犯罪も予想されます。また、経済のためならあらゆるものを解禁し、カジノの次は大麻をはじめとした違法ドラッグの解禁などになりかねません。 | 参考 | |
| 237 | カジノにのめりこんだ人や家族をかかえて、混乱をきたすことになる。 | 参考 | |
| 238 | カジノは怖い。高齢者も年金が減り入場料6000円なら入ってしまい、アレアレという間に借金まみれ→自己破産→生活保護者が増えます。若い時研修（教師）で泊ったホテルでカジノの怖さを体験しました。是非やめて下さい。港にヨコハマに観光客が来なくなります。 | 参考 | |
| 239 | 依存症発生の原因となる。 | 参考 | |
| 240 | 父親が依存症になり家族が、苦しんだ経験が、あります。依存症は怖い。不幸な人を増やしてはいけません。IR断固反対です。 | 参考 | |
| 241 | 市の財源をギャンブルに依存することに反対です。 | 参考 | |
| 242 | 日本の場合には、高齢者などの老後の資金をうばい、ギャンブル依存症を増やし借金まみれにするなど、家庭崩壊させる、ことが懸念されています。 | 参考 | |
| 243 | 賭博にはまって依存症になったら、家庭崩壊などの悲劇となる例が数え切れず、立ち直るには医師による対処が必要になる。恐ろしいことである。市はこの対策に力を入れると言うが、カジノを作らない方がはるかによい。 | 参考 | |
| 244 | 日本の場合には高齢者などの老後の資金を奪い、ギャンブル依存症を増し、借金まみれにするなど、家庭崩壊が目に見えています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 245 | 日本の場合には高齢者などの老後の資金を奪い、ギャンブル依存症を増し、借金まみれにするなど、家庭崩壊が目に見えています。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞</p> |
| 246 | カジノマヒしてしまう人が増えてしまうので反対 | 参考 | |
| 247 | 絶対反対です。横浜市内を見わたすとパチンコ、スロットが多く見受けられ平日昼から客が多く見られます。決して娯楽とは云えませんギャンブルです。なかには家庭崩壊に陥る人もいるでしょう | 参考 | |
| 248 | ギャンブル依存症を増加させ、家族や周りの人たちに不幸をもたらすカジノを、自治体が開設しては、なりません。市民の税金を、みんなが幸せになるために使ってください。 | 参考 | |
| 249 | 外国カジノに頼る方針は大反対ですので頑張りましょう！！ | 参考 | |
| 250 | カジノ絶対反対！！身近にパチンコ依存症の方がおり、抜け出す事の困難さを見えています。家庭崩壊です。 | 参考 | |
| 251 | カジノ建設を横浜市の方で進んでいく事が信じられません。日本国のトップが進んでカジノを建設を進めていく姿が、信じられません。たとえお金が豊かになってもかけ事の好きな事でおこる家族の悲劇がみえないのですか。豊かになる事は決してありません。どうしてそれがわからないのですか。こんな簡単な事がなぜわからないのですか。 | 参考 | |
| 252 | 日本の場合には、高齢者などの老後の資金をうばい、ギャンブル依存症を増やし、借金まみれにするなど、家庭を崩壊させることが懸念されています。 | 参考 | |
| 253 | 横浜IR構想については大賛成で、興味がありますが、カジノが入っているのが問題です。カジノ抜きでは成り立たないのは分りますがカジノは必然的にギャンブル中毒者が発生し、個人の人格喪失や、倫理の破綻、家庭の崩壊を招きます。従って私はカジノを含むIR構想には反対です | 参考 | |
| 254 | 依存症の事を心配しているようですが、これは自己責任です。他人がどうこう言う問題ではありません。依存症が問題ならば、パチンコ・スロットはヤメルべきです。パチンコ・スロットはOKで、IRは拒否とは納得できません。 | 参考 | |
| 255 | パチンコだけでも依存症がある現状 ギャンブル絶対反対。 | 参考 | |
| 256 | 人がダメになるから反対です | 参考 | |
| 257 | 先日、野毛の中央図書館でギャンブル依存症の本を借りて読んでみました。以下の内容に驚きを改めて感じました。日本の社会はギャンブルに関して野放しです。世界中のパチンコ、スロット等のギャンブルマシンが日本に60%ある。日本では成人人口の6%約400万人がギャンブル依存症と推定、この数字は世界のギャンブル依存症の平均発症率3%の2倍にあたる。「西川京子著。「知っていますかギャンブル依存症1問1答」<市長へ>以上の理由によりカジノ誘致に心から反対します！上記2項目に目をそらさないで真剣に考えてみて下さい。横浜にカジノを作る事でギャンブル依存症は確実に増えます。 | 参考 | |
| 258 | ギャンブル依存症で莫大なお金をつぎ込まなければカジノ、IRの財政は成り立ちません。ギャンブル依存症ともなれば人生を狂わせます。家庭を破壊し、治安、風紀が乱れます。 | 参考 | |
| 259 | ギャンブル施設は“もういらない” 駅前には“パチンコ店”、競馬、競輪、競艇、ギャンブル施設のオンパレード。こんな国が世界の何処にあるのでしょうか？ | 参考 | |
| 260 | 依存症はパチンコ、競馬、クスリ、等に見られるようにはまりこんだら戻れない世界、可愛い子、孫、定年後の人がはまりこむ恐れがある。依存症の悲惨な姿を見るのか。親から貰った健全な身体を守り、美しい横浜、みなとを守るのは我々の使命である。港湾の方々、お願いします。絶対反対！経済効果は日本（横浜）としてあり得ない。コロナで又、世の中変りましたよ。 | 参考 | |
| 261 | カジノ依存症患者の増加が不可避であるのが問題であるIRを断念すべき | 参考 | |
| 262 | 依存症に苦しむ人がでることがわかっているのに、なぜIRにカジノをつくるのか、理解できません。 | 参考 | |
| 263 | 万全な依存対策などと云いますが、ギャンブル中毒はつける薬はありません。保険適用で対応すると言ってますが、笑止千万です。何より本人の自覚の問題です。依存症対策は博打場を作らない事が一番です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 264 | はじめからカジノ付IRなど必要ないと思っていますので方向性など考えておりません。家族の依存症で陰で泣いている人がどれだけいるか市長は御存知ないはずはありません。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 265 | バクチは人間をだめにするから反対です。 | 参考 | |
| 266 | 反対です。人間がこわれるカジノは許せません。 | 参考 | |
| 267 | ギャンブル依存症で主婦が生活費をつかいこんでしまい、パチンコ屋へ行き、玉を沢山だしている人のところへ行き、売春をもちかけるといった話をききました。こんなことは許せません！悲しい。カジノやめて！ | 参考 | |
| 268 | 最初から依存症を予想し、“対策をする”と云っているが、対策をするのなら、最初からやらなければいけないこと。 | 参考 | |
| 269 | 依存症対策が必要になるカジノは、健康的でない証拠である。 | 参考 | |
| 270 | 私は過去にギャンブルで身を崩し悪に走ったり他人を傷つけたり、国や市から補助を受けて生活をしている人をたくさん見えています。ギャンブルは絶対反対です。 | 参考 | |
| 271 | 今の日本はパチンコ、スロット、とそれだけでなくギャンブル依存症になる人が多くいます。それはもう病気であり、それで一家が破めつした家族を2つも知っています。今回作られる予定のカジノは、日本人も利用出来て、入場料が安すぎる計画と聞いております。もうこれ以上悲しむ家族は見たくありません。 | 参考 | |
| 272 | 横浜文化都市に“カジノ誘致は大反対”元医療人として、医療現場において「普通の人々」が、ギャンブル依存症に侵されていく様を対応してきた者として賭博場は大反対です。横浜市が説明する増収効果、外国人が増える、依存症、治安対策を並べ立ててもギャンブル依存症による自己・家庭・生活破壊の負の実態は計り知れない社会悪をもたらすでしょう。これ等、負の現実をだれが責任を持つのですか？カジノ誘致を推進している市長はじめ市議員の方々はどうお考えですか。責任ある説明をしてください！ | 参考 | |
| 273 | IR反対！！カジノ反対！！カジノは中毒もの。親がカジノにのめりこみギャクタイされる子ふえること目にみえてる。ヤメテ | 参考 | |
| 274 | IRは、害あって益なし。ギャンブル依存者を増加させるばかりです。IRに頼らない、未来ある横浜を、市長は心がけるべきでしょう。IRを作っで、依存者用の病院を用意する、という考えは不誠実でしょう。対症療法でしょう。IRは要らない 横浜だけなどと狭い考えでなく、人類のために不要です | 参考 | |
| 275 | カジノ誘致は反対です。夫のパチンコ依存症で長いこと苦労をしました。依存症の発症がわかっている「カジノ」は作らないでください。 | 参考 | |
| 276 | 今から40年前ロスに住む友人宅に行った時のことです。その友人がカジノで身をほろぼし家族もバラバラ本人はボロボロの男性に救いの手を差し延べている姿をみました。その折ラスベガスにも行ってみました。弱者はほとんど弱者にされて行く様に思いました。そしてみすてられて行く！ぜったい“カジノ”は反対です。大反対です | 参考 | |
| 277 | 今回の素案を見て感じられたことはあまりにバラ色の将来しか書かれていません。デメリットに関しギャンブル依存症の対症方法が書いてありますが、依存症は病気といわれています。いわばウイルスを国や横浜市はばらまきに等しい事をやる訳で治療には健康保険を適用する事は一般国民には迷惑な話です。破産したり犯罪に走る者も当然あると思われます。この国には公営ギャンブル・パチンコ・麻雀とあり過ぎです。 | 参考 | |
| 278 | 私はカジノ建設は大反対です。身近かに、賭事にはまり、未だに止められず家族や友達からも資金を盗んだり、借りたり人に迷惑を掛けています。心の衛生からも良くないと思います。 | 参考 | |
| 279 | 横浜のIR誘致反対について。日本には現在毎日出来るパチンコ及びケイリン、キョウテイ、ケイバ、オートレース等さまざまなギャンブルを放置している国である。従って多くの市民がギャンブルのため借金し、支払い不能となると自殺や家庭の崩壊、更には金の欲しさから劫盗、殺人、強盗を行い、その金で遊ぶ、つまりギャンブル依存症の人がいなければ、カジノは成り立たない。 | 参考 | |
| 280 | ギャンブル依存症が問題になっているのにそれをさらにふやすような政治はやるべきではないと思います。 | 参考 | |
| 281 | カジノ・IRは絶対反対です！依存症対策に万全はあり得ない。首相流の「世界一」「充分」といった言葉遊びのマネはやめるべき。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 282 | SDGsなどよく、書くことができますね。1番目には貧困をなくそうがあります。昔からカジノはばくち、依存症。誰れもが知っていることです。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 283 | IR絶対反対します。小生30年程前までギャンブル以外に使うお金さえ惜しむようになりました。350万横浜市は世界にとって誇りをもてるような都市でいたいと思います。横浜IRを絶対阻止しましょう、家庭崩壊する。 | 参考 | |
| 284 | カジノ誘致に反対します。カジノは何も生産的なものを産み出さず、客に負わせることで成り立つビジネスです。日本においては、高齢者などの老後の資金を奪い、ギャンブル依存症を増やし、借金まみれにするなど、家庭を崩壊させることが懸念されています。 | 参考 | |
| 285 | 依存症患者が多数出る事は間違い有りません。患者本人だけでなく、その家族も大変苦しみます。経済的には勿論の事、身体的・精神的損害は計り知れないのです。増えた税収を依存症対策にまわさざるを得ず、実質的に市民の税金をむだ使いする事になってしまいます。是非おやめ下さい。もっと文化的な施設を！ | 参考 | |
| 286 | まず横浜にカジノが出来る事に反対です。ギャンブルで人生をダメにした人をたくさん知っています。 | 参考 | |
| 287 | 横浜市内にカジノを作るのは反対です。私の田舎でも御主人の退職金二千万をパチンコにはまって使ってしまった皆に批判された人がいました。使ったお金は戻りませんからね。 | 参考 | |
| 288 | IR絶対に反対！！すでにギャンブル大国の日本。これ以上ギャンブル依存症を増やさない！ | 参考 | |
| 289 | ギャンブル、薬物は、人間生活を一瞬で破壊し、1人の人間だけでなく、家族とかも不幸にします。苦しむ人が減るには、作らないのが1番。アリバイ作りに保険適用は無駄。カジノ病を作り出さない事が大切です。カジノ絶対反対です！ | 参考 | |
| 290 | カジノ誘致には絶対反対です。民衆の射幸心を抑制する真逆のことを横浜市はしようとしています。日本人の国民性とギャンブルは相容れないものです。山下公園周辺の一等地をギャンブル汚染地帯にするのは罪悪であり、市民への裏切りです。 | 参考 | |
| 291 | 横浜にカジノができるのはぜったい反対です。子供達に負の財産を残す事になります。ギャンブル漬けの人を増やすわけにはいきません！自分の立場ばかり考えず横浜市民にとって何が大切かをもっと考えてほしい。 | 参考 | |
| 292 | こんななかにあつて、想定をこえる、ギャンブル依存症の根本的な対策もできないまま、ギャンブルの売上げを市の財政の中核にすえるなんて、とんでもありません。 | 参考 | |
| 293 | 〔方向性4〕にあげられた取り組み自体が時間と労力の無駄をあらわしている。このような対策を必要とする計画に公共性を体現する自治体が手を出してはならない。 | 参考 | |
| 294 | 賭ごとで人生を過った人達があります。これからもでるでしょう。公のこのような施設計画には絶対反対です。 | 参考 | |
| 295 | カジノは明らかにギャンブルです。儲けたらもっと儲けたいと思わせ、負けたら元を取り戻すまではやめられないと思わせるのがギャンブルです。いつ止めるかという、これ以上続けられないときであり、それまでは止められないのです。 | 参考 | |
| 296 | 市は依存症対策を講じていると言っていますが、カジノを実施するから起きる「現象」であつて、小手先の対策では収まりません。手間暇、かかる費用があります。ましてや多くの個人が「ギャンブル依存症」にさせられます。 | 参考 | |
| 297 | カジノ反対！！絶対反対。カジノにのめりこんで借金その後返済にろう、苦しみ、おい込まれるはめになるのを無にする為に反対します。 | 参考 | |
| 298 | ギャンブル依存症は、風邪や癌などと同じで誰でもなりうる病気です。市長はどれだけギャンブル依存症のことを知っているのでしょうか。知っていればカジノIR誘致とはならないはずです。 | 参考 | |
| 299 | 横浜にカジノは絶対いりません。町がかわり依存病の人がふえれば横浜のイメージがかわります。 | 参考 | |
| 300 | 絶対に反対です！！現在、この国には、パチンコ、スロット、競馬、競輪、等々のギャンブルがありこれ以上増やす必要ナシ！！これ以上依存者を増やしてはいけません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 301 | 賭け事は依存症人間を生み出すと思います。外国から来た大金持ちだけではいでしょう損する人は。一般市民にも依存症が広まりやすい環境を横浜に造るのには反対です。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性 P.69、73、77＞</p> |
| 302 | 依存症対策など、負の対応も必要です。街にやってくるのは、どんな人達でしょう。景観も人の気持ちも、すっかり変わってしまう気がします。 | 参考 | |
| 303 | ギャンブルの巨大施設が出来ることは、ギャンブル依存症になる人も多く発生します。日本は世界最高水準のギャンブル大国です。ギャンブル依存症大国です。私の義父もパチンコ依存症になりました。家族は経済的にも家族関係も、正すのにとても苦労しました。カジノはパチンコの比ではありません。カジノ付IRは絶対反対です。市民のなることは一つありません | 参考 | |
| 304 | 横浜市民として、カジノ誘致に反対です。ギャンブル依存症が、増えることは、確実です。子供たちの未来に、良い影響を与えとは、思えません。 | 参考 | |
| 305 | 依存症対策にお金をかけるのならカジノをやらない事が一番です。 | 参考 | |
| 306 | 廃案にすべきです。ギャンブル依存症の患者を生み出すことにつながり、社会的なコストがかかることから、横浜市の財政を潤す事にはつながりません。 | 参考 | |
| 307 | 横浜IRにカジノは、いらない、絶対反対です！市では「依存症対策」が示されているが、これは、「依存症」の人が、でる事を、前もって危惧している証でわざわざ「困り事・問題」の源を作る必要はないでしょう！なかなかめられない。人生のほとんど、「無」にするのと同じだ。家族はどうなりますか？横浜市、日本にカジノは、似合わないと思う。何度も書きますがカジノは絶対反対です。 | 参考 | |
| 308 | カジノは依存症製造装置です。依存症をつくらないためにもカジノはいりません。 | 参考 | |
| 309 | ギャンブル依存症に繋がるカジノは誘致すべきではありません。カジノのIRは、ギャンブル依存症をさらに増やし、人々の心を荒廃させます。カジノを誘致しなければ、最も良いギャンブル依存症対策となります。横浜市にカジノを誘致する必要がありません。 | 参考 | |
| 310 | このIRの誘致が表明された時からIRにカジノを含むことに対し強い不安を感じておりました。言うまでもなくカジノは依存症という問題があります。いくら対策をたてても、依存症のリスクは0にはできません。 | 参考 | |
| 311 | 不幸な金にくるしむ市民が、ウイルスのようにふえていくでしょうね | 参考 | |
| 312 | 横浜にカジノ作る事を反対します。市長は、横浜に刑法で違反とされた、賭博を、法律をたてにやろうとしています。国民を不幸にする、カジノ、ギャンブル依存症になる市民をふやし市民が、不幸になる人が大勢出る事に責任を負えるのでしょうか。横浜をギャンブル、カジノの街にしない事を要求します | 参考 | |
| 313 | カジノは、ギャンブル依存症を、多く出さなければ、成り立たない仕事です。業者はあの手この手で、依存症にして利益をあげようとするでしょう。カジノ収入で財政の健全化はあり得ません。身近かに、パチンコ依存症の人もいます。カジノ反対です。 | 参考 | |
| 314 | 依存症対策を講じるより、発生源を断つ方が先だ。カジノはいらない。 | 参考 | |
| 315 | パチンコのたぐいでさえ、どれ程家庭を滅ぼし、社会に災厄を及ぼしていることか。バクチはどんな仕掛けであろうと身を滅ぼす、家を破壊し、社会を駄目にする。胴元の一人勝ち。もう沢山だ。 | 参考 | |
| 316 | カジノあるところにはカジノ依存症の人々が必ず増えます。 | 参考 | |
| 317 | カジノに付随する産業は、風俗。カジノの周辺の産業はすたれる。こんなところが就職先になるなんて、考えられない。カジノにうつつを抜した結果、破産、ギャンブル依存症、アルコール依存もなるでしょう。こんな不幸のもとにしかならないものを市民の税金で造るなんて、許されません。カジノ反対！！ | 参考 | |
| 318 | トバクの典型と言えるカジノを横浜につくることには絶対反対です。トバク場をつくって人を集め、ギャンブル依存症対策をそのために考えるなど愚の骨頂です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 319 | 横浜に誘致しようとしているカジノは巨大な規模になるということです。ということは、多くの依存症が来たり、なってしまうということです。まして予定地は、都心の一等地で、ふ頭に接している山下公園は、市民の憩いの場となっています。治安も悪くなります。そんな状況もあると知りながら行うことはおかしいです。依存症の対策をいうならカジノはつくってはならない！ | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方では過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 |
| 320 | IR統合型リゾートの主な施設はカジノです。カジノは賭博をする所です。そこは、賭博をする人からお金をまきあげ、その人の生活を破壊する所です。 | 参考 | 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 321 | パチンコが好きで、母と争う姿を見てきました。それを冷やかな笑いを浮かべ見ている近所の人の姿を見て、子供心にも深く傷ついていました。カジノはパチンコの比でなくそのように傷つく大人、子供を増やします。 | 参考 | |
| 322 | 巷には公営ギャンブルがあふれています 開催日、開催地には人、人、人どこからと言うほど人が集まります それだけギャンブルにはまる人が多いのでは、私はギャンブルはやりませんがこれ以上の大型ギャンブルカジノは反対です！一応住みたい町NO1と言う事ですが！！住みたくない町NO1に！！ | 参考 | |
| 323 | 私は古い人間なのでカジノと言う言葉よりよく時代劇で見た賭博場といっしょです。みんな遊びと思ってやっていますけど借金もしている人もいます | 参考 | |
| 324 | 横浜港にIRを誘致すべきではありません。バクチや賭けの金は、自分にも他人にも幸せをもたらすものではありません。 | 参考 | |
| 325 | 経済基盤となるものを、他国の資本や金融をあてにしたり、ましてや、市そのものがカジノ依存症のような動きに、方向性と心からびっくりしています。地元商店が元気になり、市民の購買力をあげる工夫。市の自給自足への追求 そのための市政であってほしい。カジノ、バクチのお金をあてにして市政を運営する発想こそすでに依存症そのもの 強く再考を願います。 | 参考 | |
| 326 | 横浜IRは総合的なリゾート施設と聞いております。しかし本来楽しい夢を見るべき産業から、多額のお金を使い込んでしまったり、一時の楽しさのために人生を狂わされる事があってはなりません。それが外国人であっても悲しい事です。治療を要するような誤業には基本的に賛成できかねます。 | 参考 | |
| 327 | 人を苦しめて依存症者を発症させてまで金を集めるなら、賛同している商工会議会員及び篤志家より集めて心の通う事業を | 参考 | |
| 328 | 経済を支えるための方法を安易にカジノに頼ることは絶対反対。カジノは所詮、博打である。 | 参考 | |
| 329 | もしも、カジノが出来たらギャンブル依存症の人が（患者が）増えることは間違いありません。それでなくても日本はギャンブル王国だと私は思っています。その患者だけの問題ではありません。家族も含め悲惨な状態に陥ります。カジノが誘致されれば一層ギャンブル依存症の患者が増えることは間違いありません。 | 参考 | |
| 330 | 懸念するのはギャンブル依存症人口の増加。通常の勤労意欲が無くなり、不就業、無気力人口が増加し治安悪化を含め“負”の社会負担が増えることになる。横浜をギャンブルの街には絶対したくない。 | 参考 | |
| 331 | カジノはIRの3%にすぎないと、ほんのわずかを占めるような言い方が正にギャンブル依存症を作るシステムにならざるを得ないことをどう考えているのか。 | 参考 | |
| 332 | ギャンブル依存対策をたてるので対応できるというが、今現在の競馬、パチンコ スロットで、どれ位の人が苦しんでいるのか、家族が苦しんでいるのか、どんな対策があるのか、その効力成果が出ているなら明らかにしてほしい。 | 参考 | |
| 333 | ギャンブル依存症は、たいへん深刻な病です。多くの医師や多重債務者問題にとりくむ方達が指摘しているようにきわめて治りにくい病いで、子どものいる家庭でも家庭崩壊をひきおこし、子どもの一生を台なしにします。 | 参考 | |
| 334 | カジノ＝賭博は何の付加価値を生むことなく、ヒトの負の本能に付け込んで誘い込み、勝っても負けてもめりこませて、拳銃には、本人のみならず家族や周囲を巻き込んで不幸にします。 | 参考 | |
| 335 | ギャンブルは家庭を崩壊させるものです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 336 | 心配な事は、山ほどありますが、依存症のこと、現在もパチンコやその他の依存症で苦しんでいる家族を含めた多くの表面に出ない患者が多いです。この上カジノによる依存者の多発に対策があるといっていますが、カジノを入れない施設づくりが最良ではないでしょうか。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、73、77〉</p> |
| 337 | 横浜カジノに反対です。ギャンブル依存症は本人だけでなく、家族や周囲に大きな打撃を与えます。 | 参考 | |
| 338 | 折角美しい港・横浜、学園都市でもあり、横浜がカジノに汚されギャンブル依存症に苦しむ人を作りふやし犯罪をふやし横浜の風紀がみだれてくるのはどうしようとも目に見えてくる様です。 | 参考 | |
| 339 | 競馬、競輪のある街も多数あり、家庭崩壊も多数見てきました。従って横浜にカジノ…は絶対反対です！！ | 参考 | |
| 340 | 皆が心配している、ギャンブル依存症が増えないわけがありません。その為の対策も整える？税金で！！ | 参考 | |
| 341 | 横浜市民がギャンブル依存症になるのに勿論反対ですが、横浜市民以外の人をギャンブル依存症にするのも反対です、 | 参考 | |
| 342 | 山下埠頭に作ったカジノには誰が来るのでしょうか？外国からのお客さんと横浜市民だけがギャンブルをやるのでしょうか？川崎市の人は？大和市の人は？藤沢市の人は？横浜市民がギャンブル依存症になるのに勿論反対ですが | 参考 | |
| 343 | 「健全なカジノ事業の収益を活用し、将来の税収減を補う」と言っているが、そもそも健全なカジノなどありえない。カジノとは賭博で、健全であろうはずがない | 参考 | |
| 344 | 日本のギャンブル依存症の患者は世界でも有数と聞く。これ以上増やしてはいけない。人の人生を破壊するものだ。 | 参考 | |
| 345 | 人は、すべてギャンブルにはまる危険もあります。それに加担することになります。日本にはパチンコ、競馬諸々ありすでに問題も起こっています。反対の輪を広げてほしい | 参考 | |
| 346 | 今回の横浜市でのIR計画は、カジノという賭博行為を持ち込むものとなっております。この方向性にも相当数のページを割いて依存対策と治安対策の説明がなされていますが、このような対策で果たして依存症を防げるのか疑問です。この説明の分量は、いみじくもここまでの説明を要さなければならぬほど、依存症や治安への危険が伴う事業であることの表れです。 | 参考 | |
| 347 | 国は依存症対策を取るそうですが、全然現実的ではありません。そもそも依存症は自覚が無い為、本人自己申請の入場制限は無意味です。家族が申請したら絶対めもめと思います。病院にも行かないと思います。依存症を増やさない為にはカジノを作らない事が1番です。 | 参考 | |
| 348 | 日本にはもう充分ギャンブルが存在しています。競馬、自転車、競艇、オートと、公営のギャンブルがあり、依存症に苦しんで人がかなりいる状況です。このうえカジノなんてとんでもない話です！！ | 参考 | |
| 349 | 依存症が大きな問題。勤勉な日本人ほど、依存症になっていく可能性はとて高いと思います。 | 参考 | |
| 350 | IRの中核は、カジノの誘致であり、断固として反対である。カジノは賭博であり、ギャンブル依存性の多い日本では、絶対に反対である。依存症患者をこれ以上増加させることはできない | 参考 | |
| 351 | 賭博場の弊害は、そこで遊ぶ人々の依存症の発生だけではない。人々に怠惰・浪費の悪風を生じさせ、勤労の美風を損ない、治安・風紀の悪化をもたらす。依存症対策は十分に準備するというのが、これは、誠にナンセンス。 | 参考 | |
| 352 | 働かないで楽に稼ごうとしても無理、地道に働きましょう。賭け事に失敗して、家族に迄迷惑かけてる人が大勢いる。カジノは、金持ちの遊び。絶対反対です。 | 参考 | |
| 353 | 依存症について医師も反対しているように個人まかせであり、自治体が対策できるとは思いません。 | 参考 | |
| 354 | 横浜市にカジノはいらない。ギャンブル依存、家庭崩壊につながり決して良い事は有りません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 372 | 依存症、治安の問題 外国人が日本訪問して横浜でカジノで出し物を見ることは少ない。主たる客は結局日本人になる。日本人が依存症になったり犯罪が多発した場合、市はどんな危機管理出来ているのか | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞</p> |
| 373 | 依存症を作るカジノはいらない。人間を大切にしてください。 | 参考 | |
| 374 | 横浜IR（統合型リゾート）の推進は大反対です。IRは大変「依存性」が強いです。 | 参考 | |
| 375 | カジノ、などと言うと、何となくアメリカの文化を取り入れて居る様で、それらしく聞こえますが日本語で言うと博打です。生活が破綻すると又、陰で必ず悲しむ人が出て来ます。必ず自殺者、生活が破綻する、その他いろんな弊害が出ます。絶対に反対です。 | 参考 | |
| 376 | カジノをつくることに反対です。カジノはIRの一部だということには納得できません。カジノのないIRには絶対なりません。カジノなくしてのIRは横浜市の考えにはありません。カジノは賭け事です。賭け事による不幸はパチンコ依存症とは比べものにならない悲劇です。横浜市民をカジノで不幸にすることは絶対に許せません。外国からの観光客を対象としているなどというのはマヤカシです。外国人をたのませる施設だと説明されていることはマヤカシです。山下公園は私たち市民の大切な場所です。誇れる場所です。その憩いの場所にカジノはあってはならないものです。 | 参考 | |
| 377 | IR誘致で特に心配なギャンブル依存症。どんなに対策を講じたとしても依存から抜け出せず、不幸な目に遭う人達が続出することだろう。 | 参考 | |
| 378 | カジノなしのIRリゾートにしませんか。100ページの素案の中で25ページほどが、ギャンブル依存症などカジノの弊害についての対策が書かれています。こんなに気を遣うものならば、やめるべきです。対策がうまくいかなければ、大変な後遺症が残ります。心ある人にはカジノがあることはマイナスになるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 379 | カジノについては、ギャンブル依存症者に寄生してしか利益を生まないことが報告されています。精神障害であるギャンブル依存症者が出現することがあらかじめ予想されているにもかかわらず、自治体が成長戦略の柱とし、財政再建策とするなどするのはおかしいです。横浜にカジノはいりません。子どもの未来にとってもカジノは不要です。IRカジノ誘致に反対します。 | 参考 | |
| 380 | カジノに反対です。「市民の皆さまの安心・安全への対策」の最初に「依存症への対策」が4つも書かれています。それほどの依存症対策が必要なものは作らない方がいいと思います。今カジノがなくて困っているわけでもないし、ギャンブル依存症で大変な目に遭っている人たちをみているので、これ以上ギャンブルを増やさないでほしいです。パチンコ、競輪、競馬等で既にギャンブル依存症になっている人たちが少なからずいるのですから。 | 参考 | |
| 381 | 治療しても治らないのがギャンブル依存症！ | 参考 | |
| 382 | 健全で市民にやさしい市政をとってほしい。ギャンブル依存がわかっているカジノは不要。対策（ギャンブルの）をとっても、一端依存したら元に戻れない | 参考 | |
| 383 | カジノは「バクチ」で人生をこわし、家族や街をこわします。 | 参考 | |
| 384 | カジノにはまり自殺者が出るような横浜にはなりません。 | 参考 | |
| 385 | カジノ依存症対策をしっかりとやるというが、依存症をつくる大もとをやめれば、対策は必要ありません。 | 参考 | |
| 386 | カジノにはまり自殺者が出るような横浜にはなりません。 | 参考 | |
| 387 | 私は、カジノを横浜に作ることに反対です。後々まで、市長の政治経歴の中で、最大の汚点となることでしょう。カジノの収益は、賭けに負けて、損をした人が払ったお金で成り立っています。カジノは大多数の人が負けます。そして沢山の家族が悲劇を味わい苦しむのです。 | 参考 | |
| 388 | ギャンブル依存症の家族、本人に市長は責任をもてますか？持つはずがあるなら、カジノを含むIRから撤退、廃案にすべきです。 | 参考 | |
| 389 | 賭け事は中毒になる人が少なからずいます。それは本人を狂わすだけでなく家族をも苦しめます。横浜に生活を壊してしまうカジノは、絶対反対です。 | 参考 | |
| 390 | ギャンブル依存症に苦しむ方々の応援者の人から報告をお聞きしました。治療しても治らないのがギャンブル依存症とのこと。治せる治せないというよりも、ギャンブル依存症は、本人に自覚がないとのこと。とてもIRは認められるものではありません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 391 | 横浜IRカジノ計画に反対です。カジノは毎日24時間開催と聞いています。競馬、競輪、モーターボート等と全く違います。公営ギャンブルで多くの不幸をみてきました。カジノのもたらす不幸は絶大です。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 392 | カジノIRはギャンブル依存症を増やし横浜の街を文化的にも荒廃させてしまいます。 | 参考 | |
| 393 | 横浜市が奨めている“カジノ誘致”には絶対反対です。沢山のギャンブル依存症をうみ出す“カジノ”は“市民の命とくらしを奪う事”に繋がります。 | 参考 | |
| 394 | カジノを横浜に作ることは絶対に反対です。ギャンブル依存症は本人だけでなく家族も周囲も不幸にします。又そこから抜け出られなくなり人間を破壊することは行政がやることではありません。 | 参考 | |
| 395 | 横浜にIRは必要ない（絶対ダメです）。ギャンブル依存症を今以上増やさないと下さい。 | 参考 | |
| 396 | 起こり得る事は重大な不幸で、カウンセリングや相談機関を増設すれば済む話しではありません。 | 参考 | |
| 397 | カジノによる金銭感覚がおかしくなる人が増し、横浜の環境が悪くなると思います。 | 参考 | |
| 398 | 依存症を犠牲にしてギャンブル好き観光客の増加を必要としません。 | 参考 | |
| 399 | 依存症などもカジノなど造らなければ生まれません。 | 参考 | |
| 400 | カジノは、賭博そのもので、人の不運の上に成り立つものです。依存症も心配です。 | 参考 | |
| 401 | 安全・安心の横浜モデル（カジノ）は絵に書いた餅である。市民を依存症におとしめる様なものは。依存症の市民がたくさんになったら、誰が責任をとるのですか | 参考 | |
| 402 | 反対している方々はIRをカジノだと思っているのではないのでしょうか。カジノは施設の一部であって、海外からの富裕層がコンベンションやイベント、ビジネスのために来日し、その息抜きのためにカジノもあることを認識していただきたいです。カジノをギャンブル依存症を増やす根源のように悪く主張する方々に質問したいのは、日本でパチンコや競輪、競馬など多くのギャンブルがはびこっている現状をどのように見ているかということです。既存のギャンブルへの対策をせずに、カジノを目の敵にするのはいかがなものでしょうか。 | 参考 | |
| 403 | “ギャンブルは家族の涙でできている”カジノを誘致するのは絶対やめてください！日本にはすでにパチンコ、競馬、競輪など数多くのギャンブルがあり、どれだけの依存症と家族の苦しみがあることか。その上に市民の税金でカジノとは！狂気の沙汰です。肯定できません。 | 参考 | |
| 404 | ギャンブル中毒は薬物中毒と同じです。「やめたいけどやめられない」どうぞそんなギャンブル中毒者をこれ以上ふやさないと下さい。カジノ大反対！“人間は意外と弱いのです” | 参考 | |
| 405 | カジノ施設を含んだ、本牧の再開発は許められません。カジノがある限り、新たなギャンブル依存症患者が生まれ続けるのです。ギャンブル依存症患者本人及び家族は不幸のどん底に落ちるのです。入場制限はいずれ、ハードルは下げられてしまうでしょう。日本全体にとって経済的マイナスです。カジノを含まない、健全な施設を港湾地区に作りましょう。 | 参考 | |
| 406 | カジノを作れば、少なくとも30年先まで、ギャンブル依存症に泣く人を作り出す。こんな施設が本当に必要なのだろうか。 | 参考 | |
| 407 | カジノはギャンブルであり、膨大なギャンブル依存症を生み出す。そこに依拠するような事業には、明るい未来はありません。 | 参考 | |
| 408 | カジノ依存症等に及ぼす影響は計りしれない | 参考 | |
| 409 | あわせて税収をふやそうとする意図につらぬかれていて、パチンコなどで依存症におちいっている人びとの存在を知りつつ、その発生に対して万全を期し、医療機関を充実するなど、リップサービスにすぎないのは明白である。 | 参考 | |
| 410 | 横浜港の一番良い場所にカジノの入るIR建設はやめましょう。カジノ＝賭博場。ここでは必ず病人が出ます。なおす薬はありません。 | 参考 | |
| 411 | ギャンブル依存症を前提にカジノは存在しています。会場の滞在時間と掛け金に縛りをかけギャンブル依存を食い止める内容やシステムを市とカジノ経営者の契約条項に必ず明記して下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 412 | 以前知り合いがパチンコにこって、親が、何度（借金）返済してもやめられなかった様子を見てますので、反対致します。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型 I R には、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型 I R が参考としているシンガポールでは、I R の設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性 P.69、73、77＞</p> |
| 413 | ギャンブル依存症を増やす I R（カジノ）誘致には絶対反対です。 | 参考 | |
| 414 | ギャンブル依存症にかかると、なかなか元にはもどれない 資金のため本人ならず、家族にも影響がおよびます。 | 参考 | |
| 415 | 市が主張するようにギャンブル依存症はコントロール出来て減少するというのだったら、もし、山下ふ頭でカジノを開帳した後、カジノによる依存症・自殺者などが出たら即刻、I R・カジノ施設は閉鎖すると、今約束すればいい。そこまで言われれば信じる。そのような覚悟あるのか | 参考 | |
| 416 | 客は、80%が、日本人になる。毎年、1400億～1800億の税金は負け金が必要。毎日1万人～1万5000人のギャンブル依存者の来訪が必要になる。 | 参考 | |
| 417 | 断固反対！！カジノ。悲惨な妻を作らないで下さい。 | 参考 | |
| 418 | 横浜市にカジノ構想案には反対です。ギャンブルが身近に起きることはあつてはならず現実の厳しさをみつめてほしいと思います。 | 参考 | |
| 419 | 市が主張するようにギャンブル依存症はコントロール出来て減少するというのだったら、もし、山下ふ頭でカジノを開帳した後、カジノによる依存症・自殺者などが出たら即刻、I R・カジノ施設は閉鎖すると、今約束すればいい。そこまで言われれば信じる。そのような覚悟あるのか | 参考 | |
| 420 | 日本を横浜をもっとギャンブル依存症を増やしホームレスを増やしたいと考えているのですか？ | 参考 | |
| 421 | 今、現在のギャンブル依存症の方は、0ではありません。今いるギャンブル依存症を0にしないで、カジノによるギャンブル依存症の対策の実施はおかしい。 | 参考 | |
| 422 | 世界最高水準の I R を目指すとありますが、そのためにはカジノの収益を高めることがどうしても必要です。そのカジノの収益とは、カジノに賭博に来た客からまき上げた金です。客が負け続けなければカジノの収益は上がらないのです。その客として期待されているのは、外国人ではなく日本人です。市長は日本におけるギャンブル依存症の深刻な実態を把握しているのでしょうか。 | 参考 | |
| 423 | カジノ施設建設反対です。依存症は病気です。病気の源を造って、対策を作るから大丈夫とは、矛盾もいいところではないですか？ | 参考 | |
| 424 | I R は、カジノ抜きでお願いしたい。パチンコ、競馬、ロト、宝くじなどギャンブルに囲まれている日本で、これ以上ギャンブルを増やせば、社会は、さらに崩れていきます。 | 参考 | |
| 425 | ギャンブル依存対策は、カジノを建設しないことです。自明のことだと思います。 | 参考 | |
| 426 | いくら依存症対策しても、それを抜けてもギャンブルをする。だから依存症なのです。深い病いになるやもしれない機会を若者たちに与えないでいただきたい。首長が進める施策ではないと思います。是非カジノ抜きの I R をお願いします。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 427 | <p>社会的賛成理由ギャンブル依存症は、禁じる理由になりません。なぜなら、依存症対策が整備されている厚労省のホームページにもあるように、ギャンブル依存症に限らず、各種依存症対策が既に整備されています。ギャンブル依存症は、カジノではなく、本人の問題上記、厚労省ホームページに明記されているように、依存症は、①孤独の病気②否認の病気と言われており、原因は、本人の個人的・私的・精神的・家庭の問題が原因であり、カジノ（ギャンブル）そのものが、原因ではありません。依存症の原因でも無いカジノを禁じる合理性も必然性も正当性も無いです。ギャンブル依存症患者は、ギャンブル依存症にならなければ、他の依存症になる可能性もあり、カジノ解禁を妨害したところで解決する問題でもありません。逆にギャンブル依存症を口実にカジノ解禁に反対している勢力は、自分の政治的野心の為にギャンブル依存症患者を利用していると思います（事実、患者団体の代理人でも無い）。ギャンブル依存症になる確率は0.8%以下。99.2%はならない。カジノをやっても99.2%は、ギャンブル依存症などにはなりません。カジノでギャンブル依存症になる確率は0.8%以下であり、交通事故に遭うようなもの。1年間に交通事故に遭わない確率は99.3%だそうで、偶然にほぼ同じ確率です。0.8%の為に100%禁止する合理性も必然性も正当性もありません。交通事故による被害があるからといって、誰も自動車を禁止しろとは言いません。飛行機が墜落しても、誰も飛行機を禁じろとは言いません。鉄道が事故を起こしても、誰も鉄道を禁じろとは言いません。自転車で転んでも、誰も自転車を禁じろとは言いません。歩いていて怪我しても、誰も歩く事を禁じろとは言いません。生きていて、怪我したり病気になっても、誰も生きることを禁じろとは言いません。カジノをして依存症になる人間がいても、誰も禁じろと言うべきではありません。なぜなら、人間には自由（自由権＝自然権）があるからです。自由権を侵害する権利は、IR反対派を含め誰にもありません。IR（カジノ）への懸念は杞憂横浜経済の現状と日本経済の見通しからも躊躇している段階をとうくに過ぎていきます。想定される問題に対しては、国も合理的な対策を整備済みであり、懸念する合理性はありません。問題がある事自体は、問題ではありません。真の問題は、何もしない事です。</p> | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用して頂きます。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞</p> |
| 428 | <p>依存症対策は予防であり、予防を超えた「対処」に対する施策の整備が必要です。報道等では、依存症対策として「回数制限」があげられています。しかし、回数よりも「使用財産」の方がウェイトが大きいです。使用財産と所有財産や収入等の関連性も、依存症対策としては必要です。前述のように、依存症に至らなくても、問題行動が生じた場合の対策が必要です。</p> | 参考 | |
| 429 | <p>依存症患者が完治する可能性は極めて少なく、患者自身はもとより、家族や周辺の人への負の影響は計り知れません。また、治療には専門施設が必要ですが、依存症の専門家そのものの数が少なく、治療を継続的に行うのは難しいと思います。行政は利用者が不幸になるような施策を行うべきではありません。</p> | 参考 | |
| 430 | <p>素案では、カジノの面積はIR全体の3%だから、あたかも大したことはないかのように書いています。しかし、決して小さな規模ではありません。この規模の施設に、365日、毎日2万人、3万人もの人を呼び込み、多額のお金をかけさせる計画です。</p> | 参考 | |
| 431 | <p>「IR」＝インテグレイテッド・リゾートと言っていますが、主施設がカジノであることは明らかです。日本には既に公営ギャンブル（競馬・競艇・競輪・オートレースなど）があり、ギャンブル依存症を生み出しているパチンコ・スロットがあり、この上に新たなギャンブル施設を作る必要ないと思います。</p> | 参考 | |
| 432 | <p>総合型リゾートについて、大反対いたします。子供の頃、母から教えられたことです。競輪、競馬、パチンコなどの賭け事は絶対やってはいけない。負けるようになっていくのに、次こそ勝つと思ってかけ続ける。給料を前借りして、借金をしてまで、かけ続ける。現にラスベガスで大金をすって新聞を賑わせた会社役員がいました。今でもパチンコでギャンブル依存症になった人がいます。家庭崩壊はもとより、カジノにうつつを抜かしギャンブル依存症で健康保険の破綻は目に見えています。街は寂れ、人身はすさみ、韓国の例を見ても明らかです。横浜市の予算はもうけよりマイナスになること必定です。生産からほど遠い悪魔の収入、社会の退廃です。</p> | 参考 | |
| 433 | <p>私の知人にパチンコや競馬にはまりギャンブル依存症の人がいます。ギャンブル依存症はどの様に治療しても再発して止められないようです。私の知人は借金を抱え家まで手放してしまい、私が貸したのも戻ってこず今は音信不通になってしまいました。カジノはこのような不幸を生む温床です。</p> | 参考 | |
| 434 | <p>既にカジノに類似する施設や遊技場が余すところなく存在する【競馬・競輪・パチンコ店等々】賭け事の依存症解決に対して逆行している</p> | 参考 | |
| 435 | <p>反対。カジノ依存症が急増する。</p> | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 436 | 現在でも日本では、宝くじ、競馬、競輪、競艇などの公営ギャンブルをはじめ、幾多のパチンコ店などギャンブル施設で満ち溢れております。長引く不況の中「一攫千金」を夢見てギャンブル依存症に陥る人が増えるであろうことは、火を見るよりも明かです。このたびの計画では、こともあろうにIR施設を横浜のシンボルともいえる「山下公園」に設置するとのこと。まったく言語道断です。私は「博打場」を含むIRの導入には断固反対致します。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 437 | ギャンブル依存症とそれに伴う借金問題、精神疾患などに苦しめられている当事者、及び当事者家族を見るにつけ、人の遊興心を煽るような施設を新たに建設することに意味を見いだせません。ギャンブル依存症の真の対策は、ギャンブルができる施設をなくすことですが、カジノを新たに作ることは、それに逆行しています。どんなに対策を施すと言っても、賭け事ができる場所があれば意味がないのです。私は、この横浜を、不幸な人が新たに生まれる場所にたくありません。 | 参考 | |
| 438 | IRは依存症を生み出し、厳しい状況に陥る市民をさらに作り出します。 | 参考 | |
| 439 | いまさら新しい賭博場建設とは、自治体としての良識・良心が疑われてしまいます。家族で安心して楽しめる、リゾート施設を山下埠頭に作るのは大賛成です。ぜひ、「カジノなし」をお願いします。伝統芸術の発信、国際会議場・展示場、等の中で、カジノだけが人間の幸福を破壊する、異質の施設です。 | 参考 | |
| 440 | IR・カジノは外国のカジノ企業を儲けさせるための不健全な事業であり横浜に誘致することは中止すべきです。第一の理由は市民にとって百害あって一利なしの事業だからです。IR・カジノはギャンブル依存症を増やし、格差と貧困を広げ、家庭崩壊・自殺者などを増やす | 参考 | |
| 441 | 横浜市IR担当者はギャンブル依存症者の実態ご存じないのですね。現状のパチンコや公営ギャンブルの中でも依存症の実態は本人だけでなく家族も悲惨な現状です。依存症を回復させる薬は在りません。効果的な治療法も未だ在りません。一度依存症に陥ると再発の危険と隣合わせで生きていかねば成りません。生き延びればいいのですが自ら死を選択するケースも決して珍しいことではありません。 | 参考 | |
| 442 | 横浜市の資源と最先端技術を一体化して、新たな魅力溢れる横浜市にしよとする「世界最高水準のIR計画」。その計画について、お願いがあります。 それは、「カジノ無しの横浜型IR」として欲しいです。カジノとは、日本の賭博場です、長い間、日本では賭博は禁止されていました。禁止された理由は、治安の悪化・犯罪の増加・ギャンブル依存症の増加他等で家庭崩壊に繋がり、青少年に悪影響を与える等、社会に与える影響が甚大であるからです。この度の計画の原点である、統合型リゾート整備推進法案、及び関連法案を遵守しつつ、横浜型IRを実現したら、横浜市は賭博の街となってしまいます。多くの市民は、社会に与える悪影響を考慮してカジノ誘致に反対しています。賭博の街、横浜にしない為に、素案にある、世界に誇れる日本の魅力「歴史遺産・伝統文化・芸術・日本の風景・料理・おもてなしの心」等を活かした「カジノ無しの横浜型IR」として世界に発信して下さい。近代日本の成長をけん引して来た、歴史ある文化国際市、横浜を賭博の街とせず、将来を見据えた、豊かで安全・安心な、活気溢れる横浜にしましょう。 | 参考 | |
| 443 | 横浜市IRカジノ構想案についてギャンブル依存症になる人は一定の割合で存在します。パチンコ、パチスロ等国が認めたギャンブルがすでに多数存在します。更にカジノを追加するなど以ての外です。ギャンブル依存症の人から巻き上げた金で財政を賄うとは常軌を逸しています。ギャンブル依存症の専門家の意見を聞くべきです。 | 参考 | |
| 444 | ギャンブル依存症を発生させないために、カジノ無しのIRを強く望みます。「カジノがIRのごく一部」であるのならば、IR無しで良いのではないのでしょうか。また、カジノ無しではIRが成立しないのであれば、IRを誘致するべきではないと思います。 | 参考 | |
| 445 | カジノに関しては、以前から絶対反対です。ギャンブル依存症の方たちが現実に存在し、苦しんでいる人たちが大勢いるのに、なぜカジノ？ | 参考 | |
| 446 | 私はこの横浜にカジノを作るのに、反対します。この風光明媚の横浜にカジノは要りません。博打依存症者を増やすのですか。 | 参考 | |
| 447 | 好きな事にハマってしまうと人は簡単に依存症になる。確かにカジノのような遊戯施設は人々の憩いの場だと思えます。それは適切に使えば、人の話です。依存体質の人達は楽しい事にハマってしまうと周りが見えなくなってしまうようですから、それを誘発するような施設が簡単にに行ける近くに出来る事は反対です。こうした楽しい誘惑に駆られよう施設は依存体質の人達にとっては抜け出せない地獄のような場所になり兼ねません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 448 | 依存症含めて、市民が安心できる町とはならない。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。</p> <p>本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞</p> |
| 449 | 次の理由によりカジノ併設には絶対反対です。報道によるとカジノ既設国では依存症などの人的弊害。 | 参考 | |
| 450 | いわゆるギャンブルについての計画は、具体的な対策は何も読み取れなかった。幾ら調査をして計画を立てると書いてあっても、依存症の認識が間違っている人には調査用紙も作れないし本当の意味で苦しい家族を守ると言う視点のない人には対策など作れない。 | 参考 | |
| 451 | いわゆるギャンブルについての計画は、具体的な対策は何も読み取れなかった。幾ら調査をして計画を立てると書いてあっても、依存症の認識が間違っている人には調査用紙も作れないし本当の意味で苦しい家族を守ると言う視点のない人には対策など作れない。 | 参考 | |
| 452 | 賭博である「カジノ」は、古来から今まで、そしてこれからも“HAZARD”そのものなのです。それでも創るなら、施設の完成後にはHAZARD-MAPへ掲示して下さい。一人でも多くの善人が、そのような所へは近づかないようにするために。 | 参考 | |
| 453 | 富豪たちにお金を落としてもらい市民から搾り取り、ギャンブル依存症にさせたいのですか？その為の医療措置まで考えているとは驚きます。 | 参考 | |
| 454 | カジノ参加者の依存症問題も明らかの中、不幸な人や家庭崩壊が生まれ、地元である、横浜市民が数多く犠牲となる事も大きな問題となる。 | 参考 | |
| 455 | 「3. 横浜IRの方向性」の部分です。「カジノを行う区域の面積はIR施設全体の床面積の3%以内」と、カジノの影響が少ないかのように書いていますが、説明会でも「カジノの収益がなければIRは成り立たない。カジノなしのIRは無理だ」と横浜市担当者ははっきり答えられました。床面積の問題を持ち出すのはもうやめてください。パチンコ店は夜10時には閉店します。カジノは24時間営業です。現在、横浜市内にどれだけのギャンブル依存症者が存在しており、それらの方へどのような取組がおこなわれているのかの現状認識が必要だと思いますが、それはまったく書かれていません。これではカジノができれば増加するであろうギャンブル依存症者への対応などできるはずがありません。 | 参考 | |
| 456 | 賭博は依存症を生み、その人の生活と人生を破壊します。 | 参考 | |
| 457 | IRには反対ですカジノはゲーム依存症を確実に増やします。対策は取っていますが、お金を掛けて対策するよりも作らないのが一番です。 | 参考 | |
| 458 | カジノを横浜に作ることは絶対反対です。横浜市のリゾート構想は非常に軽率で、取らぬ狸の皮算用です。ギャンブル依存症を軽んじているのか、依存症を増やして横浜市をおかしくしたいのか。いずれにしても、私は納得しておりません。 | 参考 | |
| 459 | ギャンブル依存症を発症させることが目に見えているのに、カジノをつくることは反対です。ギャンブル依存症は自己責任として片づけられません。手を出しやすい環境があれば陥ってしまいます。依存症対策をキチンとすると断言していますが、病人をわざわざつくって置いて、健康保険適用で治療するのはおかしいです。病人を発生させない予防対策が必要です。つまりカジノを作らないことです。 | 参考 | |
| 460 | 説明会で説明を聞きましたが、ますますカジノ誘致反対の意を固めました。依存症対策について、説明会長文の対策を掲載されていますが、それだけの対策を練らないといけないうものをなぜ導入するのか。しかもその対応で依存症を抑え込めると思っているのなら、依存症を軽視しすぎです。現在の（カジノ以外の）依存症対策でどれだけ苦労しているのか、それがカジノが始まったらうまく収められるとおもっているのでしょうか。 | 参考 | |
| 461 | 横浜にカジノはいりません。ギャンブル依存の街づくりなんてまっぴらです。安心安全な街、心豊かに過ごせる街を作りましょう。横浜にはそのためのリソースも活力も十分にありまます。以前の横浜市の取り組みは、みなとみらい21、港北ニュータウンなど、国際港都を作るとの大きな立派な目標を掲げてやって来ました。 | 参考 | |
| 462 | 反対の理由は、現在カジノに反対している各種団体の意見と基本的に同じです。一般人の精神的・経済的犠牲が極めて大きい。 | 参考 | |
| 463 | IRによって依存性のある人達が増えます。お金を巡り、トラブルが絶えなくなります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 464 | 知人に各種依存症治療の専門家が居るので、強烈な後悔が発生しかねない娯楽の誘惑に勝てず、命を縮める人々の話もよく聞いて来た。それらのイメージとは違うと言われても、『地方自治体』という『人生の守りの要』が積極的に進めるべき話ではないと思う。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度をたってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 465 | 今回発表された「横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）」に対して反対します。「ギャンブル等依存症」が確実に増加します。「横浜IR（統合型リゾート）」に関して、市民が抱くもっとも大きな不安のひとつは「ギャンブル等依存症」です。今回示された「素案」では「過去1年以内の依存が疑われる者の割合」（ギャンブル等依存症者）は成人の0.8%という現状の数字が紹介されていますが、横浜市の成人人口を約300万人とすると、2万4千人もの市民が「ギャンブル等依存症」を新たに発症する危険があります。これに対し「素案」では、100ページ中24ページを充てて、「ギャンブル等依存症」に対する対策を記載していますが、これらの対策によって「ギャンブル等依存症」を減少させることはできたとはいえず、根絶できるとは考えられません。新たな「ギャンブル等依存症」発症者をなくすには、「ギャンブル行為をさせない」つまり「カジノをつくらない」ということしかないと考えます。他人の不幸の上立った「にぎわいと経済効果」を市民が求めているとは考えられません。 | 参考 | |
| 466 | 今回発表された「横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）」に対して、反対します。ギャンブル等依存症者が確実に増加します。今回の「横浜IR（統合型リゾート）」について市民が抱くもっとも大きな不安のひとつは「ギャンブル等依存症」です。「素案」は、100ページ中24ページを充てて、「ギャンブル等依存症」に対する対策を記載しています。しかし、これらの対策によって「ギャンブル等依存症」を減少させることはできたとはいえず、根絶できるとは考えられません。カジノでのギャンブル行為によって「ギャンブル等依存症」が一定の確率で発生する以上、新たな「ギャンブル等依存症」の発症者をなくすには、ギャンブル行為をさせない、つまりカジノをつくらないということしかないと考えます。「素案」では、「過去1年以内の依存が疑われる者の割合」（ギャンブル等依存症者）は、成人の0.8%という現状の数字が紹介されています。同じ割合だとすると、横浜市の成人人口を約300万人として、2万4千人がギャンブル等依存症を新たに発症する危険があります。他人の不幸の上立った「にぎわいと経済効果」を横浜市民が求めているとは考えられません。市の使命は、「開港以来大切にしてきた横浜の歴史や文化を守り、子育て、医療、福祉、教育など、市民の皆様が安全安心な生活を将来にわたって支えていく」（「素案」）ことだと考えます。 | 参考 | |
| 467 | カジノを含むギャンブルは依存症を生む危険があります。依存症対策をとるといいますが、たとえば週に3日までの利用に限るといった対策では非常に不十分です。依存症を回避するとして立てられた策は、抜け道のある机上の空論に過ぎないと思えます。また、そもそも依存症になる人は出るということをお前提とした話であり、カジノによって依存症患者が出ることを推進側も認めている。一度ギャンブル依存症になると完治はきわめて難しく、本人および家族は長期間精神的、金銭的に打撃を受けることを余儀なくされます。カジノを利用する人の中の一定の割合の人およびその家族が生活を奪われるということがあらかじめわかかっていて、それでも推進するというのは間違っています。不幸を作り出すシステムを自ら選ぶというのは、民主主義社会を破壊するもだと言われても致し方ないでしょう。以上から、横浜にカジノを含むIRを誘致することに反対します。 | 参考 | |
| 468 | カジノの収益はギャンブルで負けた人のお金である。つまり、横浜市の増収効果はカジノの収益によるものであり、横浜市の財政そのものがIR事業（カジノ）への依存につながるようになる。これは持続可能な財政政策とはどうも考えられない。 | 参考 | |
| 469 | 多くの方がギャンブル漬けで破綻に追い込まれることになる。 | 参考 | |
| 470 | 72頁に横浜市の「こころの健康相談センター」の載っているが、相談員が会計年度任用職員ばかりではノウハウが蓄積せず相談の質に影響し、SDGsに掲げられた「貧困のなくすこと」や「働きがいを生むこと」に反するため、改善を行ってほしい。 | 参考 | |
| 471 | 67頁で「カジノに触れる機会の限定」を挙げるが、「誰もがカジノに触れないことが大事」と思われ、論理が破綻しているが、それに対する横浜市としての見解を載せてください。 | 参考 | |
| 472 | 71頁で市民等を対象とした依存症の調査を行うとあるが、対策は調査を踏まえてしか立てることができないと考えるが（「証拠に基づく政策立案（EBP）」）、現状把握もしないままに対策を立てる、その論理的根拠を述べてください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 473 | 自助グループに10年以上通う者として、自助グループが活動できる会議室が現状では少ない中で、横浜市市民活動支援センターを3月に廃止されては他の市民活動との競合の中でより活動できる会議室が少なくなるのが明らかであるので、横浜市単独で障害者専用の会議室施設を作ってください。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 |
| 474 | 70頁の自助グループについて、自助グループに通う者として自助グループが活動を行う場が圧倒的に少ないため、横浜ラポールのほかにも、特別自治市を目指す政令市として東京都の障害者福祉会館のような施設を作ってください。 | 参考 | 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性 P.69、73、77＞ |
| 475 | 95頁で若い方々に「カジノはご自身で楽しめるリゾート」とあるが、74頁で高校の保健体育で依存症教育を受けながらも、楽しまなければならないのは矛盾しています。論理が破綻しているため日本の若い方々に勧めるのはやめるべきです。 | 参考 | |
| 476 | カジノはパチンコなどの比ではなく依存症患者を作り出すと云われています。横浜市は依存症対応の病院などを作ると言っていますが、カジノ誘致をしなければそんな施設をわざわざ作る必要はありません。福祉の仕事に長く関わって来たものとして依存症患者を作り出すカジノ誘致は絶対に認められません | 参考 | |
| 477 | 博打による被害者を多数作りだしかねない | 参考 | |
| 478 | カジノの誘致には反対です。日本の未来にカジノを残すべきではありません。カジノはもとより、パチンコ、パチスロをなくしてください。破産したり、家庭が崩壊したりする人がいます。 | 参考 | |
| 479 | カジノをやることにより、ギャンブル依存性の高い人が増え、勤勉性のある人が減る。 | 参考 | |
| 480 | カジノ業者からの税収では、カジノに依存する横浜になってしまいます。 | 参考 | |
| 481 | 案は、「横浜IRの方向性」（素案）で世界最高水準、観光経済にインベーションなどと謳っていますが、全体の4分の1を「ギャンブル依存症」問題に充てざる得なくなっています。「ギャンブル依存症」には適切・有効な処方箋はありません。依存症対策に大きなコストがかかり、これまで世界的にみても効果があった対策はありません。ギャンブル依存症を増加させ、家族や周りの人を不幸にするカジノを横浜市が開設することには絶対反対です。 | 参考 | |
| 482 | ギャンブル等依存症者が確実に増加します。今回の「横浜IR（統合型リゾート）」について市民が抱くもっとも大きな不安のひとつは「ギャンブル等依存症」です。「素案」は、100ページ中24ページを充てて、「ギャンブル等依存症」に対する対策を記載しています。しかし、これらの対策によって「ギャンブル等依存症」を減少させることはできたととしても、根絶できるとは考えられません。カジノでのギャンブル行為によって「ギャンブル等依存症」が一定の確率で発生する以上、新たな「ギャンブル等依存症」の発症者をなくすには、ギャンブル行為をさせない、つまりカジノをつくらないということしかないと考えます。「素案」では、「過去1年以内の依存が疑われる者の割合」（ギャンブル等依存症者）は、成人の0.8%という現状の数字が紹介されています。同じ割合だとすると、横浜市の成人人口を約300万人として、2万4千人がギャンブル等依存症を新たに発症する危険があります。 他人の不幸の上に立った「にぎわいと経済効果」を横浜市民が求めているとは考えられません。市の使命は、「開港以来大切にしてきた横浜の歴史や文化を守り、子育て、医療、福祉、教育など、市民の皆様の安全安心な生活を将来にわたって支えていく」（「素案」）ことだと考えます。 | 参考 | |
| 483 | ギャンブル依存症対策として、政府の対策以上に、素案では横浜市の独自対策を打ち出していますが、横浜市としては、それだけ問題が大きいと認識している証しではないでしょうか。現時点でも、日本において、横浜市においても各種の依存症や刑事事件が深刻な中で、行政・医療・教育や警察等の仕事を多くする必要はないと思います。そして、横浜カジノの利用者は横浜市民だけではありません。政府の対策が不十分だからとして、横浜市としての独自対策を必要としているわけですが、横浜市以外の利用者に対する施策はどうなるのですか。横浜市民以外はどうでも良いのでしょうか？カジノ＝ギャンブルは利用者の損失で成り立っています。つまり、人の不幸を前提にしています。「健全なカジノ事業」は人を欺く表現です。カジノ事業はSDGsの基本理念の基本理念や目標にも反しています。カジノ前提のIRでは、横浜市がカジノ依存症になります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 484 | 横浜市のヴィジョンで、本素案でもSDGsの推進をうたっていますが、カジノ＝ギャンブルはSDGsの理念に反するものです。多額の収益があるということは、その分多額の損失を被った人々がいるということです。中には大金持ちの人がいるかもしれませんが、必ずしもそうした人ばかりではないでしょう。経済格差が拡大する中で、今以上のギャンブルの拡大は、一層多くの貧困が生まれます。一層多くの不健康者や病人更には犯罪を生み出します。カジノ＝ギャンブルは「誰も置き去りにしない」というSDGsの基本理念に反します。ギャンブル依存症にならなくても多くの人の不幸を招きまします。横浜市としては、カジノ事業はSDGsの基本理念に反していると明確に認識し、カジノ事業はSDGsの基本的理念に反している、と明示すべきです。様々な対策を打つから良い、とか経済効果を有効活用するから良い、と言っても矛盾は解決しません。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 |
| 485 | ギャンブル依存症は、生活破綻・人格破綻を招くだけでなく、自殺や窃盗・殺人等の犯罪を引き起こします。さらに、反社会勢力の温床にもなりえます。そのために多くの対策をとるといいますが、本来の問題は解決しません。教育・啓蒙、相談制度を取り入れても、発生の予防はできません。それは、人間が意思の弱い生きものだからです。ギャンブル依存症に話題が行きがちですが、私は依存症までにはならなくても、多くの不幸が発生・存在すると思います。既存のギャンブルでも、1回きりのギャンブルのために家族・親戚に迷惑をかけた事例は多いと思います。しかし、こうした実態はなかなか統計には現れません。むしろこの種の問題者の方が規模は多いと思われる。ギャンブル依存症の実態調査をするなら、こうした病氣とまでは言えない層への調査をお願いします。行政が問題点を承知しながら、カジノ事業を実施し、問題が発生した場合、自己責任とは言えません。 | 参考 | 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 486 | カジノ抜きのリゾートであれば良いがカジノは依存症を増やし横浜市民の生活を脅かします。 | 参考 | |
| 487 | カジノ抜きのリゾートであれば良いがカジノは依存症を増やし横浜市民の生活を脅かします。 | 参考 | |
| 488 | カジノを含むIR推進に反対します。私は、臨床心理士として、依存症の方たちに寄り添う立場です。依存症は、精神の病気であり、本人の意思の弱さに起因するものではありません。依存症は一度発症すると、完全な治癒は難しく、家族も巻き込んで、悲惨な状態になるケースが多々あります。予防するには、賭博をする環境を少なくする以外にありません。依存症者の入場制限をしても、予備群の人たちを入場規制することはできません。市民の精神的健康を守るためカジノはあってはいけなものです。 | 参考 | |
| 489 | 広報よこはまについて広報よこはまの絵では家族がみんな楽しんでいる絵があるが、家族で来ても子どもはほったらかしで親はカジノに入り浸るといって絵が浮かんでくる。 | 参考 | |
| 490 | 少子高齢化で個人市民税が減少するということが、カジノはこの比較的豊かな市民層をターゲットにしていると考えられる。市民の老後の蓄えを食い物に家庭を破壊していくギャンブル促進が少子高齢化社会への備えになるのか甚だ疑問である。この素案に書かれている横浜市への財政効果はまったく期待できない。 | 参考 | |
| 491 | 素案74頁では、「エビデンス（証拠）に基づく政策形成（EBPM=Evidence-based Policy Making）」の手法を活用するとある。横浜市は、ギャンブル等依存症対策のために「横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する調査」を令和元年12月から令和2年1月まで行うとしているが（令和2年3月29日横浜市ホームページ閲覧）、まずは「ギャンブル依存症調査結果のデータの分析、それに基づく因果関係の検討と指標の設定」が政策決定に先立って行われなければ、誰にとっても検証可能な政策形成ができないのではないかと懸念している。調査結果が事前に市民に示されないままに、どうやって政策効果を市民に判断しろというのだろうか。「証拠に基づく政策形成（EBPM）」を謳うのであれば、「ギャンブル依存症調査結果をまずは行い、分析し、因果関係を検討し、指標の検討」を行った上で、市民に公表し、熟議を踏まえた政策形成を行うのでなければ、この「証拠に基づく政策形成（EBPM）」を謳うことができないと考えるが、どうだろうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 492 | 素案74頁では、「エビデンス（証拠）に基づく政策形成（EBPM=Evidence-based Policy Making）」の手法を活用するとある。横浜市は、ギャンブル等依存症対策のために「横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する調査」を令和元年12月から令和2年1月まで行うとしているが（令和2年3月29日横浜市ホームページ閲覧）、まずは「ギャンブル依存症調査結果のデータの分析、それに基づく因果関係の検討と指標の設定」が政策決定に先立って行われなければならない。誰にとっても検証可能な政策形成ができないのではないかと。調査結果が事前に市民に示されないままに、どうやって政策効果を市民に判断しろというのだろうか。「証拠に基づく政策形成（EBPM）」を謳うのであれば、「ギャンブル依存症調査をまずは行い、分析し、因果関係を検討し、指標の検討を行った上で、市民に公表し、熟議を踏まえた政策形成を行うのでなければ、この「証拠に基づく政策形成（EBPM）」を謳うことができないと考えるが、どうだろうか。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 493 | 「P30 基本コンセプトの4本の方向性にカジノ依存症対策」を入れざるを得ない事業。カジノとは、依存症の方が多額の金を使用することで成立する悪魔の事業ではないのですか。依存症者なくしては当初の利益も、横浜市への入金も大幅減少してしまうもの。依存症対策は限定されたものとならざるをえません。 | 参考 | |
| 494 | カジノへの入場を週2回に制限している他国でも、依存症は課題になっている中で、横浜市のカジノで想定されている、週に72時間の入場制限は、まるで制限に値しない。ギャンブル等依存症は、本人のみならず家族や親族、知人友人関係まで破壊し、社会においても大きな問題となってしまふ。 | 参考 | |
| 495 | ギャンブル依存症に苦しむ人を増やしてはいけないという思いからカジノを含むIR誘致に反対します。日本では法的に賭博が禁止されています。しかしながらパチンコ店が全国のどこにでもあります。また、競輪、競馬、競艇、オートレースといった公営ギャンブル、宝くじ等もあり、非常に身近なところにギャンブルがあふれています。この上さらにカジノができたなら、ギャンブル依存症の人が増えてしまうのは明らかです | 参考 | |
| 496 | 横浜市は「ギャンブル依存症対策は万全」と言いますが、甚だ疑問です。そもそも6千円という東京ディズニーランドよりも安い入場料は、何の歯止めにもなりません。むしろ、それを取り戻そうと、ギャンブルにのめり込む危険が高いと考えます。早期発見・治療のための方策も、十分ではありません。IRからの税収を増やすためには、ギャンブル依存症になる人達が必要なのですから、市が講じる対策などマッチポンプのようなものです。最も効果的なギャンブル依存症対策は、ギャンブルの場を作らないことであることは明らかです。以上、ギャンブル依存症に苦しむ人を増やさないという観点から、IR誘致に反対致します。 | 参考 | |
| 497 | カジノ抜きのリゾートであれば良いがカジノは依存症を増やし横浜市民の生活を脅かします。 | 参考 | |
| 498 | 反対意見です。カジノは理性のある金持ちだけが行えばいいのですが、他の国の例から見るとそうではなく、一般の人々がカジノにはまり家族が破綻しています。こういうIRカジノはやめてください。 | 参考 | |
| 499 | 横浜市のすすめるIR誘致に反対します。カジノを含まない、都市計画を期待します。1. 日本では、すでに競馬や競輪、競艇といった公営競技やパチンコがあり、これらのかげ事にのめりこみ日常生活や、社会生活に支障をきたすギャンブル依存症が増えています。カジノの誘致により、さらにギャンブル依存症が増える懸念があります。本人や家族をも不幸にするギャンブル依存症を増やす可能性のある政策は受け入れられません。国の定める入場規制（7日間で3回、28日間で10回、入場料6000円/1回24時間）では、対策にはなりにくいと考えます。ギャンブル依存症の対策もすすめるとなっておりますが、カジノを導入しなければ、カジノによって増えるギャンブル依存症の対策費用も必要がありません。 | 参考 | |
| 500 | 1度ギャンブルにはまった人は抜け出すことがなかなか難しいし簡単に金を得る為に犯罪に走るものがたまた見受けられます。日本には、競馬・競輪・オートレース・パチンコ等他の国より多くのギャンブルが存在しています。今以上にギャンブル施設を増やす必要は無いと思います。総合型リゾート（IR）を誘致しないように切にお願いします。 | 参考 | |
| 501 | 依存症対策についても不十分である。「賭博」で儲かるのは胴元だけなので、横浜市は増収を期待しているわけであろう。入場料徴収しても、その分を取り返そうと考え、日数制限をしても、1日で大儲けをしようとするのが人間心理である。依存症対策が十分でないのだから患者も増える。その本人も辛いことになるだけでなく、家族までが悲惨なことになる。横浜市はその責任を負えるのか？横浜市の増収や周囲への波及効果などを示しているが、マイナスの効果も当然あるのである。以上のことから、IR構想はただちに撤回するべきである。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 502 | 私はカジノを含むIR誘致に反対です。IRの主な収入源はカジノです。当然カジノがある横浜の市民はカジノのターゲットとなります。カジノで行われるのはギャンブルです。ギャンブルは依存症患者を生みます。将来、依存症患者が大量生産された横浜市がそこにあります。高校保健体育における啓発などで家族や友人がギャンブル依存症になるのを防げるのでしょうか。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 503 | ギャンブル依存症になった時、ギャンブルの収益で治療するから大丈夫と言われても喜べません。依存症は治ることの無い慢性の病気です。私はカジノを含むIR誘致に反対です。 | 参考 | |
| 504 | カジノの賭けで損した人は、何とか挽回しようと、賭けを繰り返します。そしてカジノ依存症になります。家族や周辺の人は大変な悲しみに陥ります。そして我々はカジノ依存症対策をしなければなりません。 | 参考 | |
| 505 | ギャンブル依存症という怖い病気が増える。病気だと気が付いた時にはもう手遅れ、家庭が崩壊して初めて気が付く、治療薬のない病気です。 | 参考 | |
| 506 | ギャンブル依存症に陥り、苦しむ本人と家族のことを考えた時、しかも一旦依存症になると治療に長い時間がかかるという点を考えても、産業や市の発展に繋がるとは言えない。ギャンブル依存と対策についてのリスクとその対応についてお聞かせいただきたい。 | 参考 | |
| 507 | 市民や県民を犠牲にするカジノの設置に反対です。弱い立場の市民や県民からお金を搾り取ってはなりません。 | 参考 | |
| 508 | カジノを前提としたIRには反対です。素案にはギャンブル等依存症対策基本法に基づいた依存症対策が記されていますが、カジノ作らないことが最大のギャンブル依存症予防策です。入場制限等を課しても依存症患者は裏カジノを含め、様々なギャンブルに手を出すこととなります。さらに4月からはギャンブル依存症を医療保険での治療ができるようになりましたが、そもそも依存症患者を医療機関を受診させることが非常に困難であることが、ギャンブル依存症家族の会からも報告されています。また、治療も集団療法でしかなく、ギャンブル依存症を対象とした薬剤はありません。さらにギャンブル依存症を治療できる医療機関は極めて少なく、依存症になってしまうと回復への道のりは険しいものになるでしょう。 | 参考 | |
| 509 | これ以上ギャンブル依存症になる人を増やしてはいけません。…既に多くのギャンブル依存症の方がいる日本で、更に依存症を増やすと思われる「カジノ」を始めるのは、日本を衰退させるに他なりません。入場料6000円は、全く抑止力になりません。いくら対策を並べたとしても、「カジノを作らない」という対策以上に依存症を増やさない方法はありません。 | 参考 | |
| 510 | IR誘致に反対します。横浜市はカジノは総床面積のたった3%だと言っていますが、収益の7~8割はカジノです。カジノなしでは採算がとれません。市民説明会では、市が想定している820億~1200億円の収入を得るには5000億円以上の「負け」が必要だと回答しました。人の不幸に依拠した経済発展はやめるべきです。国はカジノ解禁と併せてギャンブル依存症等対策基本法を制定しました。依存症が増えることを認めているわけです。 | 参考 | |
| 511 | 市長、自殺者が出たら責任をとれるのか！、家庭崩壊が起きたら責任をとれるのか！小さな子供が路頭に迷うようになったらあなたはその責任をとれるのか！これらの事態が起こらないと断言できるのか、もしそうならそう断言してください。断言できなければやめるしかないでしょう。カジノを含むIRに絶対反対。 | 参考 | |
| 512 | 横浜を始め日本のどこにもIRは必要ありません。現在すでに公営の賭博があり、またパチンコ依存症の人も多数いて子育てを放棄して両親がパチンコ、暑い夏に子供を車に残したままパチンコに入れ込んで子供が亡くなる事故も起こっています。 日本のパチンコは少し減収傾向にありますがそれでも十分賭博天国で、またパチンコ依存症も相当数いると言われていました。 市の財政が潤うと盛んに宣伝していますが、優秀な人材が偽りの仕事に就き人を不幸にする仕事をします。また依存症になって家庭が崩壊する。子供の貧困が言われていますが、更に深刻になる可能性があります。そんな状態で市の財政が潤っても幸せな横浜ではなくなり、荒んだ町になってしまいます。 | 参考 | |
| 513 | カジノに近い地元でギャンブル依存症が多く発生するようであるが、それへの対策が明確でない。多重債務者の増加も予想されるが、それへの対策も明確でない。 | 参考 | |
| 514 | 財政困難に対する解決策にIRの導入を進めています。カジノを含むIR誘致は反対です。問題はカジノです。賭博は人をダメにします。カジノではない方法を模索していきましょう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 515 | ギャンブル依存症について対策を取ると言われますが、日本にはすでにパチンコ屋が大量にあり、ギャンブル依存症の方の多くはパチンコ依存症です。そして服薬で治るものではありません。カウンセリングを一回受けて治るというものでもありませんしそもそも日本で治療のカウンセリングは高額です。一番の対策はこれ以上ギャンブルする場を身近に作らないことです。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 516 | 横浜にカジノはいりません。依存症を後押しするであろうカジノを、目先の経済の不安から誘致することだけはやめてください。回復支援はまったく進んでいません。取り返しのつかないことになります。カジノ誘致自体がギャンブルです。沢山の人が巻き込まれます。 | 参考 | |
| 517 | バクチ依存症になった人々の救済にまた税金を投入する。けれど、依存症になった人々の家族の生活や精神的被害を救う手立てはなし。市が賭博に依存しなければ不要の支出、被害です。しかも、市がバラ色に描く計画そのものがバクチです。 | 参考 | |
| 518 | ギャンブル依存症対策に沢山のページを使っています。これだけは、個人のモラルの問題です。国が色々な規制を作っても守る保証はありません。行政の皆さんもわかっていることでしょうか。しかし、規制を作らないと、進めない。規制を作ったことで、それでよしでは、納得いきません。カジノ規制に費用をかけ頭を悩ますのなら効果も期待できない、カジノを辞めることが一番です。 | 参考 | |
| 519 | 依存症の問題。カジノは必然的に依存症を生む。いくつかの依存症対策が準備されているが、海外の例を見ても依存症対策が十分な効果を発揮するものではない。結局は日本人の富裕層や高齢者をターゲットとしたものとなり、大きく被害を受けるのは地元の住民となる。また、青少年への悪影響が懸念される。 | 参考 | |
| 520 | ギャンブル依存症に苦しんでいる本人、家族のことも、、、。横浜市民の幸せを第一に考えて行く事が、市長の為にもなるのですよ！ | 参考 | |
| 521 | 依存症対策にはばく大な医療費がかかります。本人はおろか、家族も不幸をもたらします | 参考 | |
| 522 | 横浜IRの方向性は良いと思います。ギャンブル依存症対策が必要だと言われているが、最大の対策は、依存先が必要になる状況の解消ではないでしょうか。賭博、ゲーム、アルコールなどの依存の対象物が依存症患者を生み出しているのではなく、居場所がない、経済的に苦しい、子育てに悩んでいる、生きがいが無い、相談できない、といった事情が折り重なって、何かに依存せざるを得なくなっているのだと思います。なので、むしろカジノのある横浜IRの運営が成功すれば、雇用機会が増えたり、ライフスタイルにあった働き方ができる人が増えたり、さらに横浜市は増えた税収で社会保障やサービスを充実できたりして、トータル的に依存せざるを得ない状況を解消していけるのではないのでしょうか。横浜IRは誘致してほしいです。 | 参考 | |
| 523 | 絶対IRだけはやめてください！ギャンブル依存症の人たちの巣窟に横浜がなるのは耐えられません。 | 参考 | |
| 524 | 5 厚生労働省の発表では2015年現在で日本のギャンブル依存症の方は320万人いると発表されています。日本の入場規制が「世界最高水準の規制」と言われますが、そうでしょうか。日本人の入場料は6000円といいますが、ディズニーランドが7400円を考えると決して高くはないと思います。また、面積がIR全体の3%以下といいますが、IRの総面積が山下埠頭の何倍もの床面積になるので、相当広い床面積のカジノが作られます。「入場回数を連続する7日間で3回、28日間で10回に制限」としますが、カジノは24時間営業で1回24時間入れます。24時間いたら既にそれ自身依存が強い現われです。24時間はのべ2日にまたがるので、3回は6日分になり、1週間ほぼ入り浸りになります。全く規制になっていません。以上のことから、カジノ含むIR誘致そのものに反対します。 | 参考 | |
| 525 | カジノには、ギャンブル依存症を増大させるという欠陥があります。横浜には、すでに多くのギャンブルがあり、それぞれの歴史があり一律に禁止や規制するべきとは思いますが、ギャンブル依存症が、人々の生活を破壊する原因となっており、ギャンブルの一定の抑制とギャンブル依存症対策の拡大が必要となっています。このような状況の中で、新たなギャンブルを設置することには強く反対します。 | 参考 | |
| 526 | カジノ産業は、依存症の人がいなければもうけを出すことができません。素案にも25ページにもわたって依存症と治安対策が書かれています。日本人の中に、ギャンブル依存症を増段させる施策に賛成できません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 527 | 私は横浜ⅠRの方向性に対して大反対しているものです。大好きな横浜をカジノ建設によってカジノによるギャンブル依存症者が増加し「ホームレス」が増加し、そしてまた性風俗の問題も生まれます。私は山下公園付近のあの風景をカジノで壊すわけにはいきません。ギャンブル依存症の怖さも知っていますか。そもそもそして依存症者の増加によって得たお金、賭博によって設けたお金で横浜市の施策を考え方にはどうしても賛成できません。既に決定してこのパブリックコメントも形式的に行っているのかもしれませんが。しかし、今一度立ち止まってギャンブル依存症について学んでください。学んでます。だからそのためにもしっかりと対策費を考えていますというのでしょうか。それはギャンブル依存症者が生まれるということを確認していることです。私は絶対反対です。そこから人間が破壊され、横浜市が破壊されていくのはどうしても許されません。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用して頂きます。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型ⅠRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型ⅠRが参考としているシンガポールでは、ⅠRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 |
| 528 | 「世界最高水準の依存症対策」で市民の不安を払拭するとはとうてい思えない。カジノの区域は、ⅠR施設全体の延床面積の3%以内といわれるが、ⅠR施設の面積が大きくなればなるほど、カジノの床面積も広がることになり、この基準は規制を意味するものとはならない。また、週3回といっても、1回の入場で24時間の滞在が可能なため、1週間に5日はカジノに行くことができる。これが「世界最高水準の依存症対策」といえるのでしょうか。ギャンブル等依存症対策基本法に基づく神奈川県のカジノ等依存症対策推進基本計画が策定され、重層的／多段階的に、国、自治体、ⅠR事業者がそれぞれの役割によって、規制の取り組みを担うことが謳われている。しかし、カジノの設置により依存症の人が確実に増えることは、国や専門家の中でも共通した認識となっている依存症者を増やす可能性のある事業を誘致し、一方で対策を進めていくというマッチポンプな取り組みは理解しがたい。もっともカジノ設置に関係なく、ギャンブル等依存症対策は喫緊の課題であり積極的に取り組んでほしい。入場料の6000円はターゲットとなる中間所得層、富裕層からみればハードルにはならない。依存症が増えれば、失業や家庭崩壊による生活保護費が増加するほか、犯罪も増える可能性もあり、治安対策の費用も掛かることが予測される。依存症の1人に対してその周囲の何人にも影響が及ぶことになる。この素案にはこのような負の社会的コストが示されていないのも問題だが、あえて「依存症対策」を必要とするカジノはつくるべきではない。しかし、上記にも書いた通り、ギャンブル等依存症対策については早急に実効性ある取り組みを求める。 | 参考 | 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。<方向性P.69、73、77> |
| 529 | 横浜市にⅠR(統合型リゾート/カジノ)の設置は反対です。ギャンブル依存症を発症する人が格段に増加し、更に依存症者は重症化して、本人は勿論、家族、親族、職場まで巻き込んで、未曾有の不幸の連鎖を招く。これにより多くの不幸な人を作ってしまうため。 | 参考 | |
| 530 | 横浜市長へ問いたいです。そして言いたいです。『あなたの大切なご家族や親族に、ギャンブル依存症の方はおられますか?』『あなたの大切な家族がギャンブル依存症になってもよいですか?』『私達、依存症者を抱える家族は地獄を見てきました。そして今も地獄は続いているのです。』『ギャンブル依存症は誰でもなってしまう危険性をはらんでいます。』『私は、これ以上、この苦しみに陥る隣人を増やしたくないです。我々だけで十分です。』『どんな理由があろうと、“ギャンブル”は駄目なんです。』『“治安対策などの懸念事項への取組”“横浜市の依存症対策の取り組み”と書かれておりますが、“カジノ”が無ければこのような心配は無用です。』『簡単です。カジノは横浜には要らないのです。横浜はⅠRなどなくても、十二分に世界に誇れる観光都市です。』『横浜にカジノは作らないでください。日本のその他の候補地も然りです。』本当にギャンブルは要らないです。 | 参考 | |
| 531 | 何故、カジノだと魅力あふれる都市になるのか?その理由付けも弱い。カジノ依存症にならないための対策とか入場制限などするらしいが、いざ、売り上げが伸びなければ、入場制限も外してしまうのではないか。 | 参考 | |
| 532 | ギャンブル依存症を増やして、それに対して対策をするという考え方がそもそもおかしい。 | 参考 | |
| 533 | 他人の不幸の上に立った「にぎわいと経済効果」を市民は求めています。広報よこはま特別号では、1面のⅠRの説明で「民間事業者が、展示施設・国際会議場、ホテル、レストラン・ショッピングモール、エンターテインメント施設など、子どもから大人まで誰もが訪れ、楽しむことのできる施設と、これを収益面で支えるカジノ施設を一体的につくり、運営するものです。」としています。あくまでも、カジノ(博打場)が柱なのです。カジノ事業の収益の割合が高いということは、カジノにのめり込む客が多いという事に他なりません。つまりギャンブル依存症患者の増大化を招くことにもなりかねません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 534 | 日本に今まで無かった、日本人にとって新しいギャンブルであるカジノをやれば、「今までギャンブルには興味なかったけどカジノはやってみたい」という人が出てくると思います。ギャンブルをする人の全体数が増えれば、ギャンブル依存症の人の数も増えるはずですが、人々の幸福を考えても、医療財政の事を考えても、ギャンブル依存症の人をこれ以上増やしてはいいけません。カジノはやめてください。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 535 | カジノを山下に作るのは大反対です。楽しいカジノが地下鉄の駅近くに行けるのは非常に心配です。カジノに行きたい人は簡単に行ける場所にカジノができると思えばいいのでカジノに日常行くようになると思います。ギャンブル依存症の人が増加し、生活が破たんする人増えるのではないのでしょうか。税金がはいるとかギャンブル事業の雇用者がふえるとかわかっていますが社会的デメリットが多いのではないかと思います。一部の企業や一部の人の利益のために市民を食い物にするIR事業は横浜と横浜市民の将来に禍根を残します。ぜひカジノは横浜に作らないでほしい。 | 参考 | |
| 536 | カジノ反対。ギャンブル依存症の怖さを甘く見ている。ギャンブルで利益を上げたお金で、市の財政を潤してどうする。潤ったところで、あぶく銭である。お金の亡者の集まる町は怖い | 参考 | |
| 537 | ギャンブル依存症も広く知られているところで、これは特別な人になるのではなく、誰でもが陥る可能性をもっているのです。自分の子供に「カジノへ行って賭け事して来なさい」などと言いますか！自分の子供に自信をもって勧められないことを、なぜ市が率先してやるのですか？！美しい横浜を、誰からも愛される横浜を、創造発展させたいのであれば、カジノは排除してください。 | 参考 | |
| 538 | カジノがある限り、どんな予防対策を取ったとしても依存症者は必ず出ます。素案ではシンガポールのギャンブル依存症有病率推移のグラフが示されていますが、これは静岡大学の教授が指摘しているように、自国民にカジノをさせない政策が効果を発揮させているものと思われます。外国人客よりも日本人客が多いと推測される横浜の場合は、シンガポールの対策は適用できないでしょう。最も有効なギャンブル依存症対策は、カジノを作らないことです。 | 参考 | |
| 539 | ギャンブル依存症の対策を進めるということは、依存症が生まれるということが前提ということ。本末転倒です。横浜にはカジノは不要です。開港のまちとしての横浜の魅力を、さらに全国に知らせていくことを望みます。 | 参考 | |
| 540 | 博打の賭金を得る為には手段を選ばなくなる。その結果どうなるか。博打は本人を依存症に落とし込めるだけでなく、その日常生活、家庭生活、社会生活を破壊する。その悲劇は、本人だけでなく、その家族、勤務する会社、犯罪に走ればその被害者と家族にまで及ぶ。それらの悲劇をギャンブル依存症対策などのきれいな事で救えるわけがない。 | 参考 | |
| 541 | お母さんがパチンコ依存症になった家庭、お父さんがアルコール依存症になり家族が激しいDVにさらされた家庭などに会ってきました。ギャンブル依存症は、コロナどころではない怖い病気で、人生も家族も破滅に導きます。「依存症対策に税金をつぎ込むから、IRを誘致しても大丈夫」などと官房長官をはじめ政府の方がおっしゃるのを聞いて、「正気の沙汰か！」と思ってきました。 | 参考 | |
| 542 | ギャンブル依存症になってしまったら患者本人だけではなくその人の家族、友人をも不幸のどん底に落とすこととなります。不幸な市民が増えてもいいのでしょうか。 | 参考 | |
| 543 | カジノで懸念されることは沢山ありますが、その一つは「ギャンブル依存症」です。とりわけ日本ではこのような依存症になってしまったら「自己責任」、「意志が弱いから」、「自業自得」などと言われ、社会的責任として依存症の治療にあたることはこれまででもなかったように思います。ギャンブル依存症に関して市はどのようにお考えでしょうか。入院治療施設やカウンセリング体制の整備は考えていますか。カジノを合法化している国ではこのような患者を精神疾患患者としてケアするために対策を講じています。しかしながらこのような対策として予算を組んでまでカジノをやること自体が誤りであると私は思います。ギャンブル依存症になってしまったら患者本人だけではなくその人の家族、友人をも不幸のどん底に落とすこととなります。不幸な市民が増えてもいいのでしょうか。儲かるのはカジノ業者だけです。 | 参考 | |
| 544 | ギャンブルで人をカモにし、依存症者とその家族・子ども達を困窮に陥れて社会から置き去りにし、地域を貪り他にやるカジノは、最も持続可能性のない産業と世界で揶揄されているのに、否認している。 | 参考 | |
| 545 | IR反対ですギャンブルには反対します誘惑に勝てない人間近くにIRはありません | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 546 | お母さんがパチンコ依存症になった家庭、お父さんがアルコール依存症になり家族が激しいDVにさらされた家庭などに出会ってきました。ギャンブル依存症は、コロナどころではない怖い病気で、人生も家族も破滅に導きます。「依存症対策に税金をつぎ込むから、IRを誘致しても大丈夫」などと官房長官をはじめ政府の方がおっしゃるのを聞いて「正気の沙汰か！」と思ってきました。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 547 | 現状であっても日本のギャンブル依存症者は諸外国に比べて多いが、わが国へIRを導入にあたり作られたギャンブル等依存症対策基本法において、初めて公的な取り組みが始められたところである。その効果も確認できない中、新たなギャンブルを作るということは極めて危険なことである。 | 参考 | |
| 548 | 横浜IRに反対し、誘致の撤回を求めます。なにより大量のギャンブル依存症が出てしまうこと、治安が悪くなるのが心配です。そもそも依存症者が大量に生まれること前提の事業に乗り出す姿勢に疑問を覚えます。 | 参考 | |
| 549 | 一番の依存症対策は、依存症者を生むカジノIRをつくらないことであることは明白です。 | 参考 | |
| 550 | 「横浜IRの方向性(素案)」では、24ページにわたってギャンブル依存症についての対策が記載されています。カジノは依存症の人がいなければ多くの儲けを出すことができないと言われ、そのためカジノの設置が新たな依存症患者を生み出すことは確実なことから、このことに多くのページを割かざるを得ないものと思われます。何を言ってるんですか、と言いたいです。カジノを作るから依存症が増えるのです。最も有効な対策はカジノを作らないことです。横浜が、カジノのあるまち、になってしまったら・・・華やかな顔をして人をおびき寄せ、入ったら最後身を破滅させる悪魔のようなカジノのあるまちになってしまったら、私はもはや横浜に住んでいることを誇りに思うことは無いと思います。 | 参考 | |
| 551 | カジノを含むIRの誘致には強く反対します。客が負け、ギャンブル依存症になることで成立するビジネスモデルであるため | 参考 | |
| 552 | 高齢者の老後の資金を奪い、ギャンブル依存症を増やして借金まみれにさせ家庭を崩壊させるのが横浜市にとって必要な政策なのか？ | 参考 | |
| 553 | 何より子育て世代にとってカジノ利用による賭博依存症、貧困などによる治安の悪化は不安でしかありません。いくらフォロー体制を整えるとしたところで、風紀が悪くなることは目に見えています。子どもを育てるにあたり、今後の横浜への居住を見直さなくてはいけなくなります。 | 参考 | |
| 554 | カジノ誘致に絶対、絶対、絶対、絶対、絶対・・・反対です！！子ども達の将来が明るい未来であるために、横浜にカジノ誘致を絶対にさせるわけにはいきません。カジノと依存症はつきものです。外国ではカジノと依存症対策をセットで行っています。 | 参考 | |
| 555 | カジノのためにミスミスわかっているのに人間を依存症にして、依存症になった人のために医療費を投入する。また、治安の悪化も目に見えています。横浜のIRに遊びに行った若者達が、遊び心でふらふらとカジノに手を出すこともあり得ます。その結果借金を背負い麻薬密売や詐欺事件に手を染めることも・・・、人生を誤ってしまうことにもなりかねません。 | 参考 | |
| 556 | 連続する7日間で3日、28日間で10日(24時間単位)とのことですが、宿泊で滞在すれば28日間のうち20日滞在できるのは、もう住んでるのと同じですね。月に1回でも依存症にさせない回数と考えたら多いくらいだと思います。いろいろ対策案をあげていますが、ものすごいお金と人手と時間がかかるのがわかります。そもそもカジノがなければカジノ依存になるひとはいません。依存症対策に税金を使うよりも、依存者を作らないで(カジノを作らないで)、他のことに使ってほしいです。一度依存症になってしまうと、そのひとも家族も友人もみなずっと苦しまなければなりません。これから少子高齢化で働き手が減っていくのに、依存症対策に貴重な人材をまわし、依存症で働きたくても働けないひとを増やすのは得策とは思えません。 | 参考 | |
| 557 | カジノが特に絶対反対です。ギャンブル依存症で苦しむ利用者の方々を多く見てきました。 | 参考 | |
| 558 | 商売繁盛に欠かせないのが常連客(リピーター)ですが、カジノのそれはギャンブル依存症者です。ギャンブル依存症者を増やす一方での依存症対策は矛盾ですし、民営カジノの解禁は競馬・競輪などの公営ギャンブルの民営化にも道を開くことになりかねません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 559 | 横浜に統合型リゾートを誘致するのは反対です。統合型リゾートと耳障りのいい言い方をしていますが、その中にはカジノがあり、ギャンブルが確かに存在するわけです。ギャンブル依存症の保険適用を承認する前に、そもそも根本的なギャンブルを作らなければすでにひっ迫している保険をそんなものに適用しなくて済みます。違うやり方で、横浜の誇りを持ったやり方で市を運営すべきだと思います。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 560 | SDGsとの非整合(p.14)「SDGs未来都市・横浜」のビジョンに触れているが、横浜IRの誘致やカジノの設置は、SDGsの掲げる17のゴール・169のターゲットと相反する事項が多くある。3)すべての人に健康と福祉を(あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する)→カジノ依存症は明らかに健康的な生活を害するものである5)ジェンダー平等を実現しよう(ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る)→前例では、カジノに性商売がつきものとなっており、ジェンダー平等に反している | 参考 | |
| 561 | 日本ではギャンブル依存症が深刻な状況であり、いったんつくった施設を維持しようとするれば、現在想定されている利用者の制限などは関われる懸念が高く、市民にギャンブル依存による甚大な被害をももたらす危険があります。 | 参考 | |
| 562 | カジノの大きな施設をつくる目的は将来的にも財政のために必要という考えですが、市民の健康や人生が壊れてしまう可能性の高いIRの設置は反対です。例えばその割合が少なくとも、たった1人でも依存症になってしまえば、その方の人生が無茶苦茶になります。家族や周りの人間にとっての影響も大きなものです。 | 参考 | |
| 563 | この度のIR構想は横浜市長が最初に訴えていたものとは異なる方針である上に、これだけパチンコ屋が蔓延している日本国内にこれ以上のギャンブル依存者を増やす大きな要因となるカジノ建設に反対します。 | 参考 | |
| 564 | 依存症対策に膨大なリソースを割くとしているが、本末転倒である。 | 参考 | |
| 565 | カジノに関しては24時間毎の6000円の入場料が歯止めになるのか、かえって少なく6000円分は勝って帰らなくてはとってしまうのではないかとこれは依存症を作ってしまう。依存症の対策で一番効果のあるものは遠ざけてやらない事だ。子供やファミリーから隠さなければならないのも市民の豊かな暮らしと相容れない。全ての計画をもう一度見直してもらいたい。 | 参考 | |
| 566 | 「カジノ」によって、身を持ち崩し、全財産を失い、家庭が崩壊した人は世界中に大勢います。「カジノ」の掛け金は、合法的な公営ギャンブルの比ではありません。これ以上、身を持ち崩し、全財産を失い、不幸になる人を増やしたくありません。公営ギャンブル以上に危険極まりない「カジノ」には絶対に反対します。 | 参考 | |
| 567 | カジノの入場規制は全く厳しくはないし、ギャンブル依存症を減らす手立ては確立もしていません。それが無いのに、この素案が良いと判断することはできません。 | 参考 | |
| 568 | P30「依存症への総合的な取組」P61「過去1年以内の依存が疑われる者の割合；成人の0.8%」日本においてギャンブル依存症が疑われる割合は世界的に見ても非常に高い(10年以内で男性6.7%)と言われている。依存症が蔓延している状態でのカジノ導入は言語道断。P61「予防教育の実施(高校保健体育における啓発など)」そもそもカジノを導入しなければ良いだけの問題。現在でも公営ギャンブルや街なかのパチンコ店など、日本はギャンブルの敷居が低い国。P61「広告・勧誘の制限やカジノ内ATM設置禁止など施設内制限」場内における貸金は制限されていない。根本的な抜け穴。P61、68「日本人等への7日間で3回迄、28日間で10回迄の入場制限」1回24時間で週3回は、実質6日間カジノに入り浸ることができることを表す。週6日間、または1か月に20日カジノに滞在自体、重度な依存症以外の何ものでもない。P61「日本人等への24時間毎に6,000円の入場料」八景島シーパラダイスより少し高く、東京ディズニーリゾートより安い入場料に、賭博を抑止する効果は皆無。「反社会的勢力の関与への対策」ギャンブル依存症の人にお金を貸す闇金融や、入場規制で、カジノ外に出た人向けのカジノ周辺に闇カジノが作られることが必至。反社会的勢力の排除は不可能 | 参考 | |
| 569 | ギャンブル=悪というイメージが先行していますが、ギャンブルにどのような問題があり、対策はどういうものがあるかを知っている人は少ないと思います。横浜市では対策を講じると共に、市民への周知もお願いしたいと思います。そのうえで、健全な娯楽場の提供を期待しています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 570 | カジノにおいても、どれだけ対策を講じようとも負の側面をゼロにはできない。この負の側面は、人間の性（さが）に関わっているからである。完全にはコントロールできないことには距離を置くこと・・・「触らぬ神にたたり無し」は真つ当に生きる人間の知恵である。横浜市民の圧倒的多数はこのような良識の持ち主であるが故にカジノ反対が多いのだ。負の側面対策を強力に行うとカジノの収益が上がらない。カジノの負の側面は経済面だけではない。精神面、治安面を含めて「健全な社会を破壊」する。「健全な横浜市」が破壊されたときの被害者は一般横浜市民だ。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底してまいります。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 571 | IR計画の中にカジノができるかもしれないと聞き、身近になり、カジノに関わる事で、人生が狂ってしまう方が出るのが本当にいたまれないです。カジノがあることで、またひとつ心配の種が増えます。そのような無用な労力を使わずに横浜市で安心して暮らしたいです。世の中には、競馬やパチンコなど、それはたくさんギャンブルの誘惑があります。これ以上、その選択肢を増やしてほしくないです。 | 参考 | |
| 572 | IR事業は健全な市民生活を脅かすと考えます。パチンコでも中毒者は現在の新型コロナ騒ぎでも自制ができなくなっていると聞きます。中毒者の発生を防ぎ、中毒者対策も無いまま横浜市を汚さないでいただきたい。 | 参考 | |
| 573 | カジノを含む施設を「IR」と言い換え、如何に「安全策を講じた」と言い張っても、カジノの持つ負の側面を、小さくすることはできてもゼロにはできない。カジノにおいても、どれだけ対策を講じようとも負の側面をゼロにはできない。この負の側面は、人間の性（さが）に関わっているからである。完全にはコントロールできないことには距離を置くこと・・・「触らぬ神にたたり無し」は真つ当に生きる人間の知恵である。横浜市民の圧倒的多数はこのような良識の持ち主であるが故にカジノ反対が多いのだ。カジノの負の側面の穴を塞ぎ切ることにはできない。思いつく新たな対策を講じてもいたちごっこだ。負の側面対策を強力に行うとカジノの収益が上がらない。カジノの負の側面は経済面だけではない。精神面、治安面を含めて「健全な社会を破壊」する。「健全な横浜市」が破壊されたときの被害者は一般横浜市民だ。一度壊れた「健全性」を元の形に戻すのは何倍もの金と労力が必要になる。 | 参考 | |
| 574 | 素案冊子では、25頁に及んで依存症と治安対策が示されています。つまり、このボリュームで依存症の対策を考えなければならないほどの危険をはらんでいるのが、カジノ事業者の儲けの本質、IRの本質なのです。最適な依存症対策は、カジノを作らないことです。 | 参考 | |
| 575 | 横浜市民のカジノの負け分が2000億円程度期待されているようです。横浜市の説明による増収800～1200億円達成のためには、カジノ客全体で5000億円負ける必要があります。国外のカジノ客の負け分が半分としても、国内で2500億円、その殆どの2000億円くらいは横浜市民に期待されているように思います。40年間のカジノ負け分負担国の想定を示すべきではないかと思えます。週3回もいけるカジノ規制では不十分です。横浜市としても市条例で規制を強化できるようにすべきではないかと思えます。 | 参考 | |
| 576 | 今回の横浜市が計画しているIR計画に反対します。これは横浜市だけの問題ではなく、日本には必要のない事。特にカジノについては、大きな問題があります。絶対、建設には反対します。横浜市住民として計画には絶対反対します。 | 参考 | |
| 577 | カジノ誘致に反対します。子どもたちの健全な成長にカジノは必要ないと思っております。またこれ以上ギャンブル依存症患者を増やして欲しくありません。家庭崩壊、自殺、借金、などが増えると思えます。海外のカジノにみるように、経済への負担も気になります。 | 参考 | |
| 578 | 困難な依存症対策、カジノをやらないのが一番の対策。ギャンブル依存症対策も示されています。博打は、勝てば更に儲けようと、負ければ取り返そうと考えるでしょう。勝っても負けてもやめられません。依存症の治療は大変困難だと聞きます。家族崩壊、人間を壊される悲惨な事態を見たくありません。カジノをやらない、カジノがないのが一番の対策ではありませんか。横浜に、日本にカジノはいりません。博打は許されていません。高齢化で大変、市財政が逼迫と言っても許されるものではありません。デメリットが大き過ぎます。だから法で規制されているものではありませんか。カジノ構想は断念してください。横浜の歴史、文化などの観光資源も台無しです。横浜市民のためになりません。 | 参考 | |
| 579 | ギャンブル依存症は治りません。カジノを横浜に作ることで私達家族と同じ苦しみや悲しみを持つ人が増えると思うとカジノには絶対反対です。 | 参考 | |
| 580 | 教育、また、利用者のギャンブル依存症への懸念もあります。IR推進に、ものすごく憤りを感じています。今からでも遅くないので取り下げ計画を見直し、その金額を他の有効な用途へと考え直してください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 581 | カジノ・ギャンブルにより破産・多重債務問題が再び増加・一定の歯止めをしてきた部分もうやむやになる恐れがあります。ギャンブル依存症の増加、生活破綻・家族の崩壊・生活保護世帯の増加等々却って市財政の圧迫要因になります。第4に、ギャンブル依存症は、疾病であり世界保健機構でも精神疾患のひとつとされ、完治するのは難しいとされています。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 582 | オリンピックで外国からのお客さんを見込んでの対策だったのかはわかりませんが、国内ではギャンブルを当たり前な国、ギャンブル依存症を増やす危機など、リスクを考えなくてはならないと、住民を最優先に考えて欲しいです | 参考 | |
| 583 | IR誘致は反対です。自殺者が何名ほどになるのか、その自殺者の後ろに数十倍の自殺未遂者が控えているだろうこと、また自殺者と自殺未遂者の背景には巻き込まれる家族がいらっしゃり、結果もたらされる、貧困、失踪、家庭不和、虐待、精神疾患などが継代的な影響を及ぼすことへの心配をどのように考えているのか、予想される自殺者の数、自殺未遂者の数、経済的損失等を具体的に納得できるように示して頂きたいと思う。シンガポールの事例からギャンブル依存症対策をしっかり行えばギャンブル依存症は減るとの説明がされているが、十数年の結果から安心と予測しているのはいかがなものか。果たしてシンガポールの方法が横浜に適しているのかどうか十分な検証はできているのか。また、アクセスの良さがギャンブル依存症患者を増やすことは広く認められた事実であるが、アクセスが良くなければ集客を見込めないという矛盾、親子が楽しめるIRの収入の多くが親がカジノで負けることによるという矛盾をこころにとめ、受け入れるには違和感が大きい。 | 参考 | |
| 584 | 安全・安心対策の横浜モデルの構築と依存症対策・20頁以上ギャンブル依存症対策を述べている。素案の5分の1もの長い記載は、カジノIRがギャンブル依存症を惹起させる危険が高いと了解している証拠だが、記述は漠然とし、何ら実効性のある具体的な対策がない。ギャンブル依存症になってからの早期相談・治療・支援の二次予防ばかりであり、一次予防はほとんどない。一次予防にはギャンブル施設をなくす環境設定こそ重要だが、実効性の乏しい漠たる啓発・教育ばかりである。しかもこれからギャンブル依存症に伴う様々な社会的問題の実態調査をするという。本来は実態調査を終えてから、市民に提示した上で、カジノIR誘致の検討を市民参加でしていくべきものである。カジノの床面積はIR施設の総床面積の3%以下とするが、高層建築で総床面積は山下埠頭の敷地面積の何倍も拡大されるので、大きなカジノが造られる。実際、横浜IR展で、設計業者が47haの埠頭に対し、総床面積100haで計算し、さらに大面積が可能と示唆していた。・「カジノ事業者等に関する広告物は、空港・港湾等の旅客ターミナルのうち外国人が入国手続き等を完了するまでの部分に限定」とするが、CM等のメディア規制はない。シンガポールや欧州ではCM規制がある。・「入場回数を連続する7日間で3回、28日間で10回に制限」とするが、カジノは24時間営業で1回24時間入れる。24時間いたら既に依存が強い現われもある。24時間はのべ2日にまたがるので、3回は6日分になり、1週間ほば入り浸りである。「特定資金貸付業務」を他の金融業者にさせずカジノ事業者にさせるのでは、かえって借金してのギャンブルへののめりこみを促すことになる。カジノ内へのATMの設置禁止をしても、カジノを出て直ぐのところにはATMを設置されたら規制にならない。最大のギャンブル依存症対策の一次予防は、カジノを造らないことである。 | 参考 | |
| 585 | 上位計画・SDGs未来都市をカジノIRに結び付けるが、ギャンブルで人をカモにし、依存症者とその家族・子ども達を困窮に陥れて社会から置き去りにし、地域を貪り他に移るカジノは、最も持続可能性のない産業と世界で揶揄されているのに、否認している。 | 参考 | |
| 586 | 「IRの方向性—基本コンセプト—横浜IRの方向性」の項目で、「依存症対策」を「治安対策」よりも前面に出したのは、多様な人が集まるMICEの中でもカジノに大きな関心があるということの現れですね。「依存症対策」をIR整備法で雇字掘めにしたいところですが、来場者の6～8割を占める日本人客をその様に扱うことはカジノで多額の負け金を収める日本人が少なく成ることに繋がります。それを、受入れたらカジノはやって行けませんし、横浜市に入るおこぼれも目論見通りにならないでしょう。となると、カジノ整備法はカジノ外での施策のみ行う結果になって、ここに掲げる理想論は骨抜きになるでしょう。そこまでの検討はこの計画を通すまでではないということでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 587 | 「横浜ⅠRの方向性(素案)」では、かなりのページが、カジノへの「世界最高水準」の対策・管理云々で示めされています。なぜ、膨大な費用をかけてそれほどの対策・管理が必要なのか。それだけ、カジノの持つ負の効果が大きいからでしょう。合法カジノは市民の賭博参加へのバリアーを下げるだけです。多額の投資を得て、バリアーを下げて賭博への参加の対象を広げ、収益増をはかる一方で、多額な費用をかけて賭博参加を制限し、負の効果への対策を施すというのは、「矛」と「盾」の矛盾そのものです。まともな自治体の取るべき施策ではありません。自治体を賭博の胴元に、あるいは、胴元との利益協団体に変質させることです。横浜ⅠR推進は停止、撤回すべきです。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型ⅠRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型ⅠRが参考としているシンガポールでは、ⅠRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 |
| 588 | 賭博行為がなぜ犯罪か。市民社会の規範をこわす性質(反社会性)があるからです。副次的に暴力、窃盗、また、頹廢行為や依存症の病を誘発する性質があるからです。合法カジノは賭博にオブラートをかかけるだけです。止めてください。カジノの金銭を賭ける賭博性をなくすことなしに、犯罪対策、病気対策は効果がありません。 | 参考 | 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。<方向性 P.69、73、77> |
| 589 | これまでの山下ふ頭再開発とは不連続のカジノ付きⅠRへの転換は、国が決定する特定区域に限定してカジノを合法とする制度決定が転機とされます。しかし、その制度でカジノが賭博でなくなったわけではありません。どれほど管理・警察体制をとったとしてもカジノは賭博です。諸々の犯罪行為を誘発し、人格の病(依存症)を喚起するものです。横浜市民の理解をえられるものではありません。 | 参考 | |
| 590 | 賭博は犯罪であり、「社会的法益」を犯す行為としての刑法上の認識に変わりはありません。そうであるが故に、「合法」とされるⅠR区域内施設のカジノ賭博場については、「管理」を徹底する必要が不可欠となっているのです。賭博の限定合法化は管理の実施を不可欠の要素とするという限りで成り立っているとも言えます。市長は、「世界一厳しい管理」と言わざるを得ないのです。そうしたカジノは賭博(ギャンブル)依存症への危険を持たないのでしょうか。「社会的法益」、「個人的法益」を犯すことはないといえるのでしょうか。「低減」の努力はすれども結局は「自己責任」に転化される。つまり、カジノが刺激の強い賭博であり、反社会性、人権侵害性の認識を持たなくてもいいほどに合法カジノは無害化されている、ということではないのです。むしろ、カジノをあたかも一般的なゲームと思わせ、参加のバリアーを低めることで、負の影響を飛躍的に拡大させるの恐れが強いものです。日本にはカジノ免疫は出来ていないのです。考えなおすべきです。 | 参考 | |
| 591 | 横浜ⅠRの方向性(素案)では、カジノによる依存症に対する対策に多く言及されています。依存症は一つの病気です。賭博ウイルスに由来する感染症といえるものです。それは、カジノ賭博という刺激性の強い賭博だけでなく、すでに合法的存在になっている競輪競馬など公営賭博でも、当てはまります。もちろん、個々の、耐性やモラル、自己責任の問題がないわけではないにしても、賭博ウイルスは、それらをこえて、賭博を体験・接触するものは誰でも病気になる、という見方が重要ではないのでしょうか。そうしたリスクについての厳しい認識を欠いて、管理対策さえすれば、大丈夫、それでもかかるとは自己責任という立場は、そういう人の確保拡大がカジノ賭博事業の増収源という事業モデルと容易に結びつくものではないのでしょうか。横浜ⅠRにカジノを持ち込むべきではありません。 | 参考 | |
| 592 | 少子高齢化の日本で、カジノの導入はとても危険です。実際に、貯金を全て使い果たし、年金が振り込まれるたびにカジノに向かう、高齢者夫婦を知っています。カジノ誘致は百害あって一利ないと断言できます。私の主人は、一時期カジノで働いていたことがあり、その主人の話では、本当に、良い事一つもありません。カジノ誘致は、横浜のためにならないと確信しています。どうか、ご再考ください。横浜を守って下さい。 | 参考 | |
| 593 | 私は横浜市にカジノが出来ることには反対です。なにが悲しゅうて、「金がないから賭博場開きます」という政策を取るのですか? 「世界最高水準」「今までにない」など、言葉はいいですが、カジノは所詮は賭場です。賭け事です。誘致をやめてください。 | 参考 | |
| 594 | ⅠRのカジノは(安全安心・合法)、世界でも最高水準の規制管理がとられると喧伝されています。しかし、ⅠRカジノがいかに合法とされても、いかに厳しい管理規制のもとに置かれても、カジノが賭博であること、区域の一步外に出れば、カジノの賭博行為は、そのことで手が後ろに回るものです。ⅠR事業の負の面に眼をつぶることは自治体の自己否定につながります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 595 | 横浜IRでのカジノ事業に対する「管理水準」は「世界最高」とされるが、いったいなにをもって、「水準」に達しているというのですか。IR整備法では、カジノ施設への入場料、6000円、入場回数制限としては、連続する7日間での入場回数は3回まで、連続する28日間での入場回数は10回までとされています。マンナバー提示などもあるが、これが、いかなる意味で、「世界最高」水準の「入場規制」といえるのでしょうか。また、その基準でどのような効果が期待されているのでしょうか。依存症対策のための制限というならば、制限の枠内の行動だけで、十分、依存症的な行動というものではないか。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ |
| 596 | 今回、日本でカジノ合法化は、限られた区域においてです。そのことは賭博行為に参加する社会的バリアー（壁）を低くしたといえませんか。その結果、賭博依存症のすそ野を広げることにならざるをえなくなった、といえるのではないですか。住民福祉をこそ旨とする自治体の本旨にそむくことになりませんか。止めるべきです。 | 参考 | |
| 597 | 週3回などの制限などは、それだけで十分依存症的です。 | 参考 | |
| 598 | 合法カジノは、カジノの賭博としての性質を排除するものではありません。様々な、管理を厳しくして、違法性を阻却（そきやく）する環境を整備しても、カジノ行為の体験は、賭博経験に外ならないのです。ギャンブル依存症の爆発的発症を意図することになるのではないかと。こうした事態に、市長はどういう責任をもつことが出来るのでしょうか。それは、IRを誘致した自治体の責任ではなく、賭博業者の責任というべきなのではないかと。 | 参考 | |
| 599 | カジノには大反対です！！この計画にはがっかりしております。カジノの利益は市民・国民の損失の上に成りたつものですしギャンブル依存症には市大病院で治療をと言っていますが、これはおかしな話です。病人をわざわざ作って病院で治療ですか？！住民の健康や生活を守る自治体の考え方と真逆ではないですか？その予算はもっと別な重要な方へと願います。 | 参考 | |
| 600 | 心配のカジノのギャンブル性はみんなが心配しています。市民の不安に配慮していません。カジノ中止の世論が圧倒的です！ | 参考 | |
| 601 | カジノは依存症製造装置です。依存症をつくらないためにもカジノはいりません。 | 参考 | |
| 602 | 横浜市にリゾートができるのは、うれしいけど、カジノで頭がいっぱいになる人が少ないといいです。 | 参考 | |
| 603 | 横浜の飛躍と市民が豊かになるのであれば賛成ですが、カジノが入る事により市民が借金する様では逆効果なのかな、とは思います。パチンコよりひどい事になると感じしておりますので、その対策をしっかりとしてから話を進めて下さい。 | 参考 | |
| 604 | 横浜市民等の負け想定分は少なくとも2000億円その場合の負の影響は計り知れないその場合、負けた分国内消費が減少することになり、横浜市の経済効果はマイナスになります。さらに負けた人の自殺等で港横浜のイメージはダウンします。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々は節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。 このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存ギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。 本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、73、77＞ また、IR整備法では、 ・カジノの粗収益（GGR：かけ額と配当額の差額）の30%を国と設置自治体に納付すること ・カジノの収益を、先行投資したIR施設の建設費の償還や、MICE施設等のIR施設の運営に充てること ・IR事業者は、長期的にIRの魅力を維持し続けていくため、カジノによる収益を再投資し、IRの事業内容の向上やIR整備計画に関する施策への協力を充てるよう努めなければならないことが義務づけられており、カジノの収益が国内に還元される仕組みとなっています。 |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 | |
|-----|--|------|---|--|
| 605 | 賭博は、個人ですれば違法行為です。横浜で育つ青少年に対して、市を支えている財源が、「カジノがなければ成り立たないIR」であることを、健全な倫理観（コツコツと努力を重ねて成功をしていくことに価値を見出すこと）に照らして、どのように説明しますか？大人として基本的に、子供に説明できないことをしてはいけません。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。多くの方々には節度を持ってこれらを利用されています。一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。</p> <p>このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>また、本市においては、アルコールや薬物等の依存症対策を含め、関係団体・機関とも連携しながら、総合的に取り組んでいきます。＜方向性 P.69、73＞</p> | |
| 606 | 私はアルコール依存症者の支援団体にかかわっています。最近、薬物と並んでギャンブル依存の人達も増え続けています。横浜市は、依存症者大量に増やし、そこからのアガリで行政を運営するつもりですか？他自治体においては誘致撤回や断念を表明するところも増えてきました。横浜市も、素案を撤回し、誘致断念を表明して下さい。 | 参考 | | |
| 607 | カジノ反対！！たばこや麻薬と同じように、危険性・中毒性のあるカジノは絶対にやめるべきです。この際に言いますが、パチンコ店を無くしてほしいのとカジノも、たばこも、麻薬も、毒です。 | 参考 | | |
| 608 | 横浜IRに賛成。ギャンブル依存症は、依存のターゲットになるパチスロやカジノができると増える、なくなると減る、というものではない。何かに依存しないとやっていけない社会的な背景が減るかどうにかかっていると思う。社会的な背景が改善されなければ、依存のターゲットをお酒や薬や他のギャンブルなどに移していくだけだ。 | 参考 | | |
| 609 | シンガポールでギャンブル依存症患者が少ないのは、国民をカジノに行かせないように誘導・指導しているからです。どんなギャンブル依存症対策をしても、分母（来場者）を増やせば分子（依存症患者）は増えてしまいます。いまの「依存症対策への取り組み」案で、依存症の人は、本当に増えないと思いますか？日本はすでに世界有数のギャンブル依存症大国です。それに、カジノを加えるならば、状況はますます悪化することは火を見るよりも明らかです。それでも、依存症の人は増えないと言い切れますか？それに、ギャンブル依存症の怖さを理解していません。依存症とは、治らない病気なのです。薬物もギャンブルも共通です。回復・改善はしても治癒はしないということです。つまり、依存症対策をいくらやっても、いつ再発するかわからないのです。そのためには、ギャンブルをやる機会を減らすしかありません。それなのに、なぜカジノを導入するのですか？しかも、ギャンブル依存症は回数を重ねるからなるものではありません。なる人は、1回でもなってしまうそうです。以上の、依存症というものの真実・怖さを理解していますか？ | 参考 | | |
| 610 | IRの推進で、ギャンブルや薬などの依存症対策が進んで、欲しい。 | 参考 | | |
| 611 | 横浜IR構想に反対です。カジノは絶対に認められない。依存症対策、反社会的勢力の増長、市財政の不安定化、青少年への悪影響など、マイナス要因があまりにも大きく、“カジノに依存する街・ヨコハマ”は将来破綻することが予想されるからです。現在のIR構想は断念し、あらためて臨海部の再開発に向けて、50年後、100年後を見据えたアイデアを市民から募ることが望ましい。子ども達に50年後の横浜の街づくり「夢のあるまちヨコハマ」をテーマに意見募集を行ってほしい。愛するヨコハマのために！ | 参考 | | <p>日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。</p> <p>しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。</p> <p>日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。</p> <p>横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性 P.69、77、83＞</p> |
| 612 | カジノにおける人や街に対する被害の大きさについて。カジノを生み出すことによって人や街の風紀への甚大な被害の大きさについて考察して欲しいです。依存症においても、カジノという性質から引き寄せる人間の質が反社会勢力など「横浜市イメージ」の質の低下を呼び寄せ、将来性が無い街に作り変えられる危険性があります。インターネットが普及していく時代に横浜市に住む理由を考えると治安が重要だと考えます。人を呼び寄せ税収を増やしたい目的があるならば、カジノという案は方向性が違うと感じ、カジノ推進している人達の考えを一変出来るアイデアを募った方が、これからの横浜市の未来を考えて、いいと思います。 | 参考 | | |
| 613 | 絶対に絶対に反対です。賛成の人がいるなんて信じられません。カジノ＝パチンコは麻薬と同等の悪です。中毒になった人は、人間の本能に由来するものですから、めったやたら治りません。すべてを使い尽くし、破壊し尽くすという悲惨な決果を招きます。横浜を、汚れた、いやしい町にしないでほしいと思います。文字通り貧すればドンするですね。 | 参考 | | |
| 614 | 横浜IRに関しまして色々な取組はとても良い事だと考えられますが一点「カジノ」だけは反対です。カジノは様々な問題を引き起こしますので、絶対にやめていただきたいと思っています。 | 参考 | | |
| 615 | 多分、いい子育ての環境や家庭はこわされ、いい教育環境はそこなわれるだろう。 | 参考 | | |
| 616 | 私の認識では、横浜＝港町ですが、IR構想が実現すると横浜＝カジノ（賭場）となります。イメージダウンが著しく、カジノを含むIRには反対です。横浜の将来を担う子供達にも悪い影響を与えます。もし、IRが完成するなら市外への転居を考慮しています。 | 参考 | | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 617 | 成功するか分からないことに賭け、多くの市民の生活を壊してしまうカジノをつくるのではなく、横浜のこれまでの環境を壊さず、子ども達が未来を描くことができ、市民全員が安心して生活できる環境を、市民と共に地道につくっていくことを要望します。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.69、77、83＞ |
| 618 | 今、新聞の連載小説で大賭博場、賭博者の心理が巧みに書かれていますが、横浜でやるのと同じと言っているわけではありませんが非常に恐ろしいものです。築きあげた地位も財産も失いかねません。元自民党県連会長の“カジノ反対”を読んで未来のハマっ子達への愛を強く感じました。子や孫の世代にできるだけ良いものを残すのが政治家、市民の義務です。 | 参考 | |
| 619 | 健全なカジノというのはいり得なく、不健全そのものである。恥ずべき負の遺産IRカジノに反対します | 参考 | |
| 620 | 事業者に対する背面調査は厳格にやってください。 | 参考 | |
| 621 | 不道徳な考えは、青少年の教育にも悪い。 | 参考 | |
| 622 | 海外から人々がカジノに入場する事は横浜のイメージと共に人々が若者が特にギャンブルに興味を持ちます。税金のむだ使いで有利になる事はないと考えます。 | 参考 | |
| 623 | 統合型リゾートの創設は結構ですがカジノは社会的に有害なものであり、絶対反対です。 | 参考 | |
| 624 | 収益シミュレーションにしてもどの程度の信ぴょう性があるのかな？はじめてのことでいいことはやっても良いが「ギャンブル依存症」「街をぶち壊す」カジノなんて絶対NGである | 参考 | |
| 625 | カジノの問題があがってからは、初めから反対です。市長は観光（旅行者）のみ見つめて、大きな財源の様な事を云っている様ですが、当然日本人も遊び（一定額）ではおさまらない様な気がします。当然ながら心持良く賛成できません。昔から「カジノ」は、依存症と治安が守られないと思います。決まって町を汚染する事には、反対です。 | 参考 | |
| 626 | 日本一美しい街の横浜は、外国の人達が喜んで来てくれますギャンブルで潤う金銭感覚はまともな人の考える事ではありません！！その結果、依存症、アルコール中毒者、浮浪者をうみだす事になり治安は悪くなり、観光客も減ります。 | 参考 | |
| 627 | 不安だけが大きいです！！ | 参考 | |
| 628 | 市長は賭博の恐ろしさを知らない。本人と、その家族の苦悩と失望感は大変なものと思う。もっと良い方法を考えた方が良いと思う。治安の悪化も恐くて本牧方面へは、行かれなくなると思う。 | 参考 | |
| 629 | カジノ抜きでのIRを進めるべきです。ギャンブル依存症や議員収賄容疑、更には反社会的勢力などなど、不安要素、マイナス要素の多い、カジノに安易に頼るのは良くないことです。 | 参考 | |
| 630 | 市全体の子供達のことを考えてるのは大人達でしょう。どうしてカジノと云う危険なことをやるのはどうしてもやめてもらいたい 市民の生活を充分考えて絶対反対している | 参考 | |
| 631 | カジノには絶対反対です。依存症患者をふやし、治安を悪化させ、美観と観光をそこね、それを横浜市として推進することに常軌を失しているとしか言いようがありません。市民を思いやる心を、市長、推進派議員、そして職員に求めます。 | 参考 | |
| 632 | 横浜市の計画している横浜IR（統合型リゾート）計画に断固反対します。よく山下公園まで散歩に行きますが、山下埠頭にカジノ施設ができて、周りの風紀が悪化する事を懸念しています。なぜ横浜にカジノが必要か理解できません。横浜には港町としての歴史、伝統があります。カジノ施設はそのような横浜に魅力をぶち壊してしまいます。 | 参考 | |
| 633 | 絶対反対です。環境に悪い事は目に見えてもわかるでしょう。子供達の事をもっと考えてほしいです。住みやすい横浜を守るために反対です。 | 参考 | |
| 634 | 世界中で、「カジノ」利権で、一見華やき、「マネー」が動き、豊かそうに見える、マカオ・江原・ラスベガスなどは結局は、そこには、裏社会の人たちの暗躍する場をもうけ、風族や金貸業が盛え、また、依存症で苦しむ人々を生み出す「負の連鎖」しかないところに、どうして豊かな街としての未来が見い出せるのでしょうか。 | 参考 | |
| 635 | 日本人のIR依存者の増加。賭博場の雰囲気や借金を重ね、まるで麻薬常習者の様に精神異常をきたすが目にみえています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 636 | 横浜カジノは反対です。長年横浜に住んでますがとても良い所です。カジノで横浜はこわれます。絶対反対です。カジノ横浜にはいません。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからは、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。＜方向性P.69、77、83＞ |
| 637 | カジノは絶対反対です！！横浜市が滅びに向います！ | 参考 | |
| 638 | カジノ周辺の防犯、性風俗の影響、売春や「やくざ」の介入など対策費や、周囲の住民への影響をどう思っていますか？ | 参考 | |
| 639 | 公務員たる市長自らバクチ、を含むIR、青少年の健全育成は、どうなっているのか。カジノは絶対やるべきではありません。 | 参考 | |
| 640 | IRにカジノを入れてはいけな。絶対に反対。「カジノ」と聞くと、ちょっとおしゃれな感じがあるが、要するに「賭博場」のことだ。 | 参考 | |
| 641 | 反社会的勢力の介在による治安の悪化、青少年への悪影響を増やす | 参考 | |
| 642 | 素案に反対します。カジノを前提とした都市作り、子供たちの健全な育成に間違った方向であり、そのような都市に魅力は感じません。誘致された場合は横浜市からの引越を検討します。 | 参考 | |
| 643 | カジノができるとその周囲には、文無しになってしまった人が現金をこしらえようとするための質屋街になり、腐れていく。景気が良い時は良いかもしれないが、景気が悪くなれば、どんどん腐れ、そこに投資した金は無駄になる。育った町がカジノに薄汚れたところになるのを見るのは忍び難い。 | 参考 | |
| 644 | 統合型リゾートにカジノ併設は断固反対します。ギャンブル依存症の増加により非合法組織の活性化や犯罪の増加、治安の悪化が予想されます。 | 参考 | |
| 645 | カジノ依存症のみクローズアップしているが、他もあるのでは。特にカジノでの、お客さんとのトラブル時の対応をどうするのか。アメリカのラスベガスでは、カジノにはマフィアの用心棒が必ずいると聞いていて、暴力団を排除すると言いつつ、結局必要となるのでは無いか。 | 参考 | |
| 646 | カジノは横浜を壊します。素案は撤回すべき。 | 参考 | |
| 647 | カジノは、ギャンブル依存等の依存症の問題を深刻化し、治安問題といわれる反社会勢力・暴力団や性産業が暗躍する場となるなど多くの問題が指摘されています。 | 参考 | |
| 648 | ギャンブル依存症対策も市立大学医学部に丸投げ。制限も1週間に3日ではほぼ「入り浸り」です。治安悪化に備える、マネーロンダリングに利用されないようにするといった具体的な方策はあげられていません。大体において依存症対策も治安対策もマネーロンダリング対策もカジノさえ作らなければ全く不要ではありませんか。 | 参考 | |
| 649 | 横浜の未来にIRは必要無いです。カジノは明るい要素が無く怖いので誘致に反対です。 | 参考 | |
| 650 | カジノの設置により破壊される市民の安心・安全は計り知れないものとなる。カジノは異常な消費行動であり、まっとうな生産行為でもない。すでに国内ではIR誘致にまつわる贈賄が生じている。カジノ事業者に対する法規制を整備するとはいうものの、それが公正に適用されるか、はなはだ疑問である。SDGsは先進国と開発途上国のパートナーシップの観点からターゲットを定めているが、これを「行政と市民」や「行政と事業者と市民」との間のパートナーシップに読み替えると、現在の横浜市の対応は、相互のパートナーシップを構築しているとは決して思えない。 | 参考 | |
| 651 | セキュリティや依存症への対応、暴力団の排除等、「クリーンなカジノ作り」には力を入れて対策を行うべきだと思います。 | 参考 | |
| 652 | IRは国策によってIR区域内にカジノの設置を認めました。反社会的勢力の浸透・侵入を断つ様々な対策や、依存症を避ける様々な制限などが用意されるようですが、〈賭博ウイルス〉を根絶するものではありません。むしろ迎え入れが前提になっています。その限り、効果的対策は期待できません。カジノの媒介する〈賭博ウイルス〉の根絶は厄介です。〈賭博ウイルス〉は「金」に宿ります。IRカジノでは、「金」を掛ける賭博は行わないことを求めます。反社会的勢力や依存症対策にとって、もっとも有効な措置です。 | 参考 | |
| 653 | IRの場合、カジノウイルスとそれの付随する、反社会的勢力の浸透が危険視されます。この点では「世界最高水準」の対策・管理の体制をとっています。しかし、カジノウイルスは、接触を断つ、集団感染の場を作らない。これが原則です。この原則を踏み外したところで、山下ふ頭を含む横浜臨海部が、外国の人々にとっても訪ねたい〈憩いの場〉として実現されることはあり得ないのではないのでしょうか。見直しを求めます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 654 | 横浜IRの「方向性(素案)」は、事業効果の負の面をなにごとに一つ思いめぐらすことをしていません。カジノ賭博は、一種の、社会的ウイルスであり、それは、健康な市民社会の社会規範やモラル、ひいては、賭博依存症という感染症の発症を媒介し、賭博行為を行う人の人格をも変質、崩壊させる麻薬とも同質の危険を持つものです。とくにカジノ賭博の免疫を持たぬところに、一時的にせよ爆発的に広がる危険を持つでしょう。対策は、ウイルスを持ち込まないこと、限られた場所に封じ込め接触を断つこと、賭博場を作らない、開かせないことです。合法カジノ導入は、それは真逆の選択です。「方向性(素案)」には、カジノの負の効果について、対策・警備が記されるだけで、負の効果の本質についての認識(危機認識)がありません。或いは、あまりにも希薄です。 | 参考 | 日本では、過去の映画などの影響により、カジノには反社会的な勢力が関与しているといったイメージがあり、現在の横浜にそぐわないのではと思われる方も多いと思います。 しかしながら、現在の海外におけるIR事業は、事業者に対して日本の金融機関と同様の財務の透明性が保たれ、反社会的勢力の関与や役員による違法・不正行為がある場合には規制の対象となります。 日本型IRにおいても、IR整備法で、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により入場制限が設けられるなど世界最高水準の規制が施されています。 横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに、世界各国の人々が、日本に行ってみよう！日本に行くなら横浜に行ってみよう！そう思ってもらえる『横浜イノベーションIR』を目指していきます。<方向性P.69、77、83> |
| 655 | 賭博がなぜ犯罪なのか。賭博行為には市民社会をこわす反社の性質があるからです。近年では依存症の病を誘発する性質が問題になっています。「安全安心の賭博」はありません。合法カジノは賭博にオブラートをかけた「毒まんじゅう」というべきものです。あり得ません。止めてください | 参考 | |
| 656 | カジノ行為の〈賭博らしさ〉は、「金銭の得喪を争う」ことにあります。その点を「無」にすることなしに、カジノ行為の反社性格は消しようがありません。それを行わず、むしろ、助長しながら、その効果を抑制する犯罪対策、依存症対策は矛盾です。結局、効果がありません。観光娯楽施設として「カジノ」が不可欠というならば、「カジノ」風ゲームセンターでもつくったらどうですか。 | 参考 | |
| 657 | カジノ賭博という行為と施設の反社会性について、横浜IR推進においても一度立ち止まって、議論を尽くすべきです。賭博をめぐって、IR法の制定にあたって、賭博が「〈怠惰浪費〉(勤労美德の侵害)〈犯罪性〉〈国民経済への対立性〉」といった性質においてとらえるのではなく、合法化、制度化にふさわしい性質においてとらえ直すというような積極的な議論はほとんど聞こえてきません。せいぜい、IR法を準備した有識者会議の議論の中で、賭博で消費されるお金は、参加者の財産であり、財産を賭博のかけ金に使うかどうかはそれぞれの私有財産処分権に属する人権だ、その行使は自己決定権の問題、自己責任の問題であり、賭博を絶対悪として否定することはできない、という指摘のみられる程度です。しかし、それが、国家承認のカジノ賭博の合法化論の考え方になっている形跡はありません、指摘が出ただけで終わっています。 | 参考 | |
| 658 | 横浜市には、今でもギャンブル施設があるところが多く、さらにカジノができて、市外の人や市民から住みたい街と言われたり、子育て世帯が安心して暮らしたいと引っ越してくる街になるのでしょうか。私が小学生の頃、友だちのお母さんがギャンブル依存症でした。その友だちの生活の厳しさや切なさをずっと見てきました。ギャンブル依存症の方のお話を様々なところで聴いてきました。貴重な税金を使って、カジノの誘致はやめてください。横浜市の黒い歴史を作らないでください。横浜市の未来への舵取りは、皆さんにかかっています。再考、よろしくお願いします。 | 参考 | |
| 659 | 治安対策も打ち出されているのは良いことですが、そんな約束をしなければ守れないような治安だからカジノ自体を疑問視されているのでしょうか。 | 参考 | |
| 660 | 違法性を阻却された法令行為とされているそれらの行為につき現在、常習性及びそれに関連して生じているマイナスの憂慮すべき社会的経済的諸事象を決して無視してはならない。ヒトの本性は綺麗ごとでは制御できないってことは易く理解していただきましょう。経済効果という名目で本質を覆ってはならない。本来の賭博富籤罪の法益を確り理解してそれを無視した本末転倒した考え、施策は排除してもらいたかった。 | 参考 | 日本型IRが参考としているシンガポールのカジノ施設の従業員は、専門職として訓練がなされ、ラグジュアリーな内装やエンターテインメントのための施設・設備や飲食が調達され、通常のサービス業と同様の生産性を有しています。 これらカジノ事業の収益を活用して世界水準のMICE施設やホテル、エンターテインメントが一体となった、都市型のハーバーリゾートにふさわしいIRをつくりあげたいと考えています。 IRが横浜の新たな顔となり、国内外から多くの来訪者をお迎えし、インバウンド需要をしっかりと取り込み、観光MICE都市として確固たる地位を確立いたします。 |
| 661 | IRを導入する前に、市として充実させるべき喫緊の要件は現在山積みです。このような、インバウンド、ギャンブルからの入金を目指した再開発計画はあまりにも浅はかであり、横浜市の歴史的風土に汚点をしか残さない、有害無益な施設でしかなく青少年の健全育成においても、また中高年の趣味、文化構築においても毒害しか生み出さない反社会性をしか感じません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 662 | 健全なカジノってあるの？ | 参考 | <p>ⅠR整備法では、1回当たり6000円の入場料の賦課、7日間で3回、28日間で10回という入場回数制限、マイナンバーカードでの本人確認による20歳未満の者や暴力団員等の入場禁止、本人や家族などの申告に基づく入場制限など、厳格な入場規制が定められています。また、日本人のチップの購入は現金に限られるほか、カジノ内へのATMの設置が禁止されるとともに、予め一定の金額をカジノ事業者に預け入れている者以外はカジノ事業者から金銭を借り入れることができません。</p> <p>また、カジノ事業者は厳格な免許制となっており、不正行為等があった場合には、カジノ管理委員会が免許を取り消すことができます。</p> <p>カジノに起因する懸念事項としては ①ギャンブル等依存症 ②青少年への影響等 ③マネー・ローンダリング ④反社会的勢力の関与 ⑤地域環境への影響が挙げられています。ⅠRを設置する自治体は、ⅠR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされており、関係機関や事業者と連携・協力して、取り組んでいきます。</p> |
| 663 | 懸案（懸念）事項への徹底した取組で市民が安心、安全を確保できること！ | 参考 | |
| 664 | 安心、安全対策も絵に描いたもちの内容ばかりでむしろ不安になります。 | 参考 | |
| 665 | ATM設置については禁止ではなく、ATM引出額や、カード利用枚数、金額に上限を課す形の方が良いと思う。政府がキャッシュレス化推進している昨今に、大金を持って行かないとカジノが出来ないのはどうでしょうか。 | 参考 | |
| 666 | 素案では、ギャンブル依存症対策や治安対策に25頁近く割いていますが、これらは、カジノを作らなければ必要ないことです。青少年の成長にとってカジノがないことほど良いことはありません。多くの荒廃した子どもや青少年を育てることより、安心安全な環境の中で育てたいし、よりよい価値観を養いたいです。 | 参考 | |
| 667 | 横浜ⅠRに賛同します。ⅠRの増収効果は他の政策よりはるかに大きいと感じました。入場料6000円は固定でしょうか。もし、変更ができるなら、制限回数の上限に達するときは、金額を変えるなどすると、「のめりこみ」防止にも役立つのではないかと。 | 参考 | |
| 668 | カジノ導入で懸念されるギャンブル依存症対策として国や横浜市のような施策が言及されているが依存症の問題はそれと判定される迄に惹起される事象一多重債務、家庭内トラブル、本人・家族の貧困化、犯罪、自殺等一のもたらす甚大な個人と社会の被害や損失でこれらは発生してからでは手遅れで未然に発生を防止することが最善の防止策である。そのためにはギャンブルを禁止するか、認める場合でも厳しい直接的カジノアクセス制限（回数、ゲームの賭け金、負け金額の上限、カジノ施設での融資禁止等）を課すことが絶対に必要である。カジノ事業者は制限に対して猛反対であろうが本気でギャンブルの害毒を防止する為には現在の素案では手ぬるく直接的アクセス制限の強化が必要である。 | 参考 | |
| 669 | ⅠRについては、入場等をきちんと規制する体制さえ整えていただければ特に意見はありません。 | 参考 | |
| 670 | 横浜市ではどのような客層を横浜に呼び込もうとしているのですか。一部のお金持ちだけならいいのですが、それだけではカジノは成り立ちません。多くのギャンブル依存症の存在が必要です。こんな横浜にしてほしくありません。 | 参考 | |
| 671 | もし「カジノ」を開設する事になった場合には、運営面で常連客の入場回数を制限する等・暴力団の介入等々には十分な配慮し、犯罪発生防止に十分な配慮をお願い致します。 | 参考 | |
| 672 | 日本は、現時点で世界と比較してもギャンブル依存症が深刻であり、これ以上市民をギャンブル漬けにしないでください。ギャンブルで儲けたお金で依存症対策をするというのであれば、最初からギャンブルを作らないことが最大の依存症対策です。ギャンブル依存症に対して世界最高水準のⅠR関連法があるといえます。24時間営業のカジノで実質的に「週6日間」「月20日間」も滞在することが出来る法律が世界最高水準ですか？ | 参考 | |
| 673 | 客にカジノの業者が金を貸すのは、個人を破産に追い込むことになる。 | 参考 | |
| 674 | 横浜のカジノに行くのは、主に横浜市民です。カジノの業者はプロですから、やって来る横浜市民に初めの数回はもうけさせるでしょう。市民は喜んで、より多額のお金を投じて、今度は負けると、取り戻そうとして、又負ける…カジノ依存症になり、地獄です。 | 参考 | |
| 675 | 依存症対策を取る必要のあるカジノⅠRの誘致には反対です。市側は、依存症に対して、世界最高水準の対策をうたい文句にしているが、補正予算・本予算によりようやくこれから調査・検討を始めるとされている。世界最高水準は言葉だけで、市民を説得するため手法に過ぎないのではないかと。カジノ依存症に対する対策も、言葉だけのⅠRカジノに反対です。 | 参考 | |
| 676 | ⅠR推進には賛成ですがカジノはやめていただきたい。これからの若い人達の為にも負の側面が多いカジノを「誘致有りき」と固執しているのは何故でしょうか？ | 参考 | |
| 677 | ⅠRに賛成です。横浜の持つポテンシャルを最大限に発揮できる千載一遇のチャンスであり、財政へのポジティブな影響が期待できます。法律上も、治安の悪化やギャンブル中毒者の増加が発生しないように幾重にも規制を掛けているので、横浜市がしっかりとモニタリングをすることで、これらのデメリットは最小限に抑えられると思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 678 | カジノ推進派は依存症に対する対策は十分講ずるというでしょうが、それは本質的にあり得ません。なぜなら、カジノの施設そのものが依存を誘うように設計され、また、注ぎ込むことになる資金はいくらでも融通するような、仕組みを考案するはずで、それによって、運営企業は最大限の利潤を図ることができるからです。 | 参考 | IR整備法では、1回当たり6000円の入場料の賦課、7日間で3回、28日間で10回という入場回数制限、マイナンバーカードでの本人確認による20歳未満の者や暴力団員等の入場禁止、本人や家族などの申告に基づく入場制限など、厳格な入場規制が定められています。また、日本人のチップの購入は現金に限られるほか、カジノ内へのATMの設置が禁止されるとともに、予め一定の金額をカジノ事業者に預け入れている者以外はカジノ事業者から金銭を借り入れることができません。 また、カジノ事業者は厳格な免許制となっており、不正行為等があった場合には、カジノ管理委員会が免許を取り消すことができます。 カジノに起因する懸念事項としては ①ギャンブル等依存症 ②青少年への影響等 ③マネー・ローンダリング ④反社会的勢力の関与 ⑤地域環境への影響が挙げられています。IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設定及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされており、関係機関や事業者と連携・協力して、取り組んでいきます。 |
| 679 | 横浜IR個人的には賛成ですが、何故、パスポートを持っている外国人に制限しないのか？不思議ですがありません。全てを承知しているわけではありませんが海外のカジノは外国人向けと承知しています。良く問題にされる韓国に於けるギャンブル依存症も田舎のカジノヶ所と聞いています。そんな事をしなければ良いのです。事業者が集まらないというのであればやめれば良いのです。 | 参考 | |
| 680 | IRが富裕層、観光客のための娯楽施設というのであれば、横浜にとって、仕方がないと思う気持ちもありますが、一般の市民もだれでもできるというのであれば、反対です。資産をチェックした上で、一定の資産を持っている人を対象にする、負けても借金にはしないようにする等のルールを明確にしたいと思っています。また、だれでも参加できるのではなく、会員制にするなど、若い人を参加しにくくするなどの配慮もしないといけないと思います。何もわからないうちから、すでに教育ローンを背負って、ギャンブルの借金を持ってしまつては未来もありません。どうぞよろしくお願ひします。 | 参考 | |
| 681 | 国内外の利用者のターゲット層に見合った入場料や利用料を設定する | 参考 | |
| 682 | 75頁及び89頁でカジノ入場料が1回6000円で入場規制を行うとともに国と都道府県等で半額ずつ徴収するとあるが、本当に依存症を予防し確実に国及び都道府県等で収益を上げたいのであれば、富裕層対象なのですから1回10万円としてください。 | 参考 | |
| 683 | わたしは、条件付きでカジノには賛成です。条件は以下の通り。収入による入場及び使用制限（但し日本国籍者に限る）。マイナンバーによる青少年の規制が可能であるなら、収入申告による規制も可能。またはタバコのタスポのように入場者を規制し、青少年だけでなくギャンブル依存者や生活保護などによる生活困窮者を除外できるようにする。海外観光客は、使用制限しない（但し年齢制限はする）。パチンコ等のギャンブルのようにオープンに使用出来ては、青少年のみならず一般家庭にも悪影響が起ります。それだけは避けなければなりません。ご検討、宜しくお願いいたします。 | 参考 | |
| 684 | 意見開港から160年近くを迎えた横浜にIRという問題がありますが、新たな時代の横浜が迎える為にもIRを推進するべきかと思っています。今回のチャンスネガティブと捉えるのか？ポジティブに捉えるのか？は、横浜市民の次世代の方々だと思います。現在、反対派の方々の姿をみると60歳以上の方が多く、これからの横浜を担う世代では無いかと思っています。逆に若い世代が高齢者を支える時代ですが、若い世代の方がIRなしで高齢者を支える事を本当に望んでいるのでしょうか？日本には、以前から、パチンコや競馬、競輪、競艇と様々なギャンブルがあります。IRは法律でしっかり決まりを作り運用する流れなので、他のギャンブルに比べても逆に安心かもしれません | 参考 | |
| 685 | IRはカジノだけではないこと。カジノは、競艇、競馬、パチンコと変わらないこと、依存症にならないように、個人ごとに、入退場時に記録を残して、規制する カジノの場所は海の上に浮かぶ船などにして、入り口で入念にチェックをして青少年が入れないようにするなどの対策をしっかりと欲しい。 | 参考 | |
| 686 | 説明会開催の焦点はカジノ問題と受け止めた。私見としては日本人利用希望者に高い入場料、回数制限を課せば懸念事項は大分解消されるし、依存症対策も十分と思えた。 | 参考 | |
| 687 | 104ページにわたる素案を拝読しましたが、カジノに反対で、IRにも懸念が残ります。私が言いたいことは2つだけです。カジノを造るなら依存症対策の「実績」を出してからにしてください。これから始まる高校生向けの依存症教育が、これまでとどう違うのか、具体的に示してください。これを機に培うノウハウによって、日本全体の依存症問題や文化の荒廃が実際に解消されれば、カジノも悪くないと思う市民が増えるだろうと思います。どうか説得力のある実績をお作りになってから、改めてゆっくりとカジノとIRをご検討ください。 | 参考 | |
| 688 | カジノを除いたIRなら反対しません。すでに子どもたちはカジノができたから遊びに行きたいと言っていて危機感を覚えています。 | 参考 | |
| 689 | IR設立反対。シンガポールでは国民がギャンブルで身を潰さないようにセントーサ島への出入りに個人認証をかけ24時間以上滞在できないようにしていた。IRという不確かな表現で誤魔化されそうになるが、ギャンブルの集積地を作るということに他ならない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 690 | カジノ客を目的としたソーブランドやその他の風俗店の出店、もっと言えば売春婦の出没も考えられます。新山下方面は商店が少なく静かな街並みですが、質屋や風俗店などが出来るようなことになれば景観、治安が悪くなるようなことになるのではないのでしょうか。また、カジノ内にATMなどは設置しないとありますが、カジノ外 I R施設内には他の目的が必要と思います。カジノ目的の利用に制限や規制をかけることは出来るのでしょうか。I Rは法律でカジノも含まないといけないようですが、その他の施設では運営出来ないのでしょうか。 | 参考 | I R整備法では、1回当たり6000円の入場料の賦課、7日間で3回、28日間で10回という入場回数制限、マイナンバーカードでの本人確認による20歳未満の者や暴力団員等の入場禁止、本人や家族などの申告に基づく入場制限など、厳格な入場規制が定められています。また、日本人のチップの購入は現金に限られるほか、カジノ内へのATMの設置が禁止されるとともに、予め一定の金額をカジノ事業者に預け入れている者以外はカジノ事業者から金銭を借り入れることができません。 また、カジノ事業者は厳格な免許制となっており、不正行為等があった場合には、カジノ管理委員会が免許を取り消すことができます。 カジノに起因する懸念事項としては ①ギャンブル等依存症 ②青少年への影響等 ③マネー・ローンダリング ④反社会的勢力の関与 ⑤地域環境への影響が挙げられています。I Rを設置する自治体は、I R区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされており、関係機関や事業者と連携・協力して、取り組んでいきます。 |
| 691 | 面積は安全の保証にならない(p. 31)「カジノは総面積の3%以内」にするというが、残り97%は全てカジノのためにある。これまで、国会を含め様々な場面で「3%以内なので安全安心」と説明しているが、面積は安全確保の担保にならない。 | 参考 | |
| 692 | 実施しようとしているカジノ依存症対策は実効性のあるものとは思えない。そもそもカジノを作らなければそのような対策は不要である。依存症対策はコストと労力の無駄にほかならない。I R設置による得失を考えたときに、将来の日本や横浜にとって益となるとは到底考えられず、それを積極的に推進しようとしている内閣や横浜市の考え方が全く理解できない。 | 参考 | |
| 693 | カジノI Rの成功例とされるシンガポールでは、「カジノ排除制度」が機能して、市民のカジノ参加率が7%から2%に落ちている。外国客中心のシンガポールだから可能。また、シンガポールは都市国家で、観光資源が豊かな日本と比べるとがそもそも間違い。横浜の地域性、独自性を何故活かそうとしないのか。 | 参考 | |
| 694 | カジノ業者は、カジノ内のカジノ私設バンクで顧客に多額の融資をしますが、それを止められますか。マネー・ローンダリング対策での、一定額以上の換金の届出も、カジノ内私設バンクなら時折届ければ当市は安心するのでしょうか。でも、その結果は解雇・離職・犯罪・貧困に繋がります。この素案は、従来認められていた競馬、競輪、パチンコ等とカジノをおなじ賭博なのだから問題ないとしり替えています。カジノ内私設バンクは依存症になる前に多額の金を貸し付けるもので全く異なるものです。 | 参考 | |
| 695 | 入場料が高くていいと思ひ。 | 参考 | I R整備法で日本人のカジノへの入場料は6,000円と規定されており、地方自治体や事業者が価格を変更することはできません。 |
| 696 | 入場料を6000円に設定するので敷居が高いと言いますが、東京ディズニーランドですら入場料は7500円です。 | 参考 | |
| 697 | マイナス効果について ギャンブル依存症者の増加一家計の破綻・犯罪の増加・家庭崩壊・失業により、医療費・ギャンブル対策費・地域社会の安全対策等々、市から説明は全くない。 | 参考 | カジノに起因する懸念事項としては ①ギャンブル等依存症 ②青少年への影響等 ③マネー・ローンダリング ④反社会的勢力の関与 ⑤地域環境への影響 があり、その対策の方向性をご紹介いたしました。 |
| 698 | マネー・ローンダリング対策・安全・安心対策費・依存症対策費 カジノがなければいらない費用です。 | 参考 | これら、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、I Rの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 699 | I Rの誘置に反対します。青少年の健全育成のためにカジノを断念して下さい | 参考 | |
| 700 | 治安悪化防止や依存症対策など、負の側面にかかる対策費用が計画がなく、市民の環境に対する配慮が全くないことに、計画への不信を抱きます。 | 参考 | |
| 701 | ギャンブル対象年齢となる青少年や大人への具体的な依存症対策を出してほしい。 | 参考 | |
| 702 | 特に、I Rカジノに対しての治安対策、依存症対策、種々の感染症対策等々、具体的でなくとても理解出来ません | 参考 | |
| 703 | メリットのみ強調しており、デメリットとの比較がない。企画書になっていない。 | 参考 | |
| 704 | 横浜市民の負担、社会的コストが発生（ギャンブル依存症・多重債務の問題等） | 参考 | |
| 705 | 反対。素案ではメリットのみが強調され、想定されるデメリットについて記載がない | 参考 | |
| 706 | 横浜I Rの方向性（素案）に反対です（カジノに反対）。I Rの利点ばかり云われていますが欠点（心配事）はないのですか。 | 参考 | |
| 707 | いいことだけ伝えて負になることは言わない、それではいけないと思うがいかがか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 708 | 素案はメリットの方に焦点を当てすぎておりデメリットについては余り説明されていない。市民としてはこれでは公正な判断ができてくれないと思う。税収面では潤うと思うがその裏には多くの犠牲（カジノ）があることを忘れてはいけない。（依存症、個人及び家庭崩壊、犯罪、自営業倒産）この点もあわせてきちんと取り上げて説明すべきである。 | 参考 | カジノに起因する懸念事項としては ①ギャンブル等依存症 ②青少年への影響等 ③マネー・ローンダリング ④反社会的勢力の関与 ⑤地域環境への影響があり、その対策の方向性をご紹介いたしました。 これら、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 709 | カジノを誘致すれば市の財政が潤う・・・？横浜市は何を考えているのか？悪夢を見ているものはとっとと去って欲しい。そんな簡単に儲かるのであれば何故今になって躍起に騒いでいるのか？国も市も今まで何をしていたのか？全て周知のはずのこの件に関する問題を今さら・・・最案とは一部の人のあまりにも独断的な発言ではないのか？いま、世界のカジノ開催地でどれ程潤っている所があるのか？儲かる話ばかりでなく、カジノが来ることによって市民に新たに悪影響を及ぼす様々な事は何処に説明されているのか？ | 参考 | |
| 710 | 横浜市の説明書も、インベーションIRなどの浮ついた言葉で、カジノについての負担などの説明もせず、市民を誤魔化して強行しようと言う意図が見えている。 | 参考 | |
| 711 | 基本的にはIR誘致賛成ですが考えられるネガティブな影響と、それをどのように解決するのかの具体的な内容を示していただきたい。 | 参考 | |
| 712 | 海外のIRのいいところのみ強調しているが、マイナス面のレポートは無いのか。カジノ依存症のみクローズアップしているが、他もあるのでは。 | 参考 | |
| 713 | 横浜市にカジノは要りません。今回の素案には、カジノにかかるリスクとコストが明示されていません | 参考 | |
| 714 | 「横浜市の将来のためにリスクを取る」と称して、カジノを含む施設を「IR」と言い換え、如何に「安全策を講じた」と言い張っても、カジノの持つ負の側面を、小さくすることはできてもゼロにはできない。 | 参考 | |
| 715 | IRはカジノ抜きに成立しない事業です。そのマイナス影響を明らかにせず、経済効果の検証もしないままIR導入を進めるのは市民を詐欺にかけると同じです。 | 参考 | |
| 716 | カジノ設置がもたらすさまざまな問題についての真摯な検討を行っていない。 | 参考 | |
| 717 | 新たな事への取組となりますので色々な事の検討が必要と思いますが、早い段階で具体案を構築して懸念事項への取組を具体的にする事により市民の賛同も今以上に得られると思いますので力強く進めて頂きたいです。 | 参考 | |
| 718 | 老いる都市の財政硬直化は避けられないと思う。IR誘致は、自治体として本気で将来を真陰に考えた結果だと思う。安全・安心対策を万全にカジノリスクに取組んでもらえればと思う。カジノ以外のIRを楽しみたい。 | 参考 | |
| 719 | カジノに対するリスクについては依存症対策、治安対策、入場規制、夜間巡回、種々の入場制限等、懸念される事項への取組が効果を示すと思います。 | 参考 | |
| 720 | IRに反対です。バクチに参加する人達は不法に金を盗んだり洗浄した金を持ち込む者が大半です。こんな人達に來られては街が汚れます。即ちバクチ場はゴミと犯罪の集積場です。 | 参考 | IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。また、暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。 なお、国が参考にしてしているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われてはいますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 721 | 治安の乱れなど都市の荒廃が危惧される。 | 参考 | |
| 722 | カジノは反対。一時的売上げは上がっても治安マイナス。 | 参考 | |
| 723 | 横浜にはカジノは必要ありません。治安が悪くなるので絶対に反対です。横浜は開港した時は西洋の文化を先駆けの市なのでこれからの将来を考えた物を考えて下さい。 | 参考 | |
| 724 | IRの収入が反社会組織に流入しないための施策が、十分かが気になります。 | 参考 | |
| 725 | 私は素案にも述べられている横浜の「国際的な港湾都市」「山下公園、元町、中華街、三溪園」等が大好きです。そこへ、カジノを含む、IRの誘致を市長が表明され、がっかりと言うか、この素敵な横浜、素晴らしい横浜に泥を塗るような計画に驚き、怒っております。背景には少子高齢化、経済活力の低下に伴う、財政の厳しい予測があると読まさせて頂きました。そもそもカジノを導入しなければ、治安対策、反社会的勢力の関与への対策 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 726 | カジノは、治安を悪くするだけ。他県から見たら、横浜は、楽しい所だけど、住むには、治安の悪い所。子供が、少しでも過ごしやすい環境にして欲しいです。これ以上悪くなったら、横浜の地を離れる人が、増えていくのではないのでしょうか？カジノはいらないです。 | 参考 | <p>IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。また、暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、国が参考に行っているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われてはいますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 727 | カジノは賭博であり反対です。IRのカジノはごく一部と宣伝されていますが、その規模は横浜スタジアムと同じ位の巨大な賭博施設になります。IRのカジノ以外の施設も、来場者をIRに囲い込む為の仕組となるでしょう。外国人客が増えるとしていますが、IRの日本人割合を80%近くを見込んでいるとか！既に、世界各地にカジノがあります。カジノがあることによる、風紀の悪化で、外国人客が減少することも考慮すべきです。 | 参考 | |
| 728 | ギャンブルのみに目がいきがちだが、世界の人々が集まる一大リゾート都市になるのだから、最優先すべきは安全と安心で治安が良い、という街作りが大事だと思う。世界の人々が安心して訪ずれてもらえる横浜であってほしい。 | 参考 | |
| 729 | カジノへの外国人の入場に関して、厳しく犯罪履歴のチェックをして欲しい。 | 参考 | |
| 730 | カジノには反対です。近くには、売春宿、高利貸し、マフィア、犯罪の温床となり、先祖から守って来た、横浜を、知らず知らず乱れた地域になる事は承知の上です。絶対反対！ | 参考 | |
| 731 | 風紀のみだれは？健全な大黒卓頭にしてほしい。 | 参考 | |
| 732 | 「横浜IRの方向性4」このことを提唱しなければならないということ、IRカジノの危険性をはなから認めていることになる。最初から、「IR、カジノはあぶよいよ」と推進者側自らが告白している。止めましょう。こんな懸念のあるもの。 | 参考 | |
| 733 | IRもギャンブルの一つです。周辺の風紀の乱れは、遺憾とも否認しません。導入するならば、客層も考慮しながら検討を重ねていただきたいものです。 | 参考 | |
| 734 | 反社会的勢力対策も必要になるだろう。不良の溜り場になることも考えられる。 | 参考 | |
| 735 | 治安の悪くなった横浜には、誰も来なくなります。横浜のためになりません。カジノのない形での横浜の豊かな暮らしを願います。 | 参考 | |
| 736 | 地元住民としては横浜IRができることにより、治安が悪くなったり、環境が悪くなったりゴミが散らかったりするのはとてもイヤです。 | 参考 | |
| 737 | 今、山下公園・横浜港周辺の安心して歩ける町は大切な市民の財産です。 | 参考 | |
| 738 | 景観が良ければ美しい横浜ですか？人々の心にゆとりがあって、空気がよどんでいない町、子供が一人で安心しておつかいに行ける町こそ。次世代には、宇宙空間のような無機質の町を残したくありません。世界に誇れる、カジノのない横浜を。 | 参考 | |
| 739 | カジノは暴力団養成装置。カジノのまわりには風俗、ヤミ金、質屋など暴力団の資金源になるものが並びます。青少年の健全育成のためにカジノは断念すべき。 | 参考 | |
| 740 | カジノを誘致すれば、裏社会の人々や外国のよからぬ人々が暗躍することは、火を見るよりも明らかです。 | 参考 | |
| 741 | 大好きなヨコハマ。子育てのとき子どもをつれて桜木町、関内、石川町へ出かけました。カジノのあるIRへは安心して孫を連れて行けません！ | 参考 | |
| 742 | 今回のIR誘致企画は犯罪自体を誘引する事業誘致です。 | 参考 | |
| 743 | 東京と近い横浜なので相互の人口移動が犯罪の巢になる。 | 参考 | |
| 744 | 桜木町びおシティの「サテライト」や「ジョイホース」の場外車・馬券発売場は周辺地区との環境整備委員会、本町小学校や町内会からの感謝の言葉が出ている。それは警備員（周辺に配置されている）さんが、子供達の見守りや、周辺の案内役として街の安全・安心につながっているから。配置される警備員を出来る限り多くして、横浜の「コンセルジュ」的存在になる事を希望する。 | 参考 | |
| 745 | 雇用創出など経済的な面で統合型リゾート施設の建設には賛成ですが、治安対策や防犯面での取組みを強く打ち出して欲しい | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 746 | 方向性4の安全・安心対策の横浜モデルの構築がこの案通りに行われるか心配です。治安対策は万全にしてください。 | 参考 | <p>IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。また、暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、国が参考としているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 747 | カジノの現状で考えると他地区の状況がおもわしくないよう聞いている。将来的にどうか疑問を感じる。この実現を推進していくならば治安対策は十分に考える必要がある。 | 参考 | |
| 748 | 環境の悪化で市民が外へ出てしまえば、税収も見込めない。 | 参考 | |
| 749 | 横浜市の経済が潤って、治安に影響がなければIRに賛成です。 | 参考 | |
| 750 | 子供達の為、健全な横浜を守ってほしい | 参考 | |
| 751 | 以前はカジノに懐疑心を持っておりましたが内容を知るにつれ楽しめるのが楽しみになってきました。安全・治安が第一です。 | 参考 | |
| 752 | 「方向性4」で治安対策の負の側面への対応はカジノのマイナスが大きいことを証明している。 | 参考 | |
| 753 | 現在出ている反対意見の多くはカジノができることによる治安の悪化だと思うが、懸念事項への取組を見る限り、そこまで治安が悪化するとも思えない。実際に世界のカジノがある国を見た時に、治安が悪く住みにくいかというと、そんなことは決してない。 | 参考 | |
| 754 | IR早期実現を！マネーロンダリングにIR事業者が力を入れるとは思えません。力を入れざるを得ない仕組みづくりが必要です。 | 参考 | |
| 755 | IRは良いが、カジノは反対です。カジノに集まる人々は犯罪とつながって居ます。未来の横浜にその種の人々が来ない様にする為にはカジノは設置しないで下さい。 | 参考 | |
| 756 | 治安の悪化も不安です。 | 参考 | |
| 757 | 言葉と会話が通じなく種々事故がおき安くなる防犯が悪くなり犯罪が多発する。 | 参考 | |
| 758 | どーしてもやりたいなら洋上カジノ、船内のみで行うカジノにして下さい。船は横浜に停泊せず、洋上を航海している間のみカジノ可。行き先はマカオとシンガポールのみ。船は横浜の船を使い、使用料と場●代は横浜へ。 | 参考 | |
| 759 | 反社会团体が横行する | 参考 | |
| 760 | IRには賛成ですが、みなとみらいの治安が悪くなるのは心配です。十分な対策をお願いします。 | 参考 | |
| 761 | 治安の悪化 | 参考 | |
| 762 | IR賛成です。IR周辺に風俗やサラ金ができないように注意してください。 | 参考 | |
| 763 | 治安対策が懸念される。 | 参考 | |
| 764 | 治安が悪くなる！ | 参考 | |
| 765 | 治安や風紀上の問題も懸念される。 | 参考 | |
| 766 | 楽しいだけでなく安心安全な町になってほしい。 | 参考 | |
| 767 | 隣接するみなとみらいの街づくりは、比較的大きな建物で区画されており商業医療、事務、住宅が配置され、閉鎖的なところが無く、治安が悪くなる様な事はなかったと思われる。カジノ等による治安の悪化が懸念されていますが、死角のない街づくりを計画してもらい、みなとみらい地区の様に、老若男女が集う街づくりを目指して頂き、また世界からの観光資源になれば、横浜にとっても素敵な街になると思います | 参考 | |
| 768 | 反対。治安が悪くなる可能性 | 参考 | |
| 769 | 治安も悪くなると思います。絶対反対です！！ | 参考 | |
| 770 | 近隣は山手文教地区と接していて、余りにも市の中心地にありカジノ客により風紀が乱れる事は必須である。 | 参考 | |
| 771 | 治安の面でも考えさせられる所もありIRカジノは、大反対です！ | 参考 | |
| 772 | 横浜IR（統合型リゾート）は必要ありません。カジノは賭博です。犯罪の元です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 773 | 横浜にIR（実体は賭場）は必要なし。洋の東西を問はず必ずその様な所には反社の者が出入りする事は明らかです。 | 参考 | IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。また、暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。 なお、国が参考にしてしているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われてはいますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 774 | 暴力団との関係についてどう説明するのか？ | 参考 | |
| 775 | 若い頃ラスベガスに行った。確かにシアターや大会議場もあるが、目玉はカジノだった。カジノは悪のかたまり、利権、脱税の温床になることうけあい。 | 参考 | |
| 776 | 横浜IRに反対します。（カジノ）市民生活の役に立つとは思いません。カジノを目的に来日する外国人が増加しても治安に問題が多発する心配があります。 | 参考 | |
| 777 | 町の風紀が乱れ、人の心も乱れ、平和な横浜の街が犯罪の多い街になると思う。 | 参考 | |
| 778 | 横浜のような都市の中心部に近い場所にカジノを設置するのは、治安上からも、大いに問題が発生する危険が有ると考えます。 | 参考 | |
| 779 | 街には、金を目当てにしか考えない人種が集まってきて治安が不安定になり、集まった金は海外に持ち出され税収があっても、カジノのインフラ整備に優先されるのに目に見えている。 | 参考 | |
| 780 | IRは「外見はきれい」でも、風紀のみだれ、治安の悪化、観光客の減少、ホテル客減、周辺の商店の売り上げ減少、教育上好ましくないなど単にお金で計算できない損失は大きい。 | 参考 | |
| 781 | カジノが出来る事で治安が悪くなり犯罪が増える。 | 参考 | |
| 782 | 外国人事業者に儲けさせ、非合法組織の温床を作る。一度壊した環境は戻りません。後世に良い環境を残すことは今生きている私たちの勤めであります。私には山下埠頭の跡地を有効に利用する方法は判りませんが。 | 参考 | |
| 783 | カジノ反対です。治安がみだれます。 | 参考 | |
| 784 | カジノ施設反対します。自然のままが良いです。犯罪が増加します。 | 参考 | |
| 785 | カジノができれば、治安も悪くなり、犯罪も起きます。 | 参考 | |
| 786 | 治安も悪くなる。そんなカジノには、反対！！ | 参考 | |
| 787 | 外国人客が多くなり治安が心配です。観光客は大歓迎です。 | 参考 | |
| 788 | 観光都市でもある横浜に汚点を残し治安悪化を必ず招く事が目に見えている。 | 参考 | |
| 789 | ラスベガスは砂漠の中にある所で、美しい港と・山下公園がある横浜市とは環境が全然違い、周辺の治安が悪くなる。反社会的勢力の温床になる。子供や若者に悪影響を及ぼし犯罪が増加する。 | 参考 | |
| 790 | 統合型リゾートと称してカジノを導入することには反対です。市長はカジノが環境や治安の悪化に繋がるとは思わないのでしょうか？ | 参考 | |
| 791 | 山下地域を、市民にとっては心のふるさと、他県の人にも胸をはって自慢できる場所であり続ける市政をお願いします。“カジノ設置”によって治安が乱れ、多くの人が集う場所でなくなる事が、一番心配です。 | 参考 | |
| 792 | カジノを山下ふ頭に、とんでもない。山下公園に続き市民の憩いの場にして下さい。カジノが設置されたとしたら反社会勢力が増えることも間違いありません。やめて下さい。市民の暮らしの向上へ。 | 参考 | |
| 793 | カジノ誘致には絶対反対です。こういう施設はヤクザ（反社会的勢力）の温床になります。間違いなくヤクザが入りこんでいきます。 | 参考 | |
| 794 | カジノ資本と結びついて暴力団、半グレなどの反社会的集団などを助長し、治安の悪化につながる事が懸念される。カジノの誘致は絶対に反対！！ | 参考 | |
| 795 | カジノ構想を、ギャンブル依存症が怖いとか言って反対するのではない。依存症対策は十分講じられている、と説明されればそれまで。いずれ反社会勢力やプロ、遊び人などの社交場となってしまう。 | 参考 | |
| 796 | 青少年の健全育成は、どうなってるのか | 参考 | |
| 797 | カジノを作ったら、市が暗くなります（治安が悪くなる）明るい、街作りを望みます。とにかく絶対、反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 798 | カジノをふくむIRの横浜への設置は絶対に反対！！横浜の素晴らしい都市環境を汚染する。 | 参考 | IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。また、暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。 なお、国が参考にしてしているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 799 | カジノに反対するのは、横浜の将来像はIRカジノのある様な危い都市でないと強く言いたいです。 | 参考 | |
| 800 | 治安も悪くなるのがめにみえています。 | 参考 | |
| 801 | IRカジノ構想に反対いたします。外資系カジノ運営業者（ステイクホルダー）、反社会勢力の参入で治安が悪化する。 | 参考 | |
| 802 | 横浜市民の命を守るより、カジノによる金儲けの方にしか関心がないようです。カジノを強行したら、横浜市の治安は悪化するし、元町や中華街は質屋・風俗店街になってしまいます。観光客は来ません。 | 参考 | |
| 803 | 横浜カジノは大反対です。住みたい街ナンバーワンになっている横浜を、カジノのために住みたくない街にして良いと思っているのですか。環境が悪くなり、治安が最悪になります。 | 参考 | |
| 804 | 治安の面や、子供達の影響を考慮しても、何ひとつ良いことはありません。もっと先を見て、子供達が健全に成長できる環境を作っていただきたい。 | 参考 | |
| 805 | 「IR=災害に強い都市づくり」の根拠がないどころか、犯罪都市に作り上げたいのですか？ | 参考 | |
| 806 | 犯罪も増加し、治安も悪化する。カジノはいりません。 | 参考 | |
| 807 | 依存症犯罪などの深刻な問題の対策がありますか？ | 参考 | |
| 808 | 「IR=災害に強い都市づくり」の根拠がないどころか、犯罪都市に作り上げたいのですか？ | 参考 | |
| 809 | 横浜の中心山下ふ頭付近の治安が悪くなるのは言うまでもありません。カジノはいらない。健全な街を守るため横浜IRに断固反対です。 | 参考 | |
| 810 | 政治家の汚職、マフィヤ、ヤクザ、が怖い。 | 参考 | |
| 811 | 横浜にIRが出来たらどれだけ多くの青少年が将来世の中の役に立てるであろう人生を狂わせるのでしょうか。横浜にカジノを作り少しぐらい財政が豊かになったとして誰が喜ぶのでしょうか。私達市民でないのは確かです。 | 参考 | |
| 812 | 山下公園は、今まで通りであってほしい。カジノで負けた方々が、山下公園に来られ、楽しんでいる小さな子どもたちが、不安になっては困ります。 | 参考 | |
| 813 | ギャンブルは反社会的組織の跳梁を許すこと歴史が証明している。 | 参考 | |
| 814 | IR法の決定にあっても美しくないお金等も動いた様子、社会の乱れがとても心配です。貸金業者や風俗業者がはびこり、街が荒んでしまうようです。 | 参考 | |
| 815 | 私は横浜市IR構想に反対します。理由は、その構想の中にカジノ誘致が含まれているからです。自分が生まれ育った街にギャンブル、つまりカジノはいらないです。ギャンブル依存症の人が街に蔓延るからカジノ反対するというわけではないです。マネーロンダリングに横浜が場所を提供しなければならないのか、わからないです。 | 参考 | |
| 816 | 治安対策などの懸念。警察が強力に取り締まっても、生き残る彼らの資金源になるカジノを作れば、まさに「反社会的勢力」を呼び寄せる結果になります。現在と同様か、それ以上の状況がIR周辺に出来上がるのは目に見えています。 | 参考 | |
| 817 | 治安の悪化 | 参考 | |
| 818 | 治安が悪くなる。 | 参考 | |
| 819 | 子どもたちが安心してみなどみらい地区にも出かけられなくなります。 | 参考 | |
| 820 | カジノありきのIRは反対です。カジノ等ギャンブル無しのIRでの集客を目指していただきたい。昔に比べ横浜の治安は大幅改善されたと感じているのですが、カジノ導入となると逆戻りです。人の金銭欲につけ込んだ施設であり、その背後に反社会勢力がつかまとうのは自明のこと。どんな対策をたてようと抜け道を探してくるはず。 | 参考 | |
| 821 | みなどみらいにIRができれば、子どもは連れて行かない場所になると思います。万が一でも、カジノで負けて激憤するような人が出てくる可能性を作る場所に、みなどみらいになって欲しくありません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 822 | IRについてですが、私としては治安の悪化が懸念されるため、ネガティブにとらえており、誘致して欲しくありません。メリットが提示される事も無く、治安悪化の懸念が払拭されない状況でのIR施設に関しては賛同致しかねます。 | 参考 | IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。また、暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。 |
| 823 | どんな方向性であろうと、横浜にIRは必要ありません。横浜の治安、住民の安全を1番に考えて下さい。現状、外国人も多く住むようになりましたが、昔程夜の安全は感じられなくなりました。 | 参考 | なお、国が参考にしてしているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 824 | 学校のそばが、治安が悪くなるはこまるからIR反対。ただでさえ、付近の電車の痴漢も多いのに歩くのも怖くてこまる。 | 参考 | |
| 825 | 市長さま未来のはまっこに辛い思いをさせないでください。子どもたちに胸を張って言える仕事だけを行ってください。子どもたちを犯罪に巻き込むおつもりですか？カジノ、反対、総合型リゾートなんて知らない。本当に市民のことを思い出してください。 | 参考 | |
| 826 | 私は現時点で不安要素ありの賛成です。不安というのは、マネーロンダリングなどのカジノ悪用に対する対策です。どこまで警備を重視されるのが気になります。 | 参考 | |
| 827 | ギャンブルで大きな金が動く場所には、犯罪が絡みやすい空気を作り、ひいては安全な社会が侵され治安が悪くなること自明の理です。 | 参考 | |
| 828 | 多くの市民がこの問題に神経質になっているのは、件の開発計画が単なる湾岸開発計画ではなく、カジノ誘致計画にほかならず、そして、カジノが何一つ社会に生産的な要素や街の安全、経済の安定をもたらさない否定的な商業施設であることが我々が受けた教育や常識からして自明のことだからでしょう。表面的には新時代の複合開発プロジェクトに見えても、カジノは賭博場です。賭博が、暴力、買春、麻薬、武器取引、資金洗浄等の温床になることは歴史的に明白なことであり、この点でカジノが市民生活にとって安全ということはありません。 | 参考 | |
| 829 | 治安の悪化、風俗業や貸金業の横行が始まる。 | 参考 | |
| 830 | IRの延べ床面積の3%以下となるカジノを「健全なカジノ事業の収益を活用し…云々」とあるが、なにをもって「健全」と謳うのか。 | 参考 | |
| 831 | 私の考えはカジノのあるIR誘致は反対海外でもカジノがある場所から少し離れた場所に浮浪者（賭博で財産を失った人も含め）が多くなり、治安が悪い状態を見聞きしてる。 | 参考 | |
| 832 | 環境・治安の悪化。不正資金の出入りなどの問題が発生するといわれております。 | 参考 | |
| 833 | 賭博と隣り合わせのものに何があるか。暴力、麻薬、売春、ヤミ金など人間の欲に根差した「負の要素」が付いて回るとは明らかだ。 | 参考 | |
| 834 | 環境の悪化は必至、これらに伴う費用は相当に増大する。 | 参考 | |
| 835 | その場合は、普通の人の懐の金目当てに来る人間（暴力団など）が必ずはびこります。危険地帯にならざるを得ません。 | 参考 | |
| 836 | 風紀、環境等を犠牲にして、博打場を横浜に誕生させるようなことは、愚策である。 | 参考 | |
| 837 | 治安の劣化。ガラの悪さが必ず付いて来ます。 | 参考 | |
| 838 | 横浜IRの件ですが、推進反対です。これ以上、治安が悪化してほしくないからです | 参考 | |
| 839 | 横浜にカジノができれば、マフィアの温床となることは容易に予想がつきます。そんな治安の悪いみなどみらいなど、善良な市民は近づけません。 | 参考 | |
| 840 | 治安の悪化も深刻なものとなるでしょう。 | 参考 | |
| 841 | IR反対。横浜でもカジノ外でも雰囲気が悪くなって治安が悪化するのを目に見えている。 | 参考 | |
| 842 | 犯罪が増加する。 | 参考 | |
| 843 | 横浜市はIRを止めるべきです。何故なら治安が悪くなります。 | 参考 | |
| 844 | カジノ誘致に反対です。最大の理由は、環境（風紀）悪化です。横浜の人口が多い理由のひとつは、子どもから大人まで安心かつ安全な生活がおくれると考えているからです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 845 | 55頁で治安の向上を謳うが、人が集まり観光客が集まることは逆に治安の悪化が想定されると思われるため、治安の向上の具体的根拠を載せてください。 | 参考 | <p>IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。また、暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、国が参考にしてしているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 846 | たとえ一部であったとしても、カジノを横浜で認めることは、確実に治安悪化につながります。推進・賛成している方々は、それはうすうす分かりながらも、収入を皮算用して進めているように思います。 | 参考 | |
| 847 | 町の風紀がみだれ、街の健全性が無くなり、横浜市の良いさが失われる。以上より、IRの誘致に反対である。 | 参考 | |
| 848 | 街の治安が悪化する。マイナスはあってもプラスはない。 | 参考 | |
| 849 | 基本的に賛成。ただしパチンコのような3店方式による違法換金を警察が取り締まるようにすることが必要と思う。そうしないと正規のIR以外による違法な営業を見逃すことにつながる。違法IRを取り締まってパチンコを見逃すようでは二重基準となり市民は納得しない。 | 参考 | |
| 850 | 政治が賭博を認めていることになり。断じて許せません。パチンコ業を認可すると、反社会的勢力や、海外のマフィアも横浜に集結する可能性もあり、全体として治安の悪化を招きます。治安に対してはどのような対応をするおつもりでしょうか、IRの営業開始したら24時間、警察の特殊部隊やSWATなどを周囲に配置するならば分かりますが、そんな警備はできないでしょう。元来、政治というものは、貧富の格差を縮め、広く一般市民がその公益的な利益を共有できるように努めるものであります。 | 参考 | |
| 851 | 治安が悪くなる。後には、ガラの悪い人たちが住むようになるだろう | 参考 | |
| 852 | IRにおける依存性について。カジノにおける依存症もIRの弊害として考えられ取り上げられているが、一市民として怖いと思うのはIRによってさまざまな人が集結し、麻薬等違法薬物の流布による治安悪化、思いもよらないマネーロンダリングに絡む犯罪の増加があげられる。これらは条例を精査し、制定することで罰則化に促すこともできるのだから、早急にIRと共に有識者を入れて条例の法の整備も行ってほしい。 | 参考 | |
| 853 | 反社会勢力が横浜を横行することも必至です。 | 参考 | |
| 854 | カジノ事業者は富裕層を対象するビジネスであり、運営には反社会的勢力が資金源として関与することが予想される。カジノは富裕層や反社会的勢力等のマネーロンダリングに使われることも予想される。 | 参考 | |
| 855 | カジノ反対！カジノ反対！治安を維持せよ！ | 参考 | |
| 856 | 山下埠頭に建設を予定しているとのことですが、当然、施設完成後は周辺地域で治安の悪化が起こればと思います。 | 参考 | |
| 857 | 風紀、治安の悪化が懸念されます。誘致の準備は即刻中止してください。 | 参考 | |
| 858 | 健全な博打であるのですか？あるなら教えてください。反社会的勢力の仕事場を増やすのですか。 | 参考 | |
| 859 | カジノ反対理由 額の大きい経済犯罪を誘発する。ギャンブル依存症が広く懸念されており、市の対策でも説明に多くの紙面を割いているがカジノはパチンコや競馬などのギャンブルと異なり、その額の大きさや関わる人間の社会層から企業内犯罪などにつながる傾向が強い。横領などの企業内犯罪は市の示した対策などでは容易に発覚せず企業組織の崩壊につながり、個人、組織ともに悲劇を生む。市政はこの責任までは負えないだろう。 | 参考 | |
| 860 | カジノ事業者と闇社会との関係が懸念される。直接の受委託契約企業の関連企業、海外親会社、そのステークホルダーなどの詳細な身上調査をすることは当然だが、自信あるか。「誓約書」にサインされたから安心などと考えないほうが良い。行政が闇社会と契約を締結するなど考えたくない。 | 参考 | |
| 861 | 横浜の治安が乱れます。子どもたちに悪影響を及ぼします。他のカジノ導入国は軒並み運営に失敗しています。将来の税収の確保を考えるなら、子育て支援、若者の就労支援、地元商店街の活性化、等住民の生活に密着した政策を充実させることで、住みよい横浜をアピールし、若い世代の転入を促す事が大事だと思います。横浜は市長の都合だけで存在しているのではありません。300万人を超える多くの市民のためにあるのです。お間違いないように。 | 参考 | |
| 862 | 「横浜市にカジノはいらない」将来の財政基盤の確保のために、重要な戦略や計画が必要だということは十分に理解した上で、まず何よりも賭博を肯定した経済戦略は、選択肢から外すべきだということを主張します。経済対策が必要であるという中で、殺人、窃盗、など倫理的に他に被害や害を及ぼすものを選択肢から外すことは当然であると思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 863 | 経済的な効果も大きいと思いますが、犯罪増加や格差拡大などのデメリットも取り上げられています。そのデメリットを最大限少なくしていただければ、横浜の経済が活性化する点で賛成です。 | 参考 | <p>ＩＲ整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。また、暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、ＩＲ事業者に厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、国が参考に行っているシンガポールの事例では、2010年に2つのＩＲが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 864 | 反対です。素案を読みました。子育てしにくい街になります。治安に不安を感じます。素案の内容では弱いと思います。 | 参考 | |
| 865 | 税金や観光客の増加が見込まれるという意見もあるが、当然治安の悪化なども懸念されることであっていままでの横浜のイメージと違うものになり、本当に観光客が増えるのか。 | 参考 | |
| 866 | 横浜市のカジノ誘致に反対です。オーストラリアの友人から、メルボルンでもカジノを作ったために近隣の治安が悪くなったと、聞いております。横浜には昔から港町にありがちな反社会的勢力がはびこっていました。山下ふ頭などの港の仕事、山下、伊勢佐木町裏、黄金町から反社会的勢力を追い出して、港の仕事を現代化し、魅力的な街にするのに、どんなに地元が頑張ってきたか、横浜市民なら知っているはずですが。街を浄化してきたのにカジノを作れば元も子もないではないでしょうか。 | 参考 | |
| 867 | カジノは治安が悪くなる。治安悪くて経済が良くなるわけがないです。 | 参考 | |
| 868 | マカオやシンガポールのカジノのように、「マネーロンダリング」に使われることが予想されること。 | 参考 | |
| 869 | カジノが導入されれば治安悪化の不安があります。 | 参考 | |
| 870 | リゾート開発には反対しませんが、カジノは大反対です。治安を乱す元凶となりかねません。横浜にはカジノ以外にもっと魅力的な要素がたくさんあるはずですが。 | 参考 | |
| 871 | 小さい子どもがいます。カジノで治安が悪くなるのが心配です。一度治安が悪くなったら、なかなか元に戻らないでしょう。横浜をすさんだ街にしたいくないです。 | 参考 | |
| 872 | ＩＲについては、今回の方針4でうたわれている「安全・安心対策」の徹底がまずは必要である。カジノが中心ではないにしても、それが重要な構成要素であることは事実であり、ＩＲの推進が地域の安全性の低下や風紀の乱れにつながっては、横浜のブランドイメージに大きな悪影響を与えるからである。その上で、方針1の「最高水準のＩＲの実現」が求められる。 | 参考 | |
| 873 | 治安対策などの懸念事項。ここにだけ「観光客のグローバル化に伴い、感染症のリスクが高まることから、国、県、事業者等と調整するとともに、対応策を検討していきます」と、新型コロナウイルスパンデミック状況下にちよこつと書いています。カジノを造って「善良の風俗及び清浄な風俗環境の保持」や「青少年の健全育成」もあったものではない。 | 参考 | |
| 874 | 世界中から色々な人が来ると治安が悪くなる気がします。その辺の対策などはきちんとやっていただきたいと思います。 | 参考 | |
| 875 | 横浜から、発展で、ＩＲは、未来の横浜で賛成ですが、防犯だけ気を付けていただきたい。 | 参考 | |
| 876 | 今後の取組の進め方や、治安への具体的な対策も市民に伝わると幸いです。 | 参考 | |
| 877 | 個人的な意見ですが、横浜は観光地から少し離れると、横浜は治安が悪いイメージがあります。カジノ目的で集まる人が、それを増長させるのではないかと心配だからです。カジノ以外の施設は横浜の質を向上させるとしますので、賛成です。 | 参考 | |
| 878 | 逆に治安が悪くなると思うし、賛成でもないし反対でもない。正直興味はある。 | 参考 | |
| 879 | 必ず、反社会的勢力、又、外国人組織が入って来ると思うのですが、それが不安です。 | 参考 | |
| 880 | 事件の原因になると思う | 参考 | |
| 881 | 子供も楽しめる安全に配慮をした形でのＩＲを希望します。 | 参考 | |
| 882 | 日本固有文化も取り入れ、安全で安心な街づくりをして欲しいです。 | 参考 | |
| 883 | 治安の面が気になりますが、横浜市に住む者として、税金の減収、市民の高齢化は待たないのきびしい状況という事実を考えると、また、子供の将来のためにも何かを変えていかなければと考えます。横浜ＩＲの積極的な推進を希望します。 | 参考 | |
| 884 | 治安が悪くなると思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 885 | カジノを作るのであれば治安対策に付け加えて、問題が起きた場合即閉鎖別の施設へ改築までお約束されるのでしたら市民からの同意も得やすくなるかもしれません。 | 参考 | <p>IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。また、暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。</p> <p>カジノ事業者は厳格な免許制となっており、不正行為等があった場合には、カジノ管理委員会が免許を取り消すことができます。</p> <p>なお、国が参考としているシンガポールの事例では、2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われてはいますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 886 | カジノ構想には反対・過去に米、欧、東南アジアで機会を見てカジノを訪ねたが、周辺の環境とは別世界、50年、100年後の横浜をこの様な姿にしてはならない | 参考 | <p>日本型IR自体が、海外の都市の成功や失敗など先進事例を参考としながら制度設計されており、カジノの規制は世界最高水準とされています。</p> <p>具体的には、海外の事例を踏まえIR整備法では、カンウオンランドのようにカジノだけが先行して開業することができない規定となっており、また、アトランティックシティのように過当競争に陥らないよう、国内のIRの数は、3か所が上限となっています。</p> |
| 887 | 治安悪化防止対策を確実に実施して頂きたい。段階的に導入を行い、問題点を1つずつ解決してから拡大して頂きたい他国の問題点を十分に分析し対策を確実に実施して頂きたい | 参考 | |
| 888 | 日常業務において痛感しているのは、ギャンブル依存がアルコールや薬物依存とは異質であり、難治であることです。ギャンブル依存はWHOの診断基準において国際的エビデンスが得られている疾病です。10年後20年後の横浜を想像すべきです。今の子ども若者たちはアトランティックシティ如く、貧困線上で希望を失う可能性があるのです。市民は権利を主張してカジノに大反対すべきです。 | 参考 | |
| 889 | 隣の韓国をみても町が荒廃することは明らかです。 | 参考 | 韓国にあるカンウオンランドは、現在ではゴルフ、スキーなどの統合リゾート施設が併設されているものの、2000年の開業当初はカジノのみが先行し、依存症や治安の悪化の対策が後追いとなった施設であり、日本型IRは、これら海外の成功や失敗などの事例を参考としながら制度設計されたものと認識しています。 |
| 890 | カジノは反対です。大好きな横浜の中心部・山下ふ頭にIRカジノを強行導入しないで下さい。韓国のIR江原ランドは荒廃しています。 | 参考 | |
| 891 | シンガポールは成功している（収益の70%がトバク）が韓国は行きづまっているようです。それらの原因を十分調査し、検討して、それらの現状と対策を考慮する必要があります。 | 参考 | |
| 892 | 韓国の江原ランドを抱える街が示すように街の景色が一変してしまうだろう。 | 参考 | |
| 893 | 世界のセレブが訪れたからと言って（税収が増したとしても。）それよりも、治安の問題や、ギャンブル依存等による、マイナスの方が増大するのは、韓国をみても、明らかです。今のままの横浜を、未来の子ども達に残したいです。 | 参考 | |
| 894 | 賭博であるカジノを横浜に誘致することは、市民の一人として反対である。韓国の実態に学び、都市をさびれさせてしまうカジノを誘致することを断念すべきである。 | 参考 | |
| 895 | 韓国みたいになったら、横浜はどうなるの？横浜のイメージをこわさないで、今のままで充分です。 | 参考 | |
| 896 | 韓国のカジノの例に見られるように、山下町・周辺に金貸し業、風俗店などが増え、犯罪の増加になるかも知れません。地元振興に反することになるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 897 | 港をめぐる一帯がIRのカジノに利用されると聞いて、カジノ博打の恐ろしさに反対せざるを得ません。横浜市長は市の為の施設として市の為に活用しようとして居ますが、これは絶対に有効、建設的は行きません。弊害は取り除くと言っても根は博打なんです。韓国の様子も聞きました。横浜を健全な誇りある町に残して下さい。 | 参考 | |
| 898 | 他国の例を知ると、余計にその思いが強まります。韓国の話をご存知でしょうか。よく調べてください。 | 参考 | |
| 899 | 韓国でのカジノの失敗もあります。 | 参考 | |
| 900 | 日本よりも入場制限の厳しい韓国のIR江原ランドでは、開設以来、すでに2000人を超える自殺者が出ています。 | 参考 | |
| 901 | 韓国の江原カジノを誘致企画した人々が、今大きく後悔しているようです | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 902 | 韓国でもカジノ誘致をしています、軒並み失敗していますよね？横浜市にギャンブルはいらないです。私は横浜市のIR構想に反対します。 | 参考 | 韓国にあるカンウォンランドは、現在ではゴルフ、スキーなどの統合リゾート施設が併設されているものの、2000年の開業当初はカジノのみが先行し、依存症や治安の悪化の対策が後追いとなった施設であり、日本型IRは、これら海外の成功や失敗などの事例を参考としながら制度設計されたものと認識しています。 |
| 903 | 韓国のIR江原ランド（韓国で唯一、自国民の利用を認めている）は荒廃しています。 | 参考 | |
| 904 | 山下埠頭は山下公園や元町、中華街等に隣接する観光横浜の一等地です。「観光横浜を目指す」と市長の説明ですが、韓国のカジノ場の例を見るまでもなく、横浜の一等地が荒廃し、治安が悪化します。 | 参考 | |
| 905 | 韓国のカンウォンランドをみても地域の荒廃は目を当てられないほどである。依存症を生み出し、地域の治安も悪化させるカジノは中止すべきである。 | 参考 | |
| 906 | 横浜市は首都でもない、金融センターでもない首都圏にある一地方都市であるからシンガポールと比較はできない。このように考察するとカンウォンになってしまう公算が濃い。 | 参考 | |
| 907 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）について、横浜IR計画には断じて反対です。横浜にIRは必要ありません。目先、一時的に県外、海外からの旅行客は増えるかもしれませんが、韓国やマカオ等、海外のカジノ事例で明らかのように長期的には経済的にマイナスにしか働きません。 | 参考 | |
| 908 | P57-P84(5)安心安全・依存症問題ここではカジノ・ギャンブル依存症に関する記述。ここまでやっても日本人にカジノへ出入りさせギャンブルをさせる必要があるのか疑問。韓国は国内にカジノが17ある。このうち韓国人の入場を許可しているのは「江原ランド」のみ。P46でも指摘したが、横浜IRのカジノは日本人を主ターゲットにしているのかと疑いたくなる。依存症対策・賛否の論争に労力、資源、資金を割くよりも、当面（開業5年間）は韓国にならい、横浜IRカジノは外国人専用とし日本人の入場を禁止することを提案する。5年間で、国内2か所の状況を調査し、より現実的、実行性、合理的な依存症対策を策定し、日本人解禁の手続きを取るべき。 | 参考 | |
| 909 | IR誘致に反対です。韓国では、IRが人口減少、経済発展に寄与していません。ギャンブル依存症、自殺者が多く生まれ、社会的なマイナス要素が多い事はあきらかです。 | 参考 | |
| 910 | 韓国の例をみても、ギャンブル依存症患者が増え、治安が悪化する可能性が高いことは依存症対策に注力していることから確かなことです。 | 参考 | |
| 911 | カジノによる、治安の悪化 カジノによる依存症 入場料6000円では安いのでは？横浜IRを推し進めることによって、本当に魅力ある、横浜になるのでしょうか？逆に、治安が悪くなり、韓国のように依存症の人が増え、衰退していくのでは？ | 参考 | |
| 912 | 横浜IRカジノ絶対反対です。IRを誘致することにより横浜がどのような街になってしまうのか懸念している市民です。韓国江原ランドについて韓国人の友人から聞いている情報によりますと、町が風俗業と金融業、質屋により占有されている状況だとのこと。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマナー・ロンドンリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。 なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置されましたが、カジノの設置の前後において、外国人旅行客は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 これら、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 913 | 絶対反対です。少子高齢化に依る厳しい財政は解りますが、IRの導入だけは反対です。韓国の例を見てもマイナスの面が多過ぎます。ギャンブル依存症が増えると思われるので反対です。 | 参考 | |
| 914 | 次世代への誇れる資産を建設して欲しい。韓国が良い例でカジノ周辺は闇金融がひしめいていて多くの家庭、人格崩壊が報道されている。多方面に亘って集客できる施設でない結局、東京に負け、みどりの税金のような形で市民につけがまわる。横浜市の歴史に基づく、国際的な町づくりを希望します。 | 参考 | |
| 915 | 韓国にも友人がいて、あちらのカジノ事情を教えてもらったところ、景気の悪化で赤字になっており、治安が一気に悪くなったとか... | 参考 | |
| 916 | 韓国でもカジノの周辺の町は、質屋・金貸し業、風俗店が立ち並び、ギャンブル依存症、犯罪の増加で人口減少が止まりません。横浜が誇る山下公園や港、まさにその中心地に賭博場は許されるものではありません。ダメ！ | 参考 | |
| 917 | 韓国でもカジノの周辺の町は、質屋・金貸し業、風俗店が立ち並び、ギャンブル依存症、犯罪の増加で人口減少が止まりません。横浜が誇る山下公園や港、まさにその中心地に賭博場は許されるものではありません。ダメ！ | 参考 | |
| 918 | 韓国でもカジノの周辺の町は、質屋・金貸し業、風俗店が立ち並び、ギャンブル依存症、犯罪の増加で人口減少が止まりません。横浜が誇る山下公園や港、まさにその中心地に賭博場は許されるものではありません。ダメ！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 919 | 韓国でもカジノの周辺の町は、質屋・金貸し業、風俗店が立ち並び、ギャンブル依存症、犯罪の増加で人口減少が止まりません。横浜が誇る山下公園や港、まさにその中心地に賭博場は許されるものではありません。ダメ！ | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 |
| 920 | 韓国でもカジノの周辺の町は、質屋・金貸し業、風俗店が立ち並び、ギャンブル依存症、犯罪の増加で人口減少が止まりません。横浜が誇る山下公園や港、まさにその中心地に賭博場は許されるものではありません。ダメ！ | 参考 | 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。 |
| 921 | 韓国でもカジノの周辺の町は、質屋・金貸し業、風俗店が立ち並び、ギャンブル依存症、犯罪の増加で人口減少が止まりません。横浜が誇る山下公園や港、まさにその中心地に賭博場は許されるものではありません。ダメ！ | 参考 | なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置されましたが、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 922 | 依存症など韓国での経験から町の周辺では、質屋や、風俗店が立ち並び自殺、犯罪の増加で人口が減少していると聞きます。文明開化の横浜にカジノはストップを！！ | 参考 | これら、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 923 | 韓国のカンオンランドでは衰退する街の市長に政府から示されたのは、原発か、産業廃棄物処理場か、カジノか、という三択の中で選ばれた方向性でした。今やその時の市長はさらに進んだ街の荒廃の中から日本が誤った選択をしないようにとアドバイスをしてくれています。 | 参考 | |
| 924 | 韓国でもカジノの周辺の町は、質屋・金貸し業、風俗店が立ち並び、ギャンブル依存症、犯罪の増加で人口減少が止まりません。 | 参考 | |
| 925 | カジノはヨコハマのイメージダウンです。韓国でもカジノの周辺の町は、質屋・金貸し業、風俗店が立ち並び、ギャンブル依存症、犯罪の増加で人口減少が止まりません。横浜が誇る山下公園や港、まさにその中心地に賭博場は許されるものではありません。ダメ！ | 参考 | |
| 926 | 韓国では17か所あるカジノのうち唯一自国民の利用できる江原ランドは町そのものの衰退、破産、自殺の多発など目を覆う状況がうまれている。 | 参考 | |
| 927 | 横浜IRの素案のなかに、カジノを入れることに反対です。韓国の江原ではすでに破綻しておりギャンブル依存症の人々が多く、リゾート地として成立していません。 | 参考 | |
| 928 | 横浜IRに反対します。カジノは絶対にやめて下さい。横浜の山下ふ頭は、砂漠の中のラスベガスや、周りが市民の日々の生活圏ではないシンガポールのカジノと違って、横浜市民の生活圏にあり、憩いの場なのです。カジノを誘致すれば、お金を目を血走らせた人々、反社会的勢力、ケンカ、自殺、犯罪、負けて苦しむ人々など、環境は悪化します。韓国の悲惨な状況をご覧になったでしょう？ | 参考 | |
| 929 | 韓国・マカオの誘致後のビデオを観て、街は人が去り疲弊し、依存症問題は想像に難くない。横浜を荒廃させるカジノは大反対です | 参考 | |
| 930 | 今、「バラ色の絵物語」を提示するのではなく、「依存性」が増加し自殺者が急増した、ラスベガス、マカオ、韓国の実態を市民に知らしめる時です。この点も説明して下さい。 | 参考 | |
| 931 | カンボジアや韓国の江原（カンオン）ランドがその例です。調べて分かっているはずです。 | 参考 | |
| 932 | カジノ誘致に、絶対反対です。横浜IRの方向性（素案）は、カジノの効果をカジノ事業者の計画書に沿ってバラ色に描いています。カジノの施設面積は3%で収入の70%を稼ぎだしますが、この計画書では、カジノ施設はよくみないとわからないくらい小さく書かれおり、IR施設の実態を隠すためではありませんか。カジノは博打で、ギャンブル依存症を蔓延させ、IR周辺の経済を疲弊させ、家庭崩壊、治安を悪化させることは、韓国カンフオランドの経験からも明らかです。カジノ弊害にまともに向きあわない計画書になっています。 | 参考 | |
| 933 | 他国の成功のみが強調されすぎている。成功例としてシンガポールを引き合いに出されます。外国ではカジノの周辺では治安が悪く、風俗店も増加しました。その結果韓国では廃校したがっこうもあります。こういうことから横浜の美しい港が変貌する危険があります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 934 | 反対意見です。理由10数年前にオープンした韓国の江原（カンオン）ランドからの情報を数人の方からお聞きしました。それは、設置後にその後、それは、今惨憺たる状況との事。カジノ周辺は貸金業者と風俗業者がはびこり、街が荒んでいる。 ギャンブル依存症の方々が増加して、でも治らない現実と直面している。カジノを誘致を企画した人々が、今大きな後悔をしていて、日本がカジノを辞めた方がいいと忠告している。カジノ施設の理事長自身が、横浜の港近くにくつくる事について「それはやめた方がいい！そんなに近い所に作るなんて！」「江原ランドでさえ、大きな都市から300KMも離れたところにしたのです。それは、当時から、ギャンブル依存症などで町が壊されるから・・・と判っていたからです。横浜の山下ふとうでは近すぎて・・・やめた方がいいです！」 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。 なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置されましたが、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 935 | 江原ランドの周辺には質屋が多いとも聞きます。日本で遠い地方の依存症者が勝手に家財を質入れて横浜のカジノですって帰っても、素案の方法では規制しづらいのではないかと懸念されます。 | 参考 | これら、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 936 | 規制、横浜、週3回、24時間意見、これは規制とは言わない。推奨していると思えない。ギャンブル依存症の人が、話していた。「週3日24時間」ということは、ずっと続けて良いんだという事に聞こえる」韓国は月に一度だけ。シンガポール地元民は禁止。客は中国人と外国人観光客だけ結論。カジノはいりません！ | 参考 | |
| 937 | 素案については、都合のいいことしか出していないように思います。シンガポールの例は、あまり参考にならないと思います。韓国のカジノについて記事を読んだことがあります。町が寂れて自殺者も増えたとありました。横浜をそのようにしたくはありません。治安についてや依存症対策もあまいで不十分に思います。 | 参考 | |
| 938 | 韓国のカンオンランドのことをご存知ですか。ここは街が荒廃し、風俗店、サラ金のような店が立ち並んでいます。 | 参考 | |
| 939 | 横浜にカジノはいりません。町の治安が悪くなり、ギャンブル依存症が増えるばかりのカジノはいりません。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。 なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 940 | 裏面に安心対策、依存症対策が述べられていますが、唐突に思います。そして、こんな対策、効き目のない対策をわざわざしなくてはならないなら、これを生み出すカジノをやめればよいのです。百害あって一利なしが、カジノです。 | 参考 | |
| 941 | 市長は横浜市の将来市政、特に経済情勢について心配しており、そのためのIR誘致と主張しているが、そもそも経済の先行きを心配する必要性は現状では考えられないし、逆に住みよい街ランク1位であり、観光の街横浜をギャンブル依存症の街にしてよいのか、風紀は乱れ、少子高齢化のなかで横浜市を離れる人が多くなり、これからの将来を担うべき若い世代の健全な将来を恐ろすようなIR（カジノ＝ギャンブル）誘致は直ちに計画を撤回すべきである。 | 参考 | |
| 942 | カジノが治安悪化やギャンブル依存症の増加につながらないことを具体的に示してほしい。 | 参考 | |
| 943 | 横浜は日本有数の港です。そのすばらしい所にIRを持ちこむと、金で、自分を失い、多くの人や自然をこわす町になります。金や物を失った人が、うるつく町にしないで下さい。少しの収入でも自分の働いた力で金を得る、おだやかで、楽しい町にいつまでもなるようにするため、IRはやめてください。それだけでなく横浜は財政が大変と知っています。ひとりひとりがより楽しく生きていける健全な町になるよう祈っています。 | 参考 | |
| 944 | カジノばかりに注目が向いてしまいがちで、ギャンブル依存の人口が増加するのでは、周辺の治安が悪化するのでは、と懸念されているが、その部分はきちんとルール作りを行い、管理することで解消されていくのでは。 | 参考 | |
| 945 | 依存症対策の強化や自殺、犯罪の増加などカジノによるマイナスのリスクはどのように検討しているのでしょうか。IRは「市民の豊かな暮らし、横浜のさらなる飛躍」になるのか疑問です。負の遺産となり、ヨコハマのマイナスイメージとならないでしょうか。 | 参考 | |
| 946 | 環境・依存症問題も先決と思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 947 | ギャンブル依存症の増大や治安の悪化が懸念される。世界でも最高の規制や依存症対策をするから大丈夫としているが、現実的にはギャンブル依存症が一向になくならないことをみると、そんなことは簡単に言えないし、ギャンブルをこれ以上煽るカジノを創設することには大いに疑問を持つ。その一方で、規制を強化すればするほど、カジノをやる人が少なくなり収益が上がらなくなるという矛盾を内包しているのがカジノである。ギャンブルを増長する「カジノ施設」は創設すべきでないと思う。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマナー・ロウンダリング対策について、IR事業者者に厳格な規制を課しています。 なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 948 | 横浜の観光客増加や、雇用機会の確保等のメリットがあると思うので、ギャンブル対策他十分に手当てをして実現して欲しい。 | 参考 | |
| 949 | ギャンブル依存等問題はたくさんあります。市長もう一度考え直して下さい。皆の願いだと思います。 | 参考 | |
| 950 | ギャンブル依存症対策や、治安対策などは万全な対策をうつべきだ。徹底したギャンブル規則をすべきだ。（パチンコに対し、あまりにも甘い。）IRは賛成。 | 参考 | |
| 951 | カジノ反対。今すぐやめろ！！バクチは犯罪、違法行為。ギャンブル依存、多重債務、治安悪化、市民への税負担増など百害あって一利なし。NOW STOP！！カジノ | 参考 | |
| 952 | IRはカジノ依存者が増えるのはもちろん、幼い頃から（家族でそういう場に行くことによって）IRに慣れてしまうことから、IRがあることがあたり前と思ってしまう人達を増やしてしまい、横浜市を悪化させるだけです。 | 参考 | |
| 953 | 依存症対策も、治安対策も全く具体性がありません。 | 参考 | |
| 954 | カジノは、治安の悪化等の懸念があります。依存症の問題もあります。わずかな経済効果より失うものの方が大きいと考えます。 | 参考 | |
| 955 | 横浜IRにカジノを誘致することに反対します。横浜IRで、国内外から人を呼び込むことができるよう、MICE（国際会議場、国際展示場）、レストラン・ショッピングモール、エンターテインメント施設、ホテル等を充実しない誘致することは結構なことだと思いますが、カジノを誘致することには絶対反対です。カジノ以外のものは街の活性化や産業の振興などに役立ちますが、カジノは何も生産しません。カジノの収益は利用者の負け金によるものであり、カジノの依存症対策や犯罪防止のための施策と費用は、カジノを含めなければ必要ないものです。ギャンブルでも、競馬などは馬の品種改良に役立つなどの波及効果がありますが、カジノには産業や技術への波及効果はありません。 | 参考 | |
| 956 | P59～71、カジノ事業者の責任義務が全くありません。全くの策対策です。 | 参考 | |
| 957 | 横浜市（特に中区、西区）に依存症の人が増え街が荒れる | 参考 | |
| 958 | カジノはいりません。街が荒れていくのを見たくないです。 | 参考 | |
| 959 | IRによるギャンブル依存症の恐さ犯罪の多発、外国人による犯罪等、治安の悪化等不安ばかりです。今回のコロナのように、世界中の人が来る横浜の玄関口になるのであれば、又新しい感染症の受入れ口になってしまうおそれがあります。 | 参考 | |
| 960 | ギャンブルの弊害で、治安の悪化、依存症患者の増加などから反対！今あるパチンコ、競馬などはある意味庶民の娯楽。IRは多額な掛金に自制心がまひし借金などで返済不能になり、自己破産や自殺者を増加させてしまう。 | 参考 | |
| 961 | カジノを含むIRの建設は反対です。依存症は必ず増えるし、街の荒廃も心配です。 | 参考 | |
| 962 | 治安の悪化、ギャンブル依存症の広がりも心配です。 | 参考 | |
| 963 | ギャンブル等の依存症対策については、国や県と連携してしっかりと対策を講じていただき、今まで以上に安全、安心な、横浜を創り上げて欲しいと考えています。 | 参考 | |
| 964 | 方向性は賛成です。問題点は、ギャンブル依存性や治安の悪化だけではないでしょうか。パチンコのような遊びとは変えて、気楽に遊べない制度にする。高額所得者だけが遊べるようにしてしまえば良いのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 965 | 素晴らしい案だと思いますが、カジノだけは賛成できません。ギャンブル依存症、借金地獄、犯罪と、等々、あげればきりがありません。若者達を守る為にも横浜にカジノを持つてくる事は、反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 966 | 横浜IRの方向性について、以下の理由から反対です。カジノは賭博で付加価値を生み出さないし、中毒症患者が増え治安や風俗が乱れる。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 967 | カジノの依存症と治安の問題が、一番懸念されます。七日間で三回は多いと思います。 | 参考 | |
| 968 | 懸念事項対策をしっかりと行って、IR開設に備えてください。IR賛成です。 | 参考 | |
| 969 | IR誘致賛成ですが、依存症対策や子供への影響をしっかりと対策して下さい。 | 参考 | |
| 970 | 治安維持、ウィルス対策等、市民、県民が安心できる体制をみえる形で整えて欲しい。 | 参考 | |
| 971 | コロナで観光が致命的な程減っている。観光資源の多い横浜として痛手だと思う。もしIRがくるのなら大きな目玉になると思います。ヤクザ対策などは強化して欲しいです。国内でも大きなプロジェクトですのでカジノに対する不安を払拭する先進的な開発をお願いしたいです。 | 参考 | |
| 972 | 横浜IRを実現すべきでない。理由：ギャンブル依存症対策や治安対策を立てねばならないIRは横浜の市民生活を脅かす存在である。 | 参考 | |
| 973 | 1. 港・ミライ地区の治安が悪くなる。2. ギャンブル人口を増しても女性には受け入れられないと思う。 | 参考 | |
| 974 | 山下公園、横浜のいこいの場のすぐ近くに賭博場ができる事は勿論反対です。市長がくり返し、高い入場料だから一般の人はこない、というのは事実にあわない、と思いました。カジノへ行ってお金がなくなったらどうやって生活するのでしょうか。治安の悪化がひどい依存症、家庭ハカイが心配です。 | 参考 | |
| 975 | 治安の悪化がひどい依存症、家庭ハカイが心配です | 参考 | |
| 976 | IR構想は抑々が海外投資家の建設・運営資金に全面依存し自治体は自己資金負担無しにカジノ収益の配分に与れると云う虫のよい話でそれには大きなリスクが避けられないのである。 | 参考 | |
| 977 | 依存症により破算で、治安の悪化が予想される。 | 参考 | |
| 978 | 日本では古来より、賭博行為は禁止されてきました。カジノの導入は、治安の悪化、マネーロンダリングの温床になる。ギャンブル依存症の増加など、社会不安の激増につながります。目先の経済効果で子供たちの未来を奪わないで下さい。安心して暮せる横浜、健全で夢ある横浜を守り、後世に伝えて行けるよう | 参考 | |
| 979 | “デメリット”・ギャンブル依存症の増加、治安の悪化、マネーロンダリングの可能性、等々。 | 参考 | |
| 980 | 治安が悪くなる貧富の差が大きくなる。ギャンブル中毒者が増える。中毒者実態はあく3000人じゃ少なすぎる | 参考 | |
| 981 | カジノばかりに注目が向いてしまいがちで、ギャンブル依存の人口が増加するのでは、周辺の治安が悪化するのでは、と懸念されているが、その部分はルール作りをしっかりと行うことで、解消されていくのでは | 参考 | |
| 982 | カジノにより治安が悪くなる事が一番懸念していること、ギャンブル依存症は自分自身としては関係無いと考えますが、その収益が税収に繋がり市が潤うという考えに疑問が生まれてきます。 | 参考 | |
| 983 | 将来にわたり、持続可能な成長を続けるためにはIRが必要です。懸念事項への対策をしっかりと行い、良いものをつくってほしいです。 | 参考 | |
| 984 | 日本全体と県・横浜市の人口減少と経済・財政の縮少を考えると、「横浜IRの方向性」について全体的には積極的に賛成いたします。しかし、カジノについてその経済的効果が大であることは理解出来るが、社会的問題がそれを廻るものと思われ、「カジノ規制」があるとは云えこれに反対いたします。 | 参考 | |
| 985 | カジノ導入してほしくないと思いました。方向性4や、方向性1のカジノの説明のところで、ファミリーとは分離する、反社会的勢力への対策、など書いてありますが、そのように青少年への影響や治安の悪化を懸念するものは、横浜にふさわしくありません。“依存症の取組”もあります。現場、当事者は本当に大変です。 | 参考 | |
| 986 | IRを作るのは良いが“カジノ”を作るのは反対。あの頃のヨコハマに戻すな！！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 987 | I Rを横浜に誘致するのに反対です。横浜の環境がバクチで悪化し、その複合汚染・依存症等とても次世代に渡せません。 | 参考 | 日本型I Rに設置されるカジノには、I R整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 治安等の対策について、I R整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、I R事業者に厳格な規制を課しています。 なお、日本型I Rが参考としているシンガポールでは、I Rの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのI Rが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 988 | 反対する人は街がどう悪くなると思っているのかわからない。治安や依存症も今までより対策されるなら何も問題ない。 | 参考 | |
| 989 | 環境の悪化も（治安も）横浜でなくなってしまう。 | 参考 | |
| 990 | 子供達、将来のために、セーフティネットがしっかりした緑と文化豊かな「住みたい街」であって欲しいと思います。 | 参考 | |
| 991 | まず積極的に観光開発する事は、大変結構な事と思います。先搬示されたI R実現の為の方向性について同感ですが4項目の安全、安心対策は、カジノを意識しての事と思いますが最大の問題です。カジノは統合施設の中心的地位を占め清潔で穏やかな、すばらしいベイエリアを野次馬と、心ならずも手を出して依存症になった市民そして本職（プロ）のギャンブラーなど特殊な人間の集まる場所となり治安、風紀は、乱れ、安心、安全など全く保てなくなるでしょう。 | 参考 | |
| 992 | 私はカジノ事業に反対します。子供達、市民のためにも治安の悪い横浜にしないで下さい。 | 参考 | |
| 993 | 後追いの市長のカジノ説明会は、バラ色に描いた妄想としか聞こえません。カジノによる社会的影響、依存症・治安これが全く見えない。カジノ誘致により横浜の文化・歴史を台無しにされる。もっと横浜にふさわしい財政運営を考えてください。 | 参考 | |
| 994 | 横浜にカジノは、いりません。環境は悪くなる、又、依存症が増えて来る、治安も悪くなる、何一つ又、利益になる事はない。もし受入れるのが、可能を考えると、地方の離島に新しくリゾート地を作りそこに新しい町を造り専門のカジノのあるリゾート地を造るべきと考える。 | 参考 | |
| 995 | I Rは横浜市、日本全国に必要な無い施設である。依存症を必配するのであればI Rが無ければ依存症の必配は無い（ギャンブル・アルコール）。治安も良くなるわけが無い。悪くなるに決まってる。 | 参考 | |
| 996 | 教育上も悪い影響を与えます。 | 参考 | |
| 997 | その経過を市民に納得できる様に明示したでしょうか？この事業による弊害について十分話し合われましたでしょうか？地域に及ぼす害は、どの様にして防止するのでしょうか？ | 参考 | |
| 998 | 反対です。又、治安も悪くなりますし、依存症もありますし、結果的に子育てしやすい街としての横浜のイメージがこわれ、人々が流出するのではと思います。私はカジノのある街に家は買いません。 | 参考 | |
| 999 | 「I Rカジノ」絶対反対です。青少年への悪影響や、ギャンブル依存症の発生が目に見えています。 | 参考 | |
| 1000 | ギャンブル依存症が増え、街の治安が悪くなります。 | 参考 | |
| 1001 | 横浜市I Rカジノは絶対に反対です。ギャンブル依存症が増え街の治安が悪くなります。 | 参考 | |
| 1002 | 市政の財源として必要なのはわかりますが、やはり依存症と治安の悪化が気になります、ので反対です。 | 参考 | |
| 1003 | 日本、横浜に来る外国人は、今、何に魅力を感じ来ているのか考えればわかります。絶対に依存症の人は出ると思いますしそういった人達による犯罪が増えます。結局利用する多くの人は日本人のようですし、ギャンブル依存症になったり、多額の資産を失い悲しい思いをする人を増やしたくありません。 | 参考 | |
| 1004 | 依存症、治安対策に力を入れなければならなくなる状況が予想出来るからではないかと思えます。明るく健康な横浜を守りたいと思えます。微力ですが協力します。 | 参考 | |
| 1005 | ギャンブル依存者も又法にふれる二次被害になる事も！ | 参考 | |
| 1006 | I Rは絶対反対です。カジノ依存症、治安対策が不十分です。 | 参考 | |
| 1007 | 仮に運良く収支面でプラスになったとしても依存症、治安問題等を考えても正攻法で発展の施策を考えるのが市長の成す可き事と考えます。カジノに頼り、誘致するのは論外です。 | 参考 | |
| 1008 | ギャンブル依存症者がより増加し、治安が悪くなります。 | 参考 | |
| 1009 | 依存症が増えて治安も悪くなります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1010 | 一部を除いてカジノ周辺の地域は社会問題を新たに創り出している。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 1011 | カジノを含むIRは、健全な施設でなく、ギャンブルの殿堂です。ギャンブル依存症を生み、街を安心して訪れることができなくなります。 | 参考 | |
| 1012 | これまでなかったカジノに対し、子供の教育にも余計な配慮・時間をさく必要がでてくる。 | 参考 | |
| 1013 | 健全な市民のために劣悪な環境にすることには、絶対反対します。今の横浜が好きです。十分に住み良い街です。 | 参考 | |
| 1014 | ギャンブル場等は必ず悪の温床に成る。我々は必ず阻止する！ | 参考 | |
| 1015 | 横浜にカジノはいらない。治安悪化。ギャンブル依存症の増大。 | 参考 | |
| 1016 | 治安対策、依存症対策は | 参考 | |
| 1017 | 表面上の数字的效果ばかり強調されているが、ウラの部分、負の部分のギャンブル依存症、これに付随する自己破産の問題、治安対策など、真剣に議論されているのか疑問。 | 参考 | |
| 1018 | ギャンブル依存症の増加や犯罪の発生など心配です。 | 参考 | |
| 1019 | 横浜で、“カジノ”を私はとんでもない事と、思います。“カジノ”とは考えられない。横浜で、カジノをオープンしたら、事件が、発生するのは、明らかです。絶対反対です。 | 参考 | |
| 1020 | 『カジノ』は絶対反対です！！作ってはけません！人生を狂わせます。ラスベガスの道路に座り込んで物ごいをする人がたくさんいました。横浜でもこんな風になって良いのですか？ | 参考 | |
| 1021 | IRカジノの件に関して市長の言っている事はおかしい。市民の暮らし●●依存治安は、考えていない | 参考 | |
| 1022 | 絶対反対！！競輪、競艇、競輪場のある川崎市と同じイメージダウンとなることは明白。横浜の治安悪化に繋がる。横浜市民の安心・安全を守れ！日本はパチンコ、スロット等既にカジノ天国！これ以上いらない。 | 参考 | |
| 1023 | 今以上に、ギャンブル依存症を増やすことが、横浜の観光地の品位を落とし、風紀、風評被害をまねくことは、将来の横浜市民に負の遺産を残すこととなります。 | 参考 | |
| 1024 | ギャンブラーやヤクザがうろつく横浜にしないで下さい。カジノは“反対”“反対”“反対”です。 | 参考 | |
| 1025 | カジノ誘致に反対です。横浜にカジノはいらないです。ギャンブル依存が増えそうだし、横浜の治安が悪くなりそうです。子供達の未来を潰しちゃいけない。大人が子供達の未来を守るべきです。 | 参考 | |
| 1026 | 私は、IR誘致は絶対反対です。明らかにギャンブル依存症が出ますし、美しい横浜にカジノは似合いません。横浜のイメージを壊さないで下さい。「ミナト・ヨコハマ」「憩いとやすらぎの山下エリア」を誇りをもって守っていきましょう。そのイメージでアピールしましょう | 参考 | |
| 1027 | カジノ誘致に反対です。国で決めたからととばくを推しようするような横浜市政を望んでいません。世界でも依存症の問題、地域経済の破壊等の問題が示されている以上受け入れられません。 | 参考 | |
| 1028 | 28ページ、カジノはファミリーが近づけないように、わざわざ法令で縛る必要がある危険な施設です。市民の安全安心に対峙する施策としか思えません。 | 参考 | |
| 1029 | カジノは、ギャンブルです。環境の面、子どもたちの教育の面からみても「百害あって一利なし」ではないでしょうか？ | 参考 | |
| 1030 | 山下公園近辺の風紀の乱れが心配で、いまのまま静かなオアシスに… 賭博での破たん者を、みたくない…かわいそう… | 参考 | |
| 1031 | 依存や治安悪化もたらす。 | 参考 | |
| 1032 | 横浜カジノは反対です。カジノを持ち込めばギャンブル依存症を増やし、自殺者や、家庭崩壊や、犯罪を増やし治安悪化につながります。 | 参考 | |
| 1033 | カジノはとばくです。依存症も心配ですし、子どもたち大人もですがいってほしくないところをこの横浜につくる必要はありません。 | 参考 | |
| 1034 | 実効性が疑われる依存症対策、治安悪化対策 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1035 | ギャンブル依存症、子どもへの悪い影響。地域での環境悪化など心配です。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 1036 | 街作りを失敗し、風紀を乱し、カジノで病人を作り出し、何1つ良いことはありません。 | 参考 | |
| 1037 | カジノは本質的に賭博であり、必ずそれに溺れる者を出し、社会的に不安と不幸を生み出す。依存症対策をしっかりとやるなどは本末転倒である。カジノは必要ない。止めるべきである。 | 参考 | |
| 1038 | カジノはばくちです。市民の安全安心とは相容れないものです。ばくちをする本人だけではなく家族をも不幸にします。開発によって市民が行くのをためらうような場所を作るべきではありません。安易にシンガポール型カジノを信奉できません。人が来なければ採算がとれないことは自明です。 | 参考 | |
| 1039 | 昔から賭博は裏社会の資金源となっている。金を失った客の中には、金欲しさに犯罪に走ることもよくある。治安が悪化するのには目に見えている。周辺には怪しげな店が増えるだろう。風紀も乱れるだろう。青少年に悪影響が出るだろうし、犯罪の被害者になることもあるだろう。警察は強化しないといけないが、いくら取り締まっても、法の抜け道を見つけ、馳ごっこになる。 | 参考 | |
| 1040 | カジノに依存すれば、街はこわれ、おとろえるだけです。横浜市にカジノを誘致することは認められません。市長は、誘致案を撤回すべきです。 | 参考 | |
| 1041 | 横浜のSDGs未来都市を目指すという素晴らしい取組を成功させるために、横浜IR誘致に、以下の理由で反対します。白紙撤回して下さるようお願いいたします。カジノは必ずギャンブル依存症を生み、多重債務・貧困・犯罪の連鎖を生みます。依存症対策に多額の予算が必要となり、なおかつ依存症から脱却するのは難しいので、カジノがなければよかったということになります。 | 参考 | |
| 1042 | カジノが悪いと言われていますが、同じ賭け事の競馬や競輪、パチンコは、なぜ認められているのでしょうか？入場の制限が、できるカジノの方が管理しやすく安全ではないのでしょうか？長い時間をかけ、たくさんの案について検討を積み重ね出した結果だと思えます。成功例を参考に前向きに検討して欲しいです。 | 参考 | |
| 1043 | ギャンブル依存症などで山下公園の風紀が乱れたり、町が壊されたりしたら、かえって観光客は減ってしまいます。 | 参考 | |
| 1044 | 市長の一存で決め、市民の意見もきかず、海外でのカジノの実態からも推測できるように依存症や、犯罪の温床にもなり、横浜市、自体の衰退につながりかねません。推進には絶対、「反対」です。 | 参考 | |
| 1045 | IRの中の賭博場は、横浜市を環境を悪化させ、また賭博による市民への悪影響は大きく、このような施設は、全く必要ない。 | 参考 | |
| 1046 | 現政権も横浜市も賭博がもたらす弊害を十分知っているのではないですか。横浜にカジノはいりません。何よりも子どもに胸を張って語れる施策ではない。 | 参考 | |
| 1047 | 依存症、治安対策は？ | 参考 | |
| 1048 | カジノを導入している国・都市は、日本や横浜のような観光資源や経済力に及ば無いところが、最後の手段として犯罪や依存症汚染に目をつぶって実施しているのが現状です。 | 参考 | |
| 1049 | 市長の「いこいの場」山下ふ頭の近隣で「カジノの誘致」をすると環境が改り、犯罪も増へ、経済を事由にすすめることは、私は納得出来ない。計画を今、すぐ撤回をすること。 | 参考 | |
| 1050 | 横浜が風俗店、金貸し業が立ち並びギャンブル依存症がウロツキ、犯罪が増える街にするのはやめて下さい。 | 参考 | |
| 1051 | 治安対策やギャンブル依存病（症）の病院をカジノ会社がやって下さい。 | 参考 | |
| 1052 | 治安やギャンブル依存症のことがとても心配です。横浜にIRはいりません。 | 参考 | |
| 1053 | IR・カジノ推進に反対します。カジノは賭場であり庶民の金を吸い上げる悪者の代名詞、そこから犯罪が起きるといのが定番です。どんな方法でやろうとどんな対策をやろうとも博打は博打です | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1054 | 己むを得ずカジノを認める場合でも賭博は元来罪であるが例外的に認められたものと認識して、抑制的に運用すべきです。本件が例外とされるのは、外人観光客を誘致して横浜のさらなる飛躍を図るにあります。利用を外国人に限り、日本人の利用を禁止するのは論理的必然です。そうすれば素案4ページのくだしい安全安心対策は不要となります。結論 私はカジノの導入には基本的に反対ですが、万一認める場合も少くとも日本人の利用は禁止すべきものと考えます。博打など悪行に染まらぬ清潔な町であり続けてほしいと願っています。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローディング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。 |
| 1055 | けんか、殺人の原因にもなり治安の悪化や暴力団の資金源にもなるのは火を見るより明かです。人の不幸や悲劇を生むカジノは横浜にも日本にも入らない 断固反対です。市長は市民の声を聞くべきです。 | 参考 | なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 1056 | 以下反対の理由を述べます。厳格に入場規制やギャンブル規制を行えば、カジノ業者の儲けは予測を大きく下回り、撤退し、荒廃した町になると言われている。真剣に見直しを検討しているか大変疑問である。 | 参考 | |
| 1057 | トリクルダウン理論でIR周辺で経済効果が見込まれるということですが、治安やカジノ依存症対策が不十分だと思えます。 | 参考 | |
| 1058 | 青少年への悪影響対策。大体、悪影響が出るであろうという推測がある施設は作るべきでない。 | 参考 | |
| 1059 | 大好きな横浜の中心部・山下ふ頭にIRカジノを強行導入し、人（依存症、借金、家庭崩壊・・・）や街（犯罪、暴力、風俗・・・）を壊さないでください。 | 参考 | |
| 1060 | IR誘致反対（但しカジノ施設が無しなら賛成）青少年や年少の子供達の風紀の緩み、及び治安の悪化 | 参考 | |
| 1061 | 青少年にも悪い影響を与えかねないこともあり、すでに世界各国のカジノの周辺での問題点が顕在化している中、とても我が横浜市にカジノを誘致することは絶対できません。こんな弊害があるカジノのお金が横浜市が発展しても何の意味もありません。 | 参考 | |
| 1062 | 同素案によるカジノ計画には絶対に反対である。同素案では、カジノ経営による市財政への寄与効果など経済的メリットが強調されているが、賭博の精神的、社会的悪影響というデメリットの方がより深刻な問題である。 | 参考 | |
| 1063 | 横浜には場外馬券場があり、また沢山のパチンコ屋もある。賭博場を増やすことには反対する。大規模な賭博場開設に当たって1) 治安の乱れ（依存症、喧嘩、覚醒剤、売淫など）2) 反社会的勢力の進出3) 海外資本による地場経済の浸食4) 横浜の大規模地下経済進出拠点化など懸念材料は尽きない。既に賄賂が飛び交っている様子もあるように、法や環境の整備で懸念は解決しない。IRに反対なのではない。「横浜らしさ」に、IRに賭博場はいらない。 | 参考 | |
| 1064 | カジノがもたらす犯罪に関する検証はなさいましたか？青少年に及ぼす悪影響がいかばかりかを考えになったことはありますか？一刻も早い再考をお願いいたします。 | 参考 | |
| 1065 | IRそのものの是非はともかく、IRにカジノは必要ありません。依存症や治安の悪化による弊害は計り知れません。本当に横浜市民の事を考え横浜を活性化させたいなら、カジノから撤退するべきだと思います。子供達に安全な横浜を残してあげてください。 | 参考 | |
| 1066 | カジノに反対です。子育てする親として、カジノタウンになってしまうのは不安しかありません。絶対反対です。 | 参考 | |
| 1067 | 依存症、治安対策は本当に熟慮できているのか（知識人、評論家等の机上策では失敗例が多過ぎないか）？ | 参考 | |
| 1068 | 依存症を増やすこと、地元の金が海外に流れること、治安が悪化して安心して暮らせなくなることから、断固反対です。 | 参考 | |
| 1069 | IR事業そのものについては、賭博で社会保障費を捻出するという倫理に反する目的、経済的にもIR事業の整備に対する支出を上回る利益が得られる保障がない点、賭博に伴う依存症発生のリスク（犯罪の増加、家庭崩壊、生活保護費の増加、ネグレクトなどの児童虐待への対応）が避けられないこと、何よりも市政の最終的な意思決定権者たる横浜市民の大半がIR事業に反対であることなどから、反対です。 | 参考 | |
| 1070 | カジノ反対・カジノは賭博施設です。カジノ参加者の殆どが大金を失う事、そして多くの治安問題が発生する事は、他国の例からも明らか。その結果、港地区を中心に市民生活への悪影響は計り知れない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1071 | 統合型リゾート施設カジノを作るに当たって、治安、カジノ依存症、マネーロンダリング、テロ対策、そして今回のような疫病に対する対策が発表されていません。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 |
| 1072 | 治安、依存症、マネーロンダリングなどの対策をしなければ実現できないカジノは不要である。カジノがなければ、諸対策も不要になる。 | 参考 | 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。 |
| 1073 | IRの実現については、カジノなしならば賛成です。カジノについては、治安の問題など心配なことが多いです。 | 参考 | なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 1074 | カジノは必要ないと思います。個人的にカジノはギャンブルに近いように思います。建設、反対です。 | 参考 | |
| 1075 | 私は横浜にIR（統合型リゾート）の誘致に絶対に反対をいたします。理由は反対派の多くの皆さんが指摘しているとおり、ギャンブル依存症の増加、治安の悪化が心配だからです。 | 参考 | |
| 1076 | 統合型リゾートが大部分であります。一部カジノを含めるので、ギャンブル防止等の施策を十分に取る事が大前提となります。 | 参考 | |
| 1077 | IRはデメリットが大きすぎるので反対します。デメリットはよくご存知のことと思います。よく調べ倫理的に人のために考えてください | 参考 | |
| 1078 | 一度認めて、うまくいかなければ米企業もいずれ撤退するかもしれません。しかし、治安が悪くなったら、横浜の今の素敵なイメージはガタ落ちです。カジノ参入企業は、その責任はとれません。今の横浜のイメージは明治から長らくかけて築き上げたものと思います。住民、特に子育て世帯の多くからは反対の声しかききません。周りのママたちと話しても、みんな反対しています。どうか、未来の子供を育てている私達の声を聞いてください。このまま横浜で子育てをしていこう、と思えるように。宜しくお願いいたします。 | 参考 | |
| 1079 | 国内外の反社会的勢力が直接間接関与し、市民、国民、観光客のお金は、彼らに流れる。 | 参考 | |
| 1080 | IR内でも稼ぎのある「カジノ」部分のみしか機能しなくなった結果、来場者のほとんどはカジノを目的とした人となり、カジノ設置場所近郊の治安、風紀等が悪化した姿しか想像できません。 | 参考 | |
| 1081 | カジノ開設反対です。禁止されてもバカラなどの賭博やドラッグに走る人は必ず一定数いる。善と悪との間でメトロノームのように危うくバランスを取っている大多数の人達に積極的に「悪の場」を提供する事は絶対正しいとは考えられない。 | 参考 | |
| 1082 | 私は横浜IR（統合型リゾート）に反対です。横浜市は「住み続けたいまち」を目指してきたはずですが、ですが、カジノがあるまちに、住みたくありません。なぜなら、カジノの周辺は治安が悪いからです。治安をよくするために力やお金を使うなら、まちづくりや市民生活の向上に使うほしいです。子供たちには近寄らせたくない場所を、わざわざ作る必要はありません。年を取った時も、カジノの隣で、穏やかに暮らせないと思います。カジノがある街に、気軽には行けません。カジノはギャンブルをする場所であり、お金を使わずに済むように気を付けなければいけません。カジノ以外の場所も、「カジノがある」場所なので、治安の悪さ、女性軽視の体制、異常に浮かれたイメージなどが先行し、近寄りたくありません。 | 参考 | |
| 1083 | 28ページカジノはファミリーが近づけないように、わざわざ法令で縛る必要がある危険な施設です。市民の安全安心に対峙する施策としか見えません。 | 参考 | |
| 1084 | IRの誘致は、横浜の町を荒廃させるものと考えます。ギャンブルの依存症を増やし、周辺的美観を壊します | 参考 | |
| 1085 | 懸念されているギャンブル依存症や治安については、国・自治体・事業者が一体となって対策に取り組む必要があると考えます。 | 参考 | |
| 1086 | カジノ。所詮は賭博場。警え面積が3%でもこんなものに公有地を利用させることを考えるのは言語道断である。賭博は胴元が儲かる仕組みになっていて、多くの入場者が悲嘆にくれることになったり、治安が悪くなったりといふことは何も無い。そろそろ箱モノ思想から脱却してはいかがでしょうか。地道な港湾整備のほうが長期的に見てもよいと考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1087 | カジノ誘致にともない、ギャンブル依存症に陥る人や家庭崩壊の増加が心配されています。暴力団や国際マフィアの流入、資金洗浄なども心配され、それに関連した施設や店が増えて周辺の環境や街の雰囲気が悪化するのではという不安もあります。山下公園の周辺は、観光客・家族連れ・友人同士が憩い、子供たちが元気に走り回れる場所となっていますが、カジノ誘致が予定されている山下埠頭は山下公園に隣接しています。今回の誘致計画は、山下公園の隣接地にそれとは異質のカジノを誘致するというもので、いったん導入すれば40年は止められないというものです。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。 なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 1088 | IR誘致に賛成ですが、自殺者が増える可能性や治安の維持についてしっかり検討し、対応して欲しいです。 | 参考 | |
| 1089 | 素案資料を拝見しましたが、よく調査され、わかりやすくまとめられており感心しました。カジノは余裕のある人しか入れないよう、ハードルを上げてほしいと思います。治安についても海外諸国に習い、指定場所以外での喫煙禁止、ごみポイ捨て禁止、唾吐き禁止等、誰もが住みよい美しい街となるよう、厳格なルールを定めていただきたいと思います。 | 参考 | |
| 1090 | 横浜IRについて。依存患者増加による保健の崩壊。治安の悪化による街の崩壊。そして今回のコロナ騒動でマカオのカジノが危ない状態になっているように、カジノ自体が博打で、税金の収入増加はあてにならない。以上の事によりIRの誘致を反対します。 | 参考 | |
| 1091 | 目の前にIRなどあったら、精神的にも教育的にも害をもたらします。 | 参考 | |
| 1092 | 夢のような計画ばかりが網羅された素案は、現実的なのでしょうか？負の側面も沢山あるはずで、未来を規定してしまう将来計画は最悪の事態も想定しておくべきものでしょう。素案の中で、「依存症対策」へ18P・「治安対策」に6Pをも割いているのは、計画自体への懸念を雄弁に語っています。横浜は既にギャンブル依存都市です、その対策は必要なのは当然ですがその費用をギャンブル益で賄う、悪い冗談でしょう。 | 参考 | |
| 1093 | 山下周辺地区は、古き良き横浜を残した文化地区です、小中高をはじめ大学まで多数が立地する大文教地域でもあります。子ども達に悪影響はないのでしょうか、せつかく努力を重ねて環境浄化に努めてきたこの地区に揺り戻しはないのでしょうか。 | 参考 | |
| 1094 | 依存症や治安の悪化に対する対応は十分なものを予定しているとおるだけで、依存症対策などは今回の予算案で調査活動が開始される程度のものであって、とても十分な水準とはいえない。 | 参考 | |
| 1095 | 青少年の健全な育成には明らかにマイナスな要素を含む施設を横浜市に建設することになります。 | 参考 | |
| 1096 | IR構想につきましては、カジノ施設を含むために、かねてより刑法違反、治安の悪化、ギャンブル依存症の増加等といった観点から、多くの市民が反対しておりました。 | 参考 | |
| 1097 | 横浜市の将来を決定づけるIR設置は、カジノ等の射幸心を煽り、尚且周辺の治安の不良地帯を招くことがなければ良いかもしれませんが。しかし横浜市のイメージが何れにしても怠惰、扇情等に悪化するのには目に見えて明らかです。直ちにIR設置を取り下げるべきです。 | 参考 | |
| 1098 | 横浜でのIR事業実施に反対します。カジノにより横浜の治安は悪化し、ギャンブル依存症の人が増えることは誰もが想像できます。 | 参考 | |
| 1099 | 横浜IR（統合型リゾート）に反対です。IRといっても中心はカジノです。カジノには弊害が多すぎます。 | 参考 | |
| 1100 | IR誘致に賛成です。横浜市全体の人口はこの先減少する傾向にあり、インバウンドからの経済効果が必要不可欠と考えます。治安問題等含め様々な整備は必要かと思いますが、そういったことをクリアした上で誘致をお願い致します。 | 参考 | |
| 1101 | 周辺の環境悪化も心配しますがどうですか？夜に活発になる街になって犯罪の街になる恐れもありますが、安全を保障できますか？お金がある方もどこかで周囲に迷惑を与え、自分も依存症にかかり抜け出せない、お金もないのにカジノの魅力のとりこになって抜けなしのお金をつぎ込むことで、家族崩壊を招く。そんな不幸な事実を生み出しかねないところの中心が横浜になることを、市政に携わる方々は考えているのか？ | 参考 | |
| 1102 | 治安が悪くなり、依存症の人が増えることになるカジノには絶対反対です。私達の横浜の環境を悪くしないでください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1103 | 私は横浜市がIR誘致に強く反対します。雇用が増え税収が増えるかもしれませんが、治安の悪化懸念、マフィア・反社会的勢力の拡大、カジノでの賭博で金銭を失う人の生活問題の発生、賭博依存症の人の増加、若い世代への華美な誘惑の増大等々マイナス面の方がプラス面よりはるかに大きいと思います。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 |
| 1104 | 私は横浜市がIR誘致に強く反対します。雇用が増え税収が増えるかもしれませんが、治安の悪化懸念、マフィア・反社会的勢力の拡大、カジノでの賭博で金銭を失う人の生活問題の発生、賭博依存症の人の増加、若い世代への華美な誘惑の増大等々マイナス面の方がプラス面よりはるかに大きいと思います。 | 参考 | 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。 |
| 1105 | 横浜市IRのカジノが抱えている問題（依存症、風紀の乱れなど）は、折角永年積み重ねてきた横浜市の街づくりのセンスを崩し、横浜市民にとって負の種となって、今後、横浜市政の運営を歪めるものです。カジノ誘致の方向は、是非とも廃案としてください。 | 参考 | なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 1106 | 57?83ページ：カジノの負の影響に対する対策が書かれています。しかし、日本はシンガポールと違い、法執行能力に弱点があります。58ページ：「世界最高水準のカジノ規制」の具体的なゴールは何でしょうか。もちろん、カジノ起因の破産、自殺、殺人を起こさないことだと思いますが、不可能です。ですから、このような問題が起きたときの国と自治体の責任の取り方を明記する必要があります。できないなら、カジノを諦めましょう。60ページ：ギャンブル依存症対策で一番重要なのは予防です。ところが、素案には「関係事業者が行う事業（広告、宣伝、入場の管理等）について、予防等が図られるものとなる」としか書かれていません。こんな具体性のない予防措置ではギャンブル依存症を防げません。上述したように、横浜市にカジノ業者を誘致する能力も理念もないので、カジノ誘致は止めるべきです。 | 参考 | |
| 1107 | 不安要素となる依存症や治安についての対策を念入りしていただきたいと思います。 | 参考 | |
| 1108 | カジノは横浜市の今までのクリーンでファミリーで遊べる観光イメージを悪くする。カジノのイメージは、反社会的勢力、汚い金、マネーロンダリング、ギャンブル依存症、酔っ払い、麻薬中毒、金持ちの遊び等である。治安が悪化し、山下ふ頭は、普通の市民は近づけない場所となりそうである。 | 参考 | |
| 1109 | 横浜市の治安の悪化や依存症についての対応策を考えて下さい。 | 参考 | |
| 1110 | 横浜IRに賛成します。既にパチンコや公営競技等のギャンブルは周辺にあふれています。日本のIR制度は、他の既存ギャンブルと異なり、カジノ納付金等が国及び市に歳入となり、産業振興や社会福祉などにも活用できる画期的な制度であるといえます。また、海外のIR事業者は、災害や社会貢献のために、多額の寄付を行っています。現在の既存ギャンブルの事業者にも模範となる取り組みになります。 | 参考 | |
| 1111 | 「ギャンブル依存症が増える」「治安が悪くなる」等の市民の意見に耳を傾けず、カジノ誘致を推進している。市長はカジノ誘致の件、横浜市民に対する対応をいま一度見直し改善するべきだ。 | 参考 | |
| 1112 | IR（カジノ）に反対です。「経済対策」の一つとして計画されたのですが、その副作用を大勢の市民は心配しています。経済的には有効でも、マイナス面が心配される方策は避けるのが賢明だと思われます。もっと地道で有効な方策は、ほかにもあるはず。専門家の知恵を集めれば、安易で派手で危険なIR（カジノ）に反対です。 | 参考 | |
| 1113 | IR賛成です。これだけ街にパチンコ屋さんがある状況で、カジノ建設でギャンブル依存症が増えるとの主張は懐疑的です。何を今更ギャンブル依存症の話を持ち出すのか分かりません。治安も問題ないでしょう。 | 参考 | |
| 1114 | カジノ建設はギャンブルへ依存する人を増やしたり、風紀の乱れを助長するなど負の影響が多くあり、横浜のイメージを悪化させるものと考えられます。 | 参考 | |
| 1115 | 現在でも機能していないギャンブル依存症への支援が将来実現することを期待できないだけでなく、依存症対策や治安対策・生活保護等の保健・福祉等での歳出は増え、財政改善など夢また夢の話と言えます。 | 参考 | |
| 1116 | 山手には沢山の教育施設があります。青少年の健全な育成を考えて下さい。 | 参考 | |
| 1117 | 治安悪化の恐れがあることから反対。ギャンブル渦にまきこまれたくない。どうか、踏みとどまってくださいよう再考をお願いします。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1118 | 「場内の保安強化」だけで済まないのは火を見るより明らかです。市内各地や、横須賀、川崎と言った近隣でも、銃犯罪、薬物、性犯罪、闇金融といった諸悪がはびこるでしょう。「対策」は一体どうするのでしょうか？答えは明らかで、「カジノを横浜に入れたい、日本に入れたい」が正しい選択です。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 |
| 1119 | シンガポールのギャンブル依存症について事例として出されていますが、犯罪率や、人口の変化、周囲の施設に変化があるかなど知りたいです。 | 参考 | 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。 |
| 1120 | 他人の金品をゲームのような形で奪い合う行為です。金品を争う勝負事であり、勝ち負けの結果次第では、冷静さを欠いた状態が生まれ、次の犯罪を生む要素も持っています。ガラガラした人たちがたむろす世界が想像されます。 | 参考 | なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 1121 | 依存症対策への取組について・日本人に対しては収入に応じた上限金額の設定を設けてほしい。例えば、住居及び生計を共にする者（世帯）の年収額に応じて、その世帯の年間チップ購入合計額は去年度の所得税と同額までに制限とするなど。マネー・ロンダリング（犯罪資金洗浄）対策について・チップを有効期限付きの電子マネー化できないでしょうか。入場時、チップ用のICカードを受け取り、退場時にカードの回収と残額の払い戻しを行います。マイナンバー、または、パスポートとこれを紐づける事で管理がしやすくなる利点があります。また、有効期限を設けることで万持ち出された場合の対策が可能です。 | 参考 | |
| 1122 | カジノはいりません。どれだけ綺麗事をならべようと、どれだけ良く見せようと、カジノは所詮賭博です。賭博である以上依存性の問題はついてまわりますし、治安が良くなるわけはありません。横浜らしさにも微塵も関係はありません。 | 参考 | |
| 1123 | 賭博場なんて、治安も悪くなるし正気の沙汰とは思えません。 | 参考 | |
| 1124 | カジノによる社会的影響。金儲けのために民間賭博を解禁すれば、それが子供や若者の価値観に大きな影響を及ぼし、安全な社会秩序を築いてきた日本人のモラルを崩壊させてしまう。 | 参考 | |
| 1125 | 私は横浜市民ではありません。でも隣の市で、そんな近くにカジノができれば、まったく影響がないとは思えません。ギャンブル依存症のひとが増えたり、治安が悪化したりと日常生活に悪影響が及びます。市の財政も対策のために圧迫されることでしょう。 | 参考 | |
| 1126 | 横浜市にカジノができると聞いてからずっと不安に思っています。家族がギャンブル依存症になってしまうのではないかと、ギャンブルで損害が出た人がやけになって犯罪を起こすのではないかとという不安があり、カジノの建設には反対です | 参考 | |
| 1127 | 横浜市IRカジノ構想について賛成します。方向性としては、悪くないと思います。税金等経済的余裕がないと市民生活は安定しません。いろいろと言われている弊害・不安は確かにそうかもしれませんが、そのために事前に対応策予防策を講じてください。 | 参考 | |
| 1128 | 横浜市の振興や財政課題対応のためにIR誘致が望ましいと考えます。ギャンブル依存症患者の増加や治安の悪化の可能性というリスクはあるものの、IRによる収入増加により、既存ギャンブルも含めた依存症患者の減少策実施や、治安改善策実施の機会と考えます。 | 参考 | |
| 1129 | ギャンブル依存症や治安悪化の一番の対策はカジノそのものを誘致しないことと考えます。 | 参考 | |
| 1130 | 横浜IRで最も利益を享受するのは、営利を第一とし、横浜市や市民の将来に何の責任を持たないカジノ事業者である。一方で、憩いの場の喪失、治安悪化、依存症者への対応など、被害を受けるのは横浜市民である。 | 参考 | |
| 1131 | 治安対策？出来るわけがありません。利権が絡むと、どんな事でもうやむやになるんです。 | 参考 | |
| 1132 | カジノにおけるギャンブル依存や風紀の乱れ等市民生活へのリスクも心配です。なんとか施設見直してもらえれば市民としては嬉しいことなのですが…。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1133 | 「カジノ付きのIR」の設置される山下埠頭は元町、山下町、新山下等の人口密集地に隣接しています。山下埠頭は、アメリカのラスベガスのように砂漠の真ん中にある訳ではありません。しかし、「カジノ」で財産や多額の金銭を失ったり多くの人々が周辺の住宅街にも溢れてきます。当然、万引き、ひったくり、窃盗、強盗などの犯罪行為や違法行為が頻発するようになるでしょう。市民の憩いの場である山下公園にも、住居や財産を失ったホームレスが増える可能性があります。横浜市民は、特に幼児や未成年や女性などは安心して山下公園や元町商店街や中華街に行けなくなります。少なくとも山下公園は危険ゾーンになると思います。山下公園で子供を安心して遊ばせることが出来なくなります。横浜市の健全な市民生活が破壊されます。シンガポールの「カジノ」の真似をすることは不可能です。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。 また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。 |
| 1134 | これ以上、ギャンブル依存性を増やし保険で治療して税金を増やしたり、治安を悪くしたり。問題を増やさないでください。よろしく願っています。 | 参考 | なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。 |
| 1135 | 今回の横浜IRですが、カジノ導入に対し、不安があります。対策を打ち出しているのは拝見しました。しかし依存症など不安要素はゼロにはならず、そういう場所に行きたくは無いのは躊躇してしまいます。今までどおり、躊躇なく心配なく、遊びに行ける横浜であってほしいです。 | 参考 | |
| 1136 | 私は賛成です。これからの時代のことを考えると、このような大きくて統一感のある取り組みを実施することが必要だと思います。また、純粋に少しわくわくします。ただし、十分な検討と、弊害にあたるものを最小化する仕組みづくり、工夫が重要だと感じます。 | 参考 | |
| 1137 | 治安の悪化やギャンブル依存症の増加など良いことは一つもありません。 | 参考 | |
| 1138 | 方向性（素案）では、依存症対策に多くの頁を割いています。横浜IRにはギャンブル依存症対策が必須であることをしめしていると思います。治安も悪化しますし。 | 参考 | |
| 1139 | セキュリティや懸念事項対策も世界最高水準として、市民のご心配を払拭できることが大変重要です。 | 参考 | |
| 1140 | 賭け事は人間を狂わせ、犯罪の温床になるギャンブル自体に常習依存性が強く、金銭感覚を大幅に狂わせる。訪う者達に自制と良識の無い者が多く、犯罪が多発する恐れがある。興味本位の若年層や悪質な海外客が入る事も問題であり、警察の取締り強化も限界がある。この様な者達が流入することで、近隣地区及び市内の安全安心が脅かされる。（そもそもカジノが無ければ大半は起こらない問題である） | 参考 | |
| 1141 | 横浜市にカジノを誘致することに反対します。カジノができたら治安が悪くなり、子供たちと安心して住めない街になります。国営だろうとなんだろうと、カジノはギャンブルです。ギャンブル依存症の人も増えます。これだけ豊かな横浜市に、どうしてカジノが必要なのでしょう。理由がわかりません。 | 参考 | |
| 1142 | 現在、横浜市が進めているカジノを含むIR計画に反対いたします。理由は以下の通りです。①最大のギャンブル依存症対策はギャンブル依存の原因となる施設を増やさないことである。②老若男女の憩いの場である山下公園の付近の風紀を悪化させて欲しくない。 | 参考 | |
| 1143 | カジノには、メリットよりも危険性が多いと思います。雇用を生み、地域経済を活性化させ、他所からの観光客を呼び、町を豊かにするはずだったカジノは、地域経済に多大なる悪影響を及ぼし、地域住民の多くをギャンブル依存症、破産に導きました。カジノの収益源の大部分は地元住民であり、ギャンブルで破産する人が増えていきました。カジノが誘致された町では、DVやアルコール依存症が増えるという記事も読んだことがあります。誘致前にギャンブル依存症などの心配で反対意見もあり、当初、1セッション（2時間）あたり500ドルというような制限が設けられていましたが、14年の間に、少しずつ緩められ、今では全く制限がなくなりました。一度カジノに入口をあけてしまったら、そのようにして少しずつ規制を緩めていく傾向にあります。 | 参考 | |
| 1144 | 横浜IRだけでなく、国策として進められようとしてIRでは、カジノの配置は不可欠のものです。そのカジノについて、市長または横浜市は、カジノ行為が特別に依存症を生みやすい賭博だという指摘がありますが、どうお考えか？ | 参考 | |
| 1145 | 依存症対策、治安対策、未成年への影響、これらについて特にケアする必要があると考えます。IRに関して否定的な意見も聞こえる中で、これらの懸念を払拭できるような体制を整えて頂ける事を期待致します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1146 | 横浜のさらなる飛躍の為に、横浜IRは必要不可欠だと思います。懸念事項は色々あるとは思いますが、対策は可能だと確信しています。是非とも横浜IRを実現させてもらいたいです。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ロンダリング対策について、IR事業者に厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 1147 | 依存症対策や、治安対策など解決しなければならない問題は多いです | 参考 | |
| 1148 | 全くの反対ではないです。回りの環境を害する事の無い事が、第一条件でしたら賛成できます。 | 参考 | |
| 1149 | カジノなどのギャンブルは、自己責任の問題。全体として良くなるなら、IRを進めるべきではないか。 | 参考 | |
| 1150 | 将来の横浜の財政状況を考えると、こうしたIRの推進は必要な手段だと思う。実現にあたっては、安心安全な対策をしっかりとってほしい。 | 参考 | |
| 1151 | IRが実現することで治安は良くなると思う。依存症も具体的な取り組みが進み回復プログラムができるはず。トライアンドエラーでより良くしてほしい。 | 参考 | |
| 1152 | IRについては、慎重な対応を望みますが、市の財政について必要であると感じます。大都市である横浜の取組みは、周辺の都市にも影響があると思います。様々な想定を考慮していただき、好影響、悪影響を踏まえて重ね重ね慎重に対処していただくカタチで実現への取組みを御願います。 | 参考 | |
| 1153 | 横浜IRのメリットを生かすとともに、懸念事項に対してもしっかりと取り組んでもらいたい | 参考 | |
| 1154 | 横浜IRのメリットを生かすとともに、懸念事項に対してもしっかりと取り組んでほしいです。 | 参考 | |
| 1155 | カジノの負の懸念はあります。依存症対策などにしっかりと取り組んで頂き、横浜らしさを、発揮したIRになることを期待したいです。 | 参考 | |
| 1156 | 横浜IRのメリットを生かすと共に、懸念事項に対ししっかりと取り組んでいただきたいと思います。 | 参考 | |
| 1157 | 横浜IRのメリットを生かすとともに、懸念事項に対してもしっかりと取り組んでもらいたい | 参考 | |
| 1158 | 横浜IRのメリットを生かすと共に、懸念事項に対してもしっかりと取り組んでいただきたい。 | 参考 | |
| 1159 | 横浜IRのメリットを生かすとともに、懸念事項に対してもしっかりと取り組んでもらいたい。 | 参考 | |
| 1160 | 横浜IRのメリットを生かすとともに、懸念されている事項に対してもしっかりと取り組んでいただきたい。 | 参考 | |
| 1161 | 横浜IRのメリットだけでなく、負の部分に対してもしっかりと取り組んでもらいたい。 | 参考 | |
| 1162 | 横浜IRのメリットを生かすとともに、懸念事項に対してもしっかりと取り組んでいただきたい | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1163 | 依存症対策が不十分である点、収入が見込める根拠が不十分である点から、カジノを作ることに反対します。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めています。さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置されましたが、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> <p>効果の算定にあたっては、事業者ごとに施設構成や規模、IR全体の売上などの異なった情報が提供された中で、この数値を委託先の監査法人が整理・確認し、横浜市の産業連関表を用いて波及効果を算出したものです。</p> <p>事業者ごとに施設構成や規模、売上が異なっていたため数字の幅が生じたものです。</p> <p>今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> <p>また、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。</p> |
| 1164 | カジノは横浜にはいらぬ。税収UP、のために誘致すると言っているが、負の部分が大きい。カジノ誘致絶対反対です。もっと議論を深めてください。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 1165 | 安全、安心対策の横浜モデルの構築とは具体的指針をもって説明して下さい。カジノはギャンブル等依存症が、非常に又、大変に、様々な懸念されます。その対応、対策を、科学的に検討しその結果を専門家の見解のもとどうあるべき姿を、示して下さい。カジノ施設は入場制限（年齢、所得など）の利用制限を行うのか。こういう施設をつくることにおいて、すべてがバラ色に思われるが、問題・課題がないのか。負の経済的問題点はないのか。様々なシミュレーション検討されること期待したい。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 1166 | 交通網の混乱、多くの人が入り出すことによる治安の悪化、子どもや青少年への悪影響、ギャンブル依存症の増加、反社会的勢力の関与、マネー・ローンダリング、市の収入の不確定さ、成功するか分からないといった不安や危険といった大きな環境の変化を犯してまでカジノをつくる必要はないと考えます。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 1167 | 治安の悪化。どう考えても金にからんだ輩が入り込んで来るのは自明の理。それをどうやって阻止するのでしょうか？そんな事への対策費も税金から使われるのでしょうか。 | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |
| 1168 | 30頁、46頁、75頁にてギャンブル依存症対策として、客の資産調査を行った上で1年で賭けられる金額の上限を10万円程度とすることを定めてください。（あくまで遊びなのでから） | 参考 | <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。</p> <p>また、事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> <p>治安等の対策について、IR整備法は、犯罪の発生の予防、善良な風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成、カジノ施設に入場した者がカジノ施設を利用したことに伴い受ける悪影響の防止等について必要な施策を策定し実施することを、国及び地方公共団体の責務として定めており、さらに暴力団等反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング対策について、IR事業者には厳格な規制を課しています。</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> <p>これら、ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。</p> |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1169 | 医療費の増大について カジノで税収を稼げたとしても、それが「依存症対策」や「治安維持費」に使われても実質マイナスの税収では意味がありません。医療費がかさむ将来が解っているのに、依存症を増やしていく政策は、得た税収を多大な生活保護費など、意味のない、生きる力を失う結果になってしまうと思います。カジノで安易に稼いだ税収が副産物で消えるよりも、それを見越したアイデアで、副産物でもプラスの収入に変えて他の成長あるものに投資した方が税金が増え活かされると思います。以上、改めて政策を考えた方が賢明だと思います。 | 参考 | ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1170 | ギャンブル等依存症対策に関し、相談支援や社会復帰支援等、重層的・多段階的な取り組みを制度化しているとしているが、相談窓口の設置や依存症患者の治療にかかる費用などの依存症対策に予想される費用が示されていない。本案では、相談窓口の設置や依存症患者の治療にかかる費用等、上記施策にかかる費用の試算すら公表していない。この点、上記施策が横浜市民に重大な影響を与えることは明白であるところ、当該施策の費用すら公表されないということは、その実現可能性に疑いを生じさせることにもなりかねない。 | 参考 | |
| 1171 | この方向性(素案)では、カジノ事業者の都合のよい宣伝が多く載っている。横浜市として主体的に市民のことを考えた検討の跡が見られない。特にギャンブル依存症対策に伴う、社会的コストが示されていない、海外の例では、IR(主にカジノ)収益による税収より、社会的コストの方が多額になるとの研究報告がある。 | 参考 | |
| 1172 | 市民に明確なリスクもコストも示さず、市民の意見よりまだ決まっていない架空のカジノ事業者と決めていくという、あまりにも市民を愚弄した内容ではないか。 | 参考 | |
| 1173 | カジノに対する数々の規制を検討されていますが、カジノありきからスタートしている事と、カジノが如何に危険なものかを証明する様になっています。厳しくすればする程警察をはじめ多くの人や計り知れない費用(税金)かかる事(全く後向きな)に対する認識も計算もされてないのが気に掛ります。 | 参考 | |
| 1174 | 素案では、ギャンブル等依存症対策を重層的・多段階的な取り組みを制度化しているとしていますが、相談窓口の設置や依存症患者の治療にかかる費用などの依存症対策に予想される費用を示していません。具体的な制度案とそれにかかる費用を提示しなければ、対策を考えたとは言えず、実現可能性すらわかりません。IR誘致の動機が市の収入増であるとしていますが、対策費との具体的な対比が示されない限り、収入増の根拠すら疑わしくなります。 | 参考 | |
| 1175 | カジノは中止!カジノで財政は豊かになりません。 | 参考 | |
| 1176 | 素案では、ギャンブル等依存症対策を重層的・多段階的な取り組みを制度化しているとしていますが、相談窓口の設置や依存症患者の治療にかかる費用などの依存症対策に予想される費用を示していません。具体的な制度案とそれにかかる費用を提示しなければ、対策を考えたとは言えず、実現可能性すらわかりません。IR誘致の動機が市の収入増であるとしていますが、対策費との具体的な対比が示されない限り、収入増の根拠すら疑わしくなります。 | 参考 | |
| 1177 | ギャンブル依存症対策などに伴う損失。失業、医療、生活保護、税の減収、周辺商店の減収など眼に見えない損失ははかり知れない。 | 参考 | |
| 1178 | IR誘致には反対です。目に見える増収にのみとらわれていませんか?依存症が拡大すれば、社会が病み、その手当に莫大な支出がかかります。 | 参考 | |
| 1179 | 負の費用を公表して下さい(負け金の負担、契約の途中解約金など)。カジノで不幸になる人を生みだしては、私たちの幸福につながりません。 | 参考 | |
| 1180 | IR施設の誘致に対するメリットが強調されていてデメリットでの「社会的コスト」がどの程度発生するかの説明が有りません。誘致計画段階での「コスト比較」がない計画は「砂上の絵」と言われます。速やかに「メリットデメリット」の比較内容を公表して下さい。誘致の効果として~1200億円/年の財政入金のみPRをしていますますが真の収益を考えて計画をしているのですか?もし、将来に収入が少なくなって市が負担する「社会的コスト」が重荷になり住民の負担が増加する計画なら中止して市の財政の見直しをすべきだと思います。市長は将来の財政が悪くなるためIRでの収益を横浜市の財政にすると発言をしているが将来の財政健全を考えて横浜市は人件費の占める割合が他の都市より多いこともあり、効率化や節約できる内容を検討すべきだと思います。 | 参考 | |
| 1181 | 市民に対して不誠実な素案だと思います。懸念事項(治安・依存症)対策にどれほどのコストを見込んでいるのか記載がなく、経済的效果を判断できない。報道によればカジノ業者社長自身が依存症は深刻であると述べており、対策には多大なコストがかかると思われる。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1182 | 横浜ⅠＲ（統合型リゾート）の方向性（素案）には、問題があるので、横浜市は、誘致を進めるべきではなく、横浜ⅠＲ誘致を撤回するべきである。素案では、ギャンブル等依存症対策の重層的・多段階的な取り組みを制度化しているとしているが、相談窓口の設置や依存症患者の治療にかかる費用などの依存症対策に予想される費用を示していない。まさに絵に描いた餅である。そもそも、対策費用が分からなければ、市の収入が増加するかどうか分からないではないか。 | 参考 | ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、ⅠＲの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1183 | 横浜ⅠＲ（統合型リゾート）の方向性（素案）は、問題がありますので、横浜市は、このような問題がある根拠を基に誘致を進めるべきではなく、横浜ⅠＲ（統合型リゾート）誘致を撤回するべきであると考えます。素案では、ギャンブル等依存症対策を重層的・多段階的な取り組みを制度化しているとしていますが、相談窓口の設置や依存症患者の治療にかかる費用などの依存症対策に予想される費用を示していません。具体的な制度案とそれにかかる費用を提示しなければ、対策を考えたとは言えず、実現可能性すらわかりません。ⅠＲ誘致の動機が市の収入増であるとしていますが、対策費との具体的な対比が示されない限り、収入増の根拠すら疑わしくなります。 | 参考 | |
| 1184 | 素案には、収益にはどれくらい巨額の負けが必要になるのかといった数字は示されていない。負の側面が全く示さないバランスの悪い素案であり、信頼に値しない内容である。 | 参考 | |
| 1185 | 平成31年4月の調査報告書の177頁の有識者の意見で「依存症対策等の社会的コストの試算・把握の重要性」が挙げられているが、横浜市としての試算・把握について言及してください。 | 参考 | |
| 1186 | いくら大々的な対策を施しても依存症を完全に無くすることは不可能ですし、そもそもそのような対策が必要な計画そのものが矛盾だらけです。（素案）では訪問者数をはじめとする効果想定は過大に思われ、依存症対策費などは曖昧で計画の体をなしていません。 | 参考 | |
| 1187 | 特に気になるのは次の3点です。治安悪化防止、依存症対策等の、負の側面にかかる対策費用が計画に織り込まれていません。それ等を勘案すると820億～1,200億円と見込む増収効果は大きく目減りすると予想します。それらを明確にした採算計画を公開してください。 | 参考 | |
| 1188 | ⅠＲ説明会に参加しました。ⅠＲ全体の採算は、カジノの収益に依存しているという説明でした。カジノの収益とギャンブル依存症対策が両立する根拠が示されていません。ギャンブル依存症対策が成功すればカジノの収益は上がり、カジノが成功するとすればギャンブル依存症の問題が顕著になると思われます。どちらにしても横浜市民にとっては不幸な結果です。一度このような結果を招けば、問題解決に多大な時間と追加の費用負担が生じ、本末転倒です。ⅠＲから撤退すべきです。 | 参考 | |
| 1189 | ギャンブル等依存症対策に関して、重層的・多段階的な取り組みを制度化しているとしている。しかし、相談窓口の設置や依存症患者の治療にかかる費用などの依存症対策に予想される費用が示されていない。 | 参考 | |
| 1190 | ギャンブル依存症を増やして、それに対して対策をするという考え方がそもそもおかしい。カジノ（博打場）を設置してギャンブル依存症が減るということはあり得ない話であり、横浜市もギャンブル依存症が増えることは認めるでしょう。素案において、「依存症対策」として、ギャンブル等依存症対策基本法、ギャンブル等依存症対策推進基本計画及び取り組むべき具体的施策の説明があります。そして取り組むべき具体的施策として、相談支援（相談拠点の整備、ギャンブル等依存症である家族等の家族に対する支援強化）、社会復帰支援（ギャンブル等依存症問題を有す生活困窮者支援）などがあるとしている。しかしながらⅠＲによる「効果」を喧伝する割には、このギャンブル等依存症対策の施策にかかる費用については明らかにしていない。自分たちにとってプラスとして強調したいことだけ大書きにし、マイナス面はなるべく具体的には言わず焦点化させないというやり方には不信を覚えます。そもそもギャンブル依存症を増やして、それに対して対策をするという考え方がおかしくありませんか。 | 参考 | |
| 1191 | 損失部分についての情報公開。防疫、依存症対策を含めて、負の側面もごさいます。そこに関する負担を含めて、すべてにおいて情報公開を願います。長所と短所はすべてにおいてつきものです。よろしくお願いいたします。 | 参考 | |
| 1192 | 諸外国より日本人の賭け事の依存症は多く、ⅠＲからの歳入を見込んでその横浜がその対応策をし続けられるのか疑問である。治安の悪化だとか関連することに対応する等ランニングコストもⅠＲからの歳入で賄いきれるのか、細目立てて説明してもらいたい。 | 参考 | |
| 1193 | 依存症対策には、一体いくらかかるのでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1194 | ギャンブル依存症対策について具体的施策の説明が（素案P59）以降なされているが、それを確実に実行するための費用を明らかにしていただきたい。 | 参考 | ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、区域整備計画の作成までに明らかにしていきます。 |
| 1195 | どうしてもIR型カジノ誘致にこだわり、政治家としての見識と責任感をお持ちであるならば、数字部分の内訳や根拠、考えられるリスク、依存症、風紀、治安など諸問題への対策に掛かる社会コストなど、わかっているマイナス情報も公表した上で住民投票を行い是非を問うべきです。 | 参考 | |
| 1196 | IR（カジノつき）の誘致に反対です。市民が負担することになる社会的コストについての説明すらないこの段階での誘致表明には全く賛成できません。断固、反対いたします。 | 参考 | |
| 1197 | 多額のカジノ損の発生は、同時に多くのギャンブル依存症を生み、多くの不幸な世帯を発生させる。特に地元によく現れる。それを補うために市が負担する社会コストの多額の増加をもたらすこととなる。日本がしばしば先行成功例としているシンガポールのIRカジノは、大部分の利用者が外国人で、外国人がお金を落とすとしていく仕組みとなっている。従って、シンガポールは経済的利益のみを得ることとなる。またカジノ事業のシンガポール人への依存性が小さいため、同国人への入場規制を強めても、カジノ事業への影響は小さい。このために規制を強めやすい。日本とは経済的条件や規制の条件が大きく異なり、参考にすべき見本にはならない。 | 参考 | |
| 1198 | カジノを導入してから数年すると依存症患者が生まれ、その治療や生活保障や治安対策費等で社会的コストが膨らみ、実質的には税収はマイナスになると試算している。また、厳格に入場規制やギャンブル規制を行えば、カジノ業者の儲けは予測を大きく下回り、撤退し、荒廃した町になると言われている。真剣に見直しを検討しているか大変疑問である。 | 参考 | |
| 1199 | 本来公共事業において市民に真っ先に示すべき横浜市独自の損益分析も敢えて示さず、社会的コストは一切示さずに、外国カジノ事業者の誇大な経済波及効果だけを言いなりで臆面もなく小さく示すだけで推進するのは、詐欺である。 | 参考 | |
| 1200 | 心配な面を少なくするためにも、負の側面もきちんと数値等で示した上で、対策を明記してほしい。誘致したことによる将来への心配よりも、誘致しなかったことによる将来への心配のほうがとても大きいと考えています。 | 参考 | |
| 1201 | 現在存在するギャンブルなど依存症が多数いること、それにより家庭崩壊、などおきている。国が依存症に対し積極的な治療を行っていない | 参考 | |
| 1202 | ギャンブル依存症に対して、光があたったのはIRのおかげ、予防の対策、治療措置をキチンと整えることができるのであれば、IRは必要です。 | 参考 | |
| 1203 | ギャンブル依存症で困っている人の気持ちになって！！ | 参考 | |
| 1204 | 溺れて行く人が出るでしょう。どうぞ横浜を今のまま、穏やかな街でありませう様にと願うばかりです。 | 参考 | |
| 1205 | 今あるパチンコ依存症などの危機を放置して、カジノの議論をするのは無意味と思う。 | 参考 | |
| 1206 | ギャンブル依存という問題をかかえていらっしゃる方々がおります。今日にあってギャンブル依存のケアはまったくと言って進んでおりません。ギャンブル依存対策をしっかりとやるのではなく、対策費用もありません、反対だからです。依存症更生者も携わらせて頂いた私どもも長い更生のサバイバルを予議してまいりました。 | 参考 | |
| 1207 | 横浜市、IRカジノ構想案ですが、ほんとうに実施するのですか、私は反対です。他国でも「依存症」が増えると言われてます。世界保健機構（WHO）の定義では、病的賭博は貧困になる、家族関係が損なわれる、個人的な生活が崩壊するなどの、不利な社会的結果を招くにもかかわらず、持続的に繰り返される、しばしば増強する賭博行為とされています。社会が生まだす、健康破壊はやってはいけません。 | 参考 | |
| 1208 | カジノなんてもってのほかです。住民に聞かずカジノ！？どれだけギャンブル依存症をうみだすか、市は検証したのでしょうか。カジノを作らなければ生み出さなかった不幸な人ができるはずですよ。 | 参考 | |
| 1209 | ギャンブル依存症の問題。日本はパチンコがありこれだけでもギャンブル依存が増加。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1210 | パチンコ店は夜10時には閉店します。カジノは24時間営業です。「世界最高水準」の規制が聞いてあきれます。依存症対策について18ページを費やしていますが、正直に言わせていただければ内容がお粗末です。まず、現在、横浜市内にどれだけのギャンブル依存症者が存在しており、それらの方へどのような取組がおこなわれているのかの現状認識が必要だと思いますが、それはまったく書かれていません。これではカジノができれば増加するであろうギャンブル依存症者への対応などできるはずがありません。 | 参考 | <p>国は、平成31年にギャンブル等依存症対策基本法に基づく基本計画を策定し、既存のギャンブル等について、アクセス制限や依存症対策の体制整備など関係事業者による取り組むべき具体的施策、各所管省庁による相談支援や予防教育・普及啓発などを推進しています。</p> <p>本市では、国の「依存症対策総合支援事業実施要綱」に基づき、依存症に関する専門相談や普及啓発、依存症者ご本人やご家族への支援事業を実施しています。</p> |
| 1211 | ギャンブル依存に対する対策を万全に行う、というならばパチンコや公営ギャンブルに対する対策の効果をまず測定すべき。 | 参考 | |
| 1212 | カジノによって、ギャンブル依存症は、もっとも増えると思います。依存症は心の病気でもあります。心の病気は時間が必要です。依存症の方が増えたとき、自覚症状のない方が、“大丈夫です”と、放たれたとしたら、苦しむ方が増えます。依存症問題は、なった本人だけの問題ではありません。ご家族の問題でもあります。ご家族の苦しみとなります。 | 参考 | |
| 1213 | カジノIRを誘致せずに、その予算を、ギャンブル依存の予防や当事者と家族支援の施策に充てる、またIR以外の観光開発を進めることを求めます。 | 参考 | |
| 1214 | パチンコがよくてカジノがダメな理由が見つからない。しっかりした依存症対策をして、夢のある施設を作って欲しい。 | 参考 | |
| 1215 | 65頁で多重債務の問題を挙げるが、政策としてカジノを導入する以上、カジノによるギャンブル依存症になり多重債務者となった者に対して横浜市が損失補填を行ってください。 | 参考 | |
| 1216 | 66頁に、ギャンブル依存症や多重債務により自殺した場合には、政策としてカジノを導入したのであれば、横浜市が損害賠償を行ってください。 | 参考 | |
| 1217 | 横浜IRはいいと思う。得られた税収で、依存症の背景を改善するような政策も実行できると喜ばれると思う。依存症はアルコールやパチスロなどの依存の対象があるからできるのではなく、依存しないとダメな社会的背景があるから生まれる。アルコールやパチスロが無くなっても、新たな対象物に依存先が移るだけだ。 | 参考 | |
| 1218 | ギャンブル依存症対策を考える前に、パチンコを含めたギャンブルを廃止すべき。 | 参考 | |
| 1219 | カジノができることで、ギャンブル依存症対策が進みそうで期待します。雇用不安や育児疲れ、孤独感などの、何かに依存せざるを得なくする背景を改善する政策を充実させるとともに、既存のギャンブル施設へは、パブリックコメントの資料で紹介されているような、カジノと同様の依存防止策を講じて行くといいと思います。 | 参考 | |
| 1220 | IRに向けたカジノ解禁に反対します。カジノ解禁前に、パチンコなどの依存症に向けた対策を初めて、横浜市として依存症に対する知見を蓄積することが必要です。 | 参考 | |
| 1221 | ギャンブル依存症対策を云々するなら、パチンコ依存症を解決してからにすべきである。 | 参考 | |
| 1222 | 未来の横浜のために頑張ってIRを誘致してください！横浜市には既にパチンコ等のギャンブルもあり、新たにカジノをつくることでの影響は全く無いと思っています。ギャンブル依存症対策についてはカジノより、国内の既存ギャンブルに対して行うことが必要であることは明白だと考えます。 | 参考 | |
| 1223 | 依存症について、2019年12月に神奈川県精神神経科診療所協会が「医学面から、IR誘致に反対する」と発表したことや、神奈川県精神神経科診療所協会がIR誘致中止を求める約8700筆の署名を横浜市に提出したことが素案に記載されていません。医療関係者からの貴重な意見です。素案に記載してください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1224 | カジノの正しい、健全な使い方を、子どもも市民も、国民も分かるように、示してほしい。分からないから不安が募る。分かれば安心できる。コロナと同じだ。 | 参考 | <p>本市独自の取組として、①総合的な依存症の取組、②予防教育の実施、③事業者や専門・研究機関との研究、④調査による実態把握を進めることとしています。</p> <p>ギャンブル等依存症対策を推進するうえでは、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、予防・相談面、医療面においてきめ細かな体制と病院間のネットワークを構築するなど、具体的に関係団体・機関と連携しながら総合的な依存症対策に取り組むとともに、ゲーム障害・ネット依存など新たな依存症についても普及啓発等を進めます。また、こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、依存症者等に対する包括的な支援に取り組んでいきます。</p> <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> |
| 1225 | 中学生や高校生に対して依存症の恐ろしさをしっかり教育してくれるならば賛成します。4兆円を超える横浜市の借金を未来に残さないで今の大人たちが、解決策をIRで示して欲しい。 | 参考 | |
| 1226 | 海外（特にシンガポール）の事例を強く参考にしているようですが、依存症対策なども含め、もっと横浜市（日本）オリジナルの案をしっかりと考えてほしいです。 | 参考 | |
| 1227 | 最も重要な依存症にならないための対策、残念ながらなくなってしまった人への対応も全くありません。依存症対策は「パッチリ」だと市役所は言っています。素案の述べている対策は監督官庁の横浜市役所が作ったものとは到底思えません。 | 参考 | |
| 1228 | アルコールやギャンブルの依存症の対策を考える前にそうなる施設を作らない方向で行ってほしいです。カジノに反対します。 | 参考 | |
| 1229 | ギャンブル対象年齢となる青少年や大人への具体的な依存症対策を出してほしい。 | 参考 | |
| 1230 | 横浜IR計画に反対します。横浜にカジノはいりません。問題が大きすぎます、多すぎます。ギャンブル依存症への対策基本法など役に立ちません。そんなに簡単な問題ではありません。 | 参考 | |
| 1231 | 「入場の禁止・広告の制限」が青少年の健全育成とは市民を馬鹿にしている思考・物言いとしか思えない。 | 参考 | |
| 1232 | 「安全・安心対策の横浜モデルの構築、依存症対策」では、「横浜市では依存症の方を増やさないように次の4つの対策を徹底して進めています。」とある。しかし、何ら実効性のある具体的な対策がない。 | 参考 | |
| 1233 | 「横浜市の総合的な依存症対策について」では、ネット環境にある若者や子供たちへの影響について全く考察されず、検討もされていない。誰でもなる可能性のあるギャンブル依存症の深刻さが分かっていない。 | 参考 | |
| 1234 | IR賛成です。子供たちにしっかり教育して、依存症にならないようにしてください | 参考 | |
| 1235 | 賛成しています。依存症対策として予防教育の実施（高校保健体育における啓発など）とありますが、義務教育の課程でも取り入れる方がよいと思います。 | 参考 | |
| 1236 | 市長は、ある質門に「ギャンブル依存症の人が増えたらどうするのか？」の質問に対し（横浜市には市大（横浜）のように良い病院があるから心配ない旨）答えておりました。全く市民を馬鹿にした態度にあきれました。子供や孫にとって明るい横浜市に顔を向けて下さい。 | 参考 | |
| 1237 | ギャンブル依存症は本人だけでなく家族やとりまく人達をまき込み、治す事もむづかしいと言われてます。素案にいろいろ対策が書かれていますが、それで無くす事はムリと思う。 | 参考 | |
| 1238 | IRカジノの誘致に反対です。日頃、ゲームに慣れ親んでいる子供達が、成人し、目の前にある、巨大な此の施設に興味を示さない訳はありません。 | 参考 | |
| 1239 | 子供達に悪影響をおよぼすカジノは反対です。 | 参考 | |
| 1240 | 将来的に営業施設存続のために日本人の若者が将来のカジノ利用者になっていくことやカジノに興味を持つ種類の日本人や不良外国人を含む治安の問題。併せ持つ問題としての依存症対策など気味の悪さを感じています。 | 参考 | |
| 1241 | 大人がカジノをやったら子どもも、カジノをやるようになる。 | 参考 | |
| 1242 | つくるとすれば、同じ額の予算で、依存症の人が健康を回復するための相談センターをつくらなければならないのではないですか？今、依存症改善センターをつくり、民間でも行われている子ども食堂、つまりは、ビジネスを学び、役に立つ経験ができる、キャリアを経験する場が必要だと思います。どのようにお金を得るか、SDGsの理念も踏まえ、貧しい子ども達でも生き生きと生きることが出来る場をつくらなければならないのではないのでしょうか。横浜IRが統合型リゾートの形とは形を変え、生き生きとしたものになるよう、望んでおります。 | 参考 | |
| 1243 | ギャンブル依存症もどうしますか？説明会では最高の医療を考えているとの事、ですが、従来になかった最高のものが期待できるのですか？その医療は横浜市の責任で行うのですか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1244 | 青少年の教育や育成に悪い影響が及ぶ。 | 参考 | <p>本市独自の取組として、①総合的な依存症の取組、②予防教育の実施、③事業者や専門・研究機関との研究、④調査による実態把握を進めることとしています。</p> <p>ギャンブル等依存症対策を推進するうえでは、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、予防・相談面、医療面においてきめ細かな体制と病院間のネットワークを構築するなど、具体的に関係団体・機関と連携しながら総合的な依存症対策に取り組むとともに、ゲーム障害・ネット依存など新たな依存症についても普及啓発等を進めます。また、こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、依存症者等に対する包括的な支援に取り組んでいきます。</p> <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> |
| 1245 | 統合型リゾートの方向性について、カジノについては反対します。横浜市の将来を考慮してとの事ですが、果たしてカジノに頼ることは良識ある判断でしょうか疑問です。寧ろ、カジノ導入の負が市民に覆いかぶさり子供達にとっても悪影響を及ぼす事は必定です。 | 参考 | |
| 1246 | ギャンブル依存対策については議論が深まり、市民の問題意識も高まりつつあります。ギャンブル依存については、カジノ側がその対策でリーダーシップを発揮しつつ、他のギャンブル等にまで巻き込んだ対策を同じテーブルで議論すべく具体策を展開してほしいです。高等学校教育の現場での依存症への懸念については、しっかりと学習指導要領に沿って展開されることを切に希望致します。 | 参考 | |
| 1247 | 横浜IRはアリだと思います。できれば、カジノに出入りできる年齢になる前に、学校の授業とかの一環で、カジノに触れて遊び方や自己管理の仕方を学ぶ機会を作ってほしいです。そうしたら、カジノが浮き足立つような特別な空間ではなくって、健全に遊ぶことができ、のめり込む予防ができると思います。そもそも、入場料が高いので、普通の市民がそんなにのめり込むほど利用できないとは思いますが。 | 参考 | |
| 1248 | ギャンブル症候群に対しても軽く考えすぎていると思います。 | 参考 | |
| 1249 | 横浜IR賛成です。誘致することで、税収が確保できるだけでなく、かえって、横浜市民の依存症対策が充実すると思います。まず、市民説明会での説明や公表されている素案などによれば、依存する対象について、いわゆる利用制限を設けることで、依存症を防止する対策を講じることがわかります。依存症対策に真っ向から向き合っていることの表れだと思います。利用制限による対策は、カジノだけでなく、競馬や競輪、競艇などのギャンブルにも適用すれば、更に広く依存症対策が進むと思います。次に、横浜IRができることで新たな雇用が生まれます。被雇用者は収入を得られるだけでなく、労働時間があることでギャンブルに費やす時間が減り、居場所や人とのつながりも得られるようになり、経済的にも物理的にも心理的にも、ギャンブルに依存する状況が減ると思います。更に、横浜市がIRによって財源を確保すればするほど、社会福祉の対策も充実できると思います。相談先がない、育児ノイローゼになっている、様々な事情で就労が難しい、といった、何かに依存しなければならぬ状況を作り出してしまふ社会的な要因をひとつひとつ解決する財源にできるからです。「自己責任」だと吐き捨てることもできるような依存症について、正面から向き合って市民のための対策を考えてくれる横浜市なら、きっといいIRを誘致してくれると思います。貴重な財源確保のために、がんばってほしいです。 | 参考 | |
| 1250 | ゲーム依存症が、社会問題（ゲーム代欲しさに犯罪に手を染めるなど）になっていますが、カジノも、同様です。したがって、カジノが入った計画には、断固、反対です。 | 参考 | |
| 1251 | 子供の教育環境に良くない。 | 参考 | |
| 1252 | 横浜IRに賛成。カジノがあつていいと思う。ギャンブルはどういう仕組みかを知り話し合う機会があれば、どう楽しむのがいいのか、何に気をつけるべきかを、地に足をつけて考え意見交換でき、自分をコントロールすることも覚えらる。正しい楽しみ方をきちんと理解できる。「孤独にどっぷりハマる」という依存症になる事態も防げるだろう。カジノは社交の場としても楽しい場所だ。どちらかと言えば利用するのは富裕層だと思うが、横浜IRができるのを契機に、最大の政令市として、お金についての教育に力を入れてみてはどうだろうか。 | 参考 | |
| 1253 | 72頁で横浜市の「こころの健康相談センター」が載っているが、1回だけ、しかも20分だけの相談では相談機能としてはあまりにも弱体であり、機能を果たしているとは言えないばかりか、横浜市として最後までギャンブル依存症をなくす責任と覚悟を持っているとは感じられないが、横浜市としての覚悟としての見解を述べてください。 | 参考 | |
| 1254 | 73頁に依存症の家族に対するサポートに繋げるための普及啓発を挙げるが、依存症者の家族として、サポート機関を知ることだけが解決ではなく、生涯に渡ってサポート機関に通い続け依存症者に振り回される生活を行うことを余儀なくされることへの、横浜市としての補償について言及してください。 | 参考 | |
| 1255 | 72頁に横浜市の「こころの健康相談センター」が載っているが、このセンターの相談時間は20分とホームページで明言されており、通常カウンセリングを行う機関が40～60分の相談時間であることと比較して圧倒的に少なく、話を聞く機関としては機能しないため、改善を行ってほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1256 | 71頁、72頁で横浜市立大学による精神医療を述べるが、近年の精神医療の主流となりつつある「Open Dialogue」という対話を通じた精神医療を行う場合に診療時間が40分から1時間かかることが当たり前であることを踏まえた上での、横浜地域における精神医療の確保の方策を述べてください。精神疾患は薬だけでは治りません。 | 参考 | <p>本市独自の取組として、①総合的な依存症の取組、②予防教育の実施、③事業者や専門・研究機関との研究、④調査による実態把握を進めることとしています。</p> <p>ギャンブル等依存症対策を推進するうえでは、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、予防・相談面、医療面においてきめ細かな体制と病院間のネットワークを構築するなど、具体的に関係団体・機関と連携しながら総合的な依存症対策に取り組むとともに、ゲーム障害・ネット依存など新たな依存症についても普及啓発等を進めます。また、こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、依存症者等に対する包括的な支援に取り組んでいきます。</p> <p>日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。</p> |
| 1257 | 67頁と69頁で「公共政策としての制度整備」と「事業者が取り組むべき規範」の図と依存症対策の表があるが、公共政策として行う以上、一番手間がかかる相談・治療は横浜市の責任において行ってください。 | 参考 | |
| 1258 | 70頁の自助グループについて、自助グループに10年以上通っている者として、依存症は治らず一生付き合う病気であり、自助グループに通い続ける必要がありその数が圧倒的に足りないことをどのようにしていくのか、依存症者が増えれば必要とされる自助グループの数は飛躍的に増えていくことについてどう対応するのか、その具体的方策について横浜市の見解を載せてください。 | 参考 | |
| 1259 | 70頁の自助グループについて、自助グループに10年以上通うものとして、自助グループが依存症者等の善意でぎりぎりの環境で行われていることを踏まえて、自助グループの形成に関して横浜市が積極的援助を行ってください。 | 参考 | |
| 1260 | 72頁の＜相談支援＞として「依存症相談窓口等」とあるが、この「等」はどこを示すのか、説明してほしい。 | 参考 | |
| 1261 | 71頁、72頁で横浜市立大学が依存症対策を中心的に担うとあるが、精神科に20年以上通う者として、精神医療は発達障害や認知症の増加により現在既に受け入れ能力を大幅に上回った状態で3分診療であり、超高齢化に伴う認知症の増加、スマホ依存の増加、ゲーム依存の増加に対応しきれないかという中で、これ以上依存症患者を増やして精神医療を破綻させることはやめてほしいが、横浜市の見解を載せてください。 | 参考 | |
| 1262 | 75頁で横浜市が独自にIR事業者に求める政策として「24時間体制による相談体制」を謳うが、政策として導入する以上、横浜市自身が主体となる相談機関が生産にわたって相談にのる体制がなければ横浜市が責任を持つ覚悟がないと思われ、責任の放棄であり、相談体制が担保されません。 | 参考 | |
| 1263 | 24時間相談できる社会資源として「いのちの電話」がありますが、ボランティアの相談員の減少と相談需要の増加により、夜通しかけてもつながりません。横浜市として支援又は代替機関の整備をお願い致します。特に夜間、相談できるところがないと、人は自殺します。 | 参考 | |
| 1264 | 65頁で依存者への包括的な連携協力体制を上げるが、主体がはっきりせず責任をどこが最後までとるのかわからず単なるたらい回しにしかかっていないため、横浜市が第一義にそして最終的に責任を負う体制を作ってください。 | 参考 | |
| 1265 | IRへ反対意見です。ギャンブル依存症に苦しむ方々の応援者の人から報告をお聞きしました。治療しても治らないのがギャンブル依存症とのこと。心身の健康を損ない、借金で家庭の破綻と崩壊、そして犯罪の増大！列車への飛び込み自殺の増大、医療費増大！とてもIRは認められるものではありません。 | 参考 | |
| 1266 | IRへ反対意見です。治療しても治らないのがギャンブル依存症！医者の方々からお聞きしました。とても治らないとのこと。治せる治せないというよりギャンブル依存症は、本人に自覚が無いとのこと本人が、病気にかかっている事を知らない！それもあり治せない！そんなギャンブル依存症を増やすIRは不要です。あつてはならないのだと思います。 | 参考 | |
| 1267 | 横浜市はカジノにより精神医療を破綻させないでほしい。ギャンブル依存症対策に力を入れて取り組むと、素案全101頁のうち19頁も使って説明しているが、精神医療の全体的な状況を踏まえて考えていただきたい。現状でこれだけ多くの精神疾患を抱えた患者がいて、時間と手間がかかる精神医療が、これから先の精神医療の需要に対応しきれないほどの許容量を持たないと考えられる中で、横浜市はこれ以上ギャンブル依存症患者を増やして、地域の精神医療を破綻させるのはやめてほしい。横浜市長においては、自らが老いて認知症になる可能性を抱える中で、安心して精神医療を受けられなくなる悪影響を考えてほしい。 | 参考 | |
| 1268 | ギャンブル依存症対策も、アジアやアメリカやオーストラリアの分析だけではなく、ヨーロッパの分析も政策決定の前に行われるべきだと考えるが、どうだろうか。そうした分析を行わず、シンガポール、韓国、マカオ、ラスベガスの分析とだけ比較して（素案76頁）、何故、「世界最高水準の規制」（素案58頁）と言えるのか。世界から選ばれる「横浜」となるために、ヨーロッパの分析の前置を望む。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1269 | カジノ始めるために、初めて「市民3,000人を対象としたギャンブル等依存症の実態調査を実施」ということは、今まで「ギャンブル等の依存症患者」対策をまじめにやっとなかったことを自白していることです。びっくりです。 | 参考 | 本市独自の取組として、①総合的な依存症の取組、②予防教育の実施、③事業者や専門・研究機関との研究、④調査による実態把握を進めることとしています。 ギャンブル等依存症対策を推進するうえでは、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、予防・相談面、医療面においてきめ細かな体制と病院間のネットワークを構築するなど、具体的に関係団体・機関と連携しながら総合的な依存症対策に取り組むとともに、ゲーム障害・ネット依存など新たな依存症についても普及啓発等を進めます。また、こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、依存症患者等に対する包括的な支援に取り組んでいきます。 |
| 1270 | IR（統合型リゾート）建設反対です。若者も人に相談できない、友達もいないそんな時に精神的に病んでしまいギャンブル依存症になってしまうこともあります。まして、新型コロナウイルスによって正規職員でない方がギャンブルにはまってしまう、見も心も疲れはて、自殺を選択することを余儀なくされる方も多く出てくるでしょう。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 |
| 1271 | 依存症対策への取組については、4つの対策が書かれていますが、取組という言葉で具体的ではありません。また、教育実施や専門機関との研究や実態把握とあり対策と言えるのは教育くらいですが、教育で依存症を減らせるとは思えません。取組を具体的に、現状からどこまで減少させることを目指すのかを提示して下さい。カジノ施設について（5）-2に依存症対策が複数ページにわたって記載されていますが、現行法や現状の対応の記載であってIRに向けての施策ではありません。？もっと具体的に依存症患者を作らない活動や施策を策定する必要があります。 | 参考 | |
| 1272 | 30ページの「横浜IRの方向性：1基本コンセプト」にある「横浜市の依存症対策への取組」が不十分。IR招致は基本賛成だが、カジノエリアに入れる人を海外からの観光客（クルーズ船客のオプションツアーやJAPANNERAILPASS所持者など「海外から来た事を証明できる人」）だけに限定して、日本人（日本国籍）の入場は一切不可あるいは日本人は顔写真入りクレジットカード所持でランクがプラチナやブラック、またはそれ以上の高位カードである事をその場で確認できる人「だけ」を対象にするのが絶対条件。「7日間で3回、28日10回迄」や「24時間ごとに6000円の入場料」、「本人家族申告による入場制限」などは「低すぎるハードル」でほぼ意味がないし、そこが不満であり不安。極端な話「海外客のみ、日本人一切不可！」くらいの厳しい制限を設けるつもりがないならカジノ招致はやめた方がいい。 | 参考 | |
| 1273 | 横浜市は国の自称「世界最高水準のカジノ規制」をそのまま鵜呑みにしていますが、政府の国会答弁でも明らかなように入場規制である週3回、28日で10日間というのは日本人旅行者の平均滞在日数から割り出され、旅行の全日程をカジノに入り浸れるように計算され、シンガポールのような第三者排除がないなど規制になりません。また、カジノ事業者自身が利用客に金を貸せる上にカジノ内にATMがないだけでカジノを一步出ればATMは平然と並んでいるのでどこまでものめりこめます。広告規制もIRの宣伝はどこでも自由にでき、IR内ではカジノの広告に規制はなく、IRに踏み入れてさえくれればIR来場者をカジへいざなう方法はいくらでもあるわけです。 | 参考 | |
| 1274 | ギャンブル依存症対策について、65頁に記載されている「包括的な連携協力体制」について、第三者機関が介入し、依存症防止対策に係る適切な評価提言を行うことで、よりPDCAを回しやすくなると思います。また、第三者機関に当たる専門性を持った機関の新設により、有効性の高い施策が可能であると考えます。69頁に記載されている「事業者が取り組むべき項目」については、神奈川県・横浜市で管理・監督されるお考えでしょうか。例えば、カジノプレイヤーの行動履歴（回数だけでなく、時間、負け金等）については、IR事業者と行政や第三者機構（依存症対策専門の機構）の連携がないと、本当の意味でのギャンブル依存症対策が難しいと考えます。IR事業の継続性の観点からも、プレイヤーが問題ギャンブラーになる前に、正しい啓蒙活動ならびに、気づかせる仕組（RG対策）を一緒になって構築する必要があります。 | 参考 | |
| 1275 | IR営業時間は朝8時から夕方5時まで博打の依存症を抑え、人として健康的な生活を送るため。私としてIRを進める中でこれらが約束されればIR賛成です | 参考 | |
| 1276 | 安全、安心対策の横浜モデルで依存症対策ができるとは思えません。市独自の厳しい規制がなく、国の定めた基準で入場制限をしても基準が緩和されれば依存症の人は増加し、安全なカジノは維持できません。 | 参考 | |
| 1277 | 説明会では市民の反対の一番の心配ごとであるギャンブル依存症の増加について国の最高の基準で市大の協力を得て万全の対策をとるから大丈夫と言いつける。しかし、ギャンブル依存症に長年携わってきた医師の意見は聞くこともない。市大が受け入れを具体化しているかの説明もない。プランばかりで実際の現場の状況を調査したものは何もない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1278 | 横浜市の経済全体に悪影響を与えないようにするために横浜市民がカジノに行かないように規制強化できるのか？例えば横浜市民の負け分を1000億円に抑えれば、全体で経済効果があるとすれば、抑えるために、入場料6000円を1万円に値上げしたり、横浜市民の入場を週3回から2回に変更する等規制強化できればいいのですが、国が制定したIR法は横浜市単独での規制強化はできないとのこと。IR法を改正し、横浜市でも規制強化できるようにすべきではないかと思えます。 | 参考 | 本市独自の取組として、①総合的な依存症の取組、②予防教育の実施、③事業者や専門・研究機関との研究、④調査による実態把握を進めることとしています。 ギャンブル等依存症対策を推進するうえでは、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、予防・相談面、医療面においてきめ細かな体制と病院間のネットワークを構築するなど、具体的に関係団体・機関と連携しながら総合的な依存症対策に取り組むとともに、ゲーム障害・ネット依存など新たな依存症についても普及啓発等を進めます。また、こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、依存症者等に対する包括的な支援に取り組んでいきます。 |
| 1279 | 依存症に対する対策がまったく足りていない。行政や市民の差別的意識も強い。その状態で「これからさらに対策を取っていく」といわれても説得力も実行力もあるとは思えない。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 |
| 1280 | 横浜でのカジノ設置に反対します。パチンコやスマートフォンゲームなど、ギャンブルには依存性があります。むしろ依存性によって成り立っていると言えるでしょう。アルコール依存や薬物依存を含め、依存症への理解や取り組みは不十分です。新たな依存性患者を生み出す産業には反対します。依存性への取り組みは、カジノがなくても行うべきことであって、カジノとセットにしてその収益をあてるなど無意味なことです。不健全な特色をもって観光客の方を心からお迎えすることはできません。暴力団との繋がりも招くものと思えます。 | 参考 | 日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 |
| 1281 | ギャンブル依存症への対応についてこの素案でも大きな問題としてその対応案が述べられているのは分かります。ところが、これらは実効性というか、今までの実績を踏まえた対応案ではないので、いずれも空虚な計画でしかありません。また国のギャンブル依存症対策を列挙しているだけで、横浜市としての積極的な姿勢が全く見えません。横浜市立病院に対応拠点をおくように記載されていますが、もっと具体的な診療棟、診療医、スタッフの増員、投資計画を横浜市が自らの意志として示すべきだと思います。次のIRの施工案の時に、しっかりしたものが見えなければ、このIR計画に強く反対いたします。 | 参考 | 国は、平成31年にギャンブル等依存症対策基本法に基づく基本計画を策定し、既存のギャンブル等について、アクセス制限や依存症対策の体制整備など関係事業者による取り組むべき具体的施策や、各所管省庁による相談支援や予防教育・普及啓発などを推進しています。 |
| 1282 | 依存症の対策も考えているとか…依存症の人が出てくる、増えるということも前提ですか？アルコール、ギャンブル、今は、ゲームにスマホ、依存症、そのまわりの人々の苦しみや、悲しみを本当に知っておられますか？これから横浜を支えていく子供たちの為に、税金を使って下さい | 参考 | 国は、平成31年にギャンブル等依存症対策基本法に基づく基本計画を策定し、既存のギャンブル等について、アクセス制限や依存症対策の体制整備など関係事業者による取り組むべき具体的施策や、各所管省庁による相談支援や予防教育・普及啓発などを推進しています。 |
| 1283 | 現在でも、「横浜地域でのアルコール・薬物・ギャンブル等の依存症患者」対策に成功してなくて、その総括もしていません。その上に、最悪のカジノギャンブル対策が成功しないのは火を見るよりあきらかではないですか。 | 参考 | 本市では、国の「依存症対策総合支援事業実施要綱」に基づき、依存症に関する専門相談や普及啓発、依存症者ご本人やご家族への支援事業を実施しており、こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、総合的な依存症対策に取り組んでいきます。さらに今後、ゲーム障害・ネット依存など新たな依存症についても普及啓発等の取組を進めます。 |
| 1284 | 『基本コンセプト』・依存症に関して横浜IRをキッカケに、広く市民全体でパチンコ・競馬等を含んだギャンブル、さらにゲームアルコール依存その他の依存症を考え直す機会が増えたとすれば、上手く進めることができればプラスになると感じます。市民としては、街の至る所にパチンコ等の存在を感じることにこそ、違和感を感じております。誰もがイキイキと活躍する魅力ある街づくりを進めるためには、経済環境などに左右されることなく、全ての市民の方々にとって健全な文化や価値観を培いやすい土壌を育てることが大切と考えます。まとめると、ギャンブル依存症に関して考える機会を創出することで、様々な価値観やモラルの向上の効果を幅広く市民のみならず波及できたら良いのではと考えます。 | 参考 | また、日本型IRに設置されるカジノには、IR整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 |
| 1285 | カジノが反対という意見を多く聞きますが、日本には既に競馬などがあり、個人的には抵抗感はありません。しっかりとした法規制とセキュリティのもとであれば、問題ないのでは無いかと思えます。 | 参考 | これらに加え、本市独自として、①総合的な依存症の取組、②予防教育の実施、③事業者や専門・研究機関との研究、④調査による実態把握に取り組むこととしています。 |
| 1286 | まずは横浜にIRカジノを誘致することには反対です。日本には、競馬・競輪・競艇・パチンコ・ゲームセンター等々射幸心を煽る物が溢れています。 | 参考 | |
| 1287 | 「カジノ」依存症になった病める人々（精神的、心理的に病める人々）を救済する科学的な方法は存在しません。ギャンブル依存症を解決・救済するための方策を検討すると言っていますが、仮にそのような便利な効果的な方策があるならば、今すぐにパチンコ依存症（多数います）や競輪競馬依存症（大勢います）の人々に適用して、助けてあげてください。ギャンブル依存症やカジノ依存症を無くす方法を研究するというのは、完全な幻想です。不可能です。単なるアリバイ作りに過ぎません。 | 参考 | |
| 1288 | IR計画の中にカジノが含まれていますが、ギャンブル依存症が心配です。いったん依存症にかかったらなかなか治りません。治療のための経済損失も考えてみてください。実際私の知人で上場企業に勤めていた知人の例ですがパチンコや競馬にはまってしまい、何度もやめようとしたのですがやめられず友人の忠告も聞かず借金を抱え、家まで手放すことになってしまい、今は音信不通という悲惨な例を身近に見ております。一度感じてしまった快感からはなかなか抜け出せ無いです。この様な不幸な事象を発生させないためにもカジノには反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1289 | 問題視されているカジノ事業ですが、一方的に反対というわけではない。ギャンブル依存症とカジノがイコールで結ばれているのであれば、マイナンバーと入場料で管理すればいい。それよりなにより現在横浜市の各地に点在しているパチンコ等のギャンブルの方が問題である。これらもI Rリゾート内に限定して作ればいい。依存症の管理もしやすいし、駅前の一等地を他の事業に回すこともできる。パチンコ店を新たに作る際の地元住民との無駄な話し合いもなくなる。クリーンな街横浜を提言するにはもってこいの話だ。 | 参考 | 国は、平成31年にギャンブル等依存症対策基本法に基づく基本計画を策定し、既存のギャンブル等について、アクセス制限や依存症対策の体制整備など関係事業者による取り組みべき具体的施策や、各所管省庁による相談支援や予防教育・普及啓発などを推進しています。 本市では、国の「依存症対策総合支援事業実施要綱」に基づき、依存症に関する専門相談や普及啓発、依存症者ご本人やご家族への支援事業を実施しており、こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、総合的な依存症対策に取り組んでいきます。さらに今後、ゲーム障害・ネット依存など新たな依存症についても普及啓発等の取組を進めます。 また、日本型I Rに設置されるカジノには、I R整備法に基づき、カジノのゲームに触れる機会の限定や厳格な入場規制など、世界最高水準といわれる規制が適用されます。事業者からも、海外での経験に基づき、顔認証による入場管理や、トレーニングを受けたスタッフによる徹底した対応や相談窓口の設置など、様々な対策が示されています。 これらに加え、本市独自として、①総合的な依存症の取組、②予防教育の実施、③事業者や専門・研究機関との研究、④調査による実態把握に取り組むこととしています。 |
| 1290 | 青少年の健全育成の観点から反対します。健全な子どもたちの成長を志向するとき、市内に大規模なギャンブル施設が存在は、決して良い影響を与えようとは思いません。私の勤務した高校では、経済的に困難な家庭にいても子どもたちを多く見てきましたが、その中には、保護者がギャンブル依存症で家族を苦しめている例を何人も見てきました。子どもたちの育ちを保障するためにも、カジノの誘致には反対です。 | 参考 | |
| 1291 | ギャンブル依存の世界の有病者は日本の突出ぶりが際立っている。 | 参考 | |
| 1292 | 中毒症状が、いかに生活を破綻させるか。いかに根深く、治療に時間がかかるか、市長、および市長の下で働く方々、市長と同じ職場にいなからカジノに異を唱えない方々は、ご存じなのでしょうか。ギャンブル中毒の被害者は、本人だけではなく、本人の家族にも、大きな影響を及ぼします。依存症には税金で治療を…ということをききましたが、金を出せば治るというものではありません。仮に治療費をゼロにして、病院の案内を郵送したとして、果たして、依存症に陥った人々が素直に治療をうけるのでしょうか？アルコール依存のことを考えても、その困難さは容易に想像できるはず。家族がどんなに懇願しても、役所の人間が優しく声をかけて訪問しても、中毒症の患者は「自分の状況が悪い」とは考えられないのです。悪いと自覚できたとしても、ギャンブルの一時的な気分の高揚の前には、そんな理性は消えてしまうのです。結果、貧困です。本人も、その家族も。そういう家族を横浜に量産したいのですか？カジノで負ける人だけではない。と、言いますか？殆どのひとが負けるのではないのですか？殆どのひとが負けるからこそ、とばく場が儲かっているのでしょうか。 | 参考 | |
| 1293 | 横浜市民として反対します。日本には従来から多くの「賭博」と分類される業態があり、中でもパチンコはどんな街にもあり、日本人の「賭博」への関りの壁を限りなく低くしていることは周知の事実です。日本には、もう過剰に「賭博」の場があります。「賭博」による多くの社会問題、個々の人々の病理の問題は、これまで多くの当事者や、その人々を取り巻く人々や関わる医師、支援者が警告していますが、その機会をさらに増やすことにもなり、極めて大きな問題です。 | 参考 | |
| 1294 | 子育て医療福祉教育の安全安心や都市活力維持には、カジノは子育て不安や依存症を惹起しかえってマイナス。「地域の家族連れ」や「子供」が来たら、依存症リスクがあり教育環境上よくないことをごまかしている。 | 参考 | |
| 1295 | カジノ依存問題や多重債務問題が論じられておりますが、日本には他国にないパチンコというギャンブルがあります。パチンコも依存症や多重債務で度々取り上げられますが、結局は自己責任の範囲で決着を見る事が常です。ですから、カジノだけに視点を置くのではなく、大きな意味と利点でI Rを考えたいと思います。今日本にはI Rが必要です。 | 参考 | |
| 1296 | 2019年12月に、神奈川県精神神経科診療所協会が「医学面から、I R誘致に反対する」と発表し、誘致中止を求める約8700筆の署名を集めました。横浜市の依存症対策への取組に、神奈川県精神神経科診療所協会と話し合いの場を持つことを追記してください。現状では医療関係者の反対の声が多いため、横浜市の依存症の取組みが十分とは判断できません。横浜市のカジノを含むI R誘致に反対です。 | 参考 | |
| 1297 | I Rに関しては基本的に賛成です。会場までのアクセス、入場制限等をしっかりやってくれると思っています。ギャンブル依存に関しては公営、パチンコの現状を考えれば全く心配していません。 | 参考 | |
| 1298 | カジノへの入場制限や入場料徴収を実施することで、依存症の増加は十分防げると考えます。また予防教育や依存症への取組を強化することで、その他ギャンブルの依存症増加を防止することにもつながるのではないのでしょうか。 | 修正 | ギャンブル等依存症対策を推進するうえでは、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、総合的な依存症対策を推進するため、こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、包括的な支援に関係団体・機関とも連携しながら取り組んでいくこととし、方向性4「安全・安心対策の横浜モデルの構築」を一部修正しました。＜方向性P.73＞ |
| 1299 | 日本には競馬・パチンコなど様々なギャンブルであふれている。I Rの導入を機に、ギャンブル依存症対策を進めてほしい。 | 修正 | |
| 1300 | I R賛成。依存症対策に力を入れて、今いるギャンブル依存症の人も減らしてください。そうすれば反対も減るのでは。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1301 | パチンコ等既存の依存症対策を今回のIR計画を通じて、推し進めることはぜひやっていただきたい。今回のカジノが多く新しい依存症患者を発生させるとは思えないが、既存ギャンブル依存症対策の政策づくりに社会的関心を高め、予算を活用する等は望ましいと考えている。 | 修正 | ギャンブル等依存症対策を推進するうえでは、アルコールや薬物等の依存症への対策を含め、総合的な依存症対策を推進するため、こころの健康相談センターを「横浜市依存症相談拠点」とし、包括的な支援に関係団体・機関とも連携しながら取り組んでいくこととし、方向性4「安全・安心対策の横浜モデルの構築」を一部修正しました。＜方向性 P.73＞ |
| 1302 | 横浜IRの誘致に賛成です。カジノがあるから依存症の方が増える、というのは、論理の飛躍だと思います。依存症は、人に内在する様々な負の要因が折り重なって、「吐け口」に逃げ場を求めることで発生します。個別の対象物を排除したところで、依存症の根本的な対策にはならないのではないのでしょうか。だからこそ、依存症対策を施すならば、社会の負の要因を少しでも解消できる政策や、相談先を増やす仕組みづくりなど、根本的な解決につながる対策が必要だと思います。今の財政状況では手が届かなくても、横浜IRの誘致で雇用の拡大と市の税収増長が実現できれば、かえって、このような対策にももっと力を入れられて、未来の横浜のためになるのではないのでしょうか。 | 修正 | |
| 1303 | 横浜IRの誘致に賛成です。カジノがあるから依存症の方が増える、というのは、論理の飛躍だと思います。ギャンブルやお酒にハマる、依存するのは結果であって、ギャンブルやお酒そのものが原因ではありません。だからこそ、依存症対策を施すならば、社会の負の要因を少しでも解消できる政策や、相談先を増やす仕組みづくりなど、根本的な解決につながる対策が必要だと思います。今の財政状況では手が届かなくても、横浜IRの誘致で雇用の拡大と市の税収増長が実現できれば、かえって、このような対策にももっと力を入れられて、未来の横浜のためになるのではないのでしょうか。 | 修正 | |
| 1304 | カジノの誘致に賛成です。外国人の富裕層を横浜市に呼び込んで新たな財源になって欲しい。ただし、依存症対策をパチンコ、スロットにも拡大してください。現在、日本中どこに行っても駅前の一等地にパチンコと云う賭博場がある世界的にも類を見ない異常な状況を横浜市が率先して改善して下さい。カジノと同様にパチンコから入場料などの依存症対策をして下さい。 | 修正 | |
| 1305 | ギャンブル依存症の実態、恐さを調査、検討もしていない。 | 修正 | 横浜市民に対する娯楽と生活習慣に関する調査結果を掲載することとし、方向性4「安全・安心対策の横浜モデルの構築」を一部修正しました。＜方向性 P.76＞ |
| 1306 | 74頁で「証拠に基づく政策形成（EBPM）」を謳うのであれば、比較できるように、「市民3000人を対象としたギャンブル依存症の実態調査（令和元年度）」及び「県民6750人を対象としたギャンブル依存症の実態調査（令和元年度）」のそれぞれの調査結果をそれぞれ1頁分使って載せてほしい。 | 修正 | |
| 1307 | 71頁で市民等を対象とした依存症の調査を行うとあるが、具体的にはどのような質問項目で行うのか、その質問設定について載せてください。 | 修正 | |
| 1308 | <治安対策について>「全てについて背面調査が可能」とありますが、その根拠がなにも示されていません。 | 参考 | IR整備法において、カジノ管理委員会での背面調査による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により、暴力団員の事業への参入やカジノへの入場を禁止するなど、治安対策がしっかりと規定されています。＜方向性 P.83＞ |
| 1309 | 警察ともしっかり連携して犯罪の温床にならないものにして下さい | 修正 | IR整備法に基づく治安やその他懸念事項対策のほか、県警察等関係機関との連携による治安維持を確実に進めていくこととし、方向性4「安全・安心対策の横浜モデルの構築」を一部修正しました。＜方向性 P.85、86＞ |
| 1310 | IRに賛成。ただし、治安が今よりも悪くならないよう、警察ともよく連携をして欲しい。 | 修正 | |
| 1311 | IR賛成。IR周辺の治安も良くなるような政策もお願いします。 | 修正 | |
| 1312 | 外国人観光客の増加により治安悪化や環境変化を伴うと思うので、しっかり地域住民の理解を得られるよう説明、対策をするべきだと思います。 | 修正 | |
| 1313 | 治安悪化防止対策を確実に実施して頂きたい段階的に導入を行い、問題点を1つずつ解決してから拡大して頂きたい 他国の問題点を十分に分析し対策を確実に実施して頂きたい | 修正 | |
| 1314 | 治安対策を警察としっかり行ってください。そのうえで、IR誘致を推進しましょう。 | 修正 | |
| 1315 | もっと依存症や治安対策について具体的に説明すべきだと思います。そうすれば賛成の方も増えるのではないのでしょうか？必要な施策だと思うのでぜひ具体化させてください。 | 修正 | |
| 1316 | カジノはあってもよいと思うので犯罪だけはおきないように配慮を | 修正 | |
| 1317 | カジノについては周辺の策を充分確立し、市民の健全が保てる様講じて頂きたい。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1318 | I Rをきっかけに地域の防犯・警備体制の強化を行うことで、周辺地域全体の治安向上につながることを期待しています。 | 修正 | I R整備法に基づく治安やその他懸念事項対策のほか、県警察等関係機関との連携による治安維持を確実に進めていくこととし、方向性4「安全・安心対策の横浜モデルの構築」を一部修正しました。＜方向性 P.85、86＞ |
| 1319 | I Rには良い面悪い面有りますが、雇用が増えたり、観光客が増えたり、ラスベガスのような楽しみが増えるメリットも有ると思います。その前提として、不法な外国人や物品の販売など厳しく強化して欲しいと思います。 | 修正 | |
| 1320 | 治安が悪くならないような対策は十分にとってください。 | 修正 | |
| 1321 | カジノI Rは安全・安心対策を万全にしてください | 修正 | |
| 1322 | カジノばかりに注目が向いてしまいがちで、ギャンブル依存の人口が増加するのでは、周辺の治安が悪化するのでは、と懸念されているが、その部分はきちんとルール作りを行い、管理することで解消されていくのでは。 | 修正 | |
| 1323 | 治安が不安なので、警備員を多く配置したり、防犯カメラを多く設置してほしい。 | 修正 | |
| 1324 | 治安が少し不安なので、警察署をつくる等の対策をお願いします | 修正 | |
| 1325 | コロナ等の問題、カジノにより風紀が乱れたり中毒者が出ない様な対策をしていただくように切に願います。 | 修正 | |
| 1326 | 治安悪化の恐れ。依存症対策も必要であるが、犯罪、マネーロンダリングなど生起する恐れがある。また、反社会勢力が跋する恐れがあり、横浜市民の安心、安全が得られるのか？状況により警察官の増員が必要になるかもしれない。（横浜市の予算） | 修正 | |
| 1327 | 治安についても県警は市の指揮下になく、どこまで対応してもらえるかわからない。 | 修正 | |
| 1328 | 間違いなくカジノを誘致すれば神奈川県警の仕事は増大するし、諸々の予想を超えた社会的費用や子供達への負の影響が増大するであろう。 | 修正 | |
| 1329 | 平成31年4月の調査報告書の202頁で神奈川県警察が「現時点では具体的に内容が示されていないため意見を述べられず具体的にI Rを検討する場合にはあらかじめ十分な時間的余裕をもって、県警察と協議・調整願いたい」としているので、県警察との協議・調整の結果を載せてください。県警察の見解なしには対策は講じられないと考えるが、いかがですか。 | 修正 | |
| 1330 | 治安対策などに問題が無ければ、基本的には大賛成です。 | 修正 | |
| 1331 | 懸念される治安問題などにしっかりと対策をとっていただき、安心出来れば、ぜひ誘致して欲しいです！ | 修正 | |
| 1332 | P69依存症対策における役割分担や連携の仕方が明確になっており、体制が分かりやすいが、ここに「警察」の欄は入らないのでしょうか。また「カジノ施設の数の限定」は、I R整備法に「区域におけるカジノ施設の数が一を超えず、」と定められていることなので事業者にも責任がある（Oがつく）のではないのでしょうか。 | 修正 | |
| 1333 | 治安悪化を心配する声も多いと思いますが、治安対策は自治体がきちんと対応すれば問題ないと思っています。 | 修正 | |
| 1334 | 反社会勢力に関する情報についても警察関連機関等との情報連携、また全国の他の2か所のI R事業者との連携もするべきと考えます。 | 修正 | |
| 1335 | 30頁に記載されている「区域内外の防犯カメラの設置」について、候補地である山下ふ頭をはじめ、周辺地域には既存の防犯・防災のためのカメラが多数設置・利用されている認識であります。それら既存カメラの映像についてもI R開業後の治安対策の観点から利用することが望ましいと考えます。I R事業者へのI R区域外の監視対策を求めるにあたり、既存設備との連携・活用について行政・民間事業者・公共機関との連携が必須と考えます。 | 修正 | |
| 1336 | I R整備法における治安、その他懸念事項対策について 78頁に記載されている「カジノ施設設置及び運営に伴う有害影響の排除」について、カジノ施設への厳格な入場規制に関して、横浜市様はI R事業者、県警察関係機関との連携により懸念事項への取り組みを行う事を目指されており、強く賛同致します。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1337 | 安全・安心対策P. 30をはじめ、素案では、横浜IRの一つの重要なコンセプトとして安全・安心対策が掲げられており、住民の漠然とした不安の解消にも重要な取り組みであると考えます。ギャンブル等の依存症対策に関しましては、国の施策との連携も含めて具体的な対策案が示されておりますが、治安対策（犯罪抑止対策）の点ではIR事業者に求める対策以外に、自治体としてエリア全体の安全・安心の取り組みがより重要になると考えます。自治体为主导し、オペレータや地域の自治会、警察等と連携したICTを活用した取り組みが予定されている場合は記載してもらいたいです。 | 修正 | IR整備法に基づく治安やその他懸念事項対策のほか、県警察等関係機関との連携による治安維持を確実に進めていくこととし、方向性4「安全・安心対策の横浜モデルの構築」を一部修正しました。<方向性 P.85、86> |
| 1338 | P. 83（5）-3 治安対策などの懸念事項 ④想定される取組犯罪防止対策として「暴力団等反社会的勢力の排除対策の徹底」については、IR事業者に対策を求めています。対策を行うにあたって、誰がその対象者となるかの正確な情報は警察にしかないのではないのでしょうか？また、入場のスムーズな運営のためには、その都度、警察に問合せなどは出来ないもので、対象者となる人の情報を頻繁に更新しながら対象者の入場を制限する必要があるものと考えます。各所で触れられている安全・安心のためにも「県警察」からの適切なデータの提供がなされる必要があると考えますが、いかがでしょうか？ | 修正 | |
| 1339 | 観光客の増加に伴い、周辺の治安対策を特に徹底してもらいたいと思います。 | 修正 | |
| 1340 | 治安悪化に懸念はありますが、夜間巡回等強化頂く事で治安対策を万全にしていた上ででの運営を期待しております。 | 修正 | |
| 1341 | 懸念点で挙げられている安全に関して疑問があります。公務員離れが進んでいる中、警察が人を割けるのか、反社会的勢力を本当に排除できるのかという点です。安全・安心を確保できてはじめて人が多く集まると思いますので、その部分の取組へ更に力を入れていただければと思います。 | 修正 | |
| 1342 | IR賛成です。是非横浜に作ってほしいです。景気を良くしてほしいが、治安悪化が、心配されるので対策が必要だと思います。素案通り出来れば、世界最高水準のIRを実現出来ると思います。横浜のさらなる飛躍をお願いいたします。 | 修正 | |
| 1343 | IR誘致へは地元住民の理解が必要な為、住民の不安要素である治安対策への取組をもう少し具体化し明記した方が良いと思います。 | 修正 | |
| 1344 | 治対策を厳格に実施していただければ、非常によろしい構想だと思います。是非実現して下さい。 | 修正 | |
| 1345 | 治安対策にも力を入れ、安全・安心な日本のイメージも大事にして欲しいです。 | 修正 | |
| 1346 | 治安の悪化、マナーロンドリングの防止対策をしっかりと検討して欲しい。 | 修正 | |
| 1347 | 一般市民の安全、治安の維持を確保していただいた上で、IRで市を発展させて頂きたい。 | 修正 | |
| 1348 | 経済的な面では賛成意見多数と思われそうですが、カジノなどによる治安悪化に対する反対意見も多数出るかと思えます。この治安対策等の懸念事項への取り組みをしっかりと行っていけば反対派が減り、実現出来ると思っています。市民の豊かな暮らしへ向け、世界に愛される都市、「横浜」となるよう心より願っております。 | 修正 | |
| 1349 | IRによる治安の悪化が不安であるが、対策を必ずや、行っていただける事に期待しております。今後も魅力のある横浜市を作りあげていただきたい。 | 修正 | |
| 1350 | 治安対策に力を注いでいただいて、安心して訪れられるようお願いしたいです。 | 修正 | |
| 1351 | 世界最高水準のIR、期待しています。ただ、治安面が心配なので、しっかりと対策をしてほしいです。 | 修正 | |
| 1352 | 街の魅力が増すという点でIRは進めてよいと考えますが、周辺の治安など安全・安心な取組は徹底してほしいと思います。 | 修正 | |
| 1353 | 横浜市の活性化に向けて、積極的にIR実現に向けて取り組んで欲しいと思います。但し、反対派の治安対策に対する不安も充分理解できるため、治安対策に対する説明機会を量的にも質的にも設けて頂きたいです。特に未成年の子供を扶養している市民向けに。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1354 | 防犯カメラについてP. 30「治安対策などの懸念事項への取組」で「区域内外の防犯カメラ設置」と記載されており、P. 83「IR事業者に求める対策」として「適切な防犯カメラの設置」を求めています。これはIR敷地外にもIR事業者に防犯カメラを設置していることを求めているのでしょうか？その場合、その防犯カメラは誰が管理運営することを想定していますでしょうか？(IR事業者、自治体、その他、もしくは共同)少なくとも設置場所の地権者との交渉については自治体を中心となっていくと、期待する場所に設置できないと考えますが、いかがでしょうか？ | 参考 | 今後策定する実施方針や区域整備計画などにおいて、IRエリア内での24時間体制の警備、明るい施設計画やデザイン等による安全性の確保、周辺地域への防犯カメラの設置、県警と連携した取組など、治安対策をしっかりとお示していきます。 |
| 1355 | IRに賛成します。依存症対策、治安などに増収分を振り向ければ、よりよい横浜になると思います。 | 参考 | IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。 |
| 1356 | 懸念はあるが、この期につかまねば次いつくるか分からない程のチャンスだ。 | 参考 | ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。 |
| 1357 | 問題点もでてくると思いますが、今の段階では素晴らしいと思いました。 | 参考 | ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。 |
| 1358 | 横浜市に入る収益よりも将来的な出費の方がはるかに大きくなり、治安も悪化していくのが予想されます。 | 参考 | なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出しはないものと考えています。 |
| 1359 | カジノ運営業者が客に金を貸せるような貸出許可制度は、ギャンブル依存症の手助けをするようなもので禁止。 | 参考 | IR整備法では、カジノ事業者は原則として日本人に金銭を貸し付けてはならないとされています。例外として、あらかじめ多額の金銭をカジノ事業者に預けた日本人には、貸し付けることはできますが、その際は、返済能力を調査し、貸付限度額を顧客ごとに定めなければならないとされています。また、IR整備法では、背面調査の実施による厳格な免許制や、マイナンバーカードの本人確認により、暴力団員の事業への参入やカジノへの入場を禁止するなど、治安対策がしっかりと規定されています。 |
| 1360 | カジノ経営会社は客に金を貸し出してはならない。それを契約条項に明記しなければ、ギャンブル依存症に荷担する結果になることは十分に予想される。ギャンブル依存を前提とするのではなく、滞在時間と掛け金に縛りをかけギャンブル依存を食い止める内容やシステムを契約条項に明記。 | 参考 | |
| 1361 | カジノの経営会社が客にお金を貸し出すことは、ギャンブル依存症に荷担する結果になります。市とカジノ経営者の契約に、「カジノの経営会社は客にお金を貸し出すことは禁止」を締結しなければ駄目です。 | 参考 | |
| 1362 | カジノ会社が客に金を貸して良いという仕組みがあるのはダメ！ | 参考 | |
| 1363 | カジノを犯罪に利用しようとする、特に無記名で現金相当物のチップを使った贈収賄はヨーロッパでも事件がありました。対策を徹底する必要がありますと思います。 | 参考 | IR整備法では、マネー・ローンダリング対策として、まず、カジノで使用されるチップの持出しや譲渡が禁止されています。また、チップの交付等の取引では、国際的な基準に基づき、一定額以上(政令の定めで100万円以上)を超える現金の支払いを行った際は遅滞なくカジノ管理委員会への届出が義務付けられ、届出を受けた同委員会は国家公安委員会に通知することになっています。 |
| 1364 | カジノは、マネーローンダリングに使われる可能性が高く、犯罪を増長する危険もあります。 | 参考 | 事業者の公募にあたっては、これらの法令の遵守、確実な履行のための具体的な手続きや、ICTなども活用した取引の捕捉の仕組みへの提案なども求めています。 |
| 1365 | 資料79頁に、事業者や研究・専門機関とあるが、具体的にどんな機関か知りたい。 | 参考 | 依存症対策については、これまで国が示す依存症対策総合支援事業実施要綱やアルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法等に基づき事業を進めています。さらに、本市では、依存症の方を増やさないための4つの取組を徹底して進めていきます。 具体的には、①依存症への総合的な取組、②予防教育の実施、③事業者や研究・専門機関との研究、④調査による実態把握ですが、これらの中で、横浜市立大学のほか、全国拠点機関の久里浜医療センターや、市内の依存症専門医療機関等と連携していきます。 |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1366 | <p>横浜IRの大きな問題点は立案者側にカジノ（＝ギャンブル）の実態の認識不足が指摘出来よう。カジノとは我が国のパチンコ（法的には「遊戯」と定義）等とは全く異質で参加者は主に個室でルールは簡単なカードゲーム（バカラ等）を中心に1勝負毎に多額の金銭を賭け（万円単位で百万～千万単位にも及ぶ）一獲千金を狙う賭場を意味している。賭け金が少額のパチンコ類似のスロットマシン等もあるがカジノ収益に占める割合は低くカジノとは多額の金銭が動きカジノ収益の大半を占めるカードゲームが主体になっている。カジノ収益とは全て参加者の負け金から成り立っていて物品の販売やサービスの提供から利益を得る通常のビジネスとは全く異なる収奪ビジネスなのである。横浜IRではその建設・運営に要する資金を海外のカジノ事業者に仰ぎシンガポールやマカオのカジノをモデルとして設計しているがアジアのこの両都市は、都市国家であり金融・観光業以外には産業が乏しいため国家事業としてカジノを運営して来たのであって横浜市とは全く事情が異なることも指摘しておきたいと思う。</p> | 参考 | <p>500万人超の人口を抱える都市国家であるシンガポールは、日本と制度が異なる面もありますが、IRの導入前にギャンブル等依存症を疑われる者の割合が高かった点、産業転換が必要な時に観光立国を目指していた点など、参考となる面が多く見られます。</p> <p>シンガポールでは、2つのIRのオープンに伴って、外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞</p> <p>なお、日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、ギャンブル依存症の方が減少しています。治安についても2010年に2つのIRが設置され、カジノの設置の前後において、外国人旅行者は約1.8倍に増加していますが（一般的には、観光客が増えると犯罪率が増えると言われていますが）、人口10万人当たりの犯罪認知率に大きな変化は見られません。</p> |

3 いただいたご意見とご意見に対する本市の考え方

3.6 取組の背景、IR実現の効果、地域の理解促進・合意形成、スケジュール等 に関するもの

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 1 | 「横浜らしさ」に誇り? →何をもちてらしさか(私見、中途半端な所がゆるくて良い。道路は、不明確、明確な、問屋街とか下町、歴史…特にない→それも良い) IR計画。→大反対!! それどころではない! 「横浜らしさ」を、求めてはどうか。 | 参考 | <p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様々の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様々に丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 2 | IRは大賛成です。横浜市の税収の見通し、人口減少や少子高齢化などの状況を考えてとやはり起爆剤となるべき取組が必須と考えます。 | 参考 | |
| 3 | 国や地方自治体で金儲けを考え、しようとするのはまちがいです | 参考 | |
| 4 | 目先の金と引き換えに横浜を荒廃させる道を進めようとしていることに強く反対します。 | 参考 | |
| 5 | カジノの誘致に反対します。何も産み出さず、客に負けさせることで成り立つビジネス。 | 参考 | |
| 6 | カジノ誘致に反対します。カジノは何も生産的なものを生み出さず、客に負けさせることで成り立つビジネスです。 | 参考 | |
| 7 | カジノは反対です!! まずは社会インフラ整備に注力願いたい。羽沢駅周辺のバス増便、港北インター→中央道、関越道への開通など | 参考 | |
| 8 | ギャンブル依存症になっても病院で治療すれば治るという意見があるのをきいていると初めからこんな危険を含んでいるものをやろうとすること事体が信じられません。 | 参考 | |
| 9 | 依存症と治安対策をしなければならぬものを作ることは大反対致します。人々の安全とお幸せを願います。 | 参考 | |
| 10 | 横浜IR施設へのカジノ併設に反対します! 横浜IRの展開に関しては、地域の経済発展を目的としてカジノ施設の併設が計画されていますが、そもそも地域の発展には経済発展はもとより、地域人間社会の健全なる発展・繁栄を目指すことが何よりも肝要です。 | 参考 | |
| 11 | 横浜市IRカジノ構想案に反対します。生活保護受給者を増やす、だけだと思えます。 | 参考 | |
| 12 | IRカジノは大反対です。その収益で市民の暮らしを豊かにしてもらおうなど考えてもみていません。そんなに市は財政難なのですか? それより次世代を担う教育施設を作り健全な若者を育てるべきです。少子時代ですます若者の知力体力が必要です。カジノ等作らず安心して子育てが出来る環境を作ってください。 | 参考 | |
| 13 | IR横浜ゆうち絶対反対です。横浜の地で子ども孫もこの手で明るく育ちました。市長さんも女性、子供の育て方も良く解ると安心してましたのにどうしてこうなったのでしょうか。お金も充分でないのにIR発進とかびっくりです。よそはどうあれ横浜は横浜の事を考えて下さい。良い所が沢山あるのに何を考えているのですか。欲張ってはなりません。昔生活は楽ではなかったけど幸せだったと思います。 | 参考 | |
| 14 | 市の財政のためなら、他(場所)に考えてほしい。がむしやらな財政収入は、不用と思う。 | 参考 | |
| 15 | なぜ、市民のためになるものを作らないんですか? 外国人の人、来ませんよ、こんなもん作ったって。横浜市民が安心できるものを作ってください。でっかい建物はもういらぬんです。カジノもいらぬ | 参考 | |
| 16 | IRには反対です。横浜の市税は市民のために使ってください。 | 参考 | |
| 17 | まず住民の考え、思いに沿ってそれこそ「白紙撤回」即ち、IR中止しても良いのではないかな? (ヨコハマに住んで10年位、バクチ場不用) | 参考 | |
| 18 | 庶民の生活に必要ですか? No、非常に有害です。経済性を主張する前に、平和、と健全な社会を保持して下さい。IRは大反対です。 | 参考 | |
| 19 | IRは地元民には健全な利が少ないと思います。外国企業の参入が多いこと、消費電力の増加に伴う温暖化や夜の明るさなどによる併害も見逃すことはできません。 | 参考 | |
| 20 | 「みなとヨコハマ」にカジノはいりません。IRはカジノに集客するための施設ではないでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 21 | カジノ誘致に反対します カジノは何も生産的なものを産ださず客に負けさせることで成り立つビジネスです | 参考 | <p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 22 | 形だけのパブリックコメントをして、市民の声を聞いたようにするパフォーマンスはやめて、市民の声に向きあってほしいです。カジノはダメです。 | 参考 | |
| 23 | 説明会にも参加しましたが、横浜が大変、大変ばかりの数字でがっかりしました。将来の市民の豊かな暮らしをいわれてもカジノ（ギャンブル）収入でというのは納得できません | 参考 | |
| 24 | カジノのIR誘致ではなく横浜市民のための社会保障と教育に財政を生して下さい | 参考 | |
| 25 | カジノには反対します。市民の憩の場に、利用方法が、限られたり、周囲の日常生活を維持するために、大きなシステムを「わざわざ」立ち上げてまで、カジノを導入する必要があるのでしょうか。お金もかかります。 | 参考 | |
| 26 | 横浜IRの方向性4にある治安対策などの懸念事項への取組 横浜市の依存症対策への取組 これほど確実な不安材りょうのある事業をなぜ起業するのか理解できない。方向性4にあることは、どんな対策を講じても起こり得るということを知りて欲しい。安全な住み良い横浜をよごしてほしくない。こわしてほしくない カジノは絶対につくってほしくない。許されない。お願いしますから中止して下さい。 | 参考 | |
| 27 | カジノ＝ギャンブルで子供の未来横浜の未来を創るのには大反対です。日本、神奈川県、神奈川県市町村全体で総合的未來を考えて行くべきです | 参考 | |
| 28 | 市長が言うように、カジノ、ギャンブルがなければ成り立たないIRは計画すべきではない。人口減少、超高齢社会が見込まれるならば、老人、若者、子どもが安心して生活できる自然豊かな、おだやかな横浜を考えて！ギャンブル対策が必要な計画は本末転倒です。観光客がきても市民生活がこわされるのは迷惑です。 | 参考 | |
| 29 | 日本人のモラルの問題です 今やらなければならないことを優先すること。市長 カジノ、「IRゆうち」に絶対反対です。 | 参考 | |
| 30 | 横浜市は、本素案を元にカジノ施設を含むIR誘致を進めるべきではなく、むしろ、誘致そのものを撤回すべきである。 | 参考 | |
| 31 | カジノに拠るところの経済効果であるなら（それも正直非常に嫌疑的である）それを到底甘受することを潔しとしない。そんな効果なら要らない。カジノは本当にいけません。 | 参考 | |
| 32 | どの様な理屈を並べたてても、一部の者達しか、得られない利益の為の企てを、許すことは、出来ません。 | 参考 | |
| 33 | 長期ビジョンに欠ける。 | 参考 | |
| 34 | 緑と大地と海を生かす、自然教育を發展させ“考える若者”を育み今の大人が胸を張って渡せる物を作りませんか。IR絶対反対 | 参考 | |
| 35 | 「カジノ誘致」は、博打場のテラ銭をあてにして、増収を図り、横浜の未来に泥を塗る、不健全なさもしい愚策です。増え続けるのは税収ではなく、治安の悪化、街の衰退、ギャンブル依存症、質屋、と自殺者…です。横浜の未来を汚すカジノIR誘致 絶対反対！！です。 | 参考 | |
| 36 | 横浜市民が心豊かに暮らせる、仕組があれば良いと思う。 | 参考 | |
| 37 | カジノ誘致には、大反対！市（行政）が、賭博場を設置するのは、言語道断計画の撤回を要望します。 | 参考 | |
| 38 | 昨秋の台風、大雨などで被害を受けた金沢区の立ちあがりの問題、その為の援助も、まだまだ不十分の状況の中で、よくカジノパクチーの計画、と思うと市政とは税の使途が誤まっているとしか思えません。市民の多くの人が知るべきです。 | 参考 | |
| 39 | 少子高齢化対策についても、子育て家庭への資金援助、住居手当の支給、子育て支援施設を増やすことなど地道な対策が必要です。また、高齢化については、収入の多い人から多くの税を取るようし、対策をたてていくことができると考えます。 | 参考 | |
| 40 | それにしても、この「横浜IRの方向性（素案）」にある「市民の将来にわたる豊かな暮らし」などはいかにも陳腐・子供だました。 | 参考 | |
| 41 | 「IR」＝人口減少による市税補完のイメージが強いので、他に掲げるところの分野を強化していくべきだと思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 42 | 少子化、人口減少等々諸問題を I Rカジノに求めるのは反対です | 参考 | <p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様々の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、I Rによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれる I R整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、I Rを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>今後も、I Rへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様々に丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 43 | カジノで魅力的な街にするとか財政改善等はありませんし、考え方が乱暴で市民に失礼だと思います。なぜ多くの市民が疑問、反対しているカジノを強引に進めるのか。まさに不透明、不健全の極みといえます。カジノを中心とした I Rには反対です。 | 参考 | |
| 44 | 経済のためにもやるべきだと思う。賛成です！ | 参考 | |
| 45 | 神奈川・横浜の成長をけん引する起爆剤として横浜 I Rの実現を楽しみにしています。 | 参考 | |
| 46 | 少子・高齢化の社会で、経済活性化のためには I Rは必要。 | 参考 | |
| 47 | 今こそ決断のとき。観光、地域経済、財政改善が期待できる I Rの誘致をすすめよう。 | 参考 | |
| 48 | カジノを造る事に反対します。カジノ自体は新たに何も創造しません。 | 参考 | |
| 49 | 実は、カジノができて別にもいいと思ってます。 | 参考 | |
| 50 | カジノ（賭博）なんてとんでもない。横浜は、カジノがなくても人が来て、浜っ子として誇れる街である。汗で稼げない金は、本当の真の金でない。 | 参考 | |
| 51 | それだけの予算があるなら、ほんの一部で中学給食を実施して下さい。未来のある子どもたちのために、給食がない横浜ははずかしい | 参考 | |
| 52 | 撤回されたら ○ I R予定地を森にし、地球温暖化対策本部基地をつくる。○今、残された緑を減らさない対策が取られています。この緑の維持も市民の気持ちと労力で進められています。さらに、昭和の乱開発で開けた土地を緑に戻す発想が必要と考えます。私が列席した2012年の山口県の植樹祭は、山口市阿知須きら浜で開催されました。都会の植樹祭でした。埋立地であったところに記念植樹をしたのです。戦争で失われた山の緑を回復する植樹祭から、乱開発で失われた都会の緑を回復する時代のはじまりであったように思います。（資料添付） ○まず、ハマウイングのときのように市民から募金を募る。半分は緑税を使って、トラストする。横浜国大を森にした「世界の宮脇昭氏」の指導のもと、森をつくる。 ○地球温暖化対策本部の基地は、1、2階は、主に森の木を使ったバイオマス発電所と、はまっこユーキの第2工場をつくる。3階以上は特に意見はありません。市民が気楽に借りて使えるホール兼体育館や、フードコート兼展望室などが思い浮かびます。屋上は光発電モジュールと小型風力発電機をつける。 ○森は、バイオマスの材料とともに、森の公園にする。バイオマスには横浜の街路樹の剪定の枝なども使う。生分解プラを使ったゴミ袋を売り出し、市民の庭の剪定枝なども集めるとよいと思う。 | 参考 | |
| 53 | 世界の国にはカジノがある所ばかりなのだから日本にもあるべきだ | 参考 | |
| 54 | カジノのあるリゾートがあっても良いと思います。 | 参考 | |
| 55 | 入場料6,000円から幸せな市民生活は生まれない。 | 参考 | |
| 56 | I R方向性は一切市民の為ににならないものばかりです。「～生き生きと暮ら」せる保障はどこに有ると言うのですか？「魅力と活力あふれる都市」にならない賭博、博打のカジノ取り入れのどこに新しい文化が生れると保障してくれるのですか？ | 参考 | |
| 57 | 横浜市 I R計画に反対です。世界最高水準の I Rの実現は必要ありません。世界の方々が日本に横浜に行きたいと思うような街づくりにして欲しい。ファミリー層にも合った施設にし「カジノは分離された配置計画デザインに。」と言ってますが、大人から子どもまで幅広く来られる魅力ある所・横浜にして欲しい。東京都や千葉県・埼玉県と同じような施設をつくり競争するのはなく横浜に行きたいと思うような独自の施設を考えて欲しい。カジノに頼らず「市民の豊かな暮らし」「魅力ある横浜市」にして欲しいです。 | 参考 | |
| 58 | I Rに賛成です 横浜経済の発展と税収の為に必要だと思います。 | 参考 | |
| 59 | 横浜 I Rのメリット、デメリットは、理解しています。観光都市“横浜”に、この様な立派な、I Rは、必要ないと考えます。すでに、ホテル、商業施設は、十分過ぎるほど整っています。 | 参考 | |
| 60 | 国が I R法で刑法の賭博罪を合法化したとは言え、そもそも、官が先導してカジノ賭博を広めるべきでない。 | 参考 | |
| 61 | 「依存症・治安対策」の必要のある政策は反社会的であり、重ねて撤回を求める。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 62 | じっくり考えて下さい | 参考 | <p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 63 | 今の現状をしっかりとらえ、横浜市民が何を切望しているのか？読み取る能力も薄れてしまったとは 反対 | 参考 | |
| 64 | 賛成です。パチスロに比べれば、カジノの方がスマートで良いと考えます | 参考 | |
| 65 | 日本には、既に宝くじやtoto、パチンコなどのギャンブルが存在している。今さらカジノを反対する意味はない。IRを誘致してほしい | 参考 | |
| 66 | 横浜IR計画に反対します。横浜市の人口減少・超高齢社会を乗り切るためにカジノを導入するというのは、政治家としてあまりに安易な発想です。未来を生きる人たちに負の遺産を残さないようなまちづくりを真剣に考えてください。 | 参考 | |
| 67 | 色々と考えられていることはわかりました。新たな変化の要素がみられる状況において、将来に安心感が感じられることを進めて下さい。 | 参考 | |
| 68 | 説明会でも反対の意見に市長の満足な説明はありませんでした 即刻IRの計画は撤回をすべきです。 | 参考 | |
| 69 | 私は経済政策としてのIRには賛成しています。少子高齢化の進む日本において各自治体の財政の健全化は最も重要なことであるからです。 | 参考 | |
| 70 | 横浜市内の住宅にえいきょうが出ますのでIRのうちは反対致します。中止して下さい。 | 参考 | |
| 71 | 今カジノじゃないだろ IR予算、に使う金は、ムダ使い、もっと高齢者、子供に向けて欲しいね。 | 参考 | |
| 72 | 中学校給食も敬老パスも、IRより優先されるべきです。 | 参考 | |
| 73 | 市長は横浜市独自の自治を行ってください。カジノ事業者の計算をもとに進めるのではなく、ここまで来てストップをかけることは、市長の英断にかかっています。 | 参考 | |
| 74 | ホームページで素案を読みました私は大反対です。横浜IRは横浜には全く必要ないし、害悪になると思います。横浜市民のことを思って進められているとはとても思えません。 | 参考 | |
| 75 | 一人親、仕事が無い方、ひきこもり等、弱者によりそう政策をしっかりと出来ていないのに、市長がかけ事に資金を導入するとは何事ですか。 | 参考 | |
| 76 | 横浜IRなんていってるから分りにくい。ようはバクチ場(ラスベガス式)を造りたい市民の為にはならない。反対ガンバレ | 参考 | |
| 77 | 横浜IR(統合型リゾート)は市民にとってマイナス面のみです。反対です。 | 参考 | |
| 78 | 横浜IR、カジノには断固反対！労働、ものづくり、憩いの場、文化的な施設等の場にした方が良くと思う。 | 参考 | |
| 79 | 横浜は住み良い都市のNO1(?)だと言うがIRの様な町になった時果してNO1でいられるか疑問です。兎に角絶対反対します。 | 参考 | |
| 80 | 横浜にはIRは絶対いらない。百害あって一利なし。IRによって横浜の暮らしを豊かに？それは絶対ありえない。市民として、恥ずかしい事です。古き良き歴史の町をこれからも大切にしたい、です。静かな落ち着いた街を！！反対に“実現を”お願いします | 参考 | |
| 81 | 生産年齢人口の減少を心配するなら安心して子育てができる環境を整えて、若い人たちが住みたくなる街を作ることが一番では？ | 参考 | |
| 82 | このIR企画は出発点から方向性を誤っている。第一になぜIRが必要なのが明確でない。 | 参考 | |
| 83 | 駅前でカジノを含むIRに反対しようと70～90代の年寄りが運動を起こして、署名活動を寒い中で行っています。殆んど年寄りには健全な横浜の町にカジノなど必要と思っしていません。何時間も寒い中で反対運動をしている年寄りの事を市長はいったいどう感じているか知りたい。 | 参考 | |
| 84 | 横浜市の財政の為は嘘。 | 参考 | |
| 85 | 今後、幾多の災害がやってくるのか、わからないので、防災対策(特に障害者、高齢者)もお寒いものです。課題は一杯あります。10年、20年、30年と先を見つめて、人々の暮らしを大切にしたい政策をして頂きたいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 86 | 市長はご自身の任期中に実行した市政の中で、心底「カジノ」を進めて良かったと言いつけるか。言い切れなければ、ご自身の信念に基づいて市政を先導していただきたい。 | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 87 | 正々堂々と正道、王道を行く政策を真剣に再構築することを望みます。 | 参考 | |
| 88 | 「カジノ」は絶対に横浜に誘致してはいけぬ。「経済効果」だけで物事を決めてはいけぬ。 | 参考 | |
| 89 | 横浜には、誇るべき素晴らしい歴史と文化があります。カジノに頼らず、健全に成長・発展する横浜を次世代に引き継いでいきましょう。 | 参考 | |
| 90 | 愛する横浜の未来をIRカジノに託したくはありません。多くの収入増と引き替えに失われるものの大きさを感じております。統合型リゾートには反対です。市民の声に耳を傾けて下さいますよう！ | 参考 | |
| 91 | IRには外国人より日本人客を7-8割も見込んでいるとのこと 自治体は住民の福祉を図る目的であるべきですが、これに反するのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 92 | この横浜「素案」でも依存症対策の項目に相当の字数を費やしている如く、このカジノ解禁は深刻な事柄である。先ず、この様なカジノを解禁する国の「IR法」に反対であり、それを導入して市の発展を考えるその手法は中止すべきである。全国一番目の人口を持つ政令指定都市としての独自性と共に、神奈川県をもっと意識して今後を考えることが要である。 | 参考 | |
| 93 | 子供達のためにもやめて頂きたいです | 参考 | |
| 94 | 横浜市長は今回の横浜IR計画を撤回すべきである。大規模施設中心のこのような計画は百年古い。 | 参考 | |
| 95 | 子ども・孫のことを考えるとやはりカジノはいりません。 | 参考 | |
| 96 | カジノよりもっと大切なものがあるのではないのでしょうか。お考え切に願っております。 | 参考 | |
| 97 | 私カジノ大反対です 私の方々の方も反対ばかり 私達の未来に、ごどもの未来にカジはいらない | 参考 | |
| 98 | 横浜IRカジノ法案には絶対反対です。横浜市にはカジノなどは必要無いのです。東京の隣接地の横浜市は370万人を擁する大都市に発展した街である。博打などで更に発展させようなど以外の外である。横浜の将来に必要なのは、カジノ（博打場）ではなく誰もが住みたくするような街作りのための市制方針である。決してカジノ（IR）ではない。 | 参考 | |
| 99 | 今こそ、横浜市は、リスクを伴うこのような計画に先行投資をするべきではないし、横浜市民の声に冷静に耳を傾ける時ではないのでしょうか？ | 参考 | |
| 100 | 絶対反対です なぜ必要かわかりません 自分をほろぼし家庭をこわし犯罪に及ぶ恐れ無きにもあらず おだやかな横浜が好きです | 参考 | |
| 101 | よこはまは金、金、金、にたよらなくても素晴らしい市、区なのに残念 | 参考 | |
| 102 | カジノは市民に役立つことがありますか？経済が活性化する？するわけないでしょ？ | 参考 | |
| 103 | 私の意見を聞いて下さい。「素案の撤回」を求めます。 | 参考 | |
| 104 | 少子高齢化、人口減少に見合う産業や経済の在り方を考えるべきで、安易に増収や雇用をカジノに頼る発想自体が間違っている。日本はすでに十分なギャンブル産業（競馬、パチンコ等）があり、これらが日本の経済を活性化させてはいない。カジノをやりたい者は海外に行けば良いし、外国人客を見込んでという世界中にカジノがあるのにあえて日本に必要なか、不明である。 | 参考 | |
| 105 | 「魅力…飛躍」、「カジノ…暮らし」等々の誘致素案を描いている理由が皆無で理解できません。『絶対猛反対です。問答無用』横浜には、ギャンブルは要りません。 | 参考 | |
| 106 | 「日本型IR」導入について考えるべき最大問題が、検討不足である。一極集中の首都東京と、それに近接する横浜市との関係・影響の検討分析を行ったのか？「素案」のどこにもその表現が無い。P. 6の法人市民税・上場企業数の比較表において、その差が東京と画然としているのは、圧倒的一極集中力のある東京に横浜市が組み込まれているからだ。それは東京湾を共にする地勢上の横浜市の宿命である。その前提の上で、横浜の独自性がもたらされるのだ！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 107 | 横浜市にはルック・ウェストが必要である。県内各自治体と観光立県を目指し協議し、その中心となって情報発信基地等に山下埠頭・インナーハーバーを活用することだ。 | 参考 | <p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様々の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様々に丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 108 | 横浜市に市民の反対を押し切りカジノを作って、「子供に誇れるすてきな横浜」になるでしょうか。 | 参考 | |
| 109 | 自治体は、市民の声を聞き、市民のために税金を使い、市民が潤う政治をするのが本筋です。「IR決定したのは、市長のとき。誰が選んだの」に答えられる市政に。 | 参考 | |
| 110 | 今ではなく、将来、これからの人達がしあわせになる方向で、市政を運営して下さい。 | 参考 | |
| 111 | カジノに反対します。現状と課題に、「横浜の歴史や文化を守り、子育て、医療、福祉、教育など市民の安全安心な生活を将来にわたって支えていく」とありますが、なぜ危険を冒してまでカジノでしょうか？ 1. 57～83ページ安全安心対策の横浜モデル 27ページも使った説明・対策はそれだけ「危険」を意味していると思います。仕組みや決まりでは100%防げません。 | 参考 | |
| 112 | カジノ、子供たちの未来に責任をもつ、今の大人たちが、絶対に誘致などさせてはならないと思い、反対意見を表明します。 | 参考 | |
| 113 | 健全な市民を育て、健全な市政運営、財政運営に力を注いで欲しい。 | 参考 | |
| 114 | 横浜IRにカジノを含める方向性に反対します。増収効果があるからと、賭博を合法化してカジノIRに取り込み横浜市街地の山下埠頭に誘致することに決めた市長のミスリードに反対します。 | 参考 | |
| 115 | 街や道がきれいな横浜には、カジノがなくても人は来る、とも言っています。若い人のために、美しい横浜を守りたいです。 | 参考 | |
| 116 | 税収の伸びの手取り早い方法でと選択したことは、納得できません。 | 参考 | |
| 117 | IR導入案には断固反対の立場です。賭博は人を惑わせる亡国の道です。IRがなくても横浜の進む道は幾らでもある筈。安易に取り組む話ではない市民のためであるのなら、こんな発想はない筈です。断固として反対です。子供達のためにも！！ | 参考 | |
| 118 | 横浜市にカジノを導入するのはやめて下さい！！反対です。●年や子どもにとって、とても有害です。もっと、一般市民や子どもたちにとって、有益となるような方向へ予算を使って下さい！ | 参考 | |
| 119 | 今の横浜市の考え方は、悪影響を考えずに経済面だけを重視するもので、極めて短絡的な面のみを重視するもので反対である。 | 参考 | |
| 120 | 「横浜らしさの創造に向けてチャレンジする」という標語が謳われているが、challengeという英語の真の意味は「異議を申し立てる。拒否する。」という意味であることをご存じないか。我々もカジノ計画に、同じくchallengeし続けるものである。 | 参考 | |
| 121 | 市民の疑問や批判に答える姿勢がまったく感じられず、IR誘致の結論ありきの内容どうして「日本型IR」の実現が横浜の課題を解決していくのかの論拠が示されていません。ここが根本的な問題点だと感じました。 | 参考 | |
| 122 | 素案の酷さ、でたらめさ、そして狡猾さ… | 参考 | |
| 123 | ギャンブルが無くとも市民の英知で豊かな横浜で伸びやかに！ | 参考 | |
| 124 | 市長、横浜にカジノはいらないです。それより中学校給食の実施、保育園の充実など若い人が「横浜良いネ。」と住んでもらえれば将来性がでてきます。「カジノは誘致しない」！！ | 参考 | |
| 125 | カジノは、マカオ、韓国等の実例をみても、日本には向いていないと思います。日本はギャンブル依存症が多く、子供達の未来を見ても絶対にカジノ建設は反対です。そのお金があるのなら、小中学校の給食実現、コロナにみられる病院、病床の充実、検査体制の確立、等に使うして下さい。 | 参考 | |
| 126 | カジノよりももっとやる事がいっぱいあるはずです。 | 参考 | |
| 127 | カジノよりももっとやる事がいっぱいあるはずです | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 128 | カジノ反対（絶対に） 横浜市をお金のある市にするのではなく、未来に夢が持てる市にしていきたいと思えます。カジノの予定地に豊かな自然公園を作り、多目的に市民が利用したり、災害時等にも役立つ場所にしてもらいたいです。それこそが私達が誇りに思える横浜市だと思います。 | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様々の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。 |
| 129 | 横浜IRカジノには、絶対に反対です！！市民生活の向上とは、どのような方々の市民生活でしょうか。若者相手の商業施設、介護施設や保育園も、その充実性は疑問です。 | 参考 | 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様々に丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 130 | 税収が減る、と盛んに市長は言いますが、それならば何故、莫大な金を掛けて新市庁舎を建て、オペラハウスの計画をするのか、私には理解できません。カジノで損をする人々はどうでも良く、それよりも税収を増やし、市長がやりたい事を優先していると思われます。横浜市民のため、子ども達のため、IR（カジノ）誘致は是非やめてください。 | 参考 | |
| 131 | 「カジノ」を横浜市に設置するという意味がわかりません。 | 参考 | |
| 132 | カジノに使うお金があったら学校ふやせ。カジノに使うお金があったらお金を市みんにくばれ。カジノに使うお金があったら市みんにマスクをくばれ。 | 参考 | |
| 133 | 私の生まれ育った街、よこはまにカジノはいりません。子どもや孫の為にやめてほしいと思えます。自治体の仕事は市民の命と暮らしを守ること！カジノにそれができるとは思いません。 | 参考 | |
| 134 | バラ色の姿だけを描きだし、リスクも矛盾も見ようとしない、カジノ誘致に力を注ぐなら、市民の生活を見てください。 | 参考 | |
| 135 | 横浜にカジノはいりません。横浜の未来、子どもたちの将来を考えてのことでしょうか。誰のためのIRでしょうか？カジノはもともととばくです。人から吸い上げたお金で横浜の経済がうるおうわけはありません。経済効果や依存症対策の検証はどうなっているのでしょうか？横浜の人口が増えるのではなく、依存症、子どもたちへの悪影響等々、心配・不安で人口は減ると思えます。歴史ある横浜にIRカジノは反対です。 | 参考 | |
| 136 | 更に少子高齢化に向かう、これから解り易い、小じんまりとした、維持、管理も含めた持続可能な、汗して働ける健全な場を提供できる市、街作りを目指すべきです。 | 参考 | |
| 137 | 市民がどこにいるのかわからない見取り図です。別の言葉で言えば外需だのみの経済です。しかも素案ではカジノはほんの付け足し程度にしか記載されていませんが、外国のIRを見るとカジノがIRの成否を決めています。横浜も本当のところはカジノが成否を握っていると考えているのではないかはっきりさせた方がよいと思う。 | 参考 | |
| 138 | 横浜市民にとって、何のメリットもありません。税金の無駄遣いです。 | 参考 | |
| 139 | 市民が望んでいるのは、明日の市民の生命と安心・安全を守ることである。いかに理由づけたとしてもカジノはそれと正反対の本質を持つ。横浜市民の将来の夢と希望をカジノに託すわけにはいかない。 | 参考 | |
| 140 | 原発や基地への依存と同様これは麻薬に手を染めることに他なりません。将来のはまっ子に美しい横浜を手渡ししましょう。中央からの圧力に屈しない市長と議会の皆さんの英断を信じております。横浜にカジノは要りません。絶対に。「健全なカジノ」などありえません。 | 参考 | |
| 141 | ギャンブル依存症、反社会的勢力など容認できないリスクを認識しておきながら、手っ取り早く財源を確保するためにカジノを採用するのは、行政が国民に示す姿勢として受け入れられません。 | 参考 | |
| 142 | IR反対既にみなとみらいはIRの要件を満たしておりカジノつきのIRのメリット、デメリットを考えると、メリットがない。 | 参考 | |
| 143 | 依存症対策は本末転倒。 | 参考 | |
| 144 | IR事業の推進に賛成致します。歳出の節減と税収の増加策を推進しつつ少子化対策、活性化対策に取り組むことが重要です。IR事業はその中の1項目であり、これが呼び水になり新たな分野も出現し相乗効果も期待出来るのではないかと思慮致します | 参考 | |
| 145 | IRは必要ないと思えます。ですので、計画を白紙にしてください。ギャンブルに依存して横浜市の将来構想を考えるのはやめてください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 146 | みなとみらい地区の開発等の整備により集客力や行ってみたいと思ってもらえる魅力はあると思います。今ある施設を生かして雇用や税収のアップ、そして安全で魅力ある町に開発して行って欲しいです。治安の悪化、依存性の心配、若年層に危険な遊び場の提供そんなリスクを犯しても必要なものなどこの横浜にはないはずですよ。 | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様々の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様々に丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 147 | カジノ誘致に絶対反対少子高齢化、非正規雇用が増加する現在、カジノへの投資、カジノからの収益によりどう云った明るい未来を描くのか、カジノ方向性は一般庶民から大きく乖離している。 | 参考 | |
| 148 | 経済効果については色々な試算があると思いますが、経済効果といった目の利益ではなく将来を展望した横浜の未来像から捉えた議論をすべきだと思います。 | 参考 | |
| 149 | 「素案」一括版を全文読ませていただきました。全文を読んで、正直気が抜けました。それは市民の疑問や批判に答える姿勢がまったく感じられず、IR誘致の結論ありきの内容だったからです。どうして「日本型IR」の実現が横浜の課題を解決していくのかの論拠が示されていません。ここが根本的な問題点だと感じました。 | 参考 | |
| 150 | 新しいものを受け入れてきた横浜は、このIRをどのように料理するのか？IRで前進すべきです！もちろん、懸念される諸問題は山積みですが、それを乗り越えてでも今の横浜市の抱える問題の解決策としてIR以外には方法はありません。 | 参考 | |
| 151 | 横浜IR賛成。誘致して市の財政を少しでもよくしてほしい。人件費をコストだと考えたコストカットによる雇用の減少、晩婚化や少子化、国内消費の落ち込み、赤字国債の増加、福祉予算の増加など、今の高齢者が支持した政治と企業経営によって、今そしてこれからの生産年齢層には多大な負担と財政難が待っている。いかんともしがたい切実な事態だからこそ、世界の富裕層が豪遊するお金を横浜に流れるようにして財源を確保する案は非常に魅力的。 | 参考 | |
| 152 | ギャンブル依存症を推進する施策を公が取りながら、税金で依存症対策を取るのには、本末転倒と考える。子供たちにも、カジノで稼いだから教育が出来るって説明出来るわけがない。古来より、日本は賭博を禁じてきた。刑法にも引っ掛かる施策をなぜ進めるのか。将来の市の経営が厳しいとの説明だが、本当にいろいろな施策を考え、創意工夫をしているのか、はなはだ疑問である。高齢者対策では、その方々の活躍の場を作り、収入を得られる道を作ることに創意工夫をする必要があるのではないのか。これをきっかけに正業を積極的に推し進めることが大切である。カジノの周辺地域の治安悪化、環境悪化は、博打と言う内容から避けられる訳がない。マネーロンダリングを含め、暴力団ではなくマフィアが入り込み、麻薬も蔓延するのは目に見えている。日本も、横浜市も、後世のために、正義を立てた判断をすべきである。 | 参考 | |
| 153 | 横浜IRの誘致に賛成です。楽しんだ方の支出に基づいて、横浜市の税収が増えるからです。横浜市の財政難はよく理解しました。有権者として、納税者として、次に浮かぶのは、増税か、社会保障費等の削減か、横浜市が稼げる仕組みの創造か、です。増税も社会保障の縮減も、実行は簡単です。でも、そんな未来を子どもたちに残していいのでしょうか。IRのような「市民の負担ではなく観光客の支出」で稼げる仕組みなんて、めったに無いと思います。 | 参考 | |
| 154 | 実現の背景として分析している「現状と課題」について人口減少、高齢化（老年人口構成比の相対的増加）は、日本全国の自治体でも課題であり、横浜市は地方市町村に比べ、まだ生産年齢人口構成比は高い方である。 市財政の法人住民税が東京都の1/14との数字も示しているが、2010年代の推移は微減であり、今後の市の企業政策により大幅減は避けることが可能である。 訪日外国人宿泊者数が全国平均より伸びが少ない、観光客の8割が日帰り客というデータは、東京隣接地という立地条件からやむを得ないものとして振興策を考えるべきで、外国人や国内観光客の宿泊を増やすためのIR、特にカジノ誘致は投資効果が期待できない。そもそも市財政からの投資試算は、パブコメ募集前に示されるべきものではないか。 | 参考 | |
| 155 | 子供達の将来の事…生活環境（公共交通機関、道路）の整備・改善…街並の景観…まずインフラを考えるIR賛成???カジノ絶対・絶対反対??? | 参考 | |
| 156 | 子供達の将来の事…生活環境（公共交通機関、道路）の整備・改善…街並の景観…まずインフラを考えるIR賛成???カジノ絶対・絶対反対??? | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 157 | カジノありの横浜IR賛成。財源確保が大切。私たちや未来の子供たちは、満足に社会保障を得られないのではという不安も抱いているし、高齢者への社会保障のため増税になる不安も抱いている。私たちから、子供たちから、税収確保の手段を奪わないでほしい。 | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 |
| 158 | 横浜市の未来（近い将来も含む）に対して建設的でない（希望が持てない）市政の大きな目標は、将来を担う子供たちを立派に育てることです。同様に、市民の意見・望みに耳を傾け、市民のための政治を実行することです。横浜市のIRカジノ構想は、より良い未来を創るという観点から、まったくはずれた所にあります。その必要性が全然分らない。 | 参考 | そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様々の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。 |
| 159 | 単なる横浜市の税収アップだけの計画ではなく、市民の生活環境悪化が生じないことの保証、市民の豊かな生活実現を明確に謳った計画をコミットして欲しい。 | 参考 | 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様々に丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 160 | 反対の理由は、現在の横浜市の進め方が我々の民主主義社会を破壊するものであると考えるからです。 | 参考 | |
| 161 | 5頁にて「人口減少」「超高齢社会」自体に対する横浜市の戦略を載せてください。 | 参考 | |
| 162 | 横浜市がIRを招致することに反対します。IRに反対なのではなく、財政的に厳しく、都市部から離れた他の自治体でやればよいと思います。 | 参考 | |
| 163 | 横浜市のIRに完全に反対します。カジノにそこまで肩入れする理由が全く説明されていないし、日本にも、横浜にも必要ではありません。 | 参考 | |
| 164 | 以前市長は「次にカジノ付きIR問題を検討する時には、必ず市民の声をよく聞いて、ご相談しながら検討してまいります！！」と断言されました。そして私は一票を投じました。私の期待を裏切らないでください。市会の議決だけが市民の総意であると誤解しないで頂きたいです。どうか一度立ち止まり、冷静に再検討してください。 | 参考 | |
| 165 | 日本にとっても横浜市にとっても付加価値を得られない施設になる可能性が高く、苦勞して依存症対策を行ってまで設置する意義のある施設とは感じられません。カジノについて市民の納得を得るには、全体構想の中での設置意義と国富の観点での収益性を再度良く吟味して頂く必要があると思います。 | 参考 | |
| 166 | 横浜IRカジノ構想案に断固として反対します。横浜にカジノはほとんどないと思っています。今すぐにも計画をやめてください。 | 参考 | |
| 167 | 横浜市の経済・観光活性化の為、IR整備を希望します。 | 参考 | |
| 168 | カジノ誘致の理由としている少子・高齢化には、少子化を止めるあるいは緩和する対策にきちんと取り組むことこそ必要でしょう。子供を安心して育てられる環境の整備、貧しい家庭の子供でもきちんとした教育を受けられる教育支援、中学生へ温かい給食を提供し正しい食育を実施する、など横浜の未来を担う若者の育成に力やお金を注ぐべきです。少子・高齢化対策そのものにきちんと取り組むべきであり、カジノ誘致で対応するなどは邪道でしょう。 | 参考 | |
| 169 | 横浜は、全国的に見ても国際的に見ても、イメージの良い都市です。それが、カジノができれば、イメージが悪くなるだけでなく、反社会的勢力が関与してきて、治安も悪化します。マネーロンダリングにも悪用されます。「治安対策」も「依存症対策」も「対症療法」です。それ以前に、「対策」をしなくていい、問題の根源となるカジノを導入しないことが最も効果的な抜本的解決方法です。それでも、いまの「対策」案で、十分だと思いませんか？ | 参考 | |
| 170 | このご時世、巨大なハコモノを作って客寄せするという発想が古すぎる。税金の無駄遣いである。そんなお金があるのなら既存のインフラのメンテナンスに使うべきである。 | 参考 | |
| 171 | 横浜が財政的に苦しいことは理解できます、しかしその解決策がカジノ収益依存ですか、貧しく卑しい発想です。IR=カジノでないことは理解しますが、収益を考えると限りなくIR=カジノでしょう。 | 参考 | |
| 172 | IRへ反対意見です。横浜市は、今でも観光客は右肩あがり伸びている。5年間で170%です。このペースで十分ではないでしょうか？！ | 参考 | |
| 173 | IRは横浜市民にとって、不要な、むしろ負の財産となりかねない事業だと思います。市長様 再考をよろしく願いいたします。横浜IRは何のために、誰のために必要なのでしょうか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 174 | カジノを含むIR推進の中止を求めます。カジノは、横浜市にふさわしくなく、これで経済の活性化を図ることには反対です。子どもたちに負の遺産を残したくありません。 | 参考 | <p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様々の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。</p> <p>今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様々に丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。</p> |
| 175 | ギャンブル依存症や治安悪化など様々な問題点が市民から噴出ししているのになぜカジノを含むIRを導入しようとしているのですか。百害あって一利なしです。 | 参考 | |
| 176 | 「水道料金を上げてIRをつくることはせず、横浜市としての社会資本に係る政策を策定すべきである。」/IRといった巨額予算を要する政策を行う一方で人口減少を理由に安易に市民のインフラである水道料金を上げるような「民間企業でいうところの企業努力」をしないようなことはせず、IRを見直し、横浜市としての社会資本に係る政策を策定すべきである。 | 参考 | |
| 177 | 少子高齢化のスピードが特に速く、法人税収入など税収のバランスの課題も抱える横浜で、市民の生活の質と安全を守るためにこそ必要な施策と考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 | 参考 | |
| 178 | 新たな雇用や税収を生むためにもIR誘致には大賛成です | 参考 | |
| 179 | 横浜IR建設については全面的に反対です。既存施設の支援か、もっと別の事にお金を使っただきたいです。よろしくお願い致します。 | 参考 | |
| 180 | IRに賛成します。安全面と経済面での結果を期待致します。 | 参考 | |
| 181 | IRに賛成します。安全面と経済面での結果を期待致します。 | 参考 | |
| 182 | 財政状況の厳しい現実、理解できます。 | 参考 | |
| 183 | 全てにおいて経済が第一という考え方の社会にいたくありません。未来の横浜を担う現在の子どもたちに、僕らは先輩より引き継いだこの社会をより少しでも良い社会にして引き継ぎなくてはならないと考えます。博打場を子どもたちに引き継ぎたくありません。安全・安心な生活。財政が厳しい、行政・市民が一体となって負担することが必要。市長はそう発信すべきです。横浜らしさを持ち、東京と共生する考え方が必要だと思います。カジノのないIRを検討し実現してください。応援します。45年後の推計を見ますと、全体人口は、約58万人減少します。対応として、市民税の増税・行政組織の縮小・本当に必要な社会保障の選別。観光は、水物。カジノは、博打場。 | 参考 | |
| 184 | ギャンブルでの税収増は感心しませんが、子供の世代の事を考えると必要な施設と割り切っています。 | 参考 | |
| 185 | 今の横浜にカジノは要りませんよね？ | 参考 | |
| 186 | カジノ（賭博）は、必要ありません。 | 参考 | |
| 187 | 市の財政は健全な経済活動で改善すべきだと思います。将来に禍根を残さない政策の推進を願っています。 | 参考 | |
| 188 | 私はカジノを含むIRの誘致に反対いたします。素案を拝読いたしました間に、誘致決定における手続きの問題、地域経済へのマイナスの影響、市民の間にカジノ依存症が広がるだけでなく市財政そのものがカジノ依存症に陥る危険性など、すでに多くの方々で述べられている疑問点は解消しませんでした。 | 参考 | |
| 189 | 横浜は、多様な文化に満ちた魅力的な街だと思っています。この文化を、さらに広げるためには、IRリゾートは必要ないと思います。IRリゾートの中心であるカジノが、その文化普及に対してプラスになるとは思いません。 | 参考 | |
| 190 | カジノの財政的必要性は何も書かれていない。カジノ無しでのIRについての検討を今からでもすべき。 | 参考 | |
| 191 | 今回の素案では、「将来にわたる豊かな市民の暮らし」「魅力ある都市としてのさらなる横浜の飛躍」が謳われています。しかし人は10年後にごちそうを与えられるよりも、今日明日の食事を満足にできる方がありがたいと感じ、将来に備えられると思います。 | 参考 | |
| 192 | 治安対策やギャンブル依存症対策を行いますとありますが、本末転倒も甚だしいです。治安悪化を招くこと、ギャンブル依存症を発生させること、そういったことをやらなければ良いだけのことです。 | 参考 | |
| 193 | 横浜にカジノは必要なし！治安の悪化等懸念事項のみ！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 194 | カジノができれば確実に横浜のブランド地位はなくなり、横浜といえばカジノとなり、誇りに思えなくなる。横浜にカジノはいりません。なぜ横浜にカジノが必要なのか、横浜には他にたくさんの素晴らしいところがあります。今ならまだ引き返せる。出来てからでは手遅れです。カジノを横浜に。そんな絶対に反対です。市民の意見を、将来を担う世代の声を真摯に受け止めるべきです。私たちが求めているのはカジノで成り立つ横浜ではなく、市民が誇る横浜です。 | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様が安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様丁寧に丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 195 | カジノではなく、私達すべての人の心を豊かにするものに、お金を使って欲しいと思います。 | 参考 | |
| 196 | IR収入について一般論として、生産年齢人口減少をIRで補うという考え方は根本的に間違っていると思います。日本国内の生産性向上、或いは生活インフラの付加価値を生み出す業種に力を入れるべきです。 | 参考 | |
| 197 | 予測不能なIRが税収につながるというような見通しの甘い杜撰な選択はありえない。もっとやるべきことがあるのでは。税金の使い方として絶対に反対。 | 参考 | |
| 198 | 横浜市がにぎわいのある住みやすい街であるために「カジノは不要」と考えています。理由は多々ありますが、それは全て他の反対意見の方々と同じで重複していると思いますので割愛します。多くの市民の声に耳を傾けて下さり、持続可能で、安全で、マイナス面の多すぎる事業に参入しない、住み良いヨコハマであることを希望します。 | 参考 | |
| 199 | IR事業者は地域貢献を非常に強調します。これは最悪の事態です。莫大な資金を元手に地位で行われる行事やボランティアなどに金も人も出し、麻薬のように依存させ、地域住民を懐柔させるものであり、一度地域コミュニティがIR資金に頼ってしまえば抜け出せなくなり、IR事業者の撤退は地域コミュニティに大打撃を与えることとなります。IR誘致に反対です。 | 参考 | |
| 200 | カジノで経済を良くしようなんて馬鹿げています。この世界的危機の今、弱者救済、医療拡充、市民の声にしっかりと耳を傾けてやってもらいたい。 | 参考 | |
| 201 | P5：横浜の現状「人口・経済の現状について」についてのグラフが正しければここで見て取れるのは、2025年～2045年の10年間の落ち込みが激しい。恐らく2030年までの何らかの対策が重要と思われる。従って検討しているIRが適切な対策手段となるのであれば、開業時期を20年代後半としているのは妥当と思われる。 | 参考 | |
| 202 | これまでの横浜の歴史は、日本全体の躍進に寄与しましたし、美しく、誇れるものでした。「カジノ」リゾートは、果たして横浜らしいのでしょうか？未来の子供達に胸を張って受け継いで欲しいものでしょうか？カジノの収益で国に貢献するのは横浜の役割ではないと思います。 | 参考 | |
| 203 | IRを作る事によって、横浜市は、お金を得ることができると思う。しかし、横浜市は、たくさんの横浜市民からの信頼を失う事になるだろう。もしくは、私のように、IRが作られることにより、横浜市を離れる決意をする市民が他にもいるかもしれない。そうしたら、横浜市は、信頼だけではなく、たくさんの市民を失ってしまうかもしれない。市長、どうか、横浜市民の声をちゃんと聞いてください。「横浜市」は、誰のためにあるのだろうか？市長のためにあるのだろうか？それは、絶対に違う。「横浜市」は、私たち横浜市民のためにあるのだ。横浜市民だけではなくて、日本国内や海外にも、横浜を大好きな人がたくさんいると思う。その中には、IRが作られる事によって、横浜を訪れるのをやめる人たちもいると思う。それにより、観光客が減る可能性も十分にある。横浜は、IRを作る事によって、得るものよりも、失うものが多い気がする。市長には、どうか、目先の利益に目を向けるのではなく、横浜市民の方へ目を向けて欲しい。しっかりと、横浜市民と向き合って、横浜市民の声を聞いて、何が横浜市民にとっての幸せなのかを考えて欲しい。私は、横浜市に、「ギャンブル依存症を生み出す街」ではなく、「笑顔を生み出す街」になって欲しいと願っている。 | 参考 | |
| 204 | 高齢化・少子化に伴う横浜市の人口減少は、社会福祉費用の増大、経済のマイナス成長に対して大きな不安要因です。それを解消するための即効薬として、IR構想の可能性に賭けようとする横浜市の政策は確かに短期的な効果はあるようにも思いますが、そのために失うものがあまりにも大きすぎます。横浜市経済の持続可能性という観点では、その政策決定の早急さに大きな危惧を感じるところです。 | 参考 | |
| 205 | 後の世代に負の遺産を残さぬこと。後の世代にツケを回さぬこと。これが善良な市民の願いだ。責任を取れない（取らない）ことは、やるべきではない。 | 参考 | |
| 206 | 誰の為に造りたいのかも理解できません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 207 | 「横浜ⅠRの方向性」は間違っています。横浜市は「横浜市の観光消費金額が少ないから、観光客のほとんどが日帰りだから、ⅠRが必要だ」という結論を導いている。 | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様への安全安心を確保することが必要です。そのような中で、ⅠRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるⅠR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、ⅠRを実現する必要があるという結論に至りました。 今後も、ⅠRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様へ丁寧にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 208 | 後の世代に負の遺産を残さぬこと。後の世代にツケを回さぬこと。これが善良な市民の願いだ。責任を取れない（取らない）ことは、やるべきではない。「のんびりしていると他市に先を越される・・・」とする焦りもあるとは思いますが、長い将来に亘る横浜市の幸せは焦って得られるモノではなく、寧ろ焦ることで今日まで長い年月をかけて築かれてきた大切な横浜の価値を失いかねない。それ故、まずは<横浜ⅠR>はペンディングとすべきである。 | 参考 | |
| 209 | 子育てや、介護など個性を持って、力を入れる方が、多くの人に選ばれる街になるはず。カジノ・ⅠR誘致ではなく、これからの地に足のついた暮らしに目を向けてください。 | 参考 | |
| 210 | この度のⅠRの計画が地域の人たちをどのように変えていくか考えると本当に恐ろしくなってしまいます。そうした遊興施設を支えるために昼も夜もなく働く人が多くなり、当然私たちの地区にもそういった仕事に就く親御さんが多くなり、居場所のない子たちはどんどん増えるでしょう。誰かがうんと負けてくれて成り立つカジノの存在価値を私は子供たちに良いものとして説明することができません。賭博はいけないことと教えられてきたので。たとえ子供たちがカジノで儲けてきたとしても喜ぶことはできません。価値観の違う人たちが流れ込んでくることにも恐怖を覚えます。 ⅠRはその中だけは一部のお金持ちが楽しむのにいいかもしれませんが、外のお店にはなんらいい影響はないのではないのでしょうか？造ってしまっただけでは遅いと思います。どうか、どんなものを作るかを考えるところから、市民と共に進めていっていただけませんか？ | 参考 | |
| 211 | 人が、企業が集い躍動するまちづくりは良いとして、今でも実現できるはず。できないとしたら、その理由が分かりません。経済界に寄り過ぎているのではないのでしょうか。みなとみらい周辺は企業優先の街作りが進んで、個人は駆逐されつつあるように感じます。 | 参考 | |
| 212 | 市民説明会の説明は、国で決められたこと、事業者の案に基づくものとの説明に終始し、将来の横浜市民のために責任を持って、推進決断したというものではありませんでした。 | 参考 | |
| 213 | 横浜にカジノを作らず、横浜市民に有意義な、他の計画を検討してください。 | 参考 | |
| 214 | カジノを含むⅠR、必要ないです。カジノ管理委員会、設置されていますか？十分な議論が尽くされていますか？反対です！ | 参考 | |
| 215 | カジノを横浜の顔にする事について、納得が出来るのでしょうか？横浜の魅力はそんなに乏しいのでしょうか？どんな街にしたいのか考えてるのでしょうか？ | 参考 | |
| 216 | 不要であり、長期に亘り、弊害が多く、利益に乏しく、欺瞞に満ちたカジノⅠRは速やかに撤回し、医療福祉と就業経営と生活生存の保障にこそ充てるべきである。 | 参考 | |
| 217 | 横浜は明治から栄えた街なので、それを売りにしないで、歴史のある東京、大阪や名古屋と比較しても太刀打ちできないのは明白ではないか。そのような都市に追いつき、追い越そうと卑下して考えるから儲け話に載せられているのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 218 | 「素案」にはバラ色のⅠRが描かれています。ⅠR事業者の見解（イメージ）の反映にも思えます。どこに、市自身の考えがあるのですか。「新しい横浜らしさ」は、もし「未来の街」に媒介されるとして「カジノ」は不可欠なのですか？ | 参考 | |
| 219 | 今回は、「開国」ならぬ「開帳」です。なだれ込んでくるのは賭博業界の事業者であり、利権の「蜜」を狙う諸々の反社会的勢力です。今回の「開帳」は、他ならぬ反社会的勢力の港事業への浸透を断ってきた横浜港の港湾事業者・労働者・市民の築き上げてきた「横浜らしさ」に泥を塗るものです。それだけでなく、壊してしまう選択です。 | 参考 | |
| 220 | ⅠR反対一度でできてしまったものは後には引けません。未来の子どもたちに負の遺産を残すことはできない。 | 参考 | |
| 221 | 「日帰り旅行者多い」「観光名所が少ない」それがどうしたとゆうのでしょうか。そんなものなくとも、我らが横浜は常に多くの人々から良いイメージをもたれています。今回拝読した素案は、田舎の人が考える「おらの町にも立派な施設があればきっと人がたくさん来てくれるにちがいない」的な失敗例との違いが私にはわかりません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 222 | カジノを含むIR事業の推進は凍結して、計画撤回を含む議論を行うべきです。横浜IR（統合型リゾート）の方向性（以下「本素案」という）には、まず「取組の背景」、「方向性」について、根本的なところに問題があり、また「IRの効果」についてはIR誘致を推進するための十分な根拠が示されていない。にもかかわらず、「地域の理解促進・合意形成に向けての取り組み」に至っては、「共感と信頼」とは口先だけで、カジノありきで押し進めている。したがって、本素案にそってIRが実現されるなら、「世界から選ばれるデスティネーション（目的地）」にするどころか、開港以来先人が営々と築き上げてきた市民が誇れるミナト横浜を取り返しのつかない荒廃と衰退に導くに違いない。本素案に基づくカジノ施設を含むIR誘致を白紙撤回すべきである。 | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様の安全安心を確保することが必要です。そのような中で、IRによる「観光の振興」、「地域経済の振興」、「財政の改善」など、これまでにない経済的社会的効果が見込まれ、本市が抱える諸課題の有効な対応策になり得ると考えられること。また、世界最高水準のカジノ規制といわれるIR整備法やギャンブル等依存症対策基本法など、依存症に関する諸制度も整いつつあり、国・自治体・事業者・関係団体がしっかりと協力することで、依存症の方を増やさないように取り組む環境が整ったこと。これらを総合的に勘案し、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくためには、IRを実現する必要があるという結論に至りました。 今後も、IRへのご理解を頂けるよう、事業の進捗に応じて市民の皆様にご説明するなど、積極的に情報提供していきます。 |
| 223 | IRは、超高齢化が進む中で、税収を確保するためには、すばらしい事業だと思います。是非横浜IR実現をお願いします。 | 参考 | |
| 224 | 市民にギャンブルを推奨する行政になってはいけなのではないか。 | 参考 | |
| 225 | 横浜のIRについて、賛成しています。財源の確保が大切です。子どもの医療費や教育費とかが足りなくなると、住む人がどんどん減っていきます。 | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様の安全安心を確保することが必要です。 |
| 226 | IRについて、MICEやショッピングモール、ホテル、劇場については賛成ですが、カジノについては大反対です。カジノにビジネスチャンスや集客を期待する考え方に辟易します。日本全国の都市が横浜を注目しています。ギャンブル産業を推進することは私たちの子供たちへ負の遺産を残すこととなります。横浜市が賢明な開発を進めることができるよう祈っております。 | 参考 | IR整備法では、納付金の相当額を、 ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・IR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 に必要な経費に充てるものと規定されています。 |
| 227 | 高齢化対策に役立って欲しい | 参考 | 本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、IR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。 |
| 228 | 昨年政府が行った増税も同じですが、「福祉や医療の為になるから」を理由に実行するのはどうかと思います。実際どれくらい、いくら使用しているか一般市民には明らかにされません。 | 参考 | 加えて、将来見込まれている税収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等に重きを置いて活用することも可能であり、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくための一つの施策として、IRを実現する必要があると考えています。 |
| 229 | 将来働き盛りの若年層がへり税収が減少するので、IRができると、医療、介護、年金など様々な財源増収が見込めそうだ。 | 参考 | <方向性 P.91> |
| 230 | 21世紀版の経済成長のためには、これまでにない手法IRが必要です。 | 参考 | |
| 231 | 「これからの子どもの世代のために、IRが必要」なんだと思います。こういう表現がより強くあってもいいと思います。 | 参考 | |
| 232 | 一事業で1,000億円近くの税収があるものはなかなかないと思う。ぜひこのチャンスをつかみ、実現してほしい。 | 参考 | |
| 233 | カジノは、絶対にみとめられません。カジノで、税収をあげて、子供達の教育にあてられると考えると、とてもでないけどみとめられません。 | 参考 | |
| 234 | 人々が楽しめる施設を他にあげていますが、現在あるホール、堂、館等の設備の充実をはかることで、横浜の顔は守られ、良さも評価されると思います。他の計画（出されているもの）も併記して市民に考えさせることも必要です。私はIRの計画に反対です。 | 参考 | |
| 235 | 横浜市は、少子・高齢、人口減少社会が進行する現状と将来を見すえた産業政策に力点をおくべきである。日本一の観光、福祉都市を目指すべき。 | 参考 | |
| 236 | 将来税収が減るからというならば、人が住みたくなる街になるような工夫をすること！福祉にやさしい、子育てにやさしいそんな横浜市が私はいいかと思います | 参考 | |
| 237 | 市民が生き生きと暮らせる横浜にするには、IR誘致にお金をかけるのはやめて、福祉増進と地域経済が回るような支援策を講じるべきではないでしょうか。IR誘致には反対です。 | 参考 | |
| 238 | 横浜IRには絶対反対です。横浜と云うイメージとは遠く汚いお金で市民生活をする…どうして横浜にIRが必要なのか？安心・安全な横浜を守っていかなくては… | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 239 | IR誘致でなく、教育、社会保障、又、これから、増えるであろう、新型の感染症防災等に市民の為に税金を使って下さい。“カジノ”には反対です | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様の安全安心を確保することが必要です。 IR整備法では、納付金の相当額を、 ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 ・IR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 に必要な経費に充てるものと規定されています。 本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、IR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。 加えて、将来見込まれている税収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等に重きを置いて活用することも可能であり、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくための一つの施策として、IRを実現する必要があると考えています。 <方向性 P.91> |
| 240 | 横浜市はこれまでも、みなとみらいなど先駆的な、まちづくりを行ってきたが、それも、終盤に近づいて来たので都市機能の更新を行う財源としても活用してほしい。これまでの都心地域である、横浜駅周辺及び関内駅周辺の再編が急務と考える。上記再編事業にあたっては、「新しい社会のあり方」「IOT・ICT社会」「防災・減災」の観点で検討してほしい。 | 参考 | |
| 241 | 財政では、年長者、病気をかかえている人々、小さな子供を育てている人々に、暖かい対応が、必要です。もっとその方面に回すべき対策を早急にとることが望まれますか？ | 参考 | |
| 242 | 税金はこどもの教育費、中学校給食、高齢者への医療費の負担を下げるなど、市民の生活のために、使うべきだと思います。横浜にカジノはいりません。 | 参考 | |
| 243 | カジノに向ける財政を、貧困に苦しむ若い人や子供達の育成に振り向けて欲しいと思います。 | 参考 | |
| 244 | 財政は市民の声を聴き、堅実な方法で、社会保障・教育に充てるべきで大型開発は望みません。 | 参考 | |
| 245 | 素案では、増収となった場合、福祉、教育、医療に使うと説明しています。しかし、こうしたことは財政状況が良くても悪くても、優先的に充実させるべき行政課題です。財政が豊かになったらやるといものではありません。 | 参考 | |
| 246 | 私達や下の世代では負担が増える見込みが簡単に予測出来ることだと思います。介護の現場でも生活保護者も多く、年金収入者の低所得者も多く、高齢者が裕福な状態とも言えない。この先2025年問題、その後も生活保護者や低所得者が増える見込みで私達世代での様々な税金等により、負担額の増加を考えると私はIR事業に賛成です。それを踏まえて、山下ふ頭での事業が青少年育成での悪影響は少ないと思います。むしろ、市街地から離すことで逆に一般市民からの目が届きにくく治安悪化に繋がる恐れがあると考えられることもできます。賛否意見があると思いますが、自分たちや自分たちの子供世代の為に、この先の高齢者や世間を担う為に賛成意見もあります。 | 参考 | |
| 247 | 横浜IRに賛成です。市の財政難はどうにかしなければならぬと、有権者として思います。IRによって財源を確保できるなんて本当に貴重なチャンスだと思います。ぜひ、横浜IRによって長期的に財源を確保して、よりよい政策を実現して市民に還元してほしいです。 | 参考 | |
| 248 | カジノの予算で校舎整備や完全冷暖房を。女性が働きやすい環境を整備すれば労働力も増え、少子かにも歯止めをかけられる。ジェンダーの平等の実現が必要。 | 参考 | |
| 249 | カジノは必要無い。との主張は分かりますが、今後の若い世代の為に財源確保の手段が全く書かれていません。国や市は10～40代のこれらの横浜を背負っていく方々の声を反映してもらいたいです。IR大賛成です。 | 参考 | |
| 250 | 全面的に賛成です。横浜市として収益を確保することを期待します | 参考 | |
| 251 | 横浜IRの推進に賛成します。このまま税収が先細りの未来は困ります。 | 参考 | |
| 252 | 60年にわたり海外や国内の大学で研究教育活動をしているものとして、日本に新しい文明を開いた横浜が、21世紀の新しい国際的な文化振興に貢献することを世界の人々と共に願っております。 | 参考 | |
| 253 | カジノの誘致には断固反対です。ホテル、コンベンションセンター、ショッピングモールを作ることは特に反対は、ありませんが、カジノの必要性が全く理解できません。税収のためだけに、税金を増やすのではなく、まず節約を考えてほしいです。 | 参考 | |
| 254 | コロナ対策では、マスクや消毒液の確保、経済的支援、子どもの受け入れ等の人的支援など、さまざまな支援が市に求められています。これらについて、例えば大々的に政策を展開し、必要な費用は横浜IRでの収益から返済することにすると、市民にとっては、市のサービスと財源の必要性を実感でき、将来の財政のために横浜IRが必要ということにも、理解が高まってくっつけになると思います。 | 参考 | |
| 255 | 今後税収が低下する懸念がある中、財政改善は市民サービス維持のために必要な取り組みだと考えます。統合型リゾートの誘致もその一環としてその必要性を十分に議論していくべきと考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 256 | P1：現状と課題『経済活力の低下が見込まれる中、開港以来大切にしてきた横浜の歴史や文化を守り、子育て、医療、福祉、教育など、市民の皆様が安全安心な生活を将来にわたって支えていく必要があります。』と定義した目的・目標設定は正しいと思いますし、賛同いたします。さらに続けて『「日本型IR」は、これからの横浜の課題を解決していくための重要な手法の一つです。』と、日本型IR実現は目的ではなく、手段であると明確化しているのは正しいと思います。 | 参考 | 本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。そうした状況であっても横浜が都市の活力を維持し、子育て、医療、福祉、教育など市民の皆様が安全安心を確保することが必要です。 IR整備法では、納付金の相当額を、 ・観光・地域経済の振興、財政の改善に関する施策 |
| 257 | 地域住民の福祉向上こそ課題とする自治体が、カジノに依存するIR事業の区域環境整備に税金を投入することは、自治体の任務の否定逆行ではないですか？それともカジノ付きIR、とりわけ、カジノはそれ自体、住民の福祉に貢献するものというのだろうか。市長の見解を聞きたいです。 | 参考 | ・IR区域の整備の推進に関する施策 ・カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策 ・社会福祉の増進及び文化芸術の振興に関する施策 に必要な経費に充てるものと規定されています。 本市では、納付金に加え、入場料収入、その他の増収について、IR整備法に基づき、国際競争力の高い魅力ある滞在型観光の実現のため、都心臨海部の観光資源の磨き上げや新たな創造、交通環境の整備などや、カジノ施設の設置・運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための施策に活用します。 加えて、将来見込まれている税収減や収支不足を補うとともに、福祉、子育て、医療、教育、公共施設の更新等に重きを置いて活用することも可能であり、横浜の20年、30年先を見据え、横浜が将来にわたり成長・発展を続けていくための一つの施策として、IRを実現する必要があると考えています。 <方向性 P.91> |
| 258 | カジノがなくても日本一住みたい土地となれば、自然と人口は増え観光客も増え、税収が増えるのではないのでしょうか？“魅力ある横浜市を造りましょう” | 参考 | 本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、本市の事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。<方向性 P.16> |
| 259 | 横浜IRについては反対するその理由は、IR建設により海を汚すべきではない IRを建設する程横浜に宿泊する人は多くないIRよりも過去に計画した事業を優先すべき 私の地区には約60年前に計画された都市計画道路がありいまだ事業化されていません。この道路には子供の命と小学校の存続がかかっています 新しいものよりこの様な過去の計画を先に消化すべきではないか | 参考 | |
| 260 | 未来の子供達が、税収不足で、困らないように、IRに限らず様々な手段を検討して欲しい。今は、IRの実現に向けて頑張ってください。 | 参考 | |
| 261 | IR実現の背景に財政状況があげられています。これは他都市も同じです。横浜だけで何とかなる問題ではありません。世界の経済体制の問題です。大きな視点で考えることを望みます。IRに反対します。 | 参考 | |
| 262 | 財政難は市の公表するデータで明確ではありません。 | 参考 | |
| 263 | IRは反対です。増収させるためではなく、今のままでも市民が安全に暮らしていけるように考えてほしいです。 | 参考 | |
| 264 | 市長殿 考えれば考える程、貴殿は未来社会への理想が低いと思います、カジノはいりません。「お金がすべて」「儲かれば何でも有り」こんな「新自由主義社会と経済政策」は限界があります。横浜の歴史、文化を大事に学び、地球に優しい、教育と文化と観光都市を目指した方が良いと思う。 | 参考 | |
| 265 | 横浜IRは、現在の横浜で必要無いです。もっと、足元を見て、家庭・子育て・教育・医療について、深く考えて下さい。どうぞ、取り消して、文化と花の横浜に力を入れて下さい。 | 参考 | |
| 266 | 今回のカジノの計画だけは、絶対に許せません。市の収入が足りないから、カジノで、というのは余りの暴挙です。カジノの向うに横浜市民の明るい希望が、未来の子どもや孫の笑顔がみえますか。将来後悔することのないよう、今からでも遅くありません。横浜に住む市民が喜び、誇りをもち、まちを愛しつづけることができる市政へカジをきって下さい。よろしく願います。 | 参考 | |
| 267 | 学童保育も公立を作ってください 東京に若い夫婦をとられているのになぜ気がつかないのですか？ | 参考 | |
| 268 | 日本で一番住みたい町NO. 1にも選ばれたこの美しい港町になぜギャンブル場が必要なのでしょう。税収の事ばかりしか考えていない、議員には本当に怒りしか覚えません。市職員（多すぎる）を始め無駄な費用をカットし、横浜市民皆が納得出来る事を考えてほしい。どうか、この美しい横浜を子供達世代にも胸をはって残せる事をして下さい。ギャンブル場絶対反対です！！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 269 | 横浜は、今迄、ずっとカジノ無しでやって来ました。これからの未来も、カジノ無しでもやれるはずですよ。 | 参考 | <p>本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。</p> <p>あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、本市の事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。</p> <p>将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性P.16＞</p> |
| 270 | 若い人たちの声に耳を傾け、第一次、二次産業で雇用を作りながら時間はかかると思いますが未来のある横浜を作ってもらいたいと思います。 | 参考 | |
| 271 | がけくずれしやすい場所を整備するなど、市民の為に市政をもっと考えて下さい！ | 参考 | |
| 272 | 不足する市税を安易に市民（国民）からしぼり取ることを考えず、国に働きかけて大企業から適切な法人税を徴収するべきです。 | 参考 | |
| 273 | カジノがないのに行きたい横浜を目指し、考え抜いて頂きたいです。カジノを含めた横浜IRにて、私たちの住民税はいくらになるのでしょうか？カジノを含めない横浜IRでは、私たちの住民税はいくら？横浜IRを取り止めた際の私たちの住民税はいくらをお考えでしょうか？ | 参考 | |
| 274 | 素案自身、IRが収支均衡の「重要な手法の一つ」と認めてはいる（素案・2、16頁）。ところが素案は、結果的にはIR以外の選択肢を検討した形跡もなく、短絡的にIRに飛びついて、他の選択肢の検討を閉ざしただけに終わっている。すなわち、素案におけるIR背景説明部分は、「何故IRが唯一または最優先の選択肢なのか」の説明責任を果たすものでは到底ない。色あせた「観光先進国」「クルーズ港」素案は、IRを国の「観光先進国」実現のものと位置付け（素案・2、17頁）、いかにも利用客のターゲットが外国観光客・ビジネス客にあるかのように述べている。しかし市長が正式にIR誘致に名乗りを挙げた令和元年と本年とは実に様変わりである。 | 参考 | |
| 275 | 旧態依然とした「箱もの」IR崇拝から脱し、「ゼロからの出発」として、真摯に財政を見直し地道な財政再建の方策を樹立すべきである。 | 参考 | |
| 276 | 財政はむだをなくしていけばいくらでもちゃんとやっていけるはずですよ。 | 参考 | |
| 277 | 横浜市の財政は市民税、住民税が中心で全国でも上位にランクされる財政をもっています。その財政をもっと増やそうとカジノ収入を見込もうとしている。市民は今の市政のままでけっこうです。 | 参考 | |
| 278 | 横浜市の財政が厳しいことや横浜へ来る訪日外国人の状況など横浜が置かれている状況を今回改めてよく知ることができました。市側がIR構想を提案しなかったら、市の状況などに興味を持たず安穩と生活をしていたと思います。今回のカジノを含むIR構想には反対ですが、市政に興味を持って参画していこうと思います。 | 参考 | |
| 279 | 一度税収をカジノに頼ってカジノが撤退したときは、横浜市の財政は破綻してしまい取り返しのつかないこととなります。 | 参考 | |
| 280 | 横浜市はIR推進を即座に取りやめるべきだ。、IRに関しての提案を直ちに取下げ別な投資対策にシフトしてほしい | 参考 | |
| 281 | 横浜市はIR推進を即座に取りやめるべきだ。また、推進するのならどのような港町にするかを市民に提示せよ以上を鑑みて、IRに関しての提案を直ちに取下げ別な投資対策にシフトしてほしい | 参考 | |
| 282 | IR誘致には基本的に大賛成です。横浜市の将来の財政を安定化するために、特に若い世代のための政策として積極的に推進してほしい。若い世代の声をもっと反映させるべきです。現状のままでは若年層に重い負担を押し付けることになる。既に手厚い高齢者対策に配慮する必要性は低い。 | 参考 | |
| 283 | 横浜市民の多くは、「文化芸術創造都市」や「イノベーションIR」、「日本のゲートウェイ機能」など求めています。臨海部に集中投資して来た結果、首都圏のベッドタウンとして広がる大部分の地域は活力を失い、日々の生活に不便を感じています。まずは税金を収めている市民の生活改善に集中投資すべきです。IR建設予定地は、将来を担う若者が世界中から集まる、教育施設を建設してはいかがでしょう。「カジノ」に集まる客が落とすお金で市民の暮らしを豊かにするより、100年後の子孫に誇れる健全な横浜を築くことに注力するようお願いいたします。 | 参考 | |
| 284 | もし市の財政が賭博を必要とするほど軟弱ならば是非代りに市民税を上げていただきたい。その方が余程市の安全を担保するに相応しい政策と信じます。ずっと“マシ”です。この街が我らの愛する横浜がその貴重な輝かしい歴史日本の文明開化のパイオニアとしての矜持を長く保持することを祈って止みません。 | 参考 | |
| 285 | 大型開発にばかり目を向けず、もっと市民の暮らしが豊になるような発想転換をしてください。たとえばカジノより中学校給食完全実施の方にこそ先にお金を使うべきです。「横浜は賭博の町」はイヤ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 286 | 市長は、高齢化社会を視野に入れて市の財政の将来的展望が良くないことからIR導入を打開策にしようとの考え方のようなのだが、果たしてその選択が唯一、最終のものであるか再考すべきだと思います。高齢化は横浜市だけの問題ではなく、(投資機会に恵まれる、恵まれないとかの問題はあるものの)なぜ、ほかの都市で手をあげないところが多々あるのか。また、現在の市の財政状況の検証を行政、議会(そして関与できる市民、市民団体も含め)が徹底して行ったか、もしそうであれば、その結果・見解についての説明がきちんと市民にたいしてなされたか、を知りたいです | 参考 | 本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、本市の事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。<方向性P.16> |
| 287 | もっと、市民が喜んで何方でも集まり利用出来るような公共的な施設の方が良いと思います。 | 参考 | |
| 288 | カジノが横浜IR事業の主問題点として取りざたされているが、カジノ自体が取りやめになればその他の事業は良しとするものではない。横浜市民としてカジノを含むIR事業で整備された「新たな箱もの行政」を多くの市民は望んでいるのか。という根本的な課題が市内全域に横たわっているのではないのか。今回、素案を作成したのを契機に横浜IR事業を進めるという結論を急ぐのではなく、「子育て、医療、福祉、教育など、横浜市民の安全安心な生活を将来にわたって支えていく」方向性をより一層市民全体で共有し、時間をかけて市内全域で語らっていく必要がある。 | 参考 | |
| 289 | 現在コロナウイルスが世界中に蔓延して、誰もが視線を、行動を、内向きにせざるを得ない事態となり静かに人の生き方を再考してみるにIRへ我が横浜は向かって良いものでしょうか。横浜市民はもとより世界の人々も横浜に求めるのはIRでしょうか？その方向性を私は残念で悲しい事と思いません。横浜が担うべき事業ではないと考えます。民主主義も踏みにじられてしまっている。音楽のある街へ動いた流れのような方向性へ戻ってください。 | 参考 | |
| 290 | カジノ導入を含んだIR計画誘致の計画には反対です。横浜は「住みたい街ナンバーワン」の居住者主体の都市として何の問題があるのか 横浜市は人口370万人を抱え、且つ数少ない人口が増加している日本最大の市 東京、大阪、名古屋と比較して論じることには無理がある 都市機能としては、巨大な貿易港と背景に鎌倉という観光資源を抱えた好立地の都市 東京に比べ、事業者にとって決して劣る事業環境とは言えず、アクセスやインフラ整備に関しては何のその色もないむしろ地代家賃水準及び事業用地の供給面では優位性が高い 今後、横浜市が事業者誘致の面で積極的に行政努力をすれば、他の近隣首都圏都市(千葉、埼玉)と比較すれば、利便性ブランド面では圧倒的に有利とさえ言える 問題は再開発事業計画の建て方 むしろ逆効果 イメージが下がる カジノというギャンブル事業を中核としたIR事業は基本的に「迷惑施設」 誘致すべきではない | 参考 | |
| 291 | 将来的な税収不足について パブリックコメント資料によると、将来人口の高齢化による税収不足をあげておられます ただ横浜市が他都市に比べて若い世代のウエイトが高いわけではない むしろ平均より若い世代が多い しかも市の試算では、年齢構成の推移について全国平均値を根拠をあげておられる がこれはマトを射ていない 横浜市は居住希望のランクが高く、流入人口が多い しかもマンションの新築戸数も多く、今後若い世代のファミリー層が増えていく可能性が高い しかもターゲットを2065年(今から45年後)と設定している 今から45年後の市の税収不足を論じ、その解決策としてIR事業の導入を論ずるのはあまりにも乱暴 しかもIR事業の収益の中心はカジノ事業 何の「事業生産性」もない | 参考 | |
| 292 | 横浜カジノ構想の問題点を挙げ、誘致反対を表明する。横浜市特有の問題ではないのに、少子高齢化の時代が到来することを理由に、税収を上げることが求めてカジノを主体とするIR(統合型リゾート施設)誘致に答えを求めるとは何故か？このことが分からない。少子高齢化による税収減の回避策として、法人税や市民税を増収する手立てとして、横浜市はこの間、どのような施策の研究や調査、市民や経済学者との意見交換を行ってきたのか知りた。表明がない。政府が「世界最高水準のカジノ規制」を行うから大丈夫と回答しているが、誘致前から現職の国会議員が事業展開を希望する業者から賄賂を受けて逮捕される事件が既に発生している。■予定地の「山下ふ頭」には山下公園がすぐそばにある。市民の憩う場所。もしカジノが出来たら、ギャンブル依存症の患者や、そうした理性を失った状態の患者にまつわる事件・事故が多発する。市民の憩う場所がどこかに造られるとでも言うのか、別なところへ出向け！というのか？■説明のどれ1つを取っても、納得できる説明がない。 | 参考 | |
| 293 | 少子高齢化・生産年齢人口の減少による財政悪化を防ぐ?!豊かで安全・安心な横浜のために賭博場が必要か?!法人市民税の少なさを強調するこの素案や市民説明会での市長の説明には違和感を強く覚える。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 294 | ご家族、お子様、また、お孫さんがいたとして、カジノを将来残すことは、国際都市横浜のイメージにも合いませんし、また、明白に負の遺産になると思います。横浜市は、将来の財政基盤を改善するというなら、いきなり、「IRカジノ構想」一つでなく、まず、やってほしいことは、複数のシナリオを提示し、根拠となる数字を示し、横浜市民が将来ビジョンを具体的にイメージして議論できるような内容にしたいと思います。また、ジェンダーバランスを上位にする具体的施策についても併せてご検討お願い致します。 | 参考 | 本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、本市の事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性P.16＞ |
| 295 | 市長としてまず守るべきは市民であり、危険を伴う安易な収益に手を出す前に、痛みを伴わないことを前提とした打開策を熟考すべきである。横浜市にカジノが出来れば、市民の流出も増加し、個人市民税の減収が予想される。令和元年度においては、国内外から11社の企業が「横浜市成長産業立地促進助成制度」を活用し、横浜市に立地した。横浜市に立地する理由や魅力があつてこそだと考える。今後も地道に優良な企業誘致活動を継続し、PFI事業等の働きかけも並行しながら、横浜市を盛り上げ、法人市民税取得拡大に努めて頂きたい。 | 参考 | |
| 296 | 今後の高齢化と生産人口減とIRとの関連性がよく分からない | 参考 | |
| 297 | 横浜市は、カジノも含めて企業や業界よりの行政を正す必要があります。 | 参考 | |
| 298 | 6ページ：カジノ誘致の理由が、生産年齢人口の減少による税収の低下と高齢化による医療費の上昇とは驚きです。国連開発計画も、この問題を考えていますが、行政改革をする自治体を支援すると言っています。これは当然で、行政改革は自治体自身で可能な対策ですが、カジノ誘致は他力本願だからです。 | 参考 | |
| 299 | 将来の税収の確保を考えるなら、子育て支援、若者の就労支援、地元商店街の活性化、等住民の生活に密着した政策を充実させることで、住みよい横浜をアピールし、若い世代の転入を促す事が大事だと思います。IRカジノより住民の生活のための政策を望みます。 | 参考 | |
| 300 | トータルとして、提示された資料のみで明確に「反対」を述べるだけの材料はないです。ただ「必要」と判断することもできません。確かに人口減少と高齢化に対するためになんらかの変革は必要だと思いますが、その答えがIRである、という確信は持てませんでした。 | 参考 | |
| 301 | 横浜IRの計画と構築素案はカジノを含めた世界の既存IRの現状と市民環境に及ぼす様々な悪しき影響を考慮すればとても賛同する気にはなれません。市民の将来に関して、健全な発展と文化的な生活を政治的に担う横浜市長が計画予算を組む何故推し進めようとするのか理解できません。こう言う構想しか”将来にわたる市民の豊かな暮らし”は考えられないのですか？誘致撤退の再考を促します。絶対に誘致しないでください！ | 参考 | |
| 302 | なぜ、横浜だけがカジノを必要とするのか横浜の特異性を説明すること。少子高齢化は横浜に限ったことではなく、各都市が解決すべき問題である。他の都市はどのように問題を解決しようとしているのか、横浜市はなぜ他の都市と同じような解決策をとれないのか。そのことを深掘りし、しっかり議論しないとカジノは市民に受け入れられない。そのような議論を記載することなく本素案はカジノありきで記載されている。「なぜ横浜だけがカジノを必要とするのか」という基本的疑問に対する説明がない素案は到底市民に受け入れられない。 | 参考 | |
| 303 | 今は他にお金を投入するべきところがあり、時期尚早だと思います。 | 参考 | |
| 304 | 多数出てきた”オール横浜”という標語。こちらは”横浜市民が一丸となって”という意味合いがあると認識していますが決してIR誘致へ向けて全横浜市民が意欲的ではないのに、この標語を使うのは適していないと思います。 | 参考 | |
| 305 | 是非、横浜IRの構想を実現させるためにも、順序として横浜の社会保障のあるべき姿も見直してほしいです。資料では横浜IR実現への取組の背景で説明されていますが、あるべき姿の再考が必要という意見です。従って、誤っているかもしれない現状把握をベースにした横浜IRについては現時点で賛成できません。 | 参考 | |
| 306 | IR関係の雇用等を増やしても、今回の事態を見ればそれらは即座に生活困窮者になるだけです。介護や保育などの市民生活に必要な分野の雇用や保健所・医療機関や区役所等公務労働の雇用を増やすために、必要な助成や雇入れを行うための費用に振り分ける政策を進めるべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 307 | P6：(1)現状と課題＝財政の現状。法人・上場企業数が他都市比較して少ないという比較のみで、この状態に至ったこれまでの横浜市の産業政策に関しての検証・分析が無い。先に報告された『IR(統合型リゾート)等新たな戦略的都市づくり検討調査(その4)報告書(以下検討資料(4)報告書)』を見ても横浜市のこれまでの政策の検証・反省・提言が全くなくIRのMICEによってこの部分が改善するとしているが、「希望的観測・願望」と言わざるを得ず疑問視せざるを得ない。P9に述べている企業誘致実績の施策・効果などを示してIRに当てはめた提言をすべき。各資料の整合性が無い。 | 参考 | 本市の市税収入の規模は、平成30年度決算で約8,200億円となっており、その約半分を皆様の個人市民税からいただいています。しかしながら、個人市民税は、将来的に人口減少により減収の見込みです。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。 このため、法人市民税などの増収につながる「戦略的な企業誘致」や「観光・MICE都市」、「特別自治市」、「SDGs未来都市」などのあらゆる政策を展開しています。 あわせて、限られた経営資源の中でも必要な施策を推進するため、毎年度、本市の事務事業の見直しに努め、徹底した市役所内部経費の削減や、事務の効率化・適正化に取り組んでおり、直近5年間の効果額は、500億円を超えています。 将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくためにも、IRはこれらの重要な政策の一つです。＜方向性P.16＞ |
| 308 | なぜ横浜にカジノ?横浜市は他都市と比べて税収が厳しく、少子高齢化に備えた経済効果をカジノで賄うと試算しています。 | 参考 | |
| 309 | 他都市との比較に際し、横浜市の性格として千葉・さいたま・甲府市との比較が妥当でしょう。それを前提にして問い直すべきです。高きを望むのは悪くありませんが、IRとは関係ありません。 | 参考 | |
| 310 | 高齢者を支えるのにカジノ計画が必要とのことですが、人口減少をさせないためにもっとすることがあると思います。失敗した場合それこそ高齢者の税金では、払いきれないし、税金が返済にあてられれば生活できない人が増えると思います。 | 参考 | |
| 311 | 以下、方向性素案の記載が余りにも虚偽と隠蔽が目立つので、章立てに則って述べる。1 はじめに横浜市の現状・課題・超高齢社会と生産年齢人口減少と老年増加は全国現象で横浜が重い訳でなく、カジノIR誘致根拠にならない。 | 参考 | |
| 312 | カジノには反対。市長は以前、カジノには反対との意見を、お持ちだと思いついて投票したのでとても残念。すでに人が集まる山下ふ頭ではなく、戸塚や瀬谷の、自然の中にIRを、作ってほしい。 | 参考 | 「山下ふ頭」は近隣の観光拠点との連携、みなどみらい21地区から続く美しいウォーターフロント、広大かつシンボル性の高い敷地、住宅市街地と分離された立地、恵まれた交通アクセス等都市型リゾートとしての高いポテンシャルを持っていると考えています。＜方向性P.21＞ |
| 313 | 神奈川県内のノースピア(米軍基地)を返還していただきその跡地利用がベストと考えます。入口のゲートを利用し、セキュリティ万全。 | 参考 | |
| 314 | 横浜港内の観光地である山下埠頭には相応しくない。 | 参考 | |
| 315 | IRは過疎地振興を考えた企画だと思うので横浜ではなく清川村でお願いします。 | 参考 | |
| 316 | 予定地の山下ふ頭は、他の使い方を考えて下さい。 | 参考 | |
| 317 | 場所まで決めてよびこむとは考えられません。横浜のシンボルの港に設置する計画とはひどすぎます。いますぐにやめて下さい。 | 参考 | |
| 318 | 山下公園という市民の憩いの場近くにカジノをつくらないでください。 | 参考 | |
| 319 | 場所まで決めてよびこむとは考えられません。横浜のシンボルの港に設置する計画とはひどすぎます。いますぐにやめて下さい。 | 参考 | |
| 320 | 横浜の景観の良い所に出来れば、外国から来た人の見た目も違うと思います | 参考 | |
| 321 | 山下ふ頭ではなく、新庁舎のある北仲通地区に造ると良いと思います。 | 参考 | |
| 322 | IRの立地条件が悪い | 参考 | |
| 323 | 山下ふ頭までわざわざ行く観光客はいないだろう。新たな魅力はカジノしかない。 | 参考 | |
| 324 | IR案の実現は横浜市の再活性化のために不可欠横浜の魅力は港湾を中心にした街にあるが、横浜ベイブリッジによる高さ制限のために、大型客船が中心部に接岸できず、旅客のアクセスが悪い港になっている。このままでは、客船の大型化が進展するにつれ、横浜港の価値がさらに低下してしまうことは明白です。IR案にある通り、本牧ふ頭に至近な位置にIRを設け、それを新たな観光拠点とすることで、本牧ふ頭に近い地域を観光地にすることができる。それは、とりもなおさず、大型客船が接岸できる本牧ふ頭から至近の観光拠点が開発されることになり、客船で寄港した乗客にとってアクセス性が改善したことに匹敵する。これにより、大型船で寄港しても魅力のある横浜が再開できるのではないかと。 | 参考 | |
| 325 | 横浜港大さん橋や横浜ベイコート倶楽部にも近い山下ふ頭は立地に適していると考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 326 | 横浜市は、活気あふれる文化芸術創造都市を目指しているとあります。限定的なカジノでなく、世界視野で考えられる芸術を活かして下さい。もし、強い力でIRを止められない場合、いつでも撤去・再開してもよい小さい規模で創られて行くべきです。時代の移り変わりや、カジノの価値など全体的に考えて、カジノが長持ちするとは考えにくく、新しい転換の為に投資は控え、どの方向でも人の生活や街作りに力になるアイデアに資金提供の方がリスクが少なくなると思います。一番望むことは、人をどう扱うかです。人をダメにする要素を創るより、多くの人を育て稼げる人にする政策の実行が必要です。どういう人を横浜市に増やしたいですか？他にもアイデアは沢山あると思います。それら複数のアイデアを統合し、カジノ以上の施設を建設し、多くの人から望まれ喜ばれる街作りをして横浜市を活性化して欲しいです。 | 参考 | 平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。 特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。 このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。 これらのことから、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。 |
| 327 | 山下ふ頭跡地はもっと健全な経済発展、市民が安心して利用できるために活用すべきです。 | 参考 | |
| 328 | IRは将来の財政上の重荷になります。横浜市は勤勉と正義を育む街を目指して人材と財政支援をしましょう。 | 参考 | |
| 329 | 大反対です。市民生活や横浜の文化と無関係な偽物の文化施設を創っても、笑い物になるだけである。 | 参考 | |
| 330 | 現在みなとみらい地区には大企業・大学等の研究開発部門の進出が増加。横浜ほど恵まれた立地条件（陸・海・空ほか）はない。国際的に認知される研究開発都市づくりに力点をおくべき。横浜の大きな発展につながり、山下ふ頭はその面でも重要な役割を果たすと思う | 参考 | |
| 331 | 山下埠頭の大半は横浜市民の財産である。その財産は守るべきだ。貸付による処分を予定しているらしいが、どういう事でしょうか？地権者としての発言権はどの様に担保するのですか？IRは、国の決定権に対し、自治体の決定権は何も有りません。素案は、国の審査に合格する事を第一にした方向性です。市長は直ちに撤回し、本来の横浜地域開発に立ち返るべきだ！！ | 参考 | |
| 332 | 国際競争の激しい滞在型観光というけれど、何故横浜に？ | 参考 | |
| 333 | 「横浜IR」に反対します。少子高齢化問題は全国共通です。その中で、横浜は、環境・文化・歴史に恵まれており、皆が誇り得る、納得し得る方法での財制政策を考えるべきです。例えば、先ず港湾協会による「横浜港ハーバーリゾート計画」に市当局は関心をもち、傾聴せよ。 | 参考 | |
| 334 | 何が日本最大MICE都市か。カジノこそが事の核だろう。情報不透明のままの推進は歴史の検証を受けるだろう。 | 参考 | |
| 335 | 横浜に行きたくなくなる魅力はカジノですか？ごり押し的なやり方でなく、カジノが必要か、議論をきちんとすべきだ。 | 参考 | |
| 336 | 統合リゾートは名ばかりでカジノ誘致をごまかしている。言葉の操りようで別の解釈がまかり通るものなのか。 | 参考 | |
| 337 | ハーバーリゾートは現実的でなく、今考えられる最善の方法の1つがIRだと思う。 | 参考 | |
| 338 | 横浜港の山下ふ頭などを利用するは『カジノ拒否』を表明し、山下ふ頭内に多数ある所有建物から立ち退かないとしています。この港湾人の抵抗によって、政府のカジノ「基本方針（案）」が求める、「土地使用権限の取得見込み」がたたないため、横浜市の「区域整備計画」は国の認定が受けられない状態になる可能性があります。 | 参考 | |
| 339 | 私はクオリティーの高いテーマパークを横浜の威信にかけて造つたらいいと思います。また、海外の人気あるテーマパークを横浜に持って来るのもいいと思います（ラスベガスではなく）。私は、なぜ、まじめに働いている人を墮落させるかもしれないような施設を国が造ろうとしているのかかわかりません。いちばんとっとり早くお金が儲かるからですか？ | 参考 | |
| 340 | 横浜の歴史、自然、外国と早くから交流してきた良さ、食文化など、これまで培われてきた横浜らしさを発揮し、「横浜市山下ふ頭開発基本計画ーハーバーリゾート計画」のもとで収入を得ることができると考えます。 | 参考 | |
| 341 | カジノについては、船上もしくは人工島上で行うべきと考えます。横浜に観光・経済にイノベーションをもたらす上では、尚の事カジノを隔離して営業すべきと考えます。世界に誇る港湾都市ならではの発想と思います。 | 参考 | |
| 342 | IRカジノ誘致は絶対やめて下さい！私達市民の声に真摯に耳を傾け、歴史、文化薫るミナトヨコハマの為に、将来を任う子ども達の為に撤回して下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 343 | 当該事業の推進を速やかに断念してください。代替案としては、既に、カジノのない優れて健全な「横浜ハーバーリゾート構想」があります。そもそもIR誘致に伴う全体的なリスクの検討及び情報提示が不十分です。[治安対策]を始めとし、列挙された懸念事項に関しても、現時点では、対策研究会の設置が承認されただけです。 | 参考 | <p>平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。</p> <p>特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。</p> <p>このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づき、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。</p> <p>これらの事から、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。</p> |
| 344 | 賭け事が嫌いなのでIRには反対です。護岸と埋立地を「市民のための浜辺復活」を望みます。未来のハマツ子に誇れるような。市が世界に誇れるような観光都市化を望みます。 | 参考 | |
| 345 | みなとみらい、新港地区等をもっと活用すべきで、カジノなどもっての外です。 | 参考 | |
| 346 | 「IRがカジノを有さないと成立しないそもそもIRではない」なら、IRはいりません。IRではない(カジノがない)横浜独自の世界水準の高い市政をして下さい。今既存の施設に手と予算を付けていけば充分。今ある財産(横浜)を生かさず新しい物はいりません | 参考 | |
| 347 | カジノなしでも魅力的な横浜を作り続けることは可能なはず | 参考 | |
| 348 | 横浜IRプランはMICEにカジノを併設することが前提とされているがカジノに必要な資金を全面依存するIRは問題が多くMICE+カジノ=VIC E(悪徳)と化することが大いに懸念される。カジノがギャンブルであることは素案後段の依存症対策(P. 59~61)でも明記されており、その様な横浜IRが横浜市未来のさらなる発展を招来すると云う見解には首肯出来ない。 | 参考 | |
| 349 | 絶対反対！意味なし。そもそも山下公園は関東大震災のガレキを埋めてできた公園であり、横浜市民の心の拠り所であること。決して、歓楽とは違い精神のところが、ある意味で市民にとっては教会に匹敵する。何かにつけ気持ちの安定を求めるところであること。我々の青春の思い出の場所をいじらずにそのまま、残してほしい故郷をなくさないでほしい。こわさないで(コロナの状況下、負の遺産になりそう)。 | 参考 | |
| 350 | 納得、できない決定のプロセス。 | 参考 | |
| 351 | 港湾関係者が、山下ふ頭、臨海部の再開発について素案があるとの事です。市もぜひ、港湾関係者と相談し、市民の意見もよく聞いて、計画を考えなおして欲しい。 | 参考 | |
| 352 | 『横浜IR(カジノ誘致)』は絶対に反対です。！！市民も、諸外国からの観光客は現在の「横浜らしさ」を維持してほしいと願っているのです。 | 参考 | |
| 353 | 「IRによる生活の彩」は要らない。 | 参考 | |
| 354 | 「世界最高水準のIRを実現」の項目では、横浜を「幅広い客層が楽しめる非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾートを目指し、」とあるが、横浜を市民が望んでもいない都市型リゾートに勝手にしないでほしい。勝手に横浜を日本のカジノ玄関にしないでほしい。横浜は世界から選ばれるための街でもなければ、日本を牽引する街でもない。私たち横浜市民が住んでいる街なのだ。 | 参考 | |
| 355 | 港を中心に街ができ、人々の暮らしが営まれ、歴史が刻まれてきたという思いがあります。それを「カジノを含むIR」に賭ける市長によって台無しにされるということです。考えてほしい。目先のことでなく、長期的に、市民が等しく健康で文化的な生活を送るにはどうしたらよいかと。 | 参考 | |
| 356 | 横浜IRは、如何に周りをホテルやMICEやレストラン・ショッピングモール、水族館や劇場などのエンターテインメント施設で飾ろうと、カジノ(海外の富裕層の方がたまに来ることもあるかもしれませんが、大部分は横浜市民を含めた日本国民からの賭け金から)の収入がIR事業者の売り上げの70%以上なるようにカジノ事業者はカジノIRを作ると考えられます。当然、カジノ事業者は、カジノに投資した資金を早く回収し、それ以降もカジノの収入を持続させようとして、統合型リゾートの経済モデルを開発したのだから。横浜市民や市民のために世界の横浜港を作ってきた港湾人のことなどなどこれっぽっちも考えていないと思います。本当に賭博場でインベションが実現できるとは思えません。そこは、横浜市民が世界に誇れる、憩いの場になるわけがありません。市民説明会での市民の以下のような疑問に納得がいく説明がなされているとは思えません。 | 参考 | |
| 357 | 横浜市都市計画マスタープランに本IRの記述がない。平成25年に作られた市マスタープランに本IRの記述がないです。MICEの記述はありますがカジノについてはないです。市マスタープランを改訂した方がよいと考えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 358 | 今まで日本になかったものを取り入れることがどういうことになるか、良く知りたいです。 | 参考 | <p>平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。</p> <p>特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。</p> <p>このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。</p> <p>これらの事から、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。</p> |
| 359 | 山下ふ頭の開発計画に、カジノがない計画あると聞いていますがどうなっていますか！ | 参考 | |
| 360 | ギャンブルで利益を得ようとする企業に、この歴史ある品格ある横浜を、売り渡すつもりですか？なぜ、企業の立場に立って、強行しようとしているのですか？“税金”が理由とおっしゃっていましたか？横浜は税金が高い。カジノの回りに、様々な行きやすい施設を作るのも、その場所に親しませるため。カジノを身近に感じるようにするため。ふざけたことしないで下さい。中止を求めます。 | 参考 | |
| 361 | 目先の豊かさを追い求めて大きな箱物を作って負の遺産を残すことには反対します。日本を訪れる外国人が求めるものは日本の文化です（食文化）。歴史的な文化保存に力を入れて恒久的に外国人が日本を訪れ、日本人も自国の文化を誇れる国にしてほしいです。長期的展望を望みます | 参考 | |
| 362 | 玄関口としての横浜の港湾機能は、その一部をIRにそぐことで減殺されてしまっていることをどう整合性をもって説明できるのでしょうか。貨物についても埠頭や倉庫が不足している実態はないのでしょうか。港湾都市として整備すべき課題が山積していると思われませんが、カジノがそれとどう絡んでいるのか街作りの観点からの説明もありません。 | 参考 | |
| 363 | 横浜にカジノはいりません。子育てしやすい、横浜して下さい。そうすれば、人は集まります。ギャンブルで、福祉なんて、ありえません。カジノはやめて下さい | 参考 | |
| 364 | 横浜は市民の憩いの場所。あこがれて住む人も多いと思います。治安の良さ、開放感、私達にとって大好きな場所ですから。なぜカジノなのでしょう？ | 参考 | |
| 365 | IRは、今の時代に適わないと思います。他の諸外国の真似をするのではなく、過去にある政治家が、実行しようとしたが、その時の社会情政に合わなく廃案となった、アニメ博物館とかを、IRに代わる代案としてIR敷地に建設してみたいかでしょう。アニメは日本が誇る文化として世界に浸透しています。横浜市に、世界中の人々が来て、経済活動も、活発になります。方向性1にも、フリーランス、中小企業の集まりの場とカモ良いのでは。 | 参考 | |
| 366 | IRは他に魅力が無いからである 例ーラスベガスは最初から砂漠になにも無い所にギャンブルの町を作った。横浜市には当てはまらない。絶対に作ってはいけない施設である 取り戻しづかなくなる。 | 参考 | |
| 367 | 大都市東京の隣に位置する横浜に華やかなIR（カジノ）は似合わない。地に足をつけ、家族の誰一人が泣くことのない穏やかで真面目な毎日がある生活が横浜らしい横浜だと思えます。 | 参考 | |
| 368 | 少子高齢化社会を迎える将来の財政をカジノに頼る考えは間違っていると考えます。横浜市の将来像を描く上で、カジノありきで良いとは考えられません。進む方向手段が正しくありません。例えば人口減少、財政難でも、身の丈にふさわしい社会にすれば良い、間違っても安易な道を選び、横浜市の将来に禍根を残さないで欲しい。 | 参考 | |
| 369 | 港湾都市として整備すべき課題が山積していると思われませんが、カジノがそれとどう絡んでいるのか街作りの観点からの説明もありません。 | 参考 | |
| 370 | どうしてもみなとみらい地区の発展をはかりたいのなら、IRを除外した形での横浜全体の発展をはかるべきです。 | 参考 | |
| 371 | 建物、人の集合による税の確保ではなく、横浜の港を大きな財産とする計画を立案して欲しい。ギャンブルに頼りたくないです | 参考 | |
| 372 | IR誘致に反対している港湾関係者の土地・建物を強制的に強奪する計画には反対。 | 参考 | |
| 373 | 予定地が国有地だからと言う理由は通らない。（民間企業はどうなるの？） | 参考 | |
| 374 | 私は山下公園や中華街など好きです。今で充実です。トップに立つ人は50年100年先を見据える、又謙虚に過去を学ぶ、カジノなどやっている場合ではありません。 | 参考 | |
| 375 | 山下埠頭の再開発は、IR、カジノなしで、計画を作り直して下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 376 | IRカジノ構想に反対します。理由の1つ目は横浜にカジノをつくることによるデメリット（格差の助長、依存症を含む社会問題の増加、など）が大きいことです。2つ目はアメリカやシンガポールのIRの先行事例の模倣あるいはそのおしきせに過ぎず、横浜の独自性がないことです。3つ目は都市の縮小やレジリエンスを目指す時代に、大規模なIRがそぐわないということです。以上により反対いたします。 | 参考 | 平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。 特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。 このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。 これらの事から、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。 |
| 377 | ギャンブルでない観光都市、港を貨物だけでなく観光港として使ってきれいなお金を稼ごう。 | 参考 | |
| 378 | 「日本型IR」はカジノを原動力に観光先進国へだが、国としては税収が上げられればよく、その被害は担う自治体が被る、“国残れど、人心は乱れ”の考えである。止めるべきだ。 | 参考 | |
| 379 | 神奈川の歴史に汚点を残すカジノに反対 国際港横浜を希望の方向に発展させていって下さい。 | 参考 | |
| 380 | 横浜市にIRを誘致することに反対します。カジノで、文化都市横浜の財政基盤を強化することはまちがっていると思います。 | 参考 | |
| 381 | 山下ふ頭にIRを作っていいのでしょうか？観光地が近いのにIRがあってもいいのでしょうか？カジノ誘致しないでください！ | 参考 | |
| 382 | 横浜IR計画に反対します 26ページに基本コンセプトありますが、「新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな横浜らしさの創造に向けてチャレンジする必要がある」とありますが、従来の文化を掘り起こしたり、発展させることでは駄目なのではないでしょうか？また、新しい文化に賭博である「カジノ」が選ばれた理由は何ですか？ 27ページに融合とありますが、我が国の文化と諸外国の文化を融合するの必要はありますか？なぜ日本文化のみではダメなのでしょう？古き文化と新たな文化が融合とありますが、国外の人は日本文化（その国の文化）を求めていると思います。フランス、スペインの観光客数が参考になるでしょう。日本型IRによらない施策 20ページ世界から人々を惹きつける街の資源、これで十分じゃないでしょうか IRの他にどのような施設・施策を比較検討して、それらが排除された経緯がわかる資料をぜひ見たいです。 | 参考 | |
| 383 | 横港湾関係者の声をきちんと聞いてもう一度山下ふ頭の再開発について検討し直してほしいです | 参考 | |
| 384 | 自然を生かし、文化の薫る横浜にしましょう。 | 参考 | |
| 385 | IRカジノ構想には絶対反対します。横浜港の美しい景観を市民が外国人が、日本人の人達が見て憩いの場所として心を和ませ、仕事の場として働いている人々の居場所を無くす、IRカジノを作ろうとする事に断固として反対します。横浜の風情・空気を汚し、これからの子供達、若い人々に働く気力を失わせるばかりで良い点は何もありません。私は老人で明日も分かりませんが市長はこの構想をどうして実現したいのでしょうか。これから40年も続けるという事にびっくりです。IR、カジノには反対です！！ | 参考 | |
| 386 | 港湾で働く人の仕事の場をうばわないで！！ | 参考 | |
| 387 | 反対の立場からの意見です。少子高齢化に向かう、これから解り易い、小じんまりとした、維持、管理も含めた持続可能な、汗して働ける健全な場を提供できる市、街作りを目指すべきです。目的は正しくも、方法で誤りです。横浜のイメージを壊さないで下さい。 | 参考 | |
| 388 | そもそも国際展示場中心に山下ふとうを再生するのか、IRという「カジノ」トバクに振替ったことは問題。コロナの解決→IRカジノの廃止で山下を守るべき。 | 参考 | |
| 389 | 横浜の観光に力をいれてほしい。カジノ推進ではなく、横浜市民を支える市政が大切です。新型コロナの影響で、“家にいる”ことが大切なのに、世の中にながらおこるかわからない。カジノなんて特にあぶないのに、もっと健康的なことを力をいれてほしい。 | 参考 | |
| 390 | カジノを含まないIRを検討するべきである。港湾関係者等の提案はカジノを含まないが、800億の税収が見込めるといふ。この案を軸に山下埠頭を再開発すべきである。 | 参考 | |
| 391 | カジノを含まないIRを検討するべきである。港湾関係者等の提案はカジノを含まないが、800億の税収が見込めるといふ。この案を軸に山下埠頭を再開発すべきである。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 392 | 経済的な理由で外資に貢献する事が末永い繁栄に繋がるとは思えない。賭け場の場を設ける横浜市の考え方は反対である。横浜市はもっと教育面に力を入れ近い将来、才能のある優れた若者を続々と世に輩出していくよう方針を転換して欲しいものである。故に私は横浜市の考えに反対であります。 | 参考 | <p>平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。</p> <p>特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。</p> <p>このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。</p> <p>これらの事から、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。</p> |
| 393 | カジノは、絶対イヤ！！反対！！カジノ予算、あんな大金は、もっと市民1人1人のために使って欲しい。バクチ場のある風景を、ドラマの撮影に使ってくれるのでしょうか？大好きなYokohamaをこわすな！！ | 参考 | |
| 394 | 山下埠頭をどう利用するかはもっと多くの市民の意見を聞いて考えるべきだと思います。 | 参考 | |
| 395 | 歴史ある横浜、文化・観光都市の中心地に賭博場誘致を望む人がいるでしょうか？ | 参考 | |
| 396 | 横浜IRの予定地の山下ふ頭の開発計画には、もともと「ハーバーリゾート計画」がありました。今回、この計画はなかったことにして、カジノを含む横浜IR誘致にすり替わってしまいました。カジノ必置の横浜IRは、これまでの横浜市の計画との整合性が全く取れていません。 | 参考 | |
| 397 | 横浜はカジノが無くても、観光場所もたくさんあるから。どれだけ、うるおっているんだろう。住みたい町ランキングも上位です。横浜に“カジノ”は、いらない。 | 参考 | |
| 398 | 横浜はもう充分に人工的に開発されました。跡地利用は、急ぐことなく、残しておいて欲しい。 | 参考 | |
| 399 | 「日本型IRでは観光先進国としての日本を明確に世界に位置づける」としていますが、すでに日本はその文化遺産、自然遺産で十分世界に認められ、親日家や多数の観光客を毎年迎え入れています。依存症を犠牲にしてギャンブル好き観光客の増加を必要としません。 | 参考 | |
| 400 | 山下ふ頭の再開発は、もう一度市民の声を聞き、再度計画を作り直すことを求めます。 | 参考 | |
| 401 | カジノの収益でまかなうIR事業は基本的に市民の賛同は得られない。カジノ導入には反対である。数年前にあった「ハーバーリゾート講想」の方がより魅力があり安心できる。 | 参考 | |
| 402 | 横浜カジノは反対です。山下ふ頭の再開発はもう一度市民の声を聞き、再度計画を作り直すことを求めます。 | 参考 | |
| 403 | 少子高齢化に向かう、これから解り易い、小じんまりとした、維持、管理も含めた持続可能な、汗して働ける健全な場を提供できる市、街作りを目指すべきです。 | 参考 | |
| 404 | 山下ふ頭には夫が仕事に係わっています。カジノ誘致が決まってしまうと仕事を失います。やめて下さい。今のまま残して国際都市にふさわしい建な街として世界にほこれるものにしたいです。 | 参考 | |
| 405 | 周囲が、ホテル等のリゾート施設を造るといいますが、横浜にはその施設だけで良いと思います。子供達の未来のためにも、建設しないでください。 | 参考 | |
| 406 | 財政難 予算がないと云いながら何を基準にして莫大な計画をたてたの？と“こんなプラン（IR）どうです？”と誘われて一つ一つに横浜を、はめこんで完成したものでしょう。世界最高水準のIRを実現とあります。必ずカジノが中心で観光客を呼び込むようですが横浜はだめです。カジノは賭博です。 | 参考 | |
| 407 | 横浜は全国から憧れの的で見られています。観光資源がないからと賭博場ありという発想はあまりにも貧弱です。先にIRありきの考えではなく一般に公募をして街起こし（参加型）を考えて下さい。 | 参考 | |
| 408 | 横浜にカジノはふさわしくありません。「山下ふ頭を市民の憩いの場にした」と考えるならギャンブル施設を作らないとした臨海部の開発に反します。 | 参考 | |
| 409 | カジノはばくち。ばくちに将来をかけなくてはならないほど『歴史あるあこがれの港町ヨコハマ』は、落ちぶれているのですか？ | 参考 | |
| 410 | 市も途中まで関与していたハーバーリゾート計画について、審議会の議も絡まないで日突如独断で、カジノに変更するのは手続違反。 | 参考 | |
| 411 | 基本的にカジノというギャンブルは反対です。しかも横浜の庶民、だけではなく、日本中の憧れの地、山下埠頭になぞもつての他！！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 412 | カジノがある街であるラスベガスやマカオは少なくとも私にとっては住むのに魅力的な街ではありません。 | 参考 | <p>平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。</p> <p>特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。</p> <p>このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。</p> <p>これらのことから、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。</p> |
| 413 | 横浜市民の消費行動を活性化させ、それと同時に港近辺の活用拡大を行うべきと考えます。 | 参考 | |
| 414 | 市長は、横浜市が誘致するのは、「カジノではなくてIRだ」と説明会で言っています。しかし、一方でカジノのないIRはありえないとも言っています。港湾関係者が、カジノなしの統合リゾートを市長と一緒に作ろう、と提案していますが、市長はそれを拒否しています。結局カジノの誘致が狙いだということではないでしょうか。 | 参考 | |
| 415 | さらに発展的に新山下ふ頭への展開も構想されたらどうだろうか。IR施設も複数併設した方が競争性を高め、さらに発展性が期待できると思われる。シンガポールにしても施設は二つである。それも近接して。新山下ふ頭の活用は、発展形を考えるのであれば、非常に面白い。これだけの発展性が期待できる地域は横浜を置いてほかにない。 | 参考 | |
| 416 | このすばらしい街にIRを誘致するのは大反対です。方向性(素案)の資料を拝見しましたが、世界に誇る港湾都市として発展させ、市民を裕福にさせるのは大賛成ですが、なぜIRを誘致させるのかについては全く理解できません。世界的に見て、IRの誘致により見目の観光客を呼び寄せ一見繁栄しているように見えます。しかしながら、その裏で、ギャンブル依存症や環境治安の悪化、さらに最近発生した誘致からむ贈収賄の汚職問題等のデメリットが多すぎます。 | 参考 | |
| 417 | 横浜IR(？カジノを含む)について、健全な構想を望みます。リゾート施設をどうしても作りたいのなら、爽やかな横浜らしさに溢れるものを。絶対に賭博場(カジノ)は不要です。 | 参考 | |
| 418 | 港湾関係者等がまとめられている「横浜ハーバーリゾート計画」は、安心して家族で楽しめるIRだと思えます。私はこの計画こそ横浜に相応しい計画だと思えます。 | 参考 | |
| 419 | IRは、市の財政を成長する可能性が低く、市民の安全や幸福を棄損する可能性が高い。令和の時代は、成長を追い求める行政ではなく、市民の幸福追求を優先すべきと考えます。IR招致には反対します。 | 参考 | |
| 420 | 横浜IRに反対いたします。感想といたしましては理想と夢と希望が詰まったまばゆい光をまとった横浜が提示されていました。世界に通用する魅力的な街づくり、交通アクセス、エンターテインメントの数々、それは本当に人々のためなんでしょうか。いくら治安や依存症への取り組みを強化する、対策案をずらずら並べられたところで、みなとみらい地区にほど近い町がなんともなっていないところを見ると説得力がまるでありません。 | 参考 | |
| 421 | カジノを作ってどのような得があるのかちゃんと説明して下さい！ | 参考 | |
| 422 | 港湾都市として整備すべき課題が山積していると思われませんが、カジノがそれとどう絡んでいるのか街作りの観点からの説明もありません。 | 参考 | |
| 423 | IRについては基本的に反対ではありませんが、この素案をみるかぎりなぜ横浜にIRかの説明が今ひとつと感じました。新たな税収源の確保に飛びつき、あとから根拠付けをしている、迷走しているようにも思われます。なぜ横浜にIRなのか？明確なメッセージが必要です。それは観光都市になることを全面に打ち出すことではないでしょうか。観光都市のためにIRを導入すると単純、明快な説明で十分です。(その結果、税収が増えればそれで結構)その次に、横浜市民の支持を取り付けることが肝要だと考えます。これがないとIRの継続性(SDGs)は確保できないと考えます。 | 参考 | |
| 424 | 「将来にわたり豊かで安全・安心な暮らしを維持し、さらに充実させていくために、IRもこれらの重要な政策の一つです。」として世界に勝ち抜くための巨大箱ものプロジェクトの必要性しか語られていない。世界最高水準のIRを目指すことしか語っていないと感じられる。他の諸外国と同様の立派なIR施設をつくりビジネスを進めても、他国の模倣でしかない。日本独自の文化や生活、人々の暮らしが穏やかに営まれる日常を成熟させることが横浜市政の最優先すべき方向性ではないか。 | 参考 | |
| 425 | 横浜IRは誘致すべきです。民主主義のもとで作られた法律や制度によって、将来の税収に不安が生まれています。横浜市は羽田空港に近く大型客船ターミナルもあり、国際色が比較的豊かであり、MICEに力を入れているなど、現実的に、IRを誘致できる条件が揃っています。税収を上げる代案がない中で、税収確保の期待ができるIR誘致に積極的にならないほうが、将来の横浜市に対して無責任だと思えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 426 | 港湾事業者の反対が有りますが、南本牧エリアに新たな拠点が整備されており、山下ふ頭をより市民に活用してもらう事が市政に資すると考えます。 | 参考 | 平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。 |
| 427 | カジノはIRの中のほんのわずかな部分に過ぎないと説明しながら、その一方で収益についてはカジノが非常に大きな割合を占めるとも説明しています。そして、カジノの問題に焦点があたると、IRの中のごく一部分の話だという説明を出し、ではカジノに頼らなくてもIRはできるのではないかという話になると、いやカジノは収益の大きな部分だという説明を繰り返す。こうしたことを続けるならば、行政への不信、政治への不信が高まり、それは民主主義社会を壊していくことにつながっていくでしょう。 | 参考 | 特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。 このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。 |
| 428 | 7頁で横浜市の観光について述べているが、国際競争における産業の需要や横浜地域での産業の需要を踏まえた上で、北欧における政策と対比した上で、横浜地域における産業戦略について述べてください。 | 参考 | これらの事から、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。 |
| 429 | 44頁の来訪及び滞在寄与施設としてマカオやシンガポールを載せていますが、欧州における施設の分析も載せてください。 | 参考 | |
| 430 | ・経営計画の内容（業績見込み）は非公開 無責任 ・事業主体が外資の場合、収益の大半が経営コンサル料として抜き取られる利用者の大半（7割から8割が日本人と予想されている） 基本的に生産事業ではないので、日本人の個人資産が博打の掛け金として浪費され、しかも収益の大半が海外企業に抜き取られることを意味する。事業収益の透明性が担保されない。これは大問題。 | 参考 | |
| 431 | 横浜の現状、将来の活性化を考える際、勿論何らかの形での収益が無ければ立ち行かないことは承知しておりますが、その手段として望まれることが「市外から横浜に遊びに来てもらう」ことを中心に組み立てられる本案なのではないでしょうか。そもそも横浜の社会的、経済的発展を観光などによる集客によって賄おうと考えること自体、大変非建設的な思考であり、最も将来への躍進を無視した視点だと思えます。 | 参考 | |
| 432 | 国際会議場、展示場、遊園地やリゾートなど聞きますが、日本、横浜はもう箱モノを作る時代は終わりました。他と同じような発想をするのはもう止めましょう。もしもそれが傾いた時、横浜市の財政から助成を行わないと確約出来ますか。 | 参考 | |
| 433 | 今回の「山下ふ頭に於けるカジノを含むIR計画」には、絶対反対です。ただしわが愛する横浜市の将来を考えると現状のままで良いとは決して思いません。ご計画の基本となっている「国際的観光都市を目指し山下ふ頭を再開発する」事には賛成いたします。しかしこの「リゾート計画」に何故「カジノ」が必要なのか、全く理解できません。 | 参考 | |
| 434 | 結論といたしまして「本計画の実施に反対します」カジノに反対します現状と課題に、「横浜の歴史や文化を守り、子育て、医療、福祉、教育など市民の安全安心な生活を将来にわたって支えていく」とありますが、なぜ危険を冒してまでカジノでしょうか？17ページに、日本型IR基本方針の図にいきなり「カジノ」が表現されていますが、なぜカジノでしょうか？それ以外の選択肢も知りたい。 | 参考 | |
| 435 | 26ページに基本コンセプトありますが、「新しい文化を迎え入れ、将来を見据えた新たな横浜らしさの創造に向けてチャレンジする必要がある」とありますが、従来の文化を掘り起こしたり、発展させることでは駄目なのではないでしょうか？また、新しい文化に賭博である「カジノ」が選ばれた理由は何ですか？27ページに融合とありますが、我が国の文化と諸外国の文化を融合する必要はありますか？なぜ日本文化のみではダメなのでしょう？古き文化と新たな文化が融合とありますが、国外の人は日本文化（その国の文化）を求めていると思います。フランス、スペインの観光客数が参考になるでしょう。 | 参考 | |
| 436 | 都市経営は、横浜の街づくりが自治体として歴史的に集積してきた考え方＝歴史的公共哲学の観点から、大局観にたつて都市計画を進めていっていただきたいと思えます | 参考 | |
| 437 | カジノでの税収増は望みません。ラスベガスのようにホテルや全てが観光になるわけではなく、とても中途半端になるように思えます。 | 参考 | |
| 438 | 横浜市へのCASINO導入反対。市で準備している標題計画に反対の立場で私見を下記します。どうして今横浜にCASINOか？に対する説得力のある説明が無い | 参考 | |
| 439 | 孫に大変な負債と不名誉を押し付けるもので、絶対、認められません。「P29 「カジノを核にしたIR」が「経済のイノベーション、観光振興・経済活性化の起爆剤」なんと貧弱な経済政策！これが日本1の都市、横浜市経済政策の能力水準ですか！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 440 | 当初の「目指す都市像：ハーバーリゾートの形成」が、なぜ、「カジノ付IRに変更しなければならなかったか」この肝心なことが明記されていないのはなぜか？明確な回答を求めます。 | 参考 | 平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。 特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。 このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。 これらのことから、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。 |
| 441 | 山下ふ頭地区は、国際文化都市の横浜の発展のための重要地区として、未来志向の研究や文化向上等に供すべきものです。 | 参考 | |
| 442 | 山下ふ頭を立地場所の前提とした方向性自体が不確定である以上「具体性を備えていない」本案案に対するコメントを求めること自体不遜なことである。 | 参考 | |
| 443 | 横浜市はこれまで、「中期4か年計画」に基づき、計画的にまちづくりを進めてきており、山下ふ頭については「ハーバーリゾートの形成」を都市像として「開発基本計画」を作り、主体的な事業展開を目指してきました。しかし、IRはこれまで横浜市がすすめてきたまちづくりとは、かけ離れたものであり容認できません。今まで通りの、カジノを含まない、開発計画を進めていくことを期待します。 | 参考 | |
| 444 | 横浜IR構想に、全面的に反対します。予定地の山下埠頭に隣接する「山下公園」は、保育園児や小学生の遠足や、市民、観光客の憩いの場です。そんなところに、娯楽施設やホテルを構えたカジノ建設は信じられません。現在、横浜市は文化施設やパシフィコ横浜にも新たな施設を建設している。「山下埠頭」に、新たに作る必要性はない。 | 参考 | |
| 445 | カジノだけはやめてください。もう少し知恵を出しあい、横浜にふさわしい企画を立てましょう。ベイサイドエリアの開発と横浜の発展のためによりしく、ご尽力ください。 | 参考 | |
| 446 | 横浜IRの方向性は、市長がカジノ付IR誘致を表明する以前から発表されていた、港湾関係者の「ハーバーリゾート構想」にあると考えます。横浜市としても従前より港湾関係者とも協議し、その方向で進めてきていました。港湾関係者との信義を重視する意味でも、カジノ付IRの方向は、即刻、取りやめるべきです。 | 参考 | |
| 447 | カジノで利益を得て、横浜を活性化という、安易な考え。その裏に、欧米の強欲な資本主義が見え隠れする。そこに横浜を巻き込むことが将来の懸念。横浜の雰囲気にとぐわない。世界でカジノで成功している地域は少なく、これからの世界は環境を大切に、人間を大切にする場所に人が集まる。 | 参考 | |
| 448 | 「カジノ運用」に反対いたします。理由は、明確です。この「カジノ事業が新しい産業を横浜市に起こし、将来に亘り、多くの利益をもたらす」とは考えられないからです。血税決済になるだろうと思われる。そもそも、IRカジノは専門の業者が今までの運用のノウハウを活用して、IRのお客様から多くの金を巻き上げるのが仕事だからです。新しい産業を興すわけでもなく、市民に有用な技術の蓄積が残るわけでもありません。お金を巻き上げられるだけだと思います。 | 参考 | |
| 449 | 人の不幸、治安の悪化、依存症、周辺の衰退等々、カジノは観光横浜市にとって、何の取り柄もないばかりか、実施に踏み込めば、取り戻しが出来ません。カジノの横浜IRには、大反対です。 | 参考 | |
| 450 | 横浜市はこれまで「中期4か年計画」に基づきまちづくりを進めてきており、山下ふ頭については「ハーバーリゾートの形成」に向けての「開発基本計画」をつくり主体的な事業展開を目指してきています。今進めているIRとは、国の事業で基本方針から事業の決定、運営管理の監督まで国が行うとされていて、横浜市の主体性が発揮できる余地がありませんし、これまで横浜市が進めてきたまちづくりとはかけ離れたもので、横浜市が進めるIRカジノ誘致は容認できません。 | 参考 | |
| 451 | IRは、今の貧困、経済格差をますます広げることになると思います。全ての人に豊かで柔軟な教育を受ける権利を保証し、未来の可能性を広げることで、経済を活性化し全ての人々の生活レベルを上げることが大切ではないでしょうか。海外との交流があるエキゾチックな先進都市のイメージをもつ横浜は、大切な歴史文化を守り国際教育先進都市として進むべきではないでしょうか。 | 参考 | |
| 452 | まずIRにカジノを作るのは大反対です。素案にあるように、素晴らしい展望をもったIRの中に、なぜ闇のイメージしかないカジノを含めるのか？全く理解できません。税収増加に直結するようにも思えません。IR全体の3%の規模と書いてありますが、それなら尚更必要を感じません。依存性対策についても、アクセルを踏みながらブレーキを踏むような話で、タイヤは摩耗しつつ焼け焦げるか分かりません。カジノの安全を保つ為に費やす沢山の手間、危険、お金が無駄です。それらはもっと将来性、安定性を確保する施設に使うべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 453 | 市が国内で都市づくりをリードしてきた経緯を無視するな・・・市のまちづくりは全国の模範となっており、そのアイデンティティは市民、市職員、共通の得難い特徴で市民力だと考える。その歴史を生かして行動を続けてきた先人の努力を無にするような施策ではないか。現に私が見てきたラスベガスやシンガポールなどでは成功したとは思えない都市が存在している。 | 参考 | 平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。 特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。 このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。 これらの事から、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。 |
| 454 | 反対意見も少なくないIRの誘致について、着々と予算を執行して、準備を進めるのはいかがなものでしょうか。限られた予算の中で、緊急事態として市民の安全と生活を守っていくことを優先するならば、今後の世界情勢や経済情勢ときちんと見据えてから、IRの誘致計画を検討するべきと考えます。IR自体が統合型リゾート施設の構想であるため、問題となっているカジノだけを排除して誘致を進めることができないことも理解しました。私は計画自体に反対ですが、市民と言っても、いろいろな考えの人がいて、18区の地域性や仕事柄もあるので、必ずしも意見が一致しているわけではないと思います。けれども、横浜を、山下地区を、他の地域との関連も含めてどのような利用をしていくのがよいのか、色々な立場の人が議論をした上で、横浜らしい計画を検討することが少なくとも必要だと思います。 | 参考 | |
| 455 | 横浜市は、事業収支構造がカジノ収益に依存する「カジノのためのIR」を誘致するのではなく、横浜インナーハーバー構想の一環としての山下埠頭再開発として、まずは、港湾関係者が提案している「カジノなしのハーバーリゾート案」を検討すべきです。 | 参考 | |
| 456 | カジノがなくても十分港湾の再開発は可能だし、MICEによる競争力もあるのではないかな？ | 参考 | |
| 457 | H27年の横浜市山下ふ頭開発基本計画をベースに進められていると思う。観光・MICE計画は一定の理解はできるが、IRにする必要性が見えない。 | 参考 | |
| 458 | IRは以前からハーバーリゾート計画があるのであれば、それはそれで考えればよい。カジノの実現を行いたがために、IRとして進めるのであれば、それは不要と言わざるを得ない。 | 参考 | |
| 459 | 内容や景観によりますが、エンターテインメントや飲食、MICEなどは賛成です。どうしてもIRを横浜に誘致しなければならないのなら他の場所で考えていただきたいです。例えば八景島。海に浮かぶ人工島である意味横浜らしいと思います。金沢区には歴史ある神社仏閣もありますし、鎌倉や三浦半島へのアクセスも良く、近隣の市との相乗効果に繋がるように思います。もちろん、市内の山下公園はじめ元々の横浜の魅力ある観光地やみなとみらいへの流れも出来るのではないのでしょうか？ | 参考 | |
| 460 | 横浜市は、港運業者団体が作っている「ハーバーリゾート構想」を検討しましたか。この構想ではカジノ抜きで経済が活性化し、近くの「中華街」「元町商店街」にも観光客を呼び寄せることができると提案しています。こうした「健全な開発」を横浜市民は望んでいます。 | 参考 | |
| 461 | 建設時の大規模投資を回収できる見込みが本当におありでしょうか？どうして、建設場所が山下公園沿いなのでしょう？子供達も楽しめる平和な地域になぜカジノを作るのでしょうか？人を集めるのにカジノである必要がどこにあるのでしょうか？お金を落とす＝カジノというのは誰の発案か知りませんが安易過ぎます。 | 参考 | |
| 462 | 横浜市の上位計画との非整合（p. 13）横浜市が自ら定めた「横浜市中期4か年計画」において戦略1に掲げた「市内企業の持続可能な成長・発展を支える」「創造性をいかしたまちづくり」「文化的に豊かな市民生活の実現」、戦略4に掲げた「各地区の特性と魅力をいかした機能強化」などは、カジノと相反するものである。同様に「横浜市都心臨海部再生マスタープラン」「横浜市山下ふ頭開発基本計画」「美しい港の景観形成構想」のいずれとも相反し、相容れないものである。これらの自己矛盾をどのように捉えているのであろうか？ | 参考 | |
| 463 | 山下ふ頭は、横浜市民にとって日常生活の場であり、憩いの場でもある。横浜を訪れる者にとっては横浜を代表する魅力的な場所であり観光資源として貴重な場所である。そのような場所へカジノを設置することは、自ら「資源」を破壊する行為である。 | 参考 | |
| 464 | 横浜IRから「創造」「融合」が導かれるとは考えられない（p. 26、27）基本コンセプトとして「横浜を世界から選ばれるデスティネーションへ」を掲げ、「『横浜IR』により新たな魅力・資源をハイブリッドに創造」、「横浜の街と新たな街、我が国の文化と諸外国の文化、古き文化と新たな文化の融合」を指摘しているが、導かれるものは『創造』『融合』ではなく『破壊』『対立』であろう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 465 | スマートシティ構想は横浜IRとは無関係（p. 50）スマートシティ構想は「横浜IR」を誘致しなくても実現できるものであり、また実現しなければならないことである。あたかも「横浜IR」誘致により実現できるように書くのは不誠実である。 | 参考 | 平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。 |
| 466 | 横浜IR計画は、横浜市が自ら策定した上位計画と相反し整合性がとれない。 | 参考 | 特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。 |
| 467 | 横浜の南西部（泉区など）はここ数年人口減少が続いているようですが、IRがそれを解決する手立てとは思えません。IRのようないわゆる「箱もの」に予算を割くよりも、有意義なことをご検討いただけないでしょうか。 | 参考 | このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。 |
| 468 | P16：（5）将来を見据えた横浜市の取り組み→「このページは理解不能！！」この図では、「IR（統合型リゾート）」が、「観光・MICE都市」と同格の別政策になっています。IRはMICEを含む統合型リゾートですから、全くダブっています。この図は、「中期計画」、「マスタープラン」、「山下ふ頭開発基本計画」等の上位計画と合致しません。「マスタープラン」P34にIRの説明があり、IRのイメージは「会議場施設」「宿泊施設」「カジノ」となっています。「*」説明で説明していますが、「カジノ」がトップに据えています。IR＝カジノは横浜市が作り出したイメージです。本来は「観光・MICE都市」の施策の一手段が「IR」とならなければならないはずですし、P15まではこのような主旨で説明がされているように見えますが、このページの図で破綻しています。このページは他の資料には見当たりません。上位計画との整合性であわてて挿入した資料にも思えません。蛇足です。 | 参考 | これらのことから、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。 |
| 469 | P18：（8）横浜IRの立地場所、『横浜市山下ふ頭開発基本計画』（平成27年9月）から再開発の方向性が変わってきている。これをきちんと説明すべき。あたかも平成27年からメリット・デメリット含め検討してきたような記述は誤解を招く。むしろ『検討調査（4）報告』がここに記載されるべき「基本案の転換」です。この「検討調査」に対する「IR市民説明会」が現状コロナ蔓延を受けて延期になっています。この説明会は「基本計画の変更」の位置づけから極めて重要なはずですが、これをないがしろにして進めるのは極めて大きな問題であり、その場合は残念ながら、近い将来横浜市の歴史的な「行政上の恥」として語られる事になります。 | 参考 | |
| 470 | P13-15：（4）上位計画戦略1 観光・MICE、スポーツによる・・・「横浜市中期4か年計画 2018年～2021年」P13ではMICEに関しては『新たなMICE施設整備を好機とし、経済波及効果の高い国際会議等の誘致やMICE関連産業の強化などを進め、「グローバルMICE都市」としての機能を強化します。』とあります。本（素案）での触れている『プロモーションを強化し活気あふれる観光・MICE都市を実現します』とは随分ニュアンスが異なります。中期計画では、「プロモーションを強化する」のは「イベントなどの観光」となっています。意図的ではないと思うが、誤解を与える不適切な改変・書き換えと言わざるを得ません。本（素案）P29でオール横浜での観光・MICE推進とありますがそのページもお題目だけで具体策なし。そもそも「中期計画」P19では、MICE施設は「みなとみらい21地区」を主に想定しています。「山下ふ頭」は本（素案）P15にもあります通り、ハーバーリゾートを目指す計画となっています。平成27年制定の「横浜市都市臨海部再生マスタープラン」（平成27年2月）P27、P30、P33、「横浜市山下ふ頭開発基本計画」（平成27年9月）P4、P5、P29、P40、「みなとみらい2050プロジェクト・アクションプラン」（平成27年3月）P16、p24を見ても、MICEの中心はみなとみらい地区と読めます。「山下ふ頭開発」の大規模集客施設に関しては「マスタープラン」P34で、「文化芸術系」「商業系」「スポーツ系」とイメージを示しており、IRとは区別しています。もちろん横浜市の基本計画マスタープラン、【視点1】で「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」を謳っており、「山下ふ頭開発基本計画」もこの方針の枠組みにありますから、「山下ふ頭地区」にMICEを持つこと自体は問題ありませんが、上位計画自体が横浜臨海部各地区の役割とその連携を方針として示しており、これとの整合に関してきちんとした説明が必要と思われれます。反対意見の内の大きな一つは、この基本計画時の計画や理念の差し替え・変更に対するものだと理解できます。 | 参考 | |
| 471 | 「素案」をDL、拝読しました。「横浜が世界のゲートウェイであり続ける」「世界のデスティネーションであり続ける」という目標については賛成ですし、共感します。そのために、複合的な集客施設や仕組みを設定する取り組みも理解できます。しかし、そこに「カジノ」が必要であるとは思えません。「横浜IRの方向性」を読むとますますこの点について疑問が生じています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 472 | <p>横浜にはテクノロジー、エンタメ、都市計画において、以下のような施策を打ち出すべきです。・テクノロジーそもそも、IRよりもっとドーンとITに投資するべきです。コロナウイルス問題もあり、遠隔で色々なことができるように、IT技術の必要性がさらに高まります。GAFA その他のイノベーション企業は多くの価値を生み出し、カジノなしですですに十分な収益性を得ています。電子政府もまだまだ使い勝手の悪いシステムですし、高齢者も含めた全員がITを使えていません。何とか頑張ろうとしている中小企業の育成や資金注入にも力を入れ、テクノロジーのエコシステムを作りましょう。</p> | 参考 | <p>平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。</p> <p>特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。</p> <p>このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。</p> <p>これらの事から、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。</p> |
| 473 | <p>IR構想がその前提としているエンタテインメント施設に対する過剰な期待は、むしろ横浜の地場産業、地域経済を圧迫するようなものにならないでしょうか。エンタテインメント施設は市民の日常生活からは隔離された環境になりがちです。施設そのものへの来訪を主目的とする人々が、日常生活を送る横浜の人々と広く積極的に触れあうような光景は想像し難いと思いますが、いかがでしょうか。横浜市の一人あたりの観光消費額が少ないということも、市民による独自の街づくりよりも、「みなとみらい21」事業に典型的に見られるように、むしろ横浜市はグローバル産業の誘致に熱心だったという背景があるからだと思います。これからの街づくりは、いかにして横浜市民の日常生活に貢献するような計画をつくるかという思想が根底にあるべきです。確かに山下埠頭の計画は、横浜市の未来にとって重要な計画です。山下埠頭は横浜港（インナーハーバー）の中心に位置します。山下埠頭という場所は、横浜市民の未来の生活を豊かにするための、その中心になる可能性を秘めているのです。山下埠頭周辺には、今までに横浜市民によって培われてきた豊かな歴史、そして都市環境が存在します。それは他の多くの都市に決してひけをとりません。そうした歴史を尊重しながら、未来の横浜市民の夢を実現するためにも、闇雲にIR構想を推し進めるのではなく、それとは異なる提案にも是非耳を傾けていただきたく存じます。</p> | 参考 | |
| 474 | <p>場所について再検討してください。市民が簡単に目にする必要がない場所、ベイブリッジよりも市街地外側に検討ください。例えば大黒ふ頭先など。</p> | 参考 | |
| 475 | <p>次の50年を視野に、将来の横浜に住む子どもたち、孫たちに、私たちは一体何を残すべきでしょうか。50年後の横浜の目指すべき姿、それは「世界で一番海がきれいな大都市」だと私は思います。なぜなら、環境の良さは「市民の暮らし」の基本であり、海が身近であることは横浜市民にとっての誇りであるからです。つくられる施設は、外国人観光客のためのものではなく、横浜にとって財産となり誇りとなる「市民中心の場」である必要があります。このビジョンは、SDGsの各目標に対しても親和性が高いと思います。観光客にとっても都市部にあるビーチリゾートというのは大変魅力的であり、周辺の飲食店やホテルへの波及効果も期待できます。これまで使いこなせていなかった海という最大の資源のフル活用、これこそが私の考える横浜型の「イノベーション」です。巨大な施設や奇抜な高層ビルが21世紀らしい風景だということは、今となっては昭和の人が描いた古いイメージです。都市の風景の主役は美しい自然（海、森、山、空）であり、住む人の生き生きとした暮らし、そのものであるべきです。未来は明るく、希望に満ちているのだと、子どもたちや未来の市民に伝えたい。今一度、市民のみならずと50年後の横浜の風景、暮らし方について議論を深めていくことを強く願います。</p> | 参考 | |
| 476 | <p>今回のIR誘致が有識者間の議論もなく、水面下で一方的に進められていたのだと、深く失望しました。信用を失墜したままIRを推進することは、大半の横浜市民の「横浜愛」「シビックプライド」を縮減させることに直結します。</p> | 参考 | |
| 477 | <p>山下ふ頭は大半が横浜市、市民の財産です。市民の財産を守ることが原則です。「貸付けによる処分を予定」（実施方針骨子）とのことですが、どういうことですか。地権者としての発言権はどの様に担保するのですか。IRは、国の決定権に対し自治体の決定権は何もありません。「素案」は、国の審査に合格することを第一にした「方向性」です。撤回し、本来の横浜地域開発に立ち返るべきです。</p> | 参考 | |
| 478 | <p>力強い経済成長と文化芸術創造都市の実現ができれば良いですが、IRとは結びつきません。市が十分できないことを、民間企業ができるとも思えません。</p> | 参考 | |
| 479 | <p>市の説明会、及び素案を読みましたが、以下の点で素案の全体がカジノありき、カジノ前提のため、計画の見直し取り下げ、カジノ誘致方針撤回を求めます。場所がパシフィコ横浜等のあるみなとみらいから大さん橋を挟んだすぐの山下公園・山下ふ頭に設置というのは、景観が損なわれるばかりでなく、商業的・経済的成り立つとはとても思えない。だから市長はカジノは前提で外せないというが、カジノはギャンブルであり、大問題です。横浜市民として認めがたい。</p> | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 480 | 「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、改めて見直すと、カジノIRについてだけ小さい字で書かれており、実際には市民の了解もなくカジノIRが前提で進められていたことが分かる。 | 参考 | 平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。 特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。 このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。 これらのことから、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。 |
| 481 | 横浜市のIR推進に反対します。今回横浜市政が推進するIRを中心としたランドデザインは、横浜市民の持つポテンシャルの否定の上に立つ構想としか思えません。緑（環境と都市近郷農業）と海（開かれた国際都市）、そして市民自治があふれるまちづくりを、これまでも増して追求すべきと考えます。横浜市のIR推進に反対します。 | 参考 | |
| 482 | カジノを設けないハーバーリゾートの建設の方が、ネガティブな要素がない為、財政的にも大きな収入が見込める。 | 参考 | |
| 483 | 昨年8月、横浜市長は、突然、国のIR整備法にのっつて山下ふ頭をIR区域の候補地として国に申請する、と宣言しました。それまで計画されていた山下ふ頭開発方針の放棄です。山下ふ頭は市民の財産、港横浜を支えて来た港運事業の拠点の歴史を持ちます。再開発は、市民の生活の新たな豊かさ、生活の質の向上のためでなくてはなりません。カジノ依存のIRは、開発に反します。撤回を求めます。 | 参考 | |
| 484 | 横浜IRは、国の決定権に対し、自治体の決定権は何もありません。議会の決議があっても国の決定がなくては、IR区域の決定（全国で3ヶ所）は成立しません。「素案」は、国に決定してもらうこと、その審査に合格することを第一にした「方向性」です。撤回し、本来の横浜地域開発に立ち返るべきです。 | 参考 | |
| 485 | 横浜IRは、山下ふ頭開発を基本とすべきです。山下ふ頭は市民の財産、港横浜を支える拠点の歴史を持ちます。再開発は、市民の生活の新たな豊かさ、生活の質の向上のためでなくてはなりません。カジノ依存のIRは、開発に反します。撤回を求めます。 | 参考 | |
| 486 | IRは、国の決定権に対し自治体の決定権は何もありません。横浜市議会の決議があっても国の決定がなくては、IR区域の決定（全国で3ヶ所）は成立しません。「素案」は、国に決定してもらうこと、その審査に合格することを第一にした「方向性」しか示していません。撤回し、本来の横浜地域開発に立ち返るべきです。 | 参考 | |
| 487 | 山下ふ頭は市民の財産です。市民はその地に単体のカジノも、他の観光施設と一体的なカジノも求めています。横浜を賭博場の観光地にすることを望んでいないのです。止めてください。 | 参考 | |
| 488 | 自治体の自主的判断と計画に基づく、地域開発としての山下ふ頭再開発に戻るべきです。 | 参考 | |
| 489 | 横浜らしさと横浜の未来を、「国策」の合法カジノの統合リゾート計画に迎合し、外国資本に委ね、結局、はるかに横浜市民＝地域住民からかけ離れた道をゆくのではなく、その「方向性」に決別し、地方自治の本旨にたつて、山下ふ頭と港湾部を住民の福祉と生活の質の向上のための、非臨海部地域とバランスの取れた開発の推進に立ち返ってください。カジノ導入に与せず、〈本物の横浜らしさ〉の追求に取り組んでください。 | 参考 | |
| 490 | カジノ付きを前提にしないで計画されてきた山下ふ頭再開発計画と横浜カジノ付きIRとは、同じ山下ふ頭エリアを対象にした「環境整備」といっても、連続したものともみることとはできないのではないですか。カジノ付きIRの区域整備はそれまでの区域整備計画にどういう関係になるのですか。市の独自性を生かした山下ふ頭の再開発としての「区域整備」をこそ、ベースにして考えるべきではないでしょうか。 | 参考 | |
| 491 | 横浜の山下ふ頭で仕事する港運関係者は、山下ふ頭にIRカジノの誘致に反対する旨を表明している。カジノなしのハーバーリゾート地域として再開発する提言をおこなっている。横浜市も港湾局が担当して山下ふ頭再開発計画を作り、都市計画審議会を重ねてきた経緯がある。この計画と、今市長が誘致の手を上げて、一生懸命市民に「説明」するIR計画とは連続するものなのか？そうではないとした時、両者の根本的違いはなにか？明確にして欲しい。 | 参考 | |
| 492 | 山下ふ頭再開発事業の決定権は、横浜市にありました。山下ふ頭にIRを誘致する計画の決定権は横浜市にはありません。誘致する自治体側ではなく国が決定権を持っています。カジノの運営管理についても、当該カジノが、「厳格に管理されたカジノ」と言いうるものになるかどうかは、国の組織する管理委員会に委ねられます。つまり、計画決定、実施運営について二重三重に自治体の権利、自己決定権、自治権は、存在しないのです。この点が、山下ふ頭再開発計画とIR事業誘致計画との根本的な違いではないでしょうか。市長はどうお考えでしょうか。 | 参考 | |
| 493 | 即刻、IR誘致を撤回し、自治体の本旨にもとづく、山下ふ頭再開発の道に戻れ！といたいのです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 494 | 横浜市広報や新聞記事など読んだが、カジノを横浜市に置くことで観光客の誘致に繋がるとは思えず、カジノなしのハーバーリゾート構想の方が横浜市の健全な成長に繋がると考えられる。将来、子ども達が大人になった時に住みたいと思えるような横浜市を目指してほしい。 | 参考 | <p>平成27年9月にとりまとめた「横浜市山下ふ頭開発基本計画」では、ハーバーリゾートの形成を目指し、「観光・MICEを中心とした魅力的な賑わいの創出」「親水性豊かなウォーターフロントの創出」「環境に配慮したスマートエリアの創出」の3つの視点を掲げています。</p> <p>特に、山下ふ頭の47ヘクタールという大規模な敷地を生かして、基本方針の第一には、横浜市の「観光MICE都市」としての地位を盤石にすべく、国内外から多くの人々を呼び込む大規模コンベンション機能を想定していました。</p> <p>このような中、平成28年12月にIR推進法、平成30年7月にIR整備法が成立し、わが国の観光・MICE戦略に基づく、IR制度の枠組みが示されました。この法制化の検討において、わが国の観光・MICE戦略を達成できる大規模施設を民設民営で建設することが難しいと検証されています。</p> <p>これらのことから、市費の負担を最小限にし、山下ふ頭でのハーバーリゾートの形成をスピード感を持って実現するためには、国家的なプロジェクトである日本型IR制度を活用することが最適であると判断しています。</p> <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々には、節度を持ってこれらを利用していただく一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 495 | カジノをメインとした総合リゾート施設という構想だと思いますが、正直魅力を感じません。山下埠頭というアクセスの悪い場所、外国人観光客をターゲットにしているのかもしれませんが、集客は見込めないと思います。多額の負債を抱えることが想像され市民に負担がかかるようであればこの構想は要認できません。 | 参考 | |
| 496 | 大きな施設を作るために市税を増やすとなれば、市民はよほどその施設に魅力を感じなければ投資したいとは思いません。 | 参考 | |
| 497 | 安全確保は、対策すれば、出来るけど、働く人が、成る中で、財政の安定は、課題が、多すぎます。 | 参考 | |
| 498 | 横浜市は、カジノ会場と周辺整備に数千億円もの莫大な税金を投入しようとしている。市長は、現下の財政状態でも危機意識を持っているのであれば、このような無駄な計画はありえないと思います。この点を説明して下さい | 参考 | |
| 499 | 日本では、元来、「賭博場」を厳禁してきた長い貴重な歴史があります。歴史と情緒のある横浜に、横浜市は「賭博場」を大きな公費で提供するのですか。この点を説明して下さい。 | 参考 | |
| 500 | 4つの方向性は、いずれも「カジノ」のための隠れ蓑であり、夢物語の作文である。「カジノ」は絶対に不要である。「カジノに頼らないまちづくり」必須。総花的に描いても、「カジノ」が足を引っばることになる。既に、海外の多くの事実が証明している。この点をいかが考えますか。 | 参考 | |
| 501 | 1859年の開港以来、多くの先達と現在の市民が脈々と築いてきた今日の貴重な文化都市横浜を「ひとりのよそ者の野望」のために譲り渡しているものか、自問してほしい。今回、判断を間違えた場合、子孫に取り返しのない大きな“禍根”を残す。ひとりの米国の野心家、日本政府の独断、横浜市の横暴の結果、市民、県民、国民を悲しませてはならないと思います。この点をどう考えますか。 | 参考 | |
| 502 | そもそも、カジノは賭博であり、犯罪です。人の不幸によって成り立つ産業がカジノです。 | 参考 | |
| 503 | カジノいりません。絶対誘致反対です。人の不幸によって成り立つお金で市の財政をうるおすなんてとんでもない！！ | 参考 | |
| 504 | 「IR」とは言うが、中核は「カジノ賭博場」ではないか。「カジノ」という名の「博打場誘致」絶対、反対！！横浜であれ、全国のどこの都市であれ、カジノはいらない。 | 参考 | |
| 505 | 博打で庶民からまきあげたカネで賭うなどとするやり方自体、土台、不健全極まる。カジノ誘致はやめなさい。 | 参考 | |
| 506 | 絶対反対であります。犯罪は悪（わる）です。人生を不幸にする「トバク場」はんたい | 参考 | |
| 507 | カジノはそもそもとばくです。とばくを市が推進するのはおかしい！！絶対に反対です。市民の声を聞いてください。 | 参考 | |
| 508 | たくさんの国民が多額の損失をこうむらなないと成り立たないカジノ、カジノなしでは成り立たないIR、借金まみれになり、ギャンブル依存症になる人が大勢生まれ、治安が悪化し、教育環境が破壊される、私の愛する横浜が荒廃する、そんなことは許せません。 | 参考 | |
| 509 | IRにいったとられた、その人の大事なお金で、市の財政を潤そうなどと、あの市庁舎を建てる力のある横浜市のやることではありません。未来に今の良い意味の横浜を残してほしいです。 | 参考 | |
| 510 | 財政政策が不純。（正しくない）市の財政の一部とはいえ市民の不幸。（カジノのでの敗）を前提としたものは認められない 横浜の品位がおちる。すばらしい横浜をけがすな。 | 参考 | |
| 511 | 市民をかけごとに誘い込みそのお金で経済発展をさせる、あまりにも悲しいおろかな政策です。 | 参考 | |
| 512 | カジノでもうかったお金で公共サービスを受けても有難くありません。カジノ設置に反対します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 513 | IR法成立したからといって、日本の風土になじまないカジノを作るべきではなく、損をさせ、それが横浜市の財源にするという、考え方に反対です。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用していただいている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 514 | 横浜にIR（カジノ）は必要なし。断固反対します。正常な収入で正常な支出をし、将来ともよき横浜でありつづけたい。 | 参考 | |
| 515 | 心の弱い賭け事に走ってしまう人から巻きあげたお金で市をうるおそうという発想は貧しすぎます。 | 参考 | |
| 516 | 将来にわたる市民の豊かな暮らしを目指すのは当然なことですが、そのために「カジノ」を導入するのは絶対反対です。カジノは競輪の比ではないと思います。バクチという意味で | 参考 | |
| 517 | カジノには反対です。賭博で横浜を汚したくない。もし財政が困難なら、ほかに考えられないか、もしどうしても駄目なら最終的に市民税をもっと増やさずしかない、それでも賭博場を作るよりは良いと思っている。 | 参考 | |
| 518 | 何より、「カジノ」は倫理的に悪以外の何ものでもない。 | 参考 | |
| 519 | カジノは賭博であり犯罪です 人の不幸によって成り立つ産業がカジノですギャンブル依存症を増すカジノ誘致はぜったい反対です。バクチに市民の税金を使わないで下さい | 参考 | |
| 520 | 市長が誘致を目指すIR（統合型リゾート）の中心は「カジノ（賭博）」です。カジノ施設が狙いを定めるのは、「小金をもつ高齢者たち」。人の不幸を元手にして税収をふやすことは「社会福祉の理念」に反する行為です。 | 参考 | |
| 521 | カジノで負けた人のお金が横浜が潤っても市民の感情は複雑です。ギャンブル中毒者をふやすだけです！断固反対です！ | 参考 | |
| 522 | カジノつきIR、というよりカジノがなければIRの意味がないでしょう。それならIRは作るべきではありません。日本人に限らず、外国人を含めて損をした人のお金で、横浜市民は幸せになれません。資料の方向性（素案）はカジノありきではないですか？ | 参考 | |
| 523 | 公益賭博場（競馬・競艇・宝籤等）が沢山ある現在の日本において新たに私営賭博場（カジノ）を作ることを認められない【反対】である。 | 参考 | |
| 524 | 経済効果がどの程度あるのかわかりませんが、人の不幸を生む発展は望んでおりません。 | 参考 | |
| 525 | カジノ誘致は絶対に反対です。カジノで出る利益は、他人から吸い取ったお金です。そんな金を市の財政として使うなんて、人として許せないと思います。困る人、泣く家族が出ることが分かっているのに、カジノを作るとは、やめてください。 | 参考 | |
| 526 | カジノ客の負け金で成り立つIRを推進すべきではありません。 | 参考 | |
| 527 | カジノをやる人がそんなお金で市がうるおって？いいものかと単純に思います。いくら少子高齢化とはいえそんなお金で私達がうるおう位なら、やめて欲しい。「バクチ」という古い考えなのかもしれませんが？もっと、きれいなお金ならいいと思います。誰かが「そんな」をしなければ利益が出ない、そんな「カラクリ」やめて欲しいです。 | 参考 | |
| 528 | 横浜は古い歴史を重ねながらこれまで独特な異国情緒を大切にしながら直す所は直し、他の場所とは又、異なる雰囲気を保って頂きました。それを財政赤字の為となぜ市長はこの由緒ある横浜に「IR」などというものを作らなければいけないのでしょうか！これにより人は大勢来るでしょうが気の毒にも依存症になってしまう者も溢れ、街の雰囲気は全く変わり、治安も悪くなり、今程の横浜を思うと情けなく涙が出てしまいそうです。今は横浜は住みたい街、1番です。居住者を増やす事を考え、その税金では賄う事は無理なのですか…？ | 参考 | |
| 529 | カジノの中心とした素案に反対です。横浜市の将来の発展にバクチを要にして資金目当の将来の財政健全化を図るのはとてもではないがSDGsの考えにも逆行すると考えます。とても将来の横浜の財政の健全化にはなりえないと考えます。 | 参考 | |
| 530 | 横浜IRは、つくらないで下さいカジノが問題だと思っています。カジノは言わば、バクチです。反対です。昔からバクチで生活がよくなる人は庶民の生活ではなかったと思います。 | 参考 | |
| 531 | 生活が破滅する人がいてその上に幸せになるという考え方を、市がすることが問題です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 532 | 将来を見据えた横浜を設計するのであれば、昔から御法度である賭博にたよらず、横浜の力を前面に出して取り組んで行くべきである。カジノで敗けた人のお金で財政が潤ったところで、誰が喜ぶであろうか？（決して喜ぶ人はいない。）なぜ御法度である産業を横浜市、は予算を組んでまで守ろうとするのか。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 533 | 本当に豊かな横浜をつくるためには、カジノは不要 行政が賭け事の場を設定し、その上がりを吸い上げて財政の穴埋めをするという方向性は明らかに間違っていると思います。百歩譲ってIRをつくるというところまでは認めても、その中にカジノを含むということについては、どうしても認めることはできません。カジノで人々を呼び込むのではなく、日々の慎ましい仕事で社会を支える人々が自然と集まってくるような魅力的な横浜の街づくりをしていただきたい。 | 参考 | |
| 534 | 汗水流して働いて税金を納め生活してきた者からすると、博打で得た収入で市民生活を支えるような財政が潤うような世の中（横浜）になって欲しくありません。 | 参考 | |
| 535 | 賭け事で豊かになる町には住みたくありません。「汚い金で潤う横浜」にしないで下さい。 | 参考 | |
| 536 | 経済的に非生産的です。お客さんの損失によって事業主の商売が成立つだけで何の価値も生み出しません。 | 参考 | |
| 537 | ばくちで人から巻き上げた汚い金を横浜市が市民生活のために使うことは耐えられません。 | 参考 | |
| 538 | バクチのテラ銭の1部をあてにする市になりたくない。 | 参考 | |
| 539 | カジノは駄目です。カジノに足を踏み入れて身を崩す人が、不幸な人生を過す事は許されません。カジノは絶対反対です。横浜市は健全な財政確保の方法で、不幸な人を出さない明るい行政を実施することを切望します。人間の知恵を社会が幸せになるために活用して下さい。 | 参考 | |
| 540 | カジノ収益は誰かの負け金。人の不幸や横浜らしい街の雰囲気失ってまでカジノ収益をあてにすべきではない。 | 参考 | |
| 541 | 横浜の歴史ある場所にカジノ含めたIRはいりません 特にカジノは人が負けたお金で成り立つもの！！それを経済に使うとかありえませぬ | 参考 | |
| 542 | 横浜市民として、人の不幸の上に成り立つカジノを有するIRには、反対します。わざわざ横浜に不幸のもとを持ち込むことに疑問を感じます。 | 参考 | |
| 543 | カジノは社会的弊害が大きい。資産を持つ高齢者層が狙われることも十分に考えられる。 | 参考 | |
| 544 | 横浜IRの方向性と言ってもれなくカジノがついてくるので「世界最高水準のIR実現」は絶対反対です。カジノはギャンブルである。人の不幸の上で成り立つ財政の考えはまちがっている。市長はまちがっています。カジノはいりません！ | 参考 | |
| 545 | カジノの収益に頼るIRの整備に反対します。刑法で違法であるカジノを合法化したら、善悪の基準がゆらぎ未来の子どもたちへ正しい教育ができません。カジノを作らないことこそ、ギャンブル依存症の対策です。勤勉に働き発展してきた日本人の文化が失われ、健全な発展ができなくなります。 | 参考 | |
| 546 | 人の不幸の上に税収をふやすことは間違いです。カジノ（IR）断固反対です | 参考 | |
| 547 | 方向性として、公としては実施すべきでは、ないと考えます。が、私達の通常の生活に家庭崩壊を生じない約束が条例が出来るように、と願い又、市政の中で我々が豊かになることを、願います。難しい事ですね！！ | 参考 | |
| 548 | 自分の子を連れてIRに行き、見えない隠されたスペースについて、あそこは何か？何のために隠すのか、と問われて、明鏡な心で答えられるか？これが倫理にもとる、と云うことである。カネと倫理はこの場合、win-winとはいかないようですね。 | 参考 | |
| 549 | カジノという賭博の場を横浜に持ち込むことに反対です。健全な運営を旨とする地方自治体が、私企業のテラ銭を当てにすることの不健全さは全くの矛盾です。 | 参考 | |
| 550 | 収益を上げるためには、ギャンブル依存症を増やし続けなければなりません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 551 | IRの誘致に反対です。・バクチ、トバクは犯罪です。・カジノは全体の床面積の3%といいますが、収益の80%がカジノ。市民からバクチで金を巻きあげてはいけません。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 552 | 此のIRの方向性(素案)は云い換えれば、横浜市民破壊の計画の方向性(素案)で良識ある市民として認められません。 | 参考 | |
| 553 | 市はカジノにより最大1200億円の収入をあてこんでいるとのことですがその為には、それを数倍上回る損をする人が必要です。人の不幸の上に立つ施策を行うことは許せません。カジノを断念することを求めます。 | 参考 | |
| 554 | これで市民は豊かにしあわせになれるのでしょうか。カジノに頼る財政運営、人の不幸で豊かさは得られない。 | 参考 | |
| 555 | 他人の不幸で得た税金は横浜市はいらない。 | 参考 | |
| 556 | 横浜市政の根本原則は、あらかじめ市民に犠牲が出るのが明らかな政策は、絶対にとってはならない、ということです。カジノ(賭博)が、市民の中から犠牲者をうみ出すことは、あまりにも自明のことです。21世紀の横浜に、とりかえしのつかない深刻な負の遺産をつくりだす道にほかなりません。 | 参考 | |
| 557 | 横浜市に賭博場はいりません!賭博による経済効果や発展も望みません!これは大多数の市民の意見です。市長はなぜそれに耳を傾けようとしないのでしょうか!?横浜に生まれ、この街と共に育ってきた私にとって、この街に賭博場ができるなんてことをとうてい容認できません。 | 参考 | |
| 558 | IR反対です。カジノ事業で税増収するには、カジノで、多くの金を使い、大負けする人々を増やさないと、いけないことになるのです。まさに、ギャンブル依存症である、人々を作り出さないと、得られない、カジノ収益など、全く、許しがたい話です。 | 参考 | |
| 559 | 広報よこはまの《IRの実現に向けて》の紙面に「収益面で支えるカジノ施設」とありますが、カジノでもう、儲かるとわかっている。儲かるといことは誰かがお金を払うということです。カジノは何かを造って売っているわけではないのでお金を払うイコール勝負に負けるということです。負の感情と引き替えにお金を稼ごうとしている。それを財源にしようとしている。それが問題なのです。日本の国家的プロジェクトなどに乗らなくても良いので横浜独自の考えを持って事にあたり、市民に心のしこりを残すような整備はやめて下さい。 | 参考 | |
| 560 | 賭博(バクチ)から上るテラ銭で市の財政を改善しようと云う市の考え方そのものに反対する。しかも勝ち馬を予想し適中した者が賭金を分配する競馬、競輪、競艇、出た玉を賞品と交換するパチンコに比べ、カジノは現金を賭け、賭金は天井無し、信用があれば即座に現金を融資される。 | 参考 | |
| 561 | ばく大な財政を使って誘致し、ばくちで人から巻き上げた汚い金を市の財政に使うことなど、とんでもないことだと思います。以上、カジノ誘致には反対であり、横浜にカジノはいりません。 | 参考 | |
| 562 | ギャンブルからは、新しい価値は何一つ生れてこないのです。もうけ…が有った…と喜ぶ人の裏には必ず、損を抱えて、苦しむ人が居るのです…人の幸せ…は、苦しい、つらい生産を伴う労働と協力の中から生まれるのです。カジノ誘致…絶対に許す訳にはいきません…!! | 参考 | |
| 563 | 横浜IRカジノ構想反対。IRがカジノで負けた人のお金で維持しなければ、成り立たないなんて、とんでもない構想です。もっとまともな事案を考えて下さい。 | 参考 | |
| 564 | カジノを作るのは絶対反対です。市長の言う通りの税金を得るためにどれほどの「とばくにまけた人」を作ることになるでしょう。パチンコとはケタが違います。(パチンコも私は反対です)。 | 参考 | |
| 565 | もちろん高級リゾートのカジノですから、狙いは富裕層でしょうが、借金漬けになる富裕層も見たくありません。そんな方法で市の財政を豊かにしているのでしょうか。 | 参考 | |
| 566 | 横浜市ではIRに占めるカジノを行う区域面積は3%以下にすると想定しているとあるが、カジノルームは小さくてもギャンブルを続けやすく設計されていると聞く。カジノの収益はカジノで負けた人から集めた収益だ。カジノで負けたお金を使って福祉や教育の財源にするのは本末転倒だ。カジノに頼った市政運営は文化都市にふさわしくない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 567 | 外交問題などの影響で外国人客の収益が見込めなくなった時には、入場料金を安くして日本人客を呼びざるを得なくなる。地域住民をターゲットにせざるをえなくなったら、ギャンブル依存症を増やすためにカジノをやるようなものだ。外国人客からの収益を見込めない、うまくいかなかったときのプランも出してほしい。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用していただいている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 568 | 私は現在の横浜が好きで、良い。何もIRを進めなくても良い 特にカジノは大嫌い人間性を悪くします。 | 参考 | |
| 569 | 本事業計画案はカジノの高収益に依存した事業であり実施すべきではないと考える。カジノで損をした人々の金で日々暮らしていく人生など考えたくもない。 | 参考 | |
| 570 | 私はIRに反対します。行政がギャンブルを推進する事は許せません。 | 参考 | |
| 571 | カジノは収益を上げるためには市民の不幸（ギャンブル依存症、家庭崩壊etc.）の上に成り立つものです。市民のいこいの場所に不幸の源を作るべきではありません。私はカジノに反対します！！ | 参考 | |
| 572 | 「ばくち」の収益で市政財源を確保しようとする考え方が不潔。計画が各種のシュミレーションをふまえたものでなく、見通しが甘いこと。 | 参考 | |
| 573 | 横浜のまちづくりは代々の市長が先進的にすすめてきました。横浜IRはカジノで社会保障を行おうとしています。人の不幸で福祉をおこなうのが先進的とは思えません。福祉よりお金・経済を優先させる横浜IRに反対します。 | 参考 | |
| 574 | カジノ誘致に反対します。カジノは何の生産的なものを産み出さず、客に負けさせることで成り立つビジネスです。 | 参考 | |
| 575 | 賭博からの収益金の援助で“市民の豊かな暮らし”は理性ある発想とは思えません。以上から「横浜IR」に反対いたします。 | 参考 | |
| 576 | 競馬、ケイリン、オートレース、競艇、パチンコ、これも同じギャンブル。リゾート産業とつなげても、市民は幸せではありません。市の財政収入がギャンブルの収入で良いとは思えません。カジノ反対です！ | 参考 | |
| 577 | 人の不幸の上に成り立つ産業は止めるべきです。 | 参考 | |
| 578 | 少子高齢化社会で横浜市も財政がきびしいことは理解できる。しかしその補填としてIR中のカジノを持つてくるのはいかなるものか。ギャンブル依存症の者をすぐ隣の者として観てきた者としては、その危険性が非常に大きなものとしてとらえている。 | 参考 | |
| 579 | まけでかせいた金で市財政を運営するなどほんまつてんとう。先にどんな負を背負うかわからないのですか？カジノの本質がわかっておらず目先しか見えてない市長に横浜市をまかせておけません。 | 参考 | |
| 580 | カジノなんて横文字にゴマカサれるな。元はばくちである。 | 参考 | |
| 581 | カジノの導入は特に反対。人を不幸にした金での繁栄等誰も望んではいません。 | 参考 | |
| 582 | カジノは博打です。博打で得る収入を市政に頼るのは許しがたい。市民を無視している。 | 参考 | |
| 583 | カジノは博徒であり違法である。負けた人の上りで成り立ち依存症を作り人を不幸にする以外のなにものでもない。なんら生産性のないカジノは大反対である。 | 参考 | |
| 584 | 博打による『テラ銭』による横浜市政『反対』誘致反対が多く出されても方針を撤回することはない | 参考 | |
| 585 | カジノは、まぎれもなく賭博です。人の負けのお金で市財政をまかなうなんてとんでもないことです。・横浜の港を人の涙でよごさないで下さい | 参考 | |
| 586 | カジノは負ける人がいることで成り立つものである以上、関わる人の全てを幸せにすることができません。 | 参考 | |
| 587 | 横浜市は業者の算定を大幅に下回る場合、例えば現在のように新型コロナウイルスで外国人がこられない時は自国の人へ呼びかけ、依存症になり、中毒となり家庭崩壊という道を歩むことも充分考えられます。元々自国民の場も便利な所です。 | 参考 | |
| 588 | IRを山下ふ頭誘致するのは反対です。ばくちで人から巻き上げた汚い金を横浜市が市民生活の為に使うという事が信じられません。金があるれば国民、市民が喜ぶという政府、市は異常です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 589 | 賭博場、賭博者の心理は非常に恐ろしいものです。築きあげた地位も財産も失いかねません。子や孫の世代にできるだけ良いものを残すのが政治家、市民の義務です。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 590 | 不幸をばらまくカジノは反対です。 | 参考 | |
| 591 | 入場制限・使用額制限等の方策を掲げられてますが、いずれにしても“賭博”は根本的に100人中90～95人程度は金を巻き上げられ、5人～10人の勝者と外国の賭博業者〔そこから市、県、国が潤いを分けて貰う(上納金)〕という制度は違和感が大き過ぎます。多くの市民・家族が楽しみ・誇れる施設造りを企画し直して下さい。 | 参考 | |
| 592 | 市民の社会的な共通資本は利潤追求の対象として市場原理に左右されてはならないという原則に従って理性的に施政を行ってください。私たち横浜市民は賭博の負け金に頼って生きることを恥とします。 | 参考 | |
| 593 | 多くの市民が、ギャンブルで負け、或いは依存症になった人の犠牲の上で豊かな市民生活が出来るまたしたいとは思っていません。 | 参考 | |
| 594 | カジノで稼いだ収益で(人の不幸)、市政を賄う発想が信じられません。横浜IRの方向性に反対です。 | 参考 | |
| 595 | 横浜に賭博場は必要ない。日本、古来からのヤマト魂を含め健全な経済観念が薄らぎ勤労意欲がなくなる。 | 参考 | |
| 596 | 健全なお金ではありませんので もっとよい方向に持って行っていったのがよいと思います。 | 参考 | |
| 597 | 私達市民は、全く納得していないばかりか、カジノでまき上げた金で、生活を潤そうとは、考えていません。 | 参考 | |
| 598 | ばくちで負けたお金を教育や医療や福祉に使えません | 参考 | |
| 599 | 一市民としてカジノの誘致には絶対反対です。依存症ありきを前提に対策を講じる程不健全で治安にも大きな不安があるカジノを市財政改善のために誘致することが全く理解できません。現在でもパチンコ等のギャンブル依存症で沢山の個人、家族が苦しんでいます。 | 参考 | |
| 600 | アメリカの賭博資本に利益を差し出す為に横浜の地元の商店街を壊し市民から奪い取り依存症で人間を壊し家庭崩壊と犯罪者を生み出す横浜の文化を衰退させるカジノ付IRは絶対やめて下さい！！ | 参考 | |
| 601 | 客の負けから生じる税収増(楽観的見通し)は、喜べない。法人税増が市民の不幸の上に成り立つのは、大きな誤り。 | 参考 | |
| 602 | 横浜市のIRの推進に反対します。カジノで負けた人のお金で横浜市政策を進めるとの考えや、IR事業がないと、市が赤字になるなど、市民に正確な情報を提出していない。 | 参考 | |
| 603 | IR計画に絶対反対です。計画では、「人口減による経済の活性化をはかる…」とありますが、その中に、なぜカジノがあるのでしょうか。面積は3%という事を強調していますが、面積比率の問題ではありません。カジノは経済的、精神的に病人をつくり、社会がこわれていきます。人口が減少したのなら、その規模に合った施策を考えればよいと思う。 | 参考 | |
| 604 | 人の不幸をもたらすカジノはあってはならないでしょう。 | 参考 | |
| 605 | カジノは良くありません。税収が増えても減っても、将来に禍根を残す施設を作らないでください。 | 参考 | |
| 606 | 依存症者を増やし破綻させて巻き上げた金で市の財政を潤すことは社会正義に反する。 | 参考 | |
| 607 | 様々な施設や機能を持たせても、横浜IRの本質は、IR関連法に基づくカジノの設置にある。ファミリー層の主動線から分離配置しなければならないような市民福祉に反するカジノの設置を、市税を使って推進することに、納税者としては全く納得できない。 | 参考 | |
| 608 | 「横浜市民・日本人」の「負け金」を財源とする政策は不健全であり、撤回を求める。 | 参考 | |
| 609 | カジノの利益は人々がカジノに通って夢中になり、最後は負けて終わるにもかかわらず、常習化してギャンブル漬けになり、この状態が継続し続けることで利益が上がるという、恐ろしいビジネスモデルである。カジノ事業者に普及啓発や依存症への声掛け、相談・連携など、実効性に乏しい。横浜市の無責任な丸投げである。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 610 | 財源不足を賭博であるカジノの税収で補填し、維持する考え方のいびつさ、不健全性。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 611 | 市民の豊かな暮らしを望むのであれば、カジノは絶対あってはならないと思います。私たちのお金で、もうける人の為に、市民が犠牲になるのは、ごめんです。カジノは作らないで！！ | 参考 | |
| 612 | カジノは他人の負けに成り立つモデルであり、そんなモデルから成長はない。 | 参考 | |
| 613 | IRそのものは、前向きにとらえて賛成ですけど、一方で若者が自分を見失って生活が悪い方に変わるのではと危惧してる部分もあります。現在のところではよくわかりません。 | 参考 | |
| 614 | 大きなお金が動いて、税収アップして良いように見せてますけど、ギャンブル依存に依存した税収って。 | 参考 | |
| 615 | 賭博という非倫理的な行為、しかも負けた人のお金に市の財政を委ねることに道義的に反対する。 | 参考 | |
| 616 | 横浜IRに反対です。横浜市の財政再建に、賭博で得た収益をつぎこむ、という発想自体が許せません。 | 参考 | |
| 617 | 私は、市の税収増の為にカジノとは、依存症の人や横浜の治安悪化となり、良い事はなにもありません。それにIRと一緒にとは、絶対に反対です。 | 参考 | |
| 618 | 将来にわたる市民の豊かなくらしのために、私たちが望むのは、市民との対話です。決めたことを説明してすすめるのではなくカジノの他の対案（含むでも可）を出して市民が、病気になる事業をコツコツ積み重ねることだと思ふ。 | 参考 | |
| 619 | 大負けして苦しむ多くの人々の不幸を前提とした仕組みをつくっても、市民は幸せになれません。 | 参考 | |
| 620 | 何より人が不幸になった金で市の運営は恥ずかしいし、悲しすぎる。 | 参考 | |
| 621 | カジノに頼って横浜市の財政を立て直そうとするのは間違っている。財政を立て直しは健全な取り組み方でやるべき。 | 参考 | |
| 622 | 基本コンセプトにある“将来を見据えた新たな「横浜らしさ」”が、賭博場のある横浜にあるとは到底思えず、推進してほしくないということです。素案には、“ファミリー層等の主導線とは分離された適切な”配置・デザインの施設とありますが、そもそも主導線と位置づけられた層とはかけ離れた層の需要をあてこみ、そこから巻き上げられるかも知れない金をもとに“SDGs”をめざすというのは茶番です。 | 参考 | |
| 623 | IRにカジノを含めるのは反対です。誰かの犠牲の上に富かな横浜の未来はないと考えます。 | 参考 | |
| 624 | カジノでは必ず勝者がいれば敗者がいて、泣きをみた人達からの収益で財政がうるおうことはよろこべない。 | 参考 | |
| 625 | 依存症となる人の金で（不幸）で市の財政など考え方もまして多く利益がでて出なくてもカジノ業者のためにある事も許せないものです。 | 参考 | |
| 626 | 人の弱みにつけ込んでもうけた金で市政を豊かになんかしたくない！こんなことで市民の為なんて言ってくれるな！IR導入絶対反対！！ | 参考 | |
| 627 | 街こわし、人の不幸で金をかせいでー？活性化するー？ | 参考 | |
| 628 | カジノに負けた人の損金が利益である。人の不幸を財政収入にあてるとは不健全、社会である。 | 参考 | |
| 629 | 1200億の収入のために8000億の人の不幸。人を泣かせ取らぬ狸の皮算用。 | 参考 | |
| 630 | カジノ反対！！バクチで市民から、まき上げたお金で、政治するなんて！ | 参考 | |
| 631 | 郊外部の要望は反映されているか？カジノは何故必要か？本IR素案もなぜカジノが必要なのかが説明が足りません。 | 参考 | |
| 632 | IR法は、カジノをIRという美名のもとで合法化するだけのものだ。ギャンブルの権化のようなカジノを市民のためにあるべき行政が、先頭立って誘致するのは間違っている。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 633 | 横浜市のカジノ設置に断固反対します。我々の時代にカジノ資本によるバクチ場にするのは、将来の子供達や先人に対して申し開きが出来ません。バクチによる経済発展などありません。人間の心を蝕み、汗して働く尊い人間性を忘れさせられます。カジノによる泡銭で金持になることはありません。ヨーロッパ諸国の落ち着いた文化・芸術の都市を見習い心豊かな市民生活を目指すべきです。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々には、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 634 | カジノ誘致に反対します。税金の集め方その使い方にも問題があります。 | 参考 | |
| 635 | 依存症対策をうたっていますが、市民が依存してしまうような施策、一部の人が負けを背負い、負債が税収の柱となる負債型事業の取り組みに大きな矛盾を感じます | 参考 | |
| 636 | カジノを含むIRを横浜が誘致することに反対です。人を不幸にすることで成り立つ、カジノで、子育てや福祉予算を獲得すると市長は説明しています。 | 参考 | |
| 637 | IR（総合リゾート）まともな政策とは思いません。特にカジノ誘致は市政の政策から外してください。カジノは賭博ですよ、賭け事の収益を市の財政にしようとする発想がまともではありません。 | 参考 | |
| 638 | 人の不幸をまねく横浜IR=カジノに反対します。 | 参考 | |
| 639 | カジノ絶対反対です。カジノは人を不幸にして市の繁栄などありえません | 参考 | |
| 640 | 横浜にIRを誘致するなんて、絶対反対です。市民を無視して、勝手にカジノ構想をすすめ、経済優先、税収UPをうたっているが、ギャンブルで市の収入が増えても、その裏にギャンブルでお金を吸い上げられ、失う人が出ることは明らかです。 | 参考 | |
| 641 | 今の日本の状況に、カジノなんていらなと思う。依存症になる人が出るのが分かっているのだからいち早く、カジノをやめるべきだ！ | 参考 | |
| 642 | 横浜の発展にカジノは不適當です。バクチのあがりでの収入をふやすというのは不見識の極みです。絶対に認められません。 | 参考 | |
| 643 | ギャンブル依存症や、大きな箱物を、若い人達に残す様なことなく、将来のことを考えた計画をして欲しいです。 | 参考 | |
| 644 | カジノ狙いの横浜市発展はありえない。パチンコ店が沢山あるのに考え方がおかしい。箱物は必要ない。絶対反対。 | 参考 | |
| 645 | 負けて、金を払った人の資金で収益を上げるカジノは許せません。 | 参考 | |
| 646 | 賭博依存症の保険適用も反対 | 参考 | |
| 647 | カジノ（賭博場）は断固反対です。バクチの力を借りて、横浜市を建て直すだと、普通の人間が考えることではない。 | 参考 | |
| 648 | 「カジノ」は絶対反対です。金をかせぐ為なら、なんでもやるのは、倫理感が、まったく感じられません。 | 参考 | |
| 649 | “とばく”に財政を頼るのは健全ではない。誰かの損害をあてにする“行政”は使途はどうであれ許されない。よってIR計画には反対！！ | 参考 | |
| 650 | 賭場のあがりて私達市民の幸せを購うようなものであり、多くのギャンブル依存の人の不幸せと引き換えの「豊かな暮らし」など全く必要のないものです。 | 参考 | |
| 651 | 安全な社会を支えてきた日本人のモラルを崩壊させる。 | 参考 | |
| 652 | カジノに収益を上げさせるためには、ギャンブル依存症を増やし続けなければなりません。 | 参考 | |
| 653 | そもそも、カジノは賭博であり、犯罪です。人の不幸によって成り立つ産業がカジノです。「住民の福祉増進を図る」ことが地方自治体である横浜市の役割です。カジノ誘致に反対します。カジノは何も生産的なものを産み出さず、客に負けさせることで成り立つビジネスです。 | 参考 | |
| 654 | カジノは絶対反対です。「カジノ」と表現すれば、外国語なのですぐにピンと来ないかもしれませんが、まぎれもなく、それは「賭博場」です。カジノへの入場要件やギャンブル依存症への対応策をいくら講じたところで、そもそも、人の博打の負けで市の財政を潤そうという考え方そのものが、人の道はずれていきます。カジノを導入したりして、これ以上市民を辱めないでください。 | 参考 | |
| 655 | 元々、「ばくち」で税収を増やすことは、如何なものか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 656 | 「ギャンブルの収益で横浜市が発展する」の考えは間違っている。金持ちから税金を取るべきだ。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前年から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 657 | どの自治体もお金は欲しいが、何も博打で稼がなくても…。生活に潤いと豊かさが欲しいですね。 | 参考 | |
| 658 | カジノの収益が上がれば上がる程、その裏で依存症が増加し、この対策費を含めた人心の疲弊を惹起します。 | 参考 | |
| 659 | IRの中に、カジノを設置することに反対。カジノは「賭博」だから。「賭博」は、賭けた人の損益によって成り立つ遊びだから。賭けに負けた人が多い程利益がふえる遊びだから。 | 参考 | |
| 660 | その利益によって、市財政を運営することは、人の「不幸」を元手にする、という人道に許されるべきことではないから。 | 参考 | |
| 661 | 『横浜IR』には絶対反対です。横浜市の財政改善には、行政改革で達成すべきです。ギャンブルの前分で改善などは長続きしない。ギャンブル依存症の人間が増えて、治安も悪くなります。 | 参考 | |
| 662 | 市の財政にプラスになるとは思えませんが、もし、プラスになるとしても、かけ事に負ける人の出した金額を期待するのは、邪道です。人の道に反することを市がやってみせるのはどう考えても反対です。 | 参考 | |
| 663 | カジノ管理委員会が発足しました。再び「目の前の利益」に囚われる事勿れと言おう。俺達は賭博に負けて涙する若者や借金に追われて生れた犯罪者を踏台にした豊かさを享受しようなどとは思いませんよ。俺達は賭博に手を出してはいけません。目の前の利益を選ぶのか人の道徳を選ぶかは明らかではないか。 | 参考 | |
| 664 | カジノ：反対！賭けに負けたお金を収益として見込むことの不健全さがあり、反対。 | 参考 | |
| 665 | カジノ誘致に反対します。カジノは何も生産的なものを産み出さず客に負けさせることで成り立つビジネスです。 | 参考 | |
| 666 | IR構想は反対しませんが、カジノだけは絶対反対です。カジノを入れなければIRが成り立たないのであればIR構想そのものも賛成できません。すでにカジノありきで市長が押し進めている様ですがカジノは賭博ですよ。その賭博で5000億円の収入が見込まれるとなると、日本国民のみならず諸外国の観光客特に東南アジアの方が沢山横浜に集まってくるからとのもくろみもあるのではないのでしょうか？ | 参考 | |
| 667 | カジノはどんなに言い繕おうが、バクチ、ギャンブルです。それを市が率先でやるということは、トバクの胴元になることです。私がなにより嫌悪するのはIR=統合リゾートなどという糖衣でごまかし、カジノ、トバク場というものを普通の人の身近におきギャンブルのハードルを低くしてしまうことです。 | 参考 | |
| 668 | カジノによる環境破壊・依存症・家庭崩壊・自殺。依存症が出ることを余地して、健康保険を使う法律決定、病人が出たら国で保護しましょう、自殺者もまったく零ではない、カジノなんかやって居る場合では無い、市政は問題が山積している。 | 参考 | |
| 669 | カジノ誘致に反対します。カジノはなにも生産的なものを産み出さずお客に負けさせることで成り立つビジネスです。 | 参考 | |
| 670 | カジノ誘致に反対します。カジノはなにも生産的なものを産み出さずお客に負けさせることで成り立つビジネスです。 | 参考 | |
| 671 | 一種のゴラクで収入を得ようとする人間がそれが尚更に若い人であるならそれを横浜市がその様な場を作ろうとするならとんでもない、ことです。 | 参考 | |
| 672 | 総合型リゾートが必要なならばカジノを除いたものでやってもらいたい内容はどんなものか知りませんがとにかく働かないで収入を得ようとする者を作り出すケンケン性のあるカジノは絶対反対です。 | 参考 | |
| 673 | 自分の愛する子供がカジノに行くのに賛成ですか？可愛がっていた親戚の子供や近所の子供がカジノに行って楽しいですか？世界中からお金持がやって来て大金を落として帰り、横浜が潤うと本当に考えていられるのですか？そんな甘い話は信じられません。私達の故郷横浜にカジノは全く似合いません。孫達の未来の為に考え直して下さい。 | 参考 | |
| 674 | カジノ収益で横浜の財政を豊かにするとの考え方は、間違っていると思います。 | 参考 | |
| 675 | 依存症のことで 改めて依存症の源を作る考えが理解できません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 676 | 反対です。ギャンブルで市財政を豊かにする発想は余りに下品です。歴史ある横浜市に致命的汚点を残すこととなります。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々には、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、77〉</p> |
| 677 | カジノで市民の暮らしが豊かになるはずがない。依存症の人達から搾取したお金で暮らしが豊かになっても幸せではありません。 | 参考 | |
| 678 | カジノの問題である。カジノを収益の原動力として位置付けているが、とらぬ狸皮算用の標本みたいな思考回路でしかない。問題はそれ以上に公益を考慮しなければならない。横浜市が市民の痛みをともなうような計画に手を染めるべきではない。健全な財政を目指すべきである。 | 参考 | |
| 679 | 横浜IRは不要。作らないで下さい。落ち着いた静かな今の街で良いです。お金は、予算に応じた使い方をすれば、良いでしょう。唯でも勝てば嬉しいけど負けた時に何が？考えただけでも“ソツ”とします。絶対に作らないで下さい。お願いします。 | 参考 | |
| 680 | IRの主体であるカジノは、賭博であり、健全な社会生活に全く必要のないものです。市庁舎等、新しく建て直して莫大な費用を使い、その穴埋めにカジノを考えているとすると、とんでもないことです。 | 参考 | |
| 681 | カジノ誘致に反対します。カジノは何も生産的なものを産み出さず、客に負けさせることに成り立つビジネスです。 | 参考 | |
| 682 | 素案冊子では25ページにわたり依存症対策、治安対策が書かれています。まさに対策を講じなくてはならない内容を持つのが、ギャンブル依存症なのです。ひとの不辛で横浜市の税収、財政を潤すのを止めて下さい。国が認めても、横浜市は、未来の子ども達の為にも負の選択をしてほしくありません。カジノは、あまりにも問題点が多すぎて、素案冊子とはかけはなれています。 | 参考 | |
| 683 | 市の財政は健全な施策でこそ、人間が幸せと感じる施策でこそ豊かにすべきと考えます。 | 参考 | |
| 684 | カジノは賭博です。賭けです。何も生産をしません。何も創りだしません。造りだしません。明日への元気の源にもなりません。市民の健全な生活、福祉・教育の向上、発展に尽力すべき横浜市が、カジノ誘致をするのはとんでもないことです。地方自治の理念に反します。長の見解を聞きたい | 参考 | |
| 685 | 横浜にIRの計画が発表され驚いています。理由は、「カジノ」をその施設の一つとしていることです。人々がギャンブルで楽しむ事が良くないことですが、その収益金で経済、財政の振興、貢献をはかるとは、とんでもない発想です。人々を不幸にしかねないギャンブル、その人達の生活をこわしてしまう施設はいりません。 | 参考 | |
| 686 | いくら税収が見込まれても、損をしたり不幸になる方ばかり（胴元は除く）、これがカジノではないでしょうか。横浜市民の方々が懸念・反対しているのに何故強行するのですか？ | 参考 | |
| 687 | 博打・賭博はいけません。 | 参考 | |
| 688 | 人道的見地から 賭博の敗者から巻き上げたカネで景気浮揚を図ろうとすることがそもそも間違っている。 | 参考 | |
| 689 | カジノは、作らないで下さい。負けた人々のテラ銭で、横浜の経済が立ち直るといえるのでしょうか。横浜を愛する市民として受け入れられません。 | 参考 | |
| 690 | またカジノによって市民の生活が豊かになると本当に市民は思っているのでしょうか。人間としていかがかと思えます。 | 参考 | |
| 691 | 人の不幸の上に成り立つ事業を推進することで税収を図る、不健全そのものです。 | 参考 | |
| 692 | カジノ建設は最悪です。カジノは人間の弱みにつけこんで人間らしさをとことん奪う装置だからです。 | 参考 | |
| 693 | カジノの収益は、ギャンブルで負けた人が注ぎ込んだお金であり、しかもギャンブル依存症の人ほどお金を注ぎ込むという傾向があるため、依存症を作り出して収益を上げることになり、横浜市を不健全な場所にすることが目に見えています。 | 参考 | |
| 694 | 市税の増収と言いますが、市民からバクチでお金を巻き上げ、市民を不幸にしたうえで、増収を図ることは、本末転倒です。市長がやろうとしていることは、バクチの胴元と結託して、市民から生活費を強奪することです。賭博は明確な犯罪です。市長は犯罪行為の推進をやめるべきです。 | 参考 | |
| 695 | 市の財政を賭博で補うなど自治体の行政とは言えない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 696 | IR（統合型リゾート）についてはカジノを含むものである事から反対です。「市民の暮らしが豊かになる」はずがありません。不幸になるばかりです。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用していただいている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 697 | 横浜IRーカジノは絶対反対！！市は増収というが、それは負け金である。 | 参考 | |
| 698 | 横浜にカジノ導入は絶対反対です。日本国民がバクチで負けた金を横浜市の税金にするなんて恥知らずの市政です。 | 参考 | |
| 699 | カジノのテラ銭で市の財源不足を補なうという考え方が間違っている。 | 参考 | |
| 700 | IRの中にカジノを誘致し、市の財政を、増やす政策は、とても健全財政とはいえない。 | 参考 | |
| 701 | カジノは賭博そのものです。賭博は市民の“不幸”で成り立ちます。市民の不幸に頼る経済では、地域をさびれさせ決して長続きしません。止めて！ | 参考 | |
| 702 | 住民が安心して生活出来るのが一番 せっかくの横浜の良さが無くなるようなIRは絶対嫌です。みんなが幸せになるよう考えて下さい。 | 参考 | |
| 703 | 横浜IR構想に反対です。市（公）が、市民（私…ギャンブルする人）の犠牲（損失・不幸）の上に事業を構想する事に反対です。本来、公も私も幸福になる策を図るべきです。 | 参考 | |
| 704 | 横浜市の進めている、IR（統合型リゾート）事業に市民として絶対反対します。ギャンブルで得た収入で幸せな生活を送ろうなんて考えないで下さい。 | 参考 | |
| 705 | 人の不幸の上に幸福は築けない。カジノで負けたお金が市の財政は不健全です。その様なお金で生活したくありません。 | 参考 | |
| 706 | カジノ等の収益で横浜の税金を増やそうなどという考え方を改めてほしい。 | 参考 | |
| 707 | カジノはいりません。市民や神奈川県民、日本国民からお金をすいあげる、しかもギャンブルで…。依存症をうみだしたら、医療にお金もかかるし、家族が崩壊します。税金は幸せになれるように使ってください。人の不幸で税金あがってもうれしくないです。 | 参考 | |
| 708 | かけに負けた人のお金を当てこんで税金に使うなんて、もつてのほか！です。 | 参考 | |
| 709 | カジノを含むIRの設置には大反対です。政治にたずさわる自覚があるなら勇気を出して足を止めて本当に横浜のためにすることをすべきと考えていただきたい。 | 参考 | |
| 710 | 賭け事で得たお金で、横浜の街を良く出来るのでしょうか。 | 参考 | |
| 711 | 市の財政をカジノに頼るとは方向そのものが間違っています。 | 参考 | |
| 712 | カジノは客に負けさせることで成り立つビジネスです。そんなビジネスに市民の税金を使わないで下さい。 | 参考 | |
| 713 | カジノは絶対に反対です。カジノは損をする人がいなければ成り立ちません。若者がお金を使って遊び損をし、生活がメチャクチャになるのを良しとするのですか？ | 参考 | |
| 714 | カジノには、何の生産性もなく、財政の潤沢にする為、やってもギャンブルで苦しむ人が絶対出る。市長はギャンブルの恐しさを知っているのか。 | 参考 | |
| 715 | カジノは、「人の懐からお金をすい上げ、胴元がもうける事業です」中小企業振興や商店街振興など物作りや生活に必要な品物を作り販売することとは違います。IRカジノは反対です。 | 参考 | |
| 716 | カジノは反対です。横浜市民として子供たちの未来のためにもカジノはやめさせたい 市長はやめてほしい！横浜で仕事がなくホームレスしている人達が、もっと増えるのではと思う。 | 参考 | |
| 717 | 横浜市の財政が、カジノの利益をあてにすることは、極めて不健全です。 | 参考 | |
| 718 | 庶民のフトコロからまき上げた金で地方再生をはかる、そして庶民がバクチづけに陥しいれ、その家族を不幸の奈落の底に追いやるIRは、絶対に許せない | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 719 | 私は、そもそも犠牲になる人がいてそのお金で市政運営なんて論外だと思います。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前年から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 720 | 市民からまき上げて税金の補充を行う。まともな人の考える政策ではない！ | 参考 | |
| 721 | カジノは賭博そのものです。賭博は市民の“不幸”で成り立ちます。市民の不幸に頼る経済では、地域をさびれさせ決して長続きしません。 | 参考 | |
| 722 | カジノは賭博そのものです。賭博は市民の“不幸”で成り立ちます。市民の不幸に頼る経済では、地域をさびれさせ決して長続きしません。 | 参考 | |
| 723 | カジノは賭博そのものです。賭博は市民の“不幸”で成り立ちます。市民の不幸に頼る経済では、地域をさびれさせ決して長続きしません。 | 参考 | |
| 724 | カジノは賭博そのものです。賭博は市民の“不幸”で成り立ちます。市民の不幸に頼る経済では、地域をさびれさせ決して長続きしません。 | 参考 | |
| 725 | あてにしているIRの売り上げの7割がカジノによるものです。カジノは、なんの生産性もなく、人の懐をねらって巻き上げるだけの、人の不幸の上に成り立つ事業です。人の懐から巻き上げたお金をあてにするようなものです。日本のゲートウェイに一番似つかわしくないのが「カジノ」ではないでしょうか。 | 参考 | |
| 726 | 依存させることで負け金を作らせ、市民の暮らしが良くなりますか？海外の真似をしたところで日本の未来を必ず明るいものに出来るとは思えません。依存症・治安対策をすることより、そのもとを断つことしか、依存対策はありえません。 | 参考 | |
| 727 | カジノの収益によって、市の財政が潤うことを強調しています。これまた情けないことでいつから横浜市はこんなに墮落したのでしょうか。カジノ＝賭博、ばくちによって市の財政を確立するという発想自体が、自治体の在り方が問われます。ギャンブル依存症の人たちをたくさん産みだし、家庭崩壊、自殺者、犯罪多発、地域荒廃を作り出すことを市が率先して推進することになります。そんな横浜市でいいのでしょうか。市の誇りを投げ捨てていいのでしょうか。 | 参考 | |
| 728 | 横浜IR、カジノだけは反対です。“悪銭身に付かず” | 参考 | |
| 729 | カジノは賭博そのものです。賭博は市民の“不幸”で成り立ちます。市民の不幸に頼る経済では、地域をさびれさせ決して長続きしません。 | 参考 | |
| 730 | 人の不幸のもとに成り立つカジノは、いりません。 | 参考 | |
| 731 | 将来を見据えた横浜市の取り組みは「豊かで安全・安心な暮らしを維持」とし、企業誘致、中小企業振興、商店街活性化の事業などと同列にIRカジノを位置づけることにしています。これらの事業とIRカジノは性格が違うものです。カジノは「人の懐からお金を吸い上げ胴元がもうける事業です」中小企業振興や商店街振興など、物作りや生活に必要な品物を作り販売することとは違います。こうしたことから、IRカジノは、反対です。 | 参考 | |
| 732 | カジノは何も生産性がなく、客に負けさせることで、成り立つビジネスです。日本の場合には、高齢者などの老後の資金を奪い、ギャンブル依存症を増やし、借金まみれにするなど、家庭を崩壊させることが懸念されています。 | 参考 | |
| 733 | 依存症が増え、負けたお金で外国資本が潤う。 | 参考 | |
| 734 | 私は、カジノを含む横浜IR構想に反対します。カジノで負けた人のお金が、市の収益となる、おかしいと思います。人の不幸の上に私たちの生活が支えられている社会に未来はありません。また、ギャンブル依存症の対策で、一番効果があるのは、カジノを造らないことだと思います。子や孫たちの未来を考えると、横浜にカジノをつくることは認められません。 | 参考 | |
| 735 | ギャンブル依存症に健康保険適用するというのは愚かきわまりない | 参考 | |
| 736 | ギャンブルという汚いお金で市の財をうるおすことが子供達にどのような悪影響をもたらすか考えてほしい | 参考 | |
| 737 | とばくに負けた人のお金で市政をすすめることは汚らしくみじめさも感じます。横浜で生まれ育った私には許せません。横浜市内に多く住む親族も同じ思いです。横浜カジノには反対です。福祉と教育、文化の横浜であることを強く望みます。 | 参考 | |
| 738 | お客、ギャンブル依存症になっている人などから、高収益を得るようなことを市、国がしようとするのは、とんでもないことです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 739 | カジノ（公設賭博場）開設に反対 犯罪の温床ともなる賭博場を横浜市が開設し、多少の市財政が豊かになったとしても、勝負に負けて悲惨な人生を送る事になる人々を出さない様にして頂きたいと思います。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用していただいている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 740 | 横浜にカジノを誘致することに反対します。人の不幸を土台にした税金などいりません。他都市にほこれる税収であってほしい。 | 参考 | |
| 741 | 市長はカジノ賭博場を含んだ統合型リゾート施設を横浜市内に誘致すべく躍起になっている。理由が全然見えてこない。カジノは賭博だろう。市長が賭博に夢中だとは唖然とした。そもそも賭博事業で得た金銭で公共団体の財政を豊かにするなんていう支離滅裂な提案で住民に賛同を得ようとするなんて。 | 参考 | |
| 742 | 横浜には絶対にカジノを作る事は反対です ばくちで人から幸せになることは有り得ない 家族が崩壊するのが目に見える 市長ももっと横浜市民の事を考えてほしい 私はギャンブルは大嫌です うまい話は裏が有ります | 参考 | |
| 743 | ギャンブル施設を作らないリゾート施設は出来ないのですか？現在パチンコスロットなどギャンブルにはまって、家族崩壊の話を目にします。ギャンブルは結局損をした人の利益を吸いあげ成りたつ企業です。 | 参考 | |
| 744 | IR（カジノを含む）に反対です。税収が増えるとしていますがかジノで負けたお金が元です。人の不幸で税収を増やす、事をのぞみません。 | 参考 | |
| 745 | 稼ぎが減れば、それなりに節約するのが良妻。人を不幸にしてでも稼いで家計に入れる、は悪妻。（※市長はどちらでしょうか？） | 参考 | |
| 746 | 反対です。あぶく銭は所詮あぶく銭ですよ。 | 参考 | |
| 747 | カジノで利益を得て、IRを補てんするのは人間の弱さを当て込んで利益を見込んでいるからです。 | 参考 | |
| 748 | IRカジノ構想案に反対です。市民がギャンブルでスツたお金が大きければ大きいほど、市は増収になるからカジノを作りたいとは、あきれた考えです。だからほとんどの市民は反対しています。 | 参考 | |
| 749 | 人の不幸で進めるカジノはぜったいやめてほしい。 | 参考 | |
| 750 | 人様の不幸でしあわせになりたくありません カジノは必要ありません | 参考 | |
| 751 | 人間の心の底にある罪の意識を唆し、賭けごとカジノに手を染めたばかりに、奈落に落ちた人の涙から生じた収益で繁栄する横浜は見たくも無いし、住みたくもありません。 | 参考 | |
| 752 | 税収をみこむ、と市長はおっしゃいますが、しょせん、『人のお金の勝ち負け』で得られたお金が税収になるなど、どう考えてもおかしいと思います。 | 参考 | |
| 753 | 汚れた金で財政を補おうとすること自体間違っています。 | 参考 | |
| 754 | 「横浜にカジノ」は反対です。カジノはギャンブル依存症を生みます。市民を不幸にして得たお金による市政で私たちは安泰、安楽を得ようと思いません。横浜は明るく清新な文化都市のイメージを大切にしたいです。 | 参考 | |
| 755 | 公のこのような施設計画には絶対反対です。人間の心の底にある罪の意識を唆し、賭けごとカジノに手を染めたばかりに、奈落に落ちた人の涙から生じた収益で繁栄する横浜は見たくも無いし、住みたくもありません。 | 参考 | |
| 756 | 博打で負けたお金で市が潤う。こんなバカなことは止めて下さい。 | 参考 | |
| 757 | 賭け事で負けた人から得たお金で、市の財政をうるおすなんて健全な経済政策ではないと思います。 | 参考 | |
| 758 | カジノは賭博そのものです。賭博は市民の“不幸”で成り立ちます。市民の不幸に頼る経済では、地域をさびれさせ決して長続きしません。 | 参考 | |
| 759 | 人の不幸によって成り立つ産業がカジノです。カジノ（絶対反対）です。 | 参考 | |
| 760 | まとまった行楽施設がなく観光客を集める力が弱いのがMMなのでリゾート計画は解決策と思いますが、カジノは莫大な掛け金と報酬が渦巻き敗者は掛け金を取り戻すため、資金を使い続けて借金、暴力、犯罪、生活崩壊に直面する博打です。これを自治体が進めるのは、地元住民の負け金を当てにして増収増税を図ることに他なく言語道断です。まして博打（ギャンブル）は依存症が深刻で社会的損失が大きい個人的にも大変危険なものです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 761 | カジノは要らない。「依存症・治安対策」を素案に明記しているのが、IRの本質を表わしている。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 762 | 反対です。IRには反対。既にJRA（RailではなくRace）の馬券場で充分。他所必要なし。 | 参考 | |
| 763 | 横浜、みなとみらい地区のみならず、市内いずれの場所に於いても、カジノの開設は、絶対反対なり。賭博で、市財政の一部を、収入増との考えはナンセンス | 参考 | |
| 764 | 人の不幸の上に豊かな市民生活は絶対にありえません。どんなにことば巧くみお話されても、バクチはバクチです。 | 参考 | |
| 765 | 将来を見据えた横浜市での取り組みは「豊かで安全・安心な暮らしを維持」とし企業誘致、中小企業振興、商店街活性化の事業などと同様にIRカジノを位置づけることにしています。これらの事業とIRカジノは性格の違うものです。カジノは「人の懐からお金を吸い上げ胴元がもうける事業です」中小企業振興や商店街振興など、物作りや生活に必要な品物を作り販売することは違います。こうしたことからIRカジノは反対です。 | 参考 | |
| 766 | カジノは日本人の健全で歴史ある道徳を破壊するもので反対です。また、横浜市がカジノの収益をあてにして市政をする考えはまったく誤っています。今すぐ「カジノ誘置は中止」の判断をお願いします。 | 参考 | |
| 767 | IR、カジノは絶対反対です。ギャンブルに横浜市財政を依存するなど、もつての他です。 | 参考 | |
| 768 | 市長はどうしてもやりたいみたいですが依存者からまきあげた負け金で市が潤って良いのでしょうか？ | 参考 | |
| 769 | 将来の横浜市の財政をカジノに頼るのは非常に悲しい思いです。もっと建設的な内容にすべきです。 | 参考 | |
| 770 | 人が負けたお金を税収のあてにするというのは納得できません。 | 参考 | |
| 771 | カジノは、バクチです。国や県で、やることでは、ない。バクチのあがり、もうけようなんてはずかしい事です。絶対反対。 | 参考 | |
| 772 | 人の不幸・家庭崩壊に依存して将来の横浜を構想するという、市長とその周辺の考えには誰もが納得できない。 | 参考 | |
| 773 | カジノは賭け事ですよ。誰かが負けて損をして、その負けたお金が、カジノ収入の過半でしょう。健全ではないです！愛する横浜に目先のもうけ話でヘンな施設を造らないで下さい。 | 参考 | |
| 774 | 伝統ある横浜に、バクチでのお金を稼ぎその汚れた金で安易に市政を運営するような市長はいらない。横浜の港の聖地である山下ふ頭をギャンブルの業者に貸し出して、税収に充てることなど横浜らしくない。安易な税収を得ることを再考しよう。 | 参考 | |
| 775 | IRには絶対反対です！人が損したお金で市の財政を賄うなんて。それを政治と言えるのでしょうか！ | 参考 | |
| 776 | 市民の財産まきあげ、依存症への落とし穴のしかけ作り大反対！ | 参考 | |
| 777 | カジノは「人の懐からお金を吸い上げ胴元がもうける事業です」。これは宝くじにも云える事です。よって横浜市に「カジノいらない」の事に賛成です。 | 参考 | |
| 778 | カジノで負けて不幸になる方が存在しないと、なり立たない事業ではないでしょうか。そのような事業に市の財政を投入することに疑問を感じます。 | 参考 | |
| 779 | 税収のあり方にも市長の考え方に賛同できません。少子高齢化が進行するのは事実かと思いますが、だからと言って人の不幸が税収の前提になっていることには反対です。 | 参考 | |
| 780 | 反社会的勢力の人達がカジノをやると犯罪となるのに、横浜市がIRでカジノをやると合法になるのは何故ですか？ | 参考 | |
| 781 | お客様の損金を市の財政に入れるのは持続可能ではないと思います。 | 参考 | |
| 782 | ギャンブルで儲けたお金で、市の財政がうるおうというのでしょうか。それは失う人からのものです。保険で依存症の治療などとは本末転倒。地道に、無駄を省いて、市の経済を健全化して下さい。華やかで、羽振りの良いカジノは映画の中だけで見るもの、私たちの「ヨコハマ」にカジノはいりません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 783 | 人の不幸を元手にした税金を自治体の収益にすること自体、間違っています。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 784 | カジノ誘致に反対です。カジノで生産的なもの生み出さず依存症を増やすだけです。IRのために整備のためと税金を使おうとしています。 | 参考 | |
| 785 | カジノを含むことに同意できません。人の不幸を前提とした経済活動など横浜市がすべきでないと考えます | 参考 | |
| 786 | カジノは周知のとおり賭博であり、刑法上は犯罪である。その犯罪を罪に問われないために敢えて立法措置を講じて合法化すること自体が倫理に著しく反する。 | 参考 | |
| 787 | カジノは、「人の懐からお金をすい上げ、胴元がもうける事業です」中小企業振興や商店街振興など物作りや生活に必要な品物を作り販売することとは違います。IRカジノは反対です。 | 参考 | |
| 788 | カジノなどおシャレに言いますが、「ばくち」だと思います。弱い者が、お金をまきあげられて泣くのが常です。庶民が、横浜市という公的な機関にお金をまきあげられて市がうるおうのは市長の言うところの魅力ある横浜のあるべき姿でしょうか。横浜の明るい未来はばくちで誰かを泣かせて得た金で作れないのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 789 | 賭場を作り賭博をする事業は博打産業です 絶対にその為の手を横浜市がかしてはいけないと思います その様な利益で市の財政を作るなんて云うことは、カジノ事業者にとっては永久に横浜市にへばりつくことになると思います。 | 参考 | |
| 790 | カジノは反対です。今まで、平和にくらしていたのに突然のカジノ！気持が変になりそうです。横浜にカジノはいらないです。カジノで横浜の財政を良くするなんて、横浜で生まれ育った人間として、とても考えられません。市長、もう少し、ながい目で、考えて下さい。 | 参考 | |
| 791 | IRに名を借りたギャンブル施設は不要です。一部の人は大もうけするのだから日本人（横浜人）の多くが、不幸になる。（金欠と病気）学園都市横浜にギャンブル施設は要りません。真面目に物事を考えて下さい。軽々にうまい話に乗るな！ | 参考 | |
| 792 | 人間の弱さを利用するような（IR）カジノを横浜市が中心になって進めようとする事を市民として大変心配しています。市の財政のために必要な事を目的にしているようですがもう少し市の指導者の皆様は心を大きくして市民の幸せに立って努力して下さい 市民は必ず理解するはずです。カジノを止めるために市民一人一人が力を合せて頑張る時です | 参考 | |
| 793 | やがて少子化になるからカジノで稼ぐお金を市の運営をしよう、というのが心もとないし、だらしのない未来への計画ではないのでしょうか。カジノの売り上げでやるなどもってのほかです。まわりでもカジノの反対の声が大勢になっているように思います。 | 参考 | |
| 794 | 善良な市民をカジノ（賭博）に巻き込まないで！汗水たらして得たお金を一瞬にして奪ってしまうカジノ（賭博）だけは作らないで！不幸になる人が増えてしまうのではないかと考えます。 | 参考 | |
| 795 | “ミナト・ヨコハマ”を“バクチ・ヨコハマ”と変えるのは、市民は泣きます。銭が無いから稼ぐのは賭博しかないとは浅はかな事よと考えます。 | 参考 | |
| 796 | 又人の負けた金などで、どんな事業をするのですか。 | 参考 | |
| 797 | 賭場を作り賭博をする事業は博打産業です 絶対にその為の手を横浜市がかしてはいけないと思います その様な利益で市の財政を作るなんて云うことは、カジノ事業者にとっては永久に横浜市にへばりつくことになると思います。 | 参考 | |
| 798 | カジノは反対です。今まで、平和にくらしていたのに突然のカジノ！気持が変になりそうです。横浜にカジノはいらないです。カジノで横浜の財政を良くするなんて、横浜で生まれ育った人間として、とても考えられません。市長、もう少し、ながい目で、考えて下さい。 | 参考 | |
| 799 | 横浜にカジノは要らないです！生活を破壊する危険性ははらむカジノ誘致は絶対に反対です。人の不幸の上に成り立つ政策は愚の骨頂です。 | 参考 | |
| 800 | カジノ、大反対です。負けが原資、人の不幸の上に成り立つ未来はいらない。 | 参考 | |
| 801 | 依存症が必発する、その人達の負け金がカジノの収入になる為反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 802 | 横浜IRには反対です。カジノは賭博です。必ず不幸になる人が出ます。どれかの不幸から生まれたお金を市の財政にあてるなどのもつてのほかです。これでは、市民の暮らしが豊かになるなどとは言えません。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用していただいている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、77〉 |
| 803 | 横浜にカジノ（賭博場）を作らないでほしいです。お願い致します。いつまでも情緒のある美しい横浜であってほしい。善良な市民をカジノ（賭博）に巻き込まないで！汗水たらして得たお金を一瞬にして奪ってしまうカジノ（賭博）だけは作らないで！不幸になる人が増えてしまうのではないかと考えます。 | 参考 | |
| 804 | カジノは人を不幸にするだけです。カジノの収益から税収が上がる？カジノ業者の利益は圧倒的多くのカジノにはまりこんだ人の損失から生れるものです。 | 参考 | |
| 805 | 横浜にカジノ導入は反対です。ギャンブル依存症をつくりだし人の懐からお金を吸い上げ市の財政をつくることは、本末転倒です。 | 参考 | |
| 806 | カジノ誘致に反対します。カジノは何も生産的なものを産み出さず、客に負けさせることで成り立つビジネスです。 | 参考 | |
| 807 | カジノは反対です。、港が賭博場になり、税収増にしようだなんて考え方がまちがっています。 | 参考 | |
| 808 | 「人の不幸」＝「賭け事による巻き上げ」で、横浜市の経済成長に資するとするなど、考えることが全く「貧相」です。 | 参考 | |
| 809 | カジノを含むIRの方向性には反対です。カジノは、人の不幸を踏み台にして成り立つものです。賭博客の負け分が収益の柱となります。ギャンブルにはまった人や外国人観光客らの“散財”に期待し、他人の不幸や不運を踏み台にするような成長戦略は極めて不健全です。 | 参考 | |
| 810 | 横浜の財政運営がこんな博打の金を頼りにするような市政運営では大変困る。 | 参考 | |
| 811 | 統合型リゾートと言えば聞こえは良いが、賭博での収入を目的にした施設ではないのか、賭博は刑法で禁じられています。やっちはいけません。やらせてもいけません。 | 参考 | |
| 812 | 他人なら、不幸になっても良いとお考えですか。不幸になる人、負ける人のお金で増収を考えるのは、間違いです。 | 参考 | |
| 813 | IR型カジノ誘致に反対です。カジノは何も生産的なものを産み出さず、客に負けさせること、つまり人の不幸によって成り立つビジネスです。 | 参考 | |
| 814 | カジノは反対です。無ければトラブルやそれに対する対策も必要ありません。 | 参考 | |
| 815 | 他人の懐だけを狙った施設で市民は豊かな暮らしはできません。リーダーは目先の豊かさではなく、安心・安全な豊かさを考えて下さい。 | 参考 | |
| 816 | カジノ施設を含むIRには反対です。カジノはパクチです。 | 参考 | |
| 817 | 賭博は幸福になれる人よりも不幸になる人が多くなると思われま す 人の不幸での収入で生活が成立すると思われま せん 横浜はそれではいけません | 参考 | |
| 818 | カジノは賭博そのものです。賭博は市民の“不幸”で成り立ちます。市民の不幸に頼る経済では、地域をさびれさせ決して長続きしません。止めて！ | 参考 | |
| 819 | 依存症が増れば失業、家庭崩壊による生活保護費の増加、自治体負担は、どう考えるのか？ | 参考 | |
| 820 | IRには絶対反対 理由は、若い人達 特に幼い子供達にこんな負の遺産を作った仲間だと思われたくないから。人間個々人は意志の強い人もいるが大半は弱い人が多く、その人達がギャンブル依存症になる可能性があり、結果として家相が壊れ社会が壊れ（医療費の増加、犯罪の増加etc…）るのではないかと心配 そもそも何でそんなにお金が必要なのか？誰かが言っていた”身の丈に合った”自治体運営に知恵を使って下さい。 | 参考 | |
| 821 | 大きなお金が動くということは、ギャンブル依存症も増大し、生活環境もこわされます。ですから健全な税収の方法を考えて頂きたいです。 | 参考 | |
| 822 | 私はカジノには反対です カジノと言えば聞こえはいいですが賭博ですよ。ね。ヤクザが行なう賭博とどこがちがうのでしょうか？人の負けたお金で財政を立て直されてもちっとも嬉しくありません もっと横浜らしいやり方があるのではないのでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 823 | 横浜にカジノはいらない！！IR施設の敷地のわずか3%だけがカジノと言っていますがここでの収益は全施設の80%にもなります。つまりこれは全てギャンブルで負けた客からいただくお金です。この様な形で得たお金を成長戦略に組み込むことはきわめて不健全と考えます。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前年から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、77〉 |
| 824 | 賭博の上前をはねた金で福祉、子育て、医療、教育に金を使って誰が喜ぶと思えますか？カジノ誘致に断固反対します。 | 参考 | |
| 825 | カジノ客の負け金で市の財政を潤そうというのは、浅はかな考え方です。 | 参考 | |
| 826 | 治安措置をやらなければ成り立たない事業の不健全性 | 参考 | |
| 827 | ギャンブル依存症者の多発を前提にした事業の不健全性、市財政の増収をカジノ収益に期待する不健全性 | 参考 | |
| 828 | カジノで税金の補填をしてほしくありません カジノ誘致には断固反対です。 | 参考 | |
| 829 | 税収減により市民に負担が増えても、カジノによって不幸な人を生み出すIRは要りません。 | 参考 | |
| 830 | 人の不幸によって発生する“トバク”のわけまえ、にすぎる様な貧しい市民力ではありません！カジノにたよって横浜の未来を設計するのは、あまりにも市民の気持ちとかけ離れたものです。 | 参考 | |
| 831 | 客が損をしたお金で財政を賄うという考えはまちがっている。将来の子どものためにも絶対にカジノを誘致してはならない | 参考 | |
| 832 | 人を不幸に、おとしいれる事を前提とした、商売は、もつてのほかです。カジノは、絶対反対！ | 参考 | |
| 833 | ギャンブルでの掛け金の上がりやを当てにしたようなものが、まっとうなビジネスモデルや成長戦略であるはずがありません。 | 参考 | |
| 834 | 人を不幸に、おとしいれる事を前提とした、商売は、もつてのほかです。カジノは、絶対反対！命を、かけて、カジノは、阻止します。 | 参考 | |
| 835 | 経済や雇用の強化につながることも説明されていますが、賭博行為に依拠して経済効果や雇用を生み出すなどということに疑念を抱かざるを得ません。 | 参考 | |
| 836 | 私もカジノは絶対反対です。カジノは人の不幸で利益を得ているからです。借金で生活困難になる人も家庭崩壊も増えると思います。 | 参考 | |
| 837 | パチンコ依存症で苦しんでいる人が沢山いる中、又々増やすつもりですか。依存症の人からお金をまき上げて横浜を豊かにしても私はうれしくありません。子供達に、アソコは「こわい所」だよと教えるより、夢ある所と言える様な場所にしてほしいです。 | 参考 | |
| 838 | カジノは賭博です。必ず負けた人が出て、それが、収益になっていくなんて、健全な経済社会の行うことではありません。 | 参考 | |
| 839 | 反対です カジノはまけた人のお金でもうけている→これを市政につかうなどとてもない | 参考 | |
| 840 | カジノは絶対反対です。横浜にも全国にもいらないです。愛すべき横浜にギャンブルであるカジノはふさわしくありません。それで市の財政を立て直すなんておかしいです。絶対反対です！！ | 参考 | |
| 841 | カジノがとばくであり、負けたお金が収益になることに反対しています。将来を見据えた横浜市の道は、住民の自治と安全、安心な暮らしです。 | 参考 | |
| 842 | 市の財政が破綻常態に瀕している事は分りますが、バクチを推奨して迄は行き過ぎ | 参考 | |
| 843 | 賭博行為・賭場開帳は、いうまでもなく犯罪行為。国が特区として認めてくれるから横浜市としてもこれに乗るといのは、市民として誠に恥ずかしい。経済成長を追い求める時代ではもはやない。人々の幸福感もこれからは心の時代だ。 | 参考 | |
| 844 | 日本人の武士道精神、日本の美風を子々孫々の代まで損なうこの素案には反対する。バクチで得た（人の不幸で得た）お金を市の財政としてあてにする、貧相な考えはやめなさい。 | 参考 | |
| 845 | 横浜の「カジノ」政策は、絶体やらないで下さい。かけごとで、市民の命を守れる事は、ありません。明日の米も買えない。病気で医療費が払えぬ人々が、居ることを忘れて下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 846 | カジノは他人の不幸によって利益を得るモラルに反するギャンブルです。絶対反対です。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 847 | カジノは博打。博打の収益＝負た人の収益で市の財政を賄うなんて、絶対反対！！カジノは止める！！ | 参考 | |
| 848 | ダメ、不良な社会でいいわけない。こんな、構想しか出来ないの。もっと、まじめに考えて。 | 参考 | |
| 849 | 横浜に絶対にIRカジノはいりません。賭博で市財政に収益を繰り込めるのは健全な財政政策に逆行する。 | 参考 | |
| 850 | 負け金で税金が豊かになりますか。依存症を増やして良心は痛まないのですか。私は、横浜市に住んでいる誇りがあります。横浜がカジノで汚れる感じがしてなりません。「お願いですから横浜にカジノはつくらないで下さい」切にお願いします。 | 参考 | |
| 851 | IRの中にカジノが入るのは絶対反対です。なぜ、カジノの様なものが必要なのでしょう？財政収入を増やすと言ってもバクチの稼ぎでそれを補うのは変です。税金は、まともにキチンと（脱税等がない様）又、所得の多い人の税率を上げるなどして、徴収すべきだと思います。 | 参考 | |
| 852 | IR事業は違法、大義なし 横浜にIRを誘致することにまったく大義はない。カジノで生み出される儲けの源泉は何かを問い直せ。カジノは賭博であり、刑法違反である。「IR整備法」でもって、無理やりIRの一部であればそれが阻却されることにはしたが、まやかしであることは明らかである。公有地をカジノ事業者に利用させることは地方自治体の義務に正面から背く行為である。 | 参考 | |
| 853 | 市の増収のものが、人の不幸の上になりたっている。カジノで負ける人が出る計算で市の収入が増えるというなんとなさけないことです。 | 参考 | |
| 854 | 横浜市にIRカジノを誘致しないでください。地方自治法には、自治体の役割として「住民の福祉の増進を図ることを基本」としています。この点から、カジノを含むIRの誘致は逸脱しています。国で特例として法制化されたものの多くの多くの問題点を持っています。結局は人を不幸にする賭博というものです。多くの市民が反対・懸念を持っているカジノを行うべきではありません。 | 参考 | |
| 855 | 賭博敗者の損失で横浜市の財政を向上させるという魂胆が情けない。 | 参考 | |
| 856 | 新型コロナウイルスへの対策に世界が困難を深めているこのときに日本での初期対応を誤ったクルーズ船措置の元凶となって、ウイルスヨコハマと呼ばれる地でバクチ場の設置調査など正気とは言えないだろ。未来をカジノに賭ける市に住みたいと思うか | 参考 | |
| 857 | 横浜の未来を他人の不幸から得た利益で汚してほしくありません。 | 参考 | |
| 858 | 素案には“健全なカジノ”と何度も書かれているが日本ではとばくは健全ではないから禁止されてきたのであり、現在も原則禁止なのです。入場料、カジノ、面積、入場制限など、実際には世界一厳しいなどとは言えない。 | 参考 | |
| 859 | 利用される弱者を作らないで下さい。行政がその仕組みづくりに加担することは、道徳上、人道上、許されません。 | 参考 | |
| 860 | カジノ業者がもうかり、横浜市の税金があるとすれば負けた人が多く、財産や預金などを、なくすこととなります。カジノにかけるお金を将来のにない手である子供達に投資しましょう。かけ事で、家庭崩壊は見たくありません。 | 参考 | |
| 861 | まず市民の6割以上が反対しているIRについて「方向性を」と求めること、おかしいです。カジノを含むIRには反対です！説明会に参加しましたが、市が8000億ももうけるということは、それだけ（それ以上に）負ける人がいるということですよ。 | 参考 | |
| 862 | 人の不幸をもとにしてそのお金で市政を行なうなど、こんな恐ろしいことはありません。そんなお金で教育、保育、社会保障をするなど考えられません。ギャンブル依存症対策、作らないことが最大の対策です。横浜の魅力をこわしてしまうようなことは絶対、やめてください。 | 参考 | |
| 863 | 私は、カジノを横浜に作ることに反対です。カジノは金銭をかけて、勝負を争う遊戯であるが、結局、負けた者の損により、勝った者が潤うだけで、皆の幸せは、つながらない。 | 参考 | |
| 864 | カジノはギャンブルです。人から巻き上げたお金で財政に充てるとは言語道断。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|---|
| 865 | 基本的に「カジノ」に反対です。市民の憩いの場所、観光場所に、「依存症」対策に税金をかけてまで、環境悪くすることはない！ | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々には、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 866 | 横浜カジノは反対です。港横浜は海外からもたくさん来られる自慢できる市です。カジノで横浜をけがしたくありません。カジノをやる人も、そこで働く人も、幸せにはなりません。そんな市の財政で老人福祉をしてほしくありません。 | 参考 | |
| 867 | IRでの不健康な横浜市発展など望みません。次世代、その次の世代が健康で元気に力強く目を輝かせながら夢を抱いて生き抜いていけるような気候風土の横浜市を手渡せるようにという思いで、未来の横浜市・横浜市民の健全な発展のためにIRを撤回してください。 | 参考 | |
| 868 | パチンコ、競輪・競馬等、現状でもギャンブル依存症が大きな問題になっています。さらなる依存症対策をしなければならぬカジノの設置はまったく理解されません。そもそも、市の財政を寺銭で稼ごうという考え方がいけません。横浜の未来を担う子供たちにとっても、教育的ではありません。 | 参考 | |
| 869 | 人間性を高めるためには無く、貶めることにしかならない！反対する。 | 参考 | |
| 870 | 人の不幸によって成り立つ産業、読んだだけでもおそろしいです。 | 参考 | |
| 871 | 依存症対策が万全で、依存症患者が出なければ、カジノはもうからないはずであり、そうなれば市の税収増もない。カジノを含むIR（その収入の7割はカジノ）による800億から1200億の税収と、万全の依存症対策と言うのは、そもそも矛盾しており、両立しない話である。横浜にカジノはいらない。作ってはならない。 | 参考 | |
| 872 | IRと言ってごまかさないで！！横浜にカジノはいりません！！バクチで市政財政を考えると考えるなんて許しがたい！！もっと健全な政策をすべきです。市民のためにと考えるならカジノは止めるべきです。 | 参考 | |
| 873 | カジノでもうけたお金で市政を豊かにしてもうれしくないです。 | 参考 | |
| 874 | 人の不幸で得たお金ではみんながしあわせにはなりません。あなたの横浜ではありません。多くの市民が反対しているIR（カジノ）は、進めるべきではありません。 | 参考 | |
| 875 | 市民の為の財政を市民の借金まみれの上に成り立たせるなんてありえませぬ。健全な経済政策をもてない市政という汚名を残す | 参考 | |
| 876 | 市民の為の財政を市民の借金まみれの上に成り立たせるなんてありえませぬ。健全な経済政策をもてない市政という汚名を残す | 参考 | |
| 877 | ギャンブル依存症者を増やしてまで、市民の金をまきあげ、財源にしようする発想が、間違いです。「ギャンブルヨコハマ」の街に変質させるこのやり方に大反対です。 | 参考 | |
| 878 | 横浜にカジノはいりません。カジノは人の不幸を生む要素の強いものです。もうけるのは胴元、その一部で横浜市財政もまかなう等とんでもない事と思います。 | 参考 | |
| 879 | 誰かを不幸にして獲得した収入を当てにするくらいなら、質素な生活のままでもよい。ギャンブルに横浜の繁栄を委ねるなど以ての外である。これまで帰省や他府県へ旅行した際、横浜に住んでいると話すと、羨ましがられたものである。しかし、IR誘致でカジノができたとしたら、「横浜の財政はカジノ依存ですってね」と蔑まれ、「カジノ依存症横浜」の汚名を頂くことになるかも知れない。市長にお願いしたい。これまで日本中から羨ましがられた横浜を守るために、どうかIR誘致を撤回して下さることを心よりお願いしたい。 | 参考 | |
| 880 | 横浜市民のお金をギャンブルで吸い上げ、ギャンブル依存症を増やすことがわかっているのに、なぜ誘致したいのですか？ | 参考 | |
| 881 | 市長は、カジノから多くの収入が得られると言いますが、それは横浜市民からしぼり上げたお金です。こんな不道德な収入を許すことはできません。 | 参考 | |
| 882 | 人の不幸を上台にしてのIRカジノ事業はどうしても賛成できません。 | 参考 | |
| 883 | カジノは反対です。ばくちで人から巻き上げたお金で市政を行うことは、まちがっているからです。やめるべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 884 | 横浜のイメージを壊すI R (カジノ) 施設の設置に反対です。刑法で禁ずる賭博行為を国が容認する法律を作ったからと言って、その行為に変わりはなく、カジノの収益(市民等の負け金)で、市の財政を補填するなどは市政の墮落です。依存症対策より依存症に落ち入らないようにするのが政治でしょう。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用していただいている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型I Rには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 |
| 885 | 再度、カジノ建設によるリスクを考えて下さい。横浜がギャンブル依存者を踏み台にしようとしたお金の成り立ちが横浜が作られていくことに我慢できません。悲惨な人たちを見たくありません。みんな平和に笑顔が広がる横浜にして下さい。 | 参考 | 日本型I Rが参考としているシンガポールでは、I Rの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、77〉 |
| 886 | カジノには絶対反対です。予防ができないギャンブル依存症を発症させる事がわかっているカジノを何故誘致するのでしょか。市長は市大病院と連携すると言っていますが、依存症の治療はかなり困難です。DV、虐待や家庭崩壊など、本人だけでなく家族や周囲の人々の人生をメチャクチャにしています。カジノには絶対反対です。 | 参考 | |
| 887 | カジノ依存症対策をしっかりやるというのが、依存症をつくる大もとをやめれば、対策を必要ありません。 | 参考 | |
| 888 | みなと横浜にカジノ(博打)はいらない 横浜市民の不幸(博打のあがり)を原資にして教育や福祉に使うという発想が全く理解できない。いつの時代でも、働いて汗をかき税金を納める社会こそ健全な横浜市ではないのか。 | 参考 | |
| 889 | みなと横浜にカジノ(博打)はいらない 横浜市民の不幸(博打のあがり)を原資にして教育や福祉に使うという発想が全く理解できない。いつの時代でも、働いて汗をかき税金を納める社会こそ健全な横浜市ではないのか。 | 参考 | |
| 890 | 横浜にカジノはいりません。カジノには反対です。少子高齢化で財政が減少して市の財政が大変なのは解りますが、カジノの利益を財政にするのは健全なものとは思えません。 | 参考 | |
| 891 | カジノをやって負けた人のお金で市の財政の補助にする考え方に反対です。それは経済とは言えません。カジノは法律で禁じられています。人の不幸を土台にして成り立っているのがI Rカジノ事業です。そんな悲しい・汚れた金は市の収入にはなりません。 | 参考 | |
| 892 | 「カジノを含むI・R」の誘致に反対します。理由を列記します。I・Rを誘致すれば、横浜市の税収が800億円~1200億円増えると言っていますが、I・Rの収益の大半はカジノの売り上げとのこと。賭博で負けた人の財布をあてにして横浜市への利益を得ようという考えは、道義的にもおかしいのではないかと考えます。 | 参考 | |
| 893 | カジノは、何も生産的なものを産み出さず、客に負けさせることによって成り立つビジネスです。たとえ、カジノによって税収が増え、それが、福祉事業に使われたとしても、人の不幸によって得た税収で、福祉を受けるなど望みません。 | 参考 | |
| 894 | カジノは反対です。人の不幸でのかつせい化はありえない。 | 参考 | |
| 895 | 横浜I R(カジノ)の経済的効果はカジノで負けた人がいることで成り立ちます。誰かの不幸から掠めとったことでの収入で、横浜市の少子高齢者政策が進んだとしても、ギャンブル依存症が増えることも含めて、横浜市全体としては不幸になるばかりです。 | 参考 | |
| 896 | 他国のマネはやめて下さい。カジノでの収入をたよりにするのは正しい市政運営ではありません。カジノは全部反対します! | 参考 | |
| 897 | タンス預金を国内の投資に向けさせることが日本のためではないのですか? これは亡国の政策だと思います。 | 参考 | |
| 898 | 福祉・社会保障の財源として、I Rの誘致は絶対にあってはならない。負ける人がいなければ儲からない財源なんて、常識では考えられない。 | 参考 | |
| 899 | カジノを含むI Rの事業には反対です。カジノへの「依存症」は国も横浜市も想定しています。「世界最高水準の規制」を設けなければならないようなものを自治体がつくるというのはあきれます。財政再建が必要だとしても家庭崩壊から生み出されるお金が原資だとすれば横浜市民として決して賛同できません。もっと健全な、市民が我慢できるような事業計画にしてください。カジノはダメです。 | 参考 | |
| 900 | 私はカジノの導入には絶対反対です。市の資料によっても利用者は8割以上が日本人で、市の財政を豊かにするといっても、その金は利用者の(日本人の)「負け金」がもとになるからです。その利用者が依存症になる可能性が大です。素案には依存症対策に大きなスペースを使っています。依存症になった多くの日本人の「負け金」で市の財政を豊かにするなどということは許せません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 901 | カジノは「人の懐からお金を吸い上げ胴元がもうける事業です。その上前をハネて財政にするのですか？絶対止めて下さい。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々には、節度を持ってこれらを利用していただく一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 902 | ギャンブルによって成り立つIRは決して横浜に作ってはならない。社会的負担がどれだけ必要になるか真面目に検討すれば如何にこの計画が杜撰なものか判る筈である。 | 参考 | |
| 903 | 横浜にカジノはいりません。市の増収のもと、人の不幸から成るものと思います。 | 参考 | |
| 904 | IRの誘致に強く反対します。IRはカジノで成り立つ施設です（市長の説明）。カジノは賭博です。賭博は人々が金を掛けて、損をすることで成り立つ商売です。つまり人の不幸で成り立つ商売です。横浜市が、人の不幸を当てにして、税収を考える、道徳上許されない事です。子ども達に説明できません。 | 参考 | |
| 905 | 最初から、依存症対策や治安対策が必要なことが分かっているながら、どうしてIRの誘致をするのでしょうか？許せません。 | 参考 | |
| 906 | 私は、IR（カジノ）の誘致には大反対です。市では、カジノで税収を増やし財政豊かな市にしたいようですが、とてもおかしな話だと思います。カジノで税収を増やすには、カジノで損をする人が大勢でないといけない訳ですよ。人の不幸を当てにした税収増を考えるなんて、真つ当な政治のやることではないと思います。入ってくる税金の中で最も市民の必要としていることを優先順にやるべきです。 | 参考 | |
| 907 | カジノは、その性格からして、都市の健全な発展と、未来の市民の生活を守る事とに根本的に相反するものです。カジノで人々が負けるお金が横浜市収入の源になる事自体健全ではないところに、バクチで生活を破壊される人が居る事は周知の事実です | 参考 | |
| 908 | IR・IRと言っていますがカジノは絶対反対です。ギャンブル依存症の対策を取ると言う事は、ギャンブル依存症になる人が少なからずいると言う事です。市政に「とばく」のお金を使うなど考えられません。 | 参考 | |
| 909 | ギャンブルの末路を知っている当局が、カジノと云うギャンブルに手を出し、失敗するというのですか。IR（統合型リゾート）という仮面をかぶって賭博場（カジノ）をつくるのは市民をごまし、愚ろうするものです | 参考 | |
| 910 | 横浜市にIRカジノは反対です。人の不幸の上になんかたたないIRカジノはいりません。 | 参考 | |
| 911 | 市長は、今回の導入について、今後の横浜市の歳入減を「カジノ」で補おうということのようですが、その考え方は市長の思想に反するのではないですか。「カジノ」による大きな金額は、多くの人達の甚だしい不幸の上に生じるものです。それを市政の収入にするとすることは、市民のよりよい生活を築き上げようという市政のあり方からいって、甚だしく逆行しているものです。市政のためには、市民を主人公に誰もが住みやすいためのものにすべきで、そのために真正面から考えるべきで、人の不幸を前提にすべきではありません。以上により、「カジノ」の導入の政策を放棄していただきたい。 | 参考 | |
| 912 | 「カジノ」は賭博です。賭博は犯罪の元になるということで、市民の安寧のために認められないものであることは、ご存じのとおりです。したがって、競馬、競輪等は法律によって規制されていることは、ご存じのとおりです。そのように賭博は規制されていることを承知されていらっしゃると思います。 | 参考 | |
| 913 | 人の金を取っちゃだめ。ぜったい+になんないと思う。 | 参考 | |
| 914 | とばくで税収をまかなうのは人道に反する。 | 参考 | |
| 915 | 横浜にカジノは作らないでください。お客に負けさせて成り立つビジネスはあり得ません。もし、自分の息子が依存症（ギャンブル）になったらと思うとゾッとします。 | 参考 | |
| 916 | カジノの収益は博打に負けた人の賭金です。換言すれば人の不幸から得た収益を市の財政の一助にするなんてことはおよそ、まともな市が行うことではありません。健全な市政のため、努力しようではありませんか。 | 参考 | |
| 917 | 人の負け金を吸い上げて横浜市民のために使うなど、とうてい市長のやることではありません。 | 参考 | |
| 918 | カジノ賭博の収入源は全て市民の掛金である。市民の懐の金を減らし市の財源に当てるなど、市長のやるべきことではない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|--|
| 919 | ギャンブルを、事業として市の収入にするようなことは行なって欲しくない。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 920 | 負けが原資、人の不幸の上に成り立つ未来を市民は危惧しています。 | 参考 | |
| 921 | 800～1200億円といわれる税収の魅力にとりつかれカジノの誘致を認めようとしている市長に失望しています。その前提となる財源は、人々がカジノで負けて背負ったお金の一部、悪魔のお金です。たとえ、貧しくても清らかな横浜でいて下さい。私の愛するふるさと、横浜を賭博の観光地にしないで下さい。私の強い願いです。 | 参考 | |
| 922 | 横浜にIRができれば…人の不幸の上に横浜が成り立つなんてことになったら横浜のイメージダウンです。カジノを誘致することには大反対です。 | 参考 | |
| 923 | 市長は税収を上げると言うが、市民の財産を賭博で巻き上げてつくる財政など必要ありません。 | 参考 | |
| 924 | ギャンブルの収益で市財政をまかなうことは健全とは言えません。近隣にも大きな影響を与えます。カジノ誘致には絶対反対です。 | 参考 | |
| 925 | 「人の不幸」を増収とすることは絶対に反対です。 | 参考 | |
| 926 | 横浜にカジノは絶対いらない。人を泣かせて利益を得たお金の誰がよるこんで使えるのでしょうか。 | 参考 | |
| 927 | 横浜カジノは絶対反対です。横浜につくることIRをつくることは、横浜市の収入をふやすためという理由で、とばくを推進してそのお金で横浜がうるおっても悲しいです。そんなお金をあてにしないでください。 | 参考 | |
| 928 | 多くの人の泣いたお金の、私達横浜市民がうるおっても少しも嬉しくありません。今一度、考え直して下さい。 | 参考 | |
| 929 | 依存症も大きな不安です。最高水準の依存症対策をといわれているようですが、そもそも対策をとらなければならないIRを実施するのはどう考えてもおかしなことです。 | 参考 | |
| 930 | 他人の不幸の上になりたつ横浜の経済再生は間違いです。さらに、不幸な多くの日本人の財産が海外のカジノ業者の収入になります。 | 参考 | |
| 931 | 横浜市のカジノ誘致は反対します。町の治安が悪化する事 カジノの依存症になると同時に自己の破滅になる そして医療費の増化、すなわち経費がかかります。 | 参考 | |
| 932 | 市の財政のためということですが、人の不幸の上に成り立つ横浜市であっては、市民の一人として情無く、恥ずかしく、憤りに堪えません。 | 参考 | |
| 933 | 横浜IR（統合型リゾート）施設の中にカジノが加わる事に反対いたします。生産性の無いギャンブル利益は税金としてもふさわしくないと考えます。 | 参考 | |
| 934 | ギャンブルで動くお金は多額でも価値ある富として人を幸福に導いてくれるお金ではありません。もっと、まじめに横浜市民の幸福につながる政策を考えてください。カジノなんて許せません | 参考 | |
| 935 | 横浜にIRを招致するのは反対です。現在依存症で苦しんでいる人が多いなか、大きな賭博場を公約な資金を費って造ることは絶対に良くないです。 | 参考 | |
| 936 | カジノ隠しのIRは反対 IRはカジノあつてのIRです。そのカジノは、犯罪で、刑法で禁止されています。「とばく」は人間を破滅させるからです。 | 参考 | |
| 937 | 人の不幸によってうみだされた「よごれた税金」で、市民が幸せになると思いますが。まして、子どもたちは、「歴史のある街横浜」から「犯罪と依存症の街、横浜」で生きて行くことになります。 | 参考 | |
| 938 | カジノは反対です。人の負けたお金の市の財政をうるおすなんておかしいです。自治体のやる事ではありません。 | 参考 | |
| 939 | コロナもしかり、ギャンブルについては研究会を立ち上げ対策を講じていくなど…きちんと計画がなされているか疑問です。こんなIRなんてやめて下さい。はこものはいりません。 | 参考 | |
| 940 | トバクで市の財政を豊かにするとは、もつての外。山下公園のギャンブル依存症の方々がたむろする事は許せません。私たちの心の公園です。市民の意見を聞いて下さい。町がこわれま | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 941 | 人の犠牲の上に得た税金で運営される、国・市は、三流国（市）です。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用していただいている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 942 | 賭博の常習者をふやし、彼らの不幸の上になりたつカジノの誘致は絶対反対です。 | 参考 | |
| 943 | 全面的に反対します。バクチで得た金で実施する行政は、汚れたものです。いつまでもきれいな横浜市であってほしい。不浄な金で何をやられても不愉快いで、不快です。横浜市を汚さないでほしい。 | 参考 | |
| 944 | 人の不幸と悲劇の上に成り立つカジノビジネスを自治体が率先するのは、言語道断。 | 参考 | |
| 945 | 犯罪とされているもので、財政を建て直すなど、子どもにどう説明する、できるか。 | 参考 | |
| 946 | 人の不幸につけ込むカジノで儲けるのはとんでもないことです。 | 参考 | |
| 947 | カジノとは賭場、つまり博打を行う場所です。博打は人間性の弱味につけこんで人間を悪事に誘いこみ、多くの場合人間を滅ぼすというもので東西古今犯罪とされ、国法によって禁止されてきました。日本でも刑法に明確な規定があります。このようなものを世界最高水準を目指すIRの中で認める必要があるのでしょうか。素案でもカジノはファミリー層等の主要動線とは切離された配置とする旨の記載がありますが、これは他の諸施設とは関係がない●●の設備であることを認めたものです。本来ならばカジノは統合型リゾートからは排除すべきものです。 | 参考 | |
| 948 | 人口減少にて今後の市の財源が難しくなるからといってカジノでそれをまかなうというのはどうしても納得出来ません。ギャンブル依存者から吸い上げたお金で横浜市は決してうおうはずはありません。再度財政を見直し健全な方向に進んで欲しいと切に望みます。 | 参考 | |
| 949 | カジノは賭博場のことで、賭博は本来違法です。賭博を放置すれば人が真面目に働らく意欲を失い、そして依存症に陥るなど、ひいては社会全体が崩壊しかねません。 | 参考 | |
| 950 | 人の不幸を資源にする事業はやるべきではない。 | 参考 | |
| 951 | IRカジノは人を不幸にしまいます。横浜には必要ないです。反対します。 | 参考 | |
| 952 | 以下反対の理由を述べます。税収が増える側面と税からの支出の側面がある。深刻なギャンブル依存症の人を生み出すことで、カジノ業者の高利潤が生まれ、横浜市の税収も増えるという問題のある構造である。誰も人の不幸の上に立て、税収を増やすことは望んでいないことを真面目に検討すべきである。 | 参考 | |
| 953 | 韓国やオーストラリアの研究者の論文によるとカジノを導入してから数年すると依存症患者が生まれ、その治療や生活保障や治安対策費等で社会的コストが膨らみ、実質的には税収はマイナスになると試算している。 | 参考 | |
| 954 | 横浜IRに心底から強く反対します。どんなにきれいなパンフレットで“夢”を描いても、3%の面積の「カジノ」=とばくからの収入をあてにしているIRなんて許せない！カジノの収益は、客の負けたお金です。IRを成功させるためには、多くの日本人からお金をまき上げ、多くのギャンブル依存症者を生み出さなければならない。 | 参考 | |
| 955 | 私は、横浜にカジノはいらないと思います。カジノを誘致すれば市の収入が800億円から1200億円増えると言いますが、このためには、およそ6000億円、カジノで負ける人が出る勘定です。人の不幸に頼る経済では、地域を活性化することはできません。まさにギャンブル経済であり、横浜市政が目指す方向ではありません。 | 参考 | |
| 956 | 計画表には美辞麗句が並べられていますが、依存症対策、治安対策などにも多くのページが割かれているではありませんか。毒を承知で私達の愛する港横浜を巨大資本に売り渡し、劣化させる市長に怒りを感じています。 | 参考 | |
| 957 | 市民の意思を無視して強引に進める態度に本当に失望と怒りを感じています。計画表には美辞麗句が並べられていますが、依存症対策、治安対策などにも多くのページが割かれているではありませんか。毒を承知で私達の愛する港横浜を巨大資本に売り渡し、劣化させる市長に怒りを感じています。 | 参考 | |
| 958 | カジノについても、対策はなんとかしますという印象を受けるのみで期待出来るものではありません。そもそも横浜にカジノが必要な理由が不明瞭です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|--|------|--|
| 959 | 素案は、カジノを誘致すれば、最も多い想定で1200億円の増収がある説明しています。カジノ業者の収益は即ちお客の損失です。多くの方が沢山のお金を失うことによって業者は利益を得るのです。素案では、1R訪問者のうち日本人の割合は、6割から8割となっています。日本人つまり住民の懐からお金を巻き上げたカジノ事業者からの納付金をあてにするという考え方は。市民の不幸で増収を図る。これは、まともな自治体のやることではありません。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型1Rには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型1Rが参考としているシンガポールでは、1Rの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 960 | 素案では、ギャンブル依存症対策をしっかりやると書いてありますが、それこそ本末転倒の極みです。カジノを導入すればいくら対策を講じて、ギャンブル依存症患者が増え、大きな社会的損失が生じることは明らかです。ギャンブル依存症を心配するなら、カジノを誘致しないことではないでしょうか。 | 参考 | |
| 961 | 横浜1Rの計画に「カジノ」を含むことに反対します。現在公認されているギャンブルでさえ闇の部分は少なくありません。これ以上ギャンブルを増やしてはいけません。他人の金を巻き上げて得をしようという卑しい考えをリゾートに持ち込んではいけません。今回の「横浜1Rの方向性」に「カジノ」を含めることに強く反対します。 | 参考 | |
| 962 | 横浜1R統合型リゾートにカジノは不要。ギャンブル依存症対策の手間も費用も無駄を重ねている。 | 参考 | |
| 963 | カジノの収益を税金に回すという発想自体にも大反対です。 | 参考 | |
| 964 | カジノ誘致のどこが、地域住民の社会福祉向上につながるのだろうか。私は、カジノと社会福祉向上とは対極にある、相反するものと考えます。これは譲る譲らない問題ではない。カジノ誘致は住民の社会福祉向上を、生活的にも心理的にも圧迫する一語に尽きる。ましてカジノの上がり（人の不幸）で横浜市民の福祉向上を語るなど、決してあってはならないし、やってはならない。 | 参考 | |
| 965 | 労働の対価として資金を得るのではなく、金銭欲で群がった人々からお金を巻き上げる商売を国や市が主導することは、国民、市民にその行為を公認するのと同じことであり、悪しきモラルを生み出すので容認できません。 | 参考 | |
| 966 | カジノでお金を地元で落とし都市が繁栄すると裏腹に、お金を損失し破綻する人も存在するのです。そういった、いわばダーティなお金、不幸になった人のお金で横浜市が潤っているのでしょうか。 | 参考 | |
| 967 | 横浜型1R設置に反対です。人口減少と超高齢化という問題に、日本社会全体が立ち向かわなければならない課題だと認識しています。今後の厳しい財政状況を解決する方法のひとつとして、横浜市に「日本型1R」=カジノを整備するというのは間違っています。どこの1R施設もきれい事を言っても、その収益のほとんどがカジノに異存しています。横浜も同じでしょう。「健全なカジノ収入」などというものはありません。カジノはどこまでいっても「博打」「賭博」です。依存症対策を大げさにやればやるほど、その危険性が明らかです。「賭博?」「博打」の上がり、市財政を運営するという発想そのものが、市政を司るものとしては失格ではないでしょうか。 | 参考 | |
| 968 | カジノの負け、人の「不幸」をあてにした経済です。 | 参考 | |
| 969 | 賭博からの「アガリ」が市の財政に寄与することがあるとしても、市民がそれを喜ぶはずがありません。「横浜に住んでいます」と言って、「あ、カジノの街ね」と言われて誰が喜ぶでしょうか。誰かが損をされていて、それで財政がよくなるなんて義憤を感じる事です。いい面汚しです。 | 参考 | |
| 970 | カジノを含む「横浜1R」の設置に反対します。経済の活性化、観光の伸張のために、賭博行為を行う施設の設置は、許されません。カジノによって経済が潤うとすれば、それは、市民から「お金を巻き上げる」からに他ならず、ギャンブル依存症でない人を依存症に陥れ、治安の悪化も招くことは、既存のカジノの状況を見れば明らかです。「横浜市民の憩いの場」を「善良な市民が近寄ってはならない場」に変える政策を、反対致します。 | 参考 | |
| 971 | 人の不幸の上に成り立つ賭博産業を税金をあずかる地方自治体が推進してよいのでしょうか。 | 参考 | |
| 972 | 本当のお金持ちはカジノなんかしません。その割には、防犯・依存症対策の手間とコストがかかりなによりせつかくの横浜のイメージが壊れます。カジノは絶対反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|-----|---|------|---|
| 973 | カジノには絶対反対です。今でさえパチンコやアルコールや薬物の依存症の問題が何一つ解決出来ないのにこれ以上問題を増やしてどうするのでしょうか？ギャンブル依存症を軽く見過ぎています。依存症対策の最も有効な対策は、ギャンブル施設を作らない事です。ただでさえ医療保険の崩壊が言われているのに、なぜわざわざ依存症になる施設を作り対策を保険でするのでしょうか。 他人の不幸の上に成り立つカジノは横浜にも日本にも必要ありません。市民の為にカジノ断念を宣言して下さい。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 974 | 私は、カジノのもうけは市民の金を巻き上げたもので、決して誇れるものではないと思っています。 | 参考 | |
| 975 | カジノ誘致には絶対に反対である。同素案では、カジノ経営による市財政への改善効果など経済的なメリットばかりが強調されているが、要するに「賭博のあがり」を当てにした博徒の生活の容認に過ぎない。賭博の精神的社会的弊害のデメリットの方がより深刻である。市長には、たとえ厳しくとも、もっと健全でまともな計画で頑張してほしい。 | 参考 | |
| 976 | IR施設にカジノ場を併設し、遊戯施設・会議場・ホテル等を「カジノの収益」で賄うことを聞いています。IR施設建設費を含めて、カジノに来る顧客から莫大な収益を収奪しなければ経営が成り立たないでしょう！ 横浜市（市長）の「カジノ賭博場に訪れた客から金を巻き上げ、その金で市の財政に賄いたい」と言う不健全な考えが、そこに訪れた多くの横浜市民をカジノ依存症に仕立て上げてしまう最悪のシナリオが読み取れます。 | 参考 | |
| 977 | 横浜市IRカジノ構想案は美味しい面のみ掲載し、問題となる部分は何も発信していません。はじめからIRカジノありきで、構想を発表していて、依存症の客が市民の暮らしを豊かにするとは考えられません。 | 参考 | |
| 978 | IRはカジノです カジノは博打です 博打で利益をあげるということはそれ以上に泣く本人と家族が居るといことですからそんなことに金と頭を使うのではなくもっと真面目に市民の生活と未来を考えて下さい | 参考 | |
| 979 | 市はIRの利点に収入面をあげていますが、そもそもそのお金の出どころはカジノで負けた人達のお金です。カジノで負けた人達のお金で市が潤っても気持ちの良いものではないでしょう。 | 参考 | |
| 980 | 絶対に反対です。カジノがある街で、子育てをしたくないですし、将来子どもが大人になった時に住んでいてほしくないです。そもそも、ギャンブルで負けたお金で税収を賄うという考え方がおかしいです。 | 参考 | |
| 981 | IR内カジノの収益で横浜市の財政をまかなうという考え方は受け入れられません。カジノで負けた方のお金で豊かにはなりたくないという倫理は貫いてもらいたい。カジノは反対です。 | 参考 | |
| 982 | IR賛成 | 参考 | |
| 983 | 反対です。カジノ収益で経済活性化を図ることが不健全。モラル的にも間違っている。 | 参考 | |
| 984 | IRカジノ付き総合リゾート建設に反対します。説明の内容は、市の財政に経済効果など、都合の良い事だけを並べていました。その元になる膨大な負け金が無ければあり得ません。 | 参考 | |
| 985 | 統合型リゾートは博奕です。多額のお金を他人からむしり取って地獄に陥れる政策は狂った政策です。絶対に反対します。 | 参考 | |
| 986 | 素案については全く賛同できず、明確に反対を表明します。横浜市民が受ける経済的利益が、カジノの犠牲の上に成り立っており、そもそも倫理的に問題があると思慮します。カジノは全体からするとごく僅かとなりますが、金額の多寡の問題ではありません。 | 参考 | |
| 987 | 政治家が自らが政策を推進していくなかで、その地域の経済的繁栄を求めていくのは当然のことです。しかし、その施策の結果が市民にマイナスの効果が生じるもの、それもそのマイナスが大きくなるようなものは避けるべきです。古来、博打は避けるべきものとして、法律上も厳しく制限されてきました。ここに来て、横浜に博打場を導入するようなばかけた施策をとるような愚策を採用すべきではありません。 | 参考 | |
| 988 | 税収入がアップすると言っても、そのものが日本人の個人資産となれば、少子高齢化で福祉費が増大する中、カジノや依存症で資産を減らした高齢者や若者が増えるのであれば、社会の不安定化と、結局は福祉費（支出）の増加につながります。依存症、治安対策を強化すること自体が、カジノが依存症問題、治安問題をかかえていることの証左です。横浜市の聞こえのよい説明に不信感があります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 989 | ギャンブルでの掛け金の上りは、負けた人が投じた金でありそんなものを当てにするような為政者は、真の政治家ではない。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々には、節度を持ってこれらを利用していただく一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 990 | 博打で負けた方（不幸）によって成り立つカジノは許せない。市の財政を博打に依存するなど、決してあってはならない。 | 参考 | |
| 991 | IRで一番目に付くのが、カジノだが、単純な考えだが、競馬や競輪と同じ類の賭け事としてしか見えてこない。横浜市民にとって本当に役に立つものなのでしょうか。 | 参考 | |
| 992 | IRはつまるところ、大規模な博打場を作って、その上がりをあてにしようというものです。ご存知のように、日本では古くから賭博、博打の類は禁止されてきました。それは、真面目に働いて生活の糧を得る、という、人々のあるべき姿を否定し、庶民の生活を破壊するものだからです。つまり「賭博は社会の悪」とされてきたのです。 | 参考 | |
| 993 | カジノは誘致すべきでない。ギャンブル依存症による、生活、人生、社会秩序の崩壊の危険は計り知れない。ギャンブル依存症の実態調査を行うまでもなく、その悲惨さは昔から今日まで数々の例を皆が知っている。地元経済と財政への貢献が語られているようだが、経済的メリットと社会病理のデメリットとは比較できるものではない。人々や社会への悪影響に対する対策に公金が支出されるのでは、初めからカジノを誘致しなければよい。 | 参考 | |
| 994 | 市長が推進するこの法案はパチンコ業者を大喜びさせるだけでしょう。宝くじはじめ競馬競輪の類はハラハラドキドキ感を満喫することで大損したり、ひどい場合は人生も廃類にまで追い込んでしまう人もいられるでしょう。 | 参考 | |
| 995 | 市長が推進するこの法案はパチンコ業者を大喜びさせるだけでしょう。宝くじはじめ競馬競輪の類はハラハラドキドキ感を満喫することで大損したり、ひどい場合は人生も廃類にまで追い込んでしまう人もいられるでしょう。 | 参考 | |
| 996 | 市長が推進するこの法案はパチンコ業者を大喜びさせるだけでしょう。宝くじはじめ競馬競輪の類はハラハラドキドキ感を満喫することで大損したり、ひどい場合は人生も廃類にまで追い込んでしまう人もいられるでしょう。 | 参考 | |
| 997 | ギャンブル依存症の心配があるから万全の対処を市はするという。それほど心配なら、誘致しなければいい。 | 参考 | |
| 998 | 一攫千金を幻想して各種賭博場に日参する面々と同じような真似をするのはやめてもらいたい。横浜を世界に誇り、胸を張ってその存在を羨ましがられる都市づくりのために、カジノは全く必要ない | 参考 | |
| 999 | 人の負けをあてにして、財政の穴埋めをするというネガティブな発想もたいへん横浜市民としていやです。私が一緒に活動している、地域のこどもたちも不安を感じています。 | 参考 | |
| 1000 | 横浜IRの方向性に関して、反対します。誰かが負けて（悲しい思いをして）得たお金を、自分たち（横浜市民）の福祉に使うというのはいかがなものかと思えます。 | 参考 | |
| 1001 | IR事業とは賭博場に異ならず、倫理的、道義的に承諾できません。 | 参考 | |
| 1002 | 横浜カジノ、反対です！試算される年間売り上げ800億円の陰で、どれだけの国民の小遣いがカジノに消えていくのでしょうか？胴元しか儲からない博打、しかも外資の企業、だいたい「博打」で地方自治体が増えてや天下の横浜市がやる事を考えるなんて、有り得ない恥ずかしい行政です。私は絶対に反対です。 | 参考 | |
| 1003 | 横浜にカジノは要りません。いろいろと対策を講じたところで所詮カジノは博打場です。 | 参考 | |
| 1004 | カジノ絶対反対です！！利益を得る為には、多くの人々が賭博をし更に負けて損をしなければ成り立たないような計画はもとも間違っています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1005 | <p>税金と娯楽を連関させ、港と空港からの人の流れを呼び込み、海外へも玄関口横浜を知らしめ経済効果を上げようとする狙いは、一見理はある様ですが先々市民が被る損失は数多が懸念される</p> <p>先ず横浜は歴史的背景にも既に十分玄関口であること。その歴史背景の街「横浜」の誇りは「美しい街」であり、安心出来る暮らしの質を将来に亘って維持向上させたい思いです。この思いに対して、あまりにもカジノは市民普及は推奨したいとは思えずにいます。</p> <p>汗で稼ぐ金品にあらずにコソコソ働く意欲を削ぐ博打は道理にあらず、子供たちに道を持って説明出来るものではありません。よって大反対です。</p> | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々には、節度を持ってこれらを利用していただく一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前年から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 1006 | <p>横浜市は「横浜IRの方向性（素案）」を発表し「カジノが市民の豊かな暮らしを生みだし「魅力ある横浜のさらなる飛躍」と描いていますが、カジノのことについては、あまり触れず、カジノ隠しをしているとしか思えません。</p> | 参考 | |
| 1007 | <p>カジノの収益によって、市の財政が潤うことを強調しています。これまた情けないことでいつから横浜市はこんなに墮落したのでしょうか。カジノ＝賭博、ばくちによって市の財政を確立するという発想自体が、自治体の在り方が問われます。1200億円の市の収益を上げるには、その数倍8000億円の損する人たちが前提です。ギャンブル依存症の人たちをたくさん産みだし、家庭崩壊、自殺者、犯罪多発、地域荒廃を作り出すことを市が率先して推進することになります。そんな横浜市でいいのでしょうか。</p> | 参考 | |
| 1008 | <p>そんな儲けで得たお金で横浜市が潤っても嬉しく無いです。</p> | 参考 | |
| 1009 | <p>素案後段では、カジノに関する課題解決に向けての対応が連綿と記されているが、市民の心配はもっともである。自分たちの子どもや孫に豊かな市民生活を望むのは当然だが、ギャンブルで得た市民税収の恩恵を享受するなさない市民を生み出していくことは、現在を生きる横浜市民としてはなんとも避けたい思いでいっぱいである。</p> | 参考 | |
| 1010 | <p>横浜市IR誘致には反対です。ギャンブルで負ける人が多ければ多いほど利益が上がる、人の不幸を前提にする事業をあてにすることは住民福祉の増進を図ることを使命とする行政のすべきことではないと思います。</p> | 参考 | |
| 1011 | <p>カジノで収益が上がった場合 その財源は横浜市に帰属するらしいがこれはまさに不純な収益と言わざるを得ない。</p> | 参考 | |
| 1012 | <p>私はカジノ付IRの計画には絶対に反対です。もしもカジノが出来て、そのお金で市民の生活を支えるようなことになったら、横浜市民であることに誇りが持てず、むしろ恥と思うようになるでしょう。カジノで利益を上げるといことは、負ける人が大勢いるということ。そのような人たちから搾り取ったお金の、我々の生活が成り立つとしたら、市民全体が不幸を背負うことになってしまおうと思います。</p> | 参考 | |
| 1013 | <p>前段（はじめに）で、倫理観をきちんと説明するべきです。法律が変わっても、カジノの本質は刑法違反の賭博行為です。カジノを中心とするIRを全力で推進することを、倫理的にどう捉えるのか。カジノを推進するのではなく、IRを推進するという説明を聞いたことがあります、事業の実態は収益構造です。床面積は関係なく、市職員が意識するしないに係わらず、IRの推進はカジノの推進になります。</p> | 参考 | |
| 1014 | <p>社会人間として、同じ人間が賭博で損をした金が市民生活の糧（税金）とするシステムは、市行政の考え方として根本が間違っている。たとえ利益があがっても子孫へ堂々と事業収入のソースを説明できない。博打で負けた人のお金で横浜市は維持できていると、子どもたちに説明するつもりか？</p> | 参考 | |
| 1015 | <p>カジノは賭博であり、犯罪です。ギャンブル依存症を増やし、横浜の街を文化的にも荒廃させます。カジノは、何も生産的なものを生み出さず、客に負けさせることで成り立つビジネスです。借金まみれの人が増え、家庭を崩壊させることが懸念されます。カジノは誘致すべきではありません。</p> | 参考 | |
| 1016 | <p>カジノで負けた人のお金を増収として当てにする財政政策は、横浜市の財政がカジノ依存症になる。横浜市が提示している（カジノ事業者による）IR区域内での消費額が7400億円ならば、カジノの比率80%でカジノ収益が5920億円（税金888億円）と考えられる。巨大なカジノを造らないと成り立たない計画だ。</p> | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1017 | 横浜IRの誘致に賛成。カジノの収益は市民がスツたお金だから、市の財源にするのはよろしくない、という旨の意見に、違和感を感じる。市民が損したお金、というが、カジノのそもそものターゲット層は、海外の富裕層。カジノの収益は、カジノ利用客の約2割と言われるVIPが、数千万円単位、億単位でお金を動かして遊んだ結果、生まれる利益だ。横浜市にそれほどまでにカジノで豪遊できる資力をもった市民はほとんどいないだろう。また、人が損したお金で収益を得るのはいけないことだ、という趣旨なら、民間企業の営業利益に紐付く税収も否定することになる。日本のパチスロ市場は、世界中のカジノ市場よりも規模が大きい。カジノだけダメだと言う合理的な根拠はどこにもない。もはや、カジノに対する職業差別だと感じる。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、77〉 |
| 1018 | 95頁で子どもたちが更に豊かに暮らすための取組とあるが、子どもに「治安や依存症に注意するように」と言っておいて「誰かの犠牲で豊かになれてよかったね」と説明しなければならぬのでしょうか。 | 参考 | |
| 1019 | 「横浜IR(統合型リゾート)の方向性(素案)」に全面的に反対します。ここで述べられているIRとはまさにカジノ抜きでは成り立たないものであり、博打で得た収入で市財政を成り立たせようとするものだからです。 | 参考 | |
| 1020 | IR事業として賭博場を開設することに反対します。賭博は昔から庶民の生活を苦しめ社会を暗くしますので役所が取り締まって来ました。その上に立つ政府機関が率先して賭博場を開設しようとしているのか。どうしても理解に苦しみます。 | 参考 | |
| 1021 | もっと慎重にデメリットについて考えたらよいと思います。そして民意をこれ以上無視しないでください。とにかくIRはデメリットが大きすぎるので反対します。デメリットはよくご存知のことと思います。よく調べ倫理的に人のために考えてください。IRのある横浜市には住んでいたいと思いません。おそらくそう思う市民は多いのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 1022 | 賭博は、反道徳的 カジノは日本語でいえば、「賭博」。国が認めれば、その賭博行為が許されて、そうでない場合は禁止されております。 | 参考 | |
| 1023 | IRは、カジノ施設を主たる収益とする計画です。カジノは、破綻する人を増やせば増やすほどに収益を上げる、人の不幸で成り立つ事業であり、多重債務による家庭破綻、ギャンブル依存症、マネーロンダリング、犯罪増加などその長期的なマイナスの経済効果には大きな懸念があります。 | 参考 | |
| 1024 | 「横浜の観光・経済にイノベーション(革新)をもたらしていきます。」とありますがギャンブル依存症者に頼る観光や経済は健全なものとは言えません。 | 参考 | |
| 1025 | 市の素案方向性3では「世界最高水準のスケールとクオリティ」を掲げており、大阪のカジノ構想と比較しても巨大な規模になりそれだけギャンブル依存症者が横浜に多数押し寄せることとなります。そのような「デスティネーション(目的地)」に横浜をしたくありません。市の素案は「これまで国が示す依存症対策総合支援事業やアルコール健康障害対策基本法、ギャンブル等依存症対策基本法等に基づき事業を進めていますが、さらに、横浜市では依存症の方を増やさないように次の4つの対策を徹底して進めていきます。」とあり、素案では25ページに及ぶ依存症と治安対策が示されています。これらはカジノ事業がギャンブル依存症者ぬきには運営できないことを示しているのです。本来国や地方自治体は精神障害者の発生の予防を進める立場であり、カジノの開設などやってはならないのです。 | 参考 | |
| 1026 | 横浜IRの計画を直ちに中止し、全ての関連予算を取り消してください。横浜にカジノは要りませんし似合いません。横浜市民や他地域の人々を搾取して得るような豊かさは望みませんし、うれしくもありません。 | 参考 | |
| 1027 | カジノを含むIR誘致に反対です。理由はギャンブルが嫌いだからです。ギャンブルで負けた人から巻き上げた税金をたとえば福祉や教育に使うことに違和感を覚えます。 | 参考 | |
| 1028 | カジノに囚われた市民の不幸を踏み台にして税収を増やしても、横浜は幸せになりません。横浜にカジノはふさわしくありません。健全な横浜を目指して政策を立てていただきたい。市民の福祉向上、健全な経済発展を目指していただきたい。「冷静な判断」を、心から希望します。 | 参考 | |
| 1029 | 今般のIR誘致には全く賛成できません。断固反対します。どのようにパラ色に描いても、IRには漏れなくカジノがついてきます。カジノは言うまでもなく日本の法律で禁止されている「賭博」です。賭博に生産性はありますか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1030 | 横浜市で育つ青少年に対して、市を支えている財源がカジノ無しでは成り立たないIRであることを、健全で普遍的な倫理観（コツコツと努力を重ねて成功を勝ち得ることに価値を見出すこと）に照らしてどのように説明しますか？一攫千金を夢見て敗れた果てのお金が市を支えているということ、そこでは依存症になる人もあり、多くの家族も不幸になっていること、こういう事実は子供たちには隠すのでしょうか？それとも、そういう事実にも何を感じない人間を育てる横浜市にしていくのでしょうか？それが今回の基本コンセプトで謳っている「新たな横浜らしさ」なのではないでしょうか？この点は横浜市民として断じて認められないところでもあります。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 1031 | カジノの設置に反対します。賭博で巻き上げたお金で財政を潤そうというのは、昔から反社会勢力がしてきたことです。市民の意見を無視し押し切るやり方も反社がすることです。住みたい街No. 1の誇りを汚すようなことはしないでください。 | 参考 | |
| 1032 | ギャンブル依存症が増え、そのような人たちが集まります。ギャンブルができる場所があるかぎり、ギャンブル依存症患者は、存在するのです。そして、その予防や治療の体制は、不十分です。税金でギャンブルできる場所をつくり、その治療に税金を使う、おかしいと思います。 | 参考 | |
| 1033 | IRへ反対意見です。カジノは、一晩で数十万円～数百、数千万円となります。そんな大きな負け金、それだけ不幸な人を生み出すということ。止めるべきです。 | 参考 | |
| 1034 | はじめにある「あらゆる方策・課題」について市民の安全安心な生活を将来にわたって支えていく方策の検討は必要なことでありますが、「あらゆる方策・課題」はおかしいと思います。方策・課題の検討に当たっては、法令違反を犯さないことは当然なこととして、倫理や良識に反しないこと、方策により不幸を招くことがあってはならないことが前提にあるべきだと思います。適切な表現に改めた方が良いでしょう。 | 参考 | |
| 1035 | 「健全なカジノ事業」は詐欺的表現あるいは誤解を与える表現であると思います。そもそも賭博自体は賭博罪や賭博場開帳凶利罪等刑法185条以下で禁止されているものです。今回経済的理由で特別法をつくり、違法性を阻却したものであり、いくら運営を透明化しても、この本質は変わりません。課題解決のために、政府の施策や横浜市の施策が様々列挙されていますが、それだけ問題が大きいと証明しているようなものです。カジノ＝ギャンブルは不健全であり、「健全なカジノ事業」という表現は改めていただきたいと思います。 | 参考 | |
| 1036 | 市長は利用者への配慮もするというが、賭博は依存症になる例が多く、入場規制程度ではとても対策にはならない。資金に困窮した利用者による治安の悪化も懸念される。そこまでして市の財政資金を求めるとかと言いたい。 | 参考 | |
| 1037 | 弱者からかすめ取った金での繁栄はお断りだ。 | 参考 | |
| 1038 | IRが民間業者によって運営されるにせよ横浜市といった公の機関がカジノを含むIRの設置を図ることに私は市民として同意しない。それが市にとって種々の形で収入源となるにしても。 | 参考 | |
| 1039 | カジノ業者の示す数字は、カジノで負けた人のお金であり、それで市が潤うと公言する神経を疑う。 | 参考 | |
| 1040 | IR取り組みの背景で、生産人口の減少、高齢人口の増加→社会保障費の増加を上げています。従って、横浜市の財政が困難になるとしています。この部分を取り上げればその通りだと思います。しかし、IRによって、それが解決策には、ならないと思います。IRの関連企業誘致に寄る横浜市の財政に入るものは、法人市民税、事業所税、固定資産税とそこに働く人々の所得税等が主な物かと思えます。中核のカジノが納める「利用料」などもあるかもしれませんが、結局は企業の納める税金は、利用者がかける損失を財源に税などで横浜市に入ってくるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 1041 | カジノが経営不振になれば横浜市が損失補てんすることになり、逆に業績が良ければギャンブル依存症の増加への対応に追われ、どちらに転んでも問題を抱える可能性があります。 | 参考 | |
| 1042 | IR推進など世紀の愚策に大反対です。その負の遺産を背負うのは横浜市民です。私たちの子供たちです。国民主体の行政に戻ってください。 | 参考 | |
| 1043 | 古今東西、博打の上りで行政/政府を賄った記録はない。他人の泣き＝博打による国民からのまきあげにより行政を廻していこうという考えせこく、公的機関である横浜市は何を考えているのかとあきれてしまいます。横浜市の現状についてはどれもこれもカジノを正当化しようとする単なるこじつけに過ぎない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1044 | I Rの誘致に強く反対します。I Rはカジノで成り立つ施設です(市長の説明)。カジノは賭博です。賭博は人々が金を掛けて、損をすることで成り立つ商売です。つまり人の不幸で成り立つ商売です。横浜市(日本政府も)が、人の不幸を当てにして、税金を考える、道徳上許されない事です。横浜市民のため、子ども達のため、I R(カジノ)誘致は是非やめてください。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型I Rには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型I Rが参考としているシンガポールでは、I Rの設置前年から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、77〉 |
| 1045 | なぜカジノが必要なのか。カジノである必然性が書かれていない。そして現在多くの市民が反対している。私も反対だ。リスクの試算をいくらしようが不安なもの不安。嫌なものは嫌。多くの市民の嫌がることをして推し進めるな。原発事故然り、事前にリスクを感じていることで、事故やトラブルが起きたとしてもそれを背負うのは結局市民だ。答えは単純。せめて市民が嫌がらないものをそこに作ればいい。嫌がっていることをしなくていい。 | 参考 | |
| 1046 | 横浜にカジノを作らないでください。カジノを作って、利益を得るのはだれでしょうか。その利益はだれから取ったものですか。カジノに来る人はお金持ちだけではありません。収入も限られている人が、ギャンブル依存症になって、生活が脅かされることとなります。家族が必要としているお金を持ち出してカジノに通い、そのほとんどは巻き上げられ、生活が困窮していくことは目に見えています。説明会も数回のみ開かれただけで、とうてい市民の意見を聞いたことにはなりません。 | 参考 | |
| 1047 | 横浜市にカジノはいらぬ。生まれた町が薄汚れたカジノになるのは忍び難い。市財政の収入源がなくなると言うが、カジノから上がるその金は、誰かの欲から出て、スってしまった金で、その金で市のサービスをやってもらいたくはない。 | 参考 | |
| 1048 | そもそもカジノは客の負けを前提にして儲けるビジネス。一時的に楽しめても射幸心をあおり、結局は負けさせて儲ける仕組みです。パチンコと異なり短時間に多額のお金をつぎ込み、家庭崩壊や窃盗などの原因になります。つまり、人を不幸にするビジネスモデルです。明らかに市民・国民を不幸にする政策です。そのことに、倫理的・道徳的にうしろめたい気持ちはないのでしょうか？ | 参考 | |
| 1049 | I Rの顧客の主たる部分は、外国人観光客ではなく、日本人と想定されています。カジノにお金を注ぎ込んで財産を失い、場合によっては家族も失って路頭に迷う人々がどれ程生まれてしまうことでしょうか。横浜市は「I Rが無くては今後の市の財政が厳くなる」と言いますが、そうやって人の不幸の上に税金を確保しなければならないということは、横浜市の財政そのものがギャンブル依存になるということではないでしょうか。 | 参考 | |
| 1050 | I Rへ反対意見です。人の不幸を土台にする事業は、あつてはならないと思います。 | 参考 | |
| 1051 | 反対意見です。人の不幸を土台にする事業は、あつてはならないと思います。それは経済とは言えない。真つ当な事ではないからです。 | 参考 | |
| 1052 | 市長は「賭博」の収益、つまり賭博に負けた人のお金を当てにして、市政の財源を確保しようとする考え方であること。 | 参考 | |
| 1053 | ギャンブル事業のビジネスモデルは掛け金を失った人からの収益を原資とし健全な財源とはいいがたいと考えます。 | 参考 | |
| 1054 | 横浜市はI Rによって得た増収部分を、「福祉、子育て、医療、教育など豊かで安全・安心な市民生活をより豊かなものにするための財源に重きを置いて活用します。」と説明しています。誰かを犠牲にした経済政策、福祉政策には賛成できません。 | 参考 | |
| 1055 | I Rは、民間事業者が、展示施設・国際会議場、ホテル・レストラン・ショッピングモール、エンターテインメント施設とこれを収益面で支えるカジノ施設を一体的につくり、運営するものと、説明されています。また、国は、「I R推進法・整備法」という特別法を整備することで、特例的にカジノに賭博罪を適用しないこととして、国の監視・管理の下に置き、カジノ収益を地域経済の振興にあてるとしています。しかし、カジノは賭博であり、賭博行為を禁止する刑法との整合性が問われます。カジノ事業は負ける人の犠牲があつて収益を得るものである以上、カジノと一体となったI Rの誘致は認められません。 | 参考 | |
| 1056 | 横浜の方向性に、人の不幸の上にしか成り立たないI Rカジノはいりません。そんなものに頼らない経済政策を考えてください。 | 参考 | |
| 1057 | カジノを含むI R誘致には反対である。多くの人が不幸にならなければ成り立たない、カジノに依存した市の財政確立には反対である。人を不幸にしなければ成り立たない産業がどうして、成長産業、成長戦略といえるのでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1058 | 市長は、横浜市民が安心して安全に暮らせる、横浜市民の声が生かされる市政を実現させることが横浜市長の役割ではありませんか。このパブリックコメントで、多くの市民が反対の声を上げてそれが生かされずに握りつぶされるとするなら、何のためのパブリックコメント公募なのでしょう。市長は多くの横浜市民の聞いて、カジノ誘致は撤回して出直すべきです。これからの時代を担う子供や若い世代の人たちに負の遺産を残すわけにはいきません。幸福でなく、多くの人たちが不幸にならなければ成り立たないカジノの財源で横浜市の財政を賄うなどという行為は、幸福権の追及という憲法を否定する蛮行である。横浜市長は、カジノ誘致を直ちに撤回せよ | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 1059 | 横浜IR（統合型リゾート）を導入しないで下さい。博打で市政を潤すという考え方は横浜にはなじみません。家庭崩壊をもたらすカジノは大反対です。 | 参考 | |
| 1060 | （カジノによる財政収入）民営の賭博から上がる収益で市の財政の一部を賄うことは、健全な市政とは言えない。人に例えるなら、生計の一部をギャンブルで賄うような子供に、自分の子にはなってほしくない。したがって、IRの導入に反対です。 | 参考 | |
| 1061 | （IRのカジノの本質）現在導入されようとしているIRにおけるカジノは、賭博で従来違法であったものを、新たに法律（IR推進法、IR実施法）を作成して合法化したもの。したがって、その本質は賭博であることに相違ありません。 | 参考 | |
| 1062 | 私は、カジノを横浜に作ることに反対です。カジノの儲けは、カジノでお金を賭け、損した人から得た物です。損して不幸になった人の金で、我々横浜市民は幸せな気持ちになることはできません。 | 参考 | |
| 1063 | 横浜の経済はもちろん大事ですが、一人一人の命は経済とは比べられません。「依存症対策を徹底します」ということではなく、IR誘致する予算があるなら、居場所を作って下さい。 | 参考 | |
| 1064 | カジノを横浜に作る事は大反対です。市長を始め、横浜市の関係部署の職員たちの皆さん。あなたは息子や娘たちが、カジノに行くと言ったら、あなた方は黙っていかせませう。普通の感覚であれば、親としては大変心配なはず。喜んで行かせる親はどこにもいないと思います。そのような危険とも言える施設をあなた方は作るようしているのです。百害あって一利なし。自分たちの、家族、子供たちの為にもカジノ絶対に絶対に認めるわけにはいきません。 | 参考 | |
| 1065 | 市は、「カジノ」が目的なのでしょう。いまある「公営競馬、競艇、競輪」他、「パチンコ」等の博打は、『開帳』時間が決まっている。しかし「カジノ」は、46時中制限がなく、朝に行こうが夜に行こうがやりだしたらきりがなく売上げ、利益から、市税を潤すなど本末転倒以外の何物でもない。市税はIRでなく、『市民』のために使ってほしい。 | 参考 | |
| 1066 | 私はIRを日本に誘致することにはまったく反対ではありません。住民の過半数の賛成のもとにやりたい自治体が誘致したらいいと思う。横浜にIRは要らない！と言っているのです。財政がひっ迫するから、、、というのであれば、日本の他の自治体のほとんどが、そうなるでしょう！！IRを作って、負けた人のおかげで横浜が潤ってもしかたないでしょ！横浜をそういう汚れた街にはしてはいけません。 | 参考 | |
| 1067 | 横浜市が提案しているIRの収入源の大部分をカジノが生み出すこととされています。カジノが収益を上げるためには、何度もカジノに入り浸る依存症患者をつくりだすことが必要というのは周知の事実です。つまり、カジノ来場者を依存症患者に仕立て上げ、有り金をむしり取ることにより、横浜市の財政に寄与するというものなのです。本来、横浜市が行政として行うべきことは、市民すべてが幸福になる施策を行うということです。 | 参考 | |
| 1068 | カジノによって、誰が儲かるのか？それは絶対に利用者ではありません、事業者です。そして、なぜ事業者が儲かるのかというと、利用者がお金を吸い上げられているからです。どんなに利用制限をかけようとも、利用者が損をしなければ、事業者は儲かりませんし、横浜市の税収にもならないでしょう。仮に横浜市の税収が上がるとしても、観光客であろうと一般市民であろうと、多くの人の多大な損失（経済的な損失だけではなく、依存によって、その人の人としての存在そのものの損失）の上に、横浜市が利益を上げたいのですか？ | 参考 | |
| 1069 | カジノはギャンブル依存症に依存せざるを得ない構造になっており、人の不幸の上に成り立つことは明白であり、誘致すべきではない。 | 参考 | |
| 1070 | 横浜市が進めるIR構想の推進に反対します。理由は下記の通りです。財政の基盤をギャンブルに依存することに反対です。ギャンブルで使われたお金は何も生み出しません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1071 | ギャンブルで人は絶対幸せにならない。作ってしまったら、横浜市の財政はカジノを維持するのに、恐ろしい赤字を作り出すでしょう。 | 参考 | <p>日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。</p> <p>多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。</p> <p>日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前年から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞</p> |
| 1072 | 人を不幸にし、経済を悪化させるカジノ。絶対、カジノ建設反対！ | 参考 | |
| 1073 | 博打はやるべきではない。横浜市の財源にもならないし、仮に横浜市の財源になったとしても、博打場を作るべきではない。渴しても盗泉は飲まず。毒まんじゅうを食う必要も、食わされる必要はもない。よって、断固として反対する。 | 参考 | |
| 1074 | 「法令に即した」だとか「動線の分離」とかは「カジノは行くべきでない不健全な場所」という印象を与えるのみ。方向性1～3ではなく4の依存症対策で説明すべき。 | 参考 | |
| 1075 | まさしく、公設・公営・公益を前提とした既存の「賭博事業」から大きく逸脱した今回のカジノ事業の招聘を、稚拙な政策と私も深く感じている一人です。 | 参考 | |
| 1076 | IRは絶対反対です。なぜ、横浜にIR（博打場）を作らなければならないのか全く納得できません。市民を犠牲にして、横浜市が儲かるってなんなんですか。それでもやりたいのでしょうか。 | 参考 | |
| 1077 | ギャンブル依存症は家庭崩壊を招くことが多いが、ギャンブル依存症を発生させるカジノを、福祉保健行政を管轄する地方公共団体が誘致することは、倫理に反する行為である。 | 参考 | |
| 1078 | 客の負けで成立するビジネスであるカジノ事業者からの税收等で、横浜市政を運営してほしくない。 | 参考 | |
| 1079 | 横浜IR誘致そのものについて絶対に誘致して欲しくありません。反対です。その理由としては、カジノが含まれているからです。カジノとは、賭博であり、刑法が禁じているものだからです。法律が禁じる相当の理由があるものを、国が特区で違法でなくすることができるようになったからといって、その違法性がなくなるわけではありません。違法の賭博行為によって得た収益で私たちの生活を支えて欲しくはありません。 | 参考 | |
| 1080 | 横浜市がすすめるIR誘致に反対します。横浜市は今後人口減少や超少子高齢化社会に伴い、生産年齢人口の増加、減少と老年人口により消費や税収の減少など厳しい財政となる、その対策として、経済効果があるIR（統合型リゾート）が必要で、その税収で「福祉、子育て、医療、教育などが豊かで安全・安心な市民生活をより豊かなものにするための財源に重きを置いて活用します」と説明していますが、カジノは誰かが負けることが収入となるギャンブルです。人が不幸になることで、豊かな市民生活を手にする政策を見過ごすことはできません。横浜市はギャンブル依存症対策や治安対策は徹底して行うとしていますが、カジノ誘致でギャンブル依存症になる人が出ることは明らかですし、ギャンブル依存は本人とその家族や友人など巻き込み、貧困や孤立へとつながっています。一人ひとりを大切にしない経済優先とした政策に反対します。 | 参考 | |
| 1081 | 市民の収めた税金を市民を不幸にするカジノ誘致など断固反対です。行政は市民が安心と安全を守るのが使命です。 | 参考 | |
| 1082 | 横浜市がカジノに収益を依存するIR事業を推進することに反対します。ギャンブルで損をする人を確保することで成り立つIR事業を推進することはどう見ても健全な経済政策とは言えません。 | 参考 | |
| 1083 | 「横浜IRの方向性」は「推進」ありきで受け入れられないと感じています。市政としてその倫理に沿うものであるとはとても思えないからです。カジノは継続的に文化、価値を生み出していく業態ではない。人が「ゲーム」で負け、金銭を吸い上げることで成立する業態である。 | 参考 | |
| 1084 | カジノ事業の収益の割合が高いということは、カジノにのめり込む客が多いという事に他なりません。つまりギャンブル依存症患者の増大化を招くことにもなりかねません。他人の不幸の上に立った「にぎわいと経済効果」を市民は求めています。横浜市の使命は、「開港以来大切にしてきた横浜の歴史や文化を守り、子育て、医療、福祉、教育など、市民の皆様の安全安心な生活を将来にわたって支えていく」という素案に自分たちで書いた通りではないですか。 | 参考 | |
| 1085 | 賭博のあがりをあてにした行財政運営は不健全です。カジノで負ける人がいないと成り立たない事業を自治体が推進する姿勢にも憤りを覚えます。 | 参考 | |
| 1086 | 賭博のあがりをあてにした行財政運営は不健全です。カジノで負ける人がいないと成り立たない事業を自治体が推進する姿勢にも憤りを覚えます。 | 参考 | |
| 1087 | カジノが生む不幸を糧に発展する横浜の街を誇りにはできません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1088 | カジノで巻き上げた負け銭を市政に使うのは道徳的に良くない。カジノ抜きにすべき。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前年から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 1089 | カジノは、○依存症の拡大、○人の不幸による収収アップ、○ターゲットは日本人でにぎわうのはIRの中だけと、百害あって一利なしです。 | 参考 | |
| 1090 | 市民の生活と福祉充実を、カジノ設立の要因にしないでください。ばくちの儲けで生活向上や福祉の充実はできません。カジノ誘致は良識ある市民みんなが反対しています。 | 参考 | |
| 1091 | カジノは横浜にいません！カジノは賭博です。博打で損をした人から巻き上げたお金で市の財政を賄うという市の姿勢そのものが間違いです。 | 参考 | |
| 1092 | 市民やその他国内の利用者が主となり、依存症者の対応に多くお金を使うことは目に見えています。 | 参考 | |
| 1093 | さらにカジノの収益は人の不幸の上に成り立つものです。そんなものに頼るような市政はいりません。カジノで資産を失った人は横浜で浮浪者になるか生活保護を受けるようになるか、じゃないですか？ | 参考 | |
| 1094 | 賭博は犯罪（悪事）なのだから、カジノ付きIRは法律以前の問題であって議論の余地もない。 | 参考 | |
| 1095 | 今の日本でカジノを作る事はやるべきで無いと思います。文化や芸術を活かした、経済政策をお願いします | 参考 | |
| 1096 | 横浜にカジノを作るのは反対です。カジノだけでなく、金銭を伴う賭けには全て反対です。 | 参考 | |
| 1097 | 万にひとつ、カジノからの収入が市の財政を潤したとしても、カジノ依存症などにかかった人のお金で市が潤うのは納得できない。 | 参考 | |
| 1098 | 横浜市の進めるIRカジノ事業に反対します。カジノなしのIRは作らないと市長は明言しています。カジノ＝賭博です。昔から賭博は禁止されています（今までは公営に限って認められていました）。そもそも賭博は反社会的なのです。賭博は胴元へ金銭が移動するだけであり、何も生産しません。そのようなものに収収を頼ること自体が誤りです。その儲けは人々が賭博で負けたお金なのです。 | 参考 | |
| 1099 | カジノを含むIR計画に反対します。依存症患者の増大を想定していながら、市民の大多数の反対を無視して血税を投入する権利は市長にはありません。 | 参考 | |
| 1100 | カジノ（賭博）で損をした人のお金を収収にあてると言った人の道に外れた事をするのは、反社会的行為であり、将来を担う子供達に説明出来ません。カジノ（賭博）は、必要ありません。 | 参考 | |
| 1101 | 賭博のあがりて市政を行うことは横浜市民として容認できません。 | 参考 | |
| 1102 | 3%と云っても巨大・・・IRの売り上げの7割が・・・毎年5000億円負け金が必要・・・8割が日本人・・・などこれが事実ならば「横浜IRカジノ構想」に一市民として絶対反対です！！一市民からすれば明らかに、いわゆる世間で云うセレブや富裕層のための娯楽場を目指す様な「不健全この上ない」どこかの国の真似などしないでほしいです | 参考 | |
| 1103 | 私の意見は、横浜にカジノはいらない！です。競輪競馬競艇パチンコ等、ギャンブルはたくさんあり、これ以上のギャンブルはいりません。ギャンブルで得ることになる横浜市の収入が私達横浜市民のために使われると思うと嫌でたまりません。住みたい街No.1の横浜が、ギャンブルの街になって、住みたいと思うでしょうか？ | 参考 | |
| 1104 | 民主主義を破壊するようなやり方で、カジノを誘致するのは反対です。カジノ受け入れ表明は唐突です。誰に断ったのですか？カジノで負けた方（他人の不幸）のお金で市の財政を潤おそうなんて、とんでもないことです。 | 参考 | |
| 1105 | カジノに反対します。ばくちをさせてお金をもうけようとする事自体間違えています。横浜は健全な観光地として世界に誇るべき道を進んで下さい。 | 参考 | |
| 1106 | 依存症に対する予防的な教育や、今も対策をうっているにもかかわらずわざわざ、カジノを誘致する理由がわかりません。それから、「はじめに」に書かれているように子育て、医療、福祉、教育など市民のみんなが安心、安全な生活をというならばカジノ誘致は逆行しているようにしか自分は思えなかったのが素案を読み終えての感想です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1107 | そもそも「負ける人」が多くないと儲からないわけで、不幸な人を増やすことで歳入を増やすというのは、自治体のあり方としては本末転倒ではないでしょうか。今の構想ではカジノに反対する気持ちしかありません。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 |
| 1108 | 横浜IRの誘致に反対します。カジノは負ける人がいなければ利益を生みません。人の不幸の上に成り立つカジノで地元経済を支えようという計画を撤回してください。 | 参考 | 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 |
| 1109 | 横浜のさらなる飛躍と将来にわたる市民の豊かな暮らしのために市が計画し、建設しようとしている横浜IRは不要と考えます。なぜならば、市の計画はカジノ業者が絵に描いた餅に過ぎず、カジノで儲けて税収入を上げようとするその行政の姿勢は言語道断であり、市民はけっして誰も喜びません。横浜市をギャンブルシティにはなりません。 | 参考 | 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、77〉 |
| 1110 | そもそもカジノが無ければ、治安やマネーロンダリングや青少年に対する悪影響を心配する必要もないのである。カジノといえは依存症も心配されるところでこれはつまりお金を使い切ってしまうたり借金をしたり、またそれを繰り返すということだろう。そのようなお金によって税収を増やすというのが健全であるのか。我々横浜市民としては、観光客の不幸よりも笑顔によって発展する自治体であってほしい。 | 参考 | |
| 1111 | 博打の寺銭で市政を担う？社会に弊害をまき散らすカジノはいりません。 | 参考 | |
| 1112 | 将来の子どもたちに大きな負担を負わせるような、IRの建設には反対します。IRの収益は、多くがカジノに依存します。それは、横浜市の財政が、誰かの「負け」の上に成り立つということです。 | 参考 | |
| 1113 | 賭博場という存在がそもそも不要で、それは規模の問題ではないし、何より今、日本も世界もコロナウイルスで苦難を余儀なくされている時に、平然と市民が反対している賭博場計画のプロモーションをするなんて市の代表としてどうかと思います。 | 参考 | |
| 1114 | カジノに断固反対。カジノは博打であり、博打は人の不幸を生む。いったん博打にのめり込めば、理性が失われ、つぎ込む金の事で頭が一杯になる。 | 参考 | |
| 1115 | もしも本当に一時的にも税収が上がるとしても、依存症や家庭崩壊で生活保護者も増えるし結局マイナスでしょう。 | 参考 | |
| 1116 | 依存症対策を前提とする物を作るという思想に断固反対です。カジノ（ギャンブル）の収入の多くの部分は、市内・県内・国内の来場者のギャンブル費と予想されます。ギャンブル費は観光費とは性質が異なり、だましてとられるようなもの。そしてその収入から依存症対策費が出る。そのような税収を考えること自体が、一般市民の感覚からは受け入れられません。 | 参考 | |
| 1117 | 刑法で禁止されている賭博行為をさせ、その莫大な負けた金銭を自治体の収入源にするという発想自体とんでもないことだと思います。輝かしいみなと横浜の歴史を汚す今回の構想を撤回してください。 | 参考 | |
| 1118 | 私は次の理由で計画に反対します。ギャンブルは生産的な活動ではなく、他人の不運を儲けに変える不道徳なもの。根本的に賛成できない。 | 参考 | |
| 1119 | カジノは正に賭博です。市に入ってくるお金は誰かがいわば「摩った」お金です。それを市の財政に使うなど健全な財政とはとても言えません。 | 参考 | |
| 1120 | IRとかいう横文字を使っているが、この計画の本質はカジノである。その証拠にカジノのないIRというものが日本では計画されていない。よってここではカジノに対する意見表明を行う。そもそもカジノというのは他人が損したお金で儲ける商売である。それで都市や経済を成長させようという考えが賛同できない。人を不幸にして成長する経済が不健全であるのは論をまたない。カジノに反対する根拠はこの一言に尽きる。 | 参考 | |
| 1121 | 市民、国民を不幸にするカジノ設置を前提とした横浜IRは不要と断言したい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1122 | シンガポールではギャンブル依存症者数が政府発表によると減少したと紹介しますが、総体として減少したとしても新たな発生をゼロにできるわけでは ありません。なぜなら、客に依存症になるほどギャンブルをさせて金を搾り 上げてもらうのがカジノであるからです。カジノを利用したことにより、 一人でもギャンブル依存症者が生まれるということは、それらの人の犠牲 (カジノに有り金と預金や不動産などをつぎ込み、仕事も家族も失い、生活 は破綻し、しかも回復は容易ではないという地獄)の上に、カジノ業者の儲 け、国と市への税金、議員への賄賂(利権)がもたらされるわけです。私は かつてギャンブル依存症者のデイケアプログラムに従事し、かれらの地獄 (自殺した人もいました)を見てきました。市長をはじめ、市の幹部や職員 の方々は、実際にギャンブル依存症者の地獄を見てきた医師や心理士をはじ め、家族や本人の話を直接聞いたことはありませんか。ある家族や本人は、入 場料の6000円は何のブレーキにもならないと述べました。勝つてすぐに 取り返せるとし、それまでギャンブルでもっと大きな金額の損をして、 借金を抱えているからだそうです。内外で出版されている書籍や専門家、当 事者の体験や意見を聞いて、この計画が本当に多くの市民のためになるか、 横浜の発展になるか、職員の方々には考えてほしいと思います。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬 などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの 様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競 技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これ まで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源 としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されて いる一方で、過度な「のめり込み」などによって、 社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるの も事実です。このため、日本型IRには、厳格な免 許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳し い世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業 者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓 口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、 IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既 存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少してい ます。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事 業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさ ないように取組を徹底していきます。＜方向性 P.69、77＞ |
| 1123 | カジノで経済効果を望んではいけない??子どもたちを守るために、横浜に カジノを作る政策に反対します | 参考 | |
| 1124 | 横浜市IRカジノ構想案に反対です。横浜市は東京都や他都市と比べ法人市 民税が少ないなどの状況から、将来的に財政難に陥るとの理由で、IRを誘 致し、年間1000億円の増収を見込むとのことですが、試算によると、そ のためには、年間5000億円ものカジノ客の「負け金」が必要になるとの ことです。カジノに「負け金」をつぎ込む人は、儲けられる可能性に目が眩 んで賭け事に金をつぎ込み、見事に金を巻き上げられてしまった愚か者であ り、自己責任、自業自得、と言えるかもしれません。しかし、その人には家 族がいたかもしれない、そんな賭博に身をもち崩してしまった者は回りに いる人も不幸に巻き込み、5000億円の負け金の額の分の不幸と憎悪と悲し みが渦巻いていると思うと暗澹たる思いにかられます。そんな他人の不幸の 上に成り立つ増収で福祉や教育を充実させるとするのは、恐ろしい逆説で す。私は、子どもたちに、こんなことを説明する言葉を持ちません。 | 参考 | |
| 1125 | IR横浜誘致に反対します。市民に博打を奨励して不幸を作り出し、その上 がりを財源とすること自体ヤクザの所業であり行政がする事ではありません。 | 参考 | |
| 1126 | カジノには反対です。負ける人がいることによって、儲かる仕組みは健全な 経済とは思えません。 | 参考 | |
| 1127 | カジノ反対。カジノは、賭博です。カジノで経済効果があるとしても、その 影で不幸がおきます。是非やめて下さい。 | 参考 | |
| 1128 | カジノ施設を含むIR誘致は、下記の理由から反対であり、誘致を撤回すべ きである。カジノを誘致すれば、市の収入が800~1200億円増えると 言うが、増収のものは、カジノでの負けである。「人の不幸」に頼る増収を 是とすることはできません。 | 参考 | |
| 1129 | IRカジノは反対です。カジノは賭博です、賭博に負けた人のお金が市の予 算を潤すということです。家族で出かけて楽しむ賭博場、なんという発想で しょう。 | 参考 | |
| 1130 | カジノが国や自治体の財政面で貢献するとしても、それはそこに住む市民や その街の犠牲の上に成り立つ貢献である。これでは、何のためにカジノを設 置するのか、本末転倒である。 | 参考 | |
| 1131 | 千の対策より、作らないことが一番の対策(p.30以降)p.30以降、 多くのページを割いて延々と依存症対策や治安対策について述べているが、 その実効性については論じられていない。どのように実効性を担保するとい うのが不明である(論じていないことを擁護するわけではないが、論じる ことは不可能であろう)。そのような対策を必要とするということは、大き な危険性を有することに他ならない。カジノは、パチンコや競輪・競馬、 オートレース・オートレースなどと比べ、賭け金は桁違いの額であり、失う スピードも早い。それだけ射幸心をあおることになり依存症も重症になる。 一番確実で安価な対策は、そのような施設を作らないことである。 | 参考 | |
| 1132 | 横浜IRにより市の財政基盤が強化されるとしているが、お金の流れを俯瞰 すれば、その源は博打の負けたお金に他ならない。人の不幸で街を造ろうと する発想は、なんと安直で、なんとおぞましい発想か。 | 参考 | |
| 1133 | 諸外国で賭博依存が問題になっているのに、なぜ作ろうとするのかわかりま せん。日本国内でもパチンコ・スロット・公営ギャンブル依存がこんなにも いるのに。広報動画でもギャンブル依存を流しているのにも関わらず、なぜ 賭博場を作ろうとするのかが理解できません | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1134 | カジノという賭け事が嫌いです。横浜の財政再建のためのIRらしいですが、人の負けを見込んでの再建と言う考え方に賛成できません。ギャンブルなどに横浜の財政を任せないでください。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 1135 | 市長は「IR=カジノではない。カジノは建物面積のたった3%。市民は理解が足りない。自分が直接説明して理解させる。」などと言われましたが、市長が誘致するのはIR型カジノです。カジノ部分の面積に絶対値の制限はなく、大きな建物を造れば造る程大きなカジノ面積が可能になります。IR型カジノは建物面積3%のカジノの売り上げが全体の70%~90%と言われており、97%の他の建物施設部分はカジノへの誘客の役割を果たすことになるのがIR型カジノのビジネスモデルです。人の不幸で成り立つカジノからの税収増を当てにするなどは言語道断というものです。 | 参考 | |
| 1136 | カジノ反対です 他人の不幸無しには成り立たない事業をやるべきではない。絶対反対です | 参考 | |
| 1137 | ギャンブル依存性で困っている人がいるのに、カジノを新しく作るなんてありえないと思います。しかも税金でやるなんてないです。市民のお金と時間を奪うギャンブルを市が推進することに矛盾を感じます。すぐ心配です。やめてください。 | 参考 | |
| 1138 | 依存性患者が増えることも心配です。横浜市は、カジノで市民の暮らしが豊かになると説明しますが、負けて不幸な人を作りだしてまで税収を増やしたいとは思いません。横浜にカジノはいりません。 | 参考 | |
| 1139 | IRカジノは反対です。カジノは賭博です。人の不幸の上にしか成り立たないカジノは横浜にいません。800億~1200億円が税収としていますが。依存症による家庭破棄、その対策に多くの税金必要になります。 | 参考 | |
| 1140 | 「市民や国民からお金を吸い上げ事業者がもうける事業です」物を生産しない、市民国民を不幸にするIR カジノは絶対反対です。 | 参考 | |
| 1141 | カジノ事業の収益を活用する仕組みになっていますが、賭けに負けた人から得る「収益」で成り立つ仕組み自体が、「健全」ではありません。「健全なカジノ」とありましたが、そのようなことはあり得ないと思います。 | 参考 | |
| 1142 | カジノは反対です。仮に横浜市が潤っても人の不幸で自分は潤いたくありません。 | 参考 | |
| 1143 | 「カジノ」で不幸になった人々、即ち「カジノ」で大損害を被り、財産を失い、家庭を崩壊させてしまったような不幸な人々の納めた「カジノ付きのIR」入場料や「カジノ掛け金」の上前（うわまえ）を撥ねるような「揚がり」で横浜市の財政を豊かにしようとは思いません。多くの良識的な一般市民も同じように、「カジノ」で不幸になった人々の払った金銭や失った「掛け金」から「儲けた金銭」を横浜市の財政収入を得ようとは思っていないはず。多くの横浜市民は健全で豊かな常識に溢れた人々です。「カジノ」のお陰で貧しくなった人や不幸になった人から「頂いたり、集めた金銭」は欲しくありません。我々横浜市民は、健全な普通の市民生活を送りたいと考えています。 | 参考 | |
| 1144 | 人の不幸を土台にするIRカジノ事業は、日本のどこにもいません。横浜市にも不要です。 | 参考 | |
| 1145 | 人の不幸でお金もうけをするカジノなんて、まともではないと思います。海外では一晩で身ぐるみはがされて、借金地獄になり、みずから命をたつ人もいと聞きます。これまで2人の子もたちを横浜で育ててきましたし、これからもそのつもりでしたが、本当にカジノができて荒んだ町になるのなら、引越しも考えないといけないと思います | 参考 | |
| 1146 | カジノが市の財政強化に裨益することはありえない。政治・行政を司る立場でカジノに負けた人の財布を当てにする精神構想は理解に苦しむ。 | 参考 | |
| 1147 | P2、4「成長戦略」 P17「カジノ 国等に財務貢献」収益の7割はカジノによるもの。カジノは人の不幸の上に成り立つビジネスであり、人の不幸を成長戦略とすることは許されない。 | 参考 | |
| 1148 | カジノには絶対反対です。仮に横浜市の税収が上がるとしても、観光客であろうと一般市民であろうと、多くの人の多大な損失（経済的な損失だけではなく、依存によって、その人の人としての存在そのものの損失）の上に、横浜市が利益を上げたいですか？ | 参考 | |
| 1149 | 収益が有ると言うことは、誰かが損失をしているということで、これが依存症を生む原因に繋がる | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1150 | 私は、カジノに強く反対します。何故ならば、一般用語では「ギャンブル」、日本語で言えば、「賭博」だからです。先ず、「素案」を拝読しました。昨今、「カジノ」が大きな問題になっているからでしょうか、「依存症対策」などかなりのページ数を割いておられます。しかし、ちょっと考えてみたら随分とおかしなことです。IRを構成する「カジノ」以外の「MICE」「魅力増進施設」「送客施設」「多彩なホテル群」「エンターテインメント施設、レストラン、ショッピングモール」に関しては、各々その素晴らしいさを大いに謳っています。しかしながら、こと「カジノ」に関しては、「落ち着いたエントランス、室内の内装により、エレガントな非日常を感じられる大人の社交場」(46頁)との記載があるのみです。本来であれば、他の施設同様に「カジノはこんなに素晴らしい、楽しい!」という謳い文句が並んで然るべきではないでしょうか。しかし、そんなことは言えません。なんとすれば、ただ単にカジノと言うと、何となくきれいごと聞こえますが、所詮、お客から大量に金銭を巻き上げる「ギャンブル」です。冒頭に言いましたが、日本語で言えば、まさに「賭博」を行う施設なのですから。それも、それを公共、行政のお墨付きで行うというのですから、とんでもないことです。したがって、「方向性」とあいまいに訴えられても、これら施設の素晴らしいさを何もアピールできないどころか、「百害あって一利なしのカジノ」、もう一度言いますが、「百害だらけの賭博」には、断じて反対です。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。<方向性P.69、77> |
| 1151 | ギャンブル依存症の対策に世界最高水準の規制を設け、包括的な対策を打ち出していますが、裏返せばそれは「カジノ」が取扱注意の劇薬危険物ということ。その危険性を包括的に監視する市内の労力「コスト」が見込まれていません。以上の三点から、私は横浜のIR事業に賛同できません。 | 参考 | |
| 1152 | 人の不幸で成り立つ経済や市政とはどういうものか、お答えいただきたい。 | 参考 | |
| 1153 | ギャンブルで経済や市の財政を確立しようという発想自体が認められない | 参考 | |
| 1154 | カジノの誘致には絶対反対です。賭博のアガリを自治体の財政の足しにしようという考えがそもそもさかしいと思います。もっとまっとうな方法で市財政を考えてください。 | 参考 | |
| 1155 | ばくちに負けた人たちのお金で成り立つような横浜市の市民にはなりたくありません。 | 参考 | |
| 1156 | 反対です。横浜の未来に人の不幸の上にか成り立たないIRカジノはいりません。そんなものに頼らない経済政策を考えてください | 参考 | |
| 1157 | バクチの上がりに依存する市の財政運営などということも不健全極まりない。 | 参考 | |
| 1158 | カジノ目当てで来場する人がいたとしても、そこでの儲けとは、賭博行為で客が負けた分のお金です。間接的にはなりますが、カジノでの儲けに税収増加を期待すること自体が卑しく、市民としては到底誇りに思えません。 | 参考 | |
| 1159 | 反対です。カジノ誘致は断固反対です。カジノは負けて不幸になる人がいて、人の不幸の上に成り立つビジネスモデルです。そのようなカジノキャンブルに、横浜市の財政が頼ることになることが本当に健全な横浜のあり方ではないと考えます。市民の切実な思いに立ち、横浜の厳粛な歴史を思い、横浜の栄誉ある未来を子々孫々残すために、最後の最後まで、カジノ誘致撤回に向けて、反対の皆様と協力して参ります。 | 参考 | |
| 1160 | 高齢者として、誰かが負けて苦しんでいる金で支えて貰うのでしたら、粥をすすい、歯を食いしばって自力で生活する方がどんなに幸せかを考えてください。 | 参考 | |
| 1161 | 横浜市が社会的に問題の多い「賭博」施設を「リゾート」などの言葉に含めて「カジノ」を作ることにも反対です。少子高齢化の中で市の予算云々という大問題は単純に「カジノ」で解決されるのではなく、「カジノ」はむしろリスクでもありうるのです。無理やりの「カジノ」推進に反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1162 | IRはカジノが中心 市長は、「IRにカジノがなければ収支が成り立たない」と説明してきました。カジノはIRに不可欠、不可分なのです。3%を強調し、影響度を小さく見せようとしているようです。でも実際は巨大賭博場、そして収益の中心ではないですか。カジノで市民の暮らしは豊かになりません 高齢化、GDPが横ばい、、、だからカジノが必要、救世主のように聞こえます。しかし、安心して子供を産み育てられる社会、勤労世代の賃金・収入の向上、長生きが喜べる社会こそ求められているのではないですか。税金の使い方、集め方、莫大な大企業の内部留保などが問題だと思いません。カジノでは解決しません。カジノ、博打で何千億もの収益を上げるということは、多くの人が家計、財産を奪われるということです。収益を上げて「生産物」は生みません。市民、住民の不幸の上に、市財政が「改善」されていい理由はありません。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。〈方向性P.69、77〉 |
| 1163 | 横浜へのカジノ導入には、断固反対いたします。カジノは、一攫千金を狙う人の射幸性に依存します。幸いを得る人と同時に不幸になる（損失を受ける）人の両方があって成り立つものです。幸いを狙う行為は、博打にほかなりません。不幸になる人の懐を当てにするのは、公の事業として卑怯なことです。そのような心性や行為は、真面目に働き生きていく人々とは無縁のものなのです。また、文化を育むこととも無縁です。文化都市横浜に、カジノは全くふさわしくありません。依存症を論じるより前に、そのような存在自体が、文化の破壊です。 | 参考 | |
| 1164 | カジノ法案に大大大反対です。アメリカ企業の利益のために我が日本人の精神が崩壊し、依存症に悩まされるのは我慢できません。ギャンブルによって税金を上げるのはおかしいと思います。 | 参考 | |
| 1165 | 人の不幸を土台にするIRカジノ事業は、あってはならないと思います。それは経済とは言えない。真つ当な事ではないからです。そんな悲しい・汚れた金は市の収入にはなりません。使って欲しくはありません。 | 参考 | |
| 1166 | 賭博という非倫理的な行為、しかも負けた人のお金を当てに市の財政を委ねることに道義に反するのでカジノ誘致に反対する。 | 参考 | |
| 1167 | IRの内容としてのカジノの設置には大反対です。依存症の人を生み出すのはもちろんのこと、街の発展の方向性として実に醜い企画としか言いようがありません。諸外国の失敗に学ぶべきです。 | 参考 | |
| 1168 | 横浜市税等の増収効果により財政が改善されるというが、カジノで負けた人々から得た収益の一部からに他ならない。極めて不健全なものです。 | 参考 | |
| 1169 | この素案は少子高齢化に備え、IRで安定的な税収が得られると予測しているが、専門家を含めた検討をしているか大変疑問である。税収が増える側面と税からの支出の側面がある。また、こうした深刻なギャンブル依存症の人を生み出すことで、カジノ業者の高利潤が生まれ、横浜市の税収も増えるという問題のある構造である。誰も人の不幸の上に立て、税収を増やすことは望んでいないことを真面目に検討すべきである。 | 参考 | |
| 1170 | 人の不幸の多さが、カジノの収益の源です。金に色はないというにせよ、人の不幸と引き換えに生まれる金をあてにする自治体運営は、自治体の本旨に反します。自治体の退廃であり自己否定です。自治体は市民の福祉向上のためにこそ存在するのです。「民間施設の民間運営」で、自分（自治体）の手は賭博で汚していないと云って合理化できるものではありません。健康健全の自治体をとるべき道ではありません。 | 参考 | |
| 1171 | 横浜IRの〈方向性（素案）〉が想定するIRの収益の過半は、カジノの収益です。しかも、横浜市は、そこからの収益を主とするIRからの効果（収益）を、みずからの収益としてカウントしています。その額は「年間820億円～1200億円」ともなっています。それは、「業者の提起した情報を整理」したものとされてきました。「方向性（素案）」は、監査法人が、事業者によって虚飾された嘘の数字ではないことを「確認」（「素案」）したとされました。いうならばそれは「洗浄された数字です。横浜市という自治体、まわり（IR区域以外）では、非合法のカジノが、IR区域内では、合法の特権を得て、そこからあがる収益から、収益を得て、それを増収効果とする。「合法」だからと云って肯定されるものではありません。市民社会の品性と倫理に反するだけでなく、それを合法の名のもとで崩すものです。多くの市民がノーの声をあげているのは当然です。まともな自治体をとるべき道ではありません。横浜IRは撤回すべきです。 | 参考 | |
| 1172 | カジノの収益は、敗者の失った財産が収益の源です。不幸の多さが、カジノの収益の源です。そんな金をあてにする自治体運営は、自治体の本旨に反します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1173 | カジノの収益は多数者が「公正な」賭博で失った非生産的消費の積み重ねです。生み出される不幸の集積といわざるをえないものです。市の収益はそこからもたらされる。この事業モデルに依存する市政はいかがなものか。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これまで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源としています。 |
| 1174 | 「カジノ行為」とは、「偶然の事情により金銭の得喪を争う行為」（IR整備法）と定義されています。その中でも、「機器または用具」（カジノ装置・道具）が、カジノ行為と一体的に整えられた「場所」（まさに賭博場）において「金銭の得喪を争う行為」カジノゲームであり、全体としてカジノ賭博にほかなりません。日本社会では賭博はご法度の歴史が長い。特に、カジノ賭博は今も犯罪として取り締まられています。カジノ賭博、また、合法カジノ文化が新しい横浜文化として位置を占めることがあり得るでしょうか。（横浜らしさ）を革新する力になるでしょうか。 | 参考 | 多くの方々、節度を持ってこれらを利用されている一方で、過度な「のめり込み」などによって、社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるのも事実です。このため、日本型IRには、厳格な免許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳しい世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少しています。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさないように取組を徹底していきます。＜方向性P.69、77＞ |
| 1175 | 「素案」では、かなりのページが、カジノへの「世界最高水準」の対策・管理云々が記されています。「対策・管理」の実施は、「カジノ合法化」の条件にされていますが、そのことで、IR区域を一步外へ出れば後ろに手が回る「カジノ行為」は賭博ではなくなるのですか。IR法では「カジノ行為」とは、「カジノ事業者と顧客との間又は顧客相互間で、同一の施設において、その場所に設置された機器又は用具を用いて、偶然の事情により金銭の得喪を争う行為」とされています。まさに賭博です。「合法カジノ」は、賭博への市民参加のバリアーを下げるだけではないですか。 | 参考 | |
| 1176 | 横浜IRは、国のIR整備法でカジノが合法化された、という判断ののっとなっています。しかし、カジノ行為が賭博であり、合法カジノは、賭博場づくりであって、多大な負の効果を生むものである、という認識に対し、管理、警察対応を述べるだけで、合法カジノとはなにか、についての認識が全く示されていません。極めて不十分です。 | 参考 | |
| 1177 | 基本的にIRは民間の私企業（賭博業界企業）として想定されており、その事業モデルがどのような収益構造をもつのかは企業秘密ともいえるでしょう。とはいえ、賭博業界の常識からすれば、カジノの収益は、お客が賭けで負け、失う財産であり、それは、賭けに勝ち、増やす財産より、はるかに多いものです。カジノ事業は多数者の「犠牲」の上に成り立つ事業モデルです。 | 参考 | |
| 1178 | 基本的にIRは民間の私企業（賭博業界企業）として想定されており、その事業モデルがどのような収益構造をもつのかは企業秘密ともいえるでしょう。とはいえ、賭博業界の常識からすれば、カジノの収益は、お客が賭けで負け、失う財産であり、それは、賭けに勝ち、増やす財産より、はるかに多いものです。カジノ事業は多数者の「犠牲」の上に成り立つ事業モデルです。 | 参考 | |
| 1179 | 限られた条件、エリアのかぎり、カジノの非合法性が解除されたとしても、カジノが刑法の対象になる賭博としての性質が「無」なるのではない。さらにエリアを離れば、賭博は非合法、刑法上の犯罪である。（カジノ文化）は「犯罪文化」となる。それが、日常市民社会に流入する。この《カジノ文化》の矛盾を横浜市はどう受け入れるというのか。こたえて欲しい。 | 参考 | |
| 1180 | 横浜IRでは、IR整備法にのっとり、山下ふ頭を「未来の街」に作り上げ、これまでの「横浜都心臨海」と呼ぶ融合して、新しい横浜革新を創造しよう、とっています。統合型リゾート事業の一部として開設されるカジノは、刑法上違法ではなくなるということですが、それはカジノが賭博ではなくなるということと同じですか？賭博である事は変わりがないが、IR区域という領域の中にある限りにおいてのみ、賭博という性質が消えるということですか。市長はどう認識しているのですか。まだ、市はどういう議論をしてきているのですか。明確にしてください。 | 参考 | |
| 1181 | カジノが、なぜ現行刑法において、犯罪とされているのか、賭博犯罪として刑法の対象になっているのか、その理由（根拠）について、市長はいかなる考えをお持ちですか？その点が明確ではないことが、横浜IRがなんであるのか、理解されない理由ではないですか。 | 参考 | |
| 1182 | カジノは賭博であり、犯罪だ、というのが日本の刑法の規定です。横浜市がのっとなっているIR整備法は、この賭博観ですか。あるいは、カジノ行為は賭博、反社会的悪事という見るのですか。市長はどういう見解をお持ちか教えてください。 | 参考 | |
| 1183 | いろいろな賭博のなかで、日本社会では、カジノは、なぜ刑法による取り締まりの対象になっているとお考えですか。教えてください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1184 | 健全な遊びとして、結果として、たとえ大金が入ろうが、大金を損しようが、その勝った負けたを楽しむのがカジノの本来の楽しみ方であるというの は、一つの考え方です。しかし、そこから外れるのは、自業自得として、御 本人責任に転化してしまい、人の弱点を利用して、もうけを増やす事業に合 法性を与え、拡げることの、反社会性が批判されなくてよいのでしょうか。 市長はどう考えますか。 | 参考 | 日本には、公益面から法律で認められている競馬 などの公営競技、宝くじやtoto、パチンコなどの 様々なギャンブルや遊技が存在しています。公営競 技等の収益は公益事業に活用され、本市でも、これ まで宝くじや日本中央競馬会の収益金等を市の財源 としています。 多くの方々は、節度を持ってこれらを利用されて いる一方で、過度な「のめり込み」などによって、 社会生活に支障を及ぼしている方がいらっしゃるの も事実です。このため、日本型IRには、厳格な免 許制や入場制限など既存のギャンブル等よりも厳し い世界最高水準のカジノ規制が施されており、事業 者にも問題のある利用者への徹底した対応や相談窓 口の設置など、責任ある運営を求めています。 日本型IRが参考としているシンガポールでは、 IRの設置前から依存症対策に取り組んだ結果、既 存を含めたギャンブル依存症の有病率が減少してい ます。本市でもこれらの成功事例を参考に、国、事 業者、関係団体などと協力して依存症の方を増やさ ないように取組を徹底していきます。＜方向性 P.69、77＞ |
| 1185 | 一方で依存症の対策（縮小）を強調強化しながら、他方で依存症の基盤を拡 大する方針をとる。これは矛盾ではないでしょうか。自治体がそうした矛盾 の事業モデルを推奨すべきではありません。ましてやそこからの収益を当て にした市政を行うべきではないと考えます。 | 参考 | |
| 1186 | 安心安全対策に多大な労力を使うのは、カジノがその中心にあるからです ね。無駄なことに思えます。 | 参考 | |
| 1187 | 市は820～1200億円/年の財政貢献があるとしていますが、その金は ギャンブル依存症者からまきあげたもので、家計の破綻、多重債務、自己破 産、犯罪まで引きおこし、財政貢献以上の生活保護などの社会保障費、治安 維持のための費用の増加などの財政負担をもたらします。 | 参考 | |
| 1188 | 横浜市はIRのなかでカジノの面積は3%としていますが、IRの収益の大 半はカジノでまかなうとされています。カジノ＝賭博は刑法で禁じられてお り、多数のギャンブル依存症者を生みだします。 | 参考 | |
| 1189 | この度のIRの収益は、人の不幸から生まれるカジノからが最多と聞いてい ます。カジノの客は外国からの観光客と言っていますが、他の国の実情で は、自国地元の住民が犠牲になることが明らかです。 | 参考 | |
| 1190 | カジノ（賭博場）は絶対に許されないもので反対です。いくらIRと粉飾し てもその本質は変わらず、人の不幸で税収を上げようというのはもってのほ かで、横浜市のために多数の県民が被害にあい、これまで築き上げてきた歴 史観光財産を台無しにするもので豊かな暮しとは無縁です。絶対計画中止 を。 | 参考 | |
| 1191 | カジノ誘致は中止しろ。ギャンブルは刑法で禁じられている。それを市長は 実施して1200億円のお金が市に入るといいますが、根拠は無いし、そもそも ギャンブルで負けたお金の一部が市の運営をすすめる財源になるのは困る。 | 参考 | |
| 1192 | IRに向けるエネルギーを子供の教育保育 高齢者の特養増設などの政策に 向けてほしい。“かけごと”を、政治が導入しようとするなどもっての他で す。 | 参考 | |
| 1193 | 人の不幸を元手にした税金を自治体の収益にすること自体、間違っていま す。 | 参考 | |
| 1194 | 善良な市民をカジノ（賭博）に巻き込まないで！汗水たらして得たお金を一 瞬にして奪ってしまうカジノ（賭博）だけは作らないで！不幸になる人が増 えてしまうのではないかと考えます。 | 参考 | |
| 1195 | 絶対反対！カジノの利益で暮らす街なんて住みたくないです。 | 参考 | |
| 1196 | 市民の生命と財産を守るのが行政（横浜市）の最大の責務です。横浜市は、 「市民の不幸」を前提にして「増収を図る」という最も「卑劣」である。こ の点をどう考えますか。 | 参考 | |
| 1197 | 方向性2＝都心臨海部との融合→「市民の損金」で財政の波及効果を狙うの は邪道 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1198 | 横浜市の大規模な投資が前提かもしれません。不明点ばかりでまたハコモノを作る政策は同意できません。 | 参考 | <p>IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。</p> <p>ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。</p> <p>ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。</p> <p>なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出はないものと考えています。</p> |
| 1199 | IRという巨大な事業に巨額を投じるのは、人口減少、少子高齢化の流れに逆行しています。その負担を後の世代に引き継ぐことは、矛盾していると思います。今ある財政で人々の暮らしに密着した商店街の活性化、中小企業の振興などを計り、市全体の豊かな暮らしが維持できると思います。 | 参考 | |
| 1200 | 反対 横浜にカジノ？いらんよ！！必要ないでしょ！！。カジノはいらぬ横浜にお金がないからカジノでもうけようとしているがもうける金より失う方が多いのです | 参考 | |
| 1201 | 横浜市は山下埠頭の基盤整備にどの位の費用をかける予定ですか。 | 参考 | |
| 1202 | カジノは絶対反対です。IR、カジノ誘致推進に大金をつぎ込むのはすぐに止めて！多くの市民はカジノは良くないと考えています。反対です。！ | 参考 | |
| 1203 | 横浜IRの件、何を考え、どのような、構想を持っているのか、と疑問を感じます。このことによるマイナス面を、是非に考えてほしいと思っています。しかし、どこかにうるおすかプラスになる何かがあるのでしょうか。 | 参考 | |
| 1204 | 治安対策、依存症対策に市民の税金を使ってまで、カジノをやるべきではありません 横浜IRの方向性（素案）には絶対反対です。 | 参考 | |
| 1205 | カジノをやるために、大きなお金をかけなければならない。 | 参考 | |
| 1206 | 依存症対策を考えるよりは、市の文化性をいかに高めるかに資金を注ぐべきです。IR導入にどの位の予算を考えているのでしょうか。恐らく莫大な資金が動くことでしょう。その資金を、青少年の育成や貧困家庭の支援に回すべきではと思います。国際会議場やエンターテイメント施設など…は必要に応じて作ればよいと思います。それよりも、為政者は、横浜市民の生活向上に目を向けた判断を願います。以上の視点からIRの素案に反対します。 | 参考 | |
| 1207 | IRのために莫大な税金をつかわないで下さい | 参考 | |
| 1208 | 横浜市は、税金を注ぎ込むことになるが、いくら投入するのか。 | 参考 | |
| 1209 | 日本、横浜にカジノはいらぬと思います。そのための時間、お金は、子どもたちのために使ってほしいです。 | 参考 | |
| 1210 | 治安の悪化、依存症のこと、整備に使うべく大な税金、いいことは一つありません。ぜひ、止めてください。 | 参考 | |
| 1211 | バクチ施設のために莫大な市税をかけるよりも中学校給食にこそ市税をかけて下さい！ | 参考 | |
| 1212 | カジノ断固反対です。大声で叫びたい。賭け事に依存症はつきものである。依存症対策や矯正に公的資金を使わないで欲しい。健保適用は間違っている。 | 参考 | |
| 1213 | これだけの事を実現するには莫大な税金がいる。横浜市にはその余裕がない。 | 参考 | |
| 1214 | これだけの事を実現するには莫大な税金がいる。横浜市にはその余裕がない。限りある税金でこつこつ実現して行くべきだ。IRの中のカジノは「安全・安心対策の横浜モデルの構築」などが必要ならやめるべきである。カジノで儲けるお金位は節約すれば何とかなる。 | 参考 | |
| 1215 | IRのために新たな整備に莫大な税金をかけることに賛成できません。もっと、もっと、市民に必要なものがあるはず。社会保障や、教育に財政を生かしてください。 | 参考 | |
| 1216 | IRを実現する上で税金は投入すべきで無い | 参考 | |
| 1217 | 借金を増やすことで財政を立て直す論理は破綻している。 | 参考 | |
| 1218 | 依存症のための対策費を余分に使う事は本末転倒である。直ちに横浜IR事業を断念すべきである。 | 参考 | |
| 1219 | 誘致は賛成、市税を費やすのは反対（民間で運営するべき）です。 | 参考 | |
| 1220 | 個人的には、ただの税金の無駄づかいに終わる気がします。 | 参考 | |
| 1221 | 市税は、市民の為に使って下さい！！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1222 | 次の項目の数字とその根拠を説明して下さい。1. 総投資額（横浜市が投資する）2. 収益額（年間）横浜市がI Rに投資した結果、見込み収益が得られず、借金が残る結末が心配です。 | 参考 | I R整備法では、I Rにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型I Rは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。 |
| 1223 | 市民の莫大な税金を投入してまでI Rの開発建設が必要なのか。リゾートに名を借りたカジノ公認賭博場を横浜にはほとんどの人が大反対なのに、市民の意見にも耳をかさないで、残念 横浜を賭博の都市にして欲しくない。不幸な人達が出ます。絶対取りやめて欲しい。カジノ大反対です。 | 参考 | ただし、I R整備法においては、I Rを設置する自治体は、I R区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、I Rの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。 |
| 1224 | 道路、交通機関の整備に莫大な費用が掛る、これは私達の税金で出て行きます。 | 参考 | なお、これらの費用については、将来、I R事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、I R事業全体として、市税の持出しはないものと考えています。 |
| 1225 | 本件事業がもたらす様々な影響、将来を見据えた多方面にわたる効果は、決して悲観するものではなく、むしろ様々な課題解決を促す1つの手段として、市民生活の豊かさ、地域経済活性化などにつなげる施策など、前向きな内容もあると思います。当然に想定されるリスクや懸念事項にはしっかりと向き合い対応を考慮すべきですが、大事なのは事業開始後の検討であり、具体的に経済・観光・教育・地域活性化などの分野で横浜市内はもちろん、神奈川県内・全国にどんな波及効果をもたらすか、行政・民間・市民が一緒になってどう行動すべきかを考えるべきで、この事業が成功するか否かもそこにかかっていると感じます。素案にある各種「持続的成長」や「拡がり循環する効果」などもしっかり理解した上で今回の是非を判断すべきで、多くの社会問題・課題につき、明確な打開策が難しい状況下で、本件も解決の起爆剤として本事業を進めることはよいかと思えます。しっかりと現状や将来を見据え、感情・感覚でなく、冷静に行政も市民も判断すべきと考えます。 | 参考 | |
| 1226 | 交通インフラ整備にかかる費用はどうなんだ。いくらかかり、どこが払うのか。こんなことに固定資産税都市計画税が使われるならば、払いたくない。市民の信頼なく市政運営できるのか。 | 参考 | |
| 1227 | お金がなくて暮せなることがどんなに辛いことか私にとって良くわかりません。ギャンブルによってそのような状態になることが決してあってはなりません。私共の税金はカジノのために使われてはなりません。一人一人のバブコメを尊重して明るい街づくりをしていただきたいものです。 | 参考 | |
| 1228 | I Rに多額の資金を使うのではなく、現在ある横浜の観光資源をさらに整備し、国内外に発信すべきである。 | 参考 | |
| 1229 | 過去の全国的な箱物行政の失敗を繰り返してはならない。 | 参考 | |
| 1230 | 建設費、維持管理費が多額の為減価償却までの年月が長くなる 遊技は後にしてインフラストラクチャーの方が先だ！！ | 参考 | |
| 1231 | I R建設に要する、公的支出額と法人税収で埋め戻すに要する青写真が未提示。 | 参考 | |
| 1232 | 市民の税金を使い、大きな計画をしていますが、独走をゆるすことはできません。 | 参考 | |
| 1233 | ギャンブル依存症者の負け金で仮に財政が潤ったとしても仕方なく、道路整備費用、違約金等の補償リスク、依存症対策コスト、横浜のイメージ低下など、マイナスが多い。 | 参考 | |
| 1234 | ギャンブル依存症に対しても公的保険を使おうなど本末転倒です。今未病対策が言われているのにどういふつもりですか。 | 参考 | |
| 1235 | 横浜にカジノを含むI Rは必要ありません。必要なのは、少子・高齢化や人口減少を防ぐ、ための施策です。I R誘致のための莫大な資金は結局、我々市民が納めた税金から出す訳で、絶対に反対です。 | 参考 | |
| 1236 | ギャンブル依存症につながるカジノ誘致に反対です。カジノ誘致に税金をつかうのではなく他の手段を考えて、人々が健全に暮らせる環境作り、食育、教育、医療、福祉等、世界に誇れる技術革新、構築のために未来に向けての投資等推進してほしい。横浜市民、日本国民の負担が増えないようお願いいたします。 | 参考 | |
| 1237 | I R構想、全て反対ではありませんが箱ものだけを大きくしてという印象で、賛成できません。人口減少、収入減、活力の低下をおさえるためにという発想ですが、今後の維持等考えると逆効果では。 | 参考 | |
| 1238 | 市税をこういう事には使わないで下さい | 参考 | |
| 1239 | 市民の税金を勝手に使わないで 生活をこわさないで下さい。 | 参考 | |
| 1240 | I R賛成。できるだけ税金を使わないでください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1241 | 税金不足の名目でIRをつかってほしくないです。横浜市長の政治力の力量を発揮してください。横浜誘致のIRは反対 | 参考 | <p>IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。</p> <p>ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。</p> <p>ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。</p> <p>なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出はないものと考えています。</p> |
| 1242 | 収益がふるわなかったら市がカジノにテコ入れすることになります。 | 参考 | |
| 1243 | ・設備投資、カジノ（必ず終わる持続性ない）終了後治安対策依存症対策、生活保護費など社会的コスト考えれば税金の多大なムダ | 参考 | |
| 1244 | 依存症対策、またはその結果の生活保護等の費用が想定範囲を尋常でなく越えないとよいのですが。 | 参考 | |
| 1245 | IR、は民間が作る様な印象を与える方向性素案ではないか？カジノを作るのは民間だろうが、道路や下水道は市である。総事業量はみなとみらいの数字が参考に記してあるが、みなとみらいは横浜市として黒字なのか？計画した事と実績がわかる様にしてほしい。 | 参考 | |
| 1246 | 増収（資産）効果と依存症及び治安対策 負債を比較した場合 | 参考 | |
| 1247 | 横浜IR（統合型リゾート）施設建設に反対！！莫大な建設費が必要になり、回収できないうちに、カジノ依存症の人の治療の為に施設が必要になるでしょう。絶対反対！！ | 参考 | |
| 1248 | 主体は民間なのか官業なのか？はっきりして欲しい。地方自治体と国の関係は、どの様な関係か？ | 参考 | |
| 1249 | 税金の無駄使いです。 | 参考 | |
| 1250 | 余計な所に金を使うな！ | 参考 | |
| 1251 | 市長！ここで、やっぱり「横浜市はカジノ建設をやめます」と決断してほしい。カジノ建設に大金を投じるのは狂気のさたです。カジノはパチンコとは違います。他人の不幸で幸福は得られません。 | 参考 | |
| 1252 | 私は、生活保護を受けている人より、年金より色々な税金、保険などを引かれたりして、苦しい生活をしているのに、私達に関係がなく、利用する分けてもないのに、IRカジノをなぜ推薦するのか？又、其の為に、ギャンブル依存症になった人の為に、なぜ助けてやらなければいけないのか？このような事で、何億と云う私達の税を使ってもらいたくないです。今敬老パスも赤字との事ですが、こんな私達に関係ないカジノの為に税を使うのであれば、敬老パスの補助金も今までどうりに出せるのではないですか。カジノは反対です。横浜にカジノはいらないです。 | 参考 | |
| 1253 | カジノに依存して悲惨な生活を送る方が出て来るとい事ですから公の莫大な資金を使って運営し、莫大な収益を上げようなんていうのは本末転倒のような気が致します | 参考 | |
| 1254 | 依存症、治安対策もカジノがなければいけないものです。余計な費用だと思います。 | 参考 | |
| 1255 | 税金は1円でも入れないで。 | 参考 | |
| 1256 | ギャンブルはほんの小数の方の楽しみと思います。その様な人々の為に大切な税金を使ってほしくありません。 | 参考 | |
| 1257 | もっとやるべき事に予算を使ってほしい。 ×学生向給食の実施 ×生ごみ対策：コンポストの助成 ×各種イベント開催への助成 ×等々 | 参考 | |
| 1258 | 横浜にカジノは要らない。IRに4億円も使うのだったら学校や福祉に使ってほしいです。横浜にカジノは要りません。市民はカジノを望んでいません。市民の為に施設を作ってほしいです。教育や福祉、仕事、余暇活動ができる施設を作ってほしいです。カジノぜったい反対です。市民第一の市政を推進してほしいです。 | 参考 | |
| 1259 | カジノ設置に条件付賛成です。その条件は、如何なる理由があっても、市税からカジノ設置に関する支出は絶対反対。カジノ設置後の運営、中毒者対策等についても、設置者の責任においてすべて負担すること。 | 参考 | |
| 1260 | 治安対策に市税を投入することも絶対反対。バクチは胴元が儲かることが前提にあり、すべての費用は、胴元が負担すること。 | 参考 | |
| 1261 | 少子高齢化対策、福祉政策、災害対策等、他にやるべき対策が山積しており、予算をそれらに優先的に配分すべき。 | 参考 | |
| 1262 | 市民の大切な税金を使って、自治体が、カジノを設置することは、絶対にやめて下さい | 参考 | |
| 1263 | カジノ建設の為に税金を払っている訳では無い。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1264 | 横浜市IRカジノ構想案に以下の理由で“反対”意見を述べます。これから少子高齢化に向かう日本においては、中国やシンガポールのカジノ経営は参考にならない。カジノ経営を後押しするため「依存症対策」、「治安対策」に掛ける予算があるなら「少子高齢化対策」に当てるべきである。 | 参考 | IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。 ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。 ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。 なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出はないものと考えています。 |
| 1265 | 市民の税金をカジノに注ぐことは絶対にやめるべきである。 | 参考 | |
| 1266 | カジノ誘致のために莫大な税金が使われるのは許せない。IRのために新たな道路、地下鉄、海底トンネル、首都高との直結事業などで1,000億円を超える市税が投入される。納税者としてはとても理解できる話ではありません。 | 参考 | |
| 1267 | 〔「IRカジノ」設置に反対です。〕賭博施設を大金をかけて作る必要はない。 | 参考 | |
| 1268 | 「依存症や治安対策」費用は、明らかに不要の資金が使われる。 | 参考 | |
| 1269 | 神奈川県民、横浜市民も高齢化が急激に進むことは、明らかでIR投資はカジノを除いても、今後、必要性がなく、「経済効果」はなく、県民、市民の大負担となることから大反対です。 | 参考 | |
| 1270 | 地方活性化の柱のように位置づけられているが、世界各地のIRカジノが、地方負担増になっているように、日本でも同じ結果をもたらすことは明白。 | 参考 | |
| 1271 | カジノ誘致のために莫大な税金が使われるのは許せない。IRのために新たな道路、地下鉄、海底トンネル、首都高との直結事業などで1,000億円を超える市税が投入される。納税者としてはとても理解できる話ではありません。 | 参考 | |
| 1272 | カジノ誘致のために莫大な税金が使われるのは許せない。IRのために新たな道路、地下鉄、海底トンネル、首都高との直結事業などで1,000億円を超える市税が投入される。納税者としてはとても理解できる話ではありません。 | 参考 | |
| 1273 | カジノ誘致のために莫大な税金が使われるのは許せない。IRのために新たな道路、地下鉄、海底トンネル、首都高との直結事業などで1,000億円を超える市税が投入される。納税者としてはとても理解できる話ではありません。 | 参考 | |
| 1274 | カジノ誘致のために莫大な税金が使われるのは許せない。IRのために新たな道路、地下鉄、海底トンネル、首都高との直結事業などで1,000億円を超える市税が投入される。納税者としてはとても理解できる話ではありません。 | 参考 | |
| 1275 | カジノ誘致のために莫大な税金が使われるのは許せない。IRのために新たな道路、地下鉄、海底トンネル、首都高との直結事業などで1,000億円を超える市税が投入される。納税者としてはとても理解できる話ではありません。 | 参考 | |
| 1276 | 市は、IRの収入に依存しないで済むような方針は検討したのでしょうか。横浜市が初めからバクチ行政にのめり込んでいるように思います。IRの事業収入のカジノの占める割合は8割とも言われており、カジノ無しでは成立しないIR。行政がこのIRを推進することは道義的にも反することでは不会でしょうか。いくら国のお墨付きをえたとしても許せません。「パブコメ」にはIRの事業収入、横浜市への収入などが書かれていますが、数字の根拠が分かりません。信頼できません。リスク対策も書かれていますが、他にも大変なリスクがあるのではないのでしょうか。箇条書き的なリスク規制、対策には理解、納得できません。規制、対策にどれだけの費用がかかるかも書かれていません。カジノという性格上、いくら規制、対策を試みてもムリです。依存者を増やすことをやっつけながら、そうした依存者に「自己責任」を押しつけるという訳にはいかないでしょう。この依存者に横浜市はどう責任をとるのですか。このような信頼おけない規制、対策してまでやるべきではないと思います。 | 参考 | |
| 1277 | 莫大な税金をかけてギャンブル依存症を増やす政策には価値を見い出しません。 | 参考 | |
| 1278 | 市民が求めるものは、毎日が安心できる日常です。若い人たちが子供を安心して産める、横浜市です。市の税収の8割は私たちの支払った税金、市民の為に使うのが当りまえです。IR、ばくち場など造る必要は全くありません。 | 参考 | |
| 1279 | 横浜にカジノはいりません！！絶対に反対！税はもっと市民生活のために用いられるべきものです！！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1280 | IRの整備のためにばく大な市の予算を支出しないでください。市長は市民の声を聞くべきです。 | 参考 | IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。 ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。 ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。 なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出しはないものと考えています。 |
| 1281 | 負の連鎖で生み出された負の遺産物（依存症の人たちへのケアなどへの対応にかかる医療費など）リスクは大きいと思います。 | 参考 | |
| 1282 | 本気でやるなら、「国の資本」として何もかも責任をもつくらいの覚悟でやるべき、ではないでしょうか。（国営） | 参考 | |
| 1283 | カジノ以外のリゾート会場、ということですが、今回、新市庁舎のまわりにも、パブリックな施設が立ち、以前からあるみなとみらい地区の商業施設など、もあることに加え、また巨大な施設を巨費をつぎこんで、建設する。果たして、これからの世界の動きにみあった動きなのか？巨費をつぎこんで、結果、「箱物行政」となり得るのではないかと危惧します。 | 参考 | |
| 1284 | 本来、そんな、ところに、お金をつかうのではなく、「本当の豊かさ」「本当の市民の豊かな生活」を市長として実現させていくのは、こうしたところにばかりお金を費やすのではなく未来をにう（学校給食の実現など）「子どもたち」にもっともお金をかけるべきではありませんか。 | 参考 | |
| 1285 | カジノ誘致のために莫大な税金が使われるのは許せない。IRのために新たな道路、地下鉄、海底トンネル、首都高との直結事業などで1,000億円を超える市税が投入される。納税者としてはとても理解できる話ではありません。 | 参考 | |
| 1286 | ばく大な市のお金（税金）を使って作るのには反対です。 | 参考 | |
| 1287 | 横浜市にカジノはいりません。市民の税金で整備するのにばく大な税金がかかるのはゆるされません。 | 参考 | |
| 1288 | 少子高齢化の時代に何の手も打たずに市民の税金を持ってカジノ施設を誘致する。カジノは反対です。何でカジノなのか分かりません。 | 参考 | |
| 1289 | 市民の税金で、統合型リゾートを建設しなければいけない理由が全く理解できない。他にやるべき事がある。 | 参考 | |
| 1290 | 多額な、お金をIRにつき込む分、中学校給食にまわせば、子育て中の、世帯は横浜を、はなれる事はないでしょう。現に給食がないから他へ移る人が多くいます | 参考 | |
| 1291 | カジノの実行には市長のポケットマネーや商工会議所等のお金でやるのではなく横浜市民の税金でやるという事をよくよく考えてもらいたい。市の長として、税金は市民の為という事を重ねて願います。 | 参考 | |
| 1292 | 施設の建設には莫大な費用がかかります。私たちの税金は、もっと日々の生活に必要な切実な市民の要求に使われるべきです。 | 参考 | |
| 1293 | カジノ大反対です 税金を使うな横浜を汚すな | 参考 | |
| 1294 | 市民の大部分の人がIRに反対しているのに進められているのに納得できません。大反対です！税金を使わないで下さい。 | 参考 | |
| 1295 | 私達の税金を使って作らないでください 絶対反対です。 | 参考 | |
| 1296 | 初期費用と運営費を算定し事業の損益を精査したうえで誘致発表されるのが基本ですが、発表された素案からはそうされたと伺えません。 | 参考 | |
| 1297 | もし、実施した場合。ギャンブル依存症への対応（医療費の増大・増悪）、治安悪化への対応等、莫大な経費が必要となり、横浜市民にとっては大きなマイナスはあってもプラスなことは何ひとつないということが容易に想像できる。以上、極めて単純・明解で誰でもがわかる理由からカジノを含むIR誘致には絶対反対です。 | 参考 | |
| 1298 | 税金をつかって、カジノ（バクチを）するのは反対です 税金は市民の為に つかって下さい | 参考 | |
| 1299 | 博打に市民の税金を使う馬鹿げたことをしないで欲しい。 | 参考 | |
| 1300 | カジノ誘致のために莫大な税金が使われるのは許せない。IRのために新たな道路、地下鉄、海底トンネル、首都高との直結事業などで1,000億円を超える市税が投入される。納税者としてはとても理解できる話ではありません。 | 参考 | |
| 1301 | インフラ整備に「いくら」予算他を考えているのか。通常の維持費は「いくら」考えているのか | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1302 | ある特別の人々を対象にするのはすでに地下鉄各駅にあるパチンコ屋で充分であると思われま。私の税金を使われることに反対します。 | 参考 | <p>IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。</p> <p>ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。</p> <p>ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。</p> <p>なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出はないものと考えています。</p> |
| 1303 | 社会的コストの発生。ギャンブル依存症者に依拠する、反社会勢力の事業への関与、マネーロンダリング等の通常行政では必要にない分野に人・モノ・金の投入が必要となる。カジノがなければこんなバカげた問題に労力をついやす必要もない。 | 参考 | |
| 1304 | 今、コロナウィルスの脅威に不安な日々を過ごしています。此の誘致に、巨額な資金を注ぎ込んでも、次世代が人間らしく生きて行く為になるとは思えません。 | 参考 | |
| 1305 | 横浜カジノ大反対です。私が払っている税金でカジノを建設しないで下さい。子供や孫の為に税金を有効に使って下さい。未来の為に！私達の税金を有効に！ | 参考 | |
| 1306 | ギャンブル依存症の対策費はIR・カジノ業者が負担。周辺の治安対策も同様。以上一つでも欠ければIR・カジノには賛成しかねるが頑張ってIR・カジノを推進して頂きたい。 | 参考 | |
| 1307 | IRによる効果→観光地域経済、市の増収と市長は、語っているが…莫大な金を注ぎ込んでも、運営が赤字・ギャンブル依存症により生活保護者が多く出た時、市民負担が、のしかかってくるのでは。 | 参考 | |
| 1308 | ギャンブル依存症対策や近辺の治安対策費は全てカジノ経営会社が負担。市税はビター文使ってはならない。 | 参考 | |
| 1309 | 今、横浜市は、カジノのために予算をつけるのではなく子育てしやすい街づくり、中学校の給食問題、高れい化のものだいななど、とりくむ方に予算をかけるべきです。 | 参考 | |
| 1310 | あまりにも整備にばく大なお金（私たちの税金）がかゝりすぎ現状でも出来るリゾート施設の設置=子ども連れで楽しめる施設、を望みます。 | 参考 | |
| 1311 | その胸算用は莫大な費用をかけて回収できないのでは…と思われま。そのまま負の資産となっても市長は責任を負うことができますでしょうか。 | 参考 | |
| 1312 | 一時、建設他で活気があってもその後の維持費やギャンブル依存症の、困った人を増やしたりの負債を考えればやはり反対するべきと考えま | 参考 | |
| 1313 | 人の不幸の上に成り立つギャンブルを私たちが払う税金で準備するのは絶対反対です。 | 参考 | |
| 1314 | 素案には、治安対策や依存症対策を進めると書かれていますが、治安悪化や依存症を生み出す原因を作り、その対策を講じるのは矛盾しています。そもそも賭博は健全ではないのですから、健全なカジノ運営などあり得ません。治安対策、依存症対策を講じるよりも、原因を作りださないことが大切です。 | 参考 | |
| 1315 | 横浜IRの建設については、横浜を愛する市民として提案当初から反対の立場です。まず、税金の使い途として、残念ながら手厚いとは言い難い社会保障や教育を中心に生かして頂きたいと願ってきたからです。 | 参考 | |
| 1316 | 私たちが汗水流してかせぎおさめた税金カジノのためにつかわないで子供たちにまわして下さい | 参考 | |
| 1317 | 大好きな横浜にカジノを作るな。財源はある。税金の使い方を変る。ビルばかり建のではなし。福祉や医療に使い。 | 参考 | |
| 1318 | 横浜港は、一番大切な場所です。なぜ市民の税金を使ってバク地場にしてしまうのですか？市民の反対をおして、カジノIRに使うべきではありません。IRというバクチに手をつけてはいけません。大反対です。 | 参考 | |
| 1319 | 費用は誰が負担するのか。横浜市の既存病院を利用したりして市の負担が増し税金が使われてはならない。依存症対策は市民の既存の病院と別に考えなければならない。 | 参考 | |
| 1320 | IR全体の建設費はすべて事業者負担か？ | 参考 | |
| 1321 | IR（カジノ）の新たな整備費用に1000億円を使うなら、社会保障・教育に使って下さい。 | 参考 | |
| 1322 | カジノ（IR）を整備の為に私達の税金を1000億を使わないで、社会保障や子どもたちの教育に使ってください。 | 参考 | |
| 1323 | カジノ（IR）を整備の為に私達の税金を1000億を使わないで、社会保障や子どもたちの教育に使ってください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1324 | IR整備法に基づく主な枠組みとしてあげられている事業は、すでに現存しており目新しい物は何もない。(レストラン・ショッピングモール、エンターテイメント・アミューズメント施設、MICE施設、多彩なホテル群)。カジノ誘致が目的で二番煎じの施設をつくることは、市民が真面目に納めた税金の無駄遣いと思えない。 | 参考 | IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。 ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。 ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。 |
| 1325 | いま、やめなければ、あとでやめることは莫大なお金がかかります。何としてもカジノ誘致はやめてください。 | 参考 | なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出しはないものと考えています。 |
| 1326 | 横浜にカジノ誘致は反対です。税金の無駄使いも許しません。 | 参考 | |
| 1327 | 業者が赤字になって税金が支払われなくなっても認めるのでは？ | 参考 | |
| 1328 | 市民が多く反対しているIRに多額の予算つきこみと職員の繁忙、負担させないで下さい。カジノは絶対反対です | 参考 | |
| 1329 | 予算の使い方を考えるべきではないでしょうか 予算4億をカジノに使うのは、大反対です。今回の素案は撤回して下さい | 参考 | |
| 1330 | 山下ふ頭の整備一道路・上下水道・鉄道などに新たに莫大な費用(税金)が必要になるでしょう。今、そのようなお金をかけることはやめたほうが良いと考えます。 | 参考 | |
| 1331 | 「推進」には反対です。莫大な資金を投入して建設しても運営はカジノがなければ、大赤字。市民の税金を湯水の如くつきこみ、法律で禁じられている、賭博を合法化するなどもってのほかです。 | 参考 | |
| 1332 | 我々の税金を溝に捨てるのですか？ | 参考 | |
| 1333 | “カジノ”絶対反対です。近い将来、横浜市の人口減、それともなう市民税の減少を“カジノ”の収益で当てるような話を考えているようですが、そんな不遜な考えはやめて欲しい。カジノ建設に利用する税金を、例えば保育園を始めとする、教育関係や、社会保障などに使って欲しい。「カジノ」ができれば最悪です。 | 参考 | |
| 1334 | ギャンブル依存症対策の費用は国、自治体、当該事業者、のうち、どこがどの割合で負担するのか負の部分不明である。依存症の人がいなければ、カジノ事業者は多くの儲けを出すことができないというのがIRの本性である。 | 参考 | |
| 1335 | 入ってくる税金の中で最も市民の必要としていることを優先順にやるべきです。 | 参考 | |
| 1336 | 依存症対策を用意するとの事ですが、その必要はありません。カジノを止めれば済むことです。カジノを止めれば対策費用は不要です。税金の無駄遣いをする事はありません。 | 参考 | |
| 1337 | 市税のムダ使いはやめて下さい！ | 参考 | |
| 1338 | 横浜市の総合型リゾート素案について疑問があり、反対です。横浜を市民の憩いの都市とするのであれば、ギャンブル施設のカジノは設置して欲しくありません。ギャンブル依存症患者の治療のために巨費を投入することになり、市財政を圧迫し、無駄な支出になります。 | 参考 | |
| 1339 | 外国人客でなく日本人の財産をターゲットにするカジノを、どうしてばく大な税金を使い、四十年もの契約(長い間は)途中で破棄できない事をするのですか？そのお金を使い街づくりして下さい。 | 参考 | |
| 1340 | 私達が収めている貴重な税金を健全な施策で“市民の命と暮らしを守る事”に使うと欲しいと強く要望します。 | 参考 | |
| 1341 | 横浜市に「カジノ」は入らない！！横浜市に借金を作らない！！ | 参考 | |
| 1342 | ギャンブル依存症の実態は知らないのでしょうか？市政は人々の幸福、生活向上のため行うのであって、ギャンブル・カジノ誘致に市税を使う事は許しがたい事です。 | 参考 | |
| 1343 | カジノと依存症はつきものです。外国ではカジノと依存症対策をセットで行っています。こんな馬鹿なことあり得ますか…！横浜も同じことをやって、だからカジノを誘致しても大丈夫なんだ…と言っているようです。カジノのためにミスミスわかっているのに人間を依存症にして、依存症になった人のために医療費を投入する。なんて馬鹿げたことをやろうというのでしょうか。また、治安の悪化も目に見えています。横浜のIRに遊びに行った若者達が、遊び心でふらふらとカジノに手を出すこともあり得ます。その結果借金を背負い麻薬密売や詐欺事件に手を染めることも…、人生を誤ってしまうことにもなりかねません。これらの依存症対策費、治安対策費はカジノ収益でまかなえる額ではなく市民の税金が使われます。冗談ではありません！私たちが一生懸命に働いて、カッチリ納めてきた税金です。その使い方は絶対に許せません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1344 | 私達の税金をとばくに使わないで下さい。 | 参考 | <p>IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。</p> <p>ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。</p> <p>ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。</p> <p>なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出はないものと考えています。</p> |
| 1345 | いわゆる40年しぼりのカジノ協定に私たち市民は苦しめられることになりそうです。その費用はどれ位ですか。 | 参考 | |
| 1346 | 私は、カジノを含むIRを横浜でするのは反対です。ましてや、私たちの税金をつかってするのは、きちんと住民の、賛否をとってもらいたいと思います。 | 参考 | |
| 1347 | 面積も狭く予定地の埋め立て、交通アクセスへの横浜市負担は目に見えている。市は他区の説明会で幹線道路の改善やみなどみらい線からのベディストリアンデッキの建設などを回答しているが、こうした交通アクセスへの公共投資はどのくらいの予算を想定しているのか。 | 参考 | |
| 1348 | ギャンブル依存症対策や近辺の治安対策費は全てカジノ経営会社が負担すべきです。私達市民の血税を使ってはなりません。 | 参考 | |
| 1349 | この案ですとどの位の費用がかかり失敗したらどの位の負債が出るのかその時その負債はだれが責任をとるのか | 参考 | |
| 1350 | カジノ誘致には、絶対反対です。税金は身近な暮らしの整備などに使って下さい。 | 参考 | |
| 1351 | カジノを作るお金で、路上生活者が安心して生活出来る家を建ててほしい。 | 参考 | |
| 1352 | カジノに対する批判や不安にもまともに触れられておらず、税金をこんな計画に多額に投入することに強く反対します。 | 参考 | |
| 1353 | IRのために、新たな道路、地下鉄、高速道路の、直結などインフラ整備に莫大な支出が必要となります。 | 参考 | |
| 1354 | 横浜市の依存症対策への取組には、厳格な入場規制が予定されています。しかし、厳密に制限するためには正確な情報の蓄積とそれを可能にする大規模なシステムを必要にしていると同時に、システムの維持・更新には莫大な費用が掛かります。 | 参考 | |
| 1355 | IRがカジノだけを指すのでは無いことは素案を読んで分かりましたが、高齢者が増え、税収が減る、生産性が減少する、という市民の状況下、世界的にも決して好景気では無い上、異常気象・温暖化による地球規模での災害が増加している現代、未来にも繋がる施設を税金を使う公共の事業では作るのが望ましいと考えます。 | 参考 | |
| 1356 | カジノ自体、ギャンブル依存への解決策や、十分な税収の見込みが不透明で、イメージ的にも従来の横浜の魅力を損なうものだと思います。 | 参考 | |
| 1357 | 横浜に新しいIRを巨額のコストを投入する必要性が感じられない。IR整備とその他のためのインフラ整備等々に予算を投じるのであれば、中学校給食の自校方式の整備や、医療・社会福祉の拡充、高齢者対策、そして最も重要な子育て世代への手厚い援助などにその予算を投ずるべきです。 | 参考 | |
| 1358 | カジノ事業開設には反対。また、不安定な観光事業に多額の税金を投入する事には反対します。 | 参考 | |
| 1359 | メリットは分かりました。これには人口減少に伴う税収対策へは賛成です。デメリットもあるとおもうので、その対策が聞きたいです。個人的には、反対派がおっしゃっている、『治安の悪化』『ギャンブル依存症』は特段気にしていません。どちらも結局、パチンコなら良いのか？という話に落ち着きます。パチンコの方がよっぽど貧しい人から金を巻き上げギャンブル依存症へと誘っているのではないのでしょうか？騒音です。ただ素人目ではないので、しっかり考慮されるデメリットと対策を提示していただきたいです。 | 参考 | |
| 1360 | まばゆい光はあくまで金銭的に余裕のある人たちに向けてのものであり、そこに多額の建設費や維持費を税金で使われてしまうのかと、今年横浜に戻る予定の私としては強く反対いたします。 | 参考 | |
| 1361 | 市が掲げるIRの素案と称するものについては、長所ばかりがただ羅列されているだけであり、その根幹たるカジノがもたらすあらゆるリスクについては一切触れられていない。 | 参考 | |
| 1362 | 「カジノ」に市民税を使わず、公共交通に税金を使ってください。 | 参考 | |
| 1363 | 莫大な税金投入が無駄である | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1364 | 財政負担が増大する可能性のあるカジノを誘致するのは危険が多すぎます。どう考えても今の段階では、経費は市民の負担に、利益は外資のものに、なる可能性しかみえてきません。横浜市民は今、これに反対しながらもどうやって阻止したらいいのか、どのように市長に反対の声を届けるべきかと考えあぐねています。反対の声は大変多いことを知っていただきたい。 | 参考 | ⅠR整備法では、ⅠRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型ⅠRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。 ただし、ⅠR整備法においては、ⅠRを設置する自治体は、ⅠR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。 ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、ⅠRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。 なお、これらの費用については、将来、ⅠR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、ⅠR事業全体として、市税の持出はないものと考えています。 |
| 1365 | ⅠRを作る資金があるなら子供達のデジタル教育をもっともっと充実して下さい。その方がはるかに日本の将来の発展に有効です。私の友人達に聞いても全員ⅠRに反対です。これは大袈裟ではなく本当です。怒っている人達も沢山います。 | 参考 | |
| 1366 | 市長を中心にⅠR推進ばかりに目を奪われて基本的な市政ができていない。ⅠRビジネスに横浜市民の税金や時間を巻き込むのは直ちに中止すべき | 参考 | |
| 1367 | 16頁にて「特別自治市」を挙げる以上、神奈川県に頼らず自前で政策を完結させるよう、政策や費用の負担を自力で行ってください。 | 参考 | |
| 1368 | 横浜市中心部の公園はバラエティに富んでいますが、唯一無いのがニューヨークのセントラルパークのような「ただひたすら広大な公園」です。横浜山下埠頭ならそれが可能ですⅠR施設を作る場合、建物はもちろん民間で作るでしょうが、そこに繋がるインフラ（交通は勿論のこと電気、上下水道、廃棄物処理等）は市が負担をする事になります。もちろんその財源は市の予算から捻出されます。ⅠR施設が巨大であればあるほど、そこから得る市の利益はインフラの維持費で相殺もしくはマイナスになる可能性が高いと思われます。津波についてはそれこそ資料にあるような二階建て動線が役立つでしょう。税金をⅠR頼みにすると市の財政が不安定になるので県民税と法人市民税を減らさない施策を実行すべきⅠRで呼び込んだ観光客は既存の市街地活性化に寄与しないので既存のものの魅力を発信する方が合理的「ⅠR施設は不要、どうしてもと言うなら『公園』のみの施設として設計する」という結論以外あり得ないと考えられます。もしこのままⅠR誘致に市が動くならば、今ある横浜の魅力は無くなり人口が流出するという未来が待っているとされます。是非ともⅠR誘致につきましては再考をお願いしたいと訴えます。 | 参考 | |
| 1369 | 横浜ⅠRの方向性2では「都心臨海部との融合最先端のテクノロジー（技術）を駆使した新しい街のモデル『横浜ⅠR』を、都心臨海部の既存の街の魅力や資源と一体的に整備し、融合していきます。」とあります。カジノに融合された横浜を望みません。その整備には莫大な税金が使われてしまいます。 | 参考 | |
| 1370 | 私は横浜市民の財産である市有地を、とばく場を中心とするリゾート施設に提供することに反対です。また市民の税金をⅠR企業の誘致に使うことに反対です。 | 参考 | |
| 1371 | ⅠR計画には反対です。理由：超高額所得者や、不労収入者の遊興施設を、税金で建設することに一市民として反対します。全く、市民に還元がない事業に税金を投入することに反対です。例えば、税金を投入して建設しても、これは、主に海外カジノ企業の売り上げとなり、市民に還元されません。簡単に言えば、大した労働や日々の努力もなしに楽して大金を稼いでいる方々のために、ささやかな贅沢しかできない多くの一般市民の生活を犠牲にして、大金持ちの遊興施設を作るのは、市民を大切にしない政治とはいえません。ⅠR計画は撤回をお願いします。 | 参考 | |
| 1372 | 税金を使って、カジノという賭博場を建設するのは、おかしいと思います。 | 参考 | |
| 1373 | ⅠRの新たな整備に莫大な税金を使うのは止めてください。税金は横浜市民の社会保証と教育のために使ってください。ⅠRの誘致は、百害あって、一利なしです。ⅠR（カジノ）誘致には大反対です。 | 参考 | |
| 1374 | カジノ誘致を反対／子供たちが横浜、日本、世界の未来を担っています。カジノが生活場と隣り合わせで、子供たちの成長に非常に悪い影響を与えかねません。断固して反対します。大切な市民の税金を教育、福祉、医療など市民の生活に根差した分野に使うべきです。カジノ誘致をぜひやめて頂きたいです。 | 参考 | |
| 1375 | 各国の対策に、「国全体をあげて」取り組むという言葉にあふれています。これは、国上げて膨大な経費と労力を投入しなければ成果が出ない「負の事業」そのもの証明ではないですか。よくそんな事業を横浜市が率先してやるのですか。 | 参考 | |
| 1376 | このようなことに私達の住民税や固定資産税から支出することはやめてほしいと思います。 | 参考 | |
| 1377 | 横浜カジノは絶対に反対です。私たちの税金を賭博場に絶対に使わないで下さい。私たちの税金は、市長のものではありません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1378 | カジノの為に交通などのインフラを横浜市の負担で行うのは反対です。 | 参考 | <p>ⅠR整備法では、ⅠRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型ⅠRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。</p> <p>ただし、ⅠR整備法においては、ⅠRを設置する自治体は、ⅠR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。</p> <p>ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、ⅠRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。</p> <p>なお、これらの費用については、将来、ⅠR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、ⅠR事業全体として、市税の持出しはないものと考えています。</p> |
| 1379 | 利益だけ計上し、ギャンブル依存症対策費等、経費を計上していない点。税込を820億〜1200億としているが、導入までにかかる支出と導入後に発生する支出見込みを教えてください。 | 参考 | |
| 1380 | スマートシティ構想が書かれていますが、山下ふ頭の地盤整備、山下ふ頭へのアクセス整備、周辺地域の開発、電気・ガス・水道の整備など、インフラ整備の必要性や費用が何も書かれていません。収入は具体的な金額を示しているのに、支出は絵に描いた餅になっています。実効性のない計画です。 | 参考 | |
| 1381 | カジノを誘致しなければ税収が不足するというようなお話を伺いましたが、具体的にどの程度不足し、その場合、どのような行政サービスの低下が起きるのかを説明してほしいと考えています。また、カジノ等ができることによって起こる医療費負担、治安維持のための経費はどの程度のものでしょうか。これも具体的な試算を示してください。そして、仮にカジノを誘致するとしても、外国人観光客以外の利用は認めない（バスポート等の提示を必要とする）、厳格な運営を行わなければ、住民は不安です。ここ数年の園芸をテーマとして地域振興をはかる取り組みは非常にいいと思っていますので、市にはそのような方面の充実を望みます。 | 参考 | |
| 1382 | 少子高齢化で弱体化へ向かう横浜市財政基盤立て直しの救世主にするという話も全く腑に落ちません。横浜市民のお金も含む負け金による莫大なカジノ収益の60%以上が、海外から運営に乗り込んでくるカジノ業者に永遠に流れ続け、横浜市への税収は売り上げの十数パーセントにしかならないとも聞いております。この事業目的が本当に税収の財源確保のウルトラCであるなら、横浜市が直営するもよし第3セクターにさせるもよし、横浜市自らが胴元に関わり、売り上げの全てを横浜市政に還元するという手法開発を、なぜ本気で目指さないのでしょうか？カジノ経営のノウハウなど、本気になれば1〜2年の準備期間でできるのでは？横浜カジノ事業立ち上げチームを作り、メンバーを目標しい海外カジノに研修派遣し、経営手法を汲み上げ、また、そこで知己を得た現場の良き人材を必要数ヘッドハンティングすれば良いだけです。新たな業種に新規参入するときには、皆やっていることです。その上で、他には類をみない、横浜市民に優しい横浜型のカジノ文化（というのがあるとすれば）を、本気で展開すれば良いのです。市長を筆頭に、今回の「横浜ⅠR」構想を牽引しようとしているステークホルダーたちに聞きたいと思えます。それほどにこの「横浜ⅠR」構想が横浜市政のサスティナビリティに欠かせぬものならば、横浜百年の計として本腰を入れ、この際、市直営を考えるべきなのでは？なぜ、それを目指さないのか？その説明がない限り、付け焼き刃的な拙策＝「横浜ⅠR」で横浜市民の財が海外に垂れ流しになり続けることには、断固として反対します。 | 参考 | |
| 1383 | 横浜市の税金で誘致するものではない。いくら横浜市の財政に資するとしてもだ。 | 参考 | |
| 1384 | 近隣に立派な劇場があり、さらに交通の便も悪い山下ふ頭に建設しても集客はできず、毎年の維持費により、将来の横浜市財政のお荷物になることが確実に予測される中で、税金による建設は許されないと考える。 | 参考 | |
| 1385 | 横浜への「ⅠRカジノ誘致」には絶対反対します。ギャンブル依存症対策に私たちの税金を使うな。もっとも有効なギャンブル依存症対策は、「ⅠRカジノ」を誘致しないこと。市民がより安全に、より安心して暮らせる横浜市にするために、税金は有効に使うべきだ。 | 参考 | |
| 1386 | 市長が「将来の税収を考えるからこそ推し進める」というカジノⅠRに、それこそ貴重な税金を回している場合でしょうか？カジノⅠRや新劇場への予算を撤回し、医療福祉と生活保障をより重点とする予算へ組み直してください。 | 参考 | |
| 1387 | 健全で生産的な手段により市の財政向上を計っていただくよう、心から願っています。使われようとしているお金は市のものではなく、私たち市民が納めた税金なのですから。 | 参考 | |
| 1388 | 市税を使ってカジノの為にインフラ整備にかかる費用と、カジノ業者が横浜市に払う税金とでつりあいがとれるとは思えない。 | 参考 | |
| 1389 | 横浜市にⅠR誘致是非お願い致します。市民として今後横浜発展にはⅠRを起爆剤として臨海部の更なる開発、関内地区再開、また新たな企業の育成につながると考える税金を使い利益を上げる今までのお金を生まない投資と違いを出し今後の公共事業のあり方の模範になることを強く願っております。 | 参考 | |
| 1390 | カジノ建設のために調査費も何億円も使われるとのこと。私に税金をかけてください。私たちの未来の子供たちもカジノの環境で健全な精神が育成されるとは思えません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1391 | IR誘致には、反対です。そのメリット対デメリットを考えた時、デメリットが大きい。自民党は、利益の市民への還元を旗じるしに推進しようとしていますが、その裏では業者しかも、外国資本との間での贈収賄罪のような怪しい動きを見せ、目的が市民のためではなく自らの利権のためであることが、見え隠れしています。賭博は、通常法律違反です。ギャンブル依存症や地域の治安の低下、それらを補うための警察官ガードマンの増強のためのコストアップ。横浜の街の魅力低下、イメージダウン子供達への悪影響。どれをとってもデメリットが先行します。 | 参考 | IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。 ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。 ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。 なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出はないものと考えています。 |
| 1392 | カジノは依存症を生み出さなければ利益を得られない産業です。カジノを誘致するために我々市民からの税金が使用されることとなります。市民の大半がカジノは不要だと考えています。 | 参考 | |
| 1393 | 海外のカジノの事業主など海千山千の人たちは、決して自分たちが損をするような契約は結びません。丸め込まれて彼らの損失をわたしたちの税金で保障することになりかねません。他国のように、わたしたちの美しい横浜を、失敗して廃墟ようになったカジノ街にしないでください！ | 参考 | |
| 1394 | カジノ業者の「つけ」を横浜市は市民税で補うのでしょうか。 | 参考 | |
| 1395 | 新型コロナウイルスのような新しい感染症が再び猛威を振るった場合、カジノIRは、営業自粛の対象になりますよね。そうならないと困りますが、収益が上がらなくなった場合、誰が補填するのですか？横浜市になるのではないですか？これ以上の負担を市民に負わせないでほしいです。 | 参考 | |
| 1396 | 計画の負の効果についても徹底的に調べるべきです。 | 参考 | |
| 1397 | IR誘致、PRに投入する税金をもっと市民に役立つことへ使ってください。住民税を支払っていることが無駄に感じてしまいます。 | 参考 | |
| 1398 | 依存症対策費、治安対策費はカジノ収益でまかなえる額ではなく市民の税金が使われます。冗談ではありません！私たちが一生懸命に働いて、カッチリ納めてきた税金です。その使い方は絶対に許せません。 | 参考 | |
| 1399 | 横浜IRの方向性に関して？横浜の街と一体的に整備とあるが、どこをどう、どの適度の費用と期間で行うのかがないと判断できない？ | 参考 | |
| 1400 | 明確に反対。理由・横浜にカジノ付きのIRは必要ないから・カジノによる治安の悪化を防ごうとすると、さらに予算が膨らむから・カジノのないIRを造る必要はないから（パシフィコ横浜など、すでに施設がある） | 参考 | |
| 1401 | IRにかけるお金があるなら、教育に回すべき | 参考 | |
| 1402 | 依存症対策や治安維持や交通整理などにかかるお金が税収からマイナスになるわけですよね。どれだけのメリットがあるのかわかりません。 | 参考 | |
| 1403 | 依存症対策や治安維持や交通整理など、横浜市が負担することやかかる費用についても明示してください。 | 参考 | |
| 1404 | 市民のためのカジノだとおっしゃるならば、メリットだけでなくデメリットも正直に伝えて頂きたいです。 | 参考 | |
| 1405 | 私達の税金を無駄にしないで下さい。 | 参考 | |
| 1406 | IRのために、インフラやアクセス対策など整備に莫大な税金を投入せざるを得ないこと。 | 参考 | |
| 1407 | 施設を私たちの税金で作ることも反対です。この施設を財政に役立てるなどと市長は言っていますが、ひと様が負けた金で横浜市が成り立つなんていう構造はおかしいです。 | 参考 | |
| 1408 | 他の事にお金を使ってください！ | 参考 | |
| 1409 | カジノに使われる税金を払いたくありません。もっと地に足の着いた計算、横浜市の将来設計を行ってください。カジノが始まる前から税金までも賭けに使わないでください。 | 参考 | |
| 1410 | 実施しようとしているカジノ依存症対策は実効性のあるものとは思えない。そもそもカジノを作らなければそのような対策は不要である。依存症対策はコストと労力の無駄にほかならない。IR設置による得失を考えたときに、将来の日本や横浜にとって益となるとは到底考えられず、それを積極的に推進しようとしている内閣や横浜市の考え方が全く理解できない。 | 参考 | |
| 1411 | それと依存症の治療費はどこから出るんですか？医療費がかさみますよね。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1412 | 税金をカジノ誘致のために使うことは、絶対に許しません。 | 参考 | IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。 |
| 1413 | 高い市民税をいらない望んでいないカジノに使われたくないです。目先の金稼ぎ、一部の金持ちしかお金が行かないシステムより、長い目で市民一人ひとりが充実して安心して住める横浜市になることを願っています。IR事業の反対です。それよりもっと税金をかけるべきところに税金を使ってください。 | 参考 | ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。 |
| 1414 | 市民の税金を投入して欲しく無い他に使う事は沢山あるでしょう？ | 参考 | ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。 |
| 1415 | カジノには反対です。私の税金はカジノを作るために納めているのではありません。嫌ならカジノに行かなければ良いという問題ではありません。 | 参考 | なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出しはないものと考えています。 |
| 1416 | P15 「横浜市山下ふ頭開発基本計画」「美しい港の景観形成構想」P21 アクセスルート P31 「民設民営」 P54 「スマートな交通環境の構築」カジノを運営する企業は、土地整備（2000億円）以外に、鉄道（みなとみらい線）の直結、首都高速の直結、大きな一般道の直結、羽田空港からの専用の海上交通とふ頭の建設を要求している。これだけの要求を飲んでも「民設民営」と言えるのか。一企業の不当な利益のために我々の貴重な市民税が使われることは、断固許されない。 | 参考 | |
| 1417 | 率直に申し上げて、反対です。そのための費用があるのでしたら、子育て環境や高齢者の医療支援に使っていただきたいです。 | 参考 | |
| 1418 | 建設投資額の内、インフラ整備は税金を投入するのか | 参考 | |
| 1419 | 推進派はIR（カジノ）により市税収入が増えると喧伝するが、賭博の儲けの大部分は胴元（カジノ運営者）の懐に入り市税収入はその一部でしかない。逆に、治安対策費、ギャンブル依存症対策・治療費、周辺整備費など、カジノがなければ発生しない諸経費が横浜市の、ひいては横浜市民・日本国民の新たな負担となる（健康保険料を含め）。カジノでの収益が増えても、それを上回る横浜市の負担の増大もあり得る。 | 参考 | |
| 1420 | 官民の役割分担の不明確さP31には、民設民営と方針が示されているが、今回の方針の中には、交通など、本来公共が担うべき内容も含まれている。また、当該地には、道路、下水道なども未整備であり、地盤改良にも多額の費用が必要である。こうしたインフラ整備にかかるコストについて、どのように官民で負担するのか、明示されていない。もし、負担の多くを民間に求めるのであれば、収益性を求めて施設は大規模化する。民設民営で負担が少ないとするのであれば、具体的な方向性を示すべきである。 | 参考 | |
| 1421 | 横浜市が負担する依存症対策費、治安対策費やインフラ工事負担費用の裏付け資料を公開すべきです。それを市民に説明し、理解を得てから契約すべきです。 | 参考 | |
| 1422 | 事業者が求めるインフラ投資、カジノ依存症、治安対策等安全・安心なカジノにするためのコスト安全安心なカジノにするためのコストも必要と聞きますが、いくら必要と考えているのでしょうか？地下鉄延長ほかアクセスをよくする等インフラ投資額が何千億円も必要になるのでしょうか？ | 参考 | |
| 1423 | この横浜IR（カジノIRというべき）には、建設費等初期費用だけで1兆円かかるといわれています。さらに40年間もの長期契約です。横浜市等が負担する交通インフラ等の設備投資額も数千億円に上るようです。40年間もの間、キャンセルできないような契約を白紙当選の市長に任せることはできません。 | 参考 | |
| 1424 | 日本国民は、カジノの負け以外に、依存症による治療費、税収源まで負わされる。 | 参考 | |
| 1425 | 私は横浜市がカジノをやることに反対します。その理由は、メリットが少なく、デメリットがあまりにも大きいからです。特にデメリット（市民が貧しくなるのでは？依存症は？裏社会の資金源？市民の不幸が収益？横浜市のイメージダウンに繋がるのでは？）についてきちんと説明して欲しいです。 | 参考 | |
| 1426 | 横浜市の概要パンフレットには、観光の振興、地域経済の振興（経済波及効果・雇用創出効果）、財政の改善（税収効果）の概要数値はありますが、依存症対策や誘致施設までの交通等整備、治安維持等私たちの暮らしに密接に関わる予想経費の数値はなくこれも問題です。 | 参考 | |
| 1427 | 断固、IR誘致に反対致します。巨額な税金を投じる必要性も正統性がないと思います。財源確保するには、余りにも規模が小さく、中途半端。高い市税、市民の為に有意義に使って欲しい。 | 参考 | |
| 1428 | 税を投入する事なくあくまでも民間資本のみで行うべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1429 | IR区域内の施設運営は、基本的にIR事業者負担、市の税金投入はありませんと、副市長は言明しました。しかし、「区域整備」はどうか。IR事業本体ではなく環境整備の問題です。 | 参考 | IR整備法では、IRにおける施設の設置・運営は民間事業者が行うことになっています。また、日本型IRは、公費の負担を最小限にして国際競争力の高い滞在型観光を実現する国家的なプロジェクトとして位置づけられています。 |
| 1430 | 横浜区域内から生み出される依存症への対策、集客のための道路交通整備などは誰が資金をだすのでしょうか。また、反社会的勢力のIR事業への浸透をどの様に防ぐのか。これも一切費用が掛からないという問題ではありません。しかし、これらはIRの運営の成功のための環境整備に外ならないものではないのでしょうか。それらに対し、事業主は一切関係ないというのでしょうか。 | 参考 | ただし、IR整備法においては、IRを設置する自治体は、IR区域の整備推進に関する施策やカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策を、国との適切な役割分担の下、実施する責務を有するとされています。ギャンブル等依存症の予防・治療・調査、治安の維持、周辺地域との回遊性を高めるための都市基盤整備など、IRの懸念事項等に関する自治体の施策に係る経費については、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において明らかにしていきます。 |
| 1431 | IR区域内のカジノ事業が合法であるとしても、そこで開かれるのが賭博場であり、おこなわれることは賭博であることには変わりありません。合法賭博場としてホテルや会議場、また、エンターテインメント施設と連続的に配置されるものです。IR区域の中にある賭博場に入るには一定の入場料をとるにしても、非合法賭博場へ入るようなバリアー（壁）は緩和されています。家族ぐるみ楽しむことが出来る。接触の機会はひろがります。その事実が、賭博依存症の拡大の温床なるであろうことは、これまた、否定できません。そのことから、カジノ合法化措置とセットになって、依存症対策が強調されています。「方向性（素案）」でもかなりのスペースを割いて、カジノ対策が述べられています。異様です。端的に云って、賭博依存症は賭博場の施設運用から、いわば必然的に起り、また、拡大が予想されるものです。IR整備法ほか国の法律で依存症を放置せず対策を「とる」という。それは何の経費も掛からないことではありません。医学的対応をはじめ、心理的治療、社会福祉的対応など膨大な手当が必要です。これはIR区域内の事業とは切り離され、事業者が責任を負わない”外”の問題なのではないのでしょうか。明確にすべきです。区域内の事業が生み出す〈負の効果〉として、本質的問題ではないのでしょうか。横浜市は、そうした依存症対策に対して、責任を負わないのか、そうではなく対策をとるという場合、どれほどの経費用の投入を想定するのか。治安安全対策、反社会的勢力の浸透排除もまた一仕事です。この経費をどのように見積もるのでしょうか。区域内施設運営は事業者の責任で、横浜市は金を出さないが、環境整備については、事業者負担を求めるとはならないということなのでしょうか。文字どおり、区域内外仕切りを形式的にみることで、なにが横浜市の正当なる負担で、また、横浜市の負担はないと断言することは出来ません。賭博依存症対策を抜きに合法的事業とは認められない以上、事業者にとって、依存症対策経費の支出は不可欠です。事業者負担は免除は認められない。この立場に立つべきです。 | 参考 | なお、これらの費用については、将来、IR事業で得られる増収額の範囲で進めていきますので、IR事業全体として、市税の持出しはないものと考えています。 |
| 1432 | 横浜市（副市長）は、IRの「区域」内の施設運営は、IR事業者の責任で行うもので、施設建設費についても、横浜市は「一切お金を入れませぬ」と言明しています。しかし、その事業を行う「環境整備」はどうするのでしょうか。費用負担はどうなるのでしょうか基本的に、区域外の環境整備は、誘致を求める自治体の負担になるのではないですか。区域内の環境整備はどうでしょうか。事業者が自由に行うのでしょうか。 | 参考 | |
| 1433 | 依存症対策や反社会的勢力排除、治安対策に関連する環境整備に膨大な支出割くことが求められます。横浜市の増収効果がなにかがしかあったとしても、その効果分があらたな環境整備に費やされるというのでは本末転倒です。 | 参考 | |
| 1434 | 目先の金のために、ハード面に多額の税金を費やすことはそろそろやめた方がいい。人に手厚く、給与や待遇を底上げする支援をして、企業を誘致、人を誘致、子供、女性、老人が活躍できる場を作るには、こんなに巨大な投資をしなくともいい。いつまでも拡大し続けることはそもそも不可能であることに気づくとき。 | 参考 | |
| 1435 | 資料をみても、良いことしか書かれていない。IRのメリットだけでなく、デメリットについてきちんと明示してほしい。でないと公平な判断ができない。誘致に市民の理解を得られていると思うなら、正々堂々と民意を問うべき。子供を持つ親として、非常に大事な話。誘致の判断を急ぐ必要はないと思う。 | 参考 | |
| 1436 | 市民の税金を賭博場設立に使うとは何事でしょうか？ | 参考 | |
| 1437 | 市長はIRのメリット面ばかりを主張しているが、デメリットについては殆ど触れられていない。例えば横浜市の予算をつぎ込んで開業したあとIRが失敗して経済的等の成果を得られず事業者が引き揚げたらどうなるのか、横浜がつぎ込んだ予算の回収、事業者の残した設備・施設の処理や有効利用等々公私とも投資効果は大いに疑問であり、既にIR（カジノ）を開業し失敗した韓国などの例を教訓とすべきである。 | 参考 | IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。 |
| 1438 | カジノは、いったん走りだすと数10年に渡りもはや撤退はないときいています。今回の新型コロナウイルス感染症のようなことがおこり休館したときの損失を横浜市に要求されたり訴訟されたりするのではないですか。心配です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1439 | 市民無視の「横浜IR」反対！理由：①2009開催の「開国博Y150」を見ればわかる。②赤字になった時に市長が責任を取ると約束する覚悟表明をすれば、やって見れば、表明出来るはずがない。 | 参考 | IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。 しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。 |
| 1440 | IRの会社と一部の人が、よるこぶものでしょ。もし何かあった時、市長とIRの会社はせきにとれんの。 | 参考 | |
| 1441 | 市の税収増について IR事業者が赤字や運営困難になった時、市は税収減のみならず業者支援の負担が発生するのではないかと。 | 参考 | |
| 1442 | カジノ事業者は、投資した資本を回収し、カジノ収益を当初より上げることができなかった場合に、横浜市にカジノ面積の拡大や損害賠償などを要求してくることはないのでしょうか。 | 参考 | |
| 1443 | IRの事業者が損をしたときに、市民の税金が事業者に使われないようにしてほしいです。 | 参考 | |
| 1444 | 参入した事業者が撤退したときには横浜市としていくらの賠償金を支払うことになるのか。 | 参考 | |
| 1445 | カジノが経営不振になれば自治体の横浜市が損失補填し、横浜市民の負担が増えることになりま。 | 参考 | |
| 1446 | カジノ反対です。ギャンブル依存症になる人が増えるのはわかりきっている。カジノを運営するのは外国企業であり、何かあった時のつけは横浜市民の税金が充てられる。子どもたちの未来につながる計画をすすめて欲しい。 | 参考 | |
| 1447 | 現段階では、事業を検討する企業があまりにリスクがありそう（政治リスクも含め）なので、そこも配慮されると、思い切った案もでてくるのでは。 | 参考 | |
| 1448 | 各施設で赤字が発生した場合でも、市の公費が補填される事は一切無い制度を確立。 | 参考 | |
| 1449 | IRが建設後構想通りに進捗しなかったならば横浜市の将来がどの様な事態になるかと云うことも市政の責任者は考える必要がある。 | 参考 | |
| 1450 | 売上が想定通りに行かない場合は負の資産となり、結果的に横浜市、市民の負担となる。 | 参考 | |
| 1451 | 失敗してやめればすむ市長とちがって私達はその尻ぬぐいをする事になるのです。市民の方をみない、議会、市長はいりません。 | 参考 | |
| 1452 | 財政が将来的にカジノ依存になる危険性、契約の拘束性（35年、40年）、損失補填（カジノ収益不振時、自治体が損失補填）等リスクが大きすぎる。 | 参考 | |
| 1453 | カジノ導入反対です！！色々なレジャー施設が、つくられましたが、成功しているのは、ディズニーランドぐらいなものではないでしょうか？ | 参考 | |
| 1454 | このまま計画を進めていけば横浜市の財政にとんでもない赤字を背負い込む事になる。 | 参考 | |
| 1455 | 横浜市は、カジノIRが期待通りの売り上げをあげなくて倒産や、カジノ事業者が撤退したときはどうなるのか。そのような場合の横浜市の損害額はどのくらいになるのか検討しているとは市長は表明していません。このことについて、市民の財産である。山下ふ頭を提供するのであるから当然、市民に知らせる必要があると考えます。 | 参考 | |
| 1456 | 財政貢献経済効果の算定もその根拠は都合の良いものばかりで、カジノ業者（実質海外資本、運営）の損失は、市が（市民から集めた税金で）補填するという。 | 参考 | |
| 1457 | IR建設には断じて反対します。経済、社会、価値観の多様化が進む時代において、IR建設による市の収入計画の見通しが甘く、計画通り事業収入が進まない場合の市民の税負担増加を危惧します。 | 参考 | |
| 1458 | ・現在の様に観光客が来なくなった時は収入ナシで補償だとマイナスでは税収などムリ ・カジノ収入1000億としているがこれはカジノ会社の取分で市に1000億円の何割入るのか（取らぬ狸の皮算用では） | 参考 | |
| 1459 | 赤字の場合の市の補填等、マイナスの面の説明不足…等です。 | 参考 | |
| 1460 | もし事業収支が下回るのであればだれが赤字を負担するのか？市民である | 参考 | |
| 1461 | カジノが経営不振になれば自治体の横浜市が損失補填し、横浜市民の負担が増えることになりま。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1462 | ギャンブル企業も、不採算になったら、すばやく逃げてゆくのは目に見えています。 | 参考 | <p>IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。</p> <p>しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。</p> |
| 1463 | 必ず黒字となる保証はありません。成功していると見えるシンガポール等との競争に勝てるとも限りません。 | 参考 | |
| 1464 | カジノ経営不振になれば自治体の横浜市が損失補填し、横浜市民の負担が増えることになります。 | 参考 | |
| 1465 | もし、維持、運営ができなくなったら、横浜市の財政から補てんされるのですか。明らかにした説明を望みます。 | 参考 | |
| 1466 | 必ず失敗します。後世代にマイナス資産を残すことになります。しかも膨大な負債を残します。 | 参考 | |
| 1467 | 失敗した時の責任はだれが取るのか？ | 参考 | |
| 1468 | いずれ、失敗するとわかっていて誰が責任をとれるのか、あとは野となれの気がする | 参考 | |
| 1469 | このIRは失敗する可能性が大です。また、途中で市が辞めると言ったらどうなりますか。市はカジノ業者に数百億円になる莫大な補償金を支払う羽目になりませんか。つまり失敗の付けを市民の税金で支払うことになりませんか。途中でやめることも同じです。 | 参考 | |
| 1470 | 国・地方自治体の後押しで建設した箱物で成功した事例は殆どない。維持するために無駄な予算が必要になる。カジノ経営が思わしくなくなれば、市が予算をつぎ込むか、新たな利権で対応することになり本来の思惑からはずれてくる。 | 参考 | |
| 1471 | 誰が管理・運営を行うのですか。つまり誰が責任をもって運営するのか。 | 参考 | |
| 1472 | 市長は、赤字になることを全く想定していない。そのつけは、子や孫に引き継げるなら、横浜は、人口がますます減っていきます。 | 参考 | |
| 1473 | 市が「増収効果」があるという事ですが、必ず、約束できる訳ではない。「増収効果」がなかった場合の責任の取り方も、はっきりと明記するべきである。 | 参考 | |
| 1474 | ISD条約が入れられる可能性があること知り、もしそうなら増収どころか訴訟により市が賠償金を支払わねばならない事態もおこりうるということにもなりかねずIR誘致そのものにも大きな疑問を持たざるをえません。 | 参考 | |
| 1475 | 横浜市が独自に定めた基準・規則・条例等を遵守し違反した場合は理由を問わず、着工、完成、または営業を即時に停止させることとしてください。海外の事業者であっても、提案書、契約文書、議事録等は全て日本語とされるべきです。しばしば日本語だけでは公平でないとかGlobal化に対応していない等を理由に英語等も認めるようにとの申し入れがありますが、少しでも例外を認めると関連する文書類を全て翻訳しなければならなくなります。 | 参考 | |
| 1476 | 必ず事業者から十分な保証金を市の口座に預けるようにして下さい。 | 参考 | |
| 1477 | IRが問題になって今後横浜市はだれが責任取れる体制を作れますか？市に望みます。 | 参考 | |
| 1478 | コロナみたいなことがまた置きて赤字になったら市民の税金で穴埋めするのはイヤです。 | 参考 | |
| 1479 | 惨憺たる結果になった場合誰が責任を取るのでしょうか。市民ですか。今この事業を推進しようと必死になっている方々は責任を負う事は考えていないと思います。 | 参考 | |
| 1480 | 失敗した時の責任の取り方も考えておく事は、市長たる者の最低限の責任である。後は野となれ山となれでは困る。 | 参考 | |
| 1481 | IR・カジノ運営上の赤字や不測の事態、いかなる場合・状況等においても、これらに対して市税で補填・充足することは絶対に許されない。全てIR・カジノ経営業者の責任である事を契約に明記しなければならない。 | 参考 | |
| 1482 | 今回の新型コロナの様に外出制限が起った場合の損害はどう保障するのでしょうか？お金と人材をかけた分だけ、損出は大きいのではないのでしょうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1483 | カジノ経営が赤字になった場合、そこに市税を投じては決してならない。契約に明記しなければカジノには賛成しかねる。経営赤字は自己責任。市民の税金での赤字補填は絶対にあってはならない。 | 参考 | <p>IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。</p> <p>しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。</p> |
| 1484 | カジノ廃止になった場合、膨大な違約金を横浜市が支払うという呪縛の鎖を横浜市民にかけるといった悪魔的な契約を提案しており決して許してはいけない構想である | 参考 | |
| 1485 | カジノが経営不振になれば自治体の横浜市が損失補填し横浜市民の負担が増えることとなります。横浜市民にその責任を負わせることは問題ではないでしょうか。 | 参考 | |
| 1486 | 万一カジノや箱物（展示場、劇場など）の事業が失敗した場合 また事業会社が撤退するとき誰が債務を負うのか。横浜市が損害を負担することにならないか。契約上損害を被らないようになっているか。契約解除条項はあるのか？ | 参考 | |
| 1487 | 市も負担、個人も負担、でも途中で解約も出来ない | 参考 | |
| 1488 | カジノは、ライセンス期間中に中止する場合、膨大な損害賠償を求められる危険性がある。 | 参考 | |
| 1489 | 万一、大失敗して、当初の計画がずれた場合、誰が責任を持ちますか。 | 参考 | |
| 1490 | 莫大な違約金をとられたら、財源となる社会保障の低下を招くのは必至。横浜市をバクチ市政にしないで下さい。 | 参考 | |
| 1491 | カジノで海外から集客とお考えのようですが、コロナに限らず、ひとたび何かが発生すれば、横浜IRは大赤字となります。私の市民税が、これにあてがわれるようになるのは許せません！！IRからの撤退を要望します。 | 参考 | |
| 1492 | 莫大な税金かけて作ってもカジノが、もしも経営不振になれば横浜市が補填し、市民の負担が増えることとなります。 | 参考 | |
| 1493 | 誰れが責任とれる？IRの失敗責任は？ | 参考 | |
| 1494 | カジノ営業収入で横浜市の税収増を謳っていますが、万一十分な収入を得られない場合、または横浜市が撤退しようとしたら、賠償金を横浜市ひいては我々市民が払うことは必至です。 | 参考 | |
| 1495 | 市側は運営が破綻し、撤退した場合に他の事業者と譲渡・協定を結ぶとしているが、引き継ぐ事業者がいない場合のリスク（市及び市民の負担）、例えば、事業の継続の為に市側が補填を迫られる等が予想される。バラ色の部分ばかり、強調しているが、失敗する場合のリスクを考えていない。カジノIR誘致は、ストップすべきです。 | 参考 | |
| 1496 | 「民間事業者の投資と創意工夫」と謳いますが、現在の横浜市の産業や中小企業、商店街を犠牲にしても実行しようとしているとしか考えられません。カジノを導入している国・都市は、日本や横浜のような観光資源や経済力に及ば無いところが、最後の手段として犯罪や依存症汚染に目をつぶって実施しているのが現状です。それも実際は事業者だけが儲け得て、失敗・撤退事例も多いのに何故敢えてリスクに飛び込むのですか？ | 参考 | |
| 1497 | どう考えても大きな税収を期待できない、投資倒れになりかねない企画は停止してほしい。 | 参考 | |
| 1498 | 新型コロナウイルスの様な不測危機が今後も起こりうる。カジノ、IRは立入り禁止となるだろう。カジノ経営は客が来なくなり当然赤字！その様な際、カジノ経営の赤字を市税を投じて補填等をしない契約でなければならない。これは、カジノ賛成の為に絶対条件である | 参考 | |
| 1499 | 新型コロナウイルスのような状況が起こった場合IR・カジノは閉鎖状態となります。当然カジノ経営は赤字になりますが、そこに市税を投じてカジノ経営者を助ける仕組みには反対です。カジノ経営者と市間の契約に「赤字補填無し」を盛り込む必要があります。それは絶対に契約に明記しなければなりません。経営赤字は自己責任です。私達市民の税金でのカジノ経営への赤字補填は、絶対にあってはなりません。 | 参考 | |
| 1500 | カジノ会社の赤字は、カジノ会社の責任です。市民の税金で穴うめしてはなりません。 | 参考 | |
| 1501 | どんな時もカジノ会社の赤字は、市民の血税でまかなってはなりません！それを市と契約して下さい。 | 参考 | |
| 1502 | カジノ収益がプラスになったとしても、必ず、マイナスがプラスを上回る時が来ると思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1503 | 横浜市の広報を拝見しますと、みなとみらい地域に4つの大きな箱ものが出て来ることを知りました。箱ものはこれ以上ありません。コロナが終息した時、人々は本当の幸せの価値観が変わるでしょう。市民から意見を募集し、世界中の人々が横浜に行ってみたい!と思える街づくりをしてください!二番煎じ、三番煎じでは最初の数年だけの集客、後は負の遺産のみが残されること間違いなしでしょう。 | 参考 | IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。 しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。 |
| 1504 | カジノを行う区域の面積IR施設全体の延べ床面積の3%以内の施設の収益が頼みの全体構想で、カジノが何らかの原因でダメになったら、全体の採算がとれるはずがありません。 | 参考 | |
| 1505 | 事業者が海外法人の場合であっても、提案書、契約文書、議事録等は全て日本語を正式とすべきです。しばしば日本語だけでは公平でないとして英語等も認めるようにとの申し入れがあり得ますが、一度それを認めると関連する規格・基準を全て翻訳しなければならなくなります。また、Fair Tradeを担保するためにの必要条件として全ての情報を文書に記録して公開されるようにしてください。事業者が海外法人の場合、地元住民や自治体と係争が生じた場合の裁定場所は横浜地方裁判所であり言語は日本語であることが最低条件です。また十分で差し押さえ可能な担保を差し出されることが前提条件としては最低条件になります。 | 参考 | |
| 1506 | IR事業に対して、反対の意見を持っています。理由は、今回の新型コロナウイルス騒動でも感じますが、大規模事業には大きなリスクが伴うと思います。財政改善になると目的にあげていますが、世界的に経済が下降気味になっているこの時期に果たして、計画通り財政改善につながるのでしょうか。 | 参考 | |
| 1507 | IRの税収効果について企業想定を下回った場合の想定がなく、計画に危機管理の視点が乏しい 全然儲からなかったらどうするのか 事業者に最低保証させる契約は可能か 不可能であればやるべきでない | 参考 | |
| 1508 | 規制が将来緩和されたり、解釈が変更される可能性についての記述がなく、規制に対する信頼性が担保されていない。 | 参考 | |
| 1509 | 途中で契約を破棄したくても莫大な違約金を要求され、契約を破棄することも出なくなります。市長が40年先までの契約をする権限はありません。 | 参考 | |
| 1510 | IR事業者が撤退した際のリスク明確化を IR事業者が撤退した場合、多くの税金投入となっては本末転倒です | 参考 | |
| 1511 | 胸算用が外れた場合巨額投資分は誰が責任を取り、かつ尻拭いは誰がするのですか? | 参考 | |
| 1512 | IR施設は契約期限がありこれが更新されることになっているが、横浜市が更新を拒絶した場合に求められ得る損失補填要求についてのリスクを防ぐ為の検討が全くなされていない。 | 参考 | |
| 1513 | IR施設は契約期限がありこれが更新されることになっています。一旦IR施設を誘致して横浜市がIR事業者との契約更新を拒絶することも当然考えられます。拒絶の理由として依存症対策が効を奏さず大量の依存症患者が出てしまい財政を圧迫するとか、治安が悪くなるとか、災害などで街作りそのものを作り直す必要があるとか、市民の総意でIRから撤退したいと考える場合などいろいろケースが考えられます。その場合、事業者から更新拒絶を理由に損失補填(期待された利益への補償)を求められる可能性があると思われませんが、素案ではその説明がありません。本来更新拒絶についての損失補填は行わないことが誘致の条件とすることが将来にわたるリスクを防ぐ為には必要ですが、そのような試みを検討されていません。 | 参考 | |
| 1514 | 例えば、このIRが実現したとしても、業者が赤字だとした場合、16%の金額を横浜市に払うとは限らない。赤字だから払えないとなる事があろう。それを当初からの契約で義務化していても払えないものは払えないとなるものです。強制的に集金=取り上げる事はまず不可能です。その業者が倒産の場合、市の説明では、他の業者に施設を引き受けて貰うとの事だが、その時には、他の業者も二の足を踏み、業者が見つからない可能性が高い。 | 参考 | |
| 1515 | 結果は良い方に出るか悪い方に出るか結果論に成りますが、悪く出た場合絶対責任者は責任を取らないのは歴史が表明しています。 | 参考 | |
| 1516 | 私が一番恐れるのは、横浜市も多くの金額を投入してカジノを始めたが予定の収入が無く閉鎖するようなことになったら、市民の税金の無駄遣いにならないかということに尽きます。 | 参考 | |
| 1517 | 撤退した場合、その頃の横浜はガタガタになるでしょう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1518 | 税金が増えるようなことをおっしゃいますが、もしそうならなかった場合、損が出た場合、誰が責任をとるのですか。その赤字のツケは結局住民に回ってきます。 | 参考 | <p>IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。</p> <p>しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。</p> |
| 1519 | 日本にどれだけカジノが根付くかはまだ不明だが、商売としても成功しなかった場合という最悪のシミュレーションも知っておきたい。 | 参考 | |
| 1520 | 横浜IR誘致に賛成。万が一にも市が債務負担を強いられない契約内容にする。 | 参考 | |
| 1521 | これだけの巨額の費用を投じるのですから、100%成功という自信の上での事と存じますが、上手の手から水が漏れるということがございます。その際の責任は、どこにありますか。 | 参考 | |
| 1522 | ・市民が不正の有無をモニターできるような仕組みを約束して欲しい。・不正により生じた損害は加害者から確実に回収できる対策を施し、市民へ一切被害が及ばないことを保証して欲しい。 | 参考 | |
| 1523 | 横浜IR誘致に賛成。Y150のときのように横浜市が多額の債務負担を負わされないように、契約してほしい。利用者のターゲット層に見合った入場料や利用料を設定するのも必要だと思う。 | 参考 | |
| 1524 | 素案に反対です。絵にかいた餅のような素案、そんなバラ色のプランなのでしょうか？残念ながら横浜市の主体性が感じられません。国の法律で決まっているからとか、事業者がこう計画しているからとあなたまかせのプランでは将来的に心配です。カジノの依存症対策としての規制も国が緩和してしまったらどうするのですか。事業者が赤字になって放り出したらそれを市税で補填するのですか。心配ごとだらけで具体的な提案のない方向性に強く危惧し、反対を表明します。 | 参考 | |
| 1525 | 観光は言わばサービス業の集約であり、基幹は消費です。しかし、消費に繋がる産業は心の豊かさを伴うことが大変難しく、歴史的な意義や深みを伴わない観光はしばしば一時的な享楽に流されて、ちょっとした景気の動向で多くの倒産廃業を誘発するばかりです。 | 参考 | |
| 1526 | ギャンブルで税金を増やせるのか。契約上結果として赤字になると税金を投入すると聞いています。かえって、市民税の減少です。 | 参考 | |
| 1527 | 横浜市の将来像（市の収入の大きな部分がIRからの収入になること）についてIRが様々な理由でうまくいかなかった場合の、市の対応について短期・長期の側面について明らかにしてください。短期的：IR運営会社の損失について市が負担するということがありますか？負担する場合は何の予算で賄いますか？長期的：市の財政を支える（IRに代わる）収入源についてのプラン | 参考 | |
| 1528 | 日本国の法制下でカジノを含むIR施設を運営しても、他国の同様施設との競争に勝てるとは思えず、いたずらに市の財政を圧迫するだけではないかとの懸念を強く持っている。計画を白紙に戻して再検討すべきと考える。 | 参考 | |
| 1529 | 賭博場が出来たとして、カジノが赤字になればだれが補填するのか？カジノが黒字になればその何%が横浜のものになるのか？いずれにしても、カジノが横浜に貢献する保証がないことも含め、横浜にカジノ付きIRを展開することは大反対です。 | 参考 | |
| 1530 | 誘致には賛成。市民や職員をコロナから守る対策も必要とされていると思います。いったん、劇場やオリバラを含めIRの誘致を中断して、その分で全力でコロナ対策をするのもアリですし、今は補償を手厚くしておいてその返済には横浜IRでの収益を優先して当てると宣言して横浜IRを推進するのもアリかと。 | 参考 | |
| 1531 | 「横浜IR」案に、どれほどの美辞麗句を並べようともこれほどまでにデメリットの多い政策はありません。横浜はもちろん、日本にカジノをつくることに断固反対します。そのデメリットは、カジノは、世界140カ国以上にあり、すでに過当競争で飽和状態です。衰退産業です。競争に勝つために過剰投資が必要になります。負けて破綻するリスクは小さくありません。市は、そのリスクをどの程度考えていますか？2. 破綻したら横浜のイメージがさらに悪くなるだけでなくその穴埋めに市民の税金が使われるリスクがあります。税金が絶対使われないと断言できますか？ | 参考 | |
| 1532 | コロナ濃厚感染下での横浜IRは不要不急 | 参考 | |
| 1533 | カジノ業者の選定に絡む不正が既に起きているが、業者はたくさんの額を儲けるために受託するのであり、長年にわたり、そのためのノウハウを蓄積している。儲けるだけ儲けて、客が減り、仮に違約金を払っても撤退するのが良いとなったら、巨大な廃墟が残るだけとなる。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1534 | 現在、進行形のコロナ災害では、想像できないような事態が発生する可能性がある。IR誘致後、再び、こうした災害が起きた場合のリスクと対策についてお聞きしたい。 | 参考 | IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。 しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。 |
| 1535 | 今回のようにコロナウイルスのような世界規模の感染症の発生や大規模災害で、売上げが大きく下がって赤字になった時に、業者への損失補てんが伴うのかどうか不明な点。業者との契約条項にこの件が盛り込まれるのか？ | 参考 | |
| 1536 | 感染症や災害ではなくてもカジノビジネスの過当競争に負けて赤字になった時、横浜市は金銭的な面も含めてどんなリスクを負うのが不明な点。業者との契約条項にこの件が盛り込まれるのか？教えてください。 | 参考 | |
| 1537 | カジノの売上損失は招致した自治体が補填する。税金を使って。 | 参考 | |
| 1538 | 今度の「カジノ」では、運用利益が、推進するアメリカ企業の契約数字より低い場合は、補填が要求されると思われます。その時、議会で又、大問題になるだろうと思われまます。「どのような契約になっているか。」を契約文書で公開すべきだと思います。更に、懸念は一度契約を締結すると、容易に「解約できない」契約になっていると伺います。と言うことは、将来に亘って、横浜市は、「カジノ業者に食い物にされる」と容易に理解出来ます。血税が「カジノ業者」の為に支払うようになるかと思うと。。 | 参考 | |
| 1539 | マカオやシンガポール、韓国等の近隣のカジノと競合して、カジノがペイしなくなった場合、事業者が撤退することが考えられるが、その時はどうなるのか。損失補償を求められることはないのか。横浜市の投資額は回収できるのか。逆に負担が必要になるのではないのか。 | 参考 | |
| 1540 | カジノの運営は日本国民の負けた賭け金の70%が運営会社に利益として渡る仕組みで、海外の運営業者だった場合は日本にはマイナスだけである。TPPのISD条項では期待収益に対する損失補償を求めることが可能だという収益が減ったときに、税金で補填しなければならない契約など、責任は誰が取るのだ！未来の子供達に負債をおわすということは避けなければいけない。 | 参考 | |
| 1541 | 今回のコロナの件でわかったように、旅行者に依存するといざというときのリスクが大きすぎます。ハイリターンでしょうがハイリスクです。私企業ならともかく、行政はそんなにリスクを取ってほしくありません。 | 参考 | |
| 1542 | カジノは、風紀もそうですが収入の面でも博打(カジノなだけに)で、賛成できません | 参考 | |
| 1543 | 横浜IRには賛成です。選定された事業者が、将来の株主の意向などによって運営内容を当初の提案内容から大きく変えてしまうことのないように、業者選定手続や契約締結などにおいて工夫しておくことが必要だと思います。 | 参考 | |
| 1544 | 横浜IRの方向性に賛成。IR事業者の将来の株主によって、選定時の想定とは異なる運営をされてしまうリスクはできるだけヘッジすべきだと思います。横浜市にとってよい変化は反映でき、そうでないものは規制できるような仕組みがあると、より安心できると思う。 | 参考 | |
| 1545 | 観光立国の脆弱性一般の新型コロナウイルスの経済的影響からも明らかのように、観光による税収に依拠した行政は極めて脆弱です。観光はブームや為替などの影響も大きく、これを期待するような市の財政を組み立てるのは、不安定な行政になり、市民は安心して生活することは出来ません。 | 参考 | |
| 1546 | カジノ反対理由一事業者と不利な契約になっていないかRFOにより外資系を中心に6事業者が公募したとのこと。契約条件など知らされていない為、この項目は懸念事項として述べる。受委託契約のタイプにもよるが、私の経験から現地法人の事業者は海外のホールディングカンパニーとの間で別契約を有し、収益からコンサルティング料、ノウハウ提供料、ブランド使用料、などの費用項目を設け、現法の収支を操作することがよくある。相手の関連会社間の契約内容まで委託者側は介入することが難しく、ビジネスの収益につながらず、結果、海外の事業者だけが利益を得て、市への税収は微々たるものになる可能性がある。その他、訴訟の裁判地、準拠法、途中解約条項、事業中断の保証条項など油断ならない。 | 参考 | |
| 1547 | 一度契約をしたら、将来契約更新の拒否ができません。横浜市がIR施設を誘致しIR事業者との契約を更新する際に、更新を拒絶しようとした場合には、事業者から横浜市に損失補償(期待された利益への補償)を求められる可能性があります。そのため、横浜市がIR施設を一度誘致するとその後、方針を転換してIR事業を拒絶することが難しくなる可能性があります。そのような将来の市民を縛る契約をして事業を推進すべきではありません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1548 | < I Rを作るといふのなら、カジノ無し横浜 I Rの建設を希望します。 > カジノは儲かりません、利益を産まないものために横浜市を巨額に投資することは断じて許容できません、止めましょう！横浜市民は許しません。目下、世界は新型コロナウイルスによる感染症でパンデミックに陥っており、他国間の往来がストップし、観光業は廃業に追い込まれるほどの打撃を受けています。もちろんカジノなどに来る人はいません。このようなことはこれから何年か毎に起こり得ると見込まれています。さらに地球の気候変動による大災害は各国でひんぱんにすでに起きています。そのたびに観光客は途絶え、売上利益などはこれからも見込めないのが現実です。大きな損失を受けることが想定される巨大事業、もうからない事業に市民の税金を使うことは背任行為です。 | 参考 | I R整備法で、I R区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。 しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、I R整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。 |
| 1549 | I Rは維持をしていくにもお金がかかるので、昨今の新型コロナウイルスのような感染症がおきたときに、休止した際のコストがなるべく負担にならない工夫が必要に思いますが、もしもその際の休止中のコストを横浜市が持つことになるのであれば、そこを踏まえた十分な蓄えがあると良いのではないかと、横浜市のカジノの利益が全体の15パーセントではなく、そこを支えられるもっと大きな割合が望ましいのではないかと。リゾート企業の方がその際のコストを持つかどうか、はっきり白黒確認し、交渉、決定していくことが大切です。大きなことです。後から、想定外では済みません。 | 参考 | |
| 1550 | 横浜 I Rに賛成しています。横浜 I Rは民設民営なので、業者選定後に I R事業者が経営方針などを横浜市が良しとしない方向に変えてしまうことができないようにしておけるといいと思います。 | 参考 | |
| 1551 | 横浜への I R誘致・建設に強く反対いたします。現在の新型コロナウイルスの感染拡大はもちろんです、日本はもとも自然災害リスクの高い国です。目の前の利益だけを見ないでください。横浜は I Rがなくても、十分に素晴らしい場所です。どうかマイナスの財産を背負いこまないでください。何十年に一度のリスクも考慮にいれ、この計画を中止する勇気を持ってください。 | 参考 | |
| 1552 | 今回の感染症流行のような事態、また大規模災害が起きた場合、I Rは大きな負担になります。コロナウイルスで言えば、大規模クラスターになった可能性も大きいです。市の財政が I Rを含めて回り出した時、クラスターリスクだけで閉鎖させることは困難でしょう。 | 参考 | |
| 1553 | 地域経済波及効果建設時：7500億～1兆2000億／7年 これは誰が支払うのか？事業者が支払うのか？横浜市の債務保証は考える必要はないと考えて良いのか？リスク管理の方向性が示されていない。MM21地区は33年間で2兆円。（6000億円／10年 これに対し1.8倍～2.8倍） | 参考 | |
| 1554 | カジノそのものに反対ではありません。しかし、ご提示の資料ではどのような運営になるのか不明なので、運営のコンセプトあるいは具体的運営ガイドラインをご教示ください。 | 参考 | |
| 1555 | 新型コロナのように「想定外の」事態が発生したときには、カジノ事業者から補償を求められる可能性もあるだろうし、カジノ以外の I R施設が赤字になることもある。更に、様々な不都合から契約期間途中で（カジノ運営者との）契約解除をしたくても損害金を求められることもあり得る。施設は負の遺産にもなり得るのだ。このような負担の増大のツケを払わされるのはカジノとは無縁の横浜市民・日本国民である。 | 参考 | |
| 1556 | いまさら計画を中止したら損害額が大変なことになる、というかもしれませんが、大失敗して巨額の負債を抱え、さらにギャンブル依存症の市民、国民が増えるより、今立ち止まる方がずっと建設的で健康的です。I R計画を白紙撤回してください。 | 参考 | |
| 1557 | いまさら計画を中止したら損害額が大変なことになる、というかもしれませんが、大失敗して巨額の負債を抱え、さらにギャンブル依存症の市民、国民が増えるより、今立ち止まる方がずっと建設的で健康的です。I R計画を白紙撤回してください。 | 参考 | |
| 1558 | 横浜市の財政を整える為だとしても、今回の新型コロナウイルスでの外出謹慎が起きれば、負債が残ったままになり、市の為になりません。 | 参考 | |
| 1559 | 「I Rの効果」について、I R事業がうまくいっている時はいいでしょう。問題は収益が上がらなくなった場合です。その原因はいろいろな要因、要因の相互関連の結果だとしても、そのことを含めて事業者の運営判断ミスが疑われても、事実として市に入るものが入らない、ということになります。そのことは、事業者の契約違反として責任を問う立場に、市は立つのですか。どういうリスク管理を見通しているのですか。明確にしてください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1560 | その立場から、カジノ依存のIRから脱却を決める一そういう市長、議会が登場することは現実的ではないとは言えません。事業者が一番恐れるのは、そのことです。事業者の意に反して事業放棄を強いられることに対してです。その選択に対してはペナルティーをかける。巨額のペナルティーの故に、新しい市長や議会の、新しい意思の実行は大きな制約と負担を負うこととなります。横浜IRの「方向性(案案)」では、こうした「負の方向性」についての検討が一切ありません。(方向性)の全体像に欠けます。 | 参考 | IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。 しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。 |
| 1561 | 運営上のミスはともかく、問題は、当の市の側が、「もうカジノ付きIRは要らない。IRを続けるというならばカジノは排除する」という方針を採用した場合です。それが議会決定、また、市長の方針、何より市民の民意となった時の問題です。その場合も、市は補償責任を問われることはない”約束”を、「実施協定」に盛り込むのかどうかということです。少なくとも、そうした場合の責任補償のとり方を定めない国際取引はあり得ないという常識に照らしてどういう「実施協定」を結ぶのか、その点での市の方針を明らかにすべきです。 | 参考 | |
| 1562 | 例えば今回のように新型コロナウイルスの影響などで、IRの営業がストップした場合、カジノ事業者への補償や違約金は発生するのでしょうか。 | 参考 | |
| 1563 | 「土地貸し」で市にとってのリスクは、低いと感じた。また、個人情報レベルでの中毒対策もきちんと講じられていると感じた。将来の財政不足が明確な中、横浜市はIRを誘致できるという絶好のチャンスがあるので、それにトライしてIRで得た財源を将来の市政に有効に使ってほしい。 | 修正 | IR実現による増収効果により、財政改善を促進し、福祉・子育て・医療・教育・老朽化した公共施設の更新など、将来にわたり横浜市民の安全・安心な暮らしで豊かな生活を守っていくこととし、IR実現による効果「市民の豊かな暮らしへ」を一部修正しました。<方向性P.92> |
| 1564 | 市の負担、降年度分含めたりリスクについての説明が皆無！カジノより働きやすい市の施策を充実して、保育園の増設、保育内容の充実をして下さい | 修正 | |
| 1565 | カジノに使う金があるなら医療・教育・福祉に使ってほしい。図書館・公会堂のお粗末ぶりこそなんとかしてほしい。 | 修正 | |
| 1566 | 市にある歴史的文化的施設に加え、世界に飛び出す若者達が世界と伍してやっていけるよう図書館科学技術館などの建設に是非市の財政を投じて欲しいと切に願います。 | 修正 | |
| 1567 | 横浜にはIRは必要ありません。IRにかけるお金があったら、図書館の増設やハマ弁ではない中学校給食の実施、新型コロナ関連で疲弊している自営業やフリーランスへの支援を優先してください。市民の健康と安全を守るため、未来ある子ども達の育成のためにも、IRの計画を中止してください。 | 修正 | |
| 1568 | IRはカジノだけでないという趣旨を継続的に発信していくべき。 | 参考 | まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。 |
| 1569 | 横浜市の将来へ大変希望のもてる横浜IRだと感じています。カジノの情報ばかりが先攻して、その他の経済活性化コンセプトが見えません。もっとコンセプトをPRして、横浜の豊かな、将来を、実現して下さい。 | 参考 | また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。<方向性P.97> |
| 1570 | 「広報がもう少し広がると良いと思う。」資料を読んでIRの良さや必要性が分かった。まだ、住民だったり、他の都道府県に住んでいる人も、IR=カジノとなり、その部分に対する正しい理解と、IRの他の部分についての理解が足りないのかなと感じました。 | 参考 | |
| 1571 | 私はIRについて正しい情報に近いモノを持っているが、大半の市民には正しく伝わっていないことが残念です。 | 参考 | |
| 1572 | 副市長の説明を聞いて、横浜IRに賛成しようと思いました。IR産業展であったような、IRのイメージ図を、もっと見れるようにして、人気投票できるといいと思います。 | 参考 | |
| 1573 | 既に治まっている超高齢社会に対する財源として、カジノを誘致している。その部分を、その必要性和、安全性、を、もう少し議論し、市民の納得できる方向性が必要。カジノの隠された部分の説明が、あまりにも無い事は問題だと思う。 | 参考 | |
| 1574 | いろいろな反対意見、不安に対する説明がないままに、計画を推進する事に違和感を感じます。 | 参考 | |
| 1575 | 横浜の発展、将来性を考えてIRを実現させた方が良くと思います。経済効果も見込め、子供達の将来にもきっと良いと思う。そのために今からしっかりと準備・勉強をし、IR運営側、市民側双方が共にIRの知識を学び進めて行く事が大切である。まだまだ知らない事が多いのでTVや新聞等でIRの事を教えて欲しいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1576 | IRにつきましては、目先のことのみで動いており世界に誇る横浜をだいたしにしてしまうように思えます。そのためには具体的な対策をしっかりとて市民に、わかりやすく伝えることが大切と考えます。伝えているおつもりでしょうが具体性がないので方便にしか感じません。ここは一旦白紙にもどし、お考えなおしていただけませんか。私は、反対です。 | 参考 | まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。 また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。＜方向性 P.97＞ |
| 1577 | 横浜の魅力アップ、都市活力強化のためにもIRの推進は意味のあることと考える。カジノはIR構成要素の1つに過ぎないが、一般市民にとって判り易いだけにその悪いイメージだけが先行している。 | 参考 | |
| 1578 | ラスベガスに行ったことがあります。世間で言われているようなバクチ場とは全く異なるリゾートでした。どんな所（建築とか）ができるのか具体的に示せばもっと本当のことが伝わるはず | 参考 | |
| 1579 | 方向性について賛成します。カジノリスクにだけ目が向いている状況を打破するためにも、周辺地域へのメリットを具体化すること、また若者層に対する広報の強化が必要と考えます。 | 参考 | |
| 1580 | 正確な情報発信をお願いします。 | 参考 | |
| 1581 | 基本的には、横浜の魅力事業の1つとしてあっても良いと思います。但し、防犯対策をきちんとし、市民の多くの方がメリットを理解するようコミュニケーションすることが大事だと思います。 | 参考 | |
| 1582 | どんなものができるのか早く知りたい。それを早く示せば、賛成の人がもっと増えてくるのではないかと私は賛成です。 | 参考 | |
| 1583 | カジノがあまり市民の多くの人になじみのない存在だともうので、どんなゲームができるのか、どんな人があそぶのか、どんな人がどのくらいお金を使うのか、などIRで想定しているものを今後、発信するといいいとおもいます。 | 参考 | |
| 1584 | IR開設の必須施設となっているカジノが、IR開設の大きな争点となっているので、もう少し、もっとしっかりとカジノについて正面から議論したらどうか。首長や経済界の方々に、ギャンブルをやる人・IRを心から楽しめる人がいないのならば、著名人（よくマスコミに出てくる研究者ではなく、作家や役者など）の中から、IRやカジノに対する良さを語ってもらっても良いのではないかと。市民に対する説明の方法が下手すぎる。 | 参考 | |
| 1585 | IRはカジノという誤認識が広がりすぎている。なかなか大変だと思うが、みんなに知ってもらいたい。 | 参考 | |
| 1586 | リゾート施設やカジノが、どのくらい魅力ある建物・空間になるのか、気になります。広報よこはまやHPで、イメージ（画、映像など）をもっと発信してほしいです。楽しめる場が中区にできるのはうれしい！ | 参考 | |
| 1587 | 人口減少、超高齢社会を迎える中で、横浜の市民の暮らし、経済のためにも、IRは必要。現在の市の財政を中心とした状況の厳しさ、更に将来の厳しさを広報等でしっかりと共有していく事が重要だと考える。 | 参考 | |
| 1588 | “IR=カジノ”という認識が広まっており、事実を知らない、理解していない住民が多いのではと思います。 | 参考 | |
| 1589 | 横浜市が検討進める「統合型リゾート（IR）」の方向性は、他都市同様に、人口減少・高齢化社会などに伴う経済・財政状況などへの懸念が見込まれ、何らか手を打たなければならず、その打開策の1つとして、本件検討が進められていると認識しております。検討・議論にあたり、「カジノ」ばかり注目を浴びていますが、今回の素案内容を含め、本件施策の趣旨・内容を市民がまずはしっかり理解した上で、その可否を判断すべきです。 | 参考 | |
| 1590 | IRに賛成です。まだIRに対する理解度にバラツキがあるため、IRを体験したことがないような人の理解がより深まることを期待します。市民の多くから歓迎されるIRであって欲しいです。 | 参考 | |
| 1591 | まだ事業者が決まっていないので仕方ないですが、早くどんな施設ができるのか知りたい。多くの市民も具体的なイメージが伝わると賛成も増えると思います。市の方針を支持し、楽しみにしています | 参考 | |
| 1592 | もっと市民の不安が解消するよう努力すべきだと思う。必要な施策だからがんばってほしい。 | 参考 | |
| 1593 | 人口が減少していく中で、活力を維持するために必要という説明に納得感があります。反対の方々はお年寄りが多いと思うのでプレグジットと同じ状況だと思います。もっと若者をとりこむべきだと思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1594 | IRに興味があり説明会に参加したが、説明を聞いてとてもよいものだと思います。皆が正しい理解を得られるような周知をしてもらいたいです。 | 参考 | <p>まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。</p> <p>また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。＜方向性 P.97＞</p> |
| 1595 | IR賛成。日本初のカジノが横浜にあっていいし、対策がしっかりできているならより誇れる。こういった機会に広く周知して賛成をふやしてほしい。 | 参考 | |
| 1596 | 賛成の立場から申し上げます。「市民周知」の記載をより具体的にして頂きたい。反対する人は多いながらも、本当にためになるものを作ろうとしている事に胸をはっていいと思います。市民理解はこの事業推進にあたり何よりも重要です。 | 参考 | |
| 1597 | (IRは賛成の立場から)大切なのはその使い道、「皆のために使うんだ」とわかれば。周知のしかたはより工夫をこらしてほしい。 | 参考 | |
| 1598 | 今回のように市の考えを形にして公表するのはとてもよい取組みだと思います。今後もぜひこういう機会をつくり市民の理解を深めていただきたいです。(賛成派より) | 参考 | |
| 1599 | 横浜市民以外からもカジノに反対する表明がされているが、どう対応するのか。 | 参考 | |
| 1600 | 賛成です。具体的なイメージが湧きづらいのでどんなリゾートができるのか早く写真や映像が見たいです。 | 参考 | |
| 1601 | 『横浜IRの方向性(素案)』からは読み取り切れない、想定している観光・経済の「イノベーション」とは具体的にどのようなものか、郊外部を含む市全体への効果の波及は具体的にどのように実現するのか、懸念の声もある観光公害やギャンブル依存といった課題をどう解消するのか、等のIR実現に向けたより細部のところの説明を、市民が理解できるよう、様々な媒体を活用して、広く発信・展開していただきたいです。 | 参考 | |
| 1602 | 消費を呼びこむために必要な施策だと思います。手をうたなければ将来日本はどうなるのかのシナリオを見ればよいのではないのでしょうか？ | 参考 | |
| 1603 | リゾートを盛り上げるには、発想を市民に問うべき。 | 参考 | |
| 1604 | 説明不十分。理解されるまで、中断すべきです！ | 参考 | |
| 1605 | そもそも、カジノを含むIR施設をつくることの市民合意ができていない。 | 参考 | |
| 1606 | まだ良くわかりません | 参考 | |
| 1607 | 横浜の経済にとってIRは必要。手続きが進めば賛成者も増えてくる。 | 参考 | |
| 1608 | 誘致を表明した後に、『市民に理解が足りていない』から、(18区で、説明会を実施すると空言。まだ6区で説明会が、終わっていません。そんな中での見切発車でのパブリックコメントの実施、等々。 ※説明会を、開催しても、経済的効果の根拠は「お答えできません。」…等々。 | 参考 | |
| 1609 | ホームページにアップされたPR映像を拝見しました IRが日本にはまだないので、不安があると思う。多くの市民が、映像を見れば理解が進むと思った | 参考 | |
| 1610 | 市のIRの動画を見た。今までイメージしていたものと違い、行ってみたいと思った。 | 参考 | |
| 1611 | ガーデンネックレスの「ガーデンベア」のように愛らしいマスコットキャラクターで誘致の推進をしてみてもいいと思います。 | 参考 | |
| 1612 | よく中身を知らなくて反対している人が多くいると思います。この方向性どおりであれば素晴らしいものなので、しっかりと広報を行い、良さをPRして行ってほしいです。 | 参考 | |
| 1613 | 賛成です。素晴らしい取組だと思いました。ぜひ、広報を進め一人でも多くの人に良いものだとことをわかってもらうようにしてほしいです。 | 参考 | |
| 1614 | 今回のIR案において最も議論を呼び、かつ市民の反発を招いているのはIR全体ではなくカジノという一部分であるように感じられます。外国人の集客を見込めるカジノは経済政策としてのIR事業に必要な不可欠であることは明らかであると思われま。今後市全体として重視すべきは、市民の不安を解消できるような対策の施こされたカジノというものをポジティブに押し出して行くことであると考えています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1615 | 市民の反対意見が多い ギャンブル依存症への懸念 治安悪化の懸念 以上の問題が解決していないと思われる中市民の反対にもかかわらず強行に進める事に反対致します。 | 参考 | <p>まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。</p> <p>また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。＜方向性 P.97＞</p> |
| 1616 | IR賛成 今までの説明では市民のメリットが分かりにくいので、その点を説明詳しくしてください | 参考 | |
| 1617 | 市のPR資料はおいしい所しか示さない。 | 参考 | |
| 1618 | 市長は市民の声を反映し、より良い横浜にしていけるのが仕事。それなのに市民の多くが反対していることを無視しています。 | 参考 | |
| 1619 | ただなぜ今更意見を聞くのですか | 参考 | |
| 1620 | カジノに反対する多くの市民の声を無視しないで下さい。 | 参考 | |
| 1621 | 市民の多くは望んでいません。民意と市政のカイ離は明らかです。 | 参考 | |
| 1622 | 産業や観光の役割、市民が利用できる内容等、議論する時間が少なく進める事、納得できません。 | 参考 | |
| 1623 | 更に税込アップを理由に誘致を大多数の市民の声を無視して育進しています。再考せよ！！ | 参考 | |
| 1624 | 23ページのシンガポールの事例 カジノの効果を示すデータ無しで必要性が伝わりませんし、ギャンブル依存が減ったデータは何のために記載しているのでしょうか？導入したいのであれば、もっと前向きなデータがあつてしかるべきだと思います。 | 参考 | |
| 1625 | 内容を役人の口説や文書では判りにくいので、動画にまとめるなどしてWEB閲覧ができるとよい。 | 参考 | |
| 1626 | 内容説明不十分なIR推進に反対する。 | 参考 | |
| 1627 | 区のIR説明会を聞きに行きましたが少しも納得できませんでした | 参考 | |
| 1628 | 横浜市の評価をカジノで落してはいけません。市長は市民の意見を素直に聞くことが必要で、求められます。 | 参考 | |
| 1629 | 十分な説明もないまま進んでいくことは、民主主義に反します。カジノは絶対反対です。 | 参考 | |
| 1630 | 本素案をいったん停止し、「今後の未知の感染症リスク対応」を付加した「素案改訂版」を作成したのちに、新しい形式での「素案改訂版の説明会」、すなわち質疑応答にとどまらない平和的で率直な意見交換の「対話の場」を設け、YouTube等での同時配信により広く市民の判断をおおぐこと、これこそが急務である。 | 参考 | |
| 1631 | 横浜は東京にない異国情緒豊かな世界に誇れる街ですよ。市民の納得しない間に進めないで下さい。 | 参考 | |
| 1632 | 市長とIR推進課は一方的な説明ではなく、全市民の疑問・不安に丁寧に答えるべきです。 | 参考 | |
| 1633 | 市民の意見を聴くとした公約も無視し形だけの公聴会を開いて押し切ろうとする姿勢は議会制民主主義から、大きく外れています。 | 参考 | |
| 1634 | 市民の声を聞くと言いながら説明会を開かないままパブコメを求めるのは民主主義に反します。 | 参考 | |
| 1635 | 昨今の世論は、カジノに関してばかりが取り沙汰されるあまり、本質であるところのIR事業全体に関する説明が市民に対して不十分であると感じます。 | 参考 | |
| 1636 | 今後の市民理解の促進のために事業者からの提案受付の際には、建物のイメージ図などを横浜市が自由に使えるようにして、より見た目で分かりやすい内容で公表し、説明を行なって欲しい。 | 参考 | |
| 1637 | いくつかの区での説明会の様子を見ておりますと、市長からの一方的説明のみで、参加市民からの質問にはほとんど答えられていないようです。このような説明会の運営方法では、いくら説明会を繰り返しても市民の納得は得られないでしょう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1638 | 横浜IRに賛成しています。市民説明会を、市民に正しく横浜IRや市の方針を理解してもらうために開催していたのであれば、報道内容についても事前にきちんとチェックするなどして、事実と異なる報道をやめてもらっていた方が良かったと思います。報道内容も、ごく一部の方にフォーカスして、あたかも反対意見が主流であるかのように書かれており、事実とは異なる点が多いと実感しています。今後、もし、説明会などを行うようでしたら、ぜひ、対応について再考してください。 | 参考 | <p>まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。</p> <p>また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。＜方向性 P.97＞</p> |
| 1639 | 横浜IRに賛成なので、未来の市政に責任ある有権者として、これからも市のHPはこまめに確認して、理解を深めていきたいと思っています。 | 参考 | |
| 1640 | 説明をちゃんと聴く市民、情報を正しく理解できる市民に、説明を伝えるのが市民説明会の目的なら、例えば説明している動画をHPに掲載すればいいと思います。そうすれば、伝えたい情報を妨害されずに発信できますし、市民説明会に足を運べない方も含めて多くの方が視聴できます。繰り返し視聴して理解を深めてもらうことも期待できます。 | 参考 | |
| 1641 | 横浜IRの必要性と将来性に共感しました。ぜひ推進してほしいです。市長や副市長、IR推進室のみなさんが、目先の利益ではなく、未来の横浜市を見据えて取り組んでいることを、市民に限らずもっともっと多くの方に知ってもらった方がいいと思います。 | 参考 | |
| 1642 | 横浜IRに期待を寄せています。具体的な建物やエリアのイメージに興味があります。セキュリティ面や事業者との権利関係の制限はあるとは思いますが、今後、IR事業者から募った提案については、建物やエリアのイメージ図を市民が見れるようにしてほしいです。 | 参考 | |
| 1643 | 横浜IR、賛成！これから、もっと来訪及び滞在寄与施設のイメージを発信してってください。HPに掲載された素案や「当日いただいた質問書と回答」にあったような、世界に誇れるIRになるように、事業者からいい提案がたくさんもらえることを願っています。 | 参考 | |
| 1644 | 横浜IR賛成です。IRでの楽しみ方を、もっと市民が家族、友人などと楽しんでいる様子を具体的にイメージできるようにして、紹介・情報発信をすると、もっともっと賛同する人が増えていくと思います。 | 参考 | |
| 1645 | 横浜IRは賛成。仕事や子育ての都合で、市民説明会に出向くことができません。ですが、機会があるなら、市長やIR推進課による説明は、ひとりの有権者として、ちゃんと聞いてみたいです。なので、例えば、市長や副市長が説明している動画を横浜市HPに掲載してもらえると嬉しいです。HPで視聴できるなら、まとまった時間が取れない方も説明を聞けますし、繰り返し視聴することで理解が進むこともあると思います。 | 参考 | |
| 1646 | 横浜IRに賛成。これからも、IR事業者から提案を受けた内容や、区域整備計画に関する情報など、できるだけ多くの情報を、適宜、HPで公開してほしい。市民説明会は、たくさんの手間をかけて開催してもらっていると思うが、現場では不規則発言をする人で市の説明がちゃんと聞けなかったり、反対意見を主張する人たちがいたりして、本来の説明会の意図していない様子になっている。市民説明会を開催するより、市のHPで情報を発信してほしいし、そのほうが効果的だと思う。 | 参考 | |
| 1647 | メディアをもっとうまく活用して、横浜IRを誘致した先にある横浜の未来像を、市の内外を問わず、人々に発信していくべきだ。子どもたちのことを考えていること、高齢者への保障を考えていることなどをもっと伝えていけば、もっと、賛同する人が増えると思う。 | 参考 | |
| 1648 | 賛成。もっと横浜市HPやメディアを積極的に活用して、正しい情報を発信した方がいいと思う。横浜IRで最も恩恵を得られるのは横浜市民。横浜IRの代案となるような、横浜市の財政に役立つ山下埠頭の利活用方法もない中で、誘致活動は推進すべきことだと思う。 | 参考 | |
| 1649 | 開業までの間も、IR事業者から提出されたリゾートのイメージ図や工事現場の映像を市が使えるようし、視覚的に楽しさやワクワク感を市民に伝える、ようにしてほしい。 | 参考 | |
| 1650 | 横浜市へIRを誘致することには賛成です。IR誘致にあたって横浜市に取り組んでいただきたいこと。市民はIRの是非に関心のない層が大半と思われる。賛成派も反対派もごく一部ではないか。IRを税金で整備すると誤解している市民もいるようだ。これまでの市民説明会やインターネットでの公開などではなく、様々な方法を検討し、実行していただきたい。事業者候補が決まっていな時点で、市民理解には市の相当な支出を伴うのはやむを得ないと思う。事業者候補が決まった後には、市と事業者候補が連携して理解促進に取り組めばよい。 | 参考 | |
| 1651 | 横浜IRに賛成しています。横浜市のホームページに、市民へ発信したい情報を動画やパワポ、PDFなどで掲載すれば十分、趣旨は果たせるのではないかと思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1652 | 61頁でギャンブル依存症問題の現状としてばちんこ・スロットにて最もお金を使われるとあるが、どのくらいのお金を毎年、生涯にわたって総額としてどの位使うのかの数値を載せてください。 | 参考 | まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。 また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。<方向性 P.97> |
| 1653 | 「方向性」の文書は「政策を説明する文書でなければならない」ので、写真で表現しても政策の中身を示したことはならず、紙の無駄、説明不足、説明の放棄であり、きちんと論述することによって示してください。 | 参考 | |
| 1654 | 「方向性」の文書は日本語で書いてください。カタカナを使いたいのであれば正確を期し全文英文で書いてください。カタカナで書いてかつ書きで日本語を書くのは思考停止です。本当に読んだ人に理解してもらおうと思っているのですか？ | 参考 | |
| 1655 | 横浜市は目先の利益ではなく、未来の横浜市を見据えて取り組んでいることを、市民に限らずもっともっと多くの方に知ってもらった方がよいのではないか。例えば、人気番組で取り上げてもらうのもいいと思う。 | 参考 | |
| 1656 | 横浜IR、いいと思います。施設のイメージ動画やイメージ図などが横浜市のホームページに掲載されるといいと思います。具体的なイメージが分かるほど、市民の期待が膨らむと思います | 参考 | |
| 1657 | 市民説明会がなくても、私は横浜IRに賛成です。市民に説明するという目的を果たすための手段は、ホームページや広報よこはまがとても効果的だと思います。例えば、市民説明会で演説する予定の内容を録画してホームページに掲載していただければ、好きな時間に何度でも観れて理解も進みます。子ども向けの説明動画もあったらいいですね。市民説明会の全区での開催が誘致要件でないなら、ぜひ、角度を変えて、市民への説明を充実してみるといいのではないかと思います。 | 参考 | |
| 1658 | 横浜IRの誘致に賛成です！賛成ムードを盛り上げるには、賛成と叫びやすい雰囲気づくりも必要です。例えば、横浜IR誘致マスコットを募ってははどうでしょう。人気投票もしたら、自然と盛り上がっていくのではないかと期待します！ | 参考 | |
| 1659 | 横浜IRが誘致できるといいなと思います。誘致歓迎ムードを盛り上げるためにも、例えばゆるキャラとかマスコットを作ってみてはどうでしょうか。子どもたちから案を募れば、可愛いマスコット案が集まるだけでなく、「横浜IRにこんな場所があったらいいな」という大人が気付かないような希望も教えてもらえるかもしれません。横浜の子どもたちと未来をつくる、という視点での取り組みをぜひ検討してみてください。 | 参考 | |
| 1660 | 今回の素案は、依存症や治安対策に多くの紙面が割かれていました。これは、これらのテーマについてご心配されている方々の不安を軽減するのに有益なことだとは思いますが、文字やグラフで伝えるにとどまらず、動画などで、既存のIR立地都市の様子を伝え、それらが魅力的な街であり続けていること、社会に害悪を与える施設ではないことを、イメージとして理解いただくことも重要ではないかと思います。国内に例がなく、イメージが湧きにくいことが、IRへの理解が得られにくい背景の一つであるように思います。 | 参考 | |
| 1661 | 横浜市はもっと、子どもたちの未来を見据えた政策であることを強く発信しても良いと思う。子どもたちにも身近に感じてもらえるよう、例えばマスコットキャラクターを使って、子ども向けに政策を説明していくのもいいのではないか。 | 参考 | |
| 1662 | 横浜IR賛成です！パブリックコメントの資料がとても分かりやすかったので、理解が進みました。ありがとうございました。これからも、分かりやすい情報発信をお願いします！ | 参考 | |
| 1663 | 横浜IRに賛成します。財政逼迫の今、税収をアップできる手段は、市民にとっても魅力的です。未来の子どもたちのためという意味が強いと思うので、シンボルになる可愛いマスコットが作られてもいいなと思います。 | 参考 | |
| 1664 | 横浜IRの方向性に賛同します。子どもたちから、横浜IR推進のマスコットキャラクターやその名前を募ってみてはどうでしょう。もっと市民の関心が高まり、自然と賛同の声も大きくなると思います。 | 参考 | |
| 1665 | マスコットキャラクターを使った誘致の推進があってもいいと思います。子どもたちを含めて、もっと多くの方に横浜IRが必要な背景や、横浜IRで目指す未来像を伝えやすくなると思います。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1666 | カジノの収益で滞在型観光を実現とありますが、89ページの使途説明では滞在型観光に触れていません客観的に見れば、米国企業が潤うだけではないですか？23ページのシンガポールの事例カジノの効果を示すデータ無しで必要性が伝わりませんし、ギャンブル依存が減ったデータは何のために記載しているのでしょうか？導入したいのであれば、もっと前向きなデータがあつてしかるべきだと思います。 | 参考 | まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。 また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。＜方向性 P.97＞ |
| 1667 | 市民説明会に行きたくても仕事や子育ての都合で申し込みを諦めた方々にも観てもらえるので、本来の市民説明会より多くの方に、横浜市の説明を届けられると思います。 | 参考 | |
| 1668 | 横浜市の市税に大いに貢献出来る。東京に比較して大企業本社の数が少なく、税収も市民税に頼らざるを得ない現状に対して有力な納税施設に成る。横浜市の活性化に繋がる。活力の乏しい老人都市でなく、老若男女が楽しく集える都市に繋がる。IRの利点をもっと積極的にPRして欲しい。 | 参考 | |
| 1669 | エンターテイメントを楽しむ所という位置づけでIRを思えば良いと思います。ラスベガス、シンガポールなどを訪れて、エンターテイメント性が高いことを皆知ることも大切かと思えます。 | 参考 | |
| 1670 | 幅広い層に理解してもらえるように、多様なツールを使って繰り返し分かりやすく説明することが大事だと思います。特に多くの市民が一番懸念しているカジノに関する様々な問題について、他国の成功事例も紹介しつつ、説得力のある対策をきちんと説明していく必要があると思います。 | 参考 | |
| 1671 | 友人、職場、ママ友などの間では、ガーデンベアが可愛いのでガーデンネットワークに興味湧いて、出かけるようになったという声をよく聞きます。横浜IRも、誘致に向けた手続きを進めるにあたっては、可愛いマスコットキャラクターを作って手伝わってもらってもいいと思います。 | 参考 | |
| 1672 | 「横浜IR(統合型リゾート施設)方向性(素案)」にて「ギャンブル依存症対策」「治安・安全対策」については多くのページを割かれ触れられていますが、法案についての部分が多く、わかりにくい印象を受けました。市民の関心が高い部分であると認識しておりますので是非、冒頭、重要な部分は絵など挿入してお年寄り、若年層にも分かりやすい資料を別途作成頂ければと存じます。すでにそのような資料があるのであれば周知されていないと感じます。総じて市民に対して誠実に説明されていると感じております。しかし変化に対してメンタルブロックが強い方へは別のアプローチが必要です。メリット、デメリットをわかりやすく、且つ各企業、個人へよりコミットした内容の説明に頂ければ賛成派は増える思っております。 | 参考 | |
| 1673 | IR誘致に賛成です。IRが横浜にできることにより、横浜の活性化が期待できると思います。そして横浜に新たな名所となる物ができることは、とても良いことだと思います。IR誘致ではカジノができる！とばかりメディアに出っていますが、他の施設等はどのようなものがあるのか？をもっと丁寧に世間の方々に認識させてもらえると良いと思います。私も今だにカジノ以外、どのような施設があるのかわからずにいます。それが希望です。横浜にIRが来ると良いと思います。 | 参考 | |
| 1674 | P44、45他市民説明会時の説明資料に加え、イメージ図やその引用・参照元が追加されていて、イメージがより沸きやすかった。ファミリーで楽しめる施設の実現に向けて、具体的な計画を今後とも発信していただきたいです。 | 参考 | |
| 1675 | P62アクセス制限・施設内の取組の競馬・モーターボートの欄に「H32年度」とあるが「R2年度」ではないでしょうか。 | 参考 | |
| 1676 | P231MICEの枠に、「日本最大級の競争力の高い国際展示場・会議場」とありますが、「国際会議場・展示等施設」ではないでしょうか | 参考 | |
| 1677 | P432「国の定める要件(基本方針より)」とありますが、施設規模について記載があるのはIR整備法施行令であるため、「基本方針等より」としたほうが良いかと思えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1678 | 「カジノとは何か」についての説明が希薄なため、統合型リゾートというキーワードで「カジノという不健全なものの導入を隠そうとしている」と受け取られる恐れがある。方向性について 横浜との関係を説明する必要がある。横浜の文化は、開国にともなって、いろいろな文化が流れ込んだことにより育まれた。カジノもその延長線にあり、「新しい文化を日本に招き入れる入り口を創るもの」というニュアンスが不可欠。ラスベガスのようにカジノとショウで人を集めるのではなく、「会議で集まった人、通常の観光で日本に来た人に、カジノという非日常を体験する機会も提供する」のであり、主食ではなく、主食を引き立てる香辛料。統合型リゾートの建設が契機となって、新しい文化、例えば仕事と遊びの融合、観光とおしゃれを楽しむという機会の融合などが生まれることを期待する、と主張すべき。 | 参考 | まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。 また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。＜方向性 P.97＞ |
| 1679 | IR誘致に賛成です。世間ではカジノだけ取り上げられ問題になりがちですが、カジノ以外の要素を世間に認知して頂く工夫をお願いしたいです。 | 参考 | |
| 1680 | 横浜市がIR誘致を推進することには賛成です。先日公開された動画についてコロナ問題で説明会の開催が延期されている状況ではインターネットでの動画配信はIRに対する市民の理解促進のために有効であると思います。視聴しましたが国や横浜市がなぜIRを誘致するか、IRの導入効果や懸念事項対策が丁寧に説明されています。要望ですがより視聴しやすくするために短縮版の作成をご検討ください。 | 参考 | |
| 1681 | 横浜IRの方向性に賛同。動画も拝見し、期待が膨らみました。分かりやすい動画や印象に残る画像、マスコットキャラクターなどを使って、これからも業者の提案内容や選定結果、区域整備計画などを発信してほしい。 | 参考 | |
| 1682 | IR誘致に賛成ですIR誘致に伴うメリットだけを提示するのではなく、デメリットがあってもそれを上回るメリットがあることを一般市民にわかりやすく説明していただく機会を設け、丁寧に進めていただくことを希望します。 | 参考 | |
| 1683 | 当初のパブリックコメントで掲載された資料だけでも横浜IRの方向性の理解はできた。でも、先日配信された動画を観て、より理解が深まった。親しみも感じられた。書面を読むのが好きでないという職場の同僚たちも、動画は観て、横浜IRへの期待値が上がったと言っていた。今後も事業者からの提案内容は動画などでも公開すると思う。人気投票も取り入れると、より視聴する人が増え、横浜IRについて考え賛同するすその広がると思う。 | 参考 | |
| 1684 | 横浜IRに賛成です。概要版がとても分かりやすかったです。公開された動画はパブコメ対象外かもしれませんが、こちらとてもクオリティが高いと思いました。 | 参考 | |
| 1685 | 横浜IR、いいと思います。事業者からは提案内容を市民向けに説明する動画も提供してもらって、HPなどで公開して、例えば市民や県民の意見を募るのもよいかと思います。 | 参考 | |
| 1686 | 横浜IRに賛成。イメージキャラクターなど、横浜IRのアイコンになるようなものを増やし広めていくと、より横浜IRへの市民の親しみがわくと思う | 参考 | |
| 1687 | 広く意見を求めるためのものである。それにしては決めつけすぎている。複数の案を示し、思いがけない良案を生み出すべく意見の提出を求める事に主眼を置くべき。例示として示すものなのだから、多様な豊かな例を示して、市民の自由な発想を求める事が大事である。 | 参考 | |
| 1688 | 横浜IRの方向性に賛成です。事業者から提案を受ける場合は、できれば市民向けの提案動画も作ってもらい、それを市のHPなどで公開すると思う。先日公開された横浜IRについての動画が良かったので。 | 参考 | |
| 1689 | 言葉の使い方について。可能な限り日本語で書いてください。久しぶりに行政の広報物を見ましたが、言葉の使い方がさらにひどくなっています。英語の単語をカタカナにするだけでなく、アルファベットも入っています。全市民の中で英語を読まない市民にとっては全く失礼な表記ではありませんか。なるべく日本語で表記しましょう。 | 参考 | |
| 1690 | どのような方法で横浜市民にご周知されたのでしょうか？多くの市民は未だに認知されていないと思います。また、横浜市のホームページを拝見しても、IRについて、素案のこと、パブリックコメントのこと、なかなか見つけにくいです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1691 | カジノ＝ギャンブル＝治安悪化＋依存症＝悪という過去（20世紀）のイメージを抱く市民に対しては横浜IRの方向性4で述べられている「治安対策」と「依存症対策」への取り組みをしっかりと時間をかけて説明していくことが大切です。また地元メディアとも連携して健全なカジノ構想を市民に訴えることも重要です。 | 参考 | まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。 また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。＜方向性 P.97＞ |
| 1692 | P2：横浜を世界から選ばれるデスティネーション（目的地）へ『『横浜IR』を起爆剤として、横浜の観光・経済にイノベーションをもたらし、横浜が「観光先進国・日本」の新たな顔として世界から選ばれるよう、オール横浜で『横浜IR』を推進していきます。』とありますが、「『横浜IR』を推進する」というのは目標でしかなく、方向性（行動の基準）にはなりません。方向性を示すのであれば、『・・・世界から選ばれるよう「横浜IR」の制度設計を図っていきます』でなければならぬと思います。この部分は手段と目標を（意図的か否かは別に）この段階で取り違えています。方向性の（素案）としては「極めて不適切」な表現と思います。 | 参考 | |
| 1693 | 既に「みなとみらい」があるのに、新たにIRを作る必要性が感じられません。説明文書は立派ですし、言っていることももっとものように聞こえますが、各種データには期待値も相当含まれているように思えます。また、市民説明会は夜間開催されるので子供を持つ主婦層などは参加できず、偏った層にしか説明が行き届きません。反対意見が多いのなら、潔く計画を中止するべきです。横浜の街は、安心して暮らせる街でなくてはなりません。特に、カジノは横浜には必要ありません。横浜は東京とは違います。そこが横浜の魅力です。 | 参考 | |
| 1694 | もし日本国民にとって有益であれば、横浜市民にきちんと説明をして多くの横浜市民が理解、納得するようにして欲しい。 | 参考 | |
| 1695 | 統合型リゾートをカジノ、カジノとあたかも悪い施設と印象付けている運動があり、カジノばかりに注目が向いてしまっているが、決してそうではないことをきちんと示してほしい | 参考 | |
| 1696 | 横浜IRを巡って、めばしい業者との接触・協議は、始まっており、すでに最終段階です。その過程で、横浜IRの基本的な考え方の聞き取りが行われています。詳細は、市民に知らされてはいません。明らかにすべきです。 | 参考 | |
| 1697 | 横浜IRの方向性（素案）の94ページの、5地域の理解促進・合意形成に向けた取組の（1）基本的な考え方として、『横浜市では、「共感と信頼」を市政の基本としています。『横浜IR』についても、丁寧に市民の皆様と向き合い、理解を深めていただき、その実現に「共感と信頼」が得られるよう、理解促進・合意形成に向けて、取り組んでいきます。』と謳っています。「共感と信頼」とは程遠いと言えます。IR誘致はやめるべきだと思います。 | 参考 | |
| 1698 | 懸念事項である、治安悪化やギャンブル依存症対策、安心、安全な、横浜をもっとアピール、と実際の取組を、市民へ広くアナウンスが必要であると思う。 | 参考 | |
| 1699 | 治安を心配する意見が多いと思いますが、香港は警備を強化している為、治安は悪くないと聞きます。そういった面もPRしてよいと思います。 | 参考 | |
| 1700 | 地元への誘致となると治安の悪化が懸念される。地元住民の理解を得るには、メリットよりもデメリットへの理解や、対策が重要視されると思います。行きたいと思う人へ向けたPRも必要ですがあまり行きたいと思わない地元住民への対策PRも重要かと思われます。 | 参考 | |
| 1701 | 税込確保のため必要と考えますが、きちんと十分な説明をお願いしたい。 | 参考 | |
| 1702 | 横浜の税込確保の為には必要だと思いますが、丁寧な説明が必要だと思います。 | 参考 | |
| 1703 | 今後の横浜を考える上での方策としてどうなのか？という話になっていない。IRとは何かを理解してもらうことが大事です。地道に説明会を行っていくことが必要と思う。 | 参考 | |
| 1704 | 世論（特に70才以上のリタイア組）からの治安悪化、ギャンブル依存等を主旨としたリスク意見が見られる。（条例等で厳しく規制）はっきりとした市の意見を前端的にアピールすべきです。近未来の横浜を！ | 参考 | |
| 1705 | IRの動画を見て、横浜IRのイメージが具体的にになってきた。どんどん広報も進めて、IRを実現してください | 参考 | |
| 1706 | IRについて、まだまだ周知、広報が足りていない。市民説明会が開催されていないが、頑張って周知してほしい。動画の作成は良かった。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1707 | 懸念事項について、どんな対策があるのか知ることができました。このような内容をどんどん市民に発信してほしいです。 | 参考 | まずは日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画などを活用し、市民の皆様への説明を継続するとともに、実施方針や区域整備方針の作成など、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた市民の皆様へのご説明等を行ってまいります。 |
| 1708 | 市長は『丁寧な説明を多くの市民にしたい』と主張していたが、実態は逆であった。 | 参考 | また、今後も、IRの実現に向けた本市の考え方や懸念事項への取組等について、ご理解いただけるよう「広報よこはま」の活用や、リーフレットの作成、わかりやすい動画の配信などを行ってまいります。＜方向性 P.97＞ |
| 1709 | カジノという悪いイメージが先行しないように、詳しい計画を市民にわかりやすく、しっかりと伝える必要があると思います。 | 参考 | |
| 1710 | IRの負の懸念を払拭し、経済効果をもっとアピールしていただきたい。 | 参考 | |
| 1711 | 国内旅行者を取り込めるか、という点。コンテンツはほぼ訪日外国人向け施設で、国内の滞在者へのアピール要素が少ないと感じました。現在は訴求型の広告よりSNS等の共感型広告が響くと思うので、デザイン性の高い施設を国内旅行者が広められる形も望ましいのかなと思います。 | 修正 | 丁寧に市民の皆様と向き合い、理解促進を深めていただき、IRの実現に「共感と信頼」が得られるよう、取り組んでいきます。世代や生活環境などにより、IRに対するご理解や考え方が異なることから、様々なツールを使ってお伝えするため、SNSなども活用することとし、「地域の理解促進・合意形成に向けた取組」を一部修正しました。＜方向性 P.97＞ |
| 1712 | 世界のグローバル化に伴い、観光客や文化等それらをうまく受け入れている都市がその水準を享受し発展しているのを痛感している今日この頃ですので、今回のIR誘致を強く支援致します。一定の反対意見も見受けられますが、もちろん大切なのは経済のグローバル化や高齢化等による税制の悪化を長期的に見据えた横浜の未来です。若年層の意見を取り入れる手段としてフェイスブックやInstagramを利用したソーシャルメディアおよびインターネットによるアンケートなどの手段により我々の意見を取り入れてほしいと思います。今回のコンセプトでもある日本で有数の国際文化拠点であった美しいウォーターフロント横浜への回帰は若者の感性に強く響くはずで | 修正 | |
| 1713 | 横浜IRはぜひ作ってほしい。市民説明会をいくら開催しても、賛成派はあまり増えず、派手なパフォーマンスをする反対派に浮動票が流れるだけの逆効果ではないかと思う。市民の理解度を深める目的、市民の関心を高める目的などで行動するなら、HPやSNS、人気番組での情報発信のほうが効果があると思う。 | 修正 | |
| 1714 | 賛成/横浜IRの誘致には賛成の立場。パブコメで集まった賛成意見や改善案の提案などの建設的な意見は、ホームページやSNS、広報紙などを使ってインパクトのある情報発信をしていくと良いと思う。 | 修正 | |
| 1715 | 横浜IRはぜひ作ってください。市民説明会をいくら開催しても、パフォーマンスばかりの反対派に浮動票が流れるだけで、逆効果ではないかと心配します。市民の理解度を深めるためなら、正しい情報や発信したい内容をストレートにHPやSNS、テレビ番組、ラジオ番組で発信する方が効果があると思います。誰にも妨害されずに情報を発信できるし、私たち市民も、都合のいい時間に自分のペースで何度でもアクセスして視聴して正しい理解ができます。仲間や家族と話し合いながら見ることもできていいと思います。市民の関心を高めるためなら、目につきやすいマスコットを使ったり、人気投票などのイベントを盛り込むと、横浜IRに関して話したり考えたりするハードルも下がり、より多くの方の身近な話題になると思います。 | 修正 | |
| 1716 | 横浜IRに賛成しています。市民説明会は、反対派の方の活動の機会になるだけで、横浜市が期待する効果は申し訳ないけれど得られていないように思いますよ。やればやるほど、反対派の方の派手なパフォーマンスに浮動票が流れてしまうのではないかと危惧します。現に、コロナで市民説明会がなくなっただけからは、派手なパフォーマンスがなくなって落ち着いた印象があります。会を開催するより、ホームページやSNS、広報紙などでフレッシュな情報を発信してほしいです。そのほうが、市民の関心が高まり、理解も深まり、何より正しい情報が誰にも妨害されずに届けられて、いいと思います。 | 修正 | |
| 1717 | 横浜IRについては、市民説明会よりも、ホームページに掲載される資料を読むほうが、理解が深まりました。自分ごととしても考えられるようになりました。これから、事業者選定や区域整備計画など、どんどん手続きが進むと思うので、会の開催より、ホームページやSNS、テレビ番組などでの情報発信に力を入れてほしいです。 | 修正 | |
| 1718 | 賛成します。どんな美しい景観ができるのか大変興味があります。ホームページやSNSなどで、事業者から提案された図面やイラストなどが観れるとうれしいです。 | 修正 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1719 | 市民説明会を延期している中、このタイミングはひどい。ドサクサまぎれ。 | 参考 | <p>IRの実現に向けた取組の背景や経緯などについて、市長自らが市民の皆様へご説明するため、2019年12月から各区を対象に市民説明会を行ってきました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、参加される市民の皆様の安全を最優先に考えた結果、戸塚、都筑、栄、青葉、瀬谷、泉の6区の開催が困難と判断し、説明会の開催に代わり、未開催6区をはじめとする市民の皆様へお伝えするため、市長説明動画を作成しました。</p> <p>今後も感染症の発生状況を注視しつつ、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた丁寧なご説明を続けていきます。〈方向性 P.98〉</p> |
| 1720 | 市民説明会が全体の1/3にもあたる6区で実施されていない。 | 参考 | |
| 1721 | 青葉区では市民説明会が延期されたままなのにパブリックコメントは予定通り募集されています。 | 参考 | |
| 1722 | 6区でのIR説明会は新型コロナの拡大防止対応で延期されたもの市はIR準備の為に本パブリック・コメントの募集は予定通り実施と決めている(本件)。説明会を延期しながらパブ・コメは進めるというスタンスは市民をバカにしたもの。 | 参考 | |
| 1723 | 市民の反対の声を無視してカジノ誘致を決めただけでなく、市民向け説明会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したにも関わらず、横浜IRの方向性のパブリックコメントを募集するとは、新型コロナウイルス蔓延以前に打ち出した計画を立ち止まることもなく、粛々と進めていく横浜市に対して大きな違和感と不信感がある。 | 参考 | |
| 1724 | 栄区ではまだ説明会が開催されていません。 | 参考 | |
| 1725 | 栄区は説明会も開かれていません | 参考 | |
| 1726 | 新型コロナ感染が拡大し都市封鎖も近い状況下、市民説明会中断で6区が未開催 | 参考 | |
| 1727 | 市長が全行政区(18区)に説明すると言ってましたが、まだ説明をしていない区が、あるのに、次々とすすめているのは、おかしいです。まして、説明会で出された質問の解答でも、「市長の説明会を行っています～」というような、解答になっています。ちゃんと説明会をしてから、仕切り直して下さい。IR(カジノ)には反対です。 | 参考 | |
| 1728 | 「市民に丁寧に説明する市民説明会」はまだ6区開催されていません。104頁の素案をつくり夢のような動画をつくり、コロナ対策が見えない、おかしくありませんか。 | 参考 | |
| 1729 | 当面3ヶ月程度 コロナウイルスにより各区での説明会が開催されていない。 | 参考 | |
| 1730 | 市長自身が市民に説明すべき(TV、ラジオ、マスコミ等) | 参考 | |
| 1731 | 3月に予定されていたIR・市民説明会は中止され市長の市民に対する説明責任がはたされていません。 | 参考 | |
| 1732 | 市長がカジノを本当に導入する気なら、もっと、住民との対話をし、しっかりした考えで各区の説明会を、実施すべし。 | 参考 | |
| 1733 | 全区への説明会も終わる見通しが無い今、即刻計画の延期・見直しを行うべきである。 | 参考 | |
| 1734 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため市民説明会を延期しているのにパブリックコメントを強行するのか。全区で開催後にパブリックコメントを実施すべきである。 | 参考 | |
| 1735 | 横浜IR(カジノを含む)に反対です。新型コロナの影響により各区の説明会は終わっていません。 | 参考 | |
| 1736 | 説明会に参加しました。市の「推進理由」だけでは理解、賛成できません。「説明会」に出された「質問」に対する、回答をインターネットで調べてみて、回答は出ていません。説明会をほどほどにして、計画をすすめていることに違和感、憤りを感じます。 | 参考 | |
| 1737 | 全区の説明会が終わらないのに、パブコメを終わらせるのはおかしい。 | 参考 | |
| 1738 | 戸塚区は市民説明会が開かれていません | 参考 | |
| 1739 | 栄区ではコロナの一件で、まだ説明会も開かれていません。 | 参考 | |
| 1740 | 「横浜IR広報動画」なるものを新たに作ったのは、残りの区での市民説明会の開催をもう打ち切るために、これを以て市民への説明は十分に尽くしたとの免罪符にする布石なのではないか。 | 参考 | |
| 1741 | コロナを口実に市民説明会は延期し、また実施済み市民説明会の質疑応答議事録の作成もなぜか中断されている。 | 参考 | |
| 1742 | カジノは作らないでほしい。コロナウイルス騒ぎで青葉区での説明会も開かれず、そのままおし進めるのはフェアではない。カジノは横浜市に不幸をもたらす。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1743 | この栄区は、市からの正式な説明もありません。事業を進めないで下さい。 | 参考 | <p>ⅠRの実現に向けた取組の背景や経緯などについて、市長自らが市民の皆様へご説明するため、2019年12月から各区を対象に市民説明会を行ってきました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、参加される市民の皆様の安全を最優先に考えた結果、戸塚、都筑、栄、青葉、瀬谷、泉の6区の開催が困難と判断し、説明会の開催に代わり、未開催6区をはじめとする市民の皆様へお伝えするため、市長説明動画を作成しました。</p> <p>今後も感染症の発生状況を注視しつつ、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた丁寧なご説明を続けていきます。〈方向性 P.98〉</p> |
| 1744 | 誘致ありきはおかしい。市民に納得する説明会ではない。 | 参考 | |
| 1745 | 市区の説明会すら未だ6区で行わずにあるのに今次の意見募集とは何事か、不見識もしくは狂っていると思えず、港北区、鶴見区、金沢区等でもその対応、回答に多く不満があると。 | 参考 | |
| 1746 | コロナ問題があったとは言え青葉区においては「区民説明会」さえ開かれておりません。 | 参考 | |
| 1747 | 横浜にⅠR・カジノを誘致することに、ついでの説明会は中止となりました。市民への説明不足、又、新型コロナウイルス問題が広がる中であって、予定通り計画を進めようとしていること自体、納得できません。 | 参考 | |
| 1748 | 青葉区を含む6区で説明会を実施されていない現状でⅠRの方向性についての意見を求める事が無理なのではないかと思えます。 | 参考 | |
| 1749 | カジノ・ⅠR誘致反対です。横浜市はⅠR説明会を6区の開催を見合わせ再開の目処も立っていないにも関わらずⅠRの方向性についてパブリックコメントを強行。 | 参考 | |
| 1750 | 新型コロナで人の行動が制限される中説明会も開かれない中、計画作業を直ちに中止すべきです。 | 参考 | |
| 1751 | カジノありきのⅠR反対です。説明会はその後どうなってますか、きちんと説明してほしいです。 | 参考 | |
| 1752 | パブリックコメントは『反対が多くても誘致は変えない…』とのことでしたのでその時点ではあきらめてしまいそうになっておりました。しかし、予想だにしない新型ウイルス感染が拡大するなか、市民としての声を、届けるべきと確信いたしました。対話を尽くし納得できる為にも全区での説明会が実施、終了するまで延期しより広くパブリックコメント募集を継続してほしい（説明を受けたことで考え方も変わる可能性もあります。） | 参考 | |
| 1753 | 今、新型コロナウイルス感染が脅威です。そのために各区で行われる説明会もされないうままになっています。 | 参考 | |
| 1754 | 都筑区では、まだ住民説明会が開催されていません。6の区（全体の18分の6分の1で説明会を行わずに、パブコメをやるのは、おかしいです。パブコメを行うのならまず説明会開催してからにすべきです。 | 参考 | |
| 1755 | 3分の1の区で説明会を開催しないまま、進めるカジノⅠR誘致はやめるべきです。 | 参考 | |
| 1756 | まだ、「市民説明会」すら終わっていません。新年度予算でカジノ事業推進のために4億円もの予算を可決したと報道されています。すべて市民の税金でしょう。 | 参考 | |
| 1757 | コロナの影響で6区では市民説明会が延期になっています。それにもかかわらず4月6日でパブリックコメントを〆切るのはおかしいです。 | 参考 | |
| 1758 | 最後まで説明会を終らせてから再度パブコメを求めるべきです。 | 参考 | |
| 1759 | コロナの問題で説明会は終わっていません。 | 参考 | |
| 1760 | 市長のおっしゃっていた「丁寧な説明」をうかがっていません。申し込んだのに説明をうかがえなかった市民が大勢いるのに、その存在を無視することは、税金を納めている市民としてゆるせません。 | 参考 | |
| 1761 | 説明会が最後で待っていましたが、延期と連絡がありました。今回パブリックコメントと言うことですが、説明会はどうなるのでしょうか？ | 参考 | |
| 1762 | 2月に入り新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、6区の市民説明会が中止されました。1/3の区の市民が市民説明会の参加できない状況で、3月6日からパブリックコメントが実施されており、たいへん驚いています。感染拡大が収束したら、市民説明会は再開するとのことですが、当然ながら時期は未定です。このパブコメ期間は横浜市パブリックコメント実施要綱および運用指針に示されている最低限の募集期間（30日以上）とほぼ同等であり、短すぎます。すべての区での説明会が終了するまで実施期間は延長すべきです。 | 参考 | |
| 1763 | 市民説明会は中止ではなくて延期なのでしょうが。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1764 | もし、説明会を開催することが、IR誘致の手続き上で必要なら、ぜひとも、不規則発言をする人には退場を命じるなど厳しく対応してください。市長のクルマを叩こうしたり、警備などしている職員に突っかかり画像を撮影して拡散したり、音を鳴らして嫌がらせ行為をするのは、威力業務妨害だと思えますし、少なくとも常軌を逸していると思います。 | 参考 | IRの実現に向けた取組の背景や経緯などについて、市長自らが市民の皆様へご説明するため、2019年12月から各区を対象に市民説明会を行ってきました。 しかし、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、参加される市民の皆様の安全を最優先に考えた結果、戸塚、都筑、栄、青葉、瀬谷、泉の6区の開催が困難と判断し、説明会の開催に代わり、未開催6区をはじめとする市民の皆様へお伝えするため、市長説明動画を作成しました。 今後も感染症の発生状況を注視しつつ、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた丁寧なご説明を続けていきます。〈方向性 P.98〉 |
| 1765 | せっかく、職員の方によるたくさんの事務作業によって、今までの説明会での質疑応答やアンケートへの回答などをHPに掲載していただいているので、今後の説明会での質疑応答については、「今までの説明会で出ていない新しい質問」についてを取り上げてほしいです。横浜IRには私は賛成です。今後、市民説明会を実施したりするようでしたら、検討してもらえるといいなと思います。 | 参考 | |
| 1766 | 市民説明会があるたびに、特定の人たちが行き過ぎた抗議活動や横浜市の職員への嫌がらせのような言動をしているのが会場周辺や市役所で目につく。はっきりいって、横浜市民の品格を貶める行為で、迷惑に感じる。職員を無断で撮影した画像をインターネットで拡散しているのも、違法行為ではないだろうか。市民説明会の開催が、IRの誘致にどうしても手続として必要ならば、せめて、ちゃんと説明を聴きたい市民のために、不規則発言や威力業務妨害には横浜市として厳しく対処してほしい。 | 参考 | |
| 1767 | IR導入には反対です。説明会をコロナウイルスの影響で6区延期にしたのにパブコメは延期せずに実施するのは姑息です。説明会で説明を聞きましたが、ますますカジノ誘致反対の意を固めました。 | 参考 | |
| 1768 | 泉区説明会がコロナウイルスの関係で延期に成りましたと、IR推進課から手紙が届きました。噂に寄ると中止だとか情報がハッキリしません。説明会に出席する手続きして待ちましたが残念です。 | 参考 | |
| 1769 | 94頁で理解促進・合意形成に向けて取り組むとあり、新型コロナウイルスによる影響で市内6か所の説明会が延期された以上、最低限その説明会を踏まえなければ説明責任を果たしたとは言えないと思われるが、横浜市の見解を載せてください。 | 参考 | |
| 1770 | 説明会の開催が横浜IRの誘致に必須の手続きなら、不規則発言や近隣での迷惑行為、職員への嫌がらせ行為に徹底的に厳しく対応すべきだ。 | 参考 | |
| 1771 | もし、説明会の開催が横浜IRの誘致に必須の手続きなら、不規則発言や近隣での迷惑行為、職員への嫌がらせ行為に徹底的に厳しく対応して、職員の心身を守り、静かに聴きたい市民をもっと尊重する必要があると思います。 | 参考 | |
| 1772 | 横浜市民の理解づくりを理由に計画された市内18区のIR説明会は、新型コロナウイルス感染予防を理由にまだ開催することができない状況にあります。 | 参考 | |
| 1773 | 市民説明会やシンポジウムの開催が必要ならば、不規則発言や市の職員さんへの威力業務妨害には厳しく対応した方がいいと思います。 | 参考 | |
| 1774 | 市長が市民に説明し意見を聞くと言っても、「新型コロナ」の影響で説明会も開けていない区も有るほどです。そんな状況のもとで、IRカジノの調査を進めるべきではありません。 | 参考 | |
| 1775 | 横浜IRに賛成しています。市民説明会が延期になっている地域の方は、他区で開催された説明会の様子が気になっていると思います。コロナウイルス対策でさまざまなイベントが中止や延期になっており、雇用面で不安を抱える方も増えていて、正直、市民説明会がいつ開催できるのか、開催できたとしても人が集まるのかも分からない状態だと思います。しばらく待ってもらい、例えば、無観客説明会を開催してその様子を撮影し、横浜市のホームページなどで公開するのはいかがでしょうか。 | 参考 | |
| 1776 | 市民説明会について栄区の説明会は新型コロナウイルスの影響で延期されたままである。いつ説明会を行うのか明確な案内を出してほしい。 | 参考 | |
| 1777 | わずかに「区で1会場しか開催しない市民説明会」も終了していないこと。各会場多数の発言者がいるのに発言制限し、「出された意見・疑問には市のホームページで回答しますから」という約束も果たさずに、一方的な「素案」提起するのは市民自治を否定する大問題です。残り会場の終了と市民意見の開示と回答を寄せてから素案の出し直しをするのが大前提です。 | 参考 | |
| 1778 | 誘致には賛成。コロナ対策で市民説明会の再開は難しいのではないかと考えています。延期している区や、参加できなかった方のために、無観客説明会の動画を配信すると、きっと喜ばれると思う。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1779 | カジノ・IR誘致の市民説明会は、全区において未だ果たされていない。 | 参考 | <p>IRの実現に向けた取組の背景や経緯などについて、市長自らが市民の皆様へご説明するため、2019年12月から各区を対象に市民説明会を行ってきました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、参加される市民の皆様の安全を最優先に考えた結果、戸塚、都筑、栄、青葉、瀬谷、泉の6区の開催が困難と判断し、説明会の開催に代わり、未開催6区をはじめとする市民の皆様へお伝えするため、市長説明動画を作成しました。</p> <p>今後も感染症の発生状況を注視しつつ、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた丁寧なご説明を続けていきます。〈方向性 P.98〉</p> |
| 1780 | 誘致表明後の横浜市の進め方が一方的であること。とりわけコロナウイルスの汚染拡大の中、6区で市民説明会が延期され直接的な説明がないにもかかわらず、日程の変更もなく、パブコメをはじめ動画配信など一方的な準備行為をやめないこと。 | 参考 | |
| 1781 | 開催されていない区の説明会はどうされるのか | 参考 | |
| 1782 | 全体のスケジュールに対しての意見です。新型コロナウイルスの影響で説明会も延期になっていますので、当該計画は実行着手するのではなく全体に見直しをすべきと考えます。よろしくをお願いします。 | 参考 | |
| 1783 | 市長の姿勢に疑問を感じます。2019年8月、白紙撤回しカジノを含むIR誘致を進めることを表明した時には、今後市民への理解をつくっていく住民説明会を各区1回行うとしてきました。各区1回でも市民への説明は不十分だと思いますし、住民説明会がすべて終わっていません。その説明会でも市民に向き合った説明会になっていません。市民の意見は全く受け入れない姿勢がみえます。 | 参考 | |
| 1784 | 説明会が延期になっている中で、パブリックコメントの締め切りをそのままにするのは不正義だ。 | 参考 | |
| 1785 | 市長は議会でも「今まで説明が足りていなかった。18区に行き、理解が得られるよう説明する」とおっしゃいましたが、新型コロナウイルスの影響で残り6区の説明会は延期、再開のめども立っていません。 | 参考 | |
| 1786 | 市長は議会でも「今まで説明が足りていなかった。18区に行き、理解が得られるよう説明する」とおっしゃいましたが、新型コロナウイルスの影響で残り6区の説明会は延期、再開のめども立っていません。 | 参考 | |
| 1787 | カジノ・IRについての市民説明会を18区行ってからパブコメを行うべきで不公平感是否めない。説明会は一度きりの参加で、自分の区の順番を待っていた、という声も聞いた。 | 参考 | |
| 1788 | 2019年12月～2020年3月までに、18区での市長説明会を開催することが約束されていましたが、それも3区のみで現在も実現されていません。 | 参考 | |
| 1789 | 新型コロナウイルス感染が脅威です。そのために各区で行われる説明会もされないままになっています。そのような時節の中、この法案に対して意思表示をできないでいる人もいます。 | 参考 | |
| 1790 | コロナの影響で戸塚を含めた6区は説明をうけていない市民が多くいるのに、事業がすすんでいること見えていますか | 参考 | |
| 1791 | コロナウイルス感染拡大の影響でまだ市民説明会が完了していません。 | 参考 | |
| 1792 | 市民に説明をといながら中断したまま。今すぐ、カジノ政策を中断すべきは有りませんか。コロナ対策はこの先どうなるかわかりません。 | 参考 | |
| 1793 | 青葉区は市による説明会も延期されたままであり、説明会を開催した他区との不平等が生じており、二重の意味で民主主義に反しています。 | 参考 | |
| 1794 | 説明会が終わっていないのに、IR事業を進めないでください。 | 参考 | |
| 1795 | 全行政区で説明会を開くと言いましたが、そもそも開けていない行政区を残しているのに、パブコメ期限がくるなんて、おかしい！いずれにせよ、今の瞬間は、コロナ対策に全力すべきだし、カジノは全行政区での説明会を開いてください。 | 参考 | |
| 1796 | 市民説明会はコロナ感染で6区が未開催である。その説明会がいつ開催されるのか、その予定もないままに今回のパブコメである。説明会がなされた区では市長の説明にますます不安を募らせた。 | 参考 | |
| 1797 | 未だ市長による説明会が6区も残っています。説明会→パブリックコメント募集→パブコメ結果集約・市民への発表→市議会に諮り・議決、との順序が民主主義的な手続きではないでしょうか。 | 参考 | |
| 1798 | まだ6区の市民説明会も終わっていません。 | 参考 | |
| 1799 | 市民への説明会も終わっておらず、民主的な手続きを踏んでいるとは言えず、日本を代表する都市のやり様とは思えません。IRについては一旦立ち止まってください。 | 参考 | |
| 1800 | 都筑区は説明会を開いて頂いていないのでわかりません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1801 | 栄区ではまだ説明会も開かれておりません。市民にきちんと説明をしてからパブリックコメントもやってください。 | 参考 | IRの実現に向けた取組の背景や経緯などについて、市長自らが市民の皆様へご説明するため、2019年12月から各区を対象に市民説明会を行ってきました。 |
| 1802 | 住民への説明会がコロナウイルスの影響で延期になったにも関わらず、パブリックコメントの募集期間はそのままになっていることにも不信感があります。なぜこのような非常事態でもそのまま進めてしまうのでしょうか。 | 参考 | しかし、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、参加される市民の皆様の安全を最優先に考えた結果、戸塚、都筑、栄、青葉、瀬谷、泉の6区の開催が困難と判断し、説明会の開催に代わり、未開催6区をはじめとする市民の皆様へお伝えするため、市長説明動画を作成しました。 |
| 1803 | 新型コロナに関連し、区の説明会が一部延期されている中でパブリックコメントの実施という事は如何なものか。 | 参考 | 今後も感染症の発生状況を注視しつつ、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、誘致に向けた取組の進捗状況に応じた丁寧なご説明を続けていきます。〈方向性 P.98〉 |
| 1804 | 3月6日の青葉区の説明会は延期としか聞いておりませんか？市民への説明会を省いて、前に進める事は看過出来ませんか？ | 参考 | |
| 1805 | 戸塚区は市民説明会が開かれていません。それなのにカジノ関連予算を決めないで下さい。 | 参考 | |
| 1806 | 今世界中が新型コロナの危機の中にあります。米、中、韓ヨーロッパなどからの入国禁止措置もとられています。大阪ではカジノの取り組みを遅らせるそうです。横浜市もコロナ終息まで凍結すべきです。コロナ終息後あらためて提起することを強く要請します。 | 参考 | 本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。 |
| 1807 | IRの話よりコロナ対策に全力を注いで下さい。バタバタ会社が潰れているの、分かっているのでしょうか | 参考 | 日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。 |
| 1808 | 市民に評判の悪いカジノIRについては、一度立ち停って考え直して下さい。いまは、コロナ感染拡大防止に全力を上げる時です。落ち着いた環境の中で市民や港関係者の声を聞き、何が横浜と市民の為になるのか。考えましょう。 | 参考 | IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 |
| 1809 | 今からでも遅くない！市長はカジノ誘致撤回し、市民の声を聞き、市民に寄りそう市政を！！今、カジノよりコロナ対策！です。 | 参考 | 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。 |
| 1810 | 世界中がパンデミックに見舞われいつ収束するかもわからない今、最も不要なIRをストップして下さい。 | 参考 | |
| 1811 | カジノは美しい日本のどこにもありません。新型コロナで世界中がパンデミックにおちいつている中、コロナの陰でIR誘致を未だ推進している横浜市に、愕然としています。市長さんコロナ対策に専念を！ | 参考 | |
| 1812 | IR準備も一旦凍結し、コロナ対応に注力すべきである。 | 参考 | |
| 1813 | 新型コロナウイルス拡大が危惧される中もIR誘致を進めるのはやめて下さい。 | 参考 | |
| 1814 | 誘致計画は延期すべきです。 | 参考 | |
| 1815 | 市長はコロナよりカジノ。 | 参考 | |
| 1816 | コロナで生死を争っている時にバクチ(=カジノ)をしゃにむに推進することは許せません。 | 参考 | |
| 1817 | これだけコロナウイルスの感染が騒がれみな不安を感じています。IRはいったん止めてコロナ対策をお願いします！！ | 参考 | |
| 1818 | コロナの対策に全力をあげるべきでは。 | 参考 | |
| 1819 | 新型ウイルスコロナの世界的流行をみてもわかる様に、IRどころではないと思う。 | 参考 | |
| 1820 | 概要版の最終ページに、政府は2019年度内に「基本方針を公表」と書かれていますが、カジノ汚職事件で遅れ、さらに新型コロナウイルス感染爆発という未曾有の事態を受けて緊急事態宣言の発令を検討している情勢です。ひとり横浜市だけが、コロナ(対策)よりもカジノ(推進)という姿勢を取り続けることは、市民の安全安心をないがしろにするもので許されません。大阪府・市のように非常事態との認識を持って、せめてコロナ情勢が落ち着くまで作業をストップすべきです。 | 参考 | |
| 1821 | 新型コロナ対策にもっと力をそそいで下さい。 | 参考 | |
| 1822 | コロナウイルス感染拡大に伴い世界中の人・物・金が停滞し、日本でも商業、教育、娯楽もほぼ全面的にストップし市長の各区へのIR説明会も中断したまゝの空白状態が続いている折、IRスケジュールも最低半年(常識的には1年遅らせるべきと思う。一外国のIR誘致進出企業も今回の原状を顧みれば納得するものと推察される。 | 参考 | |
| 1823 | 今後のスケジュール予定も年初来の新型コロナウイルスの問題で我が国や世界の経済が深刻な事態に陥ることが懸念されている今日比処で立ち止まりIRの見直し又は撤回も検討することが必要ではないだろうか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1824 | 新型コロナウイルスで、又議員のIR汚職が報道され、国会でも審議が進まないなかで新型コロナウイルスで大阪もストップと聞いています。横浜だけが前のめりに進めているのが、とても不思議です。ぜひ、市民の声をよく聞いて下さい。 | 参考 | <p>本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。</p> <p>日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 1825 | 新型コロナの経済的ダメージからの回復こそ真剣に取り組むべき。 | 参考 | |
| 1826 | IRヨリコロナがシンバイ | 参考 | |
| 1827 | 新型コロナがまん延している。大阪ではカジノの募集作業を中止にした。横浜も市民説明会を延期にしている。新型コロナの感染が落ちつくまで、カジノ関連作業を中止にするべきだ。 | 参考 | |
| 1828 | IR事業をすすめる状況には至っていないのではないのでしょうか。“コロナ”による不安と生活と営業の困難は深刻です。いまは、カジノ事業計画を凍結してコロナ対策に万全をつくして下さい。市民の切実なねがいです。 | 参考 | |
| 1829 | 世界中がコロナによるパンデミックと闘っているまさにこの時、カジノ誘致に血まなこになっている。今すぐストップして下さい。 | 参考 | |
| 1830 | 今はコロナ対策が最優先です。カジノはストップしましょう | 参考 | |
| 1831 | 今は、新型コロナウイルス感染症に最大限の力をあてるべき。それが安心安全につながる！！ | 参考 | |
| 1832 | 新型コロナ対策を始め優先する事がある。市長は安きに流れずもっと知恵を出すべき | 参考 | |
| 1833 | 「この問題の結論を出すのは時期尚早」です。折しもコロナ旋風が吹き荒れ、世界中が、日本中が阿鼻叫喚の巷と化しています。天災への備えなどこも逼迫しています。横浜は大丈夫でしょうか。 | 参考 | |
| 1834 | 「安心・安全」の横浜モデルなら、具体的な根拠を直ちに市民に示すべきです。コロナ新型肺炎の大流行で、国・市・個人共に財政基盤に未曾有の激震が走っています。市民の大切な個人資産をこれ以上無駄に消滅させぬこと、それを市政の大前提にして頂きたい。 | 参考 | |
| 1835 | 横浜市長は、まず真っ先に市民の命に係わるコロナ対策に取り組むべきではないか。 | 参考 | |
| 1836 | 市民の多数が反対（世論調査でも明らか）しており、強行することに反対です。コロナ危機のなかで、当面、全ての行動（実施にむけて）をストップし、終息後市民的な討議が保障されるようにして下さい。 | 参考 | |
| 1837 | 新型コロナウイルス感染症の終息の目処がたっていない大変な時に、IR（カジノ）は、終息の目処がたつまでは一時停止した方がよいと思います。 | 参考 | |
| 1838 | コロナで人の生死が問われている時に、カジノどころではありません。もっと市民生活に必要な事を優先してすすめて下さい。保育所不足や、政令市の中学校給食（義務教育に出来ないのは、おかしいです。他市、県ではしています。 | 参考 | |
| 1839 | 市長が今、全力を尽くして行うべきことはコロナ感染防止のための事業です。カジノ誘致について横浜市民が反対の意見が多数出されています。カジノ誘致に賛成の人も、反対の人もこれから大規模な運動を計画していますが、コロナ感染に関わって、「3つの密」に触れることが危惧されます。よって横浜市としてカジノに関する業務をすぐに1年以上にわたって中止、停止すべきです。 | 参考 | |
| 1840 | コロナ騒ぎでIRどころではありません。意見募集期間の延長を希望します。 | 参考 | |
| 1841 | 今は、カジノではなく、コロナ対策をしっかりとすすめてほしいです。 | 参考 | |
| 1842 | 今コロナが大変、病院も装備に関しても不足がハッキリした。老朽化のインフラ整備、コンビナート群と大地震対策、やることはいくらでもある。IRカジノなどといった時でないと思う。 | 参考 | |
| 1843 | 反対です。現在コロナで世界が大変な時です。4月6日までは早くはないでしょうか？着いてから賛成・反対の意見の希望します。 | 参考 | |
| 1844 | スケジュールの延期を提案する。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1845 | 横浜が推進しているカジノを含むIRに反対です。今コロナでこれ程混乱しこれからの経済の見通しもない中でなぜこのまゝ推進するのか全く理解出来ません。各自治体は保障のための予算も組み出費を確保しようと懸命です。今の世界の人の移動がコロナで禁じられる中で大変な損失をうけた人がたくさんいますが、このカジノを開いていたら…と思うとその損失額ははかりきれません。依存症で崩壊していく家庭をつくりそのための保障する市の費用も莫大です。カジノはやめて下さい。 | 参考 | 本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。 日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。 IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。 |
| 1846 | コロナ対策が優先でしょ。市民の不安を早く解消してほしい。 | 参考 | |
| 1847 | 今はコロナ対策が最優先と考える。(横浜生れ、ハマッコ) | 参考 | |
| 1848 | 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて国民、横浜市民が大変な状況にある中でIRを強行に押し進めようとしている市長の考え方に絶対に反対です。今はすべき事はIRの推進ではなく市民生活の安全、安心を守りぬくことです。 | 参考 | |
| 1849 | このまま、急性肺炎ウイルスの関係で、全ての行事をカットしての導入は、法律違反を考えます。 | 参考 | |
| 1850 | 現在の様に新型コロナウイルスで、経済が立ち止まり、果たして、いつ正常に戻るのかという、不安は、同年齢だけでなく、幼児から、若者、高齢者に広がっています。日本は自然災害の多い国です。災害と、中小企業の人達に、平等な援助が来ているか？スピードを持って、取り組んで欲しいです。 | 参考 | |
| 1851 | 山下埠頭にカジノというと、豪華クルーズ船に寄港してもらいセレブ乗客にカジノに金を落としてもらうというイメージがありますが、今の状態でそんなことを推し進めていいのですか。観光大きく依存する横浜はいかに脆弱なものになるか明らかになっている中、少なくともこの新型コロナウイルス騒動をしっかりと検証できるようになるまで、計画は凍結されることを勧めます。 | 参考 | |
| 1852 | 市長はIRの件については声高に発信されておりますが、事コロナウイルスではほとんど声が聞えて来ません。 | 参考 | |
| 1853 | コロナ問題もあります。拙速に事をすすめないでくださるようお願いします。 | 参考 | |
| 1854 | 市長は今のご時世カジノ関連などに現を抜かずよりコロナ対応に全力を。 | 参考 | |
| 1855 | 世界が、コロナウイルスで大変な事態に、なっています。緊急に、やらなければならない事が、山積みです。オリンピックも、どうなる事やら、1年未滿に、ウイルスが、消滅するとは思えません。カジノを今、あきらめるべきです。経済的ダメージが、すごいです。困まっている人をまず救済する必要が、あります。「平和ぼけ」している時では、ありません。 | 参考 | |
| 1856 | 今はカジノよりコロナ対策を市としてきちんと出すべきです。カジノは反対！反対！やめて下さい。 | 参考 | |
| 1857 | 今、なんと云っても、コロナの問題です。横浜市には保健所が1ヶ所しかないとか、これでは360万の市民の命を守る事が出来ないのではないですか。市長は、だれの為に働いているのですか。市民にとって住んで良かったと云えるような横浜市にして下さい。横浜に、IRは必要ありません！反対です。 | 参考 | |
| 1858 | コロナ対策を優先して下さい。カジノは、据置き、ゆっくり市民の皆様と相談すべきと思いますが、いかがですか、命が先です。 | 参考 | |
| 1859 | なぜ世界中が新型コロナウイルス感染で大変な最中にIR事業推進の検討を推めようとするのか、理解に苦しみます。オリンピック開催が一年延期になるなど、横浜の市民も大変な状況はご存じのはずです。大阪市は延期しております。国際都市の名に恥じない様、対応願います。今の流れでは賛同しかねます！ | 参考 | |
| 1860 | 少なくとも、新型コロナの収束が確認されるまでは、IRの件は白紙に戻すべきだと思います。 | 参考 | |
| 1861 | 新型コロナウイルスによる状況がこんなにも深刻な時期にIR計画をすすめるのはやめて下さい。いま市民はコロナ対策への市の施策を切実に求めています！ | 参考 | |
| 1862 | 現在進行中のコロナウイルスパンデミック危機において、この計画は、見直すべきです。 | 参考 | |
| 1863 | 今、まったなしで真剣に取り組むべきは、コロナ対策が最優先です | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1864 | 政府への申請作業のみは、コロナなど無関係に、突き進めている市の姿勢は、火事場泥棒的で姑息である。 | 参考 | <p>本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。</p> <p>日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 1865 | 横浜市はカジノ（新型）問題を無期限に延期し、コロナ対策に全力をあげるべきです。横浜市にも危機が迫っています。市長は何故もっともっと強いメッセージを出さないのでしょうか。一刻も早い対応が必要です。 | 参考 | |
| 1866 | 今は、それ以前に全力でコロナウイルス肺炎の問題に取り組むべきだ。今はカジノどころではないというのが目下の状況ではないか。 | 参考 | |
| 1867 | 現在は、新型コロナウイルス対策にもっと力を注いで下さい。カジノ誘致準備はストップするべきです。 | 参考 | |
| 1868 | 子供達の未来を考え親子で楽しく過ごせるように。まして今コロナウイルスが猛威を振るい大変な事になって居ます。これでは子供達の未来は暗く成るばかり。カジノなど持った他。 | 参考 | |
| 1869 | コロナ問題で日本中が大変な事になっています。この神奈川県でもたくさんの感染者が出ています。そんな中でも市長はIR事業を進めていくのですか。 | 参考 | |
| 1870 | 不測の状況（新型コロナ、天災、人災、戦争…等々）の経営破綻もカジノ経営会社の負担としなければならない。いかなる場合もカジノ経営会社の責任であることを契約条項に明記しなければカジノは市民の財政的重荷となる。 | 参考 | |
| 1871 | 何より、COVID19が世界で猛威を振るい世界中が恐怖と混乱の極みにあり、日本もそして横浜市も例外ではない。仮にIR推進の政策を変えないとしても、かかる非常事態に近い環境下では、IR関連事業を停止するのが当たり前である。 | 参考 | |
| 1872 | IRには反対です。世の中は現在新型コロナウイルスの問題で、何時終わるともしれない不安な状況に置かれています。経済的には全く見通しが立ちません。旅行者の入国禁止で、旅行者を対象にした商売は冷え込んでいます。莫大なお金をかけて、将来に向けての事業との事ですが現状では不可能と思われる。現状をふまえ、堅実な財政運営を求めます。今は先を急ぐべき時ではありません。 | 参考 | |
| 1873 | 今は見えない敵コロナを、一丸になり終わらせなければならない。カジノを含むIR事業などと言っている時か！！とも思ってしまう。 | 参考 | |
| 1874 | カジノを含む統合型リゾート施設（IR）の誘致に反対します。誘致をして横浜を経済的に豊かにしよう それは市民の生活を豊かにするとのことですが、今回の新型コロナ感染で豊かさの前提である市民の安全をどう守るかというところに市政の要があるべきであると強く感じています。 | 参考 | |
| 1875 | コロナで全国で大変な状況なのにカジノどころではないはず。自治体の任務は住民の命とくらしを守ること。カジノこそ、一番「不要不急」なもの！今すぐ計画をてっ回して下さい。 | 参考 | |
| 1876 | 横浜市民はコロナウイルスの汚染と戦っているのに公が市民をギャンブル汚染をさせる気か！ | 参考 | |
| 1877 | 現在危機に立たされている新型コロナの感染拡大の重大な事態には、日々大きな不安を抱えながらの生活です。こういう角度にも目を向けての行政の政策を見直し進めていただきたいのです。 | 参考 | |
| 1878 | 今世界中が新型コロナウイルスの恐怖につつまれています。この横浜も例外ではありません。 | 参考 | |
| 1879 | しかも現在新型コロナウイルス感染拡大のさなか市民がどれだけ感染し亡くなるか予想もできない非常事態において市長はIRよりコロナ対策に全力を尽くすのが役割であり義務ではないか。 | 参考 | |
| 1880 | 将来の財政不安があるので訪日観光客が落とす金をあてにしているが 前のめりすぎると失敗する。現に中国人主体の観光客が激減し観光業界は大打撃を受けている。ホテル、展示場、劇場などの建設はリゾートプランナーの定番企画で 大損害の二の舞になる。方向転換を考えるべきと思う。 | 参考 | |
| 1881 | 今、新型コロナの脅威で外出を控えています。この時期に市がやるべきは、市民の不安を除き、生活を支える政策を打ち出すことです。カジノという「賭博」にも金も注ぎ込むことは大間違いです。外国人も含め、人の移動も制限されているのに、カジノを推進するのは何事か！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1882 | コロナウィルスの感染がこれだけ広がっている現在、は終息することに力を注ぐべきです。カジノを推進するときではありません。終息してからカジノの動きを作るべきです。カジノは反対します | 参考 | 本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。 日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。 IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。 |
| 1883 | コロナ対策をしっかりやってください。 | 参考 | |
| 1884 | IRカジノは市民の一人として絶対反対です。新型コロナの影響を受ける市民生活への強力な支援に切り替えるべきです。 | 参考 | |
| 1885 | カジノより三ツ沢にある、市民病院を、急救病院などに活用するなどコロナ対策に対応すべきだ。不用不急なのは、横浜IR（統合型リゾート）計画です。 | 参考 | |
| 1886 | 現在、新型コロナウイルスの感染拡大によって、世界中で深刻な状況が続いています。横浜も例外ではありません。市民の命が危険になってもおかしくない状況です。今後の見通しが全く立たないままです。市長は、新型コロナウイルスの対策に全力を注ぐべきです。今、横浜IRに関連する取り組みを行っている場合ではありません。その余裕はないはずです。国の方針がどうであれ、市民の命を守るのが、市長の役割であり、責任です。今すぐ、横浜IR関連の事業は停止すべきです。 | 参考 | |
| 1887 | 新型コロナウイルス対策で市長は手いっぱいですがIRの素案どうのこうのと考える余地はないのではないのでしょうか。まず新型コロナが終息に向かってからの事だと思います。 | 参考 | |
| 1888 | 現在の最重要課題は新型コロナウイルス感染対策に最優先で取り組むべきであり、カジノ・IR・事業は停止すべきです。 | 参考 | |
| 1889 | 新型コロナ対策の方が大切ですよ！！ | 参考 | |
| 1890 | カジノ反対です。今新型コロナ問題で戦々恐々です。いつ勤務先が閉鎖されるとか、行動が一層制限されるとか、カジノどころではないと思います。すぐカジノ計画作業を中止して下さい。 | 参考 | |
| 1891 | 新型コロナウイルス問題 周知のように、新型コロナウイルスは世界中に猛威をふるい、経済に与える影響は深刻です。このコロナ問題の終息がいつになるかわからず、日本の経済の状況がどうなるか、回復まで何年かかるか見通せない状況のもとでカジノ・IR事業を語るのには難しいことだと考えます。横浜に参入を目論んでいるカジノ事業者は、現在閉鎖されているラスベガスで深刻な打撃を受けていると報じられています。1兆円もの設備投資が必要な横浜のカジノ事業に乗り出してくる余裕はあるのでしょうか。 | 参考 | |
| 1892 | 今、コロナウィルスで、日本だけでなく、世界中が大変なことになっている。IRへの取り組みを停止させても、他にやること、必要なことがたくさんあるのではありませんか？カジノは、私たちの生活や横浜にとって必要ありません。もっと、市民が安心して、楽しく、暮らしが続くため、違う視点からの政策、政治を頑張るべきです。 | 参考 | |
| 1893 | 横浜IRについて今、凍結するべきです。 | 参考 | |
| 1894 | 今、日本を始め、世界中で、人命のかゝっている、コロナの大流行です。この様な時にカジノとは市長の人間性が怖いです | 参考 | |
| 1895 | 新型コロナ対策にもっと力を注いでください。こうした時にカジノIR誘致の準備はストップすべきです。 | 参考 | |
| 1896 | 今、世の中は、コロナで大変なことになっています。これから医療機関にも影きょうが出て、大変ことになるでしょう。こんな時に、カジノ誘致などとてもないことです | 参考 | |
| 1897 | 新型コロナ対策にもっと力を注いでください。こうした時に市民の意見が分かれているカジノIR誘致の準備はストップすべきです。 | 参考 | |
| 1898 | 横浜の品格を落とすカジノIRを誘致することは反対です。新型コロナ対策にもっと力を注いでください。こうした時に市民の意見が分かれているカジノIR誘致の準備はストップすべきです。 | 参考 | |
| 1899 | 横浜の品格を落とすカジノIRを誘致することは反対です。コロナ汚染は非常事態です。新型コロナ対策にもっと力を注いでください。こうした時に市民の意見が分かれているカジノIR誘致の準備はストップすべきです。 | 参考 | |
| 1900 | コロナ問題で大変な時、市民の反対の声も聞かず、すすめていく事は絶対反対です。カジノはいらない！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 1901 | 世界中がウィルスの驚異にさらされる中、IR、カジノなどに横浜の全く将来を未来を見出すことはできません。今、このようなパブコメを行うべきでしょうか？即刻やめるべき、パブコメも、カジノ誘致も止めて、コロナ対策に注力して下さい。 | 参考 | 本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。 日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。 IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。 |
| 1902 | コロナウイルス感染が急速に拡大している今の状況で、何故IR施設のパブリックコメントを求めるのですか。状況認識が全くずれています。やる事が違っていませんか。市民のために今何をすべきか考えてください。 | 参考 | |
| 1903 | 今日想定外の新型コロナが拡散しています。誰がこの様な状況を思ったのでしょうか。IRについては、急いで決める必要はありません。新型コロナウィルス対策を真剣にとりくむべきではありませんか。IRは、全ての不安材料がなくなるまで、更に想定外の災害を考えてから市民と共に考えてから行動すべきです。形式的なパブリックコメントでは、納得いきません | 参考 | |
| 1904 | IRの方向性(素案)含め、新型コロナ感染症が収束するまで、いったん立ちどまるべき。カジノの是非については明確に「反対」。 | 参考 | |
| 1905 | カジノ絶対反対である又、今はコロナ対策をお願いしたい。 | 参考 | |
| 1906 | 横浜の品格を落とすカジノIRを誘致することは反対です。コロナ汚染は非常事態です。新型コロナ対策にもっと力を注いでください。こうした時に市民の意見が分かっているカジノIR誘致の準備はストップすべきです。こんなコロナ危機の中で、カジノだけを進めるのは、市長がすでにカジノ依存症にかかっているのではないかと。市長よ。住民の安心安全のために力を傾注せよ。 | 参考 | |
| 1907 | 今、新型コロナウイルス対策で大変な時期です。今回はIRは先送りにしてコロナ対策に今から力を入れてください。 | 参考 | |
| 1908 | 横浜の品格を落とすカジノIRを誘致することは反対です。コロナ汚染は非常事態です。新型コロナ対策にもっと力を注いでください。こうした時に市民の意見が分かっているカジノIR誘致の準備はストップすべきです。 | 参考 | |
| 1909 | 新型コロナ対策にもっと力を注いでください。こうした時に市民の意見が分かっているカジノIR誘致の準備はストップすべきです。 | 参考 | |
| 1910 | 横浜の品格を落とすカジノIRを誘致することは反対です。コロナ汚染は非常事態です。新型コロナ対策にもっと力を注いでください。こうした時に市民の意見が分かっているカジノIR誘致の準備はストップすべきです。 | 参考 | |
| 1911 | コロナウイルス感染拡大の最中である今は勿論、そして終息出来た後も、経済状態を考えると、IRましてやカジノどころではなくなるのではないかと。横浜市は、初心に戻って、計画を見直すことが、今必要ではないでしょうか。まだ間に合います。 | 参考 | |
| 1912 | IR推進室に職員を配置するなら、その分コロナ対策にまわしてください。 | 参考 | |
| 1913 | コロナ対策を優先せよ。コロナ惨禍の最中に検討進めるべきではない。新型コロナウイルスの蔓延が猛威を振るっている最中にIR導入の検討などすべきではない。IR・カジノ導入検討自体を中止すべきだ。 | 参考 | |
| 1914 | 今コロナで命を落とす人がいたり、収入減で困っている人などたくさんいます。こんな時にカジノをすすめないで下さい。 | 参考 | |
| 1915 | カジノありきのIRなどに血筋をあげて夢中になる発想が問われています。今真剣に市政が考えなければならないことは「新型コロナウイルス」にどう対処するかです。また今だけでなく将来、災害だけでなく、この新型コロナウイルスのような事態に対して知恵と力を出すことが必要な時だ。市の行政のあり方もこの立場からすべてを見直すことが重要だ。 | 参考 | |
| 1916 | コロナウィルスで世界中が震撼としている中でこの様なパブリックコメントを実施していく様な横浜市政のあり方に不信感をもちます。 | 参考 | |
| 1917 | コロナ対策を優先せよ。コロナ惨禍の最中に検討進めるべきではない。新型コロナウイルスの蔓延が猛威を振るっている最中にIR導入の検討などすべきではない。IR・カジノ導入検討自体を中止すべきだ | 参考 | |
| 1918 | 新型コロナウイルス問題で、今、カジノどころではありません。今は、市民を助ける時では、ないでしょうか。魅力ある横浜にするために、一人ひとりが“おもしろい”を持つ心になったらいいですね。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1919 | …今は、それより何より、市民の命と生活を新型コロナウイルスの脅威から市政一丸で守って下さい！私たちも協力しますよ！（火事場泥棒の様なことはやめて下さい。） | 参考 | <p>本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。</p> <p>日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 1920 | 今はカジノよりコロナ対策に重点を置いた職員配置が必要です。「経済より命」の当たり前の市政に傾注してください。 | 参考 | |
| 1921 | カジノ対策は今、中止すべきです。市長は今何を毎日考えていらっしゃるのでしょうか。私たち市民は、毎日新型コロナの感染の恐怖におびえて生活しています。今後、いくら税金がコロナ対策で必要になるかわかりません。カジノ準備は中止すべきです。市民への説明会も全部やっていません。そういう中でカジノ進行には、あらゆることに賛成できません。カジノIR、は市として中止、あるいは延期すべきです。 | 参考 | |
| 1922 | 今は、コロナ対策で非常事態宣言が出されるような日々です。市民がコロナという新しい病への対応でどれだけ疲弊しているかご存知ですか。横浜の医療状況はどうなっているのですか。 | 参考 | |
| 1923 | 今回のカジノを含むIR計画には反対です。是非、中止してください。少なくとも、これだけ、新型コロナウイルスの対策が重要な局面を迎えているなかで、カジノ含む横浜IRを進めるため、バブコメを実施していますが、いったん立ち止まって半年以上進行を遅らせることを要望します。 | 参考 | |
| 1924 | 世界中が、新型コロナウイルスの脅威と戦っています。横浜市もコロナ対策に全勢力を注ぎ込んでほしい。 | 参考 | |
| 1925 | 現在コロナ感染で横浜市民は未曾有の課題を抱えている危機的な状況の中でIRを提案することよりも優先度が高いことが多いのになぜIRを推進する論理が理解できない。それを明確化してほしい。 | 参考 | |
| 1926 | 新型コロナの様な感染症が蔓延して環境条件が大きく変わっているのが明らかになっても一途にスケジュールを優先して計画の修正をされないなどの対応を見ると大丈夫かなと不安になります。 | 参考 | |
| 1927 | IR推進のための内需がないのでIR推進は過剰投資横浜市での景気対策の予算はIRなどの娯楽やインバウンド需要にシフトすべきではなく喫緊の横浜市の景気課題にシフトすべきである。IRに関しての提案を直に取り下げ別な投資対策にシフトしてほしい | 参考 | |
| 1928 | IRの推進の即時停止と景気対策へのシフト | 参考 | |
| 1929 | 国際環境トレンド変化の環境下でのIR投資はありえない。インバウンドを含むIRへの訪問者数2,000万～4,000万人/年（うち国内観光客割合：66～79%）4,500億～7,400億円/年IR区域内での消費額としている。新型コロナウイルス（COVID-19）による感染拡大による影響として、観光に対する投資は低空飛行であることは間違いない。その環境下で横浜IR推進は泥舟に無理やり投資をしながら乗るようなものである。他の優先課題に投資をすべきである。どうしても投資をしたいというならモデルを示してほしい。 | 参考 | |
| 1930 | 今年のような新型コロナのパンデミックが一旦発生すれば、事業継続は困難。本体の事業は勿論、周辺の民間事業者も軒並み倒産のリスクを被る。こんなリスクの高い観光事業に多額の税金を投資してはならない。 | 参考 | |
| 1931 | 私は横浜へのカジノ誘致には断固として反対する。コロナウイルスの影響で街全体が沈みかけている今このときに、横浜市は何を悠長に不要不急とも言えるカジノ誘致の、それも参考程度にしか扱わないバブコメの募集などしているのだろうか。 | 参考 | |
| 1932 | この資料は膨大であるだけでなく、この1か月は、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念され、読み込む余裕のない市民もいるのではないかと思います。公正公平な進め方とするためにも実施期間を延長すべきです。 | 参考 | |
| 1933 | インバウンドのためのIR事業に税金を使う前に、インバウンドに伴うリスク回避のため、例えば、横浜港に新たな感染症が発生したときに備え、税金である程度の規模の感染者用の隔離施設を備えておくべきです。 | 参考 | |
| 1934 | 今は災害対策を優先すべきなのでは。IRよりも1. COVID-19関連の終息、および感染の拡大を防ぐこと2. 今後確実に起こるであろう水害や震災などの災害対策を優先すべきなのではないか。これを、今後の横浜市政の一助としていただければ幸いです。 | 参考 | |
| 1935 | コロナウイルスの影響で反対運動が止まっている中で、このように水面下で話を進めていくのは市民の目線からしたら大変酷であると思います。横浜IRについて考えること自体も、休戦状態を要請します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1936 | 新型コロナウイルスで市民の健康や暮らしが危ない時に、I Rなどと言っている場合ではないです。 | 参考 | 本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。 日本型I Rは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。 I Rに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、I Rについても検討準備を進めていきます。 |
| 1937 | 今回のようなウイルスの流行が起こると観光客は激変してしまいます。 | 参考 | |
| 1938 | コロナの影響で大阪では事業者決定などの手続きが遅れるそうですが、横浜の日程はどうなのでしょう。誘致の推進のためには、いたずらに手続きを延期するのも良くないのではないかと思います。業務をスリム化しながら、ICT技術を活用して、効率的で効果的に進めてほしいと思います。 | 参考 | |
| 1939 | コロナウイルスが世界で猛威を奮っています。もし横浜での開業に興味を示しているI R事業者が、このコロナウイルス対応で減収したり、全力の企画提案ができない状況にあったりするならば、少しでも良い横浜I Rを実現するために、業者選定などの時期を後ろにずらしてもいいと思います。 | 参考 | |
| 1940 | I R誘致に賛成です。業者選定の手続き中の大阪市は期限を延期しました。横浜市も仮にコロナ対応のために何かの過程を延期するならば、将来的にも市民のためになったと言えるようなスケジュールリングをして欲しいです。 | 参考 | |
| 1941 | 横浜I Rは不要不急 市民の命を救え/横浜I Rの広報動画を4月1日にアップした。首都圏がコロナ蔓延状態にあつて医療危機と医療の回復に全力の時に不要不急の外出が必要なI Rになぜ時間をとっているのか？まったく理解できない。 | 参考 | |
| 1942 | コロナウイルスが世界中に蔓延しつつある中、日本だけが被害を免れるかもと何の根拠もなく期待するのは戦略不足ではないでしょうか？緊急事態に鑑み、カジノ推進予算は、取り下げて、頭を切り替え、コロナウイルス対策に、緊急に、組織的に具体的に（特別な医療体制、社会的弱者への対応、シングルマザー、一人住まいの方々への対応、特に万が一軽症感染者の一時収容仮施設建設等々）取り組み、市民を安心させてもらいたい。 | 参考 | |
| 1943 | I R推進を凍結すべきである。「横浜I R（統合型リゾート）の方向性（素案）」が立案された時点と現在とでは、地球規模で状況が一変している。コロナ禍は、疾病が克服されたとしても経済的後遺症が大きく、疾病の特質や様々な報道からしてツーリズムに対する世界の人々の意識の冷え込みは不可避で、インバウンド需要がコロナ禍前と同程度に回復する見込みは不透明である。コロナ禍前の経済効果予測等を前提とした現素案は廃案とし、コロナ禍終息後に改めて科学的な予測（市幹部等の主観的な予感・期待や事業者による根拠不明の提供予測ではなく、公正な有識者等による客観的な予測）を行い、それに基づいて新たに素案を立案すべきである。それまではI R推進を凍結し、関連予算をコロナ対策にあてる補正を行って（年度内終息時の素案再立案に必要な予算を除く）、予備費は今年度も十分起りうる異常気象等による災害対策に温存すべきである。併せて、疾病だけでなく他の災害や国家間対立等の影響を受けやすいインバウンド経済への依存について再考し、地に足のついた地道な経済発展との長期的なベストバランスを模索すべきである。 | 参考 | |
| 1944 | I R推進を凍結すべきである。「横浜I R（統合型リゾート）の方向性（素案）」が立案された時点と現在とでは、地球規模で状況が一変している。コロナ禍は、疾病が克服されたとしても経済的後遺症が大きく、疾病の特質や様々な報道からしてツーリズムに対する世界の人々の意識の冷え込みは不可避で、インバウンド需要がコロナ禍前と同程度に回復する見込みは不透明である。コロナ禍前の経済効果予測等を前提とした現素案は廃案とし、コロナ禍終息後に改めて科学的な予測（市幹部等の主観的な予感・期待や事業者による根拠不明の提供予測ではなく、公正な有識者等による客観的な予測）を行い、それに基づいて新たに素案を立案すべきである。それまではI R推進を凍結し、関連予算をコロナ対策にあてる補正を行って（年度内終息時の素案再立案に必要な予算を除く）、予備費は今年度も十分起りうる異常気象等による災害対策に温存すべきである。併せて、疾病だけでなく他の災害や国家間対立等の影響を受けやすいインバウンド経済への依存について再考し、地に足のついた地道な経済発展との長期的なベストバランスを模索すべきである。なお、現在設定されているパブリックコメント切時点では6区分の市民説明会が終了していないので、全説明会終了後まで切を延長されたい。手続き等が間に合わず一度切られたとしても、改めて追加募集されたい。丁寧な説明が完了しないままコロナ禍前に策定された国のスケジュールに合わせた拙速な推進が行われるのは、市政として本末転倒である。 | 参考 | |
| 1945 | 現在新型コロナウイルスの感染拡大への不安が横浜市内においても増大する中で、横浜市民全体の問題である、カジノ・I R誘致計画を推し進める市長の姿勢に、激しく違和感を感じる。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 1946 | 新型コロナウイルス禍がこれほど深刻化している状況下でカジノ推進は凍結して、コロナ対策を優先して取り組むべきだとは思いませんか？ざっと書きつらなただけでも、こんなにデメリット・問題があります | 参考 | <p>本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。</p> <p>日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 1947 | 新型コロナウイルス感染が拡大するなか、横浜市がなすべきことはIR誘致ではなく、市民の命と健康を守るための感染症患者のための病院の整備と、医療体制の構築です。 | 参考 | |
| 1948 | 新型コロナウイルスの感染拡大により、IR構想を支えてきた前提条件が崩れている点を考慮しますと、同構想を既定路線として位置づけ、スケジュール通りに進めることには慎重であるべきように思えます。IR構想は、いわばバブル期の過剰投資になりかねず、想定外の経済状況の激変により、負の遺産として将来に残されるリスクが高いからです。 | 参考 | |
| 1949 | 新型コロナウイルスの影響で、世界中の人々が命の危機にさらされ、経済としても莫大な損失が生まれている中で、素案通りに、期待通りに、予定通りに、この「絵」が実現するだろう、と考えるのは、あまりに浅はかで、非現実的だと思います。 | 参考 | |
| 1950 | コロナ問題で市民の目もそちらに向いていますが、そのような状況下で推進の検討がなされるとしたらそのことも問題です。市民がゆっくり考えることができるよう、当面検討は棚上げにすべきと思われる。カジノ抜きのIR事業が考えられない以上、IR事業に反対します。 | 参考 | |
| 1951 | IRは集客と収益を目的としているが、カジノを除くIR施設が早急に必要なのかどうか、即ち巨大な予算を投じて実施する社会的優先順位が高いものか、どうか十分議論する必要がある。新型コロナ肺炎惨禍のもと現況の衛生対策、保険医療の大幅な強化、経済的被害を被っているサービス業等への支援などが高い優先順位である。 | 参考 | |
| 1952 | 今は新型コロナで大変な時です。バクテのことを考えるより対策の手を打たなければなりません。 | 参考 | |
| 1953 | 今年の新型コロナの大きな問題もあり、今後のスケジュールの再検討をするべき。 | 参考 | |
| 1954 | 新型コロナ感染拡大の中で、インバウンド拡大を織り込んだIR予算をたて、粛々と進めていくことが大変心配です。せめて感染拡大が収まるまで中止してはどうでしょうか | 参考 | |
| 1955 | 今後のコロナウイルスの世界経済への悪影響が全く見えず、横浜IR（統合型リゾート）導入のリスクが高まっている中、横浜IR（統合型リゾート）導入を急ぐのは無謀です。直ちに計画を中断、もしくは（リスクの高まりをしっかりと精査し直し）中止し、横浜市もコロナウイルス対策に集中してください。 | 参考 | |
| 1956 | 大阪府と大阪府は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、誘致スケジュールを変更すると発表している。現在のような重大な状況の下で、横浜市が力を入れなければならないのは新型コロナウイルス感染拡大防止対策である。いくつかの行政区での住民説明会も延期・事実上の中止されたまま、スケジュール通りに強行すべきではない。 | 参考 | |
| 1957 | 今、新型コロナウイルス禍で、市民生活は大きな痛手を被っています。それにも関わらず市はIR誘致を着々と進めようとしています。今やるべきことは、市民をウイルスから守り、生活支援策に早急に取り組むことです。 | 参考 | |
| 1958 | 新型コロナウイルス感染が拡大するなか、横浜市がなすべきことはIR誘致ではなく、市民の命と健康を守るための感染症患者のための病院の整備と、医療体制の構築です。誘致に反対します。 | 参考 | |
| 1959 | コロナウイルスが、猛威を振るっていますが、横浜市の明確なコロナ対策の見解が聞こえてきません。一方、カジノの実現に向けて、国や大阪は、コロナウイルス対策のため、取組みを中断しているなかで、横浜だけが前のめりです。カジノの為の予算をウイルス対策にむけることが、責任ある市の取組みではないでしょうか。 | 参考 | |
| 1960 | 新型コロナウイルスの感染が広がり市民生活は不安や不安定です。IR事業計画の推進は中止し新型コロナ対策に取り組んでください。 | 参考 | |
| 1961 | カジノ付きIR事業について立ち止まって考え、まずは市民の命と暮らしが守られるよう、新型コロナウイルスの対策に最善をつくしてください。 | 参考 | |
| 1962 | 感染症対策の医療体制を充実させたり、経済的に大変な人々への支援策を練ったり、学校がお休みで起こる様々な問題に対処することに全てのエネルギーを注ぐべき時ではありませんか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1963 | カジノのような、これだけ賛否が分かれ、問題点がある政策を、各区の説明会も終わっていないのに、人々がコロナの心配でカジノについて考えたりする余裕もない時期にどんどん進めることは異常で、卑怯ではないでしょうか。 | 参考 | <p>本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。</p> <p>日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 1964 | コロナの問題がこれだけ緊急の対策を必要としている状況で横浜市がカジノについてのみはまるで何事もなかったように推進していることに心から怒りを感じていることをお伝えしたいとおもいます。 | 参考 | |
| 1965 | 何より今は、新型コロナウイルス対策に全力を注ぐべきですが、横浜市は「国のスケジュールが変わらないため」と言って、カジノ・IR事業を粛々と進めています。民意をまったく無視した姿勢です。 | 参考 | |
| 1966 | 市民の合意を得られていないカジノ・IR事業は一旦中止し、IR推進室の39人はコロナ対策のために全力を尽くしてください。 | 参考 | |
| 1967 | 子どもたちの未来のためにも、カジノ誘致や事業推進には反対。カジノ・IR推進事業は中止し、コロナ対策に全力を注ぐべき。 | 参考 | |
| 1968 | 何より今は、新型コロナウイルス対策に全力を注ぐべきですが、横浜市は「国のスケジュールが変わらないため」と言って、カジノ・IR事業を粛々と進めています。民意をまったく無視した姿勢です。 | 参考 | |
| 1969 | 市民の合意を得られていないカジノ・IR事業は一旦中止し、IR推進室の39人はコロナ対策のために全力を尽くしてください。 | 参考 | |
| 1970 | 今新型コロナウイルス対策に全力を注ぐべきで、大阪も断念している。横浜市だけ粛々と進めている姿を客観視して、立ち止まるべき。 | 参考 | |
| 1971 | 子どもたちの未来のためにも、カジノ誘致や事業推進には反対。カジノ・IR推進事業は中止し、コロナ対策に全力を注ぐべき。 | 参考 | |
| 1972 | 市民の多くが反対しています。企業は賛成かもしれませんが、市民の意見を聞くことなく、現在最も行政として対応しなくてはならないコロナへの対応も全くしていません。今、リーダーシップを取って市長がやるべきことはまずは市内の感染を防ぎ、医療を充実させる事ではないでしょうか。コールや住民投票によることなく、市政として、市民に有益な判断をしてくださるよう望みます。 | 参考 | |
| 1973 | カジノIRは横浜にも、何処にもいらない。絶対反対です！今は新型コロナウイルスという未知の脅威への対策に、市民と共に全力を傾けなければならない困難な時です。 | 参考 | |
| 1974 | コロナウイルスが感染拡大している最中、IRを強引に押し進めようとしている姿勢に怒りしかありません。縦割りで部署が違う、というのが理由かもしれませんがこんな大きな事業をコロナウイルスに市民の関心が集まっているその時期を利用するかのように市民の理解を得ずに進めるとは何事でしょうか。まずは一旦、止めてコロナウイルスの対策に部署は問わず、全員大勢で専念するべきです。 | 参考 | |
| 1975 | IRの必要性についてですが、現在のコロナウイルス等の状況を考えるとタイミング的に適切ではない | 参考 | |
| 1976 | 目の前の危機を直視せず、世界コロナ恐慌の真ただ中に、インバウンド集客のデメリットにはダンマリを貫き、カジノ・IR誘致に突き進むのは時を逸していると思います。横浜市が最優先で取り組むべきことは、コロナウイルス感染拡大の防止はもとより、市民生活の安全・安心のために力を尽くすことです、カジノ・IR事業の推進ではありません。 | 参考 | |
| 1977 | 今は新型コロナウイルスによる感染症に対処すべきであって、市民の声を聞く時期ではない。もっと根本から市の行く末を市民と共に考える体制を整え、納得を得て進めるべきだ。市民の生死が脅かされそうな危機に、慌てて意見を聞くことが良いわけではない。 | 参考 | |
| 1978 | 今のコロナウイルスでは真剣に考えてコメント出来ません。せめて状況が落ち着くまでの延長を望みます。 | 参考 | |
| 1979 | 現在、新型コロナウイルスが世界的な猛威を振るい、日本もそして横浜市でも市民の命と生活を守ることが求められているとき、カジノを含むIRの誘致に向けて強引に手続きを進めることは中断すべきです。中止した6か所の市民説明会も行っていない中で今回のパブリックコメント自身延期すべきだし、今後予定される運営業者の募集も延期すべきです。 | 参考 | |
| 1980 | NO！カジノ！NO！カジノ！市民の税金は、市民のために！カジノ予算は、コロナで困窮する中小企業や飲食業の方々に！！後世に汚点を残す悪政！カジノ計画は即刻撤回せよ！！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 1981 | IR反対新型コロナ感染症が、これだけ拡大して対応が迫られる中、IRに取り組む余裕があるのでしょうか。新型コロナへの対応をまずは最優先していただきたい。隣の川崎市在住ですが、横浜が医療崩壊したら、影響は大きすぎて、川崎もパニックになります。今することは、カジノの計画を進めることではないはずです。市民の命を守ることを最優先してください。 | 参考 | 本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。 日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。 IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。 |
| 1982 | この新型コロナウイルスによって、不要不急の産業の惨状が明白となり、先の見通しもきわめて不確実な状況のもとで、インバウンド・カジノを収益源とするIR計画を「粛々」と進める必然性はあるのでしょうか。 | 参考 | |
| 1983 | 今の状況下で行政が取り組むべきは、ウイルス感染拡大の防止策であり、感染拡大が社会・経済に及ぼす影響への対策です。横浜市は日本最大の基礎自治体として、今必要とされる市民の暮らしを支えることに全力をあげることが必要ではないでしょうか。IRの推進については立ち止まり、新型コロナウイルス感染拡大防止への対応を優先することを求めます。 | 参考 | |
| 1984 | 新型コロナの影響で、残った説明会が開けないでいます。にもかかわらず、準備を進めると聞いています。準備はコロナが終息するまで、延期すべきです。 | 参考 | |
| 1985 | 横浜IR反対?『総合型リゾート』は要りませんか?『横浜型リゾート』がもうすでにあるではないですか。それを大事にしたいと思っています。どうかカジノ等は白紙にしてください、新型肺炎対策に集中していただきたいと存じます。IRは必要ないものです。横浜に今いる市民を大事に一番に考えていただきたいと思っています。今、このタイミングでのIR、まさかとは思いますが、絶対に進めることなどありませんように、白紙にしてくださいますように、重ねてお願いいたします。 | 参考 | |
| 1986 | カジノ誘致に反対します。美しい港町のある横浜、文化のかおり高い横浜にカジノはいりません。子どもたちの未来のためにも、カジノはいりません。今、横浜市はコロナ対策こそ最優先に行い、カジノ誘致は直ちに凍結して下さい。 | 参考 | |
| 1987 | 今この時期にまでカジノの予算はきっちりたて感染症のことは二の次とかありえません。市民を犠牲にして何がやりたいのですか?感染症で苦しみ経済も市政も魅力もなくしてしまったらカジノどころではないと気づいて感染症対策に真剣に取り組んでくださいもう瀬戸際はすぎます、国のやり方だけでなく神奈川県と一体になって早く早く市民の生活に寄って下さいカジノが出来ても人が来ない未来に気づいて下さい。カジノはいりません! | 参考 | |
| 1988 | 横浜カジノIR誘致に反対です。なぜなら、市民の生活が良くなるイメージが全くないからです。コロナウイルスも未だおさまる様子が無い中、この計画を進めている事自体、信じられません。 | 参考 | |
| 1989 | どうか今はコロナ収束に力を注ぎ、市民の幸せの為に行政はあるという基本に立ち返って頂きたいです。 | 参考 | |
| 1990 | 市長は18の区で説明会を行なうと言っていました。でもすべての区で説明会が終わっているわけではありません。説明会ができないのはコロナウイルスの感染拡大ですからできないのは仕方ないとしても、すべての区で説明会が終わらないうちに、しかも市民が納得していないのにもかかわらず、予算を通すなど本当に横暴と言わざるを得ません。 | 参考 | |
| 1991 | コロナ問題で経済的に先の見えない時期に強引にこのような計画を進めることは許せない。 | 参考 | |
| 1992 | カジノは絶対にいけない。新型コロナウイルスパンデミックを考えれば分かるように、命と健康を大切に街を創るべき。この計画を破棄せよ。 | 参考 | |
| 1993 | コロナ禍で先行きの見えない状況があり、経済成長が止まり、多くの市税を投入しなくてはならなくなるかも知れない。こんな時に、IRの開発ではなく、一旦凍結すべきである。市長は、英断を持ってカジノを含むIRの開発を凍結すべきである。 | 参考 | |
| 1994 | 99ページのスケジュールですが、「99・国の基本方針等を踏まえて横浜IRの実施方針を策定し公表します。▶令和2(2020)年度前半」と書かれています。従って、遅くとも2020年9月末までに実施方針が公表されると理解しました。しかし、国のみならず横浜市においても新型コロナウイルスへの対応で忙殺されており、かつ終息の見込みが立たない現状ではこのスケジュールは実現困難だと推測します。計画を見直す必要があるのではないのでしょうか? | 参考 | |
| 1995 | 現在新型コロナウイルスの脅威により市民が不安を感じている中、尚IR推進の手続きを進めるのはいかがなものかと思えます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 1996 | 横浜市は今新型コロナウイルスの対策に専念していただきたいです。横浜はカジノがなくても他に素晴らしいことがたくさんあると思います。そんな無駄なことにお金や人手、時間を使うのであればこの新型コロナウイルスの恐怖で不安を感じている市民のために働いて欲しいと思います。 | 参考 | <p>本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。</p> <p>日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 1997 | コロナが収束してカジノが本当に横浜に必要なかどうか全ての市民にきちんと説明する。それが人としての順序です。 | 参考 | |
| 1998 | カジノ誘致にかかっている費用を、新型コロナ感染の対策に、そして、終息後は、市民が誇れる街づくりや人づくりに使ってください。これから起こるであろう災害のために、知恵を使ってください。 | 参考 | |
| 1999 | 現在世界レベルでコロナで日常生活が脅かされ、業態によっては倒産の危機にある、そんな情勢の中でこのパブリックコメント募集を4月6日締め切りで行っていることは行政としてやり方が間違っていないだろうか？計画をそのようにたてていたかもしれないが、今本件を市民に問う場合ではなく、市民の生命を守ることに全力を傾けていただく時間ではないか？市民もみな一丸となって感染しないように感染源にならないように様々な苦勞をしているそんな今である。 | 参考 | |
| 2000 | 申請の締め切りについて少なくともコロナが収束してから一定期間の猶予を設けるよう国に働きかけるべきではないですか？ | 参考 | |
| 2001 | コロナウイルスがいつ収束するか分からない中で、来日する外国人が見込めるかも分かりません。反対です | 参考 | |
| 2002 | また、現在は世界的にコロナウイルスの事で混乱しつつあり、関心のほとんどがコロナ問題にあります。そんな中、パブリックコメントの期限を延長しないのはおかしいと思います。 | 参考 | |
| 2003 | 横浜市が市民の声を参考にしてIR計画を進めるのであれば、コロナ問題が落ち着いた後、既に公開している素案、動画を全横浜市民に知ってもらえる様な宣伝を行い、改めてパブリックコメントを実施していただけますようお願い申し上げます。IR誘致に反対です。 | 参考 | |
| 2004 | パブコメの締め切りは延長すべきだと思います。 | 参考 | |
| 2005 | 「なぜ今？」という疑問ばかりです。人口の割合などのグラフがありましたが、コロナが流行している今そして、そのウイルスが老若男女に牙を向いている今一年後にはそのグラフが使えないほどに人口の割合が変わっているかもしれません。 | 参考 | |
| 2006 | 今市民の最大の懸念はコロナ問題です。 | 参考 | |
| 2007 | カジノの誘致は反対です。そもそも、コロナウイルスへの対策さえまともにできていない今、横浜IR（統合型リゾート）の方向性などを取りまとめている場合でしょうか？どさくさに紛れて話を進めるあたり、火事場泥棒のようで不快です。コロナウイルスが治まるまで、議論は保留し、待つべきです。 | 参考 | |
| 2008 | IR（カジノ）は、経済対策として間違っています。ただちに誘致を中止して、目下の最大の問題である新型コロナ危機の対策に全力をあげてください。 | 参考 | |
| 2009 | 今、新型コロナで国中大変な時に、なぜこんな意見募集など出来るのか？期限を先送りすることも許さないのか？意見を募集するのであれば、若い人にもお年寄りにも解りやすく、募集を募りやすい環境でお知らせしてほしい。市民の意見は大切です。そして大切な案件なのだからこそ、よけいに解りやすく。そして市民の意見を聞きましょうよ。横浜市民の事を考えて！横浜市民の気持ちに耳を傾けて！私は賭博が反対です。絶対に反対です。 | 参考 | |
| 2010 | 新型コロナウイルス被害終息後の状況が合理的に予測できるようになるまでは、本計画を少なくとも凍結すべきである。 | 参考 | |
| 2011 | いま、コロナウイルスへの対応に専念が必要。元の状態に戻っても、IRどころではないはず。現実を見てください。横浜にIRはいりません | 参考 | |
| 2012 | 私は横浜IRに反対です。コロナウイルス対策に注力すべき時期だと思いません。 | 参考 | |
| 2013 | 今やるべき事は新型コロナウイルス感染拡大防止と、疲弊している市民への支援を実施する事。新型コロナウイルス感染が終息するまではIRの議論は一旦中断する事です。 | 参考 | |
| 2014 | いま、コロナが猛威をふるっているときにカジノどうしようは、おかしいでしょ！全世界が一致して、コロナ対策をやらないといけないときに、何よりもコロナ対策が先でしょ！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2015 | I Rを進めることは、不要不急ですか？新型コロナウイルスの感染拡大が日々深刻度を増し、緊急事態宣言の発令が目前になっているにもかかわらず、横浜市は立ち止まることもなく、I R推進に力を注いでおられる。今は、コロナ対策に全身全霊で取り組んでください。市民の命を守る自治体の責務を果たしていただきますよう、伏してお願い申し上げます。 | 参考 | 本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。 日本型I Rは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。 I Rに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、I Rについても検討準備を進めていきます。 |
| 2016 | カジノ誘致に反対します。新型コロナウイルス感染に関し、いま、強引にカジノ誘致を推進させようとしても、イメージが悪いだけです。また、もしカジノなしでは収支が成り立たないのであれば、I R誘致自体に実質的な価値はなく、断念すべきです。 | 参考 | |
| 2017 | 今は新型コロナウイルスの事で、カジノどころではありません。 | 参考 | |
| 2018 | COVID-19の影響もあり、P. 99に示された横浜市のスケジュールに変更が生じる可能性があるかと思いますが、国のスケジュールがこのままの場合、横浜市としてはスケジュールをどのように考えるか、（全体後ろだし、RFPなどの期間短縮など）教えてください。 | 参考 | |
| 2019 | コロナウイルスの影響による世界経済への影響を考えれば、国内外からの事業応募者が実現性のある提案をできるとは考え難い。もし、このままのスケジュールで進めた場合、事業者の辞退が増え、優れた提案がなされない可能性もある。スケジュールを見直すべきである。 | 参考 | |
| 2020 | I Rについては、COVID19が収まってからにしてください。 | 参考 | |
| 2021 | 新型コロナウイルスが蔓延し、緊急事態宣言発令されるようなこのような時期におけるパブリックコメントは、時期を見直して再実施すべきです。 | 参考 | |
| 2022 | この時期のパブリックコメントについて申し上げます。明日（4月7日）にも政府は新型コロナウイルスに対処するため緊急事態宣言発令とうわさされているこんな時期に、このパブリックコメントが実施されています。東京・横浜界限ではパブリックコメントどころではない状況です。I R整備計画は横浜市にとってまさに100年の計。皆が落ち着いて将来のことについて考えていける時期に、きちんとやり直すべきです。 | 参考 | |
| 2023 | 全世界的課題となっている『新型感染症』、その蔓延は将来に亘っての経済的予測を基にかかると構想のような案件はその妥当性、実現性を根本的に見直す必要があると考えている。その中には政府が進める『観光立国政策』のあり方も含まれる。との観点から、現行の関連法律上の制約から構想計画等の検討が進められているが、構想内容の全面的見直しが必要と考える。 | 参考 | |
| 2024 | 将来に亘る市運営上、経済面から企業等誘致の必要性を否定しないが、『文化都市構想』が適切と考えており、その意味から『カジノ施設』設置計画には首肯出来ない。『新型感染症』対策が最優先の課題である今、『既定』であるかの如き取り進めには賛同出来ず、強く抗議するものである。 | 参考 | |
| 2025 | 私の意見はI Rに反対です。喫緊に実行すべきことがある。新型コロナウイルスに対策です。 | 参考 | |
| 2026 | カジノ>新型コロナウイルス対策。 | 参考 | |
| 2027 | 今回のカジノ誘致は反対です。市長は市民が反対しても話は進めるとしていますが、今コロナ対策の方が先ではないでしょうか？ | 参考 | |
| 2028 | なぜ、このような状況で、カジノを推し進めるのでしょうか。 | 参考 | |
| 2029 | このコロナの脅威の中、市民はいかに感染しないか、させないかに必死で、それ以外の問題に使う気力を失っている今、集団感染を避けるため、集会もままならぬ今（それでも果敢に、動く方々には、ほんとうに頭が下がります）なぜ、強行するのでしょうか。 | 参考 | |
| 2030 | コロナが収まってからにしてください。カジノには、そしてカジノを含むI Rには、断固反対です。 | 参考 | |
| 2031 | 横浜市に、脆弱な部分のあることは新型コロナウイルス感染症で露呈しました。その整備が優先すると思います。 | 参考 | |
| 2032 | COVID-19により経済的な打撃を受けた市民に対する補填や、医療従事者・医療施設への支援が先ではないのか。 | 参考 | |
| 2033 | 現在、誰もが新型コロナウイルスへの対応で精一杯です。市民の意見を募集するにはタイミングが悪すぎます。もっと市民が落ち着いて考えられるタイミングを考えてください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2034 | コロナ対策二の次で、カジノ日程優先は許せない | 参考 | <p>本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。</p> <p>日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 2035 | IR誘致に向けている力をコロナ対策に充ててください。IRは急いで進めなくてもよいと思います。今は、コロナ対策を最優先し、検査の拡充・医療体制の構築、経済支援など、誰もが安心できるようにしてください。 | 参考 | |
| 2036 | 今、必要な、新型コロナウイルス感染拡大防止を優先した政策を進めてください。 | 参考 | |
| 2037 | 一丸となってコロナの収束に全身全霊をかけて臨んでください。 | 参考 | |
| 2038 | IRよりもコロナ対策に力を注いでください。 | 参考 | |
| 2039 | 新型コロナの感染により、市民は今パブリックコメントどころではありません。全区での説明会も終了しないうちの締め切りはおかしいです。コメント締め切りを延長してください。 | 参考 | |
| 2040 | コロナ対策をおざなりにして、この件に力を注ぐ市長の元では行って欲しくないです。 | 参考 | |
| 2041 | コロナウイルスで自粛要請がなされている中でIRの話を進めるのは卑怯です。今はコロナのことで時間を割くべきでIRの話は先送りにするべきです。 | 参考 | |
| 2042 | カジノを含む統合型リゾート施設（IR）の推進については立ち止まり新型コロナウイルス感染拡大への対応を優先することを求めます。今必要とされる市民の暮らしを支えることに全力をあげることを要望し、IRの推進については立ち止まり、新型コロナウイルス感染拡大防止ならびに市民の命を守ることへの対応を優先することを求めます。 | 参考 | |
| 2043 | なぜカジノIR事業の推進をやめないのですか？コロナ感染拡大の防止に注力し、横浜市民の安心・安全のために、IRカジノの推進は中止すべきです。 | 参考 | |
| 2044 | この新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、IR誘致を進めるべきではないと思う。市民が不安を感じている時に行政は安心感を与えるべきだと思うが、IR誘致は不安しか与えない。ギャンブル依存症も対策が必要だが、精神の健康より、まずは身体の健康を維持することが重要だと思う。IR誘致には反対だが、少なくとも、今は止まるべきだと思う。 | 参考 | |
| 2045 | 今のこのご時世でIRを進めてる場合ですか？まだ説明会も開けていないところもありますよね？是非、新型コロナウイルス対策に専念をしていただいて一度事業計画を延期した方がよいと思います。 | 参考 | |
| 2046 | いまコロナウイルスの感染拡大により、世界の人の動きは止まり、経済状況は大きく落ち込んでいます。今後も感染症リスクの発生は考えられ、インバウンドをあてにする横浜IRには大きなリスクがあり、実行した場合、負の遺産になる可能性もあります。横浜IRの検討段階とは世界情勢が大きく変わっていますので、横浜IRの検討は停止し、コロナ対策に全力を挙げるべきです。 | 参考 | |
| 2047 | 現在新型コロナウイルス感染の現状を見ている今年中にIR推進をおこなう時期でないことは明白です。 | 参考 | |
| 2048 | 今回のカジノを含むIR計画には反対です。是非、中止してください。少なくとも、これだけ、新型コロナウイルスの対策が重要な局面を迎えているなかで、カジノ含む横浜IRを進めるため、パブコメを実施していますが、いったん立ち止まって半年以上進行を遅らせることを要望します。 | 参考 | |
| 2049 | カジノは不要です。また、新型コロナウイルスによる社会状況悪化により尚更不要な施設です。 | 参考 | |
| 2050 | 元々カジノなど必要ありませんが、この期に及んでなんてことしてるんですかね？国民の命はどうでもいいんですね。カジノはやめてください。何十年後、また日本が裕福になってからやればいい。今ではない | 参考 | |
| 2051 | 事業計画の見直しや場合によっては中断などの判断が必要となる可能性もあります。（例：新型コロナウイルス感染症拡大）見直しや中断はどのように意思決定されるのか、少なくとも、プロセスは開示すべきと考えます。 | 参考 | |
| 2052 | コロナ対策に集中しているさなかに、4/6でパブリックコメントも打ちきりですか。まだ、説明会すら行われていない区もあるのに。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2053 | 私はカジノを含むIRに反対です。素案には、新型コロナウイルスの対応が落ち着くまでは、カジノを含むIRの誘致を停止すると記載してください。カジノより感染拡大の防止、患者への対応が優先です。 | 参考 | <p>本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、感染拡大防止策と医療提供体制の整備のほか、市民生活、企業・事業活動をお支えする取組等を全力で行っています。</p> <p>日本型IRは、観光の振興、地域経済の振興等に寄与する事業であり、人口減少、超高齢社会の進展、経済活力の低下など、横浜の将来的な課題に向けて、2020年代後半の実現を目指して進める必要があると考えています。</p> <p>IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだうえで、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 2054 | 明日にも緊急事態宣言が出るというところ。IRに向けて着々と進めていくのではなく、今は市民の命を守るべきだ。命を守る施策も出来ないのに、IRの施策は進めるのか。 | 参考 | |
| 2055 | 横浜にIRを設立するのをストップしてください。そもそも今新型コロナウイルスで市民の生活が危ういのによく水面下で進められますね？美しく、誰かの思い出として、だれかの故郷として今日も在り続ける素晴らしい街です。そんな街をカジノで壊すなよ。横浜市の未来を守ってください。 | 参考 | |
| 2056 | カジノありきのIRは、推進すべきではないと考えます。また、新型コロナウイルス感染でオリンピックも延期になる中でパブリックコメントの募集には驚きました。締め切り日の延長も無し。ああ、横浜市は行政の最優先すべき市民の生活や命よりもカジノ優先ということがわかりました。 | 参考 | |
| 2057 | 今、新型コロナウイルスで、人々の動きも大きく封じられつつあります。憲法や地方自治法で保障された住民条例やリコール請求が、この新型コロナウイルスによって物理的な制約を受けつつあります。この制約を受ける間は、横浜市はIRの推進をストップし、新型コロナウイルス対策に専念すべきことを求めます。 | 参考 | |
| 2058 | 新型コロナウイルス感染が拡大するなか、横浜市がすべきことはIR誘致ではなく、市民の命と健康を守るための感染症患者のための病院の整備と医療体制の構築です。 | 参考 | |
| 2059 | 当面は新型コロナ対策に注力すべき。医療対策など全く横浜市の政策がみえない 県の対策もまだ完全に確立していないのだが横浜市の人口の多いところでは一体どう対応していこうとしているのか是非、是非知りたい！！マスク アルコールなど物の支援も急いで下さい | 参考 | |
| 2060 | 今はカジノよりコロナ対策を市としてきちんと出すべきです | 参考 | |
| 2061 | コロナウイルスの影響で、オリンピックも、先送り、IR事業も、しかり。 | 参考 | |
| 2062 | 今回、新型コロナウイルスの発生で、観光客などカジノで期待する収入源が得られなかった時の対策など含めて、カジノを造っても思うように税収は見込めないと考えられ、止める方が賢明だと感じました。 | 参考 | |
| 2063 | 今回のような感染症等の流行があれば、たちまち行き詰まり、失業や膨大な無駄や損失が発生することは素人にもわかります。よってIRの誘致には反対します。 | 参考 | |
| 2064 | 現在の外国観光客めあてのお陰で、ひとたび伝染病さわぎ…コロナ…が起きて、あてにしていた業税が打撃を受けている、現状！ | 参考 | |
| 2065 | 今回のコロナウイルスの影響を考えても外国の方頼みの政策は失敗すると思います。 | 参考 | |
| 2066 | 今回発生しております新型コロナウイルスの状況で世界が又外国人がいとも簡単に往来が出来ることの恐しさを知らされました。一度収束のつかない事への不安をつくづく（新型コロナウイルス）身をもって思い知り封じ込めに見通しがたない現在IRに反対です。 | 参考 | |
| 2067 | カジノは反対です。今回の様に観光客や集合やせまい所での人が集まってはいけない等活動が出来ない時は収入が減って赤字になってしまいます。 | 参考 | |
| 2068 | コロナで外国人観光客が激減している。外国人観光客頼みの政策で市の財政を支えようというのはあまりにもリスクが高い。感染症や自然災害などのリスクもふまえ、外国人や観光客に頼らなくても大丈夫な財政政策を講じてほしい | 参考 | |
| 2069 | 横浜市は導入理由を人口減少による市財政の困窮を挙げているが、施設の運営は民間事業者であり横浜市への納付金の額も事業者の経営状況に大きく左右されるため、現時点で横浜市の財源確保にどのぐらい寄与するか等具体的な検討は困難であり、むしろ事業者が撤退した場合の経済的リスクを考慮すると、本施設導入の合理性は認められない。 | 参考 | |
| 2070 | 今回のコロナで観光、特に外国人に頼るのは危険というのがよく分かりました。自然災害も人為災害もよく起こります。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2071 | 昨今の中国発コロナ禍に見るように、インバウンド需要に頼る財政計画を、今、立ててはいけない！！中国発コロナ禍から学べ！！ということをお訴えたい。 | 参考 | <p>世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。</p> <p>長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞</p> <p>横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。</p> |
| 2072 | 賛成です。コロナ収束後の日本のゲートウェイになって下さい。 | 参考 | |
| 2073 | 現在のように世界的パンデミックが起こると、外国からの客が来なくなる。 | 参考 | |
| 2074 | 新型コロナウイルスによって、大変な不況になると思います。特に観光産業には大打撃です。落ち込んだ観光産業を盛り上げるのが、IRだと思います。是非、横浜でIRを実現して、コロナ不況を打破してほしいと思います。 | 参考 | |
| 2075 | 新型コロナ、パンデミック…カジノは閉鎖、今後も海外旅行、クルーズ船は減じます。 | 参考 | |
| 2076 | 新型コロナウイルスが経済に与える大きなダメージは今後多くの人に貧困との闘いを強いることになるだろう。グローバリゼーションの負の側面についても世界中の人が考えなければならない。 | 参考 | |
| 2077 | インバウンドを期待しているが、今起こっている新型コロナウイルスの様な状況になれば、訪問者数など見込めない。 | 参考 | |
| 2078 | 地域経済の振興の年6300億～1兆円の経済効果も希望的見込みにすぎません。まず今の新型コロナウイルスのようなことが起これない、集客は望めません。何年後？に、横浜市が大きな負債を負って、孫やその子の未来に禍根を残すことになりかねないと、とても心配です。 | 参考 | |
| 2079 | コロナウィルスで世界経済が低滞しています。こういう時だからこそ、将来への投資が必要。シンガポールもリーマンショック、サースで雇用が落ち込んだがIRで経済を回復させています。 | 参考 | |
| 2080 | カジノ付きIR招致により、インバウンドによる財政の増収を見込んでいるようですがコロナウィルス感染により外国観光客は激減し、増収どころか投資した金額が回収できず、財政を逼迫する可能性があります。IRを招致するにしてもカジノ抜きでお願いします | 参考 | |
| 2081 | 今回のIRリゾート計画は横浜市の近未来を見据えてのご提案と思います。今回のコロナ騒動の直中においては大規模でグローバルがもたらす危険性を嫌という程知らされています。カジノを誘致し、その収益によって賄うと言うのは、もってのほかです。カジノを止め、自らで、業者まかせでなく管理できる範囲に留めておくべきです。 | 参考 | |
| 2082 | 3密＝カジノ 疫災で世界が一変したこの状況の中、IRを推進する意味が全く分からない。 | 参考 | |
| 2083 | 今回のコロナのような事が起ったら書いてあるような海外から人は来ません。対策を立てなければ作れないようなものは最初から作らない事です。書いてあるようには行かなかつたら責任は？ | 参考 | |
| 2084 | 。日本、世界の現状を觀ても、経済は悪化していくと思われる。よって、観光に力を入れるより、現在のままでよい。 | 参考 | |
| 2085 | この素案には将来計画が全く欠落している。30年後にここがだれも来ないカジノとなりゴーストタウンとなっているかも知れないのですよ。大地震が絶対来ないとだれが云えるのですか。「目先の金もうけ」しか考えていないIRは成功するはずがありません！IRに明確に反対します。 | 参考 | |
| 2086 | 経験したことのない今の状況を脱したあとも、またいつ同じことが起こるか分からない。日本も他国も社会のシステムそのものが変容するのは間違いないと思われます。今こそ、IR構想自体、白紙に戻し、熟考（再考）すべきです。後世に誇りをもって残せるものを、望みます。 | 参考 | |
| 2087 | 今回のコロナウィルス同様の感染症大発生や有害動物、昆虫上陸の対処法やその時の収支上の問題点も明確にして欲しい（通年営業の場合の半年・1年間全く稼働無し） | 参考 | |
| 2088 | MICE自体にしても現在有効に機能している施設がありながら一極集中的なMICEを建設すれば国内・海外からの訪問者、観光客が著増し、その経済効果は多大であるとする予想は楽観的に過ぎ横浜IRは市の置かれた現実（地理的条件、近隣都市との競合等）を顧り見ない●望的願望で我が国の少子高齢化の進行、日本及び世界経済の低成長化（最近の新型コロナ問題の発生で深刻な成長鈍化が懸念される）を考えるならばこのIRプラン自体も大幅な見直しが必要と思う。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2089 | 現在新型コロナウイルスによる、世界的感染拡大の最中ですが、このような事態や様々な災害、戦争などが起きたときどのように対応するのですか。今回の感染拡大ですでに外国人観光客は激減、日本人観光客も同様で、観光業は壊滅状態です。横浜市が市の財源をカジノに依存するならば、今年度の収入はゼロで、それでも事業者に借入金や維持費を払うので、赤字ですよ。 | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきました。 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2090 | いずれ又何が起こるか判らない世の中でコロナウイイルの様な事が発生するか判断出来ない事の準備を今から考えるべきだ。 | 参考 | |
| 2091 | 新型コロナウイルスで、マカオやラスベガスのIRのカジノが閉鎖されていると報道されている。今、公募しても、事業者の資金繰りが悪化して良い提案を引き出せないのでは。景気が回復してから募集した方が将来の横浜の観光にプラスになるリゾートをつくれるのではないか。 | 参考 | |
| 2092 | 新型コロナウイルス感染問題は今後も起こりうる。巨大自然災害等も生じると思う。そうなれば、国内外での必要物質入手困難、長期間入出国閉鎖、訪問者数は激減する。今までのやり方、考え方は通用しなくなり、変換が求められる。これへの対応はどうでしょうか？ | 参考 | |
| 2093 | IRにカジノトバク場を作るのは大反対です。新型コロナウイルスで被害を被っている人々、南海トラフ等の自然災害、富士山の大规模降灰での横浜市の被害も明らかにされた今、こういう備えの為に過ぎる市税を使うべきではないでしょうか。カジノに使う市税などありません。 | 参考 | |
| 2094 | 世界は新型コロナウイルスの急激な感染拡大で世界的危機にある。世界中、封じ込めに向け各国の対応が問われている。近年では例を見ない感染力を持つ未知のウイルスと人類の「戦争」は続く。去年までのように、日本にも横浜にも世界から観光客がやってくるという見込みはない。全く違う世界に変化した。もはや「横浜を世界から選ばれる目的地へ」は成り立たなくなったのである。即刻、去年まで計画した中身を見直す必要がある。英知をかけて、練り直した。 | 参考 | |
| 2095 | カジノ誘致反対です！！多くの国から集まる、IRは、今度のコロナウイルス騒ぎでもわかるように一度感染が流行すると、閉鎖しなくてはなりません。その場合の損益は、市民の税金で、まかなわれる事となります。未知のウイルス、変異ウイルスが又、流行しないとかがきりません。 | 参考 | |
| 2096 | 市長はインバウンドを取り込むと言うが現在の新型コロナウイルスによりインバウンド需要そのものの見通しが立たなくなっている。前提条件が全く変わっているのであり、一から見直すべきである。 | 参考 | |
| 2097 | 今回の新型コロナウイルスの感染拡大で、海外からの観光客にたよる、観光産業による経済政策のあやうさが明らかになりました。 | 参考 | |
| 2098 | 今回の「横浜IR」の中身は「カジノ」をはっきりと位置づけています。海外からのお客をアテにしたギャンブル施設づくりです。感染症をさき、ギャンブル依存症を拡大する、カジノ推進はやめて下さい。 | 参考 | |
| 2099 | 新型コロナウイルスが横浜にいや日本に又世界各国に、もたらしている現状を貴女は目の当たりにしていないのですか？反対です | 参考 | |
| 2100 | 今回のコロナのことでインバウンド神話は崩れました。 | 参考 | |
| 2101 | 災害対策を取られるということですが、この災害大国日本において、南海トラフ地震や富士山の噴火等の想定外どころか想像を超える巨大災害、又は現在のコロナ禍のような世界規模の災害が起きた時、税収が数年において滞るのはいたしかたないにしても、その間の海外の投資家への配当は地方自治体（つまり損害賠償を横浜市民）が担うのだろうか、と心配してしまいます。誘致が成功し、IRが動きだし、その後、もしそれが失敗、又は思った程の効果がなかった時のリスクマネジメントはどうなっているのかも、市民に広く説明すべきなのではと考えます。 | 参考 | |
| 2102 | カジノ実現したら日本は、ほろびる、崩壊する。世界中の客が相手というが、今回の新型ウイルス（コロナ）感染で予兆しているように、税収狙い以前の問題が多すぎる。 | 参考 | |
| 2103 | 世間は新型コロナ肺炎の感染が広がって世界中の国々にも広がって、オリンピックの開催もどうなるのか心配される状況下、カジノは要りません。将来的にもです。カジノを作るよりは、感染で影響を受けた人達をまず救済しなくてはならないと思います。 | 参考 | |
| 2104 | 現在コロナウイルスが流行している現在、このウイルスは長期に渡り存在する可能性があります、カジノを考えている事自体やめましょう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2105 | ＩＲ事業で観光客を海外からよびこめるとしていますが、ＩＲ事業で赤字が出た時の行政側の財政的負担を市民に示せずに、ＩＲ誘致を進めないで下さい。 | 参考 | <p>世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。</p> <p>長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのＩＲ施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜ＩＲにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性 P.24＞</p> <p>横浜でのＩＲも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。</p> |
| 2106 | 今、コロナウイルスが全世界で流行する中、経済だけを優先するのではなく、市民の健康・生活を守るためにも中止を決断すべきです。 | 参考 | |
| 2107 | 今回のコロナウイルスの集団感染になるようなカジノの建設は、横浜を、日本を危険にさらすと思います。子供達が1ヶ月も休校になるような異様な状況にもう二度とならないように考えなおして、建設をやめて下さい。 | 参考 | |
| 2108 | 今大さわぎになっている中国から発症した新型コロナウイルスによって、横浜中華街に中国の方々が出来なくなり町もホテル、その他諸々業種の方が悲鳴を上げている現状、今こそＩＲ構想特にカジノは設置すべきではないと思います | 参考 | |
| 2109 | 今回の新型コロナのような問題が発生したときには、外国人がこなくなり、経営危機に陥る危険性がある。 | 参考 | |
| 2110 | インバウンドの需要をあてこみそこからあかる税金（15%?）を、地方自治体はあてこんでいるが、今回の感染症の問題などが発生すれば全てが吹き飛んでしまいます。社会を疲弊されるＩＲは断固反対します。 | 参考 | |
| 2111 | 今回のコロナウイルス流行でも分かるように、「こうなる予定だ」と決めつけていいのだろうか、市長はもっと考えて欲しい。 | 参考 | |
| 2112 | 全世界的に大流行しているコロナの様な感染症がこれから先も起こらないとは限りません。その時、人々の移動も経済活動も制限され、町から人々の姿は消え失せ、現在の様な状態に落ち込んだ時に、収益など見込めるはずがありません。パンデミックは、ＩＲカジノ構想を今一度考え直す為の出来事の様に思われます。外資を当てにすることは、危険であり反対です。 | 参考 | |
| 2113 | コロナ騒ぎでお金が余裕のある人はぐんと減りましたから、状況はどんどん悪くなっています。計画を中止する勇気を持って下さい。 | 参考 | |
| 2114 | 「外国人客がふえる」といっているが、今回のコロナウイルス騒ぎを見ても、一気にゼロ近くになることから、安定的な増加にならない。 | 参考 | |
| 2115 | 今般の新型コロナウイルス感染の広がり及ぼす経済への影響を鑑みれば、観光やインバウンドに頼る経済政策がいかに危険であるかを知るべきです。 | 参考 | |
| 2116 | 市の説明では、ＩＲ誘致の動機として「人口減少や超高齢化社会による経済情勢の変化」が見込まれることを挙げていますが、市の財政を潤す財源としてＩＲに期待することは大変危険だということを、今おきている「コロナ」問題から学ぶべきと考えます。 | 参考 | |
| 2117 | コロナでインバウンド依存の経済がどんなに脆いか思い知ったはず | 参考 | |
| 2118 | 今回のコロナ騒動でも分かる様に、他力本願→インバウンド頼みの経済は不安定要素が多く、経済の破綻を招きます。 | 参考 | |
| 2119 | インバウンド中心が横浜市民の生活を破壊し、もうこんな街には住みたくないということになれば、観光業も廃れる。住んでみたいと思える街だからこそ行ってみたいのだ。この計画は横浜市の住宅地域としての価値を見失っている。 | 参考 | |
| 2120 | 横浜ＩＲ反対。災害や新しい病気への備えが優先。今後は予期せぬ事態が起こることが予想される。 | 参考 | |
| 2121 | 今のコロナ問題などをみるとその税収も見込めない事態になります。 | 参考 | |
| 2122 | 今、このような新型コロナウイルスが世界中に蔓延している時に、カジノの誘致は中止すべきではないでしょうか？これだけ国際的に人の往来が激しく経済的にも、感染症もたちまち世界中に影響を及ぼすという事を、私達は目の当りにする事となりました。横浜ＩＲ計画とはまさしく、一番先に影響を受けるものだと思います。 | 参考 | |
| 2123 | 今、コロナ新型ウイルスで世界中が大変な局面をむかえています。いつ又このような事態が起きるか、わかりません。大きなリスクをふまえて（ＩＲ・カジノを）誘致しても市民に税金での負担がふえるばかり。そんなカジノは反対です | 参考 | |
| 2124 | 今コロナ新ウイルスでの事態をみてもわかるようにいつ又このようなことが起きるか、わかりません。そんな中大きなリスクを考えてもＩＲやカジノの危険ははかりしれません。今すぐ白紙にもどすべき選挙の時の公約ではないですか | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2125 | インバウンドに頼ることが、不安定なことは、今回のクルーズ船のコロナウイルスの広がりで明らかになりました。そのことから大型客船7隻着岸は、検疫を考えても大変な事態をもたらします。 | 参考 | <p>世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。</p> <p>長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。</p> <p>先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞</p> <p>横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。</p> |
| 2126 | 新型コロナで航空交通網の縮小だけでなく株は暴落、公共施設の閉鎖 市民生活は今大変になっています。海外から観光客を呼び込むIR誘致の方向性はすでに破綻しています | 参考 | |
| 2127 | 今のコロナウイルスを考えても、インバウンドに頼ることのあやうさは、良くわかると思います。カジノを作ることに反対です。 | 参考 | |
| 2128 | “新型コロナ”のような世界的な伝染病が今後発生する可能性が高い中で、外国観光客をあてにした、構想は、あり得ません。 | 参考 | |
| 2129 | 今回コロナのような、急な災害がおこっても、公務員の方と市民が力をあわせ、のりこえられるようなシステム作りはできないのでしょうか。地道な経済政策をたて、税収を確保する道を選んで下さい。カジノ経済は、不安定すぎます。 | 参考 | |
| 2130 | 少子化による人口減少が税収不足を招く恐れがあれば、なんとしても出生率を増すのが適切な対応と考えられます。人が動く時代から情報が動くようになりCashから電子Moneyになる時代です。人を密集させるCasinoは昭和の遺構です。Onlineで人が繋がるSmart Cityを目指して投資を呼び込むべきです | 参考 | |
| 2131 | 新型Coronavirusが蔓延して素案で前提にしている数値自体が意味を持たなくなっていますので、新しい経済指標を見極めて素案を見直すべきと考えます。 | 参考 | |
| 2132 | 景気が急激に落ち込んで会議や出張もままならず事業者の財務は危機に追い込まれている最中、粛々とIR誘致を進めると言うのは簡単ですがこの状況では行政実務者に過酷な負荷を掛けることになり最後は市民へのしわ寄せに繋がります。 | 参考 | |
| 2133 | 日本は観光立国を掲げて、世界中で観光誘致をし、中国人を筆頭に多くの観光客を受け入れてきたが、新型コロナウイルスが流行って、感染者が拡大すると多くの国で渡航が禁止され、日本への外国人旅行者ほぼ皆無になった。観光産業に携わる宿泊施設・土産物店、食料品卸会社等が経営に行き詰まり、倒産寸前となっている。このような状況を体験しても、まだ、観光に依存するIR政策を推進するつもりなのか。外国に100%依存するIR推進の産業構造を構築・堅持していく政策から、国内生産・流通・消費の国内自給型の政策にシフトし、横浜モデルとして国に提言してはどうか？ | 参考 | |
| 2134 | 世界最高水準のIRを実現していますが、素案は、ラスベガス・シンガポール・マカオなどを想定して説明しています。コロナのような感染症が出た時収入はメチャクチャになる。 | 参考 | |
| 2135 | 現在、IRに関して色々な問題が出て来てます。横浜として受入れは、出来ないと思います。その上、新型コロナウイルスの影響も、大変な事になっています。この様な、事が、再び発生しないと、言い切れません。しかも、現在の対応策すら何も発していません。 | 参考 | |
| 2136 | コロナウイルスの世界的流行で分かったように、観光立国とかイベントとか確実性の無い事業ではなく、市民の暮に寄り添った政策をすべきだ。 | 参考 | |
| 2137 | コロナウイルスのような問題が出たら、市長の提案する観光客向けの事業は一番影響を受けるのでは？ | 参考 | |
| 2138 | ましてこのコロナ危機が終息した後の世界経済状況もこれまでとは違ったものになるはずで、先の分からない非常時において、これまで通りの計画に税金をつぎ込むことは、無責任です。今こそ賢明な御判断をお願いします。 | 参考 | |
| 2139 | 新型コロナウイルスの今後が予断を許さない状況。今後も異変や天災・紛争が起こる事が十分に想定される。当然、カジノは閉鎖。途方もない赤字、経営破綻は必定だ。どのように対応するのかを策定しておかなければならない。 | 参考 | |
| 2140 | インバウンド観光客の来訪に期待するらしいが、パンデミック発生の脅威は将来とも排除されず、インバウンドへの期待は極めて大きな不確実性であることが今回改めて認識されている。これを踏まえての計画の取り下げ、あるいは見直しを一切しないというのは全く無責任。 | 参考 | |
| 2141 | 今日のこの日本、世界全体、新型コロナウイルスの世界的パンデミックで、観光に頼ることの脆弱さがはっきりわかったと思います。市民は外国からの観光で幸せにはならないのです。横浜市は、観光客に頼ることなく、内需に目を向けるべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2142 | コンセプトを見ても、確実性の無い夢物語を語るのみでリスクについての問題意識のない事に驚きます。世の中は思い通りに行かないものです。右肩上りだった観光客数もコロナウイルスによって、日本のみが世界中がパニックに陥っている現実を3ヶ月前に誰が予測したでしょう。微細なウイルスに経済も大打撃です。横浜の未来を他人の不幸から得た利益で汚してほしくありません。 | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきました。 |
| 2143 | 新型コロナ感染が収まったとしても、世界が近くなり、人の行き来も盛んです。また次の感染ウイルス等が発生することが予想されます。今回のような事態を想定せず、また、こういう事態にあっても、楽観的に観光で豊かになる構想を変えず新年度予算4億円を決定したその姿勢そのものに、市民のいのちや安全を大切にしてくれないのではないかと疑念を抱かずにはられません。 | 参考 | 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2144 | 新型ウイルス蔓延など、外国の人が持ち運ぶウイルスが増加しています。今回、クルーズ船の横浜港停泊によりリスクが身近になる危機感もおぼえました。経済的にグローバル化して、一たび事があると、輸入品、原材料不足に苦しむことも体験しました。今まで拡大ばかり価値としてきたことのツケが回ってきたと痛感します。 | 参考 | |
| 2145 | コロナの影響で今後、国も地方自治体も経済政策の大幅是正が求められるでしょう。今こそ「IR先にありき」の市政から大きく転換（＝IRを白紙に）できる時だと考えます。 | 参考 | |
| 2146 | 新型コロナウィルスは、いつ終息するか、全くわからない状況ですが、これからは感染症との戦いは続いた場合は、カジノから利益を得る事など、不可能です。 | 参考 | |
| 2147 | 令和2年（正確にはその前年の秋から）の新型コロナウィルス感染症（以下「新型コロナ」）によって「観光立国」の看板は色あせてしまったのである。 | 参考 | |
| 2148 | 現在の新型コロナウィルス感染予防の外出自粛により、宿泊・飲食サービス業が深刻なダメージを受けています。国内外からの観光客を当てにした巨大ホテル、オペラハウス、ショッピングモールは、収益どころか、維持費のみかかることになりかねません。 | 参考 | |
| 2149 | IR事業は税金の無駄使いになります。税を横浜市民のためにつかうことが根本になりますが、これはそのようにならない見本です。第三次産業で収入を高めようとする考えは、今のコロナの状況をみれば、よくわかると考えます。観光でうるおっていいこうと考えるのはあまりにも安易です。 | 参考 | |
| 2150 | 世界中、日本でコロナウイルスが拡大している状態 横浜市は、カジノを含むIRを断念すべきです。 | 参考 | |
| 2151 | 海外からのカジノの集客はほとんど見込めないと、専門家が言っていますし、今回の新型コロナウィルスの状況を見ても、インバウンドに頼るうさが証明されました。 | 参考 | |
| 2152 | コロナ騒ぎで日本中（世界中）大変ですが、特に外国からの観光客をあてにしている業界は大打撃をこうむっています。 | 参考 | |
| 2153 | 特に今回の新型コロナウィルスの件で分る事は、実のない虚業であるカジノは、一番に消えて行くのではないのでしょうか。そんな不確かな事業に将来の横浜を託して良い筈はありません。絶対に反対です。 | 参考 | |
| 2154 | コロナで世界のカジノは閉じている。売り上げは激減しているのに、なぜカジノをやろうとするのか。 | 参考 | |
| 2155 | コロナウイルス感染拡大というやむをえない理由により市民への説明会が開催されておられません。感染症がここまで日常生活と経済に大きな影響を及ぼすとは想定もできておりませんでした。これは横浜に大型クルーズが入港し、連日報道を通して、身近に直結している事態であると認識するまでに時間はかかりませんでした。今や世界の課題となっています。横浜統合型リゾートの方向性（素案）にはまず誰も置き去りにしない命を先ず守る安全安心の再開計画を市民の声を聴きより広く・深く探り続けていくことを願います。 | 参考 | |
| 2156 | 観光立国政策では、持続可能な、経済対策とはなり得ない。インバウンド効果は、もろいものだと言うことに私達は今まさに気づかされています。市が、この素案の中で示したモデルは、机上の空論である上に負の要素が示されておらず、横浜市の未来を危険にさらすものです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2157 | 未来へ向けての横浜港 ・ 関東大震災からまもなく100年、その時の復興で市民の心やすらぐ場となった山下公園とその周辺これ以上の建造物は本当に必要で役に立つものに。ついに世界に向けて本当の解明のむつかしい新型コロナウイルスが出現!!何を意味するのでしょうか?1人1人がよく考えなければ、特に自然災害の多い日本。借金正しい市場原理でないお金での施設は少子高齢化・人口減少に向っているこれから未来の子・孫への負の遺産になります。今の私達大人のやっつけはいけないことです。どうかどうか将来に向けて間違いない道を進みだれにとってもすみやすい町を。 | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2158 | このコロナ惨禍の状況で、世界ではカジノ場の全面的な閉鎖になっており、IR・カジノ構想自体の大きな弱点が露呈した。要するにこの産業は疫病危機に際して、最も脆弱な産業であることが判明した。従って、横浜でIRなどやるべきではない。IR・カジノを否定した構想を生むのが、先進した横浜が世界を先んじて進む方向性ではないか | 参考 | |
| 2159 | ・地球全土に広がったコロナの影響での経済的打撃は、大。又近い内にやってくる大きな自然災害ー南海トラフ、直下型の大地震、おしよせる、気候変動での台風、水の被害、諸々の事への整備が、問われます。これを期にカジノ導入は、見直してほしい。 ・外国人の客は、中国が、中心。禁出発令が出れば、来日はない。（コロナの前にありました。） | 参考 | |
| 2160 | このコロナ惨禍の状況で、世界ではカジノ場の全面的な閉鎖になっており、IR・カジノ構想自体の大きな弱点が露呈した。要するにこの産業は疫病危機に際して、最も脆弱な産業であることが判明した。従って、横浜でIRなどやるべきではない。IR・カジノを否定した構想を生むのが、先進した横浜が世界を先んじて進む方向性ではないか。さらに、このコロナ禍で、世界のカジノ産業は、カジノ場を閉鎖して、オンライン・カジノへの市場進出に舵を切った。これが世界のトレンドであり、今後はカジノ市場の主体はオンライン・カジノにシフトする。 | 参考 | |
| 2161 | かねてより考えておりましたが、この新型コロナの影響で、人々が集まる形の娯楽施設は、今後ますます赤字経営になると考えられます。今のままでは、横浜IRを人が集まる統合型リゾートとしては、生産性の無い、税金を無駄にってしまうものになってしまうと思います。 | 参考 | |
| 2162 | コロナウイルスの問題でもわかるように外国人を多数呼び込む事が必要なものが大前提のこの事業は、今回のようなパンデミックに襲われたときにはどうしようも無い。 | 参考 | |
| 2163 | 横浜IR構想案に反対です。横浜市民の暮らしが良くなるとは考えられません。市の試算には疑問点が多く受け入れられません。例えば、「外国人客が増える」「広がり循環する経済効果がある」についても今の新型コロナ禍を見ればこの試算が無意味だと分かります。 | 参考 | |
| 2164 | インバウンドに過度の期待をすると非常時にはかなり痛い思いをするのが今回のコロナウイルス騒動でよくわかったのではないのでしょうか。果たしてIR法に則り積極的にそれを進めることが横浜のためになるのでしょうか。 | 参考 | |
| 2165 | ・投資についてクルーズ船での感染拡大を見ても明らかだが、カジノホテルでの感染などの隔離、対応、拡散防止策などのリスク投資が考案されていない。投資額を明確化してほしい。 ・トータルな投資と効果の再評価コロナ感染を前提とすればIR事業の投資と効果はとも採算が取れると考えれない再考すべきだと考える。 | 参考 | |
| 2166 | 素案を拝見させていただきました。大変夢のような世界ですね。IRの導入で横浜市が活性化するようなコンセプトですね。しかし、世界?各地で(カジノを含む)IRは破綻してきています。急激に中国・アメリカ経済が悪化してきています。 | 参考 | |
| 2167 | 乗客全員足止めのクルーズ船の感染が出ている。今後クルーズ船は運行は激減する。横浜のIRはクルーズ船の運行を前提としてビジネスモデルを作っていた。これが今や全く成り立たない。横浜IRを即座に取りやめるべきだ。また、推進するのならどのようなモデルなのか市民に提示せよ以上を鑑みて、IRに関しての提案を直ちに取下げ別な投資対策にシフトしてほしい | 参考 | |
| 2168 | 横浜IRに反対します。これからの横浜、おそらく、大地震や噴火など多くの災害にも見舞われることと思います。海沿いの予定地では壊滅的な被害も予想されます。今回のコロナ騒動やこの先地震や台風などで中止になった時に、多くの借金を背負うだけのものになるかもしれません。IRも同様だと思います。どうか、無駄な施設を作るのではなく、今あるものを見直したり、節約したりしていくことで、横浜の財政をより良いものにしていただきたいと思っています。 | 参考 | |
| 2169 | カジノ船ビジネスの終焉でのIRはありえない | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2170 | コロナ感染対策で観光地はどれも大打撃で、経済の破たんも心配されます。観光に頼りすぎていたら、こうなるということではないでしょうか？ | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。 |
| 2171 | カジノ船ビジネスの終焉で横浜IRはありえない | 参考 | 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性P.24〉 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2172 | コロナウイルスにより、インバウンドに頼る弱さ、観光業の弱さがよくわかったのではないのでしょうか？ | 参考 | |
| 2173 | 観光は、コロナウイルスの件で解ったように不安定な産業である。日本人が使うのではなく裕福な外国観光客を対象とするIR計画は市民生活の向上を政権のトリクルダウン（失敗した）と同じ論理で向上できると主張するもので明らかな間違い論理を根拠としている。以上の理由で、根拠の間違った基本計画には反対。 | 参考 | |
| 2174 | 民間事業者に整備、運営を任せると言うことは、相手が倒産すれば負債を横浜市民が背負うことになり、横浜市民に博打を打たせるようなものです。新型コロナの世界的流行で、一番大きな影響を受けているのが観光業である事が証明されました。IR事業で雇用創出を目指すとしていますが、問題が起これば失業者が溢れ、市内の中小企業も打撃を受ける事になります。このまま横浜市が安全対策を講じないまま事業を進めれば、観光・経済にイノベーションではなく、壊滅的デストラクションをもたらしかねません。 | 参考 | |
| 2175 | 観光は、コロナウイルスの件で解ったように不安定な産業である。 | 参考 | |
| 2176 | 山下ふ頭の地主の皆さんが反対されていることは、心強いことです。新型コロナの様なパンデミックの発生でIRの危機管理はできるのでしょうか？ | 参考 | |
| 2177 | 今回の新型肺炎騒動で明らかになったように、災害、戦災、風評でたちまち大きな損害を受ける。観光客を当てにする戦略の危うさ。 | 参考 | |
| 2178 | 横浜市のまちづくりについて過去数十年を振り返ってみると、大きな変革は見当たりませんでした。次世代に横浜の良さを残していくためにもIRは千載一遇のチャンスと捉えて大胆に利用すべきと考え、一刻も早く活力ある横浜実現のために着手しなければなりません。そのうえ、コロナウイルスによる経済の大打撃は地元経済、特に中小、零細企業をはじめ多くの企業に底なしの不安を与えています。こういうときこそ、行政、民間が連携を發揮、特にIR事業者にはこの国難も含めた貢献を期待したいものです。 | 参考 | |
| 2179 | 今回の新型コロナウイルスで中国資本に頼った経済には慎重になるべき教訓とすべきだと考えます。 | 参考 | |
| 2180 | 10頁でクルーズ港が感染問題を抱えた場合の対策費を計上してください。 | 参考 | |
| 2181 | 56頁で観光による経済効果を謳うが、現に新型コロナウイルスによる影響で観光業に依存した経済政策が破綻している現状を踏まえた上での、横浜市の見解を述べてください。 | 参考 | |
| 2182 | 新型コロナウイルスは、長期的にはインフルエンザのように流行り続けると言われています。今後は大型イベントは開催されなくなる可能性があり、またカジノのように密閉された空間で大人数が遊ぶ事も無くなる可能性があります。IRを作ったところで横浜市にとって収入増加になるとは限らず、むしろ赤字になる可能性すらあります。IR計画は、コロナにより、そもそも成り立たなくなったと思います。根本的に見直し、計画を中止するべきだと思います。 | 参考 | |
| 2183 | インバウンドは今般の感染症が定期的に来るということを前提にリスクマネジメントすることが必要な事業であり、安定した財源として運営していくことはできないと思います。 | 参考 | |
| 2184 | IRの税収は極めて不安定ご存知の通り、新型コロナウイルス拡散に伴い、日本経済全体に影響が出て来ています。このような新型ウイルスによるパンデミックは今後も起こる可能性が高く、そうなれば国内外の人の動きは著しく減少し、それに伴ってIR施設の収益も急激かつ大幅に減ることは間違いありません。また、資料にある海外のカジノの写真をみると、国の新型コロナウイルス対策委員会の指摘した感染しやすい三つの条件が揃っているのは明らかで、パンデミック発生時には営業自粛が真っ先に求められるでしょう。 | 参考 | |
| 2185 | コロナウイルスの蔓延で分かったように、海外からの観光客頼みの市の財政では、いつ収入が急減するか分からない。また現在の感染症の状況では、IRの投資をしても、そのリターンは全く期待できない。「世界有数のクルーズ拠点を目指します。」など、もつての外。IRの計画に関わらず、直ちにこのような方向性は撤回すべきである。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2186 | インバウンド顧客をカジノに呼び込むような収益増加は今回の新型コロナウイルスなどの集客激減にはあまりにもピント外れの政策であることは明白である。経済発展にとって無意味な施策は即刻破棄されるべきである。 | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。 |
| 2187 | IR（統合型リゾート）事業導入に反対します。今般の新型コロナ問題、今後予想される自然災害等でIR事業が経済効果を期待できるとは考えられません。賭博・観光事業ではない実体経済に資する方向を目指すべきです。 | 参考 | 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2188 | 観光産業を大きな柱としていく考えには危惧を感じます。昨今の中国発コロナ禍がまさに具体例ですが、観光収入は極めて流動的で、外乱によって大きく縮小してしまいます。好条件を当て込んで大きな投資をしてしまうと縮小時に市として大きな負債、負の遺産を背負い込むことになり、結局は将来の市民が大きな負担を担わざるを得なくなる危険性が高いと考えます。 | 参考 | |
| 2189 | 外国人観光客からの収入に期待しすぎると、世界の状況により収入に打撃を被る。自立して経済が回るように計画するべきです。 | 参考 | |
| 2190 | 横浜にカジノ誘致は、絶対反対です。統合型リゾートの3%のカジノといってもカジノは賭博であるし、依存症・治安面に関してとても不安です。世界の都市をみても全ての都市が成功している訳ではない中で私達市民の大切な税金を投入して、後世に負の遺産を残すなんて絶対に許せません。ましてや現在世界中で大変なことになっているコロナウイルス問題で生活することですら大変な時にカジノに行きますか？東京オリンピックが延期になり、今後世界で何が起こるか判らない時期に何故カジノ？近い将来に大地震が起こるかもしれない時期に何故カジノ？360万人の横浜市民をどう守れるか？の方が大切ではないですか？世界に誇れる横浜をカジノで潰してほしくはないです。 | 参考 | |
| 2191 | コロナウイルス禍による東京オリンピックの1年延期や、今年度のGDPの大幅な低下が見込まれる中、「カジノ誘致は粛々と進めます」との発言は、横浜市民の失笑を誘った。現況を鑑み、大阪府は2025年万博前のカジノ開業を断念する発表を行った。コロナ感染拡大防止と経済状況の回復には複数年が必要となる。横浜市民の大多数が反対する中、強引にカジノ誘致を進める横浜市がいますべきことは、「カジノ誘致は白紙に戻します」との発表ではないのか。 | 参考 | |
| 2192 | 今、世の中がコロナで精一杯なのですが、この状況が落ち着いたら、経済対策として、是非IRを横浜でやってもらいたいと思います。シンガポールのマリナベイのような、周辺住民も集い利用できるような施設を希望します。横浜で行い、首都圏が広範囲に盛り上がるようにして欲しい。 | 参考 | |
| 2193 | 世界において東京の陰に隠れた存在である横浜がIRにチャレンジすることは賛成です。経済が活性化され、税収で市の財政が潤うことになる可能性もあります。ただし、税収をインバウンドなど観光に大きく頼るのは危険な部分もあり、今回のコロナウイルス感染拡大など、何年に一回か現れる新型感染症などに対する危機対応は考えなければならないでしょう。そのためには、横浜の基盤となってきた産業についてもしっかりと支援し、地盤を固めておかないと怖いと思います。IRを進めるなら、IRも含めたバランスの取れた横浜経済についても示してほしいです。 | 参考 | |
| 2194 | カジノ施設およびその周辺のエンターテインメント施設利用については、国内はもとより海外からの大型観光旅行者誘導を前提としていると思われますが、新型コロナウイルスの出現により、社会的な人間移動、集会、観光の在り方の規定値を根底から考え直す必要に迫られています。また今回のウィルスがワクチン開発によって、根絶したとしても、同様のウィルスの出現による災禍に今後見舞われない保証はどこにもありません。従って、本案を進めることは、本市が巨大な不良不動産施設を抱えることになると考えます。 | 参考 | |
| 2195 | コロナウイルスが落ち着き、ワクチンや医療体制が十分に整備された後でなければ、到底理解は得られないことは重々ご承知いただいているかと思いますが、IRを誘致したことにより、横浜の街がさらに進化を遂げ、経済成長につながり、市民生活が豊かになり、治安もよくなり、多くの方から感謝される取組になるようがんばってください。 | 参考 | |
| 2196 | 今回のコロナ感染で、観光客を当てにした消費の危うさ、多国籍の人を呼び込む危機が明らかになったのではないかと、日本の高度成長を支えたのは、物作り日本であるのは証明済みである。自然エネルギー、環境改善機器など未来を守り作る、物作り日本の商品を一年中展示販売出来る展示場を作る方が将来の日本には有益ではないか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2197 | 今はコロナ対策、来年のオリンピック対策に集中して取り組むべきで、絵空事のIRは、市政の対策順序から外すべきです。市民の心身の健康なくして、税金などないのです。子どもたちを守る事に注力してください。 | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。 |
| 2198 | IRによる税金への期待は、現在発生している新型コロナウイルスによる長期間に及ぶ影響が発生した場合などにより、一定期間の休業期間が生じた場合など、税金の安定的な徴収に結びつくものではないと考えます。 | 参考 | 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2199 | 新型コロナウイルスのパンデミック化により、現在、IR構想を取り巻く状況は一変しております。IR構想の発端は、日本政府が掲げた観光先進国化のあるのですが、インバウンド頼みの観光政策は、今では、見直しを迫られる状況にあります。たとえ同ウイルス禍が終息したとしても、IR構想策定段階で見積もられた目標集客数を実現することは難しく、各種施設が赤字経営となる可能性も否定はできません。加えて、新型コロナウイルスのパンデミック化により、各国とも大幅なGDPの下落が予測されており、全世界規模での景気後退が懸念されております。所得の減少や失業の危機に直面する中で、内外を問わず、相当の出費を要するレジャーやリゾートを人々が楽しもうとするとは思えません。IRもゴーストタウン化するかもしれず、財政赤字が重く市の財政にのしかかる可能性があります。 | 参考 | |
| 2200 | まだ横浜IRを進めようとしていることに驚きです。すべて白紙撤回を望みます。コロナ禍の渦中であり、先日オリンピック延期し開催予定日がきまったもののインバウンド効果がだだ下がり早2ヶ月弱、日本国民も生活自粛を余儀なくされていますがこういった来客見込みのない場合IRがどうすべきかなにができるかどうか回避するのかが元とれるのか何も展望がないのであれば未来の負債施設をつくっているだけです。そんなものに一切税金使わないでください。 | 参考 | |
| 2201 | 世界中で、新型コロナウイルス対策のため、生活が制限され経済活動が急激にスローダウン。あまりにもお金が一番大事。経済成長しか考えられずに、グローバル化して、インバウンド事業を推進・頼り切って、海外からの動きがストップしたら、いっぺんにすべてが止まってしまふ。高収入は絵に描いた餅です。IRにも同じことが言えます。 | 参考 | |
| 2202 | 新たな流行病がはやれば真っ先に賭け事＝カジノのお客は減り、経営が成り立たなくなります。カジノに来る人が減ったら収益が減ります。その為、カジノに人を呼び込まなければなりません。そんな事に横浜市が協力するのは御免です。 | 参考 | |
| 2203 | 高級なホテルやアミューズメント施設など、お金のある人が利用するような印象があるが、高齢化や赤字財政の中で市民、国民がどれくらいお金を使ってくれるか疑問がある。 | 参考 | |
| 2204 | 説明会にも出席し素案も読ませていただきましたがコロナウイルスのような世界規模の感染症が発生したらどうなるのか？等、不確定要素が多すぎて、「経済的なメリット」ということさえ、理解できません。 | 参考 | |
| 2205 | 市政の基本は、市民の生活を守ることであって、コロナ感染を許すようなカジノを設置することではありません。市民生活の根本を破壊する確率が高いカジノは断固反対します。 | 参考 | |
| 2206 | 「観光」に依存した財政基盤は脆弱です。今回のコロナウイルスショックを見れば分かる通り、「観光」に依存した経済は突発的な災害に対応することができません。 | 参考 | |
| 2207 | 7ページ：「横浜は圧倒的に宿泊客が少ない」そうですが、現在起こっているウイルス感染による経済の打撃を見ると、「宿泊客が少ない」は「打撃が小さい」という意味になります。つまり、観光に依存しないことはメリットもあるのです。カジノ誘致はギャンブルそのものです。 | 参考 | |
| 2208 | IR誘致によるインバウンド需要を見込んでいるようですが、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大しているこの現状から、再度この方針について検討しないのでしょうか。日本が落ち目にあるのは、国内需要の冷え込みです。冷え込んでいるからと外国頼みになることは、国外の諸事情・世界的事情に左右される部分が多く、リスクが非常に高まります。インバウンド需要頼みのIR誘致は横浜の将来への大きな誤りです。 | 参考 | |
| 2209 | 昨今の新型コロナのような事態が起きれば、あてにしている海外からの客による収益は得られず、またしても、市民の税金を投入することになるのではないですか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2210 | 現在、収束のめどすら立たず世界を席卷している新型コロナウイルス禍は、リーマンショック以上の経済的打撃を各国に及ぼすことは確実でしょう。だからといって、経済効果をカジノに期待するのは誤りです。世界的な気候危機をまねているグローバル経済や拝金主義に対する警告と受け止めるべきだと思います。ヒトも生物のひとつの種であることを思い出して健全な経済活動により市民生活が営まれる市政にたち返ってください。 | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2211 | 今回の新型コロナウイルスによる、影響をみれば、市の計画はいかにもろいものか明白です。 | 参考 | |
| 2212 | カジノを横浜に誘致してその入場料を市政運営に使うということですが、観光客の懐をアテにすることは大変不確実なものだ、という事が、昨今のコロナ問題で誰の目にも明らかになりました。そんなものに頼った市政運営をしたりしたら横浜市は潰れてしまいます。 | 参考 | |
| 2213 | 今は、コロナウイルス騒動で市民だけでなく全世界が瀬戸際の時です。IR複合施設の建設に予算と人手を使うのは考え直してほしいです。横浜の港を美しくまま、残して頂きたいです。 | 参考 | |
| 2214 | 横浜IR賛成。コロナウイルスの対応を見て、災害などが起きたときは、行政による公助には限界があると改めて実感しました。コロナウイルスの対応で先陣を切った救急隊の方が罹患したように、行政で働く方も同じ被災者です。このようとき、市内の企業が独自に、あるいは協力しあって、積極的な共助に取り組んでほしいと一市民として思います。横浜市や市民が被災したときなどに、その対応に尽力してくれる事業者が、選定されるといいなと思います。 | 参考 | |
| 2215 | 将来的な人口減少も考え更に現在コロナ感染により経済には大打撃がありこれは必ず推進していただくようお願いいたします。積極的な推進を必ずお願いします。 | 参考 | |
| 2216 | 新型コロナウイルス感染から学ぶことは、IR事業完成後今のような状態になったらどうなるかも想像してください。 | 参考 | |
| 2217 | カジノに限って言えば、どういった国を想定しているのでしょうか？インバウンドがメインでしょうか？ご存知のようにカジノ最大のマカオや、ラスベガスの現状はどうでしょうか？再開したマカオの集客力は大幅に低下しています。ラスベガスは再開できていません。正直このような時期にカジノを含むリゾート施設を検討していることには行政として驚きを禁じえません。 | 参考 | |
| 2218 | 今回の新型コロナウイルスの襲来は、いかにインバウンドに頼った経済がもろいかを露呈させました。経済の舵取りの方向を再考したほうがよくはありませんか。 | 参考 | |
| 2219 | 市長には、新型コロナ禍で見えてきたことを、しっかり受け止めていただき方向転換へのご勇断をお願いします新型コロナ禍から見えたこと政治が目指すのはこれまでの「経済最優先」ではなく最優先は命、健康的な日常、そして「自分と他の幸福を大事にする人・社会」づくりなのではないでしょうか。コロナの終息も再来も未知、今や地球規模の大きな変換が求められている時です80%以上の確率で予想される大災害のことも考慮し、備えなければならないことが山ほどあります税金をどのように使うか、市長及び市政に関わる方々の人間としての哲学が問われる局面ですどうぞご英断を！ | 参考 | |
| 2220 | 国際会議場が必要なのか甚だ疑問である。というのは国際会議場という大型の箱モノの稼働率は新型コロナ終息後、それ以前の水準に戻らないで今後推移していくことが考えられるが、素案では全くリスクに触れていないのでもっと具体的に説明するべきである。 | 参考 | |
| 2221 | 治安の悪化が懸念されますし、インバウンド需要に頼ることの危険性もこの新型コロナ騒動で露呈されましたので、IRの必要性は全くありません。 | 参考 | |
| 2222 | 新型コロナウイルスの感染防止には、「三密」等の濃厚接触は避けるべきであるとしている。IRは豪華客船が陸に上がったようなもので周囲と完全に隔離され、その中でカジノやエンターテイメント等に興ずるもので、正に「三密」そのものである。今回の新型コロナウイルスの発生はどんなに世界最高水準のIRと謳っても防ぎようがなく、休業が長期に渡れば建設に要した莫大な費用の補償を求められることになり、税収効果等は水泡に帰してしまう。IR誘致は危険が大き過ぎると思う。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2223 | コロナが流行し、いかに他人頼みの経済が脆いものかを知りました。今後の世の中でコロナや大震災のようなことが再び起こらないとは思えません。もう一度、コロナのような流行り病が起きれば、カジノなんてあつという間に水の泡です。そして、誰もカジノを立て直そうとは思わないでしょう。これがあれば、安心だ!と思えるものでもよいでしょう。市民の心の拠り所が欲しいですね。それは、カジノではありません。 | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきました。 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性P.24〉 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2224 | コロナが流行し、いかに他人頼みの経済が脆いものかを知りました。今後の世の中でコロナや大震災のようなことが再び起こらないとは思えません。もう一度、コロナのような流行り病が起きれば、カジノなんてあつという間に水の泡です。そして、誰もカジノを立て直そうとは思わないでしょう。カジノではなく、私達すべての人の心を豊かにするものに、お金を使って欲しいと思います。これがあれば、安心だ!と思えるものでもよいでしょう。市民の心の拠り所が欲しいですね。それは、カジノではありません。 | 参考 | |
| 2225 | Covid19が世界を席卷しています。世界のカジノは、不況だそうです。横浜に、そのような危険性があるカジノを誘致することはやめてください。 | 参考 | |
| 2226 | パブコメにはIR誘致のついては市民の声を聞けと書くつもりでしたが、現在の新型コロナウイルス感染の状況から、IRは誘致すべきではないとはっきり言えます。なぜなら、大規模災害や今回のような病気の蔓延の場合、一番最初に自粛・規制されるのは「不要不急」の外出です。したがってIRは真っ先にその対象になります。そんな施設に市財政を頼ることは、あまりにも高いリスクを伴います。IRカジノは、誘致すべきではありません。 | 参考 | |
| 2227 | COVID19の流行、そして終息後には、横浜どころか世界のあり方が変わると思われまます。いつまでもインバウンド頼みの政策では必ず行き詰まります。 | 参考 | |
| 2228 | 昨今の新型コロナウイルスの流行で、世界の情勢は変わりました。IR（カジノ）を誘致したところで、海外から客が来るか、見込んだ税収を得られるか不透明です。 | 参考 | |
| 2229 | 新型コロナの感染拡大によって、世界は大きな岐路にたたされています。これまでと全く違う都市のあり方、私たちのライフスタイルが求められています。方向転換が必要ではないでしょうか。どのような開発がこれからの横浜市にとって、市民一人一人にとって必要か、広く意見を聞き、真剣に考えてください。 | 参考 | |
| 2230 | 未曾有の新型感染症のパンデミックの中、市議会では推進のための予算を4億円も可決したとのことですが、この危機後に襲ってくるのは世界的な不況であり、カジノやIRのような「贅沢品」に財源を費やす余裕はどこにも残っていないでしょう。 | 参考 | |
| 2231 | 私の意見は、横浜IRに反対です。今後インバウンド、海外旅行者が行きたい国とは、感染症対策の行き届いた都市となる。横浜は、安全だという魅力が、旅行先としての大きな魅力、横浜に行きたい動機となる。医療が最大の旅行動機になり、かつ市民生活の安心、市の持続性の根幹となることが今回のウイルスで表面化しました。IRを撤回して、強固で柔軟な医療を構築してください。 | 参考 | |
| 2232 | 海外の方を受け入れる前に、横浜市民を受け入れてくださいそして今日の前に立ちはだかるウイルスへ、共に全力で戦ってくださいお願いします | 参考 | |
| 2233 | 率8割の直下型地震対策、頻発化する災害対策（温暖化対策）、富士山大噴火対策、そして今、感染症対策が急務。そんな時に、自治体が貴重な財源と人員をカジノIRに使うことに強い違和感を覚えます。 | 参考 | |
| 2234 | IR誘致に反対です。横浜市は観光産業を経済の主軸とするような言いぶりですが、観光産業は今回のコロナのような疫病、度重なる地震や台風被害などの自然災害、経済恐慌にあまりに脆弱で不安定な産業であることは明らかであり、安定した税収確保は望めません。 | 参考 | |
| 2235 | 少子高齢化ならば、少ない人数で回していける政策を全国レベルで考えなくてはいけないというときに「観光立国」を目指してしまうということは、日本文化という遺産を切り売りしてしのぐ、ということに他ならない。観光客が来なくなれば壊滅的です。すでに世界的疫病騒動で経済の打撃も世界的レベル。まだ構想の段階であれば即刻とりやめるべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2236 | 世界的な感染症拡大でインバウンドに頼る経済の脆弱性が明らかになりました。横浜市の将来を海外資本にゆだねるようなカジノを含むIR事業の推進は凍結して、計画撤回を含む議論を行うべきです。市民の意見は聞くけれど計画は見直すつもりはないなどという説明会やパブリックコメントでは意味がありません。 | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきました。 |
| 2237 | インバウンドなど今回のコロナウイルスで、脆弱なものであることが明白になった | 参考 | 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。〈方向性P.24〉 |
| 2238 | 新型コロナウイルスの感染拡大による社会情勢の変化を見るとIR構想が余りに脆弱であると思わざるを得ない。今後もこのような災害の危険性はありインバウンドに偏った計画は破綻してしまったと思う。 | 参考 | 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2239 | 新型コロナウイルスの世界的な流行により、人々の国際的な移動の動向がこれまでの想定通りにはいかないと思われる。そのため現時点の計画はその前提条件が崩れているため白紙に戻すべきである | 参考 | |
| 2240 | 新型コロナウイルスの影響で横浜市での税収も相当落ちると思います。そのような中でIRを推進できるのでしょうか？ | 参考 | |
| 2241 | 百歩譲っても、現在の新コロナを封じ込め、オリンピックも済んでから市民の意向をしっかりと把握してからで十分です。 | 参考 | |
| 2242 | 今般のような大規模な感染症、災害等発生を見越した際に、インバウンド寄りすぎる方策では手詰まりになるのではないかと。 | 参考 | |
| 2243 | 有事の際は施設から積極的に福祉寄りに舵取りできるような瞬発力ある企業がもはや参入を求められる状況にある | 参考 | |
| 2244 | 現在の新型コロナウイルス蔓延の状況を鑑みて再考、熟考を是非お願いしたいと思います。 | 参考 | |
| 2245 | 過度にインバウンドに依存した計画観光の中でも過度にインバウンド需要に依存した計画であった場合、新型コロナウイルス問題に見られるように、現在のような状況が生じた場合、一気に破綻する可能性が高い。過度にインバウンド需要に期待するのではなく、横浜市民や国内需要に応える計画とすべきである | 参考 | |
| 2246 | 昨今のコロナショックが教えていることは、インバウンド消費に依存する経済は虚妄だ、ということです。 | 参考 | |
| 2247 | これからの社会の姿が横浜市は、見えているのでしょうか？きらびやかなカジノに足を運ぶような人は、今後どんどん減って行くでしょう。クラウドサービスが主流になるこれからの社会に、IRで経済対策とは、時代遅れです。まして、娯楽産業、観光産業は、このコロナで大打撃。今、もしも横浜にカジノがあったらと想像すれば、運営は無理だということがわかんと思います。 | 参考 | |
| 2248 | 箱ものはこれ以上いりません。コロナが終息した時、人々は本当の幸せの価値観が変わるでしょう。市民から意見を募集し、世界中の人々が横浜に行ってみよう！と思える街づくりをしてください！二番煎じ、三番煎じでは最初の数年だけの集客、後は負の遺産のみが残されること間違いなしでしょう。 | 参考 | |
| 2249 | 市の説明するカジノの事業性を信じられない今後、中国人の富裕層のカジノ客が日本の横浜にやってくる可能性はあるのでしょうか？外国人カジノ客が来なかった場合、横浜市民、神奈川県民のカジノ客に期待されてしまった場合、どこまで深刻な状態になるのでしょうか？ | 参考 | |
| 2250 | 観光MICEを主軸とした事業計画は、今回の感染症により破綻したも同然。同事業やカジノ等による税収入をあてにするのはあまりに安易であり、かついわゆる”ハコモノ”の乱立は旧態依然の行政の進め方であり、未だこんな考え方を持つ輩が市政を担っているかと思うと、ゾッと希望ある未来を感じることはできない。インバウンド需要が増してきたという時流に乗っただけの計画だけに過ぎない。事業開始後に感染症のようなリスクが発生したことを想像するだけで恐ろしくなる。MICEは感染症や地震津波などの自然災害のリスクにあまりにも弱い。もっと地に根を張った事業計画であるべき。 | 参考 | |
| 2251 | 観光での収入は、今のようにコロナウイルスのようなものがはやれば、大赤字になりかねません。ぜひ、白紙撤回してください。 | 参考 | |
| 2252 | カジノ推進撤回を求めます。コロナウイルスの収束の見通しも立たず、日本全体の観光地としての価値も急速に失われている中、IRを推進しようという市の考えが理解できません。こんな強引な利益誘導は政治と呼べません。即刻凍結してください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2253 | 現在の情勢に伴い、クルーズ船の寄港した横浜のイメージで、観光客や海外富裕層の呼び込みは厳しい。また、しばらくは全世界的に経済発展の見通しは立ちにくい。横浜に来なくなるコンテンツを増やす、環境を良くする、住みなくなる街にリニューアルし続ける必要のほうを、強く感じます。 | 参考 | 世界経済においては、これまでもリーマンショックによる低迷、感染症（SARS）などの感染症拡大によるアジアを中心とした経済や雇用の悪化などの影響を受けてきました。 長期にわたっては、大規模な景気変動や新たな感染症など、経済的・社会的環境の変動が想定されますが、世界経済はこれまでもそれらを克服してきています。 |
| 2254 | クルーズ船の今後は、世界のあちこちでコロナショックで漂っているようでは、飛行船ブームと同様の末路になり兼ねません。そんな状況で、クルーズ港の整備を掲げるのですか。 | 参考 | 先進事例である、シンガポールでは、感染症（SARS）等による観光業の低迷やリーマンショックによる経済の悪化後、2つのIR施設がオープンし、それに伴って外国人観光消費額は10年足らずで倍増しており、横浜IRにおいても周辺地域へのシャワー効果が期待されます。＜方向性P.24＞ |
| 2255 | 新型コロナウイルス感染症の問題で景気低迷する今こそチャレンジすべきで、SARS後のシンガポールのように、統合型リゾートを起爆剤として、新たな産業を築いてほしい。市中の競馬、競輪、競艇、パチンコパチスロ、宝くじなど、未成年でも出てしまうようなギャンブルこそ、きちんと精査すべき。 | 参考 | 横浜でのIRも、経済的・社会的な変動において柔軟で持続可能な対応ができるよう、選定される事業者と作成する区域整備計画などにおいて、対策を盛り込んでいきます。 |
| 2256 | 大型クルーズ船が7隻、同時に入港できる”港”づくりは、山下ふ頭の横浜IRとともに、〈横浜イノベーション〉の一環に位置付けられています。そして、それは、現に動き出していたものです。そのクルーズ船が引き起こした今回の事態について、無関心であることは出来ません。大型クルーズ船が〈まねかざる客〉とは言えませんが、たくさん来ればいいというものではない。そもそも、海外観光客頼みの観光戦略の孕むリスクを考えなくて良いのか、ということです。 | 参考 | |
| 2257 | 本「横浜IR」の方向性の策定とその後の実現に向けたスケジュールには見直しが必要と考えます。山下ふ頭はみなとみらい21地区や関内・関外地区に隣接する都心臨海部の重要な公共空間です。2021年中のIR候補地への立候補を見送り、より長期的なスケジュールで山下ふ頭の再開発のあり方を検討していくべきと考えます。横浜市も今は新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、クルーズポートとしてのあり方や観光・MICE戦略の見直しを図る必要があると考えます。市民共創により市民と行政が山下ふ頭の再開発をポジティブに語り合えるような環境を整えていくために、私は横浜IRのスケジュールの見直しを求めます。 | 参考 | |
| 2258 | 今回のコロナのような感染症が発生し、旅行者を受け入れることができない事態になったとき。地震、噴火、津波、様々、自然災害があつて、賭博する人を受け入れられないとき。そこで働く人の全員が正規社員とはあり得ないし、また様々な外乱がおきて多くの働けない人が出たとき。もしカジノを運営する会社が撤退してしまったら。もし思ったような法人税も入らなかつたら。様々な事情があり思ったような税収が見込めなくなつたときに、横浜市はどうするのか計画できていないのでは？ | 参考 | |
| 2259 | IR反対です。コロナウイルスの為大変な時期 経済み直しの意見もあると思います。計画見直しした方が横浜が平和です。 | 参考 | |
| 2260 | 観光地として外国人が増えれば、税収や雇用の面でメリットがあると思います。但し、疫病（コロナウイルス）や災害等不測の事態が起きてしまうと、突然観光客が来なくなる心配があります。その際の対策も示してほしいです。 | 参考 | |
| 2261 | 新型コロナ感染で経済が更に悪化する状況の中で、横浜の将来を見据えた取組になってもらいたいです。 | 参考 | |
| 2262 | 世界を震撼させている新型コロナウイルスの流行の現実の中で、「横浜IRの方向性」に描かれている理想の都市の考え方が、いかに空しく愚かしいものかを感じざるを得ません。世界から人を呼び、その落としていくお金で市民の生活を豊かにすると言いますが、この度のようなパンデミックが起きたら、すべてが水泡に帰ってしまうことが明らかです。 | 参考 | |
| 2263 | コロナウイルスの影響が続く、時に、隠れミノ的に市会で、カジノ推進の予算を計上したそう。 | 参考 | 現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5,743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直していきます。 |
| 2264 | IR誘致の為に推進事業費4億円を計上されたようですが、そんなIRの為に使うのであれば、今世の中を騒がせている、コロナ対策の為に、検査体制の充実や休業補償に使うべきだと思います。 | 参考 | 一方で、IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 |
| 2265 | 現国会議員等カジノ汚職事件がおき、コロナ問題もあり、国では基本方針（勿論カジノ）が確定できないでいる。それらを全く無視して、横浜がこの前は2億6千万の誘致推進予算を決めずでに使われ、2020年度予算にはなんと4億円もの私達の税金が使われる事に驚きの念しかありません。この4億円の予算はいつ終息するかもしれない新型コロナウイルスにむけ、市民の為に使うべきだと思います。 | 参考 | 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。 |
| 2266 | 日本中、（世界中）コロナの大流行にともない、生活そのものが未来に向かって不安ななか、ヨコハマ市は、IR、実現にお金を使って強行導入するのは絶対にやめて下さい。私達のおさめた、大切な税金を使うことはやめて下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2267 | 新型コロナウイルスの感染が拡大する中、経済活動は停滞し、市内の経済にも大きな影響を及ぼしています。先行きの見えない状況に、生活・雇用の不安が広がっています。国のIR事業は事実上ストップ。目の前の危機を直視せず、世界コロナ恐慌の真ただ中、カジノ・IR誘致に突き進む横浜市政は異常に感じます。横浜市が最優先で取り組むべきことは、コロナウイルス感染拡大の防止はもとより、市民生活の安全・安心のために力を尽くすことです。カジノ・IR事業反対です。 | 参考 | <p>現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5,743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直していきます。</p> <p>一方で、IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 2268 | 今こそコロナ対策に予算を！収入減の方々への給付、医療への給付予算 | 参考 | |
| 2269 | 今やるべき事は新型コロナウィルス対策に予算(金)をすみやかに使うことです。病床数を増やすことは当然、加えて治療薬を即存薬から見つけると共に治療機器、着マスクは勿論ガード衣等の準備、製造に大きな力をそそぐべきです。 | 参考 | |
| 2270 | 今日、新型コロナ問題で大変な時だ、推進作業を中止し、4億円も、コロナ対策に廻し、これにかかる人員・職員もコロナ対策へと廻すべきではないか。 | 参考 | |
| 2271 | カジノ=IRに使うカネをただちに新型コロナウイルス肺炎対策に振り向けることを要求します。そっちの方がよっぽど緊急性、必要性がある！ | 参考 | |
| 2272 | IRとカジノについて。新型インフルエンザの出現によりもはやこの予算は医療充実と今後の新たなウイルス対策及び、市民生活を守るために使うべきと考えます。 | 参考 | |
| 2273 | 日々、コロナのニュースが流れています。ウィルスとの闘いで世界中が怖れおののいています。その中でも横浜IRを実行しようとして多くのお金を費やしています。将来のため！と称して、大多数の市民が反対しても『やる！』との意気込み！とても不思議です。数年に一度は、怖ろしい感染症が出現しています。各国の封鎖により、カジノどころではないでしょう！ | 参考 | |
| 2274 | 新型コロナウイルス対策に、横浜市も最優先に取り組んで、我々高れい者らの経済弱者救済課題を市役所一丸で進めてほしい。横浜市IRに税金をたくさん使う前に、コロナウイルス対策、病院強化、経済救済、をもっと充実させてほしい。そうしないと、観光客すら横浜に来てくれない。 | 参考 | |
| 2275 | 現在、新型コロナの駆逐、ワクチンの開発、感染者者の入院施設、今後も考えられる自然災害への備えを市民の安全のために用意し、こうした想定外の事態にぐらつかない、市としての真つ当な姿勢と防災防犯環境を整備することの方が先のはずです。真に必要な市民生活整備を急がれるよう、強く強く、要望してやみません。 | 参考 | |
| 2276 | 横浜市政の根幹が失われています。市民の生活と命を守るのが第一です。コロナが蔓延しているのになぜカジノを推進するのですか。人も予算も感染症対策に当てるべきです。カジノの前提である観光客が激減しています。即刻カジノ事業から撤退して下さい。地方自治体の役割を果して下さい。命と生活を守るのが第一です。カジノ予算4億円を即刻、コロナ対策に当てて下さい。 | 参考 | |
| 2277 | 今大事なことは、コロナ対策でしょう。不要不急な予算を、コロナ対策へ。 | 参考 | |
| 2278 | IRの横浜市の説明書はきわめて抽象で、夢物語りを聞かされるよう地に足着いていません。安心安全との対策も果してこれらにどんな保証があるのか。青少年への悪影響対策ひとつとっても、マイナンバーカードによる入場規制とあるが、現在マイナンバーの実用はがどれ程か、ご存知か。全く実用性、効果無いとしか云えない。カジノに税金を投入するよりコロナ医療対策をしっかりとと云いたい。 | 参考 | |
| 2279 | 今、新型コロナウイルス感染で大変な日々なのに何故カジノ誘致、IRに一生懸命なのでしょうか？カジノの巨額予算を解雇・失業・経営危機に陥っている所にまわして下さい。カジノは横浜にはいらなない！！カジノ・IR反対！！ | 参考 | |
| 2280 | 横浜市は4億円(カジノを含むIR)をコロナ対策にまわしてください。 | 参考 | |
| 2281 | 今はカジノIRは二の次にして、令和2年度予算の中のカジノIR誘致のための4億円を、新型コロナウイルス対策のために回して、横浜市民の健康を守るために使うべきだと考えます。 | 参考 | |
| 2282 | 新型肺炎が拡大する現在、市長のすべき行政はコロナ感染にともなう、支援政策に対する、予算を確立し実施することです。IR予算をすべて、感染症対応に使い保健・医療や自営業者対策を充実させて下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2283 | すでに市は4億円もの大金をカジノのために計上しました。この大金、市のたいせつなお金をもっと有意義に使う道はいくらでもあるでしょうに | 参考 | <p>現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5.743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直していきます。</p> <p>一方で、IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 2284 | IR実現など、国民、市民が不安にさらされている時に、どうでもよい。医療の整備や医療機関へのマスクの配布等、に税金を使うべきだ。まずは、人命第一でコロナウイルス対策をやっていただきたい。 | 参考 | |
| 2285 | 構想費4億円は、コロナ渦での休業補償と検査充実に使うべきです。 | 参考 | |
| 2286 | 今この新型インフルへの対策が急務と考える。市民の命、生活に係わる対策に税金は使われるべきだ。カジノはいらない！！ | 参考 | |
| 2287 | 市民の反対意見を無視し、コロナ禍の中を4億円もカジノに予算を取るなどリーダーの資質に欠ける判断は間違いです。 | 参考 | |
| 2288 | 機会がある度にIR誘致反対の署名を心掛けています。新聞の紙面に横浜市がIR広報動画を公開したとの記事がありました。450万円の費用でかけて製作し配信するそうですが、とんでもないことです。カジノそのものの必要性が全く考えられないのに今のこの状況で市民へ理解を求める動画の配信を決めた市の方針は理解できません。又、コロナ感染で長引くであろう被害のこの現状、さらに先の見通しを(予測して、)考えてもっと市民の足元に立った政策を進めて頂きたいと思えます。今後コロナ感染はさらに深刻に長期化していくと考えられます。市が全優先しなければIR誘致以外山積みで必迫しています。 | 参考 | |
| 2289 | 現在は新型コロナウイルス対応が喫緊の課題。従って当面は、IR・カジノ推進費4億円を新型コロナ対応に当てるべき。 | 参考 | |
| 2290 | ともかく现阶段で横浜市が最大限重視して対応すべき課題は、コロナウイルスの感染拡大防止と、景気後退それに伴う中小業者の経営不安・働く人々の生活の安心、安全です。 | 参考 | |
| 2291 | コロナウイルス対策を優先し、もう一度市民の声をきき、再度計画を作り直すことが今、一番求められていることだと思います | 参考 | |
| 2292 | 市税を市民の生活、コロナ対策に使うべきです。 | 参考 | |
| 2293 | 現在、新型コロナウイルスが予断を許さない状況。IRに予算を使うのではなく新型コロナウイルスに予算を使うべき。例えば小・中学生や高校生にマスクを配付するなどの善政がカジノより期待される。 | 参考 | |
| 2294 | 横浜統合型リゾートに反対します。横浜市民にとって不用不急な案件です。2020年度のIR関連予算は、全額新型コロナウイルス対策に振り向けることを要望します。 | 参考 | |
| 2295 | IRは集客と収益を目的としているが、カジノを除くIR施設が早急に必要なのかどうか、即ち巨大な予算を投じて実施する社会的優先順位が高いものか、どうか十分議論する必要がある。新型コロナ肺炎惨禍のもと現況の衛生対策、保険医療の大幅な強化、経済的被害を被っているサービス業等への支援などが高い優先順位である。現市長はかような状況でもIRを優先または同レベルとしようとするのか？ | 参考 | |
| 2296 | それより4億の予算を、コロナ対策に使って下さい！毎日「コロナ」が問題視されているのに、市長も県知事の顔も声も見えない。感染症病床の少ない神奈川、横浜は医療体制大丈夫なののでしょうか？大変不安です。 | 参考 | |
| 2297 | IR誘致関連費として4億円が計上されていますがそのお金も市民の納めた血税です。4億円ものお金をコロナ対策やほんとうの意味での中学校給食など市民生活に関する事に利用していただきたいと思えます | 参考 | |
| 2298 | 今、コロナウイルス感染が広がっています。カジノではなく、医療の充実を！！大規模開発に税金を使うのではなく、市民の生活、くらしに使うべきです！！ | 参考 | |
| 2299 | カジノにかけるお金があるのであれば、コロナ対策にお金をかけて下さい | 参考 | |
| 2300 | コロナで大変な時、IR予算にそれに4億円と、それをコロナ被害で困っている方々の対策にわりあてゝほしいと思えます。カジノは絶対反対です | 参考 | |
| 2301 | 新型コロナウイルス感染症が、危機的な状況の時に、カジノなどやっている場合ではありません！予算はカジノではなく、コロナ対策のために使いなさい！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2302 | 新型コロナウイルス感染が拡大するなか、隔離する病院・病床などが極めて足りないなか、病院の建設・充実をすることや、必要な医療体制を整備することが急務であり、保育園や学童保育も足りません。マスクがありません。そんな時に、カジノ・IR誘致で、莫大なお金を使うことなど絶対に反対です。 | 参考 | <p>現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5,743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直していきます。</p> <p>一方で、IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 2303 | こんな時期に進めず凍結して下さい。経済も崩壊しそうなのにお金を必要な人に回して下さい。 | 参考 | |
| 2304 | カジノ・IR誘致に向けて進めていると聞きましたが、今は、新型コロナウイルス感染の対策が最優先だし予算もコロナ対策に向けるべきです。 | 参考 | |
| 2305 | 現在、新型コロナウイルスへの対策が、緊急の課題となっているときに、市民の税金は市民の命と暮らしを守るために注入していただきたいと思いますので、IRの実施に向けた動きは、凍結してください。 | 参考 | |
| 2306 | 絶対反対です。コロナウイルス感染拡大のこの時期IRじゃないでしょう！！市民の命を守る、医療充実に税金を使ってください。この事態が終息するまで計画をストップするのが行政の責任です！！ | 参考 | |
| 2307 | 市長は、青葉区ほか6区でIR市民説明会を中断しているにもかかわらず、カジノ推進のため4億円の予算を強行採決してしまいました。いまは、「不要不急のカジノ推進」より、コロナ感染防止対策にエネルギーを集中すべきです。 | 参考 | |
| 2308 | 新型コロナウイルス感染症が、危機的な状況の時に、カジノなどやっている場合ではありません！カジノよりコロナ対策を！予算はカジノではなく、コロナ対策のために使いなさい！ | 参考 | |
| 2309 | 今、世界中がコロナの影響で日本のカジノどころではありません。そんな金があるなら、感染症対策にお金を使って下さい。 | 参考 | |
| 2310 | 特に若者には、カジノでなく、図書館、美術館、博物館、を提供し、中学校給食を実施するなど、本当に役立つ税の使い方をして欲しいです。特に今は、コロナ対策に全力を挙げ、私たちの市民税を投入するべきだと思います。 | 参考 | |
| 2311 | 「カジノ」の予算を新型コロナウイルスにまわせ！！ | 参考 | |
| 2312 | 2019、12月2億6千万円の誘致推進補正予算を付け、新年度にも4億計上。そのお金は、市民の私たちに今すぐ、給付してほしい。コロナウイルスへの対策費や最前線で働く医療関係者やお店や経営が困難な小規模事業者、高齢者、子ども、全ての市民に回して下さい。未来の心配より、今をしっかりと、誘導してほしいです。 | 参考 | |
| 2313 | 横浜市としては、IR事業について凍結して、IR推進予算の4億円をコロナ対策の一部に振り替えるべきだと考えます。 | 参考 | |
| 2314 | 通ってしまったIRの予算をコロナウイルス感染予防対策に向けて強化するべきです。 | 参考 | |
| 2315 | カジノよりコロナ対策を！①4億円のカジノ推進予算はコロナ対策に！②自しゆく要請と補償はセットで！ | 参考 | |
| 2316 | 市民の税金は市民のために使うべき！コロナ対策にお金が必要な時に、それこそ不要なカジノにお金を（市民の税金を）使うことは許せません。何も生み出さずマイナスの投資。 | 参考 | |
| 2317 | 今現在、世界中に広がっているコロナウイルス対策を考えなければいけない時にカジノ賭博ですか！！そのお金をかけるなら、現在のコロナに対する医療・休業保険にかけて欲しいものです！！絶対カジノ反対です！！ | 参考 | |
| 2318 | カジノ誘致に断固反対します。前代未聞のこの事体、コロナの対応にこのカジノの予算を全部、割りあてて欲しいと思います。 | 参考 | |
| 2319 | 大前提カジノは横浜にいません。（その前に）今、新型コロナ感染症対策に全力を注ぐべきです。1人1人の生命を守ること。検査体制、医療体制、自粛と補償は一体。カジノや大型開発の予算はすべて新型コロナ感染症対策に。IR・カジノの動きは当面ストップさせるべきです。栄区では市民説明会も開いていません。 | 参考 | |
| 2320 | 新型コロナウイルスの感染拡大が市民の生活を脅かしている今、カジノ誘致に4億円もの予算を使うのではなく、コロナウイルスの対策に使うべきです。横浜にカジノはいりません。子どもの未来にとってもカジノは不要です。IRカジノ誘致に反対します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2321 | 今、新型コロナウイルスで市民は大変です。カジノを作るお金を使って頂きたいです。 | 参考 | <p>現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5.743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直してまいります。</p> <p>一方で、1Rに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、1Rについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 2322 | 今、カジノ推進なんてバカ言っていないでどうか全力でコロナ対策にこそ取り組んで下さい！カジノで泣く人々をつくり出す愚をおかしてはいけません。予算はコロナ対策に使ってほしい！！でないと、死人が出ますから。 | 参考 | |
| 2323 | 今のコロナウイルスの感染状況を考えたら、カジノを進めるための予算を確保し、人の数をふやすより、横浜市としてもカジノ推進は、一旦中止し、もっと本気でコロナ対策にお金と人を使うべきではないか。 | 参考 | |
| 2324 | 現在、コロナウイルスで、大変な状況にある中で、1Rに予算をかける事が果たして市民にとって良いことかどうか再考ください。 | 参考 | |
| 2325 | コロナと合わせて既に株価暴落など一連の経済危機もある。その中で横浜市が提案しなければならないことは景気対策であり、1Rは景気対策に連動しないので直ちに緊急の対策立案が課題のハズである。景気対策をまず示してほしいまた、オリンピックの開催も不明確ですますます横浜市の危機が増える。それを無視した1R計画推進は意味がない。新たな環境下でのスケジュールを引き直してほしい。 | 参考 | |
| 2326 | 未だに終息が判らないコロナウイルスと違う原因からの感染が新たに起こった場合の事を考えますと、益々今現在と、これからの横浜市民の健康をもっと考えたことに税金を使っていたいただきたいと思います。 | 参考 | |
| 2327 | 『(3)横浜のポテンシャル』としてクルーズ港の存在が挙げられていますが今回の新型コロナウイルスが、豪華客船の艦内で集団感染した事実をみれば今後世界のクルーズ船事業は大きく退潮することは避けられないでしょう。とすれば、せっかく充実した1R設備に投資をしても、それは採算が合うのでしょうか？パブコメ資料には、投資計画・収支計画が明示されていませんでしたが、少なくともこの資料を作成した時点から投資環境は大きく変わったと思います。みなとみらい地区はクルーズ船からのアクセスがよいということも現在では『クルーズ船の客以外には不便』とかえって弱点になりかねません。私は横浜市の観光振興のための1Rには賛成という立場ですが、少なくとも事業環境がこれほど激変した以上、もう一度計画を構想段階から練り直すべきと考えます。 | 参考 | |
| 2328 | 市民の反対意見が多い1R計画の推進を一旦停止し、市民が切望する新型コロナウイルス感染拡大に伴う様々な課題解決への取り組みが先決であり、予算を優先的に振り替えるべきであると考え。この柔軟な行動こそが、頼れる行政であり、安心・安全な横浜を築き上げる原動力となるものと信じています。迅速な検討・見直しを表明する事で、市民の信頼を勝ち取ってください。 | 参考 | |
| 2329 | 1R素案について、反対の意見を述べます。まず、コロナのPCR検査について横浜市の検査数が少ないなどの状況が認められるにもかかわらず、1R素案について意見募集を行なっていること自体、問題です。少なくとも、コロナウイルスが収束するまで1R事業は停止し、市役所職員をウイルス検査の検体運搬や医療機関や介護施設のマスク等衛生用品の不足の調査や手配、自粛要請や一斉休校により経済的問題が発生している事業者や個人の対応などに割くべきです。コロナウイルス対応に数年を要するとの専門家意見がある中、国際情勢や経済状況を無視して、盲目的に1R事業を進めて行こうとしていること自体、暴挙としか思えません。 | 参考 | |
| 2330 | コロナ対策での 市長の存在は 全く見えません。カジノに回す予算エネルギーを コロナから横浜市民を守る事に使って下さい。 | 参考 | |
| 2331 | 新型コロナウイルスの感染が拡大した影響で、旅行者の減少は5か月連続です。感染拡大による日本の観光への影響は一段と深刻になっています。横浜＝コロナ対策失敗というレッテルをはられている中で需要が回復することは非常に厳しい。その中で1R推進などという政策を進めていること自身がおかしい。1R推進を再考すべきだと考える。カジノなし、カジノ船に依存しないビジネスモデルを提供してほしい。 | 参考 | |
| 2332 | 新聞報道でも見ましたが、誘致の推進事業費4億円を即刻、コロナ対策に移管してください。どうか誘致を撤回していただきますよう、伏してお願い申し上げます。 | 参考 | |
| 2333 | カジノ誘致に使う税金があるなら、今、問題のコロナ対策にお金を使うようにしてください。 | 参考 | |
| 2334 | おそらくこれから来るであろう、急激な景気悪化で、カジノどころではなくなるのは明白。やめましょう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2335 | 今回のIRは一旦白紙にすべきと考えます。理由は何点かあります。①コロナ対策を最優先しその予算をコロナ対策に回す①コロナ対策について・コロナ対策に莫大な費用がかかるので市民の半数以上が反対しているIR関連を停止しコロナ対策に回すのは当然のことです。・広大な土地なので当面、コロナ対策用に臨時病院や隔離棟等の用地として押さえておくこと。 | 参考 | 現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5,743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直していきます。 |
| 2336 | 現在世界中は新型コロナウイルスの感染予防と重傷者治療に追われています。そんな状況の下で、「横浜の成長産業はIRカジノ」などと言っている場合でしょうか。その予算を感染拡大防止のため、即座に検査・医療体制の充実に向けて振り向けてもらいたいと思います。 | 参考 | 一方で、IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。 |
| 2337 | 今回のコロナによるインバウンド施策崩壊と今回の素案から見る背景を鑑みるとIRは時期尚早に思える。パシフィコがあり、現在のホテル開発状況を見れば宿泊キャパは整っているように感じる。企業招致については国内企業にとどまっている感が強い。法人税等の確保を見据えた資金確保で有れば海外有力企業を誘致する活動の方が、治安、雇用、県内ホテルの有効活用に適している。空港、港、鉄道がこれだけ潤沢であり、山、川、海を有してエネルギー確保がしやすい立地を生かせば充分海外企業には魅力的だと感じる。 | 参考 | |
| 2338 | 新型コロナが蔓延している今、カジノにかかるお金を新型コロナの予防や対策に使うのが今一番大切ではないでしょうか。この病気がはじまってすでに4ヵ月たとうとしています。国や自治体からなんの補償もない今、どう生活していけばいいのですか。横浜にそんな余裕はないはず。それより新型コロナから市民の命を守ってください。横浜にカジノは要りません。即やめてください。 | 参考 | |
| 2339 | 横浜市でのIR（統合型リゾート）への取組・実現に対して反対です。以前から、予算をつぎ込んでのギャンブル施設をメインとした開発には反対でしたが、今回のコロナ感染症の流行により、大きく今後の見通し（収益構造）が変わってきたのは間違いないと思われます。さらに、将来の不安定な計画に予算や人員・時間を取られるよりも、コロナ対策に全力を注ぐのは考えるまでも無いと思われます。最低でも、コロナ感染症が終息するまでは、IR（統合型リゾート）については凍結をお願い致します。 | 参考 | |
| 2340 | 新型コロナウイルスの猛威を考慮すれば、重篤者数の増加により崩壊が懸念されております医療体制の整備や経済的ダメージの抑制等に予算を振り向けた方が、余程、市民も安心することでしょう。ましてやカジノともなりますと、悪条件が揃い過ぎております。 | 参考 | |
| 2341 | 現在新型コロナの感染が大問題になっています。IR整備のための財源や、整備局の人員を、コロナ対策に重点的に配置替えした方が良いのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 2342 | カジノに市税を使うのなら、コロナ対策に使うべきです。 | 参考 | |
| 2343 | 各新聞社の調査では6割以上が反対の結果がでているにもかかわらず押し進めようとしていること。市長説明会を18区でやる予定だったが、コロナの影響で戸塚を含めた6区は説明を受けていない市民が多くいる。それなのに、事業がすすんでいる。コロナで大変な時期に、IR（カジノ）に4億も市民税を使うならコロナ対策に使うべきだと思う。 | 参考 | |
| 2344 | このコロナ騒ぎのさなかに、まさかIRに予算を使うようなバカな真似はしないでいただきたいです。一部の富裕層の利益のためではなく、多くの市民のための市政運営をよろしく願います。 | 参考 | |
| 2345 | コロナで大変な時期、大切な市民のお金を使いIRピーアール作戦に450万円も掛けて配信。呆れてしまう？大切なお金をこの様な支出に使い20分もの動画に誰が付き合うのか？ | 参考 | |
| 2346 | 海外からお金を持った富裕層がクルーズ船にでものって遊びに来てくれてカジノでお金を落としてくれたらいいなというような甘い考えの根拠は木っ端みじんに飛び去ってしまったと思っています。まだそんな夢を見て、私たち市民の未来を危うくさせようとしているのでしょうか。他にも数々の疑念があります。しかし今はそのことに答えていただくなくても結構です。ひとまず、カジノ推進案はたなあげにして、その是非について議論するのはコロナが収まってからにしましょう。 | 参考 | |
| 2347 | ぜひIR事業は辞めていただき、その予算をコロナ対策費など市民が待ったなし！で必要としている費用に充てていただけることを切に願います。 | 参考 | |
| 2348 | 先日成立した4億の予算。今はコロナ対策が優先ではないのですか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2349 | 市長は、コロナ対策で何も発信していないのではないのでしょうか？世界全体がコロナ問題で危機感を持っているとき、カジノ推進に執念をもって推進している横浜市（および担当部門・職員の皆さんも）異常ではないでしょうか。 | 参考 | 現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5,743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直していきます。 |
| 2350 | カジノの悪影響も今は問題視されています。開業当初は話題になり、収益をあげるかもしれませんが、このような感染症拡大すると、収益はストップして人件費や維持費だけが重くのしかかります。また、もしコロナウイルスのような感染症が出てきたら、それを広げるようなものにもなります。長い目で見た時に、カジノは経済的にも市民生活にとってもプラスにはなりません。 | 参考 | 一方で、1Rに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、1Rについても検討準備を進めていきます。 |
| 2351 | *3月24日横浜市議会2020年度一般会計当初予算案審議最終日、1R・カジノ誘致の推進事業費4億円を「予算を新型コロナウイルスの対策に回すべき」などとの市民からの意見にも全く耳を傾けようとしませんでした。 | 参考 | |
| 2352 | 一旦カジノ誘致方針を白紙に戻し関連予算をすべて執行停止して、コロナ対策に振り向けるように決断してください。不要不急なカジノ誘致方針を今すぐに白紙撤回して、新型コロナウイルス感染症対策に集中してください。 | 参考 | |
| 2353 | 一旦カジノ誘致方針を白紙に戻し関連予算をすべて執行停止して、コロナ対策に振り向けるように決断してください。不要不急なカジノ誘致方針を今すぐに白紙撤回して、新型コロナウイルス感染症対策に集中してください。 | 参考 | |
| 2354 | 横浜1Rについては明確に反対致します。今はご存知の通り、日本は新型コロナウイルスで大変な状況です。横浜市はそちらの方に対応を集中すべきで、この時期に予算を4億円もたてたことは非常に遺憾です。今この時期に、市として本当に何をなすべきなのか再考をお願い致します。 | 参考 | |
| 2355 | 世界中、コロナの感染拡大が止まりません。このような中、住民説明会の未実施区もあるのに（急遽、動画を作ったのですか。予算も時間も医療に使ってください）目を盗むように1Rのパブコメをすることが理解できません。 | 参考 | |
| 2356 | カジノ誘致よりも優先させなければならない新型コロナ対策に、税金と市職員の力を使ってください。一旦カジノ誘致方針を白紙に戻し関連予算をすべて執行停止して、コロナ対策に振り向けるように決断してください。不要不急どころか有害なカジノ誘致方針を今すぐに白紙撤回して、新型コロナウイルス感染症対策に集中してください。どうかお願いいたします。 | 参考 | |
| 2357 | このコロナで急務の対応が必要な中、1R予算を4億円投入するのは非常に残念でした。安心して過ごせる街作りをお願いいたします。 | 参考 | |
| 2358 | 医療現場だけでなく、介護・教育・保育現場等、そしてたくさんの市民がコロナ対応で大変な思いをしています。役所・保健所職員の皆さまも日々ご尽力くださっている事と思います。緊急事態です。5億円あったら、今現在必要としている現場・市民に使ってください。心からよろしくお願いします。 | 参考 | |
| 2359 | 市民の税金は、市民のために！カジノ予算は、新型コロナで困窮している中小企業や飲食店の救済に！ | 参考 | |
| 2360 | 多くの市民がコロナの不安をもっているときにカジノ予算を通すなどもっての外です。どうか市民のために市民の方を向いて市政を動かしてください。 | 参考 | |
| 2361 | 2020年度の1R予算は可決したが、予算執行は停止すること。失った生命は取り返せないが失ったお金はいずれ取り返せる。1R予算（ヒト、カネ、モノ）はコロナ対策に振り当てるべきである。 | 参考 | |
| 2362 | 国の1Rスケジュール見直し 国の1Rスケジュール見直しを政府へ要求すること。失った生命は取り返せないが失ったお金はいずれ取り返せる。国の1Rスケジュールを後ろ倒ししても失うものはないはず。 | 参考 | |
| 2363 | 通ってしまった1Rの予算をコロナウイルス感染予防対策に向けて強化するべきです。 | 参考 | |
| 2364 | コロナで大変な時に、カジノに4億も市税を使うならコロナ対策に使って頂けないでしょうか | 参考 | |
| 2365 | 今すぐ人命救助にシフトせよ。今すぐ全面的に人命救助を第一に考えてください。すべての財力、人力を人命救助に！ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2366 | いまは新型コロナウイルスで打撃を受けている市民のために施策を練り、金を使うべきときです。国から外出自粛が要請され、賛成派も反対派もともに動けない現状での誘致決定は後々の禍根を残します。市民の分断が進めば治安の悪化にもなり、I Rが実現しても望んだ結果は得られないはず。市長には、一旦延期という英断を下していただきたく思います。 | 参考 | <p>現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5,743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直していきます。</p> <p>一方で、I Rに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、I Rについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 2367 | 私の意見は、横浜I R反対です。横浜I Rの白紙を求めます。なによりも優先すべきなのは世界で1500万人が死ぬと言われる新型コロナウイルス世界的危機に対処することです。I Rを白紙にして限りある予算、資源を使って全力で実行してください。 | 参考 | |
| 2368 | 今般の状況下で行政が取り組むべきは、ウイルス感染拡大の防止策であり、感染拡大が社会・経済に及ぼす影響への対策です。I Rの推進をスケジュールどおり行えば、市民の信頼を大きく損なうことは確実です。日本最大の基礎自治体として、また近隣市町への影響を考え、今必要とされる市民の暮らしを支えることに全力をあげることを要望し、I Rの推進については立ち止まり、今年度一般会計当初予算にI R推進事業費4億円を計上し推し進めようとしていますが、今は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を優先することを強く求めます。 | 参考 | |
| 2369 | 市民生活の最大の危機にある今、カジノに使う予算も資源もありません。 | 参考 | |
| 2370 | コロナで危機的な経済・市民生活を立て直すためにもカジノの予算を回してください。今、カジノ、リゾート施設など言っている場合ですか？ | 参考 | |
| 2371 | コロナの対策（病床の確保や人工呼吸器）など他にお金をかけなきゃいけないところは多くあるはず。バカバカしすぎるので白紙にするべき。 | 参考 | |
| 2372 | 反対です。市民からこれだけ反対意見が多く出ているのに強行する姿勢にも強く違和感を持っています。その分の予算をコロナ対策にあてて欲しい。 | 参考 | |
| 2373 | 金食い虫のカジノ対策はやめてください。4億円もパット使うお金があるなら市の独自のコロナ対策がっつりでも当然です。外国からの観光客を相手にする政策も今後期待できないことも明らかになりました。カジノに関する市の政策にはすべて反対です。今すぐカジノ誘致を断念してください。 | 参考 | |
| 2374 | 私は反対です。やるにしても、今じゃない。コロナウイルスでみんな苦しんでいます。なんとかそちらへ予算を回すことは出来ませんか？ | 参考 | |
| 2375 | 新型ウィルス騒ぎがますます大変な中、予算編成の為にもカジノの為の予算は計上見合わせるべきと考えます。 | 参考 | |
| 2376 | 今、カジノを含むI R事業を推進することほど「不用不急」な行動はありません。コロナ対策の費用は、一旦カジノ誘致方針を白紙に戻し関連予算をすべて執行停止すればコロナ対策に振り向けることができます。その人員をコロナ対策に振り向けることもできます。 | 参考 | |
| 2377 | 私はカジノI Rに反対します。カジノI R誘致に関する一切の行政手続きを即時中止し、2020年度予算のカジノI R推進関係費を新型コロナウイルス感染防止対策費に全額組み替えることを要求します。 | 参考 | |
| 2378 | 今はI R型カジノをやっている場合ではありません。I R型カジノに費やしている人・物・金と情熱を新型コロナ対策に注力されることを切に願います。 | 参考 | |
| 2379 | 横浜市カジノ予算について／カジノ反対、予算化も不要。コロナ対策を優先し、カジノ構想は、全面見直しすべき。 | 参考 | |
| 2380 | 市内の病院でも新型コロナ感染者が出て横浜市も深刻な状態になる中、I Rに予算が使われることには反対です。 | 参考 | |
| 2381 | 特にいまは、コロナウイルス騒動で生活もままならない住民が増えています。市長の公約違反であるカジノ・I R関連の一切を撤回し、自治体独自でコロナウイルスの影響を受けている住民に何かしらの補助等を検討してください。 | 参考 | |
| 2382 | ・I R開発のための莫大な予算は市民の生命と健康を維持するための費用に大胆に振り分けるべきです。現時点での市民の生命と健康が危機にさらされている状況では、いったん計画を白紙撤回し、病院設備の充実などに専念すべきです。 | 参考 | |
| 2383 | 新型コロナウイルスで生活を脅かされている方々のために予算を使うべきではないでしょうか？ | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2384 | 税金が減少していくのは、市政が今まで無策だったからです。観光業は不安定な産業で、税金が見込めるものではありません。このコロナ禍で十分にわかったことです。教育や福祉の施策に力を注ぎ、子育て世代を取り込むほうが健全に税金を維持することができます。税金がある現在でさえ、新型コロナウイルス対策は当初予算に計上されず、横浜市が対策を講じ、市民の命を守っていると言えないのです。このコロナ禍でも、こうしてカジノ誘致に突き進むこと自体がおかしいのです。 | 参考 | <p>現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5,743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直していきます。</p> <p>一方で、IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。</p> |
| 2385 | 現在はコロナ対策に使っていただきたいです。市民の税金を市民の生活に直接還元するよう、使っていただきたいです。 | 参考 | |
| 2386 | 人工呼吸器や医療者確保、医療崩壊しない新ウォークスルー検査、すぐにやらなければいけないことが、優先しなければいけないことがあるだろう。横浜IRで未来の横浜は築けない。医療崩壊の危機である今無駄に使う予算も時間も無い。 | 参考 | |
| 2387 | このコロナ騒ぎのさなかに、まさかIRに予算を使うようなバカな真似はしないでいただきたいです。一部の富裕層の利益のためではなく、多くの市民のための市政運営をよろしくお願いします。 | 参考 | |
| 2388 | なぜこの時期にカジノIR予算を通すのか意味がわからない。カジノ利権よりも、喫緊で下記検討すべき。・コロナウィルス禍の対策費・病院統廃合の中止、再検討・給食の再検討・難病対策市民のために予算を使ってほしい。 | 参考 | |
| 2389 | 特に、今、世界は新型コロナウイルスのパンデミックの最中です。横浜市はIRのために投入している全ての人材、予算をコロナ対策に振り替えるべきです。IRの手続き停止を求めます。 | 参考 | |
| 2390 | COVID19の対応が喫緊であり、また影響が1年先に収束するかも確定でないようななか、来訪者を想定した施設を市の第一の施策として行うことに、納税者として強く抗議します。新年度以降、IR推進のため予算も人員も増やしているようですが市民の今と今後の生活を守るために、IRなどという施設は緊急性は相対的に低いものです。 | 参考 | |
| 2391 | 現在、新型肺炎が深刻な状態で国も民間も緊張している中、横浜市はIR関連の予算を通過させました。この一件からもわかる通り、全く市民の目線で進めることのない計画です。白紙撤回を求めます。 | 参考 | |
| 2392 | 現在、新型肺炎が深刻な状態で国も民間も緊張している中、横浜市はIR関連の予算を通過させました。この一件からもわかる通り、全く市民の目線で進めることのない計画です。白紙撤回を求めます。 | 参考 | |
| 2393 | 素案は実情にそぐわない。市は、素案を撤回し、IRカジノ推進をやめるべきだ。コロナ対策で今後どのくらいの金額が必要になるかわからない。市の財源をコロナ対策に備える必要はないのか | 参考 | |
| 2394 | カジノ推進課の職員が大幅に増員されカジノ・IRに向け邁進していることを知りました。世界中が新型コロナウィルスで大騒動になっている今、市長のコロナに対するメッセージは聞こえてきません。今はカジノよりコロナ対策に重点を置いた職員配置が必要です。 | 参考 | |
| 2395 | 今カジノのリサーチに四億円かけてる場合ではない。税金はコロナ対策、自宅で待機している子供たちに教育の機会を設ける事に使って下さい。 | 参考 | |
| 2396 | 今新型コロナウイルスが全世界であらば増えていきます。今は市民の安全安心のために税金を使ってください。 | 参考 | |
| 2397 | IRを可決したと伺いました。現在その前に税金の使い道としてコロナ関連の社会保障などが優先ではないのでしょうか？また、IRの用途として社会保障は書いてありますが優先ではありません。人命…医療や社会保障を優先すべき事態の時に慌てて可決した理由はなんなのでしょうか。その予算は今すぐなら医療や社会保障整備、また、教育の整備など次世代子どもを含む市民へ税金を返す時ではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 2398 | 「新型コロナウイルス感染はこれからさらに世界的に蔓延し、長期化します！カジノと新劇場に回そうとしている過大な予算と人員と時間は、すべて緊急医療体制と医療福祉支援システムの再構築と、これから訪れるリーマンショックを超える世界不況に備えた経営・雇用・生活保障に回すべきです！ | 参考 | |
| 2399 | やはりカジノはいりません。カジノより、コロナ対策に予算を。 | 参考 | |
| 2400 | コロナウィルスによる一連の動きで、しばらくのあいだ、来街というのはどの地域も極めて難しい行動となる。データにもあった、法人の呼び込みによる法人税の増加を狙ったほうが、定期的な収入になる。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2401 | IRの予算を新型コロナウイルス対策に充ててください。今の日本に、横浜に早急に必要なのは、IRではなく「新型コロナウイルス対策」です。人がバタバタ倒れて生活に困窮してしまつては手が付けられなくなります。健康維持には、特に低所得者や自営業者のためには、国民健康保険が大事です。IR予算を国民健康保険料の減免に充ててください。生活の安定のために、住居確保給付金の普及及び迅速な給付を行ってください。その事業のためにIR予算を充ててください。保健所の人員確保として経験者や退職者を充てることが有効であると考えられます。そのためにIR予算を充ててください。医療崩壊を防ぐために、早急な医療機関支援が必要です。経験者や退職者を募ること、その方たちが安心して働けるように保育・介護を確保することのためにIR予算を充ててください。 | 参考 | 現在も、新型コロナウイルスの終息に向け、国を挙げた取組が進められる中、本市も5月の補正予算で過去最高となる5,743億円、さらに、6月には「感染症対策の強化」と「経済再生の実現」を両輪とする79事業 総額187億円の第二次補正予算案を取りまとめるなど、新型コロナウイルス感染症に対して万全の体制で臨み、市内の経済をしっかりと立て直していきます。 一方で、IRに限らず、政策的な取組については、市政全体を見渡し、スケジュールなども考慮しながら、進めていかなければなりません。 新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組んだ上で、将来の備えとして、IRについても検討準備を進めていきます。 |
| 2402 | IR誘致賛成します。実施方針を早くつくり、IRオペレータを早期に決定すべき。IRオペレータと早期に区域整備計画を決めないとい市民の意見募集が間にあわないよ。 | 参考 | IRはナショナルプロジェクトであるため、国の定めるスケジュールを踏まえ、手続きを進めていく必要があります。 今後、国の基本方針等を踏まえて「実施方針」を策定、公表し、事業者を公募します。選定される事業者と共同で「区域整備計画」を作成し、市会の議決等を経て、国に認定申請を行い、2020年代後半のIR開業に向けて取組を進めていきます。〈方向性P.101〉 |
| 2403 | 事業者公募の際には市内発生の条件を設定するようお願いいたします | 参考 | IR事業者の公募、区域整備計画の認定申請など、事業の進捗にあわせて市民の皆様にご説明を続けていきます。 |
| 2404 | 結論は横浜市にカジノはいりません。統合型IRの実施に向けた全ての施策には反対します。理由刑法に賭博は禁止されています。なぜ賭博が禁止されているかはわざわざ説明するまでもありません。IR基本法なるものは、刑法に違反した法律であり国会で認められたからと言って実際に自治体が賭博施設を誘致なり建設なりを推進すること自体刑法違反であります。 | 参考 | |
| 2405 | 横浜IRに賛成です。区域整備計画の策定を肅々と進めてください。 | 参考 | |
| 2406 | カジノのスケジュールについて、政府の「基本方針」作成スケジュールが大幅に遅れている。当初2020年1月のカジノ管理委員会設置後のすぐに正式決定としてきたが、決定を延期。2019年度中も間に合わず、新年度にずれ込んでいる。市長らは昨年9月に国交省が発表した基本方針案で事足りるかのような発言を第3回定例会で繰り返しているが、決定的に異なる。特定複合観光施設区域整備法第5条によって区域整備に当たっては事前に基本方針を定めることとなっている。その際「国交大臣は基本方針を定めようとするときには、関係行政機関の長に協議するとともに、特定複合観光施設区域整備推進本部の決定を経なければならぬ」と定められている。つまり「案」とは異なる決定になる可能性がある。こうしたルールを抜きにした「方向性」は、極めて抽象的な内容に過ぎない。特に基本方針の内容が盛り込まれていないのであるから、単なる絵空事ということになる。 | 参考 | |
| 2407 | 長い将来に亘る横浜市の幸せは焦って得られるモノではなく、寧ろ焦ること今日まで長い年月をかけて築かれてきた大切な横浜の価値を失いかねない。それ故、先ずは<横浜IR>はペンディングとすべきである。 | 参考 | |
| 2408 | 「IRの効果」では、「市財政の改善への貢献」として「増収効果」を見積った数字がだされています。その「収入」については、事業者と「土地契約」と同等な契約を結ぶのですか。明らかにすべきです。 | 参考 | |
| 2409 | 市長は市民の理解を求め、説明会を重ねる、という。何を理解させよう、というのでしょうか。 | 参考 | |
| 2410 | 自治体のIR事業者の自治体の誘致という形をとりながら、自治体間を競わせ、限られた自治体をピックアップするのは国である。徹頭徹尾、中央集権であり、地方自治体の決定権（自治権）とは相いれない。むしろ、自治体に不当な犠牲を強いる事業モデルではないか。 | 参考 | |
| 2411 | IR事業に賛成にするにせよ、反対するにせよ、事業効果をどのように見積るのかは、極めて重要な点です。それを見て、横浜IR賛成反対の態度さえ決することになるかもしれない、そんな数字（効果）です。にもかかわらず、その数字には幅があり、固まったものになっていません。その点について「広報」では、注意深く、次の注記を書き込んでいました。「効果（数値）」については事業者から提供された情報で、「それらの数値については、それらの情報を基に、委託先の監査法人が整理したもの」だということです。「方向性（素案）」では、更に、「整理」に加えて「確認」がはいりました。貴重な加筆です。いったい、何をどう確認したのですか。そもそも、そこをいう「委託先の監査法人」というのは何ですか？「効果」を調査し、市に報告する仕事（調査）を請け負わせた業者（法人）」ということでしょうか。それは、当然、調査対象となる業者との利害関係はない所だと思いますが、市はその点の検証をおこなっているのですか。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2412 | <p>今回の「方向性（素案）」は、その「実施方針・募集要項」に先立つものです。「実施方針・募集要項」の作成は、「方向性（素案）」を含むこれまで市長ほか市当局が発表し、言及してきた横浜カジノ付きIRについての考え方を抜きに行けないものです。とした時、その考え方への賛否、批判、提言を含む市民の意見を踏まえない「実施方針・募集要項」の取りまとめは、自治体民主主義の観点から認め難いものです。「住民投票で民意を問って欲しい。市長はいかがお考えか」という説明会での市民の質問がありましたが、それに対し、市長は「その意思なし」と回答しました。では、どういう民意反映の仕方を考えるのか。特に、「実施方針・募集要項」についてどうするのでしょうか。横浜市として事業者に提起するIRの在り方について経済効果を含む「目標と水準」をどのような内容で設定するのでしょうか。業者に対してはともかくとしても、市民に対して、最後まで、明示することなく業者選びに入るのでしょうか。そういうすすめ方を見直すよう求めます。</p> | 参考 | <p>IRはナショナルプロジェクトであるため、国の定めるスケジュールを踏まえ、手続きを進めていく必要があります。</p> <p>今後、国の基本方針等を踏まえて「実施方針」を策定、公表し、事業者を公募します。選定される事業者と共同で「区域整備計画」を作成し、市会の議決等を経て、国に認定申請を行い、2020年代後半のIR開業に向けて取組を進めていきます。＜方向性 P.101＞</p> <p>IR事業者の公募、区域整備計画の認定申請など、事業の進捗にあわせて市民の皆様丁寧に説明を続けていきます。</p> |
| 2413 | <p>横浜市の提起することになっている「目標と水準」は、今なお、「未定」と言われます。「方向性（素案）」は、ほかならぬ、その点での市の考え方を示し市民の意見を問うというものであるべきではなかったのですか。それが「未定」ということで、意見の出しようにも出せない事態ですが、今までの市の「説明」や「方向性（素案）」のかぎりから想定される、市の考えに対する正当な意見は、市の計画に取り入れるということであってほしいと思います。</p> | 参考 | |
| 2414 | <p>「今後、区域整備計画を策定するまでに、数値を明らかにします」の点です。かさねて要望します。それが出たところで、市民が受け入れるかどうかは、別のことです。カジノ付きIRの是非は市民が決めるのです。ちなみに、「区域整備計画を策定するまで」とはいつのことなのか。①区域整備計画を策定するその始りの前②区域整備計画の策定の始まりから終わるまで③区域整備計画の策定がまさに終わったその段階。</p> | 参考 | |
| 2415 | <p>〈方向性（素案）〉には、そっくり、実施方針・募集要項が欠けています。欠けている限りで〈意見表明〉を求めるとするのは、詐欺に近いやり方です。〈実施方針・募集要項〉の策定にたっぷり時間をとるのではなく、を市民の目に触れさせないまま、〈区域整備計画〉に入ってしまう流れを恐れます。そうではないとすれば、横浜IRのもっとも根本的な内容であり、横浜市自身の考えとして提案される、IRの眼目（実施方針・募集要項）案を広くを市民に周知するとともに、市民の、意見表明の機会を特別に用意すべきです。</p> | 参考 | |
| 2416 | <p>IR区域の整備の上で、どういう「整備計画」を持つのかは、単にそれがIR整備法で、国にIR誘致を申請するうえで必要とされるというだけでなく、極めて、重要です。IRの効果の目標は、整備計画を策定する前に定められ、整備計画は、それに基づいて行われなくてはなりません。計画化は、高度な目的意識的作業です。横浜市は横浜市が選定するIR事業者と「相談して決める」（市長）とっていますが、目標値は、事業者が一本に絞られる前の段階で、決められていなくてはならないものです。横浜市自身として、「経済波及効果」「雇用創出効果」「横浜市の増収効果」をどの程度にみるのか、その「目標と水準」を決めることです。それは、事業者の数字ではなく、横浜市の決める目標値です。どの程度の水準を「経済波及効果」、「雇用創出効果」、「増収効果」として、「目標」とするのか。これは事業者が決まらなかったら決まらないという数字ではない。横浜市がどう考えるかが問われるのです。また、それを裏打ちする施設規模配置などをどのようなものにするか。最終的に、どう事業者を決定するのか。色々な事業者が、横浜市の目標値やレベルをどの様にクリアする計画を競い合うことになるでしょう。その上で、どういう決定をするのか。設計計画内容の評価と投資金額のみによるのか、それ以外の要素も加味した、「総合的判断」によるのか。一つの事業者への決め方は極めて重大です。その際、特に、重要な点は、IR全体の収益をどのようなものとして計画するのか、また、その上で、カジノの挙げる収益とその全体における比率をどのくらいに置くのかということ。それは、どのくらいの規模のカジノを開設するのかということとも、深く結びついてくるからです。その目標とレベルをどの程度にするか。それによって、IRにおけるカジノの規模自身をどのようなものにするのかが左右されるのです。大きく広い賭博場であればあるだけ収益は多くなるという公式が成り立つかどうかは検討を必要とするでしょう。</p> | 参考 | |
| 2417 | <p>すでに、横浜市は「聞き取り」の形で多くの業者と接触しています。すでに、本命業者からの要望を受け入れ（聞き取って）しまっているのでしょうか。現段階がどうい実状かを明確にすべきです。</p> | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2418 | 区別の説明会にも参加しましたが、市民の声に真摯に向きあおうとしない姿勢に疑問が深まりました。市民の視点での再考を心から、願っております。 | 参考 | <p>IR整備法においては、住民の意見を反映させるために必要な措置として、IRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決など、民意の反映方法について規定されています。</p> <p>まずは、日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、市民の皆様への説明を継続していきます。その上で、どのように皆さまの意見を反映するかについて、国からの情報を参考に検討していきます。</p> |
| 2419 | 横浜市民も多数が反対しており、市民の意向を尊重すべきである。 | 参考 | |
| 2420 | 住民の声を聞く機会を設けてください。政治的難かしさでなく、横浜の為、冷静な対応を願います。 | 参考 | |
| 2421 | 住民を無視した行為（カジノありき） | 参考 | |
| 2422 | 賛成です。民主主義による立法でIR推進法ができ、民主主義により選ばれた市長が正しい手続でIRを誘致しようとしています。市民の多くの意見が反映されていると思います。 | 参考 | |
| 2423 | 横浜の市民が、7割近くが、カジノ反対だが、地元意見をなぜ無視するのか？ | 参考 | |
| 2424 | 市民に対する説明会も形だけ。市のIR構想には反対。 | 参考 | |
| 2425 | もっと市民の声をしっかり聞くことに努力して下さい | 参考 | |
| 2426 | 絶対反対です。重要な論点はカジノの是非であり、その部分についての説明が50字しかなく、様々な数値も横浜市独自が作造したものでなく、それで方向性を述べようというのは余りにも無責任です。 | 参考 | |
| 2427 | 何よりも、市民の多数が反対していることは明らかです。主権者・納税者である市民の声を聞いてください。 | 参考 | |
| 2428 | 横浜IRのカジノ施設の設置には反対です。既に市民の7割の人々が反対しているにも関わらず、市長が強引にカジノ施設を含むIR実現に猛進していることに強い違和感を憶えます。 | 参考 | |
| 2429 | 私は横浜IR事業計画に反対する理由パブリックコメントの反対意見を考慮しないという市政 何のために、市民でなく企業のためになっている。 | 参考 | |
| 2430 | 横浜市の経済活性と市政発展の為、横浜IRについて引き続き活発な意見徴収と政策協議について進めてもらいたいと願っております。 | 参考 | |
| 2431 | 直接市民の声を聞くべきだと思います。 | 参考 | |
| 2432 | 一度決めたら、多くの反対があっても突き進む、冷たい政治はやめましょう。横浜を愛する市民の意見を聞いて下さい。 | 参考 | |
| 2433 | 多くの人からアイデアを募集し、時間をかけて考えましょう。 | 参考 | |
| 2434 | もっと市民の声を聞いて下さい。 | 参考 | |
| 2435 | 市民の話を聞くべし | 参考 | |
| 2436 | 横浜市の未来を自分達だけで経済を中心に考えるのはやめて下さい。そして市民の意見をきくべき。 | 参考 | |
| 2437 | お年寄りだけでなく若年も声をあげられる環境をつくってほしい！平日の夜では働く世代は難しいが、ぜひすごいものを作ってほしいのに却下してほしい | 参考 | |
| 2438 | 「市民の声を聴いて決定する」という言葉と「このパブコメの結果には拘らない、カジノはすでに決定事項」と言葉は、相互します。 | 参考 | |
| 2439 | 横浜の今後の街づくりに大きな影響を持つものです。住民の意見を聞くことが前提です。この提案には全面的に反対です。 | 参考 | |
| 2440 | 市民のアンケートでも70%以上が反対しているにも拘らず、20年度の市予算にIR関連事業費を増大させ、市職員の担当も増員され、広報動画も作成済と市民無視の強行突破と見られる行為をどう考えておられるのか？市長は元々横浜市民でなく、市長退任後は転出すれば済むでしょうが、残された市民と市職員は一生「賭博都市」のレッテルがつきまとう事になり、集客者の質及び治安を優慮し続ける事になります。市長の反論及び市都市整備局幹部の御意見を伺いたいです。 | 参考 | |
| 2441 | 素案はまず撤回し、住民の声を聞いて下さい。 | 参考 | |
| 2442 | このまま市民の意見を全く聞かずにカジノ誘致にひたはしることは、民主主義の破壊です。地方自治のあり方として、全く認められません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2443 | 市民が反対しているのに、推進していく姿勢は民主主義をふみにじっています。一体、どこを向いて、市政を行っているのか、私は子や孫に負の遺産を残したくありません。 | 参考 | <p>IR整備法においては、住民の意見を反映させるために必要な措置として、IRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決など、民意の反映方法について規定されています。</p> <p>まずは、日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、市民の皆様への説明を継続していきます。その上で、どのように皆さまの意見を反映するかについて、国からの情報を参考に検討していきます。</p> |
| 2444 | 横浜市民の意見に全く耳をかたむけないIRは絶対反対！！ | 参考 | |
| 2445 | 基本コンセプトでは、「横浜都心臨海部がこれからも、横浜市民の憩いの場であるとともに」とあるが、市民の大多数が反対するカジノは市民の望む憩いの場ではない。市民調査なしに勝手にカジノ付きの「横浜市民の憩いの場」にしないでほしい。 | 参考 | |
| 2446 | 市民を無視する、誘致は反対です。 | 参考 | |
| 2447 | IR楽しみです。若い人の意見をよく聞いて進めてください | 参考 | |
| 2448 | 市民の意見を聞いてください。 | 参考 | |
| 2449 | カジノ誘致を勝手に決めないで下さい。市民は必要なものとは思っていません 市民の声を聞いて行動して下さい。 | 参考 | |
| 2450 | 万が一にも「IR」いや「カジノ」をやめるべき。ヨコハマは特に歴史的には、宣教師が伝道に来日したり、遺跡、歴史的建造物も多い。私は、住民の意見を聴かず（無視）にゴリ押しする当局の態度は、間違っている。どんな理由をつけてもヨコハマに（バクチ場）を作ってはならない、他にやるべきことはある。 | 参考 | |
| 2451 | カタチだけの説明会をやっているとしか思えないし、住民との対話もなかった。 | 参考 | |
| 2452 | もっと市民の声を聞くべきです。 | 参考 | |
| 2453 | 市民の意見を無視したカジノは絶対いらない！！ | 参考 | |
| 2454 | 私は、反対です。市長は、市の財政には、IRが必要で、反対意見が多くても進めると新聞にありましたが、市民が望んでいないものをだれのためにやるうとしてしているのでしょうか。パブリックコメントは、形だけのものですか。 | 参考 | |
| 2455 | 私は、IR新設については大反対です。理由、市長は市民に対して、利害関係を説明していません。 | 参考 | |
| 2456 | 山下埠頭の再開発は、もう一度市民の声を聞き、再度計画を作り直すことを求めます。 | 参考 | |
| 2457 | 市民の意見（反対意見が60%～70%）を無視する市長の姿勢は受け入れられない。説明会での市長の発言「私は、カジノ反対という声はほとんど聞いていない。むしろ賛成、積極的に進めてくれとの声が多く寄せられている」にはびっくりした。市長は、市民の声を聞くべきだ。 | 参考 | |
| 2458 | 市民の税金を使ってやるので市民の意見を真摯に受け取め白紙撤回すべきである | 参考 | |
| 2459 | カジノの誘致は、市長も述べておられるように、横浜の将来に大きな影響を及ぼすような大問題です。そうした問題に決着を付けるのは、市民の意向であるはずで。市民の声をきちんと聞いたうえで、落ち着いて慎重に判断してもらいたいと思います。 | 参考 | |
| 2460 | どさくさまぎれにIR誘致に向けた作業の一方的広報はやめて下さい。誘致作業を中断し、適切な時期に市民の理解を求める場を持つべきです。 | 参考 | |
| 2461 | 市長が始めからカジノを含むIRでは無く、先ず市民の意見を先に聞いてからが本当 | 参考 | |
| 2462 | あらためて市民の意見を聞くべきです。 | 参考 | |
| 2463 | 市長は市民の意見を聞く公聴会と言いながら、形式を整えただけで、実際にはカジノに関する意見を聴取せず、一方的説明に終始している。カジノありきの結論を持ち、市民の意見など最初から無視している。 | 参考 | |
| 2464 | Public Comment（以下PCと略す）というのは市民からの意見を受け止め、尊重し、それに従って真摯に必要な軌道修正をすることを前提にしたものであり、また実施にあたってはそれを公にしておくのが普通である。 | 参考 | |
| 2465 | 決裁プロセスの問題。横浜市民の反対の多いIR案件をなぜ急いで強引に進めたいのか。市長の政治的意図が分からずこのまま市民の賛同をえない案件が出来たとしても失敗する。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2466 | 市長は市民の疑問、意見を誠実に聞き、理解を得られるまで説明すべきと思う。一方的な住民説明会はガス抜きをねらったもので不誠実である。 | 参考 | <p>IR整備法においては、住民の意見を反映させるために必要な措置として、IRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決など、民意の反映方法について規定されています。</p> <p>まずは、日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、市民の皆様への説明を継続していきます。その上で、どのように皆さまの意見を反映するかについて、国からの情報を参考に検討していきます。</p> |
| 2467 | 市民の賛否の把握 ①の経緯の説明をふまえたうえで、横浜市民のどれだけの人が賛成または反対しているのか明らかにしてから政策を決定すべきだと主張します。 横浜市理想像とその実現方法の議論 今の横浜市政は改善の余地があることはある一方、多くの横浜市民へ「横浜をどんな街にしたいか、自分がどんな生活をしたか、そのためにどうやってお金を賄い何からお金を使うのか」投げかけて、市民の声を明らかにすべきだと思います。そのうえで市だけでなく18区の役割も十分活用すべきだと思います。 | 参考 | |
| 2468 | 事業を行うにあたって、自分たちの「強み」を生かすことが重要だと言われています。しかし「素案」の中では、せっかく「今ある『横浜らしさ』」も「将来を見据えた新たな『横浜らしさ』」も見えてきません。全体で100ページの素案の中で「横浜のまちづくりの歴史」1ページ、「横浜の持つポテンシャル」4ページ、「世界から人々を惹きつける街の資源」1ページ、合計で6ページ程度でしかなく、けっして考察されているとは思えません。具体化する際に、改めて多くの立場の人の声を集めて、「横浜の強み」を生かしてほしいと思います。「日本に行くなら横浜に行ってみよう!」を実現するのに、横浜にしかない「強み」を基本にしてください。「効率、利便性や豪華」を柱にすると、結局「コスト競争」に巻き込まれてしまいます。さらに多くの人の知恵と経験を集めれば、素晴らしい具体策ができると期待しています。 | 参考 | |
| 2469 | 「素案」に対するパブリックコメントだけではなく、広い視野での「PR」(パブリック＝リレーション)をお願いします。横浜市民の多くは、IRは認めても、「カジノは不要」との声は圧倒的に多い。推進するだけの一方ではなく、双方向での検討が今こそ大切です。説明会では、市長は、就任後の期間中の財政危機を訴えていましたが、大横浜市には「もっと夢のある施策」がたくさんあります。文化都市横浜の発展のために、「パブリック・コメント」を全市民に要請して下さい。この点も説明して下さい。 | 参考 | |
| 2470 | IR(統合型リゾート)は中止して下さい。市民の意見・声をもっときちんと聞いて下さい。 | 参考 | |
| 2471 | IRカジノ誘致には絶対に反対です。「市長は市民の声を聞く」ということは当たり前なことではないでしょうか。それをなぜしようとしないのですか。コロナ対策とはいえ、区の説明会も中止して私たちの声はいつとりあげるつもりなのでしょう。 | 参考 | |
| 2472 | 市側は合意形成に関する質問に対して、公聴会、議会議決などを図ると回答しているが、市民が望んでいる合意形成はそこではない。カジノ誘致の是非が図られていないと市民は考えている。市長の突然のカジノ誘致はおかしい。そこまでして、誘致しなければならぬ理由があるのですか。市民合意形成がなされていない。カジノIR誘致はストップすべきです。 | 参考 | |
| 2473 | とにかく市長が勝手に決めるな。民主主義にのっとったやり方で決めて下さい。私達のヨコハマを私達の手で!! | 参考 | |
| 2474 | 各世論調査、新聞報道でもIR誘致に反対の声が多いのになぜ「IR誘致ありき」なのでしょう。これまでの市の説明会においても反対の声が多く出ていると聞いています。又、この都筑区をはじめ6区での説明会が終了していないのに粛々と準備を始めているようで、住民無視です。民主主義を守って下さい。 | 参考 | |
| 2475 | カジノの誘致はとり止めて下さい。市民の意見を聞かないというやり方も、民主主義を破壊するものです。カジノの誘致は絶対にしてはなりません。 | 参考 | |
| 2476 | 市長は市民の声を聞いて下さい | 参考 | |
| 2477 | 治安 ◆横浜市は既に治安は世界の都市のどこと比較しても治安に関しては優れている。日本全体が治安では世界一だ。なぜラスベガスがごとき都市と治安について比較しなければならないのか。IR・カジノを導入するとラスベガス程度にまで落ちて構わないということか 誤解されているIR＝カジノというイメージ ◆誤解などしていない。誤解によるイメージではなく、事実である ◆IRではその収益構造でカジノが引き出す収益が全体の70～80%出るという事実から、事業経営的には実質的にIR＝カジノである ◆IRとはどのようなものか、私は理解している。丁寧な説明など不要だ。なぜ、誤解と決めつけるのか。失礼ではないか。丁寧な説明など不要であり、本当に必要なのは、丁寧な行政のプロセスの提供である ◆丁寧な説明が足りないから市民が誤解している、という大きな誤解をして欲しくない 結論：方向性として、IR導入検討は即刻中止すべきである。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2478 | 未だ市長による説明会が6区も残っています。説明会→パブリックコメント募集→パブコメ結果集約・市民への発表→市議会に諮り・議決、との順序が民主主義的な手続きではないでしょうか。すべてが決まってからのパブコメ募集に、本当に読まれ、パブコメの意見が反映されるのかとの疑問を覚えながら、忙しさの中で書いています。民主的でない横浜市の姿勢こそ問題です。 | 参考 | <p>IR整備法においては、住民の意見を反映させるために必要な措置として、IRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決など、民意の反映方法について規定されています。</p> <p>まずは、日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、市民の皆様への説明を継続していきます。その上で、どのように皆さまの意見を反映するかについて、国からの情報を参考に検討していきます。</p> |
| 2479 | 一市民として、IRを推進する理由が理解できません。また、IRが決定事項になっていることに違和感があります。唐突な感じが否めません。もし、実現しようとするなら、商工会議所や役所内ではなく決定事項にする前に広く意見を集めなければ驚き反感をとられるのは仕方がないです。 | 参考 | |
| 2480 | 市民の大半が「反対」の調査結果もでているのに、民意を反映しない政策は横暴です。 | 参考 | |
| 2481 | 理解促進・合意形成に向けた取組、とは誘致ありきの市の計画を市民に知らせる理解させる取り組みであって意見を聞く視点はない。共感と信頼の市政、と言いつつ市民意見によって決めるという視点はない。 | 参考 | |
| 2482 | 今までのプロセスをみていると、市民の意見を無視して暴走する市長の回答は期待出来ない。 | 参考 | |
| 2483 | 市長はパブリックコメントで意見を聞くだけではなく、市民の意見を市政に取り入れることが重要でしょう。今回のパブリックコメントもパフォーマンスで終わらないことを願います。 | 参考 | |
| 2484 | 横浜市の見聞振興にIRの制度を活用することには賛成です。法人からの税収が少ない横浜市にとってIRからの納付金や入場料の収入は少子高齢化の際の有効な財源になると思います。まずは市民の理解度を把握することが重要ではないかと思えます。 | 参考 | |
| 2485 | 報道ように、情報を隠して行政を続けるのは民主主義に反する。 | 参考 | |
| 2486 | 横浜市の物事の進め方がおかしいと思えます。この計画が実行されるのは決定済みな感じで進んでいます。この案には、反対いたします。 | 参考 | |
| 2487 | 市長は辞めれば済みますが、残された市民は半永久的に被害を受けることとなります。是非、出発時点に戻って、ゼロから市民の意見を聞くようお願いいたします。 | 参考 | |
| 2488 | 「『横浜IR』を起爆剤として、横浜の観光・経済にイノベーションをもたらす、横浜が『観光先進国・日本』のあらたな顔として世界から選ばれるよう、オール横浜で『横浜IR』を推進していきます」と書かれています。IR(カジノ)誘致に反対している市民が多数いるのに勝手に「オール横浜」という言葉を使うのは市民と港湾関係者を愚弄しています。 | 参考 | |
| 2489 | 市民のために財政確保を考えるならば市民の意見をもっと聞いて欲しい、議論が足りないのではないかと。 | 参考 | |
| 2490 | 横浜市民の総意を汲み上げる施策をとって頂きたい。 | 参考 | |
| 2491 | 多くの市民がIR推進に反対しています。今回示された「素案」において「横浜市では、『共感と信頼』を市政運営の基本としています」と記載されている通り、市民の意見を尊重し、IR推進の見直しを行うことが市民からの「共感と信頼」を得る道だと考えます。 | 参考 | |
| 2492 | 横浜市民に多大な影響を与えるIR誘致については、市民の意見を踏まえて判断すべきです。「横浜市では、『共感と信頼』を市政運営の基本としています」と「素案」には記載されています。市民の意見を尊重し、IR誘致の見直しを行うことが市民の共感と信頼を得る道だと考えます。 | 参考 | |
| 2493 | 市民への説明会を延期しながら、パブリックコメントの期間を延長せずに進めるのは手続き的にも問題があります。 | 参考 | |
| 2494 | IR誘致について、直接住民の意思を問う旨の明記がない。 | 参考 | |
| 2495 | 民意が全く反映されていない。正々堂々と民意を聞けばいいのに。 | 参考 | |
| 2496 | 多くの市民が、反対しているにも関わらず、強引に推進するというのは、民主主義のあり方としても、好ましいものではないと考えます。個人的には、カジノを含む、統合型リゾート計画には、市が、どんなにメリットを強調しようと、賭博行為により市の財政を潤すというのは、倫理的にも問題と考えますが、それ以前の現在進行プロセスに憤りを感じています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2497 | 市民を欺く政治手法で強引に強行するのは、民主主義・地方自治に反し許せない。 | 参考 | <p>IR整備法においては、住民の意見を反映させるために必要な措置として、IRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決など、民意の反映方法について規定されています。</p> <p>まずは、日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、市民の皆様への説明を継続していきます。その上で、どのように皆さまの意見を反映するかについて、国からの情報を参考に検討していきます。</p> |
| 2498 | 横浜の未来にかかわる重要な政策を市民の声を全く聴かずに決定して推進しようとする市長の姿勢が許せません。 | 参考 | |
| 2499 | 横浜市民の声を聞いていない素案は無効です。 | 参考 | |
| 2500 | 住民の意見を聞いていない素案は無効です。 | 参考 | |
| 2501 | カジノはいらない。市は一度も市民の意向を確かめることもなく、選挙で問うことも？無く恣意的に決めてしまう。 | 参考 | |
| 2502 | まずもって民主主義の原則に照らしまして、市民多数の反対を押し切る形での見切り発車では、たとえIR構想が実現したといたしましても、ダークなイメージにより市民の憩いの場となるのは難しいのではないかと思います。 | 参考 | |
| 2503 | IRに反対が多く、その意見に妥当性があれば、皆さんの計画を見直したり、断念したりしてください。 | 参考 | |
| 2504 | 市長も市会議員も市民の代表なら大多数の反対の声に耳を傾け誘致を止めるべき。市民の声を無視するなら市民の代表たる資格はない？ | 参考 | |
| 2505 | 市長は、IRについて立ち止まることも、十分な説明や議論を行うこともせず、2020年度のIR事業者決定に向け推進しています。多くの市民の反対の意思、意見にも耳を傾けず、ひたすら、一部の権力者のためにIRを推進しようとしていると思えません。本当に、横浜市や市民の将来を思うのであれば、このような形で無理やり進めるようなことはしないでしょう。2020年度の計画である、IR事業者の公募・選定、IR事業者決定、区域整備計画作成、また、2021年度の区域整備計画認定申請について、一度立ち止まり、時期や内容の再検討を行ってください。市民の意思、意見を反映した計画となるよう、十分な検討を行ってください。市民の意思、意見によっては、IRをやめる決断を行ってください。それが市を治める人のあるべき姿ではないですか。 | 参考 | |
| 2506 | カジノはいりません。市民の70パーセントがカジノ反対しています。市民あつての横浜市です。市民の声を市長は聞いてください。 | 参考 | |
| 2507 | 市長は市民の意見を聞こうとせず、IR・カジノを独断で進めようとしています。横浜市は税金で支え、地域のコミュニティを支える主権者は横浜市民であることを忘れてはなりません。 | 参考 | |
| 2508 | 市民の意見を踏まえて検討すべきと考えます。 | 参考 | |
| 2509 | 地域の理解促進・合意形成に向けた取組。市民の声を聞こうとしない市長に対する怒りは高まるばかりです。なぜ、市民にカジノの是非を直接問わないのか？否定される可能性が高いのを知っているからでしょう。「なぜ横浜だけがカジノを必要とするのか」という単純な疑問に対し、明らかなら簡単に説明できる素案が必要です。理解促進や合意形成にほど遠い今回の素案は没です！ | 参考 | |
| 2510 | コロナの影響で市民説明会が中止になっていることもあり、市民の理解を深めることはまったくできていない状態です。市民生活に多大な影響を及ぼす事業ですから、合意を形成できるまで（市民の賛成を得られるまで）時間をかけて話し合う必要があると思います。 | 参考 | |
| 2511 | 市民の声を聞く機会を作ってください。市民の声が反映されずに進められていることは納得できません | 参考 | |
| 2512 | 要件の審査の過程では、直接の影響を受ける市民が意見を述べる機会があつてしかるべきかと考えるが、どのような仕組みにするのであろうか？ | 参考 | |
| 2513 | 市民説明会のあるべき姿（p. 96）市民説明会に参加したが、「説明会」の名のとおり、横浜市からの一方的な情報伝達であった。IRは、横浜市民と横浜市の将来を左右する大きな問題であり、その方向性を出すためには、もっと市民と「意見交換」をすべきである。そして、お互いに冷静で具体性をもった意見交換をしたうえで、市民の意向を確認すべきである。 | 参考 | |
| 2514 | 横浜にカジノは必要ありません？？市民からこれ程反対の声があるのに、無視していますね。 | 参考 | |
| 2515 | 住民の意見をきちんと聞いてください。私は反対です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2516 | 関心の高いことがらだからこそ、決定事項の通知ではなく、現状の課題から一緒に考えたり、IRとはどのようなものか、横浜に導入するのであればどのようなあり方があるかについての議論が欲しいと思います。経済をどうにかしなければいけない、そのために有効な手段だ、ということが理解できれば闇雲に反対するのではなく、より良い共存の仕方に気持ちが動くはずで。それなのに、賛成した覚えもなく、詳細も決まらないまま経済効果の試算が進んでいくことに納得できない人が多いのは当然ではないでしょうか。 | 参考 | IR整備法においては、住民の意見を反映させるために必要な措置として、IRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決など、民意の反映方法について規定されています。 まずは、日本型IRとはどのようなものか、ご理解いただく事が必要と考えており、説明会のほか広報印刷物や動画なども活用しながら、市民の皆様への説明を継続していきます。その上で、どのように皆さまの意見を反映するかについて、国からの情報を参考に検討していきます。 |
| 2517 | 今、コロナの影響による経済の回復も重要、ということをおもって感じている局面で、メリット、デメリットを中立的に洗い出し本当にIRを誘致するかどうかを再考するには適切なタイミングかと思えます。ただの説明会ではなく、合意形成のプロセスを（場合によってはIR以外の選択肢で経済を活性化させることも含め）検討いただきたいと思えます。 | 参考 | |
| 2518 | 今後のスケジュールについても、ただの説明会で意見を聞いてもらえないのではないかと不安に思っています。 | 参考 | |
| 2519 | 地域の理解促進・合意形成に向けた取組 について「横浜市では、「共感と信頼」を市政運営の基本としています。『横浜IR』についても、丁寧に市民の皆様と向き合い、理解を深めていただき、その実現に「共感と信頼」が得られるよう、理解促進・合意形成に向けて、取り組んでいきます。」とあるが、その取り組み方針に掲げられた内容が「合意形成」を図るものになっていないと考える。「合意形成」という以上、一方的に伝えて成るものではなく、十分な対話が必要である。一方的に多数決で決めたとするならば、それは合意形成とは言わない。これまでも半数以上の市民（ものによっては9割近く）がIR反対との声をあがていることに対する反応、また、これまでの説明会の様子を見ても、やはり合意形成を得る場になっていないと思えない。「共感と信頼」を市政運営の基本とするならば、もっと対話の場をつくる必要があるのではないか（現状の説明会はそうならない）。そのような記載と、実際に合意形成につながる取り組みを期待したい。 | 参考 | |
| 2520 | 市民の声を聞いてもらってないのが残念です。 | 参考 | |
| 2521 | 横浜市民の圧倒的多数が反対しているカジノを推し進めるべきではない。 | 参考 | |
| 2522 | P95、96 広報について、各世代に応じた様々な活動を実施されていますが、おそらく反対派の割合が高であろう中高年層への施策に対して、若年層や市内の若手経営者などの意見を拾いあげ、その意見を、市民全体として認識できる場が少ないような気がします。今後の横浜市を支える若い世代との意見交換が必要と感じます。 | 参考 | |
| 2523 | 私の周囲の多くの市民も「反対」の意見ですが日常生活の中で反対の声を届ける時間がない人も多いのです。その足元をみて早急に推進するのは卑怯なやり方です。 | 参考 | |
| 2524 | カジノの誘致は市民が決めることである。もう一度何かしらの方法できちんと市民の意見に耳を傾けることが不可欠である。 | 参考 | |
| 2525 | 「市民・関係者との連携による推進」として、「内港地域には地域で生活する人々や活動する人々、そこを訪れる人々など、とても多くの人々が関わっています。今後具体的な展開を行っていく際には、広く皆様のご意見を頂きながら、それらを十分に取り入れた施策を進めていきます」とされながら、市民の大半が反対するカジノIRを、市民の意見を無視して進める姿勢も、構想に反している。 | 参考 | |
| 2526 | スケジュールありきではなく、公聴会意見なども踏まえて、検討すべき事項が多いと考えます。 | 参考 | |
| 2527 | 横浜IR推進においても一度立ち止まって、議論を尽くすべきです。 | 参考 | |
| 2528 | 住民説明会も出来ない今、住民の声など聞けない。既成事実も作ることもできない。反対です。 | 参考 | |
| 2529 | 横浜IRの事業権（利権）をめぐる様々な勢力の競争が激しくおこっているなかで、業者と相談して立案される「区域計画」の指導レベル（ガイドライン）は、「相談」に入る前に、徹底的に公開されるべきです。その計画作成への住民参加の声を反映する仕組みと手続きを明確にすべきです。 | 参考 | |
| 2530 | このパブコメも「反対が多くても誘致は変えない」と言うのは民主主義の否定です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2531 | 「MICE」が何の略語なのかわからず、日本語ならどんな意味かの説明も不十分です。MICEはそんなに一般化した単語なのですか？ | 参考 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）は、「横浜を世界から選ばれるデスティネーション（目的地）へ」を実現するための基本コンセプトや、コンセプトを実現するための方向性等について、記載しています。 今後、IRの実現に向けて、IR事業者の公募、区域整備計画の作成等を進めていきますが、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求め、事業の進捗に応じて、横浜市が目指すIRについて丁寧な情報発信、ご説明を続けていきます。 |
| 2532 | まちづくりのコンセプトでは「未来の街のショーケース」と何か解らない言葉を使う事に疑問を感じます。最後にIRは応援していますので、是非良い方針を作成願います。 | 参考 | |
| 2533 | 冊子を読みましたが、いかにも場あたりの作成で、作成者本人も賛成していないように思います。 | 参考 | |
| 2534 | 横浜市のIR素案に反対します。横浜市としての方向性、目標が示されていない。まず、市民に明確な目標を明示し意見を問うべきです。 | 参考 | |
| 2535 | 案を読むにあたりカタカナ（横文字）が多すぎて理解しにくい | 参考 | |
| 2536 | 概念ではなく、具体的に説明することが、極めて大切だと考えます。 | 参考 | |
| 2537 | イノベーション、デスティネーション、インバウンド等々、一見未来志向のように見えますが、外来語の多用からは、何も伝わってきません。日本人には、日本語で説明してください。 | 参考 | |
| 2538 | カタカナ言葉はわかりません | 参考 | |
| 2539 | IRができるのはいいことだと捉えています。パブリックコメントについては、少し内容が象徴的で市民にどんなメリットがあるのかわかりづらいです。具体的な計画をはやく知りたいです。 | 参考 | |
| 2540 | 新聞には、フィリピン、カンボジアのカジノ失敗の例が詳しく載っていました。シンガポールの成功例だけでなくいろいろ知りたいです。納得して賛成したいと思います。 | 参考 | |
| 2541 | 難しすぎて、まだよくわかりません | 参考 | |
| 2542 | 方向性はわかりました。具体的にどうなるのか知りたい | 参考 | |
| 2543 | 相変わらずの横文字志向に物申す 三十数年前に「みなとみらい」というすばらしい命名した土地に横文字がまかり通る施設を作るのは情けない。IR？イノベーション？デスティネーション？ハイブリッド？訳のわからない横文字を並べる必然性はどこにあるのか。カジノ建設には反対。もし作るなら日本の伝統文化とも言べき「丁半サイコロ」や「花札」こそ復活すべき。 | 参考 | |
| 2544 | 全搬に英語が多い。デスティネーション、コンベンションビューロー等、もう少し説明を | 参考 | |
| 2545 | 市民抜きのIR誘致反対 | 参考 | |
| 2546 | 市が、健全なカジノを唱える以上、基本構想の開示は、最低限行うべきだと思います。IRへの投資額、カジノ利用者数、カジノ売り上げ等、他自治体で既に開示されているものもあり、我が横浜で、行わない姿勢に対して、やはり、何か、まずい事をやっているのではないかと感じてしまいます。“李下に冠を正さず”の句ではありませんが… | 参考 | |
| 2547 | 市長が提示するカジノの収益性や将来性については根拠が乏しく、市民に対する説明も丁寧なものとは言えない。今回提示された資料も具体的な数値やギャップ依存症への対策などの肝心なところが曖昧で説明の体を為していない。以上のことから、カジノを中核とした統合型リゾートを提唱する「横浜IRの方向性（素案）」には全面的に反対である。 | 参考 | |
| 2548 | イニシャルコストを算定し事業の損益を査定したうえで発表するのが基本ですが、発表された素案ではそのようなことがなされているとは伺えません。少子化による人口減少が税収不足につながるとされれば、なんとしても出生率増やすようにするのが適切な対応と考えられます。 | 参考 | |
| 2549 | 素案ですが、横文字が多くとても伝わりにくく「この事業の魅力を伝えよう」とは感じ取れませんでした。 | 参考 | |
| 2550 | IR事業は儲かるということが前提となっているようですが、その根拠が全く示されていないことにも驚きを感じます。事業内容やメンテナンスなどの費用が不明確なまま準備が進んで、後戻りできなくなる事態にすべきではありません。 | 参考 | |
| 2551 | 24頁におけるシンガポールの事例の出典を明らかにしてください。 | 参考 | |
| 2552 | 72頁の＜治療支援＞として神奈川県ホームページに言及しているが、「かながわ依存症ポータルサイト」のことで合っているのか、合っているのならばその名称を明記願いたい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2553 | やはり言葉を多く使っているが、市民にとってどうなるのかわかり難い。イノベーション、SDGs、オール、インバウンド | 参考 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）は、「横浜を世界から選ばれるデスティネーション（目的地）へ」を実現するための基本コンセプトや、コンセプトを実現するための方向性等について、記載しています。 今後、IRの実現に向けて、IR事業者の公募、区域整備計画の作成等を進めていきますが、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求め、事業の進捗に応じて、横浜市が目指すIRについて丁寧な情報発信、ご説明を続けていきます。 |
| 2554 | 『カジノの施設に関する表現について』区画の延べ床面積を全体の4%以下にするという表現を筆頭に押し出していますが、市民のみなさんが感じている不安要素に対して、意図的にミスリードを誘う気持ちが全面に表れすぎているように感じられ、返って不信感を煽ってしまったのではないかと感じます。経済への寄与度が高い大切な要素の一つとハッキリ認め、依存症や治安への影響は心配に及ばないという根拠をハッキリと提示できればそれで充分と考えます。これは新型コロナウイルスの件でも同様の傾向があると思いますが、誤った情報が拡散されて間違った反応が広まる影響を恐れる余り、情報開示に消極的になることは、それはそれで不安を煽るリスクもあることを認識して欲しいと思います。 | 参考 | |
| 2555 | 海外との展示場規模の比較表について。海外は都市名での記載だが日本は施設名（東京ビッグサイト、幕張メッセ等）での記載になっているため、海外の1都市内にある複数施設の合計面積と、国内1施設の面積との比較になっているかのように見えてしまうのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 2556 | 28ページ：「山下ふ頭のIRの挿絵」を見ると、山下公園と一体化された誰でもが利用できる施設に見えます。この挿絵は他国に現在あるIRとまったく違います。市民を騙すような挿絵は絶対に許されません。 | 参考 | |
| 2557 | 基本コンセプトについて1、「横浜を世界から選ばれるデスティネーションへ」というコンセプトは、とても良い。ただし、「横浜イノベーションIR」というタイトルは、イノベーションというキーワードに寄りかかっているだけで、不適當。イノベーション、すなわち革新的で素晴らしいこと、という発想で、既にいろいろなところに使われ過ぎているので、かえって、発想が貧困な印象を与える。 | 参考 | |
| 2558 | きちんとした説明もせず、実施に切り替えたことだけをもってしても、カジノをやらせるわけにはいかないと。思います。いまずぐに中止すべき。 | 参考 | |
| 2559 | 図表には番号と名称を入れること。第2章以降に多くの図表が記載されているが、図表の番号や名称が記載されていないので議論が不正確になる。 | 参考 | |
| 2560 | MICEを説明すること。市役所の独りよがりの説明ではなく、市民に対する丁寧な基本的説明が必要である。 | 参考 | |
| 2561 | まだ、素案段階のようで具体的計画が不透明でした。これで、コメントするのは難しい。 | 参考 | |
| 2562 | カジノは博打なので、リゾートとして遊興として楽しめて？収益を出せる入場者数、一人当たりの利用金額も明確に計画させるべきです。そうでなければIR（カジノ）は実施すべきではありません。 | 参考 | |
| 2563 | 気になった点は、P.39「3 横浜IRの方向性（2）2 必要な機能・施設の横浜都心臨海部の観光資源」では「短い空き時間やアフターコンベンションのナイトライフ」と掲げられている一方で、P.20「2 横浜IR実現への取組の背景（横浜都心臨海部のまちづくり）」では、世界から人々を惹きつける街の資源が横浜都心臨海部にはあると掲げられており、前者は「隙間時間での滞在」という意味に感じられる一方、後者は回遊性のある都市空間があることを強調しており、異なった内容に感じられる。IR訪問客に横浜のリピーターになってもらうという観点から考えると、後者の考え方が良く、前者のような「短い空き時間」という言葉は、修正すべきではないか。また、IR内に整備される交通ターミナルが、周辺の交通、商業施設、ホテル等とつながっているように、図P.39に追記すると、横浜都心臨海部における新しい回遊のイメージが伝わりやすいのではないか。 | 参考 | |
| 2564 | P.4：国際競争力の低下「名目GDPの推移」が横ばいはその通りだが、低下した原因は、資料から明らかなように中国の躍進と米国の復活が要因で、米国中国以外の国々と比べ特に低下はない。使う資料の分析が不十分かつ誘導的。IRに関して方向性を示すには中国・韓国・東南アジア諸国に対する分析が必要不可欠であり、この資料は不十分。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2565 | P7-8: (2) 横浜の観光・MICEの現状①横浜の観光の現状 : 横浜市の「過去5年間の延べ外国人宿泊者数の伸率」が全国的に低いのはなにかを明確にすべき。『検討調査(4)報告書』によれば、ホテル・旅館客室数は横浜市全体で『市内ホテル客室数は16,936室(2017年度)今後計画中を含め約5,000室が増加する見込みであるが、2017年度の日本全体の客室数の2.4%程度にしかならない。』これが『外国人の横浜宿泊73万人泊(東京都1,978万人泊)』とある、これは当然方向性案でも触れられるべき数字。また上記報告書では今回のIRにおける宿泊施設の客席数提案は『2700~5000室』とある、これでは2017年比0.6%しか増えず、この問題の解決にはならない。国内観光客の宿泊数が低いのは、上記ホテル数の少なさに加え国内観光客の大半が首都圏、神奈川県からと言うのが理由との指摘があるようだが、肌感的にうなずける。これに関しては横浜市から具体的な数字が上がってこない。「国内は日帰りが多く宿泊しない」という問題に対し、資料ではこののちも「IRで滞在型を目指す」と言うのみで、解決策としての提示はない。 | 参考 | 横浜IR(統合型リゾート)の方向性(素案)は、「横浜を世界から選ばれるデスティネーション(目的地)へ」を実現するための基本コンセプトや、コンセプトを実現するための方向性等について、記載しています。 今後、IRの実現に向けて、IR事業者の公募、区域整備計画の作成等を進めていきますが、今後の事業者公募を通じて、民間の自由な発想による魅力的なコンテンツや施設等の具体的な提案を求め、事業の進捗に応じて、横浜市が目指すIRについて丁寧な情報発信、ご説明を続けていきます。 |
| 2566 | 横浜市民へのメリットをもっと明確に分かりやすく、丁寧に伝えていただきたいです。 | 参考 | |
| 2567 | P46 カジノについて、主なターゲットが誰なのかを、カジノ事業者から得た情報を元に示してもよいと思います。インパウンド客やVIP層がメインターゲットということであれば、ギャンブル依存症を懸念されている市民の方々にとっての安心材料の一つに成り得るのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 2568 | 「IRの効果」はきわめて重要です。業者の数字は監査法人が「確認」したといいますが、横浜市の「目標と水準」は未だに示されません。「区域整備計画策定までに明確化します」とされていますが、明確な「目標」を市民に明示し、意見を問うべきです。それなしに、「IR事業者の公募・選定」を進めることはやめてください。 | 参考 | |
| 2569 | 「IRの効果」はきわめて重要です。業者の情報(「数字」)は監査法人が「確認」(「素案」)したといいますが、横浜市の「目標と水準」未だに示されません。「区域整備計画策定までに明確化します」とされていますが、明確な「目標」を市民に明示し、意見を聞く事なしに、「IR事業者の公募・選定」を進めることはやめてください。 | 参考 | |
| 2570 | 目標値の設定なく先へ進むカジノ付き統合型リゾート開発事業が横浜の観光や雇用、経済、市政の収益にどれほどの波及効果をもつものかの見極めはきわめて重要です。監査法人が「確認した」(素案)とのことですが、出典はもともと業者の提供した数字で、事業者によって異なっていました。横浜市は「今後、区域整備計画を策定までに明らかにする」(「広報よこはま」・説明会・「素案」)としていました。しかし、未だに明らかにされていません。目標値なしに横浜IRの全体像の理解は不可能です。 | 参考 | |
| 2571 | 「広報よこはま」でも、また、「素案」では、「未来の街」とされる「山下ふ頭」がどんな姿になることを横浜市は想定しているのかは、横浜IRの具体的イメージを持つうえで、極めて重要です。にもかかわらず、前記二つの文書では、山下ふ頭らしきエリアは大きな紙面をつかってイラストであらわされています。それは、どうみても、街のレジャーランドの風です。「世界最高水準のIR」のイメージイラストとしては、あまりに、矮小、お粗末、つまり、真面目さがありません。市民への説明のイラストとしては不適格です。撤回し、出し直しすべきです。なぜこのようなイラストでしか示されないのか。説明すべきです。 | 参考 | |
| 2572 | 港の入口、即ちベイブリッジの脚元で、各種の船の出入を見物・対岸=大黒埠頭に停泊する貴船を間近に見物であり。出来得ればみなとみらい地域にある高層ビルのスキ間に富士山が見られればと思っている。 | 参考 | 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 2573 | 港の24時間入・出港可能を早く実施すべき。(世界のハブ港で24時間可能でない港は少ない。) | 参考 | |
| 2574 | ふるさと納税や寄付の返礼品にカジノやリゾートの利用チケットを採用するとうい。 | 参考 | |
| 2575 | 東アジアのIRユーザの取りこみ。戦略的なIR戦略。 | 参考 | |
| 2576 | 大阪府、市はとすでに区域整備計画を検討中。関西経済界がバックアップ。横浜における有力な企業グループ経済団体と強力にすすめるべき。 | 参考 | |
| 2577 | IR施設内に、IRオペレータとは別に今後の新たな産業技術を開発することの出来る実験実設フィールドを確保し、その試験を(実設実験)に対する国の補助を引き出す。IR施設内は横浜市の土地をIRオペレータが借りているが、一部は、IRオペレータの了解の下に新たな技術開発の為に協力するよう、国とIRオペレータが協定をむすぶ。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2578 | 地元地区の昔あった砂浜の再成を基にリゾート感ある空間施設にしてほしい。 | 参考 | 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 2579 | I R賛成 砂浜の復活を期待しています。 | 参考 | |
| 2580 | カジノは24時間営業のため、夜間労働を止める働き方改革の方向性とも矛盾する。 | 参考 | |
| 2581 | スポーツのできる、砂浜をつくって下さい。国内外の人が安全で楽しめる横浜らしい砂浜がある公園をつくって下さい。 | 参考 | |
| 2582 | 自然と一体化した浜を軸に検討して欲しい（次世代に、引継げるもの）砂浜に魚、貝、海藻類があり、みんなが、安全、安心して共に楽しめる横浜らしい砂浜ある公園、を作して下さい。 | 参考 | |
| 2583 | 砂浜のある公園を作り、海と直接親しめる場所にしてほしいと思います。また、国際都市として、世界的なイベントができる広いイベントスペース（ロード）を設けて下さい。 | 参考 | |
| 2584 | 砂浜で、安全で安心して共に楽しめる横浜らしい砂浜のある公園で、小さな船で、子供や大人も遊べる場所を希望します。 | 参考 | |
| 2585 | 貝、魚などとふれ合える砂浜がある公園があれば、大人から子供まで幅広い年齢の方が集まる場所になると思います。また、広いイベントロードを作り国際的なイベントを開催する場所があれば、世界各国から人が集まる場所になると思います。 | 参考 | |
| 2586 | 砂浜を作って、ビーチバレー等のスポーツ大会を開催したり、海辺で、魚や貝などと親しめるようにしてほしい。商業施設ばかりではなく、自然と親しめる公園を大きく作ってほしい。 | 参考 | |
| 2587 | 砂浜があり、国内外の人が安全、安心して共に楽しめる横浜らしい魅力ある公園を作して下さい。世界的なイベントができるイベントロードを作して下さい。（市民マラソンやトライアスロンなど） | 参考 | |
| 2588 | 砂浜があり国内外の人が楽しめる、横浜らしい砂浜がある公園を作して下さい。ボートやカヌーで、みんなが遊べる場を作して下さい。 | 参考 | |
| 2589 | 砂浜に魚、貝、海藻類があり、国内国外の人が安全で安心して共に楽しめる、横浜らしい魅力ある砂浜ある公園を作して下さい。小さな船で、子供や大人も遊べる場を作して下さい。 | 参考 | |
| 2590 | スポーツのできる、砂浜を作して下さい。（ビーチバレーなど）砂浜に、魚、貝があり、みんなが安全で安心して楽しめる横浜らしい、公園。 | 参考 | |
| 2591 | 横浜らしい、砂浜のある、公園を。浜辺で遊べる、安全な、自然豊かな。釣り場があるともっといいです。イベント（スポーツ、レース等）が出来る、イベントスペースを作りたい。 | 参考 | |
| 2592 | 国内外の人が、楽しく、安心して遊べる、砂浜のある公園をお願いします。釣り場が、あるともっといいですね。 | 参考 | |
| 2593 | 小さな舟で、子供や大人も遊べる場、親水性のあるビーチパークを是非作って欲しいものです。 | 参考 | |
| 2594 | 昔横浜には砂浜が、いっぱいありました。私達は、子供の頃よく、そこで、砂浜で、遊んだものです。砂浜のある公園が、出来たらと思います。スポーツや、イベントの出来る、イベントロードがあるといいですね。ビーチバレー、タグラグビー、トライアスロン、フォーミュラー自動車レース等の施設も作りたいです。 | 参考 | |
| 2595 | サップやカヌーなど、ができる海を作して下さい。サップもオリンピックの種目に将来なります。 | 参考 | |
| 2596 | 小さい頃から横浜市には海で遊べる場所が少なかったのでもしI Rが市民のための場所でもあるのであれば砂浜やボートやカヌーができる場をつくってほしいです。子どもたちの未来を育くめる自然とふれあえる場をお願いします。また世界の人とも触れあえる国際的な場、イベントができる所としてほしいです。 | 参考 | |
| 2597 | 海辺の公園を、商業的な施設とは別に設け、子供から大人まで自由に出入りができる砂浜や、ボートやカヌーなどで、海で遊べるような場所を作る事によって、横浜市民の憩いの場としても存在できるのではないかと思います。 | 参考 | |
| 2598 | 方向性1の写真、特に青色のバスの写真がイメージダウンです。ラスベガスのようなものを想定しているのでしょうかから、グレードの高い写真を選ぶように心がけて下さい。一日も早い完成を待っています。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2599 | 施設建設時から、世界最先端の建設技術、IT技術を駆使し、未来の建設業の方向性も示して欲しい。 | 参考 | 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化する中で、明らかにしていきます。 |
| 2600 | I Rを進めるのであればI Rの場所の地名を、他の住所と違える。たとえば、「横浜市外区I R」というような地名にする | 参考 | |
| 2601 | 子供が遊べる様な砂浜を再生させて下さい | 参考 | |
| 2602 | 砂浜に魚貝海藻類があり、国内国外の人が、安全で安心して共に楽しめる横浜らしい砂浜のある公園を作ってください。小さな船（ボート、ヤカヌー等）で大人も、子供も遊べる場や釣り場も作ってください（駐車場があり、大勢の人が自動車ですんで来られる様をお願いします）世界的なイベントができるイベントロードを作ってください。（青少年マーチングバンド、子供達のゴーカート大会、フォーミュラE、自動車レース等） | 参考 | |
| 2603 | 山下公園前の海上で、サップや、ボートなど、海を楽しめるようにしてください | 参考 | |
| 2604 | I R応援しています。山下の海で泳げるようになれば良いです。 | 参考 | |
| 2605 | I R賛成しています。シンガポールでF1が開催されているので、山下ふ頭周辺でもできるようにしてください。 | 参考 | |
| 2606 | I R楽しみです。海に入れる一角がほしいです。 | 参考 | |
| 2607 | 横浜に進出している企業の持つ最先端技術を紹介、展示する場所を作る。 | 参考 | |
| 2608 | 山下ふ埠、みなとみらい、大黒を使ってモノコグランプリ（自動車レース）をやってもらいたい。日本に外貨をもたらす、場所として、横浜のポテンシャルは高いと思います。それを上手に使って欲しい。 | 参考 | |
| 2609 | カジノの勝ち金は現金ではなく利率の良い地域でのみ利用可能な商品券にしましょう。これなら地元で金が落ちるのでうれしいです。 | 参考 | |
| 2610 | 多様な医療施設を用意して、裕福な方々に訪日してもらい、収益を挙げて下さい。（ホスピタルツアー）もちろん横浜市民にも利便性を考えてほしいと思います。 | 参考 | |
| 2611 | 災害時等の安全のため事業者は従業員に少なくとも高卒程度の日本語の能力が維持できるよう教育訓練し検証する必要があります。 | 参考 | |
| 2612 | 横浜I Rに賛成します。ふるさと納税の返礼品に、横浜I Rのリゾート施設の利用券やカジノの入場券などを創設してはどうでしょうか。きっと人気が出て、ふるさと納税による税収も上がると思います。 | 参考 | |
| 2613 | 地元経済団体、商店会、自治会との連携（事業候補者決定～区域申請～開業以降）横浜市がファシリテーターを担い、横浜市、I R事業候補者と地元の関係者での連携の話し合いをする連絡会を立ち上げていただきたい。事業者が個別に協議をすると公平性に欠くことが想定されるため、中立的な立場で市に調整をしていただきたい。 | 参考 | |
| 2614 | 横浜I Rに賛成。ふるさと納税の返礼品に、横浜I Rのリゾート施設の利用券やカジノの入場券などを創設すると思う。ふるさと納税制度で流出した税収をいくらかは取り戻せるのではないかな。 | 参考 | |
| 2615 | 13頁で超少子高齢化で横浜市域で今後必要となる福祉、介護、医療、教育といった「人によるサービス」の横浜市内における供給の分析と戦略を載せてください。少ない労働資源を長時間の通勤時間で疲弊させることなく地産地消することこそ必然であると思われまます。 | 参考 | |
| 2616 | 中国の富裕層だけではなく、世界中の人を対象とした市場調査を行い、世界中の人が「横浜のI Rに来たいと思うか」の把握を行った上で政策を行ってください。中国に依拠し過ぎるのは危険です。 | 参考 | |
| 2617 | 14頁にてSDGsにおける働き方改革の視点として夜間労働の削減に対する横浜市の戦略を載せてください。 | 参考 | |
| 2618 | 平成31年4月の調査報告書の140頁ではマリンスポーツサービスを謳うが、大型船も含めた船の往来が激しい東京湾内においてマリンスポーツを誘導するのは危険行為であるので、行政としては行うべきではないと考えます。 | 参考 | |
| 2619 | 横浜I Rに賛成。ふるさと納税の返礼品にカジノご招待券やリゾート施設の利用券をエントリーするのいいと思います。人気が出て、ふるさと納税での税収も目指せるのではないかな。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 | |
|------|--|------|--|--|
| 2620 | ふるさと納税制度で市の税収が下がっているのは、残念ながら、市の財政より「返礼品」という自分の利益を優先する市民が多いことの現れだと思う。再度導入時に懸念された自治体に生じるデメリットが、もろに横浜市に発現した展開だ。また、横浜にはこれといって目玉となるような産物がなく、ふるさと納税で利益を得られているとは言えない。しかし、ふるさと納税制度は当分なくなる見込みはない。なら、国の作った制度で被ったマイナスを、今回の国の作ったIR整備法とその制度を利用して、横浜だからこそできる取り戻し方をしようとするのは、当然の努力だと思う。市長は、経営者の視点で、安易に市民から増税でお金を取るのではなく、経営努力を惜しまず尽力しているように思う。横浜IRができれば、そのご招待券などをふるさと納税の返礼品にエントリーさせると面白いとおもう。 | 参考 | 今後、公募により選定される事業者と作成する区域整備計画において、施設の構成や規模、事業内容などを具体化の中で、明らかにしていきます。 | |
| 2621 | 私は基本的にIRの推進を肯定的に考えていますが、もう一つ、夢のある計画になれば、よりよいと思います。そこで、横浜のIR計画の目玉の一つに、F1の招致を盛り込むとよいのではないかと思います。 | 参考 | | |
| 2622 | 賛同する市民から事業推進のための寄付金を募ってもいいと思う。 | 参考 | | |
| 2623 | ふるさと納税の返礼品に、横浜IRの利用券や招待券をエントリーするといいたいと思います。 | 参考 | | |
| 2624 | 横浜IRに賛成。オープニングイベントには、子どもから大人まで参加希望者を募り抽選する方式で、一定数の市民を招待するといいたいと思う。 | 参考 | | |
| 2625 | ふるさと納税での税収減を少しでも取り戻す工夫として、横浜IRの利用券や招待券をふるさと納税の返礼品にするとよいのではないかと。 | 参考 | | |
| 2626 | スマートシティについて50頁に記載されている「SDGs未来都市・横浜として、IoTやICT、ビッグデータの活用やAIの駆使など、最先端技術の多方面にわたる連携・活用」について、送客施設と同様に収集するビッグデータの管理など、行政・IR事業者のみならず、横断的に統制・管理する第三者機関（行政、民間連携）の組織が必要と考えます。あわせて、個人情報情報の観点から行政の関与は必須と考えます。 | 参考 | | |
| 2627 | また、市民もその横浜イノベーションIRを実感できるよう横浜IR内で横浜市民の日を作り、毎年、創造し革新し続ける終わりなき横浜イノベーションIRを体感してもらおう。 | 参考 | | |
| 2628 | 山下公園の前の海で、トライアスロン以外のスポーツ競技を開催する支援をIRでしてください。 | 参考 | | |
| 2629 | きちんとした民主的な手続きを踏んでいません。 | 参考 | | IR整備法においては、住民の意見を反映させるために必要な措置として、IRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決など、民意の反映方法について規定されています。事業を進めるにあたっては、これまでも二元代表制のもと、市民の代表である市会において予算の議決をいただきながら進めてきました。今後も、市会のご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。 |
| 2630 | リゾートとは何か 家族と一緒に（未成年者）に入れない、それでもリゾート？ カジノを止める方法 議会が賛成しない | 参考 | | |
| 2631 | 民主主義ではない。 | 参考 | | |
| 2632 | 市民の声を無視して、IRカジノ予算4億円を可決してしまった。 | 参考 | | |
| 2633 | 栄区では、説明会が延期され、未だにその日時も連絡ありません。市民の声を聞かずに、誘致決定することは、民主主義にも反します。今からでも遅くない。取止めるべき。 | 参考 | | |
| 2634 | 市民の意見を無視して市長の一方向的な推進には断固反対します | 参考 | | |
| 2635 | 素案について、十分に議会で審議されたのでしょうか？年代別の討論会を催してはどうか？ | 参考 | | |
| 2636 | 自治体として、市民の意見、希望を、第一に考えるべきではありませんか。 | 参考 | | |
| 2637 | 民意に返する決断は有ってはならない。 | 参考 | | |
| 2638 | 民主主義のじだい市長一人で決める訳が解りません | 参考 | | |
| 2639 | カジノを含む横浜IRに反対します。民意を無視し、強行することは、民主主義の破壊行為であり、独裁です。 | 参考 | | |
| 2640 | 憲法の定める地方自治の本旨、なかでも住民自治に反している。IR全体も危うい計画であるが、カジノは絶対にいけない。考え直していただきたい。 | 参考 | | |
| 2641 | 私の仲間に多くの友人がいます。ほとんどの人は反対です。長年住んでいる横浜に、相応しくないのひことです。議員の皆さんもう一度地元の声を聞いてみて下さい。IRは横浜にはふさわしくない一言です。 | 参考 | | |
| 2642 | 市長は市民の声を聞くべき | 参考 | | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2643 | 市民の意見もきかず、説明会も終わっていない中で、IRの部署の拡大や予算の計上は許されないとと思うがいかがが。 | 参考 | IR整備法においては、住民の意見を反映させるために必要な措置として、IRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決など、民意の反映方法について規定されています。事業を進めるにあたっては、これまでも二元代表制のもと、市民の代表である市会において予算の議決をいただきながら進めてきました。今後も、市会のご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。 |
| 2644 | 意見を募集していますが、聞くだけでなく、多くの市民の声を、取り入れて行政を執行されることが市長の役と考えますが、お考えをお聞かせ下さい。 | 参考 | |
| 2645 | コロナウイルス騒動で、瀬谷区の説明会ほか全市では3区の説明会がまだ行われていません、少なくとも全市に対して説明すら終わっていない段階で4億円もの予算をIR誘致に付けたと聞きます、全くやりたい放題です、物事の決め方が民主主義的ではなく、この様な市政の進め方に反対致します | 参考 | |
| 2646 | 素案では、2020年度中にIR事業者を選定し、市民の意見等を踏まえた区域整備計画を策定するとされていますが、市民の意見を踏まえてと言うのであれば、市民の意見を尊重して、反対意見が多い場合はIR計画を撤回する姿勢が必要です。市民の意見を反映しない市政は、民主主義に反します。 | 参考 | |
| 2647 | 地域住民の基本的な人権、尊厳を守る真の民主主義のための行政を進めるという責任内容に反すると思いませんか？パブコメ募集した、ということで済ませるのでしょうか。真の民主主義に基づいた市民のための行政を進めてください。 | 参考 | |
| 2648 | これだけ多くの神奈川県民、横浜市民が反対している事実をなぜ無視するのですか。さらに市長は市長選挙の経過からして信用されざる市長です。市民に信用されていない市長の下で進められるこのIRに反対します。 | 参考 | |
| 2649 | 横浜市民のどれだけの人が賛成または反対しているのか明らかにしてから政策を決定すべきだと主張します。IRについて市長選で特別言及せずに、当選したのち独断で誘致を進める市政の長・市長は、市民の代わりに横浜の政治を担う者として不適であり代わるべきだと民主主義の観点から思います。 | 参考 | |
| 2650 | 横浜は民主、主議の市ではないのですね。 | 参考 | |
| 2651 | 市民の声を無視して、実行に移していくことは民主主義の時代に許されることではありません。カジノ施設を含むIR構想は、直ちに中止してください。 | 参考 | |
| 2652 | 市はもうIRカジノは決定したのだから、より良いIRカジノの為の意見を欲しい、と言いますが、私はどうしても納得いきません。私達、市民の声を聞かないで、誰がIRカジノを誘致すると決めたのですか。 | 参考 | |
| 2653 | 市長は、選挙時は「白紙」とのことで、議会の協議をもって推進をけつていた、と説明されましたが、前回選挙において「IR推進賛成」と主張して当選された議員は何名いるのですか？少数だとしたら民意はどこで吸収されるのですか？お答えください。 | 参考 | |
| 2654 | 市民は怒っている！市民が反対する中、IR推進費に4億円計上。ギャンブルを財政に当てようとする態度。 | 参考 | |
| 2655 | この間の「説明会」は、是非を論じ合うことを避け、推進を前提とし、理解を得るためという内容で行われています。こうした進め方は、民主主義社会を暴力的な方法ではないソフトなやり方でじわじわと殺すものというべきです。 | 参考 | |
| 2656 | 市民の意見は聞くといいつつ勉強会のようなもので、採択権を与えようとしない市長の態度には、不信任感を覚えます。撤回し、市民生活のためのあるべき地域開発に、市民一丸でとなり取り組むべきです。 | 参考 | |
| 2657 | 民意をこれ以上無視しないでください。 | 参考 | |
| 2658 | 進め方ですが、現市長は市民の多数の賛同を得ることなくカジノを誘致しようとしており、問題です。現在は民主主義の時代で、重要なことは多数の意思で決めます。ところが、カジノ誘致については横浜市民の多数の賛同を得ていません。 | 参考 | |
| 2659 | 横浜市民の大多数がカジノに反対している事実を真摯に受けとめ、IR計画の即時廃止を強く求めます。 | 参考 | |
| 2660 | 現在進められているIRは住民の民意を反映せず一方的な方向性の決定によりすすめられている感が払しょくできません。 | 参考 | |
| 2661 | 「反対が多くても誘致は変えない」と言うのは、民主主義の否定です。 | 参考 | |
| 2662 | 民主主義に反します。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2663 | これが横浜の「民主主義」なのでしょうか。 | 参考 | <p>ⅠR整備法においては、住民の意見を反映させるために必要な措置として、ⅠRを実施する場合は、都道府県等との協議や同意、公聴会の実施、議会の議決など、民意の反映方法について規定されています。事業を進めるにあたっては、これまでも二元代表制のもと、市民の代表である市会において予算の議決をいただきながら進めてきました。今後も、市会のご意見をいただきながら進めていきたいと考えています。</p> |
| 2664 | 最初に結論ありき、上意下達で、市民の意見を全く無視しており、民主主義に反している。 | 参考 | |
| 2665 | 政策も民主的に決めましょう！ | 参考 | |
| 2666 | “横浜市には基本的人権がない” “横浜市には民主主義がない”と言わざるをえない。この実態をどのように説明しますか。 | 参考 | |
| 2667 | 有力な観光コンテンツに乏しい横浜市が、インバウンド観光による需要を取り込むためには、「統合型リゾートの誘致を行う」という方向性を打ち出すことについて、合理的であり賛成です。統合型リゾートが区域内だけでなく、地域経済全体に好影響をもたらすものになるよう、しっかり事業者選定を行って下さい。 | 参考 | <p>国の基本的な方針（案）では、民間事業者の選定手続の公正性及び透明性に疑念を抱かれることのないよう十分に留意すること、有識者等により構成される第三者委員会を設置する等、適切な事業者の選定体制を構築する必要があることとされています。</p> <p>また、民間事業者の選定を行ったときは、その結果を、選定基準及び選定方法並びに評価の過程及び結果に応じた選定過程の透明性を示すために必要な資料（公表することにより、当該民間事業者の権利、競争上の地位その他正当な利害を害するおそれがあるものを除く。）と併せて、速やかに公表することとしています。</p> <p>今後、ⅠR事業者の公募、区域整備計画の認定申請など、事業の進捗にあわせて市民の皆様丁寧に説明を続けていきます。</p> |
| 2668 | 横浜ⅠRの方向性については基本的には賛成です。実施をする場合、将来に向けて持続・発展を踏まえた事業は当然の事と考えます。その為に開発当初より第2次・第3次計画が可能なゆとり（土地の確保、事業者の体力、環境問題等）が必要と思われます。最終的には横浜の為に共に活性化、繁栄を目指し、市民サイドからも実現出来て良かったとの評価を得られる、諸々の問題に誠実に向き合ってもらえる事業者の選定がポイントになると考えます。 | 参考 | |
| 2669 | 今後、横浜市はⅠR提案事業者を選定することになるが、この過程で不正または癒着が生じないのか。 | 参考 | |
| 2670 | 誘致企業の選定規準を明確に、選定の結果を開示する | 参考 | |
| 2671 | 横浜ⅠRはつくって終わりではなくⅠRが稼働してからのさまざまな対応が重要であり「民設民営」「百戦練磨」のⅠRオペレータにどれだけ強制力を行使できるか横浜市の政治交歩力が問われる。その為にⅠR推進を強力なリーダーシップを市長、副市長に求める。 | 参考 | |
| 2672 | ⅠR賛成。海外から来る働き手の方たちが、住む共同住宅や、日本語学習の場、生活マナーの修得などにも力を入れる事業者を選んでください | 参考 | |
| 2673 | どのⅠR業者に任せると、どういうⅠRになるのか、全く公表しないで先に進めるのは、やめてほしい。 | 参考 | |
| 2674 | 海外カジノ市場を支えるのは、ひと握りのVIP客による「ゲーミング」です。業者選定では、ぜひとも、海外VIPを惹きつけて「何度でも」「何泊でも」遊んでもらう期待の高い業者を選んではほしいです。 | 参考 | |
| 2675 | ⅠRの建築、運用は外国企業だけでなく、日本企業も入れる。特に運用面は日本側とノウハウなどを残すべきだ。 | 参考 | |
| 2676 | 事業者の選定に透明性があるのかうたがわしい。 | 参考 | |
| 2677 | 外国の企業が、横浜を荒らすようなⅠRには反対ですが、日本の企業群が中心となって、横浜のため、日本のために行うⅠRには大賛成です。 | 参考 | |
| 2678 | 増収効果と雇用効果に魅力を感じるの、ここに力を入れる業者が選定されてほしいです。 | 参考 | |
| 2679 | ⅠR賛成 CSRに力を入れていると思います。市民への還元も事業者に求めてください | 参考 | |
| 2680 | ⅠR楽しみです。多くの事業者が進出を希望しているのなら、ぜひとも市内への貢献度を競わせてください。 | 参考 | |
| 2681 | カジノについて、海外の専門業者に委託することになっているが、成功後に日本独自の業者に変えていく業者を増やす。などの考えはあるのか。 | 参考 | |
| 2682 | Fair Tradeを担保するためには必要条件として全ての情報を文書に記録して公開されるようにしてください。外国籍の事業者が地元住民や自治体との間で係争が生じた場合の裁定場所は横浜地方裁判所であり使用される言語は全て日本語であることが必須条件です。 | 参考 | |
| 2683 | 企業が外資系しかない点も承服できません。 | 参考 | |
| 2684 | ⅠR誘致賛成です。外資反対です。市長の未来を見据えた決断を強く支持します。外資は反対です。せつかく富を生み出す産業です。国内企業を誘致して、横浜にコミットメントしてもらえます。世界の数ある一つの位置づけではなく、国内唯一の位置づけであるほうが、長期的にみて成功確率はあがるでしょう。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2685 | 賛成。ぜひ誘致してほしい。一過性でなく長期的に財源確保ができるように、IR事業者を選定する際は、一度作ったら終わりではなく、長期的に横浜IRが発展を続けるビジョンを持っているかという視点と、地域経済と共に発展する工夫をするかという視点を重視してほしい。 | 参考 | 国の基本的な方針(案)では、民間事業者の選定手続の公正性及び透明性に疑念を抱かれることのないよう十分に留意すること、有識者等により構成される第三者委員会を設置する等、適切な事業者の選定体制を構築する必要があることとされています。 また、民間事業者の選定を行ったときは、その結果を、選定基準及び選定方法並びに評価の過程及び結果に応じた選定過程の透明性を示すために必要な資料(公表することにより、当該民間事業者の権利、競争上の地位その他正当な利害を害するおそれがあるものを除く。)と併せて、速やかに公表することとしています。 今後、IR事業者の公募、区域整備計画の認定申請など、事業の進捗にあわせて市民の皆様丁寧に説明を続けていきます。 |
| 2686 | ・市幹部、市議会幹部や発注担当の私腹を肥やす目的で企画された事業ではないことが明確に分かる実施計画書を作成&実施して欲しい。 ・不正/癒着などを阻止する抜け道のない厳しいルールを設定後に事業を開始して欲しい。 ・発注業者選択基準、選定決定事由の詳細を公表を約束して欲しい。市幹部、市議会幹部や発注担当者癒着により選定されていないことを証明できるような、オープン且つクリーンな選定を実現していただきたい。 ・市民の血税で私腹を肥やすような動きが発生しないような、オープンかつクリーンな仕組みを構築後、事業実施をして欲しい。 | 参考 | |
| 2687 | 横浜IRに賛成します。IR事業者の選定においては、市長や横浜市職員と協力して横浜市政の発展や市民への利益還元に貢献しようとする態度をもった業者を選べるとよいと思います。 | 参考 | |
| 2688 | 横浜IRが世界的にも支持されるようになってほしい。業者選定では、海外カジノで豪遊するVIPの心を掴む工夫がある点も重視して評価すると思います。これから、市の所管課や関係部署の方はますますお忙しくなるとは思いますが、増収効果の増大に向けて、ぜひよいIR事業者の選定ができるようがんばってほしいです。 | 参考 | |
| 2689 | IRを作る場合、カジノのオーナーは日本人であるべきです。外資系企業が日本人の預貯金を吸い上げることはあってはなりません。宝くじのように、IRの収入が直接横浜市の収入になる仕組みを作るべきです。そうでなければIRに反対です。根本的に見直し、計画を中止するべきだと思います。 | 参考 | |
| 2690 | カジノありのIRに賛成です。カジノには海外のVIPを多く呼び込めるかが成功の鍵になると思います。ぜひ、IR事業者の選定においては、VIPをターゲットにした工夫がどのくらいあるのかも評価して選定すると思います。 | 参考 | |
| 2691 | IRの業者は、地元企業ですか?「地元企業を応援する」というなら、地元企業を中心でつくるべきではないですか?IR全体をカジノ業者が管理し、IR事業で横浜市がもうけようと思うなら、最終的にはカジノ業者のいいなりになってしまいます。それでいいのですか?「住み続けたいまち」を目指すのであれば、「子供とともに、一生、健全に生活できるまち」をつくってほしいです。 | 参考 | |
| 2692 | 内容的にも外国資本での開業となることが避けられないため、将来的にみてそれも適切なのか疑問が残る。多少限定されてしまっても事業者を国内企業に限定するなどの処置は必要だと思う。 | 参考 | |
| 2693 | 業者選定では、海外カジノで豪遊するVIPを呼び込む策も重視して評価すると思います。カジノ市場の収益の8割以上は、海外のVIPによるものなので。 | 参考 | |
| 2694 | 『全体を通して』なかなか難しいこととは思うのですが、「こうなるはずではなかった…」「想定外のことが起きてしまった…」ということが簡単に起きないようにIR事業者と密に情報交換を行い、目指すビジョンと実施の具体的な構想をしっかりと共有し、把握していただけたら市民として安心して施策をお任せできます。 | 参考 | |
| 2695 | IRリゾートはオール日本資本で整備をしていただきたいこと。これはカジノを含めてです。エンターテインメント施設も日本には各種サーカス団、劇団四季を含めて、日本初の組織は多数あります。そして、落語、能に関してはすでに横浜市内にもございます。ここの連携を含め、より多様性のあるエンターテインメント施設をお願いいたします。また、日本には各種アニメや作品がございます。それこそ、ディズニーやUSではなく、ポケモン、ジブリといった日本初のレジャーランドの整備をお願いいたします。これは、海外からのお金を日本に蓄え、還元するための施策です。 | 参考 | |
| 2696 | 業者の選定などについてもできる限りの情報の公開を求めます。 | 参考 | |
| 2697 | 横浜IRに賛成です。業者選定の際に委員会を設置するなら、横浜の未来の財政や子どもたちのことを最優先に検討してくれる方に、委員になってほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2698 | サラリーマンとして、民間企業の経済活動を感情論で制限しないよう、公正な手続きを進めてもらいたいと思います。民間事業者が一定の税収確保案（ハノーバーのような公設展示場では意味がありませんし、「ディズニークルーズが来てくれるはず」という根拠の乏しい皮算用ではだめです）を提示するのであれば真摯に検討すべきです。そうでないのであれば、さまざまな事業リスクを承知のうえ進出に名のりを挙げた企業の事業計画を尊重すべきです。 | 参考 | 国の基本的な方針（案）では、民間事業者の選定手続の公正性及び透明性に疑念を抱かれることのないよう十分に留意すること、有識者等により構成される第三者委員会を設置する等、適切な事業者の選定体制を構築する必要があることとされています。 また、民間事業者の選定を行ったときは、その結果を、選定基準及び選定方法並びに評価の過程及び結果に応じた選定過程の透明性を示すために必要な資料（公表することにより、当該民間事業者の権利、競争上の地位その他正当な利害を害するおそれがあるものを除く。）と併せて、速やかに公表することとしています。 今後、IR事業者の公募、区域整備計画の認定申請など、事業の進捗にあわせて市民の皆様丁寧に説明を続けていきます。 |
| 2699 | 横浜IR事業の候補者を一本に絞る作業において、選択判断の基準をどの様なものにしているのでしょうか。 | 参考 | |
| 2700 | 事業者として手を上げている企業が本当のところ何を考え、何をねらっているのか、信頼にたる業者なのかについて徹底した調査も必要なことでしょうか。監査法人はその作業をしてくれているのですか。横浜IRへの参画を巡ってしごきを削る業者の手の内を全部お見通しということなのですか。あるいは、IRの効果を測定する客観的方程式があるということですか。監査法人の顧客の中に横浜IRに参画を狙う業者がいないという確認はとれますか。企業の企業倫理をどう評価しますか。横浜市の考えを示すべきです。 | 参考 | |
| 2701 | カジノ誘致をめぐる汚職事件で、議員が逮捕され、不正な金銭授受を認める等となっているので、『カジノはいらない』し、私は今でも横浜が好きなので、『横浜をカジノで住みたくない町にしないでほしい！！』横浜市は、きっぱりと『カジノ誘致から手を引きなさい！！』 | 参考 | 本市においては、接触規定を設け、適正に事業者と接触しており、これまで同様、公正・中立に手続きを進めていきます。 |
| 2702 | 横浜IRカジノ反対 カジノ汚職事件が起きている今、IRどころではないのでは。 | 参考 | |
| 2703 | IRに関して、中国企業からの収賄の件で国会議員が逮捕され、他の自民党議員の関与も疑われていますが、この件はどうお考えですか。 | 参考 | |
| 2704 | 権利をめぐる汚職もおきています。 | 参考 | |
| 2705 | カジノの是非については反対です。理由は以下の通り 代議士のIR疑獄が示す通り、利益に群がる、政治家が存在する。 | 参考 | |
| 2706 | 私は横浜市のIR事業の見直し・凍結を主張いたします。IR汚職でこの事業の前提、根拠法が揺らいでいる現在、カジノを含むIR事業について立ち止まり、見直す必要があるのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 2707 | 現職の国会議員も収賄容疑でつかまりました ギャンブルマネーで利権が動くカジノは絶対に反対します。 | 参考 | |
| 2708 | カジノ運営業者・利益享受関係者と政治家（反社会勢力）等との黒い癒着は必ず起きることを前提に、性悪説を考えた厳罰を処す法制化が必要 | 参考 | |
| 2709 | 国会議員までもが、誘惑に負けて収賄で逮捕されるわけですから、行政の皆さんの一部がIR業者とひそかに通じていることは想像に難くありません。よろしくご検討願います。 | 参考 | |
| 2710 | 増税ではない財源確保手段だから、横浜IRに賛成だ。横浜によりよいIRを作るには、IR事業者同士でクリーンでシビアな競争をさせるのが重要だ。贈収賄事件を起こさないことはもちろんのこと、市長や副市長、IR推進室の誰もが、贈収賄事件を疑われないように、組織として気を付けてIR推進をしてほしい。 | 参考 | |
| 2711 | 横浜IRに賛成。大切な政策だからこそ、国で取り沙汰されたような不祥事の疑惑を抱かれないように、オープンに、クリーンに推進してほしい。 | 参考 | |
| 2712 | IR汚職事件の発生。汚職事件が解明されるまで待ったほうが賢い判断だと思います。 | 参考 | |
| 2713 | 国会議員のIR関連汚職が問題となりましたが、IR企業と市との関係の透明性、健全性をどのように担保するのか。 | 参考 | |
| 2714 | 元衆院議員の事件は記憶に新しく、汚職についての不安がぬぐえません。横浜市は透明性を持った運営をお願いします。 | 参考 | |
| 2715 | IRは、公共政策としているが、現政権が強引に法制度化を進めているもので、IR業者との間で、国会議員の増収賄事件もあり逮捕者もでている現状があるので、慎重に対応すべきものと考えている。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2716 | ベイエリアの開発事業は横浜市にとって、過去にも種々経験ありますが、10年後、20年後のシミュレーションを詳しくグラフ等で明示して頂きたい。(その際賭博事業者の想定売上げ、利益、県及び国への上納割合等も明示して下さい)賭博事業区域を他の健全施設に変更した事業収支も再度検討して下さい。現時点から既に管理委員会を設置して警察・検察OB・精神科医等を取り込んで問題点の洗い出しと方策を練る事自体、企画側もこの事業(日本で初めての公認賭博)にはかなりのマイナス面を包含していると自ら認めている事になり、今一度再考して下さい。 | 参考 | 今後、国の基本方針等を踏まえて横浜IRの整備・運営に関する方針や、事業者の公募・選定等に関する内容を定めた「実施方針」を策定、公表し、事業者を公募します。 その後、選定される事業者と共同で「区域整備計画」を作成します。区域整備計画の作成の過程において提案された整備内容や運営等について事業者と検討を進め、議会の議決を経たうえで国に認定申請を行います。その後、国において最大3か所のIRが認定されます。 事業の進捗にあわせて市民の皆様にご説明を続けていきます。 |
| 2717 | 2020年中にIR事業者を決定しなければいけない理由についての説明が不足と考える。2020年中に事業者を決定しないと「市の支出が10億円増える」とか「将来に渡る市の収入が30億円減少する」とか、である。 | 参考 | |
| 2718 | 素案には、大事な部分に非公表が多すぎます。(3/13報道) | 参考 | |
| 2719 | 私は必要とは思いませんが、市が本当に必要であるとするのであれば、具体的な又、説得力のある、説明がなされなければなりません。今の時点では、残念ながらそれらがなされていないと思います。 | 参考 | |
| 2720 | カジノ有りきのIR推進には絶対反対である。市策(政策)は横浜市民にとって生活等を豊かにするプラスでなければなりません。カジノによる経済効果、悪の依在症等を含めてもっと広く正確にメリット、デメリットを市民に明確に提示し、市民の大多数の理解、賛同を得て押し進める事が将来の豊かさに継がると考えます。 | 参考 | |
| 2721 | 企画から運営・回収に至るまでのマイルストーンを明記してください。 | 参考 | |
| 2722 | 横浜IRに賛成しています。この先、選定されたIR事業者には、ひとりの横浜市民として、横浜の未来を担う子どもたちのために税収面だけでなく文化や芸術などの発展の面などでも大いに活躍してほしいです。 | 参考 | |
| 2723 | 「区域整備計画」は、IRカジノの施設運営の前提です。充実した整備の実行なしに、IR事業の本体だけでは成功は望めないものです。「区域整備計画」に最終的にゴーを出す決定権は誰がもつのでしょうか?自治体が精一杯考えても、それをゴーとするかノーとするのかは、国の判断にゆだねられるということではないですか。明確にしてください。 | 参考 | |
| 2724 | 今回の再開発用地の主要な地権者は横浜市=公共自身であり、その活用の主体に外なりません。「横浜市のIR事業に1兆円の投資をしてくれる」「民間」はそういるものではないとしていますが、そのことと引き換えに「開発運営主体」を丸ごと民間にゆだねるとなれば、それは、「公民提携」の枠組みを否定するものと言わなくてはならないものです。民間への全面依存です。「ノウハウを活用」といったレベルをはるかに超えたものです。そうではなく、「提携・活用」の主体としての公共=自治体の立場は貫かれる、というならばどこに保たれるのですか?どういう調査・交渉をIR事業者としてしているのですか?相手を決める前に開示せよ、といいたいです。 | 参考 | |
| 2725 | IR整備法で定められた、厳格なカジノ規制の実施と健全な運営を確保する任務を担う「厳正かつ公正にカジノ事業の免許の審査などを行う」「国民の信頼をしっかりと集められる、信頼性の高い公正公平な独立性を確保した組織として運営」することが求められています。IR内の賭博場の管理について、極めて大きな役割を負うはずのものです。しかし、いまだ、管理の基本方針を具体的に示し得ないでいるのです。その方針抜きに、どの様な「区域環境整備」が出来るのでしょうか。「カジノ管理」の国家的方針と関係なく、IR誘致、少なくとも横浜IRの事業・事業者決定は肅々と進められるのですか。明確にすべきです。 | 参考 | |
| 2726 | 応募するにあたり、横浜市はやみくもにやっているのではないとすれば、どのような条件をクリアすればいいと考えているのですか。その点の合理的基準は明示されていると判断されているのですか?選出の枠や決定手続きや誘致決定の基準を明確にすべきであると考えます。 | 参考 | |
| 2727 | カジノ付き複合リゾート区域を山下ふ頭に誘致する旨を、国に申請する上で、不可欠の前提は、「区域整備計画」を策定することです。その手続きと内容はどのようなもののでしょうか。 | 参考 | |
| 2728 | 「区域整備計画」の原案の「起案」は、どこでどのように行われるのでしょうか。また、その計画案は、どこで審議されるのでしょうか。その点で、民意を踏まえるべき横浜市の判断はどこで担保されるのでしょうか。そして、IR「区域整備計画」の「素案」はいつ提示されるのですか。その「素案」作成の過程もまた明らかにすべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2729 | きらびやかな紹介をしていますが、一番問題のあるカジノについては、小さく紹介されているだけで、内容が不明確です。カジノは博打です。刑法では処罰されるのです。それを横浜の中心地に導入しようとする神経を疑います。 | 参考 | <p>IRにおけるカジノ制度と刑法の賭博に関する法制との整合性については、国におけるIR整備法の検討の際に、「目的の公益性」などの8つの観点をもとに検討されています。</p> <p>その検討の結果を踏まえ、国が観光先進国を目指す中、2018年7月に成立したIR整備法により、我が国においては、免許を取得した事業者がIR区域内でカジノを設置・運営することが合法化されています。</p> <p>また、欧州諸国、米国、日本などを含む先進諸国によって構成されている国際機関のOECD（経済協力開発機構）加盟国の中で、カジノが合法化されていない国は少数です。</p> |
| 2730 | カジノは博打であり、公の市が率先して博打場を開設し、推奨してもいいのかわ。カジノはゲームでなく、何の価値も生まないバクチです。 | 参考 | |
| 2731 | IR反対です。健全な財政収入ではない | 参考 | |
| 2732 | 「バクチ」で税収増加は、考え方がまちがっている。 | 参考 | |
| 2733 | 我が国はお金は汗水たらして得る者、あぶく銭は不道德なものとする美風が昔からあったIR推進とは、「賭博は不道德」の伝統を捨てることなのである。 | 参考 | |
| 2734 | カジノだって！！カジノは賭博！！ | 参考 | |
| 2735 | リーフレットには華やかでバラ色の未来が開けるように記してありますが、その中心となるカジノだけは反対です。まず刑法で基本的に悪と規定されているものを特別法で合法化することが間違っています。 | 参考 | |
| 2736 | カジノは犯罪カジノは合法と、いうのは誰のためか。 | 参考 | |
| 2737 | カジノは賭博であります。昔から犯罪です。そもそも、人の不幸によって成り立つ産業がカジノです。市民の福祉向上と生活を守るのが地方自治体の横浜市の役割です。私は、カジノに反対します。 | 参考 | |
| 2738 | カジノは横浜にはいりません 日本は昔からバクチは禁止 | 参考 | |
| 2739 | 戦争、ギャンブルは悪 子孫に恥を遺すのは反対です | 参考 | |
| 2740 | わが国では古代から賭博は禁止されてきた。IR推進とは「賭博は不道德」の伝統を捨ててしまい教育現場では何と説明するのか。 | 参考 | |
| 2741 | そもそもカジノは賭博であり犯罪である。 | 参考 | |
| 2742 | カジノの誘致には反対です。カジノは刑法で禁止された博打です。 | 参考 | |
| 2743 | IR自体はともかくカジノ誘致には強力に反対する。経済効果等メリットを説くがそれ以前の問題としてカジノ＝賭博誘致を否定するものである。そもそも基本的本質的には刑法が規定している犯罪であることを忘れてはならない。現状許容されている競馬競輪等は「公営」という名の蓑を纏わされた歴史的な財政・経済政策との見地からの例外である。 | 参考 | |
| 2744 | 横浜IR（カジノ）に反対です。カジノは賭博、賭博は犯罪。刑法で禁止されています。いろいろと理由をつけても「お金のためには犯罪を犯かしても良い」ということにはなりません。国や市は子ども達に道徳を説きながら、自らが道徳に反することをしてはいけません。 | 参考 | |
| 2745 | そもそも（カジノ付）IR誘致に大反対です。税収UPになると言われても、カジノはとばく、市が誘致するなど言語道断です。 | 参考 | |
| 2746 | カジノは賭博であり、この収益をあてにする事は横浜市のみ末裔に対する恥である | 参考 | |
| 2747 | カジノ付きIR施設の導入は反対！国の法律において禁止されている賭博行為を横浜市において積極的に推進しなければならない理由が全く見当たらない。 | 参考 | |
| 2748 | カジノはばくちです。これまでの日本の歴史でばくちを認めたことはありません。どの時代でも禁止するための法律ができました。それなのにこの時代にばくちを認めるなんて、なんと時代を知らない人たちなんでしょう。あきれます。 | 参考 | |
| 2749 | カジノは賭博であり、犯罪です。カジノ誘致に反対します！！ | 参考 | |
| 2750 | 賭博は日本で禁止されています。 | 参考 | |
| 2751 | 日本は“ばくち”は良くないと伝えられてきた国です。 | 参考 | |
| 2752 | これらの施設が事業として成り立つための必須要件となっているカジノがトバクであること、トバクは刑法で禁じられていること、これらについては説明がありません。市民の不幸の上に成り立つ「繁栄」は長続きしません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2753 | 私は横浜市がすすめるカジノ誘致に反対します。「世界最高水準のIRを実現」「都心臨海部との融合」「オール横浜で観光・経済にイノベーション」「安全・安心の横浜モデルの構築」と、バラ色の構想です。①博打の汚い金、②治安悪化への懸念、③金もうけさえできれば…の考え方など、道理のある厳しい批判です。世界でも斜陽産業であるカジノ誘致、日本の歴史でも1500年間禁止されてきた「博打」であるカジノの入る「素案」には絶対反対です。 | 参考 | IRにおけるカジノ制度と刑法の賭博に関する法制との整合性については、国におけるIR整備法の検討の際に、「目的の公益性」などの8つの観点をもとに検討されています。その検討の結果を踏まえ、国が観光先進国を目指す中、2018年7月に成立したIR整備法により、我が国においては、免許を取得した事業者がIR区域内でカジノを設置・運営することが合法化されています。また、欧州諸国、米国、日本などを含む先進諸国によって構成されている国際機関のOECD（経済協力開発機構）加盟国の中で、カジノが合法化されていない国は少数です。 |
| 2754 | カジノは賭博そのもので、賭博は犯罪で刑法で禁止されている。競馬等、宝くじ等も本来であれば違法だが、財政上やむを得ぬものとして、例外的に認められているものだ。 | 参考 | |
| 2755 | カジノについて 絶対反対です 江戸時代より、賭博はお上が禁じてます それをなぜ横浜市が率先してすすめるのか？意味がわかりません。 | 参考 | |
| 2756 | 自治体が違法賭博を財政改善のために誘致することに大きな疑問と怒りを覚えます。 | 参考 | |
| 2757 | 横浜港・東京港と44年間働いてきました。カジノは賭博です。 | 参考 | |
| 2758 | 横浜市にカジノはいらない。市長、横浜市のやり方に反対。カジノは江戸時代から御法度。宗教はカケごとを禁じています。刑法でも禁じています。 | 参考 | |
| 2759 | 賭博は犯罪であると。犯罪である賭博を横浜市が導入する、横浜市の学校に通う子どもたちにどう説明するのですか？ただでさえパチンコ、競馬等ギャンブルの王国日本です。これ以上祖国日本を酷くしないで下さい。賭博前堤のIR計画を中止して下さい。子どもを健全に育てることは大人の義務です。 | 参考 | |
| 2760 | カジノは、ずばりギャンブル、賭博、博打そのものです。博打は、昔から社会悪として禁じられて来たのです。サイコロ賭博や、野球賭博ですら逮捕者を出して来ました。カジノは、これ等とは比較にならない、大規模で、大金の動く、正に博打場なのです。こんなものを、横浜市が公に承認し、場所迄提供して誘致するなど不合理この上ない事です。一旦出来てしまえば、公に認めた弱みを握ぎられた行政（素人の）では手におえなくなるのは、目に見えてます。プロのカジノ業者を、甘くみてはいけません。大火傷をする事にならない様に！願がわくば、当局や市プレーンの方々の勇気をもって、市長に中止の進言をされる様期待します。 | 参考 | |
| 2761 | 私は横浜にカジノを作るのは反対です。カジノとはばく。とばくは法で禁止されています。IR、カジノのもうけで市の税収にするのは自治体としてゆるしてはいけません。公営けい馬、けいりん、とは異なります。 | 参考 | |
| 2762 | カジノは賭博です、刑法で禁止されている犯罪です。地域の安全、安心を必死に守って頑張っている、町内会や自治会の人達の思いに逆行、裏切り行為です。 | 参考 | |
| 2763 | ギャンブルは公序良俗に反する。 | 参考 | |
| 2764 | 他人同士が金を奪い合うバクチは犯罪です。 | 参考 | |
| 2765 | IRカジノは、全くの反対です！！ギャンブルをさせようという国のやり方は許せません。 | 参考 | |
| 2766 | 法律上、ギャンブルは、公営ギャンブルのみ認められているのに法律整理（新法立てる）「カジノ」は許される筈がない。 | 参考 | |
| 2767 | 日本にカジノはいらない！！ましてヨコハマにカジノなどモッテのほか。アブクゼニで成長など、「いらない」 | 参考 | |
| 2768 | IR=カジノは、絶対反対！！IRは、百害あって、一利なし。刑法で、禁じられている（とばく）=（IR）を、地方自治体が、行なうのは、もつてのほかです。人を不幸におとし入れる事を前提とした、商売は、もつてのほかです。日本では、7世紀から、為政者が、1300年以上に、わたってとばくを、禁止してきました。歴史の重みを、どう考えるのですか！カジノは、絶対反対！命を、かけて、カジノは、阻止します。 | 参考 | |
| 2769 | カジノは賭博でしょう。そんなものを市が「どうぞ利用して」と呼びかける事はとんでもない。法律や道徳では、やっちゃいけない事と学校や親から言われて育ちました。現代という時代はそれらを180度変えて、生きてと市や国が言うのは違う。今からでも中止して下さい 子や孫はお天道様に顔が向けられる人間に育てるのがまず政治のすることです。 | 参考 | |
| 2770 | 横浜市IRカジノ構想案に反対します。横浜市にはカジノは必要ありません。カジノでの収益で市政を行うのは悪政です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2771 | カジノは絶対反対です！！違法のギャンブルをやらせないでどう考えても良いことなど一つもない 退廃的なイメージしかない そんな所に予算をつけるのが腹だたい。 | 参考 | <p>IRにおけるカジノ制度と刑法の賭博に関する法制との整合性については、国におけるIR整備法の検討の際に、「目的の公益性」などの8つの観点をもとに検討されています。</p> <p>その検討の結果を踏まえ、国が観光先進国を目指す中、2018年7月に成立したIR整備法により、我が国においては、免許を取得した事業者がIR区域内でカジノを設置・運営することが合法化されています。</p> <p>また、欧州諸国、米国、日本などを含む先進諸国によって構成されている国際機関のOECD（経済協力開発機構）加盟国の中で、カジノが合法化されていない国は少数です。</p> |
| 2772 | ギャンブル・カジノは「刑法で禁止」されていると聞きます。人間を悲惨な状態に追い込むために禁止されたのだと思います | 参考 | |
| 2773 | 横浜に「カジノ」はいりません。子供たちになんと説明するのでしょうか！賭博です。現行法で禁止されているものです。 | 参考 | |
| 2774 | 素案の内容の良否ではなく、「IR」に横浜市が参画すること自体に反対です！！即刻撤退せよ！！市長は「IR」に占める「カジノ」の比率が低いと言いますが、この国策の核（肝）は、やはり「カジノ」に他ならない。何故なら他の集客施設は、従来の法・施策で誘致可能ではないですか？即ち、横浜市は市民の血税を使って、賭場メインの街を作ろうとしているのです。 | 参考 | |
| 2775 | 横浜IR構想案に反対です。そもそも賭博を禁じる我が国が、統合型リゾートの名のもとに代表的な賭博施設のカジノを解禁した事が間違っています。 | 参考 | |
| 2776 | 横浜IRの素案を具体化することは絶対に許されません。発想すること事体が公序良俗に反することである。刑法の解釈を地方自治体が勝手に変えることは法治を犯すことである。 | 参考 | |
| 2777 | 最初から依存症を予想し、“対策をする”と云っているが、対策をするのなら、最初からやらなければいいだけのこと。 | 参考 | |
| 2778 | 市は「健全」なカジノを声高にPRしているが、刑罰対象となるバクチが健全であるわけがない。 | 参考 | |
| 2779 | カジノは絶対いやです！！どんなにいいこと言っても「税金が…」と言っても、刑法で犯罪とされているものを自治体が導入するなんてありえません。横浜がこわされます。 | 参考 | |
| 2780 | まずはじめに、IR（カジノ）は賭博ですから、犯罪です。絶対反対します。 | 参考 | |
| 2781 | 私は、カジノを含むIRの誘致に反対です。カジノは賭博であり、その収益で横浜の市政の一部をまかなうことに納得出来ません。 | 参考 | |
| 2782 | カジノは、日本には必要ない。イラナイ カジノは犯罪ですよ。カジノはトバクですよ。刑法で禁止されているのでしょ？ | 参考 | |
| 2783 | 偶然の輸贏に関し財物を以て博戯又は賭事を為したる者は刑罰に処せられるものでカジノと言い換えても同断で、合理的に罰を免すべき理由もない。 | 参考 | |
| 2784 | 市のパブリックコメントは、カジノについては殆んどふれていない。これは市民をだますもの。シンガポールなどの例でもIRはカジノ収入が6～7割、つまりカジノのための客寄せにすぎない。カジノで、横浜の歴史的、文化的都市をこわしてはならない。カジノは刑法違反のトバクである。絶対反対。 | 参考 | |
| 2785 | 収益の核とされるカジノは反社会的である。「賭博は犯罪、賭場を開帳する人たちは反社会的勢力」というのが日本社会の長年にわたる認識であり、規範である。市税の増収という理由で変更してよいわけがない。 | 参考 | |
| 2786 | カジノの収益（客の負け金）で横浜市財政の一部にあてると言う計画は、市長の考えでしょうか。横浜市又、全国にもカジノを含むIRの誘致は大反対です。 | 参考 | |
| 2787 | カジノは賭博であり、犯罪です。カジノ絶対反対です。カジノ誘致で財政補填なんて、もつてのほかです。 | 参考 | |
| 2788 | 刑法で禁止されている博打をIR事業と言ってさもバラ色の豊かな市民生活ができるなんて！こんなに市民をバカにした案はまず、政治家として、道はずしています。 | 参考 | |
| 2789 | カジノと博打場とどう違うのか知りたい。 | 参考 | |
| 2790 | 本来、カジノは犯罪です。 | 参考 | |
| 2791 | 我が国は法により賭博行為を禁じている。税金を使いカジノ場を作るなど、全くばかげている。カジノ大反対だ。 | 参考 | |
| 2792 | 絶対反対！カジノの利益で暮らす街なんて住みたくないです。 | 参考 | |
| 2793 | カジノは賭博で、犯罪です。カジノの誘致は、止めて下さい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2794 | 私はカジノを本命にしたIRを横浜に誘致することは断固反対します。いや、横浜になければい、と言うことだけではありません。日本の何処にもカジノはいりません。カジノは賭博です。賭博は刑法で禁じられています。 | 参考 | IRにおけるカジノ制度と刑法の賭博に関する法制との整合性については、国におけるIR整備法の検討の際に、「目的の公益性」などの8つの観点をもとに検討されています。 その検討の結果を踏まえ、国が観光先進国を目指す中、2018年7月に成立したIR整備法により、我が国においては、免許を取得した事業者がIR区域内でカジノを設置・運営することが合法化されています。 また、欧州諸国、米国、日本などを含む先進諸国によって構成されている国際機関のOECD（経済協力開発機構）加盟国の中で、カジノが合法化されていない国は少数です。 |
| 2795 | IRの中に絶対条件として、カジノを開設することになっている。日本では博打は取り締りと禁止の対象だったわけです。それは現在にも継続し、刑法で禁止されています。 | 参考 | |
| 2796 | 横浜IRにカジノを含める方向性に反対します。増収効果があるからと、賭博を合法化してカジノIRに取り込み横浜市市街地の山下埠頭に誘致することに決めた市長のミスリードに反対します。誰にでも理解できることですが、カジノは賭博で違法です。 | 参考 | |
| 2797 | 誰にでも理解できることですが、カジノは賭博で違法です。 | 参考 | |
| 2798 | 違法性の阻却が担保されない民営賭博カジノ誘致に横浜市は踏み出すべきではない。カジノは賭博であり、賭博は刑法185条、186条で犯罪とされ、科料又は懲役に処される。違法性の濃い賭博誘致に横浜市が踏み出すべきではない。 | 参考 | |
| 2799 | 横浜市にカジノを設けることに反対します。横浜市にカジノを伴うIRを作るという計画がありますが、横浜市にカジノを設けることには反対です。賭博は麻薬、売春とともに社会に有害なものとして一般に法律で禁止されているものです。 | 参考 | |
| 2800 | IRの誘致は名前を変えた博打場を山下埠頭に作ることであり、博打は刑法では賭博罪として禁止されているものです、 | 参考 | |
| 2801 | IR=カジノは、絶対反対！刑法で、禁じられている「とばく」=「IR」を地方自治体が、行なうのは、もってのほかです。 | 参考 | |
| 2802 | IR=カジノは絶対反対！IRは、百害あって、一利なし。刑法で、禁じられている「とばく」=「IR」を、地方自治体が、行なうのは、もってのほかです。 | 参考 | |
| 2803 | なぜIRがカジノありきなのでしょうか？昔から賭博は法で禁じられているのになぜ今、子供達にどう説明するのでしょうか。 | 参考 | |
| 2804 | 博打に対する習慣性、中毒性を防ぐ法律や条例が沢山出てくる。このようなことまでしなければいけないカジノを取り入れる素案には反対する。なぜ日本では古来から博打が禁止されてきたのか、考察されていない案である。 | 参考 | |
| 2805 | カジノを含むIR（統合型リゾート）の誘致には強く反対する。意見の理由基本的にカジノは、賭博場です。賭博場の開設は、刑法186条2項（賭博場開張等凶利罪）として禁止されています。国の基本法である刑法で禁じられている賭博場開張を認めることは出来ません。 | 参考 | |
| 2806 | IRカジノは絶対横浜に誘致しないでください。カジノは賭ばく、ギャンブルです。これまでは違法で禁止されていて罰せられたものです。ギャンブルでもうけたお金で市の財政をまかなうなんて、市民の恥。健全な未来はのぞめません。 | 参考 | |
| 2807 | カジノ事業を誘致することは違法であり犯罪である。 | 参考 | |
| 2808 | 横浜IRの方向性4「安全・安心対策の横浜モデルの構築」として、治安対策、依存症対策への取組が書かれていますが、そもそも、こういう対策に取り組まねばならなくなるのが、海外での多くの事例で明らかな「カジノ」を、強引に押し進めるのか全く理解できません。子や孫に負の遺産は残せません。市長は、市民の生命・暮らしを守ることが最優先だとはお考えになっているのでしょうか？もしそうであるならば、刑法で禁じられている「賭博」=「カジノ」を、市民の生活空間に持ち込み、市民の生命・暮らしに不安をもたらすような政策は、お考えになるはずはあり得ませんよね。もう一度、横浜市民の生命・暮らしを守る政策は、どうあるべきかを、「白紙」に戻して考えてくださいますようお願い致します。 | 参考 | |
| 2809 | 横浜市は、このIRの素案の中で、カジノの占める割合は3%としていますが、IRの収益の大半はカジノでまかなうとのことですが。私などが申すまでもなく、カジノは他にもない【賭博】そのもので刑法でも禁じられています。正当化はしないでください。 | 参考 | |
| 2810 | カジノを含む統合型リゾートには、強く反対します。そもそも、カジノは賭博です。賭博は法律で禁止されています。 | 参考 | |
| 2811 | カジノは賭博であり犯罪です。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2812 | かくれた主役のカジノが目立たずにいられません。カジノで行われていることを普通に行えば犯罪になります。その不道徳性・反社会性は、善良である平凡な我々市民に取ってがまん出来るものではありません。 | 参考 | <p>ⅠRにおけるカジノ制度と刑法の賭博に関する法制との整合性については、国におけるⅠR整備法の検討の際に、「目的の公益性」などの8つの観点をもとに検討されています。</p> <p>その検討の結果を踏まえ、国が観光先進国を目指す中、2018年7月に成立したⅠR整備法により、我が国においては、免許を取得した事業者がⅠR区域内でカジノを設置・運営することが合法化されています。</p> <p>また、欧州諸国、米国、日本などを含む先進諸国によって構成されている国際機関のOECD（経済協力開発機構）加盟国の中で、カジノが合法化されていない国は少数です。</p> |
| 2813 | カジノは賭博で、バクチで犯罪です。市民の為の市政をして下さい。 | 参考 | |
| 2814 | 賭博や富くじは基本的には刑法で禁止されており、違反すれば懲役刑も待っています。 | 参考 | |
| 2815 | カジノ誘致に反対です。そもそもカジノは、賭博であり、法律違反です。 | 参考 | |
| 2816 | 人の敗けたお金で横浜市の財政を確保するカジノを含むⅠRは断じて容認できません。刑法で禁止されている博打であり絶対に反対！ | 参考 | |
| 2817 | 横浜にカジノはいりません。賭博は刑法で禁止されています。国は多くの方が反対する中、カジノの解禁をしてしまいました。 | 参考 | |
| 2818 | カジノ反対。ⅠRの計画は全く話になりません。本来国、地方自治体は国民、住民の税で賄い、それを分配するのが基本であり、足りなくなるといつて本来禁止されてきた賭博（カジノ）のあがりて補うというのは国民主権、民主主義の基本概念をないがしろにするものです。 | 参考 | |
| 2819 | ギャンブル（カジノ）は現在禁止されている事で、それを破ってまでカジノを横浜に呼び寄せる等、市長としても人間としてもやってはいけない事ではありませんか。道を誤らないで下さい。 | 参考 | |
| 2820 | 横浜にカジノはいりません。そもそも賭博は刑法で禁止されているものです。 | 参考 | |
| 2821 | 横浜の中心街・中区山下町に、統合型リゾート・ⅠR・賭博場＝カジノを創ることに反対です。何故刑法で禁じている賭博場＝カジノを創ると云えないのか。 | 参考 | |
| 2822 | 私は、横浜市の『カジノ・ⅠR誘致計画』には、絶対“反対”の立場で述べたいと思います…まず、刑法にも違反している「カジノ＝丁半博打」の集益から税収としたいのか、サッパリ！理解できません。 | 参考 | |
| 2823 | 元来カジノ等の賭博は、働いて糧を得る健全な庶民の生活を破壊する行為であることから、排拆されてきたものである。これを市という公的機関が許可を制定すると、それは道義上許されないことである。ⅠRが何といてもカジノ許可を中心としたものだけに、反対はⅠR自体に及ぼさるを得ない。 | 参考 | |
| 2824 | バクチで市、国の運営不可。 | 参考 | |
| 2825 | カジノは刑法185条の賭博罪に該当します。こんな犯罪を認めるわけには行きません。 | 参考 | |
| 2826 | 単純に税収確保のため賭博を横浜市が選択するとは驚きです。大規模なホテル、会議場、展示場、ファミリーで愉しめるエンターテイメント場。誰も反対はしないでしょう。そこに日本の刑法で禁止されてる賭博場がなぜセットされるのか理解不能です。 | 参考 | |
| 2827 | 違法で潤う財源など市民は望んでいません。 | 参考 | |
| 2828 | カジノは賭博であり、違法です。 | 参考 | |
| 2829 | カジノは賭博であり、賭博は刑法で罰せられるものである。素案は誘致が前提となっているが、誘致撤回という選択肢も含め立ち止って議論すべきである。 | 参考 | |
| 2830 | 憲法で博打を禁止して公が実施して良い訳がありません。 | 参考 | |
| 2831 | 横浜市のカジノ誘致に反対です。カジノは賭博です。本来、賭博は法律違反です。それをなぜ横浜に誘致するのでしょうか。市民の大多数がカジノ誘致に反対しています。 | 参考 | |
| 2832 | 横浜市はⅠRのなかでカジノの面積は3%としていますが、ⅠRの収益の大半はカジノでまかなうとされています。カジノ＝賭博は刑法で禁じられており、多数のギャンブル依存症者を生み出します。 | 参考 | |
| 2833 | カジノに反対する理由は、国の特例付方策とはいえ、賭博は刑法で禁止されています。 | 参考 | |
| 2834 | カジノには絶対反対です。なぜ、刑法において賭博が犯罪として定められているのか、その立法趣旨を考えてください。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2835 | 本来日本の法律で違法であるカジノが私たちが暮らす横浜にできるということです。違法のもので、それが市の収入の柱の一つになる。このような重大な市政の転換、方針についての賛否を市民に聞くことすらしなないと、ということなのでしょうか。 | 参考 | <p>IRにおけるカジノ制度と刑法の賭博に関する法制との整合性については、国におけるIR整備法の検討の際に、「目的の公益性」などの8つの観点をもとに検討されています。</p> <p>その検討の結果を踏まえ、国が観光先進国を目指す中、2018年7月に成立したIR整備法により、我が国においては、免許を取得した事業者がIR区域内でカジノを設置・運営することが合法化されています。</p> <p>また、欧州諸国、米国、日本などを含む先進諸国によって構成されている国際機関のOECD（経済協力開発機構）加盟国の中で、カジノが合法化されていない国は少数です。</p> |
| 2836 | 賭博は百害あって一利なし故、日本を含む多くの国々で法律で禁じられています。この事実はどんな理屈をつけようと変わりません。ダメなものはダメなのです。 | 参考 | |
| 2837 | IR施設の中心に、カジノを設置する旨記載されていますが、カジノはそもそも、本来は刑法上も禁止されている賭博場であり、真にやむを得ない事情がある場合以外は設置すべきではありません。 | 参考 | |
| 2838 | カジノとは「博打場」ということになります。そもそも賭博は刑法で禁じられた犯罪であって、そこには何の生産性もありません。 | 参考 | |
| 2839 | カジノはいりません。どれだけ綺麗事をならべようと、どれだけ良く見せようと、カジノは所詮賭博です。規模の問題ではない | 参考 | |
| 2840 | 市のカジノ誘致は、賭博禁止の歴史をくつがえす愚挙だと思います。 | 参考 | |
| 2841 | カジノは絶対反対 カジノは賭博です。賭博で得たお金を市税増など絶対反対です。 | 参考 | |
| 2842 | 賭博場を作らないでください。 | 参考 | |
| 2843 | 横浜市が導入しようとしているIRの核心は「カジノ」です。カジノは、紛れもない博打で、現行刑法では禁止されている違法行為であり、犯罪行為です。 | 参考 | |
| 2844 | カジノは江戸時代から御法度。目こぼし料・寺銭で政治を司るのは政治家としてイロハを知らない失格です | 参考 | |
| 2845 | カジノは社会的弊害が大きいため刑法で禁じています。そんな業態を誘致するのは恥ずかしい。 | 参考 | |
| 2846 | カジノは賭博であり、IRとカモフラージュしても賭博そのもので違法です。 | 参考 | |
| 2847 | ギャンブル依存症対策をすれば大丈夫、というのであれば、他の賭博も対策すれば合法にしてよいように思うのですが、矛盾しませんか。 | 参考 | |
| 2848 | この度、IR法でIR区域に限ってカジノ行為を合法とするにあたり、国はカジノ行為が賭博であり、それは日本の刑法において犯罪であるとの認識を変えたのでしょうか。横浜市は、どうなのでしょうか。合法にするにあたり、賭博とは何かを問い直す必要があるのではないですか。横浜IRの方向性（素案）の策定で、どういう議論をしているのですか。明確にしてください。 | 参考 | |
| 2849 | IRカジノは、「カジノ管理委員会」の厳重な管理下に置かれ、依存症や反社会的勢力の関与などへの対策を厳格にとるといわれています。では、厳格な管理・対策をとることによって、IRカジノの賭博としての性質は無くなっているのでしょうか。カジノはあくまで賭博であって、カジノ管理を徹底しても賭博としての性質は無くならないと考えますが、市長（市）どうお考えですか？IRのカジノはクリーンなゲームで賭博ではないと考えるのですか。だとしたら、「世界最高水準」の管理体制をつくって対応する必要がありますが何処にあるのですか。 | 参考 | |
| 2850 | カジノについてですが、「健全なカジノ事業」等と書いてありましたが、カジノを辞書でひきますと「賭博を主とした娯楽場・賭博場」とあります。賭博は我が国では数種の特例を除いて一律に法律で禁止されています。言い換えれば法律で禁止すべき対象であり本来その存在自体が「不健全」で「不道德」なものであるといっても決して過言ではありません。したがって「健全なカジノ事業」なるものはそもそも存在しないと考えます。「カジノ」なんて単語をつかうから錯覚をおこすのです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2851 | カジノ誘致に断固反対です！一旦カジノ業者と契約を結べば、40年間締結をやめる訳にはいかないと聞きます。それに、カジノ業者は、自分からやめる時も、市民（市）から撤退してほしいとなった場合でもどちらにも、損はしない仕組みになっていると聞きます。そんなことに絶対手を出すべきではありません。 | 参考 | <p>IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。</p> <p>しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。</p> <p>実施協定の有効期間は、「IR事業は長期間にわたる安定的で継続的な実施の確保が必要であること」が国の基本方針（案）に示されていることを踏まえ、横浜市とIR事業者との合意により、区域整備計画の認定の有効期間（当初10年、更新5年ごと）を超えた期間を定めることも可能とされています。</p> <p>事業者を実施しているコンセプト提案募集（RFC）では、仮に40年としヒアリングしましたが、実際の協定の期間は、事業者の公募前に策定する実施方針において定めていきます。</p> |
| 2852 | カジノ業者に対する市有地の払下（又は貸与）は違法です。人間の精神や都市の健全な発展を大きく狂わせるものを次々につくるのは、やめていただきたい。SDGsの考え方に反するものであります。港湾関係者の案をどうして同じ土俵の上のにせないのでか。 | 参考 | |
| 2853 | 40年間という長期契約の中で、責任の所在は明確にされているのでしょうか？ | 参考 | |
| 2854 | IR事業者との長期契約で赤字補填で市の財政負担が増えたらどうするつもりなのか。 | 参考 | |
| 2855 | IRオペレータとの7年後の区域認定数見直して、東京都IR誘致に名乗りをあげることもありえます。その場合、IRオペレータの横浜への再設員を手握える懸念もあり、再設員に関するIRオペレータへの条件づけをすべきです。 | 参考 | |
| 2856 | 依存症対策も、治安対策も全く具体性がありません。子ども孫たちにまで禍根を残す恐れのある40年契約は、絶対に認められません。市長も、市の幹部ら、IR推進課の職員も自ら責任の取れないことはやめるべきです。 | 参考 | |
| 2857 | カジノ誘致に反対します。IRのカジノは、誘致した横浜市とカジノ業者の間に40年間の実施協定期間を締結するので、一度契約を結べばカジノとの関係がずっと続くこととなります。 | 参考 | |
| 2858 | 一旦IR施設を誘致すると、横浜市がIR事業者との契約更新を拒絶した場合、損失補填（期待された利益への補償）を求められる可能性があるが、この点につき説明がない。横浜市がIR施設を誘致しIR事業者との契約を更新する際に更新を拒絶しようとした場合には、事業者から横浜市に損失補償（期待された利益への補償）を求められる可能性がある（特定複合観光施設区域の整備のための基本的な方針（案）36頁参照）。そのため、横浜市がIR施設をいったん誘致するとその後、方針を転換してIR事業を拒絶することが難しくなる可能性がある。よって、横浜市は、横浜市民が将来的に民間のカジノ事業を認めるIR事業を拒否することが困難になるような事業を推進すべきでない。 | 参考 | |
| 2859 | 私は横浜IR事業計画に反対する理由。予定地である山下ふ頭の不当な廉価による払下げ。 | 参考 | |
| 2860 | 莫大な税金をつぎ込んで、予定通りの収入がなかったらどうするの？（20年～40年続くという） | 参考 | |
| 2861 | 一回誘致すれば40年も賭博の町、横浜、というレッテルが続きます。誘致撤回を求めます。 | 参考 | |
| 2862 | IR施設は契約期限がありこれが更新されることになっています。一旦IR施設を誘致して横浜市がIR事業者との契約更新を拒絶することも当然考えられます。拒絶の理由として依存症対策が効を奏さず大量の依存症患者が出てしまい財政を圧迫するとか、治安が悪くなるとか、災害などで街作りそのものを作り直す必要があるとか、市民の総意でIRから撤退したいと考える場合などいろいろなケースが考えられます。その場合、事業者から更新拒絶を理由に損失補填（期待された利益への補償）を求められる可能性があると思われれますが、素案ではその説明がありません。損失補填を求められた場合その支払は市からの税があてられることになってしまい、そのリスクは検討しなければなりません。本来更新拒絶についての損失補填は行わないことが誘致の条件とすることが将来にわたるリスクを防ぐ為には必要ですが、そのような試みを検討されていません。 | 参考 | |
| 2863 | 外国企業に経営をまかせ、その契約が40年にわたるといふのも見逃せません。 | 参考 | |
| 2864 | IR施設は契約期限がありこれが更新されることになっています。一旦IR施設を誘致して横浜市がIR事業者との契約更新を拒絶することも当然考えられます。拒絶の理由として依存症対策が効を奏さず大量の依存症患者が出てしまい財政を圧迫するとか、治安が悪くなるとか、災害などで街作りそのものを作り直す必要があるとか、市民の総意でIRから撤退したいと考える場合などいろいろなケースが考えられます。その場合、事業者から更新拒絶を理由に損失補填（期待された利益への補償）を求められる可能性があると思われれますが、素案ではその説明がありません。損失補填を求められた場合その支払は市からの税があてられることになってしまい、そのリスクは検討しなければなりません。本来更新拒絶についての損失補填は行わないことが誘致の条件とすることが将来にわたるリスクを防ぐ為には必要ですが、そのような試みを検討されていません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2865 | 40年の契約期間などありえない。以上カジノには反対である | 参考 | <p>IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。</p> <p>しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。</p> <p>実施協定の有効期間は、「IR事業は長期間にわたる安定的で継続的な実施の確保が必要であること」が国の基本方針（案）に示されていることを踏まえ、横浜市とIR事業者との合意により、区域整備計画の認定の有効期間（当初10年、更新5年ごと）を超えた期間を定めることも可能とされています。</p> <p>事業者を実施しているコンセプト提案募集（RFC）では、仮に40年としヒアリングしましたが、実際の協定の期間は、事業者の公募前に策定する実施方針において定めていきます。</p> |
| 2866 | IRのカジノは、誘致した横浜市とカジノ業者の間に40年間の実施協定期間を締結するので、一度、契約を結べばカジノとの関係がずっと続くこととなります。 | 参考 | |
| 2867 | カジノ誘致に反対します IRのカジノは誘致した横浜市とカジノ業者の間に40年間の実施協定期間を締結するので一度、契約を結べばカジノ関係がずっと続くこととなります。 | 参考 | |
| 2868 | 途中で解約するのが難しいカジノです。市長は最後まで責任がとれるのでしょうか。 | 参考 | |
| 2869 | 一度、誘致してしまったら、40年間は中止できないしくみになっている。 | 参考 | |
| 2870 | 横浜市はIRの事業期間を40年と仮定しているようですが、このような長期契約では、様々な負の影響が現れても、途中で契約破棄すると莫大な違約金を要求されるなど簡単には止められない仕組みではありませんか。こんな負の遺産を後世に遺すわけにはいきません。 | 参考 | |
| 2871 | 1度カジノをはじめれば40年はやめられないと聞いてます | 参考 | |
| 2872 | わずかな雇用のため長期の運営を検証しているのか？ | 参考 | |
| 2873 | IRの事業者と横浜市の契約はありますか。何年ですか 途中での違約金は。 | 参考 | |
| 2874 | 40年もの契約で赤字を税金で穴うめなんてとんでもありません。 | 参考 | |
| 2875 | 横浜市はIRの事業期間を40年と仮定しているようですが、このような長期契約では、様々な負の影響が現れても、途中で契約破棄すると莫大な違約金を要求されるなど簡単には止められない仕組みではありませんか。こんな負の遺産を後世に遺すわけにはいきません。 | 参考 | |
| 2876 | 横浜市はIRの事業期間を40年と仮定しているようですが、このような長期契約では、様々な負の影響が現れても、途中で契約破棄すると莫大な違約金を要求されるなど簡単には止められない仕組みではありませんか。こんな負の遺産を後世に遺すわけにはいきません。 | 参考 | |
| 2877 | 横浜市はIRの事業期間を40年と仮定しているようですが、このような長期契約では、様々な負の影響が現れても、途中で契約破棄すると莫大な違約金を要求されるなど簡単には止められない仕組みではありませんか。こんな負の遺産を後世に遺すわけにはいきません。 | 参考 | |
| 2878 | 横浜市はIRの事業期間を40年と仮定しているようですが、このような長期契約では、様々な負の影響が現れても、途中で契約破棄すると莫大な違約金を要求されるなど簡単には止められない仕組みではありませんか。こんな負の遺産を後世に遺すわけにはいきません。 | 参考 | |
| 2879 | 横浜市はIRの事業期間を40年と仮定しているようですが、このような長期契約では、様々な負の影響が現れても、途中で契約破棄すると莫大な違約金を要求されるなど簡単には止められない仕組みではありませんか。こんな負の遺産を後世に遺すわけにはいきません。 | 参考 | |
| 2880 | 現在、公共団体が運営している事業として、競輪・競馬事業というものがあるが、これらの管理・運営は公共団体がしっかりと行い、会計上の処理は特別会計で収支計上し議会や会計監査の厳しい審査を受けている。賭博事業にこのようなシステムが出来るかという絶対無理と考えられる。 | 参考 | |
| 2881 | 市長、20年後まで、保証できますか？先の事まで考えて欲しいです。 | 参考 | |
| 2882 | 横浜市はIRの事業期間を40年と仮定しているようですが、このような長期契約では、様々な負の影響が現れても、途中で契約破棄すると莫大な違約金を要求されるなど簡単には止められない仕組みではありませんか。こんな負の遺産を後世に遺すわけにはいきません。 | 参考 | |
| 2883 | IRを設置すると40年間は継続される為反対です。 | 参考 | |
| 2884 | カジノ企業との契約期間が40年も、大問題で反対です。 | 参考 | |
| 2885 | 事業契約も40年の長期契約のようですが、期待収益に対する損失補償は無いのか。オーバーな計画は過大なリスクを伴います。 | 参考 | |
| 2886 | カジノはダメです。絶対に反対です。カジノはうけ入れると産業になってしまい、悪いことが起きても40年、50年と続き、やめられなくなります。市民または日本中を巻きこんでしまいます。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|--|
| 2887 | カジノはダメです。絶対に反対です。カジノはうけ入れると産業になってしまい、悪いことが起きて40年、50年と続き、やめられなくなります。市民または日本中を巻きこんでしまいます。 | 参考 | <p>IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。</p> <p>しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。</p> <p>実施協定の有効期間は、「IR事業は長期間にわたる安定的で継続的な実施の確保が必要であること」が国の基本方針(案)に示されていることを踏まえ、横浜市とIR事業者との合意により、区域整備計画の認定の有効期間(当初10年、更新5年ごと)を超えた期間を定めることも可能とされています。</p> <p>事業者を実施しているコンセプト提案募集(RFC)では、仮に40年としヒアリングしましたが、実際の協定の期間は、事業者の公募前に策定する実施方針において定めていきます。</p> |
| 2888 | 40年変えられないなど、心配、危惧はつきません。負の部分もしっかりみて、IRは絶対やめてほしいです。 | 参考 | |
| 2889 | 横浜市はIRの事業期間を40年と仮定しているようですが、このような長期契約では、様々な負の影響が現れても、途中で契約破棄すると莫大な違約金を要求されるなど簡単には止められない仕組みではありませんか。 | 参考 | |
| 2890 | IR経営業者との契約期間5~10年程度にすべきである。40年は長過ぎる。 | 参考 | |
| 2891 | この計画は仮に実施されてもすぐに頓挫するだろう。その場合横浜市は外国系事業者からISDS訴訟を提起され、莫大な損害賠償をしなければならなくなる虞が大である。そのとき横浜市の財政は本当に破綻する。 | 参考 | |
| 2892 | IR経営業者との契約期間40年は長過ぎる。上記の不測の状況出来を考え10年程度にすべき。 | 参考 | |
| 2893 | カジノ営業収入で横浜市の税収増を謳っていますが、日本人および海外観光客から毎年1兆円近く巻き上げる胴元に横浜市長がなるといことですか。しかもカジノ収入の7割もが米中海外カジノマフィアの懐に入る不平等契約じゃないですか。更に万十分な収入を彼らが得られない場合、または横浜市が撤退しようとしたら、賠償金を横浜市ひいては我々市民が払うことは必至です。91頁の「循環効果」は素人レベルの取らぬ狸の皮算用です。日本の国債破綻をなんとか維持している日本人の貯蓄を奪われることでもあり、まさに売国行為と言えます。この事業に関わる人は将来売国奴としての汚名を着ぬよう、即刻カジノ抜きの横浜市の発展計画、税増収計画を考えるべきでしょう! | 参考 | |
| 2894 | IR経営業者との契約期間は長過ぎます。5年程度で充分です。 | 参考 | |
| 2895 | 依存症多く、街荒れても事業者との契約は40年。やめるにやめれない。莫大な違約金の発生。とても困る事です。 | 参考 | |
| 2896 | IRの事業期間は40年と聞きます。長期契約の中で、様々な負の影響が現れても、中途の契約破棄は、莫大な違約金を請求されることとなります。 | 参考 | |
| 2897 | カジノが導入されたあと何年か経過して、市の態度が変わって、カジノ反対の首長や議会が選出されても、カジノ撤退には40年かかる、またその際には法外な契約違反金も取られると言われております。現市長、現副市長はそうなることに責任を負えるはずがありません。ただちにカジノ撤退を表明すべきです。 | 参考 | |
| 2898 | カジノ業者(民間の)との契約期間は40年と聞いています。 | 参考 | |
| 2899 | IR事業者と契約などを締結するときは、仮にIR事業者が事業に失敗したときでも、横浜市が損失を補填したり債務を負ったりしないような、横浜市にマイナスが生じない内容にしてください。 | 参考 | |
| 2900 | IRのカジノは、誘致した横浜市とカジノ業者の間に40年間の実施協定期間を締結するので、一度、契約を結べばカジノとの関係がずっと続くこととなります。カジノが経営不振になれば、自治体の横浜市が損失補填し、横浜市民の負担が逆に増えることとなります。カジノ誘致には反対します。 | 参考 | |
| 2901 | 17頁にて「民設・民営」を謳っていますが、政策において行うのであり長期にわたる責任を横浜市が担保すべく「公設・公営」にて行ってください。 | 参考 | |
| 2902 | 最も重要なのは、外資と契約した場合、利益が出なかったりマイナスになる場合も絶対に横浜市が補填金などは出さない契約であること。基本的にIRは利益にならないと考えている。 | 参考 | |
| 2903 | IR事業者と市が安易に契約を結ばないでほしいです。市長は、市民と共に歩んでいって欲しいです。 | 参考 | |
| 2904 | 一旦IR施設を誘致すると、横浜市がIR事業者との契約更新を拒絶した場合に、損失補填(期待された利益への補償)を求められる可能性があるが、この点につき説明がない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2905 | IR誘致について、東京都は未だ態度を明らかにしていないが、IR事業が東京都と競合した場合のケーススタディを行い、その結果も公表する必要がある。東京都に勝ち、横浜市の事業としてが10年以上継続できなければならない。新型コロナウイルス等の感染症発生時の休業補償を税金でしないように公募条項に入れる必要がある。誘致に失敗した場合、多額の市税が無駄となり、市長は辞職するなど責任の取り方を公表すること。事業開始後、目標の利益を得られない場合も同様に退職金返上等責任を取る必要がある。 | 参考 | IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。 しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。 実施協定の有効期間は、「IR事業は長期間にわたる安定的で継続的な実施の確保が必要であること」が国の基本方針（案）に示されていることを踏まえ、横浜市とIR事業者との合意により、区域整備計画の認定の有効期間（当初10年、更新5年ごと）を超えた期間を定めることも可能とされています。 事業者を実施しているコンセプト提案募集（RFC）では、仮に40年としヒアリングしましたが、実際の協定の期間は、事業者の公募前に策定する実施方針において定めていきます。 |
| 2906 | IR・カジノの収益は既に参入を表明している米国等の世界的なカジノ産業に渡ってしまうだけでなく、事業不振の場合自治体が損失補填をするという恐ろしいものです。 | 参考 | |
| 2907 | IRが起爆剤。IRが失敗するリスクを評価すること。海外のカジノ業者の言い分を鵜呑みにした薄っぺらなIR。カジノ計画ではなく、地道な将来発展性のある産業イノベーションを見いだす努力をすべきである。そのような努力のもとに計画を作成すべきである。 | 参考 | |
| 2908 | 横浜市はIRの事業期間を40年間と仮定し、事業案を募集。長期契約の中で様々な負の影響が現れても、途中で契約破棄すると莫大な違約金を要求されるなど簡単にはやめられません。 | 参考 | |
| 2909 | 横浜市としてどのように考えており、また契約破棄する事態になった場合、どのように対応するのかを明らかにして頂きたい。 | 参考 | |
| 2910 | 新型コロナのように「想定外の」事態が発生したときには、カジノ事業者から補償を求められる可能性もあるだろうし、カジノ以外のIR施設が赤字になることもあろう。更に、様々な不都合から契約期間途中で（カジノ運営者との）契約解除をしたくても損害金を求められることもあり得る。施設は負の遺産にもなり得るのだ。このような負担の増大のツケを払わされるのはカジノとは無縁の横浜市民・日本国民である。 | 参考 | |
| 2911 | 海外事業者との契約で適切にリスクヘッジできない。横浜IRの方向性素案パブコメ以下の理由で反対します。海外事業者との契約で横浜市の担当者が適切にリスクヘッジできるとは思えません。横浜市民にとってリスクが大きくても途中でキャンセルしたくても、簡単にキャンセルできないような契約になってしまうと思います。 | 参考 | |
| 2912 | 事業リスクの回避今後長期化するコロナ問題による世界経済の停滞を考えれば、一つの事業体にこの大規模な開発を任せるとの事業リスクは極めて大きい。そうなった場合、事業が頓挫した場合に市民からの税金が投入される可能性を提案書は否定しているとは思えない。そういったリスクを回避する方策を明示すべきである。 | 参考 | |
| 2913 | 反対します。IR事業者との長期契約で赤字補填など将来的に市の財政負担が増大するリスクがあることに對して、市が不利にならないようしていく姿勢が見られません。これでは事業者の言うなりになってしまうと思います。 | 参考 | |
| 2914 | 国の話と事業者の話が鵜呑みにしているだけだと思います。40年間縛られるカジノIR事業者との契約を許してよいのでしょうか？外国企業との長期契約のリスクをヘッジできるのでしょうか？ | 参考 | |
| 2915 | IR事業者との長期契約で赤字補填など将来的に市の財政負担が増大するリスクがあることに對して、市が不利にならないようしていく姿勢が見られません。 | 参考 | |
| 2916 | 国の法律で決まっているので、40年の長期契約は解約できないのでしょうか？簡単には後任の市長は解約できないようです。確かに何千億円も投資する事業者にとって、簡単に解約されては困るという理由はわかりますが、何千億円もの事業者を決定する契約責任は重いと考えます。契約後1年間であれば、ペナルティなしで解約できる契約にすべきではないかと思います。 | 参考 | |
| 2917 | 想定される費用対効果を得られない場合、どのように責任を取られるのでしょうか。 | 参考 | |
| 2918 | 山下ふ頭の地権者は大半が横浜市です。市の所有ということは市民の財産ということですか。市政は、市民の財産を守ることが原則です。「方向性（素案）」と平行して提起されている「IR実施方針（骨子）」では、売却ではなく、「貸付による処分」とのことです。が、どういうことですか。賃貸ですか。長期定期借地権の土地として売却するのですか。明確にすべきです。いづれにしても地権者としての発言権はどの様に担保するのですか。「素案」では明らかではありません。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2919 | IR事業は「公益」事業をうたいながら、あくまで、「民設民営」で、民間の投資（1兆円とも言われる）を募って行われる、国策の事業モデルです。その施設の建設や運営の失敗に、横浜市は責任を持たなくていい取り決めをするといえます。しかし、失敗のまえに、横浜市民が、来るべき選挙で、国策事業モデルを破棄する道を選ぶ方が、現実的です。市自身が見解を持たないで事業者と相対するはずはありません。この過程は市民に明示されるべきです。とりわけ、市民の利害にかかわる事柄についてあってはならない事です。 | 参考 | IR整備法で、IR区域は民間事業者により一体として設置・運営されるものとされています。このため、事業の運営に関しては、事業者が責任を負うものと考えています。 しかし、事業経営には、さまざまなリスクがあるのも事実です。海外の事例では、事業者が撤退した場合には、施設の譲渡により他の事業者が、経営を継続することが有力な選択肢とされているほか、IR整備法においても、事業継続が困難になった場合における措置を、設置自治体と事業者が結ぶ実施協定で定めることとされています。 実施協定の有効期間は、「IR事業は長期間にわたる安定的で継続的な実施の確保が必要であること」が国の基本方針（案）に示されていることを踏まえ、横浜市とIR事業者との合意により、区域整備計画の認定の有効期間（当初10年、更新5年ごと）を超えた期間を定めることも可能とされています。 事業者を実施しているコンセプト提案募集（RFC）では、仮に40年としヒアリングしましたが、実際の協定の期間は、事業者の公募前に策定する実施方針において定めていきます。 |
| 2920 | IRに投資する事業者の大半は賭博業の事業者です。カジノ産業の生き残りをかけて、単体カジノではなく統合型リゾート事業モデルを立ち上げてきたのです。日本カジノに巨額の投資を行う以上、リスク排除の要求を持つのは、当然でしょう。契約の問題です。まずは、土地契約について。売却ですか？賃貸・貸付ですか？事業用定期借地権との案が出されています。明らかにしてください。そうした具体的問題への「方向性」が無い「素案」は撤回すべきです。 | 参考 | |
| 2921 | 横浜市は「横浜IRの施設運営」はあげて事業者が負い、横浜市は「一切、金も出さぬし、責任も負わぬ、また、負わされぬ」（説明会）といえます。事業者との契約の問題だと思えます。「土地契約」については「地代」をいくらくにするかがありますが、地代以外に、収益に見合った地権者への収益還元についての契約を結ぶのですか。土地契約とは別に契約をむすぶのですか。 | 参考 | |
| 2922 | 地域住民こそ横浜らしさを担う、主体です。その過去～現在そして未来の歴史において、〈横浜らしさ〉はとらえられるべきではないでしょうか。山下ふ頭を40年の長きにわたり、事業用定期借地権として賭博業界の国際資本に譲り渡すことは〈新たな横浜らしさ〉の追求にとって、新たな障害となることを恐れます。 | 参考 | |
| 2923 | 「素案」でも、「民設・民営一体的な整備・運営」と記されています。国の決めた事業モデルです。事業者の失敗についても、横浜市は責任を持たないといえます。しかし、失敗のまえに、横浜市が、国策事業モデルを破棄する決定をすることの方が、現実的です。その事態に対する事業者側の態度はどういうものか。この点は何も明らかにされていません。国際取引の常識からすれば、業者の側が、市の側の契約破棄に対するペナルティーを求めない、ということはありません。横浜市は、事業者に対する聞き取り調査をすでに実施しています。その点で、事業者側の態度はどういうものであるかについて、明らかにすべきです。 | 参考 | |
| 2924 | 実施協定において、「事業継続が困難となった場合でも、設置自治体が事業者に対して何等かの財政的支援を行うことは無い」という趣旨の条項を入れることはできないでしょうか？報道によれば、事業者との契約は何十年にもわたるとされています。この契約期間の間、市はIR事業を継続しなければならないのでしょうか？今後10年、20年後には社会情勢が大きく変化することは、十分ありえることです。途中、適切なタイミングで事業の見直しを行うことは、カジノに限らずMICE等の健全な運営維持のために、横浜市にとって重要ではないかと思えます。事業の見直しについて、あらかじめ事業計画として明文化して市民に公開することを強く希望します。 | 参考 | |
| 2925 | 横浜市が、財政破たんなどでIR事業をサポートできなくなった時、或いは、市民の意志で、サポートしないことになった時、横浜カジノ付きIR事業の収益モデルは成り立たなくなります。市が損害賠償、また、慰謝料請求を請求されることにもなります。 | 参考 | |
| 2926 | IR事業が継続困難におちいったとき、その困難が生み出される原因は何かにもよりますが、決定権者としての国、また、事業者に施設の建築と運営を託した自治体の責任が問われないということもこれまたあり得ません。横浜市は、IR事業の運営は事業者に任されるものであり、その上での失敗では、横浜市の責任は問われることはない、補償を求められることはないと思います。この交渉の内容は市民に明らかにされるべきです。 | 参考 | |
| 2927 | 運営側のミスではなく、横浜市自身が、議会で、市長選挙で、IRカジノとの契約の継続を望まない、むしろ、廃棄するという方針にかわることによって、事業の継続が困難になるという場合があるだろう、ということです。そこが問題です。市当局は自分が今すすめている方針の否定であるから、その可能性を認めたくないということでしょうが、その場合についての言及はありません。市が撤退する可能性について厳しく想定して当然です。その時のペナルティーを上げて横浜市に、あるいはまた国に、求めないということはありません。市が撤退する可能性については、ペナルティーについての合意が避けられないとした場合、どの時点でその契約は取り結ぶことになるのでしょうか。リアルに説明すべきです。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|--|
| 2928 | IR施設内の雇用（就労）拡大・市内企業との優先契約などIRによる経済効果の「見える化」を図る為、中小企業振興基本条例に沿ってIR単独での工事・委託・物販、雇用、教育、コンプラなどのカテゴリーにおける報告を公開する、ことを義務づける | 参考 | IR整備法では、国が、区域整備計画や事業計画の実施状況を毎年度評価することとなっています。IR事業者はその評価結果に基づき、カジノ収益を、特定複合観光施設の整備その他設置運営事業等の事業内容の向上や自治体を実施する区域整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないとしており、事業者が地域の魅力向上を図る仕組みになっています。 |
| 2929 | IR運営におけるコンプライアンス強化の為の監査体制の充実と法令違反に対する最も厳しいペナルティの適用を考慮すること。 | 参考 | |
| 2930 | IR賛成 毎年市内企業への発注割合を確認してください。 | 参考 | |
| 2931 | 市民としても、国民としても、IRは横浜にできると良いと思います。業者選定後、業者の経営者や株主の意向で、提案内容と大きく異なる運用（経営）がされてしまわないよう、工夫が必要だと感じました。 | 参考 | |
| 2932 | 行政は方針だけで丸投げとなるとどうせ市がどこまで関かわらないだろうし、10年経っても、収支悪く、改善もなし状態が予想される。市は担当者が変わって、責任の所在があいまい。責任取らないみたいな事では最初からやってくれるなですよ。 | 参考 | |
| 2933 | 「民間事業者により一体的に整備・運営」の方向性は心配があります。初期の設備投資も民間事業者に任せるとすれば、利益が出ないと射幸心を煽るようなカジノに成り下がるリスクがあります。そうなれば最悪です。 | 参考 | |
| 2934 | いいことばかりではなく、効果が見込み通りに行かないときの、リスクとリスクヘッジあるいはコンテンツジャンプも明確にして欲しい。費用対効果やROIもつまびらかにしてほしいです。失敗のツケは市民になるのは勘弁してほしいです。 | 参考 | |
| 2935 | この仕組みを評価・監査する仕組みの記載がありません。いつ、だれが、どのようなタイミングで、どのような評価や監査を行い、実施されている事項の廃止・継続・修正を誰が決定するわかりません。これらのことを明確にしたうえで、住民の意見を反映するのであれば、この素案に賛成します。 | 参考 | |
| 2936 | 91頁でリピーター（再度来訪者）の増を挙げますが、再度来訪者の把握にはディズニーランドのように施設の定期的な更新や入場者の満足度の把握が必須であり、現在の来訪希望者がどの位いるのか、何度も来たいと思うかの把握が前置されてしかるべきです。 | 参考 | |
| 2937 | 政策として行う以上、IR業者が事業を行っている際は情報公開を義務付けてください。 | 参考 | |
| 2938 | 誘致については、スピード感をもって進めてほしいです。IRが開業して動いて初めて見つかる課題もあると思うので、契約したらIR事業者任せ、にするのではなく、行政とIR事業者が建設的に課題解決を図る機会をもつような契約をしてほしいです。 | 参考 | |
| 2939 | 行政の打ち出す民設・民営のIRについて。数世紀前の《箱もの行政》の2番煎じだけはやめてほしい。IRの民設・民営化で指定管理者制度もこの一環としてあげられるであろうが、文化の啓蒙において指定管理者制度の弊害も出ているを忘れてはならない。文化の啓蒙は熱意と市民との協同であり、指定管理者制度の契約期間内で実績が出るものではない。まず既存の組織の良い点、悪い点を箇条書きしてから、より良いシステムになるための内部精査とブラッシュアップを基礎にして、構想を打ち出してほしい。成功を願っております。 | 参考 | |
| 2940 | 都心臨海部との融合で触れられている都心臨海部との一体的整備と融合。歯が浮くような立派な表現ですが、環境整備、ユニバーサルデザイン観点から不明、疑問点が浮かぶ。タバコのポイ捨て、飲食物のパッケージゴミなど都市美観を維持する点の説明、市民の豊かな暮らしをもたらす2つの振興策と財政改善への貢献。絵に描いたモチにならぬようにする縛りは必要ありませんか？ | 参考 | |
| 2941 | 一度契約をしたら、将来契約更新の拒否ができません。横浜市がIR施設を誘致しIR事業者との契約を更新する際に、更新を拒絶しようとした場合には、事業者から横浜市に損失補償（期待された利益への補償）を求められる可能性があります。そのため、横浜市がIR施設を一度誘致するとその後、方針を転換してIR事業を拒絶することが難しくなる可能性があります。そのような将来の市民を縛る契約をして事業を推進すべきではありません。 | 参考 | |
| 2942 | 本事業が開始された場合、横浜市担当部署での各事業の年度ごとの目標設定、責任者、達成状況を公開すること。事業者任せにしない体制を構築すること。 | 参考 | |
| 2943 | 納付金・入場料に限らず、IRにおけるいっさいの収入、および、いっさいの支出を市民に対し明確にした運営を行ってほしい。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2944 | I Rが長期的に横浜都心臨海部のまちに寄与するよう、I R事業者を適切に監視しながら、I R事業を継続するための措置についても検討頂きたくお願い致します。 | 参考 | I R整備法では、国が、区域整備計画や事業計画の実施状況を毎年度評価することとなっています。I R事業者はその評価結果に基づき、カジノ収益を、特定複合観光施設の整備その他設置運営事業等の事業内容の向上や自治体実施する区域整備計画に関する施策への協力に充てるよう努めなければならないとしており、事業者が地域の魅力向上を図る仕組みになっています。 |
| 2945 | 送客施設による送客実績の測定方法や統計を確認できる仕組みや、国の成長戦略におけるKPIに対する横浜I Rの寄与について、例えば最新のICT技術（スマートフォン連携、IoT、5G）を使う等、どのようにご検討されておりますでしょうか。 | 参考 | |
| 2946 | 賭博という公序良俗にふさわしくない場合もありえる事業に対して、税金が還流することはあってはならないと思います。カジノとそれ以外の事業（MICEなど）が一体となって経営がなされている場合であっても、経営状況の内訳を明確にするなどして、カジノ事業への実質的な財政支援がなされないよう歯止めをかける必要があると思います。 | 参考 | |
| 2947 | 昔、バブルの時代にリゾート法なるものが施行されて日本各地で開発されたプロジェクトがありました。そのうち地域の活性化に役立ったものがいくつかあるのでしょうか。多くは破綻してきたのではないのでしょうか。北海道のある都市は債務超過となり国の支援を受ける羽目にもなりました。経済政策はなかなかこれといった施策が難しいとはよくわかりますがよくよく考えてほしい。 | 参考 | 日本型I Rは、これまでの海外における成功や失敗など先進事例を参考としながら制度設計されています。具体的には、海外の事例を踏まえ、I R整備法では、カンウオンランドのようにカジノだけが先行して開業することができない規定となっており、また、アトランティックシティのように過当競争に陥らないよう、国内のI Rの数は、3か所が上限となっています。 |
| 2948 | I Rの導入についてのマイナス評価がきちんと知らされておらず、プラス面を全く信用できない。私は、欧米・アジア等のカジノを数多く訪問した経験があるが、いずれも横浜とは違った立ち位置であり、成功は望めない。 | 参考 | |
| 2949 | カジノはチップでもうかるといわれていますが、チップ文化の全くない日本で事業は成功しないと思います。 | 参考 | |
| 2950 | 外国には上手く行かなくなったカジノもあるそうで、そうなった場合、普段納付金・入場料収入を折半して儲けている国は知らぬ顔の半兵衛を決める事でしょう。被害を受けるのは市民です。横浜や日本にカジノはいらない。 | 参考 | |
| 2951 | 市長は、国がI Rは3か所と決めていると言うが、知る人は、ラスベガスははしごするから面白いと言う。業者がつき込んだ金を回収できなかった時、横浜にカジノをもう1軒となるかもしれない。横浜にそんなものなくていい。 | 参考 | |
| 2952 | 今世界中のカジノが衰退の一途をたどっているという状況の中で、「なんで今?!」というのが大方の見方だと思います。あれほど隆盛を極めたアメリカのアトランティックシティのカジノやアメリカの方々のカジノが潰れています。そのような衰退産業の手助けをする必要は全くありません！ | 参考 | |
| 2953 | 隣国の韓国での状況等I Rを導入されておられる各国での実施状況を十分検討されたのか導入にあたっての課題、問題点等を理解する材料が伝わってこない。カジノ施設を準備するのにどれほどの投資（横浜市のお金等）も全く見えてこない。素案と言ってもその内容が分からなければ、一市民として検討の手立てが見当たらない。 | 参考 | |
| 2954 | ラスベガス、アトランティックシティ、マカオといった都市から想起されるイメージはやはりカジノ、ギャンブル、依存症、享楽、金銭トラブル、麻薬、犯罪といったネガティブな側面が強いのではないのでしょうか。 | 参考 | |
| 2955 | 数少ない成功事例のシンガポールをお手本にしていますが、韓国やアトランティックシティほか、失敗事例の方が多くあります。失敗しない自信は、どのくらいありますか？日本にカジノは必要ありません。 | 参考 | |
| 2956 | I Rは日本には最大3つとあるが、1つでいいと思う。（横浜の問題では無いが） | 参考 | |
| 2957 | 失敗した産業モデル、欧米のマネをする必要はない。 | 参考 | |
| 2958 | 国際観光振興による経済効果が大きく、地元経済の発展に貢献といっている。自国民を対象とした韓国のカンウオン・ランドは地域全体が荒廃し、アメリカのアトランティック・シティの街も廃業となったホテルやレストラン、空き地ばかりになっている。 | 参考 | |
| 2959 | カジノビジネスは確実な利益を生むと考えるほうが良い。横浜市はシンガポールのI Rを成功事例として同様の成果を確信しているようだが、カジノビジネスはアトランティックシティなどの破綻した例もあり楽観視は禁物。失敗、撤退事例を再度勉強することを強く求める。収支が厳しくなると市の税金をつぎ込む、あるいは規制を緩めるなどあってはならない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|--|------|---|
| 2960 | なぜ海外例はシンガポールだけなのだ。成功例もあれば失敗例もあるのに、検証が全くなされてない。メリットだけでなく、デメリットをちゃんと公表しなければ、信用できない。 | 参考 | 日本型IRは、これまでの海外における成功や失敗など先進事例を参考としながら制度設計されています。具体的には、海外の事例を踏まえ、IR整備法では、カンウオランダのようにカジノだけが先行して開業することができない規定となっており、また、アトランティックシティのように過当競争に陥らないよう、国内のIRの数は、3か所が上限となっています。 |
| 2961 | IR型カジノは持続可能な経済・社会の実現を保証しません。海外の事例から明らかです。日本の古来からの良き伝統を破壊し、市民が衰退産業と言われている外国のカジノ資本の食い物にされるのが落ちであり容認できません。 | 参考 | |
| 2962 | この(素案)に関する指摘は下記に示します。Oカジノに関しては、可否は意見が割れています。大きな論点は、日本人の依存症・治安、そして横浜のイメージといった国内問題と見ます。韓国は17か所のカジノがありますが、韓国人が入れるカジノは「江原ランド」一つで、他の16か所は韓国人の入場禁止です。横浜でIRを展開する場合は、カジノに関しては「カジノへの入場を開場から5年間は外国人のみの入場(日本人は入場禁止)とし、開場5年後に日本人の入場を認めるか否かを、国内の他のカジノの状況をみて横浜市議会で協議し、住民投票の実施も選択肢に含め、決定する」といった方式を提案します。 | 参考 | |
| 2963 | ◆初めに：横浜市IRそのものに関して、賛成・反対のいずれの立場でもありません。カジノの導入も合理的かつ、メリット・デメリットを明確化しデメリット含めたリスク管理が十分であれば、排除する立場ではありません。 ◆コメントO横浜市が提起する、横浜市の課題、目的・目標に対し、IR整備法の「日本型IR」を横浜市の中で実現されているかが、この(素案)のポイントと考えます。この(素案)を読んだ見た結果、残念ながら、この(素案)はこれらの目的・目標を指標としているとは言い難く、また資料の客観的な分析・検討がなされているとも言い難い。IR導入に至る背景説明は、導入に導くために、都合の良いつまみ食い資料と言わざるを得ない。又IR導入の効果は「希望的観測・願望」のオンパレードとなっており、リスク管理は依存症対策に偏り、経営的、財政的リスク管理が全く触れられていない。全般的に子の報告書の資料は過去の資料の無批判、無検証のコピペのつなぎ合わせになっている。一例をあげるとP51の「災害に強いしなやかなまちづくり」では提示されたハザードマップは平成25年(2013年)3月版。最新版は神奈川県2018年11月29日版。2018年版における津波の浸水深は、山下ふ頭北西部分で2m~3mと2013年版よりも厳しい。2013年版を基にした計画、例えば退避ルート「歩行空間の基本2階レベル」では低すぎる。過去の資料を無批判にコピペして作っている典型。施設の設計の基本・前提となる資料のはずであり、あまりにも杜撰かつ危険。再度冷静な日本・横浜の現状と世界のIR情勢含めた分析・検証を行ったうえでの制度設計(方向性)を市民に提示されることを望みます。 | 参考 | |
| 2964 | 世界200か国のうち、すでに127か国がIR(カジノ)を合法化している。OECD加盟国35か国の中でも30か国は合法化している。IRを導入する中でしがらみのない健全な国となる模範を示すべきだ。 | 参考 | |
| 2965 | P59~71. カジノ事業者の責任義務が全くありません。P59~71. 義務違反に対する罰則が全くありません。違反に対しては刑事罰が必要です。P59~71. P. 68のIR整備法のカジノ規制は規制ではなく、野放しです。以下の項目です。・入場制限は制限になっていません。・賭金の上限がありません。厳しい上限が必要です。違反に対しては、胴元・客も厳しく罰しないとけません。此の地区は正に無法地区になります。 | 参考 | 事業者の管理監督を行うカジノ管理委員会が令和2年1月7日に内閣府の外局として設置されました。カジノ管理委員会は国家公安委員会などと同様に、独立した権限を待ち、世界最高水準のカジノ規制を行うことにより、クリーンなカジノ・IR事業を実現する中核的な役割を担う機関です。事業者が脱法行為を行った場合は、カジノ管理委員会は、事業者のカジノ免許を取り消すことができます。 こうした国の管理組織と同様に、横浜市においても公平性、透明性などをしっかりと確保した運営に努めます。<方向性P.83> |
| 2966 | 推進母体が公務員の天下り組織とならないよう、しっかりと透明性が確保されることが大前提と考えます。 | 参考 | |
| 2967 | IR関連組織を市職員の天下り先としないこと。 | 参考 | |
| 2968 | 透明性のある、カジノを作ってください。 | 参考 | |
| 2969 | カジノ施設の要件の空虚さ(p. 46)カジノ施設の要件を6項目記しているが、いずれも空論であり、カジノ事業者はそのような要件を満たそうとするとは、とても考えられない。 | 参考 | |

| NO. | ご意見 | 対応状況 | 本市の考え方 |
|------|---|------|---|
| 2970 | <p>グラフ作成方法。公的な文書に、非科学的なグラフは用いないこと。横浜の法人税や観光が収入が乏しいことを強調し、危機感を煽るために、データを誇張するのはやめて頂きたい。7ページの上段の棒グラフ。このグラフは、「伸び率」の推移を示すものである。しかし、縦軸が宿泊者の「数」となっており、グラフが極端に短い。横浜の宿泊者の伸び率が極端に低いように見せかけている。横浜の宿泊者の絶対数が、全国よりも少ないのは当然。東京よりも少なくても、当たり前。縦軸は、2013年の宿泊者数で「正規化した値」を示すべき。恣意的な印象操作に見える。</p> | 参考 | <p>本市では今後、生産年齢人口の減少等による、消費や税収の減少、社会保障費の増加など、経済活力の低下や厳しい財政状況が見込まれています。基礎自治体で人口規模が最大の横浜市は、その影響が大きいものと考えています。</p> <p>横浜IR実現への取組の背景について、市民の皆様等によりご理解いただくため、本市の生産年齢人口や老年人口の推計、財政や観光・MICEの現状など、各種統計データをグラフ化することで、客観的かつ分かりやすくお示ししています。</p> |
| 2971 | <p>法人市民税・上場企業数の他都市比較。1社あたりの法人市民税は横浜が一番高い。その理由を解析し、どのような産業を延ばすのがよいか検討されたい。また、人口あたりの法人市民税の解析が必要である。個人市民税も加味した解析も必要である。データの解析がなされておらず、市民をミスリードしようとする意図を感じる。</p> | 参考 | |
| 2972 | <p>「圧倒的に宿泊客が少ない」と記載されているが、それがどの程度良くないことなのか、具体的な金額データで説明されたい。</p> | 参考 | |
| 2973 | <p>東京・名古屋・大阪と比べ法人市民税の低さを強調、東京のベッドタウンで個人市民税が高いことはごまかす。</p> | 参考 | |
| 2974 | <p>真剣に誘致する気があるなら、ご自身の言葉で真摯に市民に向けて具体的に説明すべきです。横浜市は世界のカジノに差をつけるどんなコンプサービスを用意しているのか、具体的に明示してください。</p> | 参考 | <p>IR整備法では、カジノ行為関連景品類（コンプ）は、一定の条件により制限されています。今後、制定されるカジノ管理委員会規則等法令に基づき適切に進められます。</p> |

4 いただいたご意見

4.1 その他の意見等（素案に関連しない意見等）

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 1 | カジノ誘致は市長が勝手に決めてすすめるべきじゃない。市民の意見（住民投票）をよく聞いて決めなさい。 |
| 2 | 前にも「IR」の件でのパブリックコメントがあり、94%の意見が反対でした。市長は、この結果で白紙に選挙公約をしたのですよね。横浜市民は、まさか市長が再当選したらまるで意見を無視してどんどんIRありきに進めていることは絶対許せません。民主主義を築くのが市長の役目です。 |
| 3 | IRに関する意見（IR誘致導入に絶対反対） 先ず市長は市長選挙公約にIRについては白紙と表明し、その後選挙が済んだあとにIR誘致導入を掲げ横浜市政、市民を混乱に陥れている。 |
| 4 | それでもなおIRを誘致したいなら公約に掲げて再度市長選挙を実施して民意に諮るべきである。 |
| 5 | 重要案件について、「白紙」から実施への説明が不十分。 |
| 6 | 公約「白紙」撤回の時は、実施を公約に、選挙をやりなおす。市民の声を住民投票で聞く。どちらもやらないのは民主主義に反する。 |
| 7 | カジノ誘致計画の削除を求めます。市長は市長選の際には「カジノについては市民の意向を確認した上で決める」と公約しておきながら、その公約を破って「カジノ誘致」独断で決定しました。 |
| 8 | カジノを含むIR誘致の是非については住民投票を実施し、市民多数の意思を確かめ、その意思を尊重して決めていくべきです。＜理由＞①今回のIR誘致は今後の横浜の都市づくり100年の計に関わるもの |
| 9 | 市長の選挙公約は「白紙、今後の方向性は市会市民の意見をきいて決める」であった筈が市民の声はまだ聞かれていない。住民投票が一番よい。 |
| 10 | IR、カジノに反対です。市長の昨年のカジノ誘致の表明は公約違反です。 |
| 11 | 全市民の投票をさせて下さい。 |
| 12 | 横浜IRを進める市長は、選挙の時には、●気にも出さなかったのに、豹変しました。始めが悪くては、この先も、宜なる哉。抑抑、博奕は、嫌いです。 |
| 13 | 天下の横浜が中学校給食もないなんて、情ない話です。カジノなどいりません。自校方式で、中学校給食を実施して下さい。 |
| 14 | 市長はこれ迄1度も市民の意見をきく事をしていません。公約違反であり市民税説明会などを開催してきました。 |
| 15 | インナーハーバーにおける「美しい港の景観形成構想」を実現するため、瑞穂ふ頭●取扱いに関し、野積み方式ではなくサイロ方式で整備して頂きたい。 |
| 16 | 公約を守らない（白紙に戻しておいて実態は、粛々とコトを進めていた） |
| 17 | 今、Netflixで《スペンサー・コンフィデンシャル》をやっていますが、その残り43分のところのセリフ「健全なカジノがあるか？あんなものは不正の温床だ」この常識を市長以下が知らないはずはないでしょう。歴史の審判を受けますよ。 |
| 18 | 突然に、IR（カジノ設置）をだしてそんなファッションなやり方は、おかしいです。市民の意見を正しく聞くべきです。 |
| 19 | 横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施して下さい |
| 20 | おかねがふえたら、みんなしあわせになるよ。 |
| 21 | 住民投票あるいは来たる市長選挙において、私たち主権者たる市民の意見を問うべきです。100年の禍根を残さないために。（子や孫の世代に誇れる横浜をひきわたしたい） |
| 22 | Netflixで今かかっている●主演《スペンサー、コンフィデンシャル》の中に、新聞記者の言葉「カジノは認可・利権、建設で不正が生まれるのは常識だ」というイミの台詞がありました。若い人たちの脳裏にしっかりすりこまれたことでしょうか。不正を進める横浜市、と。 |
| 23 | 現在の市長の任期中に進め、改選の市長が、中断したら、過去の経費は、誰が負担するのか？町づくりの収支（試算）金額の内、カジノは、どれほど計上され、その根拠は？ |
| 24 | 反対！他の都道府県、市町村で実施できる中学校の給食を用意できない市が、市民の健康、安全、子供の成育に対して責任を負うとは考えられない。中学は義務教育です。税金の使われ方で子供達への不利益を当然とみなしている市議会も「責任」の感覚が一般市民とかけ離れていると思います。市長を支持した覚えは、ありません。 |
| 25 | 無関心な市民がほとんどの中、IR事業を進めるのは、市民を、無視している。住民投票は必ず行うべき。それにより、市民は考える、機会を、得るので。市民は日々の生活に追われ、余裕がない。一部の市民の意見だけでは不十分。得特に若い世代が、どう考えるのが重要。 |
| 26 | 市民の7～8割が反対している中、素案はナンセンス。住民投票を実施し決めるべきである。これが民主主義である。 |
| 27 | 選挙では「白紙」でした黒（博打）に染めたいなら公約違反ですので出直し選挙すべきです。裏切られた思いです。 |
| 28 | 自治体の主権者は市民です。私たちは市長、市議に白紙委任していません。こんな重要な大プロジェクトについては、先ず住民投票で市民の声を聞いてほしい！ |
| 29 | 市長の公約違反の横浜IRに反対です。 |
| 30 | 市民の声を聞く必要があります。是非を問うため、住民投票を実施すべきです。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 31 | 市長はIRについて、保留という立場で市長選に臨みました。今、カジノを含むIR誘致の決断に、何をどう検討したのか、何の明言もありません。市長には説明責任をきちんと果たすべきです。 |
| 32 | 中期計画のパブコメで94%が「カジノ付IR」に反対した。それでも「カジノ付IR」を推進する場合は市民投票で判断すべきである。 |
| 33 | 市長・横浜市の運営手法に反対します。前回の選挙で市長はカジノについては白紙、推進する際には市民の意向を伺う、と言っていたはずですが。住民投票を否定するのは、市民が反対であることをわかっているからではないですか。強権的手法は認められるものではありません。IR事業、観光事業の市場性の再検証が必要です。市民の意向を無視して進める事は認められませんが、もし市民が認めたとしても、見直しを再検証すべきです。 |
| 34 | IR法で住民投票条例を否定していないのに横浜市は否定しているおかしい。 |
| 35 | 結論ですが①カジノ誘致は議会で決定すべき事案ではない。②市民の大多数が反対しているカジノ誘致は住民投票で可否を決定すること。横浜IRが本当に市民の為になる施策ならば住民は賛成するでしょう。それを拒む理由はどこにもない筈です。 |
| 36 | カジノの是非問う住民投票直接請求致します。 |
| 37 | カジノの是非問う住民投票直接請求をします。 |
| 38 | 市長カジノ白紙コウヤクを信じて投票した。一転して賛成と言うなら住民投票を行うのがすじだろう。博打場のテラセンで市の運営をするのはあまりにもりふじんで昔の博打うちと同じだ。なさない。てっかいしろ。 |
| 39 | カジノの是非問う住民投票直接請求をします。 |
| 40 | 住民投票乞う ご容赦願います。体力的にサポーター無理です。 |
| 41 | 住民投票をすべきである。 |
| 42 | 白紙から誘致表明の宣言時の誇らしげな態度、表情に宿った誇り年齢と共に顔がかわり冷たさが伺えます |
| 43 | 市長以下の行動は「倫理にもとる、新自由主義的目的論見」とでも云へるでせう。別名、「悪魔に操られたカネ稼げ」。棺をおおった後の名誉を一考されては。 |
| 44 | 「区域整備計画策案」されてから市民に問うべき。都市整備局IR推進課の職員の方々は本当にこの文章でIRについて、市民が「よく解った」と思っているのですか。それにこのパブコメは全世界に配布すべきでわずか1万数千枚を役所にならべただけで事が済むという適当なやり方は余りにも市民を馬鹿にしています。 |
| 45 | 私は、横浜で生まれ、育ちました。横浜の街、人が大好きで、皆がしあわせに暮らせることを望んでいます。そんな横浜が、40年間も縛られるカジノとの契約をしてよいのでしょうか。市長は、白紙と言って当選しました。1兆円規模の長期の契約を結ぶ資格は、ありません。 |
| 46 | 私は、横浜で生まれ、育ちました。横浜の街、人が大好きで、皆がしあわせに暮らせることを望んでいます。そんな横浜が、40年間も縛られるカジノとの契約をしてよいのでしょうか。市長は、白紙と言って当選しました。1兆円規模の長期の契約を結ぶ資格は、ありません。ギャンブルで成り立つ横浜には、したくありません。 |
| 47 | カジノの是非問う住民投票直接請求をします。 |
| 48 | 住民投票登録 目先の利益よりも文化都市を目指して下さい。 |
| 49 | 横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施してください。市長選でIRの導入は白紙にするのだと思っていました。なぜ今、カジノが必要なのでしょう。 |
| 50 | 横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施してください。カジノは賭博です。市長選でIRの導入は白紙にするのだと思っていました。なぜ今、カジノが必要なのでしょう。IRのために新たな整備に莫大な税金をかけることに賛成できません。もっと、もっと、市民に必要なものがあるはず。社会保障や、教育に財政を生かしてください。 |
| 51 | 市長は2017年市長選で「IR誘致を白紙にする」と言ったので投票したのに誠に不誠実。昔の横浜の悪いイメージを変えるのにどれだけ努力しているか！ |
| 52 | IRそのものが日本に上陸することに、反対です。ラスベガスですすでにIR(カジノ)産業が行き詰り次のターゲットを日本に向けているのです。汚職をした議員が法案を通したことも法案設立が間違っているのだから白紙に戻すべき。市長は2017年市長選で「IR誘致を白紙にする」と言ったので投票したのに誠に不誠実。昔の横浜の悪いイメージを変えるのにどれだけ努力しているか！今、山下公園・横浜港周辺の安心して歩ける町は大切な市民の財産です。これを失うことの方がどれだけ経済損失・将来の子供達の為に残すべきです。負の遺産はいらぬ。住民投票をすべきです |
| 53 | 横浜市の市民に厳しく、業者に寄り添う構造体質に呆れている。横浜市長に陳情書を提出することと市民にパブリックコメントを求めることは日本国憲法で保障している国民の請願権であり、行政府は陳情書の主旨は何であれ、その取り扱い「民の声」として真摯に受け止め、耳を傾けて誠実に対応する義務があることを地方公共団体である横浜市職員及び市長は怠っている。●市長時代から市民生活を大事にする革新市政の横浜を標榜してきた横浜市の現状は上記の例の如くに2度も陳情書として受理しときながら法的判断もない棄却とは陳情拒否同然で憲法に違反し、善良な市民生活を破壊する業者に寄り添い利益供与に躍起になっている住民を敵対視し蔑視する公共団体であることが何故革新市政の継承であること標榜しているのでしょうか。これまで横浜市民として40年、横浜市職員の業者との癒着構造体質や職員の士気の低く職務怠慢の無気力体質と居丈高な態度に呆れの果てていたところ「市民生活の向上」に不可欠としてIRの誘致に名乗りを上げている横浜市に憎悪感を抱いております。「豊かで安全・安心な市民生活」や「横浜の観光・経済に改革をもたらす」とし実現に懇切丁寧な説明責任を果たすいたしますが、市民に「絵に描いた餅」を提示し「善と悪」の民意を問っていますが、天下りの利権をあさり職務遂行能力を疑われる体質の横浜にはその民意を問う資質はあるのだろうか？詭弁に騙されるほど市民は馬鹿ではありません。横浜市はこれまでに陳情を無視したり、市民を軽蔑したり侮辱した事実は無く、寧ろ市民に寄り添った公共団体であったことを立証した上に横浜IR計画の是非を問う義務があります。 |
| 54 | カジノより中学校給食。横浜市に教育委員会はないのですか。市会議員のうち女性議員は超党派でカジノ誘致に反対するべきではないですか。 |
| 55 | 横浜市は国に追随するばかりで、市民利益優先の判断をしていません。カジノの賛否を表明せずに当選した市長は市民の正当な支持を得ていません。市民の反対の声を真摯に受け入れるべきです。 |
| 56 | 市民投票すべきです！ |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 57 | 横浜IRの方向性 そのものを決める必要なし！→廃案にすべきです 汚職をした議員が決めた法案そのものが成立しない。市長2017年「白紙」としていたので投票したがその後、変更。あきらかに不誠実。横浜港の安心、安全な、空気を次世代に残すべき。 |
| 58 | 市民反対の意見は無視しないで下さい。 |
| 59 | その理由は前回市長選挙で市長は「カジノは白紙」と言って当選しました。それが市民に何の相談もなく、カジノ誘致を発表しました。これは明らかに民主主義に反します。 |
| 60 | IR(カジノ)の経済効果を8000億円といいますが市民からバクチで1兆円以上巻きあげなければこうはなりません。 |
| 61 | IR誘致につき、直接住民の意思を問う旨の明記がない。本素案には、カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響について、十分な調査、評価をしていないばかりか、住民の直接の民意を問うということが明示されていない。世論調査ではカジノ施設を含むIR誘致に反対の意見が多数であり、横浜市は、認定申請の前に住民の直接の民意を問うことを明示するべきである |
| 62 | 選挙の公約は守れ！市民にうそをつかないで下さい！ |
| 63 | 他でもない、IR(カジノ)誘致が現状に至ったプロセスである。信じられない。 |
| 64 | 市はパプコメの結果には左右されないとのことですが、何の為のパプコメですか、市民の多数の声に従うことが民主主義の社会ではありませんか、考え直していただきたい。 |
| 65 | 住民投票してください。 |
| 66 | 市長はいったんは、白紙撤回発言をしておきながら当選後はカジノは白紙と云ってないと発言している。 |
| 67 | 前回市長選では市長はIRが争点になっていたにも関わらず、全く語らず、当選した後で突然言い出した。 |
| 68 | 市長、政府の目ばかり気にしていないで、市民に目をむけなさい。誰のための市長なのですか？ |
| 69 | 住民投票直接請求と市長リコール直接請求受任者としての活動に協力したいと思います。国際都市横浜としては更に文化芸術、教育推進の為に市税を役立てて頂きたく、お願い申し上げます。 |
| 70 | 住民投票直接請求 |
| 71 | 現段階で市長がやるべきことは、誘致活動を事務的作業も含めてすべて即刻停止し、その上で、なおどうしても誘致したいなら、辞職して市民の審判を受けるべきだ。 |
| 72 | 話を進めるプロセスも悪い。市民は知りたがっていたにも関わらず、選挙の候補者は賛否を表明しませんでした。市長と議員はカジノに関しては市民の代表とはいえません。世論調査でも市民の反対は明らかなのに、市長は全く聞こうとしません。 |
| 73 | 市長さん“多くの皆様が賛成している”と言われますが、それは市長選の時“IRは白紙に戻す”と公約したから安心して当選したのです。思い違いしないで下さい。 |
| 74 | |
| 75 | |
| 76 | 市長をはじめカジノ誘致を表明して議員になった人はいません。にもかかわらず市議会はIR推進費四億円を含む予算案を可決。 |
| 77 | 横浜市民の財産である山下ふ頭の港湾用地が不当に低い価格で売買若しくは賃貸される可能性が高い。 |
| 78 | これまでの横浜市のIR施設に関する動きは、市長の導入表明以来明らかに「カジノIRありき」で進んでおり、導入の是非についての議論を一切排除している。早急に横浜市民にカジノの是非について信を問うべきである。 |
| 79 | 市長のこの件に関する運び方も、白紙→誘致、パプコメ実施期(コロナの中)・反対意見が多いことを無視に疑問しか覚えません。 |
| 80 | 最初は市長リコール迄はと考えていたが、斯様な政策を推進する市長のリコールも止むを得ないと考えるに至った次方です。 |
| 81 | 市民の声は聞く必要がないということですか。 |
| 82 | 市長はどんなに反対意見が多くてもカジノは絶対にやるとのこと。パプコメの意味は何ですか。 |
| 83 | 横浜でカジノの是非を問う、住民投票を実施して下さい。 |
| 84 | 市長は2017年7月市長選挙で「白紙」と言いました。昨年8月突然誘致の表明を行いました。これは市民の意見を聞くとした公約にも反します。市長はこれまで一度も市民の意見を聞くことをしていません。公約違反であり、市民説明会などを開催してきました。今回の素案は撤回を求めます。 |
| 85 | 2016年12月に成立したIR推進法は、そもそも禁止されていた賭博を解禁するものです。成立の過程からして多くの反対の声を押しつけて強行されたもの。市長は「国が決めたこと」に従順ですが、国に無批判に従うことが正しいでしょうか。昨年8月22日の会見でも「住民投票は行わない」と明言し今回のパプコメも「反対多ければ(誘致を)やめるということではない」とした上で開始されました。住民の意見をまず聞くことから始めるのが「すじ」ではありませんか？IR誘致をいったん「白紙」にして「住民投票」を実施することを求めます。政府と経済界の方より住民を見て下さい。 |
| 86 | おちついたらまず住民投票を行って横浜市民の意見を聴いて決めましょう |
| 87 | 住民投票等住民の意思確認のないままの契約反対です。 |
| 88 | 横浜にカジノは反対です。市長選で「白紙」と、おっしゃっていましたが、突然の誘致表明に、大きな失望と、怒りで胸が、塞がる思いです。 |
| 89 | 賭博は法律。市長選の時「カジノは白紙」と言って当選後にカジノを持ち出す！ |
| 90 | 「IRは白紙」と言ってスタートされた市長なので、私たちは安心してついて来られたのです。期待しております。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 91 | 市長選を前にIRについては白紙という言葉信じた市民が多かったと思う。自分も白紙=やめるというように思ったのがまちがいだっ た。説明会も通りいっぺん。とにかく横浜にはカジノはいらない。 |
| 92 | 横浜カジノは反対です。市長は2017年7月市長選挙で「白紙」と言いましたが、昨年8月突然、誘致の表明を行いました。これは、 市民の意見を聞くとした公約にも反します。市長はこれまで一度も市民の意見を聞くことをしていません。公約違反であり、市民説明会 などを開催してきました。今回の素案は撤回を求めます。 |
| 93 | 最終的に住民投票で誘致の是非を決めるべきです。 |
| 94 | 負の側面を同じ様に示してから市民の意見を問うべきです。 |
| 95 | 市長は市長選挙で白紙と言い、昨年8月に突然誘致の表明をしました。市民の声を聞くとした公約しましたが一度も市民の意見を聞くことを していません。今回の素案は撤回を求めます。住民投票をして市民の声をきいて決めて下さい。 |
| 96 | カジノ業者の言いなり |
| 97 | 市長は市長選でカジノ白紙としていたのだから、住民投票を行い、市民の声をきくべきである！ |
| 98 | 市長は市民の声をもっときいて下さい |
| 99 | もともと白紙といって市長になられたのでは？ |
| 100 | 住民投票をするのが、民主主義ではないでしょうか。 |
| 101 | 市民説明会もこのパブコメもすべてIR誘致ありきで進められていますが、本当に横浜市民の意見を聴くなら「住民投票」を行なって下 さい。 |
| 102 | 住民投票をまずすべきです。いまのままでは、この事業はすすめないで下さい。 |
| 103 | 横浜市は市長、市長の個人の所有物ではありません！！市民のものです！カジノについて市長は可否を市民に問うことなく当選したの です。公約にも掲げず、勝手に進めるのは民主主義に反する行為です。 |
| 104 | 何より横浜市が民主主義市であれば、カジノの是非を問う“住民投票”をやして下さい！！これが大多数の市民の声です。 |
| 105 | カジノの可否を問う 住民投票を実施して欲しい。市長は市長選で明言したことを忘れないで欲しい。「市民の意見を踏まえたくえで方 向性を決める」と言ったこと。 |
| 106 | IRの誘致は反対です。市長は17年市長選挙で「白紙」として当選しており、一度も選挙で「信」を問うていないこと。議員も「誘致 賛成」の公約をかかげて19年市議選で当選した議員は1人もいないこと。 |
| 107 | 進め方が一方的で市民との対話が行われていないこと。 |
| 108 | 市民に対し面と向かい伝える事が大事、なのに何もできていないしできない人でしょう。リコールも止むなしでしょうしリコールしか ないネ！ |
| 109 | 最初は白紙と言って当選し、市民は反対しているのに、市民の意向も聞かず、当選後に、実施するとは、許せません。 |
| 110 | カジノができたらあなたは行きますか 市長選でカジノは白紙といいながら突然誘致を表明したのか私達市民は理解できません |
| 111 | 公約を守れないなら市長は辞退すべきです。 |
| 112 | 横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施して下さい。 |
| 113 | 現在の市長も市議会議員もIR誘致を一言も言わずに当選しています。 |
| 114 | 市民の意見をまず聞いて下さい。 |
| 115 | 市長選挙では「白紙」、当選すると、一転「誘致」では、あまりに市民無視、民主タギのかけらもない。 |
| 116 | カジノを中心としたIRには反対です。まず事の経緯が不透明、不健全です。市長はIR誘致を白紙にして市長選を戦いましたが重要な 政策をあえて争点から外すのは選挙戦術というよりか策略です。 |
| 117 | 市長は市民の選んだ市議会で決議されたと言いますが選挙時にIRに賛成する政党はカジノには触れませんでしたし、この事に関する事 と同じ様に触れていなかった オペラバレエの劇場を創る事は住民投票をすべきと思います。 |
| 118 | 市長の横浜市の運営に反対！カジノ誘致は白紙と公約して当選したにもかかわらず、カジノ付きIRを招致していることがそもそも公約 違反だと思います。 |
| 119 | 市長は2017年7月選挙で「白紙」と云いましたが昨年8月突然誘致の表明をしました。これは市民の意見を聞くとした公約にも反し ます。 |
| 120 | 横浜にカジノは絶対いらない市長は「誘致を白紙状態」にすると行って選挙に出ました。日本にはパチンコ等のギャンブルが多くあるの にこれ以上のギャンブルは絶対いりません。 |
| 121 | 選挙で公約もしないで突然、カジノ誘致をきめるなど市長の資格なし。そんな資格を市民は市長に与えていません。市民の福祉の充実が 自治体の長の仕事です。 |
| 122 | IRがそんなに良いものなら、何故、堂々と市長が住民投票に掛けないのか。その理由を説明しろ。疾しいことがあるのか。こんな決め 方は有り得ない。 |
| 123 | カジノ導入の是非を市民に問い、市民の声が反映された市政をすべきである。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 124 | カジノ（賭博）でスツカおもな人。1、106億の会社の金をつぎ込む。何回も足を運び、負けては都度、熱くなり借金し、積み積って巨額になった。ラスベガスで短期間で、借金して帰国し金持企業家より融通してもらい返す。他にも、知人が居るがカジノの為にいらぬ。 |
| 125 | いつの間にか、市民一般が知らない内に当然のようにカジノを誘致してその為の予算を組んで進めている市長の姿勢に賛成できません。 |
| 126 | 市民の審判も受けていない市政の強行 |
| 127 | 住民投票を実施して、住民の意見を問うて下さい。 |
| 128 | 市長選で●さんは選挙争点にしなく当選してからIR導入では市民に対する裏切で有る。 |
| 129 | IR導入するのであれば、今后私はフルサト納税を行う。 |
| 130 | 一国の首都（国会）から40kmの距離にG8及びG20国に於いて公認賭博施設の有無を教えてください。→拡大解釈として東京（有明）50%、横浜（MM山下）25%、千葉（幕張）25%と輪番制にして年間9ヶ月休止という方法は取れないか＝横浜が迷惑施設全て背負う必要無い |
| 131 | ● |
| 132 | 港南区IR説明会拝聴しましたが、冒頭選挙公約で「IR白紙」と発言した事と現時点の言動の相異何ら問題無い旨の回答でしたが、今回初めて市長の任につかれたのならともかく、再選であれば前任時の市の動き（密かに、粛々とIR事業化に向けての業務遂行）の序走は既にIR推進は50～60%固まっております、昨年の正式発表で強引に公認されたかの様である為、やはり選挙公約とその時点で市長の意向に大きな違いがあると思わざるを得ない。 |
| 133 | 市民全体の住民投票を実施し、最低でも50%の賛同を得た時点で事業（賭打）推進する事（スタートの遅れは、他のIR事業化先行自治体が運営しても、全ての面《羽田国際空港至近距離・東京圏他首都隣接に伴い流入入国確保・知名度等》で優位に立っており速に追い抜く事が可能と思われる）（一番スタートに乗り政府の愚策《IR賭博導入》の試金石になる必要は無い）各MIG施設の具体的な内容、宿泊施設の管理・利用形態等収支をシュミレーション毎に明確にして欲しい。 |
| 134 | 選挙をやり直す。今回のIRの導入におけるやり方は、多くの横浜市民にとって、マナー違反です。説明会で怒りをぶちまける参加者に対して「マナーが悪い」と推進派の市議会議員は称していましたが、こんな、横浜市が「どういう街」でありたいかというコンセンサスにかかわることを、選挙のときは黙秘して、議会で通るとみるや開始しました。横浜市の市の運営の中で、たとえば「子育て」「老人福祉や障がい者福祉」「地域活性」「緑や公園を守る」などさまざまなところで、文化的に豊かな生活を送ろうと、市民が少ないお金と労力を払っているのです。これらの人々は横浜を愛しているのです。微力の力をあわせて、自らの幸せと横浜市民としての自覚と誇りを大切にしてきました。これらの人々の一人ひとりの力は小さく、弱いものですが、人数は多いでしょう。もし、選挙のときに、はっきりとしたIRの公約をもって各議員が立候補していれば、今とは違う市議会の様相を呈していたかもしれません。説明会で、「横浜市民の多くが反対している市長はIRを実施するのか。」という質問に対し、「市議会では進めていける」という自信を示した。つまり、市議会の構成と一般市民の構成は、ことIRに対しては一致していないのです。それは、選挙でIRを争点にしない工夫をしたからにほかなりません。議員の選挙は秘密が守られており、個人がその思想信条を公表することなく意見を市政に反映することができます。生活する場で、大きな声で賛成や反対を表明できない立場にあっても、市政に意見を投じることができる選挙において、横浜市民のコンセンサスを問う大きな争点を隠したのは、犯罪的といわざるを得ません。6000円の入場券のうち、半分も国に取られるという点、今回のIR構想の開始の仕方。これらからは、なにか裏話があるのかしらという懐疑的な思いが起ります。大きな会社の本社を呼ぶという話もありました。特別自治市の話もありました。これらも公表し、市長と議員の選挙を正々堂々と、マナーよくやり直して、横浜市民の意見と横浜市議会の方針が一致する市政を進めるべきと考えます。 |
| 135 | 横浜IR素案の全文を全世界に配布してください。 |
| 136 | 先の市長選挙でIR誘致白紙として当選した市長はIR導入の賛否を市民に問うことが大前提です。市民の賛同を得て、初めて概要を説明すべきで、順序が逆です。 |
| 137 | 2020年4月3日 市長は選挙で『カジノは白紙』と表明し、当選後カジノを含むIR誘致を表明した。 |
| 138 | カジノ誘致に反対します。市長へ まず、なぜ先の市長選の時に、堂々と市民に問わなかったのですか。誘致に至った経緯、そして何のために誘致するのか知りたいです。 |
| 139 | 市長は「白紙」として選挙に臨みました。私は怒りに燃えています！ |
| 140 | 市長は誘致を「白紙」としていたのに急に「白紙」を撤回しました。カジノの調査費の予算計上には必要ありません。2017年市長選の時は「誘致は白紙」としていたのは、再選のためだったと思われます。 |
| 141 | 市長は、市長選で、IRについて話すことはなく、当選するや、あたかも全面的に支持されたかのように経済上の理由を盾に、賭博所誘致につき進んでいます。 |
| 142 | 市長の対応にも大きな疑問を感じます。市長選挙時は白紙で当選。その後議会、市民の声も聞かず突然誘致の表明はおかしいです。70%の市民がカジノには反対です。市長選時に誘致を表明していたら、当選はされていなかったかもしれません。 |
| 143 | 健康的な社会になることを願います |
| 144 | 今からでも遅くありません。住民投票でIR誘致の是非を市民に聞いて下さい。市長選で白紙と言ったまま、市民には意見を言う機会が与えられていません。 |
| 145 | カジノを含むIRは、市民の意見を聞いていません。まず、住民投票などで市民の意見をきくこと。従って、この案は撤回すべき！ |
| 146 | 希望が持てる世界にして下さい |
| 147 | 早く学校に行きたいです |
| 148 | 市民説明会の効果を住民投票で検証せよ。横浜市には、住民投票を実施して、市民説明会の効果を検証する義務があります。説明会に使われた多額の税金に対する効果の検証がなければ、単なる、税金の無駄づかい。住民投票をもって理解度を確認しIR誘致の是非を判断するのが市民に対する責任です。 |
| 149 | 直ちにやめなさい。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 150 | 市長は、市長選ではカジノは「白紙」としていました。議会答弁でも市民の意見を聞いてから決めると言っていたにもかかわらず昨年8月に、いきなりカジノ誘致を表明しました。 |
| 151 | 住民投票を実施して下さい。 |
| 152 | 横浜IRの実施には、絶対「反対」です。前回の市長選で民意を問うチャンスがあったのに、現市長は故意に争点を外した。 |
| 153 | この方向性素案に対するパブリックコメントを延期もせず強行、反対が多くとも誘致を止めないと明言し、住民投票で否決されるのを恐れ投票を行わない市長の民主主義否定、4/1この時期に推進動画をHP公開する、大阪市は事業者公募を6月から9月に延期するも横浜市は変えない、この市政のあり方を見ているだけで、IRカジノ誘致が市民の意向に関係なく、無理筋で通そうとする姿勢が露骨にうかがえる。 |
| 154 | 市民の意見を聞くこの場で、カジノを作る計画を載せ、作ることを決めているようで、おかしくないですか？市民の意見を聞いてから、行ってください。 |
| 155 | 住民投票をして市民の意見を聞き、賛成多数なら行ってください。横浜を外資企業へ売り渡さないで |
| 156 | 民主主義への挑戦 市長はカジノは白紙と言って当選した。 |
| 157 | 市民の反対が多数と報じられているのに、住民投票で問いもせず、無理やり推進するのは明らかに民主主義に反する。無理筋でIRを推進する姿勢があまりに露骨。それで市民の多数は不信を抱き、信用失墜という最大の損失を招いている。 |
| 158 | 市長は選挙の時、カジノは白紙と言って当選しました。「白紙でなくす」のは公約違反です |
| 159 | カジノ推進の民意は示されていません 白紙でなくなる以上は、市民の意見をまず聞いてください。賛成多数なら行ってください。 |
| 160 | 結論 前回市長選の公報を出してみました。「市民の声をきいて判断」と明文しており、安心しておまかせしようと市長にえらびました。ところが今回は、私たちの声をきくことなくカジノをすすめ出しています。私たち投票者・有権者がいないがしろにされています。いまいちど「市民の声をきく」に立ちもどられて、みずから住民投票の道をえらばれないようでしたら、支持者としても、考えざるをえません。「市民の声」「横浜の良心」を大事にしてください。あらためて、私はカジノには反対です。 |
| 161 | コロナ収束のあかつきには住民投票をして決めましょう。横浜を愛する市民はこのような首長を持って不幸のどん底にいます。 |
| 162 | 横浜市民の豊かな暮しを守るため、不幸な人を作ることはいやです。とにかく横浜市民の意見を聴いて下さい。カジノよりコロナ対策に専念し、カジノはいったん中止にしてコロナ収束のあかつきに、住民投票を行って決めて下さい。 |
| 163 | 市長、将来廃墟になった横浜を見たいですか？責任とれますか？市民の意見を聴いて決めて下さい。住民投票をして下さい。 |
| 164 | 市長は一度辞職して市民の意見を問うべき！！ |
| 165 | 撤回しないのであれば、住民投票で信を問うことを求める。 *パブリック・コメントを悪しき政策の免罪符にはなりません。 |
| 166 | ちゃんとした公聴会を聞いて市民の意見をきちんと聴くこと、どの国も住民投票をしてからカジノを誘致しています あとコロナ対策が大事です。コロナが収束するまで、IRは取り敢えず棚上げにすべきです。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 167 | <p>カジノIRパブコメ反対意見について 1. 今回のパブコメの時期について ①18区中、6区への市民説明会が開催されない中で、開催前に横浜IRの方向性(素案)を公表し、かつ全市民対象のパブコメを実施するのは、市民への情報提供の公平性を著しく欠いている。行政自らが情報格差を作ることには民主主義に反する。②新型コロナウイルスの世界的感染拡大で遂にパンデミックに至っている。感染者は100万人を超え、死者も6万人に近づいた。国境が封鎖され、出入国が禁止・制限されている。日本においても感染者は4,500人を超え、死者も100人を超えた。神奈川県内、横浜市においても感染者が増えている。2月末の学校臨時休校要請、不要不急の外出の自粛など、私たち横浜市民は感染恐怖と生活不安の日々である。横浜市長は、まず真っ先に市民の命に係わるコロナ対策に取り組むべきではないか。③市民説明会は、本来18区開催すべきである。よって、未実施の6区の市民説明会を行った上で、パブコメが行われるべきである。6区が未実施のまま、パブコメが開始されたことはまことに不適切な行政行為である。2. カジノを含む横浜IRの誘致に反対する理由 ①民意を問わない横浜市の非民主的やり方は理解できない。山下ふ頭は市民の財産であり、市民抜きのカジノ誘致は地方自治法の趣旨に反するのではないかと。②超高齢社会、生産年齢人口の減少は、横浜の課題ではなく全国の自治体の課題である。財源不足を賭博であるカジノの税収で補填し、維持する考え方のいびつさ、不健全性。財政が将来的にカジノ依存になる危険性、契約の拘束性(35年、40年)、損失補填(カジノ収益不振時、自治体が損失補填)等リスクが大きすぎる。③市民説明会で配布された資料、広報よこはま特別号、横浜IRの方向性(素案)も「効果(数値)については、事業者から提供された情報です。」とある。事業者から得た虚妄の数字で構想していると言わざるを得ない。1900年代からの各市長の時代に取り組んだ都市計画・ガイドライン・街づくりの実績・検証の数字が全く提示されておらず、カジノ誘致の根拠が見えない。④横浜は今まで都市計画・デザイン・ガイドライン作成、福祉の風土づくり、国際障者年・施設整備、安心・安全の街づくり、循環型の街づくり、災害に強い街づくりの取り組みがあった。地道な税収増には、子育てしやすい・若者が住みたい魅力ある街づくり・誰もが住みたくなる街づくりを目指すべきではないのか。地に足の着いた架空マネーではない、実体経済の将来像を提示すべきではないのか。3. 横浜IRの方向性(素案)について ①最初に触れたように、世界は新型コロナウイルスの急激な感染拡大で世界的危機にある。世界中、封じ込めに向け各国の対応が問われている。近年では例を見ない感染力を持つ未知のウイルスと人類の「戦争」は続く。去年までのように、日本にも横浜にも世界から観光客がやってくるという見込みはない。全く違う世界に変化した。もはや「横浜を世界から選ばれる目的地へ」は成り立たなくなったのである。即刻、去年まで計画した中身を見直す必要がある。英知をかけて、練り直した。②基本コンセプトでは、「横浜都心臨海部がこれからは、横浜市民の憩いの場であるとともに」とあるが、市民の大多数が反対するカジノは市民の望む憩いの場ではない。市民調査なしに勝手にカジノ付きの「横浜市民の憩いの場」にしないでほしい。③「世界最高水準のIRを実現」の項目では、横浜を「幅広い客層が楽しめる非日常的で印象的な空間を有する都市型リゾートを目指し、」とあるが、横浜を市民が望んでもいない都市型リゾートに勝手に勝たせてほしい。勝手に横浜を日本のカジノ玄関にしないでほしい。横浜は世界から選ばれるための街でなければ、日本を牽引する街でもない。私たち横浜市民が住んでいる街なのだ。事業者から提供された虚妄の数字で虚構の街を構想しないでほしい。内容は、まさに市民不在である。④都心臨海部との融合に関連して言えば、山下ふ頭は全域が「神奈川県が指定した慶長型地震の津波による浸水予測区域(浸水深0.80~1.2m)」にほぼ入ってしまい、決して安全ではないのに、これも否定している。港湾を含む地盤の低い中区では、9年前の東北大地震の時には地盤沈下や地盤ずれの被害があちこちにあった。3月24日の市会本会議で、副市長はIRが災害時の避難場所になると言っていた。危険極まりない場所ではないか。もし、これに新たな感染症が発生すれば、まさに最悪の危険避難場所になってしまう。⑤「安全・安心対策の横浜モデルの構築、依存症対策」では、「横浜市では依存症の方を増やさないように次の4つの対策を徹底して進めています。」とある。しかし、何ら実効性のある具体的な対策がない。カジノは賭博であり、賭博は刑法で禁止されているが、カジノだけは適用除外にしてカジノ事業者の利益優先となるように、ここ数年の政治が歪めている。昨年12月25日、カジノを解禁する国の旗振り役だった当時●党の衆議院議員が逮捕された。年明けにも現職議員が事情聴取を受けるなど、カジノ疑惑はまだ解明されていない。1月中旬の全国世論調査では、日常生活圏域にカジノが建つことは拒否の割合が77%である。日本全国の人々は、カジノ誘致はごめんだと言っているのだ。カジノの利益は人々がカジノに通って夢中になり、最後は負けて終わるにもかわらず、常習化してギャンブル漬けになり、この状態が継続し続けることで利益が上がるという、恐ろしいビジネスモデルである。カジノ事業者に普及啓発や依存症への声掛け、相談・連携など、実効性に乏しい。横浜市の無責任な丸投げである。日本は、ギャンブル大国である。ギャンブル依存の当事者数は人口の約3.6%(2017年)で、アメリカの2.5倍、仏の3倍、独の1.5倍である。パチンコ、パチスロ、競輪競馬、競艇など、目に余る状態である。約360万人の当事者のほかに、連れ合い・子供・兄弟姉妹・職場の同僚等を入れれば、約1000万人が苦しんでいる。借金と嘘を繰り返し、多重債務や自殺など、我が国の社会問題になっているではないか。3月24日の市会本会議では、ある議員がカジノ誘致に関するリスクとコストの説明を強く求めたが、「依存症への対応、治安への対応は、事業者との実施協定で決める。」と局長は答弁した。市民に明確なリスクもコストも示さず、市民の意見よりまだ決まっていない架空のカジノ事業者と決めていくという、あまりにも市民を愚弄した内容ではないか。最大のギャンブル依存症対策は、カジノを造らないことである。横浜市民も全国の国民もカジノは望まないことが明らかなのに、現政権の与党多数の力で強行採決されたIR整備法関連である。法の正当性が疑われる。横浜市長は、地方自治体として全国有数の政令指定都市である。国の出先機関ではない。横浜市長は、1900年代から地方自治体として独自の取り組みをしてきたはずだ。現政権に媚びるのではなく、民主主体の市政、運営を重視すべきではないか。⑥「横浜市の総合的な依存症対策について」では、ネット環境にある若者や子供たちへの影響について全く考察されず、検討もされていない。誰でもなる可能性のあるギャンブル依存症の深刻さが分かっていない。以前と違い、小さい頃からゲーム機やスマホなどを買い与える家庭が多くなっている。今日、子供のゲーム依存、長時間に及ぶネット依存、昼夜逆転の生活などが深刻な社会問題になっていることを市長はどこまで真剣に受け止めているのか。子供の好奇心は大切だが、やがてそれがギャンブル依存や身近に存在するカジノに向かえば、どうなるか。十二分に議論しておく必要がある。しかし、その検討は何もない。まことにお粗末だ。山下ふ頭は、山下公園の右手にあり、まさに日常生活圏域にある。家族連れで小さい頃からホテル・レストラン・エンターテイメント施設・カジノの施設に頻繁に行けば、小さい頃からカジノへの抵抗感を薄めることになる。その環境は、結局カジノ事業者の思惑・利益と一致する。横浜の子供の将来を何と考えているのか。市長は、去年から市民に向かって「IRはカジノだけではない。家族そろって楽しんでもいただける夢のような場所ですよ。」と笑顔で語っているが、市民の幸せの感じ方、楽しみ方は一人一人違うものだ。自分が楽しいからと言って、その感じ方を市民に押しつけないでほしい。問題の本質は、IR全体の利益の7割以上がカジノの利益であること、そして、ホテル・レストラン・エンターテイメント施設は、カジノの集客施設だということである。まさに賭博の利益で成り立つ。4. まとめ ①カジノ誘致のスケジュール・事務執行について、即刻、停止・撤回すること。民意を問わない手続きで強引に進め、かつ長期にわたり弊害の多い、市民の希望しないカジノ誘致のスケジュール・事務執行は即刻、撤回してほしい。②今回の横浜IRの方向性(素案)の内容をゼロから見直すこと。新型コロナウイルスの世界的感染拡大により、世界は第二次世界大戦以来の危機にある。もはや世界の人々が日本にも横浜にも来るような状況にはない。この状態がいつまで続くのかも、誰も見通せない。この現実を踏まえれば、今回の横浜IRの方向性(素案)の内容は、もはや時代錯誤であり、中身に著しく無理があり、今後の横浜市の将来像とはなりえない。内容をゼロから見直すべきである。③IR推進費及び新劇場予算を撤回すること。新型コロナウイルスの感染拡大で、既に地球規模で拡大し、現在も拡大中である。日本でもこの数日急激に拡大し、緊急事態宣言を今日にでも発令される。もはや国家的危機にあると言える。このような事態では、横浜市においても限られた予算を有効に使うために優先順位をつける必要がある。カジノ誘致や新劇場準備より、市民の命に係わる予算が優先度が高いのは言うまでもない。④IR推進費及び新劇場予算相当額を直ちに市民に向けた新型コロナウイルス対策に計上し、行政内部で具体化して取り組むことを要求する。現在、市民にはマスクもアルコールもない。もし感染しても、すぐPCR検査を受けられる体制にはない。重症化しても即入院できる体制にもない。先日発表された神奈川モデルは、医師会が実効性を疑問視している。重症患者に対応できない「医療崩壊」が懸念されるトップの中に、神奈川が入っているのだ。市民も学校関係者も、先ええ現状に悲鳴をあげている。政令指定都市でありながら、まさに独自性も何もない横浜市は、お寒い限りの状態である。横浜市として一刻も早く、マスク・アルコール消毒液等の市場流通、PCR検査を速やかに実施できる体制の確保、感染した患者と宿泊施設等とその人員確保、集中治療室等の確保など、横浜市民の命と生活を守ることが横浜市の取るべき姿勢・対策ではないのか。2020年後半も見通せない事態である。横浜市の最大の危機である。市民の感染者の急増、パニック、医療崩壊の前に一刻も早い対策・英断を望む。</p> |
| 168 | <p>手続的にも、市民の選択にはさらされていない。パブコメにかける前に、やっぱり必要かどうか市民の選択を求めるべきだと思う。</p> |
| 169 | <p>今の現状をしっかりとらえ、横浜市民が何を切望しているのか? 反対</p> |
| 170 | <p>報道が実施した世論調査では60%以上が反対しています。横浜市民は意識が高く、誇りを持っています。市民の意見を反映するためにも住民投票を求めます。</p> |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 171 | 住民投票から始めて下さい。市長選でも、市民の声を聞いて決めると公約されました。しかし市民はいまだに声を聞かれていません。住民投票の結果で判断して下さい。 |
| 172 | この前の市長選挙で、カジノ誘致の方向を市民と議会の意見を踏まえて決めると選挙公約に明記し、それを信じた市民の票を得て当選している。市民の意見を聞く手続きを行わず、カジノ誘致への方向を決定。そもそもこの計画は無効である。 |
| 173 | 市長の「パブコメの結果、反対が多かったらカジノ誘致を止めるということではなく、実施方針策定の参考にしていきます」との意見表明は、市民不在の考え方であり、容認できない。 |
| 174 | 家族を不滅の道に導くカジノは絶対に許せません カジノ賛成としてなかった市長に投票したのです 個別回答しないのに住所氏名何故書かせるのか |
| 175 | カジノ依存の都市経営は愚策だ。山下公園誕生の契機となった関東大震災からまもなく100年。震災や戦災、高度成長期の爆発的人口増や都市公害、不況などを乗り越え美しく整備されつつある横浜の顔、都心臨海部の一面に賭場をつくることは公約違反、イノベーションの名に背き、都市政策の放棄に等しい愚策だ。 |
| 176 | 市民の声を聞こうともしない市長には怒りしか感じません。 |
| 177 | 市長が「白紙」から一転、市民の声を聞かないまま導入を決定したこと、「市民が反対してもやる」という姿勢です。 |
| 178 | 選挙で市民に問うてからにしてください。 |
| 179 | 反対意見が多くてもカジノ導入を行なうと市長がいますが、選挙の時には「白紙です」と言って当選したので、それは、おかしいです。 |
| 180 | 市長は約束通り市民との話し合いで納得させる努力をまずして下さい。 |
| 181 | IRとは直結しないかもしれないが現在の横浜へのあこがれの思いを活かすために、臨海部で高層住宅群を開発し、子育て支援策を充実したり、教育環境を充実し、納税能力のある住民を、増す、努力が必要である。 |
| 182 | 市民の市政への参加の最も大きな機会は選挙である。しかるに、市長選、市議員選において、はっきりと、IRに対する、態度を明らかにせず、当選後に、俄に、IR賛成を表明する、市長、市議。 |
| 183 | 辞職し改めて、選挙により、IRの賛否を問うのが、筋というものである。 |
| 184 | 市民全員の投票によって決めるべきです。 |
| 185 | どんなに美辞麗句を並べても、横浜IRの中心はカジノで有る。まず問われるべきはカジノの是非である。その事を正直に市民に問うのがパブリックコメントではないのか。その点から今回のパブリックコメントは根拠のない嘘だらけでありすべて認められない。 |
| 186 | 横浜には大きな公園が無い、山下公園をもっと大きくしてほしい。 |
| 187 | 住民投票で市民の声を聞いて下さい。市民説明会でIR誘致に賛成が多数になった自信がおりなら、堂々と住民投票で誘致の是非を市民に問えるはずですよ。 |
| 188 | 市民の意見を聞くための住民投票に賛同します。 |
| 189 | 市長は、市民を犠牲にすることを選んだ |
| 190 | 市長は「白紙」と言いながら、カジノ推進 |
| 191 | 精神保健福祉ボランティアグループを結成して満24年、精神障がいの方々と共に地域で暮らしを楽しむ活動を続けて参りました。行政からお金が出ている施設から落ちこぼれている方たちも、任意団体を貫いている私たちのところで、小さな関係づくり、自己表現、社会貢献等ができるようになってきたと思っています。1996年にアルコール、薬物依存について学び、その後ギャンブル依存、摂食障害等についても学んでいます。 |
| 192 | 数年前には「社会がつくる依存症」と題して6回シリーズの講座も開催、冊子にもしました。そこには当然ギャンブル依存症も含まれています。今回「健康福祉局」は「政策局」の方向になぜ、抵抗しないのかと大いに疑問です。 |
| 193 | カジノ誘致を撤回しないなら「市長リコール」の道をとります。 |
| 194 | そもそも市長や市議会に対して独断でカジノ誘致を決定することを市民は委託しているのか。（昨年8月22日の市長発言や市会におけるカジノ関連予算の可決）市長は平成29年の市長選挙で、カジノ誘致については白紙であると表明して当選しました。また平成31年の選挙で当選した市議会議員の方々は、カジノ誘致については反対の方を除き、態度を表明されていませんでした。そういう意味では、横浜市民は、カジノ誘致については市長にも市議会議員にも独断でカジノ誘致を決定することは任せたくありません。 |
| 195 | このような、重大な問題については、選挙（市長選挙や市議会議員選挙）で横浜市民の意見を聞くべきであると考えます。市長が、結果に従うと表明すれば住民投票でもよいと思います。 |
| 196 | 山下ふ頭へのカジノIRの誘致については市長選挙などで、横浜市民の意向を反映させるべきだと考えます。 |
| 197 | |
| 198 | 市民抜きでの政治は変わる（反対） |
| 199 | IR（カジノを含む統合型リゾート施設）の詐欺を見抜いた。いまは新型コロナ騒動でIRどころではないが、でもIR誘致を目指している都市は水面下で着々と計画を進めている。たとえば横浜市。隣接の東京都もIP誘致に名乗りを上げているため、1歩でも先行しようと市長はなりふり構わぬ活動を進めてきた。そもそも市長は3年前の市長選で「IRは白紙」と公約した。それまではIR誘致に積極的だっただけに、「白紙」と公約したことは常識的には「白紙撤回」を意味する。が、昨年8月、唐突に市長はIR誘致を公言、 |
| 200 | 以前、ホームレスさんの巡回相談員経験していますのでいろいろの依存者とも相談してきました。 |
| 201 | いずれにしても住民の意見を聞いて決めましょう。住民投票で決めましょう。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 202 | 3月の「市のたより」を読みました。市長のご挨拶の中で、素晴らしい横浜花が咲きほころぶ未来に広がる美しい横浜を紹介しておりました。私も同感です。しかし、この素晴らしい横浜にIR（カジノ）誘致●の発想だと思えます。市民の真の声を歪める事なく、受け止めて下さい。IR（カジノ）誘致はきっぱりと、白紙撤回を要望します。素晴らしい横浜を、孫、子の代に受け継いで汚点を残さぬようにしていきましょう。切に望みます！ |
| 203 | 市長選挙でカジノ誘致は白紙と言って市長になりました。カジノ誘致を公約に上げれば選挙に勝てなかったからですか？ |
| 204 | 今回のカジノ誘致表明は公約違反ではないと思いますが、決めるにあたり何故市民の意見を聞かないですか。 |
| 205 | 街の中に賭博場を作るなんて信じられません。お金のためならなりふりかまわない市政は、いかがなものでしょうか？原点にかえって横浜の街づくりのために大切にすべきことは住民の生活を守るところから行って下さい。白紙というのが一般的に“ゼロ”にすることです。 |
| 206 | 市長は2017年7月の市長選挙で「白紙」と言いましたが昨年8月に突然誘致の表明を行いました。これは市民の意見を聞くとした公約にも反します。市長はこれまで一度も市民の意見を聞かないと云う事は公約違反であり、市民説明会など開催して来ましたが、今回の素案は撤回を求めます。 |
| 207 | 市長が市民の声を聴かずにIRカジノを決めた事に怒り |
| 208 | 増収分で高齢化に備えて充実していくと言っているが。市長、市議員、市職員、関係団体の俸給、助成金の減給、減額を最優先すべきである。（経費の削減） |
| 209 | 市長選挙の時、市長、IRについて白紙と云っていたが、市民は、どう思っていたのか。どう思って投票したのか。 |
| 210 | IR（カジノ）についての是非の投票をすべきである。（住民投票）横浜の未来像を定めるのは、横浜市民の手で、中央の政治家や市長は排除すべきである。 |
| 211 | カジノ推進の市長はすぐに民意をとるべきです。 |
| 212 | 「市長選」の時にいっさいopenにしないで、当選したらいきなり誘致を表明するのは市民に反対が多いことをわかっていたからでしょう。 |
| 213 | 「住民投票」を必ず実現させましょう。 |
| 214 | すぐ住民投票をやるべき。 |
| 215 | 孫子の代まで悪しき影響が残る施策を、選挙前には「白紙」だと言って当選した市長を許せません。 |
| 216 | |
| 217 | 住民投票で横浜市民の意見を反映させましょう。 |
| 218 | カジノを楽しむ方は、特定の方だけで、市民が皆さん楽しむ娯楽施設ではないと思います。 |
| 219 | 市長選での公約違反 |
| 220 | 市長は市民の声聞いて下さい。 |
| 221 | 世の中に公営ギャンブルが野放し状態にあるのにカジノだけを反対するグループの感情的行動が理解不能！しかも有名人を使った公営ギャンブルのTV放映を許すのが不可解！横浜にカジノは不要というが、大阪、名古屋では良いのか？実質的議論が見えてこない。 |
| 222 | 市長は退任すべきと考えます（公約違反と判断） |
| 223 | 住民投票直接請求に賛同します。 |
| 224 | 有権者に信を問うのが民主主義。その手続きを踏まない市政には怒りしかありません。 |
| 225 | 市長リコール請求を強く望みます。 |
| 226 | “市長が選挙時に公言した白紙に戻して再度市民に是非を問うべきだと強く感じます。 |
| 227 | 市長のリコールしかない。 |
| 228 | IRに関しては、住民投票の実施か、 |
| 229 | IRは市長選で白紙撤回で当選されたので、もしもう一度IRを行うのであれば市長選をやして下さい。 |
| 230 | まず手続き上の問題ですが、前回の横浜市長選挙の時にIR法案に関して白紙とされて当選されました（私も市長に投票しました）。100歩譲って事情が変わったという事であれば、住民投票を行うか又は市長を一旦辞職されて信任投票を行うのが筋です。財政赤字の為という事であれば、税金を更に優遇してみなとみらいに企業誘致する。羽田空港直通のモノレールを引っ張るなど、同じ予算で出来る事など考えれば沢山あります。 |
| 231 | 選挙の時点ではっきり説明せず、当選したらなんでもありではみんなの力で辞めてもらおうしかない。横浜の財源不足なら市職員の給料削減等などまず実施すべし。 |
| 232 | 「カジノは白紙だ」と訴え当選し、舌の根も乾かぬ間に闇雲にカジノを推進する一現市政は民主市政の障害以外の何ものでもありません。 |
| 233 | 市長を解任させる運動を起せばよいと思う。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 234 | やっではないけないIR。大の大人が集まってこんな企画しか創れないのか。市長リコールあるのみ。これを推めよう。必須。理由：賛否を問わずIRは推進と公言した。依って住民投票直接請求も全く効力なし。市会と党過半数なので否決目に見えている。以上備考）：よく反対するだけでなく対案を出しなさい！なんて一見物分りの良い事を言う御人がいるがこれは間違い。何故なら情報を多く持っているは推進者側であり一般市民はこの点で土俵に上れない（情報少ない）、従ってこの論は成り立たないし推進側が他の選択案（施）も示すべき。 |
| 235 | 市長は、市長選で「IRの導入検討、市民の意見を踏まえたうえで方向性を決定する。」と明言していました。 |
| 236 | 横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施してください。 |
| 237 | 現市長は選挙時「IRは、白紙」と言いながら、その後「IRやります」宣言をした。 |
| 238 | 博打場作りに現をぬかずより、中学校の学校給食を実施する方が先。 |
| 239 | 米国のバクチ胴元を日本に誘致しようとする● 横浜市はこの亡国政●に加担するな 市職員はもっと健全な案を必死に考える |
| 240 | 反対する声に耳を貸さないなら、何故、パブコメで意見を募集するのか意味がない。 |
| 241 | パブリックコメント受付は、ポーズだけなのですか。 |
| 242 | 住民投票の運びとなることを期待しています。 |
| 243 | このパブリックコメントも「反対が多かったから止めるということはない」とは失礼なことです。 |
| 244 | まず第一にカジノは有ってはならないということを強く訴える者です。「反対が多かったから止めるということはない」との強硬姿勢は独裁的ものと受け止められる。「判断に致っていない」の姿勢で当選したのであれば実施に致った細かい経過を説明すべです。反対意見を納得させてほしい。 |
| 245 | 高齢者でサポーターは無理ですが住民投票の実現を期待しています。 |
| 246 | アメリカのボストン市は、6年かけて住民の賛同を得たそうです。市民の反対が多いカジノを強行すれば、ウソをついた市長、民主主義を壊した市長、とずっと言われ、横浜市民を分断した張本人として名を残すと思います。 |
| 247 | 市民の声を反映できるようにする為に住民投票を希望します。 |
| 248 | 横浜市の経理状況の公開 |
| 249 | 横浜市長選の折には、「IRは白紙」といいながら市長当選後、白紙撤回するような市長の甘言などまったく信用できません。そんな市長とともに本来市民のために働くべく市の職員には矜持というものがないのかと情けない思いです。 |
| 250 | せめて、IRの是非を問う住民投票をやってほしいものです。 |
| 251 | 給食問題も市長は頑なまでに始めようとしな、業者との関係で浜弁に拘るのでしょう。今のご時世、食べる物も、食事する事も出来ない子供達が大勢いるとの事、給食があればたすかる子供達がいると思う。『港湾関係の組織がカジノ反対していることが救いです』 |
| 252 | その程度の市政運営しか出来ない、市長など横浜市には必要ない。市長にした市民にも責任がある、すぐに退陣してもらいたい、リコール運動して退陣に追い込みたい。 |
| 253 | 住民投票お待ちしております。有難うございます。 |
| 254 | IRカジノの是非問う。住民投票直接請求運動の成功と、市議会の役割として、賛成多数をもって成立することを節に願っています。 |
| 255 | カジノ計画をすぐにやめて、市民の意見をきく良い市長として名を残してもらいたい。 |
| 256 | 根拠が明らかでない経済効果に期待するより、中学校の給食等市民の利益に対して予算は使われるべきです。今回、ハマ弁を給食と位置づけるという事が表明されたが、他の多くの自治体で実施されている給食化できない横浜市が、カジノ誘致には予算を出すという批判を回避するためではないかと疑ってます。私の子供は20年も前に中学校は卒業しましたが、当時から給食への要望はありました。群馬県ですが、中学当時すでに給食はあったそうです。これより先にやることもっとあると思います。 |
| 257 | 賛成、反対の是非を問われると今はまだ疑問の方が多です。IRカジノを反対する皆さんはパチンコなどのギャンブル施設については触れていませんが街中特に駅前に溢れるように建つパチンコ店については何の御指摘もないのですが。カジノについて論議するならパチンコ屋についても考えて下さい。10代を代表して意見します。 |
| 258 | 住民投票で、住民の意見を聞いて下さい。市長はただの市民の代表にすぎません。 |
| 259 | 早期に市長のリコールを行い、カジノの誘致を止めるべき！ |
| 260 | IRの導入検討は市民の意見を聞いて決めるべきです。 ・横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施して下さい。 |
| 261 | ギャンブル好きの市民は不要です。 |
| 262 | 市長は選挙に於いてIRについては何んら話をせずいます。再度市民の判断を仰ぐべきです。 |
| 263 | 市民の意見を聞くと言いながら、「方向性（素案）」と言いながら、方向性どころか、具体的に既成事実がどんどん進められ、今後への不安・不信が募るばかりである。どのようにして市民の信を問うのか、具体的に明らかにしてもらいたい。例えば、選挙できちんと公約を掲げて臨む、とか住民投票を行うなど、堂々と正面から市民に問うべきである。 |
| 264 | 選挙前白紙と言っていた市長が、実施したいと言い、更に、実施に向けての説明会、調査の為の税金のつぎこみ。 |
| 265 | 市長は選挙前IRは白紙であると明言した、白紙とは「意見など何も無い事」で有りどちらにも決めていないと言う事ではない。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 266 | 本牧山頂公園から港が見える丘公園までの傾斜地にフィールドアスレックス2面（幼児・小3位と小高学年・中高生）を造り、中間に30m、50mのすべり台と空中展望回廊を設置する。一般市民からもクラウドファンディングを募れないか検討は如何。 |
| 267 | ● |
| 268 | 住民投票を行って欲しい！ |
| 269 | 私はカジノを含む横浜IRは反対です。2/14（金）の港北公会堂の説明会に参加しました。市長の何が何でも「カジノはやる」という姿勢が良くわかりました。全く民主的といえない態度です。絶対ゆるせません。 |
| 270 | 選挙時に「白紙」を公約して、いつのまにか「実施」の方向を顔を向ける。すぐにでも退場すべきだ。 |
| 271 | 先ず市長のリコールを希望します！横浜市は元々、前市長の後を市長が引き継いだ形だが当時IR、カジノにはふれず市民は“当然あり得ない”と安心して投票した。他県や東京の人々から今の横浜は何をしているのかと笑われているのは御承知のことと思う。 |
| 272 | 選挙の時には白紙と言っていたのに、2018年8月、突然誘致の表明をしました。 |
| 273 | 市長をリコールします！ |
| 274 | 市長をリコールします！ |
| 275 | 横浜IRの方向性を問う住民投票直接請求運動の署名サポーターに登録します。 |
| 276 | こうした「パブリックコメント」募集の機会は重要であるが、集まった意見をどのように集計・発表するのかはもっと重要である。 |
| 277 | 今回、意見を寄せる市民の数は全市民に対し少数で、多分「反対」意見が多数を占めると推定する。「パブリックコメント」で寄せられた意見が「IRカジノ方案構想」にどのように取り入れられるのか。「IRカジノ方案構想」が廃案になるにはどのような条件が揃った場合か、そこまで公表されているか。 |
| 278 | カジノ法案に賛成の皆さん “賭博は素晴らしい”と親、兄弟、子供に勧めましょう。親戚にも近所の人々にもしっかり伝えましょう。年金は確実に増え、バラ色の生活が待っていますよ。さあ、皆で大声で叫びましょう。“賭博は素晴らしい”と。 |
| 279 | 一旦辞職して信を問え！！ |
| 280 | IR Integrated Resort、IC Integrated Circuitの略。半導体世の中corona ui rusで大混乱ですがいつれ治まるでしょう。オリンピックも延期か来年以後でしょう。世界バクチ所（国）ラスベガス①マカオ③韓国①行って来ましたが1回を除き全て敗けました。 |
| 281 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）は、問題がありますので、横浜市は、このような問題がある根拠を基に誘致を進めるべきではなく、横浜IR（統合型リゾート）誘致を撤回するべきであると考えます。市長は、市長選挙に際しては、カジノは白紙だと言って当選しておきながら、昨年8月になっていきなりカジノ推進すると言いついたのは、市民の声を聴かないこととなります。 |
| 282 | きちんと市民の意見を市政に反映させるのであれば、きちんと住民投票を行い、その結果を尊重させるべきです。 |
| 283 | 他にも諸々の理由があるが、当面、市議会は住民直接請求（住民投票）を全会一致で市当局に要請するべきです。 |
| 284 | 90%以上が反対。市民の意見を聞くべき。市民は主権者です。 |
| 285 | 大体カジノ問題で公約を掲げて市長になった訳じゃないのですから、現市長はカジノで信を問うべきです。カジノの是非を問う住民投票を是非やりましょう。大好きな横浜がカジノで荒廃してゆくのは見たくありませんし、子供たち孫たちにも見てもらいたくありません。 |
| 286 | 国側から多額の補助金が有るから色々な建築物を建設する考えは市民の約50%が反対している。やりたいので有れば市長選挙を行ってから、当選したらやれば良い。深谷通信隊の跡地の利用について大学誘致を考えてほしい。案①横浜市立農業大学、②横浜市立貿易大学、③横浜市立商船大学等の大学の建設を先にやってほしい。将来の夢が有ります。ぜひお願いしたい。未来の子供達の為めに。 |
| 287 | 反対気運のさらなる盛り上がり避けるべく、口を閉ざしたままである。市長が市民の代表ならば、カジノ反対多数の声を尊重せよ！カジノ大反対の多数市民の方に顔を向けろ！カジノは千害あって一利もなし。カジノは即、「中止」せよ！！NOW STOP |
| 288 | 一緒に大きな劇場も作る予定だとか…もう、東京にはたくさんあるじゃありませんか。みなとみらいホール、KAAT、県民ホール、神奈川音楽で充分だと思っています。そんな税金は中学校給食の早期実施と小学校の給食の充実に使って下さい |
| 289 | 選挙では白紙とし、当選すると、手の裏を返すような行動。 |
| 290 | 市長の一存ではなく、せめて市民の声を聞く、住民投票を実施して下さい。その結果には従います。 |
| 291 | カジノの是非を問う住民投票を実施して下さい。 |
| 292 | 残念です。2017年の市長選挙では「白紙」と言ってらっしゃいました。突然2018年IR誘致を表明なさいました。 |
| 293 | 山下ふ頭の新開発はもう一度横浜市民の声を聞くことから始めることを求めます。 |
| 294 | 市長のリコールを目的とした運動を強力に行う。 |
| 295 | 選挙の時はIRカジノを保留しておいて、受ければ直ぐIRを進める。ヤメてもらいたい。 |
| 296 | 日本の賭博師は横浜へは足を運ばない。家族や仕事のしがらみを放つべく外国へ出向いて散財する。外国人にしてみれば日本は東の東の果の国 |
| 297 | 市長はこのIRカジノ構想に白紙だったにもかかわらず、今回は急にこの構想をすゝめていることが不思議でならない。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 298 | 横浜市は「横浜IRの方向性(素案)」を発表し「カジノが市民の豊かな暮らしを生みだし「魅力ある横浜のさらなる飛躍」と描いていますが、カジノのことについては、あまり触れず、カジノ隠しをしているとしか思えません。市長は、3年前の市長選挙で「カジノ誘致については白紙」と公約し、その後も市議会で「白紙」を強調し、市民の意見を聞いたうえで結論を出したいと繰り返していました。しかし、公約を破り、市民の意見を聞くこともなく一方的にカジノ誘致に踏み切りました。さらに今回のパブリックコメントにあたって、市民の反対の声を多くてもカジノは誘致すると断言しています。公約を破り、市民の声を聞こうともしない、市で働く職員も情けない思いでいっぱいの人が多いのではないのでしょうか。 |
| 299 | カジノ誘致に反対し、心配している市民は圧倒的です。保守・革新を問わずです。最近元県連会長が報道で「横浜へのカジノ誘致に反対」と述べ「ばくちで人から巻き上げた汚い金を横浜市が市民生活のために使うことに心が耐えられない」「目先の金と引き換えに横浜を荒廃させるのか。あなたの孫やひ孫は善良な粋なハマっ子に育つだろうか」と語っています。港湾関係の会長は「命を懸けても反対する」と訴えています。どうしてもカジノ誘致をやりたいのであれば、住民投票でカジノ誘致について市民に是非を確認してください。賢明な市の幹部職員のみなさんが市長に進言してください。市長の横浜市ではないのですから。 |
| 300 | 市民に気を使え! |
| 301 | 市民にとって非常に重要なIRについては、市長は市長選では白紙だったのに一転推進に変更したのも認められません。 |
| 302 | 市長は人口が減少して市税等の収入が不足する、これをおぎなうと云うが、人口の割合で今でも過大な市議員を先ずへらす。半分で充分。(給料50%カットする)市役所、区役所の職員の数を整理する。区役所の職員の15~20%は毎日あそんでいます。以上の二点だけで充分市の財政は充分に機能します。 |
| 303 | 横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施して下さい。 |
| 304 | カジノ誘致について、住民投票を行って下さい。トップダウンで行うのではなく、市民の意見をきいて下さい。 |
| 305 | ぜひカジノの是非を問う住民投票を実施してください。 |
| 306 | 横浜IR計画が横浜にとって有益なものだと自信があるなら、ぜひ住民投票をしてください。まさか住民投票で反対されるのが怖いから、住民投票やらないわけではないでしょうね。住民投票の結果に従わない、地方自治体の首長は民主主義の破壊者です。 |
| 307 | ダイヤモンド・プリンセスの対応が見られなかった。カジノ商人のアメリカ人は横浜が1番●と言っているがそれに手を染たら、次がない。横浜港には、港のルールがある。貨物量で頑張ってもらいたい。日本の発展のために。横浜港の発展イコール日本の発展。 |
| 308 | 横浜IRの方向は市民投票で決めよう |
| 309 | 市長の独断でなく、市民の声(住民投票)を大切にす民主的な運営を強く求めます。 |
| 310 | 現市長が当初カジノ反対だったのが賛成になった此の心変りは何なのですか。 |
| 311 | これからの若者たちに暗い未来を背負わせる決定をした横浜議会、そして数の論理で強行採決した議員は責任をどう取るのでしょうか?市長選挙ではカジノ誘致を白紙撤回し、当選した市長は市民の声に耳を傾けるべきではないでしょうか?市長や一部議員の決定ではなく、賛否を市民投票で問うことは民主主義の原点です。 |
| 312 | 市長は2017年7月の市長選挙で「白紙」として出馬し当選されましたが、昨年8月に突然誘致と表明しました。 |
| 313 | 市民の意見を聞くこと公約にかかげたにもかかわらず市長は一度も市民の声を聞いてません。説明会も市長の意志を表明しているだけです。 |
| 314 | 横浜市長をリコールする事は出来ないのでしょうか?多くの人が思っています。カジノはいりません。 |
| 315 | 中学校の給食もままならないのにもっと市民の為めになる事を考えて下さい。少しも町が活性化されません。 |
| 316 | 市長選では「白紙」と公約、勝手にカジノ誘致は公約違反。 |
| 317 | カジノができたらあなたは行きますか 市長選でカジノは白紙といいながら突然誘致の表明をしたのか私達市民は理解できません 少子化、人口減少等々諸問題の解決をIRカジノに求めるのは反対です。 |
| 318 | パブリックコメントは市民の声を聞くために行なわれるものです。 |
| 319 | IRの検討に当たっては、誘致をすると言う結論ありきで進めるのではなく、市民の声に耳を傾け、反対の声が多ければ誘致を行わないようにして下さい。住民投票が行われた場合は、その結果に従って下さい。 |
| 320 | 市長は「白紙」と言い続けて選挙による審判を避け、市民の意見を受けての「検討」はせず、いきなり「推進」に舵を切った。以前も、「中期4か年計画」に際して、カジノに反対する意見を伝えたが、何の対応もしていただけない。 |
| 321 | 今回の意見募集についても、「反対が多かったからやめるといことはしない」と述べており、非民主的というしかない。 |
| 322 | 浜っ子及、在中の市民で団結して、カジノや他の件、諸々に対して、頑張りたいと思います。 |
| 323 | 前回の市長選挙で、「カジノ」は白紙と言っていたのに、昨年8月に、誘致の表明した事は、公約に反します。 |
| 324 | |
| 325 | 横浜市にカジノ誘致は必要なし!!住民投票を実施すべきです。 |
| 326 | 反対が多いのが分っているので住民投票を拒否しているのだろう。市長は問題点知っている。 |
| 327 | 旭公会堂での説明会に出席し、意見書も提出しましたが、それに対する答えは、いつどのような形でなされるのですか。ホームページで見てといわれても、それを使うことができないものもいるのです。 |
| 328 | 市民の意見を聞くといながらそれに左右されるものではないとはどういうことですか。意見は聞いたというパフォーマンスですか。 |
| 329 | カジノの是非問う住民投票直接請求をします。 |
| 330 | 住民投票なしでのパブコメなんて全くナンセンスです!! |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 331 | パブコメだけではなく、きちんと市民の意見を問う住民投票を行ってください。 |
| 332 | カジノの是非については住民投票によって決することを希望する。 |
| 333 | 横浜市民へ誓います！！横浜の街及び市民を●に捧げます。●を次期市長に投票●お願いします。●氏、●氏の意見は無視願います。横浜市民には「カジノ」への入場回数／賭け金の制限は設けません！ギャンブル依存症「病院」を新設しますので御安心下さい。今回の『パブコメ』に●どの様●意見も取り上げませんので御承知お願います。 |
| 334 | 市長は公約違反 |
| 335 | 先の市長選でも、カジノについて「白紙」状態を維持したままの当選でした。 |
| 336 | 最低でも市民の意志表示の場として住民投票は必要だと思います。上からの意志決定は、民主主義を破壊する何にでもありません。負の財源で市民の豊かな暮らしは守れません！！住民投票を是非実現して下さい。 |
| 337 | 今なら間に合います。市長が選挙時に語っていたように、白紙に戻し、勇気を持ってカジノ誘致から撤退して欲しいと思います。今こそ、地に足をつけ、生産性のある堅実な産業や文化等を育てる政策を打ち出し、極力リスクを出さない市政を望みます。 |
| 338 | 市長の市民の意見を聞かず、いきなりカジノの誘致表明には心底怒りを覚える。市民の反対が多くても「やる」と言っているようだ。 |
| 339 | |
| 340 | 白紙と言った以上、市民に信を問うべきです。そうしない以上、辞職に値します。 |
| 341 | 市民の意見をていねいに聞いてください。 |
| 342 | いずれにしても、現在の市議会の議員諸氏は、カジノ推進の政策では有権者の審判を受けていません。市長も白紙の立場で当選しています。国の下請け行政とせず、立ち止まって住民福祉の在り方から、SDGsの立場からも、国際的に衰退が懸念されている事業にかかわることは、深刻な禍根を後世に残すことになりかねません。 |
| 343 | 40年先迄拘束する契約は市民に意見を問うて決めるべきです。 |
| 344 | 横浜市として、カジノを誘致することは、横浜市民に対する裏切り行為になります。市長は「IRの導入検討について、市民の意見を踏まえたうえで方向性を決定する。」と言ったことに反するものです。信頼を損うものです。 |
| 345 | 横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施して下さい。 |
| 346 | IR許可なんて言ったら市長をリコールするべきです。市長をリコールしたいのです。やり方を教えてください！！ |
| 347 | 市長は2017年7月市長選挙で「白紙」と言いましたが、昨年8月突然、誘致の表明を行いました。これは、市民の意見を聞くとした公約にも反します。市長はこれまでも1度も市民の意見を聞くことをしていません。公約違反であり、市民説明会などを開催してきましたが今回の素案は撤回を求めます。 |
| 348 | 選挙の時には白紙といっておきながら市民の声も聞かず、カジノの誘致はおかしいです ヨコハマを廃墟の街にしないで下さい ちゃんと市民税からの税金があるのでから考え方がおかしいです。（企業は変動がありあてになりません！） |
| 349 | 2017年7月市長選挙で「白紙」と言いましたが、昨年8月突然、誘致の表明を行いました。これは、市民の意見を聞くとした公約に反します。「財政の減少」の解決をIRカジノに求めるのは反対です 今回の素案は、撤回を求めます |
| 350 | 市長は2017年7月の市長選挙で「白紙」と云ってらっしゃったのじゃないでしょうか。誘致の表明は公約に違反していると思います。市民意見をよく聞いて下さい。今回の素案は撤回を求めます。 |
| 351 | 豊かで、安心なくらしを考えた時、多くの市民は、カジノに賛成はしていません。市長選の時、「白紙にもどす」とおっしゃった言葉に、市民、わたしたちの立場でものを考えてくれる人とどんなに心の中で応援したことか。その公約に反します！！子どもたち、そして市民のくらしのために絶対に反対です！ |
| 352 | 多くの市民、港を拠点にする業界団体などの反対があっても計画を実行するという市長の言動は市民も民主主義も共に踏みにじるものであり許されぬ。 |
| 353 | 市長は2017年7月の市長選で「白紙」と公約しましたが昨年8月突然、誘致の表明を行ないました。これは、市民の意見を聞くとした「公約」に反します。市長はこれまでも一度も市民の意見を聞くことをしていません。まさに「公約違反」です。こんなことは許せません。今回の素案の撤回を求めます。 |
| 354 | 市民の選挙時白紙で当選してるのにおかしい。と、圧倒的多数が思ってる。依存症が完治する薬はない |
| 355 | 市長は市長選挙で白紙と公約したが市長はこれまでも一度も市民の意見を聞きません |
| 356 | 宣伝ビラに「カジノ？それは敷地のわずか3%の話」とある。横浜市、業者一丸となって凡そ市民感情を無視した「安心・安全でない横浜」を作ろうとしている。 |
| 357 | 本当に市民の生活にカジノが必要なものかどうか、住民の意思を問うて下さい。議会だけで決めず、横浜市民の声、を聞いて下さい。それぐらい大きい問題だと思います。市長の考えですすめないよう心よりお願いします。 |
| 358 | 市長は「白紙」と公約し、市民の意見を聞くと公約してきました。 |
| 359 | 2019年8月に突然、一転“横浜にカジノを誘致”。カジノは反対です。市長の発言です。“各區で説明はするが、反対の意見が多くても、どんな意見にも参考にせず、カジノ誘致をするのはかわりはない”と。“カレーライスミーティング”等をしたのは市長は市民の声を聞くという。一部の政党、横浜商工会議所等の賛同を得ても、市長立候補の公約は“白紙”だったのです。 |
| 360 | 横浜市民として市長が急にIRを持ち出して来た事に大きな不信感を抱いている。 |
| 361 | 市長は市長選挙の時白紙にした上市民の声も聞いてからとってたのでは？とにかく勝手にすすめないで下さい 市民は怒っています。市民の声を聞くために働いてるんじゃないですか 声を聞かないならやめて下さい |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 362 | 市長は2017年、7月市長選挙で「白紙」と言いましたが、昨年、8月突然、誘致の表明を行いました。これは、市民の意見を聞くとした公約にも反します。市民説明会では、なく、市民の意見を、時間かけて聞く会を作してほしいです。なぜ、市民の半分以上が反対しているのか、じっくり考えてほしいです。市長が政治生命をかけて、市民の願いを受けとり、体をはって、カジノ、反対にふみ切っしてほしいです。 |
| 363 | 市長に一言言いたいです。2017年7月の市長選で市長は、カジノ誘致について「私としては判断にいたっていない」と中立、白紙を強調して当選したのに、8月に一転して誘致表明しました。全く理解できません。 |
| 364 | 政令都市で中学給食ないのは横浜だけ地方から転動して来た人は驚く。前市長から当選した時すぐ実行すべき。川崎市長は有言実行ですぐ自校給食をし喜ばれた。市長の実績は何か。カジノの説明会も怒号の中はずかしくないか。ハマ浜弁でごまかさず自校給食を希む。コロナの予算すぐ給食に。働く女性（市長）なら栄養価のある成長期に弁当を母親が作るのが義務と●。これが市長への手紙の回答になってない回答であった。学校の前にコンビニこれでよいのか。 |
| 365 | 本当に市民の生活にカジノが必要なものかどうか、住民の意思を問うて下さい。議会だけで決めず横浜市民の声、を聞いて下さい。それぐらい大きい問題だと思います。市長の考えですすめないよう心よりお願いします。 |
| 366 | 市長はカジノ賛成を勝手に決めるな！！ |
| 367 | 市長、カジノ誘致は「白紙」になったのではないのか。？市長はカジノ誘致にごだわって、いるのは、外国のスポンサとの間ににかなかると考えてしまう。なにを考えているのか。「市長ヤメロ」 |
| 368 | 最初から結論ありきで形だけのパブリックコメント募集をするというような事はしないでください。 |
| 369 | 横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施して下さい。 |
| 370 | 飲料水、冷却水等の水供給設備と排水処理設備についてもIR事業者が全て用意されるものですので検討させてください。 |
| 371 | 市長は2017年7月市長選挙で「白紙」と言いましたが昨年8月突然誘致の表明を行いました。公約違反です。 |
| 372 | 横浜でカジノの是非を問う住民投票を実施してください。 |
| 373 | 市長も信用できない。はじめは「白紙だ」としてしていた。 |
| 374 | IR推進事業が市民への十分な説明もなく、白紙から推進へ転じたことが最大の問題。 |
| 375 | 市はIR事業の内容を明確に示し、それぞれの経済効果と併せて市民に説明し、“信”を問うべきである。 |
| 376 | 市長は市長選で「IRの導入検討について市民の意見を踏まえうえで方向性を決定する。」と明言していました。カジノ誘致の是非を問う住民投票を実施してください。 |
| 377 | 報道で、アメリカで2004年から、約25ヶ所のカジノルームの内装などを手掛けてきた、建築デザイナーの講演内容を報じていました。アメリカでは、カジノ産業が衰退傾向で、新たなマーケットとして日本に目を向けていること。アメリカのIRは、カジノのそばを通過して劇場やホテルに行く動線にしてあり、21才未満のカジノに入れない人の目に触れさせるようにして、カジノに行く次の世代を育成していること。など、教えられました。 |
| 378 | どうしてもIR（カジノ含む）ものをすすめるのであれば、住民投票を行い、住民の意志を正確に反映した市政を行って下さい |
| 379 | カジノは住民投票で横浜市民の総意を見るべきです。その投票によって市民の判断にゆだねていくのが、横浜市の本当の発展につながる自治体のとるべき生きる道です。 |
| 380 | 「カジノを白紙に」と言って再当選した市長は、このままこの構想案を推し進めるならば、私は市長解任のリコール運動に参加します。 |
| 381 | 市長は、市長選挙前にはカジノを含むIRの設置問題には「白紙」と言っておいて、当選後は市民の意見を広く聞くこともなくカジノを設けようとしている。カジノ設置を直ちにやめることを求めます。 |
| 382 | 市長は市長選の折、「カジノは白紙」と言って当選しました。 |
| 383 | 市長は、カジノの誘致を正式に表明してのち、市民に丁寧に説明すると言いました。私はそれは話が逆なのではないかと思えます。決めてしまってから説明するのではなく、決める前に市民の声を聞くべきでしょう。それが民主主義のイロハのはずです。市長は議会に諮ったと言っていますが、市長提案のカジノ誘致に賛成した議員で、昨年春の市議会議員選挙でそのことを政策に掲げた議員は一人もおりません。市長の提案が示されていないのですから、当然と言えば当然です。議会は市長の提案だからと言い、市長は議会の同意を得ているからというのですが、どちらもカジノ誘致の問題で市民の意向を問うてはおりません。カジノの誘致は、市長も述べておられるように、横浜の将来に大きな影響を及ぼすような大問題です。そうした問題に決着を付けるのは、市民の意向であるはずで、市民の声をきちんと聞いたうえで、落ち着いて慎重に判断してもらいたいと思います。それこそが、市民に対する「おもてなし」と言うものではないでしょうか。幸いにも来年には市長選挙があります。その際に、市長がIRの誘致を掲げて立候補され、市民の意向を問うたうえで正々堂々と誘致を進められては如何でしょうか。市長の英断を望みます。 |
| 384 | 最後にこのIRについての市民の意見の行く先が、市の「IR推進室」であるとは、はじめから推進ありきという担当部署に送っても、すべて公正に扱って戴くことを祈る者です。 |
| 385 | 問題や、課題やらで取り下げている所も多数ある |
| 386 | 市民全員の総選挙の結果であるのが本すじです |
| 387 | 民主政下での民意の測り方には、代議員による議会での意見表明という間接的な方法だけでなく、住民投票という直接的な方法もある。カジノ問題のように、横浜市民においてもまた国民全体においても、反対意見が賛成意見をはるかに圧しているといわれる状況では、当然に住民投票を行って民意を確認すべき。 |
| 388 | これまで何回にわたって海外で開催される国際会議で発表してきた身にとって、カジノがある素案は、侮辱だと思った次第である。 |
| 389 | 新型コロナが終息してから、横浜にカジノを誘致するかしないかは、住民投票を行って決めるべきです。 |
| 390 | 「カジノ」担当副大臣は汚職で逮捕起訴された。市長は選挙の時は「白紙」と云っていたのになぜ推進になったのか、約期間40年の論理的根拠は何か、市長は40年先まで生きているか、市長の座についているつもりなのか、すぐに辞任すべきだ。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 391 | 市長は、2017年の市長選で「白紙」とし、議会答弁で市民の意見を聞いてから決めると言っていたのに昨年8月突然誘地の表明をしました。これは公約違反です。撤回を求めます。 |
| 392 | 健康で安心して住める横浜が大好きです。 |
| 393 | 市長の公約違反 |
| 394 | 各種、調査でも6〜7割が反対、それを一方的に無視するのは民主的な、やり方に反するので住民投票によって決めるべき。 |
| 395 | カジノの誘致の是非を市民に問う機会があったにもかかわらず白紙（市長）、賛成の市議会議員は選挙の公的にかかけないで当選した人ばかりです。なぜ、市民に堂々と声をあげられなかったのか。疑問多し。 |
| 396 | 都市整備局の諸君、とりわけIR推進課の諸君へ 君たちの中には日々忸怩たる思いで仕事をしている者が少なくないはずである。万が一建設されてしまえば、市民生活を崩壊させてしまうような、また豊かな歴史と文化や港湾都市としての魅力ある風景を破壊してしまうようなおぞましい業務に携わっている以上は当然であり自然である。そうでないと居直るものは例えば以下に目を向け実践してみたらどうか。ギャンブル依存症者（元も含め）とその家族に会い直接話を聞く。韓国の江原ランドand/or米国Atlantic Cityを視察して実態を凝視する（自費で）。カジノが如何に幻想であるかを学習する 仕事とはいえ市民に顔向けできないことに。 |
| 397 | IR説明会においても、このPC募集においても、“誘致方針は変えない”としているのは、反対する市民を少数派に転換することなどできない、理解、納得してもらえないような事業ではないことを自覚しているからに違いない。堂々と住民投票を実施して、IR(w/Casinó)の誘致について市民の判断に委ねたらどうか！それが本当の“市民の声を聴く”ということだ。その前には当然、誘致方針の撤回とIR事業関連のすべての業務を停止することを表明すべきである。 |
| 398 | どうしてもやるというのなら、市民の合意を得てください。今の市長も市議会議員もカジノの是非を問うことなく当選したものです。改めて公約に掲げ当選するか、住民投票で判断を仰ぐべきことです。多くの市民が納得してすることならその結果についても責任を負うことができますが、選ばれたと言っても一部の人の意見で決めることではありません。市民はそこまでの白紙委任はしていません。民主主義の根幹にかかわる問題です。 |
| 399 | そもそも市長は「白紙」と言って選挙にでながら、勝手に誘致と騙す不誠実極まりない。 |
| 400 | 市長は選挙では「白紙」と言いながら当選すると誘致の表明をしました。市民の意見を聞く耳をもたずどんどん誘致に向かって進められているのではないかとこわくなります。 |
| 401 | 市長、あなたは、2017年9月の市議会で「白紙である」と言明し、その後、も同様な態度をとってききましたが、昨年8月に、突然、カジノ誘致を宣言しました。最近では「反対意見が多くても誘致をやめない、として平然としています。このようなことはとうてい許せません。市民の声に耳を傾けて下さい。 |
| 402 | カジノにATMはダメと言うが、カジノは客の負けが収益。1時間で1億円をなくせる。米国ではカジノにクレジットルームを作り金を貸しつづける。カジノには窓がなく、時計がない。いつも薄暮の落ち着く雰囲気をつくっている。音楽が巧妙に客を誘惑する。客の中には時々テーブルから3日間離れず、ずっと賭け続け、ついには失禁する者もいる。こうした実態を知っているのだろうか。 |
| 403 | 市長は、前の選挙でカジノは「白紙」と言って当選した。説明会は少し開いたが意見は聞かなかった。今度はカジノを速二無二進めるつもりなのか。深く撤回することを求める。 |
| 404 | 市長は2期目に立候補した際に、カジノは白紙、市民の声を聴く、と公約したにも拘らず、再任後、市民が悲痛に訴え続けているカジノ反対という声が多くても聞かない、とのこと。報道4月3日付もご覧になっていると思います。 |
| 405 | 様々なメディアが行っている世論調査の結果をご存じでしょうか。世論の大勢は、カジノ設置反対です。横浜市民も、大勢が反対と思われれます。そして、市長選においては、このことについて市長は考えを明確にしていませんでした。ぜひ、住民投票を実施しましょう。 |
| 406 | 横浜市の子供にたいする教育、ましてや中学校給食が自校式で行われてないやさしくない市政ですね。 |
| 407 | 私は、精神的且つ、経済的な貧困をもたらす「IRカジノ」を横浜市が勝手に決めないことを強く求めます。本来、自治体は市民の「安心と安全と幸福」をもたらすために行政を行うことだと思います。市民一人一人の「カジノの是非」を問う、『住民投票』の実施を強く求めます。 |
| 408 | 「反対意見が多くてもIR誘致はやめない」とおっしゃっています。前回市長選挙の時公約にIR誘致の事は一言も触れていませんでしたし、ずーと白紙とされて来ましたね。子を持つ母親として子や孫達の未来に責任があるのではないのでしょうか。又地方自治の長として横浜市民の声を聞き受け止めてほしいと強く願います。 |
| 409 | 市長さんは2017年7月の市長選挙でカジノについては白紙と言われて、当選されました。カジノを誘致する為には選挙選で、はっきりその事を公約した上で「カジノ誘致」に対する市民の思いを確認してからでなければ、と思う市民は非常に多いです。とても残念な事です。 |
| 410 | (4) 素案『5 PAに向けた取組』及び『6 スケジュール』部分について 素案は経緯として、令和元年8月突如として市長のIR応募意思表明、同年9月の補正予算可決、本年2月の選定委員会設置等を挙げている(素案・100頁)。 |
| 411 | カジノは、白紙、市民の、声を聞いて決めると市長はいったのです。 |
| 412 | IRについて、市長選で白紙としていました。この公約を注目していた我々市民は、この豹変におどろき、いかりに燃えています。‘IR実現に向けて’の広報のリーフを見ると、横浜が手がける事業として、いかにも不適當であることに驚をかくせません。人材・実績・環境・資金・時期などの方向から見ても不適當です。 |
| 413 | IRをテーマに市長選挙を行うか 一旦白紙にすべきと思う。本件については疑念や未解決の問題が多すぎ市民を納得させる状態にないので一旦白紙にして 危機管理や対策も含めて具体的に再検討し 市民に納得のいくものでないといけない。極めてリスクの高い案件であること関係者が知るべき。IRは日本では3か所しか作れず それに参加するには他県より早く申請しなければとならないとの理由で見切り発車しては絶対に許されない。もし市長がスケジュールありきで対処するならば市民として民主主義にのっとり住民投票等の手段に訴えざるをえないと思う。 |
| 414 | 横浜市民は選挙で一度もカジノを進める市政に投票していません。依存症の危険性や経済破綻の危険性などを隠し、華やかな計画だけを見せて市民を欺くつもりですか？住民投票の実施は不可欠です。 |
| 415 | 市民の意見を聞く住民投票を実施して下さい。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 416 | I Rについて市長戦で特別言及せずに、当選したのち独断で誘致を進める市政の長・市長は、市民の代わりに横浜の政治を担う者として代わるべきだと民主主義の観点から思います。 |
| 417 | 市長は、ギャンブルであるカジノの誘致をすることに本当に良いと思っているのですか。なぜ市民の意見を聞かないのですか？住民投票をやってください。 |
| 418 | 市長は、市長選では、カジノは「白紙」と言いながら、昨年8月に突然カジノ誘致を表明し、補正予算まで付けました。これを見ても、カジノが悪いことはよく知っているのです。不正実さを証明するものです。 |
| 419 | 白紙に戻すと宣言してほしい。 |
| 420 | 横浜市の理想像とその実現方法の議論。今の横浜市政は改善の余地があることはある一方、多くの横浜市民へ「横浜をどんな街にしたいか、自分がどんな生活をしたいか、そのためにどうやってお金を賄い何からお金を使うのか」投げかけて、市民の声を明らかにすべきだと思います。そのうえで市だけでなく18区の役割も十分活用すべきだと考えます。 |
| 421 | カジノは、「都市の品位」を壊す。導入は反対だ。カジノについて、市長は白紙で当選。賛成を表名して当選した市議はいない。 |
| 422 | 住民投票か、市長選挙、市議選挙を行ない、民意を聴くべきだ。そのような事を民意を径ない市長・市議が決めるのは、市民の権利の侵害だ。即刻中止すべきだ。 |
| 423 | 予算の優先順位の1位は、未来を担う子供たちのために使うべきと考えます。休校中の学習支援中学校給食など。I Rが優先であってはならないと考えます。 |
| 424 | 市長は、2017年の市長選挙で、「カジノについては白紙」とし、「市民の意見を聞く」と公約しました。市民の意見も聞かず、市議会において、カジノ誘致推進費を含む2020年度予算案を強行した。 |
| 425 | 7月の市長選挙のとき「白紙」といいながら昨年8月突然誘致の表明をしました。市民の意見もきいておらず、民主主義的ではありません。今回の素案は撤回してください。 |
| 426 | 市長選挙では「白紙」と言ったのに、突然誘致表明するのはおかしいです。いろいろな案があると思います。説明会でいただいた文書の最後に「20年先、30年先、我々の子供達の世代を見据えて市民の皆様と様々な課題にオール横浜でチャレンジ」とあります。本当に「オール横浜」で20年先、30年先を見据えた取り組みをするためにも市民の意見をちゃんと聞いて進めてほしいです。 |
| 427 | 経済界の意向ばかりを重視しないで一般市民意見を尊重すべきです。コロナの市政における単なる一方針ではなく、横浜の将来の姿形を決定付ける重要な問題です。市民の賛否を問う住民投票をするべきです |
| 428 | <追加質問>（お届けした「公開質問書」（2）につづく） X I. 新型コロナウイルスと大統領（27）1月以降、日本、世界は過去に体験したことがないような事態になっている。本日のニュースによると、日本も「医療崩壊寸前」の状況です。医療現場の最前線で最も重要な「N95マスク」は全て米国製であり、世界中の現場の医師たちは感染拡大を最も恐れて、緊急の入手を求めています。世界中で、これほど感染が拡大し、死者が急増している時に、増産して世界各国に送ることが優先されるべきです。この点を説明して下さい。 X II. 政権の失態（27）新型コロナウイルスに対する政権の後手ぶりは、国民から大きく非難されています。首相と大統領は、この意味で大きく共通しています。市長は、この「ふたりの利益」になぜ加担する必要がありますか。この点を説明して下さい。 |
| 429 | 12月議会で2億6千万円の誘致、推進補正予算、そして新年度に4億円の予算を計上しています。市民は苦しめられています。市民生活への強力な支援に切り替えるべきです。カジノ推進予算をやめ子供たちは宝です。中学校給食を自校調理方式にし、暖かい給食を子供たちに！実現して下さいI Rは地域経済を疲弊させ人々は県外へ移っていくでしょう。考え直すことを！お願い致します。 |
| 430 | 市民の70%以上が反対している、その声をきくべきです。信用できないのであれば住民投票で決めるべきです。それで自分の考えとあわないのであれば市長は辞めてもらいたいです。市政は市民の為のものです。正々堂々とやってもらいたいです。 |
| 431 | 市長は、今、市民の声を聞くことなく、独断で、カジノを進めようとしています。是非、住民投票を行なって、市民の意見を取り入れて下さい。 |
| 432 | 市長の説明会での発言【白紙とは止めた、ゆうことではない。】との発言。市長選で白紙と言えれば誰でも、中止と思う。 |
| 433 | 賛成か・反対か、市民選挙をしてほしい。このようなアンケートと取って反対をする人のガスぬきをしたと思わないでください。 |
| 434 | I Rの実施は街づくりに大きく関わることで、住民投票を行なって、住民の意思を確認してください。 |
| 435 | 市長は選挙の時には、「I R誘致は白紙」として当選しました。新聞などの世論調査では、約6割の市民が、横浜I R誘致に反対という結果です。このように市長と市民の意見が大きく異なる政策については、改めて市民の意見を聞く機会を設けるべきです。市長も各区の説明会開催での市民の意見を聞き「このように反対が多いとは思わなかった」と発言していると聞きました。民主主義を保障している日本国憲法を順守する市長であるならば、その機会を作るべく「住民投票条例の提案」を議会にするべきです。 |
| 436 | ギャンブルがいいか、悪いかまず、市民の意見をきいて決めるのが筋です。市民が選んだ市長はそれが第一のギムです。 |
| 437 | I R事業より中学校給食を全校で実施する方が優先順位が高いとずっと考えてきました。川崎市、神奈川県多くの市町村で実現されていることです。 |
| 438 | 特にカジノのギャンブルで市民の不幸をかえりみないことは、許せません。住民投票でカジノは決めるべきです。現在の計画は撤回して下さい。 |
| 439 | 市長はパブリックコメントで反対が多くても計画をすすめると言っていますが、とんでもないことです。 |
| 440 | 市長は前回の市長選挙で「白紙」で当選したにもかかわらず昨年8月突然、誘致の表明をしました。市民を欺くものです。 |
| 441 | 市民の半数以上が反対しているカジノを誘致するのであれば、先ず住民投票を行って民意を確認することを要求する。 |
| 442 | 市長はダイヤモンド・プリンセス号の横浜帰港以来、「コロナ感染対策」で記者会見をしたというニュースは見たことがありません。 |
| 443 | 市長は市民の意見をよく聞き、いますぐカジノ・I Rを白紙撤回すべきです。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 444 | 市長選のときにIRの誘致を行うときには、市民の意見を良く聞くと言いました。各種調査でも、「IR誘致には反対」の意見が過半数を越えているのはご存知だと思います。最低でも、住民投票を行ってください。どうか、市民の信頼を裏切らないでください。 |
| 445 | IRにかかる資金で市民のためになる、社会保障や教育などに生かしてほしいです。最後にカジノの是非を問う住民投票を実施して下さい。 |
| 446 | 横浜にカジノを誘致するか、しないかは住民投票を行って決めるべきです。 |
| 447 | 「誘致の方針を明らかにしないまま選挙」とありますが、当選したら、誘致するだろうと予測は、多くの方がされていたと思います。投票した人達の責任も大きいです。この際ぜひ、ぜひ直接請求を実施し、閉鎖的な横浜市政の現状を回復させて下さい。教育、に力を入れて下さい 推進課がある事態民意をくんでない |
| 448 | きちんと説明でなく住民の意見問う住民投票を行って下さい。 |
| 449 | カジノを作ろうとする山下ふとうは、港湾の働く人の場所です。その隣は、公園があり、住む人もいる。最初に市民には、カジノの誘致をすと言わずに、後出しじゃんけんのようにIRカジノ誘致宣言するのは、どなたかに圧力でも、かけられたのでしょうか。 |
| 450 | 市長さんは市長になる以前、カジノは「白紙」と言っていたのではありませんか？誘致表明には大変ショックでした。 |
| 451 | カジノ誘致は市長の公約違反だからです。市長はカジノ誘致白紙の立場で選挙に臨み、それを市民は認めて市長に選ばれました。その任期中に約束を翻すこととなります！単純なことです。市長という市民に責任を負った立場で。もし、この法案を強引に押し通すことをしたら、あなたは歴史に悪名を残すこととなります。私は長年保育教育現場で子どもの成長に関わってきました。子ども達の将来が明るい未来であるために、横浜にカジノ誘致を絶対にさせざるわけにはいきません。 |
| 452 | 市長は、カジノは白紙と言って当選し、いきなり、カジノを誘致したとゆう事は、都合の悪い原案は全部、通りますね。 |
| 453 | 公約では未定としていたのにも関わらず、その後市民の意見も聞かず断行しないで下さい。 |
| 454 | 公約の時点では未定としていて、その後、市民の同意もないまま、強行する事に憤りを感じます。 |
| 455 | 横浜にカジノIRを誘致するかしないかは住民投票を行って決めるべきです。 |
| 456 | |
| 457 | 2017年7月の市長選では白紙と言ひ、その流れで行くと思っていました。 |
| 458 | もし、市長と市の決断が横浜市の将来にとって正しいと自信を持って言えるなら、住民投票でIRの賛否を問うべきです。今からでも遅くはありません、横浜はカジノから勇気ある撤退を！ |
| 459 | 市長選挙時にはカジノに対する態度を明確にしていなかったにも関わらず、いざ当選してからは市民の意向も確認せず、推進の方向とはどういうことなのか。絶対に許されることではない。 |
| 460 | カジノの立地についても全く市民の意向が尊重されていない。このまま進めることは許されない。 |
| 461 | カジノの推進についての住民投票を実施するか、あるいはカジノの推進を争点とした市長選挙を実施しなければ、横浜市は民主主義に立脚した自治体とはいえない。そもそも何故市民の意向も聞かずに推進しなくてはならないのか、について市長は市民に説明していない。 |
| 462 | 市長は選挙の時には白紙と言って立候補し、その言葉を信じて一票を投じた人がどれほどいたか。にもかかわらず昨年8月に突如誘致を表明しました。市長は今からでも真摯に市民の声に耳を傾けカジノ構想案は即刻撤回すべきです。市の説明会も本当に市民の意見を聴く場になっていません。 |
| 463 | 白紙に戻すことが第一である。次に、多くの市民の反対を押し切り、勝手にこれを推進しようとする市長のリコール（解職請求）を行うべきである。とはいえ、現在の市議会が推進を勧めようとする限り、実現は次の市議会選挙の結果を待たねばならないかもしれない。そこで、どうしても博打場をつくるのであれば、ルーレットやバカラではなく日本の博徒が昔からやっていた賭博や花札を行い、時々警察署による手入れをおこなわせるというのが面白いであろう。 |
| 464 | カジノの是非は、市民が決める！住民投票の意志を尊重して！住民の声を聞くあらゆる方策の検討を！ |
| 465 | 市長とIR推進課は一方面的な説明ではなく、全市民の疑問・不安に丁寧に答えるべきです。もし、市長と市の決断が横浜市の将来にとって正しいと自信を持って言えるなら、住民投票でIRの賛否を問うべきです。今からでも遅くはありません、横浜はカジノから勇気ある撤退を！ |
| 466 | 市長は、2017年7月市長選挙で「白紙」と言いましたが、昨年8月突然、誘致の表明を行いました。これは市民の意見を聞くとした公約にも反します。 |
| 467 | 白紙といいながら、突然態度を変えて、市民を説得しようというのは、市長の声が市民より偉いと考えているのでしょうか？ |
| 468 | IR誘致へ「理解求める」と市長が新春インタビューを行い、各区で丁寧に説明をしてゆくと表明。昨年までの白紙状態との言明に、心を許していた私共を一撃しました。それで南区役所での1月17日（金）19.00～20.30の「説明会」に申し込みをし当日参加しました。そして驚きあきれました。まず当日の会場の席の定め方です。受付には6人位の方がAからF（だったと思う）の番号を持ち、当日一しょに参加した人との同席は不可能にされ、指定番号の席に着席しなくてはならないのです。私はずっとこの方式かと質問するとそうだと答え。今まで誰からも不満の声が挙っていないのに大変驚きました。そしてその所には10cm程のテープがはってあり、説明会とは名ばかり、襲撃にそなえて…という状態でした。市長も肝心の質問には応える事なく数人の男性に守られて存在していました。 |
| 469 | 市長は市長選で、それまで推進していたカジノを「白紙」として、再選させた訳です。それなのに2019年8月、突然誘致の表明を行ない、あれよあれよという間にしかもこのコロナ騒ぎの大変な時期に4億円ものIR予算を決めてしまうという暴挙に出たというのは、あまりに酷い！ |
| 470 | 横浜市民の信を問わないまま、行おうとしていることです。市民は、どの世論調査でも反対が多数を占めています。直前の市長選挙で信を問うことを回避しました。ギャンブルを合法化し、市の基盤である財政のおおもとをそこに求めるという都市の性格を大きく変えるような重要な事業を市民の信を得ないまま、強行することは許されません。 |
| 471 | 市長は市長戦出馬で白紙といていたが最初からカジノを推進するつもりではなかったのか しかも市民の反対の声があるなかですでに市民の税金を使ってカジノに向けて作業を進めている 信頼出来ない市長に横浜市の行政を進めてもらいたくない 金の為ならギャンブル依存症による人間、家庭、社会の崩壊もいとわないという考えには賛同できない |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 472 | 市長は公約違反。サンフランシスコ、カナダ二度に渡り12年間滞在、ラスベガス、リノ（ネヴェダ）は砂漠の中。横浜は大都市。シンガポールの友人によるとシンガポールのカジノ客は8割が大金持の中国人と韓国人、日本にカジノのノウハウはなく外国頼み。 |
| 473 | 市長選ではカジノ“は白紙”と言っていました。穴然の誘致の表明は、市民として納得いきません。横浜市は他都市からの転入も多く市民税と使い方で十分にやっつけられる都市です。 |
| 474 | 次の市長選 野党党一候補立てて闘うこと。 |
| 475 | このたびのカジノ統合施設IRの素案と、コロナウィルスの蔓延とは共通性があるように見受けられます。ともにグローバリズムがもたらした弊害であり、歴史や文化の異なる他国民同士を、国境を撤廃することによって、地球市民として等しく扱うことに無理があるように感じられるのです。感染者数を強調し、実際の死者数を公表しているようであり、さほど勘案しない日本政府やマスコミの行動は、日本とヨーロッパ、アメリカ（死者1万をこえているこれらの国々）を同一視し、コロナウィルスによる過剰の自粛を進め、人々から活気を奪う危険性ととともに、感染騒ぎの回復後の景気停滞を招き、より一層射倂心を求めるカジノ依存者を増大させる可能性、傾向が強まるように危懼いたします。横浜にカジノができたら、次は東京・大阪が狙われるのでしょうか。日本の経済を健全な形にするためにも、何としても住民投票でIR、カジノ設立を食い止め、明日の日本国民に安心して過ごせる生活環境を与えるのが、私たちの義務だと感じます。今後の世界はグローバリズムではなく、インターナショナルイズム、国際協調主義であって、世界の一体化とは違うと思います。自分は社会的な人間ではなく、身内の支持も集められぬかもしれませんが、是非とも投票の数の中に入れていただきたく思います。 |
| 476 | |
| 477 | |
| 478 | このコロナ禍で、世界のカジノ産業は、カジノ場を閉鎖して、オンライン・カジノへの市場進出に舵を切った。これが世界のトレンドであり、今後はカジノ市場の主体はオンライン・カジノにシフトする。従って、市がそんなにカジノ・ギャンブル業に進出したいのであれば、また進出によって先進性を謳いたいのであれば、カジノ場ではなく、オンライン・カジノを開帳すればいい。そうすれば、場所の制約はなくなる。新市庁舎内の一角（市長室の隣など）にサーバーでも設置することで、事足りるのではないか。 |
| 479 | 19'4月選挙公約した議員は、0でした。解散し信を問う位の大きな問題です。勝手にすすめないでほしい。 |
| 480 | 横浜市議会2020年度予算IR誘致に向けた費用四億円を盛り込んだ予算案可決。の報をうけ本来であれば切実な市民の声に耳を傾けなければならない立場にあるにもかかわらずいっこうに聞く耳をもたず。しかもこのコロナという未曾有の危機のさなかの可決。後世に横浜市を振り返ったとき「IR誘致」は大きな汚点として今に生きる私たちが糾弾されることになる。誰が考えても世界的景況悪化。またおおきな時代のパラダイムシフトのさ中にあっても未来を予測するでもなくただ愚策を蕭々と進める今の市長と市議会！！あきれられるしかない。 |
| 481 | 市長は、2017年の市長選挙で、「カジノについては白紙」とし、「市民の意見を聞く」と公約しました。市民の意見も聞かずに、「IRカジノ誘致を強行することは、民主主義に反します。」 |
| 482 | 市長は市長戦出馬で白紙といていたが最初からカジノを推進するつもりではなかったのか。しかも市民の反対の声があるなかですでに市民の税金を使ってカジノに向けた作業を進めている。市長に横浜市の行政を進めてもらいたくない。金の為ならギャンブル依存症による人間、家庭、社会の崩壊もいとわないという考えには賛同できない。道徳なき経済は墮落し失速する。 |
| 483 | 市長は、選挙中、カジノを含む横浜IRについて白紙と明言されておられましたが、選挙前から、進める方向で考えておられたように思いますが？ |
| 484 | 市長は先の市長選で白紙にすることで当選した、やらないとは言っていないと言っても市民はやらないということで信任したのは事実です。市長にはわからないと思いますが、私のような浜っ子がどんなに横浜の港に愛着があるか感じ取ってください。 |
| 485 | 市長も市議もカジノに言及することなく選挙を闘い、当選すると市長はカジノ誘致を言及、市議会で予算を通してしまいました。 |
| 486 | 前回市長選の「白紙」表明から、市民や議会の意見も聴かず、突如の誘致表明は、民主主義のルール違反。 |
| 487 | 論外です。市長選挙公約違反です。新型コロナウイルスのような天変地異で、市長と職員が市民のための市政を行って居ないことがはっきりしました。市庁舎新築が絶対に必要ですか？英国海軍省建物が木造ギンギンの頃、大英帝国海軍は世界を制覇しました。建物が立派になる程、没落しました：パーキンソンの法則の実例です。昨秋選挙で当選された埼玉県の知事は、県庁舎新築先送りです。県民・市民の生活直結課題を優先し、県民・市民の負担を軽減して行くことです。値上げをすれば良い、新税を徴収すれば良いという従来通りは、もはやできません。 |
| 488 | 市長選の際には「白紙」と言っていたIRについて、いきなり導入の方向になったこと理解できません。 |
| 489 | 横浜市長の態度 当初「カジノは白紙」と言明した後、選挙後にカジノの検討を開始し不誠実な態度であると思われる。また、先日市長のIR説明会に参加させていただいたが、あたかも「カジノありき」の説明内容と感じられた。 |
| 490 | 政治にヒステリーは禁物である。IR（統合型リゾート）推進はヒステリック。「市長定例会見の記事を読んで」そのやり方でいいの。それはすでに失敗の烙印を押されているのではない。2月19日の定例記者会見で市長は「（パブリックコメントで）反対多くても（IR）誘致をやめない」と語った。報道のその記事を読んだ時点で、やはり市長の心はどこか違う。もはや、横浜市民とは言えない市長は、続けて「提出された意見の数の多寡で意見を取り入れるか決めるわけではない。…有用な意見を政策に反映する。（賛否）両方の意見を参考に」と述べたとのこと。市民の代表たる市長ではないことを自ら認めたのだから。反対の市民の意見が多数に及んでもそれは、参考意見であり、自分にとって有用ではないから無視すると発言することは、市民から選ばれた市長が、指示だけに従っていると公言したに等しいからだ。少なくともその意識が全てに優先していることを示す。まして有用ではないと思った意見は始めから無用とする態度はなんなのだろう！そんな市長は、もはや市民の代表たる横浜市長の名に値しない。独裁者たる市長は即、退陣すべきである。 |
| 491 | 横浜市長と横浜市が横浜市民がIRについて賛成か反対かを聞くことなく、IRありきを前提としているのは横浜市民税を払っている横浜市民として理解できません。もし、このまま横浜市長と横浜市行政がIRありきを前提ですすめるのであれば、今後横浜市民税を払いません。横浜市民の大多数が賛成という選択を住民投票なり、市長選挙、市議会選挙で出したとき、はじめて横浜市長と横浜市行政機関はどのように進めるかを考えるべきだと思います。今回のパブリックコメントについて報道によれば、横浜市長は横浜IRの賛成・反対を聞くものではないと言っているようですが、市長のおっしゃっていること自体が民主主義に反していると感じていらっしやらないことを悲しく思います。また、おかしいと思わないでこれをそのまますすめていらっしやる横浜市の公務員の方々にも疑問と失望をいただきます。民主主義とは何かを考えてください。 |
| 492 | 正直に申しますと、横浜市の観光政策は稚拙です。義理の両親の将来的な介助・補助を考えて横浜に住んでいます。私と同じように暮らしている市民は暮らす資格が無いのでしょうか。今回の決定が市長と（政府）からのトップダウンで決定したと思っています。もし、それなら誠に残念です。外資系企業の意思決定と自治体の意思決定は違います。トップダウンではなく、ボトムアップな政策をすべきです。私もサービス業をしていましたが、サービスを向上するにはクレマーより声を上げないお客様のご意見が一番重要なのです。声を上げない市民、少数派の市民の声を聞いていますか？努力ができていますか？最後に付け加えておきますが、私はカジノ反対です。納得がいく説明ができなければ、リコール発動も仕方ないかと思えます。残念な結果にならないことを祈ります。 |
| 493 | そもそも最初から相手にしないと宣言されたパブコメなどあったのでしょうか。これは本当に市民を愚弄する行為です。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 494 | IR推進の基本的な市民の支持がない報道でも明らかだが、大多数の市民はIRを支持していない。市長も白紙と言いながら一方的に推進を開始している。それなのに一方的にIRをすすめる大義はどこになるのか？ |
| 495 | IR汚職に関する危うさIR汚職が明らかになっており、市長含めたIR汚職の情報公開が不透明だ直ちに明確にしてほしい。以上を鑑みて、IRに関しての市民の意見の確認のために直ちに市長は辞任してほしい。 |
| 496 | 先月、緑区公会堂において、説明会があり、質問し、当日答えられないことは、ホームページですべて回答することでしたが、回答はどこにあるのですか？ |
| 497 | 横浜IRについてパブリックコメント2017年の横浜市長選挙では市長は賛否を表明せず、カジノ誘致の審判を受けずに再選しました。それ以降もカジノについて「白紙」と表明し続け、「態度を決める場合は市民の声を聞く機会を設ける」と2018年12月の議会では答弁をしています。ところが、何ら市民の声を聞くことなく、2019年8月突然に誘致を発表しました。 |
| 498 | 市長は選挙時にはカジノに対する態度を曖昧しておきながら、あと出しでカジノ誘致を言い出すのは即刻辞任するべきだ。 |
| 499 | 遠足、観光で訪れる山下公園のそばにそのような施設を造らないで欲しい。そのお金があるならば、中学校に給食室を造ってください。 |
| 500 | 横浜IR（統合型リゾート）の方向性（素案）パブリックコメント担当標記について、市長は選挙に当選するために一時”保留にし、結局元に戻したことは、憤りを覚える。 |
| 501 | 市長の公約違反。 |
| 502 | 市長には、がっかりです。選挙のときには、IR事業については白紙に戻すとしていたのですね。子育てをしている母親たちは、この事業に対して反対の意見を持っている方がほとんどです。ですが、忙しくてこういうコメントすらかけない人も多くいます。 |
| 503 | 3/7の報道に2副市長途中退任への記事があり。実情がわからない市民はどう対処すればいいのか、市長から詳細を説明するべきだ。いよいよ勝手にIRを継続重視人事なら市長に対しリコールを強行するしかない。そんなにカジノがお好きなら自費でラスベガスに行って多めにカジノを楽しむというものが体験して来たら良いと思う。絶対に税金使わず自費のみですべし。カジノを自費体験せず儲けたお金を市の予算に当てようなんてとんでもない。一刻も早く退任すべき人は市長。税金を無駄に使うなど言いたい。 |
| 504 | 「IR（統合型リゾート）をどう推進するか」。地域住民の福祉向上とIRは相反する！／私の早のみこみでなければいいのだが、まずIR推進のためだけに市が税金を使ってパブコメを求める？待てよ。市が推進だけの一方的な意見をパブコメとして集めること自体、それはパブコメとは言わない。市長のカジノ誘致推進に寄り添う意見はプライベートなものであり、従って、市長のカジノ誘致に賛成する方は、市長にプライベートな私信としてお寄せくださいと最初から言うべきである。それをパブコメと言うのは、行政を預かる者として、あるいは行政マンとして、もはや犯罪行為と解釈できるのではないだろうか。 |
| 505 | 市長がある時期から誘致賛成に豹変したのも納得がいきません。強引なカジノ誘致には大反対です。最終的には住民投票で民意を問うことで決着し判断したいと思えます。 |
| 506 | ギャンブルは、昔から多くのやくざ組織で行われているように、全掛け金のうち一定割合がその主催者である「胴元」の収入となるため、「胴元」が必ず儲かるようにできております。言い換えれば、ギャンブルに参加する人は、一部に儲かる人がいるとしても、全体では必ず損をするような仕組みになっています。 |
| 507 | 前回の市長選において、カジノ（すなわちギャンブル）施設を含むIRの導入を明確に主張することなく再選されたにもかかわらず、当該計画をもちだしその実施を強力に推進しようとしていることに、先ず強く抗議致します。 |
| 508 | 市のパブコメのいちばん下に「注意事項」として「パブリックコメント手続は、市の政策等の賛否を問うものではなく、また、提出された意見等の数の多寡で当該意見等を取り入れるかどうかを決めるものではありません」と明記されております。このような趣旨であればパブコメを実施する意味はありません。即刻、訂正していただきたい。 |
| 509 | まず先の市長選においてはカジノの是非を”白紙”とし、争点とするのを避けたにもかかわらず、突如実施へと方向転換したのは強く非難致します。 |
| 510 | カジノ付きのIRを選択するに至った根拠を開示し、住民投票により市民にその是非を問うことを要望致します。 |
| 511 | 市長選において「白紙」と言いながら、翻してのIR導入には納得がいきません。不信感が募ります。 |
| 512 | 市民の判断を仰ぐべきです。市長の「反対意見が多い場合にもIRカジノを進める」という発言は、行政の長として極めて遺憾な発言とお言わざるを得ません。市民の意向を反映してこそ市政が成り立つはずですが、市民が市政の主役であることをお忘れではないでしょうか。将来的に大きな影響力をもつIRカジノの可否について、市民の是非を問う「住民投票」を行うことを求めます。「住民投票」で賛成が多ければ市民の賛同を得られたこととなりますから、その場合には堂々と推進されればいいと思います。 |
| 513 | 市長は、選挙でも市会でもカジノについては白紙であると表明し市民の意見をよく聞いてから判断すると言っていました。2月21日の市会の答弁でも、「賛否両論ある」と答弁しています。とするならば広く市民がカジノに対してどのような意見があるのか、よく聞いてから判断するのが民主主義というものではないでしょうか。しかし、市民の中には賛否があるようですから、百歩譲って住民投票などで市民の意見を聞く必要があると思えますが、いかがでしょうか。 |
| 514 | IR・カジノ誘致の進め方が行政運営のルールに反しているからです。憲法92条では自治体の行政運営は国政と違い、地方自治の本旨＝住民自治に基づき行うこととなっています。ところが市民の意見を全く聞かず、民意を無視し、進める行政運営は、住民自治に反しています。このまま進めれば、市民の市政への不信は広まり、民主主義が危機に瀕します。直ちに4億円の予算を撤回し、カジノの誘致は中止すべきです。中止しないなら、地方地自治に基づきカジノの是非は住民投票で決めるべきです。 |
| 515 | 提案ですが、まず市議会において2/3の賛同をえて住民投票を行うこと。そして最終的には市民の有効投票数の過半数の賛成がなければIR招致を行わないのご意向をお示しくださいますようお願いいたします。ただし、IR計画の中に賭博場（ギャンブル施設）を含まないのであれば、この限りではありません。 |
| 516 | 市長に立候補された時に、「IR招致は白紙に戻す！」と言われましたね！それで私は信頼して、一票を投じました。それがこの度、「IR招致」を突然宣言されました。その本当の理由をお聞かせ頂きたいと思えます。単に横浜の将来の財政が厳しいから、というだけでは説得力は全くありません！「IR招致しか無い」という結論に至るまでの他の選択肢にどのようなものがあつたのか示してください。 |
| 517 | 市長再選したいがために選挙に際し、IRについては白紙にすると言いながら、当選したらIRをやると宣言したが。。。選挙の争点になかったのだから、勝手に決めず市民による投票選挙を実施すべきだと思う。それは、主権者は横浜市民なのだからである。経済界の一部利潤追求の思惑で決めるべきではない。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 518 | 市長が市民の意見を聞かないこともおかしいです。住みやすい街だと思っていましたが、こんな考え方を持っている行政なんだと知りがっかりです。 |
| 519 | 事業は必ず住民投票で実行か中止かを決めて頂きたい。住民の多数決で決めれば、大赤字になった場合でもある程度納得がいく。理由は、失敗した場合、その時に市長は居ないし、職員は責任を負えない。 |
| 520 | 様々なマスコミのアンケート調査で大多数の横浜市の住民が横浜に賭場を望んでいないという結果は出ているので、住民の意向に沿わない市長は即刻辞職すべきだと思います。 |
| 521 | 市長の選挙公約にない課題を急に出してきた。 |
| 522 | 市長に問います。横浜市将来に影響を出す方向を進めるのなら、是非に住民投票による市民の意見が必要です。何故、市長選挙では公約挙げず再選されるとカジノ導入を打ち出す考えに幻滅しました。 |
| 523 | 住民投票で廃案にしよう！ |
| 524 | 横浜の財政危機にどうしても必要と言うのであれば、新横浜市庁舎を売りに出せば、これからの新庁舎の莫大な維持管理費も電気代も掛かりません。それでも足りなければ、横浜市の管理職の人員を半減すれば、かなりの財政削減になると思います。今から40年前を見ても管理職と職員の人口割合は、こんなに管理職人たちは多くは有りませんでした。日本国民の人口減が止まらない中、財政削減が一番最初の仕事ではないのでしょうか。 |
| 525 | 選挙の時だけカジノ誘致を白紙にして、再当選すると誘致を表明するような市長が、市民に向き合った（市民のことを第一に考えた）政治をしているとは思えません。 |
| 526 | 住民投票すべきです。 |
| 527 | 市長のかたくなな実施方針には、大変幻滅です。まして住民投票もやらないとしているのは、全く解せません。どうしても強硬実施態度ならば、少なくとも住民投票を実施すべきです。 |
| 528 | カジノの推進派であることが判っていたら、現市長に投票はしていない。このまま民意を無視するなら、市長をリコールする。 |
| 529 | 市長・市議会が民意を無視して独走することは許されない。本来は市長選挙で是非を問うべき事案で、市長選挙をやり直して決めるべきである。 |
| 530 | （白紙立候補）市長の突然のIR誘致宣言は全くふざけた話で、どさくさで通してしまおうとする魂胆が窺える。 |
| 531 | 横浜市は、IR誘致について、各区を回って説明をしなければならぬほどの重要案件と認識しておられる。市民の7割が反対していると言われている。このような状況下、IRの方向性を提示されたのならば、パブコメで意見を集める前に、IR誘致を争点とした市長選挙か、実効性を伴う住民投票の実施を検討されるべきではないでしょうか。 |
| 532 | 私は横浜に生まれ育ちました。国内はもとより海外で横浜から来たと言うだけで分かってもらえる、そんな素敵な町です。市長は選挙の際IR反対とおっしゃっていたはずですが、はっきりとは否定していなかったとおっしゃっても少なくとも私の周りの方々は皆さん市長はIR反対だから投票した方ばかりです。それがいつの間にか誘致賛成側に。なぜでしょう？それも合わせてIRは反対します。 |
| 533 | 不要です。 |
| 534 | 何かできないかと考えてきました。住民投票が手段であれば賛成します。必要な手続きを教えてください。 |
| 535 | 公営賭博場の設置による経済活性化を、臆面もなく主張する。そのような視点で市政を指導することは認めたいので、即刻やめていただきたい。そもそもがIRに関して白紙と言いながら、推進を独断にて進めることは許しがたい。即刻やめたいいただきたい。 |
| 536 | このパブリックコメントに関して以下のような記述があることは、民主主義の基本を理解していると言いきれない。市民の意思を聞く耳持たずと、公言しているようなものだ。辞めていただきたい。・パブリックコメント手続は、市の政策等の賛否を問うものではなく、また、提出された意見等の数の多寡で当該意見等を取り入れるかどうかを決めるものではありません。 |
| 537 | （市長の方針について）>> 公約を変えるなら、再選挙で市民の信を問うべきです。どのように取り繕ってもIRについて市民が賛成して選挙に投票したとは思えません。>> 山下ふ頭の地主の皆さんが反対されていることは、心強いことです。>> |
| 538 | プロジェクト組織図及び責任体制を明記してください。 |
| 539 | 選挙の時は隠しておき、今になってカジノ推進を変える気はないと言い張る市長の態度には憤激を覚えます。 |
| 540 | 議会を通過させれば、このプロジェクトが失敗しても「野となれ、山となれ」となっても一切の責任を取らない。市長がこのプロジェクトの成功に確信を持っているならば、この提案に反対する筈はない。このプロジェクトを受け入れないことは、成功に自信がなく後は知らない逃げ出す姿勢である。 |
| 541 | 自分のお金を使ってならば簡単にはやらないだろう。 |
| 542 | 白紙に戻すと言って当選したにもかかわらず、またカジノを持ち出す。 |
| 543 | 良く言われるように、重大な案件について、議会で決定したからと、推進するのはいかがなものか。報道のアンケートでは、カジノ反対の方が過半数を越えていたはずだ。市民、国民にとって大切なことを選挙で不利になるからとテーマにせず、選挙を行ったあとと市長、議員が勝手に重大なことを決めていく。こういうことで、政治不振、政治離れが著しくなったのではないかと。 |
| 544 | クルージング船ビジネスの終焉でのIR推進はありえない／3月5日の市の目論見ではクルーズ船をIRビジネスの重要な顧客要素として位置づけていた。報道 2020年03月18日 05:00新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、横浜港ではクルーズ船の寄港取りやめが相次いでいる。横浜市によると、キャンセルは2月から10月にかけて計75回に上り、当初見込んでいた年間寄港数約260回の達成は事実上不可能に。以上クルーズ関連ビジネスの株価は軒並み大きく下がっており、IR推進の広告宣伝という手段も大きな波には何の影響もない。インバウンド需要が回復するのは非常に長い時間がかかるのは明らかでそんなことにお金を使う暇があったら横浜市民の生活に投資をシフトすべき。クルージングビジネスに横浜市民の税金や時間を巻き込むのは直ちに中止すべきもし推進するとすればどのような顧客モデルを作るのは市民に説明し直してほしい。 |
| 545 | 貨物についても埠頭や倉庫が不足している実態はないのでしょうか。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 546 | 音楽家で過去にカジノでの演奏をしたことや、海外に仕事でいったときに、現地の方に連れられて実際の海外のカジノにいったことがあります。正直、中で感じたことは、非常に殺伐とした雰囲気の中、人々もギスギスしていました。コンサートをしたところで、うわの空的な。非常に人間の中でもいやな部分がでてしまっていると感じました。 |
| 547 | カジノが白紙という選挙のときの言葉を信じ、投票しました。裏切られたという気持ちでいっぱいです。お願いですから、話し合いをもってください。横浜は市民と行政が協働、共創でつくってきたまちで、合意形成が基本のまちです。私のすむ、港北ニュータウンはとくにそのように長きにわたってつくられてきました。 |
| 548 | 現市長が選挙の際には「白紙に戻した」と言って当選し、当選したら「撤回したわけではない」と言う。 |
| 549 | 市長は白紙で当選したのです。何故、市民の声を一切無視して強引に進めるのですか？ |
| 550 | この事業についての市民の判断を仰ぐ対応をすべきだと考えます。 |
| 551 | 市長の先回の選挙で 本件を白紙に戻された時“あゝ この方なら横浜をお任せできる方だ。政府の要望を上手に躲して下さる” と感じたのですがまことに残念です。今は心配でしんばいではありません。 |
| 552 | 横浜市民団体（18区カジノ反対有志の会）が送った公開質問にはきちんと答えて頂けないでしょうか。 |
| 553 | 市長がそれでもどうしてもカジノをIRに入れたいというのであれば、一旦辞職して、カジノを争点にして市長選をやるべきです。 |
| 554 | 市長の市民説明会に参加し、パシフィコのIR産業展を視察し産業界の意見も聴取し、表記素案も精読した上で、カジノ代替案を文明論、観光学、図書館学などの専門家と協議しまとめましたのでお届けいたします。協議の中では「観光先進国とは」「国際文化観光都市横浜とは」、さらに、素案の中に触れられていない2020年～2050年にかけて本格化する「IT&5G(6G)技術革新中心の第4次産業革命の影響」が大いに議論になりました。さらにはIRは国家プロジェクトですが、「デジタルアーカイブジャパン」も国家プロジェクトであること、横浜市内の図書館、歴史博物館、美術館などが過去10年ほどデジタルアーカイブ化の地道なご努力を続けてこられたことなどはカジノ代替案を提言する上で大変勇気付けられたことを書き添えます。よろしくご検討ください。 |
| 555 | 昨年末、IR汚職が発覚した。衆議院内閣委員長としてIRの担当をした現職の国会議員が逮捕され、起訴されている。現在、事件の真相を究明中であり、本来なら国においても、IR推進は立ち止まって、誘致撤回を検討すべきことと考える。国のカジノ管理委員会が発足したが、IR汚職事件の動向も注視し、横浜市では、誘致撤回という選択肢も含め、事業者選定委員会の設置条例の提案は慎重に進めるべきである。 |
| 556 | 住民主体の行政を今回の市長のやり方は住民の思いを無視しています。市長選のときにはカジノは白紙だと言っておきながら、当選すると突然カジノへ突進です。どこからかの圧力があるのでしょうか。しかも住民投票もやらないとか、信じられないです。 |
| 557 | 市長の姿勢について市長は、先の市長選挙でIR誘致に関しては「白紙」という公約で再選を果たしている。「白紙」＝ニュートラルということで誘致とも非誘致とも旗色鮮明にしていなくて成り立つが、市長選では多くの、いや、ほとんどの市民は「白紙」＝非誘致と判断し、投票行動を行った。今になって誘致に舵を切ったことは、論理的には公約違反でないとして強弁できても、民意をそのままにIR推進を強行していくことはIR誘致失敗という未来しか招かないことを肝に銘ずべきである。 |
| 558 | 中止してください??白紙に戻してください |
| 559 | 横浜市民のためというなら、横浜市民にもう一度確かめてください。横浜市民はいらないといっている理由に耳を傾けてください。お金だけで幸せになれるという時代はもはや過ぎ去ろうとしています。新しい価値観、新しい時代を今一度見つめていただき、カジノ中止の英断の知らせを待っています。 |
| 560 | カジノの是非は選挙で民意が問われていない。市長は、市長選挙でカジノへの姿勢を白紙として当選した。カジノ反対を明確に掲げた候補者の得票数の合計は、市長の得票数よりも多かった。カジノ誘致の方針を打ち出して以後、市長自身の言葉で市民に説明する努力をしているとは思えない。 |
| 561 | 3年前の市長選挙で「カジノ誘致については白紙」と公約し、その後も市議会で「白紙」を強調し、市民の意見を聞いたうえで結論を出したいと繰り返していました。しかし、公約を破り、市民の意見を聞くこともなく一方的にカジノ誘致に踏み切りました |
| 562 | カジノ誘致に反対し、心配している市民は圧倒的です。保守・革新を問わずです。最近党県連会長が報道で「横浜へのカジノ誘致に反対」と述べ「ばくちで人から巻き上げた汚い金を横浜市が市民生活のために使うことに心が耐えられない」「目先の金と引き換えに横浜を荒廃させるのか。あなたの孫やひ孫は善良な粋なハマっ子に育つだろうか」と語っています。港湾関係団体の会長は「命を懸けても反対する」と訴えています。どうしてもカジノ誘致をやりたいのであれば、住民投票でカジノ誘致について市民に是非を確認してください。何があっても誘致するのだと繰り返しては、市長は裸の王様になってしまいます。賢明な市の幹部職員のみなさんが市長に進言してください。 |
| 563 | 今回のパブリックコメントにあたって、市民の反対の声を多くてもカジノは誘致すると断言しています。公約を破り、市民の声を聞くこともしない、無視をする態度は恥ずべきことです。市で働く職員も情けない思いでいっぱいの人が多いのではないのでしょうか。 |
| 564 | ゴリ押しするならば、住民投票でその賛否を問うのが民主主義の筋ではないか！と訴えます。 |
| 565 | 最低住民投票を実施して民意を反映させて欲しいです。 |
| 566 | 住民投票なり、市長選なりを行って横浜市民の意思を確かめてから、実行してください。民主主義を遵守してください。 |
| 567 | この事案は、根源的に、立ち上げ方に問題があり、市民として到底納得できるものではありません。即ち、前回の市長選挙の時には争点として民意を確かめることなく、当選後、あたかも既定路線のごとく 位置付けて推進しようとしていることです。このような重大な事案は、説明会を催すとか、パブリック コメントを募るとか、ともしれば消化不良の議論になりがちな中途半端なやり方でお茶を濁してはなりません。 |
| 568 | 今さら、税金を使って市長選を再度行うなどよろしくないで、現状に至っては、ある方々が 提案・主張しているように、民意をきちんと反映できる住民投票による方向性の決定が必要と考えます。 |
| 569 | カジノ 署名サポーター登録 |
| 570 | 横浜市は、重要な政策決定は経営会議での決裁としております。今回の横浜IRでは、横浜市経営会議での審議ではなく、市長、副市長、関係局長の個別会議による決裁で進められました。よって、横浜市は、本件を個別会議による決裁とした根拠、理由、経緯などをきちんと私たち市民や事業者にも分かり易く説明すべき義務があると考えます。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 571 | 選挙で反対していた市長がいきなり賛成に回ったことは投票行為で民意を示すはずの民主主義が全く機能していないことになり問題であると思います。横浜市を愛する市民の反対の声をどうぞ無駄にされませんように、ぜひ廃案にしてください。 |
| 572 | そもそも市長を選挙で選んだのは、このIR（カジノ法案）に反対であったからです。それをいつの間にか市長が賛成にまわってしまったことに驚きと怒りを感じています。 |
| 573 | IRは他山の石として眺めるだけで充分である。それより子供達に『温かい』給食を。 |
| 574 | 財源確保に期待できる。可能なら、パブリックコメントで寄せられた賛成意見について集計、分析した結果や、寄せられた意見を具体的に公表してほしい。これにより、市民もより一層、横浜IRへの興味が高まると思う。 |
| 575 | もしできるなら、パブリックコメントで寄せられた賛成意見や建設的な意見をとりまとめて、横浜市のHPで公表してほしいです。きっと市民の理解も深まると思いますし、IR事業者もこれを参考によりよい提案を提供できるのではないかと思います。 |
| 576 | 市長は選挙で「IR（すなわちカジノ）は白紙」と言い、選挙後には「白紙は撤回ではない」と言ってカジノ推進を打ち出したが、今回のパブコメでの反対意見次第で、民意を汲んで速やかにカジノ撤回をすべきである。 |
| 577 | パブコメ結果はどの年代の市民からも分かる簡便な方法で、隠さず公表してもらいたい。 |
| 578 | もし市長がどうしても誘致を撤回する意思がないのなら、いったん辞職して選挙で市民の声を聞くべきです。当選して堂々と進めればいいでしょう。 |
| 579 | 説明会に参加して市の説明を聞きました。将来の市の財政が苦しいのでカジノで稼ぎたいということだと理解しました。それも一つの考え方だと思いますが、私は反対です。市民の間にはいろいろな意見があると思うので、住民投票で市民の意見を聞くべきだと思います。 |
| 580 | 市政であるからには、パブリックコメントを含めて市民の声を反映させるべきです。 |
| 581 | 事業推進に際し、市民の賛否を問うのは必須と考える。その理由として、市の人口も労働（納税）者数もどこかで頭打ちになるのは周知の事実なので、IRもひとつのプランとしては提案があって良い。しかし決定は主権者たる市民の意思を尊重すべき。市民から選ばれた首長であることを市長は認識すべきである。 |
| 582 | 先日の選挙の際、IRに関して「白紙」と選挙公報に記載されましたが、私を含め相当数の横浜市民は「白紙撤回」と解釈しました。それを、いきなりIR推進に変節したことに大変失望しました。 |
| 583 | そもそも市長は市長選が終わってから従来の見解を覆したカジノ導入を決めました。2018年の世論調査でもカジノ解禁反対が65%と賛成22%を大きく上回っています。市民の同意も得ていないわけです。 |
| 584 | 現市長はカジノ（IR）を白紙として当選しました。これでカジノを推進するのは正当性がありません。 |
| 585 | カジノの是非を問う住民投票をしてください。 |
| 586 | 1点目は、市長がカジノに関して慎重姿勢を表明して当選したのに、当選後態度を変えて推進していることです。 |
| 587 | 6頁の財政分析上の法人市民税の分析では、「上場企業による総税収額」と「非上場企業による総税収額」の両方を載せてください。「多くの非上場企業による総法人市民税額」が「法人市民税」に占める割合の方が高いのではかと思われるので、その疑念に教えてください。 |
| 588 | 私たち横浜市民は、富裕層が遊ぶ傍で、低賃金でこきつかわれるのでしょうか。 |
| 589 | 7頁において「日帰り客全員による総消費額とその内訳」、「宿泊客全員による総消費額とその内訳」を載せてください。今の表現では全体を示していることにはなりません。 |
| 590 | 56頁で観光客をもてなす人材を謳うが、「富裕層をもてなす●になれ」ということでしょうか。 |
| 591 | 95頁で若い方々に「質の高い魅力的な職場」と説明するが、カジノのどこが「質の高い」のでしょうか？ |
| 592 | 94頁で市政運営の基本を「共感と信頼」としているが、民間事業者ではないのでこの表現は間違っており、日本国憲法及び地方自治法に基づき「国民の厳粛な信託によるもの」と「地方自治の本旨である団体自治と住民自治」と直すべきです。 |
| 593 | 5頁にて生産年齢人口の減少と老年人口の増加と肩車型の社会保障を述べていますが、「生産年齢人口が保有数する資産」の方が「老年人口が保有する資産」よりも低いと考えられるので、「老年人口が保有する資産総額」と「生産年齢人口が保有する資産総額」を踏まえた上での、実質的な社会保障制度の在り方について述べてください。 |
| 594 | 平成31年4月の調査報告書の163頁でIR施設設置により想定される懸念事項として雇用人材の確保を挙げられているが、2016年の総務省の社会生活基本調査において神奈川県民の通勤時間が日本で一番長く、日本人の1日の睡眠時間がOECD諸国の中で最低の中では、SDGsにおける働きやすさの向上や、数少ない生産年齢人口の労働資源を有効に、かつ、医療・介護・福祉・教育・小売・製造・サービスなどの「人によるもの」の労働力の地産地消が望まれてしかるべきだと考えるが、これに対する横浜市の戦略を述べてください。 |
| 595 | 平成31年3月の調査報告書の34頁では「イスラム圏ではカジノが禁止されておりカジノを設置するとイスラム圏からの訪日外国人が落ち込む恐れがある」との反対意見があるが、それに対する横浜市の解決策を述べてください。 |
| 596 | 平成31年4月の調査報告書の52頁によるとカジノにおける現金取引報告は100万円を超えるものとあるが、100万円も人に賭けさせるのは異常であり、年10万円に改めるべきであると考えます。 |
| 597 | 平成31年4月の調査報告書の64頁でギャンブル依存症の対策として、専門医療機関への受診勧奨や自助グループへの紹介を行うとあるが、専門医療機関や自助グループの現時点の数及び今後見込まれる数の把握を行った上で、「証拠に基づく政策立案（EBPC）」を行うべきと考えるが横浜市の見解を述べてください。 |
| 598 | 平成31年4月の調査報告書の73頁以降でシンガポール、ラスベガス、マカオ、オーストラリア、韓国のIRの事例を挙げるが、欧州及びラスベガス以外のアメリカにおける事例の調査が足りないため、政策決定に先立って調査し市民に報告がなされてしかるべきと考えるが、横浜市としての見解を述べてください。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 599 | 平成31年4月の調査報告書の97頁で市税における個人市民税が法人市民税の6倍であるとのことだが、個人市民税の底上げを行うべく、横浜市民の賃金の底上げを行うことが横浜市民及び横浜市にとって益するところが多いと考えるが、横浜市の見解を述べてください。 |
| 600 | 平成31年4月の調査報告書の98頁で医療・介護などの扶助費が増加するとあるが、社会保険・介護保険の見直しや、医療・介護人材の不足を解消することにより、ある程度は緩和できると考えるが、横浜市の見解を述べてください。 |
| 601 | 平成31年4月の調査報告書の97頁で法人市民税が市税収入の10%にも満たないとのことだが、法人市民税が段階的に税率が下げられたためであり、日本を代表する政令市として法人市民税の増税の提案を国に対して行ってください。 |
| 602 | 平成31年4月の調査報告書の102頁で横浜市の上場企業数を述べているが、法人市民税の総額における「上場企業の占める割合」と「非上場企業が占める割合」を踏まえた上で、法人市民税の増収戦略について述べてください。 |
| 603 | 平成31年4月の調査報告書の107頁で横浜市の1回当たりの観光消費金額を「宿泊客」と「日帰り客」で比較しているが、時間に比例して宿泊客が多いのは当たり前なので、横浜市の観光消費総額に占める、総宿泊客延べ消費総額と総日帰り客延べ消費総額を算出し、日帰り客が多く来ることで観光消費が多いのではないかとこの疑念に答えてください。 |
| 604 | 平成31年4月の調査報告書の58頁にギャンブル依存症の疫学調査結果が載っており、日本は0.8%又は3.6%で低い方をとっても既にスウェーデン、スイス、イタリア、ドイツよりも多いが、これ以上増やしてどうするのか、欧州の対策と比較した上での横浜市の政策を述べてください。 |
| 605 | 平成31年4月の調査報告書の101頁で公共施設の保全・更新費が老朽化により増えるとのことだが、人口減少を見越した社会資本の在り方やCompact Cityなどの方策についての横浜市の見解を述べてください。 |
| 606 | 平成31年4月の調査報告書の63頁で横浜市の依存症専門相談件数の4年間の延べ件数を2000件と見込み4000万円を計上していますが、カジノがない平成29年度の482件を元に算出しても意味はなく、1000倍位に増えると考えられるがその対応についてはどうするのか。 |
| 607 | 平成31年4月の調査報告書の151頁で「IRを設置した場合の観光客数」について「今後、政省令などで定められることも多く、観光客数・訪問客数を試算するために必要な情報が不足している」などで試算し難いとのことだったが、素案策定時には政省令が定まっていなかったのに、なぜ試算ができたのですか。その根拠を示してください。 |
| 608 | 平成31年4月の調査報告書の153頁で「IRを設置した場合の増収効果の試算」について「情報不足で地方自治体への増収効果の見込みを試算できない事業者がいた現状」で、なおも素案で試算してみたその根拠を示してください。 |
| 609 | 平成31年4月の調査報告書の207頁の調査のまとめで、「調査時点では政省令などがまだ明らかになっていなかったことや、事業者が情報提供を行うにあたり必要な条件や情報が不足していた」ため、「政省令を踏まえ、事業者が必要とする条件や情報を適切に示し、提供された情報の具体化や精度の向上を進めていく」とあるが、横浜市としてその行為の結果を示してください。政省令が未定の段階では示せないものと考えます。 |
| 610 | 平成31年4月の調査報告書の176頁の有識者の意見で「IR施設での雇用対策として、派遣を不可として、雇用保険と社会保険を完備した正規雇用の義務付け」が挙げられているが、これに対する横浜市の見解を述べてください。 |
| 611 | 平成31年4月の調査報告書の186頁の有識者の意見で「神奈川県は先進的ではあるが依然として数千人の患者がいるため、これらの施設の数はまだ不十分」との認識に対して、横浜市としての対応策を述べてください。 |
| 612 | 平成31年4月の調査報告書の205頁の有識者意見のまとめで「経済効果の検証のためIR全体の事業計画や来場者数等の見込等について前提条件や収益性を精査すべき」とされているが、横浜市として精査したのですか。精査内容と根拠を示して下さい。有識者に聴きっぱなしでは意見を伺う税金が無駄であり、政策形成の手順を踏まえておりません。 |
| 613 | パブリックコメントで集まった賛成意見や建設的な意見を集約して、横浜市のHPで公表すると思う。IR誘致の機運醸成に役立つだけでなく、IR事業者もこれを参考によりよい提案を持ってくると期待する。 |
| 614 | 博打産業は、そもそも事業として民間企業がやってはいけない。※世界中どここの国でも、基本的に原則博打行為は禁止されている日本の場合、唯一の例外が公営ギャンブルとパチンコ。公営ギャンブルは、行政の監視下におかれ抑制的に運営されている。収益部分は地方行政の予算に組み込まれている。ところが公営ギャンブルの多くは現状、赤字経営を余儀なくされているのが実態。今回のIR事業については、刑法で禁止されていることを、政府が無理やり「IR法」（開発事業と抱き合わせ）として成立させ、国内3か所に限って誘致を募っているが、そもそもIR法自体が無理筋。そのターゲットとされたのが横浜市だと、とんでもない話。 |
| 615 | 市長は元経営者として立派な事業経営の実績を上げられた。前回の市長選のとき、カジノ誘致の件が話題になったものの、市長はカジノ事業の誘致のことを表明せず選挙を戦い当選された。ところが当選後、突然カジノ導入を行政施策として進めようとしている。これは約束違反です。今回のカジノ事業導入に対しては、横浜市民の約7割の人達が反対しています。私の周囲の多くの人も怒っています。一体どちらを向いて行政を行ってられるのですか。 |
| 616 | このIR事業誘致に関しては基本的に市民の了解が得られていない。どうしても進めたいのであれば「住民投票」を行うべきです。このまま強引に進めれば大きな禍根を残すことになるでしょう。まず住民投票をすべきです、市民の信を問いましょう。 |
| 617 | 今回提案されているIRは事業者と横浜市との契約が40年間にもなる長期契約であり、これを中途で解約するときには莫大な違約金を支払う必要があると言われていた。横浜市民にとって将来にわたる重大な影響を及ぼす内容であるにもかかわらず、市民の意見を全く無視した形で推進していくことは許せません。今カジノ導入しようとしている市議員と市長の中で、カジノ導入を推進していくという政策を提示して選挙に臨み、当選した者はただの一人もいないのです。民主主義を否定しないのであれば、最低でも住民投票を実施し市民の意思で是非を決すべきです。 |
| 618 | 先日の説明会の様子：まず、席を決められた。夫はあっち、私はこっち。なぜ??という気持ちから始まって、ああ、こんなに行政側は恐れているんだ、という実感。それに協力をさせられている職員を哀れに思った。70%の市民が反対しているというこの問題、進めて良いはずはありません。 |
| 619 | 市長選の時は「白紙」と言っておき、突然誘致へ舵をきった。市民の声を聴こうともしない、市長の姿勢には反感を覚える。論議せず誘致を強行する裏にはなにかあるようにおもえてならない。反対派を意見を封じ込めるかのように、すでに山下埠頭近辺の整地が始まっている。なし崩しで強行すんなら、市民もリコールと言う方法で市長を引きずり降ろすしかない。 |
| 620 | 市長選の時は「白紙」と言っておき、突然誘致へ舵をきった。市民の声を聴こうともしない、市長の姿勢には反感を覚える。論議せず誘致を強行する裏にはなにかあるようにおもえてならない。反対派を意見を封じ込めるかのように、すでに山下埠頭近辺の整地が始まっている。なし崩しで強行すんなら、市民もリコールと言う方法で市長を引きずり降ろすしかない。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 621 | 以前「市民からの提案」で I R 誘致について反対の意見と質問をしましたが、横浜市からの返答は I R の利点を述べただけのもので質問の回答にはまったくなっていませんでした。以前のパブリックコメントも I R について 94% は否定的だったことに対してどんな意味がありましたか？今回も形だけのものですか？思考停止になっているようですが、もっと慎重にデメリットについて考えたらよいと思います。 |
| 622 | I R 推進に関しての意見です。白紙に戻す意味市長選では選挙で I R に関して「白紙に戻す」ということで市長選を戦いましたので、白紙に戻すと公約でいわれたので、私も 1 票いれました。家族を入れると 2 票です。当選後、それを反故にして I R を推進するというのは如何なものか「白紙戻す」の意味は、「一度決まった事柄を、何もなかった元の状態に戻すこと」です。政治家なら言葉に責任をもって正しい言葉で有権者に最初から I R を推進しますと断言して選挙を戦うべきである。 |
| 623 | 市民への説明が不十分な状況であることを認識しながら、「横浜 I R の方向性（素案）」についてのパブリックコメント募集は計画どおりに始まり、また、市長からはパブリックコメントに反対が多くても計画は中止しないと発言がありました。このような計画推進ありきのプロセスには大きな問題があると考えます。 |
| 624 | あまりにお粗末な素案なので驚いています。一言で言って、「良さげなところをコピー&ペーストして、夢を並べているだけ」です。早急に、横浜市の意思、展望、企画を入れた素案を作成し、再度パブリックコメントを募ってください。横浜市の未来についての意志が入らなければ「必ず失敗する」本当の素案を「早急に」作成して、再度のパブリックコメントの募集をお願いいたします。※民間では、ちゃんと期限を設けます。上記の「早急に」は、遅くとも 4 月 30 日まで。パブリックコメントの募集は、5 月 1 日～5 月 15 日。のように、特定することを一般的には示します。今の時代、いつまでお役所仕事をやっているのか、横浜市民としてとても恥ずかしいです。 |
| 625 | 横浜市の税金の使い方に偏りがあります。港を中心部に予算を取りすぎです。都市部にある程度開発し税金を使うのは仕方がないことですが、周辺部にさらに予算をかける必要があります。地下鉄、モノレール、路面電車、道路などの鉄道交通インフラ整備です。法人税から個人市民税を増やすために不可欠です。初期費用はかかりますが、市営地下鉄のようにインフラが整うと住民も増えます。便利になれば、人口減少区でも増加に転じます。瀬谷区、泉区は特に通信隊跡地の利用にかかわり、花の博覧会、防災総合公園などインフラ整備が必要でです。必要でも税金は使いましょ。 |
| 626 | 市長は、カジノは白紙にするという公約の元、市長に当選。当選後に住民投票も行わず＝市民の意見も聞かず、カジノ誘致は公約違反ではないのか？自分に都合の良い数字を並べて、カジノ誘致を正当化しているに過ぎない。 |
| 627 | パブリックコメントは行方が計画の廃止はしないという姿勢そのものにも抗議します。選挙で選ばれたら何をしても良い訳ではありません。市民の声を聞いてください。《そもそも『一般的には「行政による意見募集」を指しますが、横浜市では、意見募集の中でも、実施要綱及び同運用指針の内容に合致したもののみを「横浜市パブリックコメント」として取り扱います。』としてパブリックコメント自体に特異な定義を与えて市民の声を聞こうとしない姿勢そのものを改めてほしい。》 |
| 628 | 市民に残された意思表示の方法は市長リコールしかなくなります。 |
| 629 | 市長は「I R 誘致は白紙」として当選したので、市長選挙のやり直し、または住民投票の実施を望みます。住民投票を要望すると、「国の方針では住民投票を実施せよとは書いてない」と言い逃れをする、パブリックコメントは賛否を問うものではない、では、市長はどうやって市民に賛否を問うのですか。市民の反対を押し切って推進することが民主主義ですか。市民は市長の部下ではありません。 |
| 630 | 市長は「市民の意見を聞く」と言われますが、「パブリックコメント手続は、市の政策等の賛否を問うものではなく、また、提出された意見等の数の多寡で当該意見等を取り入れるかどうかを決めるものではありません」と書いてあります。そのようなパブリックコメントの実施は「意見は聞きました」という既成事実を作ることだけのために行うのだとしか思えません。 |
| 631 | 前回の市長選直前に、市長が白紙などどちらにも取れる発言をし、結局は推進しています。市長選対策で白紙発言をしたとしか考えられず、不信任感があります。 |
| 632 | パブコメ 5 章で次のように謳っていますが、一方的な情報発信しかしておらず、市民と向き合っているとは思えません。住民投票をするべきではないでしょうか。「丁寧に市民の皆様と向き合い、理解を深めていただき、その実現に「共感と信頼」が得られるよう、理解促進・合意形成に向けて、取り組んでいきます。」 |
| 633 | 現横浜市長は、3 年前の市長選でカジノ誘致については中立・白紙を強調して当選したのに、昨年一転誘致を表明したのは公約違反です。 |
| 634 | 市長が R リゾートを開発は白紙と計画、推進しないと断っていたことで裏切られた気がします。 |
| 635 | 市長が R リゾートを開発は白紙と計画、推進しないと断っていたことで裏切られた気がします。 |
| 636 | 昨年の新聞社による調査では、横浜のカジノを含む I R 推進に反対する意見が多数であったはずですが。横浜市として I R を進めるか否かは、市民投票により決定することが、市民ファーストなプロセスであると考えます。横浜 I R 推進の是非を問う市民投票の実施を是非お願いします。 |
| 637 | 市長の姿勢に極めて不信任感を持っている。これまでカジノについて曖昧にしていたが、ここにきて急に推進と言い出し、反対の声に耳を傾けようとしぬ。リコール運動に大賛成だ。 |
| 638 | 先日の選挙の際、I R に関して「白紙」と選挙公報に記載されましたが、私を含め相当数の横浜市民は「白紙撤回」と解釈しました。それを、いきなり I R 推進に変節したことに大変失望しました。 |
| 639 | 素案の中では市民の理解の部分が欠落している。またそれを行おうとするならばそもそもの決め方からやり方が間違っていた。これだけの事業の推進にあたり市民の同意なく市長が独断で決めてよい範疇を超えている。それにより本来ウエイトの低いカジノに焦点があたり、本来の議論ができる状態ではなくなっている。どのようなやり方にしても実施した後の市民と一体となって盛り上げていかなくては、どんなに素晴らしい計画でも運用がダメなら失敗に終わります。その意味では失敗に終わることが見えている。 |
| 640 | 雇用が見込まれるといっても、ギャンブル施設ならびにギャンブルに隣接する施設に就職する人への悪影響は否めない。特に若い世代から、ギャンブル施設で働くことに抵抗がなくなるのは後々の犯罪とギャンブル依存症を誘発することになる。 |
| 641 | 市長からして、当選してカジノ誘致に暴走していることが許せない。民主主義を破壊している。さらに、カジノ業者とのパーティーでオペラハウスを作る話があると聞くと、市政の私物化で言語道断である。 |
| 642 | 市長は先の選挙では I R に白紙で市民に選ばれたわけで、選挙の時に旗幟を鮮明にせずして任期途中で I R 誘致を表明して推進するやりかたは、選挙民を愚弄するものと考えます。 |
| 643 | 市長を辞職して選挙で信を問うか又は住民投票を行うべき案件。英国では EU 離脱を国民投票に委ねたではないか。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 644 | 前回の市長選挙時、カジノ誘致は争点の1つで、誘致の理由としている少子・高齢化の問題も既にわかっていました。そして、現市長はカジノ誘致について白紙として選挙に臨み当選しました。ですから、カジノ誘致については横浜市民の多数の賛同を得ていません。では、カジノ誘致は市民の多数の賛同が必要ない程度の些細なことなのでしょうか。それは違うでしょう。横浜市長は、カジノ誘致について市内の複数個所で住民への説明を行っています。重要でなければ、そんなことをするのでしょうか。 |
| 645 | カジノ誘致は横浜市のみでなく未来世代にも負の遺産となる可能性があり、横浜市民の直接の意思に基づいて決めるべき重要なことです。決して現市長と市議会だけで決めて良いものではないでしょう。そして、カジノ誘致はまだ横浜市民の多数の賛同は得られておらず、誘致計画の推進は住民投票などで市民の直接的な賛同を得てからにする必要があると考えます。 |
| 646 | 現市長は市民の多数の賛同を得ることなくカジノを誘致しようとしており、進め方に問題があると考えます。 |
| 647 | まず市長の退職金廃止を。カジノ誘致の理由を厳しい市の財政状況であると説明していますが、市の財政が厳しいのならばまず最初に市長の退職金廃止や給与削減をすべきです。その次に、横浜市職員の給与も削減すべきです。市民を苦しめて税金を巻き上げておきながら自身の身を切らぬ市長・市役所などありえないと思います。 |
| 648 | 市長や市職員の給与を大幅に削減しろ。カジノ誘致の理由を厳しい市の財政状況であると説明していますが、市の財政が厳しいのならばまず最初に市長の退職金廃止や給与削減をすべきです。その次に、横浜市職員の給与も削減すべきです。市民を苦しめて税金を巻き上げておきながら自身の身を切らぬ市長・市役所などありえないと思います。 |
| 649 | 市民の声を無視するな。市の財政が厳しいのならばまず最初に市長の退職金廃止や給与削減をすべきです。新型コロナウイルスなど感染症が日本国内で広がっています。日本という国では感染症の拡大が止まりません。行政はインバウンドばかり重視して、国民の健康や生命を反故にする気か!? カジノ開業で、危険すぎます |
| 650 | IR開業で危険な事になる。新型コロナウイルスなど感染症が日本国内で広がっています。日本という国では感染症の拡大が止まりません。行政はインバウンドばかり重視して、国民の健康や生命を反故にする気か!? カジノ開業で、危険すぎます! |
| 651 | 安全安心なヨコハマを目指せ。新型コロナウイルスなど感染症が日本国内で広がっています。日本という国では感染症の拡大が止まりません。政府や県市はインバウンドばかり重視して、国民の健康や生命を反故にする気か!? カジノ開業で、危険すぎると思わないのか? |
| 652 | 選挙前は白紙で、選挙後に突然推進見え透いたやり口で余りにも選挙民を愚弄するやり口である最初から推進を明らかにして居れば、市長は当選していない |
| 653 | 市長選の選挙手法は厚顔無恥。市民の大多数が反対する賭博場開設を市民に信を問うことなく、市議会で強引に採決し血税を使うことは許されない。 |
| 654 | 前回市長選挙における公約は「白紙」であり、現在のカジノ強行は明確な公約違反である。 |
| 655 | 市民説明会もパブリックコメントも『意見は聞くがカジノ推進方針は変えない』というのは、許せない。 |
| 656 | 「P24 ギャンブル依存症有病率推移」【質問】調査の実施主体は? その調査の方法は? 減少した要因分析の結果は? 2017年増加に転換している要因分析は? |
| 657 | パブコメの意見について、「ご意見の概要」しか報告せず、「個別の回答はいたしません」は、絶対認められません。市民は、生活に追われ、今は新型コロナで頭も心も一杯一杯の中、時間をやりくりし、必死に意見を書いているのです。それに誠実にこたえるのが公務員の義務ではないですか。それを最初から拒否する姿勢は、冒頭に市長発言が担当部局を拘束しているもので、認められません。誠実な対応を求めます。 |
| 658 | このパブリックコメントは、市民の意見を広く聞くためのものであるにも関わらず、意見に左右されることなく、予定通りにカジノ・IR誘致を進めると発言された姿勢には、横浜市の私物化を強く感じる。以上の理由により、カジノ・IR誘致に怒りを持って強く反対する。 |
| 659 | これほどの愚策を市民の声を全く聴かずに推進することに怒りを覚えます。直ちにIR誘致を中止してください。もし、中止しないなら、直ちに市民の意見を聴いてください。カジノ誘致の是非を問う住民投票を実施してください。市民は諦めません。市民を甘く見ないでください。 |
| 660 | すでに誘致を表明してから市民間の対立は激しくなっています。市長の政治責任はすでに重いです。市長選を行うべきとも思いません。 |
| 661 | このような重大事案については、住民投票等により民意を問うべき。 |
| 662 | IRカジノ パブリックコメント |
| 663 | 市長は2017年の市長選挙で、「カジノは白紙」とし、「市民の意見を聞く」と公約しました。なのに、市民の意見を聞かず、カジノ誘致を強行することは絶対に許せません。このパブコメも「反対が多くても誘致は変えない」と言うのは、民主主義の否定です。 |
| 664 | 市長がIRリゾートを開発は白紙と公約し、計画、推進しないと云っていたことで裏切られた気がします。 |
| 665 | 私は市長に投票していません。政策に希望が持てなかったからです。IR、本当に必要かどうか、市民に問うべきです。是非選挙なりの方法で民意を問うてください。そのための経費は、血税から出すことは構わない。 |
| 666 | 横浜市の2020年度市政は、まず新型コロナウイルスに対して横浜市民が安全安心に生活できるように施策、予算資源を投入することです。IRカジノは棚上げにして、一方的な進め方ではなく、住民投票で市民の意向を問うべきです。市民の意向に沿う市政を求めます。 |
| 667 | 市長は、選挙の際は、白紙と言ってきた。当選後、これを翻したのは、民主主義に反する。国会で問題になったように、カジノ採用には、疑惑が絡まる。およそ市民の利益には程遠いものだ。韓国その他の例によっても、利益を得るのは市民ではなく、ほんの一握りの金持ちだけ。大多数は、借金地獄に陥られる。横浜市の税収を期待するなら、もっと健全な、未来世代も喜ぶようなものを作るべきだ。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 668 | IRの誘致は今後の横浜市の市政の在り方に重要な影響を持つものであり、市民の見解を聴くべき課題である。しかるに横浜市長は17年横浜市長選挙で「白紙」として当選しており、一度も選挙で「信」を問うていないこと。市議員についても「誘致賛成」の公約を掲げて19年横浜市議選で当選した議員は一人もいないこと。したがってその議員が市会の中で仮に「誘致賛成」しても、市民の信託を得たものではないこと。 |
| 669 | これを機に、一旦、計画を白紙に戻すのも、行政が市民に対する責任を誠実に果たし、善き市政を実現する一つの道ではないかと考えております。 |
| 670 | 市長は選挙の時は白紙としていて、その後突然推進の意向を表明しました。この問題は横浜市の将来を左右する大きな問題ですから、市民の意見を聞くための住民投票が必要と思われます。もしそれができないのなら、市長選をやりなおすべきと考えます。 |
| 671 | 本パブコメの全容を募集終了後速やかに公表すべきです。 |
| 672 | 市長が、カジノ場を設けたいならば、今までカジノ場について何も表明しないでここまで来て、急にカジノ場を設けることを表明したいのならば、市民の意見を選挙で聞くしか正当性を証明する方法はないはず。それをしなければ、市民の選挙で選ばれた市長は、民主社会を破壊することになります。 |
| 673 | 市民に賛否を問う住民投票の実施を求めます。 |
| 674 | 市長選に立候補した時の公約では、カジノについて「白紙」との姿勢で選挙戦を戦い当選しました。そして、カジノを含むIRについては、市民の声を聴いてから判断すると言っていたことを覚えていますか。しかし、そのような発言を突如覆し、カジノ誘致を打ち出したことは、到底許せません。2020年2月28日の行われた保土ヶ谷公会堂で行われた説明会では、「市民の声も聴いて判断した」という趣旨の発言をしていましたが、一人でも聞けば聞いたことになります。しかし、市民の70%以上という圧倒的多数がカジノ誘致反対の声を上げているのに、その人たちの意見を無視して誘致を決定するという行為は、暴挙である。 |
| 675 | 今のやり方は民主主義ではない。市民の声を聞いていただい。住民投票で決めて！ |
| 676 | また、市長は選挙の時は「白紙」と言っていました。なのに、いつのまにか推進に変わりました。 |
| 677 | もし推進したいなら、住民投票をやるべきです。 |
| 678 | リコールだ！ |
| 679 | 市長は、「カジノは白紙」を公約に出馬し、当選しました。「カジノは、やる！」で当選したならまだ、わかりますが、横浜市民もカジノに反対しているにも関わらず、市長が「横浜カジノをやる」という権限はない！もう一度言います。 |
| 680 | (市長の姿勢)市長選の時に、IR推進を公約にして戦って当選したのなら、市民の支持があったとみることもできなくもないが、IRに対して白紙で臨んだ市長が、突然IRを推進するのは、正統性が疑われます。 |
| 681 | IRを推進する前に、多くの市民の意見をきくべきです。パブリックコメントとして聞くのではなく、広く多くの市民の声を聞くために、カジノの是非を問う住民投票を行うべきです。 |
| 682 | 方向性に関する意見ではなく、設置判断に関する意見をお伝えします。カジノはどの都市にも設置されるものではありませんので、設置是非については市民が極力直接的に判断すべきものと考えます。横浜市としては開発の姿を十分に周知し(市民へ判断材料を提供し)、その上で住民投票を実施するのが一番望ましいと考えます。もしくはカジノ設置を争点とした市長選挙、市会選挙を実施すべきと考えます。 |
| 683 | 横浜IRの方向性パブリックコメントご担当者様 |
| 684 | MICEの説明が資料では34頁に出てくるが、もっと早く説明してほしい。 |
| 685 | 住民投票が行われなければ、次は市長リコールの運動が本格化することでしょう。そうなれば市長のイメージダウンは避けられません。難しい舵取りをなさっていることは想像が付きませんが、市長にはダーティーなものには近づかないという賢明な決断を心より願います。 |
| 686 | 市長にはまず住民投票を行っていただきたい。 |
| 687 | 仮に、百歩譲って、横浜市に誠意があるならば、住民投票を実施すべきです。憲法第8章地方自治95条をお読みください。国は、この憲法をくぐり抜ける形で特区を作りあげています。横浜市民、住民は、多くが反対しています。 |
| 688 | まずは市民に直接是非を問うことをせずに、重要な政策を推進する事に反対です。 |
| 689 | 市長は2017年の市長選挙で、「カジノは白紙」とし、「市民の意見を聞く」と公約した。にもかかわらず、市民の意見を聞かず、カジノ誘致を強行することは民主主義の観点から認められない。 |
| 690 | 市長は2017年の市長選挙で、「カジノは白紙」とし、「市民の意見を聞く」と公約しました。なのに、市民の意見を聞かず、カジノ誘致を強行することは絶対に許せません。 |
| 691 | 「何故、横浜市は胴元になろうとしないのか？説明を求めます。」いま、環境・社会・経済のあり方が根底から揺らぐ中、サステイナビリティ(継続可能性)ということが様々なレベルで叫ばれています。「横浜IR」が横浜市政の継続性の要の事業として構想されるとすれば、市長は市長選でその可否を、横浜市民に堂々とご自身のビジョンとして問うべきではなかったでしょうか？それができなかったのは「横浜IR」事業収益の殆どが、いままで「違法賭博」であったカジノ収益ということへの、横浜市民の文化的拒否感を恐れたからではないでしょうか？ |
| 692 | そもそも、IRをやらないという公約を破っていること。 |
| 693 | この「カジノ」推進が、「横浜市民の大多数の賛成であれば、納得出来ます。」そのためにも、「カジノ推進」：賛成、反対での、市民投票を提案いたします。ご検討方、よろしく願います。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 694 | 「IRという巨大企業が指定管理者として労働相談を行う制度設計は誤っている。」労働相談は相談を行うだけで、神奈川県のように解雇や賃金不払いやパワハラなどの「労働者と使用者の労使紛争についてのあっせん指導」は行っていない。横浜市は就職相談が神奈川県との二重行政であるとして「特別自治市」構想を謳うが、この部分においては二重行政とはなっていない。労働相談を行政機関が行う意義は何か。何故、弁護士や社会保険労務士ができることを行政機関が行っているのか。憲法15条2項では「すべて公務員は、全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない。」とし、地方公務員法38条1項もこれを受けて「職員は、許可なく、私企業で地位を兼ね、若しくは営利目的の私企業を営み、又は報酬を得ていかなる事業にも従事してはならない」旨を定め、私企業から距離を置いて「全体の奉仕者として勤める」という「公務員の公共性」を定めている。地方自治法10条2項では「住民は、法律の定めるところにより、その属する地方公共団体の役務の提供をひとしく受ける権利を有している」ことを定め、「地方公共団体の公共性」を定めている。誰もが無料でひとしく労働相談及びあっせん指導を受けられることを定めているのだ。横浜市は労働相談を民営化した時点で、そもそも営利目的である私企業がなる「指定管理者」は、憲法、地方公務員法及び地方自治法に抵触している。さらに、指定管理者には利害関係者、つまりは指定管理者に雇われている労働者が存在し、いくら授権する際に必要な措置を講じても当該私企業に雇われている労働者が消滅する訳ではないので、横浜市の労働相談の公平性・中立性を保つことはできない。横浜市がIRという巨大企業を設けると聞く。この巨大企業に雇われる労働者が多いので、この巨大企業は労働相談の指定管理者になれないと言うのだろうか。雇われる労働者の数ではない。そもそも制度設計が違憲・違法である。 |
| 695 | 横浜IRのパブリックコメント実施内容です。こんにちは、初めまして。ここに、私の「横浜IR（統合型リゾート）のパブリックコメント実施内容です」。ご覧ください。添付ファイルファイル名： Yokohama? IR? Concept? V1フォーマット：PDF サイズ：3.9MBありがとうございます。お返事お待ちしております。敬具、日本らしさを感じられるような簡素な美しさを追求（和風・日本型）。Pursuing simple beauty that gives a Japanese feel. |
| 696 | 選挙に際し白紙、やるなら市民の意見を聴くと公約したはず。 |
| 697 | 私たちはカジノの是非は市民の直接投票で決めようと運動している、この運動は市長がやるべきではないか。あなたの選挙公約を私たち市民が手弁当で実現しようとしている、これをおかしいと思いませんか？それでもやるというなら、命を懸けても絶対阻止します。真理は必ず実現します。 |
| 698 | 今パブコメで反対が多いからと言ってやめることなしとはいいたい人としての誠意があるのか。 |
| 699 | 市長は、市長選ではカジノは白紙で望み、市会選挙でもカジノを抱負にあげた議員はいなかった？ように思われます。市民の声を全く聞かずにカジノ誘致を進めるのは、市民不在であり、許されるものではありません。 |
| 700 | 市長が市長選の際にカジノ誘致については白紙撤回をしたにもかかわらず、当選後にカジノ誘致を始めたことは、市民の信頼は失われたため、カジノ誘致を白紙撤回すべきである。 |
| 701 | 市民への悪影響が予想されるカジノは、市民の合意なくして誘致・建設することは、避けるべきである。一度作ってしまったら、破綻するまでカジノはずっと残るものだから。 |
| 702 | 低投票率の現状での議会の意見はより一層、市民のそれとはかけ離れたものであると言えます。これらの事情を考慮すると、IR誘致は他の施策と同様に扱うべきではなく、横浜市として市民に賛否を問うべきです。市民に賛否を問ってください。 |
| 703 | 依存症患者の増大を肯定していながら、市民の大多数の反対を無視して血税を投入する権利は市長にはありません。 |
| 704 | そもそもカジノ誘致については、選挙で市民の意志が問われたことはありません。私たちはカジノについて現在の市長に信任を与えたことありませんし、議員も誰一人カジノ推進を語って選挙を戦った人はいないのです。市民がカジノ誘致にYesの一票を投じたことではないのです。もしもカジノを推進したいなら市民とことごと話し合い民意を問うことを行い納得が得られてから進めるべき政策であるはずですが。いったんできたならそう簡単には後戻りできず、今後何十年にもわたって人々の暮らしに大きな影響をあたえる政策だからです。昨年の夏から急にカジノ推進の動きが出てきて私は慌ててカジノについて学び始めました。知れば知るほど横浜にカジノはいらないと確信するようになりました。しかし今私たちはそのことをじっくり話し合ったり反対の声を上げるために動いたりする余裕がありません。市長さんも市議会の皆様にはどうしてカジノに割けるエネルギーが残っているのでしょうか。本当に不思議です。 |
| 705 | ここに至るまでの意思決定過程がグレーでした。選挙の際「白紙」とした現市長が市民の意向に反して推進へと向かった経緯が受け入れられません。ほんとうに横浜市の未来を考えての施策なのか？疑問符ばかりが続きます。 |
| 706 | 多くの市民が反対している中で、IRを推進する事に正当性はありません「横浜では、『共感と信頼』を市政運営の基本としています」と「素案」には記載されています。市民の意見を尊重するのであれば、IR誘致の見直しを行うことが市民の共感と信頼を得る道ではないでしょうか。この間の各種の調査等では、反対意見が多数であることが明らかになっています。2018年9月の横浜市中期4か年計画（素案）に関するパブリックコメントでも、IRに関する意見は全体の20.3%（433件）と、市民の関心が最も高く、このうち94%（407件）がカジノ反対を表明しています。また、この間の報道等の意識調査においても、カジノ誘致反対が多数を占めています（2019年9月の報道、横浜市民調査ではカジノ誘致に賛成26%、反対64%。2020年1月報道の全国調査では「見直すべきだ」が70.6%）です。説明会でも反対意見が多数でした。市長は、2017年の市長選においてIR誘致に対して「白紙の状態」と表明して、選挙で民意を問うていません。当選したらIRを推進する事に、正当性はありません。 |
| 707 | どうしてもというなら、認定申請の前にIR誘致について直接横浜市民の意思を問うべきです。 |
| 708 | 横浜市の主人公は市民です。カジノ・IR事業を具体化するの、例えば住民投票で市民の声を聞いてから行うべきで、今は時期尚早です。 |
| 709 | 横浜市の主人公は市民です。カジノ・IR事業を具体化するの、例えば住民投票で市民の声を聞いてから行うべきで、今は時期尚早です。 |
| 710 | 賛成か反対か、住民投票を行ってからカジノ事業を進めるべき。市民の声を聞いていない。 |
| 711 | 市民が望む政策なら、市民が犠牲になるのも仕方ありませんが、市民が賛成してるのか反対なのかも問わず、市役所の考えだけで物事を進めるのはおかしいです。 |
| 712 | 市民を説得できるものがあるなら、堂々と住民投票を行い、是非を問うてはいかがですか？住民が住みやすく、観光客が何度も来たいと思う街づくりを博打ではなく考えていきましょう。 |
| 713 | カジノの含むIRについて、市長は選挙の折に「白紙」の方針を出されました。それまでの姿勢を変えたのは市民の反対の声を受け止めたことだと思い、投票しました。それが当選後、市民に是非を問うこともなくの方向転換するものです。 |
| 714 | 不確実な計画であるにもかかわらず、市長はパブリックコメントで反対意見があっても方針は変えないと明言している。 |
| 715 | 市長の公約違反で市民無視のカジノIRと新劇場を撤回しないのであれば、市長のリコールしかありません。横浜市民は本気で怒っています。私は今日、受任者になりました。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 716 | 先日の報道で説明会による「IRに対する理解が深まった」が何パーセントという記事があった。自分は港北区の説明会に出たが、理解が深まったというのは、IRについて情報を得て「やはり必要なく、誘致に反対である」という理解である。「理解が深まった」と「市民の賛同を得ている」はまったく違うのである。そもそも「理解が深まりましたか？」という質問自体に、そのような誘導的な意図が感じられ、誠意が感じられない。理解が深まった＝賛成の意図なら、なぜ「IR誘致に賛成ですか」の質問にしないのか？説明会をやって賛同を得ているというパフォーマンスでしかなく、今後その発表はやめるべきである。 |
| 717 | IRに限定しない横浜市内のギャンブルの再検討をIR案をきっかけに、市内にギャンブル施設が増加することを懸念する声があり、賛否両論が生じている。これを機会に、市内に多数ある既存のギャンブル施設は許容されるのか、むしろ既存のパチンコ等のギャンブル施設を（政令により）規制してIRに集中することで、横浜市の長期的・総合的な価値向上を果たせるのではないかと。 |
| 718 | このメッセージが市長に届いているかは知らないが言わせてもらう。この際、カジノ云々はどうでもいい。私が物申したいのはカジノではなく市長に対してだ。横浜市長選では「カジノは白紙」と言って当選したにもかかわらず、当選した後から「そんなことは言っていない」と発言をした。 |
| 719 | 横浜市の進めるカジノ誘致について反対します。選挙で白紙としながら、反故にするのはありえません。これまで無駄遣いをしてきて、今更税金不足は無いと思います。 |
| 720 | 市長は、市長選挙で「カジノ事業は白紙である」として当選した。 |
| 721 | カジノ事業を進めることは本選挙結果に沿うものではなく、また市民の多くがカジノ事業に反対しており、市長選を実施するなり、住民投票を行うなど、カジノ事業に対する横浜市民の信を改めて問うべきである。市議会議員選挙もカジノ事業への議員の姿勢が不透明な中で結果であり、カジノ事業に関しては市議会の議決結果が市民の意見とはならない。市長は市議会賛成議決をもって、市民の了解を得られたと言ってはならない。 |
| 722 | IR市民説明会（鶴見区）に参加したが、説明内容は稚劣で横浜市財政困窮の説明が多く、IR事業の説明が少なく、質問事項への回答も新規性がなく、各項目で横浜市としての考察が乏しいなど、横浜市当局の取組み体制の当事者能力を露呈した。IR事業者の公募選定にあたっては、横浜市としての考察を加え、比較選定内容、結果を公表し、改めて横浜市民の信を問う必要がある。 |
| 723 | 横浜市 中期4か年計画（2018-2021）戦略・市内企業の成長：大企業の横浜市誘致も含め、力を入れて取り組むべき。観光：全国で人気のある都市は「横浜と神戸」横浜の魅力を最大限生かせる戦略です。文化芸術創造都市：名前は格好いいですが、横浜市はすぐ近くに東京があります。文化芸術施設は少ないです。あれもこれでも、現実味がありません。これは、東京に任せましょう。未来を創る：健全な横浜を次世代に継承していくことが、大切。 |
| 724 | 横浜IRの進め方をみていますと、オール横浜ではなく、市民をだましています。堂々と進めるなら、住民投票をし、その結果を踏まえて横浜市民の代表として進めるべきです。今の市長は、市民の代表ではありません。 |
| 725 | 市民の希望を真摯に聞いて市政を運営することを期待します。IRの問題は是非とも住民投票で決めてください。 |
| 726 | IRについての市民の意見を聞く、としてパブリックコメントを募集していますが、IRへの反対意見は認めない、という条件をつけること自体、市民に対して失礼極まりないことです。市税を納めている市民に忌憚ない意見を求めてこそ、健全な市政運営につながるはずはです。 |
| 727 | 市長の表明方法は失敗でした。選挙前から公約に掲げるべきだったと思います。もっとも透明性が求められる事案だけに、あとからモヤモヤ出てきた感じが残念でなりません。 |
| 728 | 市所属の職員、そのOBや市内の大学に在籍した先生方々とも仕事をやってきました。横浜市内在住も30年を超え、その間に市内の都市開発事業や土地利用計画の変更など様々な計画や事業実施に係わり、横浜の発展や未来への展望に愛着を持って対応してきました。今回のパブリックコメントの募集に意見を提出することには、正直ためらいがありました。知り合いの方々の顔が浮かび、ひょっとして迷惑をかけたり、私の職にも悪影響を及ぼす可能性があるためです。もう年老いた人間ですからここで意見を提出しなければ、何のために生きているのかと考え意見を述べようと思いましたが、手続について・・・市民に意見を聞くのであれば、選挙でその旨を問うべきだ。そもそも現市長は白紙として選挙に臨み当選した経緯がある。議会に諮って決まったとして進めるのは邪道である。 |
| 729 | 市長は「カジノ誘致は白紙」と主張して当選し、市議会議員も、誰一人としてIR・カジノを実現するという公約を掲げて当選したわけではありません。2019年8月に市長は山下町頭に、カジノを含むIR施設の誘致を表明し市民は驚かされました。報道の世論調査でも、横浜市民の63.85%が「反対」、「賛成」は25.7%と多くの市民が反対していることは明らかです。 |
| 730 | パブリックコメントで集まった賛成意見や建設的な意見は、集約して、横浜市のHPで公表すると思う。IR誘致の機運醸成に役立つと思う。さらには、IR事業者もこれを参考に横浜市民に寄り添ったよい提案を持ってかれるのではないかと。 |
| 731 | 件名に付、意見します。 |
| 732 | カジノIR誘致の理由として市長が取り上げた日帰り観光客が統計資料は、調査方法の異なる手法で行われたものを使っていることが、昨年9月6日の市議会質問で質問できらかにされています。市長もその事実を認めているのに、訂正せず使用しています。全国と東京都は観光庁「観光消費動向調査」から、横浜市は独自の「観光集客実人員」から、調査手法が違う数字を並べ、日帰り客が横浜に多いように誘導操作。東京都は都内外宿泊計1244.3万人、都内外日帰り計45993.4万人で、日帰り率97.4%。横浜市は宿泊619.4万人、日帰り4523.7万人、日帰り88.0%と、9ポイントも少ない。また、東京・名古屋・大阪と比べ法人市民税の低さを強調、東京のベッドタウンで個人市民税が高いことはごまかしています。2017年度横浜市歳入16869億円、市民税21.2%3573億円、うち個人17.8%3002億円、法人3.4%570億円。2017年度東京都歳入69641億円、都民税25.3%17626億円、個人17.2%9213億円、法人12.1%8413億円。2017年度名古屋市歳入11649億円、市民税19.7%2293億円、うち個人14.2%1650億円、法人5.5%643億円。2017年度大阪市歳入17503億円、市民税16.1%2816億円、うち個人8.6%1505億円、法人7.5%1311億円。この例を見るように、事実と異なるデータを使って都合のよいカジノ誘致の結論に誘導しているのです。このことについて、納得のいく説明をすべきです。 |
| 733 | 今回のパブコメに当たり、市長は「反対が多くてもIRは実施する」と記者会見で発言されました。これではそもそも市民の意見を広く聞くパブリックコメントの趣旨に反するのではないのでしょうか。 |
| 734 | 文化創造都市の実現にIRが資するとは思えないし、カジノを含むとなるとなおります。都市のポテンシャルがあるだけに、安易にカジノからの税収に頼る姿勢が見えるのは残念です。市長はカジノの是非を争点にしないまま当選しており、反対の強いこの問題ではもう一度市民の信を問うべきだと思います。それまでこの計画は凍結してください。 |
| 735 | 文化創造都市の実現にIRが資するとは思えないし、カジノを含むとなるとなおります。都市のポテンシャルがあるだけに、安易にカジノからの税収に頼る姿勢が見えるのは残念です。市長はカジノの是非を争点にしないまま当選しており、反対の強いこの問題ではもう一度市民の信を問うべきだと思います。それまでこの計画は凍結してください。 |
| 736 | 民意を得て進められてるとお思いなのでしょうが、市長、前回市長選では、明言されてませんね。とにかく、ストップして熟考しましょう。健全な横浜の今から将来に向けて、市長並びに公務員の皆さんに託しているのですから。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 737 | 白紙撤回し、全面的に再検討することを求めます。 |
| 738 | カジノ付IRの誘致に反対します理由は、市長は直近の選挙で、「カジノへの賛否」に触れないで、当選しました。その後に、突然、誘致を公言したのは、あきらかに公約違反です。 |
| 739 | 再度選挙をするか、住民の意見をきく住民投票をするべきです。その手順なくして、市長の権限で予算化、事業化の強行は、市民との信義を壊すことでしかなく、強く反対します。 以上 |
| 740 | 市長におかれましては、選挙公約や議会への答弁で「IR誘致は白紙」とおっしゃっていた事実を踏まえ、政策優先順位の低い本件はここで白紙に戻し、選挙公約のとおり「市民の皆さん、市議会の皆さんの意見を踏まえた上で方向性を決定」されることを強く要望するものです。 |
| 741 | 所謂IR法（以下法という）は一つの地方公共団体にのみ適用される法律（憲法95条）である。一というのみは、広島、長崎の平和都市というようにテーマが一つ（旧軍港等）で権利、義務や優遇、不利益を課せられるという意味で、法に住民の投票の手続きを置かない法律に当るので、憲法違反である。原発立地を定める法律もこの規定がなく史上最大の福島原発爆発事件は憲法95条違反の一つの効果で大きな教訓である。従ってカジノ場を設置する地方公共団体は当該予算を当て、外資や内資を誘致することは、積極的に住民投票（最低横浜市）の過半数をクリアすべきである。カジノ賭博が地方公共団体の行なう競馬、競輪、モーターボート（憲法判例参照）と同等賭博であれば、法は新たに立法する必要があるのだから、上記見解を支持する。個人は尊重され、幸福を追求する権利を持つが（憲法13条）、賭博カジノで楽しむ人は幸福追求する権利というよりは財産権の不可侵の権利（憲法29条）を追求するもので、憲法の人権優先順位は13条に29条は劣後する（ワイマール憲法151条参照）。日本書紀は天皇が賭博（さいころ賭博）をした記述をおくが、庶民（おおみたら）は農業、勤労をやり賭博が幸福追求の手段である国情にはない。中国もマカオに賭博場を置くが、官僚腐敗の温床である記述もある。地方公務員は仕事のうさにカジノを行い官僚腐敗の温床となるおそれがある、況や一般国民においておや。国際賭博資本は大統領（その青年若年期）に事業を遂行させたが、彼の経営したカジノ場は倒産し救済された経緯がある。横浜市の投入する資本は無に帰するおそれがある。この危険を納得させるには投下資本に当たる額で社会福祉の拡充が果たされるかなどの論点もあるから、住民投票が最も優れている。本法によって賭博の違法性阻却（責任、処罰阻却）となる刑法35条の規定は、上記1をクリアして始めて妥当する。ボツダム宣言6項は「日本国民を欺瞞して、誤って世界制覇の拳に出させた一部の人々の勢力と影響は永久に除去すべきである」、同10項「我々は（米英中）は日本国民が人種として奴隷化しまたは国民として破滅するのを意図しない」とあり、6項の一部の人々が国民の奴隷化を望む法の趣旨であるカジノ立法は条約違反である（憲法98条）。 |
| 742 | 市長は、どうして、2017年市長選挙でカジノ誘致白紙の立場を取ったのでしょうか。当選後、白紙撤回と感じた市民は多いはずですが。 |
| 743 | 本当に横浜にカジノが必要ならば、住民投票で市民の意見を聞いて下さい。よろしくお願いします。 |
| 744 | 横浜市長は2017年市長選挙においてIRは白紙という公約をもって当選されました。それは、IRは反対されると知っていたことではないでしょうか。 |
| 745 | IRの可否についての住民投票を要求します。 |
| 746 | 財政が厳しくなるからIRを導入する、とっておきなから？ 新劇場建設に、多額の費用を投入する。現在市内の劇場数から、新劇場の稼働率は更に低くなり、建設費に加え多額な維持管理費がかかり、「大きな赤字を生むことは明白。」大劇場を作っても、立派な劇場を備えた大都市東京からわざわざ足を延ばしてまで、横浜に来る観客はいない。結局観客は限られた一部の市民だけとなり、宝の持ち腐れとなること必定。（赤字）無駄使いのためのIR導入無駄使いをするためにIRを導入するとしか思えない。IRは市長選に臨んで言われたように「白紙」に戻し、市民の意見を聞き（住民投票）再検討していただきたい。 |
| 747 | パブコメは是非を問うものでないと念押ししていますが、白紙に戻してください。 |
| 748 | 現在の市長は、カジノ誘致を掲げて当選していません。公約は「カジノ白紙」でした。 |
| 749 | 辞任してカジノについて有権者の審判を問うか、カジノでの住民投票を実施しなさい。 |
| 750 | 素案は直ちに取下げ、市長選挙をやり直し、その上で再選されたなら改めて横浜市の将来像について市民の案をつのり。その複数案を検討すべきである。 |
| 751 | 市民に大いに議論のある政策なので改めてその主張のみを争点にして市長選挙を行うべきである。その主張の変節について素案には何も書かれていない。IRの是非の議論の前にまずその変節の理由、言い訳を述べるべき。 |
| 752 | 市長はIR+カジノを市長選挙で「白紙」と主張して当選した。市民に大いに議論のある政策なので改めてその主張のみを争点にして市長選挙を行うべきである。その主張の変節について素案には何も書かれていない。IRの是非の議論の前にまずその変節の理由、言い訳を述べるべき。横浜市の財政にとってIRが必要なことは書かれているがそれも説得的ではない。IR以外の代替案もなにも示されていない。すべてがIR+カジノを前提とした素案である。市民に誠実に横浜市の将来像を代替案を含めて示すことから再出発すべき。政府のIR政策にたまたま乗っかっているだけである。素案は直ちに取下げ、市長選挙をやり直し、その上で再選されたなら改めて横浜市の将来像について市民の案をつのり。その複数案を検討すべきである。 |
| 753 | 豊かな文化と歴史と自然、優れた人材・労働力あふれる横浜で、IR（統合型リゾート）にカジノ（博打場）がある未来しか画けない市長は横浜の市長にはふさわしくありません。 |
| 754 | 多くの市民が反対している中で、IRを推進する事に正当性はありません「横浜市では、『共感と信頼』を市政運営の基本としています」と「素案」には記載されています。市民の意見を尊重するのであれば、IR誘致の見直しを行うことが市民の共感と信頼を得る道ではないでしょうか。この間の各種の調査等では、反対意見が多数であることが明らかになっています。市長は、2017年の市長選においてIR誘致に対して「白紙の状態」と表明して、選挙で民意を問うていません。当選したらIRを推進する事に、正当性はありません。どうしてもというなら、認定申請の前にIR誘致について直接横浜市民の意思を問うべきです。 |
| 755 | 市長は、市長選挙では「白紙」としていたこの案件を、いま住民の意思を問うことなく進めようとしている。 |
| 756 | 市長に訴えたいことは、市長選のときに、カジノ構想は白紙撤回したと発言され、市長に当選しました。その後、またカジノ構想を市民の投票を行わずに、ほぼ強制的に遂行していく。このために私は、先祖の土地、愛着を持ってきた横浜市に対し、納税をしたくないという強い怒りが生まれました。納税はしたくない、他の市にいつそのこと移動すべきかもしれないと思いました。どうか、人生100年時代と言われている今、退職した元気な70歳以上の人々たちをカジノ依存者にはなりません。 |
| 757 | IRは今や見直されるべき計画だと思えます特にカジノは問題が多く、多数の市民が疑問を持ち、反対をしていますしかし、こうしたパブコメも含め、市民の声を真摯に聴こうとする姿勢が感じられませんこれを無視し押し切れば、市長として、行政として、最も大事な「信頼」を失うということになります |
| 758 | 市長選挙で「白紙」として当選したものとイえる。もし、カジノを誘致したいのであれば堂々と政策として掲げ選挙で市民に是非を問うべきだ。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 759 | 市民の意思を住民投票で聞いて下さい。税金を使うのはそれからじゃありませんか？！ |
| 760 | パブリックコメントはIR (=カジノ) の賛否を問うものではないという設定自体がおかしい。 |
| 761 | IR招致予算計上のニュースを見ました。市長選の直前にIR招致を白紙に戻すと言っていませんでしたか。やはり市長選のための公約変更だったのか、と誤ってしまいました。 |
| 762 | 7割以上の市民の反対にもかかわらず、市民の声を無視し、IRを推進しようとしている市長の即刻退陣を求めます。 |
| 763 | 国会議員によるカジノ汚職事件もあり、このまま横浜市で進めてもよいものなのだろうか。まずは一度、市民に信を問うてから決めてもらいたい。 |
| 764 | カジノ反対。コロナで人々が困窮している御時世、カジノを作っても客は来ず赤字を増やすだけです。カジノに回す金を自校調理式中学生給食に回し、勤労人口を増やして下さい。 |
| 765 | 市長は2017年の選挙公約にて、IRに関して「市民の皆さん、市議会の皆さんの意見を踏まえうえて方向性を決定」としていたので投票しました。その後も「IRは白紙」との答弁があったにも関わらず、市民や議会での検討なしに「IRカジノ誘致」が打ち出されたことは、民主主義に反すると思います。 |
| 766 | 市長は選挙では白紙と言って当選し、今は世論の反対を押し切って計画を進めている。外部環境の変化はなく、当初から推進の方向性を隠していたとしか思えない。 |
| 767 | 「市民・関係者との連携による推進」として、「内港地域には地域で生活する人々や活動する人々、そこを訪れる人々など、とても多くの人々が関わっています。今後具体的な展開を行っていく際には、広く皆様のご意見を頂きながら、それらを十分に取り入れた施策を進めていきます」とされながら、市民の大半が反対するカジノIRを、進める姿勢も、構想に反している。 |
| 768 | 説明方針2. 1. 市民意見への回答 12回の市民説明会における意見への回答を市長が行うこと。市民説明会が12回開催され、市民から多くの意見が出されている。コロナの影響により6回は未開催であるが、12回の説明会における意見は、多くの市民の意見をかなりカバーしていると考えられる。素案が市民意見への回答となっていることを検証し、その検証結果を開示すること。 |
| 769 | 市民の意見を尊重すること市民にカジノの是非を直接問うこと。市会議は選挙で選ばれた議員により運営されている。しかし、政党に属する市議は政党の方針に逆らうわけにいかず、有権者の意見を押し殺している。納税者である市民にカジノの是非を直接問うべき。市長はなぜそれを否定するのか合理的な説明を自身で行うこと。市会におけるこれまでの説明は市民には通用しない。 |
| 770 | 公平な議論をすること。カジノありきの市長の立場で素案を記載しないこと。多くの市民がカジノに反対しているのは明確である。反対／賛成の両意見をとりあげ、公開出来るデータに基づいた公平な議論を素案において展開する必要がある。 |
| 771 | 分厚い素案は不要。現時点では第3章「横浜IRの方向性」は不要である。「なぜ横浜だけがカジノを必要とするのか」という基本的疑問に絞った骨子を10～20ページ程度にまとめ、市民の是非を問うべきである。 |
| 772 | 横浜の誇りを売り渡した市長として歴史に名を残すことになるでしょう。そのようなことになりませんよう、賢明な市長に、IRカジノ構想案を白紙に戻されるよう、強く求めます。 |
| 773 | カジノ誘致は市長の公約違反だからです。市長はカジノ誘致白紙の立場で選挙に臨み、それを市民は認めて市長に選ばれました。その任期中に約束を翻すことは、しかも市長という市民に責任を負った立場で、もし、この法案を強引に押し通すことをしたら、あなたは歴史に悪名を残すことになります。 |
| 774 | 横浜市民はほとんどカジノの必要性を感じていないと思います。選挙の時も市長はカジノについては白紙としていたと思います。必要どころか、反対している人が大勢いるにもかかわらず、勝手に進めるのは本当にやめていただきたいです。 |
| 775 | 報道の調査で6割反対の結果が出てること市議員も市長も誰1人もカジノを推進することを選挙で言わず当選していること??市民の心??本当にカジノを推し進める事が市民の幸せになるのならこんなに反対が出るのでしょうか??それを反対を押し切って。 |
| 776 | カジノを含めたIRについて、絶対反対します。推進に突き進んでいる市長や賛成している議員、役所の関係者に対して、この横浜の未来を、どのように描いているのか、問いたいと思います。選挙の時、何を公約しましたか?受ければ、何をしても、公約をないことにしてもかまわないほど、このIRはいいものですか?横浜にとって、いいものですか?横浜の人口減少に伴い、税収の減収になるから、それを補うためにカジノ誘致の一つと言われています。その理由は今更何を言っていると思います。自分たちの見通しの甘さ、自分たちの無能さを表しています。私たち市民も改めて、市長、賛成議員を選んだことを後悔しています。反対が7割にあらわされています。 |
| 777 | 横浜市未来を大きく変える重大事項を市長の独断で決めることは間違いです。住民投票を実施して市民の意見を聞くべきです。 |
| 778 | IR誘致反対／選挙では白紙に戻すとしていたのに、なぜ意見が翻っているのか。横浜市民の民意でないことは明らかです。しかも、この緊急事態に私達の税金から4億もの予算をつけているなんて、到底納得できません。 |
| 779 | 白紙に戻すとして選挙しているのだから、進めるようであれば市民に選挙で問うべきです。 |
| 780 | 住民の総意＝住民投票に前向きであってほしい、と切に思います |
| 781 | 市長は選挙の時は「白紙」と言っていましたね。私は市長さんには投票しませんが、多くの人は「白紙」を信じたのでないでしょうか。カジノ自体もいらぬし、そういう市長のもとに決められていく過程も納得できません。 |
| 782 | 横浜は都市のポテンシャルがあるだけに安易にカジノからの税収に頼る姿勢がみえるのは残念です。市長はカジノの是非を争点にしないまま当選しており、反対の声が強いこの問題ではもう一度市民の信を問うべきだと思います。それまでこの計画は凍結してください。 |
| 783 | 今、パブコメが実施されていますが、驚きました。パブコメは賛否を問うものではないとありました。市民の意見を求めながら市政の参考にするものではないということですね。何のためのパブコメですか。市民が真剣に考えて意見を送っても何の参考にもならないということはということなのではないでしょうか。市民を愚弄するもの以外の何物でもありません。市民説明会のまだ全部終わっていません。丁寧に説明していくということは実施されていません。コロナのせいだということでしょう。 |
| 784 | 市長に市民の声を聞く、検討する姿勢がないことも大きな問題。普通に考えておかしい。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 785 | これまで市長のがんばりに賛同し、毎回選挙では市長さんに投票してきました。前回の市長選でも「白紙」を信じて市長さんに票を投じました。 |
| 786 | そもそも市長は選挙の時に白紙にすると言っておいていざ当選したら市民の声を無視しIRを勝手に進めています。 |
| 787 | まずは市民の声を聞き市民の選挙をするべきだと思います。IRののために選挙するべきです。 |
| 788 | 私は反対です。それよりも横浜市の中学校を給食制にする方が先です。教育は何よりも優先すべき事案です。それを分かっておられないことが、何よりも危惧すべき点だと思います。横浜市の未来を今よりもより良くする為の舵取り、誤らないよう祈っております。 |
| 789 | 市民の意向を確認し、計画に反映すべき横浜市民は横浜を生活の場としており、多くの市民は安全・安心な街での生活を第一に考え、「(カジノによる)国際観光地」となることは望んでいないと考える。市長も市議会議員も選挙で選ばれたとはいえ、双方とも選挙時にIR誘致の是非を問うていない。IR誘致は、未来の横浜の姿に影響を与える非常に大きな問題であり、方向性を決定するためには横浜市民の意向を確認し、それらを計画に反映すべきである。 |
| 790 | 横浜市政においては「村度政治」だけは避けていただきたい。横浜市職員には、横浜市民に正対することを、横浜市長には、横浜市民の声に耳を傾ける謙虚な姿勢を示すことを期待する。 |
| 791 | パブリックコメントに対する市長の姿勢に疑問あり市長は、「パブリックコメントで反対意見が多くてもIR誘致を止めるわけではない」と公言しているが、では何のためにパブリックコメントを実施するのか？パブリックコメントの意義は、計画の策定者がその計画案を公表し、それに対して広く意見を求め、修正すべきところは修正して、より良いものとするためのものである。今回でいえば、市が立案した横浜IRの方向性に対して市民や市内事業者の意見を求め、それらを基に横浜市民並びに横浜市にとってより良いIR誘致計画にするためのものとする。そうであれば、IR誘致に反対する意見に対しても耳を傾け、方向性について、あらためるべき点があれば、場合によってはIR誘致を断念することもあり得るはずである。はじめから市民の意見を聞こうとする意志が無いのであれば、パブリックコメントを実施する意味がない。その点をまずあらためるべきである。 |
| 792 | 市長は17年市長選挙でカジノについて「白紙」と強調し、「市民の皆さまの意見を踏まえうえて方向性を決定します」と公約しました。ところが19年8月、市民の意見を聞くことなく、一方的に山下埠頭へのカジノIR誘致を表明しました。公約違反であり、民主主義に反します。 |
| 793 | 市長は先の市長選挙では「カジノは白紙」と言われていたのに昨年8月に突然の誘致宣言をされました。その後も市民に向き合おうとせず益々前のめりな姿勢は市民を欺くものであり失望です。 |
| 794 | そもそも市長はこれ程重要な決定を行政のみの考えで決めるなど住民投票を行うべきです。 |
| 795 | 市長はリコールする。 |
| 796 | 若い人が横浜(とくに南西部)に住みたいと思えるような施策を行い、少子高齢化を改善して、税収を確保する。既存の施設の有効活用や改良にお金を使い、無駄を省く。よろしく願います。 |
| 797 | 市長は、重大な市民の関心事であるIR建設について公約で掲げていません。世論調査等での市民の意見は反対が多いのに、なぜ強行しようとするのか説明がなされていません。 |
| 798 | スケジュール的には、コロナウイルス禍の影響が世界的に広がる中、大阪府が国に表明したように、各国の事業者が計画を作成できる状況になく、当初の国のスケジュールは無理で、スケジュールの「半年程度延期」は客観的に見て不可避の状況です。コロナウイルス蔓延対策で大変な状況ですが、ことIRに関しては、これを奇禍とし、再度検討し、適切な案をお示し頂け、その資料を基に、来年の「市長選挙」にて可否を問い、皆が納得できる形でIRの推進、又はIR断念の判断を行うべきと考えます。 |
| 799 | 市長による「白紙」とご自身選挙後の「白紙撤回」によって市長に対して不信感を拭うことはできません。こんな心構えで良いものができるとは思っていません。 |
| 800 | 政治やまちづくりの専門家でもなんでもない、2児の母です。IRについて、なぜこれだけ市民は反対しているのでしょうか。それはIRそのものが問題というよりは、誘致が発表されるまでは白紙であったはずの概要や素案がこのように急遽決定されていることで「市を信頼できない」「市民が市から信頼されていない(どうせ反対するから誘致を強行してしまおうとしているのでは)」と感じているからではないでしょうか。 |
| 801 | 市長は、前回の市長選で「カジノ付きのIR」については「白紙です」と言って、争点化を避けて、当選しました。その「白紙」公約を信じて市長に投票した有権者も多いはずですが。その「白紙」公約を撤回し、カジノ付きのIRの導入に踏み切ることは公約違反です。 |
| 802 | どうしても「カジノ付きのIR」を推進したいのであれば、一旦、市長職を辞職し、改めて市長選を行うか、「カジノ付きのIR」の是非をテーマにした住民投票を行うべきです。 |
| 803 | 市民の税金を使う事業に市民の投票もなく勝手に計画が進むのは間違っています。 |
| 804 | カジノ建設にお金を使うなら、はやく横浜市中学校に給食設備を作ってください。横浜市中学校、小学校の教室設備やICT設備の充実にお金を使ってください。もう何十年と中学校学校給食について無視され続けています。非常勤や教員の雇用条件が悪すぎます。だから人材が集まらない、教育や保育が充実してないから新しい人が横浜市に引越そうと思わないのです。 |
| 805 | コロナのどさくさに紛れて通しても必ず頓挫するでしょう |
| 806 | このパブリックコメントで誘致反対が多くても突き進むのは変わらないというのは、民主主義に反する行為であり、市長は辞するのが妥当だと考えます。 |
| 807 | PR動画みました、全体版20分ほどのものです。あれはひどい。横浜市に住んでいない代理店制作でしょうか？結局「市長と行政と一部の企業・資本家」が勝手に進める感満載です。PR動画の第6章 横浜市が目指すもの。SDGsマークが出てきますね。「市民が生き生きと活力」ですか・・・。「臨海部が横浜市民の憩いの場」ですか・・・。ごめんなさい、笑っちゃいました。地元のこと、まるで考えてない動画なんですよ。いや、さらにはSDGsのことも分かっていない・・・。(SDGsって言えばみんななびくとでも！?)代理店を動かせない、というか、代理店に伝える内容(動画要件定義)もなっていないとか、行政側もいただけません。 |
| 808 | 市長は、公約違反です |
| 809 | P2, 4 「生産年齢人口の減少」保育園、中学校給食など、子育ての支援が不足している。隣接する川崎市、藤沢市は子育て世代が増えている。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|--|
| 810 | 市民説明会カジノの実態をほとんど説明せず、市民からの質問もほとんど受け付けない、問題だらけの説明会であった。また、市長をはじめとする市議会議員のうち、「IR」誘致をかかかって当選した人はいません。市民の声を無視した誘致は許されません。カジノ誘致の即時撤回を求めます。 |
| 811 | |
| 812 | 原発推進派は「原発は安全」「交付金と雇用の増大で豊かになる」と喧伝したが、取り返しのつかない重大事故が起き、原発安全は「神話＝嘘」でしかなかったことが露呈した。しかるに原発推進の当事者（電力会社、通産省・為政者など）は「想定外の事故」と言い逃れ、誰一人として一切責任を取らず、一方で福島県民は生活基盤を壊され、国民は税金（国費投入）、電気料金という形で今後もツケを払われ続ける。「原発のコントロールが失われれば」大事故に繋がることは、核分裂の原理から見れば当たり前のことで、全ては「想定されているべき」ものである。 |
| 813 | 市長は、前回の市長選ではIRに対しての態度を「白紙として」示さず、当選後にIR推進の態度を表明した。 |
| 814 | 市長はIR（カジノ）推進をする前にやるべきことがある。IR（カジノ）推進についての住民投票を行い、その結果に従うべきである。あるいは、直ちに市長を辞任し、「カジノ推進を争点とした」市長選で信任（正当性）を得てから、IR（カジノ）を推進すべきである。市民多数の賛同をえられぬ現状での強行は禍根を遺す。 |
| 815 | 今回、このパブリックコメントで「反対意見が多数」であっても「IRを推進する」としている。IRを推進する資格・正当性は無いと言わざるをえない。 |
| 816 | 以前の開港150周年事業では、事業の赤字を放置して市長が横浜を離れた今回も、仮に事業赤字や諸問題が発生しても、その時点では現市長は職を離れているでしょう |
| 817 | 市長の突然の態度変更にも怒りを感じています |
| 818 | 『市長が、それでもどうしてもカジノをIRに入れたいのであれば、一旦清く辞職して、カジノを争点にして市長選をやるべきです。広く、市民の民意をくみ取るべきです』と、付言して終わります。 |
| 819 | 横浜市債は日本国債と同じくA1の格付けを得ているが、市の財政局と都市整備局とでは、市の財政に対する見込み評価が違っているのか。 |
| 820 | 市民に政策の賛否を問うてください。 |
| 821 | 前回の市長選の際、市長に投票しましたが、カジノに関する方針が示されない中での選挙になりました。これまでの市長の業績には大きなものがあると思いますが、カジノを誘致するのであれば非常に残念な気持ちです。 |
| 822 | 先の市長選で、白紙と言って当選した市長が将来の横浜市民に多大のリスクが残る可能性が高い、多額で長期の契約を進める資格もないと思います。 |
| 823 | 基本コンセプトには「市民が生き生き暮らし、魅力と活力あふれる都市であり続けるため」とあるが、全国では9割以上の自治体が行っているあたり前の中学校給食（自校方式、親子方式又はセンター方式であれ、栄養士の管理の下、調理したものを提供する給食）さえ、未だに実施出来ていない。昼休みは水を飲んで過ごす子、親からお金をもらえた時だけ菓子パンで空腹を満たす子など、横浜市は「子どもの貧困」の実態が見えているのか？『「市民が生き生き暮らし」しているなどと、よく言えるものだ』というのが、これを読んだの最初の実感である。カジノ誘致に狂奔している場合ではないと考える。なぜ本来の中学校給食を行わないのか、業者弁当を「給食」と呼んで恥ずかしくないのか、答えていただきたい。 |
| 824 | 「白紙」「検討」から、市民意見聴取の機会を設けずに、昨年8月「特区誘致」の形で突然市長発表を行ったことは、市長選での公約にもなく、カジノ誘致を公約した議員は一人もいないこととも相まって、市政運営の根幹が間違っています。 |
| 825 | 「企業市民の意見は聞いた」などの詭弁を弄することなく、このパブリックコメントも、賛成の意見だけを取り上げて推進の根拠に使うことなく、広く市民の意見を求めてから「IR（カジノ）推進の是非」を決めていただきたい。 |
| 826 | 現在の市長は、前回の市長選で、カジノに対する考え方を明示せず、市民の意見を聞かずに推進を決めた。あらためて、次回市長選でその是非を問うべきである。 |
| 827 | 白紙と言って当選した市長です。今までの市の説明では納得できる説明はありません。 |
| 828 | 市長が約束した市民説明会ですらまともに開かれていない。 |
| 829 | カジノを併設するIR建設を進めるのであれば、少なくとも市民による住民投票を実施すべきです。 |
| 830 | 住民投票の実施。市長がかねて選挙公約に掲げていたとおり、さまざまな問題を含むIR建設については民意を問うプロセスが不可欠のはずです。しっかりと準備期間をおいて、住民投票にかけるのは市長に当選したときの当然の公約だったと理解しています。IR建設について、もし、進めるようであれば市民による住民投票を求めます。 |
| 831 | カジノ建設には絶対反対です。市長は「カジノは白紙」を公約に当選しました。 |
| 832 | 住民投票ないしは、出直し市長選挙でカジノの是非を問うのが民主主義です。そうしたプロセスを経ずにカジノ建設を強行するのは、民意に逆らう暴挙です。カジノ建設を圧倒的に歓迎する世論調査結果は皆無です。 |
| 833 | カジノ建設計画の白紙撤回と、賛否を問う住民投票または市長の辞任による出直し選挙を強く要求します。 |
| 834 | 市会議員からの区民への説明日程を確保し、市民の理解を深めるべきと考えます。「事業計画がみなさんにお示しするようにできるようになります」との説明がありました。市民が理解できるように丁寧に説明し、予算案に賛成した市会議員からも区民向けに説明ができる十分な時間をとって、市会議員が市民の声を聴いてから、市議会で議論すべきではないかと思えます。 |
| 835 | |
| 836 | 総合型リゾート誘致をめぐる国会議員が増収容疑で逮捕されたことは、そこに巨額のギャンブルマネーによる「おいしい利権」が有ることが、国家の代表によって証明されたのではないですか。 |
| 837 | この様に当選したのでしたら、IR事業の是非をとる再選挙をし市民に判断させたら良いのではないのでしょうか。 |
| 838 | 市長のIR事業に対して市民を無視した進め方ですね。市長選挙時はIR事業に対しては白紙の状態で当選しました。 |
| 839 | 今回の素案も説明会の枠を超えたものではない。パブコメも賛否を問うものではないという、何のためのパブコメか。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 840 | なんとも失礼なパブコメである。コメントに反対意見が多くても方針を変えることはないという。何のために市民の意見を聞こうというのだろう。 |
| 841 | 以下の理由で反対します。住民投票はやらない、パブコメで反対が多くても止めないとの市長に対して、単純に以下の理由で反対します。 |
| 842 | カジノを含むIRには、反対します。そもそも、市長は「カジノのことは白紙に戻す」と言って当選しました。「白紙に戻す」とは取りやめることではない、などと弄っていますが、市長に一票を投じた有権者の多くが「カジノは取りやめ、今後もぶりかえさない」と信じていたことは、その後の市民の反発を見ても明らかです。市民を無視しての、市民の声を真っ向から否定する政策など、ありえません。 |
| 843 | 住民投票で決定するか、市長はいったん辞任し、カジノIRを推進する考えを表明したうえで、再選挙で市民の意思を確認すべきではないかと思えます。 |
| 844 | 市長も市議もカジノに言及することなく選挙を闘い、当選すると市長はカジノ誘致を言及、市議会で予算を通してしまいました。 |
| 845 | 横浜市にIRは不要を結論とします。そのように考えるいくつかの根拠を列記します。IRを白紙として市長選に臨み、市民の支持を得た後にIRへと舵を切ったことです。少なくとも白紙状態まで戻し、民意を問い直すべきです。 |
| 846 | 市長のIR誘致についての姿勢について、市長選前に白紙に戻し、当選となったとたん誘致に猛進するのでは、あまりにも市民の声を無視した行いだ。市長は市民の意見を聞いて職務を行うのであり、自由にやりたいことをやるのが仕事ではない。また、このような行為を軽々に行う行政に対し、強い不信を抱いている |
| 847 | 市長がよしとしている今回の案を市民がよしとしているか確かめるべきです。市長に市民を信頼する心と計画への自信があるなら、住民投票を実施し、市民の賛同を力にして進めていけばよいです。住民投票を実施せずに、反対意見も多いこの計画を進めるのは市長としての正しい判断とは思えません。 |
| 848 | 先の市長選で白紙といった市長に任せていいのか？ |
| 849 | 私は以下の理由で何としても、市長がカジノ事業者との契約を進めさせてはいけないとの観点から、住民投票を実現させたいと考えています。 |
| 850 | 合意形成についても、市長選でカジノを白紙とした市長が民意を無視している段階で、まったく信用できません。 |
| 851 | 市民投票をすべき！ |
| 852 | 市民が良くわからないまま、選挙で説明しないでカジノを誘致するのは良くないと思います。しかも横浜市に不利な条件で契約40年は酷すぎるのではないのでしょうか？横浜市長や横浜市議の方は、本当に横浜市民の利益を考えているのでしょうか？アメリカファーストに思えます。カジノを強行するのは目に見えています・・・なぜ誘致するのか多くの市民と議論を重ねてコンセンサスを得るよう努力して欲しいです。 |
| 853 | 何不自由のない暮らしだな けど何か満たされぬ必死でつかもうとしているうまく愛せているのだろうか横浜はヨーロッパに比べ、まだ幼いのではないのでしょうか。まだ横浜街の行方は途中の岐路だと思いますが、必要なのは、人々の中から紡ぎ出される情、愛、生きること街の意味だと思います。その街の意味（横浜の場合）、心情から説けるのは横浜人（よこはまびと）から。「グローバル化の街」なんてそこら中に溢れている周りに合わせてないものねだり街の良さに気づく間もなく 働くだけ「何かが違う…」それだけは良く分かっていてその気になれば どうにか何とかなる街で《地域を（経済の立役者として）グローバル大企業に託した場合、地域に何をもたらすのか。[世界にひとつだけの横浜]画一化、同一化のグローバル化が押し寄せる中、失われるのは 自由の気風？主体性？WE DO ！世界にひとつだけの横浜横浜産に愛と誇り“横浜らしさ”を自然体に産み出せるのは私たち産業、商業、飲食、祭、フェスティバル、ホールで大物スター眺めてる場合じゃない舞台上上がるのは小さくても私たち。横浜自身の胸に虹を掛けるにはどうしたら横浜独自文化の活性化は街を彩る全てを抱きしめてゆっくりと歩き出すやわらかな風が吹く この場所で |
| 854 | このコロナ騒動で市民の関心が逸れているのをいいことに予算案の決議をしたことに対し、強い嫌悪感を覚える。そもそも公約には一切盛り込んでいなかったカジノを推進するなどありえない。選挙の際にそれを、明言していたなら結果は間違いなく変わっていただろう。 |
| 855 | 市長は3年前の市長選挙において、争点になっていたカジノ誘致について、市民と議会の意見を踏まえてその方向性を決めると公約している。ところが昨年夏、突然、市民の意見を聞くことなく、カジノを含むIR計画の方向性を決定し、今回のパブコメの結果について、「反対が多かったら止めるということではない」と。選挙公約を信じて投票した市民の票を集めて当選した市長が、このような態度を取っている。民主主義にもとるものである。経済成長など公約目標に達しなかったような例と異なり、この件は約束した手続きそのものを無視したわけであり、到底許されるものではない。これについて市長あてに見解を求める質問書を提出し、都市整備局IR推進部IR推進課長から回答があったが、市の財政が逼迫しており、カジノを含むIR計画が必要であることを述べるのみで、質問への回答とはなっていない。このように、市長とのコミュニケーションシステムに則った真摯な質問に対し、質問に全く答えないまま事を済ませようとする行政の姿勢は、開かれた市政に反するものであり、この件においても横浜市は、非民主性を具現化しているといえる。 |
| 856 | 選挙にときにはIRを白紙にするとして説明しながら、突然計画の推進を表明しました。「白紙にする」とは構想を一旦なしにして、ゼロから考えることを指します。選挙のときには都合の良いことを説明しながら、突然計画を進めるのは社会的道義に反しています。 |
| 857 | このパブリックコメントが政策決定に関与しないとの市の姿勢が不可解で納得できません。 |
| 858 | 横浜市の下山埠頭跡地に統合型リゾートと称して、カジノを建設しようというのは絶対に許されないことです。市民の大多数はカジノ建設には反対しています。市長選挙では白紙と言いつつ市民の声を聞かずにカジノ建設を進めるのは公約違反の背信行為でしかありません。 |
| 859 | 市長は「白紙にする」と言っていたにも関わらず、市長再選後にどんどんIRを推進しています。横浜市民として、このまま開発を進めてしまうことには納得できません。市民の意思を尊重し、嘘偽りのない政策を望みます。 |
| 860 | |
| 861 | 決定までの経緯が不透明で、いつの間にか決まっていたという感が拭えません。市民の目をごまかして決めたような今の状況では、到底認めることはできません。なぜカジノが必要なのかを市長自身の声で全市民に説明し、住民投票を行って、市民が本当に必要としているかを確かめてください。市民の声を一番大切に行政を行ってください。 |
| 862 | 罰則規定を先に設けて下さい。汚職があった議員（秘書含む）は即座に解任及び今後一切立候補出来ないなど。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 863 | 市長はカジノ反対であったのに方針転換であれば、一旦辞職して選挙を行なって下さい。辞職したく無いなら住民投票は最低限必要です。 |
| 864 | 賭博で巻き上げた金で市の財政を賄うなど市民の意見を聞かずカジノ誘致は認められません。 |
| 865 | 白紙からの誘致方向への方針変更は、市長支持層からも多くの反対が出ている。(われわれは白紙委任した訳ではない。「共感と信頼」が市政運営の基本のようですが、これが失われた状況になっている。反対が多く出ても方針を撤回しないとの報道もある。説明会実施、パブリックコメント実施、二元代表制の議会の承認を経て市民の合意ができたと思えない。 |
| 866 | 住民投票を実施することが「共感と信頼」を取り戻す方法である。(後腐れのない住民投票を望む市民です) |
| 867 | 市長はカジノ誘致を白紙に戻すと言って当選したのに、こんな誘致を強行するとはいかがなものでしょう。一番許せないのは、市長の市民の声を聞こうとしない姿勢です。巷では、市長のリコールの話まで持ち上がっています。何万人もの人が賛同していますよ。誰がなんと言おうと、市長は単なる市民の代表。市民の声の代弁者です。 |
| 868 | 一言で申し上げて「市民の意見を聞きました」というアリバイを作りたいたけのわりかたりにくい告知カタカナ語を駆使して懇切丁寧に造り上げた素案輪をかけてわかりにくい提出方法更に「反対が多かったら止めるということではなく、賛否両論のご意見がでると思いますが実施方針策定の参考にしていきます」という発言市民を馬鹿にしていると思えません |
| 869 | 市長選で「白紙」といっておきながら、昨年「誘致」を表明した「IR」は、カジノがメインです。 |
| 870 | 市長は、もともと反対者が多いカジノIRの導入を「白紙である」と言って市長選挙を戦い当選した人であり、公約違反は許されることではない。従って、民意に耳を傾けずにこのまま強引に進めれば、リコールされると覚悟すること。 |
| 871 | 横浜市民のアイデンティティとして横浜市歌があるといわれます。粗末な漁村から〈あらゆる国の船こそ通う、活気ある港、世界に開かれた交易の港町にかわって行く横浜を誇らしく歌っています。今回の横浜IRを、「第二の開港」と呼びたてる大学関係者もいるようですが、何をいったい「開く」というのか？何か勘違いをしていないか？横浜市の見解を明確にすべきです。 |
| 872 | カジノを不可欠(マスト)に組み込むIRを観光立国の「国策」として推進しようとしているのです。そのことを巡って、賭博業界の大小様々が事業者が日本カジノIRに関心を示し、中には「1兆円余(100億ドル)を投資しても参入の価値あり、としのぎを削っているのです。この点は横浜市当局自身が認めるどころです。しかも、そのしのぎを削る競争の故に、事業計画の評価に係る極めて重要な数字を明示できないというのです。当該事業が経済活動にどのような影響を与えるのか、雇用や市の収益にどのような貢献をするのかなど、競争相手に手の内は見せられない、つまり企業秘密になっている、それ故に、「IRの効果」についての数字を確定できないというのです(副市長発言)。このことは横浜市自身がすでに、利権獲得をめぐる戦いに巻き込まれている一端を示すものではないでしょうか。中央政府は、そういう争いに自治体を組み込みながら、色々な危険負担を含めて担わせ、「国策」の遂行に動員をはかっているのではではないですか。そこに、自治体は如何なる発言権を持っているというのですか。どんなにりっぱなIR計画を提出しても、自治体にどれほどの決定権があるというのですか。ほとんど零ではないですが、自治体は国家政府の決定権に全面的に従属しているのです。誘致の決定に地方自治のかけらも見ることができません。国策だから仕方がないというのですか。そのような「国家プロジェクト」に対して、住民の安全安心福祉向上の自治体の本旨から、不毛な誘致競争に組み込まれるのではなく、非協力、誘致競争に参加しないとの立場を提起することこそ、自治体の見識であり、とるべき道ではないですか？今からでも遅くない、立ち止まって考えなおすべきではないですか。それが出来ないということは、市当局者自身が、すでに、カジノ依存症に陥っているということではないですか。 |
| 873 | 地元のビジネスへの影響は、当初考えられていたような良いものではなく、地元の顧客が収入の大部分をカジノに落とすようになり、地元での消費が激減しました。観光客はカジノには来ても、カジノや隣接する施設でだけ過ごすことが多いので、周辺の地元ビジネスにお金を落とすことは少なく、地元ビジネスオーナー達の多くは、収益が減ったためにカジノで一攫千金を目指し、更に深みにはまっていく…。レストランを数軒経営していたのに数か月で全ての店も家も手放した女性、年金が入ると全てをカジノにつき込む年配の方など、ネガティブな話を聞くことが多くなりました。雇用は、カジノでの仕事は確かに増えたと言えるでしょうが、その代わりに地域の職が減ったことを考えると果たしてどれほど増えたのかは微妙であり、アルバイト、パートでありながら長時間、夜間などの勤務が多く、またタバコの煙の中で決して良い職場環境ではありませんでした。Negative impact of casinosなどでネット検索してみてください。行政主導のカジノは地域活性の答えではないという記事をたくさん見つけられるはずですが。ラスベガスなど、一部のカジノを除いて、40-60%のカジノの収益は地域の、主に高齢者や社会的弱者が落としていくお金だと言われています。昔は、ラスベガスなどへ旅行ができるのは富裕層に限られていて、主なターゲットとされていましたが、今ではそれだけではカジノは経営が成り立ちません。退職後の孤独な高齢者がメインターゲットになっています。 |
| 874 | そもそも今回のIR誘致について、自治体はなんの決定権も持っていません。議会にしても、議会決議がIR誘致申請の不可欠な条件だとしても、そこで決定したからと言って、誘致が実現するわけではありません。最終決定は国です。横浜市では市長が誘致の手を上げ、予算もつけ、説明会もやって、「方向性(素案)」も出して、精一杯、誘致意欲を示していますが、それだけの事ではないでしょうか。それとも誘致意欲を一閃に示していけば、国に選ばれても、本気に信じているのですか。賭けではない、選ばれる保証をなにかつかんでいるのですか。決定的なコネでもあるというのですか。コネは容易に利権につながるものではないですか。今は、立ち止まり、自治体としてなにをなすべき事か、考え直してください。市民の判断を問ってください。 |
| 875 | 報道によれば、市は、『「方向性(素案)」に対するパブリック・コメントは市の政策等の賛否を問うものではない。また、意見の多寡で当該意見を取り入れるか決めるものではない」とのことです。「意見の多寡」によらないということは「少数意見でも取り入れるものは取り入れる」ということであるとすれば、それはもっともなことです。同時に、改めて、何を取り入れ、何を取り入れないのか、「過多」、「賛否」以外の基準はなにかが、が問われるのではないのでしょうか。「実施方針(案)の骨子」は、3月中旬に委員会報告されました。「実施方針」は6月に決定・公表との計画が発表されています。が、パブリックコメントにしても、外ならぬ「実施方針」に反映されるべきです。「実施方針」そのものの撤回に帰着する「意見」も、当然、反映されるべきです。市として、なぜ撤回しないのか、実施方針の正当性の根拠に立ち返って、責任ある回答が行われるべきです。端的に言って、横浜IR推進が、自治体の本旨に合うものかどうかという点をどう考えるで下された結論なのか。問題への回答を避けてはならないということです。 |
| 876 | そのような重要な問題の方向性について、選挙で何ら具体的に取り上げてこなかった、そしてその意を呈した市幹部が市民の意見を無視してIRの推進に暴走することは、民主主義の否定であり絶対に許されない。このような事業を取り止めることを強く要求する。 |
| 877 | 「横浜IR(統合型リゾート)の方向性」に、弁護士会団体が、横浜市のIR誘致発表に関する会長声明を出したことを記載してください。法律の専門家の団体の貴重な意見なので記載してください。 |
| 878 | IR誘致につき、直接住民の意思を問う旨の明記がない。「市民説明会」は、6区残したまま、議会で四億円の推進予算を議決した。「共感と信頼」の行政とは真逆の「反感と不信」が増大するだけ。 |
| 879 | 市民の意見は聞けれど計画は見直すつもりはないなどという説明会やパブリックコメントでは意味がありません。 |
| 880 | 横浜市民生活安定 |
| 881 | 市長は2017年の市長選挙で「カジノは白紙」とし、「市民のご意見を聞く」と公約しました。なのに市民の意見を聞かず、カジノ誘致を強行することは絶対に許せません。 |

| NO. | ご意見 |
|-----|---|
| 882 | 市長の独断で決めず市民の声を住民投票で明らかにすることが第一歩である。 |
| 883 | 横浜カジノには反対です。市長は、2017年の市長選挙で「白紙」と言いましたが、昨年8月突然、誘致の表明を行いました。これは市民の意見を聞くこととした公約にも反します。市長はこれまで一度も市民の意見を聞くことをしていません。公約違反であります。 |
| 884 | 市長をはじめカジノ推進派はもっと市民に寄りそうことをしようと思わないのですか？ |
| 885 | 市長は市長選挙の時白紙にした上市民の声も聞いてからとってたのでは？とにかく勝手にすすめないで下さい 市民は怒っています。何のための市政のトップなんですか 市民の声を聞くために働いてるんじゃないですか 声を聞かないならやめて下さい |
| 886 | 市長は2017年7月市長選挙で「白紙」と言いましたが、昨年8月突然、誘致の表明を行いました。これは、市民の意見を聞くこととした公約にも反します。市長はこれまで一度も市民の意見を聞くことをしていません。公約違反であり市民説明会などを開催してきました。今回の素案は撤回を求めます。 |
| 887 | 山下ふ頭の再開発は、もう一度市民の声を聞き、再度計画を作り直すことを求めます |
| 888 | 市長は、過去7年間の財政の落ち込みを強調した。過去7年間の財政の落ち込みは大阪市や名古屋市と比べて大きいと強調していた。しかし、この間の責任者は市長自身でありました。もし、実績が悪いことを強調するなら、まず、市長自身の市政への反省があつてしかるべきです。それがなく、カジノにひたすら没頭することはおかしい。もっと、明るい未来ある行政の方針を示していただきたい。この事実を説明して下さい。 |

印刷・発行 横浜市都市整備局 I R推進課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 TEL 045-671-4135
ホームページ <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/IR/houkousei.html>

<令和2年8月>

